

特別推進研究「日本語の普遍性と個別性に関する理論的及び実証的研究」
分担研究「外国人学習者の日本語誤用例の収集、整理及び分析」資料

外国人学習者の日本語誤用例集

研究分担者

大阪大学文学部教授 寺村秀夫

1990

この冊子は、文部省科学研究費による特別推進研究『日本語の普遍性と個別性に関する理論的及び実証的研究』(1985-1989年度 代表者 井上和子)の一環としておこなった「外国人学習者の日本語誤用例の収集・整理と分析」(分担者 寺村秀夫)の資料をまとめたものである。

日本語教育に従事しているものはみな毎日のように学習者の誤用に接しており、それがなぜ誤用とされるのかが説明できるよう研究もし、そのような誤用がでないような工夫もしている。日本語教育の目的やレベルが多様化してくるにつれて、誤用令を出し合って検討することも盛んに行われるようになった。しかし、多くの学習機関では、日々の教育の忙しさから、教師が誤用の記録を保存するにとどまっておき、有効に共同利用できるような形に整理されていないのが実状であろうと思われる。本(分担)研究の目的は、それらを収集し、一定の方法で整理し、すべての教師の共同財産として検索、利用できるようにするための方策を提出することであった。しかし、主として研究分担責任者(寺村)の健康上の理由から、当初予定していたような多くの研究機関を訪ねることも、教師と個別的な事情交換の場をもつこともできなかった。今回の誤用収集に協力を得ることのできたのは、あとに記す機関にとどまる。

誤用の整理のむずかしさは、「誤用」と認めた点をどのように特徴付け、分類するかにある。それを客観的なものにするためには、かなりの数の教育者、研究者が納得いくまで議論する必要がある。今回の検討は、おもに1985-86年度前半に行った研究会での結論をもととしている。その協力者はあとに記す通りである。誤用は分類してラベルを付けねばならないが、その分類には、もちろん、日本語の文法についての体系的な観点が必須である。今回の分類はその試案である。また、ラベルの付け方は、当初、白川博之氏(当初筑波大学技官、現広島大学教育学部専任講師)の苦心の工夫による方式で行っていたが、ソフトの技術的な制約のため、一般には見にくいところがあった。今回こういう形で一般の日本語教育の現場で利用してもらうことを考え、協力者の一人である小金丸春美氏(大阪大学大学院文学研究科博士課程)が、古林紀哉氏(大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程)とたびたび意見を交えた結果、このような利用しやすい形で印刷に付することができた。古林紀哉氏の貴重なご助力に感謝の意を表したい。

日本語教育に携わる方々、日本語教育に関心を持つ方々に、この冊子を資料として利用していただき、各自の研究を深め教育に結びつけるための手がかりとしていただければ幸いである。

1990年1月

大阪大学文学部教授

寺村秀夫

使用したデータに関して

- (1) 本(分担)研究において収集、整理されたデータの総数は4601文、内、誤用を含む文3131文が本冊子に収録されている。
- (2) 学習者の学習レベルは初級から上級までにわたっている。
- (3) 昭和63年度の研究報告に載せた「中間報告」の時点では誤用の項目数を51としていたが、この冊子では62項目になっている。これは、今回の出版化に当たって文に付けられているラベルを見直した結果、51項目に漏れているラベルがあり、新たに項目を設けたことと、検索上の便宜を考えて項目を細分化したことによるものである。今回、新たに付け加えた項目は、次の8項目である。

数量詞	(3.13)	連体修飾	(5.6.7)
可能	(5.2.3)	名詞節	(5.6.8)
自発	(5.2.4)	疑問節	(5.6.9)
副詞的連用修飾	(5.6.6)	引用	(5.6.10)

細分化したのは「とりたて詞」で、次の4項目となった。

とりたて詞	ハ	(5.7.1)
とりたて詞	モ	(5.7.2)
とりたて詞	ダケ・シカ	(5.7.3)
その他のとりたて詞		(5.7.4)

資料提供機関

国際学友会日本語学校
筑波大学留学生教育センター
東京国際大学留学生別科
香港大学言語センター

研究協力者

市川保子 筑波大学留学生教育センター非常勤講師
小金丸春美 大阪大学大学院文学研究科博士課程
小林典子 筑波大学留学生教育センター非常勤講師
三枝令子 当初、筑波大学留学生教育センター非常勤講師
現、一橋大学法学部専任講師
酒井たか子 筑波大学留学生教育センター専任講師
白川博之 当初、筑波大学文芸言語学系技官
現、広島大学教育学部専任講師
戸村佳代 当初、筑波大学文芸言語学系助手
現、明治大学経営学部専任講師

目 次

第1章 音韻論 [発音]	1
第2章 文字論 [表記]	25
第3章 語彙論	
3.1. 品詞の取り違え	40
3.2. 動詞 [V]	49
3.3. 補助動詞 [複V]	72
3.4. 慣用的な動詞句 [VP]	79
3.5. 形容詞 [A]	85
3.6. 形容動詞 [NA]	93
3.7. ダ	102
3.8. 名詞 [N]	109
3.9. 副詞 [Ad]	143
3.10. 連体詞 [AN]	157
3.11. コソア	158
3.12. 不定語	163
3.13. 数量詞 [数]	165
3.14. 接続詞 [C]	168
3.15. 熟語	176
第4章 形態論 [活用]	178
第5章 シンタクス・意味論	
5.1. 補語	
5.1.1. 格助詞 ガ	189
5.1.2. 格助詞 ヲ	203
5.1.3. 格助詞 ニ	219
5.1.4. 格助詞 デ	241
5.1.5. 格助詞 ト	254
5.1.6. 格助詞 ヘ	257
5.1.7. 格助詞 カラ	258
5.1.8. 格助詞 ヨリ	259
5.1.9. 格助詞 ニヨッテ	260
5.1.10. 格助詞 ニツイテ	261
5.1.11. 格助詞 ニトッテ	262
5.1.12. 格助詞 ニタイシテ	263
5.1.13. 格助詞 ノハウガ	264
5.1.14. 連体助詞 ノ	265
5.2. ヴォイス	
5.2.1. 受身	279
5.2.2. 使役	282
5.2.3. 可能	283
5.2.4. 自発	284
5.2.5. 自他の区別	285
5.2.6. やりもらい [受給]	289
5.3. テンス・アスペクト	
5.3.1. タ	292
5.3.2. ル	303

5.3.3. テイル	315
5.4. 否定	322
5.5. 語順	323
5.6. 接続	
5.6.1. 条件	326
5.6.2. テ形	331
5.6.3. 連用形	341
5.6.4. 動詞句の並立 [並V]	344
5.6.5. 名詞句の並立 [並N]	347
5.6.6. 副詞的連用修飾 [副用]	350
5.6.7. 連体修飾 [体修]	358
5.6.8. 名詞節	364
5.6.9. 疑問節	371
5.6.10. 引用	372
5.6.11. その他	374
5.7. モダリティ	
5.7.1. とりたて詞 ハ	382
5.7.2. とりたて詞 モ	412
5.7.3. とりたて詞 ダケ・シカ	414
5.7.4. その他のとりたて詞	415
5.7.5. ムード	416
5.7.6. スタイル	421
5.7.7. のだ	429
5.8. 表現	432

この資料の使い方

<1> 文は誤用の種類にしたがって、62項目に分類されている。但し、一つの文に二つ以上の誤用が含まれていることが多く、その場合は、一つの文が、その文に含まれる各誤用の項目に、それぞれ収録されている。

<2> いちばん左の欄の「番号」は通し番号、二つめの欄は、学習者の国籍と作文形式である。作文形式は以下の8種類である。

自由作文	文章要約
穴うめの形式	会話作文
短文作文	パターン作文
聴解要約	絵を見ての作文

例えば、「台湾5」というのは、台湾出身の学習者のうち5番の学習者ということであり、この欄を見れば、どの誤用が同一の学習者によるものであるかがわかる。(この番号は、学習者を区別するために便宜上つけたものであり、何かの順序になっているわけではない。)また、「自由作文2」というのは、自由作文の形式で書かれたある作文の中の、2番目の文ということである。

<3> 文中で誤用のある箇所は下線で示した。下線の番号は、右の「誤用の種類」欄の誤用のラベルの番号と一致している。(例:番号1)なお、文全体を通しての誤用は、誤用のラベルの前に「&」をつけて示した。(例:番号2)

(例)

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
1	インド 43 自由作文 14	かぜは普通の病気だから、もし上の予防をすれば、 <u>かからない何数</u> が少ないと思います。	1否定 2N
2	香港 26 自由作文 9	ある地理、歴史、文化などの状態では、ある心理状態があります。	&表現

<4> 「誤用の種類」欄の、誤用のラベルの表示の仕方は以下の通りである。

「L」という項目について

「L」について使い方が誤っている場合	L	(例:番号3)
「L」を使うべきでないのに使っている場合	*L	(例:番号4)
「L」を使うべきなのに使っていない場合	-L	(例:番号5)
「L1」を使うべきなのに「L2」を使っている場合	...	*L2/-L1	(例:番号6)

(例)

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
3	中国 18 自由作文 18	それは <u>ちょうと</u> 日本と反対です。	発音
4	中国 27 自由作文 10	高円寺えきででんしゃに <u>の</u> っています。	*テイル
5	香港 19 自由作文 13	日本人は、何で一般に日本語の辞典を「国語辞典」とよぶ <u>か</u> ?	-のだ
6	香港 18 短文作文 3	この美しい庭は、雪舟 <u>で</u> 作られたそうだ。	格 *デ/-にヨッテ

<5> 「誤用の種類」欄の誤用のラベルは、スペースの節約のため、略記にしてある。項目との対応は、以下の通りである。対応がわかりにくいものについては、目次や見出しにも略号を付記した。また、「誤用の種類」欄では、以下のラベルに加えて、具体的な語彙項目を記したものもある。

(以下、ラベルは五十音順・アルファベット順)

ラベル	項目	ラベル	項目
引用	引用 5.6.10	ハ	とりたて詞ハ 5.7.1
受身	受身 5.2.1	発音	発音 1
ガ	格助詞ガ 5.1.1	否定	否定 5.4
格	補語 5.1	表記	表記 2
カラ	格助詞カラ 5.1.7	表現	表現 5.8
数	数量詞 3.13	品詞	品詞の取り違い 3.1
活用	活用 4	副用	副詞的連用修飾 5.6.6
可能	可能 5.2.3	複V	補助動詞 3.3
疑問節	疑問節 5.6.9	不定	不定語 3.12
語順	語順 5.5	へ	格助詞へ 5.1.6
コソア	コソア 3.11	並N	名詞句の並立 5.6.5
使役	使役 5.2.2	並V	動詞句の並立 5.6.4
シカ	とりたて詞 ダケ・シカ 5.7.3	ムード	ムード 5.7.5
自他	自他の区別 5.2.5	名詞節	名詞節 5.6.8
自発	自発 5.2.4	モ	とりたて詞モ 5.7.2
受給	やりもらい 5.2.6	ヨリ	格助詞ヨリ 5.1.8
熟語	熟語 3.15	ル	ル 5.3.2
条件	条件 5.6.1	連用形	連用形 5.6.3
数	数量詞 3.13	ヲ	格助詞ヲ 5.1.2
スタイル	スタイル 5.7.6	A	形容詞 3.5
接	接続 5.6	Ad	副詞 3.9
タ	タ 5.3.1	AN	連体詞 3.10
ダ	ダ 3.7	C	接続詞 3.14
体修	連体修飾 5.6.7	N	名詞 3.8
ダケ	とりたて詞 ダケ・シカ 5.7.3	NA	形容動詞 3.6
デ	格助詞デ 5.1.4	V	動詞 3.2
テイル	テイル 5.3.3	VP	慣用的な動詞句 3.4
テ形	テ形 5.6.2		
ト	格助詞ト 5.1.5		
トイウ	引用 5.6.10		
取立	とりたて詞 5.7.1~4		
ニ	格助詞ニ 5.1.3		
ニタイシテ	格助詞 ニタイシテ 5.1.12		
ニツイテ	格助詞ニツイテ 5.1.10		
ニトッテ	格助詞ニトッテ 5.1.11		
ニヨッテ	格助詞ニヨッテ 5.1.9		
のだ	のだ 5.7.7		
ノダ	のだ 5.7.7		
のハウガ	格助詞ノハウガ 5.1.13		
ノ連	連体助詞ノ 5.1.14		

1. 音韻論 [発音]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
1	台湾 1 パターン作文 9	たとえば、視覚 <u>デザイ</u> の方 <u>ば</u> 日本語より <u>面白</u> <u>い</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1表記 発音 2発音 取立 *ハ /ーガ 3品詞 (*NA /ーA) 4ダ スタイル
2	台湾 1 パターン作文 15	けれども、日本語と視覚デザインをくらべると、視覚デザイン <u>が</u> 外来語や専門用語が沢山あります。 (1) (2)	1発音 2取立 *ガ/ーハ
3	台湾 2 パターン作文 12	単語の発音については、中国語の四つの音調の高低 <u>が</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>ほ</u> <u>と</u> 中国語は非常に勉強しにくいで (1) (2) す。	2発音 1取立 *ガ/ーハ 2格(ーヨリ)
4	台湾 3 自由作文 12	でも、古典方面の音楽 <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>す</u> <u>ぎ</u> <u>。</u> (1)(2)(3) (4) (5) (6)	1ーノホウ 2格 *0 /ーガ 3,4Ad 副用 5発音 6ーダ
5	台湾 4 自由作文 7	デザインを <u>除</u> <u>い</u> <u>て</u> 、私は <u>バ</u> <u>レ</u> <u>ー</u> <u>ボ</u> <u>ル</u> ・ <u>バ</u> <u>ス</u> <u>ケ</u> <u>ッ</u> <u>ト</u> <u>ボ</u> <u>ー</u> <u>ル</u> ・ <u>テ</u> <u>ニ</u> <u>ス</u> と旅行がすきであるが、お金を節約するために、筑波に来てから <u>旅</u> <u>行</u> <u>の</u> <u>か</u> <u>わ</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>自</u> <u>転</u> <u>車</u> <u>の</u> <u>運</u> <u>動</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1条件 *テ形/ート 2発音 表記 3取立 *0 /ーハ
6	台湾 5 自由作文 10	もし、私は来年の入学試験を <u>パ</u> <u>ー</u> <u>ス</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>ら</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>習</u> <u>慣</u> <u>と</u> <u>暮</u> <u>ら</u> <u>す</u> <u>方</u> <u>式</u> <u>を</u> <u>実</u> <u>地</u> <u>に</u> <u>見</u> <u>学</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>ほ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2ムード Aータイ
7	台湾 7 自由作文 11	<u>ま</u> <u>だ</u> <u>ご</u> <u>連</u> <u>絡</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	発音
8	台湾 10 自由作文 6	学問の勉強だけではなくて、色々なスポーツレクリエーション (recreation) について、心身の健康のために、これから、身につけ <u>で</u> 、やらなければならないと思います。	発音
9	台湾 11 自由作文 2	生まれつきの明るい性格のお陰で、小さい頃から <u>い</u> <u>ち</u> <u>も</u> <u>友</u> <u>達</u> <u>と</u> <u>つ</u> <u>き</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>い</u> 、知り合いの友達と話す <u>と</u> 、笑 <u>い</u> <u>話</u> <u>は</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>の</u> <u>共</u> <u>通</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>ば</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1発音 2複A
10	台湾 11 自由作文 3	私はよく友達に <u>あ</u> <u>だ</u> <u>の</u> <u>を</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>の</u> <u>で</u> 、友達もいろいろな <u>あ</u> <u>だ</u> <u>な</u> <u>を</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1発音 2自他 3自他
11	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文 <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> 、私に二冊の高校及び中学校の歴史教科書を <u>貸</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>近</u> <u>頃</u> <u>私</u> <u>も</u> <u>ち</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>ど</u> <u>参</u> <u>考</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>久</u> <u>美</u> <u>子</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> <u>今</u> <u>週</u> <u>の</u> <u>金</u> <u>曜</u> <u>日</u> <u>ち</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>ど</u> <u>返</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> 。 (4) (5) (6) (7) (8) (9)	1*ノ連ーV 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V /ーN 6*ダ 7取立 *ハ /ーガ、サエ 8スタイル 9格 *0 /ーニ
12	台湾 12 自由作文 15	それでは論文を <u>頑</u> <u>張</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> 。	活用 発音 表記
13	台湾 12 自由作文 17	御機嫌 <u>よ</u> 。	発音
14	台湾 15 自由作文 12	そして <u>私</u> <u>は</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>会</u> <u>社</u> <u>に</u> <u>敬</u> <u>業</u> <u>の</u> <u>精</u> <u>神</u> <u>が</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>国</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>々</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>強</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1発音 2ーV 3VP
15	台湾 16 自由作文 16	時機がじゅくした <u>ら</u> 、プロ野球を創立するつもりです。	発音 表記

第1章 音韻論

16	台湾 17 自由作文 3	これはかかく <u>しんぼう</u> から <u>の</u> なやみの <u>いち</u> です。 (1)(2) (3) (4)	1ノ連 2発音 3体修 4数
17	台湾 17 自由作文 6	まず、その人のせいかつを <u>にんしき</u> して、しごとのしゅ るいをしつもんしている <u>いろい</u> ろなげんいんを <u>ませて</u> <u>ぶんけ</u> いして <u>もんだい</u> の <u>こんげ</u> をはっけんするはずです。 (1) (2) (3) (4)	1V 2副用 3発音 N 4 ムード
18	台湾 17 自由作文 8	ひとびとのせいしんの <u>あつりょく</u> はほとんどにんげんや かんじょうの <u>もんだい</u> や <u>じぎょう</u> などから <u>、</u> ていねい に <u>かんしゃ</u> のなやみをきいて <u>かっかん</u> に <u>けいせつ</u> なら ら、 <u>だんだん</u> あたらしいじんせい <u>かん</u> を <u>たつ</u> はずです。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1N 2ーダ 3発音 4 5 6格 *ヲ/ーガ 7自他
19	台湾 17 自由作文 9	もしわたしは <u>しんり</u> <u>そうだん</u> <u>しゃ</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>たら</u> <u>さま</u> <u>さま</u> <u>じ</u> <u>んげん</u> の <u>もんだい</u> が <u>私</u> に <u>けんけん</u> <u>きゅう</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーガ 2発音 3格 に*O/ にー ヨッテ 4表記 5受身
20	台湾 22 自由作文 8	その仕事をやっている時 <u>ずうぶん</u> 、新しい言葉が出て くる <u>ため</u> に、私は毎日辞書を持っていなければなりませ ん。 (1) (2)	1発音 2オル/タ
21	台湾 22 自由作文 19	果樹園へ行くと <u>眼下</u> の下に <u>展開</u> する <u>いばい</u> <u>果物</u> を <u>う</u> えています。 (1) (2) (3) (4)	1N 2V 3発音 4自他
22	台湾 23 自由作文 12	その時、国の両親から電話が <u>あ</u> <u>っ</u> <u>だ</u> 。 (1) (2)	1コソア 副用 2発音 表記
23	中国 2 絵を見ての作文 5	車が <u>は</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>水</u> を <u>ひ</u> <u>っ</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	発音 ーテ形 体修
24	中国 3 聴解要約 28	それでは、友達は大木さんの家具 <u>は</u> <u>を</u> <u>た</u> <u>ず</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>運</u> <u>び</u> <u>入</u> <u>れ</u> 、 <u>中</u> <u>午</u> <u>時</u> 、そば店の店員はそばを <u>と</u> <u>ど</u> <u>け</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1C 3発音 2取立 *ハ を/ーOを 3V 4N
25	中国 3 パターン作文 4	毎朝、事務室に来た後、 <u>皆</u> <u>さ</u> は一緒に事務室を掃除しま す。	発音 N
26	中国 4 聴解要約 10	同日かとうさんの子の太郎はヤンさんと <u>ステジオレコダ</u> を <u>か</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>大</u> <u>変</u> <u>面</u> <u>白</u> <u>い</u> <u>体</u> <u>験</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1表記 発音 2接 *ノ デ/ーテ形
27	中国 4 聴解要約 11	その商店でヤンさんはある <u>レコダ</u> を <u>き</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>が</u> <u>ら</u> 、 <u>い</u> <u>い</u> <u>音</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	表記 発音
28	中国 4 パターン作文 7	その <u>ち</u> <u>か</u> <u>い</u> は <u>ま</u> <u>ず</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>料</u> <u>理</u> <u>の</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>野</u> <u>菜</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>し</u> 、 <u>野</u> <u>菜</u> <u>の</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>り</u> <u>方</u> <u>も</u> <u>少</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2*テイル/ー ル
29	中国 6 自由作文 7	<u>ま</u> <u>た</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ず</u> <u>じ</u> <u>ゃ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	発音 Ad 副用
30	中国 7 自由作文 9	私はスポーツが <u>たい</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>す</u> <u>ぎ</u> <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>たい</u> <u>へ</u> <u>ぬ</u> <u>れ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1発音 2Ad 副用 3A 発音
31	中国 11 自由作文 8	でも <u>あ</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>は</u> <u>ど</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>帰</u> <u>え</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2発音 3活用
32	中国 12 自由作文 20	車は「 <u>駐</u> <u>車</u> <u>違</u> <u>反</u> 」とか、「 <u>信</u> <u>号</u> <u>違</u> <u>反</u> 」など、 <u>も</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>び</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2品詞 *NA/ー A
33	中国 13 自由作文 16	寝ている人 <u>は</u> <u>本</u> <u>を</u> <u>読</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>人</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>が</u> 、 <u>大</u> <u>声</u> <u>で</u> <u>話</u> <u>す</u> <u>人</u> <u>は</u> <u>ほ</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1並 N 2発音

1. 音韻論 [発音]

34	中国 15 自由作文 6	それだけでなく、日本人の歩く <u>スピード</u> にも驚いた。	発音
35	中国 15 自由作文 7	朝、学校へ来る途中、一人のサラリーマンと一緒に池袋の山の手線の <u>プラント</u> ホームで電車を待っていた。	発音
36	中国 15 自由作文 14	東京には <u>あの人</u> のように <u>歩く</u> <u>スピト</u> を持っている人はきつと多い <u>。</u>	1コソア 2-A 3発音 4ムード
37	中国 16 自由作文 6	日本の典型的な <u>景物</u> は <u>見</u> <u>つ</u> <u>て</u> 、やはり日本へ来た感じがしました。	1N 2取立 *ハ/ーヲ 3発音
38	中国 16 自由作文 8	今、私は日本にいて、こちらに生活して、勉強していろいろ人において、 <u>もっと</u> <u>日本</u> と <u>ちか</u> <u>つ</u> <u>ぐ</u> になりました。	1格 *ニ/ーデ 2*テ形 /ー連用形 3並V 4副 用 5発音 6名詞節 ーコト
39	中国 16 自由作文 24	これは <u>と</u> <u>う</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> 。	1発音 2スタイル
40	中国 18 自由作文 18	それは <u>ち</u> <u>や</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>日</u> <u>本</u> と反対です。	発音
41	中国 21 自由作文 6	はじめて <u>に</u> <u>ほん</u> <u>じん</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>ぜん</u> <u>ぜん</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>ち</u> <u>ね</u> <u>ん</u> <u>し</u> <u>ゅう</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1Ad 副用 2接 *0 /ー ガ 3発音 表記 4*ル/ ーテイル 5VP *ル/ ータ
42	中国 22 自由作文 4	いろいろな <u>ど</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> は いろいろなふうぞくと風景があります。	1発音 2取立 *ハ/ー ニ
43	中国 23 自由作文 13	いまがっこう <u>な</u> <u>ふ</u> <u>ゆ</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>む</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>じ</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>へ</u> <u>や</u> <u>で</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 表記 2N 3ダ
44	中国 25 自由作文 7	わたし <u>な</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>せ</u> <u>い</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>の</u> <u>ひ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	ーノ連 発音
45	中国 25 自由作文 14	さらいねんのしがつにわたしたちはこのがっこうを <u>そ</u> <u>う</u> <u>つ</u> <u>ぎ</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ゅう</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1接 *テカラ/ーて形 2発音
46	中国 26 自由作文 3	ひらかな <u>は</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>す</u> <u>おん</u> <u>が</u> 、 <u>か</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>は</u> <u>ち</u> <u>ゅう</u> <u>ご</u> <u>く</u> <u>ご</u> <u>と</u> <u>に</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>じ</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1,2発音 3並V *ガ/ ーテ形, ーダ
47	中国 26 自由作文 5	ほかに、 <u>ぶん</u> <u>ぼう</u> のなかに名詞や動詞などがあります。	発音
48	中国 26 自由作文 9	ちちは <u>ご</u> <u>じ</u> <u>ゅう</u> <u>ね</u> <u>ま</u> <u>え</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>の</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>で</u> <u>け</u> <u>い</u> <u>ざ</u> <u>の</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>き</u> 、 <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ち</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 2取立 *0 /ー ハ
49	中国 26 自由作文 11	いま、にほんの <u>こ</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>ぎ</u> <u>ょう</u> <u>かい</u> <u>で</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	発音
50	中国 26 自由作文 13	しかし、わたしはがいこくじんだから、じょうずな <u>は</u> <u>す</u> <u>おん</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	1,2発音
51	中国 26 自由作文 18	<u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>たい</u> <u>せ</u> <u>つ</u> <u>な</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>を</u> <u>は</u> <u>や</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ず</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 2接 *テ形/ー 連用形 & 一名詞節
52	中国 27 自由作文 11	ひがしなかの駅で <u>お</u> <u>っ</u> <u>り</u> <u>て</u> <u>す</u> <u>ぐ</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>へ</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	発音

第1章 音韻論

53	中国 27 自由作文 12	まいにちがっこうの <u>きょうしち</u> のなかでにほんごをべん きょうしてにほんごを <u>はなして</u> 会話 <u>は</u> いちばん <u>いい</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1発音 2接 *テ形 3取 立 *ハ/ーガ4A
54	中国 28 自由作文 5	そのとき、 <u>たいてん</u> しんぱいしました。	発音 表記
55	中国 28 自由作文 11	わたしたちは <u>いっしょうげんめ</u> に にほんごのべんきょう をしました。	発音
56	中国 28 自由作文 21	せんせいはわたしたちに「 <u>しんぱい</u> <u>しないで</u> ください」 といました。	発音
57	中国 28 自由作文 23	に、さんにち <u>あど</u> で、せんせいはがくせい <u>のせい</u> せきを はっぴょうしました。	発音
58	中国 29 自由作文 17	<u>そし</u> で 日本語は私 <u>に</u> やさしくなります。 (1) (2)	1発音 2格 *ニ/ーニ トッテ
59	中国 30 自由作文 6	きょうしつ <u>に</u> せんせいは <u>いっしょうけん</u> の <u>おし</u> えて、 わたしたちはわからないことが <u>あ</u> ったから <u>し</u> っている「 なれ」というかこうで、 <u>なん</u> というけいようしである。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーデ 2Ad 発音 3接 *テ形 4条 件 *カラ/ータラ & 表現
60	中国 30 自由作文 7	<u>とん</u> な <u>じょ</u> だいに <u>つ</u> かく <u>か</u> こうしき、 <u>げ</u> いざいしき、 <u>み</u> らいしきです。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,2発音 3V 4,5,6N
61	中国 31 自由作文 4	にほんへ <u>き</u> たり <u>り</u> ょうがくせい <u>は</u> おおぜいいます。 (1) (2)	1*ル/ータ 2発音
62	中国 31 自由作文 6	わたしも <u>おん</u> なじです。	発音
63	中国 31 自由作文 8	らいねん <u>に</u> ほんご <u>だ</u> いがくには <u>い</u> りたいです。 (1) (2)	1発音 2ーノ連
64	中国 31 自由作文 9	まいにち、 <u>が</u> っこうが <u>お</u> わってから、 <u>す</u> ぐ <u>う</u> つ <u>へ</u> かえり ます。	発音
65	中国 31 自由作文 11	いちばん <u>む</u> ずかしい <u>と</u> ころ <u>は</u> <u>ぶ</u> んぼう <u>で</u> す。 (1) (2)	1N 2発音
66	中国 32 自由作文 10	毎日テープを使って <u>い</u> くとも <u>い</u> くとも <u>練</u> 習します。	発音 副用
67	中国 32 自由作文 11	<u>三</u> ヶ月のあとで 日本語が <u>た</u> んたん <u>上</u> 手になりました。 (1) (2)	1発音 副用 2発音
68	中国 33 自由作文 3	しかし <u>ち</u> ょっと <u>む</u> づかしい <u>で</u> すね。	発音
69	中国 33 自由作文 4	わたし <u>の</u> <u>あ</u> たま <u>は</u> <u>へ</u> た <u>で</u> からにほんご <u>は</u> <u>と</u> きどぎ わすれます。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *ノ連/ーハ 2取 立 ハ/ーガ 3A 4活用 5*ハ/ーヲ 6 発音
70	中国 33 自由作文 6	わたし <u>が</u> にほんごのべんきょう <u>は</u> <u>へ</u> た <u>か</u> ら <u>に</u> ほん <u>に</u> ん <u>の</u> <u>と</u> もたち <u>を</u> <u>つ</u> くり <u>ま</u> す。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ガ/ーハ 2*ハ /ーガ 3活用 (NA) 4,5発音 6*ル/ータ
71	中国 34 自由作文 5	わたしは <u>ち</u> ゅうごく <u>じ</u> んだから、 <u>に</u> ほんごの <u>か</u> んじの <u>い</u> <u>み</u> が <u>っ</u> よく <u>わ</u> かります。	発音 表記 副用
72	中国 34 自由作文 8	かいわも <u>む</u> づかしい <u>で</u> す。	発音

1. 音韻論 [発音]

73	中国 35 自由作文 7	漢字はいつもつかいますが、よみかたといみは中国語と同じではありませんから <u>へだ</u> です。	発音
74	中国 35 自由作文 8	わたしはまいにちうちで <u>よんじ</u> かんぐらい日本語をべんきょうします。	発音
75	中国 37 自由作文 8	わたし <u>まいっしょうけんめい</u> の <u>べんきょう</u> しています。 (1) (2)	1発音 表記 2副用
76	中国 37 自由作文 11	<u>にちようぼ</u> はやすみです。	発音
77	中国 37 自由作文 12	<u>まなび</u> <u>もうさんかげつぐらい</u> にほんごもたくさんおぼえ (1) (2) ましたが <u>テレビ</u> と <u>しんぶん</u> を <u>よみう</u> とき <u>まだ</u> わかり (3) (4) (5) ません。	1,2語順 3並V *ト/ 一タリ 4発音 5取立 *0 /一ハ
78	中国 37 自由作文 13	わたしはまいばんしちじから <u>じゅうず</u> までにほんごのべんきょうをしています。	発音
79	中国 38 自由作文 12	わたしはがっこうのべんきょうの <u>あど</u> で、へやでおなじにほんごのべんきょうをします。	発音
80	中国 38 自由作文 17	<u>ともたち</u> とはなしのれんしゅうをします。	発音
81	中国 39 自由作文 9	わたしは「かいわは <u>だいせつ</u> なことです。」とおもっています。	発音
82	中国 40 自由作文 5	わたしがっこうは <u>ちさい</u> ですが、せんせいたち <u>じ</u> は (1) (2) たいへんきびしいです。	1発音 2?
83	中国 40 自由作文 6	わたしのにほんごがっこうには <u>さんびやく</u> にんいます。	発音
84	中国 40 自由作文 7	<u>みんな</u> やさしいです。	発音
85	中国 40 自由作文 15	だから、 <u>いちねなと</u> でにほんごがじょうずになりたいです。	発音
86	中国 41 自由作文 8	にちようびは <u>やしみ</u> です。	発音 N
87	中国 41 自由作文 9	わたしはがっこうへいくとき <u>でんしや</u> でにほんごのレコードをききます。	発音 表記
88	中国 41 自由作文 12	うへでテレビの <u>ニュース</u> をみることがあります。	発音 表記 N
89	中国 41 自由作文 14	にちようびはときどきにほんじんと <u>はなす</u> をします。	発音 品詞 *N /一V
90	中国 42 自由作文 3	<u>よんねん</u> まえにくにのがっこうで日本語をべんきょうしました。	数 発音
91	中国 43 自由作文 6	みんなは <u>いっしょうけんめ</u> 日本語を <u>べんきゅう</u> しています。 (1) (2)	1,2発音 表記
92	中国 44 自由作文 6	にほに <u>は</u> にほんごのべんきょうは <u>じぶんのくに</u> に <u>は</u> (1) (2) (3) んごのべんきょうよりやさしいです。	1発音 2取立 *ハ /一 デノ 3格 *デ /一デノ

第1章 音韻論

93	中国 44 自由作文 7	じぶんのくに ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ にねん ⁽³⁾ あらう ⁽⁴⁾ より ⁽⁵⁾ にほん ⁽⁶⁾ のにさん ⁽⁷⁾ げ つかんのほうが ⁽⁸⁾ じょうず ⁽⁹⁾ です。	1格 *ニ/ーデ 2発音 3表記 4複V
94	中国 45 自由作文 5	しかし、いまから ⁽¹⁾ たんたん ⁽²⁾ むずかしく ⁽³⁾ なりますが、ど きとき ⁽⁴⁾ すき ⁽⁵⁾ ではない ⁽⁶⁾ に ⁽⁷⁾ べんきょう ⁽⁸⁾ します。	1Ad 副用 発音 2*ル/ ーテ 複V 3 発音 4接 ーテモ
95	中国 46 自由作文 16	げつようびから ⁽¹⁾ きんようび ⁽²⁾ まで ⁽³⁾ が ⁽⁴⁾ じかん ⁽⁵⁾ ぐらい ⁽⁶⁾ が ⁽⁷⁾ っこう で ⁽⁸⁾ にほん ⁽⁹⁾ ご ⁽¹⁰⁾ べんきょう ⁽¹¹⁾ を ⁽¹²⁾ します。	1発音 2格 *0/ーノ 連
96	中国 46 自由作文 17	とようび ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ ちょう ⁽³⁾ さん ⁽⁴⁾ じかん ⁽⁵⁾ です。	1,2発音
97	中国 46 自由作文 21	しかし ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ ほご ⁽³⁾ が ⁽⁴⁾ むずかし ⁽⁵⁾ でしょう。	1取立 *ガ/ーハ 2発 音
98	中国 47 自由作文 4	にほん ⁽¹⁾ ご ⁽²⁾ は ⁽³⁾ たい ⁽⁴⁾ へん ⁽⁵⁾ む ⁽⁶⁾ じかし ⁽⁷⁾ かつ ⁽⁸⁾ た ⁽⁹⁾ です。	発音 *タ/ール
99	中国 47 自由作文 7	すこ ⁽¹⁾ し ⁽²⁾ わ ⁽³⁾ からない ⁽⁴⁾ と ⁽⁵⁾ き ⁽⁶⁾ せん ⁽⁷⁾ せい ⁽⁸⁾ に ⁽⁹⁾ お ⁽¹⁰⁾ し ⁽¹¹⁾ えて ⁽¹²⁾ く ⁽¹³⁾ た ⁽¹⁴⁾ さい ⁽¹⁵⁾ 。	発音 受給
100	中国 47 自由作文 8	うち ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ お ⁽³⁾ お ⁽⁴⁾ い ⁽⁵⁾ じ ⁽⁶⁾ かん ⁽⁷⁾ つか ⁽⁸⁾ う ⁽⁹⁾ ます ⁽¹⁰⁾ 。	1副用 品詞 2格*0/ ーヲ 3発音
101	中国 47 自由作文 12	みち ⁽¹⁾ である ⁽²⁾ いて ⁽³⁾ 、 ⁽⁴⁾ その ⁽⁵⁾ ひ ⁽⁶⁾ と ⁽⁷⁾ は ⁽⁸⁾ む ⁽⁹⁾ じかし ⁽¹⁰⁾ かつ ⁽¹¹⁾ た ⁽¹²⁾ こ ⁽¹³⁾ と が ⁽¹⁴⁾ た ⁽¹⁵⁾ す ⁽¹⁶⁾ けて ⁽¹⁷⁾ あ ⁽¹⁸⁾ げ ⁽¹⁹⁾ ます ⁽²⁰⁾ た ⁽²¹⁾ き ⁽²²⁾ は ⁽²³⁾ 、 ⁽²⁴⁾ に ⁽²⁵⁾ ほん ⁽²⁶⁾ ご ⁽²⁷⁾ で ⁽²⁸⁾ は ⁽²⁹⁾ な ⁽³⁰⁾ して ⁽³¹⁾ つ か ⁽³²⁾ う ⁽³³⁾ ます ⁽³⁴⁾ 。	1,10格 *デ/ーヲ 2* 0/ーテイル 3*コソ ア/ー0 4取立 *ハ/ ーガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト/ーノ 7格 *ガ/ーヲ 8スタイ ル 11VP 発音
102	中国 48 自由作文 7	にほん ⁽¹⁾ ご ⁽²⁾ を ⁽³⁾ よく ⁽⁴⁾ わ ⁽⁵⁾ が ⁽⁶⁾ った ⁽⁷⁾ ら ⁽⁸⁾ 、 ⁽⁹⁾ に ⁽¹⁰⁾ ほん ⁽¹¹⁾ の ⁽¹²⁾ ふ ⁽¹³⁾ う ⁽¹⁴⁾ ぞ ⁽¹⁵⁾ く ⁽¹⁶⁾ や ⁽¹⁷⁾ に ⁽¹⁸⁾ ほ ん ⁽¹⁹⁾ じん ⁽²⁰⁾ を ⁽²¹⁾ は ⁽²²⁾ じめ ⁽²³⁾ に ⁽²⁴⁾ わ ⁽²⁵⁾ が ⁽²⁶⁾ る ⁽²⁷⁾ は ⁽²⁸⁾ ず ⁽²⁹⁾ だ ⁽³⁰⁾ 。	1格 *ヲ/ーガ 2,5発 音 3格 *ヲ/ーガ 4Ad 副用 6スタイル
103	中国 48 自由作文 8	ちゅう ⁽¹⁾ ご ⁽²⁾ じん ⁽³⁾ は ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ ほん ⁽⁶⁾ じん ⁽⁷⁾ に ⁽⁸⁾ たい ⁽⁹⁾ へん ⁽¹⁰⁾ に ⁽¹¹⁾ て ⁽¹²⁾ い ⁽¹³⁾ ます ⁽¹⁴⁾ が ⁽¹⁵⁾ 、 かん ⁽¹⁶⁾ が ⁽¹⁷⁾ え ⁽¹⁸⁾ ぜん ⁽¹⁹⁾ ぜん ⁽²⁰⁾ ち ⁽²¹⁾ が ⁽²²⁾ い ⁽²³⁾ ます ⁽²⁴⁾ 。	1発音 2Ad 副用 3N 4格 *0/ーガ
104	中国 48 自由作文 11	まい ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ ち ⁽³⁾ い ⁽⁴⁾ っ ⁽⁵⁾ しょ ⁽⁶⁾ げ ⁽⁷⁾ ん ⁽⁸⁾ め ⁽⁹⁾ べ ⁽¹⁰⁾ ん ⁽¹¹⁾ き ⁽¹²⁾ ょう ⁽¹³⁾ を ⁽¹⁴⁾ し ⁽¹⁵⁾ て ⁽¹⁶⁾ い ⁽¹⁷⁾ ます ⁽¹⁸⁾ 。	発音 Ad
105	中国 48 自由作文 17	しかし、 ⁽¹⁾ と ⁽²⁾ も ⁽³⁾ た ⁽⁴⁾ ち ⁽⁵⁾ は ⁽⁶⁾ し ⁽⁷⁾ つ ⁽⁸⁾ も ⁽⁹⁾ ん ⁽¹⁰⁾ に ⁽¹¹⁾ こ ⁽¹²⁾ た ⁽¹³⁾ え ⁽¹⁴⁾ ら ⁽¹⁵⁾ れ ⁽¹⁶⁾ ま ⁽¹⁷⁾ せ ⁽¹⁸⁾ ん ⁽¹⁹⁾ 。	発音
106	中国 49 自由作文 4	わたし ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ は ⁽³⁾ し ⁽⁴⁾ め ⁽⁵⁾ て ⁽⁶⁾ に ⁽⁷⁾ ほん ⁽⁸⁾ ご ⁽⁹⁾ の ⁽¹⁰⁾ べ ⁽¹¹⁾ ん ⁽¹²⁾ き ⁽¹³⁾ ょう ⁽¹⁴⁾ を ⁽¹⁵⁾ し ⁽¹⁶⁾ ま ⁽¹⁷⁾ す ⁽¹⁸⁾ 。	1発音 表記 2*ル/ー テイル
107	中国 49 自由作文 5	かん ⁽¹⁾ じ ⁽²⁾ は ⁽³⁾ や ⁽⁴⁾ さ ⁽⁵⁾ しい ⁽⁶⁾ が ⁽⁷⁾ か ⁽⁸⁾ た ⁽⁹⁾ か ⁽¹⁰⁾ な ⁽¹¹⁾ は ⁽¹²⁾ む ⁽¹³⁾ ず ⁽¹⁴⁾ か ⁽¹⁵⁾ し ⁽¹⁶⁾ に ⁽¹⁷⁾ です ⁽¹⁸⁾ 。	発音 表記
108	中国 49 自由作文 15	ばん ⁽¹⁾ ご ⁽²⁾ は ⁽³⁾ ん ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ あ ⁽⁶⁾ と ⁽⁷⁾ で ⁽⁸⁾ あ ⁽⁹⁾ した ⁽¹⁰⁾ の ⁽¹¹⁾ 本 ⁽¹²⁾ よ ⁽¹³⁾ う ⁽¹⁴⁾ し ⁽¹⁵⁾ ゅ ⁽¹⁶⁾ う ⁽¹⁷⁾ を ⁽¹⁸⁾ し ⁽¹⁹⁾ ま ⁽²⁰⁾ す ⁽²¹⁾ 。	1格 *ヲ/ーノ 連 2副 用 3格 *0/ーノ 連 4 発音
109	中国 49 自由作文 16	に ⁽¹⁾ ち ⁽²⁾ ょう ⁽³⁾ び ⁽⁴⁾ や ⁽⁵⁾ す ⁽⁶⁾ み ⁽⁷⁾ に ⁽⁸⁾ わ ⁽⁹⁾ た ⁽¹⁰⁾ し ⁽¹¹⁾ は ⁽¹²⁾ ど ⁽¹³⁾ き ⁽¹⁴⁾ と ⁽¹⁵⁾ き ⁽¹⁶⁾ し ⁽¹⁷⁾ ん ⁽¹⁸⁾ じ ⁽¹⁹⁾ ゅ ⁽²⁰⁾ く ⁽²¹⁾ へ あ ⁽²²⁾ ぞ ⁽²³⁾ ん ⁽²⁴⁾ で ⁽²⁵⁾ い ⁽²⁶⁾ き ⁽²⁷⁾ ま ⁽²⁸⁾ した ⁽²⁹⁾ 。	1格 *0/ーノ 連 2発 音 表記 3発音 4*タ/ ー ル
110	中国 49 自由作文 17	いつ ⁽¹⁾ も ⁽²⁾ 、 ⁽³⁾ り ⁽⁴⁾ よ ⁽⁵⁾ り ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ つ ⁽⁸⁾ くり ⁽⁹⁾ ます ⁽¹⁰⁾ 。	発音 表記
111	中国 49 自由作文 18	に ⁽¹⁾ ほん ⁽²⁾ ご ⁽³⁾ の ⁽⁴⁾ べ ⁽⁵⁾ ん ⁽⁶⁾ き ⁽⁷⁾ ょう ⁽⁸⁾ は ⁽⁹⁾ お ⁽¹⁰⁾ ま ⁽¹¹⁾ し ⁽¹²⁾ ろ ⁽¹³⁾ い ⁽¹⁴⁾ です ⁽¹⁵⁾ 。	発音 表記
112	中国 50 自由作文 15	だから ⁽¹⁾ 、 ⁽²⁾ 日 ⁽³⁾ 本 ⁽⁴⁾ 語 ⁽⁵⁾ は ⁽⁶⁾ と ⁽⁷⁾ て ⁽⁸⁾ の ⁽⁹⁾ ふ ⁽¹⁰⁾ く ⁽¹¹⁾ ざ ⁽¹²⁾ つ ⁽¹³⁾ に ⁽¹⁴⁾ な ⁽¹⁵⁾ り ⁽¹⁶⁾ ます ⁽¹⁷⁾ 。	発音 表記

1. 音韻論 [発音]

113	中国 51 自由作文 2	わたしはじゅうがつからにほんごを <u>べんきょし</u> しています。	活用(V) 発音
114	中国 52 自由作文 3	<u>そのたき</u> 日本語がぜんぜんできませんでした。	発音 表記
115	中国 52 自由作文 4	買物や外で <u>あそぶ</u> ことがとても <u>不便利</u> <u>だ</u> から、 心の中に <u>持気</u> がよくありませんでした。	1V 2NA 3発音 表記 4N &表現
116	中国 52 自由作文 11	わたしの <u>ほうしゅう</u> にん は「よくなったよ、頑ばりましよう」 <u>い</u> いました。	1発音 表記 2格 *0 / ート
117	中国 52 自由作文 15	わたしはこの学校を卒業した <u>あと</u> で、日本の <u>大学</u> 校に <u>は</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>い</u> とおもっています。	1副用 2N 3発音 表記
118	中国 53 自由作文 6	わたしたちのクラスにはみんな <u>1</u> <u>8</u> 人 <u>が</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>仲</u> です。	1副用 格 *0 /ーデ 2 数 *ガ/ー0 3発音 4 複 V
119	中国 53 自由作文 11	日本語は <u>おもしろ</u> いですが、むずかしいですね。	発音
120	中国 54 自由作文 6	わたしは <u>ども</u> <u>だ</u> <u>ち</u> といっしょに <u>べんき</u> <u>ょう</u> を <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 表記 2*ル/ー テイル
121	中国 54 自由作文 8	わたし <u>と</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>せ</u> <u>ん</u> より日本ごがへたです。	1取立 *ト/ーハ 2発 音 表記
122	中国 54 自由作文 9	まいにちわたしは <u>らく</u> <u>じ</u> におきます。	発音 表記
123	中国 54 自由作文 13	学校でわたしは <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>きん</u> <u>めい</u> に日本語をしています。	発音 表記
124	中国 54 自由作文 16	私は4時 <u>ご</u> <u>ら</u> 家へかえります。	発音 表記
125	中国 54 自由作文 22	いちねの <u>あ</u> <u>ど</u> でわたしの日本語はどう <u>で</u> <u>す</u> か。	1発音 表記 副用 2ム ード
126	中国 55 自由作文 4	がっこうはまいにち <u>く</u> <u>じ</u> <u>じ</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>い</u> はじまります。	発音 表記
127	中国 55 自由作文 8	しかしわたしは <u>き</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>ち</u> で <u>ふ</u> <u>く</u> <u>ゆう</u> をします。	1,2発音 表記
128	中国 55 自由作文 11	いつも <u>べんき</u> <u>ょう</u> をしながらにほんごの <u>レ</u> <u>ー</u> <u>ホ</u> <u>ド</u> をききます。	発音 表記
129	中国 55 自由作文 12	いまにほんはに <u>に</u> <u>げ</u> <u>つ</u> にきたにほんごのはなすはすこし はなしています。	発音 表記
130	中国 57 自由作文 6	毎日にほんごの <u>べんき</u> <u>ょう</u> は午前 <u>く</u> <u>じ</u> <u>じ</u> <u>ぶ</u> <u>分</u> にはじま ります。	発音 表記
131	中国 57 自由作文 9	<u>べんき</u> <u>ょう</u> するとき <u>せん</u> <u>せい</u> の <u>し</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> が <u>な</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>お</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>い</u> ですよ。	発音 表記
132	中国 57 自由作文 12	わからないときいつも、「すみません、先生、 <u>も</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> 」 <u>と</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1発音 表記 2*タ/ー ル
133	中国 57 自由作文 13	いま、私たちは <u>に</u> <u>じ</u> <u>ゅう</u> <u>うち</u> <u>か</u> の <u>べんき</u> <u>ょう</u> を <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 表記 2自他

第1章 音韻論

134	中国 57 自由作文 16	かたかなも <u>むすかしい</u> ですよ。 (1) (2)	1発音 表記 2スタイル
135	中国 58 自由作文 2	そして、大たい毎日アルバイトを <u>やて</u> いました。	発音 表記
136	中国 58 自由作文 16	しかし、中に東洋医学の雑誌が <u>いばい</u> あります。	発音 表記
137	韓国 1 パターン作文 5	<u>ラシアワ時間</u> には <u>パース</u> と地下鉄 <u>を</u> 乗りません。 (1)(2) (3) (4)	1C 2表記 3発音 4格 *ヲ/ーニ
138	韓国 1 パターン作文 8	ですから <u>このころ</u> <u>たいてい</u> 地下鉄を <u>たいへん</u> 利用しま す。 (1) (2)	1発音 2副用 Ad
139	韓国 2 パターン作文 8	では <u>日本</u> のよりも <u>ほうか</u> <u>すこし</u> ふります。 (1) (2) (3)	1C 2ノハウガ 発音 3Ad 副用
140	韓国 2 パターン作文 11	6月 <u>来る</u> から <u>梅雨</u> か <u>始め</u> ます。 (1) (2) (3) (4)	2接(*カラ/ート) 3発 音 4自他 1格*0 /ー ガ
141	韓国 3 自由作文 9	ですから亜熱帯植物の中 <u>に</u> <u>バナナ</u> とみかんが <u>出</u> ます。 (1) (2) (3)	3動詞 1格 *ニ/ーデ 2表記 発音
142	韓国 4 自由作文 4	日本の場合は約120年前の明治維新で世界の新しい文 物を <u>流入</u> した <u>あと</u> て <u>近代化</u> に <u>成功</u> して 現在の経済発 展を成したと思ひます。 (1) (2) (3) (4)	2自他 1格 *ヲ/ーガ 4*テ形/ー連用形 3 発音
143	韓国 4 自由作文 6	しかし韓国は西洋の文物を <u>流入</u> したのが <u>もう</u> やっと3 0年くらい <u>し</u> が <u>なら</u> なかつた。 (1) (2) (3) (4)	&表現 1接 ーテカラ 2Ad *モウ/ーマダ 3 発音 取立 シカ 4*タ /ール
144	韓国 4 パターン作文 4	TVと映画をくらべると、映画の方が画面が <u>すつと</u> おお きいです。	発音
145	韓国 5 パターン作文 4	そして同じ漢字で意味が完全に <u>ちかい</u> のは <u>韓国</u> には勉 強の漢字は工夫です。 (1) (2)	1発音 品詞(*A/ーV) 2格 *ニは/ーデは
146	韓国 6 パターン作文 11	つまり、あまいものをたくさんたべるのは虫歯が <u>て</u> きる 原因の一つだといえる <u>と</u> 言 <u>う</u> と思ひます。 (1) (2)	2ムード 1発音
147	韓国 7 聴解要約 4	ヤンさんは大家さんのお宅から出た後、太郎さん <u>はい</u> し <u>よ</u> にステレオを <u>か</u> お <u>た</u> めに秋葉原へいった。 (1) (2) (3)	3発音 1格 *ハ/ート 2N
148	韓国 7 自由作文 6	東日本 <u>は</u> 長男単独相続のために、若者組が長男 <u>と</u> して 構成される。 (1) (2)	2発音 1格 *0は/ー デは 2格 *とシテ/ー にヨッテ
149	韓国 7 パターン作文 2	風土と民俗関係を考えると、江、川、山海、野など に <u>おい</u> でいろいろな民俗行事がある。	発音
150	韓国 9 聴解要約 2	そして、大家さんの住まいへ <u>行</u> て、 <u>あみやげ</u> のはしを <u>上</u> げて、つめたい水をのみながら、りょこうの話をした。 (1) (2) (3)	1,2表記 発音 3テ形 * テ形/ーテカラ
151	韓国 9 聴解要約 7	そして、みんながステレオのおんがくを <u>聞</u> た <u>と</u> き、ヤン さんはおふろば <u>に</u> は <u>う</u> たをうたっていた。 (1) (2) (3)	1表記 発音 ーテイル 2格 *ニ /ーデ 3取立 に*ハ /にー0
152	韓国 9 パターン作文 7	しかしワープロの方がタイプライターより値段が高いで すから、まだ使う人が少しですが、 <u>だんだん</u> もの <u>範</u> 圍 か <u>広</u> く <u>な</u> ると思ひ <u>で</u> す。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2表記 3発 音 4ダ スタイル

1. 音韻論 [発音]

153	韓国 11 パターン作文 3	そして私と私の主人は <u>たかい</u> によくしていると思います。	発音
154	韓国 12 自由作文 4	京畿道はソウル <u>まわるの</u> ところとして <u>都市</u> の文化や農村の情景 <u>か造化し</u> ないでいます。	3発音 1N 2取立 *0 /ーハ 4V
155	韓国 12 パターン作文 1	学園都市と他の都市 <u>が</u> <u>一番</u> 違いは、学園都市は前もって都市計画が <u>できる</u> 、他の都市は自然発生に <u>なる</u> ことです。	1ノ連 2品詞 3発音 一受身 4接 ーにタイ シテ/ーガ/ー連用形 5V *ル/ーテイル
156	韓国 12 パターン作文 4	その原因をあければ <u>第一</u> 建設作業がすんだらその図面によって工場で作られる <u>部材</u> を建設現場に運送して <u>この部材を</u> <u>組み合わせ</u> して <u>建設する</u> <u>から</u> <u>工事期間を</u> <u>短縮</u> <u>される</u> <u>ことができる</u> 。	5発音 6受身 2N 1Ad 3コソア 4活用
157	韓国 12 パターン作文 9	それに対し <u>で</u> 学園都市はあまり人の生活を <u>感じて</u> <u>きな</u> <u>いて</u> <u>す</u> 。	1,3発音 2活用(V)
158	韓国 12 パターン作文 10	これに反して在来式工法によって建設 <u>に</u> <u>できれば</u> <u>おも</u> <u>しる</u> <u>い</u> <u>平面と立面をつ</u> <u>くることが</u> <u>できる</u> 。	1格(*ニ/ーガ) 2,3発音
159	韓国 13 聴解要約 5	秋葉原の <u>どの点</u> <u>に</u> <u>で</u> CASSETTERADIOを <u>買</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>価</u> <u>格</u> <u>が</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1表記 N 2発音 格 * ニで /ーOで 3活用 接 条件 *テ形 /ーテ モ
160	韓国 13 聴解要約 10	秋葉原の店でカセットラジオを <u>買</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>価</u> <u>格</u> <u>が</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	表記 発音
161	韓国 13 パターン作文 5	<u>けれ</u> <u>とも</u> ソウルには私の <u>追</u> <u>憶</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1発音 2N
162	韓国 13 パターン作文 9	ふるさとの母の牧場 <u>に</u> 情景はソウルの <u>わ</u> <u>た</u> <u>り</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>う</u> <u>美</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーノ連 2発音 3副用 Ad
163	韓国 14 自由作文 1	私は韓国政府機関の一つの動力資源部(日本の資源・エネルギー庁と同じ機関) <u>で</u> 7年ほど勤めてきた。	発音
164	韓国 15 自由作文 8	それで日本留学 <u>に</u> <u>決</u> <u>心</u> <u>し</u> <u>て</u> 、今は教える立場では <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>習</u> <u>う</u> <u>立</u> <u>場</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょ</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>め</u> <u>い</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーヲ 2接 * テ形/ー連用形 3発音
165	韓国 16 自由作文 8	もっと熱心に勉強して <u>帰</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>行</u> <u>く</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>笑</u> <u>顔</u> <u>に</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>と</u> <u>離</u> <u>れ</u> <u>た</u> <u>い</u> 。	1活用(V) 発音 2格 * ニ/ーデ 3格*ト/ー ヲ
166	韓国 17 自由作文 8	でも私はまだ実力もないし、無理かも <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> 、やっぱりこれは身分の体のための運動ですから、 <u>出</u> <u>戦</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>自</u> <u>体</u> <u>に</u> <u>意</u> <u>味</u> <u>を</u> <u>与</u> <u>え</u> <u>ろ</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1ー引用 2コソア 3発音 ムード
167	韓国 18 自由作文 4	家庭 <u>た</u> <u>け</u> <u>が</u> <u>担</u> <u>当</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>機</u> <u>能</u> <u>が</u> <u>社</u> <u>会</u> <u>の</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>団</u> <u>体</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>家</u> <u>庭</u> <u>の</u> <u>特</u> <u>別</u> <u>な</u> <u>機</u> <u>能</u> <u>の</u> <u>性</u> <u>格</u> <u>を</u> <u>失</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 2V 3格 *ガ/ ーノ連 4発音 表記 5 活用(V)
168	韓国 18 自由作文 5	だから現代の人間生活の中 <u>に</u> 、新しい家族の意味と重要性を強調して家族の問題が発生しないようにする対策方法 <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1格 *0 /ーニ 2発音 表記

第1章 音韻論

169	韓国 18 自由作文 6	筑波大学で勉強が終(1)たら国へ帰(2)て社会問題研究所とか(3)家族問題研究所等(4)でつとめたいです。	1,2活用(V)表記 発音 3並N *トカ/ーヤ 4格 *デ/ーニ
170	韓国 19 自由作文 3	いま私が書きたいことは一(1)また(1)ここの生活にも慣れていませんけど一(2)その(2)間日本で(3)ときに(3)私の研究室と研究科の雰囲気に対するものです。	1発音 2コソア 3Ad
171	韓国 20 自由作文 5	学校はさんかいのたてもので、 <u>ちょう</u> と <u>いい</u> ビルです。	発音 Ad 副用
172	韓国 20 自由作文 7	ひらかなはかたかな(1)はきれいで、おもしろい(2)ですが、たいへん(3)むずかしいでした。	1並N *ハ/ート 2発音 3活用(A)
173	韓国 21 自由作文 4	ときどき「あなた」というしつものとき(1)あだま(1)のなかには「わたし」とおもいますが、そのまま「あなた」と(2)いうことがあります。	1発音 2格 *ニ/ーデ
174	韓国 21 自由作文 6	いまはたいてい(1)だいんじょうぶ(1)ですが日本語の助詞はまだわかりません。	発音
175	韓国 21 自由作文 8	日本のことばには(1)おもしろくて(1)きれいなことばもあるとおもいますが、男の人や女の人や(2)ことも(2)などの人がつかうことばがちがうから日本人の(3)慣習(3)をわかる(3)とき(3)わたしは日本語がじょうずになるとおもいます。	1,2発音 3条件 *トキ/ーバ
176	韓国 21 自由作文 9	この学校にはいろいろな国から来た学生が(1)おせいい(1)いるからその人たちと一緒に国の(2)風俗(2)をはなすときはとてもおもしろいですがみんな日本語が(3)へた(3)だからまちかく知っていることもあります。	1Ad 副用 発音 2格 *ヲ
177	韓国 22 自由作文 3	この学校で(1)はしめに(1)ひらがなから日本語を(2)勉強(2)しています。	1発音 2複V
178	韓国 22 自由作文 4	私は(1)かんこくじ(1)です。	発音
179	韓国 22 自由作文 7	私のくにの人が(1)べんきょう(1)している外国語の中でいちばん(1)すきな(1)語(1)は英語です。	1発音 2N
180	韓国 22 自由作文 8	いま(1)つきな(1)外国語はたぶん日本語です。	発音
181	韓国 22 自由作文 9	たから(1)私はいまこの学校で日本語を(2)べんきょう(2)しています。	発音
182	韓国 22 自由作文 10	日本語は韓国語と文法や(1)文形(1)など(2)か(2)たいだい(2)同じ(2)から英語より(3)べんきょう(3)をして(3)すこし(3)やさしい(3)が、日本語とわたしに(4)外国語(4)から毎日(5)べんきょう(5)しな(5)し(5)どき(5)は(5)むずかしい(5)です。	1表記 2,3発音 4,9-ダ 5語順 VP6取立 *ト/ーハ 7格に*0/にートッテ 8取立 *0/ーハ 10活用(V) 11 発音 条件*トキ/ーバ
183	韓国 22 自由作文 11	たから私は毎日朝(1)おきる(1)から(2)ねて(2)前まで日本語会話(3)カサート(3)を(4)き(4)きます。	1*ル/ーテ形 2*テ形 /ール 3ーノ連 4 N 発音
184	韓国 25 自由作文 6	カーテンが(1)かか(1)ています。	発音

1. 音韻論 [発音]

185	韓国 26 自由作文 4	だから、ひとつ <u>部</u> は二人が住まなければ <u>ならないで</u> 、 とても狭いです。	1数 *0 /-ノ連 2N 3発音 4活用 (A)
186	韓国 27 自由作文 4	それで、 <u>とうやれば</u> <u>かぜ</u> にかからないように <u>する</u> かと、 おおぜいのいしゃが <u>けんぎゅう</u> をしました。	1,3発音 2V *スル/ -ナル
187	韓国 27 自由作文 5	<u>げつろん</u> は <u>かぜ</u> というのは <u>自分自信</u> で <u>なおす</u> の <u>が</u> <u>で</u> <u>きる</u> の <u>を</u> <u>わかり</u> <u>ました</u> 。	1発音 2,3表記 4名詞 節 5V
188	韓国 27 自由作文 7	人間は冬になると、 <u>かぜ</u> のために、 <u>あたたかい</u> ふくとか、 <u>ヒダー</u> を <u>つかわ</u> なければ <u>なら</u> なかつたんですが、 <u>この</u> <u>ころ</u> <u>かぜ</u> <u>たけ</u> <u>じゃ</u> なくて <u>けんこう</u> のために、 <u>うんとう</u> <u>する</u> <u>人</u> <u>か</u> <u>ふ</u> へて <u>き</u> ました。	1,2,3,4,5,6発音 7表記
189	韓国 27 自由作文 8	<u>たから</u> 、 <u>かぜ</u> というの <u>は</u> <u>自分自信</u> の努力で、 <u>自然</u> に <u>な</u> <u>おれる</u> と私もいつも <u>考</u> えています。	1発音 2表記 3活用
190	韓国 28 自由作文 8	<u>妹さん</u> と一緒に <u>苦</u> しい <u>生活</u> を <u>過</u> こした。	1N スタイル 2VP 発音
191	韓国 30 自由作文 2	今まで、 <u>また</u> <u>心</u> に残っている映画は、「 <u>苦心蓮</u> 」という 台湾の映画である。	発音
192	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店 <u>を</u> <u>つく</u> られて <u>商業</u> も <u>盛</u> ん <u>て</u> いま <u>す</u> 。	1格 *ヲ/-ガ 2品詞 *V/-NA 3発音 表 記 *テイル/-ルタ
193	韓国 31 自由作文 10	私は東方の生活と風俗が <u>すぎ</u> だ、 <u>その</u> うえ <u>日本語</u> <u>は</u> <u>漢</u> <u>字</u> が <u>た</u> く <u>さ</u> ん <u>つ</u> か <u>う</u> れる <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> まり <u>難</u> しくないと思いま <u>す</u> 。	1発音 2*0 は/-デ は 3発音 表記
194	韓国 34 自由作文 4	それで、今までの都市建設は、 <u>建物</u> を立てた <u>以後</u> 、 <u>具</u> 体 的な計画を立てるので、都市の構造が <u>め</u> さ <u>く</u> <u>さ</u> <u>に</u> <u>た</u> って <u>き</u> ました。	1N 2表記 発音 3V
195	韓国 35 自由作文 5	<u>なん</u> <u>か</u> と <u>言</u> と政治です。	1発音 2表記
196	ブラジル 1 聴解要約 6	そして、 <u>か</u> とさんと <u>ふ</u> どうさんと <u>や</u> に <u>行</u> て <u>家</u> を <u>さ</u> がした。	1C 2,3発音 &スタイル
197	ブラジル 2 聴解要約 2	やんさんは <u>り</u> ょ <u>こ</u> うから <u>か</u> えて。	発音 *テ形/-タ
198	ブラジル 2 聴解要約 5	やんさんは <u>大</u> 家さんのごしゅ人と <u>つ</u> めたい <u>お</u> ちやを <u>飲</u> ん だ、あとで <u>や</u> んさんは <u>た</u> ろうさんと <u>い</u> っしょに <u>あ</u> きはば ら <u>ヘ</u> ステレオ <u>買</u> いに <u>行</u> 、 <u>そ</u> れから <u>た</u> ろうさんの <u>家</u> に <u>と</u> めった。	3発音 自他 1格 *0 / -ヲ 2-タ 表記
199	ブラジル 2 聴解要約 6	<u>その</u> ときは <u>や</u> んさんは <u>お</u> ぶ <u>ろ</u> に <u>入</u> りました <u>そ</u> して <u>ステ</u> <u>レ</u> オを <u>聞</u> いて <u>歌</u> を <u>歌</u> えました。	1C 取立 *ハ/-O 2 発音 3V
200	ブラジル 2 自由作文 4	<u>その</u> <u>き</u> ょう <u>か</u> いは <u>ポ</u> ルトガルの <u>し</u> ん <u>ぶ</u> さん <u>た</u> ちが <u>た</u> <u>て</u> ました。	1コソア 2N 3発音 4 スタイル
201	ブラジル 2 自由作文 14	<u>多</u> 分 <u>こ</u> の <u>ハ</u> ムは <u>食</u> べる <u>人</u> を <u>見</u> て <u>お</u> いしく <u>な</u> さそう <u>で</u> <u>す</u> 。	2発音 2Ad 副用 &表 現

第1章 音韻論

202	ブラジル 3 聴解要約 1	ヤンさんは、旅行から <u>かえて</u> 来てお土産をもって大家さんのお <u>住まい</u> へいった。 (1) (2)	1発音 2N スタイル
203	アメリカ 1 聴解要約 3	旅行 <u>して</u> した から大家さんの <u>ほへ</u> <u>おみあげ</u> を上げるために行きました。 (1) (2) (3)	1活用 3表記 発音 2N
204	アメリカ 1 聴解要約 4	大家さんと奥さんと <u>いっしょ</u> にむぎ茶を飲んだり、写真を見たり、 <u>旅行語</u> を <u>した</u> 。 (1) (2) (3)	1表記 発音 2N 3並 V *0 /ータリ
205	アメリカ 1 聴解要約 5	<u>暑かった</u> からヤンさんは <u>むぎ</u> に <u>おかわり</u> しました。 (1) (2) (3)	1表記 発音 2N 3格 *ニ /ーヲ
206	アメリカ 1 自由作文 8	まず、南米と日本を <u>くれべ</u> ると南米の <u>方が</u> <u>国鉄道</u> と <u>バス線</u> はまだ発達中だが人口集中 <u>こと</u> <u>大へん</u> である。 (1) (2) (3) (4) (5)	1発音 2*のハウガ 3,4N 5名詞節 表現
207	アメリカ 1 自由作文 14	<u>ある</u> 市内住宅は大へん <u>ひどい</u> し <u>ところ</u> に <u>引っ越し</u> <u>した</u> ばかり <u>いなか者</u> のために <u>である</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1AN 3,4発音 5ノ連 6ダ 2ー連用形
208	アメリカ 1 自由作文 18	例えば、ボゴタ市とか <u>メッセシコ</u> <u>市内過密</u> の問題が <u>すさまじい</u> 。 (1) (2)	1発音 表記 2格 *0 /ーデ 取立で *0 /ーハ
209	アメリカ 1 パターン作文 1	<u>アパート</u> と学生宿舎に住むこと <u>は</u> 、 <u>アパート</u> <u>住む</u> こと <u>は</u> <u>気楽</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5)	1発音 2取立 *0は /ーデは 3格 *0 /ーニ 4ーノハウ 5取立 *ハ /ーガ
210	アメリカ 1 パターン作文 6	ふつう仕事と遊びは <u>はんたい</u> のもののように <u>かんが</u> いられているが、 <u>幸福</u> <u>つくる</u> のために <u>仕事</u> と <u>遊び</u> ちがいが <u>ありません</u> と <u>かんが</u> えられれば <u>いい</u> と思います。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1発音 5スタイル 格 *0 /ーニ 6活用 (V) 2V 4取立 (に *0 /ーハ)
211	アメリカ 1 パターン作文 9	その子どもが <u>こいう</u> <u>こと</u> を <u>なんか</u> いも聞いて、 <u>だんだん</u> <u>コンプレッス</u> に <u>なれる</u> <u>だ</u> と思います。 (1) (2) (3) (4)	2表記 3V 4ーのだ 1発音
212	アメリカ 2 自由作文 4	去年、イスラエルのエルサレムのヘブライ大学で <u>留学</u> して <u>来年</u> の二月に筑波大学の入学試験を受ける <u>つまり</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *デ /ーニ 2接 *テ形 /ータ 3発音
213	アメリカ 3 自由作文 4	<u>いちも</u> <u>あそんたり</u> <u>ねたり</u> しました。 (1) (2)	1発音 Ad 副用 2発音
214	アメリカ 3 自由作文 7	わたしはよく <u>かんが</u> いって、 <u>にほんご</u> が <u>べんり</u> で、 <u>おもしろ</u> いから <u>いま</u> <u>いっしょ</u> けんめい <u>べんきょう</u> しまし <u>ょう</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1? 2発音 接 *テ形 /ート 3取立 *ガ /ーハ 4発音 5ムード
215	アメリカ 3 自由作文 15	その <u>すぎ</u> に <u>すきな</u> のは <u>はは</u> な <u>しれん</u> しゅうです。 (1) (2)	発音
216	アメリカ 3 自由作文 18	わたし <u>た</u> <u>た</u> <u>も</u> <u>だ</u> ち <u>は</u> <u>いっしょ</u> に <u>べんきょう</u> WPした <u>こ</u> <u>と</u> があります。 (1) (2) (3) (4)	1格 *タ /ート 2発音 3*タ /ール 4熟語
217	アメリカ 4 自由作文 11	<u>全部</u> <u>言</u> いかえると <u>弁護士</u> <u>だ</u> たら <u>日米</u> 関係の法律をした <u>い</u> と思います。 (1) (2)	1表現 C 2発音 表記
218	エジプト 1 自由作文 5	趣味は <u>ジギング</u> <u>毎朝</u> ジギングします。 (1) (2)	1発音 表記 2接 *0 /ーテ形
219	インドネシア 2 聴解要約 6	そうして、ヤンさんが <u>りょうこ</u> で <u>しゃ</u> った <u>しゃ</u> しんを見たとき <u>すばらしい</u> <u>い</u> った。 (1) (2)	1発音 表記 2V

1. 音韻論 [発音]

220	インドネシア 2 自由作文 6	ふるさとの <u>おと</u> を思うと、大変なつかしいです。	発音
221	インドネシア 2 パターン作文 4	なぜか、たぶんそれはインドネシアの国のほうが <u>多きい</u> ⁽¹⁾ <u>で、人口</u> もいろいろ <u>であり、日本の人口</u> が <u>一つだけ</u> ⁽²⁾ <u>日本人だからインドネシアの人口のほうが日本の人口</u> <u>よ</u> ⁽³⁾ <u>うり多きいだ</u> と思います。 ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ ⁽⁶⁾ ⁽⁷⁾	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形/ーガ 5取立 *ガ/ーハ 6数 8品詞 *NA/ーA 7発音
222	インドネシア 3 自由作文 4	<u>テョブ</u> は <u>ツョカルタ</u> から <u>でんしょ</u> で10時間ぐらいか ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ かります。	1,2,3表記 発音
223	インドネシア 3 自由作文 7	もりの中にいろいろな <u>どふつ</u> も <u>あります</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1発音 2V
224	インドネシア 5 自由作文 4	今日本の工学はたいへん <u>ゆめい</u> です。	発音
225	インドネシア 5 自由作文 5	私は <u>そりょうじかん</u> で日本語をべんきょうをしました。	発音
226	インドネシア 5 自由作文 8	いつも <u>じぎょう</u> がおわってから、せんせいは私にしゅく ⁽¹⁾ <u>だいをあげました</u> 。 ⁽²⁾	1発音 2受給
227	インドネシア 5 自由作文 10	<u>いかい</u> はいちじかん <u>かかりました</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1発音 2V ーダ
228	インドネシア 5 自由作文 13	私はかんじがまだ <u>じゃた</u> です。	NA 発音
229	タイ 1 聴解要約 9	この日は大家さんにあいさつしにいきました、引越しの <u>そばと持っていました</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1発音 2格 *ト/ーヲ 表記 3複V
230	タイ 1 聴解要約 11	そのあとうちへ <u>かいた</u> 。	活用 発音
231	タイ 2 自由作文 8	<u>こわっそう</u> ですから。	発音
232	タイ 4 自由作文 2	バンコクにある高等学校で勉強していた時に英語に <u>プラ</u> <u>ンス</u> 語を勉強することにしましたけれどもチュラロンコ ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ン大学に入学してから日本語と日本に興味を持っていま したので日本語を <u>四年間に専攻するの</u> を決めました。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾	1並 N 2発音 表記 3 副用 数 4名詞節 *ノ /ーコト 5格 *ヲ/ー ニ
233	タイ 4 自由作文 3	大学を卒業してからサイヤマ <u>スポーツ</u> という出版社で日 本語の翻訳者として二年間半ぐらい働いていましたが、 去年の総務庁の東南アジア青年船プログラムに参加でき ました。	発音
234	香港 3 自由作文 11	研究 <u>デマ</u> は「日中近代化の比較」 <u>。</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1発音 2ーダ
235	香港 7 自由作文 14	中学校 <u>英語教師の飼猫を主人公としてぎ人体で</u> <u>書かれ</u> <u>ている</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1ーノ連 2発音
236	香港 7 自由作文 19	この作者特有の <u>滑稽的手法</u> によるものであって、彼が世 ⁽¹⁾ 間から余裕派などと評せられた所以 <u>である</u> 。 ⁽²⁾	1複 N 2発音
237	香港 7 自由作文 25	「虞美人草」(明治四十年)は、漱石が教壇を去って朝 日新聞に入社し、その最初の作として紙上を飾った作 <u>て</u> <u>ある</u> 。	発音

第1章 音韻論

238	香港 7 自由作文 43	それで 漱石はとても才能のある。	発音
239	香港 7 自由作文 45	独創的な作家かなと思って <u>読んで</u> いたら、フッと気がつ いた <u>!</u> 。 (1) (2)	1発音 2-のだ
240	香港 7 自由作文 56	わたしがここで <u>ふうと</u> とよぶのは、あるとちのきこう、 きそう、ちしつ、ちみ、ちけい、けいかんなどのそうし ようである。	発音
241	香港 7 自由作文 57	しかし、あるにんげんをとりまいて、そのとちのし ぜんかんきょうはたんにかれのそとに <u>そうざい</u> している のではない。	発音
242	香港 7 自由作文 60	たとえばにんげんのい、しょく、じゅうあるいは <u>しょう</u> とする <u>どうぐう</u> は、かれのすむとちの <u>ふうと</u> に <u>てきお</u> <u>おして</u> とくしゅに <u>はったつ</u> した。 (1) (2) (3) (4) (5)	1品詞 *N/-V 2,3, 発音 4表記5NA 副用
243	香港 7 自由作文 64	しかし、わたしがここにのべるのは、にんげんそんざい のれきしてき、 <u>ふうと</u> <u>てき</u> こうぞうを、とくに <u>ふうと</u> の <u>かわ</u> からはあくしようにする <u>の</u> のみである。 (1) (2) (3) (4)	1,2,3発音 4*ノ連
244	香港 9 短文作文 8	一般的に言って、香港大学の学生は、 <u>ほとんぼ</u> 、いい学 生です。	発音 Ad 副用
245	香港 11 短文作文 1	この文章はなかなか <u>むずかしい</u> です。	表記 発音
246	香港 11 短文作文 5	田中さんはわざわざここへつれて <u>きて</u> <u>ありました</u> 。 (1) (2)	1発音 2受給
247	香港 14 短文作文 4	かれは自分の <u>きよみ</u> やすきなものなど <u>を</u> <u>むちゅう</u> で <u>じ</u> <u>ゃへり</u> ました。 (1) (2) (3)	1,3発音 表記 2格 *ヲ /-にツイテ
248	香港 15 短文作文 6	おそろしいものの <u>な</u> <u>か</u> <u>て</u> わざわざおじさん <u>と</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1発音 2格 *0 /-ヲ
249	香港 15 短文作文 15	彼は英語も、フランス語も <u>ス</u> <u>プ</u> <u>ン</u> 語も <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>て</u> 、海外 へ <u>レ</u> <u>バ</u> <u>ツ</u> <u>リ</u> <u>は</u> <u>ア</u> <u>ン</u> <u>シ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>ウ</u> <u>ス</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1,2発音 4ノ連 3接 * テ形 /-ノデ
250	香港 16 短文作文 12	私達 <u>は</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>に</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>を</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>み</u> <u>れ</u> <u>ば</u> 、 <u>決</u> <u>解</u> <u>の</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3)	2発音 3N 1取立 *ハ /-ガ
251	香港 16 短文作文 13	<u>櫻</u> <u>花</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> 、 <u>私</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>忙</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	4発音 3,4-のだ 1複 N 2VP 4接
252	香港 16 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も、 <u>ス</u> <u>ペ</u> <u>ン</u> 語も <u>で</u> <u>き</u> 、 <u>そ</u> <u>れ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>世</u> <u>界</u> <u>中</u> <u>へ</u> <u>旅</u> <u>行</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>く</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>よ</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1発音 2,3接 4V
253	香港 17 短文作文 13	桜の花を見に行きたくないというわけではなかった。忙 <u>し</u> <u>ず</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>行</u> <u>け</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>。</u> (1) (2)	1発音 2-のだ
254	香港 17 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も <u>ス</u> <u>ペ</u> <u>ン</u> 語 も <u>で</u> <u>き</u> 、 <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>心</u> <u>配</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> 、 <u>外</u> <u>国</u> <u>旅</u> <u>行</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	2スタイル 4格 *0 / -ガ 3品詞 *V /- N 1発音 表記

1. 音韻論 [発音]

255	香港 18 短文作文 11	広 <u>い</u> って <u>い</u> えば、子供の時よく <u>いた</u> ある親類のものの家 <u>は</u> たいへん <u>おも</u> しろ <u>い</u> 。	1スタイル 2発音 3*ル/ータ
256	香港 19 自由作文 23	つ <u>も</u> り、「 <u>ウ</u> チ」と「 <u>ヨ</u> ツ」の区別である。	1発音 2表記
257	香港 19 短文作文 5	日本語を二年間勉強して <u>い</u> った とは言うものの、まだ十分ではない。	発音
258	香港 20 自由作文 3	つまり、文字のフィルターを <u>通</u> じて 言葉の形象を頭に <u>描</u> ぐ <u>こ</u> と。	1発音 V 2表記 3ムード 名詞節
259	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間 <u>交</u> 文化交流が <u>絶</u> えずに <u>行</u> われ <u>っ</u> て <u>た</u> めに、イギリス人 <u>は</u> <u>自</u> 分の言葉を <u>Eng</u> lish <u>の</u> ほう <u>N</u> ational Language <u>よ</u> りと <u>言</u> うのは、日本人の、閉塞性と <u>極</u> 端的な <u>対</u> 照だろう。	1格 ーデ N 発音 2副用 3活用 5語順 4取立 *ハ/ーガ 6NA 品詞
260	香港 20 短文作文 4	春分も過ぎ <u>だ</u> とは言うものの、まだ真冬のように寒い。	発音
261	香港 20 短文作文 9	きのう <u>何</u> 気なく この特効薬を飲んでしまって、 <u>な</u> どがたいへん痛くなった。	2発音 1副用
262	香港 21 短文作文 4	彼はとても <u>ふ</u> た <u>っ</u> ている <u>か</u> ら、まるで豚のようです。	1発音 2接 *カラ/ーテ形
263	香港 23 短文作文 14	私は妻 <u>は</u> <u>離</u> れる <u>と</u> きに、妻 <u>は</u> <u>と</u> んなに重要な <u>の</u> <u>が</u> <u>わ</u> かる。	2V 2,7*ル/ータ 5発音 6名詞節 1*ハ/ート 4取立 *ハ/ーガ 3接 *トキ/ーテ形
264	香港 24 自由作文 2	まずは、鈴木孝夫の「二本立て」と <u>お</u> り <u>に</u> 、いまの日本語の表記法のまま、日常語彙と専門語彙は連合できる。	2発音 1Ad 副用
265	香港 24 短文作文 18	なまじ <u>家</u> を出たから、 <u>ゆ</u> うだ <u>ん</u> して、かえって、学校 <u>を</u> お <u>く</u> れて来ている。	2発音 3格 *ヲ/ーニ 1Ad
266	香港 25 短文作文 17	ある人は <u>た</u> った <u>有</u> 名な大学の卒業生 <u>の</u> <u>た</u> めに <u>彼</u> が一 <u>生</u> の中で <u>成</u> 功 <u>し</u> なければならぬ <u>の</u> は <u>必</u> 要ではない。	1発音 2活用(ダ) 3, 4ムード
267	香港 26 短文作文 2	彼の名は国内 <u>て</u> も、海外 <u>て</u> も <u>し</u> っています。	1発音 2受身
268	香港 26 短文作文 6	<u>極</u> 端的な <u>気</u> 温は <u>ひ</u> かん <u>ま</u> で <u>た</u> げ <u>し</u> た <u>と</u> 言 <u>え</u> ました。	3,1発音 4表現 2NA 5V
269	スリランカ 1 パターン作文 2	ヤンさんは <u>す</u> ん <u>て</u> いる家から <u>ゆ</u> うびん <u>き</u> ゃく <u>を</u> <u>よ</u> て <u>し</u> ぶやのえきまで行きました。	4活用 1,2発音 3格 *ヲ/ーニ
270	スリランカ 1 パターン作文 3	<u>あ</u> そこ <u>で</u> <u>か</u> と <u>さ</u> んと <u>で</u> ん <u>わ</u> ではなした <u>の</u> で <u>さ</u> と <u>さ</u> ん <u>は</u> <u>で</u> ん <u>し</u> ゃ <u>に</u> <u>来</u> て <u>ヤ</u> ンさんに <u>あ</u> いました。	1コソア 2,4発音 3接 (*ノデ) 6-受給 5格 *ニ/ーデ
271	スリランカ 1 パターン作文 4	<u>ふ</u> た <u>も</u> <u>い</u> し <u>ょう</u> <u>に</u> <u>タ</u> クシ <u>に</u> <u>の</u> て <u>会</u> 社 <u>へ</u> <u>い</u> た。	1,3発音 N 2格 *モ/ーハ 4,5活用
272	スリランカ 1 パターン作文 5	会社の <u>け</u> ん <u>か</u> ん <u>に</u> <u>き</u> れい <u>な</u> <u>女</u> の <u>人</u> <u>を</u> <u>あ</u> た。	1,4発音 2格 *ニ/ーデ 3格 *ヲ/ーニ
273	スリランカ 1 パターン作文 8	<u>あ</u> の <u>と</u> き <u>ま</u> た <u>前</u> <u>あ</u> った <u>女</u> <u>に</u> <u>あ</u> って <u>び</u> くり <u>し</u> ました。	1コソア 3,4発音 Ad 2N

第1章 音韻論

274	スリランカ 1 パターン作文 9	あの女は「私のこい人に たたら いいですね」と <u>かん</u> <u>が</u> <u>え</u> <u>で</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1コソア 4発音 2N 3 取立 *ハ/ーガ 6品詞(*N/ーA) 5 V
275	フランス 1 自由作文 7	ところで <u>一</u> <u>生</u> <u>け</u> <u>命</u> 筑波大学で一年半で言語学、形式名詞 の <u>こ</u> <u>と</u> <u>を</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>た</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>言</u> <u>語</u> <u>学</u> <u>者</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>気</u> <u>望</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1発音 表記 2Ad 副用 3VP 4表記 5V
276	フランス 2 自由作文 4	にほんごにはフランスごにない <u>ニ</u> <u>ュ</u> <u>ー</u> <u>ア</u> <u>ン</u> <u>ス</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1,2発音 表記
277	フランス 2 自由作文 10	しかしかんじはなかなか <u>お</u> <u>ば</u> <u>え</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	発音
278	フランス 2 自由作文 12	にほんごをはなすのもたいせつだとおもいますから、に ほんにきたいまの <u>も</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>を</u> <u>か</u> <u>う</u> <u>く</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>よ</u> <u>む</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1V 発音 2N *ノ/ー コト 3*ノ連 4N *タ メ/ーコト
279	イラン 1 自由作文 10	芸術品もいろいろ <u>あ</u> <u>て</u> <u>世</u> <u>界</u> <u>じ</u> <u>ゅ</u> <u>に</u> <u>有</u> <u>名</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2副用
280	イラン 1 自由作文 17	それに二つとも <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>教</u> <u>育</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>え</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	2格 *カラ/ーニ 1副 用 3発音 4受身
281	イラン 1 自由作文 19	しかしなかではまだまだ <u>校</u> <u>が</u> <u>じ</u> <u>ゅ</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>ぶ</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>ど</u> <u>も</u> <u>は</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>教</u> <u>育</u> <u>が</u> <u>う</u> <u>け</u> <u>け</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2発音 4Ad 副用 5接 *テ形/ーノデ
282	イラン 1 自由作文 20	<u>や</u> <u>っ</u> <u>ぱ</u> <u>り</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>り</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>イ</u> <u>ラ</u> <u>ン</u> <u>と</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>と</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>イ</u> <u>ラ</u> <u>ン</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>文</u> <u>盲</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,2発音 1副用 3格* 0/ーヲ 4接*テ形/ ート 5Ad 副用
283	イラン 1 パターン作文 4	イラン <u>入</u> <u>も</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>こ</u> <u>は</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>た</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>が</u> 、イランの <u>米</u> <u>と</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>米</u> <u>の</u> <u>違</u> <u>い</u> <u>は</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>り</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1表記 2発音 3*テイ ル/ール 4N
284	マレーシア 1 自由作文 3	にほんごの <u>お</u> <u>ぼ</u> <u>う</u> <u>は</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>ば</u> <u>と</u> <u>ぜ</u> <u>ん</u> <u>ぜ</u> <u>ん</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>な</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>き</u> 、 <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2V
285	マレーシア 1 自由作文 10	にほん <u>い</u> <u>す</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> 、にほんごは <u>で</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>こ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1発音 格 *イ/ーニ 2*ダ 3接 *ガ/ーノニ 4取立 *ハ/ーガ
286	マレーシア 2 自由作文 8	<u>と</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。 (1) (2)	1発音 2スタイル
287	マレーシア 2 自由作文 10	日本ごは <u>め</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。	発音 A
288	マレーシア 2 自由作文 20	私はにほんごの <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	発音
289	マレーシア 4 自由作文 12	かれは、海水で塩味をつけて食べる <u>ほ</u> <u>ろ</u> <u>お</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>に</u> <u>気</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2*ル/ーテイ ル、ーテイタ
290	マレーシア 5 自由作文 8	また、先生は私たちに伝奇物語りを <u>な</u> <u>さ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>あ</u> 。 (1) (2)	1V 2発音

1. 音韻論 [発音]

291	マレーシア 9 自由作文 4	もし、私は <u>国聯</u> の <u>国際経済学家</u> だったら、 <u>その時</u> 、 各国の <u>経済学者</u> と一緒に <u>会議</u> をして、 <u>種々の原因</u> を <u>さか</u> <u>して</u> 、研究したあとで、いろいろな解決方法を使って、 いつか世界の <u>経済</u> を <u>平穩</u> しましょう。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ハ/ーガ 2N 3複 N 4C 5 発音 表 記 6V (活用)
292	マレーシア 10 自由作文 3	<u>あのごろ</u> 考えて、なぜ日本へ <u>経済</u> を勉強しに <u>行く</u> でし ょう。 (1) (2)	1発音 表記 2V *ル/ ータ
293	マレーシア 11 自由作文 5	毎日 <u>天気予報</u> を聞いたら、 <u>かさ</u> とか、 <u>レインコート</u> とか、 <u>ホーバ</u> とかの用意ができる。 (1) (2)	1表記 2発音 表記
294	マレーシア 12 自由作文 4	また、 <u>漁民</u> も、 <u>天気</u> と、関係があります、 <u>台風の時</u> 、 <u>なみ</u> は、 <u>おおき</u> ですから、 <u>漁民</u> は、 <u>出か</u> ません。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *0/ーハ 2取 立 *ハ/ーガ 3 発音 4 活用 (V)
295	マレーシア 12 自由作文 5	私たち (他の <u>の</u> 人) も、 <u>天気</u> によって、 <u>ちかい</u> <u>気持ち</u> <u>があります</u> 。 (1) (2) (3)	1発音 2A 3VP
296	マレーシア 12 自由作文 7	もし、 <u>天気予報</u> が <u>ない</u> 、 <u>農民</u> と <u>漁民</u> は、 <u>こまり</u> ま。 (1) (2)	1接 一条件 2発音 表 記
297	マレーシア 13 会話作文 2	つまり、私が日本に来たのは、 <u>私</u> <u>自分</u> で <u>ほんと</u> に <u>この</u> <u>国</u> が <u>来た</u> いのが必要です。 (1) (2) (3) (4)	1N 2発音 3格 *ガ/ ーへ 4複 V
298	マレーシア 14 自由作文 2	<u>天気予報</u> が <u>日本</u> であるだけ <u>て</u> なく、 <u>世界中</u> の <u>国</u> は <u>み</u> <u>んな</u> <u>天気予報</u> がある。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ガ/ーハ 2格 *デ/ーニ 3発音 4* ハ/ーニ
299	マレーシア 18 自由作文 2	マレーシアで <u>、</u> <u>お医者さん</u> は <u>一番</u> <u>金持ち</u> だと思う、 <u>私立</u> の <u>医院</u> が <u>たくさん</u> ある、 <u>しりょう</u> 代が <u>高い</u> だ。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *0/ーハ 2取 立 *ハ/ーガ 3 接 *0 /ーシ 4発音 5*ダ
300	マレーシア 18 自由作文 6	一方、日本では <u>進む</u> <u>医療</u> 方法、 <u>機械</u> をよく <u>使う</u> 、 <u>とこ</u> <u>ても</u> <u>医療</u> 方法が <u>だいたい</u> 同じだろうと思う。 (1) (2) (3) (4)	1*ル/ータ 2並 N 接 一連用形 3発音 4取 立 *ガ/ーハ
301	マレーシア 19 自由作文 10	もし、いつか私が <u>ほんと</u> に <u>医者</u> に <u>な</u> って、 <u>父</u> と <u>母</u> も <u>き</u> <u>っと</u> <u>喜び</u> がる でしょう。 (1) (2) (3)	1発音 2接 *テ形/ー タラ 3複 V
302	マレーシア 21 自由作文 8	<u>なぜ</u> なら <u>野球</u> が好きと <u>巨人</u> の <u>支持者</u> だから。 (1) (2)	1発音 2N
303	マレーシア 22 自由作文 11	そこで、 <u>友達</u> と <u>いっしょ</u> に行きました。	発音
304	マレーシア 25 自由作文 12	<u>原宿</u> には、 <u>若い</u> <u>人</u> <u>たち</u> が <u>たくさん</u> 歩いていました。 (1) (2)	1格 *ニは/ーデは 2 発音
305	マレーシア 26 自由作文 13	<u>表参道</u> や <u>原宿</u> から <u>渋谷</u> にかけての道は <u>若い</u> 人で <u>いっぱい</u> で す。	発音
306	マレーシア 27 自由作文 1	<u>私</u> <u>たち</u> <u>別科生</u> の <u>夏休み</u> は、 <u>大学生</u> より <u>一か月</u> <u>短い</u> で、 <u>八月</u> 九日から <u>九月</u> 七日までだった。 (1) (2)	1発音 表記 2活用 (A)
307	マレーシア 27 自由作文 6	それで、私の <u>夏休み</u> は <u>だいたい</u> <u>この</u> <u>ガソリン</u> <u>スタンド</u> <u>で</u> <u>通</u> ったばかりだった。 (1) (2) (3)	1発音 表記 2格 *デ/ ーニ 3*タ/ール
308	マレーシア 27 自由作文 9	また、 <u>日本語</u> が <u>まだ</u> <u>へた</u> <u>だ</u> から、 <u>ガソリン</u> <u>スタンド</u> の <u>社長</u> <u>たち</u> に <u>ご</u> <u>まる</u> <u>こと</u> を <u>い</u> っぱい <u>あ</u> げた。 (1) (2) (3) (4)	1*ル/ータ 2,3発音 表記 4V

第1章 音韻論

309	マレーシア 27 自由作文 13	仕事が始まったばかりの <u>時</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ 、お客さんが来ると、なにか <u>ほしい</u> <u>が</u> <u>わからない</u> ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ 、いつも日本人の仲間に頼んでいた。	1N 2取立 *0 /ーハ 3,4発音 5接
310	マレーシア 27 自由作文 21	夏の間、暑くて、図書館へ行った時、別科生 <u>だち</u> ⁽¹⁾ はそこで話したり、勉強したりして <u>行った</u> ⁽²⁾ 。	1発音 表記 2V
311	マレーシア 28 自由作文 10	友だちの中で、私をのぞいで、アメリカやカナダや台湾など <u>国</u> ⁽¹⁾ へ勉強に行くつもり <u>だ</u> ⁽²⁾ と <u>いる</u> ⁽³⁾ から、それらのような国の大学制度をお互いに話しあいました。	1発音 2ーノ連 3表現
312	マレーシア 30 自由作文 8	<u>そして</u> 、国民の生活水準は、全部おなじになります。	発音 C
313	マレーシア 30 自由作文 16	もし私が国の首相 <u>だ</u> ⁽¹⁾ たら、私は農業を工業化するつもりです。	発音
314	マレーシア 30 自由作文 17	そして、農業の研究所が <u>必要</u> ⁽¹⁾ で、たくさんの研究所を <u>設立</u> ⁽²⁾ すると <u>考</u> ⁽³⁾ えています。	1*テ形 2ムード 3発音
315	スペイン 1 自由作文 3	日本のシステムは <u>オーダー</u> があります。	表記 発音
316	スペイン 1 自由作文 4	たとえば、 <u>みんなさん</u> は三月から始まります。	発音 N
317	スペイン 1 自由作文 6	お茶を <u>入</u> ⁽¹⁾ れた人は <u>や</u> ⁽²⁾ ぱり <u>わ</u> ⁽³⁾ かい女の子。	1*ル /ータ 2発音 Ad 副用 3ーダ
318	スペイン 1 自由作文 7	お酒を飲む男の人は大い、女の人と <u>え</u> ⁽¹⁾ らべた時。	表記 発音 &表現
319	スペイン 2 聴解要約 2	東京へ <u>帰</u> ⁽¹⁾ えてから、大家さんの家に行った。	発音 表記
320	スペイン 2 聴解要約 8	そして、おふろにはいった、 <u>きた</u> ⁽¹⁾ <u>な</u> ⁽²⁾ <u>か</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽⁴⁾ <u>に</u> ⁽⁵⁾ <u>な</u> ⁽⁶⁾ <u>っ</u> ⁽⁷⁾ <u>た</u> ⁽⁸⁾ <u>か</u> ⁽⁹⁾ <u>ら</u> ⁽¹⁰⁾ <u>で</u> ⁽¹¹⁾ <u>あ</u> ⁽¹²⁾ <u>る</u> ⁽¹³⁾ 。	発音 活用 副用 活用(A)
321	スペイン 2 パターン作文 6	<u>り</u> ⁽¹⁾ <u>よ</u> ⁽²⁾ <u>ほ</u> ⁽³⁾ は <u>絵</u> ⁽⁴⁾ や <u>単</u> ⁽⁵⁾ があります、けど、日本の本 <u>を</u> ⁽⁶⁾ <u>あ</u> ⁽⁷⁾ <u>ん</u> ⁽⁸⁾ <u>ま</u> ⁽⁹⁾ <u>り</u> ⁽¹⁰⁾ <u>読</u> ⁽¹¹⁾ <u>め</u> ⁽¹²⁾ <u>ま</u> ⁽¹³⁾ <u>せ</u> ⁽¹⁴⁾ <u>ん</u> ⁽¹⁵⁾ 。	1発音 3N 2格 *ハ /ーニ 4取立 *ヲ /ーハ 5副用
322	スペイン 2 パターン作文 9	魚にくらべて人間は <u>ち</u> ⁽¹⁾ <u>ず</u> ⁽²⁾ <u>か</u> ⁽³⁾ です。	発音
323	ナイジェリア 1 聴解要約 3	りょこうから <u>か</u> ⁽¹⁾ <u>え</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ とき、大家さんのうちへいった。	発音
324	ナイジェリア 1 聴解要約 10	そして <u>ス</u> ⁽¹⁾ <u>テ</u> ⁽²⁾ <u>リ</u> ⁽³⁾ <u>オ</u> ⁽⁴⁾ <u>ラ</u> ⁽⁵⁾ <u>ジ</u> ⁽⁶⁾ <u>カ</u> ⁽⁷⁾ <u>セ</u> ⁽⁸⁾ をかっ	表記 発音
325	ナイジェリア 1 自由作文 2	ナイジェリア <u>て</u> ⁽¹⁾ <u>ふ</u> ⁽²⁾ りいまちがおおい。	1発音 2格 *デ /ーニ 取立 *0 /ーハ
326	ナイジェリア 1 パターン作文 5	東京と筑波を <u>く</u> ⁽¹⁾ <u>ら</u> ⁽²⁾ <u>べ</u> ⁽³⁾ と東京の方が <u>に</u> ⁽⁴⁾ <u>ん</u> ⁽⁵⁾ <u>ぎ</u> ⁽⁶⁾ <u>や</u> ⁽⁷⁾ <u>か</u> ⁽⁸⁾ です。	1活用(V) 2発音
327	ナイジェリア 1 パターン作文 10	ナジェリアは赤道の <u>と</u> ⁽¹⁾ <u>な</u> ⁽²⁾ りにあるから <u>一</u> ⁽³⁾ <u>ね</u> ⁽⁴⁾ <u>ん</u> ⁽⁵⁾ <u>じ</u> ⁽⁶⁾ 雨がふります。	2発音 1N
328	ナイジェリア 1 パターン作文 13	砂漠からの <u>モ</u> ⁽¹⁾ <u>ノ</u> ⁽²⁾ <u>ス</u> ⁽³⁾ <u>ーン</u> ⁽⁴⁾ の風がふくとさむくて <u>か</u> ⁽⁵⁾ <u>ん</u> ⁽⁶⁾ <u>そ</u> ⁽⁷⁾ <u>し</u> ⁽⁸⁾ <u>ま</u> ⁽⁹⁾ す。	2表記 3発音 1ノ連

1. 音韻論 [発音]

329	メキシコ 1 自由作文 4	早速ですが、一ヶ月前に山本さん <u>い</u> 貸してあげた「現代教育学の基礎」という本を読むのは <u>必要</u> としているので一時返して <u>もら</u> いたい <u>だ</u> ですが <u>ご都合</u> はよろしいでしょうか。	1表記 2VP 3発音 表記 4ーのだ
330	イギリス 1 自由作文 1	日本の会社で <u>女</u> の人と男の人の仕事 <u>が</u> <u>ちか</u> いです。	1取立 で*0 /でーハ 2発音 品詞 *A /ー V
331	イギリス 1 自由作文 4	英国の会社ではお茶をいれる <u>の</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>ティーラ</u> ーディー と言います。	1ノ連 3発音 表記 2 格 *ガ /ーヲ
332	エチオピア 1 聴解要約 1	ヤンさんはあさはやいうちからでかける <u>と</u> <u>け</u> に <u>とな</u> れ <u>を</u> <u>ば</u> <u>さん</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>こ</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>せ</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>て</u> <u>ね</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>て</u> <u>え</u> <u>た</u> 。	1,2,4,5,6発音 3ーノ 連
333	エチオピア 1 聴解要約 2	<u>か</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>こ</u> <u>ば</u> <u>や</u> <u>し</u> <u>さん</u> に <u>同</u> <u>僚</u> <u>し</u> <u>ょ</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1,2発音 3格 *0 /ー ヲ 4受身
334	エチオピア 1 パターン作文 2	<u>そ</u> <u>げ</u> <u>ぞ</u> <u>け</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>さ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1? 2N 2,3発音
335	エチオピア 1 パターン作文 3	<u>え</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>ぎ</u> <u>い</u> <u>り</u> <u>よ</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>て</u> <u>え</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>る</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>り</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1,2,4,5発音 3,6格 *0 /ーヲ
336	エチオピア 1 パターン作文 4	<u>あ</u> <u>た</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>ぎ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>ぎ</u> <u>じ</u> <u>つ</u> <u>研</u> <u>す</u> <u>も</u> <u>り</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>す</u> 。	2,3,4,7発音 5ー格 * 0 /ーヲ 1活用 (A) 6 V
337	エチオピア 1 パターン作文 5	<u>け</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>あ</u> <u>た</u> <u>ま</u> <u>あ</u> <u>わ</u> <u>せ</u> <u>て</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>て</u> <u>え</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>す</u> <u>ば</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>お</u> <u>で</u> <u>ぎ</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>は</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> 。	1,3,4,5発音 2格 *0 / ーヲ
338	エチオピア 1 パターン作文 6	にぎのために、 <u>せ</u> <u>か</u> <u>つ</u> <u>ら</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>よ</u> に <u>ほ</u> <u>ほ</u> <u>研</u> <u>す</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>け</u> <u>よ</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1,3,5発音 2格 *0 /ー ガ 3格 *0 /ーデ
339	オーストラリア 1 聴解要約 2	かれは <u>お</u> <u>ば</u> <u>あ</u> <u>あ</u> <u>さん</u> 「 <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>い</u> 」 <u>と</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1発音 2格 *0 /ーニ
340	オーストラリア 1 聴解要約 3	<u>さ</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>か</u> <u>れ</u> <u>は</u> <u>局</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1発音 2N
341	ヨルダン 1 聴解要約 1	ヤンさんはあさ <u>お</u> <u>家</u> <u>さん</u> <u>み</u> <u>た</u> 。	3V 2格*0 /ーヲ 1発 音
342	ヨルダン 1 聴解要約 2	郵便局 <u>行</u> <u>た</u> <u>電</u> <u>車</u> <u>を</u> <u>の</u> <u>て</u> <u>駅</u> <u>の</u> <u>前</u> <u>に</u> <u>小</u> <u>林</u> <u>さん</u> <u>電</u> <u>話</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	4活用 2発音 3格 *ヲ /ーニ 1格*0 /ーニ 5 格*ニ /ーデ 2ー連用 形
343	ヨルダン 1 聴解要約 3	<u>タ</u> <u>キ</u> <u>ソ</u> <u>で</u> <u>会</u> <u>社</u> <u>の</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>た</u> <u>会</u> <u>社</u> <u>の</u> <u>前</u> <u>に</u> <u>女</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>み</u> <u>た</u> 。 <u>会</u> <u>社</u> <u>の</u> <u>同</u> <u>僚</u> <u>こ</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1,3,5発音 2格 *ニ /ー デ 3格 *0 /ーヲ
344	インド 4 自由作文 9	私 <u>は</u> 、 <u>自</u> <u>分</u> <u>で</u> <u>物</u> <u>は</u> 、 <u>ベ</u> <u>ッ</u> <u>ド</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>だ</u> <u>つ</u> <u>と</u> <u>小</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>す</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>す</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1取立 *ハ /ーノ連 2 格 *デ /ーノ連 3発音
345	インド 5 自由作文 6	ひきだしの中に <u>パ</u> <u>ス</u> <u>ポ</u> <u>ト</u> <u>と</u> <u>日</u> <u>記</u> <u>と</u> <u>写</u> <u>真</u> <u>と</u> <u>手</u> <u>紙</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>金</u> <u>と</u> <u>英</u> <u>語</u> <u>の</u> <u>本</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1取立 *0 /ーハ 2発 音 表記
346	インド 5 自由作文 7	机のたなに <u>英</u> <u>語</u> <u>の</u> <u>辞</u> <u>書</u> <u>と</u> <u>ティ</u> <u>ッ</u> <u>シ</u> <u>ュ</u> <u>ペ</u> <u>ー</u> <u>パ</u> <u>ー</u> <u>と</u> <u>コ</u> <u>ッ</u> <u>プ</u> <u>と</u> <u>ス</u> <u>タ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>ー</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1取立 *0 /ハ 2発音 表記

第1章 音韻論

347	インド 5 自由作文 15	まだそうじ機がありませんから、そうじ <u>時</u> <u>たいべん</u> 不便です。 (1) (2)	1-ノ連 2発音
348	インド 6 自由作文 4	部屋のなかに <u>おふろ</u> と <u>たいところ</u> とお手洗い <u>が</u> <u>あり</u> ません。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /-ハ 2発音 3取立 *ガ /-ハ
349	インド 6 自由作文 8	部屋の右の <u>か</u> と にこたつがあります。	発音 N
350	インド 6 自由作文 11	こたつの左がわに <u>テレビ</u> と <u>ようふくたんす</u> がありま す。 (1) (2)	1取立 *0 /-ハ 2発音
351	インド 6 自由作文 12	ようふくだんす <u>な</u> かに <u>パスポート</u> やシャツやお金 <u>が</u> <u>い</u> って <u>あり</u> ます。 (1) (2) (3) (4)	1-ノ連 2取立 *0 / -ハ 3発音 表記 4V 自他
352	インド 7 自由作文 3	部屋の中で <u>でん</u> と <u>やつくえ</u> や <u>テレビ</u> <u>な</u> と <u>が</u> <u>あり</u> ます。 (1) (2)(3) (4)	1格 *デ /-ニ 2取立 *0 /-ハ 3,4 発音
353	インド 7 自由作文 5	<u>ひろく</u> で <u>きれいな</u> 部屋です。	発音
354	インド 8 自由作文 22	このこたつは中古で二千五百円ですから、とても <u>やさ</u> <u>い</u> です。	発音
355	インド 9 自由作文 14	<u>ほかに</u> <u>の</u> 物は <u>たい</u> たい <u>はい</u> られない <u>よう</u> です。 (1) (2) (3)	1Ad 2発音 3活用(V)
356	インド 9 自由作文 15	<u>た</u> から、台所や <u>お</u> 洗手 <u>は</u> 公共 <u>の</u> <u>で</u> す。 (1) (2) (3)	1発音 2N 3*ノ代
357	インド 9 自由作文 16	<u>た</u> から、不便な所もあります。	発音
358	インド 9 自由作文 17	<u>た</u> つとれば、あさは <u>を</u> <u>み</u> かき とお風呂に <u>は</u> り <u>は</u> ちよっ と困ります。 (1) (2) (3)	1発音 C 2,3品詞 *N /-V 3発音
359	インド 9 自由作文 18	その事をせんぱいに <u>お</u> しえて、彼は一万四千円の <u>屋</u> 代 の部屋は <u>そ</u> の <u>よ</u> う <u>の</u> <u>だ</u> と <u>い</u> いました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1V, 接 *テ形 /-ト 2N 3発音, 表記 4ム -ド 5*のだ /-0
360	インド 16 自由作文 12	押し入れの中にふとんが <u>た</u> たんであります。	発音
361	インド 16 自由作文 13	その上の方 <u>は</u> 私のいろいろな教科書や講義や資料が <u>並</u> <u>ん</u> ています。 (1) (2)	1取立 *0 は /-ニ は 2発音
362	インド 17 自由作文 14	本のとなりに学校の宿題とペンと <u>け</u> す <u>ゴ</u> ム <u>が</u> <u>あ</u> ります。	発音
363	インド 18 自由作文 15	台所の中 <u>で</u> <u>ひ</u> とつ窓 <u>が</u> <u>あ</u> って、毎朝 <u>あ</u> さ <u>か</u> すみ <u>を</u> <u>み</u> な <u>が</u> <u>ら</u> は <u>を</u> <u>み</u> が <u>き</u> ます。 (1) (2) (3)	1格 *デ /-ニ 2語順 3発音
364	インド 19 自由作文 14	<u>パスポート</u> や日記や大切なものが入っています。	発音
365	インド 19 自由作文 16	たんすの中に洋服 <u>を</u> <u>は</u> って <u>い</u> ます。 (1) (2)	1格 *ヲ /-ガ 2発音
366	インド 19 自由作文 17	<u>ひ</u> かし <u>に</u> <u>大</u> き <u>ま</u> ど <u>が</u> <u>あ</u> ります。 (1) (2)	1発音 2発音 活用
367	インド 19 自由作文 21	ほんばこの上 <u>に</u> <u>カ</u> ラ <u>テ</u> レビ <u>に</u> <u>お</u> いてあります。 (1) (2)	1発音 2格 *ニ /-ガ
368	インド 19 自由作文 24	とても <u>た</u> の <u>し</u> です。	発音

369	インド 21 自由作文 6	窓には <u>かわい</u> カーテンがかかっています。	発音
370	インド 21 自由作文 9	まだ机がありませんが、勉強 <u>の</u> <u>ところ</u> は <u>ごたつ</u> です。	1体修 *ノ連 2発音
371	インド 21 自由作文 18	日本 <u>には</u> <u>また</u> <u>遠い</u> 地方へ <u>行きません</u> が夏休み <u>の時</u> <u>山</u> と海へ行きたいです。	1格 *ニは /ーデは 2 発音 Ad 副用 3*ル/ ーテイル 4副用
372	インド 22 自由作文 3	台所とお手洗と <u>おぶろ</u> があります。	発音
373	インド 22 自由作文 16	まどには、赤いカーテンが <u>かか</u> ています。	発音
374	インド 23 自由作文 8	<u>こだつ</u> は学校で注文をしました。	発音
375	インド 24 自由作文 30	おなかが <u>ついたら</u> 、いつもその食べ物を食べます。	発音
376	インド 25 自由作文 6	私 <u>の</u> <u>小学</u> の時、 <u>あり</u> いい学生じゃなかった。	1*ノ連 /ーハ 2N 3発 音
377	インド 25 自由作文 7	いつも <u>たくさ</u> 悪いことをした。	発音
378	インド 25 自由作文 8	<u>たから</u> <u>ほか</u> の先生たちは私 <u>に</u> <u>たいへん</u> <u>いや</u> です。	1発音 2格 *ニ /ーガ 3*ル /ータ
379	インド 26 自由作文 9	なぜなら、ロスナのお母さんは彼女 <u>ちさい</u> 時病気で なくなりましたからです。	1格 *0 /ーガ 2発音 3スタイル
380	インド 26 自由作文 20	彼女の明朗な態度と <u>豊かな</u> 教養と勤勉な学習態度、今 までも <u>深刻</u> に私の心の底に <u>残</u> っている。	1品詞 *N /ーNA 2格 *マデ 3副用 Ad 4発 音
381	インド 27 自由作文 11	いつも私にしん剣なはげましや <u>い</u> <u>だわり</u> を <u>与</u> えました。	1発音 2受給
382	インド 28 自由作文 7	みんなこの <u>無</u> <u>義意</u> な戦争は <u>いや</u> た。	1NA 2*ル /ータ 発音
383	インド 29 自由作文 6	映画の内容はおじいさんとおよめさんと <u>ふ</u> <u>た</u> りの生活 の中でいろいろな問題 <u>を</u> <u>出</u> <u>で</u> <u>く</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>映</u> <u>画</u> でした。	1ーノ連 2格 ヲ /ーガ 3発音 4N 体修
384	インド 30 自由作文 7	おじは、大変やさしく、 <u>知</u> <u>識</u> が <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>人</u> <u>す</u> 。	1VP 表現 2発音 ー タ
385	インド 30 自由作文 10	おじは、 <u>結</u> <u>婚</u> た。	V 発音
386	インド 30 自由作文 13	ある日、私 <u>は</u> 、おじの車に乗って、おじと一緒に都心へ <u>行</u> <u>た</u> <u>途</u> <u>中</u> 、 <u>交</u> <u>通</u> <u>事</u> <u>故</u> が <u>お</u> <u>こ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1取立 *ハ /ーガ 2*タ /ール 発音
387	インド 31 自由作文 10	なぜかという、いま工業社会と呼ばれている <u>の</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>に</u> 、 <u>み</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>ほ</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>毎</u> <u>日</u> <u>緊</u> <u>張</u> <u>な</u> <u>気</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 、 <u>毎</u> <u>日</u> <u>見</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>冷</u> <u>たい</u> <u>の</u> <u>建</u> <u>物</u> 、 <u>と</u> <u>無</u> <u>表</u> <u>情</u> <u>の</u> <u>顔</u> 。	1,6,7*ノ連 体修 2格 ニ /ーデ 3発音 4VP 5*タ /ール
388	インド 32 自由作文 7	いつも、自分にもういいよ、食べたら、お金がなくなっ てしまうよ、とかすぐふとるよとか <u>と</u> <u>戒</u> <u>め</u> <u>た</u> <u>り</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>も</u> 、 おいしい食べ物 <u>の</u> <u>前</u> <u>に</u> 、 <u>食</u> <u>欲</u> が <u>な</u> <u>ま</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1格 *ト /ー0 2取立 ニ /ーテハ 3発音 V
389	インド 32 自由作文 11	最近、毎日 <u>も</u> <u>チ</u> <u>ョ</u> <u>コ</u> <u>レ</u> <u>ッ</u> <u>ト</u> <u>と</u> <u>ア</u> <u>イ</u> <u>ス</u> <u>ー</u> <u>ク</u> <u>リ</u> <u>ム</u> <u>を</u> <u>一</u> <u>本</u> <u>ず</u> <u>つ</u> <u>食</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1取立 *モ /ー0 2,3 発音 表記

第1章 音韻論

390	インド 32 自由作文 13	これから、食べ物の <u>スケチユー</u> を使って、必ず <u>スケチユー</u> によって、やってみましょう。 (1) (2) (3)	1,2発音 表記 3V
391	インド 33 自由作文 2	ハイロン・キャイラというひとは目もみえないしみもきこえないし、話も <u>はきり</u> ではありません。	発音 表記 品詞 副用 Ad
392	インド 33 自由作文 4	「私はくつがない <u>の</u> ためによくなりました、 <u>ずうと</u> あしがない人を <u>みた</u> 日まで。」。 (1) (2) (3)	1*ノ連/ー0 2発音 表記 品詞 語順 3*タ/ール
393	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭があたたかかったが <u>富裕</u> ではなかったから、ほかの子供にうらやましいでした、 <u>毎度</u> 、 <u>友達</u> が <u>いっぱい</u> な <u>おもちゃ</u> をもっている <u>とき</u> 、私は <u>金もちさん</u> になって、もっと <u>多い</u> <u>おもちゃ</u> をもっている <u>夢</u> をつくた。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	1NA 2格 *ニ/ーガ 3活用(A) 4Ad 副用語順 5品詞 6接 *トキ/ート 7N 8A 9V 発音
394	インド 34 自由作文 2	狭い教室で、五十さいぐらいの <u>年より</u> の <u>めかね</u> を <u>かけて</u> いる <u>先生</u> は <u>歴史</u> <u>授教</u> を <u>教えて</u> いるところでした。 (1) (2) (3) (4) (5)	1N 2発音 3*テイル/ータ 4取立 *ハ/ーガ 5N
395	インド 35 自由作文 11	太陽が西に <u>沈下</u> の時、母は私に「家へ帰ってご飯をたべて <u>ますよう</u> 」とおおきい <u>ごえ</u> を <u>かけて</u> しまいました。 (1) (2) (3)	1N 2発音 3複V ーテイル
396	インド 35 自由作文 12	ご飯のあとに兄弟と <u>いどこ</u> たちと一緒に軒の上 <u>に</u> <u>星</u> を見ました。 (1)	1発音 2格 *ニ/ーデ
397	インド 36 自由作文 2	ひとりで日本に留学している別科生 <u>だち</u> は <u>みな</u> はじめて、 <u>家族</u> と <u>はなれる</u> と思います。 (1) (2)	1発音 2*ル/ータ
398	インド 36 自由作文 5	どんな困難 <u>あ</u> っても、 <u>冷静</u> に <u>乗り越える</u> ことが <u>てきま</u> す。 (1) (2)	1格 *0/ーガ 2発音
399	インド 36 自由作文 8	わたしは <u>新しい</u> ものに関心 <u>が</u> <u>五分</u> <u>しが</u> もっていない <u>の</u> が <u>たぶん</u> 父からのだろうか。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ 3発音 4取立 *ガ/ーハ
400	インド 36 自由作文 9	日本語を <u>習う</u> はじめに <u>必死</u> に勉強 <u>する</u> <u>態度</u> は <u>だんだん</u> <u>へて</u> いた <u>と</u> は <u>はっきり</u> 感じています。 (1) (2) (3)	1VP 接 2*ル/ータ 3複V 発音 表記
401	インド 38 自由作文 5	1977年10月10日、午後5時 <u>ころ</u> 、私の家の <u>ちがく</u> の <u>運</u> 動場で、サッカーの試合がありましたから、私は、学校のあと、すぐ運動場へいきました。 (1) (2)	1発音 2発音
402	インド 39 自由作文 7	<u>いとつ</u> の山はいろいろな植物を <u>植</u> えます。 (1) (2)	1発音 2V
403	インド 39 自由作文 11	私が行く <u>多い</u> 山は、 <u>もちろ</u> う植物がある山 <u>て</u> した。 (1) (2) (3)	1A 副用 2Ad 副用 3発音
404	インド 39 自由作文 12	<u>林</u> の山には、おいしい <u>くだもの</u> があるし、 <u>川</u> があるし、 <u>川</u> の中に <u>魚</u> を <u>捕</u> るし、 <u>ときどき</u> <u>川中</u> に <u>泳</u> きました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1体修 2並V 3格 *ニ/ーデ 4並V 5複N 6格 *ニ/ーデ 7発音
405	インド 39 自由作文 13	でも、 <u>屋</u> へ帰ったとき、 <u>は</u> は <u>が</u> <u>しが</u> られました。 (1) (2) (3)	1N 2格 *ガ/ーニ 3発音
406	インド 39 自由作文 18	以後、 <u>ち</u> は <u>私</u> <u>だち</u> が山へ行くことは <u>禁</u> 止でした。 (1) (2) (3)	1発音 2取立 *ハ/ーヲ 3V

1. 音韻論 [発音]

407	インド 40 自由作文 18	私は4歳 <u>まえに</u> 、高尾の近く <u>に</u> 鳥松というところに住 んで <u>いった</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 -マデ 2格 * ニ/-ノ 3発音
408	インド 40 自由作文 23	5歳 <u>時</u> 、私の家族と一緒に、台北へ <u>移されて</u> <u>いった</u> 。 (1) (2) (3)	1-ノ連 副用 2V 3 発音
409	インド 40 自由作文 26	あるとき、ははが <u>見えないで</u> 、涙が <u>流れで</u> 、 <u>それに</u> 大きな声で泣いた。 (1) (2) (3)	1連用形 2発音 3C
410	インド 40 自由作文 30	休みの <u>間に</u> 、 <u>ときとき</u> 友達と一緒に、竹林 <u>に</u> <u>遊ん</u> <u>で</u> <u>いた</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1副用 2発音 3格 *ニ /-デ 4発音
411	インド 40 自由作文 31	一回、 <u>帰るの</u> <u>時間</u> が <u>おそく</u> で、ちちに <u>し</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1体修 *ノ連 2発音
412	インド 44 自由作文 15	昔、中国で <u>先生</u> と <u>学生</u> <u>結婚</u> が * <u>対</u> <u>5</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *0/-ハ 2体 修 3取立 *ガ/-ハ 5発音
413	インド 44 自由作文 22	この本は外 <u>の</u> <u>ず</u> <u>ば</u> <u>ら</u> <u>じ</u> <u>い</u> <u>所</u> も <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1*ノ連 格 -ニ 2発 音
414	インド 46 自由作文 7	そして、 <u>どう</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>ふ</u> <u>に</u> 、 <u>一つ</u> <u>の</u> <u>工</u> * <u>の</u> <u>管</u> <u>理</u> を <u>順</u> <u>利</u> <u>に</u> <u>進</u> <u>む</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> 、 <u>大</u> <u>切</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1発音 2表記 3*名詞 節 4-ダ 5接*カラ
415	インド 48 自由作文 4	<u>コン</u> <u>ピ</u> <u>ユ</u> <u>タ</u> <u>ー</u> <u>を</u> <u>使</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>が</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>多</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1発音 2活用(V) 3複 V
416	インド 48 自由作文 9	<u>まだ</u> 、 <u>それ</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> 、 <u>大</u> <u>学</u> と <u>か</u> <u>専</u> <u>門</u> <u>学</u> <u>校</u> と <u>か</u> 、 <u>非</u> <u>常</u> <u>に</u> <u>多</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1発音 2コソア 3-ノ 連 4格 *0/-ガ
417	インド 50 自由作文 6	私は広告写真について非常に <u>趣味</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>人</u> <u>で</u> <u>す</u> 、 <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>告</u> <u>告</u> <u>写</u> <u>真</u> <u>は</u> <u>商</u> <u>業</u> <u>と</u> <u>芸</u> <u>術</u> <u>を</u> <u>つ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>わ</u> <u>ゆ</u> <u>る</u> <u>商</u> <u>業</u> <u>設</u> <u>計</u> <u>で</u> 、 <u>い</u> <u>ま</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>国</u> <u>に</u> <u>は</u> 、 <u>そ</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>人</u> <u>才</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>多</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1N 2表現 3*テ形 体 修 4発音 5表記 6*テ 形 7取立 *ハ/-O
418	インド 50 自由作文 14	<u>ほ</u> <u>と</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>心</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>ら</u> <u>や</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2品詞 *N/- NA
419	インド 51 自由作文 4	国の経済の発展 <u>を</u> <u>尽</u> <u>く</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>へ</u> <u>き</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>経</u> <u>済</u> <u>学</u> <u>を</u> <u>学</u> <u>ぶ</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>り</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/-ニ 2V 3 発音 接 *テ形
420	インド 51 自由作文 7	それで国の経済成長 <u>に</u> <u>対</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>大</u> <u>き</u> <u>影</u> * <u>が</u> <u>当</u> <u>て</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0/-ニ 2発音 3格 *ガ/-ヲ 4表記
421	インド 52 自由作文 4	<u>近</u> <u>い</u> <u>ご</u> <u>ろ</u> <u>多</u> <u>く</u> <u>人</u> <u>事</u> <u>管</u> <u>理</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>ほ</u> <u>か</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>事</u> <u>に</u> <u>面</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>管</u> <u>理</u> <u>と</u> <u>知</u> <u>識</u> <u>が</u> <u>ほ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1Ad 副用 2語順 副用 3複V 発音 4副用 5* にメンシテ 6並N * ト/-ヤ
422	フィンランド 1 自由作文 2	<u>ど</u> <u>う</u> <u>ぞ</u> <u>う</u> 、 <u>入</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>下</u> <u>さ</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	発音
423	フィンランド 1 自由作文 3	アメリカ人は <u>く</u> <u>つ</u> <u>を</u> <u>ぬ</u> <u>ぐ</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>わ</u> <u>す</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>下</u> <u>さ</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ/-ヲ 2発 音 活用(V)
424	フィンランド 1 自由作文 8	そして、私は二人 <u>に</u> <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>に</u> <u>川</u> <u>ご</u> <u>え</u> <u>で</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>ぞ</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>を</u> <u>買</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1-ノ連 2発音
425	フィンランド 1 自由作文 13	そして、 <u>テ</u> <u>ー</u> <u>ル</u> <u>ル</u> <u>の</u> <u>上</u> <u>に</u> <u>か</u> <u>ぞ</u> <u>く</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>ラ</u> <u>ン</u> <u>プ</u> <u>と</u> <u>ラ</u> <u>ジ</u> <u>オ</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2取立 *0/- ハ

第1章 音韻論

426	フィンランド 1 自由作文 15	まどの近くにはカレンダーと <u>かぞうく</u> のしゃしんがかけ てあります。	発音
427	フィンランド 2 自由作文 11	本ばこの中に <u>日本語の本</u> や <u>数学の本</u> や <u>いがくの本</u> など が <u>ならん</u> でいます。	1取立 *0 /-ハ 2発 音
428	フィンランド 2 自由作文 22	部屋の <u>中心</u> に <u>こだつ</u> があります。	1N 2発音
429	フィンランド 5 自由作文 12	私はさびしい時音楽を <u>きたり</u> 手紙を <u>かきます</u> 。	1発音 2並V -タリ
430	フィンランド 6 自由作文 14	私が <u>ほうどんと</u> <u>そば</u> に <u>数字</u> を <u>かきたり</u> 、 <u>文献</u> を <u>しら</u> <u>べ</u> <u>ました</u> 。	1発音 2格 *ニ /-デ 3活用 4並V
431	フィンランド 7 自由作文 2	自分のうちに、 <u>帰えたら</u> <u>いちばん</u> に手をきれいにあらっ てよく食べてよくやすめばいいと思います。	発音
432	フィンランド 7 自由作文 3	<u>まだ</u> 、よくねることも、必要だと思ひます。	発音
433	フィンランド 7 自由作文 4	かぜは、自分も、知らないうちに <u>はいて</u> くるから、きを つけないと <u>いつ</u> <u>くる</u> <u>かわ</u> かりません。	1発音 2V
434	フィンランド 7 自由作文 6	はじめて食べるひとは、 <u>においがいや</u> だというかも、知 れませんが、 <u>そしたら</u> 、 <u>さとう</u> をいれて、 <u>のめ</u> ば、 <u>だい</u> <u>じょうぶ</u> だと、思ひます。	C 発音 スタイル
435	フィンランド 7 自由作文 7	もし、 <u>ほしい</u> ければ、 <u>私</u> に、 <u>言</u> っ て、 <u>ぐ</u> ださ い。	1活用 A 2発音
436	フィンランド 8 自由作文 8	しかし、急に「 <u>こう</u> <u>から</u> <u>し</u> 」が <u>来</u> る <u>こ</u> と <u>が</u> <u>出</u> 来 <u>ま</u> す。	1発音 2複N
437	フィンランド 8 自由作文 9	それで、 <u>あ</u> た <u>た</u> か <u>い</u> ふ <u>く</u> を <u>き</u> っ た <u>方</u> が <u>い</u> い <u>で</u> す。	発音
438	フィンランド 8 自由作文 10	<u>スト</u> ブ <u>が</u> <u>有</u> っ た <u>ら</u> 、 <u>使</u> う <u>こ</u> と <u>が</u> <u>便</u> 利 <u>で</u> す。	1,2発音 表記 3*コト /-ホウ
439	フィンランド 8 自由作文 16	もし、 <u>い</u> つ <u>も</u> <u>お</u> か <u>い</u> と <u>か</u> 、 <u>ケ</u> ー <u>キ</u> と <u>か</u> 、 <u>ク</u> ー <u>キ</u> を <u>食</u> べ、 <u>ビ</u> ール <u>と</u> <u>か</u> <u>お</u> <u>酒</u> を <u>い</u> つ <u>も</u> <u>飲</u> み、 <u>外</u> の <u>こ</u> と <u>ば</u> 、 <u>体</u> が <u>ふ</u> っ <u>せ</u> い <u>だ</u> っ た <u>ら</u> 、 <u>病</u> 気 <u>に</u> なる <u>こ</u> と <u>が</u> <u>簡</u> た <u>ん</u> <u>で</u> す。	1,2,5発音 表記 3Ad 4N 6名詞節 7取立 * ガ /-ハ
440	フィンランド 8 自由作文 18	もし、 <u>私</u> たち <u>が</u> <u>注</u> 意 <u>し</u> た <u>ら</u> 、 <u>た</u> と <u>え</u> ば、 <u>ゆ</u> っ <u>く</u> り <u>ね</u> て、 <u>ス</u> ト <u>ブ</u> を <u>使</u> っ て、 <u>あ</u> た <u>た</u> か <u>い</u> ふ <u>く</u> を <u>き</u> っ て、 <u>良</u> く <u>食</u> べ <u>て</u> 、 <u>あ</u> ま <u>り</u> <u>病</u> 気 <u>に</u> なる <u>な</u> の <u>で</u> 、 <u>体</u> が <u>強</u> い <u>は</u> ず <u>で</u> す。	1,2発音 表記 3接 *テ 形 /-条件 4取立 * ガ /-ハ 5複V

2. 文字論 [表記]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
441	台湾 1 自由作文 8	だから、故郷の好きな食物を <u>憶う</u> と、大変なつかしいです。	表記
442	台湾 1 パターン作文 8	季節風の影響がある <u>だから</u> 、冬は北風が <u>できる</u> 、天気おちょっと寒い。	1接(一ノデ) 2活用 V Ad-連用形 3表記
443	台湾 1 パターン作文 9	たとえば、視覚 <u>デザイ</u> の方 <u>ば</u> 日本語より <u>面白い</u> だ。	1表記 発音 2発音 取立 *ハ /-ガ 3品詞 (*NA /-A) 4ダ スタイル
444	台湾 1 パターン作文 11	しかし、日本語の <u>教課書</u> は読みやすいです。	表記
445	台湾 1 パターン作文 13	これに対して <u>専門科</u> の本は読みにくいです。	表記
446	台湾 1 パターン作文 20	一番 <u>暑</u> 時は <u>夏と秋</u> が変わる時だ。	1表記 V 2並 N *ト
447	台湾 3 自由作文 4	郊外の <u>フレッシュ</u> 空気や広い草原を <u>接して</u> と気持ちがよくなります。	1NA 表記 2活用(V)
448	台湾 4 自由作文 4	工業デザイン学科にはいつから、ランプや <u>ミクサー</u> やクリーナーや自転車などさまざまなデザインを練習し、とてもおもしろいと思う。	表記
449	台湾 4 自由作文 7	デザインを <u>除いて</u> 、私は <u>バレーボール</u> ・ <u>バスケットボール</u> ・ <u>テニス</u> と <u>旅行</u> が好きであるが、お金を節約するために、筑波に来てから <u>旅行</u> のかわりに自転車の運動をしている。	1条件 *テ形 /-ト 2発音 表記 3取立 *0 /-ハ
450	台湾 10 自由作文 7	ほかに、 <u>休憩</u> の時は、料理を作る、electricpianoを <u>引く</u> 、デパートに行き、買物をする等も私の趣味 <u>など</u> 、ゆっくりやりたいと思っています。	1N 2表記 3-のだ
451	台湾 12 自由作文 15	それでは論文を <u>頑張</u> てください。	活用 発音 表記
452	台湾 13 自由作文 8	<u>お忙しいところで</u> 、失礼ですが、もし、聞き <u>続きたく</u> なら、後で、もう一度貸して <u>あります</u> 。	1副用 *デ 2活用(V) 3表記
453	台湾 16 自由作文 16	時機が <u>じゅくした</u> ら、プロ野球を創立するつもりです。	発音 表記
454	台湾 17 自由作文 9	もしわたしは <u>しんり</u> そう <u>だんしゃ</u> だったらさまざま <u>じんげん</u> のもんだいが私に <u>けんけんきゅう</u> されます。	1取立 *ハ /-ガ 2発音 3格に*0 /-に ヨッテ 4表記 5受身
455	台湾 20 自由作文 1	今日、 <u>私</u> が国の経済の <u>具合</u> がよくありません、もし、私が通産大臣だったら、ぜひ、このような衰退する経済状態を <u>よく</u> にするように努力しようと思っています。	1表記 2取立 *ガ /-ハ 3副用
456	台湾 20 自由作文 8	1、政府は力を <u>もら</u> か <u>い</u> 各産業を <u>整</u> って <u>計</u> 画して有効に生産する。	1V 2体修 3表記

第2章 文字論

457	台湾 20 自由作文 11	(例えば、若干の _ 規模の小さい会社を中企業、あるいは大企業に合併した方がいい。	表記
458	台湾 23 自由作文 10	夏休みの第三週は、 <u>こちらそちら</u> で遊んだり、食べたり、とても <u>楽し</u> だ。 (1) (2)	1コソア 副用 2V 表記
459	台湾 23 自由作文 12	その時、国の両親から電話が <u>あ</u> った。 (1) (2)	1コソア 副用 2発音 表記
460	台湾 24 自由作文 1	<u>暑</u> 休みは私 <u>が</u> 国へかえりました。 (1) (2)	1表記 2取立 *ガ/ーハ
461	中国 2 絵を見ての作文 1	図2を見て <u>、</u> おばさんの <u>きもさ</u> を <u>述</u> べている。 (1) (2) (3)	2表記 1-条件 3表現
462	中国 2 絵を見ての作文 2	大雨が <u>ザーザー</u> 降っています。	表記
463	中国 2 絵を見ての作文 6	自転車を運転しているひとが <u>困</u> まっています。	表記
464	中国 3 聴解要約 9	駅前の電話 bok <u>に</u> きれいな女の方 <u>を</u> 会いました。 (1) (2)(3) (4)	1表記 3格 *ニ/ーデ 2-名詞 4格 *ヲ/ート/ーニ
465	中国 4 聴解要約 10	同日かとうさんの子の太郎はヤンさんと <u>ステジオレコダ</u> をかいに行った <u>ので</u> 、大変面白い体験をした。 (1) (2)	1表記 発音 2接 *ノ デ/ーテ形
466	中国 4 聴解要約 11	その商店でヤンさんはある <u>レコダ</u> をききながら、いい音だといった。	表記 発音
467	中国 4 自由作文 7	いま <u>ふる</u> さとにある私が4年間を過ごした <u>コーパス</u> を思うと、非常になつかしいです。 (1) (2)	2表記 N 1体修
468	中国 4 パターン作文 5	食物 <u>に</u> として日本料理は美味しいですが、中国料理と比べると <u>違</u> ところ <u>は</u> あります。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーO 3取立 格 *ハ/ーガ2表記
469	中国 9 自由作文 6	それから、去年の十一月 <u>か</u> 中国の長春にある中国赴日本留学生予備学校で日本語を勉強した。	表記
470	中国 20 自由作文 3	日本にきて受けた最も強い印象はまず日本人の礼 <u>儀</u> です。	表記
471	中国 21 自由作文 6	<u>はじめて</u> <u>に</u> ほんじんのはなしはぜんぜんわからなかった (1) <u>まい</u> にち <u>ねんしゅう</u> <u>する</u> から、 <u>だんだん</u> すこし <u>わか</u> (2) <u>り</u> なります。 (3) (4) (5)	1Ad 副用 2接 *O/ーガ 3発音 表記 4*ル/ーテイル 5VP *ル/ータ
472	中国 22 自由作文 3	そのとき、福岡や大阪や京都など <u>え</u> 行きました。	表記
473	中国 23 自由作文 13	いまが <u>こう</u> <u>な</u> <u>ふゆ</u> やすむ <u>から</u> 、 <u>じぶん</u> のへやでにほんごの <u>べんきょう</u> をしています。 (1) (2) (3)	1発音 表記 2N 3ダ
474	中国 24 自由作文 9	そのうえ、片仮名と平仮名の勉強 <u>もう</u> <u>やさ</u> しくない <u>ら</u> <u>しい</u> です。 (1) (2)	1表記 2ムード
475	中国 26 自由作文 16	わたしはにほんへ <u>医学</u> く <u>の</u> べんきょうにきました。	表記
476	中国 28 自由作文 5	そのとき、 <u>たいてん</u> <u>しん</u> ばいしました。	発音 表記

477	中国 33 自由作文 5	ともだちは <u>いしょうけめ</u> <u>べんきょう</u> にほんご、たぶ ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ んすこし知っています。	1表記 2語順 活用 3 接
478	中国 33 自由作文 8	いま、わたしの <u>にほご</u> は <u>たくさん</u> しりませんから、と ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ もたちはしんせつに <u>おしえます</u> 。 ⁽⁵⁾	1取立 *ノ/ーハ 2表 記 3*ハ/ーヲ 4副用 5受給
479	中国 34 自由作文 5	わたしはちゅうごくじんだから、にほんごのかんじのい みが <u>つよく</u> わかります。	発音 表記 副用
480	中国 35 自由作文 4	わたしは日本語をはじめて <u>ならう</u> から <u>いままで</u> <u>じゅ</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ <u>うかげつ</u> <u>ぐらい</u> です。 ⁽⁵⁾	1取立 *ハ/ーガ 2活 用(V) -複 V 3Ad 副 用 4表記 5-V
481	中国 35 自由作文 10	そして <u>いもとう</u> といっしょに会話のれんしゅうをします。	表記
482	中国 37 自由作文 8	わたし <u>まいっしょうけんめい</u> の <u>べんきょう</u> しています。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1発音 表記 2副用
483	中国 37 自由作文 14	<u>じゅうず</u> から <u>じゅう</u> に <u>じまで</u> <u>テレビ</u> <u>こ</u> <u>きくれんしゅ</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ うをしています。	1発音 2表記 3格 *0 /ーヲ
484	中国 40 自由作文 14	わたしは <u>まいっしょう</u> <u>けんゆい</u> に <u>にほんご</u> の <u>べんきょ</u> うをしています。	表記
485	中国 41 自由作文 9	わたしは <u>がっこう</u> へ <u>いく</u> とき <u>でんしゃ</u> で <u>にほんご</u> の <u>レコ</u> ードを <u>き</u> きます。	発音 表記
486	中国 41 自由作文 12	うへで <u>テレビ</u> の <u>ニュース</u> を <u>みる</u> ことがあります。	発音 表記 N
487	中国 43 自由作文 6	みんなは <u>いっしょうけんめ</u> <u>日本語</u> を <u>べんきゅう</u> <u>して</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ <u>います</u> 。	1,2発音 表記
488	中国 44 自由作文 7	じぶんの <u>くに</u> に <u>にねん</u> <u>あらう</u> より <u>にほん</u> の <u>にさん</u> <u>げ</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>つかん</u> の <u>ほうが</u> <u>じゅうず</u> です。 ⁽⁴⁾	1格 *ニ/ーデ 2発音 3表記 4複 V
489	中国 44 自由作文 8	にほんごが <u>がっこう</u> に <u>ちゅうごくじん</u> や <u>アメリカじん</u> や <u>マ</u> <u>ネシア</u> <u>じん</u> などが <u>おおぜい</u> <u>います</u> が <u>たいてい</u> <u>ちゅうご</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ <u>くじん</u> が <u>いちばん</u> <u>おおぜい</u> <u>います</u> 。	1表記 2Ad 副用
490	中国 46 自由作文 7	すぐ <u>歯</u> を <u>磨</u> て <u>顔</u> を <u>洗</u> ています。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1表記 2活用(V) 3* テイル/ール
491	中国 46 自由作文 18	わたしは <u>ともだち</u> と <u>一緒に</u> <u>はなし</u> <u>とき</u> <u>にほご</u> が <u>つか</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>っています</u> 。	1活用(V) 2表記 3格 *ガ/ーヲ
492	中国 49 自由作文 4	わたしは <u>は</u> <u>しめて</u> <u>にほんご</u> の <u>べんきょう</u> を <u>し</u> ます。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1発音 表記 2*ル/ー テイル
493	中国 49 自由作文 5	かんじは <u>やさしい</u> が <u>かたかな</u> は <u>むずかし</u> に <u>です</u> 。	発音 表記
494	中国 49 自由作文 16	に <u>ちようび</u> <u>やすみ</u> に <u>わたし</u> は <u>どきとき</u> <u>しんじゅく</u> へ ⁽¹⁾ ⁽²⁾ <u>あぞんで</u> <u>い</u> <u>きました</u> 。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1格 *0 /ーノ連 2発 音 表記 3発音 4*タ/ ール
495	中国 49 自由作文 17	いつも、 <u>りより</u> をつくります。	発音 表記
496	中国 49 自由作文 18	にほんごの <u>べんきょう</u> は <u>おもしろ</u> い <u>です</u> 。	発音 表記

第2章 文字論

497	中国 50 自由作文 15	だから、日本語は <u>とての</u> ふくざつになります。	発音 表記
498	中国 52 自由作文 3	<u>そのたき</u> 日本語がぜんぜんできませんでした。	発音 表記
499	中国 52 自由作文 4	買物や外で <u>あそぶ</u> ことがとても <u>不便利</u> <u>だ</u> から、 心の中に <u>持気</u> がよくありませんでした。	1V 2NA 3発音 表記 4N &表現
500	中国 52 自由作文 11	わたしの <u>ほうしゅう</u> にん は「よくなったよ、頑ばりまし よう」 <u>い</u> いました。	1発音 表記 2格 *0 / ート
501	中国 52 自由作文 15	わたしはこの学校を卒業した <u>あと</u> で、日本の <u>大学</u> 校 に <u>は</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>い</u> とおもっています。	1副用 2N 3発音 表 記
502	中国 52 自由作文 18	この冬休みのあいだ、よく <u>預習</u> と復習をしたいと思っ ています。	表記
503	中国 53 自由作文 5	9月に日本へきて10月の <u>初</u> に 国際学友会に入学しまし た。	表記
504	中国 54 自由作文 6	わたしは <u>ども</u> <u>だ</u> <u>ち</u> といっしょに <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> を <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 表記 2*ル / テイル
505	中国 54 自由作文 8	わたし <u>と</u> わかい <u>が</u> <u>く</u> <u>せん</u> より日本ごがへたです。	1取立 *ト /ーハ 2発 音 表記
506	中国 54 自由作文 9	まいにちわたしは <u>らく</u> <u>じ</u> におきます。	発音 表記
507	中国 54 自由作文 13	学校でわたしは <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>きん</u> <u>めい</u> に日本語をしていま す。	発音 表記
508	中国 54 自由作文 16	私は4時 <u>ご</u> <u>ら</u> 家へかえります。	発音 表記
509	中国 54 自由作文 18	晩御飯のまえに2時間ぐらいと晩御飯の <u>あ</u> <u>ど</u> で3時間勉 強をします。	発音 表記
510	中国 55 自由作文 4	がっこうはまいにちくじじぶん <u>い</u> はじまります。	発音 表記
511	中国 55 自由作文 6	まいにちにほんごの練習は <u>文法</u> は <u>な</u> <u>す</u> と <u>な</u> <u>ど</u> <u>お</u> <u>さ</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> しています。	1並 N 2名詞節 *0 / ーコト 3,4表記
512	中国 55 自由作文 8	しかしわたしは <u>き</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>ち</u> で <u>ふ</u> <u>く</u> <u>ゆ</u> <u>う</u> を <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1,2発音 表記
513	中国 55 自由作文 11	いつもべんきょうをしながらにほんごの <u>レ</u> <u>ー</u> <u>ホ</u> <u>ド</u> を <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	発音 表記
514	中国 55 自由作文 12	いまにほんはに <u>に</u> <u>げ</u> <u>つ</u> にきたにほんごのはなすはすこし はなしています。	発音 表記
515	中国 57 自由作文 6	毎日にほんごのべんきょうは午前くじ <u>じ</u> <u>ぶ</u> <u>分</u> にはじま ります。	発音 表記
516	中国 57 自由作文 9	べんきょうするときせんせいのしつもんがなかなか <u>お</u> <u>ま</u> <u>しろ</u> <u>い</u> ですよ。	発音 表記
517	中国 57 自由作文 12	わからないときいつも、「すみません、先生、 <u>も</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> 」 <u>と</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1発音 表記 2*タ / ー ル

518	中国 57 自由作文 13	いま、私たちは にじゅうちか のべんきょうを はじま ります。 (1) (2)	1発音 表記 2自他
519	中国 57 自由作文 16	かたかなも むすかしい です よ。 (1) (2)	1発音 表記 2スタイル
520	中国 58 自由作文 2	そして、大たい毎日アルバイトを やて いました。	発音 表記
521	中国 58 自由作文 16	しかし、中に東洋医学の雑誌が しばい あります。	発音 表記
522	韓国 1 パターン作文 3	韓国は まだ マイカが全体人口の30%くらい 待って あります。 (1) (2) (3) (4)	4否定 2取立(-シカ) 3表記 1Ad マダ
523	韓国 1 パターン作文 4	韓国のソウルは ラシアワ時 には 複雑 していますから人 々はたいてい出勤時間より早く家 に 出きます。 (1) (2) (3) (4)	1,2表記 4-複 V 3格 *ニ/一ヲ
524	韓国 1 パターン作文 5	ラシアワ時間 には パース と地下鉄 を 乗りません。 (1) (2) (3) (4)	1C 2表記 3発音 4格 *ヲ/一ニ
525	韓国 2 パターン作文 9	夏 には たくさん 暑 です。 (1) (2) (3)	3表記 2Ad 1格(*ニ は/一〇は)
526	韓国 3 自由作文 9	ですから亜熱帯植物の中 に パナナ とみかんが 出ます。 (1) (2) (3)	3動詞 1格 *ニ/一デ 2表記 発音
527	韓国 6 自由作文 6	ラジオはいろいろなサイズがありますから 旅行 する時と か運転する時いつでも 聞きやすい です。 (1) (2)	1表記 2VP
528	韓国 6 パターン作文 6	その作品を作る 時 自然を見るとか音楽をきくとか いる いる 気持ちをあらわします。 (1) (2)	2表記 1接 *トキ
529	韓国 6 パターン作文 9	人々 各々 たべものの 差 がありますが、日本人のたい ていが あもい ものが大好きです。 (1) (2) (3) (4)	4表記 1*0 /一ハ 2副 用 3N
530	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机のうえ に カ セットで音楽を 聞ます 時にヤンさんはお風呂 から 音楽 を聞いて歌を 呼びました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/一ノ連 2表 記 活用 体修 一テイ ルスタイル 3格 *カ ラ/一デ4V
531	韓国 8 パターン作文 7	ですから 人人 は船より飛行機をたくさん利用します。	表記
532	韓国 9 聴解要約 2	そして、大家さんの住まいへ 行て、 あみやげ のはしを 上げて、つめたい水をのみながら、りょこうの話をした。 (1) (2) (3)	1,2表記 発音 3テ形 * テ形/一テカラ
533	韓国 9 聴解要約 7	そして、みんながステレオのおんがくを 聞た とき、ヤン さんはおふろば には うたをうたっていた。 (1) (2) (3)	1表記 発音 一テイ ル 2格 *ニ /一デ 3取 立 に*ハ /に一〇
534	韓国 9 パターン作文 1	ワープロとタイプライターの一番大きい違いは、ワーブ ロの方が とってま 便利な 使う ということです。 (1) (2) (3)	1表記 2NA 副用 3複 V
535	韓国 9 パターン作文 3	ワープロの使い方 がまっと 複雑ですが一旦 使われれば、 ひじょうに 効果 があります。 (1) (2) (3) (4)	1-ノハウ 2表記 3活 用(V) 4N
536	韓国 9 パターン作文 7	しかしワープロの方がタイプライターより値段が高いで すから、まだ使う人が少しですが、 だんだんもの 範囲 か 広くなると思いです。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2表記 3発 音 4ダ スタイル
537	韓国 11 パターン作文 5	私と私の主人の違いは私が 毎時を いそぐと こう こと です。 (1) (2)	1品詞 副用 2表記

第2章 文字論

538	韓国 13 聴解要約 5	秋葉原の <u>どの点</u> ⁽¹⁾ <u>に</u> ⁽²⁾ <u>で</u> CASSETTERADIOを <u>買</u> ⁽³⁾ <u>い</u> ⁽⁴⁾ <u>っ</u> <u>て</u> <u>価</u> <u>格</u> <u>が</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u>	1表記 N 2発音 格 * ニで /ーOで 3活用 接 条件 *テ形 /ーテ モ
539	韓国 13 聴解要約 10	秋葉原の店でカセットラジオを <u>買</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>価</u> <u>格</u> <u>が</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>。</u>	表記 発音
540	韓国 13 聴解要約 12	家へ <u>帰</u> <u>え</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>カ</u> <u>セ</u> <u>ッ</u> <u>ト</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>。</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1表記 接 *テ形 /ート 2*ル /ータ
541	韓国 15 自由作文 3	<u>女</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>男</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>と</u> <u>男</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>を</u> <u>相</u> <u>手</u> <u>に</u> <u>基</u> <u>礎</u> <u>日</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>本</u> <u>語</u> <u>の</u> <u>文</u> <u>法</u> <u>と</u> <u>購</u> <u>読</u> <u>、</u> <u>そ</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>会</u> <u>話</u> <u>を</u> <u>教</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u>	1N 2複 N 3表記
542	韓国 18 自由作文 4	家庭 <u>た</u> <u>け</u> <u>が</u> <u>担</u> <u>当</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>機</u> <u>能</u> <u>が</u> <u>社</u> <u>会</u> <u>の</u> <u>い</u> <u>ろ</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>ん</u> <u>な</u> <u>団</u> <u>体</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>家</u> <u>庭</u> <u>の</u> <u>特</u> <u>別</u> <u>な</u> <u>機</u> <u>能</u> <u>の</u> <u>性</u> ⁽⁴⁾ <u>格</u> <u>を</u> <u>失</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>。</u> ⁽⁵⁾	1発音 2V 3格 *ガ/ ーノ連 4発音 表記 5 活用(V)
543	韓国 18 自由作文 5	だから現代の人間生活の中 <u>、</u> <u>新</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>家</u> <u>族</u> <u>の</u> <u>意</u> <u>味</u> <u>と</u> <u>重</u> <u>要</u> <u>性</u> <u>を</u> <u>強</u> <u>調</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>家</u> <u>族</u> <u>の</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>が</u> <u>発</u> <u>生</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>対</u> <u>策</u> <u>方</u> ⁽¹⁾ <u>法</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> ⁽²⁾	1格 *O /ーニ 2発音 表記
544	韓国 18 自由作文 6	筑波大学で勉強が <u>終</u> <u>た</u> <u>ら</u> <u>国</u> <u>へ</u> <u>帰</u> <u>て</u> <u>社</u> <u>会</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>研</u> <u>究</u> <u>所</u> <u>と</u> <u>か</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>家</u> <u>族</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>研</u> <u>究</u> <u>所</u> <u>等</u> <u>で</u> <u>つ</u> <u>と</u> <u>め</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> ⁽⁴⁾	1,2活用(V) 表記 発 音 3並 N *トカ /ーヤ 4格 *デ /ーニ
545	韓国 19 自由作文 9	教授 <u>の</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>心</u> <u>の</u> <u>壁</u> <u>を</u> <u>こ</u> <u>わ</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょう</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ <u>に</u> <u>話</u> <u>し</u> <u>合</u> <u>う</u> <u>雰</u> <u>囲</u> <u>気</u> <u>は</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>ら</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>や</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ <u>る</u> <u>な</u> <u>や</u> <u>み</u> <u>の</u> <u>所</u> <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>。</u>	1格 *ノ /ーガ 2表記 3ー引用 4V
546	韓国 22 自由作文 10	日本語は韓国語と文法や <u>文</u> <u>形</u> <u>な</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>か</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ <u>ら</u> <u>英</u> <u>語</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>や</u> <u>さ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>、</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> ⁽⁵⁾ <u>と</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>に</u> <u>外</u> <u>国</u> <u>語</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>毎</u> <u>日</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>ど</u> <u>き</u> ⁽⁶⁾ ⁽⁷⁾ ⁽⁸⁾ ⁽⁹⁾ ⁽¹⁰⁾ ⁽¹¹⁾ <u>は</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u>	1表記 2,3発音 4,9ー グ 5語順 VP6取立 * ト /ーハ 7格 に*O / にートッテ 8取立 * O /ーハ 10活用(V) 11 発音 条件*トキ/ ーバ
547	韓国 26 自由作文 7	しかし、必要なコタツや <u>本</u> <u>相</u> <u>が</u> <u>買</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>。</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1表記 2取立 *ガ /ー ハ
548	韓国 26 自由作文 25	また、御飯をつくる台所とトイレと <u>お</u> <u>風</u> <u>俗</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>し</u> <u>、</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>も</u> <u>近</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>、</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>便</u> <u>利</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u>	表記
549	韓国 27 自由作文 5	<u>げ</u> <u>つ</u> <u>ろ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>カ</u> <u>ゼ</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>自</u> <u>信</u> <u>で</u> <u>な</u> <u>お</u> <u>す</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>で</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>き</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>を</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾	1発音 2,3表記 4名詞 節 5V
550	韓国 27 自由作文 7	人間は冬になると、かぜのために、あたたかいふくとか、 <u>ヒ</u> <u>ダ</u> <u>ー</u> <u>を</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>げ</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> <u>、</u> <u>こ</u> <u>の</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>か</u> <u>ぜ</u> <u>た</u> <u>け</u> <u>じ</u> <u>ゃ</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>けん</u> <u>こう</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>、</u> <u>う</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>う</u> ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ <u>す</u> <u>る</u> <u>人</u> <u>か</u> <u>ふ</u> <u>へ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> ⁽⁶⁾ ⁽⁷⁾	1,2,3,4,5,6発音 7表記
551	韓国 28 自由作文 7	こどもの時、マリアはお母さんに死なれて <u>困</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>。</u>	表記
552	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店 <u>を</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>商</u> <u>業</u> <u>も</u> <u>盛</u> <u>ん</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1格 *ヲ /ーガ 2品詞 *V /ーNA 3発音 表 記 *テイル /ールタ

2. 文字論 [表記]

553	韓国 31 自由作文 10	私は東方の生活と風俗が <u>すぎだ</u> 、そのうえ日本語は漢字がたくさん <u>つかわれる</u> ののであまり難しくないと考えます。	1発音 2*0は/ーデは 3発音 表記
554	韓国 34 自由作文 3	というのは、我が国には <u>その</u> ついて、まだ <u>発展されな</u> いし、大学でもそんな科目の時間が <u>少なかった</u> からです。	1コソア 2受身 3表記
555	韓国 34 自由作文 4	それで、今までの都市建設は、建物を立てた <u>以後</u> 、具体的な計画を立てるので、都市の構造が <u>めさやくさ</u> になってきました。	1N 2表記 発音 3V
556	韓国 35 自由作文 5	<u>なん</u> かと <u>言</u> と政治です。	1発音 2表記
557	韓国 35 自由作文 7	ソビエトや日本や中国などと <u>言う</u> 国々です。	表記
558	韓国 35 自由作文 13	それでは私が首相と <u>言う</u> 立場でこれから申します。	表記
559	ブラジル 1 聴解要約 12	それからもつを <u>牛</u> づけました。	表記
560	ブラジル 2 聴解要約 5	やんさんは大家さんのごしゅ人とつめたいおちゃを飲んだ、あとでやんさんはたろうさんといっしょにあきはばらへステレオ <u>買</u> いに <u>行</u> 、それからたろうさんの家にとめた。	3発音 自他 1格 *0 /ーヲ 2ータ 表記
561	アメリカ 1 聴解要約 3	<u>旅行</u> してしたから大家さんの <u>ほ</u> へ <u>おみあげ</u> を上げるために行きました。	1活用 3表記 発音 2N
562	アメリカ 1 聴解要約 4	大家さんと奥さんと <u>いっしょ</u> にむぎ茶を飲んだり、写真を見たり、 <u>旅行</u> 語を <u>し</u> た。	1表記 発音 2N 3並 V *0 /ータリ
563	アメリカ 1 聴解要約 5	<u>暑</u> かったからヤンさんは <u>むぎ</u> におかわりしました。	1表記 発音 2N 3格 *ニ/ーヲ
564	アメリカ 1 聴解要約 6	そのあとヤンさんは秋葉原へ太郎 <u>と</u> いいうの <u>友</u> だちと行った。	表記 体修 *ノ連/ー0
565	アメリカ 1 聴解要約 7	秋葉原で <u>テ</u> ィプレコーダ <u>買</u> うとき店の人と売買契約が <u>し</u> ました。	2格 *0 /ーヲ 3格 *ガ/ーヲ 1表記
566	アメリカ 1 自由作文 11	南アメリカのコロンビアで <u>生</u> れたから四さいまで <u>任</u> んでいました。	1接 *タから/ーテから 2表記
567	アメリカ 1 自由作文 18	例えば、ボゴタ市とか <u>メ</u> ッケシコ <u>市</u> 内過密の問題がさまざま。	1発音 表記 2格 *0 /ーデ 取立で *0 /でーハ
568	アメリカ 1 パターン作文 9	その子どもが <u>こ</u> いうことをなんかいも聞いて、だんだん <u>コン</u> プレッス <u>に</u> なれる <u>だ</u> と思います。	2表記 3V 4ーのだ 1発音
569	アメリカ 4 自由作文 8	法律の大学院を卒業してから <u>結</u> 営者や役人になると大学院で得た知識や考え方は大変有利だと思います。	表記
570	アメリカ 4 自由作文 11	<u>全</u> 部言いかえると <u>弁</u> 護士 <u>だ</u> たら <u>日</u> 米関係の法律をした <u>い</u> と思います。	1表現 C 2発音 表記

第2章 文字論

571	エジプト 1 自由作文 5	趣味は <u>ジギング</u> <u>毎朝</u> ジギングします。 (1) (2)	1発音 表記 2接 *0 / ーテ形
572	インドネシア 2 聴解要約 2	<u>その時は</u> 大家さんが出て <u>来た</u> 。 (1) (2)	1C 2表記
573	インドネシア 2 聴解要約 6	そうして、ヤンさんが <u>りょうこ</u> で <u>しゃった</u> シャしんを 見たときすばらしいと <u>いった</u> 。 (1) (2)	1発音 表記 2V
574	インドネシア 2 聴解要約 9	まず <u>ぶっか</u> が <u>四方円</u> でちょっと高いと <u>言ったから</u> 、 てんいんはぶっかを <u>ふえて</u> 四方二千元 <u>さいご</u> 四方円に なりました。 (1) (2) (3) (4) (5)	2表記 3条件 4V 5Ad 副用 1N
575	インドネシア 2 パターン作文 1	東京の方が <u>ツカルタ</u> より大きいです。	表記
576	インドネシア 3 自由作文 4	<u>テョプ</u> は <u>ツョカルタ</u> から <u>でんしょ</u> で10時間ぐらいか かります。 (1) (2) (3)	1,2,3表記 発音
577	インドネシア 3 自由作文 8	<u>たぶん</u> あのもり <u>いる</u> ことですから、私は学院 <u>とき</u> <u>もり学</u> で <u>べときょう</u> しました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1Ad 副用 2格 *0 / ニ 3ムード 5 N 6表 記 4ーノ連
578	インドネシア 3 パターン作文 1	日本料理とインドネシア料理の <u>違</u> はインドネシア料理の 方が辛い <u>です</u> 。 (1) (2)	1表記 2名詞節
579	インドネシア 3 パターン作文 5	これに対して <u>この</u> もりは <u>あまり</u> すくない <u>ですから</u> イン ドネシアの <u>さいふ</u> の <u>アイディア</u> ということです。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 2A 3N 4表 記
580	タイ 1 聴解要約 9	この日は大家さんにあいさつしにいきました、 <u>引越し</u> の <u>そば</u> と <u>持</u> っていました。 (1) (2) (3)	1発音 2格 *ト /ーヲ 表記 3複 V
581	タイ 2 自由作文 15	私はぶどう酒が <u>だい好</u> です。	表記
582	タイ 2 パターン作文 2	いま最終ほうこくしょ <u>書</u> ています。 (1) (2)	1ー格 *0 /ーヲ 2表 記
583	タイ 4 自由作文 2	バンコクにある高等学校で勉強していた時に英語 <u>に</u> <u>プラ</u> <u>ンス</u> 語を勉強することにしましたけれどもチュラロンコ ン大学に入学してから日本語と日本に興味を持っていま したので日本語を <u>四年間</u> に <u>専攻</u> する <u>の</u> を <u>決</u> めました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1並 N 2発音 表記 3 副用 数 4名詞節 *ノ /ーコト 5格 *ヲ / ニ
584	香港 3 自由作文 5	中文大学において、ほとんどの時間は日本史及び日中関 係史を <u>埋首</u> しています。	表記 &表現
585	香港 3 自由作文 9	第二には、日中両国は関係が大変 <u>密切</u> です <u>。</u> (1) (2) (3)	1表記 2接 ーカラ 3 ーダ
586	香港 4 自由作文 2	しかし、香港へ <u>返</u> って から <u>、</u> 大学の授業は全部英語 と中国語で教えていたので、 <u>だんだん</u> 日本語 <u>は</u> <u>下</u> 手にな ってしまいました。 (1) (2) (3)	1表記 2取立 *0 / ハ 3取立 *ハ /ーガ
587	香港 7 自由作文 27	<u>次</u> いて「坑夫」「三四郎」「それから」「門」など長編 小説を <u>発</u> 表した。	副用 表記
588	香港 7 自由作文 33	これらの作は、人間の性格に根強くはこびっているエゴ イズムに <u>あ</u> るどい <u>刃</u> を加え自意識をもてあます。	表記

2. 文字論 [表記]

589	香港 7 自由作文 60	たとえばにんげんのい、しょく、じゅうあるいは <u>しよう</u> とする <u>どうぐう</u> は、かれのすむとちの <u>ふうと</u> に <u>てきお</u> <u>おして</u> <u>とくしゅ</u> には <u>ったつ</u> した。 (1) (2) (3) (4) (5)	1品詞 *N/-V 2,3, 発音 4表記5NA 副用
590	香港 11 短文作文 1	この文章はなかなか <u>むずかしい</u> です。	表記 発音
591	香港 11 短文作文 10	騒音やら煙やらで、たいへん <u>困</u> まっています。	表記
592	香港 14 短文作文 4	かれは自分の <u>きよみ</u> やすきなものなどを <u>むちゅう</u> で <u>じ</u> <u>ゃへり</u> ました。 (1) (2) (3)	1,3発音 表記 2格 *ヲ /-に ツイテ
593	香港 15 短文作文 18	彼の成績は一番。彼の <u>た</u> に出る人はない。	表記
594	香港 17 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も <u>スペン</u> 語 もでき、 <u>ですから</u> 心配しないで、 <u>外国旅行</u> <u>できる</u> 。 (2) (3) (4)	2スタイル 4格 *O / ーガ 3品詞 *V /- N 1発音 表記
595	香港 17 短文作文 18	英語がわからない <u>ような</u> <u>ウエトレス</u> は私の注文を聞いてから、 わかったようなわからぬような顔をして、「はい、はい。」と答えました。 (1) (2)	2表記 1ムード(*ヨウナ/ーラシイ)
596	香港 18 短文作文 9	ひらがなとカタカナが <u>お</u> <u>同</u> じように <u>漢</u> 字から <u>生</u> まれる。 (1) (2) (3)	2表記 1取立 *ガ/ー ハ 3*ル/ータ
597	香港 18 短文作文 12	考えてみれば、子供の時は <u>最</u> <u>も</u> <u>楽</u> しかった <u>好</u> <u>だ</u> <u>日</u> <u>子</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1表記 2並V *タ/ー テ形 3NA 4N
598	香港 19 自由作文 23	<u>つ</u> <u>も</u> <u>り</u> 、「ウチ」と「ヨツ」の区別である。 (1) (2)	1発音 2表記
599	香港 20 自由作文 3	つまり、文字のフィルターを <u>通</u> <u>じ</u> て <u>言</u> 葉の形象を頭に <u>描</u> <u>ぐ</u> <u>こ</u> <u>と</u> 。 (2) (3) (1)	1発音 V 2表記 3ム ード 名詞節
600	香港 20 自由作文 6	漢語を全部 <u>消</u> <u>け</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>ば</u> 、文章を読む時、必ず一字一字 <u>呼</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>想</u> <u>像</u> <u>力</u> <u>を</u> <u>伸</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>作</u> <u>者</u> <u>の</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>に</u> <u>至</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>推</u> <u>測</u> <u>す</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1V 受身 2表記
601	香港 20 自由作文 12	特に徳川家康の江戸時代に二百年くらい鎖国政策を設け た後、日本人は外の世界を <u>接</u> <u>触</u> の <u>機</u> <u>会</u> は <u>ほ</u> <u>と</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ート/ーニ 2表記 3取立 *ハ/ー ガ
602	香港 21 短文作文 8	香港は小 <u>い</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ど</u> <u>も</u> <u>観</u> <u>光</u> <u>地</u> <u>も</u> <u>多</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>一</u> <u>日</u> <u>だ</u> <u>け</u> <u>見</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1表記 2取立 格 *O / ーテ
603	香港 21 短文作文 17	彼は英語 <u>が</u> <u>も</u> <u>ち</u> <u>ろ</u> <u>ん</u> 、フランス語にドイツ語 <u>か</u> <u>ス</u> <u>ペ</u> <u>ー</u> <u>ン</u> <u>語</u> <u>も</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、外国へ旅行することは問題 <u>が</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3)	3表記 2並N 1取立 * ガ/ーハ
604	香港 23 短文作文 2	夫の立場からみると、週休三日制は <u>確</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	表記
605	香港 23 短文作文 17	食物がたくさんあって、なかなか <u>食</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>や</u> <u>む</u> <u>を</u> <u>え</u> <u>ず</u> <u>に</u> <u>捨</u> <u>て</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1表記 2副用
606	香港 24 自由作文 4	それは「人類」は「ひとのたぐい」と「すべてのひと」 という意味を <u>示</u> <u>め</u> <u>す</u> <u>わ</u> <u>け</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1表記 2ムード

第2章 文字論

607	香港 26 自由作文 6	漢字の訓読みの <u>廃止</u> すれば、 <u>混乱な</u> <u>情況</u> をおこりましよう。 (1) (2) (3)	1品詞(N/-V) 2表記 格 3*ヲ/-ガ
608	フランス 1 自由作文 7	ところで <u>一生</u> <u>け</u> <u>命</u> 筑波大学で一年半で言語学、形式名詞の <u>こと</u> を勉強してから <u>たぶん</u> <u>言語学者</u> に <u>なるか</u> という <u>気望</u> <u>が</u> <u>あります</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1発音 表記 2Ad 副用 3VP 4表記 5V
609	フランス 1 自由作文 8	そうできれば自動翻訳の <u>プログラム</u> を <u>成り</u> <u>と</u> <u>げ</u> <u>る</u> ようになるかも知れない。 (1) (2)	1表記 2複 V VP
610	フランス 2 自由作文 4	にほんごにはフランスごにない <u>ニューアンス</u> <u>が</u> <u>たくさ</u> <u>なる</u> からです。 (1) (2)	1,2発音 表記
611	イラン 1 パターン作文 4	イラン <u>人</u> もよく <u>ごはん</u> を <u>た</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>が</u> 、イランの <u>米</u> と日本の米の違いはつくりかたです。 (1) (2) (3) (4)	1表記 2発音 3*テイル/-ール 4N
612	マレーシア 2 自由作文 4	私の <u>学</u> <u>こ</u> <u>う</u> は <u>大</u> <u>く</u> <u>ば</u> にあります。 (2)	1,2表記
613	マレーシア 2 自由作文 9	<u>学</u> <u>こ</u> <u>う</u> は <u>ま</u> <u>い</u> <u>朝</u> <u>九</u> <u>時</u> <u>十</u> <u>三</u> <u>ふ</u> <u>ん</u> <u>ち</u> <u>ょう</u> <u>ど</u> は <u>じ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1,2表記 3Ad 副用 4格 *0/-ニ
614	マレーシア 4 自由作文 4	背中には、かめのような <u>固い</u> 甲があり、 <u>尻</u> <u>り</u> には、 <u>尾</u> <u>り</u> <u>が</u> <u>か</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1表記 2VP
615	マレーシア 4 自由作文 11	<u>次</u> <u>ぐ</u> 、子供やおびめ様などを殺して、海岸へ持って行って、海水で洗ってから <u>あ</u> <u>お</u> のまま食べます。 (1) (2)	1表記 2N
616	マレーシア 6 自由作文 2	いつか私が月へ行きたいのはわすれてしまった <u>だけ</u> <u>ど</u> 、その時から、もし、私が <u>ほん</u> <u>ど</u> <u>う</u> に月へ行けたら、 <u>寿</u> <u>命</u> <u>が</u> <u>十</u> <u>年</u> を <u>短</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>か</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> と <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1スタイル 2表記 3*ヲ/-0 4活用 (V)
617	マレーシア 6 自由作文 5	人間は <u>太</u> <u>空</u> に対して、ほとんどわからないで <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1表記 2*アル/-イル
618	マレーシア 8 自由作文 16	私の国で、人気が一番多いスポーツは <u>フット</u> <u>ボ</u> <u>ー</u> <u>ド</u> ですが、ほかのスポーツもたくさんの人々がやります。	表記
619	マレーシア 8 自由作文 17	例えば、卓球、バドミントン、バスケットボール、 <u>テ</u> <u>ン</u> <u>ニ</u> <u>ス</u> 、 <u>ボ</u> <u>ー</u> <u>ワ</u> <u>リ</u> <u>ン</u> <u>グ</u> 、水泳など、いろいろなスポーツがあります。 (1) (2)	1,2表記
620	マレーシア 9 自由作文 4	もし、私は <u>国</u> <u>際</u> の <u>国</u> <u>際</u> <u>経</u> <u>済</u> <u>学</u> <u>者</u> だったら、 <u>そ</u> <u>の</u> <u>時</u> 、 <u>各</u> <u>国</u> の <u>経</u> <u>済</u> <u>学</u> <u>者</u> と <u>一</u> <u>緒</u> に <u>会</u> <u>議</u> を <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>種</u> <u>種</u> の <u>原</u> <u>因</u> を <u>さ</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>研</u> <u>究</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> 、 <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>解</u> <u>決</u> <u>方</u> <u>法</u> を <u>使</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>い</u> <u>っ</u> <u>か</u> <u>世</u> <u>界</u> の <u>経</u> <u>済</u> を <u>平</u> <u>隠</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ハ/-ガ 2N 3複 N 4C 5発音 表記 6V(活用)
621	マレーシア 10 自由作文 3	<u>あ</u> <u>の</u> <u>ご</u> <u>ろ</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>て</u> 、 <u>な</u> <u>ぜ</u> <u>日</u> <u>本</u> へ <u>経</u> <u>済</u> を <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>く</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。 (1) (2)	1発音 表記 2V *ル/-タ
622	マレーシア 11 自由作文 5	毎日天気予報を聞いたら、かさとか、 <u>レ</u> <u>イ</u> <u>ン</u> <u>ー</u> <u>コ</u> <u>ト</u> とか、 <u>ホ</u> <u>ー</u> <u>バ</u> とかの用意ができる。 (1) (2)	1表記 2発音 表記
623	マレーシア 11 自由作文 11	<u>教</u> <u>課</u> <u>書</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、昔の人々はいろいろな方法をする、 <u>そ</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>あ</u> <u>す</u> の <u>天</u> <u>気</u> を <u>予</u> <u>知</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> 、 <u>う</u> <u>え</u> <u>に</u> 、 <u>天</u> <u>気</u> <u>予</u> <u>報</u> の <u>重</u> <u>要</u> <u>性</u> <u>が</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1表記 2格 *にヨッテ /-にヨルト 3N

624	マレーシア 12 自由作文 7	もし、天気予報がない ₍₁₎ 、農民と漁民は、 <u>こまりま</u> ₍₂₎ 。	1接 一条件 2発音 表記
625	マレーシア 14 自由作文 14	それで、天気予報がある <u>我々の生活に 役立つ</u> ₍₂₎ 。	1接 一条件 2表記
626	マレーシア 15 自由作文 4	「盆踊り」は、 <u>夏になると、日本人は 寄り集まっています</u> ₍₁₎₍₂₎ 、踊っています。」と書かれています。	1表記 2*テイル
627	マレーシア 15 自由作文 8	おばさんの <u>親切に</u> ₍₁₎ 話によると、それ <u>わ</u> ₍₂₎ 日本人 <u>と</u> ₍₃₎ 信仰 <u>に</u> ₍₄₎ 関係があるだろうと <u>思っています</u> ₍₄₎ 。	1活用(NA) *ニ/ーナ 2表記 3格 *ト /ーノ 連 4複 V
628	マレーシア 16 自由作文 7	その政策 <u>は</u> ₍₁₎ 、 <u>マレ人に 優待をします</u> ₍₂₎₍₃₎₍₄₎ 、例えば、会社 <u>をつくる時</u> ₍₁₎ 、 <u>四十四パーセントの 股権</u> ₍₅₎ <u>は</u> ₍₆₎ 、 <u>マレ人に</u> ₍₆₎ 、 <u>あげ</u> ₍₇₎ <u>なければなりません</u> ₍₇₎ 。	1格 *0は/ーデは 5 N 2,6表記 3格 *ニ/ ーヲ 4VP 7V
629	マレーシア 20 自由作文 11	<u>こいう</u> 仕事はやさしくて、あまり疲ない。	表記
630	マレーシア 21 自由作文 4	夏休みに、毎日暑い天気がつづいていた <u>あ</u> ₍₁₎ <u>から</u> ₍₂₎ 、 <u>厳し</u> ₍₃₎ <u>い暑さ</u> ₍₃₎ は、 <u>私</u> ₍₄₎ <u>マレーシア人だから我慢</u> ₍₄₎ <u>できる</u> ₍₄₎ 。	1表記 2接 3取立 *0 /ーハ
631	マレーシア 22 自由作文 21	今度の <u>経験中</u> ₍₁₎ <u>に</u> ₍₂₎ 、私の日本語 <u>は</u> ₍₃₎ <u>どんな</u> ₍₄₎ <u>に</u> ₍₅₎ <u>経た</u> ₍₅₎ <u>なほ</u> ₍₆₎ <u>と</u> ₍₆₎ <u>がわかりました</u> ₍₆₎ 。	1複 N 2格 *ニ/ーデ 3取立 *ハ/ーガ 4不 定 5表記 6名詞節
632	マレーシア 23 自由作文 4	これは、もちろん国の身内に <u>会いたが</u> ₍₁₎ <u>ら</u> ₍₁₎ <u>なれ</u> ₍₂₎ というわけではありません。	1複 V 2表記
633	マレーシア 23 自由作文 21	それは小さな工場で、NISSANSUNNYの車のスピード <u>メ</u> ₍₁₎ <u>ートル</u> ₍₂₎ <u>を</u> ₍₂₎ <u>やっています</u> ₍₂₎ 。	1表記 2V
634	マレーシア 23 自由作文 31	<u>つまり</u> ₍₁₎ 、この夏休みは、私に、 <u>だいぶ新鮮な感じを</u> ₍₁₎ <u>与え</u> ₍₂₎ <u>ます</u> ₍₂₎ 。	1C 2表記 受給
635	マレーシア 24 自由作文 6	時々、友達と一緒に、人間川で、野球や <u>サーカ</u> ₍₁₎ <u>を</u> ₍₁₎ <u>しました</u> ₍₁₎ 。	表記
636	マレーシア 24 自由作文 11	でも、図書館で <u>一</u> ₍₁₎ 、大部分の時間は、友達といろいろなことを、 <u>話</u> ₍₂₎ <u>した</u> ₍₃₎ <u>で</u> ₍₃₎ 、 <u>晩強</u> ₍₄₎ <u>が</u> ₍₄₎ <u>できません</u> ₍₄₎ <u>でした</u> ₍₄₎ 。	1取立 *で*0 /でーハ 2*タ /ーテイル 3ノデ 4表記
637	マレーシア 26 自由作文 8	夜も暑くて <u>眠られ</u> ₍₁₎ <u>ませんでした</u> ₍₁₎ 。	表記
638	マレーシア 27 自由作文 1	<u>私</u> ₍₁₎ <u>だち</u> ₍₁₎ 別科生の夏休みは、大学生より一か月 <u>短</u> ₍₂₎ <u>い</u> ₍₂₎ <u>で</u> ₍₂₎ 、八月九日から九月七日までだった。	1発音 表記 2活用(A))
639	マレーシア 27 自由作文 6	それで、私の夏休みは <u>だ</u> ₍₁₎ <u>い</u> ₍₁₎ <u>だ</u> ₍₁₎ <u>い</u> ₍₁₎ このガソリンスタンド <u>で</u> ₍₂₎ <u>通</u> ₍₃₎ <u>った</u> ₍₃₎ <u>ばかり</u> ₍₃₎ <u>だ</u> ₍₃₎ <u>った</u> ₍₃₎ 。	1発音 表記 2格 *デ/ ーニ 3*タ /ール
640	マレーシア 27 自由作文 9	また、日本語がまだへた <u>だ</u> ₍₁₎ <u>か</u> ₍₁₎ <u>ら</u> ₍₁₎ 、ガソリンスタンドの <u>社</u> ₍₂₎ <u>長</u> ₍₂₎ <u>だ</u> ₍₂₎ <u>ち</u> ₍₂₎ <u>に</u> ₍₂₎ <u>ご</u> ₍₃₎ <u>ま</u> ₍₃₎ <u>る</u> ₍₃₎ <u>こ</u> ₍₃₎ <u>と</u> ₍₃₎ <u>を</u> ₍₃₎ <u>い</u> ₍₄₎ <u>っ</u> ₍₄₎ <u>ぱ</u> ₍₄₎ <u>い</u> ₍₄₎ <u>あ</u> ₍₄₎ <u>げ</u> ₍₄₎ <u>た</u> ₍₄₎ 。	1*ル /ータ 2,3発音 表記 4V
641	マレーシア 27 自由作文 14	大変 <u>ご</u> ₍₁₎ <u>ま</u> ₍₁₎ <u>る</u> ₍₁₎ <u>だ</u> ₍₁₎ 。	発音 表記
642	マレーシア 27 自由作文 21	夏の間、暑くて、図書館へ行った時、別科生 <u>だ</u> ₍₁₎ <u>ち</u> ₍₁₎ <u>は</u> ₍₁₎ <u>そ</u> ₍₁₎ <u>こ</u> ₍₁₎ <u>で</u> ₍₂₎ <u>話</u> ₍₂₎ <u>し</u> ₍₂₎ <u>た</u> ₍₂₎ <u>り</u> ₍₂₎ 、勉強したりして <u>行</u> ₍₂₎ <u>っ</u> ₍₂₎ <u>た</u> ₍₂₎ 。	1発音 表記 2V

第2章 文字論

643	マレーシア 28 自由作文 8	その <u>ディスコ</u> は新しく、 <u>大さ</u> はアジアの中で、 <u>第三</u> <u>大</u> と言われています。 (1) (2) (3)	1,2表記 3N
644	マレーシア 28 自由作文 13	一つ私にとって、おどろいたことはクアラルンプールで、 今とても日本製品 <u>を</u> はやっています、 <u>例るなら</u> 、日 本 <u>旅客</u> もかなり <u>デパート</u> とで <u>多く</u> <u>見</u> えました。 (4) (5) (6) (7) (8)	1格 *ヲ/ーガ 2一名 詞節 3C 4N 5表記 6 副用 7V
645	マレーシア 28 自由作文 18	その中は、 <u>娯系</u> 場所や <u>ホテル</u> や <u>スポーツ設</u> などが 入っていて、一番人気があるのは有名な <u>カジノ</u> で、いっ ぱい <u>ホテル</u> の中 であります。 (1) (2) (3) (4)	1N 2表記 3表記 複 N 4格 *デ/ーニ
646	マレーシア 28 自由作文 25	その <u>次日</u> 、私たち <u>が</u> <u>ジョギング</u> をし、温水のプール へ泳ぎに行き、とても楽しかったです。 (1) (2) (3)	1N 2取立 *ガ/ーハ 3表記
647	マレーシア 29 自由作文 9	マレーシアは <u>マシー系</u> と中国系とインド系の民族 <u>とし</u> <u>て</u> 、ほかの少数民族と <u>組合</u> います。 (1) (2) (3)	1表記 2格 *とシテ/ ート 3V
648	マレーシア 30 自由作文 6	中国人やインド人などの生活水準は <u>マレ人</u> より、 <u>もっ</u> <u>と</u> 高いです。 (1) (2)	1表記 2Ad 副用
649	スペイン 1 自由作文 3	日本のシステムは <u>オーダー</u> があります。	表記 発音
650	スペイン 1 自由作文 7	お酒を飲む男の人は大い、女の人と <u>えらべた</u> 時。	表記 発音 &表現
651	スペイン 2 聴解要約 2	東京へ <u>帰</u> えてから、大家さんの家に行った。	発音 表記
652	スペイン 2 パターン作文 12	また、日本語の勉強を <u>よく</u> <u>がんば</u> らなければなりません、 ほしい本 <u>を</u> <u>スペイン語</u> で <u>ない</u> <u>だ</u> からだと <u>思</u> います (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) 。	2表記 5ダ 6表現 3取 立 *0/ーハ1副用 4 活用(A)
653	フィリピン 1 パターン作文 7	そして、日本の筑波大学へ <u>帰</u> ました。 (1) (2)	1C 2表記
654	ナイジェリア 1 聴解要約 9	それからヤンさんと <u>太郎</u> さは秋葉原へいった。	表記
655	ナイジェリア 1 聴解要約 10	そして <u>ステリオ</u> ラジカセをかった。	表記 発音
656	ナイジェリア 1 パターン作文 1	ナイジェリアのめんせきの方が日本 <u>の</u> より <u>大い</u> です。 (1) (2)	1ノ代 2表記
657	ナイジェリア 1 パターン作文 2	日本の農業とナイジェリアの農業 <u>に</u> <u>へら</u> べると、おも しろい <u>な</u> <u>か</u> である。 (3) (4)	2表記 3不定詞 1格 * ニ/ーヲ 4*ダ
658	ナイジェリア 1 パターン作文 3	どうぶつと人間のサラダの違いは、どうぶつのサラダが サラダの油 <u>と</u> いろいろな <u>えい</u> よ <u>使</u> わないということ (1) (2) (3)	1並N *ト/ーヤ 2表 記 3格 *0/ーヲ
659	ナイジェリア 1 パターン作文 13	砂漠から <u>の</u> <u>モノスーン</u> の風がふくとさむくて <u>かん</u> そし <u>ま</u> す。 (1) (2) (3)	2表記 3発音 1ノ連
660	メキシコ 1 自由作文 4	早速ですが、一ヶ月前に山本さん <u>に</u> <u>貸</u> してあげた「現代 教育学の基礎」という本を読むのは <u>必要</u> としているので 一時返して <u>ま</u> らい <u>たい</u> ですがご都合はよろしいでし (3) (4)	1表記 2VP 3発音 表 記 4ーのだ

661	イギリス 1 自由作文 4	英国の会社ではお茶をいれる <u>の</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>ティーラーデー</u> _{(1) (2) (3)} と言います。	1ノ連 3発音 表記 2 格 *ガ/ーヲ
662	オーストラリア 1 聴解要約 4	<u>ここ</u> <u>で</u> <u>かれ</u> <u>は</u> <u>切手</u> <u>お</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>そ</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>手</u> <u>紙</u> <u>を</u> <u>だ</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> _{(1) (2) (3)} た。	1コソア 2表記 3C
663	オーストラリア 2 自由作文 1	<u>オースタ</u> <u>リ</u> <u>ア</u> <u>の</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>。</u>	表記
664	インド 5 自由作文 6	ひきだしの中に <u>パス</u> <u>ポ</u> <u>ト</u> と日記と写真と手紙とお金と _{(1) (2)} 英語の本があります。	1取立 *0 /ーハ 2発音 表記
665	インド 5 自由作文 7	机のたなに <u>英語</u> <u>の</u> <u>辞</u> <u>書</u> <u>と</u> <u>ティ</u> <u>ッ</u> <u>シ</u> <u>ュ</u> <u>ペ</u> <u>ー</u> <u>ペ</u> <u>ー</u> <u>と</u> <u>コ</u> <u>ッ</u> <u>プ</u> ₍₁₎ と <u>ス</u> <u>タ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>ー</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u>	1取立 *0 /ハ 2発音 表記
666	インド 7 自由作文 17	机の隣に <u>べ</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> _{(1) (2)}	1取立 *0 /ーハ 2表記
667	インド 8 自由作文 12	<u>後</u> <u>の</u> <u>か</u> <u>べ</u> <u>に</u> <u>門</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> _{(1) (2)}	1表記 2N
668	インド 9 自由作文 18	その事をせんばいに <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>彼</u> <u>は</u> <u>一</u> <u>万</u> <u>四</u> <u>千</u> <u>円</u> <u>の</u> <u>屋</u> <u>代</u> _{(1) (2)} <u>の</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>は</u> <u>そ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> _{(3) (4) (5)}	1V, 接 *テ形/ート 2N 3発音, 表記 4ム ード 5*のだ/ー0
669	インド 15 自由作文 6	こたつの上に <u>電</u> <u>器</u> <u>ス</u> <u>タ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u>	表記
670	インド 15 自由作文 8	本箱の中 <u>で</u> <u>本</u> <u>を</u> <u>排</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>上</u> <u>に</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>へ</u> <u>来</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>秋</u> <u>葉</u> _{(1) (2) (3) (4)} <u>原</u> <u>で</u> <u>買</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>テ</u> <u>レ</u> <u>ビ</u> <u>と</u> <u>覚</u> <u>目</u> <u>ど</u> <u>け</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> ₍₅₎	1格 *デ/ーニ 2表記 3複 V 接 4* タ/ーテ 5表記
671	インド 15 自由作文 13	<u>か</u> <u>べ</u> <u>で</u> <u>カ</u> <u>レ</u> <u>ン</u> <u>ー</u> <u>タ</u> <u>が</u> <u>は</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> _{(1) (2)}	1格 *デ/ニ 2表記
672	インド 15 自由作文 16	<u>屋</u> <u>代</u> <u>は</u> <u>毎</u> <u>月</u> <u>計</u> <u>で</u> <u>3</u> <u>万</u> <u>2</u> <u>千</u> <u>え</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> _{(1) (2) (3)}	1N 2熟語 3表記
673	インド 16 自由作文 5	料理台のそばに冷蔵庫が <u>あ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u>	表記
674	インド 17 自由作文 20	このあいわのラジカセは、東武 <u>デ</u> <u>ー</u> <u>パ</u> <u>ト</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> _{(1) (2)}	1表記 2格 *カラ/ー デ
675	インド 19 自由作文 11	私の国 <u>に</u> <u>の</u> <u>地</u> <u>図</u> <u>が</u> <u>は</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u>	表記
676	インド 19 自由作文 18	そしてむらさき <u>か</u> <u>ー</u> <u>テ</u> <u>ン</u> <u>が</u> <u>は</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> _{(1) (2) (3)}	1複 N 2表記 3V
677	インド 20 自由作文 11	ですから、いえの <u>ま</u> <u>お</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>大</u> <u>変</u> <u>清</u> <u>潔</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> _{(1) (2)}	1表記 2取立 *ニ/ー ハ
678	インド 20 自由作文 14	ですから、 <u>屋</u> <u>の</u> <u>台</u> <u>所</u> 、 <u>冷</u> <u>蔵</u> <u>庫</u> 、 <u>洗</u> <u>濯</u> <u>機</u> 、 <u>な</u> <u>ど</u> <u>の</u> <u>用</u> <u>品</u> <u>は</u> ₍₁₎ <u>大</u> <u>分</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>で</u> <u>使</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> ₍₂₎	1表記 2Ad 副用
679	インド 20 自由作文 18	<u>そ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>住</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>う</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> _{(1) (2)}	1表記 2A
680	インド 21 自由作文 3	静かで <u>ち</u> <u>ょう</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u>	表記
681	インド 22 自由作文 8	ほんばこは、 <u>ス</u> <u>イ</u> <u>ツ</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u>	表記
682	インド 22 自由作文 19	<u>か</u> <u>び</u> <u>の</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> 、 <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>花</u> <u>が</u> <u>入</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u>	表記

第2章 文字論

683	インド 22 自由作文 21	たす のなかに、シャツやスカートやズボンなどが入れています。	表記
684	インド 22 自由作文 23	私は、勉強 <u>する</u> 時、机を使います。	表記
685	インド 22 自由作文 27	ドーア <u>反対</u> がわのかべに、とけいがかけて <u>います</u> 。	1表記 2-ノ連 3複 V
686	インド 23 自由作文 7	テレビ、冷蔵庫、 <u>電気斧</u> など電気用品は自分で秋葉原で買って来ました。	表記
687	インド 24 自由作文 31	教科書は乱雑になり <u>まり</u> た。	表記
688	インド 24 自由作文 32	特に、 <u>実力</u> <u>テスト</u> の時、いつも邪魔になって来ました。	表記
689	インド 27 自由作文 5	どうして彼女は <u>私</u> の勉強に反対を <u>しました</u> 。	1表記 2ムード -ノ ダ
690	インド 29 自由作文 10	おじいさんにいろいろな <u>手伝</u> を <u>やって</u> あげました。	1表記 2V
691	インド 31 自由作文 7	駅で電車を待つ時もむこう の <u>大きな</u> 広告看板が見える、電車の中で <u>なんか</u> 吊り皮についているとか天井に掛けて、 <u>貼</u> っている <u>広告</u> も <u>少なく</u> ない。	1格 *ノ連/-ニ 2不 定 3複 N 4表記
692	インド 32 自由作文 11	最近、毎日 <u>も</u> <u>チョコ</u> <u>レット</u> と <u>アイス</u> <u>クリーム</u> を一本ずつ食べています。	1取立 *モ/-O 2,3 発音 表記
693	インド 32 自由作文 13	これから、食べ物 <u>の</u> <u>スケ</u> <u>チュ</u> を使って、必ず <u>スケ</u> <u>チ</u> <u>ュ</u> <u>ー</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>み</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。	1,2発音 表記 3V
694	インド 33 自由作文 2	ハイロン・キャイラというひとは目もみえないしみもきこえないし、話も <u>は</u> <u>き</u> <u>り</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	発音 表記 品詞 副 用 Ad
695	インド 33 自由作文 4	「私はくつがない <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 、 <u>ず</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>あ</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>人</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>た</u> <u>日</u> <u>ま</u> <u>で</u> 。」	1*ノ連/-O 2発音 表記 品詞 語順 3*タ/-ル
696	インド 34 自由作文 4	<u>その</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>ま</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>授</u> <u>教</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>無</u> <u>理</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1コソア 副用 2格 * ニ/-O 3表記 4*タ/ -ル
697	インド 36 自由作文 9	日本語を <u>習</u> <u>う</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>必</u> <u>死</u> <u>に</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>態</u> <u>度</u> <u>は</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>へ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>っ</u> <u>き</u> <u>り</u> <u>感</u> <u>じ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1VP 接 2*ル/-タ 3 複 V 発音 表記
698	インド 37 自由作文 3	ひまなときは、自動車洗車 <u>中</u> <u>心</u> <u>に</u> <u>アル</u> <u>バ</u> <u>ー</u> <u>ト</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1N 2表記
699	インド 39 自由作文 15	子供 <u>時</u> 、 <u>お</u> <u>弟</u> <u>は</u> 、 <u>林</u> <u>に</u> <u>蚊</u> <u>を</u> <u>か</u> <u>み</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1-ノ連 2表記 3格 * ニ/-デ
700	インド 40 自由作文 27	<u>ほん</u> <u>と</u> <u>に</u> <u>恥</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	表記
701	インド 41 自由作文 10	雨なら、家の前 <u>に</u> <u>サ</u> <u>ッ</u> <u>カ</u> <u>を</u> <u>す</u> <u>る</u> 。	1格 *ニ/-デ 2表記
702	インド 41 自由作文 12	風の季節がくると、 <u>た</u> <u>こ</u> <u>を</u> <u>遊</u> <u>ぶ</u> 、近くには広場があるから、みんなと <u>た</u> <u>こ</u> <u>を</u> <u>作</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> 、 <u>た</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> 、 <u>大</u> <u>き</u> <u>さ</u> 、 <u>高</u> <u>さ</u> <u>を</u> <u>比</u> <u>べ</u> <u>る</u> 、そして、 <u>リ</u> <u>ー</u> <u>ダ</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	1格 *ヲ/-デ 2N 3 表記 4V

2. 文字論 [表記]

703	インド 42 自由作文 3	あとで、忙しくなっ <u>たら</u> 、毎日、 <u>ほとんど</u> 家へ帰ら <u>ない</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1C 2接 *タラ/ーテ 形 3表記 4スタイル
704	インド 43 自由作文 2	かぜは、昔から「 <u>万年病</u> 」といわれ <u>ま</u> います。 (1) (2)	1N 2表記
705	インド 44 自由作文 1	心に残 <u>ま</u> 本。	表記
706	インド 46 自由作文 3	というのは、ちちは <u>工*</u> を持っていますから、 <u>開業</u> か <u>ら</u> いつも自分でいろいろな仕事をやりました。 (1) (2) (3)	1C 2表記 3ーテ形
707	インド 49 自由作文 3	父の工場で、 <u>日本制</u> の機械を使って、精密な <u>製品</u> を作ります。 (1) (2)	1,2表記
708	インド 49 自由作文 9	日本の工業や技術が <u>速</u> っています。	表記
709	インド 50 自由作文 6	私は広告写真について非常に <u>趣味</u> がある人です、 <u>と</u> いうのは広告写真は商業と芸術を <u>つ</u> ないでいわゆる商業設計で、いま私の国には、 <u>そ</u> う <u>人</u> 才はあまり <u>多</u> くては <u>あ</u> りません。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1N 2表現 3*テ形 体 修 4発音 5表記 6*テ 形 7取立 *ハ/ーO
710	インド 51 自由作文 7	それで国の経済成長 <u>に</u> 対して <u>大</u> き <u>影*</u> が <u>当</u> えてしま <u>う</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *O /ーニ 2発音 3格 *ガ/ーヲ4表記
711	インド 54 自由作文 17	もし、李さんが <u>死</u> な <u>か</u> たら、現在は、偉大な科学者にな <u>っ</u> たか <u>も</u> し <u>れ</u> ない。 (1) (2)	1表記 活用 2スタイル
712	フィンランド 1 自由作文 6	台所に小さい <u>本</u> 本 <u>せ</u> いのれいぞうこがあります。 (1)	表記
713	フィンランド 1 自由作文 10	れいぞうこの <u>後</u> はかべで大きいハワイの <u>し</u> ゃ <u>し</u> んがかけ <u>て</u> あります。	表記
714	フィンランド 1 自由作文 16	アパートの <u>サ</u> イズは一人ですむのに <u>丁</u> どいいです。 (1) (2)	1N 2表記
715	フィンランド 4 自由作文 14	枕の左側には <u>電</u> 気 <u>ス</u> ク <u>ン</u> ド <u>で</u> す。 (1) (2)	1表記 2*ダ
716	フィンランド 8 自由作文 10	<u>ス</u> ト <u>ブ</u> が <u>有</u> たら、 <u>使</u> う <u>こ</u> とが便利です。 (1) (2) (3)	1,2発音 表記 3*コト /ーホウ
717	フィンランド 8 自由作文 16	もし、いつも <u>お</u> かいとか、 <u>ケ</u> ーキとか、 <u>ク</u> ー <u>キ</u> を食べ、 <u>ビ</u> ールとか <u>お</u> 酒をいつも飲み、 <u>外</u> の <u>こ</u> とは、 <u>体</u> が <u>ふ</u> っ <u>せ</u> い <u>だ</u> ったら、 <u>病</u> 気になる <u>こ</u> とが <u>簡</u> たんです。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1,2,5発音 表記 3Ad 4N 6名詞節7取立 * ガ/ーハ
718	フィンランド 8 自由作文 18	もし、私たちが注意したら、たとえば、ゆっくりねて、 <u>ス</u> ト <u>ブ</u> を使って、あたたかい <u>ふ</u> くを <u>き</u> って、 <u>良</u> く <u>食</u> べ <u>て</u> 、あまり <u>病</u> 気になら <u>な</u> ので、 <u>体</u> が <u>強</u> いはず <u>で</u> す。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,2発音 表記 3接 *テ 形/ー条件 4取立 * ガ/ーハ 5複V

3. 語彙論

3.1. 品詞の取り違え

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
719	台湾 1 パターン作文 9	たとえば、視覚 <u>デザイ</u> の方 <u>ば</u> 日本語より <u>面白い</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1表記 発音 2発音 取立 *ハ /ーガ 3品 詞 (*NA /ーA) 4ダ スタイル
720	台湾 1 パターン作文 12	四、五月で <u>梅雨</u> が <u>できる</u> 、湿度が <u>高い</u> <u>だ</u> 、そして、 <u>あの</u> <u>時</u> 、 <u>かび</u> が生える。 (1) (2) (3) (4)	4コソア 2V 1格 *デ /ーニ 3*ダ 品詞 (*NA /ーA)
721	台湾 1 パターン作文 17	日本語と専門科の違いは、日本語の文法 <u>が</u> <u>解りにくい</u> 、専門科 <u>が</u> 大学での、もう <u>習った</u> 、 <u>そした</u> <u>理解</u> <u>が</u> <u>や</u> <u>すい</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,3格 取立 *ガ /ーハ 2接ーガ 4*タ /ーテ イル 5接ーノデ 6品 詞 複V
722	台湾 1 パターン作文 18	六月から九月まで、たびたび、台風が台湾にくると、雨 も多いし、風も <u>強い</u> <u>だ</u> ので、 <u>災難</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	2品詞 (*NA /ーA) 1 接 (*ト) 3*タ /ール
723	台湾 2 聴解要約 6	<u>だから</u> 「 <u>見てもいい</u> <u>ますか</u> 」と <u>質問</u> <u>して</u> 、 <u>ヤン</u> <u>さん</u> <u>は</u> 「 <u>どうぞ</u> 」と <u>言</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	3接 テ形 1C 2品詞 * V /ーA
724	台湾 2 自由作文 12	<u>残</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>古</u> <u>い</u> <u>物</u> <u>は</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>保</u> <u>存</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>こ</u> <u>わ</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>た</u> <u>し</u> 、 <u>さ</u> <u>ら</u> <u>に</u> <u>モ</u> <u>ー</u> <u>ダ</u> <u>ン</u> <u>の</u> <u>型</u> <u>を</u> <u>付</u> <u>け</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,2 受身 3自他 活用(V) 4並V 5品詞 *N/ ーNA 6VPーテイル
725	台湾 3 自由作文 3	中学生の時には <u>暇</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>友</u> <u>達</u> <u>と</u> <u>一</u> <u>緒</u> <u>に</u> <u>自</u> <u>転</u> <u>車</u> <u>で</u> <u>郊</u> <u>外</u> <u>へ</u> <u>行</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	品詞 *N /ーNA
726	台湾 3 自由作文 11	<u>そして</u> 、 <u>う</u> <u>る</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>や</u> <u>古</u> <u>典</u> <u>や</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>音</u> <u>楽</u> <u>の</u> <u>タ</u> <u>イ</u> <u>プ</u> <u>も</u> <u>す</u> <u>き</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2品詞 *N /ーA 3品詞 *Ad /ーNA 4 語順 5ーダ
727	台湾 5 自由作文 9	<u>そう</u> <u>す</u> <u>と</u> 、 <u>私</u> <u>の</u> <u>学</u> <u>問</u> <u>を</u> <u>研</u> <u>究</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>を</u> <u>是</u> <u>正</u> <u>に</u> <u>役</u> <u>立</u> <u>つ</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1接 条件 *ト /ーバ 2 格 *ヲ /ーノ 3品詞 * V /ーN
728	台湾 12 自由作文 3	先週久美子さんからの <u>お祝い</u> の手紙 <u>が</u> <u>見</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>の</u> <u>お</u> <u>世</u> <u>話</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>非</u> <u>常</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>が</u> <u>と</u> <u>う</u> <u>ご</u> <u>ざ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ガ /ーヲ 2スタ イル 3品詞 *N /ー NA
729	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文 <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> 、 <u>私</u> <u>に</u> <u>二</u> <u>冊</u> <u>の</u> <u>高</u> <u>校</u> <u>及</u> <u>び</u> <u>中</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>の</u> <u>歴</u> <u>史</u> <u>教</u> <u>科</u> <u>書</u> <u>を</u> <u>貸</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>近</u> <u>頃</u> <u>私</u> <u>も</u> <u>ち</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>ど</u> <u>参</u> <u>考</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>す</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>久</u> <u>美</u> <u>子</u> <u>さん</u> <u>は</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> <u>今</u> <u>週</u> <u>の</u> <u>金</u> <u>曜</u> <u>日</u> <u>ち</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>ど</u> <u>返</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	1* /連ーV 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V/ ーN 6*ダ 7取立 *ハ /ーガ、サエ 8スタ イル 9格 *0 /ーニ
730	台湾 12 自由作文 8	<u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>の</u> <u>お</u> <u>世</u> <u>話</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	品詞 *N /ーNA
731	台湾 12 自由作文 16	乱筆 <u>お</u> <u>許</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> 。	品詞 *V /ーN
732	台湾 13 自由作文 5	しかし、 <u>輸</u> <u>入</u> <u>盤</u> <u>で</u> 、 <u>高</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>結</u> <u>局</u> 、 <u>買</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	品詞 *NA /ーA
733	台湾 16 自由作文 10	しかし、最近 <u>は</u> <u>成</u> <u>人</u> <u>の</u> <u>野</u> <u>球</u> <u>は</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>お</u> <u>お</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>観</u> <u>衆</u> <u>も</u> <u>お</u> <u>お</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	品詞 *NA /ーA

734	台湾 22 自由作文 14	温泉に入るのは日本で <u>始める</u> のでほんとうに気持ちいいです。	品詞 *V/-N
735	台湾 23 自由作文 4	店長さんと社員たちは私たちにとても <u>親切</u> にくれました。	品詞 *V/-NA
736	台湾 25 自由作文 9	しかし、ふたりの心情はいつも <u>愉快</u> を持っていました。	1品詞 *NA/-N & 表現
737	台湾 25 自由作文 12	<u>そんなに</u> <u>悲惨</u> の 映画を <u>見た</u> <u>当時</u> わたしまで涙を流しました。 (1) (2) (3)	1コソア 2品詞 *N/-NA 3接 *体修 /-テ形
738	中国 3 絵を見ての作文 4	その時、運転手の気持ちが <u>うれ</u> していました。	品詞(A)
739	中国 6 自由作文 12	ですから、来年の大学院入学試験を受けるために、 <u>いろ</u> <u>いろ</u> の 科目を <u>始め</u> に 勉強しなければ <u>なら</u> ない。 (1) (2) (3)	1品詞 *N/-NA 2Ad 副用 3スタイル
740	中国 9 自由作文 8	日本は光学 <u>は</u> <u>発</u> 達だ。 (1) (2)	1取立 *ハ/-ガ 2品詞 *NA/-V
741	中国 12 自由作文 11	すると、警察官に <u>き</u> びしい 質問されました。「名前 <u>は</u> 」 、「国籍」、「保証人」、「住所」、「勤務先」、「 <u>そ</u> の電話番号」、 「身元証明書」など、いろいろ <u>言</u> いつめられました。 (1) (2) (3)	1品詞 *A/-Ad 2取立 *ハ/-O 3V
742	中国 12 自由作文 20	車は「駐車違反」とか、「信号違反」など、 <u>も</u> と <u>き</u> びし <u>い</u> だ そうです。 (1) (2)	1発音 2品詞 *NA/-A
743	中国 17 自由作文 4	<u>世</u> 界中 <u>で</u> も <u>有</u> 数な 大都市だと思っています。 (1) (2)	1複N 2品詞 *NA/-N
744	中国 19 自由作文 4	たとえば浮浪者 <u>が</u> <u>も</u> っとも不思議だと <u>思</u> っています <u>が</u> 、どうして、経済大国の日本 <u>に</u> は <u>こ</u> んなに <u>た</u> くさ <u>ん</u> な 浮浪者が <u>い</u> ますか。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1一名詞節 2格 *ガ/-ヲ 3活用 4-ノダ 5取立 に*ハ/に-O 6品詞 *NA/-N 7-ノダ
745	中国 22 自由作文 9	きょうはもう学校の冬休みの前の試験の <u>お</u> わな 日です。	品詞(*NA/-N)
746	中国 22 自由作文 14	しかし、話すこと <u>を</u> <u>心</u> 配します。 (1) (2)	1取立 *ヲ/-ハ 2品詞 (V/-NA)
747	中国 26 自由作文 15	それから、わたしはいつも <u>ほん</u> とな <u>に</u> ほんじんの <u>は</u> す <u>お</u> ん <u>を</u> したいとおもっています。 (1) (2)	品詞 *NA/-N 2発音
748	中国 38 自由作文 3	にほんごの <u>べん</u> きょう <u>だ</u> から です。 (1) (2)	1品詞 *N/-V 2- 名詞節 -タメ
749	中国 38 自由作文 10	にほんごのべんきょうは <u>か</u> く <u>や</u> <u>き</u> く <u>や</u> はなしなどが <u>お</u> い です。 (1) (2)	1-名詞節 品詞 *N/-V 2-名詞節 品詞 *N/-V
750	中国 41 自由作文 14	にちょうびはときどきにほんじんと <u>は</u> なす <u>を</u> します。	発音 品詞 *N/-V
751	中国 47 自由作文 8	うちで <u>お</u> おい <u>じ</u> かん <u>つ</u> かうます。 (1) (2) (3)	1副用 品詞 2格 *O/-ヲ 3発音
752	中国 48 自由作文 16	ざっしのなか <u>に</u> <u>わ</u> かりません <u>と</u> ころを <u>と</u> も <u>た</u> ち <u>に</u> <u>し</u> <u>つ</u> もん <u>を</u> ききます。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/-ノ連 2体修 活用(V) 3発音 4 品詞 *N/-V

第3章 語彙論

753	中国 49 自由作文 7	このがっこうのせんせいは <u>しんせつ</u> から、わたしの <u>きもち</u> いいです。 (1) (2)	1品詞 *A/-NA 2取立 *ノ連/-ハ
754	中国 57 自由作文 18	いろいろなしけん <u>には</u> わたしは <u>いちばん</u> <u>心配</u> の <u>しけん</u> <u>が</u> 日本語の文法のしけんです。 (1) (2) (3) (4)	1格 取立 *ニハ/-デ 2取立 *ハ/-ガ 3品詞 4取立 *ガ/-ハ
755	韓国 1 パターン作文 2	日本の交通手段はたいていマイカがありますから <u>便利</u> します。 <u>ます</u> 。	品詞(NA)
756	韓国 1 パターン作文 13	ですからソウルは常に <u>複雑</u> と考えます。	N 品詞(NA)
757	韓国 4 自由作文 8	ですから、日本と韓国の経済力を比べてみたとき韓国のほうが劣るのは <u>当然</u> することであると思います。	品詞 *V/-NA
758	韓国 5 自由作文 2	日本の物価と韓国 <u>物価</u> とをくらべると日本の物価 <u>が</u> <u>たくさん</u> <u>高い</u> である。 (1) (2) (3) (4) (5)	4品詞 *NA/-A 5ダ 1-ノ連 2熟語 -ノホウ 3Ad 副用
759	韓国 5 パターン作文 4	そして同じ漢字で意味が完全に <u>ちかい</u> のは <u>韓国</u> <u>には</u> 勉強の漢字は工夫です。 (1) (2)	1発音 品詞(*A/-V) 2格 *ニは/-デは
760	韓国 6 自由作文 3	ラジオは聞く <u>の</u> だけですがは <u>こぶ</u> <u>が</u> <u>便利</u> します。 (1) (2) (3)	1N *ノ 3品詞 *V/NA *N/-NA 2 休修 -ノ
761	韓国 6 自由作文 7	しかし テレビはラジオ <u>に対して</u> <u>サイズ</u> <u>が</u> <u>おおき</u> <u>い</u> <u>だけ</u> <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>は</u> <u>こぶ</u> <u>が</u> <u>不便</u> する。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 3ダ 2に*タイシテ 5品詞 *N/-NA *V/NA 4N -ノ
762	韓国 6 自由作文 9	いろいろな問題が <u>あります</u> から自分で考えてラジオとテレビを <u>選ぶ</u> しょう。 (1) (2)	1スタイル 2活用(V) 品詞 *N/-V
763	韓国 8 パターン作文 3	飛行機と船はみんな <u>危険</u> します。	品詞(*V/-NA) Ad
764	韓国 11 パターン作文 5	私と私の主人の違いは私が <u>毎時</u> を <u>いそぐ</u> と <u>こう</u> ことです。 (1) (2)	1品詞 副用 2表記
765	韓国 12 パターン作文 1	学園都市と他の都市 <u>が</u> <u>一番</u> <u>違い</u> は、学園都市は前もって都市計画が <u>できる</u> <u>だけ</u> 、他の都市は自然発生に <u>なる</u> ことです。 (1) (2) (3) (4) (5)	1ノ連 2品詞 3発音 -受身 4接 -にタイシテ/-ガ/-連用形 5V *ル/-テイル
766	韓国 12 パターン作文 2	pre f a b eの建設方法と在来式方法を調べると p r e f a b e 建設方法の方が建設費が <u>やすい</u> である。 (1) (2)	2ダ &スタイル 1品詞(A)
767	韓国 18 自由作文 3	現代 <u>には</u> <u>社会問題</u> <u>で</u> <u>登場</u> している <u>多い</u> <u>問題</u> が家庭の機能喪失に困って <u>超来</u> され <u>問題</u> ですから家族を通じて社会問題すなわち家族問題の解決方法について研究したいと思いました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニは/-Oは 2格 *デ/-ニ 3 V 4品詞 *A/-N -ノ連 5活用 V
768	韓国 22 自由作文 14	私はときどき寮のうけつけで日本の学生と <u>いろいろ</u> の日本語を話しています。	品詞 *N/-NA
769	韓国 24 自由作文 25	とにかく私はちょっとなまいきな <u>話す</u> かもしれませんが日本語について自信が <u>もっと</u> できました。 (1) (2)	1品詞 V/N 2副
770	韓国 26 自由作文 5	私のは <u>ほかに</u> の部屋より小さくて、6畳しかありません。	品詞 *Ad/-N 副用

3.1. 品詞の取り違え

771	韓国 26 自由作文 18	私と <u>ほかに</u> の友達はすきなテレビが買ってある <u>けど</u> 、 暇な時、 <u>本相</u> の上にのせているテレビをみます。	1品詞 *Ad/-N 2接 *ケド/-ノデ3表記
772	韓国 28 自由作文 16	彼女の善良の心を人々に知らせていた。	1品詞 *N/-NA *ノ 連 体修 2*テイル/ ータ
773	韓国 30 自由作文 5	そのうちに、自分で暇の時勉強した。	体修 品詞 *ノ/-ナ
774	韓国 30 自由作文 8	成年になった彼女も様々な困難のことがあったが、 結局、彼女は、 <u>成功な</u> <u>商業界の名人</u> になった。	1格 *O も/-ニも 2 品詞 *ノ/-ナ 3NA 4 N
775	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店をつくられて商業も盛ん ていま す。	1格 *ヲ/-ガ 2品詞 *V/-NA 3発音 表 記 *テイル/-ルタ
776	韓国 33 自由作文 9	最高の先進国だと言う日本で、 留學生活をつうじて、 正確で高度の学問は私の生活観や価値観や国家観に 役だてたいと思います。	1*トイウ 2-ノ連 3 品詞 *V /-NA 4取 立 *ハ /-ヲ
777	韓国 35 自由作文 10	そして経済的でも米国のつよいな力が韓国を おして います。	1カク *デ/-ニ 2品 詞 *NA/-A 3 V
778	アメリカ 1 パターン作文 10	そのこどもはおとなになる とき自分で自分の好きさ ら いことを決まされ ません。	3活用 V 1*ル/-タ 2品詞 *A/-N
779	アメリカ 2 自由作文 8	まず私がベルギーとイスラエルで 留學した時、普通の 人 間、時々友だちとしても親しく扱われたが日本 に 来ると 野蛮人、或は人間ではないだ と思 う 人 が 多 い で す。	1格 *デ/-ニ 2品詞 *NA/-A
780	インドネシア 1 自由作文 3	仕事時間は7時半から14時まで けれども10時半に20分 休 み し な が ら お 茶 を の み ま す。	1ダ 2品詞 *N/-V 3接 -テ形
781	インドネシア 2 パターン作文 4	なぜか、たぶんそれはインドネシアの国のほうが多 さ い で、 人 口 も い ろ い ろ で あ り、 日 本 の 人 口 が 一 つ だ け 日 本 人 だ か ら イ ン ド ネ シ ア の 人 口 の ほ う が 日 本 の 人 口 よ う り 多 さ い だ と お 思 い ま す。	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形/-ガ 5取立 *ガ/-ハ 6数 8品詞 *NA/-A 7発音
782	タイ 3 パターン作文 2	タイの仕事はいろいろの 仕 事 が あ り ま す。	品詞(*N/-NA)
783	香港 7 自由作文 60	たとえばにんげんはい、しょく、じゅうあるいは し ょう と す る ど う ぐ う は、 か れ の す む と ち の ふ う と に て き お お し て と く し ゅ に は つ た つ た 。	1品詞 *N/-V 2,3, 発音 4表記 5NA 副用
784	香港 15 短文作文 5	友達にこの書を く れ ま し た、 こ の 本 を 読 む こ と を 推 薦 だ で す か ら。	1受給 2品詞 *N/- V
785	香港 17 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も ス ペ ン 語 も で き、 で す か ら 心 配 し な い で、 外 国 旅 行 で き る。	2スタイル 4格 *O / -ガ 3品詞 *V /- N 1発音 表記
786	香港 19 短文作文 20	有名な大学を卒業した者は立身出世になるのか と い う と、 必 ず し も そ う で は な い。	品詞 (*NA /-V) VP (*にナル /-ス ル)

787	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間 <u>①</u> 文化交流が <u>②</u> 絶えずに <u>③</u> 行われて <u>④</u> ために、イギリス人は <u>⑤</u> 自分の言葉を <u>⑥</u> English のほう <u>⑦</u> National Language よりと <u>⑧</u> 言うのは、日本人の、閉塞性と <u>⑨</u> 極端的な 対照だろう。	1格 -デ N 発音 2副 用 3活用 5 語順 4取 立 *ハ/-ガ 6NA 品 詞
788	香港 20 短文作文 14	技術だけ言えば、彼は若い選手のように <u>①</u> すくれだ が、体力について見る限り、全盛期を過ぎた。	品詞 (*NA/-V)
789	香港 21 短文作文 10	一概には、子供たちは宿題をすることが <u>①</u> <u>②</u> すきない。	1副用 Ad 2品詞 活用 (NA)
790	香港 23 自由作文 20	自国の <u>①</u> 言語は「国語」とよぶのは <u>②</u> <u>③</u> 自然の 事である。	1N 2格 取立 *ハ/- ヲ 3品詞(*N/- NA)
791	香港 23 自由作文 21	歴史という点から見ると、江戸時代に国学を <u>①</u> <u>②</u> 積極的な 提唱だった。	1品詞 副用 2V
792	香港 23 自由作文 28	自国の文化の輸出に対する <u>①</u> 積極 ではない。	品詞(*N/-NA)
793	香港 23 自由作文 29	さらに、日本人は自国の文化に <u>①</u> 忠実の 感じがする。	品詞 *N/-NA
794	香港 24 自由作文 18	そして島国の性格を持って、 <u>①</u> 独立 になっている。	品詞(*N/-V)
795	香港 24 短文作文 3	<u>①</u> 美しさ はさておき、彼女も頭が <u>②</u> <u>③</u> いいだし、 <u>④</u> 真の 美人である。	1品詞 ダ 3副用 2表 現
796	香港 25 自由作文 14	このことは標準英語の普及の同一化と <u>①</u> <u>②</u> おなじよう で <u>③</u> <u>④</u> むずかしい である。	1副用 活用 2品詞 3 ダ スタイル
797	香港 25 短文作文 13	技術 <u>①</u> によって <u>②</u> 彼はまだ <u>③</u> 青年な <u>④</u> 運動員 と負けず、ところが、体力について見る限り、一番高い成就を <u>⑤</u> <u>⑥</u> 過こす ようである。	1格 *に ヨッテ/-に ツイテ 2品詞*NA/ -A NA 3N 4自他 *ル/-タ
798	香港 26 自由作文 6	漢字の訓読みの <u>①</u> 廃止 すれば、混乱な <u>②</u> <u>③</u> 情況 を おこりましよう。	1品詞(N/-V) 2表 記 格 3*ヲ/-ガ
799	香港 26 自由作文 14	つまり、明治維新以前 <u>①</u> <u>②</u> かなり 鎖国 です。	1副用 Ad 2品詞 *NA/-N
800	スリランカ 1 パターン作文 9	<u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> あ の 女 は「私のこい人に <u>④</u> <u>⑤</u> たたら いいですね」と <u>⑥</u> <u>⑦</u> かんがえて <u>⑧</u> たのし になりました。	1コソア 4発音 2N 3 取立 *ハ/-ガ 6品詞(*N/-A) 5 V
801	イラン 1 自由作文 2	ヨーロッパの生活と日本の生活の相違はいろいろありますが、まず、ヨーロッパで <u>①</u> <u>②</u> 物価はあまりたかく <u>③</u> <u>④</u> なくて、 <u>⑤</u> <u>⑥</u> とちがって 日本で <u>⑦</u> <u>⑧</u> 物価は <u>⑨</u> <u>⑩</u> たかくて、 <u>⑪</u> <u>⑫</u> これに <u>⑬</u> <u>⑭</u> 対して <u>⑮</u> <u>⑯</u> きゅうりょうは <u>⑰</u> <u>⑱</u> ひくいである。	1,4取立 で*O /で- ハ 2接 *テ形 /-連用 形 3表現 5接 *テ形 6 副用 7品詞 *NA/- A
802	イラン 1 自由作文 16	イランでは <u>①</u> <u>②</u> 校 の <u>③</u> <u>④</u> ふそく である。	&表現 1N 2品詞 *N /-V VP
803	マレーシア 5 自由作文 20	農民は親切に <u>①</u> 狩り 方法を教えてくれました。	品詞 *N/-V
804	マレーシア 7 自由作文 14	一方、この動物が、 <u>①</u> <u>②</u> きらいもの は <u>③</u> <u>④</u> 明るい 所 だ の である。	1品詞 *A /-NA 2* ダ

3.1. 品詞の取り違え

805	マレーシア 8 自由作文 20	先生から <u>各種な</u> スポーツのやりかたを <u>習って</u> もらいます。 (1) (2)	1品詞 *NA/-N 2V
806	マレーシア 9 自由作文 1	このごろ、世界の中の経済が <u>不隠定</u> とだれでもよく <u>わ</u> <u>かります</u> 。 (1) (2)	1品詞 *N/-NA 2V
807	マレーシア 9 自由作文 3	この問題 <u>が</u> <u>いろいろ</u> <u>関係</u> <u>がある</u> 、例えば、人々の <u>自私</u> <u>の心</u> 、 <u>国と国</u> の貿易戦争など <u>、</u> これらのために、 <u>世界</u> の経済がむかしよりわるくなっ <u>て</u> き <u>ます</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ガ/-ハ 2品 詞 *Ad/-NA3,4N 5 接 *0/-デ 6*0/- テイル
808	マレーシア 11 自由作文 7	<u>安心</u> で <u>仕事</u> <u>する</u> 。 (1) (2)	1品詞 *V/-N 2V
809	マレーシア 11 自由作文 9	もう一つは <u>あす</u> の天気予報、これは、 <u>さき</u> の方より、 よく <u>役</u> <u>く</u> <u>立</u> <u>ち</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1,2N 3熟語 品詞 4* ダ
810	マレーシア 13 会話作文 1	<u>それは</u> <u>学生</u> たちは自分の時間がないから、 <u>学校</u> に反感を 持っている時、 <u>宿題</u> <u>ら</u> のことは <u>全然</u> 注意しない <u>と</u> 、 <u>し</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>成</u> <u>績</u> <u>が</u> <u>退</u> <u>歩</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2品詞 3取立 *ハ /-ニ 4接 条件 *ト/ -カラ 5V
811	マレーシア 16 自由作文 15	<u>そう</u> すると、先生はみな <u>親切</u> しています。 (1) (2)	1C 2品詞 *N/-NA
812	マレーシア 17 自由作文 19	<u>だから</u> 、庶民の生活は、 <u>共和</u> 、 <u>進歩</u> になります。 (1) (2) (3) (4)	2N 4VP ムード 1C *ダカラ/-ソウス レバ 3品詞 *N/-V
813	マレーシア 18 自由作文 3	マレーシアで <u>、</u> お医者さんは一番金持ちだと思 <u>う</u> 、私 立の医院がたくさんある、 <u>し</u> <u>り</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>代</u> <u>が</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3)	2N 発音 3品詞 *NA/-A ダ 1取立 で*0/-で-ハ
814	マレーシア 18 自由作文 5	<u>日本</u> のと違 <u>う</u> 、日本では、 <u>国民</u> 保険がついている、 <u>約</u> <u>八</u> <u>十</u> パーセントの <u>治療</u> 代を返す、つまり、 <u>安</u> <u>い</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3)	1表現 接 -テ形 2語 順 数 3品詞*NA/- A ダ
815	マレーシア 18 自由作文 7	一方、日本では <u>進</u> <u>む</u> <u>な</u> <u>医</u> <u>療</u> <u>方</u> <u>法</u> 、 <u>機</u> <u>械</u> をよく <u>使</u> <u>う</u> 、 <u>と</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>医</u> <u>療</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>が</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1品詞 *NA/-A 2並 N 3接 -連用形 - ノデ VP 4発音 5*ガ /-ハ 5取立
816	マレーシア 18 自由作文 9	マレーシアで <u>、</u> おおきな病院 <u>が</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>新</u> <u>しい</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>使</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>い</u> 、国立病院でも、 <u>治療</u> 代が <u>高</u> <u>い</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立で*0 /で-ハ 2格 *ガ /-0 3取立 *ガしか /-0 しか 4 格 *0 /-ヲ 5品詞 *NA /-A
817	マレーシア 20 自由作文 8	でも雨になると、お客さんが大変 <u>少</u> <u>い</u> <u>だ</u> 。 (1) (2)	品詞 *NA/-A
818	マレーシア 20 自由作文 15	けれども、私の話はわかりにくい <u>だ</u> 、それで <u>は</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>漢</u> <u>字</u> を書いて、わかりやすくなった。 (1) (2)	1品詞 *NA/-A 2取 立 *ハ/-0
819	マレーシア 22 自由作文 8	東上線の沿線情報誌によるとある会社 <u>は</u> <u>男</u> <u>性</u> <u>が</u> <u>急</u> <u>募</u> <u>だ</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/-ガ 2格 *ガ/-ヲ 3品詞 *NA/-N 4ムード
820	マレーシア 22 自由作文 22	だから、毎日、 <u>いろいろ</u> な <u>読</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>り</u> 、 <u>友</u> <u>達</u> と日本語で話 したりするつもりです。	品詞 *NA/-A
821	マレーシア 25 自由作文 21	やさしいし、 <u>おもしろ</u> い <u>な</u> アルバイトでした。	品詞 *NA/A
822	マレーシア 27 自由作文 2	この間、 <u>いろいろ</u> の <u>わ</u> <u>け</u> <u>で</u> 、 <u>国</u> へ帰らな <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	品詞 *N/-NA

第3章 語彙論

823	マレーシア 27 自由作文 16	でも、 <u>変</u> の言葉もいっぱいならった。	品詞 *N / -NA
824	マレーシア 28 自由作文 1	私の夏休みには、 <u>なつかしく</u> の国へ帰った <u>こと</u> です。	1表現 2活用(A) 品詞 *N / -A 3名詞節
825	マレーシア 30 自由作文 9	<u>第</u> 、マレーシア <u>、</u> <u>発展中国</u> だから、 <u>経済成長</u> が遅れていますが、日本やアメリカなど <u>先進国</u> 、 <u>直接的に</u> 、また <u>間接的に</u> 、私の国と <u>経済成長</u> な <u>影響</u> があります。	1副用 2取立 *0 / -ハ 3複N 4取立 *0 / -ハ 5品詞 *NA / -N
826	スペイン 2 パターン作文 13	また魚はピアノ <u>ひ</u> けません、 <u>手</u> が <u>ない</u> だからです。	格 *0 / -ガ 2接 3品詞(*NA / -A)
827	イギリス 1 自由作文 1	日本の会社で <u>女</u> の <u>人</u> と <u>男</u> の <u>人</u> の <u>仕事</u> が <u>ち</u> かいです。	1取立 *0 / -ハ 2発音 品詞 *A / -V
828	インド 3 自由作文 17	家主は <u>親切</u> の <u>人</u> です、私は大変 <u>喜</u> 好きです。	1品詞 *N / -NA 2NA
829	インド 8 自由作文 24	値段は三万二千円でちょっと高いですが、音楽が <u>す</u> きだし、このラジオは <u>新</u> 発売し、音も <u>い</u> いし、とても <u>す</u> きです。	品詞 *V / -N
830	インド 9 自由作文 17	<u>た</u> と <u>れ</u> ば、 <u>あ</u> さは <u>を</u> <u>み</u> かきと <u>お</u> 風呂に <u>は</u> り <u>は</u> ちよつと <u>困</u> ります。	1発音 C 2,3品詞 *N / -V 3発音
831	インド 15 自由作文 14	<u>きれ</u> い景色の <u>カ</u> レン <u>ー</u> タです。	1品詞 *A / -NA 2表記
832	インド 23 自由作文 5	へやの中に <u>い</u> ろ <u>ろ</u> <u>用</u> 品が <u>あ</u> ります。	1品詞 *N / -NA 2N
833	インド 23 自由作文 20	以上は私の部屋 <u>は</u> <u>簡</u> 単な <u>配</u> 置 <u>を</u> <u>介</u> 紹です。	1取立 2格 *ヲ / -ノ 連 3品詞 *V / -N N
834	インド 26 自由作文 5	彼女と <u>い</u> ろ <u>ろ</u> の <u>話</u> をしながら、彼女は私に <u>に</u> <u>こ</u> に <u>こ</u> して <u>く</u> れました。	品詞(*N / -NA)
835	インド 26 自由作文 20	彼女の明朗な態度と <u>豊</u> か <u>の</u> <u>教</u> 養と <u>勤</u> 勉な <u>学</u> 習態度、 <u>今</u> までも <u>深</u> 刻に <u>私</u> の <u>心</u> の <u>底</u> に <u>残</u> こている。	1品詞 *N / -NA 2格 *マデ 3副用 Ad 4発音
836	インド 27 自由作文 13	しかしこれはしかたの <u>な</u> さ <u>の</u> <u>こ</u> とです。	体修 品詞
837	インド 29 自由作文 4	そのときには <u>た</u> く <u>さ</u> んな <u>人</u> 々がこの映画を見に行きました。	品詞 *NA / -N 体修
838	インド 29 自由作文 15	毎日、同じの <u>仕</u> 事を <u>や</u> って <u>あ</u> まりにも <u>偉</u> 大でした。	1品詞 *ノ / -O 体修 2*テ形 3Ad 副用 4NA
839	インド 33 自由作文 2	ハイロン・キャイラというひとは目もみえないしみもきこえないし、話も <u>は</u> きりでは <u>あ</u> りません。	発音 表記 品詞 副用 Ad
840	インド 33 自由作文 4	「私はくつがない <u>の</u> <u>た</u> めによく <u>な</u> りました、 <u>ず</u> うと <u>あ</u> しがない <u>人</u> を <u>み</u> た <u>日</u> まで。」。	1*ノ連 / -O 2発音 表記 品詞 語順 3*タ / -ル

3.1. 品詞の取り違え

841	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭があたたかかったが <u>富裕</u> ではな かったから、ほかの子供に <u>うらやましい</u> でした、 <u>毎度</u> 、 友達が <u>いっぱい</u> のおもちゃをもっているとき、私は <u>金</u> <u>もちさん</u> になって、もっと <u>多い</u> おもちゃをもっている 夢をつくた。	1NA 2格 *ニ/ーガ 3 活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *ト キ/ート 7N 8A 9V 発音
842	インド 33 自由作文 7	人間は <u>いちばん</u> いるものは物質的なものより精神的な ほうが <u>大切</u> と思います。	1取立 *ハ/ーガ 2Ad 副用 3品詞 *N/ー NA &表現
843	インド 36 自由作文 10	父母と私の将来のために、 <u>最初の</u> 感じを出して、先生の <u>ほめる</u> を受けて、今から <u>努力</u> にしよう。	1表現 2品詞 *V/ー N 3*テ形 4V
844	インド 39 自由作文 5	だから、学校の <u>授業</u> をおわった、友だちと一緒に <u>山</u> を 登って、 <u>きれい</u> 町と景色をみました。	1格 *ヲ/ーガ 2接 条件 3格 *ヲ/ーニ 4品 詞 *A/ーNA
845	インド 39 自由作文 10	この山の <u>紅土</u> は <u>屋</u> を <u>建て</u> <u>大切</u> 原料です。	1N 2*テ形/ール 3品 詞(*N/ーNA)
846	インド 40 自由作文 13	<u>運動</u> のは体にいいし、 <u>ばいきん</u> に <u>抵抗</u> 力も <u>強い</u> になり ます。	1名詞節 2格 *ニ/ー ノ 3品詞 *NA/ーA
847	インド 47 自由作文 2	私は日本の <u>発達</u> の <u>木</u> 土工程を学ぶために日本の大学で、 留学する <u>つもり</u> です。	1品詞 *N/ーV 2格 *デ/ーニ 3ムード
848	インド 47 自由作文 3	というのは、私の国は、まだ <u>発展</u> 途中の国ですから、い ろいろな建築、特に、 <u>土木</u> の建築が、あまり、 <u>発達</u> では ありません。	品詞 *N/ーV
849	インド 47 自由作文 7	私はこれらの <u>高度</u> <u>進歩</u> の <u>工</u> 程学の要因を学んで、将来は 国の <u>土木</u> 建築に貢献します、 <u>その</u> とき、 <u>マレー</u> シアの <u>土</u> 木建築工程が、 <u>発達</u> になると思っています。	1複N 2C 3品詞 *N/ー V
850	インド 50 自由作文 14	<u>ほう</u> とうに心から <u>うらやましい</u> を持っています。	1発音 2品詞 *N/ー NA
851	インド 50 自由作文 15	ですから国の <u>経済</u> 的や国民の生活は <u>裕福</u> に <u>過</u> ぎしてい ます。	1品詞 *N/ーNA 2V
852	インド 51 自由作文 11	第二次世界大戦後、短い <u>時間</u> 内、 <u>発達</u> で強大な <u>経済</u> 発 展を <u>と</u> どけた。	1複N 2品詞 *N/ー V 3V
853	インド 51 自由作文 15	なぜなら日本の <u>成功</u> な <u>経済</u> 政策が私の国として <u>学</u> ぶ べき <u>から</u> である。	1品詞 *NA/ーV 2格 *ガ/ーヲ 3格*トシ テ/ーガ 4ーダ
854	インド 54 自由作文 12	正輝の病気がひどくてたくさんのお金がかかる、 <u>私</u> の家 庭はそんなに豊かではなかった <u>結果</u> 、 <u>手術</u> の <u>費用</u> は <u>た</u> りないので三日にわたって病気が <u>悪化</u> のためになくなっ てしまいました。	1N 2N 3取立 4品詞 *N/ーV
855	インド 55 自由作文 13	次は、国民の生活ができるために、 <u>広</u> 大の <u>土地</u> に利用 して、 <u>農</u> 業を <u>発</u> 展させて、また、 <u>マレー</u> シア <u>豊</u> 富の <u>天</u> 然資源も積極的に <u>開</u> 拓させます。	1*可能/ーノ連 2格 * ニ/ーヲ 3ーノ連 4品 詞 *N/ーNA
856	インド 55 自由作文 17	国の生産が <u>増</u> 加だし、国民の生活も <u>安</u> 定し、それら の <u>は</u> 、 <u>国</u> を <u>だ</u> んだん <u>強</u> 大 <u>き</u> ます、 <u>経済</u> 発展の条件です。	1品詞 *NA/ーV 2ノ 代 3V

第3章 語彙論

857	フィンランド 5 自由作文 15	<u>小さい</u> の みぎに鏡台があります。	品詞 -N
858	フィンランド 6 自由作文 13	<u>むちゅうな</u> 仕事をつづけました。	品詞 *NA /-N 格 -デ 副用

3.2. 動詞 [V]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
859	台湾 1 パターン作文 3	我 <u>が</u> <u>もっと深い学問を</u> <u>欲しい</u> <u>ために</u> 日本へ来た。 (1) (2)	N 取立 *ガ/ーハ 2 V
860	台湾 1 パターン作文 4	<u>北回線</u> が台湾の南 <u>に</u> <u>おっ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>亜熱気候</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1N 3V 2格 *ニ/ー ヲ
861	台湾 1 パターン作文 8	季節風の影響がある <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>冬</u> <u>は</u> <u>北風</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> 、 <u>天</u> <u>気</u> <u>お</u> <u>ち</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>寒</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3)	1接(ーノデ) 2活用 V Ad-連用形 3表 記
862	台湾 1 パターン作文 12	四、五月 <u>で</u> <u>梅雨</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> 、 <u>湿</u> <u>度</u> <u>が</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>だ</u> 、 <u>そ</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>あ</u> <u>の</u> <u>時</u> 、 <u>か</u> <u>び</u> <u>が</u> <u>生</u> <u>え</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	4コソア 2V 1格 *デ /ーニ 3*ダ 品詞 (*NA/ーA)
863	台湾 1 パターン作文 20	一番 <u>暑</u> <u>時</u> <u>は</u> <u>夏</u> <u>と</u> <u>秋</u> <u>が</u> <u>変</u> <u>わ</u> <u>る</u> <u>時</u> <u>だ</u> 。 (1) (2)	1表記 V 2並N *ト
864	台湾 1 パターン作文 21	その <u>時</u> <u>に</u> <u>台</u> <u>湾</u> <u>人</u> <u>が</u> 「 <u>秋</u> <u>老</u> <u>虎</u> 」 <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>言</u> <u>葉</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	3V 1格 *ニ/ーヲ 2 取立 *ガ/ーハ
865	台湾 1 パターン作文 25	生命と医学の驚異的な進歩との関係を考えてみると、大 <u>勢</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>受</u> <u>益</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>を</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1ーノ連 2,3V
866	台湾 2 聴解要約 6	<u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 「 <u>見</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> 」 <u>と</u> <u>質</u> <u>問</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>ヤ</u> <u>ン</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>「</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>ぞ</u> <u>」</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	3接 テ形 1C 2品詞 * V/ーA
867	台湾 2 自由作文 11	彰化は豊かに農作物を <u>植</u> <u>る</u> 。	&表現 V
868	台湾 2 自由作文 13	<u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>政</u> <u>府</u> <u>は</u> <u>全</u> <u>国</u> <u>の</u> <u>古</u> <u>い</u> <u>物</u> <u>の</u> <u>中</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>十</u> <u>五</u> <u>個</u> <u>の</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>に</u> <u>保</u> <u>存</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>を</u> <u>選</u> <u>ん</u> <u>で</u> 、 <u>よ</u> <u>く</u> <u>維</u> <u>持</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1C 2数 語順 3N *ノ /ーモノ 4V
869	台湾 2 パターン作文 8	日本の四季の変化ははっきり <u>き</u> <u>わ</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>自</u> <u>然</u> <u>の</u> <u>な</u> <u>が</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>関</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>台</u> <u>湾</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>豊</u> <u>か</u> <u>だ</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	3取立 *0/ーハ 1V 2 N
870	台湾 5 自由作文 1	道に落ち葉の <u>散</u> <u>り</u> <u>敷</u> <u>く</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>と</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	V
871	台湾 5 自由作文 9	<u>そ</u> <u>う</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>と</u> 、 <u>私</u> <u>の</u> <u>学</u> <u>問</u> <u>を</u> <u>研</u> <u>究</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>を</u> <u>是</u> <u>正</u> <u>に</u> <u>役</u> <u>立</u> <u>つ</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1接 条件 *ト/ーバ 2 格 *ヲ/ーノ 3品詞 * V/ーN
872	台湾 6 自由作文 4	私も今度の試験を <u>み</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	V
873	台湾 7 自由作文 2	先日木村さんから <u>持</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>手</u> <u>紙</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>う</u> 、 <u>天</u> <u>気</u> <u>は</u> <u>1</u> <u>0</u> <u>月</u> <u>の</u> <u>試</u> <u>験</u> <u>が</u> <u>終</u> <u>わ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>大</u> <u>変</u> <u>寒</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>身</u> <u>体</u> <u>か</u> <u>き</u> <u>を</u> <u>つ</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1V 2格 *ニ/ーヲ 3 N 4スタイル 5格 * ガ/ーニ
874	台湾 8 自由作文 9	主としては日本で学んだものを帰国後の勤務上に発揮で <u>き</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1VP V 2格 *0/ー ト
875	台湾 9 自由作文 7	高校一年生から柔道 <u>を</u> <u>興</u> <u>味</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーニ 2格 * ニ/ーヲ 3V 4スタイ ル

第3章 語彙論

876	台湾 9 自由作文 8	日曜日を除いて毎日二時間の稽古が <u>あった</u> 、 <u>合宿した</u> 時毎朝一時 半のトレーニングに <u>なった</u> 、その厳しい 訓練を <u>練った</u> 、二段になった。	1,4-連用形 2*V - ノ連 体修 3-N 5V 連用形
877	台湾 9 自由作文 10	三年後、柔道のために <u>中央警官</u> に <u>入った</u> 、もっと厳し い稽古を <u>練った</u> 。	1表現 2N 3-連用形 4 V
878	台湾 11 自由作文 8	あだなは人と人の <u>つきあう</u> <u>潤滑剤</u> だと思うので、あだの を使うと互いにもっと親しい感じが <u>あって</u> 、友達になる ことも簡単になる。	1体修 2V
879	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文の <u>ため</u> 、私に二冊の高校 及び中学校の歴史教科書を <u>貸し</u> ましたが <u>この近頃</u> 私も <u>ちょっと参考</u> したい <u>です</u> <u>ので</u> 久美子さんは <u>もしよか</u> <u>ったら</u> <u>今週の金曜日</u> <u>ちょっと返して</u> くださいますか。	1*ノ連 -V 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V /- N 6*ダ 7取立 *ハ /- ガ, サエ 8スタイル 9格 *0 /-ニ
880	台湾 12 自由作文 16	乱筆 <u>お許し</u> してください。	品詞 *V /-N
881	台湾 14 自由作文 8	その時、中国人が日本語を <u>習っている</u> 時、初級程度 を越えた後、日本語の文と文、文章と文章の間に、 <u>接続</u> 表現がかなり困難だと <u>考えられた</u> ことを発見しました。	1*テイル/ール 2格 * 0 /-ニ 3格 *ニ /- ノ連 4V
882	台湾 15 自由作文 2	一ヶ月の夏休みは夢のようにもう <u>経て</u> しまいました。	V
883	台湾 15 自由作文 12	そして 私は日本人が自分の会社に <u>敬業の精神</u> が私の国 の人々より <u>強がっている</u> とおもいます。	1発音 2-V 3VP
884	台湾 16 自由作文 6	今甲子園にあこがれている高校の野球の試合は <u>熱戦</u> して います。	V
885	台湾 17 自由作文 4	ひとつのそうぞうを <u>おもいだします</u> 。	V
886	台湾 17 自由作文 6	まず、その人のせいかつを <u>にんしき</u> して、しごとのしゅ るいをしつもんしているいろいろなげんいんを <u>まぜて</u> <u>ぶんけ</u> <u>いして</u> もんだいの <u>こんげ</u> をはっけんするはず <u>です</u> 。	1V 2副用 3発音 N 4 ムード
887	台湾 18 自由作文 2	毎日自由自在に跳ねたり飛んだり、鳴いたり歌ったりし て楽しい生活を <u>暮らします</u> 。	V
888	台湾 18 自由作文 7	(その時、出入国などの面倒臭い手続きを <u>申し込む</u> 必要 はありません。	V
889	台湾 18 自由作文 9	猟人に <u>狩られて</u> 、焼き鳥になるという恐れがあるけれど も、 <u>謹慎</u> して銃を持っている人 <u>を</u> 遠く離れると、大丈夫 だと思えます。	1V 2副用 3格 *モ / -ハ
890	台湾 19 自由作文 2	そして、利益と功名が私から <u>はずれて</u> 、民衆のため 一生懸命にやっ <u>て</u> 、 <u>命を失う</u> ほど <u>働く</u> 。	1V 2格 *0 /-ニ 3 副用 4複 V

891	台湾 19 自由作文 3	公務員が人の目の中になにもの思われているのは全然考えなくて、上役にどんな不公平な事をさせられても、 <u>けっしてあませなくて</u> 、大衆に対して、 <u>らずに責任がおわれて</u> 、いつも人に <u>服務する思いつき</u> を持っている。	1取立 *ガ/-ハ 2表現 -疑問節 -トイウ 3接*テ形 4V 5格 *ガ/-ヲ 6自他 7N
892	台湾 19 自由作文 4	人のため生き、人のため <u>しぬ</u> ということは公務員とする私の信念です。	1格 *O/-ニ 2V 3体修
893	台湾 20 自由作文 3	最近、二十年来、政府と人民と、一生懸命に、農業社会を <u>工商社会</u> にする方針に <u>奮励</u> しています。	1Ad -コソア 2取立 *O/-ハ 3複N 4N 5V
894	台湾 20 自由作文 6	しかし、最近、世界経済の不況のえいきょうで、国内の社会がたたくさん、たおれて、貿易のとりひきする金額が大幅に下がり、失業の割合が高くなるという現象が十分に存在している、もし、私が通大臣だったら、その現象を克服して。。。。。	1N 2Ad 3V
895	台湾 20 自由作文 8	1、政府は力を <u>もらか</u> い各産業を <u>整</u> って <u>計</u> 画して有効に生産する。	1V 2体修 3表記
896	台湾 20 自由作文 9	2、 <u>人才</u> を <u>培</u> 養する <u>ため</u> に外国へ技術・学問を <u>学</u> びに <u>派</u> 遣する。	1V 2VP 受身
897	台湾 20 自由作文 10	3、会社 <u>結</u> 構を更に <u>変</u> 更して健全な会社にするように検討する。	1-ノ連 2N 3V
898	台湾 20 自由作文 13	5、政府の公共支出を増加して就業 <u>機</u> 会を <u>創</u> 造する。	1-ノ連 2N 3V
899	台湾 20 自由作文 15	自分の理想を実現とか、通産大臣にするために、これから、もっと一生懸命、勉強しようと決心しました。	1並V *トカ/-タリ 2V
900	台湾 21 自由作文 4	さらに、これはを基づいて、どのように <u>演</u> 化してきたのか、なぜいまようになったのかの <u>こ</u> とです。	1取立 *ハ/-O 2格 *ヲ/-ニ 3V 4-トイウ
901	台湾 22 自由作文 10	現在、アルバイトも <u>持</u> っている <u>ので</u> 機械の操作方に <u>だ</u> んだん、上手になってきました。	1V 2格 *ニ/-ガ
902	台湾 22 自由作文 14	温泉に入るのは日本で <u>始</u> める <u>ので</u> ほんとうに気持ちいいです。	品詞 *V/-N
903	台湾 22 自由作文 19	果樹園へ行くと <u>眼</u> 下 <u>の</u> 下に <u>展</u> 開する <u>い</u> ばい果物を <u>う</u> えています。	1N 2V 3発音 4自他
904	台湾 23 自由作文 4	店長さんと社員たちは私たちにとても親切てくれました。	品詞 *V/-NA
905	台湾 23 自由作文 7	そのとき、私たちはいつも <u>整</u> 理、 <u>再</u> 整理しました。	1コソア 副用 2表現 V
906	台湾 23 自由作文 10	夏休みの第三週は、 <u>こ</u> ちら <u>そ</u> ちらで遊んだり、食べたり、とても <u>楽</u> し <u>だ</u> 。	1コソア 副用 2V 表記
907	中国 1 パターン作文 2	私は日本語を勉強しはじめてから、日本の経済について、とても <u>趣</u> 味 <u>が</u> あるようになりました。	1N 2V

第3章 語彙論

908	中国 1 パターン作文 4	その原因を探してみたいと思って日本に <u>来て</u> 、経営、政策を勉強し、日本のすぐれたところを <u>手にいれて</u> 、中国のために力を注ぎたいと思います。	1テ形 2V
909	中国 3 聴解要約 5	先に 郵便局で手紙を <u>送り</u> ました。	2V 1Ad(副)
910	中国 3 聴解要約 18	池 <u>は</u> 何も <u>あり</u> ませんでしたね。	1格 *0は / -ニは 2V
911	中国 3 聴解要約 28	それでは、友達は大家さんの家具 <u>は</u> を <u>たずけて</u> 運び入れ、 <u>中午時</u> 、そば店の店員はそばをとどけました。	1C 3発音 2取立 *ハを / -Oを 3V 4N
912	中国 3 絵を見ての作文 2	運転手は自動車で水たまりの道路を <u>かよって</u> いました。	V
913	中国 3 パターン作文 6	みずを飲むとき、自分でコップの中に水を入っています。	自他 V
914	中国 4 聴解要約 7	かとうさんは素敵なのはですねと <u>評価</u> した。	V
915	中国 4 聴解要約 12	<u>しかし</u> その値段がちょっと高いとってかわないつもりだったが、おみせと <u>相談</u> した <u>あと</u> <u>安く</u> かってきた。	1C 2V 3接 *アト / -テ形
916	中国 4 聴解要約 13	夜に <u>入った</u> と、ヤンさんは風呂にはいって音楽。	1V 2接 *ト / -カラ
917	中国 6 自由作文 5	日本語の <u>習う</u> ことはおもに自分で <u>習い</u> ます。	1格 *ノ連 / -ヲ 2V 3N *コト / -ノ 4V
918	中国 6 自由作文 8	自分で <u>習う</u> のために、聞くのことは <u>特別</u> に <u>なかなか</u> できません。	1V 2,3*ノ連 体修 4Ad 副用
919	中国 6 自由作文 9	今度の日本語 <u>コース</u> 、私に <u>として</u> <u>単語</u> とか <u>文法</u> とか、 <u>だいじょうぶ</u> で、 <u>聞き</u> はだめで、 <u>読解</u> は時間 <u>は</u> なくて書くことはできません。	1V 2*ノ連 体修 3格 *とシテ / -トッテ 4,5取立 *0 / -ハ 6NA 7接 *テ形 / -ガ 8N 9取立 *ハ / -ガ
920	中国 7 自由作文 10	きのう中央図書館に <u>入り</u> ました。	V
921	中国 7 自由作文 14	<u>上記</u> ははじめて筑波大学に <u>入れて</u> <u>見て</u> すきになったものです。	1N 2V
922	中国 8 自由作文 8	それから日本の社会を <u>了解</u> し 日本人と友達になりたい <u>んです</u> 。	1V 2*のだ
923	中国 9 自由作文 4	今年の十月十四日日本へきたわすか一週間しか <u>かから</u> ない。	V
924	中国 9 自由作文 8	日本は光学 <u>は</u> <u>発達</u> だ。	1取立 *ハ / -ガ 2品 詞 *NA / -V
925	中国 9 自由作文 9	とくに光通信についていろいろ先進の技術を <u>発展</u> した。	V
926	中国 10 自由作文 17	こんなつまらないあいさつを取り除いて、もっと人間的な <u>思想交流</u> をすればと私は <u>望</u> みます。	1複 N 2V
927	中国 11 自由作文 11	<u>かれ</u> <u>は</u> <u>一人</u> <u>しか</u> <u>仕事</u> を <u>する</u> から、毎日の残業する <u>のが</u> <u>ほ</u> しい <u>です</u> 。	1C 2取立 *ハ / -ガ 3*シカ 4*ル / -テイ ル 否定 5V 6接 -カラ

928	中国 12 自由作文 3	家を出てバス停まで一分ほど <u>かかります</u> 。	V
929	中国 12 自由作文 11	すると、警察官に <u>きびしい</u> 質問されました。「名前 <u>は</u> 」、「国籍」、「保証人」、「住所」、「勤務先」、「その電話番号」、「身元証明書」など、いろいろ <u>言いつ</u> められました。	1品詞 *A/-Ad 2取立 *ハ/-O 3V
930	中国 13 自由作文 17	こんな状況を見ると、日本人は一日も早く朝夕の電車の混雑さから救われることを期待する気持ちになりました。	V
931	中国 14 自由作文 8	人々は仕事の時間に遅れないために、急いで、自分が <u>目</u> 標した ホームへ走って行きます。	1V 2格 *O/-ニ
932	中国 16 自由作文 23	最初日本に <u>来て</u> 、住む所 <u>は</u> <u>解決</u> しなければ、なりませんから、アパートを探しに <u>いって</u> 、不動産屋さんを探してくれましたが、いろいろ契約して、 <u>そして</u> 敷金、礼金ということは やっとわかりました。	1接 *テ形/-トキ 2取立 *ハ/-ヲ 3V 4接 *カラ/-ノデ 5条件 *テ形/-ト 6C 7*ハ/-ガ
933	中国 17 自由作文 13	そうすると、国民の教養度が自然に <u>すすめる</u> はずです。	1C 2V
934	中国 17 自由作文 15	という <u>点</u> になると、今のような日本を <u>建てた</u> 事実を見ると、不思議なことだと思いますか。	1*トイウ *コソア 2V 3ムード
935	中国 18 自由作文 2	一九八六年九月二十四日の日わたし <u>が</u> <u>うれしい</u> <u>気持ち</u> を持って日本に参りました。	1取立 *ガ/-ハ 2N 3V
936	中国 18 自由作文 17	例えば道で車で互いに <u>追いつく</u> こと <u>と</u> 人をさけないことが <u>普通</u> です。	1V 2並N *ト/-ヤ 3取立 *ガ/-ハ
937	中国 22 自由作文 5	<u>観光</u> してから、日本が <u>だい</u> すきです。	1V 2一複V
938	中国 22 自由作文 14	しかし、話すことを <u>心配</u> します。	1取立 *ヲ/-ハ 2品詞 (V/-NA)
939	中国 23 自由作文 16	しかし、いっしょけんめいのべんきょうはらいねんを <u>そ</u> つぎょう <u>たぶ</u> ん <u>いい</u> でしょう。	1格 *ヲ/-ノ連 2格 *O/-ヲ 3V &表現
940	中国 24 自由作文 5	なかなか <u>なら</u> いませぬ。	V
941	中国 24 自由作文 14	それから、学校の方は自分でよく <u>なら</u> って、ほかの <u>間</u> は自分 <u>も</u> よく勉強しようと思っています。	1C 2V 3取立 *ハ/-モ 4格 *モ/-デ
942	中国 24 自由作文 15	私がこの学校で <u>なら</u> う時間はまだ一年ぐらいあります。	V
943	中国 24 自由作文 16	この間に私はぜひよく <u>なら</u> って、卒業して <u>から</u> 、いい大学に入ろうと思っています。	1V 2接 *カラ/-O
944	中国 27 自由作文 5	しかし、せんせんげつに <u>学友会日本語学校</u> <u>は</u> <u>入れ</u> りました。	1格 *ニ/-O 2取立 *ハ/-ニ 3V
945	中国 28 自由作文 13	せんせいはいつもただしいこたえを <u>が</u> くせいに <u>こたえ</u> ました。	V
946	中国 29 自由作文 5	毎朝はやくおきてから、かんじを <u>なら</u> います。	V

第3章 語彙論

947	中国 29 自由作文 8	文字を <u>したり</u> 会話をしたりします。	V
948	中国 30 自由作文 7	とんな <u>じょだい</u> につか <u>かこう</u> <u>しき</u> 、 <u>げいざい</u> <u>しき</u> 、 <u>みらい</u> <u>しき</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,2発音 3V 4,5,6N
949	中国 30 自由作文 8	そしてわたしは <u>いまちち</u> と <u>はな</u> している <u>とき</u> <u>とんな</u> <u>こ</u> <u>たえ</u> と <u>わか</u> りますね。 (1) (2) (3)	1*テイル 2V 3N
950	中国 35 自由作文 4	わたしは <u>日本語</u> をはじめて <u>ならう</u> から <u>いままで</u> <u>じゅ</u> <u>う</u> <u>かけ</u> <u>つ</u> <u>ぐ</u> <u>ら</u> <u>い</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーガ 2活用 (V) - 複V 3Ad 副用4表記 5-V
951	中国 37 自由作文 18	けれどもいつも <u>き</u> <u>け</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	V
952	中国 38 自由作文 3	にほんごの <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> です。 (1) (2)	1品詞 *N/-V 2- 名詞節 -タメ
953	中国 38 自由作文 10	にほんごのべんきょうは <u>か</u> <u>く</u> や <u>き</u> <u>く</u> や <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1-名詞節 品詞 *N/-V 2-名詞節 品詞 *N/-V
954	中国 38 自由作文 18	<u>し</u> <u>か</u> <u>し</u> 、 <u>い</u> <u>ま</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>し</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1C 2V
955	中国 41 自由作文 14	にちようびは <u>とき</u> <u>ど</u> <u>き</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>じ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>す</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	発音 品詞 *N/-V
956	中国 42 自由作文 11	時々、 <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>質</u> <u>問</u> <u>は</u> <u>難</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>私</u> <u>達</u> <u>は</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>質</u> <u>問</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>習</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1Ad 2V *テイル 3 取立 *ハ/ーガ 4接 *カラ /ーノデ
957	中国 43 自由作文 7	わたしの教室は <u>に</u> <u>じゅう</u> <u>ばん</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	ーダ V
958	中国 44 自由作文 2	わたしは、 <u>こ</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>じゅう</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	V
959	中国 47 自由作文 17	<u>い</u> <u>ご</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>が</u> <u>ん</u> <u>ば</u> <u>り</u> <u>ほ</u> <u>し</u> <u>い</u> 。	1副用 Ad 2取立 格 *ノ連/ーハ 3格 *ガ/ーヲ 4V
960	中国 48 自由作文 5	だから、わたしは「 <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>たい</u> <u>へん</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 」 という <u>か</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>え</u> <u>を</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1Ad 副用 2V
961	中国 48 自由作文 16	ざっしの <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>を</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーノ連 2体修 活用(V) 3発音 4 品詞*N/-V
962	中国 48 自由作文 18	にほんじん <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> 、 <u>ど</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1接 *ガ/ーノニ 2活用 (V) スタイル 3 V
963	中国 49 自由作文 8	にほんごは <u>持</u> <u>続</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>基</u> <u>礎</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1N 2*V/ーO
964	中国 50 自由作文 14	日本の文字は <u>たい</u> <u>てい</u> <u>外</u> <u>国</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>伝</u> <u>入</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	V
965	中国 51 自由作文 5	せんせいは <u>ま</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>ち</u> 、 <u>か</u> <u>い</u> <u>わ</u> <u>や</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>ぼ</u> <u>う</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>た</u> <u>が</u> 、 <u>い</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>で</u> 、 <u>い</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>で</u> 、 <u>な</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *が/ーヲ 2受給 *タ/ール 活用(V) 3V

966	中国 52 自由作文 4	買物や外で <u>あそぶ</u> ⁽¹⁾ <u>す</u> ⁽²⁾ <u>る</u> ⁽³⁾ <u>こと</u> ⁽⁴⁾ がとても <u>不便利</u> ⁽¹⁾ <u>だ</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ から、 心の中に <u>持</u> ⁽¹⁾ <u>気</u> ⁽²⁾ がよくありませんでした。	1V 2NA 3発音 表記 4 N & 表現
967	中国 52 自由作文 8	今までちょうど二か月七日 <u>に</u> ⁽¹⁾ <u>な</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽⁴⁾ 。	V
968	中国 52 自由作文 10	店で買物 <u>や</u> ⁽¹⁾ <u>、</u> ⁽²⁾ 自ぶんで映画館で映画をみたり、新宿で あそんだり <u>こ</u> ⁽¹⁾ <u>と</u> ⁽²⁾ がいくどもできました。	1-V 2並 V 3-V
969	中国 58 自由作文 21	長い時間 <u>に</u> ⁽¹⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>ろ</u> ⁽³⁾ <u>い</u> ⁽⁴⁾ <u>ろ</u> ⁽⁵⁾ <u>話</u> ⁽⁶⁾ <u>を</u> ⁽⁷⁾ <u>話</u> ⁽⁸⁾ <u>し</u> ⁽⁹⁾ <u>た</u> ⁽¹⁰⁾ 。	1格 *ニ/-O 2V
970	中国 59 自由作文 12	私はこれらの複雑ではあるが、高度な技術を学び、将来 は日本の会社に入って日中技術交流 <u>す</u> ⁽¹⁾ <u>る</u> ⁽²⁾ <u>人</u> ⁽³⁾ <u>を</u> ⁽⁴⁾ <u>や</u> ⁽⁵⁾ <u>り</u> ⁽⁶⁾ <u>た</u> ⁽⁷⁾ <u>い</u> ⁽⁸⁾ 。	1格 *O/-ヲ 2V
971	韓国 1 パターン作文 7	たくさんの車がソウル市街地 <u>で</u> ⁽¹⁾ <u>入</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽³⁾ <u>る</u> ⁽⁴⁾ <u>時</u> ⁽⁵⁾ <u>に</u> ⁽⁶⁾ <u>は</u> ⁽⁷⁾ <u>道</u> ⁽⁸⁾ が <u>複</u> ⁽¹⁾ <u>雑</u> ⁽²⁾ <u>し</u> ⁽³⁾ <u>ま</u> ⁽⁴⁾ <u>す</u> ⁽⁵⁾ 。	1格 *デ/-ニ 2V
972	韓国 4 自由作文 8	ですから、日本と韓国の経済力を比べてみたとき韓国の ほうが劣るのは <u>当</u> ⁽¹⁾ <u>然</u> ⁽²⁾ <u>す</u> ⁽³⁾ <u>る</u> ⁽⁴⁾ <u>こ</u> ⁽⁵⁾ <u>と</u> ⁽⁶⁾ <u>で</u> ⁽⁷⁾ <u>あ</u> ⁽⁸⁾ <u>る</u> ⁽⁹⁾ <u>と</u> ⁽¹⁰⁾ <u>思</u> ⁽¹¹⁾ <u>い</u> ⁽¹²⁾ <u>ま</u> ⁽¹³⁾ <u>す</u> ⁽¹⁴⁾ 。	品詞 *V/-NA
973	韓国 5 自由作文 7	ソウルは韓国の <u>一</u> ⁽¹⁾ <u>番</u> ⁽²⁾ <u>都</u> ⁽³⁾ <u>市</u> ⁽⁴⁾ <u>に</u> ⁽⁵⁾ <u>し</u> ⁽⁶⁾ <u>て</u> ⁽⁷⁾ <u>韓</u> ⁽⁸⁾ <u>半</u> ⁽⁹⁾ <u>島</u> ⁽¹⁰⁾ の中心に位置 (一) <u>あ</u> ⁽¹⁾ <u>り</u> ⁽²⁾ <u>ま</u> ⁽³⁾ <u>す</u> ⁽⁴⁾ 。	&スタイル 1,3N 4V 2*ダ 一連用形
974	韓国 5 パターン作文 4	そして同じ漢字で意味が完全に <u>ち</u> ⁽¹⁾ <u>か</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽³⁾ <u>の</u> ⁽⁴⁾ <u>は</u> ⁽⁵⁾ <u>韓</u> ⁽⁶⁾ <u>国</u> ⁽⁷⁾ <u>に</u> ⁽⁸⁾ <u>は</u> ⁽⁹⁾ <u>勉</u> ⁽¹⁰⁾ <u>強</u> ⁽¹¹⁾ <u>の</u> ⁽¹²⁾ <u>漢</u> ⁽¹³⁾ <u>字</u> ⁽¹⁴⁾ は工夫です。	1発音 品詞(*A/-V) 2格 *ニは/-デは
975	韓国 6 自由作文 2	ラジオに対してテレビのほうが聞いたり見たり <u>し</u> ⁽¹⁾ <u>ま</u> ⁽²⁾ <u>す</u> ⁽³⁾ 。	1*ノホウ 2取立 *ガ/ -ハ 3V
976	韓国 6 自由作文 3	ラジオは聞く <u>の</u> ⁽¹⁾ <u>だ</u> ⁽²⁾ <u>け</u> ⁽³⁾ <u>で</u> ⁽⁴⁾ <u>す</u> ⁽⁵⁾ <u>が</u> ⁽⁶⁾ <u>は</u> ⁽⁷⁾ <u>こ</u> ⁽⁸⁾ <u>ぶ</u> ⁽⁹⁾ <u>が</u> ⁽¹⁰⁾ <u>便</u> ⁽¹¹⁾ <u>利</u> ⁽¹²⁾ <u>し</u> ⁽¹³⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁴⁾ <u>す</u> ⁽¹⁵⁾ 。	1N *ノ 3品詞 *V /NA*N/-NA 2体 修 -ノ
977	韓国 6 自由作文 7	しかし テレビはラジオに対して <u>サ</u> ⁽¹⁾ <u>イ</u> ⁽²⁾ <u>ズ</u> ⁽³⁾ <u>が</u> ⁽⁴⁾ <u>お</u> ⁽⁵⁾ <u>お</u> ⁽⁶⁾ <u>き</u> ⁽⁷⁾ <u>い</u> ⁽⁸⁾ <u>だ</u> ⁽⁹⁾ <u>か</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ら</u> ⁽¹¹⁾ <u>は</u> ⁽¹²⁾ <u>こ</u> ⁽¹³⁾ <u>ぶ</u> ⁽¹⁴⁾ <u>が</u> ⁽¹⁵⁾ <u>不</u> ⁽¹⁶⁾ <u>便</u> ⁽¹⁷⁾ <u>す</u> ⁽¹⁸⁾ <u>る</u> ⁽¹⁹⁾ 。	1C 3ダ 2に*タイシ テ 5品詞 *N/-NA * V /NA 4N -ノ
978	韓国 6 自由作文 9	いろいろな問題 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>あ</u> ⁽²⁾ <u>り</u> ⁽³⁾ <u>ま</u> ⁽⁴⁾ <u>す</u> ⁽⁵⁾ から自分で考えてラジオとテ レビを <u>選</u> ⁽¹⁾ <u>ぶ</u> ⁽²⁾ <u>し</u> ⁽³⁾ <u>よ</u> ⁽⁴⁾ <u>う</u> ⁽⁵⁾ 。	1スタイル 2活用(V))品詞 *N/-V
979	韓国 6 パターン作文 2	宣伝のおかげでいろいろのものをたくさん <u>分</u> ⁽¹⁾ <u>か</u> ⁽²⁾ <u>る</u> ⁽³⁾ <u>こ</u> ⁽⁴⁾ <u>と</u> ⁽⁵⁾ <u>が</u> ⁽⁶⁾ <u>で</u> ⁽⁷⁾ <u>き</u> ⁽⁸⁾ <u>ま</u> ⁽⁹⁾ <u>す</u> ⁽¹⁰⁾ 。	V
980	韓国 6 パターン作文 10	そして、日本人の中に <u>、</u> ⁽¹⁾ 虫歯がある人や、入歯 <u>が</u> ⁽²⁾ <u>あ</u> ⁽³⁾ <u>る</u> ⁽⁴⁾ <u>人</u> ⁽⁵⁾ <u>が</u> ⁽⁶⁾ <u>多</u> ⁽⁷⁾ <u>い</u> ⁽⁸⁾ <u>で</u> ⁽⁹⁾ <u>す</u> ⁽¹⁰⁾ 。	3V -テイル 2に*O /-ハ 1C 4のだ
981	韓国 7 聴解要約 6	ヤンさんはほんとうに安くステレオをかって家へ <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽⁴⁾ 。	V
982	韓国 7 自由作文 5	相続は財産権と家業と祭礼権などを <u>意</u> ⁽¹⁾ <u>味</u> ⁽²⁾ <u>す</u> ⁽³⁾ <u>る</u> ⁽⁴⁾ 。	V
983	韓国 7 パターン作文 3	これは <u>べ</u> ⁽¹⁾ <u>つ</u> ⁽²⁾ <u>べ</u> ⁽³⁾ <u>つ</u> ⁽⁴⁾ <u>の</u> ⁽⁵⁾ <u>土</u> ⁽⁶⁾ <u>地</u> ⁽⁷⁾ <u>の</u> ⁽⁸⁾ <u>自</u> ⁽⁹⁾ <u>然</u> ⁽¹⁰⁾ <u>環</u> ⁽¹¹⁾ <u>境</u> ⁽¹²⁾ <u>か</u> ⁽¹³⁾ <u>ら</u> ⁽¹⁴⁾ <u>生</u> ⁽¹⁵⁾ <u>ら</u> ⁽¹⁶⁾ <u>れ</u> ⁽¹⁷⁾ <u>た</u> ⁽¹⁸⁾ <u>祭</u> ⁽¹⁹⁾ <u>り</u> ⁽²⁰⁾ <u>だ</u> ⁽²¹⁾ <u>と</u> ⁽²²⁾ <u>思</u> ⁽²³⁾ <u>う</u> ⁽²⁴⁾ 。	2V 1副用
984	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机のうえにカ セットで音楽を <u>聞</u> ⁽¹⁾ <u>か</u> ⁽²⁾ <u>す</u> ⁽³⁾ <u>時</u> ⁽⁴⁾ にヤンさんはお風呂 <u>か</u> ⁽⁵⁾ <u>ら</u> ⁽⁶⁾ <u>音</u> ⁽⁷⁾ <u>楽</u> ⁽⁸⁾ <u>を</u> ⁽⁹⁾ <u>聞</u> ⁽¹⁰⁾ <u>い</u> ⁽¹¹⁾ <u>て</u> ⁽¹²⁾ <u>歌</u> ⁽¹³⁾ <u>を</u> ⁽¹⁴⁾ <u>呼</u> ⁽¹⁵⁾ <u>び</u> ⁽¹⁶⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁷⁾ <u>し</u> ⁽¹⁸⁾ <u>た</u> ⁽¹⁹⁾ 。	1格 *ニ/-ノ連 2表 記 活用 体修 -テ イル スタイル 3格 *カ ラ/-デ 4V

第3章 語彙論

985	韓国 8 パターン作文 3	飛行機と船はみんな <u>危険</u> します。	品詞(*V/-NA) Ad
986	韓国 9 聴解要約 4	あとで、ヤンさんと太郎さんはあるみせへ入って、いろいろなオーディオを見て店員と <u>か</u> いた <u>い</u> もの <u>の</u> ね <u>だ</u> ん <u>と</u> <u>取り引き</u> した。	1格 *ト/ーヲ 2V
987	韓国 9 自由作文 6	歴史 <u>あ</u> って 以来いろいろな国家が成立したり、 <u>な</u> く <u>な</u> った <u>か</u> ら <u>い</u> ろ <u>い</u> ろ <u>な</u> と <u>こ</u> ろ <u>に</u> ふ <u>る</u> い <u>町</u> が <u>あ</u> る。	2並V -タリ 1V
988	韓国 11 自由作文 6	しかしながら <u>私</u> は <u>と</u> き <u>ど</u> き <u>ふ</u> る <u>さ</u> と <u>を</u> <u>見</u> 回 <u>っ</u> て <u>す</u> る <u>こ</u> と <u>が</u> で <u>き</u> ま <u>す</u> <u>私</u> の <u>お</u> 父 <u>さ</u> ん <u>と</u> 一 <u>緒</u> に <u>お</u> ば <u>さ</u> ん <u>と</u> お <u>じ</u> い <u>さ</u> ん <u>を</u> <u>見</u> る <u>た</u> め <u>に</u> き <u>ま</u> し <u>た</u> 。	1C 3V 2VP
989	韓国 12 自由作文 4	京畿道はソウル <u>ま</u> わ <u>る</u> の <u>と</u> ころ <u>と</u> して <u>都</u> 市 <u>の</u> 文化 <u>や</u> 農村 <u>の</u> 情景 <u>か</u> 造 <u>化</u> し <u>な</u> い <u>で</u> い <u>ま</u> す。	3発音 1N 2取立 *O /ーハ 4V
990	韓国 12 パターン作文 1	学園都市と他の都市 <u>が</u> 一 <u>番</u> <u>違</u> いは、 <u>学</u> 園 <u>都</u> 市 <u>は</u> 前 <u>も</u> っ て <u>都</u> 市 <u>計</u> 画 <u>が</u> <u>て</u> き <u>る</u> 、 <u>他</u> の <u>都</u> 市 <u>は</u> 自然 <u>発</u> 生 <u>に</u> <u>な</u> る <u>こ</u> と です。	1ノ連 2品詞 3発音 一受身 4接 -にタイ シテ/ーガ/ー連用形 5V *ル/ーテイル
991	韓国 12 パターン作文 7	しかし他の都市はその中 <u>で</u> <u>人</u> の <u>生</u> 活 <u>の</u> 感 <u>じ</u> を <u>も</u> ら <u>い</u> ま <u>す</u> 。	1格 *デ/ーニ 2受給 V
992	韓国 13 聴解要約 3	絵葉書や箸を大家さんとおくさんに <u>あ</u> た <u>え</u> る。	V
993	韓国 16 自由作文 2	エネルギーの受給問題とか価格問題など <u>政</u> 策 <u>を</u> 樹立し 執行しながら何よりも <u>経</u> 済学 <u>の</u> 知識 <u>の</u> 必要性を強く <u>覚</u> え <u>た</u> 。	1-ノ連 2V
994	韓国 17 自由作文 7	私は卓球の選手で、 <u>出</u> 戦 <u>す</u> る <u>よ</u> う <u>に</u> な <u>っ</u> て <u>い</u> ま <u>す</u> 。	V
995	韓国 17 自由作文 9	<u>そ</u> の <u>た</u> め、 <u>あ</u> な <u>た</u> が <u>貸</u> した <u>卓</u> 球 <u>の</u> ラケットを <u>か</u> え <u>し</u> て <u>く</u> だ <u>さ</u> い。	1C 2V
996	韓国 17 自由作文 11	それじゃまた連絡 <u>上</u> げ <u>ま</u> す。	V
997	韓国 17 自由作文 12	乱筆乱文 <u>理</u> 解 <u>し</u> て <u>下</u> さい。	V
998	韓国 18 自由作文 3	現代 <u>に</u> は <u>社</u> 会 <u>問</u> 題 <u>で</u> <u>登</u> 場 <u>し</u> て <u>い</u> る <u>多</u> い <u>問</u> 題 <u>が</u> 家庭 <u>の</u> 機能喪失に困って <u>超</u> 来 <u>さ</u> れ <u>問</u> 題 <u>で</u> す <u>か</u> ら <u>家</u> 族 <u>を</u> 通じて <u>社</u> 会 <u>問</u> 題 <u>す</u> な <u>わ</u> ち <u>家</u> 族 <u>問</u> 題 <u>の</u> 解決方法について研究したい と思 <u>い</u> ま <u>し</u> た。	1格 *ニは/ーOは 2 格*デ/ーニ 3V 4品 詞 *A/ーN -ノ連 5活用 V
999	韓国 18 自由作文 4	家庭 <u>た</u> け <u>が</u> <u>担</u> 当 <u>す</u> る <u>こ</u> と <u>が</u> <u>で</u> き <u>る</u> 機能が社会の <u>い</u> ろ んな <u>団</u> 体 <u>で</u> <u>し</u> っ <u>し</u> <u>さ</u> れ <u>て</u> い <u>る</u> から家庭の特別な機能の性 格を <u>失</u> っ <u>て</u> い <u>る</u> と思 <u>い</u> ま <u>す</u> 。	1発音 2V 3格 *ガ/ -ノ連 4発音 表記 5 活用 (V)
1000	韓国 19 自由作文 6	すなわち雰囲気は非常に <u>便</u> 直 <u>さ</u> れ <u>て</u> い <u>た</u> <u>そ</u> う <u>で</u> し <u>た</u> 。	1V 2ムード
1001	韓国 19 自由作文 9	教授 <u>の</u> <u>自</u> 分の心の壁をこわして学生たちと <u>い</u> っ <u>し</u> ょう <u>に</u> 話 <u>し</u> 合 <u>う</u> 雰囲気は <u>ど</u> う <u>し</u> たら <u>日</u> 本 <u>が</u> いま <u>や</u> ん <u>で</u> <u>い</u> る <u>な</u> や <u>み</u> の <u>所</u> か <u>も</u> し <u>れ</u> ま <u>せ</u> ん。	1格 *ノ/ーガ 2表記 3-引用 4V

1002	韓国 22 自由作文 2	私はことし九月二十五日に日本へ <u>いきました</u> 。	V
1003	韓国 22 自由作文 15	私がおもって 日本語は外国語 <u>から</u> 毎日 <u>すこし</u> 勉強を <u>したり</u> 会話を <u>はなしたり</u> します。	1表現 2ーダ 3Ad 4V
1004	韓国 23 自由作文 4	学校を <u>卒業</u> と同時に社会人になる <u>のに</u> 学校はいつもいい人になれとおしえています。	1V 2接 *ノニ/ータ メニ
1005	韓国 23 自由作文 7	学校が社会人になる <u>準備段階</u> が <u>なる</u> ように学校教育の <u>実質化</u> を <u>実現</u> します。	1体修 2格 *ガ/ート 3 V
1006	韓国 24 自由作文 25	とにかく私はちょっとなまいきな <u>話す</u> かもしれませんが日本語について自信が <u>もっと</u> できました。	1品詞 V/N 2副
1007	韓国 25 自由作文 3	そしてすこしふるいへやですから虫が時々 <u>います</u> が私が <u>1</u> かげつに一度けむりの出るくすりを <u>つか</u> っていますから虫はぜんぜん <u>ない</u> です。	1*ル/ータ 2取立 *ガ/ /ーハ 3V
1008	韓国 26 自由作文 2	私は川越市の場 <u>。</u>	ーV
1009	韓国 27 自由作文 4	それで、 <u>とう</u> やれば <u>かぜ</u> にかからないように <u>する</u> <u>か</u> と、 <u>おおぜい</u> の <u>いしゃ</u> が <u>けんぎゅう</u> を <u>し</u> ました。	1,3発音 2V *スル/ ーナル
1010	韓国 27 自由作文 5	<u>げつろん</u> は <u>かぜ</u> というのは <u>自分自信</u> で <u>なおす</u> の <u>が</u> <u>できる</u> のを <u>わ</u> かりました。	1発音 2,3表記 4名詞 節 5V
1011	韓国 28 自由作文 13	たとえ御主人は <u>悪い態度</u> を <u>して</u> も、 <u>マリア</u> は <u>仁義慈悲</u> に対した。	1取立 *ハ/ーガ 2V 3Ad 副用
1012	韓国 28 自由作文 18	その教訓的な映画は「 <u>醜い顔</u> を <u>して</u> も、 <u>人間の心</u> の <u>あり方</u> は <u>一番大切だ</u> 」と <u>描</u> きました。	1A 2ーテイル 3取立 *ノ連/ーハ 4V 5* ハ/ーガ 6ートイウ 7 名詞節
1013	韓国 29 自由作文 10	しかし、よるおそくたべることは <u>だいぶ</u> 体を <u>あ</u> らすと <u>思</u> いますから <u>すなわち</u> やしょくは <u>でき</u> れば <u>たべ</u> ないほうが <u>いい</u> と <u>思</u> います。	1Ad 2V 3C
1014	韓国 29 自由作文 11	今までいろいろな <u>例文</u> を <u>申</u> しました。	1N 2V
1015	韓国 30 自由作文 4	小蓮という映画の <u>主要人物</u> は、とても苦しい生活を <u>過</u> ぎて、 <u>8才</u> の時、 <u>かぞく</u> の生活費のために、 <u>町</u> に <u>ある</u> <u>金持ちの家</u> で <u>働</u> かなければ <u>なら</u> ない。	1N 2V 3体修 AN 4*ル/ータ
1016	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店 <u>を</u> <u>つ</u> くられて <u>商業</u> も <u>盛ん</u> <u>て</u> います。	1格 *ヲ/ーガ 2品詞 *V/ーNA 3発音 表記 *テイル/ール タ
1017	韓国 31 自由作文 8	日本に留学したい <u>なぜ</u> <u>なら</u> 日本 <u>の</u> <u>商業知識</u> を <u>学</u> んだり、 <u>日本</u> の <u>進歩的</u> な <u>社会</u> を <u>見物</u> したり <u>する</u> <u>か</u> らです。	1接 *C 一名詞節 2 V
1018	韓国 32 自由作文 7	日本のそれに関する <u>経営制度</u> が <u>非常</u> に <u>完</u> 善 <u>して</u> います。	1取立 *ガ/ーハ 2V
1019	韓国 32 自由作文 8	様々な <u>経営制度</u> を <u>つ</u> くり、各地の <u>いろいろ</u> な <u>場合</u> に <u>対</u> して <u>経営方法</u> を <u>使</u> って <u>合</u> える ように <u>な</u> っています。	1V 2VP

第3章 語彙論

1020	韓国 32 自由作文 11	家族の明るい将来を <u>持</u> て <u>あげ</u> ろ <u>う</u> と思っ <u>て</u> います。 (1) (2)	1V 2活用
1021	韓国 33 自由作文 7	今の日本は、すなわち過渡期だ <u>と</u> * <u>う</u> <u>こ</u> を <u>経</u> 験した ので政治の安定と豊か <u>で</u> <u>非</u> 常 <u>に</u> は <u>っ</u> て <u>ん</u> して <u>い</u> る <u>経</u> 済と 社会文化保障制度にな <u>っ</u> たと思っ <u>て</u> います。 (1) (2) (3) (4) (5)	1*トイウ 2名詞節 3 V 4体修 5V
1022	韓国 33 自由作文 9	最高の先進国だ <u>と</u> 言 <u>う</u> 日本 <u>で</u> <u>留</u> 学生活をつうじて、 <u>正</u> 確 <u>し</u> <u>で</u> 高度の学問 <u>は</u> <u>私</u> の生活観や価値観や国家観に 役だ <u>て</u> たいと思っ <u>て</u> います。 (1) (2) (3) (4)	1*トイウ 2-ノ連 3 品詞 *V/-NA 4取 立 *ハ/-ヲ
1023	韓国 34 自由作文 4	それで、今までの都市建設は、建物を立てた <u>以</u> 後、具体 的な計画を立てるので、都市の構造が <u>め</u> さ <u>く</u> さ <u>ゃ</u> <u>に</u> た <u>っ</u> て <u>き</u> ました。 (1) (2) (3)	1N 2表記 発音 3V
1024	韓国 34 自由作文 6	私が国 <u>に</u> はそのため、都市建設は計画を立てて <u>建</u> 設し <u>ま</u> す。 (1) (2)	1格 *ニ 2V
1025	韓国 34 自由作文 7	私はこれから習う、都市建設論 <u>は</u> 、国の高度都市の発展 ために <u>尽</u> く <u>し</u> たいと思っ <u>て</u> います。 (1) (2)	1取立 *ハ/-ヲ 2V
1026	韓国 35 自由作文 10	そして経済的 <u>で</u> も米国の <u>つ</u> よい <u>な</u> <u>力</u> が韓国を <u>お</u> して います。 (1) (2) (3)	1カク *デ/-ニ 2品 詞*NA/-A 3V
1027	韓国 35 自由作文 11	また日本との場合は大昔から民族の感情がよくない <u>立</u> 場 だと思っ <u>て</u> います。	V
1028	韓国 35 自由作文 18	米国との関係は政治や経済や国防的で片寄っている関係 をあっさりあきらめるとかそうじゃなければ元のさやに おさま <u>っ</u> て <u>は</u> じ <u>め</u> る <u>方</u> がよさそうだと思っ <u>て</u> います。	V
1029	韓国 35 自由作文 19	しかしソビエトと中国とは <u>触</u> った <u>こ</u> とがありませんから <u>な</u> ん <u>と</u> 言 <u>う</u> <u>こ</u> が <u>ち</u> よ <u>っ</u> と <u>困</u> ると思っ <u>て</u> います。 (1) (2)	1V 2名詞節
1030	韓国 35 自由作文 20	韓国と <u>一</u> 番 <u>重</u> 要な <u>北</u> 朝鮮との関係は対話で問題を <u>解</u> い た <u>ほう</u> が <u>い</u> いと <u>思</u> い <u>さ</u> れます。 (1) (2) (3)	1語順 2V 3活用(V)
1031	ブラジル 1 聴解要約 3	日本に <u>来</u> る <u>時</u> は <u>友</u> だ <u>ち</u> が <u>お</u> で <u>む</u> か <u>え</u> に <u>行</u> き <u>ま</u> した。 (1) (2) (3)	1*ル/-タ 2接 <u>と</u> き* ハ/ <u>と</u> き-0 3V
1032	ブラジル 1 聴解要約 5	ヤンさんは日本 <u>で</u> <u>住</u> い <u>る</u> <u>つ</u> もり <u>で</u> す。 (1) (2)	2V 1格 *デ/-ニ
1033	ブラジル 2 聴解要約 6	そのときは <u>や</u> ん <u>さん</u> は <u>お</u> ぶ <u>ろ</u> <u>に</u> 入りましたそしてステ レオを聞いて歌を <u>歌</u> え <u>ま</u> した。 (1) (2) (3)	1C 取立 *ハ/-0 2 発音 3V
1034	アメリカ 1 パターン作文 6	ふつう仕事と遊びは <u>は</u> ん <u>たい</u> の <u>もの</u> の <u>よ</u> うに <u>か</u> ん <u>が</u> い <u>ら</u> れているが、 <u>幸</u> 福 <u>つ</u> く <u>る</u> <u>の</u> た <u>め</u> に <u>し</u> 事 <u>と</u> 遊 <u>び</u> ち <u>が</u> い <u>が</u> <u>あ</u> り <u>ま</u> せ <u>ん</u> <u>と</u> <u>か</u> ん <u>が</u> え <u>ら</u> れ <u>ば</u> <u>い</u> いと <u>思</u> い <u>ま</u> す。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1発音 2V 4取立 (に *0 /に-ハ) 5スタ イル 格 *0 /-ニ 6 活用(V)
1035	アメリカ 1 パターン作文 7	よく <u>聞</u> か <u>け</u> る <u>こ</u> と <u>あ</u> り <u>ま</u> す。 (1) (2,3)	3格 *0 /-ガ 1V 2 複V
1036	アメリカ 1 パターン作文 9	その子どもが <u>こ</u> い <u>う</u> <u>こ</u> を <u>な</u> ん <u>か</u> い <u>も</u> <u>聞</u> いて、 <u>だ</u> ん <u>だ</u> ん <u>コ</u> ン <u>プ</u> レ <u>ッ</u> ス <u>に</u> <u>な</u> れ <u>る</u> <u>だ</u> と思っ <u>て</u> います。 (1) (2) (3) (4)	2表記 3V 4-の <u>だ</u> 1 発音
1037	アメリカ 1 パターン作文 11	ですから仕事と遊び <u>の</u> <u>意</u> 味 <u>は</u> <u>わ</u> か <u>い</u> と <u>き</u> から <u>自</u> 分 <u>で</u> <u>使</u> <u>な</u> <u>け</u> れ <u>ば</u> <u>な</u> り <u>ま</u> せ <u>ん</u> 。 (1) (2) (3)	1ノ連 3V 2N

1038	アメリカ 2 自由作文 7	残念ながら、おとし素晴らしい経験を <u>経た</u> からという 訳ではありません。	V
1039	アメリカ 2 自由作文 12	今年より良い経験を <u>見込んで</u> いるが日本人の性格が変わ らないうちに摩擦が起こることもあると思います。	V
1040	アメリカ 3 自由作文 16	このがっこうに <u>べんきょう</u> や <u>ともだち</u> などが <u>あります</u> 。	1並 N 2V 表現 一休 修
1041	アメリカ 4 自由作文 4	<u>なぜか</u> 弁護士になりたいと <u>聞かせ</u> <u>たら</u> 複雑な理由があ <u>ります</u> 。	1不定 2*0 と /-カ と 3V 4接 条件 *タ ラ /-ト
1042	インドネシア 1 自由作文 3	仕事時間は7時半から14時まで <u>けれども</u> 10時半に20分 <u>休み</u> <u>しながら</u> お茶をのみます。	1ダ 2品詞 *N /-V 3接 -テ形
1043	インドネシア 1 自由作文 4	お茶を <u>する</u> <u>ため</u> にとくべつの人 <u>が</u> <u>して</u> <u>います</u> 。	1N 2V
1044	インドネシア 2 聴解要約 6	そうして、ヤンさんが <u>りょうこ</u> で <u>しゃった</u> シャしんを 見たときすばらしいと <u>いった</u> 。	1発音 表記 2V
1045	インドネシア 2 聴解要約 9	まず <u>ぶっか</u> が <u>四万円</u> でちょっと高いと <u>言った</u> から、 てんいんは <u>ぶっか</u> を <u>ふえて</u> <u>四万二千元</u> <u>さいご</u> <u>四万円</u> に なりました。	2表記 3条件 4V 5Ad 副用 1N
1046	インドネシア 3 自由作文 7	もりの中にいろいろな <u>どぶつ</u> も <u>あります</u> 。	1発音 2V
1047	インドネシア 5 自由作文 3	私の日本語のべんきょうのもくてきは日本 <u>へ</u> 電子の勉強 に <u>行きます</u> 。	1格 *へ /-デ 2格 * ニ /-ヲ 3V 4-名詞 節 5-ダ
1048	インドネシア 5 自由作文 10	<u>いかい</u> は <u>いちじかん</u> <u>かかり</u> <u>ました</u> 。	1発音 2V -ダ
1049	タイ 1 聴解要約 4	住む <u>の</u> <u>ため</u> に不動産屋と <u>会</u> <u>いました</u> 、うちを調べまし た。	1ノ連 2接 (-テ形、 一連用形) 3V
1050	タイ 4 自由作文 5	そのプログラム <u>の</u> <u>受けた</u> 経験はしたがって私の将来の仕 事に対して <u>影響</u> <u>し</u> <u>ます</u> 。	1*ノ連 2V
1051	香港 2 自由作文 3	例の「日本史教科書」についてどう <u>した</u> <u>ん</u> ですか。	1V 2*のだ
1052	香港 2 自由作文 6	このごろ、「日本教科書事件」が <u>たちあが</u> <u>っている</u> 、 君はどうおもいますか。	1V 2接 *0 /-ケド
1053	香港 3 自由作文 6	今年八月北京へいって「中国中日関係史国際学術会議」 <u>を</u> <u>出席</u> し、論文を <u>提出</u> <u>し</u> <u>ました</u> 。	1格 *ヲ /-ニ 2V
1054	香港 4 自由作文 1	三年前に成田空港に着いた時、日本語 <u>は</u> <u>ぜんぜん</u> <u>わか</u> <u>らな</u> <u>かった</u> <u>が</u> 、一年の交換計画を <u>渡</u> <u>って</u> <u>から</u> 、上手に なりました。	1取立 *0 /-ハ 2ス スタイル 3V
1055	香港 4 自由作文 5	そして、文部省の奨学金を <u>取</u> <u>って</u> 、日本へ来ました。	V
1056	香港 6 自由作文 7	より、長期的かつ一般的ないわば構造的といってもよい 理由によって日本の都市システムが大きく転換している 結果も <u>なら</u> <u>された</u> と考えられる。	V

第3章 語彙論

1057	香港 7 自由作文 17	作者自身の人間観から <u>する</u> 文明批評が猫に託して試みられている。	V *ル/ータ
1058	香港 7 自由作文 24	たとえば、他人が何かをたのむ時、自分が都合でどうしても、 <u>きて</u> あげられないと、はっきり、言葉で断るかわりに、その人を傷つけることをおそれて、「ちょっとどうかな・・・」と言う。	V
1059	香港 7 自由作文 30	それにしても、このあいまいな行動はしばしば自分の主張を邪魔に <u>する</u> 。	1ノ連 2V
1060	香港 7 自由作文 32	また、大きな誤解もこれから、 <u>できて</u> くる。	V
1061	香港 7 自由作文 53	いつも、他人を傷つけることを避けるから、もし自分が何かがいらいと <u>直接に</u> <u>言わなくて</u> 、相手が察してくれるのを <u>希望</u> する。	1接 *ト/ーデモ 2テ形 3V
1062	香港 7 自由作文 60	たとえばにんげんのい、しょく、じゅうあるいは <u>しょう</u> とする <u>どうぐう</u> は、かれのすむとちの <u>ふうと</u> に <u>てきお</u> おして <u>とくしゅ</u> にはったつした。	1品詞 *N/ーV 2,3, 発音 4表記 5NA 副用
1063	香港 7 自由作文 62	あるとちのひとびとのしゃかいやれきしも、また、 <u>ふう</u> とのかたから <u>のれる</u> ことができない。	1発音 2V
1064	香港 7 自由作文 74	また、人に会う時も、季節のあいさつを <u>使う</u> 。	V
1065	香港 8 自由作文 3	最初に、農村問題は都市化を <u>引き起した</u> 。	V
1066	香港 8 自由作文 6	その頃は過剰人口と潜在失業者の存在が農村の上に <u>し</u> かかる苦しい時期であった。	V
1067	香港 8 自由作文 8	政府は耕地を小さく分けて農民に <u>渡した</u> 。	V
1068	香港 12 短文作文 5	あなたはわざわざここへ <u>いきます</u> か。	V
1069	香港 12 短文作文 9	かれは <u>ここへ</u> <u>いく</u> と言えば、私も <u>いきます</u> 。	1取立 *ハ/ーガ 2,3 V
1070	香港 15 短文作文 5	友達にこの書を <u>くれ</u> ました、この本を読むことを <u>推薦</u> ですから。	1受給 2品詞 *N/ーV
1071	香港 15 短文作文 7	彼に <u>三つ</u> 手紙を <u>つく</u> が、返事がまだ <u>き</u> いていません。	3活用(V) 2V 1数
1072	香港 15 短文作文 10	<u>大き</u> <u>部屋</u> といって、 <u>ある</u> <u>私</u> の子供時によく <u>いく</u> <u>親類</u> はおもしろい部屋を <u>とり</u> ました。	2表現 6V 3語順 1活用(A) 4ノ連 3AN 5*ル/ータ
1073	香港 15 短文作文 13	言われてみると、 <u>その</u> <u>気</u> が <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>も</u> <u>ら</u> <u>う</u> 。	1AV 2V 受給
1074	香港 16 短文作文 3	この美しい庭は雪舟に <u>て</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>る</u> そうだ。	3*ル/ータ 2V 1格 *ニ/ーにヨッテ
1075	香港 16 短文作文 7	彼に三回もてがみを送ったのに、まだ返信 <u>が</u> <u>も</u> <u>ら</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	2受給 V 1格 *ガ/ーヲ

1076	香港 16 短文作文 9	漢字のもとに ひらがなとかたかなは <u>間違</u> ない。 (1) (2)	2V 1表現
1077	香港 16 短文作文 10	一概には、学生たちは試験 <u>が</u> <u>きら</u> がる。 (1) (2) (3)	2格 *ガ/ーヲ 3V 1 副用 Ad
1078	香港 16 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も、 <u>スเปน</u> <u>語</u> も <u>でき</u> 、 <u>それから</u> <u>世界中へ</u> 旅行するのは <u>くよくよし</u> <u>ない</u> 。 (2) (3) (4)	1発音 2,3接 4V
1079	香港 16 短文作文 18	彼は私の説明にわかったようなわからぬような顔 <u>を出</u> す。	V
1080	香港 16 短文作文 19	この表をみてわかる <u>から</u> 、日本人の平均寿命は年々 <u>増</u> <u>えてくる</u> 。 (1) (2)	1副用 2複V 1接 1* カラ/ーヨウニ 2V
1081	香港 17 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も <u>スเปน</u> 語 も <u>でき</u> 、 <u>ですから</u> 心配しないで、 <u>外国旅行</u> <u>で</u> できる。 (2) (3) (4)	2スタイル 4格 *0/ ーガ 3品詞 *V/ーN 1発 音 表記
1082	香港 17 短文作文 19	この <u>見</u> を見ると、日本人の平均寿命が年々 <u>ふ</u> えて いる ことがわかる。	1N 2V
1083	香港 18 短文作文 4	彼女はお化粧を <u>た</u> てて、まるで別人のようだ。	V
1084	香港 18 短文作文 19	この表を見てもわかるように、日本人の平均寿命は年々 <u>ふ</u> えて いる。	V
1085	香港 19 自由作文 3	でも、日本人全体にとっての利害得失を <u>す</u> る なら、「音 訓二本立て」のほうがずっといい。	V
1086	香港 19 自由作文 4	漢字の音読・訓読みは古くから <u>用</u> わら ている。	V 活用 受身
1087	香港 19 自由作文 8	実に、根強く <u>建</u> 立 <u>し</u> て <u>し</u> ま っ た ものを推倒するの <u>が</u> <u>人</u> <u>気</u> がないと思われる。 (1) (2) (3)	1V 2取立 *ガ/ーハ 3 N
1088	香港 19 自由作文 10	まず、訓読みを <u>持</u> っている 本あるいは <u>印</u> 刷 <u>品</u> <u>が</u> <u>修</u> 正 <u>し</u> <u>な</u> ければ ならない。 (1) (2) (3)	1V 2複N 3格 *ガ/ ーヲ
1089	香港 19 短文作文 18	そうかもしれない。でも、人に与える価値 <u>が</u> <u>大</u> いに <u>か</u> <u>え</u> ているか。 (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2V 自 他
1090	香港 19 短文作文 20	有名な大学を卒業した者は <u>立</u> 身 <u>出</u> 世 <u>に</u> なるのかという と、必ずしもそうではない。	品詞 (*NA /ーV) VP (*にナル /ース ル)
1091	香港 20 自由作文 2	日本語 <u>音</u> 声 <u>だ</u> け <u>情</u> 報 <u>を</u> <u>伝</u> う より、文字表現で <u>視</u> 覚 <u>的</u> な <u>情</u> 報 <u>を</u> <u>伝</u> 達 <u>と</u> <u>働</u> く。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *0/ーハ 2格 *0/ーデ 5V 3活用 4NA 副用
1092	香港 20 自由作文 3	つまり、文字のフィルターを <u>通</u> じて 言葉の形象を頭に <u>描</u> く <u>こ</u> と。 (2) (3)	1発音 V 2表記 3ム ード 名詞節
1093	香港 20 自由作文 6	漢語を全部 <u>消</u> けられれば、文章を読む時、必ず一字一字 <u>呼</u> んで 自分の想像力を伸して作者の考えに至って <u>推</u> 測 <u>す</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1V 受身 2表記
1094	香港 20 自由作文 13	その条件の下で目を <u>覆</u> む ように外を窺ぐ。	V

第3章 語彙論

1095	香港 20 短文作文 13	香港の経済成長は驚くほど <u>急進した</u> 。それなりに、人々の生活も派手になった。 ₍₁₎	V
1096	香港 20 短文作文 14	技術だけ言えば、彼は若い選手のように <u>すくれだ</u> が、体力について見る限り、全盛期を過ぎた。	品詞 (*NA/-V)
1097	香港 21 短文作文 5	読ませたいと <u>提案して</u> 、友人は私にこの本を <u>借した</u> 。 _{(1) (2)}	2受給 1V
1098	香港 21 短文作文 14	いい成績を <u>うける</u> と、何にもましてうれしい。	V
1099	香港 22 短文作文 5	友人は私にこの本を <u>読ませる</u> と <u>すすんで</u> 、貸してくれました。 _{(1) (2)}	2V 1ムード
1100	香港 22 短文作文 19	この表を <u>見れば</u> 、日本人の平均の生活水準が年年 <u>さがす</u> ことを <u>表われる</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	1条件 2V 3格 *ヲ / -ガ 4-テイル
1101	香港 23 自由作文 10	それに加えて、訓読みは漢字の意味が <u>わかられる</u> ことができる。	VP 活用 V
1102	香港 23 自由作文 18	日本人は獨立の民族の意識が <u>形成なされる</u> 。	V
1103	香港 23 自由作文 21	歴史という点から見ると、江戸時代に国学を <u>積極的な</u> <u>提唱</u> だった。 _{(1) (2)}	1品詞 副用 2V
1104	香港 23 自由作文 22	しかも、鎖国政策が <u>実行なされた</u> 。	V
1105	香港 23 自由作文 24	「国語」と「国文化」などの概念がもっとも <u>形式された</u> 。	V
1106	香港 23 短文作文 11	今朝、学校へ <u>帰る</u> ときに、 <u>何気なく</u> 林さんにあった。 _{(1) (2)}	1V 2副用
1107	香港 23 短文作文 14	私は妻は <u>離れる</u> ときに、妻は <u>とんな</u> に重要な <u>の</u> <u>わかる</u> 。 _{(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)}	2V 2,7*ル / -タ 5発音 6名詞節 1*ハ / -ト 4取立 *ハ / -ガ 3接 *トキ / -テ形
1108	香港 24 自由作文 18	そして島国の性格を持って、 <u>獨立</u> になっている。	品詞 (*N / -V)
1109	香港 25 自由作文 5	この <u>音</u> を捨てて音よみだけで <u>つくる</u> <u>はず</u> である。 _{(1) (2) (3)}	1N 2V 3ムード
1110	香港 25 自由作文 13	しかも、結果はまだ成功 <u>に</u> <u>知らない</u> 。 _{(1) (2)}	&表現 1-名詞節 2V
1111	香港 25 自由作文 18	それで自分の <u>語言</u> の名がどう呼ばれるかと <u>思わな</u> かった。 _{(1) (2)}	1N 2V
1112	香港 25 自由作文 23	「日本語学」をつかったら、日本人 <u>が</u> <u>おかしい</u> 感じがある。 _{(1) (2) (3)}	1表現 2取立 *ガ / -ハ 3V
1113	香港 25 短文作文 8	金持ちはおおくのお金 <u>が</u> <u>持つ</u> というか、 <u>奢侈な</u> 生活を <u>暮らす</u> というか。 _{(1) (2)}	&表現 1格 *ガ / -ヲ 2V
1114	香港 25 短文作文 9	学校によって <u>男</u> の子が長いかみのけを <u>持つて</u> は禁じられている。	1取立 *O / -ハ 2V *テ形 / -ル 名詞節
1115	香港 26 自由作文 6	漢字の訓読みの <u>廃止</u> すれば、 <u>混乱な</u> <u>情況</u> をおこりましょう。 _{(1) (2) (3)}	1品詞 (N / -V) 2表記 格 3*ヲ / -ガ

1116	香港 26 自由作文 7	だが、おくりがなの不統一現象 <u>去ります</u> 。 (1)(2)	1取立 *0 /-ハ 2V
1117	香港 26 自由作文 10	ですから言語は国の歴史、地理、文化の反映 <u>の</u> とい う考え方が <u>立ちます</u> 。 (1)(2)(3)	2名詞節 3V 1ダ
1118	香港 26 短文作文 6	<u>極端な</u> 気温は <u>ひかん</u> まで <u>たげ</u> した <u>と</u> <u>言</u> えました。 (2)(3)(1)(5)(4)	3,1発音 4表現 2NA 5 V
1119	香港 26 短文作文 10	有名な大学 <u>卒業</u> するしか、成功の保証が <u>し</u> ません。 (1)(2)(3)	1格 *0 /-ヲ 2N 3 V
1120	スリランカ 1 パターン作文 9	<u>あの</u> <u>女</u> は「 <u>私の</u> <u>こい</u> 人に <u>たたら</u> いいですね」と <u>かん</u> <u>が</u> <u>え</u> <u>で</u> <u>た</u> の <u>し</u> になりました。 (1)(2)(3)(4)(5)(6)	1コソア 4発音 2N 3 取立 *ハ /-ガ 6品詞 (*N /-A) 5V
1121	フランス 1 自由作文 3	今までのところパリの東洋言語学院で日本語を四年間 <u>習</u> <u>い</u> ましたが <u>卒業</u> してから <u>コン</u> ピュータに <u>よ</u> って <u>仏</u> 和 <u>一</u> 和 <u>仏</u> 自動翻訳 <u>を</u> <u>や</u> る <u>プ</u> ログラムも作りはじめました。 (1)(2)(3)(4)	1接 *ガ /-連用形 2 取立 *0 /-ハ 3活 用 *テ形 /-ル 体修 4 *V /-ノ連
1122	フランス 1 自由作文 7	ところで <u>一</u> 生 <u>け</u> 命 <u>筑</u> 波大学で一年半で言語学、形式名詞 のことを勉強してから <u>た</u> ぶん <u>言</u> 語学者に <u>な</u> るか <u>と</u> いう <u>気</u> 望 <u>が</u> <u>あ</u> ります。 (1)(2)(3)(4)(5)	1発音 表記 2Ad 副用 3VP 4表記 5V
1123	フランス 2 自由作文 12	にほんごをはなすのもたいせつだとおもいますから、に ほんにきたいまのもくてきはにほんごを <u>か</u> うく <u>の</u> <u>と</u> よ <u>む</u> <u>の</u> <u>た</u> めです。 (3)(4)(1)(2)	1V 発音 2N *ノ /- コト 3*ノ連 4N *タ メ /-コト
1124	イラン 1 自由作文 16	イランでは <u>校</u> の <u>ふ</u> そくである。 (1)(2)	&表現 1N 2品詞 *N /-V VP
1125	イラン 1 パターン作文 6	これに対して日本りょうりではよく魚とぶたも <u>い</u> ります。 (1)(2)	V
1126	マレーシア 1 自由作文 3	にほんごの <u>ぶ</u> ぼう <u>は</u> わたしのくにのことばとぜんぜんち がいますから、 <u>な</u> らう <u>と</u> き、いつもたいへんだとおもっ ています。 (1)(2)	1発音 2V
1127	マレーシア 3 自由作文 9	人間がこのような動物を考え出したのは昔の生活が <u>苦</u> <u>し</u> んでいた <u>か</u> ら、サン・カンチルーは良い人のイメージで カニさんとトラさんは悪い人のイメージだ。 (1)(2)	*V /-A
1128	マレーシア 4 自由作文 16	だから、だれでも、近くに <u>き</u> て、すぐ出す <u>水</u> を利用し て、人々を焼いてしまいました。 (1)(2)	1V 2N
1129	マレーシア 5 自由作文 8	また、先生は私たちに伝奇物語りを <u>な</u> さ <u>っ</u> て <u>く</u> ださいま <u>し</u> <u>あ</u> 。 (1)(2)	1V 2発音
1130	マレーシア 5 自由作文 19	私たちは <u>さ</u> え <u>農</u> 民に <u>い</u> もを <u>狩</u> ってあげました。 (1)(2)	1語順 2V
1131	マレーシア 5 自由作文 20	農民は親切に <u>狩</u> り <u>方</u> 法を教えてくださいました。 (1)(2)	品詞 *N /-V
1132	マレーシア 6 自由作文 3	ところが、月へ行く時、どんなことをしなければなら ないか、自分の利益だけ <u>し</u> てはもちろんいけない。 (1)(2)	V
1133	マレーシア 6 自由作文 7	もし、私は月へ行ったあとで、月を利用して、基地に <u>な</u> <u>っ</u> て、ほかの <u>星</u> 球の行き方を研究して、是非、 <u>太</u> 空 <u>の</u> ことをもっと知りたいと思っている。 (1)(2)	1V 2表記

第3章 読解論

1134	マレーシア 6 自由作文 9	月へ行けば、もっときれいか、こわいか、全然 <u>知らない</u> が、月の神秘がほんどうに人間たちの知りたいことである。	V
1135	マレーシア 7 自由作文 2	ブティーアナの大きさと形は、誰も知らないが、マレー人によると、犬と同じ形を <u>持っている</u> そうです。	V
1136	マレーシア 7 自由作文 3	この動物を <u>養う</u> 方法は、 <u>あまり</u> 、むずかしいと思う。	1V 2Ad 副用
1137	マレーシア 7 自由作文 16	年上の人によると、ブティーアナが、明るい所に、 <u>当れば</u> 、養う人の生活は、くるしくなるそうだ。	V
1138	マレーシア 8 自由作文 20	先生から <u>各種な</u> スポーツのやりかたを <u>習って</u> もらいます。	1品詞 *NA/-N 2V
1139	マレーシア 9 自由作文 1	このごろ、世界の中の経済が <u>不隠定</u> とだれでもよく <u>わ</u> かります。	1品詞 *N/-NA 2V
1140	マレーシア 9 自由作文 2	しかし、どうして世界の経済が <u>平隠し</u> ないのだろう。	V
1141	マレーシア 9 自由作文 4	もし、私は <u>国聯</u> の <u>国際経済学家</u> だったら、 <u>その時</u> 、各国の <u>経済学者</u> と一緒に会議をして、 <u>種々の原因</u> を <u>さか</u> <u>して</u> 、研究したあとで、いろいろな解決方法を使って、いつか世界の経済を <u>平隠し</u> しましょう。	1取立 *ハ/-ガ 2N 3 複 N 4C 5発音表 記 6V (活用)
1142	マレーシア 9 自由作文 5	<u>外</u> のは、 <u>国聯</u> の権力を使用して、必要な物の <u>価値</u> が <u>一つずつ</u> <u>実行する</u> だけでなく、生産も <u>固定</u> します。	1副用 Ad 2N 3N 4 格 *ガ/-ヲ 5V 6V
1143	マレーシア 9 自由作文 6	しかし、この <u>地球中</u> の国々の政治家が <u>だれでも</u> 自分の利益が一番大切だと思っていますから、 <u>短期</u> の間に、 <u>非</u> <u>常困難</u> にこの世界の経済の状況を <u>まわ</u> します。	1複 N 2取立 *ガ/- ハ 3表現 4V
1144	マレーシア 9 自由作文 7	いつか私 <u>が</u> 権力がある時、どうしても今の世界の経済を <u>平隠し</u> ようと思います。	1格 *ガ/-ハ 2V
1145	マレーシア 10 自由作文 3	<u>あ</u> のごろ <u>考</u> えて、なぜ日本へ経済を勉強しに <u>行</u> くでしょう。	1発音表記 2V *ル/ -タ
1146	マレーシア 10 自由作文 5	しかし、今の日本の経済は、世界中で二番目になって、アメリカだけ <u>比</u> べていないが、もうすこしアメリカと同じかもしれない。	V
1147	マレーシア 10 自由作文 8	そして、父や日本に留学した先輩たちと <u>商</u> 量して、日本でいろいろなことが <u>習</u> いできるし、日本語も知っている <u>し</u> だ と彼らは言った。	1V 2活用 3?
1148	マレーシア 10 自由作文 11	このようにして、 <u>こ</u> らから <u>速</u> く日本の学校をさがして、 <u>種</u> 種手続をしたあとで、 <u>や</u> っと今年の四月二日に日本へ <u>行</u> った。	1コソア 2副用 Ad 3 V
1149	マレーシア 11 自由作文 4	雨に降られるの <u>や</u> かぜをひくことなどが <u>可</u> 能。	V

1150	マレーシア 11 自由作文 6	そして、仕事する時 ⁽¹⁾ か、出かける時 ⁽²⁾ か、何も ⁽³⁾ 心配し ⁽¹⁾ ない。	1C 2並N *カ/ーヤ 3 V
1151	マレーシア 11 自由作文 7	安心して ⁽¹⁾ 仕事 ⁽²⁾ する。	1品詞 *V/ーN 2V
1152	マレーシア 11 自由作文 13	気象庁に ⁽¹⁾ ある ⁽²⁾ 人の ⁽³⁾ 類推 ⁽⁴⁾ の結果 ⁽⁵⁾ も大切 ⁽⁶⁾ なんだ。	1V 2,3N 4スタイル
1153	マレーシア 12 自由作文 3	天気は、農民が、農業をする時、雨が ⁽¹⁾ つづいて、 ⁽²⁾ ふると ⁽³⁾ か、全然 ⁽⁴⁾ ふらないとか、農民は農産物を ⁽⁵⁾ しません。	1並V *トカ/ータリ 2接 ー条件 3V
1154	マレーシア 13 自由作文 2	高校の時、様々な ⁽¹⁾ 校規 ⁽²⁾ は不満 ⁽³⁾ を持っている、例えば、 女の学生 ⁽⁴⁾ の髪 ⁽⁵⁾ が長くては ⁽⁶⁾ いけないし ⁽⁷⁾ パーム ⁽⁸⁾ する ⁽⁹⁾ もだ め ⁽¹⁰⁾ なのです。	1N 2*ル/ータ 3複N 4 V 5一名詞節
1155	マレーシア 13 自由作文 7	まず、女の学生 ⁽¹⁾ の髪 ⁽²⁾ が自由 ⁽³⁾ に ⁽⁴⁾ やります、 せめて、清潔 ⁽⁵⁾ にする ⁽⁶⁾ が ⁽⁷⁾ っていました。	1複N 2格 *ガ/ーヲ 3 V 4Ad 5複V
1156	マレーシア 13 会話作文 1	それは ⁽¹⁾ 学生 ⁽²⁾ たちは自分の時間 ⁽³⁾ がないから、学校 ⁽⁴⁾ に反感 ⁽⁵⁾ を 持っている時、宿題 ⁽⁶⁾ らのこと ⁽⁷⁾ は全然 ⁽⁸⁾ 注意 ⁽⁹⁾ しないと、 しだいに成績 ⁽¹⁰⁾ が ⁽¹¹⁾ 退歩 ⁽¹²⁾ して ⁽¹³⁾ しまった ⁽¹⁴⁾ のである。	1C 2品詞 3取立 *ハ /ーニ 4接 条件 *ト/ ーカラ 5V
1157	マレーシア 14 自由作文 8	例えば、学校へ行く前 ⁽¹⁾ や会社へ行く前 ⁽²⁾ など雨 ⁽³⁾ が ⁽⁴⁾ ふるそう かさ ⁽⁵⁾ を持って行く ⁽⁶⁾ と雨 ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ ふられなくて、便利 ⁽⁹⁾ だ。	1ムード 複V 接 ー テ形 2格 *ガ/ーニ
1158	マレーシア 14 自由作文 10	出発 ⁽¹⁾ している ⁽²⁾ 飛行機 ⁽³⁾ も遅 ⁽⁴⁾ く ⁽⁵⁾ なった ⁽⁶⁾ ほうが ⁽⁷⁾ いい。	1VP 2副用 3V
1159	マレーシア 16 自由作文 5	1971年の「新経済政策」は、 ⁽¹⁾ 廃除 ⁽²⁾ しなければ ⁽³⁾ なりませ ん。	V
1160	マレーシア 16 自由作文 7	その政策 ⁽¹⁾ は、マレ人 ⁽²⁾ に ⁽³⁾ 優待 ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ します、例えば、会社 をつくる時、四十四パーセント ⁽⁶⁾ の ⁽⁷⁾ 股権 ⁽⁸⁾ は、マレ人 ⁽⁹⁾ に、 ⁽¹⁰⁾ あげ ⁽¹¹⁾ なければ ⁽¹²⁾ なりません。	1格 *0は/ーデは 5 N 2,6表記 3格 *ニ/ ーヲ 4VP 7V
1161	マレーシア 17 自由作文 3	マレーシア ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ いろいろな ⁽³⁾ 種族 ⁽⁴⁾ が ⁽⁵⁾ あり ⁽⁶⁾ ます。	1格 *0は/ーニは 2 V
1162	マレーシア 17 自由作文 6	マレー人は ⁽¹⁾ 往々 ⁽²⁾ に ⁽³⁾ 優先権 ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ あげ ⁽⁶⁾ させ ⁽⁷⁾ ます。	1Ad 副用 2受給 2使 役 2V
1163	マレーシア 17 自由作文 9	それで、私は ⁽¹⁾ かならず ⁽²⁾ この ⁽³⁾ 制度 ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ 取り ⁽⁶⁾ 消し ⁽⁷⁾ ます。	1C 2V
1164	マレーシア 17 自由作文 10	人民 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ みんな ⁽³⁾ 同じ ⁽⁴⁾ の ⁽⁵⁾ 人権 ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ あげ ⁽⁸⁾ させ ⁽⁹⁾ ます。	1格 *ガ/ーニ 2*ノ連 3受給 3使役 3V
1165	マレーシア 17 自由作文 16	子供 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 七歳 ⁽³⁾ 、 ⁽⁴⁾ 廃除 ⁽⁵⁾ しなければ ⁽⁶⁾ なりませ ん。	1格 *0/ーデ 2V 2 表現
1166	マレーシア 17 自由作文 19	だから、庶民 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 生活 ⁽³⁾ は、共和 ⁽⁴⁾ 、 ⁽⁵⁾ 進歩 ⁽⁶⁾ ⁽⁷⁾ になり ⁽⁸⁾ ます。	2N 4VP ムード 1C *ダカラ/ーソウス レバ 3品詞 *N/ーV
1167	マレーシア 18 自由作文 15	国民健康保険と国立病院を ⁽¹⁾ 提案 ⁽²⁾ する。	表現 V
1168	マレーシア 18 自由作文 16	そうすれば、貧民 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ よく ⁽³⁾ 医療 ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ いく ⁽⁶⁾ の ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ でき ⁽⁹⁾ る。	1取立 *ガ/ーハ 2副 用 3V 4*ノ/ーコト
1169	マレーシア 19 自由作文 9	私の志望 ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ 達 ⁽³⁾ する ⁽⁴⁾ の ⁽⁵⁾ ために、今 ⁽⁶⁾ から、一生 ⁽⁷⁾ 懸命 ⁽⁸⁾ 勉強 ⁽⁹⁾ し なければ ⁽¹⁰⁾ なりません。	1V 2体修

1170	マレーシア 20 自由作文 6	朝九時から、夜八時まで、時間が長いみたい <u>が</u> 、忙しいとすぐ <u>過す</u> 。	1ーダ 2V
1171	マレーシア 20 自由作文 23	その日は雨だから、原宿 <u>で</u> 、人々 <u>で</u> ではなくて、おもしろくなかった。	1格 *デ/ーニ 2*ダ/ーV
1172	マレーシア 22 自由作文 17	そうすると、私達は <u>気</u> をはずかしく <u>しま</u> した。	1C 2熟語 3V
1173	マレーシア 22 自由作文 18	<u>私</u> 達はアルバイトを探しに来たのです。。と <u>はな</u> せるようになりました。	1C 2V
1174	マレーシア 22 自由作文 24	けれども、お金が <u>持</u> ったら、 <u>その</u> うで夏休みが暇 <u>が</u> あったら、北海道へ旅行に行きたいと思ひます。	1V 接条件 *タラ/ー連用形 2副用 3格 *ガ/ーニ
1175	マレーシア 23 自由作文 21	それは小さな工場で、NISSANSUNNYの車のスピード <u>メ</u> ートルを <u>や</u> っています。	1表記 2V
1176	マレーシア 24 自由作文 1	今年の八月十一日から九月七日まで、私は、日本で、四週間が <u>か</u> かる夏休み <u>で</u> す。	1V 2*ル/ータ
1177	マレーシア 24 自由作文 12	八月二十六日には、田辺先生と光信先生と友達と一緒に、神田で、 <u>要</u> る本を買ってから、私たちは、浅草へ、遊びにいきました。	V
1178	マレーシア 25 自由作文 23	しかし日本 <u>に</u> <u>た</u> った夏休みも、とても楽しいと思ひました。	1格ニ/ーデ 2V
1179	マレーシア 27 自由作文 9	また、日本語がまだへた <u>だ</u> から、ガソリンスタンドの <u>社</u> 長 <u>だ</u> ち <u>に</u> <u>ご</u> まることを <u>い</u> っぱい <u>あ</u> げた。	1*ル/ータ 2,3発音表記 4V
1180	マレーシア 27 自由作文 21	夏の間、暑くて、図書館へ行った時、別科生 <u>だ</u> ちはそこで話したり、勉強したりして <u>行</u> った。	1発音 表記 2V
1181	マレーシア 27 自由作文 27	そのままを <u>通</u> った。	V
1182	マレーシア 28 自由作文 4	そのあと、いろいろ日本についての話を <u>訴</u> えてあげました。	V
1183	マレーシア 28 自由作文 13	一つ私にとって、おどろいたことはクアラルンプールで、今とても日本製品 <u>を</u> はやっています、 <u>例</u> るなら、日本 <u>旅</u> 客もかなり <u>デ</u> パーと <u>で</u> <u>多</u> く <u>見</u> えました。	1格 *ヲ/ーガ 2ー名詞節 3C 4N 5表記 6副用 7V
1184	マレーシア 28 自由作文 20	ルームを <u>約</u> してもらって、 <u>豊</u> 富な遊びをはじめました。	1V 2NA
1185	マレーシア 28 自由作文 30	今、アルバイトを一生懸命やっていると、お金をたくさん <u>使</u> って、ぜひ来年の夏休みに国へ帰ろうと思ひます。	1*テイル /ール 接条件 *ト /ーテ形 2V
1186	マレーシア 29 自由作文 9	マレーシアは <u>マ</u> シー系 と中国系とインド系の民族 <u>と</u> して、ほかの少数民族と <u>組</u> 合います。	1表記 2格 *とシテ/ート 3V
1187	マレーシア 29 自由作文 11	とにかく <u>国</u> 民は愛国心を <u>教</u> わて、政治と教育と文化について政策は <u>平</u> 等に <u>実</u> 施させます。	1Ad 副用 2取立 *ハ/ーニ 3V 4取立 *ハ/ーニ 5使役

1188	マレーシア 29 自由作文 12	国民に国の発展は一番大切な観念を与えたり、いろいろな激励をあげたり、するつもりです。	1取立 *ハ/ーにツイエ ーノ連 2V
1189	マレーシア 29 自由作文 15	そして、私はもっと多い大学を建築して、私立の大学を開設させて、優れた成績をもっている学生は留学させます。	1A 副用 2V 3V
1190	マレーシア 29 自由作文 18	あとで商業と観光業を盛かて、世界に進歩的な国と有名な国に遂げるつもりです。	1VP 2並 N ーテ形 3 V
1191	マレーシア 29 自由作文 19	もし私は首相だったら、国を発展するかわら、国民の快適な生活を与えることも欠かさず。	1取立 *ハ/ーガ 2使 役 3V 4表現
1192	マレーシア 30 自由作文 10	たとえば、先進国にいろいろ先端技術や貿易などをおしえてくれます。	1V 2受給
1193	スペイン 1 自由作文 5	女の人は早いご結婚します。	1Ad 副用 2V
1194	スペイン 2 聴解要約 3	おみやげをお持ちますのためである。	スタイル V 体修
1195	イギリス 1 自由作文 1	日本の会社で女の人と男の人の仕事がちかいです。	1取立 で*0/でーハ 2発音 品詞 *A/ーV
1196	エチオピア 1 パターン作文 4	あたらしかんがいかたとぎんたいぎじつ研すもり いてす。	2,3,4,7発音 5一格 * 0/ーヲ 1活用(A) 6 V
1197	オーストラリア 2 自由作文 2	オーストラリアで私はけんこうの仕事はたらきました。	1表記 2N 3格 *0/ ーヲ 4V
1198	オーストラリア 2 自由作文 4	私はプログラムそしきました。	1格 *0/ーヲ 2V
1199	ヨルダン 1 聴解要約 1	ヤンさんはあさお家さんみた。	3V 2格*0/ーヲ 1発 音
1200	イラク 1 自由作文 1	もし私が中国の大統領だったら、きっと支配階級に存在している官僚主義を徹底的に消滅する。	1Ad 2V 副V
1201	インド 2 自由作文 13	音がありますだけ。	1V 2取立 スタイル
1202	インド 3 自由作文 10	こたつのうえに全部日本語の本です。	ーV ー名詞節
1203	インド 3 自由作文 13	玄関の右にようふくだんすがあります、なかに全部私のシャツと雑物です。	1語順 2N 3*ダ ーV
1204	インド 5 自由作文 8	部屋のゆかじゅうたんがあります。	1格 取立 *0/ーニハ 2 V
1205	インド 6 自由作文 12	ようふくだんすなかにパスポートやシャツやお金が いってあります。	1ーノ連 2取立 *0/ ーハ 3発音 表記 4V 自他
1206	インド 7 自由作文 9	私のふくは全部にふくたんすであります。	1Ad 2格 *デ/ーニ 3 V
1207	インド 8 自由作文 24	値段は三万二千円でちょっと高いですが、音楽がすきだし、このラジオは新発売し、音もいいし、とてもすきです。	品詞 *V/ーN

第3章 語彙論

1208	インド 9 自由作文 5	その部屋に <u>住むところ</u> はきれいで、虫がぜんぜん <u>ない</u> でした。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーノ連 2N 3 V, 活用(V)
1209	インド 9 自由作文 17	<u>たつとれば</u> 、あさはを <u>みかき</u> とお風呂に <u>はり</u> はちよつと困ります。 (1) (2) (3)	1発音 C 2,3品詞 *N /ーV 3発音
1210	インド 9 自由作文 18	その事をせんばいに <u>おしえて</u> 、彼は一万四千元の <u>屋代</u> の部屋は <u>そのよう</u> のだといました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1V, 接 *テ形/ート 2N 3発音, 表記 4ムー ド5*のだ/ー0
1211	インド 16 自由作文 15	東には雨戸があるから、朝いい天気なら日が <u>映えます</u> 。	V
1212	インド 19 自由作文 18	そしてむらさき <u>カーテン</u> がはってあります。 (1)(2) (3)	1複N 2表記 3V
1213	インド 23 自由作文 10	いま <u>、</u> 自分で <u>へや</u> を <u>紹介する</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *0/ーカラ 2格 *デ/ーノ 3V
1214	インド 23 自由作文 20	以上は私の部屋は <u>簡単な配置</u> を <u>紹介</u> です。 (1) (2) (3)	1取立 2格 *ヲ/ーノ 連3品詞 *V/ーN N
1215	インド 23 自由作文 21	私の部屋を <u>思います</u> 。	V
1216	インド 24 自由作文 24	勉強が終わったら、 <u>いれだし</u> の中に、 <u>ふと</u> を <u>持って</u> 、 <u>畳</u> に敷く <u>はず</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3N 2格 *ニ/ーノ 連4V 5ムード *ハズ
1217	インド 26 自由作文 3	ある日、隣りの家にひっこして来た家族のこどもが <u>あいさつ</u> に <u>しました</u> 。	V
1218	インド 28 自由作文 5	<u>この映画</u> の中でみんな <u>戦争</u> はやめたいと <u>深刻な</u> <u>出る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 2取立 *0/ ーハ 3活用(NA)*ナ/ーニ 4V
1219	インド 29 自由作文 3	この映画は4年前に私の国で <u>映って</u> しまいました。 (1) (2)	1V 2複V *テシマウ /ーテイル
1220	インド 29 自由作文 7	おじいさんは奥さんが急に死んだことをいつも心に <u>記憶</u> していたので、 <u>精神</u> や体が悪くなくなりました。 (1) (2)	1V 2N
1221	インド 29 自由作文 8	それに毎日奥さんの名前を呼んで、およめさんが奥さん <u>にと</u> して <u>いた</u> 時もありました。 (1) (2) (3) (4)	1C 2格 ガ/ーヲ 3* ニ/ー0 4V
1222	インド 29 自由作文 10	おじいさんにいろいろな <u>手伝</u> を <u>やって</u> あげました。 (1) (2)	1表記 2V
1223	インド 30 自由作文 10	おじは、 <u>結婚</u> た。	V 発音
1224	インド 30 自由作文 16	いまでも、おじが <u>やさしい</u> で <u>くれた</u> ことを、いつも <u>思い出</u> す <u>もの</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2V 3ーテ イル 4ムード
1225	インド 31 自由作文 2	もし、我々の生活のまわりに、よく <u>留心</u> すれば、 <u>なん</u> か <u>一つ</u> の <u>こと</u> を <u>見ける</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーヲ 2V 3 不定 4複V ムード
1226	インド 31 自由作文 6	朝起きて、 <u>新聞</u> を <u>取って</u> 開くと、 <u>沢山の</u> <u>折り込む</u> 広告が落ちる。 (1) (2)	1V 2複N
1227	インド 32 自由作文 7	いつも、自分にもういいよ、食べたら、お金がなくなってしまうよ、とかすぐふとるとか <u>と</u> 戒めたりしても、 <u>おいしい</u> 食べ物 <u>の前</u> に、 <u>食欲</u> が <u>なまら</u> ないのです。 (1) (2) (3)	1格 *ト/ー0 2取立 ニ/ーテハ 3発音 V

1228	インド 32 自由作文 13	これから、食べ物の <u>スケッチ</u> を使って、必ず <u>スケッチ</u> <u>によって</u> 、やってみましょう。	1,2発音 表記 3V
1229	インド 33 自由作文 5	私は子どものころに家庭が <u>あたたかかった</u> が <u>富裕</u> ではなかったから、ほかの子供に <u>うらやましい</u> でした、 <u>毎度</u> 、友達が <u>いっぱい</u> な <u>おもちゃ</u> をもっている <u>とき</u> 、私は <u>金もちさん</u> になって、もっと <u>多い</u> <u>おもちゃ</u> をもっている <u>夢</u> を <u>つく</u> た。	1NA 2格 *ニ/-ガ 3活用(A) 4Ad 副用語順5品詞 6接 *トキ /-ト 7N 8A 9V 発音
1230	インド 33 自由作文 6	その日まで、私は感動しました、彼女に感謝しました、この話におこされました、 <u>不満</u> な <u>かんじ</u> も <u>たくさん</u> 減少しました、私よりずっと <u>かわい</u> そうな人が <u>いっぱい</u> いる、かていの <u>こうふく</u> は私にとって <u>極度</u> な <u>幸運</u> ではありませんか。	1V 2Ad 副用
1231	インド 33 自由作文 8	ところで <u>有名人</u> の話や <u>ことわざ</u> など、いろいろな <u>影</u> を <u>あげ</u> て <u>人間</u> が <u>悟</u> っていたのは <u>有益</u> です。	1N 2V
1232	インド 33 自由作文 9	私もこの話を <u>持</u> って <u>す</u> ぎます。	V
1233	インド 34 自由作文 8	いつも、私達が <u>つまら</u> なさそうな <u>時冗談</u> を <u>し</u> たり、 <u>歴史</u> について、いろいろな <u>歴史物語</u> を <u>話</u> したりしました。	V
1234	インド 34 自由作文 9	その物語に私達の <u>注意</u> を <u>起</u> こす <u>ため</u> に <u>元気</u> になんて <u>行</u> かせました。	1V 2?
1235	インド 34 自由作文 11	毎日、彼と一緒に <u>あそ</u> んだりすると、私達を <u>親子</u> に対して <u>く</u> れました。	1のヨウニ 2V
1236	インド 36 自由作文 10	父母と私の <u>将来</u> のために、 <u>最初</u> の <u>感じ</u> を <u>出</u> して、先生の <u>ほめる</u> を <u>受</u> けて、 <u>今</u> から <u>努力</u> に <u>し</u> よう。	1表現 2品詞 *V/-N 3*テ形 4V
1237	インド 39 自由作文 7	<u>いとつ</u> の山はいろいろな <u>植物</u> を <u>植</u> えます。	1発音 2V
1238	インド 39 自由作文 18	以後、ちちは <u>私</u> たちが <u>山</u> へ <u>行</u> くことは <u>禁止</u> でした。	1発音 2取立 *ハ/-ヲ 3V
1239	インド 40 自由作文 20	夏は、蝶やトンボや蝉などの <u>昆虫</u> が <u>あ</u> った。	V
1240	インド 40 自由作文 23	5歳 <u>時</u> 、私の <u>家族</u> と一緒に、 <u>台北</u> へ <u>移</u> されて <u>い</u> った。	1-ノ連 副用 2V 3発音
1241	インド 40 自由作文 29	附近の <u>竹林</u> の中に、 <u>鳥</u> が <u>あ</u> った。	V
1242	インド 40 自由作文 32	子供のころには、私にとって一番 <u>なつか</u> しい <u>時光</u> ですから、できれば、もう一度 <u>その</u> ころに <u>入</u> れて、これは私の <u>願</u> いです。	1N 2V 接 *テ形/-複 V
1243	インド 41 自由作文 12	風の季節がくると、 <u>たこ</u> を <u>遊</u> ぶ、近くには <u>広場</u> があるから、みんなと <u>たこ</u> を <u>作</u> ったあとで、 <u>たこ</u> の <u>きれ</u> い、 <u>大</u> きさ、 <u>高</u> さを <u>比</u> べる、そして、 <u>リーダ</u> になんた。	1格 *ヲ/-デ 2N 3表記 4V
1244	インド 42 自由作文 10	しかし、最後の <u>面会</u> も、 <u>や</u> りません でした。	V

第3章 語彙論

1245	インド 46 自由作文 4	毎日、 <u>工*</u> で仕事を心配したり、おきゃくさんと <u>面会</u> したりして非常に忙しいです。	1表記 2V
1246	インド 46 自由作文 8	<u>近況</u> 、日本 <u>について</u> 、この方面の発展はきわめて <u>進歩</u> しています。	1副用 2格 *ニツイテ /ーデ 取立 *O /ーハ 3V
1247	インド 47 自由作文 2	私は日本の <u>発達</u> の木土工程を学ぶために日本の大学で、 留学する <u>つもり</u> です。	1品詞 *N /ーV 2格 *デ /ーニ 3ムード
1248	インド 47 自由作文 3	というのは、私の国は、まだ発展途中の国ですから、い ろいろな建築、特に、土木の建築が、あまり、 <u>発達</u> では ありません。	品詞 *N /ーV
1249	インド 47 自由作文 7	私はこれらの <u>高度進歩</u> の工学の要因を学んで、将来は 国の土木建築に貢献します、 <u>そのとき</u> 、マレーシアの土 木建築工程が、 <u>発達</u> になると思っています。	1複 N 2C 3品詞 *N /ーV
1250	インド 48 自由作文 10	私は <u>それ</u> の専門知識を <u>学んで</u> 、国の経済の発達に尽く したいと思っています。	1コソア 2V
1251	インド 49 自由作文 6	だから、日本の会社は <u>だんだん</u> <u>建って</u> きました。	1取立 *ハ /ーガ 2V
1252	インド 49 自由作文 10	日本へ来てから、新しい <u>製品</u> がいっぱい <u>できました</u> 。	1表記 2V
1253	インド 49 自由作文 13	が自分の生活もよくなり <u>たい</u> と思います。	V
1254	インド 50 自由作文 9	というのは、私の父は <u>前に</u> <u>経営管理職</u> を <u>持っている</u> こ とがきっかけで、 <u>だから</u> 、子供の時からいつも父のあと を継ごうと思っています。	1取立 *ハ /ーガ 2V 3 C 4*ル /ータ
1255	インド 50 自由作文 10	子供ころ毎晩、晩飯を食べたあとで父はいつも会社の経 営管理のことを話題に <u>なりました</u> 。	V
1256	インド 50 自由作文 15	ですから国の <u>経済的</u> や国民の生活は裕福に <u>過ごして</u> い ます。	1品詞 *N /ーNA 2V
1257	インド 51 自由作文 3	なぜならマレーシアは発展途上国で国がめざましい発展 を <u>とどけられた</u> ために経済の強大発展が必要 <u>から</u> で ある。	1V 2ーダ
1258	インド 51 自由作文 4	国の経済の発展を <u>尽くする</u> ために日本へ <u>きって</u> <u>経済学</u> を学ぶつもりです。	1格 *ヲ /ーニ 2V 3 発音 接 *テ形
1259	インド 51 自由作文 11	第二次世界大戦後、短い <u>時間内</u> 、 <u>発達</u> で強大な経済発 展を <u>とどけた</u> 。	1複 N 2品詞 *N /ー V 3V
1260	インド 51 自由作文 15	なぜなら日本の <u>成功な</u> <u>経済政策</u> が <u>私の国</u> <u>として</u> <u>学ぶ</u> べき <u>から</u> である。	1品詞 *NA /ーV 2格 *ガ /ーヲ 3格 *トシ テ /ーガ 4ーダ
1261	インド 53 自由作文 5	<u>というのは</u> 国よりもっと進んでいる東の国に <u>特に</u> 日本 の経済や商業経営を <u>習って</u> もらいます。	1副用 2格 *ニ /ーO 3 V 受給 表現
1262	インド 53 自由作文 8	日本は、自由経済制度や終身雇用制度を <u>行なわ</u> れていま <u>す</u> 。	受身 V

1263	インド 54 自由作文 12	正輝の病気がひどくてたくさんのお金がかかる、 <u>私</u> の家庭はそんなに豊かではなかった <u>結果</u> 、手術の <u>費用</u> は足りないので三日にわたって病気が <u>悪化</u> のためになくなってしまいました。	1N 2N 3取立 4品詞 *N/-V
1264	インド 55 自由作文 17	国の生産が <u>増加</u> だし、国民の生活も安定し、それらの <u>国</u> をだんだん <u>強大</u> します、 <u>経済発展</u> の条件です。	1品詞 *NA/-V 2ノ代3V
1265	インド 55 自由作文 18	また、私は国民が <u>皆平等</u> に対して、いつも国民に利益を <u>図</u> させます。	1格 *ガ/-ニ 2V
1266	インド 55 自由作文 22	また、 <u>急速</u> にたくさん <u>の</u> 低価の住宅を建て、 <u>一般</u> 的な国民に <u>か</u> えます。	1副用 2NA 3V
1267	インド 55 自由作文 25	ところで、 <u>国</u> の <u>平和</u> や <u>さかん</u> や <u>平等</u> などを <u>図</u> したいです。	1N 2格 *ヲ/-モ 3V
1268	インド 55 自由作文 28	<u>習慣</u> と <u>言語</u> もちがう <u>ため</u> に、できるだけ、 <u>民族</u> の <u>平和</u> と <u>平等</u> を <u>図</u> します。	1格 *タメニ/-カラ 2V
1269	インド 55 自由作文 29	私はいつも <u>国民</u> の <u>平和</u> と <u>平等</u> を <u>図</u> せると願っています。	V 複V
1270	フィンランド 4 自由作文 16	そして、毎晩寝ながらテレビを <u>見</u> えます。	V
1271	フィンランド 5 自由作文 16	五年間 <u>に</u> <u>堅苦</u> しみ <u>研究</u> した。	1格 *ニ/-O 2V
1272	フィンランド 5 自由作文 17	私の部屋に <u>たくさん</u> ものから、とても便利です。	副用 -V
1273	フィンランド 6 自由作文 5	本当に <u>体</u> で <u>針</u> をするのは、 <u>高校</u> の時 <u>に</u> 。	V *O/-ダ
1274	フィンランド 7 自由作文 4	かぜは、自分も、 <u>知ら</u> ないうちに <u>は</u> いてくるから、 <u>き</u> をつけないと <u>いつ</u> くるかわかりません。	1発音 2V
1275	フィンランド 8 自由作文 14	その上に、 <u>ばい</u> きんは <u>体</u> に入るのが簡たんで <u>なく</u> 、 <u>ばい</u> きんが入るのが <u>知</u> りません。	表現 1取立 0/-ハ 2-名詞節 3V

3.3. 補助動詞 [複V]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
1276	台湾 1 パターン作文 17	日本語と専門科の違いは、日本語の文法 <u>が</u> 解りにくい <u>、</u> 専門科 <u>が</u> 大学での、もう <u>習った</u> <u>、</u> <u>そした</u> 理解が <u>や</u> <u>すい</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,3格 取立 *ガ/ーハ 2接 ーガ 5接 ーノデ 4*タ/ーテイル 6 5品 詞 複V
1277	台湾 7 自由作文 5	もし木村さん <u>は</u> もうみおわった <u>から</u> 来月私は実技試験 <u>で</u> 参考するために名画家の作品が <u>必要</u> になりましたから <u>急</u> <u>におくりもと</u> してもいいでしょうか。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2接 *カラ/ーナラ 3副用 Ad 4複V
1278	台湾 10 自由作文 3	せんぎょうしゅふ <u>専業主婦</u> <u>とした</u> 私は、子どもが <u>よう</u> <u>やく</u> <u>大きくて</u> 、小学校に <u>は</u> <u>いて</u> <u>いて</u> 、自分の趣味によ <u>って</u> 、これからもう一度 <u>自己教育</u> を高めるように、 <u>がん</u> <u>ばり</u> たいのです。 (1) (2) (3) (4)	1ーダ 2ー複V 3*複 V 4N
1279	台湾 14 自由作文 3	大学時代に日本語に興味を <u>持</u> <u>って</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	複V
1280	台湾 17 自由作文 5	もしわたしがしんりそうだんしゃ <u>だ</u> <u>つ</u> <u>たら</u> 、できるだけ、 <u>う</u> <u>つ</u> <u>ぜん</u> <u>な</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>す</u> <u>け</u> <u>さ</u> <u>せ</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1NA 2格 *ガ/ーヲ 3 使役 受身 複V
1281	台湾 19 自由作文 1	もし私が公務員 <u>だ</u> <u>つ</u> <u>たら</u> 、まず、机の引き出しの <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>辞職書</u> <u>を</u> <u>書</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>お</u> <u>く</u> 。 (1) (2)	1N 2複V
1282	台湾 19 自由作文 2	そして、利益と功名が私から <u>はず</u> <u>れ</u> <u>て</u> 、民衆のため <u>一</u> <u>生</u> <u>懸</u> <u>命</u> <u>に</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>命</u> <u>を</u> <u>失</u> <u>う</u> <u>ほ</u> <u>ど</u> <u>働</u> <u>く</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1V 2格 *0/ーニ 3 副用 4複V
1283	台湾 25 自由作文 4	子供は交通事故のために足が <u>な</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	複V
1284	中国 12 自由作文 6	日本に来て初めて自転車で <u>通</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	複V
1285	中国 14 自由作文 21	あまり遠くない <u>の</u> 将来、人々の知識水準が高くなる <u>に</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>それ</u> <u>ら</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>や</u> <u>が</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>無</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>信</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1*ノ連 2ー名詞節 3 コソア 4格 *ニ/ー ガ 5活用 6複V ーテ イク
1286	中国 15 自由作文 9	そして私は先に <u>乗</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>だ</u> 。 (1) (2)	1複V 2*ノダ
1287	中国 15 自由作文 15	これから、東京に <u>暮</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>たい</u> 私は、 <u>ゆ</u> <u>っ</u> <u>く</u> <u>り</u> <u>歩</u> <u>く</u> <u>の</u> <u>が</u> 、 <u>大</u> <u>分</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニ/ーデ 2名詞 節 ーコト 3N 4複V 5スタイル
1288	中国 18 自由作文 3	来る前 <u>に</u> 日本のいろいろなものが <u>必</u> <u>ず</u> <u>優</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> 。来て <u>か</u> <u>ら</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>う</u> <u>り</u> <u>と</u> <u>違</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *ニ/ーハ 2Ad 3*ル/ーテイル 4複 V ーテミル 5条件 6 N 7*ル/ータ
1289	中国 22 自由作文 5	<u>観</u> <u>光</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、日本が <u>だ</u> <u>い</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1V 2ー複V
1290	中国 24 自由作文 10	そして、上手に日本語を <u>話</u> <u>せ</u> <u>れ</u> <u>ば</u> 、 <u>ま</u> <u>た</u> <u>時</u> <u>間</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>か</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1複V 接 ー条件 2Ad 副用 3*テイル/ ール
1291	中国 27 自由作文 4	それから、きょねん <u>じ</u> <u>ゅう</u> <u>に</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>今</u> <u>年</u> <u>の</u> <u>き</u> <u>ゅう</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>そ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1ーノ連 2数 3複V

3.3. 補助動詞 [複V]

1292	中国 28 自由作文 27	せんせい <u>は</u> わたし <u>の</u> さくぶん <u>を</u> <u>みて</u> <u>ごらん</u> <u>なさい</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ 2複V
1293	中国 32 自由作文 14	わたしは心から先生に「 <u>どうも</u> <u>ありがとう</u> <u>ございます</u> 」 と <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	複V
1294	中国 33 自由作文 11	かいわのれんしゅう <u>は</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーヲ 2V 3接 一条件 4-複V
1295	中国 35 自由作文 4	わたし <u>は</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>じ</u> <u>ゅ</u> <u>う</u> <u>か</u> <u>げ</u> <u>つ</u> <u>ぐ</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーガ 2活用(V) 一複V 3Ad 副用 4表記 5-V
1296	中国 36 自由作文 8	ときどきにほんのうたをきいたり、テレビをみたりする こともあり、にほんご <u>は</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーガ 2複V V ムード
1297	中国 37 自由作文 15	わたしは <u>し</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>せ</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	複V
1298	中国 44 自由作文 7	じぶんのく <u>に</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ね</u> <u>ん</u> <u>あ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>げ</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>じ</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>ず</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーデ 2発音 3表記 4複V
1299	中国 45 自由作文 5	しかし、 <u>い</u> <u>ま</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>が</u> 、 <u>ど</u> <u>き</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 発音 2*ル/ ータ 複V 3発音 4接 ーテモ
1300	中国 46 自由作文 13	うちからかっこうまでにじっぶんぐらいひとりで <u>あ</u> <u>る</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	複V
1301	中国 52 自由作文 5	わたしは中国にいるとき、日本語 <u>を</u> <u>ひ</u> <u>ら</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>な</u> だけ習って、ことばは「私は <u>A</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 」という二文法 <u>を</u> <u>習</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、ほかのことばはひとつもはなせ <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーノ連 2N 3複V 4接 *カラ/ー ガ
1302	中国 53 自由作文 6	わたしたちのクラスにはみんな <u>1</u> <u>8</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>仲</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1副用 格 *0/ーデ 2 数 *ガ/ー0 3発音 4 複V
1303	韓国 1 パターン作文 4	韓国のソウルは <u>ラ</u> <u>シ</u> <u>ア</u> <u>ワ</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>複</u> <u>雑</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>人</u> 々はたいてい出勤時間より早く家 <u>に</u> <u>出</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1,2表記 4-複V 3格 *ニ/ーヲ
1304	韓国 7 聴解要約 5	はじめに、店員は4万5千円 <u>を</u> <u>売</u> <u>ろ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> 、けっき <u>ょ</u> <u>く</u> <u>ヤ</u> <u>ン</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>4</u> <u>万</u> <u>円</u> <u>で</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1格 *0/ーデ 2複V
1305	韓国 9 パターン作文 1	ワープロとタイプライターの一番大きい違いは、ワーブ ロの方が <u>と</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>ま</u> <u>便</u> <u>利</u> <u>な</u> <u>使</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1表記 2NA 副用 3複 V
1306	韓国 22 自由作文 3	この学校で <u>は</u> <u>し</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>ひ</u> <u>ら</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2複V
1307	韓国 23 自由作文 1	もし私が文部省大臣だったら学校教育を <u>か</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	複V
1308	韓国 23 自由作文 8	学校は学校としての意味より社会の <u>準</u> <u>備</u> <u>場</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>み</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1N 2-ノ連 3複V
1309	韓国 26 自由作文 19	下の <u>本</u> <u>相</u> <u>は</u> 、日本の漫画が並べて <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1表記 2*テイル / ーテアル

第3章 語彙論

1310	韓国 28 自由作文 14	ある日、家は火事があって、火事現場から <u>もっとも</u> 幼い子どもを <u>救</u> って来たのに自分自身は <u>不幸に</u> 焼かれていた。	1取立 ハ/ーニ 2Ad 3 複 V 4副用 5*テイル
1311	韓国 31 自由作文 1	私はなぜ日本へ <u>留学</u> しにきますか。	複 V
1312	韓国 31 自由作文 5	世界各地で会社の支店を <u>つ</u> くられて <u>商業</u> も <u>盛</u> んていま <u>す</u> 。	1格 *デ/ーニ 2受身 3NA 複 V
1313	韓国 31 自由作文 7	日本に留学したい <u>なぜ</u> なら日本の商業知識を学んだり、日本の <u>進</u> 歩的な社会を見物したり <u>する</u> から	1接 語順 2複 V 3ー ダ
1314	アメリカ 1 パターン作文 7	よく <u>聞</u> か <u>け</u> る <u>こ</u> と <u>あ</u> り <u>ま</u> す。	3格 *0/ーガ 1V 2 複 V
1315	タイ 1 聴解要約 9	この日は大家さんにあいさつしにいきました、 <u>引</u> 越しの <u>そう</u> ばと <u>持</u> っていました。	1発音 2格 *ト/ーヲ 表記 3複 V
1316	タイ 3 絵を見ての作文 3	そのとき、スポーツカーを <u>運</u> 転している人 <u>を</u> <u>通</u> っていました。	1格 *ヲ /ーガ 2*テ イル /ーテイク
1317	香港 16 短文作文 14	彼は <u>何</u> にも <u>ま</u> してたくさん食べていて、 <u>ふ</u> と <u>っ</u> てくる。	1副用 2複 V (*てクル /ーてイル)
1318	香港 16 短文作文 16	この方法で <u>言</u> われ <u>て</u> み <u>る</u> と、学生がよく <u>わ</u> か <u>っ</u> てくるかもしれない。	1,2複 V
1319	香港 16 短文作文 19	この表をみてわかる <u>か</u> ら、日本人の平均寿命は年々 <u>増</u> えてくる。	1副用 2複 V 1接 1* カラ/ーヨウニ 2V
1320	香港 17 短文作文 2	私は彼についてのおかしい <u>デ</u> マ <u>を</u> <u>聞</u> いてみ <u>な</u> かった。	1N 2複 V
1321	香港 17 短文作文 16	先日彼にひさしぶりに <u>学</u> 校 <u>に</u> 会いました。もう三年間 <u>わ</u> かれていて、 <u>言</u> われてみると、彼は <u>ず</u> いぶんやせて <u>来</u> たという気が <u>し</u> ません。	1副用 *0/ーニ 2格 *ニ/ーデ 3熟語 4複 V (*てクル/ータ)
1322	香港 23 自由作文 25	これは封建時代の政策の影響と <u>考</u> えない <u>こ</u> とは <u>な</u> い。	複 V
1323	香港 24 短文作文 16	時間がないから、やむをえず彼に電話を <u>か</u> け <u>ら</u> れる <u>こ</u> と <u>が</u> できない。	複 V
1324	フランス 1 自由作文 8	そうできれば自動翻訳の <u>プ</u> ログラム <u>を</u> <u>成</u> りと <u>げ</u> る <u>よ</u> うになるかも知れない。	1表記 2複 V VP
1325	フランス 2 自由作文 2	にほんごの <u>べん</u> きょうをはじめたときは、にほんごが <u>そ</u> んなに <u>む</u> ずかしくないだろうと <u>お</u> も <u>っ</u> て <u>し</u> ま <u>っ</u> た。	1取立 *ガ/ーハ 2複 V *テシマウ/ーテ イル
1326	マレーシア 2 自由作文 7	うちから <u>学</u> 校 <u>ま</u> で一時かんぐらい電車に <u>の</u> っていま <u>す</u> 。	1表記 2複 V *テイル /ーテイク
1327	マレーシア 7 自由作文 4	まず、養いたい人が、森の中で、自然に、死ぬ犬を <u>さ</u> が <u>し</u> て行く。	複 V
1328	マレーシア 7 自由作文 8	そのあと、 <u>あ</u> まり <u>暗</u> い所に、 <u>お</u> いて <u>い</u> る。	1Ad 2複 V

1329	マレーシア 13 自由作文 7	まず、 <u>女の学生</u> の髪が自由にやります、 <u>せめて</u> 、清潔にするが <u>っていました</u> 。	1複N 2格 *ガ/ーヲ 3V 4Ad 5複V
1330	マレーシア 13 自由作文 9	ところが、父も母も <u>感激</u> を持っています。	複V
1331	マレーシア 13 会話作文 2	つまり、私が日本に来たのは、 <u>私自分</u> で <u>ほんとに</u> この国が <u>来たい</u> のが必要です。	1N 2発音 3格 *ガ/ ーハ 4複V
1332	マレーシア 14 自由作文 8	例えば、学校へ行く前や会社へ行く前など雨が <u>ふるそう</u> かさを持って行くと雨が <u>ふられなくて</u> 、 <u>便利だ</u> 。	1ムード 複V 接一 テ形 2格 *ガ/ーニ
1333	マレーシア 15 自由作文 3	国から <u>持っている</u> 漢和辞書を調べてみます。	複V
1334	マレーシア 15 自由作文 5	一種 <u>祝う</u> 盛節大会 <u>ことと</u> ありました。	1ーノ連 2体言 3複N 4複V
1335	マレーシア 15 自由作文 8	お婆さんの <u>親切に</u> 話によると、それわ日本人と <u>信仰</u> に関係がある <u>だろうと</u> 思っています。	1活用(NA) *ニ/ーナ 2表記 3格 *ト/ーノ 連 4複V
1336	マレーシア 18 自由作文 4	日本のと <u>違う</u> 、日本では、国民保険がついている <u>、</u> 約八十パーセントの <u>治療代を返す</u> 、つまり、 <u>安いだ</u> 。	1取立 *0/ーハ 2ー テイル 3接 *0/ー シ 4複V 5*ダ
1337	マレーシア 18 自由作文 12	もし私が医者だったら、 <u>医療制度を</u> 改革するつもりだ。	複V
1338	マレーシア 19 自由作文 3	診療所や病院で <u>、</u> お医者さんは <u>親切に</u> いろいろな病気がある患者を <u>治って</u> しまいました。	1取立 *0/ーハ 2副 用 3自他 4複V
1339	マレーシア 19 自由作文 10	もし、いつか私が <u>ほんどに</u> 医者に <u>なって</u> 、父と母も <u>きっと</u> 喜びがるでしょう。	1発音 2接 *テ形/ー タラ 3複V
1340	マレーシア 22 自由作文 14	私達はそのレストランに入るとお客さんに <u>しました</u> 。	複V
1341	マレーシア 23 自由作文 4	これは、もちろん国の身内に <u>会いたがら</u> なれというわけではありません。	1複V 2表記
1342	マレーシア 23 自由作文 5	日本の天候は、ほんとうに <u>不思議</u> がっています。	複V
1343	マレーシア 23 自由作文 17	やく四十五分船が <u>走って</u> 、美しい風景を <u>見かけ</u> ました。	1*テ形/ー連用 2複 V
1344	マレーシア 23 自由作文 29	上役さんは、私のために、たくさんの豚レバーを買ってくださっただけでなく、好きなお菓子も、オレンジジュースも持って <u>下</u> さいました。	複V
1345	マレーシア 25 自由作文 14	とても <u>うれし</u> がっていました。	複V
1346	マレーシア 30 自由作文 7	もし私が国の首相だったら、できるだけ、 <u>マレ人</u> に、けいざいや教育などを <u>援助</u> して、 <u>あげ</u> ます。	1表記 2複V
1347	インド 3 自由作文 15	小さい <u>そうじ機</u> を買いたいと <u>思</u> います。	複V
1348	インド 9 自由作文 6	しかし、このごろは <u>きたなくて</u> 、つゆ <u>きた</u> のために、部屋の中 <u>虫</u> が多くなりました。	1ー複V 2格 *0/ー ガ 3*体修 4*0/ー ニ

第3章 語彙論

1349	インド 9 自由作文 12	そして、時々あしが <u>痛い</u> です。	一複 V
1350	インド 15 自由作文 3	台所は板の間 <u>の</u> <u>ので</u> 、掃除 <u>する</u> <u>やすい</u> です。	1接 ノデ 活用(ダ) 2 複 V 活用
1351	インド 15 自由作文 7	右の方 <u>は</u> <u>本箱が</u> <u>おい</u> ます。	1格 *0 は /ーニ は 2 活用(V) ーテアル
1352	インド 15 自由作文 8	本箱の中 <u>で</u> <u>本を</u> <u>排</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>上</u> <u>に</u> <u>日本へ</u> <u>来</u> <u>た</u> <u>から</u> <u>秋葉</u> <u>原</u> <u>で</u> <u>買</u> <u>った</u> <u>テレビ</u> <u>と</u> <u>覚</u> <u>目</u> <u>ど</u> <u>け</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *デ/ーニ 2表記 3複 V 接 4*タ/ーテ 5表記
1353	インド 15 自由作文 10	左の方 <u>は</u> <u>冷蔵庫</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>く</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>本箱</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>が</u> <u>中</u> <u>で</u> <u>日</u> <u>用</u> <u>品</u> <u>と</u> <u>テ</u> <u>ー</u> <u>プ</u> <u>お</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>本</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	1取立 *0 は /ーニ は 2格 *モ /ーガ 3格 * デ /ーニ 4格 *0 /ー ガ 5ーテアル
1354	インド 20 自由作文 7	かべの上 <u>に</u> <u>日本</u> <u>全</u> <u>国</u> <u>地</u> <u>図</u> <u>が</u> <u>は</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	複 V
1355	インド 22 自由作文 27	ド <u>ー</u> <u>ア</u> <u>反</u> <u>対</u> <u>が</u> <u>わ</u> <u>の</u> <u>か</u> <u>べ</u> <u>に</u> <u>、</u> <u>と</u> <u>け</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1表記 2ーノ連 3複 V
1356	インド 24 自由作文 13	バス <u>の</u> <u>外</u> <u>に</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>機</u> <u>が</u> <u>買</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>置</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>相</u> <u>対</u> <u>の</u> <u>方</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>冷</u> <u>蔵</u> <u>庫</u> <u>と</u> <u>炊</u> <u>飯</u> <u>器</u> <u>と</u> <u>電</u> <u>気</u> <u>ポ</u> <u>ット</u> <u>も</u> <u>置</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1複 V N
1357	インド 24 自由作文 27	私 <u>も</u> <u>こ</u> <u>た</u> <u>つ</u> <u>が</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ガ /ーヲ 2*テ アル /ーテイル
1358	インド 24 自由作文 29	ほ <u>か</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>し</u> <u>ょ</u> <u>、</u> <u>電</u> <u>気</u> <u>ス</u> <u>タ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>装</u> <u>飾</u> <u>品</u> <u>が</u> <u>買</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>置</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>食</u> <u>べ</u> <u>物</u> <u>や</u> <u>カ</u> <u>セ</u> <u>ッ</u> <u>ト</u> <u>は</u> <u>こ</u> <u>だ</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>そ</u> <u>ば</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1複 V 2発音
1359	インド 25 自由作文 11	学 <u>校</u> <u>実</u> <u>験</u> <u>の</u> <u>前</u> <u>に</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>う</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>英</u> <u>語</u> <u>や</u> <u>数</u> <u>学</u> <u>や</u> <u>マ</u> <u>レ</u> <u>ー</u> <u>語</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>を</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>来</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1複 N N 2*テ形 3受 給 複 V
1360	インド 26 自由作文 12	そ <u>れ</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>宿</u> <u>題</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>を</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1C 3受給 2複 V
1361	インド 29 自由作文 3	こ <u>の</u> <u>映</u> <u>画</u> <u>は</u> <u>4</u> <u>年</u> <u>前</u> <u>に</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>国</u> <u>で</u> <u>映</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1V 2複 V *テシマウ /ーテイル
1362	インド 29 自由作文 9	一 <u>方</u> <u>、</u> <u>や</u> <u>さ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>お</u> <u>よ</u> <u>め</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>細</u> <u>心</u> <u>に</u> <u>お</u> <u>じ</u> <u>い</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>お</u> <u>世</u> <u>話</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1Ad 副用 2複 V
1363	インド 30 自由作文 8	私 <u>は</u> <u>、</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>お</u> <u>じ</u> <u>の</u> <u>家</u> <u>へ</u> <u>、</u> <u>遊</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>り</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	複 V 並 V
1364	インド 31 自由作文 2	も <u>し</u> <u>、</u> <u>我</u> <u>々</u> <u>の</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>わ</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>、</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>留</u> <u>心</u> <u>す</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>、</u> <u>なん</u> <u>か</u> <u>一</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>を</u> <u>見</u> <u>け</u> <u>る</u> 。	1格 *ニ/ーヲ 2V 3 不定 4複 V ムード
1365	インド 32 自由作文 3	私 <u>が</u> <u>今</u> <u>十</u> <u>九</u> <u>才</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>、</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>に</u> <u>来</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>、</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ふ</u> <u>と</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>来</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>、</u> <u>そ</u> <u>れ</u> <u>に</u> <u>悩</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> 。	1取立 *ガ/ーハ 2接 *テモ/ーガ 3複 V
1366	インド 32 自由作文 5	そ <u>の</u> <u>う</u> <u>え</u> <u>、</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>洋</u> <u>服</u> <u>に</u> <u>着</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>、</u> <u>見</u> <u>に</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>に</u> <u>違</u> <u>い</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	1格 ニ/ーヲ 2複 V
1367	インド 32 自由作文 9	そ <u>れ</u> <u>は</u> <u>、</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ふ</u> <u>と</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>わ</u> <u>け</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	1コソア 2取立 *ハ/ ーガ 3複 V
1368	インド 32 自由作文 12	考 <u>え</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>、</u> <u>そ</u> <u>れ</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>食</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>、</u> <u>ふ</u> <u>と</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>わ</u> <u>け</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。	1複 V 2コソア 3否定 4取立 *0 /ーハ

3.3. 補助動詞 [複V]

1369	インド 35 自由作文 11	太陽が西に <u>沈下</u> の時、母は私に「家へ帰ってご飯をたべて ますよう」とおおきい <u>ごえ</u> を <u>かけて</u> しまいました。	1N 2発音 3複V - テイル
1370	インド 36 自由作文 9	日本語を <u>習う</u> はじめに <u>必死</u> に勉強 <u>する</u> 態度はだんだん へっていた <u>とは</u> っきり感じています。	1VP 接 2*ル/-タ 3 複V 発音 表記
1371	インド 38 自由作文 4	私 の <u>こども</u> のころ、サッカーが好きでしたから、毎日、 <u>運動場</u> に <u>通</u> ってきた <u>が</u> 、私の体が、ちいさくて、よわそ う <u>です</u> から、他の人が、サッカーを <u>した</u> 時、私 <u>が</u> 、 <u>運動場</u> の外で、みるだけ <u>。</u>	1取立 *ノ/-ハ 2複 V 3*ル/-タ 4*タ/ -テイル 5取立 *ガ/ -ハ 6ダ
1372	インド 40 自由作文 32	子供のころには、私にとって一番なつかしい <u>時光</u> <u>です</u> か ら、できれば、もう一度そのころに <u>入</u> れて、これは私の 願いです。	1N 2V 接 *テ形/- 複V
1373	インド 42 自由作文 7	彼女の個人 <u>演</u> 唱会 に、 <u>な</u> っていました。	1N 2複V
1374	インド 43 自由作文 7	それもし、 <u>かぜ</u> が <u>か</u> かったら、すぐお医者さんに <u>み</u> に <u>い</u> った方がいでしょう。	1C 2格 *ガ/-ニ 3 複V
1375	インド 43 自由作文 12	<u>かぜ</u> について、 <u>一</u> 種類な <u>か</u> かりやすい <u>だ</u> 病気だから、 もし、 <u>か</u> かったらお医者さんに <u>み</u> に <u>い</u> く <u>と</u> なおる <u>よ</u> うに <u>な</u> ります。	1取立 *ニツイテ/- ハ 2数品 *NA/- N 3品 *NA/-A 4 複V 5*ヨウニ
1376	インド 48 自由作文 4	<u>コンピュータ</u> を <u>使</u> い <u>こ</u> とがだんだん <u>多</u> い <u>です</u> 。	1発音 2活用(V) 3複 V
1377	インド 50 自由作文 3	というのは、私の国 <u>に</u> はいろいろな撮影器材はほとんど日 本から <u>輸</u> 入 <u>さ</u> れました。	1格 *ニ/-デ 2複V 3*タ/-ル
1378	インド 52 自由作文 3	というのは、私の国 <u>に</u> まだ <u>注</u> 目 <u>さ</u> れなくて <u>ほ</u> とんど アメリカから <u>伝</u> えられきました。	1副用 2格 *でO/- でハ 3複V 4Ad 副用
1379	インド 52 自由作文 4	<u>近</u> い <u>ご</u> ろ <u>多</u> く <u>人</u> 事管理によって <u>問</u> 題 <u>が</u> <u>で</u> き <u>て</u> いるの で <u>ほ</u> か <u>の</u> <u>人</u> 事に <u>面</u> して <u>管</u> 理 <u>と</u> <u>知</u> 識 <u>が</u> <u>ほ</u> しいと思っ ています。	1Ad 副用 2語順 副用 3複V 発音 4副用 5* にメンシテ 6並N * ト/-ヤ
1380	インド 52 自由作文 8	私は日本で勉強した知識ややり方 <u>も</u> って <u>国</u> へ帰って <u>会</u> <u>社</u> に <u>入</u> る <u>時</u> に <u>少</u> く <u>な</u> く <u>会</u> 社の <u>人</u> 事管理と <u>経</u> 済発展に役 に <u>だ</u> っ <u>た</u> ろう <u>と</u> 思っています。	1語順 複V 2*ル/- タ 3副用
1381	インド 53 自由作文 4	このごろ、私の国で <u>向</u> 東 <u>学</u> 習 <u>を</u> <u>提</u> 唱 <u>し</u> ています。	1取立 *O/-ハ 2複 V 3自他
1382	インド 53 自由作文 10	その点、日本は戦後、 <u>短</u> く <u>時</u> 間で <u>快</u> 速 <u>に</u> 発展し、 <u>世</u> 界 に <u>冠</u> たる <u>経</u> 済力を <u>持</u> っ <u>と</u> なって <u>き</u> ます。	1体修 2副用 3VP 複 V
1383	インド 54 自由作文 10	しかし、六年生になった時李さんがひどい病気のため <u>の</u> 病院に <u>入</u> 院 <u>し</u> ています。	1*ノ連格 *O/-ニ 2複V
1384	インド 54 自由作文 16	もし、その時、私 <u>が</u> <u>お</u> 金持ち <u>に</u> なった <u>ら</u> 李さんの病 <u>気</u> <u>が</u> <u>必</u> ず <u>治</u> した <u>と</u> 思っています。	1VP 2格 *ガ/-ヲ 3 複V
1385	インド 55 自由作文 29	私はいつも国民の平和と平等を <u>図</u> せ <u>る</u> <u>と</u> 願っています。	V 複V

第3章 語彙論

1386	フィンランド 5 自由作文 27	<p>以上は私の部屋の説明 <u>しま</u>いました。</p> <p style="text-align: center;">(1)(2)</p>	1格 *0 /ーヲ 2複 V
1387	フィンランド 8 自由作文 18	<p>もし、私たちが注意したら、たとえば、ゆっくりねて、 <u>ストブ</u> を使って、あたたかいふくを <u>き</u>って、良く <u>食</u>べ <u>て</u>、あまり病気になるので、体 <u>が</u> <u>強</u>いはずで<u>す</u>。</p> <p style="text-align: center;">(1) (2) (3) (4) (5)</p>	1,2発音 表記 3接 *テ 形 /ー条件 4 取立 * ガ /ーハ 5複 V

3.4. 慣用的な動詞句 [VP]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
1388	台湾 1 パターン作文 26	しかし、人間的な関係がだんだん <u>遠い</u> 、 <u>そう</u> 一つに、人工受精ということ <u>には</u> 男女の関係が生育の機能のため <u>だけ</u> が、情愛がだんだん <u>うすい</u> 。	2コソア 1A 1,7VP 5格 *ニは /-デは 6接 (*ガ)
1389	台湾 2 自由作文 8	都市 <u>の</u> <u>進む</u> <u>こと</u> に従がって、 <u>いよいよ</u> 古い建物を保存することが <u>できない</u> 。	1格 *ノ /-ガ 2名詞節 *コト /-O 3Ad 副用 4VP
1390	台湾 2 自由作文 12	<u>残されて</u> いた古い物はよく <u>保存して</u> いないから、 <u>こわ</u> <u>られた</u> <u>し</u> 、さらに <u>モーダン</u> の型を <u>付けた</u> 。	1,2 受身 3自他 活用 (V)4並 V 5品詞 *N /-NA 6VP -テイル
1391	台湾 7 自由作文 8	木村さんはほとんど学校 <u>を</u> <u>来ない</u> から、いつも <u>あわな</u> <u>くなります</u> 。	1格 *ヲ /-ニ 2VP
1392	台湾 7 自由作文 9	もし、学校 <u>を</u> <u>来たら</u> 、私の宿舎に <u>遊んで</u> きて下さい。	1格 *ヲ /-ニ 2VP
1393	台湾 8 自由作文 9	主としては日本で学んだものを帰国後の勤務上に発揮できる <u>ように</u> <u>思います</u> 。	1VP V 2格 *O /-ト
1394	台湾 10 自由作文 5	まず言語の障害を除去しなければならぬので、日本語を上手に <u>話す</u> <u>出来る</u> ように、日本語を勉強したいと思います。	VP 可能
1395	台湾 15 自由作文 12	<u>そ</u> <u>し</u> <u>で</u> 私は日本人が自分の会社に <u>敬業の精神</u> が私の国の人々より <u>強が</u> っているとおもいます。	1発音 2-V 3VP
1396	台湾 20 自由作文 9	2、 <u>人才</u> を <u>培養</u> <u>する</u> <u>ため</u> に外国へ技術・学問を <u>学び</u> <u>に</u> <u>派遣</u> <u>する</u> 。	1V 2VP 受身
1397	台湾 24 自由作文 2	8月9日台北に <u>着</u> <u>い</u> <u>て</u> 、空港で <u>家族</u> <u>もう</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>こ</u> <u>が</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1接 条件 *テ形 /-タラ 2取立 *O /-ハ 3格 *O /-ガ 4VP
1398	中国 3 聴解要約 25	隣の部屋の主人、おばあさんは大家さんにお茶を <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> あげました。	VP
1399	中国 9 自由作文 14	中国へ帰ったら、光学の研究を <u>遊</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> と <u>思</u> <u>う</u> 。	VP
1400	中国 14 自由作文 10	早目めに <u>並</u> <u>び</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> 、 <u>一</u> <u>本</u> の電車に遅れたら、会社に遅刻するに <u>ち</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1VP -テ形 2数 3ムード スタイル
1401	中国 15 自由作文 8	しかし、電車があまり込んでいたため、 <u>あ</u> <u>の</u> <u>人</u> は <u>や</u> <u>は</u> <u>り</u> <u>電</u> <u>車</u> の中へ掛け込む <u>の</u> <u>を</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	1コソア 2副用 3名詞節 -コト 4格 *ヲ /-ガ 5VP
1402	中国 20 自由作文 6	とにかく、店員はいつも <u>笑</u> <u>い</u> <u>顔</u> を <u>し</u> <u>て</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>せ</u> <u>つ</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	VP
1403	中国 20 自由作文 9	はじめはこの若い女性がたぶんよくないことをしている <u>の</u> <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	ムード VP
1404	中国 20 自由作文 22	ふと国の小学生のことを思いだして、ほんとうに毎日遊んでばかり <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	VP

第3章 語彙論

1405	中国 21 自由作文 6	はじめて にほんじんのはなしはぜんぜんわからなかった (1) まいにち <u>ねんしゅう</u> <u>する</u> から、だんだんすこし <u>わか</u> (2) <u>り</u> なります。 (3) (4) (5)	1Ad 副用 2接 *0 /ー ガ 3発音 表記 4*ル/ ーテイル 5VP *ル/ ータ
1406	中国 22 自由作文 16	この方法で、わたしのかくこともはなすことも <u>一日一日</u> にもなりたいです。	VP
1407	中国 27 自由作文 3	にほんごをべんきょう <u>します</u> 。	VP
1408	中国 30 自由作文 4	まなぶ <u>カタカナ</u> と <u>ひらがな</u> で <u>かいて</u> はじめます。 (1) (2) (3)	1語順 2格 *デ/ーヲ 3接 *テ形 VP
1409	中国 42 自由作文 10	先生が授業のとき、学生はいろいろの <u>質問</u> があります。 (1) (2)	1体修 *ノ連 2VP
1410	中国 45 自由作文 15	いまから、みんなといっしょに将来大学に <u>はいる</u> <u>こと</u> を がんばりましょう。 (1) (2)	1ー可能 2*コト VP(ーヨウニ)
1411	中国 47 自由作文 12	みちであるいて、その <u>ひとは</u> <u>むじかしかった</u> <u>こと</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6) が <u>たすけてあげ</u> <u>ます</u> <u>たき</u> は、 <u>にほんご</u> <u>では</u> <u>なして</u> <u>つ</u> (7) (8) (9) (10) (11) <u>かう</u> ます。	1,10格 *デ/ーヲ 2* 0/ーテイル 3*コソ ア/ー0 4取立 *ハ/ ーガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト/ーノ 7格 *ガ/ーヲ 8スタ イル 11VP 発音
1412	中国 48 自由作文 10	ところで、にほんごは <u>むずかしい</u> が、わたしはにほんご (1) を <u>あかるく</u> <u>な</u> <u>って</u> <u>しま</u> いなければ <u>なら</u> ないとおもっ (2) (3) (4) ています。	1スタイル 2格 *ヲ/ ーニ 3A 4VP 活用(V)
1413	中国 50 自由作文 19	日本語は <u>いつも</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>つ</u> <u>ら</u> 、日本語がだんだん上手に (1) <u>ふ</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (2)	1取立 *ハ/ーヲ 2VP ムード
1414	中国 51 自由作文 9	にほんごが <u>は</u> <u>や</u> <u>く</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>よ</u> <u>う</u> とおもっています。	ムード VP
1415	中国 54 自由作文 14	わからない時は <u>老師</u> が <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>や</u> <u>さ</u> <u>し</u> <u>く</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1N 2VP 受給
1416	韓国 6 自由作文 6	ラジオはいろいろなサイズがありますから <u>旅行</u> <u>する</u> 時と (1) か <u>運</u> <u>転</u> <u>する</u> 時 <u>い</u> <u>つ</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>聞</u> <u>き</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (2)	1表記 2VP
1417	韓国 11 自由作文 6	しかしながら <u>私</u> は <u>と</u> <u>き</u> <u>ど</u> <u>き</u> <u>ふ</u> <u>る</u> <u>さ</u> <u>と</u> を <u>見</u> <u>回</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> (1) (2) <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>私</u> の <u>お</u> <u>父</u> <u>さん</u> と <u>一</u> <u>緒</u> に <u>お</u> <u>ば</u> <u>さん</u> と <u>お</u> <u>じ</u> <u>い</u> <u>さん</u> (3) <u>を</u> <u>見</u> <u>る</u> <u>た</u> <u>め</u> に <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (4)	1C 3V 2VP
1418	韓国 15 自由作文 7	しかし教えれば教えるほど <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> のが <u>外</u> <u>国</u> <u>語</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> のが <u>気</u> <u>づ</u> <u>い</u> <u>て</u> 、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>確</u> <u>実</u> な <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> 、 <u>正</u> <u>確</u> な <u>発</u> <u>音</u> 、 (1) (2) (3) (4) <u>さ</u> <u>ま</u> <u>ざ</u> <u>ま</u> な <u>日</u> <u>本</u> の <u>言</u> <u>語</u> <u>お</u> <u>よ</u> <u>び</u> <u>文</u> <u>化</u> 、 <u>さ</u> <u>ら</u> に <u>日</u> <u>本</u> <u>文</u> <u>学</u> に <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (5)	1ーダ 2N *ノ/ーコ ト 3格 *が/ーニ 4Ad 副用 5VP
1419	韓国 19 自由作文 8	筑波大学の特別なもの <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>が</u> <u>開</u> <u>ら</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>た</u> (1) (2) <u>も</u> <u>の</u> は <u>日</u> <u>本</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>急</u> <u>速</u> に <u>す</u> <u>べ</u> <u>て</u> の <u>方</u> <u>面</u> で <u>か</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>開</u> <u>放</u> <u>さ</u> <u>れ</u> (3) <u>て</u> <u>い</u> <u>て</u> 、 <u>ま</u> <u>た</u> は <u>い</u> <u>ま</u> <u>開</u> <u>放</u> <u>が</u> <u>進</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>方</u> <u>面</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (4)	1熟語 VP 2NA 3*モ ノ/ーコト 4自他
1420	韓国 20 自由作文 13	しかし、一年後に <u>、</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>ょ</u> (1) (2) <u>う</u> 。	1取立 *0/ーハ 2NA VP

3.4. 慣用的な動詞句 [VP]

1421	韓国 22 自由作文 10	日本語は韓国語と文法や <u>文形</u> など <u>か</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>英</u> <u>語</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>や</u> <u>さ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>が</u> 、 <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>と</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>に</u> <u>外</u> <u>国</u> <u>語</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>毎</u> <u>日</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>ど</u> <u>き</u> <u>は</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1表記 2,3発音 4,9- ダ 5語順 VP 6取立 * ト/ーハ 7格に*0/ にートッテ 8取立 * 0/ーハ 10活用(V) 11発音条件*トキ/ ーバ
1422	韓国 23 自由作文 6	どうすればよくなるか学校は社会の準備教育 <u>場</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1ーノ連 2VP
1423	韓国 28 自由作文 8	<u>妹</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>一</u> <u>緒</u> <u>に</u> <u>苦</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>を</u> <u>過</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1N スタイル 2VP 発音
1424	韓国 30 自由作文 3	この映画は、私が見た映画の中で一番いい映画 <u>じ</u> <u>ゃ</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> 、 <u>し</u> <u>か</u> <u>し</u> 、 <u>こ</u> <u>の</u> <u>映</u> <u>画</u> <u>の</u> <u>内</u> <u>容</u> <u>は</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>感</u> <u>動</u> <u>さ</u> <u>せ</u> <u>た</u> 。	1接 *テ形/ーガ 2使 役 表現 VP
1425	韓国 31 自由作文 2	私はなぜ日本へ留学 <u>し</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> 。	VP *ル/ータ
1426	韓国 32 自由作文 8	様々な経営制度をつくり、各地のいろいろな場合に <u>対</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>経</u> <u>営</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>を</u> <u>使</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>合</u> <u>え</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1V 2VP
1427	韓国 32 自由作文 10	私は将来国へ帰って父のデパートを <u>改</u> <u>革</u> <u>さ</u> <u>せ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>大</u> <u>き</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1*使役 2N 3VP
1428	韓国 35 自由作文 9	別に共産主義 <u>と</u> <u>言</u> <u>う</u> <u>北</u> <u>朝</u> <u>鮮</u> <u>と</u> <u>ソ</u> <u>ビ</u> <u>エ</u> <u>ト</u> <u>と</u> <u>中</u> <u>国</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>軍</u> <u>事</u> <u>的</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>ず</u> <u>い</u> <u>ふ</u> <u>ん</u> <u>不</u> <u>利</u> <u>な</u> <u>立</u> <u>場</u> <u>に</u> <u>お</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1*トイウ/ーノ連 2* タ/ール 3受身 VP
1429	韓国 35 自由作文 22	韓国と日本との <u>友</u> <u>情</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>関</u> <u>係</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>づ</u> <u>く</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>を</u> <u>祈</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1N 2VP
1430	アメリカ 1 自由作文 17	南米ではこのドーナツ現象 <u>が</u> <u>起</u> <u>こ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	2VP ーテイル 1取立 *ガ/ーハ
1431	アメリカ 4 自由作文 6	もし弁護士になって、仕事に専念したら毎日仕事をやりながら <u>勉</u> <u>強</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	VP
1432	インドネシア 2 聴解要約 8	それからあきはばら <u>で</u> <u>テ</u> <u>ー</u> <u>プ</u> <u>レ</u> <u>コ</u> <u>ー</u> <u>ダ</u> <u>ー</u> <u>を</u> <u>買</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>行</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	1格 *デ/ーへ 2VP * テ形/ーシニ
1433	香港 15 短文作文 12	桜の花を <u>い</u> <u>き</u> <u>み</u> <u>た</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> 、 <u>い</u> <u>そ</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 。	1VP 1活用 2スタ イル 4語順 4接 3活用(A)
1434	香港 16 短文作文 13	<u>櫻</u> <u>花</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> 、 <u>私</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>忙</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	4発音 3,4-のだ 1複 N 2VP 4接
1435	香港 19 自由作文 14	それは地理的、歴史的、文化的条件を <u>見</u> <u>て</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1接 条件 *テ形/ーバ 2VP *タ/ール ム ード
1436	香港 19 短文作文 14	妻を失ってみて、妻がどんなに大切 <u>に</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>が</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	NA VP (*にスル/ ーでアル,ー0)
1437	香港 19 短文作文 20	有名な大学を卒業した者は立身出世 <u>に</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>と</u> 、 <u>必</u> <u>ず</u> <u>し</u> <u>も</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	品詞 (*NA /ーV) VP (*にナル/ース ル)
1438	香港 22 短文作文 13	桜を見に <u>行</u> <u>く</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> 、 <u>私</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>い</u> <u>そ</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	2スタイル 3のだ 2ム ード 1VP

第3章 語彙論

1439	香港 23 自由作文 10	それに加えて、訓読みは漢字の意味が <u>わかられることが</u> <u>できる</u> 。	VP 活用 V
1440	香港 23 自由作文 12	だから訓読みは漢字の意味 <u>を</u> <u>わかられることができる</u> と <u>考えない</u> ではない。	1格 *ヲ/ーガ 2VP
1441	香港 24 自由作文 7	「米国」は「亜米利加」に <u>由来</u> してくる。	VP ーテイル
1442	フランス 1 自由作文 7	ところで <u>一生</u> け命 筑波大学で一年半で言語学、形式名詞 の <u>こと</u> を勉強してから <u>たぶん</u> 言語学者に <u>なるか</u> という <u>気望</u> <u>が</u> <u>あります</u> 。	1発音 表記 2Ad 副用 3VP 4表記 5V
1443	フランス 1 自由作文 8	そうできれば自動翻訳の <u>プログラム</u> を <u>成り</u> と <u>げる</u> よう になるかも知れない。	1表記 2複 V VP
1444	イラン 1 自由作文 16	イランでは <u>校</u> の <u>ふ</u> すぐである。	&表現 1N 2品詞 *N /ーV VP
1445	イラン 1 自由作文 18	日本の教育とイランの教育を比較してみると日本の制度 は中国とドイツのえいきょうでイランの制度はまずフラ ンスそのあとイングランドのえいきょう <u>あ</u> った。	2VP 格 *0 /ーガ 1 接 *テ形
1446	マレーシア 3 自由作文 5	それから、かわいそうな <u>もの</u> をよく助けてあげる、 <u>平</u> <u>和</u> にする。	1N 2VP
1447	マレーシア 3 自由作文 8	サン・チルーはぜんぜん <u>暴力</u> をしない、頭だけ使う、そ して、いつも <u>勝</u> っている。	1VP 2*テイル/ール
1448	マレーシア 4 自由作文 4	背中には、かめのような固い甲があり、 <u>尻</u> には、 <u>尾</u> <u>が</u> <u>か</u> けてあります。	1表記 2VP
1449	マレーシア 4 自由作文 13	<u>人</u> たちは、どうしても、そのこわいオーオラを <u>殺</u> したが <u>っ</u> ています。	1N 2VP
1450	マレーシア 4 自由作文 18	オーオラと <u>の</u> は、非常に人々を <u>こ</u> わがらせます。	1ーイウ 2VP
1451	マレーシア 5 自由作文 6	途中、日が昇り、ツバメなどの鳥類が海の水面を飛び交 う時、すっかり優美な <u>なが</u> めを与えました。	VP
1452	マレーシア 5 自由作文 13	例えば、昼中は海で泳いだり、林で小鳥を捕えたり、 <u>木</u> <u>を</u> <u>取</u> ったりしました。	VP
1453	マレーシア 6 自由作文 4	必ず世界の人々の将来の <u>幸福</u> な <u>こと</u> <u>し</u> なければなら ないでしょう。	1VP 2格 *0 /ーヲ
1454	マレーシア 6 自由作文 11	しかし、この <u>こと</u> <u>が</u> <u>無</u> 希望 のことでしょう。	1取立 *ガ/ーハ 2VP
1455	マレーシア 7 自由作文 23	また、ブティーアナは、むかしから、マレー人の生活と 深いつながりがあって、幸福な生活のために <u>な</u> ってくれ てきたことが分ります。	VP
1456	マレーシア 12 自由作文 5	私たち (他の <u>の</u> 人) も、天気によって、 <u>ち</u> かい <u>気</u> 持ち <u>が</u> <u>あ</u> ります。	1発音 2A 3VP
1457	マレーシア 12 自由作文 8	農民は、いつ、仕事を <u>始</u> まる か、わかりません。	自他 VP

3.4. 慣用的な動詞句 [VP]

1458	マレーシア 12 自由作文 10	ところが、天気予報があると、農民と漁民も、 <u>安心になります</u> 。	VP
1459	マレーシア 13 自由作文 6	<u>それでは</u> 、もし私が学校に <u>権力がある人</u> — <u>校長</u> だったら、それらの不満なこと <u>全部</u> きれいになおしたいです。	1C 2VP 3,4取立 *0 /-ハ
1460	マレーシア 14 自由作文 10	<u>出発している</u> 飛行機も <u>遅く</u> <u>なった</u> ほうがいい。	1VP 2副用 3V
1461	マレーシア 16 自由作文 7	その政策 <u>は</u> 、 <u>マレ人</u> に <u>優待</u> をします、例えば、会社をつくる時、四十四パーセントの <u>股権</u> <u>は</u> 、 <u>マレ人</u> に、 <u>あげ</u> なければなりません。	1格 *0 は/-デは 5 N 2,6表記 3格 *ニ/-ヲ 4VP 7V
1462	マレーシア 17 自由作文 19	<u>だから</u> 、庶民の生活は、 <u>共和</u> 、 <u>進歩</u> になります。	2N 4VP ムード 1C *ダカラ/-ソウス レバ 3品詞 *N/-V
1463	マレーシア 17 自由作文 20	もし、私が、マレーシアの首相になった <u>とき</u> 、国の政治や経済など、 <u>きっと</u> 、 <u>進んで</u> <u>いって</u> 、 <u>なります</u> 。	2Ad 副用 3接 *テ形 VP 1条件 *トキ/トラ
1464	マレーシア 18 自由作文 7	一方、日本では <u>進むな</u> <u>医療方法</u> 、 <u>機械</u> をよく <u>使う</u> 、 <u>と</u> <u>ころ</u> でも <u>医療方法</u> <u>が</u> <u>だいたい</u> <u>同じ</u> <u>だろう</u> <u>と思う</u> 。	1品詞 *NA/-A 2並 N 3接 一連用形 ノデ VP 4発音 5*ガ /-ハ 5取立
1465	マレーシア 18 自由作文 19	そして、新しい <u>医療方法</u> を使い、看護婦の態度 <u>が</u> <u>ぜひ</u> <u>良く</u> <u>変える</u> 。	1N 2格 *ガ/-ヲ 3Ad 副用 4VP 自他
1466	マレーシア 18 自由作文 25	<u>そして</u> 、ほかにもいろいろな方面も <u>改革</u> <u>たい</u> <u>つもり</u> <u>です</u> 。	1C 2VP 活用(V) 3 ムード
1467	マレーシア 21 自由作文 13	伍さんと林さんの <u>たすけ</u> <u>を</u> <u>もらった</u> 、いろいろな料理をつくって、友達と後に住んでいる日本人の家族 <u>を</u> <u>一緒に</u> <u>たべ</u> ました。	1VP 接 2格 *ヲ/ト
1468	マレーシア 28 自由作文 5	そして、毎日 <u>遊んで</u> <u>継い</u> ていました。	VP
1469	マレーシア 28 自由作文 24	飾っていたビールは山頂で <u>そびえ立</u> てると、 <u>気</u> <u>ち</u> になりました。	1VP 2N
1470	マレーシア 29 自由作文 17	教育水準を高められれば、その知識と技術 <u>を</u> <u>使</u> えて、国のたくさん天然資源たとえば石油や錫やゴムや木や農作物などで <u>利用</u> して、工業 <u>を</u> <u>盛</u> んて、 <u>進歩</u> 的な工業国になると <u>思</u> います。	1*テ形 2格 *デ/-ヲ 3VP
1471	マレーシア 29 自由作文 18	あとで商業と観光業 <u>を</u> <u>盛</u> かて、世界に <u>進歩</u> 的な国と有名な国 <u>に</u> <u>遂</u> げる <u>つも</u> りです。	1VP 2並 N 一テ形 3 V
1472	マレーシア 30 自由作文 11	このように、私は、日本やアメリカなどと外交関係をもっと <u>進</u> んでくる <u>つも</u> りです。	自他 VP
1473	メキシコ 1 自由作文 4	早速ですが、一ヶ月前に山本さん <u>い</u> <u>貸</u> してあげた「現代教育学の基礎」という本を読むのは <u>必</u> <u>要</u> として <u>い</u> る <u>の</u> <u>で</u> 一時返して <u>ま</u> ら <u>い</u> <u>たい</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> <u>ご</u> <u>都</u> <u>合</u> はよろしいでしょうか。	1表記 2VP 3発音 表記 4-のだ

第3章 語彙論

1474	インド 1 自由作文 8	私の部屋は簡単ですが <u>住んでやすい</u> で、 <u>いい気持ち</u> で、 <u>元気になります</u> 。 (1) (2) (3)	1VP 2表現 3VP
1475	インド 18 自由作文 20	みなみのほう <u>が</u> ベランダへ <u>できる</u> もうひとつ <u>もん</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ガ/ーニ 2VP 可能 3ノ連 4N 5*ダ
1476	インド 26 自由作文 10	弟妹 <u>も</u> <u>面倒</u> をしなければなりませんでした。 (1) (2)	1N 2VP
1477	インド 29 自由作文 5	非常にすばらしくて、 <u>よくて</u> 、 <u>心に感動した</u> 映画でした。 (1) (2)	1*テ形 A 2VP 表現
1478	インド 30 自由作文 7	おじは、大変やさしく、 <u>知識</u> が <u>もっていた</u> 人 <u>す</u> 。 (1) (2)	1VP 表現 2発音 ー グ
1479	インド 31 自由作文 10	なぜかという、いま工業社会と呼ばれている <u>の</u> <u>生活</u> <u>に</u> 、 <u>みんな</u> <u>ほとんど</u> <u>毎日</u> <u>緊張</u> な気が <u>なっている</u> 、 <u>毎日</u> <u>見た</u> <u>のは</u> <u>冷たい</u> <u>の</u> <u>建物</u> 、 <u>と</u> <u>無表情</u> <u>の</u> <u>顔</u> 。 (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1,6,7*ノ連 体修 2格 ニ/ーデ 3発音 4VP 5*タ/ール
1480	インド 36 自由作文 9	日本語を <u>習う</u> はじめに <u>必死</u> に <u>勉強</u> <u>する</u> 態度はだんだん <u>へっていた</u> <u>とは</u> <u>はっきり</u> <u>感じて</u> <u>います</u> 。 (1) (2) (3)	1VP 接 2*ル/ータ 3 複 V 発音 表記
1481	インド 37 自由作文 8	また、ふたりの愛情 <u>な</u> <u>非常に</u> <u>可貴</u> 、私は、「 <u>汪洋中</u> <u>の</u> <u>一条船</u> 」 <u>映画</u> <u>見た</u> <u>とき</u> <u>感動</u> <u>非常に</u> <u>涙</u> が <u>泣</u> ました。 (3) (4) (5) (6)	1取立 ーハ 2NA 3ト イウ 4格 *0/ーヲ 5 格 *0/ーデ 6VP
1482	インド 42 自由作文 14	今まで、この映画を思い出す <u>の</u> <u>時</u> 、 <u>心</u> に <u>残</u> っていました。 (1) (2)	1形名 接 *トキ 2VP
1483	インド 43 自由作文 11	<u>生活</u> <u>に</u> <u>規則</u> <u>する</u> <u>よう</u> <u>に</u> <u>して</u> <u>下</u> さい。 (1) (2)	1格 *ニ/ーヲ 2VP ー副用
1484	インド 44 自由作文 13	そのあと、男の人 <u>先生</u> が <u>好き</u> です。 (1) (2)	1*0/ーモ 2VP
1485	インド 45 自由作文 12	でも、統一考試日 <u>近づ</u> き、私は <u>何</u> とも <u>言</u> えない <u>ゆう</u> <u>うつ</u> が <u>始</u> まります。 (1) (2) (3)	1格 *0/ーガ 2副用 体修 3VP
1486	インド 50 自由作文 11	<u>しかし</u> 、 <u>その</u> <u>時</u> 、 <u>父</u> の <u>話し</u> <u>全然</u> <u>わ</u> かり <u>ませ</u> ん <u>が</u> <u>だ</u> ん <u>だ</u> ん <u>大</u> きく <u>な</u> ってこの <u>仕事</u> <u>の</u> <u>興</u> 味を <u>持</u> っています。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2取立 *0/ーハ 3*ル/ータ 4*ノ連 格 *0/ーニ 5VP
1487	インド 52 自由作文 5	その点は、日本の <u>科学管理制度</u> は日本の <u>経済</u> <u>に</u> <u>猛</u> 進さ <u>せて</u> <u>い</u> て <u>世界</u> <u>の中</u> <u>で</u> <u>経済</u> <u>大</u> 国 <u>に</u> <u>な</u> っています。 (1) (2) (3) (4)	1複 N 2格 *ニ/ーヲ 3副用 4VP
1488	インド 53 自由作文 7	<u>これ</u> <u>が</u> <u>き</u> っかけで日本へ <u>留</u> 学し <u>よう</u> <u>に</u> <u>な</u> りました。 (1) (2)	1コソア 2VP
1489	インド 53 自由作文 10	その点、日本は戦後、 <u>短</u> く <u>時</u> 間で <u>快</u> 速に <u>発</u> 展し、 <u>世界</u> <u>に</u> <u>冠</u> たる <u>経</u> 済力 <u>を</u> <u>持</u> つ <u>と</u> <u>な</u> って <u>き</u> ます。 (1) (2) (3)	1体修 2副用 3VP 複 V
1490	インド 54 自由作文 16	もし、その時、私が <u>お</u> 金 <u>持</u> ち <u>に</u> <u>な</u> った <u>ら</u> <u>李</u> さんの <u>病</u> 気 <u>が</u> <u>必</u> ず <u>治</u> したと <u>思</u> っています。 (2) (3)	1VP 2格 *ガ/ーヲ 3 複 V

3.5. 形容詞 [A]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
1491	台湾 1 パターン作文 9	たとえば、視覚 <u>デザイン</u> の方 <u>ば</u> 日本語より <u>面白い</u> だ。 (1) (2) (3) (4)	1表記 発音 2発音 取立 *ハ/ーガ 3品詞 (*NA/ーA) 4ダ スタイル
1492	台湾 1 パターン作文 12	四、五月 <u>で</u> 梅雨が <u>できる</u> 、湿度が <u>高い</u> だ、そして、 <u>あの</u> 時、 <u>かび</u> が生える。 (1) (2) (3) (4)	4コソア 2V 1格 *デ /ーニ 3*ダ 品詞 (*NA/ーA)
1493	台湾 1 パターン作文 18	六月から九月まで、たびたび、台風が台湾にくると、雨も多し、風も <u>強い</u> だので、 <u>災難</u> になった。 (1) (2) (3)	2品詞(*NA/ーA) 1接(*ト) 3*タ/ール
1494	台湾 1 パターン作文 26	しかし、人間的な関係がだんだん <u>遠い</u> 、 <u>そう</u> 一つに、人工受精ということ <u>には</u> 男女の関係が生育の機能のため <u>だけ</u> が、情愛がだんだん <u>うすい</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2コソア 1A 1,7VP 5格 *ニは/ーデは 6接(*ガ)
1495	台湾 2 聴解要約 6	<u>だから</u> 「 <u>見ても</u> <u>いい</u> ますか」と <u>質問</u> して、ヤンさんは「 <u>どうぞ</u> 」と言った。 (1) (2) (3)	3接 テ形 1C 2品詞 *V/ーA
1496	台湾 2 パターン作文 3	東京都より筑波学園都市の方がにぎやかで <u>ない</u> がここに住んでいる人はいつも非常に <u>楽しい</u> です。 (1) (2) (3)	1取立 *0/ーハ 2スタイル 3A
1497	台湾 3 自由作文 11	そして、 <u>うるさい</u> や古典や <u>いろいろ</u> <u>音楽</u> の <u>タイプ</u> も <u>好き</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2品詞 *N/ーA 3品詞 *Ad/ー NA 4語順 5ーダ
1498	台湾 5 自由作文 3	実は、あなた <u>は</u> 、去年、私から <u>か</u> して <u>もら</u> った本と資料は今、試験と論文を書くために、その本と統計資料は私にとって <u>急用</u> ですから、はやくかえてもらうのが <u>欲しい</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2受給 3N 4A
1499	台湾 5 自由作文 10	もし、私は来年の入学試験を <u>パ</u> ースしたら日本の生活習慣と暮らす方式を <u>実</u> 地に見学 <u>す</u> ることが <u>ほ</u> しいです。 (1) (2)	1発音 2ムード A ータイ
1500	台湾 11 自由作文 2	生まれつきの明るい性格のお陰で、小さい頃から <u>い</u> ちも友達と <u>つき</u> あいや <u>す</u> い、知り合いの友達と話すと、笑いはわれわれの共通のこと <u>ば</u> である。 (1) (2)	1発音 2複 A
1501	台湾 13 自由作文 5	しかし、輸入盤で、 <u>高</u> いでしたから、結局、 <u>買</u> いませんでした。	品詞 *NA/ーA
1502	台湾 16 自由作文 10	しかし、最近 <u>は</u> 成人の野球は <u>と</u> ても <u>お</u> おしい観衆も <u>お</u> お <u>く</u> になりました。	品詞 *NA/ーA
1503	台湾 18 自由作文 6	<u>ひ</u> どくになると、海山を越えて、外の国へも <u>旅</u> 行できます。	A 副用
1504	台湾 23 自由作文 1	私は夏休みの前に国へ <u>帰</u> りたいでした。	活用(A)
1505	台湾 23 自由作文 14	電話 <u>を</u> <u>聞</u> ったとき、 <u>心</u> に <u>気</u> 持ちは <u>悪</u> い、なかなか <u>平</u> 静にかえらなかつた。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーデ 2活用 3表現 4並 A
1506	中国 3 絵を見ての作文 4	その時、運転手の <u>気</u> 持ちは <u>う</u> れしていました。	品詞(A)

第3章 語彙論

1507	中国 7 自由作文 9	私はスポーツがたいへん <u>すぎ</u> だから、 <u>たいへ</u> <u>ぬれ</u> しい ① ② ③ です。	1発音 2Ad 副用 3A 発音
1508	中国 9 自由作文 10	今では、レーザーは <u>広い</u> 使われて、テレビ電話などの技 術を日常生活に使うようになった。	活用(A)
1509	中国 12 自由作文 11	すると、警察官に <u>きびしい</u> 質問されました。「名前 <u>は</u> ① ② 」、「国籍」、「保証人」、「住所」、「勤務先」、「 その電話番号」、「身元証明書」など、いろいろ <u>言</u> い ③ つめられました。	1品詞 *A / - Ad 2取 立 *ハ / - O 3 V
1510	中国 12 自由作文 20	車は「駐車違反」とか、「信号違反」など、 <u>もと</u> <u>きび</u> しい ① ② <u>い</u> だ そうです。	1発音 2品詞 *NA / - A
1511	中国 15 自由作文 14	東京には <u>あの人</u> のように <u>歩</u> く <u>スピ</u> ト を持っている人 ① ② ③ は <u>き</u> っと <u>多</u> い <u>。</u> ④	1コソア 2-A 3発音 4ムード
1512	中国 18 自由作文 10	わたしの国はあまり優れていませんけれど消防員 <u>が</u> <u>国</u> ① ② より <u>強</u> い にちが <u>い</u> あります。 ③	1取立 *ガ / - ハ 2N 3A
1513	中国 19 自由作文 9	私はそれを見て「 <u>あの人</u> は教育も <u>いい</u> し、お金もある ① ② し、 <u>なぜ</u> 普通の生活をしな <u>い</u> で、浮浪者になっている ③ <u>で</u> しょう。」と考えましたが、聞くと「 <u>仕事</u> がしたく ④ ⑤ <u>ない</u> <u>。</u> 」との返事が <u>し</u> ました。 ⑥ ⑦	1コソア 2A 3接 - ノニ 4スタイル 5条件 *ト / - タラ 6 接 -カラ 7-ダ
1514	中国 27 自由作文 12	まいにちがっこうの <u>き</u> ょう <u>し</u> ち のなかでにほんごをべん ① きょうしてにほんごを <u>は</u> なして <u>会</u> 話 <u>は</u> いちばん <u>い</u> い ② ③ ④ です。	1発音 2接 *テ形 3取 立 *ハ / - ガ 4A
1515	中国 28 自由作文 10	せんせいはしんせつではつおんが <u>た</u> だしい <u>。</u> ① ②	1活用(A) 2A
1516	中国 30 自由作文 5	わたしはにほんごが <u>む</u> ずかしく <u>お</u> もえました。	活用(A)
1517	中国 33 自由作文 4	わたし <u>の</u> あたま <u>は</u> <u>へ</u> た <u>で</u> からにほんご <u>は</u> <u>と</u> きど <u>ぎ</u> ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ <u>わ</u> すれます。	1格 *ノ連 / - ハ 2取 立 ハ / - ガ 3A 4活用 5*ハ / - ヲ 6 発音
1518	中国 43 自由作文 12	いい 日本語 <u>の</u> ならう <u>と</u> ころです。 ① ②	1A 2体修 格 *ノ / - ヲ & 語順
1519	中国 44 自由作文 13	りゅうがくせいはいつもにほん <u>に</u> はにほんごのべんきょ ① う <u>は</u> いちばん <u>い</u> い <u>こ</u> とです。 ② ③ ④	1格 *ニは / - デは 2 -名詞節 3取立 *ハ / -ガ 4A
1520	中国 47 自由作文 12	みち <u>で</u> ある <u>い</u> て、 <u>そ</u> の <u>ひ</u> と <u>は</u> <u>む</u> じか <u>し</u> かつた <u>こ</u> と ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ <u>が</u> <u>た</u> す <u>け</u> て <u>あ</u> げ <u>ま</u> す <u>た</u> き <u>は</u> 、 <u>に</u> ほんご <u>で</u> <u>は</u> なして <u>つ</u> ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ <u>か</u> う <u>ま</u> す <u>。</u>	1,10格 *デ / - ヲ 2* 0 / - テイル 3* コソ ア / - O 4取立 *ハ / -ガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト / - ノ 7格 *ガ / - ヲ 8スタ イル 11VP 発音
1521	中国 48 自由作文 10	ところで、にほんごは <u>む</u> ずかしい <u>が</u> 、わたしはにほんご ① <u>を</u> <u>あ</u> かる <u>く</u> なって <u>し</u> まい <u>な</u> ければ <u>な</u> らない <u>と</u> おもって ② ③ ④ <u>い</u> ます。	1スタイル 2格 *ヲ / -ニ 3A 4VP 活用(V)

1522	中国 49 自由作文 7	このがっこうのせんせいは <u>しんせつ</u> から、わたし <u>の</u> きもちいいです。 (1) (2)	1品詞 *A / -NA 2取立 *ノ連 / -ハ
1523	中国 58 自由作文 10	けれどもアパートは <u>小さい</u> ですから、アパートの部屋にいと、とても <u>暑い</u> でした。 (1) (2)	1A 2ムード
1524	中国 58 自由作文 12	<u>たのしい</u> でした。	活用] (A)
1525	中国 58 自由作文 25	ねだんはとても <u>高い</u> でした。	活用(A)
1526	中国 59 自由作文 3	というのは、私の国には外国から輸入した電気設備とか <u>家用電気</u> というものが多いです。 (1) (2)	1複N 2活用(A)
1527	中国 59 自由作文 4	<u>そんな</u> おおきい国けれども、電気設備等の物の <u>産量</u> が <u>低い</u> です。 (1) (2) (3)	1コソア 2N 3A
1528	韓国 5 自由作文 2	日本の物価と韓国 <u>物価</u> とをくらべると日本の物価 <u>が</u> <u>たくさん</u> <u>高い</u> である。 (1) (2) (3) (4) (5)	4品詞 *NA / -A 5ダ 1-ノ連 2熟語 -ノホウ 3Ad 副用
1529	韓国 5 パターン作文 4	そして同じ漢字で意味が完全に <u>ちかいは</u> <u>韓国</u> には勉強の漢字は工夫です。 (1) (2)	1発音 品詞(*A / -V) 2格 *ニは / -デは
1530	韓国 12 パターン作文 2	pre fab e の建設方法と在来式方法を調べると pre fab e 建設方法の方が建設費が <u>やすい</u> である。 (1) (2)	2ダ &スタイル 1品詞(A)
1531	韓国 13 パターン作文 4	今の私の日本の生活は <u>むずかしい</u> です。	A
1532	韓国 17 自由作文 4	ときどきあなたとのたのしかった時を思いながらその時のあなたの <u>情</u> が <u>なつかしい</u> でした。 (1) (2)	1N 2活用(A)
1533	韓国 18 自由作文 3	現代には社会問題 <u>で</u> <u>登場</u> している <u>多い</u> 問題が家庭の機能喪失に困って <u>超</u> <u>来</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>問</u> <u>題</u> ですから家族を通じて社会問題すなわち家族問題の解決方法について研究したいと思いました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニは / -O は 2格 *デ / -ニ 3 V 4品詞 *A / -N -ノ連 5活用 V
1534	韓国 20 自由作文 3	日本の秋はたいへんきれいで、天気 <u>が</u> <u>いい</u> でした。	活用(A)
1535	韓国 20 自由作文 7	<u>ひらかな</u> は <u>かたかな</u> はきれいで、 <u>おもしろい</u> ですが、 <u>たいへん</u> <u>むずかしい</u> でした。 (1) (2) (3)	1並N *ハ / ト 2発音 3活用(A)
1536	韓国 26 自由作文 4	だから、ひとつ <u>部</u> は二人が住まなければ <u>ならない</u> で、とても狭いです。 (1)(2) (3) (4)	1数 *O / -ノ連 2N 3発音 4活用(A)
1537	韓国 28 自由作文 5	主役は <u>醜</u> しい女の人で、貧しい田舎で生まれた。 (1)	1A
1538	韓国 28 自由作文 18	その教訓的な映画は「 <u>醜</u> しい顔をして <u>も</u> 、人間の <u>心</u> の <u>あり方</u> は <u>一番</u> <u>大切</u> だ」と <u>描</u> きました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1A 2-テイル 3取立 *ノ連 / -ハ 4 V 5*ハ / -ガ 6-トイウ 7名詞節
1539	韓国 35 自由作文 10	そして経済的 <u>で</u> も米国の <u>つよい</u> な <u>力</u> が韓国を <u>お</u> して <u>い</u> ます。 (1) (2) (3)	1カク *デ / -ニ 2品詞 *NA / -A 3 V
1540	ブラジル 2 自由作文 3	バイアは <u>古</u> 町 <u>から</u> <u>その</u> ところにたくさんきょうかいがある。 (1) (2) (3)	1活用(A) 体修 2ダ 3コソア

第3章 語彙論

1541	ブラジル 2 パターン作文 3	ブラジルにくらべて日本は文力 <u>おそい</u> です。 (1)(2)	1格 *0 /ーガ 2A
1542	アメリカ 1 自由作文 6	利用法も大都市に人口は集中し、交通渋滞 <u>悪どい</u> し、 (1) 大気 <u>のよごれ</u> や <u>もわるく</u> <u>な</u> <u>って</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>起</u> <u>こ</u> <u>っ</u> <u>て</u> (2) (3)(4) (5) (6) (7) <u>き</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>。</u>	1N 2取立 *ハ/ーガ 3格 *0 /ーガ 4A 6* テ形 7名詞節 5並N *ヤも/ー0も
1543	アメリカ 1 パターン作文 5	アパート <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>は</u> <u>、</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>が</u> <u>ひ</u> <u>ろ</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>そ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>な</u> <u>い</u> (1) <u>し</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>。</u> (2) (3)	1発音 2コソア 副用 3A 活用 *並A
1544	アメリカ 1 パターン作文 10	そのこどもは <u>おとな</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>で</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>好</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ら</u> (1) <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>を</u> <u>決</u> <u>ま</u> <u>れ</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>。</u> (2) (3)	3活用 V 1*ル/ータ 2品詞 *A/ーN
1545	アメリカ 2 自由作文 8	まず私がベルギーとイスラエルで <u>留</u> <u>学</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>時</u> <u>、</u> <u>普</u> <u>通</u> <u>の</u> <u>人</u> (1) <u>間</u> <u>、</u> <u>時</u> <u>々</u> <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>親</u> <u>し</u> <u>く</u> <u>扱</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>に</u> <u>来</u> <u>る</u> <u>と</u> (2) <u>野</u> <u>蛮</u> <u>人</u> <u>、</u> <u>或</u> <u>は</u> <u>人</u> <u>間</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>う</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>多</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u>	1格 *デ/ーニ 2品詞 *NA/ーA
1546	アメリカ 4 自由作文 5	私の意見 <u>に</u> <u>は</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>分</u> <u>析</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>方</u> <u>を</u> <u>使</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>け</u> (1) <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>は</u> <u>一</u> <u>番</u> <u>面</u> <u>白</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>満</u> <u>足</u> <u>な</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> (2) (3) (4)	1格 *ニは/ーデは 2 体修 3取立 *ハ/ー ガ 4並A *ト
1547	インドネシア 2 パターン作文 2	日本の人口とインドネシアの人口とをくらべると、イン ドネシアの人口 <u>の</u> <u>数</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>多</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2)	1N 2A
1548	インドネシア 2 パターン作文 4	<u>な</u> <u>ぜ</u> <u>か</u> <u>、</u> <u>た</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>そ</u> <u>れ</u> <u>は</u> <u>イ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>ネ</u> <u>シ</u> <u>ア</u> <u>の</u> <u>国</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>多</u> <u>き</u> <u>い</u> (1) <u>で</u> <u>、</u> <u>人</u> <u>口</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>、</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>口</u> <u>が</u> <u>一</u> <u>つ</u> <u>だ</u> <u>け</u> (2) (3) (4) (5) (6) <u>日</u> <u>本</u> <u>人</u> <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>イ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>ネ</u> <u>シ</u> <u>ア</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>口</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>口</u> <u>よ</u> (7) <u>う</u> <u>り</u> <u>多</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> (8)	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形/ーガ 5取立 *ガ/ーハ 6数 8品詞 *NA/ーA 7発音
1549	インドネシア 2 パターン作文 5	東京の人口と <u>ツ</u> <u>カ</u> <u>ル</u> <u>タ</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>口</u> <u>を</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>べ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>、</u> <u>も</u> <u>ち</u> <u>ろ</u> <u>ん</u> <u>東</u> (1) <u>京</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>口</u> <u>の</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>ぜ</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> (2)	1表記 2A
1550	インドネシア 3 パターン作文 5	これに対して <u>こ</u> <u>の</u> <u>も</u> <u>り</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>す</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>イ</u> <u>ン</u> (1) <u>ド</u> <u>ネ</u> <u>シ</u> <u>ア</u> <u>の</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>ふ</u> <u>の</u> <u>ア</u> <u>イ</u> <u>ヂ</u> <u>ア</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> (2) (3) (4)	1コソア 2A 3N 4表 記
1551	タイ 2 自由作文 4	このハムは、 <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2)	1A 2ムード
1552	タイ 2 自由作文 5	ハムのまんなか <u>は</u> <u>大</u> <u>き</u> <u>目</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2)	1取立 *ハ/ーニ 2活 用(A)
1553	香港 12 短文作文 6	あの人は先生とかくには <u>悪</u> <u>い</u> <u>人</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u>	A
1554	香港 15 短文作文 10	<u>大</u> <u>き</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>子</u> <u>供</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>い</u> <u>く</u> <u>親</u> <u>類</u> (1) <u>は</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>を</u> <u>と</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> (2) (3) (4) (5) (6)	2表現 6V 3語順 1活 用(A) 4ノ連 3AN 5*ル/ータ
1555	香港 15 短文作文 12	桜の花を <u>い</u> <u>き</u> <u>み</u> <u>た</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>、</u> <u>い</u> <u>そ</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> (1) <u>ら</u> <u>。</u> (2) (3) (4)	1VP 1活用 2スタイ ル 4語順 4接 3活用(A)
1556	香港 19 自由作文 5	今訓読みを廃止したら、国民は <u>新</u> <u>し</u> <u>く</u> <u>適</u> <u>応</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>。</u>	A 副用
1557	香港 20 自由作文 4	ある言葉を見ると発音が <u>わ</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>漢</u> <u>字</u> <u>の</u> <u>型</u> <u>で</u> <u>意</u> (1) <u>味</u> <u>を</u> <u>推</u> <u>想</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>。</u> (2)	1活用(A) 2N
1558	香港 24 短文作文 14	彼は海外の大学へいくそうだから、それなりに、 <u>お</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>気</u> <u>持</u> <u>を</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>。</u>	A

1559	香港 25 短文作文 13	技術 ⁽¹⁾ によって ⁽²⁾ 彼はまだ ⁽³⁾ 青年な ⁽⁴⁾ 運動員 と負けない、ところが、体力について見る限り、一番高い成就を ⁽⁴⁾ <u>過こす</u> ようである。	1格 *にヨッテ/ーに ツイテ 2品詞 *NA/ ーA NA 3N 4自他 *ル/ータ
1560	香港 25 短文作文 15	そうですが、でも、人々 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ これに ⁽³⁾ 価値観が ⁽⁴⁾ おおく ⁽⁵⁾ 変わる ⁽⁶⁾ のではないのでしょうか。	1取立 *ハ/ーノ連 2 格 *ニ/ーにツイテ 3 A 活用(A) 4*ル/ー タ
1561	香港 26 短文作文 5	<u>部分の</u> ⁽¹⁾ 学校は ⁽²⁾ 男性学生 ⁽³⁾ に ⁽⁴⁾ 長く ⁽⁵⁾ 髪 ⁽⁶⁾ の毛を ⁽⁷⁾ 禁止 ⁽⁸⁾ する。	2N 3A 1AN 4ーテ イル
1562	スリランカ 1 パターン作文 9	<u>あの</u> ⁽¹⁾ 女 ⁽²⁾ は「私のこい人 ⁽³⁾ に ⁽⁴⁾ たたら ⁽⁵⁾ いいですね」と ⁽⁶⁾ かん ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ え ⁽⁹⁾ で ⁽¹⁰⁾ た ⁽¹¹⁾ の ⁽¹²⁾ し ⁽¹³⁾ に ⁽¹⁴⁾ な ⁽¹⁵⁾ り ⁽¹⁶⁾ ま ⁽¹⁷⁾ し ⁽¹⁸⁾ た。	1コソア 4発音 2N 3 取立 *ハ/ーガ 6品詞(*N/ーA) 5 V
1563	フランス 1 自由作文 6	形式名詞という品しそのものの作用を解決しようと思うと <u>厳しい</u> ⁽¹⁾ 問題が出てくるかもしれないからその問題を ⁽²⁾ と ⁽³⁾ く ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ は ⁽⁶⁾ え ⁽⁷⁾ らい ⁽⁸⁾ 言語学者 ⁽⁹⁾ について ⁽¹⁰⁾ 研究 ⁽¹¹⁾ しなければ ⁽¹²⁾ なら ⁽¹³⁾ ない ⁽¹⁴⁾ で ⁽¹⁵⁾ し ⁽¹⁶⁾ ょう。	1A 2ーN 3取立 *ハ /ーO
1564	イラン 1 自由作文 2	ヨーロッパの生活と日本の生活の相違はいろいろありますが、まず、ヨーロッパで <u>物価</u> ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ あまり ⁽³⁾ た ⁽⁴⁾ か ⁽⁵⁾ く ⁽⁶⁾ なく ⁽⁷⁾ て、 <u>とちがって</u> ⁽⁸⁾ 日本 ⁽⁹⁾ で ⁽¹⁰⁾ 物 ⁽¹¹⁾ 価 ⁽¹²⁾ は ⁽¹³⁾ た ⁽¹⁴⁾ か ⁽¹⁵⁾ く ⁽¹⁶⁾ て、 <u>これに</u> ⁽¹⁷⁾ 対 ⁽¹⁸⁾ し ⁽¹⁹⁾ て ⁽²⁰⁾ き ⁽²¹⁾ ゅう ⁽²²⁾ り ⁽²³⁾ ょう ⁽²⁴⁾ は ⁽²⁵⁾ ひ ⁽²⁶⁾ く ⁽²⁷⁾ い ⁽²⁸⁾ で ⁽²⁹⁾ あ ⁽³⁰⁾ る。	1,4取立 *0/でー ハ 2接 *テ形/ー連用 形 3表現 5接 *テ形 6 副用 7品詞 *NA/ー A
1565	マレーシア 1 自由作文 11	これから、にほんごをもっと <u>べんきょう</u> ⁽¹⁾ して ⁽²⁾ の ⁽³⁾ ほう ⁽⁴⁾ が ⁽⁵⁾ とお ⁽⁶⁾ も ⁽⁷⁾ い ⁽⁸⁾ ま ⁽⁹⁾ す。	1*テ形/ータ 2*ノ連 3ーA
1566	マレーシア 2 自由作文 10	日本ごは <u>めずかし</u> ⁽¹⁾ です ⁽²⁾ ね。	発音 A
1567	マレーシア 3 自由作文 9	人間がこのような動物を考え出したのは昔の生活が <u>苦し</u> ⁽¹⁾ んで ⁽²⁾ いた ⁽³⁾ から、サン・カンチルーは良い人のイメージでカニさんとトラさんは悪い人のイメージだ。	*V/ーA
1568	マレーシア 7 自由作文 14	一方、この動物が、 <u>きれい</u> ⁽¹⁾ もの ⁽²⁾ は ⁽³⁾ 明 ⁽⁴⁾ る ⁽⁵⁾ い ⁽⁶⁾ 所 ⁽⁷⁾ だ ⁽⁸⁾ の ⁽⁹⁾ で ⁽¹⁰⁾ あ ⁽¹¹⁾ る。	1品詞 *A/ーNA 2* ダ
1569	マレーシア 12 自由作文 5	私たち (他の ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 人) ⁽³⁾ も、天気によって、 <u>ちかい</u> ⁽⁴⁾ 気 ⁽⁵⁾ 持 ⁽⁶⁾ ち ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ あ ⁽⁹⁾ り ⁽¹⁰⁾ ま ⁽¹¹⁾ す。	1発音 2A 3VP
1570	マレーシア 13 自由作文 4	先生たちの中に <u>感情</u> ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 親 ⁽³⁾ しま ⁽⁴⁾ ない ⁽⁵⁾ し、学生たちは外に <u>えあるい</u> ⁽⁶⁾ 行 ⁽⁷⁾ 為 ⁽⁸⁾ を ⁽⁹⁾ し ⁽¹⁰⁾ て ⁽¹¹⁾ い ⁽¹²⁾ る ⁽¹³⁾ も ⁽¹⁴⁾ あ ⁽¹⁵⁾ り、 <u>授業</u> ⁽¹⁶⁾ や ⁽¹⁷⁾ 宿 ⁽¹⁸⁾ 題 ⁽¹⁹⁾ が ⁽²⁰⁾ 多 ⁽²¹⁾ く ⁽²²⁾ て ⁽²³⁾ 難 ⁽²⁴⁾ しい ⁽²⁵⁾ ので、時々、 <u>反効果</u> ⁽²⁶⁾ の ⁽²⁷⁾ 事 ⁽²⁸⁾ 件 ⁽²⁹⁾ も ⁽³⁰⁾ あ ⁽³¹⁾ り ⁽³²⁾ ま ⁽³³⁾ し ⁽³⁴⁾ た。	2取立 *0/ーハ 3表 現 4格 *ニ/ーデ 7ー 名詞節 ーコト 6A 8 C 9複N
1571	マレーシア 18 自由作文 3	マレーシアで <u>お医者さん</u> ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 一 ⁽³⁾ 番 ⁽⁴⁾ 金 ⁽⁵⁾ 持 ⁽⁶⁾ ち ⁽⁷⁾ だ ⁽⁸⁾ と ⁽⁹⁾ 思 ⁽¹⁰⁾ う、私 ⁽¹¹⁾ 立 ⁽¹²⁾ の ⁽¹³⁾ 医 ⁽¹⁴⁾ 院 ⁽¹⁵⁾ が ⁽¹⁶⁾ た ⁽¹⁷⁾ く ⁽¹⁸⁾ さ ⁽¹⁹⁾ ん ⁽²⁰⁾ あ ⁽²¹⁾ る、 <u>しりょう代</u> ⁽²²⁾ が ⁽²³⁾ 高 ⁽²⁴⁾ い ⁽²⁵⁾ だ。	2N 発音 3品詞 *NA/ーA ダ 1取立 で*0/でーハ
1572	マレーシア 18 自由作文 5	<u>日本</u> ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ と ⁽³⁾ 違 ⁽⁴⁾ う、日本では、国民保険がついている、 <u>約八</u> ⁽⁵⁾ 十 ⁽⁶⁾ パー ⁽⁷⁾ セ ⁽⁸⁾ ント ⁽⁹⁾ の ⁽¹⁰⁾ 治 ⁽¹¹⁾ 療 ⁽¹²⁾ 代 ⁽¹³⁾ を ⁽¹⁴⁾ 返 ⁽¹⁵⁾ す、つまり、 <u>安い</u> ⁽¹⁶⁾ だ。	1表現 接 ーテ形 2語 順 数 3品詞 *NA/ー A ダ
1573	マレーシア 18 自由作文 7	一方、日本では <u>進む</u> ⁽¹⁾ な ⁽²⁾ 医 ⁽³⁾ 療 ⁽⁴⁾ 方 ⁽⁵⁾ 法 ⁽⁶⁾ 、 <u>機械</u> ⁽⁷⁾ を ⁽⁸⁾ よ ⁽⁹⁾ く ⁽¹⁰⁾ 使 ⁽¹¹⁾ う、 <u>と</u> ⁽¹²⁾ こ ⁽¹³⁾ て ⁽¹⁴⁾ も ⁽¹⁵⁾ 医 ⁽¹⁶⁾ 療 ⁽¹⁷⁾ 方 ⁽¹⁸⁾ 法 ⁽¹⁹⁾ が ⁽²⁰⁾ だ ⁽²¹⁾ い ⁽²²⁾ たい ⁽²³⁾ 同 ⁽²⁴⁾ じ ⁽²⁵⁾ だ ⁽²⁶⁾ ら ⁽²⁷⁾ う ⁽²⁸⁾ と ⁽²⁹⁾ 思 ⁽³⁰⁾ う。	1品詞 *NA/ーA 2並 N 3接 ー連用形 ー ノデ VP 4発音 5*ガ /ーハ 5取立

第3章 語彙論

1574	マレーシア 18 自由作文 9	マレーシアで <u>①</u> 、おおきな病院 <u>②</u> <u>③</u> がしか <u>④</u> 新しい方法 <u>⑤</u> 使 わ ^⑥ ない、国立病院でも、治療代が <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> 高いだ。	1取立 *0 / -ハ 2格 *ガ / -O 3取立 *ガしか / -O しか 4 格 *O / -ヲ 5品詞 *NA / -A
1575	マレーシア 20 自由作文 8	でも雨になると、お客さんが大変 <u>①</u> 少 ^② いだ。	品詞 *NA / -A
1576	マレーシア 20 自由作文 15	けれども、私の話はわかりにくい <u>①</u> だ、それで <u>②</u> は よく漢 字を書いて、わかりやすくなった。	1品詞 *NA / -A 2取 立 *ハ / -O
1577	マレーシア 22 自由作文 22	だから、毎日、 <u>①</u> いろいろな <u>②</u> 読んだり、友達と日本語で話 したりするつもりです。	品詞 *NA / -A
1578	マレーシア 24 自由作文 15	今度の夏休み <u>①</u> には、大部分の時間は、家にいましたで、 <u>②</u> よく <u>③</u> 楽しくなかったです。	1取立 *ニは / O は 2 A
1579	マレーシア 25 自由作文 21	やさしいし、 <u>①</u> おもしろいな <u>②</u> アルバイトでした。	品詞 *NA / A
1580	マレーシア 27 自由作文 1	私 <u>①</u> だち 別科生の夏休みは、大学生より一か月 <u>②</u> 短 ^③ いで、 八月九日から九月七日までだった。	1発音 表記 2活用(A)
1581	マレーシア 28 自由作文 1	私の <u>①</u> 夏休みには、 <u>②</u> なつかしく <u>③</u> の国へ帰った <u>④</u> ことです。	1表現 2活用(A) 品 詞 *N / -A 3名詞 節
1582	マレーシア 28 自由作文 27	その期間が短いながら、みんなも <u>①</u> 喜 ^② そう でした。	A
1583	マレーシア 29 自由作文 15	そして、私はもっと <u>①</u> 多い <u>②</u> 大学を <u>③</u> 建築して、私立の大学 を開設させて、優れた成績を <u>④</u> も ^⑤ っている学生は留学させま す。	1A 副用 2V 3V
1584	マレーシア 30 自由作文 13	また、美しい海岸もたくさんあり、観光 <u>①</u> の <u>②</u> いい <u>③</u> 国です。	1格 *ノ / -ニ 2A
1585	マレーシア 30 自由作文 18	このように、農産物を <u>①</u> やさしく <u>②</u> 生産できるようになる <u>③</u> そう <u>④</u> です。	1A 2ムード
1586	スペイン 2 聴解要約 8	そして、おふろにはいった、 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u>㉖</u> <u>㉗</u> <u>㉘</u> <u>㉙</u> <u>㉚</u> <u>㉛</u> <u>㉜</u> <u>㉝</u> <u>㉞</u> <u>㉟</u> <u>㊱</u> <u>㊲</u> <u>㊳</u> <u>㊴</u> <u>㊵</u> <u>㊶</u> <u>㊷</u> <u>㊸</u> <u>㊹</u> <u>㊺</u> <u>㊻</u> <u>㊼</u> <u>㊽</u> <u>㊾</u> <u>㊿</u> <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> <u>⑦</u> <u>⑧</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> <u>⑫</u> <u>⑬</u> <u>⑭</u> <u>⑮</u> <u>⑯</u> <u>⑰</u> <u>⑱</u> <u>⑲</u> <u>⑳</u> <u>㉑</u> <u>㉒</u> <u>㉓</u> <u>㉔</u> <u>㉕</u> <u></u>	

1592	エチオピア 1 パターン作文 4	あたらし <u>かんがい</u> かたと <u>ぎんたい</u> <u>ぎじつ</u> <u>研</u> <u>すもり</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) いてす。	2,3,4,7発音 5一格 * 0 / -ヲ 1活用 (A) 6 V
1593	インド 9 自由作文 19	本当に <u>わるかった</u> です。	A
1594	インド 15 自由作文 14	<u>きれい</u> 景色の <u>カレンータ</u> です。 (1) (2)	1品詞 *A / -NA 2表 記
1595	インド 18 自由作文 3	そして一番 <u>あたたかい</u> ところと言われています。	A
1596	インド 20 自由作文 18	それで私は住んで <u>うれしい</u> です。 (1) (2)	1表記 2A
1597	インド 23 自由作文 4	<u>おおきいて</u> <u>きれいな</u> <u>8畳へや</u> です。 (1) (2)	1活用(A) 2複N - ノ連
1598	インド 23 自由作文 22	<u>大きい</u> <u>で</u> <u>きれいな</u> 部屋です。	活用(A)
1599	インド 29 自由作文 5	非常にすばらしくて、 <u>よくて</u> 、 <u>心に感動した</u> 映画でし (1) (2) た。	1*テ形 A 2VP 表現
1600	インド 31 自由作文 14	したがって、広告が <u>多くの</u> 国は <u>進歩的</u> 、 <u>現代化の</u> 国と (1) (2) 呼ぶことはできるでしょう。	1,2N / -A 体修 NA
1601	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭が <u>あたたかかった</u> が <u>富裕</u> ではな (1) かったから、ほかの子供に <u>うらやましい</u> でした、 <u>毎度</u> 、 (2) (3) (4) 友達が <u>いっぱい</u> <u>おもちゃ</u> をもっている <u>とき</u> 、私は <u>金</u> (5) (6) (7) <u>もちさん</u> になって、もっと <u>多い</u> <u>おもちゃ</u> をもっている (8) <u>夢</u> をつくた。 (9)	1NA 2格 *ニ / -ガ 3 活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *ト キ / -ト 7N 8A 9V 発音
1602	インド 34 自由作文 6	そういう <u>のは</u> 、 <u>彼</u> が <u>よくて</u> 、 <u>やさしい</u> 先生でした。 (1) (2) (3)	1コソア 2取立 *ガ / -ハ 3A
1603	インド 34 自由作文 7	彼の <u>授教</u> で、 <u>つまらなかつたり</u> 、 <u>おもしろかつたり</u> する (1) (2) のでした。	1表記 取立 *デ / -ハ 2活用(A)
1604	インド 35 自由作文 7	病院へいって足の病気に <u>ついて</u> <u>答え</u> を <u>もらいたい</u> でした。	活用(A)
1605	インド 36 自由作文 3	時の <u>って</u> 、私たちの将来を <u>考えて</u> 、 <u>苦しく</u> <u>がんばり</u> まし よう。	A 副用
1606	インド 39 自由作文 5	だから、学校の <u>授業</u> を <u>おわた</u> た、 <u>友だち</u> と <u>一緒に</u> <u>山</u> を (1) (2) (3) 登って、 <u>きれい</u> <u>町</u> と <u>景色</u> を <u>み</u> ました。 (4)	1格 *ヲ / -ガ 2接 条 件 3格 *ヲ / -ニ 4品 詞 *A / -NA
1607	インド 39 自由作文 11	私が行く <u>多い</u> <u>山</u> は、 <u>もちろ</u> う <u>植物</u> が <u>ある</u> <u>山</u> でした。 (1) (2) (3)	1A 副用 2Ad 副用 3 発音
1608	インド 40 自由作文 13	<u>運動</u> のは <u>体</u> に <u>いい</u> し、 <u>ばい</u> きん に <u>抵抗</u> 力も <u>強い</u> になり (1) (2) (3) ます。	1名詞節 2格 *ニ / - ノ 3品詞 *NA / -A
1609	インド 40 自由作文 22	今思い出して <u>、</u> <u>ほんと</u> に <u>うれ</u> しかった。 (1) (2)	1取立 *O / -モ 2A
1610	インド 42 自由作文 1	彼女は、とても <u>幸</u> いで、あるレコード会社の <u>支配</u> 人が、 (1) 彼女 <u>に</u> 、 <u>録音</u> を <u>み</u> てあげました。 (2)	1*A / -NA 2格 *ニ / -ノ
1611	インド 42 自由作文 5	しかし、家にいるおじさんが、 <u>悲</u> しい と <u>病</u> 気になっ (1) (2) ている <u>が</u> 、 <u>悲</u> 傷 の <u>心</u> 情です。 (3) (3)	1A 2接 *ト 3名詞節 4*N -NA

第3章 語彙論

1612	インド 43 自由作文 6	寒くなるとかぜが一番かかりやすい <u>だ</u> 病気です。	品 *NA/-A
1613	インド 43 自由作文 12	かぜについて、 <u>一</u> 種類な <u>か</u> かりやすい <u>だ</u> 病気だから、 もし、 <u>か</u> かったら <u>お</u> 医者に <u>み</u> に <u>い</u> くとな <u>お</u> る <u>よ</u> うにな ります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ニツイテ/- ハ 2数 品 *NA/- N 3品 *NA/-A 4 複 V 5*ヨウニ
1614	インド 45 自由作文 2	私は、高校の時から化学の勉強に <u>濃</u> い <u>興</u> 味を <u>持</u> つ <u>始</u> め ます。 (1) (2) (3)	1A 2活用(V) 3*ル/ -タ
1615	インド 51 自由作文 16	私はしっかり日本の <u>経</u> 済学を学んで将来国へ帰えたら <u>国</u> の <u>経</u> 済 <u>発</u> 展について <u>国</u> 家の <u>経</u> 済を <u>め</u> ざましい <u>発</u> 展さ せたいと思っている。 (1) (2)	1表現 2活用(A)
1616	インド 53 自由作文 11	国民の生活もだんだん <u>やさ</u> しく <u>な</u> って <u>く</u> る <u>わ</u> けです。 (1) (2)	1A 2名詞節
1617	インド 55 自由作文 21	国民の生活を <u>優</u> しく <u>楽</u> しい生活を送るために <u>収</u> 支税金 という制度も <u>廃</u> 除します。 (1) (2)	1格 *ノ/-ガ 2A
1618	インド 55 自由作文 24	それらのはする と、国民が <u>ど</u> ん <u>ど</u> ん <u>優</u> しく <u>の</u> 生活 <u>を</u> <u>で</u> きます。 (1) (2) (3)	1副用 2A 3格 *ヲ/ -ガ
1619	フィンランド 7 自由作文 7	もし、 <u>ほ</u> しい <u>け</u> れば、 <u>私</u> に、 <u>言</u> って、 <u>ぐ</u> ださい。 (1) (2)	1活用 A 2発音

3.6. 形容動詞 [NA]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
1620	台湾 1 パターン作文 9	たとえば、視覚 <u>デザイン</u> の方 <u>ば</u> 日本語より <u>面白い</u> だ。 (1) (2) (3) (4)	1表記 発音 2発音 取立 *ハ /ーガ 3品詞 (*NA /ーA) 4ダ スタイル
1621	台湾 1 パターン作文 12	四、五月 <u>で</u> 梅雨が <u>できる</u> 、湿度が <u>高い</u> だ、そして、 <u>あの</u> 時、 <u>かび</u> が生える。 (1) (2) (3) (4)	4コソア 2V 1格 *デ /ーニ 3*ダ 品詞 (*NA/ーA)
1622	台湾 1 パターン作文 18	六月から九月まで、たびたび、台風が台湾にくると、雨 も多いし、風も <u>強い</u> だので、 <u>災難</u> になった。 (1) (2) (3)	2品詞(*NA/ーA) 1接(*ト) 3*タ/ール
1623	台湾 1 パターン作文 24	商品と消費者との関係を考えてみると、 <u>沢山</u> <u>媒体</u> があり ますが、その一つに <u>新聞広告</u> という <u>こと</u> が <u>一番</u> <u>普遍</u> に 使われています。 (1) (2) (3) (4)	4副用 NA 1N 2接 3*コト/ーモノ
1624	台湾 2 自由作文 12	<u>残</u> されていた古い物はよく <u>保存</u> して <u>いない</u> から、 <u>こわ</u> <u>ら</u> れた <u>し</u> 、さらに <u>モーダン</u> の型を <u>付</u> けた。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,2 受身 3自他 活用(V) 4並 V 5品詞 *N /ーNA 6VP ーテイル
1625	台湾 3 自由作文 3	中学生の時には <u>暇</u> のときいつも友達と一緒に自転車で郊 外へ行きました。	品詞 *N /ーNA
1626	台湾 3 自由作文 4	郊外の <u>フレッシュ</u> 空気や広い草原を <u>接</u> して と気持ちがよく なります。 (1) (2)	1NA 表記 2活用(V)
1627	台湾 3 自由作文 11	そして、 <u>うるさい</u> や古典や <u>いろいろ</u> <u>音楽</u> のタイプも 好き <u>〇</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2品詞 *N /ーA 3品詞 *Ad/ー NA 4語順 5ーダ
1628	台湾 5 自由作文 2	長い時間 <u>おそろ</u> かに <u>あなた</u> に手紙をかくことが <u>あり</u> ま <u>せん</u> が、 <u>どうも</u> 、すみませんでした。 (1) (2)	1NA 2 *ル/ータ
1629	台湾 7 自由作文 4	木村さんは先月私に貸して <u>持</u> った <u>名画家</u> の作品のスラ ドが <u>もう</u> 見ましたか <u>感想</u> がありますか、 <u>いい</u> 作品 <u>が</u> たくさん見て、参考して、 <u>自分</u> に <u>アイデア</u> の発想に <u>激</u> <u>発</u> することがあるかもしれないと思います。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *ハ/ーガ 2受給 3格 *ガ/ーヲ 4表現 5格 *ガ/ーヲ 6ーノ連 7NA
1630	台湾 8 自由作文 7	今の研究したい専門は法律の観点から企業の <u>悪性的な</u> 倒 産による影響の研究で、それに <u>した</u> がって <u>企業倒産</u> の可 能性を予測することや、それを回避すること、改善とい うことを日本 <u>で</u> 在籍期間にこれらの知識を吸収しようと 思います。 (1) (2) (3)	1NA 2格 に*シタガ ッテ /にーヨッテ 3格 *デ /ーノ連
1631	台湾 12 自由作文 3	先週久美子さんからのお祝いの手紙 <u>が</u> <u>見</u> ました <u>いろい</u> <u>ろ</u> のお世話になりました非常にありがとうございました。 (1) (2) (3)	1格 *ガ/ーヲ 2スタイル 3品詞 *N /ーNA
1632	台湾 12 自由作文 8	<u>いろいろ</u> の お世話になりました。	品詞 *N /ーNA
1633	台湾 13 自由作文 5	しかし、輸入盤で、 <u>高い</u> でしたから、結局、買いません でした。	品詞 *NA/ーA
1634	台湾 16 自由作文 10	しかし、最近は成人の野球はとてもおおいし観衆も <u>お</u> <u>お</u> くなりました。	品詞 *NA/ーA

第3章 語彙論

1635	台湾 17 自由作文 5	もしわたしがしんりそうだんしゃだったら、できるだけ、 うっせんな <u>人</u> <u>が</u> <u>たすけ</u> <u>させ</u> <u>られ</u> <u>ます</u> 。 (1) (2) (3)	1NA 2格 *ガ/ーヲ 3 使役 受身 複V
1636	台湾 23 自由作文 4	店長さんと社員たちは私たちにとても親切 <u>て</u> <u>くれ</u> <u>まし</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	品詞 *V/ーNA
1637	台湾 23 自由作文 6	特に、土曜日と日曜日はお客さんが多くて商品は大変 <u>雑</u> <u>乱</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	NA
1638	台湾 25 自由作文 8	親子は毎日、 <u>素質</u> <u>な</u> <u>生活</u> <u>に</u> <u>過</u> <u>ご</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1NA 2格 *ニ/ーヲ
1639	台湾 25 自由作文 9	しかし、ふたりの心情はいつも <u>愉快</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1品詞 *NA/ーN & 表現
1640	台湾 25 自由作文 12	そんなに <u>悲惨</u> <u>の</u> <u>映画</u> <u>を</u> <u>見</u> <u>た</u> <u>当</u> <u>時</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>涙</u> <u>を</u> <u>流</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2品詞 *N/ ーNA 3接 *体修/ー テ形
1641	中国 5 自由作文 1	もう一つは私の趣味は文学と <u>小説</u> <u>を</u> <u>読</u> <u>み</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1一名詞節 2NA
1642	中国 6 自由作文 9	今度の日本語 <u>コース</u> <u>を</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>単</u> <u>語</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>文</u> <u>法</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>、</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ぶ</u> <u>で</u> <u>、</u> <u>聞</u> <u>き</u> <u>は</u> <u>だ</u> <u>め</u> <u>で</u> <u>、</u> <u>読</u> <u>解</u> <u>は</u> <u>時</u> <u>間</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>書</u> <u>く</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	1V 2*ノ連 体修 3格 *とシテ/ートッテ 4,5取立 *0/ーハ 6NA 7接 *テ形/ーガ 8N 9取立 *ハ/ーガ
1643	中国 6 自由作文 12	ですから、来年の大学院入学試験を受けるために、 <u>いろ</u> <u>いろ</u> <u>の</u> <u>科目</u> <u>を</u> <u>始</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3)	1品詞 *N/ーNA 2Ad 副用 3スタイル
1644	中国 8 自由作文 6	日本語はへたで、日本人と友達になることは <u>だ</u> <u>め</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーガ 2NA
1645	中国 9 自由作文 8	日本は光学は <u>発</u> <u>達</u> <u>だ</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーガ 2品 詞 *NA/ーV
1646	中国 12 自由作文 20	車は「駐車違反」とか、「信号違反」など、 <u>も</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>び</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2品詞 *NA/ー A
1647	中国 17 自由作文 4	<u>世界</u> <u>中</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>有</u> <u>数</u> <u>な</u> <u>大</u> <u>都</u> <u>市</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1複N 2品詞 *NA/ ーN
1648	中国 19 自由作文 4	たとえば浮浪者 <u>が</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>不</u> <u>思</u> <u>議</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>、</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>経</u> <u>済</u> <u>大</u> <u>国</u> <u>の</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>こ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>に</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>浮</u> <u>浪</u> <u>者</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1一名詞節 2格 *ガ/ ーヲ 3活用 4ーノダ 5取立 に*ハ/にー0 6品詞 *NA/ーN 7ー ノダ
1649	中国 20 自由作文 21	東京にたくさん図書館があるのに図書館へ行くたびに閱 覧室 <u>の</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>席</u> <u>が</u> <u>ほ</u> <u>と</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。小学生で <u>え</u> <u>し</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>で</u> <u>ま</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1格 *ノ連/ーニ 2活 用(NA)
1650	中国 22 自由作文 9	きょうはもう学校の冬休みの前の試験の <u>お</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>日</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	品詞(*NA/ーN)
1651	中国 22 自由作文 14	しかし、話すこと <u>を</u> <u>心</u> <u>配</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1取立 *ヲ/ーハ 2品 詞(V/ーNA)
1652	中国 26 自由作文 8	にほんごのべんきょうのじかんが <u>み</u> <u>じ</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>、</u> <u>え</u> <u>い</u> <u>ご</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ず</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3)	1*ル/ータ 2格 *ヨリ 3NA
1653	中国 26 自由作文 15	それから、わたしはいつも <u>ほん</u> <u>と</u> <u>な</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>じ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>す</u> <u>お</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	品詞 *NA/ーN 2発 音

1654	中国 28 自由作文 26	わたしはにほんごが <u>じょうず</u> かどうかわかりません。	NA
1655	中国 33 自由作文 6	わたし <u>が</u> にほんごの <u>べんきょう</u> は <u>へた</u> から <u>にほん</u> <u>にん</u> の <u>ともたち</u> を <u>つくり</u> ます。	1取立 *ガ/ーハ 2*ハ /ーガ 3活用 (NA) 4,5発音 6*ル/ータ
1656	中国 47 自由作文 10	にほんでの <u>せい</u> かつは、にほんごは <u>でき</u> ません <u>とき</u> 、 <u>いちばん</u> <u>ぶべんり</u> です <u>ね</u> 。	1取立 *ハ/ーガ 2ス タイトル 3格 *0 /ー ガ 4NA 5スタイル
1657	中国 49 自由作文 7	この <u>が</u> っこうの <u>せんせい</u> は <u>しんせつ</u> から、わたし <u>の</u> <u>き</u> <u>もち</u> いいです。	1品詞 *A/ーNA 2取 立 *ノ連/ーハ
1658	中国 51 自由作文 7	わたしは <u>いつ</u> も <u>さくぶん</u> が <u>へた</u> でした。	NA
1659	中国 52 自由作文 4	買物や外で <u>あそぶ</u> することが <u>とても</u> <u>不便利</u> <u>だけ</u> から、 心の中に <u>持気</u> が <u>よく</u> ありませんでした。	1V 2NA 3発音 表記 4N &表現
1660	韓国 1 パターン作文 2	日本の交通手段は <u>たい</u> てい <u>マイカ</u> がありますから <u>便利</u> し <u>ます</u> 。	品詞 (NA)
1661	韓国 1 パターン作文 13	ですからソウルは常に <u>複雑</u> と考えます。	N 品詞 (NA)
1662	韓国 4 自由作文 8	ですから、日本と韓国の <u>経済力</u> を <u>比べ</u> て <u>みた</u> とき <u>韓国</u> の <u>ほう</u> が <u>劣る</u> のは <u>当然</u> <u>する</u> ことであると思ひます。	品詞 *V/ーNA
1663	韓国 5 自由作文 2	日本の物価と韓国 <u>物価</u> とを <u>くら</u> べると日本の物価 <u>が</u> <u>たくさん</u> <u>高い</u> である。	4品詞 *NA/ーA 5ダ 1ーノ連 2熟語 ーノ ホウ 3Ad 副用
1664	韓国 5 自由作文 6	そして韓国 <u>子供</u> は <u>バナナ</u> が <u>一番</u> <u>大好き</u> です。	2NA 1ーノ連 3ーノ ダ
1665	韓国 6 自由作文 3	ラジオは <u>聞く</u> の <u>だけ</u> ですが <u>はこぶ</u> が <u>便利</u> します。	1N *ノ 3品詞 *V /NA *N /ーNA 2体 修 ーノ
1666	韓国 6 自由作文 7	<u>しかし</u> テレビはラジオ <u>に対して</u> <u>サイズ</u> が <u>おおき</u> だ <u>か</u> <u>らはこぶ</u> が <u>不便</u> する。	1C 3ダ 2に*タイシ テ 5品詞 *N /ー NA *V /NA 4N ー ノ
1667	韓国 6 パターン作文 3	そして <u>安い</u> ものと <u>便利</u> ものと <u>か</u> 生活に必要なものを <u>近</u> <u>い店</u> <u>へ</u> 買ひます。	2格 *へ /ーデ 1NA 活用
1668	韓国 8 パターン作文 3	飛行機と船は <u>みんな</u> <u>危険</u> します。	品詞 (*V /ーNA) Ad
1669	韓国 8 パターン作文 6	同じ目的地 <u>ですが</u> <u>飛行機</u> が <u>船</u> より <u>時間的</u> で <u>早く</u> 到着 します。	1条件 ーテモ 2ーノ ホウ 3NA 副用
1670	韓国 9 パターン作文 1	ワープロとタイプライターの <u>一番</u> <u>大きい</u> 違いは、ワープ ロの方が <u>とって</u> <u>ま</u> <u>便利</u> な <u>使う</u> という <u>こと</u> です。	1表記 2NA 副用 3複 V
1671	韓国 11 パターン作文 8	また <u>あなた</u> と <u>私</u> を <u>くら</u> べると <u>私</u> は <u>きれい</u> です”。	1ーノホウ 3NA 2取 立 *ハ/ーガ
1672	韓国 19 自由作文 8	筑波大学の <u>特別な</u> もの <u>かも</u> しり <u>ませ</u> が <u>開</u> ら <u>か</u> に <u>され</u> た <u>もの</u> は <u>日本</u> も <u>いま</u> <u>急速</u> に <u>すべて</u> の <u>方面</u> で <u>かなり</u> <u>開放</u> され て <u>いて</u> 、 <u>また</u> は <u>いま</u> <u>開放</u> が <u>進</u> め <u>て</u> いる <u>方面</u> も <u>あり</u> ます。	1熟語 VP 2NA 3*モ ノ/ーコト 4自他

第3章 語彙論

1673	韓国 20 自由作文 13	しかし、一年後に <u>①</u> 、にほんごがたぶん <u>②</u> <u>きれい</u> でしょう。	1取立 *0 /-ハ 2NA VP
1674	韓国 22 自由作文 14	私はときどき寮のうけつけで日本の学生と <u>いろいろ</u> の日本語を話しています。	品詞 *N /-NA
1675	韓国 25 自由作文 13	韓国の部屋はたたみではありませんから私をはじめ日本で生活した時ちょっとこまりましたが今は <u>①</u> <u>習慣</u> になりましたから <u>②</u> <u>便利</u> です。	1N 2NA
1676	韓国 28 自由作文 16	彼女の善良 <u>①</u> の心を人々に知らせて <u>②</u> <u>いた</u> 。	1品詞 *N /-NA * ノ連 体修 2*テイル /ータ
1677	韓国 29 自由作文 5	たとえば、朝はやくおきて、散歩するとか家で軽い運動をするとか <u>いろいろ</u> な方法があると思います。	NA スタイル
1678	韓国 30 自由作文 8	成年になった彼女 <u>①</u> も様々な困難 <u>②</u> のことがあったが、結局、彼女は、 <u>③</u> <u>成功</u> な <u>④</u> <u>商業界の名人</u> になった。	1格 *0 も /-ニも 2 品詞 *ノ /-ナ 3NA 4 N
1679	韓国 31 自由作文 5	世界各地 <u>①</u> で会社の支店を <u>②</u> <u>つくられて</u> 商業も <u>③</u> <u>盛ん</u> ています。	1格 *デ /-ニ 2受身 3NA 複V
1680	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店 <u>①</u> を <u>②</u> <u>つくられて</u> 商業も <u>③</u> <u>盛ん</u> ています。	1格 *ヲ /-ガ 2品詞 *V /-NA 3発音 表 記 *テイル /-ルタ
1681	韓国 31 自由作文 16	国 <u>①</u> では <u>②</u> <u>たくさん</u> 日本の <u>③</u> <u>社会</u> があるから、将来その社会に仕事をさがすことも <u>④</u> <u>便利</u> です。	1格 *デは /-ニは 2 N 3NA
1682	韓国 33 自由作文 9	最高の先進国だ <u>①</u> <u>と言う</u> 日本で <u>②</u> <u>留</u> 学生生活をつうじて、 <u>③</u> <u>正確</u> し <u>④</u> <u>で</u> 高度の学問 <u>⑤</u> は <u>⑥</u> <u>私の生活観</u> や <u>⑦</u> <u>価値観</u> や <u>⑧</u> <u>国家観</u> に役だてたいと思います。	1*トイウ 2-ノ連 3 品詞 *V /-NA 4取 立 *ハ /-ヲ
1683	韓国 35 自由作文 10	そして経済的 <u>①</u> でも米国の <u>②</u> <u>つよい</u> な <u>③</u> <u>力</u> が韓国を <u>④</u> <u>お</u> しています。	1カク *デ /-ニ 2品 詞 *NA /-A 3V
1684	アメリカ 2 自由作文 8	まず私がベルギーとイスラエル <u>①</u> で <u>②</u> <u>留</u> 学した時、普通の人間、時々友だちとしても親しく <u>③</u> <u>扱</u> われたが日本に来ると野蛮人、或は人間では <u>④</u> <u>ない</u> だ <u>⑤</u> と思う人が多いです。	1格 *デ /-ニ 2品詞 *NA /-A
1685	アメリカ 3 自由作文 13	わたしはいつもかんじが <u>①</u> <u>いっしょ</u> れんめい <u>②</u> <u>べんきょう</u> して、まだほかの <u>③</u> <u>べんきょう</u> <u>④</u> <u>へ</u> たです。	1Ad 副用 2取立 *0 / -ハ 3NA
1686	アメリカ 4 自由作文 3	ところが弁護士になってから <u>①</u> <u>特別</u> な <u>②</u> <u>やり</u> たい <u>③</u> <u>こと</u> があります。	副用 活用(NA) *ナ / -ニ
1687	インドネシア 2 パターン作文 4	<u>①</u> <u>なぜ</u> か、たぶんそれはインドネシアの国のほうが <u>②</u> <u>多い</u> <u>③</u> <u>で</u> 、 <u>④</u> <u>人口</u> も <u>⑤</u> <u>いろいろ</u> <u>⑥</u> <u>であり</u> 、日本の人口が <u>⑦</u> <u>一つ</u> だけ <u>⑧</u> <u>日本人</u> だからインドネシアの人口のほうが日本の人口 <u>⑨</u> <u>より</u> <u>⑩</u> <u>多い</u> だ <u>⑪</u> と思います。	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形 /-ガ 5取立 *ガ /-ハ 6数 8品詞 *NA /-A 7発音
1688	インドネシア 5 自由作文 13	私はかんじがまだ <u>①</u> <u>じゃ</u> た <u>②</u> です。	NA 発音
1689	タイ 3 絵を見ての作文 1	<u>①</u> <u>可哀</u> そう <u>②</u> <u>おばあ</u> さん。	NA 活用

3.6. 形容動詞 [NA]

1690	香港 4 自由作文 10	専攻中心 については、古典文を知らなければ、ならないか ⁽¹⁾ ら、 <u>特な</u> ⁽²⁾ 古文コースをさがして勉強したいです。	1複 N 2NA
1691	香港 7 自由作文 49	メレディスという <u>有名な</u> 作家がいます。	活用 (NA)
1692	香港 7 自由作文 59	そのりょうかいのしかたは <u>ふうと</u> ⁽¹⁾ によって <u>とくしゅて</u> ⁽²⁾ <u>き</u> である。	1発音 2NA
1693	香港 7 自由作文 60	たとえばにんげんのい、しょく、じゅうあるいは <u>しょう</u> とする <u>どうぐう</u> ⁽¹⁾ は、かれのすむとちの <u>ふうと</u> ⁽²⁾ に <u>てきお</u> <u>おして</u> <u>とくしゅ</u> ⁽³⁾ <u>には</u> <u>ったつ</u> ⁽⁴⁾ <u>した</u> ⁽⁵⁾ 。	1品詞 *N/-V 2,3, 発音 4表記5NA 副用
1694	香港 7 自由作文 61	かれは、それらのきゃくたいをつうじて、 <u>とくしゅてき</u> <u>に</u> <u>じこ</u> <u>をりょうかい</u> <u>している</u> 。	NA 副用
1695	香港 10 短文作文 1	社長は彼の意見が好きですから、彼は <u>さいわい</u> <u>だ</u> <u>と思</u> <u>っています</u> 。	NA
1696	香港 14 短文作文 5	あなたはわざわざ本をもってきてくれました。それは <u>き</u> <u>のどく</u> <u>です</u> <u>ね</u> 。	NA
1697	香港 18 短文作文 12	考えてみれば、子供の時は <u>最</u> ⁽¹⁾ <u>も</u> ⁽²⁾ <u>楽し</u> ⁽³⁾ <u>か</u> ⁽⁴⁾ <u>った</u> ⁽⁵⁾ <u>好</u> ⁽⁶⁾ <u>だ</u> ⁽⁷⁾ <u>日</u> ⁽⁸⁾ <u>子</u> ⁽⁹⁾ <u>だ</u> ⁽¹⁰⁾ 。	1表記 2並 V *タ / テ形 3NA 4N
1698	香港 19 短文作文 14	妻を失ってみて、妻がどんなに大切 <u>に</u> <u>する</u> <u>か</u> <u>が</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	NA VP (*にスル / -てアル, -O)
1699	香港 19 短文作文 20	有名な大学を卒業した者は立身出世になるのかという、 必ずしもそうではない。	品詞 (*NA /-V) VP (*にナル /-ス ル)
1700	香港 20 自由作文 2	日本語 <u>音</u> <u>声</u> <u>だけ</u> <u>情</u> <u>報</u> <u>を</u> <u>伝</u> <u>う</u> <u>よ</u> <u>り</u> 、 <u>文</u> <u>字</u> <u>表</u> <u>現</u> <u>で</u> <u>視</u> <u>覚</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>情</u> <u>報</u> <u>を</u> <u>伝</u> <u>達</u> <u>と</u> <u>働</u> <u>く</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾	1取立 *O /-ハ 2格 *O /-テ 5V 3活用 4NA 副用
1701	香港 20 自由作文 10	日本は昔からアジア大陸と離れて <u>孤獨</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>文</u> <u>化</u> <u>を</u> <u>育</u> <u>て</u> <u>た</u> 。	NA
1702	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間 <u>交</u> <u>化</u> <u>交</u> <u>流</u> <u>が</u> <u>絶</u> <u>え</u> <u>ず</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> 、 <u>イ</u> <u>ギ</u> <u>リ</u> <u>ス</u> <u>人</u> <u>は</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>言</u> <u>葉</u> <u>を</u> <u>E</u> <u>n</u> <u>g</u> <u>l</u> <u>i</u> <u>s</u> <u>h</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>N</u> <u>a</u> <u>t</u> <u>i</u> <u>o</u> <u>n</u> <u>a</u> <u>l</u> <u>L</u> <u>a</u> <u>n</u> <u>g</u> <u>u</u> <u>a</u> <u>g</u> <u>e</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>は</u> 、 <u>日</u> <u>本</u> <u>人</u> <u>の</u> 、 <u>閉</u> <u>塞</u> <u>性</u> <u>と</u> <u>極</u> <u>端</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>対</u> <u>照</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ ⁽⁶⁾	1格 -テ N 発音 2副 用 3活用 5語順 4取 立 *ハ /-ガ 6NA 品 詞
1703	香港 20 短文作文 14	技術だけ言えば、彼は若い選手のように <u>す</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>だ</u> <u>が</u> 、 <u>体</u> <u>力</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>見</u> <u>る</u> <u>限</u> <u>り</u> 、 <u>全</u> <u>盛</u> <u>期</u> <u>を</u> <u>過</u> <u>ぎ</u> <u>た</u> 。	品詞 (*NA /-V)
1704	香港 21 短文作文 10	<u>一</u> <u>概</u> <u>に</u> <u>は</u> 、 <u>子</u> <u>供</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>は</u> <u>宿</u> <u>題</u> <u>を</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1副用 Ad 2品詞 活用 (NA)
1705	香港 23 自由作文 20	自国の <u>語</u> <u>言</u> <u>は</u> 「 <u>国</u> <u>語</u> 」 <u>と</u> <u>よ</u> <u>ぶ</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>自</u> <u>然</u> <u>の</u> <u>事</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1N 2格 取立 *ハ / ヲ 3品詞 (*N /- NA)
1706	香港 23 自由作文 28	自国の文化の輸出に対する <u>積</u> <u>極</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	品詞 (*N /-NA)
1707	香港 23 自由作文 29	さらに、日本人は自国の文化に <u>忠</u> <u>実</u> <u>の</u> <u>感</u> <u>じ</u> <u>が</u> <u>す</u> <u>る</u> 。	品詞 *N /-NA

第3章 語彙論

1708	香港 25 短文作文 4	彼の名は国の中で <u>有名</u> だけでなく、外国 <u>も</u> よく知られている。	1活用(NA) 2格 取立 *0も /-二も
1709	香港 25 短文作文 10	<u>極端的に</u> 気温は彼岸までだとよく言われている。	NA 活用(NA)
1710	香港 25 短文作文 13	技術 <u>によって</u> 彼はまだ <u>青年な</u> <u>運動員</u> と負けない、ところが、体力について見る限り、一番高い成就を <u>過こす</u> ようである。	1格 *にヨッテ/-に ツイテ 2品詞*NA/ -A NA 3N 4他 *ル/-タ
1711	香港 26 自由作文 14	つまり、明治維新以前 <u>かなり</u> <u>鎖国</u> です。	1副用 Ad 2品詞 *NA/-N
1712	香港 26 短文作文 6	<u>極端的な</u> 気温は <u>ひかん</u> まで <u>たげ</u> した <u>と</u> <u>言</u> えました。	3,1発音 4表現 2NA 5 V
1713	フランス 1 自由作文 4	ところが <u>シンタクスの意味的な</u> <u>ちゃんとした</u> 基準を見つけるには <u>よく</u> 日本語の構造などやはり言語学が <u>わかる</u> 必要があるでしょう。	1NA 2語順 3*ル/- テイル
1714	イラン 1 自由作文 2	ヨーロッパの生活と日本の生活の相違はいろいろありますが、まず、ヨーロッパで <u>物価は</u> あまりたかく <u>なくて</u> 、 <u>とちがって</u> 日本で <u>物価は</u> <u>たかくて</u> 、 <u>これに対し</u> <u>て</u> <u>きゅうりょうは</u> <u>ひくい</u> である。	1,4取立 で*0 /で- ハ 2接 *テ形/-連用 形 3表現 5接 *テ形 6 副用 7品詞 *NA/- A
1715	イラン 1 自由作文 3	それに、ヨーロッパ <u>大きさ</u> 人口あたり <u>日本より</u> 広いので住宅問題は <u>たいせつ</u> ではない。	&表現 1語順 2ノ連 3NA
1716	マレーシア 3 自由作文 6	<u>きらいの</u> はやっぱり乱暴で <u>悪いもの</u> だ。	1活用 *NA 2N
1717	マレーシア 7 自由作文 14	一方、この動物が、 <u>きらいもの</u> は <u>明るい所</u> だのである。	1品詞 *A /-NA 2* ダ
1718	マレーシア 8 自由作文 20	先生から <u>各種な</u> スポーツのやりかたを <u>習</u> ってもらいます。	1品詞 *NA/-N 2V
1719	マレーシア 9 自由作文 1	このごろ、世界の中の経済が <u>不隠定</u> とだれでもよく <u>わ</u> かります。	1品詞 *N /-NA 2V
1720	マレーシア 9 自由作文 3	この問題 <u>が</u> <u>いろいろ</u> <u>関係</u> がある、例えば、人々の <u>自私</u> の心、国と国の貿易戦争など、 <u>これら</u> のために、 <u>世界</u> の経済がむかしよりわるくなってき <u>ま</u> します。	1取立 *ガ/-ハ 2品 詞 *Ad/-NA,3,4N 5 接 *0 /-デ 6*0 /- テイル
1721	マレーシア 14 自由作文 12	天気がよかったり、悪かったり <u>と</u> <u>ても</u> <u>大切</u> だ。	1名詞節 2NA
1722	マレーシア 15 自由作文 8	お婆さんの <u>親切に</u> 話によると、それ <u>わ</u> 日本人 <u>と</u> 信仰 <u>に</u> 関係があるだろうと <u>思</u> っています。	1活用(NA) *ニ/-ナ 2表記 3格 *ト /-ノ 連 4複 V
1723	マレーシア 16 自由作文 15	そうすると、先生はみな <u>親切</u> しています。	1C 2品詞 *N /-NA
1724	マレーシア 18 自由作文 3	マレーシアで <u>、</u> お医者さんは一番金持ちだと思ふ、私立の医院がたくさんある、 <u>しりょう代</u> が <u>高い</u> だ。	2N 発音 3品詞 *NA/-A ダ 1取立 で*0 /で-ハ
1725	マレーシア 18 自由作文 5	日本のと違 <u>う</u> 、日本では、国民保険がついている、 <u>約</u> <u>八</u> <u>十</u> パーセントの治療代を返す、つまり、 <u>安</u> いだ。	1表現 接 -テ形 2語 順 数 3品詞*NA/- A ダ

1726	マレーシア 18 自由作文 7	一方、日本では <u>進むな</u> <u>医療方法、機械</u> をよく <u>使う</u> 、 <u>ところでも</u> <u>医療方法</u> が <u>だいたい</u> 同じだろうと思う。 (1) (2) (3) (4) (5)	1品詞 *NA/-A 2並 N 3接 一連用形 一 ノデ VP 4発音 5*ガ /-ハ5取立
1727	マレーシア 18 自由作文 9	マレーシアで <u>、</u> おおきな病院 が <u>しか</u> 新しい方法 <u>使</u> <u>わ</u> ない、国立病院でも、治療代が <u>高い</u> だ。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 で*0 /でー ハ 2格 *ガ /ー0 3取 立 *ガしか /ー0 し か 4格 *0 /ーヲ 5品 詞 *NA /-A
1728	マレーシア 19 自由作文 7	<u>貧困</u> な病人は、 <u>薬費</u> を払わなくてもいいです。 (1) (2)	1NA 2N
1729	マレーシア 20 自由作文 8	でも雨になると、お客さんが大変 <u>少</u> いだ。	品詞 *NA/-A
1730	マレーシア 20 自由作文 15	けれども、私の話はわかりにくい <u>だ</u> 、それではよく漢 字を書いて、わかりやすくなった。 (1) (2)	1品詞 *NA/-A 2取 立 *ハ/ー0
1731	マレーシア 21 自由作文 5	宿題 <u>、</u> たくさんあるから、そのうえ日本語まだ <u>上手</u> で アルバイト <u>が</u> やらなかった。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0 /ーガ 2NA 3 接 4*ガ/ーヲ
1732	マレーシア 22 自由作文 8	東上線の沿線情報誌によるとある会社 <u>は</u> 男性 <u>が</u> <u>急募</u> だ <u>そう</u> でした。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ 3品詞 *NA/-N 4ムード
1733	マレーシア 22 自由作文 22	だから、毎日、 <u>いろいろな</u> 読んだり、友達と日本語で話 したりするつもりです。	品詞 *NA/-A
1734	マレーシア 23 自由作文 26	でも、私 <u>、</u> 日本語がまだ <u>変</u> だ から、時々おばちゃん の話題 <u>は</u> 幾度も熱心に耳を傾け <u>、</u> わかりませんでした。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *0 /ーハ 2NA 3格 *ハ/ーニ 4接一 テモ
1735	マレーシア 25 自由作文 21	やさしいし、 <u>おもしろい</u> なアルバイトでした。	品詞 *NA/A
1736	マレーシア 27 自由作文 2	この間、 <u>いろいろ</u> のわけで、国へ帰らなかった。	品詞 *N/-NA
1737	マレーシア 27 自由作文 16	でも、 <u>変</u> の言葉もいっぱいならった。	品詞 *N/-NA
1738	マレーシア 28 自由作文 20	ルームを <u>約</u> してもらって、 <u>豊富</u> な遊びをはじめました。 (1) (2)	1V 2NA
1739	マレーシア 29 自由作文 2	首相は、国の政治に一番 <u>有力</u> な人で、国政を指揮して、 だれでも <u>尊敬</u> して <u>名望</u> をもっている人です。 (1) (2) (3)	1NA 2受身 3N
1740	マレーシア 30 自由作文 9	<u>第</u> 、マレーシア <u>、</u> <u>発展</u> 中国 <u>国</u> だから、 <u>経済</u> 成長が遅 れていますが、日本やアメリカなど先進国 <u>、</u> 直接的に、 また間接的に、私の国と <u>経済</u> 成長な <u>影響</u> があります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1副用 2取立 *0 /- ハ 3複 N 4取立 *0 /- ハ 5品詞 *NA/- N
1741	スペイン 2 パターン作文 13	また魚はピアノ <u>ひ</u> けません、 <u>手</u> が <u>ない</u> だからです。 (1) (2) (3)	格 *0 /ーガ 2接 3品 詞 (*NA/-A)
1742	インド 1 自由作文 14	え・・・ <u>簡単</u> でしょうね <u>が</u> 私は満足です。 (1) (2)	1NA 2スタイル
1743	インド 2 自由作文 2	私の部屋は四畳半で、とても <u>簡単</u> な部屋です。	NA
1744	インド 3 自由作文 17	家主は <u>親切</u> の人です、私は大変 <u>喜</u> 好きです。 (1) (2)	1品詞 *N/-NA 2NA

第3章 語彙論

1745	インド 15 自由作文 14	きれいな景色の <u>カレンータ</u> です。 (1) (2)	1品詞 *A / -NA 2表記
1746	インド 16 自由作文 10	私は <u>邪魔な</u> 部屋がきれいですから、あまり沢山物をおきません。	NA
1747	インド 18 自由作文 31	へやのおおきさより <u>きれいな</u> のほうが大せつです。	NA *ノ連
1748	インド 23 自由作文 5	へやの中に <u>いろいろ</u> <u>用品</u> があります。 (1) (2)	1品詞 *N / -NA 2N
1749	インド 26 自由作文 5	彼女と <u>いろいろ</u> の話をしながら、彼女は私ににこにこしてくれました。	品詞(*N / -NA)
1750	インド 26 自由作文 20	彼女の明朗な態度と <u>豊かな</u> 教養と勤勉な学習態度、今までも <u>深刻に</u> 私の心の底に <u>残</u> っている。 (2) (3) (4)	1品詞 *N / -NA 2格 *マデ 3副用 Ad 4発音
1751	インド 28 自由作文 5	この映画の中でみんな <u>戦争</u> はやめたいと <u>深刻な</u> <u>出</u> る。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 2取立 *O / -ハ 3活用(NA)*ナ / -ニ 4V
1752	インド 28 自由作文 7	みんなこの <u>無義意</u> な戦争は <u>いや</u> た。 (1) (2)	1NA 2*ル / -タ 発音
1753	インド 29 自由作文 4	そのときには <u>たくさん</u> な人々がこの映画を見に行きました。	品詞 *NA / -N 体修
1754	インド 29 自由作文 15	毎日、同じ <u>の</u> <u>仕事</u> を <u>や</u> って <u>あまり</u> にも <u>偉大</u> でした。 (1) (2) (3) (4)	1品詞 *ノ / -O 体修 2*テ形 3Ad 副用 4NA
1755	インド 31 自由作文 14	したがって、広告が <u>多くの</u> 国は進歩的、 <u>現代化</u> の国と呼ぶことはできるでしょう。 (1) (2)	1,2N / -A 体修 NA
1756	インド 32 自由作文 10	特に、 <u>今</u> 寒くなると、 <u>熱量</u> が <u>需要</u> なので、たくさんたべなくてははいけません。 (1) (2)	1Ad 副用 2NA
1757	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭があたたかかったが <u>富裕</u> ではなかったから、ほかの子供に <u>うらやましい</u> でした、 <u>毎度</u> 、 <u>友達</u> が <u>いっぱい</u> な <u>おもちゃ</u> をもっている <u>とき</u> 、私は <u>金もち</u> さんになって、もっと <u>多い</u> おもちゃをもっている <u>夢</u> を <u>つく</u> た。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	1NA 2格 *ニ / -ガ 3活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *トキ / -ト 7N 8A 9V 発音
1758	インド 33 自由作文 7	人間は <u>いちばん</u> いるものは物質的なものより精神的なほうが <u>大切</u> と思います。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ / -ガ 2Ad 副用 3品詞 *N / -NA & 表現
1759	インド 37 自由作文 8	また、ふたりの愛情な <u>非常に</u> <u>可貴</u> 、私は、「 <u>汪洋中</u> の <u>一条船</u> 」 <u>映画</u> <u>見</u> たとき <u>感動</u> <u>非常に</u> <u>涙</u> が <u>泣</u> きました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 -ハ 2NA 3トイウ 4格 *O / -ヲ 5格 *O / -デ 6VP
1760	インド 39 自由作文 5	だから、学校の <u>授業</u> を <u>お</u> わった、 <u>友だち</u> と <u>一緒</u> に <u>山</u> を <u>登</u> って、 <u>きれいな</u> <u>町</u> と景色を <u>み</u> ました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ / -ガ 2接条件 3格 *ヲ / -ニ 4品詞 *A / -NA
1761	インド 39 自由作文 10	この山の <u>紅土</u> は <u>屋</u> を <u>建</u> て <u>大切</u> 原料です。 (1) (2) (3)	1N 2*テ形 / -ル 3品詞(*N / -NA)
1762	インド 40 自由作文 13	<u>運動</u> のは体にいいし、 <u>ばい</u> きんに <u>抵抗</u> 力も <u>強い</u> になります。 (1) (2) (3)	1名詞節 2格 *ニ / -ノ 3品詞 *NA / -A

1763	インド 42 自由作文 1	彼女は、とても <u>幸い</u> で、あるレコード会社の支配人が、 彼女 <u>に</u> 、録音をみてあげました。	1*A /-NA 2格 *ニ/ -ノ
1764	インド 42 自由作文 5	しかし、家にいるおじさんが、 <u>悲しい</u> と 病気になって いる <u>が</u> 、 <u>悲傷</u> の心情です。	1A 2接 *ト 3名詞節 4*N -NA
1765	インド 43 自由作文 5	それで <u>かぜ</u> <u>には</u> <u>一種類</u> の <u>普通</u> な 病気だろうと思いま す。	1C 2取立 *ニは /- O は 3数 4品 *NA/- N
1766	インド 43 自由作文 6	寒くなるとかぜが一番かかりやすい <u>だ</u> 病気です。	品 *NA/-A
1767	インド 43 自由作文 12	<u>かぜ</u> <u>について</u> 、 <u>一種類</u> な かかりやすい <u>だ</u> 病気だから、 もし、かかったらお医者に <u>み</u> <u>にい</u> く <u>とな</u> おる <u>よう</u> に <u>な</u> ります。	1取立 *ニツイテ/ ハ 2数 品 *NA/- N 3品 *NA/-A 4 複 V 5*ヨウニ
1768	インド 46 自由作文 9	<u>多い</u> 会社や <u>工*</u> など <u>正確</u> な 管理で事業がどんどん成 功しました。	1数 2表記 3取立 *O /-ハ 4NA
1769	インド 50 自由作文 14	<u>ほう</u> に心から <u>うらやましい</u> を持っています。	1発音 2品詞 *N/- NA
1770	インド 50 自由作文 15	ですから国の <u>経済的</u> や国民の生活は裕福に <u>過</u> ごして <u>い</u> ます。	1品詞 *N/-NA 2V
1771	インド 51 自由作文 15	なぜなら日本の <u>成功</u> な 経済政策 <u>が</u> 私の国 <u>として</u> <u>学</u> ぶ べき <u>から</u> である。	1品詞 *NA/-V 2格 *ガ/-ヲ 3格*トシ テ/-ガ 4-ダ
1772	インド 54 自由作文 2	もし、私がお金持ちになったら <u>社会</u> <u>には</u> <u>まだ</u> <u>た</u> くさ んの苦難の人、 <u>憐れ</u> な 人に援助して <u>あ</u> げろ <u>う</u> <u>と思</u> って <u>い</u> ます。	1-ノ連 2副用 3NA 4活用(V)
1773	インド 54 自由作文 5	もし、富豪の家庭に生れたら稚い時から何の衣食の心配 も無く、 <u>愉快</u> なる 生活をする <u>、</u> <u>一方</u> には <u>貧困</u> の家庭 に生れたら、経済の問題によって自分の理想や願望が変 わるの <u>で</u> ある。	1活用(NA) 2接 3副 用 4スタイル
1774	インド 55 自由作文 13	次は、国民の生活 <u>が</u> できる <u>ため</u> に、 <u>広</u> 大の土地 <u>に</u> <u>利</u> 用 して、農業を発展させて、また、マレーシア <u>豊富</u> の <u>天</u> 然資源も積極的に開拓させます。	1*可能/-ノ連 2格 * ニ/-ヲ 3-ノ連 4品 詞 *N/-NA
1775	インド 55 自由作文 17	国の生産が <u>増加</u> <u>だ</u> し、国民の生活も安定し、それら <u>の</u> は、国をだんだん <u>強</u> 大 <u>き</u> ます、 <u>経済</u> 発展の条件です。	1品詞 *NA/-V 2ノ 代 3V
1776	インド 55 自由作文 22	また、 <u>急速</u> に <u>た</u> くさんの低価の住宅を建て、 <u>一般</u> 的 な <u>国民</u> <u>に</u> <u>か</u> えます。	1副用 2NA 3V
1777	フィンランド 6 自由作文 11	エイ先生は私に理論と実践 <u>が</u> <u>一</u> 緒に <u>親</u> 切 <u>な</u> <u>教</u> えてくれ ました。	1格 *ガ/-ヲ 2副用 活用(NA) *ナ/-ニ
1778	フィンランド 6 自由作文 13	<u>む</u> ちゅう <u>な</u> <u>仕</u> 事をつづけました。	品詞 *NA /-N 格 -デ 副用
1779	フィンランド 8 自由作文 11	私は、 <u>さ</u> むすき <u>時</u> 、 <u>す</u> い込み <u>が</u> <u>少</u> し <u>む</u> ずかしいですが、 <u>スト</u> ブ <u>を</u> 使う <u>の</u> <u>が</u> <u>大</u> じょう <u>ぶ</u> です。	語順 1複 N 2,4取立 * ガ/-ハ 3発音 表記 5NA

3.7. ダ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
1780	台湾 1 パターン作文 9	たとえば、視覚 <u>デザイ</u> の方 <u>ば</u> 日本語より <u>面白い</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1表記 発音 2発音 取立 *ハ/ーガ 3品詞 (*NA/ーA) 4ダ スタイル
1781	台湾 1 パターン作文 12	四、五月 <u>で</u> 梅雨が <u>できる</u> 、湿度が <u>高い</u> <u>だ</u> 、そして、 <u>あの</u> <u>時</u> 、 <u>かび</u> が生える。 (1) (2) (3) (4)	4コソア 2V 1格 *デ /ーニ 3*ダ 品詞 (*NA/ーA)
1782	台湾 3 自由作文 11	そして、 <u>うるさい</u> や古典や <u>いろいろ</u> <u>音楽のタイプ</u> も <u>好き</u> <u>すぎ</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2品詞 *N/ーA 3品詞 *Ad/ー NA 4 語順 5ーダ
1783	台湾 3 自由作文 12	でも、古典方面の音楽 <u>。</u> <u>すこし</u> <u>もっと</u> <u>すぎ</u> <u>。</u> (1)(2)(3) (4) (5) (6)	1ーノハウ 2格 *O/ーガ 3,4Ad 副用 5発音 6ーダ
1784	台湾 9 自由作文 2	私は台湾の南の農村に <u>生まれた</u> 、 <u>長男</u> です。 (1,2)	1語順 2*ダ/ーとシテ
1785	台湾 10 自由作文 3	せんぎょうしゅふ専業主婦 <u>とした</u> <u>私は</u> 、子どもが <u>ようや</u> <u>く</u> <u>大きくて</u> 、 <u>小学校</u> に <u>はいて</u> <u>いって</u> 、 <u>自分の趣味</u> によ (1) (2) (3) (4) って、これからもう一度 <u>自己教育</u> を高めるように、 <u>がん</u> <u>ばりたい</u> のです。	1ーダ 2ー複 V 3*複 V 4N
1786	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文 <u>の</u> <u>ため</u> 、私に二冊の高校 <u>及び</u> 中学校の歴史教科書を <u>貸し</u> <u>ました</u> が <u>この近頃</u> <u>私も</u> (1) (2) (3) <u>ちょっと</u> <u>参考</u> <u>したい</u> <u>です</u> <u>ので</u> 久美子さんは <u>もし</u> <u>よか</u> (4) (5) (6) (7) (8) <u>ったら</u> <u>今週</u> の金曜日 <u>。</u> <u>ちょっと</u> <u>返して</u> <u>ください</u> <u>ませんか</u> 。 (9)	1*ノ連 ーV 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V/ーN 6*ダ 7取立 *ハ/ーガ、サエ 8スタイル 9格 *O/ーニ
1787	台湾 12 自由作文 13	<u>そうすると</u> 、 <u>ご都合</u> が <u>よろしかったら</u> 、その二冊の本 (1) (2) を <u>学習室</u> に <u>私の机</u> の上に <u>置いて</u> <u>いただ</u> きたい <u>です</u> 、 (3) (4) (5) <u>よろしい</u> でしょうか。	1C 2接 *タラ/ーレバ 3格 *ニ/ーノ連 4*ダ/ーノダ 5接 ーガ
1788	台湾 17 自由作文 8	ひとびとのせいしんの <u>あつり</u> <u>よく</u> はほとんどに <u>んげん</u> や (1) (2) <u>かんじょう</u> の <u>もんだい</u> や <u>じぎょう</u> などから <u>。</u> 、 <u>ていねい</u> (3) (4) (5) に <u>かんしゃ</u> の <u>なやみ</u> を <u>きいて</u> <u>かっかん</u> に <u>けいせつ</u> <u>な</u> (6) (7) <u>ら</u> 、 <u>だんだん</u> <u>あたら</u> しい <u>じんせい</u> <u>かん</u> を <u>たつ</u> <u>はず</u> <u>です</u> 。 (8) (9)	1N 2ーダ 3発音 4 5 6格 *ヲ/ーガ 7自他
1789	台湾 20 自由作文 2	<u>もと</u> 、台湾は <u>農業国</u> <u>。</u> <u>と</u> <u>言</u> えます。 (1) (2)	1Ad 語順 2ーダ
1790	中国 6 自由作文 6	今までもう五か月から六か月ぐら <u>い</u> <u>です</u> 。	*ダ
1791	中国 6 自由作文 11	専攻している <u>の</u> <u>こと</u> と私の発表した修士論文の内容 <u>。</u> <u>ち</u> (1) (2) <u>ちょっと</u> <u>違う</u> <u>です</u> 。 (3)	1*ノ連 体修 2取立 *O/ーハ 3*ダ
1792	中国 11 自由作文 9	その理由は一つは <u>仕事</u> が <u>また</u> <u>終わ</u> らない <u>。</u>	接 ーカ ラ ーダ
1793	中国 14 自由作文 4	世界 <u>に</u> <u>進</u> んでいる <u>電子工業</u> 、 <u>ゆき届</u> <u>き</u> の <u>サー</u> ビス業 <u>な</u> (1) (2) ど <u>数</u> <u>多</u> くの <u>分野</u> で、 <u>日本国</u> が <u>世界</u> 中の <u>一</u> つ <u>経済</u> <u>大</u> 国 <u>。</u> (3) (4) <u>の</u> <u>こと</u> が <u>よく</u> <u>分</u> かりました。	1格 *ニ/ーデ 2複 N 3数 語順 4ーダ ートイウ

1794	中国 14 自由作文 20	これはお互いに譲り合う気持ちがたりない ⁽¹⁾ 、知識水準 があまり高くないというわけ ⁽²⁾ である ⁽³⁾ と思います。	1並Vーシ 2N 3*ダ
1795	中国 17 自由作文 2	私は日本に来る前に日本として ⁽¹⁾ 世界中 ⁽²⁾ 経済強国 ⁽³⁾ のこと を知っていました。	1格 取立 *トシテ/ー ハ 2複N 3*ダ
1796	中国 19 自由作文 9	私はそれを見て「あ ⁽¹⁾ の人は教育も ⁽²⁾ いいし、お金もある し ⁽³⁾ 、なぜ普通の生活をしないで、浮浪者になっている でしょう。」と考えましたが、聞くと「仕事 ⁽⁴⁾ がしたく ない ⁽⁵⁾ です。」との返事 ⁽⁶⁾ が ⁽⁷⁾ しました。	1コソア 2A 3接ー ノニ 4スタイル 5条件 *ト/ーカラ 6 接ーカラ 7ーダ
1797	中国 23 自由作文 13	いまが ⁽¹⁾ こうな ⁽²⁾ ふゆやすむ ⁽³⁾ から、じぶんのへやでに ほんごのべんきょう ⁽⁴⁾ をしています。	1発音 表記 2N 3ダ
1798	中国 26 自由作文 3	ひらかな ⁽¹⁾ はにほんごの ⁽²⁾ はすおん ⁽³⁾ が、かたかなはちゅう ごくごと ⁽⁴⁾ にているじです。	1,2発音 3並V *ガ/ ーテ形、ーダ
1799	中国 26 自由作文 17	いがくはもっとむずかしい科学 ⁽¹⁾ 。	ーダ
1800	中国 43 自由作文 7	わたしの教室はにじゅうばん ⁽¹⁾ があります。	ーダ V
1801	中国 59 自由作文 9	自動販売機 ⁽¹⁾ ばかり ⁽²⁾ か車の工場の使用設備が世界で一流 ⁽³⁾ と思っています。	1取立 *バカリ 2ーダ
1802	韓国 2 パターン作文 5	ソウル ⁽¹⁾ には南 ⁽²⁾ よりもおそいます。	1格 *ニは/ーデは 2 ーダ スタイル
1803	韓国 5 自由作文 2	日本の物価と韓国 ⁽¹⁾ 物価とをくらべると日本の物価 ⁽²⁾ が たくさん ⁽³⁾ 高い ⁽⁴⁾ である ⁽⁵⁾ 。	4品詞 *NA/ーA 5ダ 1ーノ連 2熟語 ーノ ホウ 3Ad 副用
1804	韓国 5 自由作文 7	ソウルは韓国 ⁽¹⁾ の一番都市 ⁽²⁾ にして ⁽³⁾ 韓半島 ⁽⁴⁾ の中心に位置 ⁽⁵⁾ (一) あります ⁽⁶⁾ 。	&スタイル 1,3N 4V 2*ダー連用形
1805	韓国 5 パターン作文 2	日本の漢字と韓国 ⁽¹⁾ の漢字の意味は似てい ⁽²⁾ ます。	ダ スタイル
1806	韓国 6 自由作文 7	しかし テレビはラジオ ⁽¹⁾ に対して ⁽²⁾ サイズが ⁽³⁾ おおきい ⁽⁴⁾ だか らはこぶ ⁽⁵⁾ が不便 ⁽⁶⁾ する。	1C 3ダ 2に*タイシ テ 5品詞 *N /ー NA *V/NA 4N ー ノ
1807	韓国 9 パターン作文 7	しかしワープロの方がタイプライターより値段が高いで すから、まだ使う人が少しですが、 ⁽¹⁾ だんだんもの ⁽²⁾ 範囲 ⁽³⁾ か ⁽⁴⁾ 広くなると思 ⁽⁵⁾ い ⁽⁶⁾ ます。	1Ad 副用 2表記 3発 音 4ダ スタイル
1808	韓国 12 パターン作文 2	pr e f a b eの建設方法と在来式方法を調べるとpr e f a b e建設方法の方が建設費が ⁽¹⁾ やすい ⁽²⁾ である ⁽³⁾ 。	2ダ &スタイル 1品 詞(A)
1809	韓国 13 パターン作文 7	ソウルの方がふるさとより長いあいだ ⁽¹⁾ です ⁽²⁾ が ⁽³⁾ 短い ⁽⁴⁾ ふる さとの生活 ⁽⁵⁾ を思 ⁽⁶⁾ い ⁽⁷⁾ ます。	1ダ 2*ル/ータ 3ーノ ホウ
1810	韓国 15 自由作文 7	しかし教えれば教えるほどむずかしいのが外国語 ⁽¹⁾ とい うのが ⁽²⁾ 気づいて、 ⁽³⁾ もっとも ⁽⁴⁾ 確実な日本語、正確な発音、 さまざまな日本の言語 ⁽⁵⁾ および文化、さらに日本文学につ いて ⁽⁶⁾ 勉強 ⁽⁷⁾ した ⁽⁸⁾ かった ⁽⁹⁾ ます。	1ーダ 2N *ノ/ーコ ト 3格 *が/ーニ 4Ad 副用 5VP

第3章 語彙論

1811	韓国 19 自由作文 5	私が韓国で <u>きた</u> の <u>で</u> はここでは学生たちは先生の前で はいつも行動と言語を注意してしなければならない <u>で</u> の です。 (1) (2)	1*ノ 2*ダ
1812	韓国 22 自由作文 10	日本語は韓国語と文法や <u>文形</u> などか <u>たい</u> だ <u>い</u> 同じ <u>か</u> か ら英語より <u>べんきょう</u> をして <u>す</u> こ <u>し</u> や <u>さ</u> しい <u>が</u> 、日本語 とわたしに <u>外国語</u> から毎日 <u>べんきょう</u> しな <u>し</u> ど <u>き</u> は <u>む</u> ず <u>か</u> しいです。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11)	1表記 2,3発音 4,9- ダ 5語順 VP 6取立 * ト/ーハ 7格 に*0/ にートッテ 8取立 * 0/ーハ 10活用(V) 11 発音 条件*トキ/ ーバ
1813	韓国 22 自由作文 15	私がおもって 日本語は外国語 <u>から</u> 毎日 <u>す</u> こ <u>し</u> 勉強を したり会話を <u>は</u> な <u>し</u> たり <u>し</u> ます。 (1) (2) (3) (4)	1表現 2ーダ 3Ad 4V
1814	韓国 22 自由作文 16	これが一番 <u>。</u> (1)	ーダ
1815	韓国 28 自由作文 4	映画の内容はアメリカの黒人社会を描いた <u>。</u> (1)	ー名詞節 ーダ
1816	韓国 31 自由作文 7	日本に留学したい <u>なぜ</u> なら 日本 <u>の</u> 商業知識を学んだり、 日本 <u>の</u> 進歩的な社会を見物したり <u>する</u> <u>から</u> (1) (2) (3)	1接 語順 2複 V 3ー ダ
1817	ブラジル 2 自由作文 3	バイアは <u>古</u> <u>町</u> <u>から</u> <u>その</u> <u>ところ</u> にたくさんきょうかい がある。 (1) (2) (3)	1活用(A) 体修 2ダ 3 コソア
1818	ブラジル 2 自由作文 11	ーばんおもしろい <u>。</u> は、お <u>さ</u> ら <u>。</u> と思 <u>い</u> ます。 (1) (2)	1N ーノ 2ダ
1819	アメリカ 1 自由作文 10	<u>その</u> 上、日本と南米とを比較してみると、日本のほうが <u>国土</u> が不足しているし住宅も <u>せ</u> ま <u>く</u> て <u>だ</u> が <u>生</u> 活はそん な <u>き</u> び <u>し</u> く <u>な</u> い <u>と</u> いう <u>こ</u> とが <u>わ</u> かる。 (1) (2) (3)	1副用 2接 *テ形 3* ダガ
1820	アメリカ 1 自由作文 12	しかし 南米の方が国土 <u>。</u> 不足して <u>い</u> ない <u>だ</u> が <u>い</u> い住宅 <u>は</u> た <u>り</u> <u>ま</u> せ <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1C 2取立 *0/ーハ 3*ダガ/ーガ 4スタ イル
1821	アメリカ 1 自由作文 14	<u>ある</u> 市内住宅は大へん <u>ひ</u> ど <u>い</u> し <u>と</u> こ <u>に</u> 引 <u>っ</u> 越 <u>し</u> <u>し</u> っ <u>た</u> <u>ば</u> か <u>り</u> <u>い</u> な <u>か</u> 者 <u>の</u> た <u>め</u> に <u>で</u> あ <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1AN 3,4発音 5ノ連 6 ダ 2ー連用形
1822	アメリカ 1 自由作文 15	一つは生れたふるさと <u>と</u> 二ばんめは青春時代のふるさと です。 (1)	ーダ 接 ー連用形
1823	インドネシア 1 自由作文 3	仕事時間は7時半から14時まで <u>。</u> けれども10時半に20分 <u>休</u> み <u>し</u> <u>な</u> が <u>ら</u> <u>お</u> 茶 <u>を</u> の <u>み</u> ます。 (1) (2) (3)	1ダ 2品詞 *N/ーV 3接 ーテ形
1824	インドネシア 5 自由作文 3	私の日本語のべんきょうのもくてきは日本 <u>へ</u> 電子の勉強 <u>に</u> <u>行</u> きます <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *へ/ーテ 2格 * ニ/ーヲ 3V 4ー名詞 節 5ーダ
1825	インドネシア 5 自由作文 10	<u>い</u> か <u>い</u> <u>は</u> い <u>ち</u> じ <u>か</u> ん <u>か</u> か <u>り</u> ました。 (1) (2)	1発音 2V ーダ
1826	タイ 2 パターン作文 3	最終ほうこくしょは筑波大学の教育せいどについて <u>い</u> ま <u>す</u> 。 (1)	ダ
1827	香港 3 自由作文 8	第一には中国人で日本研究をしている人はあまり多くな <u>い</u> (1) (2)	1接 ーカラ 2ーダ

1828	香港 3 自由作文 9	第二には、日中両国は関係が大変 <u>密切</u> です <u>。</u> (1) (2)(3)	1表記 2接 -カラ 3 -ダ
1829	香港 3 自由作文 10	私は今筑波大学地域研究科の研究生 <u>。</u>	-ダ
1830	香港 3 自由作文 11	研究 <u>デマ</u> は「日中近代化の比較」 <u>。</u> (1) (2)	1発音 2-ダ
1831	香港 6 自由作文 11	即ち、その一つは、町的エクメーネと村的エクメーネが 存在している <u>。</u> (1)(2)	1-名詞節 2-ダ
1832	香港 6 自由作文 25	たとえば、一月のあいさつは厳寒の候、あるいは、例年 にない寒さが続いております <u>。</u>	-ダ
1833	香港 7 自由作文 18	これらの人口拡大を示した諸市は地域的 <u>。</u>	-ダ
1834	香港 15 短文作文 8	漢字の源 <u>の</u> という点 <u>から</u> 、ひらがなとかたかなは同じ です。 (1) (2)	1ダ 2格 *カラ /-デ
1835	香港 16 短文作文 8	あまり時間がない <u>だから</u> 、全部の映画 <u>見</u> きれない。 (1) (2)	2格 *0 /-ガ 1*ダ / -0
1836	香港 17 短文作文 9	ひらがなとかたかなとは <u>似</u> ているのは、二つ <u>も</u> 漢字か らうまれたもの <u>から</u> だ。 (1) (2)	3ダ 1取立 *ハ /-ガ 2取立
1837	香港 19 自由作文 12	だから、漢字の音読・訓読を保存する <u>べき</u> と思われる。	活用 (べき*0 /べき -ダ) 名詞節
1838	香港 20 自由作文 15	「異人」は我々と異なる人だ <u>と</u> 考え <u>。</u> (1) (2)	1体修 -トイウ 2- ダ
1839	香港 21 短文作文 9	ひらがなとカタカナは <u>同じ</u> に、漢字のもとにからである。	1ダ -ヨウニ &接
1840	香港 22 短文作文 15	<u>世の中に</u> 彼らの要求が <u>なんか</u> が私 <u>は</u> はっきりとわか りません。 (1) (2) (3)	2不定詞 ダ 1表現 3 格 *0 は /-ニは
1841	香港 23 短文作文 1	この試験の範囲は教えたことを <u>初め</u> として <u>である</u> 。 (1) (2)	1熟語 格 *トシテ 2 ダ
1842	香港 23 短文作文 20	有名な大学の学生だ <u>ながら</u> 、必ずしも成功の人生がある ことではない。 (1) (2)	1活用(ダ) 2ムード
1843	香港 24 自由作文 10	そして、日本語は二重構造の言語 <u>以外</u> に、「テレビ型 」で <u>ある</u> 。 (1) (2)	1接 体修 -ダ 2取立 *0 /-モ
1844	香港 24 短文作文 3	<u>美しさ</u> はさておき、彼女も頭が <u>いい</u> だし、 <u>真</u> の美人で ある。 (1) (2) (3)	1品詞 ダ 3副用 2表 現
1845	香港 25 自由作文 11	これは日本人の強い <u>国民性</u> のである。 (1) (2)	1N 2活用(ダ)
1846	香港 25 自由作文 14	このことは標準英語の普及の同一化と <u>おなじ</u> ようで <u>むず かしい</u> である。 (1) (2) (3)	1副用 活用 2品詞 3 ダ スタイル
1847	香港 25 短文作文 14	目がいたいけれども、明日は試験が <u>ある</u> ですから、いま やむをえず勉強しなければならない。	スタイル ダ
1848	香港 25 短文作文 17	ある人は <u>ただ</u> 有名な大学の卒業生 <u>の</u> ために彼が一生 の中で <u>成功</u> しなければならないのは <u>必要</u> ではない。 (1) (2) (3)	1発音 2活用(ダ) 3, 4ムード

1867	マレーシア 25 会話作文 1	毎日、図書館に、開館時刻の朝九時から、閉館時刻の午後五時半まで、 <u>いたこと</u> である。 (1) (2) (3)	1スタイル 2名詞節 3ダ
1868	スペイン 1 自由作文 6	お茶を <u>入れた</u> 人は <u>やはり</u> わかい女の子 <u>。</u> (1) (2) (3)	1*ル/ータ 2発音 Ad 副用 3ーダ
1869	スペイン 1 自由作文 8	私の国はこの <u>きびさ</u> がない、でもだいたい <u>社長さん</u> はいつも <u>男の人</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4)	1N 2N 3Ad 副用 4ーダ
1870	スペイン 2 パターン作文 12	また、日本語の勉強を <u>よく</u> <u>がんばら</u> なければなりません、ほしい本 <u>。</u> <u>スペイン語で</u> <u>ない</u> <u>だ</u> からだと <u>思います</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6)	2表記 5ダ 6表現 3取立 *0/ーハ 1副用 4活用(A)
1871	ナイジェリア 1 自由作文 3	たとえば、イフェロイフェで <u>たくさん</u> <u>じんじゃ</u> である。 (1) (2)	1格 *デ/ーニ 取立 *0/ーハ 2*ダ
1872	ナイジェリア 1 パターン作文 2	日本の農業とナイジェリアの農業に <u>へら</u> <u>べる</u> と、おもしろい <u>なにか</u> である。 (1) (2) (3) (4)	2表記 3不定詞 1格 *ニ/ーラ 4*ダ
1873	ナイジェリア 1 パターン作文 9	国の「Average Farm Yield」は日本のよりたかい <u>である</u> <u>。</u>	ダ
1874	インド 3 自由作文 13	玄関の右にようふくだんすがあります、なかに <u>全部</u> 私の <u>シャツ</u> と <u>雑物</u> <u>です</u> <u>。</u> (1) (2) (3)	1語順 2N 3*ダーV
1875	インド 15 自由作文 3	台所は板の間 <u>。</u> <u>ので</u> 、掃除 <u>する</u> やすい <u>です</u> <u>。</u> (1) (2)	1接 ノデ 活用(ダ) 2複V 活用
1876	インド 18 自由作文 20	みなみのほう <u>が</u> ベランダへ <u>できる</u> もうひとつ <u>もん</u> <u>です</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ガ/ーニ 2VP 可能 3ノ連 4N 5*ダ
1877	インド 19 自由作文 8	時計のしたに私の授業の予定表 <u>です</u> <u>。</u>	*ダ
1878	インド 23 自由作文 3	家賃は一カ月三万二千元 <u>。</u>	*0/ーダ
1879	インド 25 自由作文 5	ゴ先生はまじめな先生 <u>。</u> 、いつも学生に <u>親切に</u> <u>あげて</u> <u>だから</u> 学生たちはゴ先生 <u>は</u> <u>たいへん</u> <u>すき</u> <u>です</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4)	1接 *0/ーデ 2受給 3C *ダから/ー0から 4取立 *ハ/ーガ
1880	インド 29 自由作文 11	夜中に皆なで寝る時はおじさんが <u>なんか</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>呼ん</u> <u>でも</u> <u>きて</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5)	1Ad 副用 数 2*テ形 3*ダ スタイル
1881	インド 30 自由作文 7	おじは、大変やさしく、 <u>知識</u> <u>が</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>人</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2)	1VP 表現 2発音 ーダ
1882	インド 30 自由作文 11	けれども、子供が一人もいないで、 <u>さび</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2) (3)	1接 *テ形/ーノデ 2タ/ーテイル 3*ダ スタイル
1883	インド 38 自由作文 4	私 <u>の</u> <u>こ</u> <u>ど</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> 、サッカーが好きでしたから、毎日、 <u>運動場</u> <u>に</u> <u>通</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>が</u> 、私の体が、ちいさくて、よわそう <u>で</u> <u>す</u> <u>から</u> 、他の人が、サッカーを <u>し</u> <u>た</u> <u>時</u> 、私 <u>が</u> 、 <u>運動場</u> <u>の</u> <u>外</u> <u>で</u> 、 <u>み</u> <u>る</u> <u>だ</u> <u>け</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ノ/ーハ 2複V 3*ル/ータ 4*タ/ーテイル 5取立 *ガ/ーハ 6ダ
1884	インド 38 自由作文 6	その時、私の町の一人 <u>。</u> <u>代表</u> <u>は</u> 、病気が <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> 、欠席でした。 (1) (2)	1ーノ連 2ダ
1885	インド 40 自由作文 11	なぜなら <u>か</u> <u>ぜ</u> <u>は</u> <u>伝</u> <u>染</u> <u>病</u> <u>。</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u>	ーダ

第3章 語彙論

1886	インド 43 自由作文 8	かぜの <u>伝染病</u> ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ 流行する時、人込み <u>場合</u> ⁽³⁾ に入らない方が <u>いい</u> です。	1*ダ 2格 *ヲ / -ガ 3*N
1887	インド 46 自由作文 7	そして、 <u>どういふ</u> ⁽¹⁾ に、一つの <u>工*</u> ⁽²⁾ の管理を <u>順利</u> に進む <u>こと</u> ⁽³⁾ はとて <u>も</u> 、 <u>大切</u> ⁽⁴⁾ から ⁽⁵⁾ です。	1発音 2表記 3*名詞 節 4-ダ 5接 *カラ
1888	インド 51 自由作文 3	なぜならマレーシアは <u>發展途上国</u> で国が <u>めざましい</u> 發展を <u>とどけられた</u> ⁽¹⁾ ために <u>經濟の強大發展</u> が必要 ⁽²⁾ からである。	1V 2-ダ
1889	インド 51 自由作文 14	それで、私は日本の <u>經濟論</u> か <u>經濟方面の政策</u> の勉強を <u>したい</u> である。	*ダ
1890	インド 51 自由作文 15	なぜなら日本の <u>成功な</u> ⁽¹⁾ <u>經濟政策</u> ⁽²⁾ が <u>私の国</u> ⁽³⁾ として <u>学ぶ</u> べき ⁽⁴⁾ からである。	1品詞 *NA / -V 2格 *ガ / -ヲ 3格 *トシ テ / -ガ 4-ダ
1891	インド 55 自由作文 3	アレーシアは <u>立憲君主制の国</u> <u>から</u> 、元首は <u>国の大統領</u> です。	-ダ
1892	インド 55 自由作文 5	もし、私が <u>私の国の首相</u> だったら、私は <u>一番先に</u> ⁽¹⁾ したい <u>ところ</u> ⁽²⁾ は、 <u>教育の改善</u> ⁽³⁾ が <u>實現された</u> 。	1取立 *ハ / -ガ 2コ ト 3 / -ダ
1893	インド 55 自由作文 26	なぜなら、マレーシアは <u>多元神族化の国</u> <u>から</u> です。	-ダ
1894	フィンランド 4 自由作文 11	南には <u>大きい窓</u> <u>です</u> 。	*ダ
1895	フィンランド 4 自由作文 13	窓の右のしたには <u>蒲団と枕</u> <u>です</u> 。	*ダ
1896	フィンランド 4 自由作文 14	枕の左側には <u>電氣</u> <u>スクンド</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ <u>です</u> 。	1表記 2*ダ
1897	フィンランド 4 自由作文 15	蒲団の反対に <u>テレビと扇風機</u> <u>の所</u> <u>です</u> 。	*ダ
1898	フィンランド 6 自由作文 5	本当に <u>体で針</u> をするのは、 <u>高校の時</u> <u>から</u> 。	V *0 / -ダ

3.8. 名詞 [N]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
1899	台湾 1 自由作文 5	それから文化の <u>気分</u> が沢山あるし、古跡も多いです。 (1) (2)	1C Ad 副用 2N
1900	台湾 1 自由作文 7	去年、テレビの番組（世界の料理の試合）で放送 <u>する</u> と 、台南の台湾料理が <u>大ニ番</u> を取った。 (1) (2) (3)	3N 2接 *ト / ートキ 1*ル / ータ
1901	台湾 1 パターン作文 3	我 <u>が</u> もっと深い学問を <u>欲しい</u> ために日本へ来た。 (1) (2)	N 取立 *ガ / ーハ 2 V
1902	台湾 1 パターン作文 4	<u>北回線</u> が台湾の南 <u>に</u> <u>お</u> っているので、亜熱気候になっ ています。 (1) (2) (3)	1N 3V 2格 *ニ / ー ヲ
1903	台湾 1 パターン作文 5	そして、日本語と <u>専門科</u> （視覚デザイン）、 <u>両方</u> <u>も</u> 勉 強しています。 (1) (2)	1表記 N 2取立 ート モ
1904	台湾 1 パターン作文 7	この両方を勉強することをくらべると、両方の <u>違い感想</u> <u>がある</u> 。	表現 N
1905	台湾 1 パターン作文 24	商品と消費者との関係を考えてみると、沢山 <u>媒体</u> <u>が</u> あり ますが、その一つ <u>に</u> <u>新聞広告</u> という <u>こと</u> <u>が</u> <u>一番</u> <u>普遍</u> に使われています。 (1) (2) (3) (4)	4副用 NA 1N 2接 3*コト / ーモノ
1906	台湾 2 聴解要約 1	ヤンさんは大家さんの <u>おいえ</u> へ伺った。	N スタイル
1907	台湾 2 自由作文 12	<u>残</u> されていた古い物はよく <u>保存</u> して <u>いない</u> から、 <u>こわ</u> <u>ら</u> れたし、さらに <u>モーダン</u> の型を <u>付</u> けた。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,2 受身 3自他 活用 (V) 4並 V 5品詞 *N / ー NA 6VP ーテイル
1908	台湾 2 自由作文 13	<u>し</u> たがって、政府は全国の古い物の中から <u>十五個</u> の <u>大</u> <u>切</u> に保存しなければならない <u>の</u> を選んで、よく <u>維持</u> し ている。 (1) (2) (3) (4)	1C 2数 語順 3N *ノ / ーモノ 4V
1909	台湾 2 パターン作文 2	台湾と日本とのいろいろな事物をくらべる <u>こと</u> <u>について</u> 、 <u>以下</u> は各種類 <u>によって</u> 説明します。 (1) (2) (3)	1格 *にツイテ / ーに ヨッテ 3格 *にヨッ テ / ーにツイテ 2N
1910	台湾 2 パターン作文 8	日本の四季の変化ははっきり <u>きわだ</u> っている <u>ので</u> 、自然 の <u>ながめ</u> に関して、台湾より日本のほうが豊かです。 (1) (2) (3)	3取立 *0 / ーハ 1V 2N
1911	台湾 2 パターン作文 9	<u>語</u> 言 <u>について</u> 、日本語の動詞 <u>の</u> いろいろな変化が <u>多</u> <u>い</u> で、敬語の用法 <u>が</u> <u>む</u> すがしい <u>で</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1N 4,6活用 2格 にツイ テ*0 / にツイテ ー ハ 3*ノ連 / ーハ 取 立 5取立 *ガ / ーモ
1912	台湾 3 自由作文 2	例えば、旅行・ハイキング・音楽・詩・ <u>詞運動</u> などです。	N
1913	台湾 3 自由作文 3	中学生の時には <u>暇</u> のときいつも友達と一緒に自転車で郊 外へ行きました。	品詞 *N / ーNA
1914	台湾 3 自由作文 9	教師のとき、 <u>毎土曜日</u> <u>ある</u> いは <u>日曜日</u> 、いつも生 徒と一緒に台北の <u>近い所</u> <u>ハイキング</u> する、ハイキン グしながら地形や地理方面の知識も生徒に教えました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *0 / ーハ 2複 N 3並 N *アルイハ / ーカ 4格 *0 / ーニ 5 格 *ノ連 / ーニ、へ 6格 *0 / ーニ、へ 7接 ーテ形

第3章 語彙論

1915	台湾 3 自由作文 11	そして、 <u>うるさい</u> や <u>古典</u> や <u>いろいろ</u> <u>音楽のタイプ</u> も (1) (2) (3) (4) <u>すき</u> 。(5)	1C 2品詞 *N/-A 3品詞 *Ad/- NA 4 語順 5-ダ
1916	台湾 4 自由作文 6	日本の工業デザインの発展にたいする <u>趣味</u> があるので、 (1) これから、製品計画やCADと <u>デザイン</u> 教育を勉強する (2) つもりである。	1N 2並N *ト/-ヤ
1917	台湾 5 自由作文 3	実は、あなたは、去年、私からかして <u>もらった</u> 本と資料は今、試験と論文を書くために、その本と統計資料は (2) 私にとって <u>急用</u> ですから、はやくかえしてもらおうのが (3) <u>欲しい</u> です。 (4)	1取立 *ハ/-ガ 2受 給 3N 4A
1918	台湾 5 自由作文 9	そうすると、私の学問を研究する方法を <u>是正</u> に役立つ (1) (2) (3) ことがあります。	1接 条件 *ト/-バ 2 格 *ヲ/-ノ 3品詞 * V/-N
1919	台湾 7 自由作文 2	先日木村さんから <u>持った</u> 手紙にありがとう、 <u>天気</u> は (1) (2) (3) 10月の試験が終わってから <u>大変</u> 寒くなって <u>きた</u> から身 (4) 体 <u>かき</u> をつけてください。 (5)	1V 2格 *ニ/-ヲ 3 N 4スタイル 5格 * ガ/-ニ
1920	台湾 7 自由作文 6	そして、自分の専門について <u>学校教育</u> も、 <u>どんどん</u> 勉 (1) (2) 強したいと思います。	1N 2*0/-デ
1921	台湾 8 自由作文 6	仕事の <u>性質</u> は飛行機の飛行 <u>安全</u> を確保するために安 (1) (2) 全検査を <u>執行</u> するのです。 (3) (4)	1N 2-ノ連 3-名詞 節 4*のだ
1922	台湾 9 自由作文 4	その <u>様</u> に私達 <u>子供の三人</u> を育てた。 (1) (2) (3)	1コソア 2N 3語順
1923	台湾 9 自由作文 5	中学校以後、父は <u>商</u> もやった <u>、</u> そうすると家庭の経 (1) (2) 済が <u>だんだん</u> 好転した。 (3) (4)	1N 2接 -ノデ 3取 立 *ガ/-ハ 4-テク ル
1924	台湾 9 自由作文 8	日曜日を除いて毎日二時間の稽古が <u>あった</u> 、 <u>合宿</u> した (1) (2) 時毎朝一時半の <u>トレーニング</u> に <u>なった</u> 、その <u>厳しい</u> (3) (4) <u>訓練</u> を <u>練</u> った、二段になった。 (5)	1,4-連用形 2*V - ノ連 体修 3-N 5V 連用形
1925	台湾 9 自由作文 9	高校の比*成績は <u>優勝</u> を取ったら、 <u>体育専門学校</u> を直 (1) (2) (3) 接に入った。 (4)	1取立 *ハ/-デ 2N 3格 *ヲ/-ニ 4格 * ニ/-O
1926	台湾 9 自由作文 10	三年後、 <u>柔道</u> のために <u>中央警官</u> に入 <u>った</u> 、 <u>もっと</u> 厳し (1) (2) (3) い稽古を <u>練</u> った。 (4)	1表現 2N 3-連用形 4V
1927	台湾 10 自由作文 3	せんぎょうしゅふ <u>専業主婦</u> とした私は、子どもが <u>よう</u> や (1) く <u>大きく</u> て、 <u>小学校</u> には <u>いて</u> いて、 <u>自分の趣味</u> によ (2) (3) って、これから <u>もう一度</u> <u>自己教育</u> を高めるように、 <u>がん</u> (4) <u>ばり</u> たいのです。	1-ダ 2-複 V 3*複 V 4N
1928	台湾 10 自由作文 4	<u>人間交流</u> ということが、非常に大切だと思うのです。	N
1929	台湾 10 自由作文 7	ほかに、 <u>休憩</u> の時は、料理を作る、electricpianoを <u>引く</u> (1) (2) 、 <u>デパート</u> に行 <u>って</u> 、 <u>買物</u> をする等も私の <u>趣味</u> <u>な</u> で、 <u>ゆ</u> (3) <u>っくり</u> やりたい思っています。	1N 2表記 3-のだ
1930	台湾 11 自由作文 4	一番多 <u>かった</u> 時は <u>高中時代</u> である。	複N

1931	台湾 12 自由作文 3	先週久美子さんからの <u>お祝い</u> の手紙 <u>が</u> <u>見</u> ました <u>い</u> ろい <u>ろ</u> のお世話になりました非常 <u>に</u> ありが <u>と</u> うござい <u>ま</u> した。 (1) (2) (3)	1格 *ガ/ーヲ 2スタ イル 3品詞 *N /- NA
1932	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月 <u>前</u> 久美子さんは論文 <u>の</u> <u>た</u> め、私に二冊の高校 及び中学校の歴史教科書を <u>貸</u> しました <u>が</u> <u>こ</u> の <u>近</u> 頃 <u>私</u> も <u>ち</u> よ <u>っ</u> ど <u>参</u> 考 <u>し</u> たい <u>で</u> す <u>の</u> で久美子さんは <u>も</u> し <u>よ</u> か <u>っ</u> たら今週 <u>の</u> 金曜日 <u>ち</u> よ <u>っ</u> ど返して <u>く</u> ださ <u>い</u> ませ <u>ん</u> か。 (4) (5) (6) (7) (8) (9)	1*ノ連 -V 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V/ -N 6*ダ 7取立 *ハ /ーガ、サエ 8スタ イル 9格 *0 /-ニ
1933	台湾 12 自由作文 8	<u>い</u> ろい <u>ろ</u> の <u>お</u> 世話になりました。	品詞 *N /-NA
1934	台湾 12 自由作文 16	乱筆 <u>お</u> 許 <u>し</u> て <u>く</u> ださ <u>い</u> 。	品詞 *V /-N
1935	台湾 14 自由作文 11	だから、やはり日本語は日本で学んだ方が <u>い</u> いという <u>気</u> <u>持</u> ち <u>で</u> 日本に留学し、中国人に適切な教材を研究しよう と、 <u>が</u> ん <u>ば</u> ります。 (1) (2)	1N 2*ル/ーテイル ムード
1936	台湾 15 自由作文 5	最初休みの日を利用して、第一学期の授業を復習する予 定 <u>で</u> す <u>が</u> <u>今</u> 日 <u>の</u> 円が <u>高</u> くて台湾の父母 <u>が</u> <u>ち</u> よ <u>っ</u> とお 金 <u>が</u> か <u>か</u> らない <u>た</u> めに <u>ガ</u> ソリンスタンドで働いていまし た。 (1) (2) (3) (4)	1*ル/ータ 2N 3格 * ガ/ーニ 4接 -ヨウ ニ
1937	台湾 15 自由作文 6	<u>時</u> 料 <u>は</u> 六百円で、毎日八時間で、マレーシアのありと譚 さんと一緒でした。	N
1938	台湾 15 自由作文 10	会社の社長や課長など私より目上の <u>人</u> さま <u>と</u> <u>も</u> 親切な 態度で私に話してくれました。 (1) (2)	1N 2*ト
1939	台湾 15 自由作文 11	そんなに <u>種</u> 族 <u>差</u> 別がありませんでした。	N
1940	台湾 15 自由作文 14	歳月の <u>成</u> 長 <u>の</u> <u>同</u> 時に私は経験と日常常識がふえてきま した。 (1) (2)	1N 2*ノ/ート
1941	台湾 15 自由作文 15	ただし、夏休み <u>の</u> <u>中</u> には指定の宿題も <u>課</u> 業 <u>も</u> すこしも しませんでした。 (1) (2)	1*ノ連 2N
1942	台湾 17 自由作文 1	<u>こ</u> う <u>し</u> ょう <u>じ</u> だいのげんざい、ひとびとはまいにち <u>き</u> ん <u>ち</u> ょうに <u>す</u> ご <u>す</u> ます。 (1) (2)	1N 2副用
1943	台湾 17 自由作文 6	まず、その人のせいかつを <u>に</u> ん <u>し</u> きして、しごとのしゅ るいをしつもんしていろいろなげんいんを <u>ま</u> ぜ <u>て</u> <u>ぶ</u> ん <u>け</u> <u>い</u> して <u>も</u> んだいの <u>こ</u> ん <u>げ</u> <u>を</u> は <u>っ</u> けんするはず <u>で</u> す。 (1) (2) (3) (4)	1V 2副用 3発音 N 4 ムード
1944	台湾 17 自由作文 8	ひとびとのせいしんの <u>あ</u> つり <u>よ</u> く <u>は</u> ほとんどに <u>ん</u> げんや かんじょうの <u>も</u> んだいや <u>じ</u> ぎょうなどから <u>て</u> い <u>ね</u> い に <u>か</u> ん <u>しゃ</u> <u>の</u> なやみをきいて <u>か</u> っ <u>か</u> ん <u>に</u> <u>け</u> い <u>せ</u> つ <u>な</u> <u>ら</u> 、だんだんあたらしい <u>じ</u> んせい <u>か</u> ん <u>を</u> <u>た</u> つ <u>は</u> ず <u>で</u> す。 (3) (4) (5) (6) (7)	1N 2-ダ 3発音 4 5 6格 *ヲ/ーガ 7自他
1945	台湾 19 自由作文 1	もし私が公務員だったら、まず、机の引き出しのなかに <u>辞</u> 職書 <u>を</u> <u>書</u> いて <u>お</u> く。 (1) (2)	1N 2複V

1946	台湾 19 自由作文 3	公務員が人の目の中になにを思われているのは全然考えなくて、上役にどんな不公平な事をさせられても、 <u>けっしてあま</u> ⁽¹⁾ <u>せ</u> ⁽²⁾ なくて、大衆に対して、 <u>ら</u> ⁽³⁾ <u>ずに責任</u> ⁽⁴⁾ が <u>お</u> ⁽⁵⁾ <u>われて</u> ⁽⁶⁾ 、いつも人に服務する <u>思</u> ⁽⁷⁾ <u>いつき</u> を持っている。	1取立 *ガ/-ハ 2表現 一疑問節 -トイウ 3接 *テ形 4V 5格 *ガ/-ヲ 6自他 7N
1947	台湾 20 自由作文 3	最近、二十年来、政府と人民と <u>一</u> ⁽¹⁾ <u>生懸命</u> ⁽²⁾ に、農業社会を <u>工</u> ⁽³⁾ <u>商社会</u> にする <u>方</u> ⁽⁴⁾ <u>針</u> に <u>奮</u> ⁽⁵⁾ <u>励</u> しています。	1Ad -コソア 2取立 *0/-ハ 3複N 4N 5V
1948	台湾 20 自由作文 5	ほとんど、外国から原料を <u>輸</u> ⁽¹⁾ <u>入</u> して加工してから、 <u>外</u> ⁽²⁾ <u>銷品</u> として <u>も</u> ⁽³⁾ <u>ど</u> って外国へ <u>輸</u> ⁽⁴⁾ <u>出</u> しています。	1Ad 2接 *テ形/-連用形 3複N 4複用
1949	台湾 20 自由作文 6	しかし、最近、世界経済の不況のえいきょうで、国内の社会が <u>た</u> ⁽¹⁾ <u>く</u> さん、 <u>た</u> ⁽²⁾ <u>お</u> れて、貿易のとりひきする金額が大幅に下がり、失業の割合が高くなるという現象が <u>十</u> ⁽³⁾ <u>分</u> に存在している、もし、私が <u>通</u> ⁽⁴⁾ <u>大臣</u> だったら、その現象を克服して。。。。。	1N 2Ad 3V
1950	台湾 20 自由作文 10	3、会社 <u>結</u> ⁽¹⁾ <u>構</u> を更に <u>変</u> ⁽²⁾ <u>更</u> して健全な会社にするように検討する。	1-ノ連 2N 3V
1951	台湾 20 自由作文 13	5、政府の公共支出を増加して就業 <u>機</u> ⁽¹⁾ <u>會</u> を <u>創</u> ⁽²⁾ <u>造</u> する。	1-ノ連 2N 3V
1952	台湾 21 自由作文 1	<u>留</u> ⁽¹⁾ <u>学生</u> と言うと簡単に言えば、外国へ行って勉強することであろう。	N
1953	台湾 22 自由作文 9	毎日一生懸命に仕事をやるかたわら新しい言葉も <u>記</u> ⁽¹⁾ <u>憶</u> しました。	N
1954	台湾 22 自由作文 14	温泉に入るのは日本で <u>始</u> ⁽¹⁾ <u>める</u> のでほんとうに気持ちいです。	品詞 *V/-N
1955	台湾 22 自由作文 19	果樹園へ行くと <u>眼</u> ⁽¹⁾ <u>下</u> の下に <u>展</u> ⁽²⁾ <u>開</u> する <u>い</u> ⁽³⁾ <u>ば</u> い果物を <u>う</u> ⁽⁴⁾ <u>て</u> います。	1N 2V 3発音 4自他
1956	台湾 22 自由作文 23	<u>師</u> ⁽¹⁾ <u>長</u> の思いやりですくすくと成長しています、心からお礼を申しあげます、来年は、もし大学に入学できたら夏休みは、再び山梨県へ行こうと思っています。	N
1957	台湾 23 自由作文 13	台風で国の家の軒が全部飛びました <u>だ</u> ⁽¹⁾ <u>から</u> 、日本へ来る <u>日</u> ⁽²⁾ <u>期</u> をあらためました。	1接 *ダから/-0から 2N
1958	台湾 23 自由作文 15	そして、最後の <u>一</u> ⁽¹⁾ <u>週</u> の日曜日から、ほとんど毎日図書館で一生懸命勉強しました。	N
1959	台湾 24 自由作文 10	毎週 <u>三</u> ⁽¹⁾ <u>次</u> や <u>四</u> ⁽²⁾ <u>次</u> 、プールや海へ泳ぎに行きました。	1,3N 2C
1960	台湾 24 自由作文 16	こんな <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>なし時間</u> は一番うれしかったです。	1複N 2取立 *ハ/-ガ
1961	台湾 25 自由作文 9	しかし、ふたりの心情はいつも <u>愉</u> ⁽¹⁾ <u>快</u> を持っていました。	1品詞 *NA/-N & 表現
1962	台湾 25 自由作文 12	そんなに <u>悲</u> ⁽¹⁾ <u>慘</u> の映画を <u>見</u> ⁽²⁾ <u>た当時</u> わたしまで涙を流しました。	1コソア 2品詞 *N/-NA 3接 *体修/-テ形

1963	中国 1 パターン作文 2	私は日本語を勉強しはじめてから、日本の経済について、 とても <u>趣味</u> <u>が</u> <u>ある</u> ようになりました。 (1) (2)	1N 2V
1964	中国 1 パターン作文 3	特に、日本は、戦争のあと、大体、百年間の間に、経済 が急に発展して、アメリカの <u>あと</u> に第二番の経済大国に なりました。	N
1965	中国 3 聴解要約 28	それでは、友達は大家さんの家具 <u>は</u> <u>を</u> <u>たずけて</u> <u>運び入</u> (1) (2) (3) <u>れ</u> 、 <u>中</u> <u>午</u> <u>時</u> 、そば店の店員はそばを <u>と</u> <u>ど</u> <u>け</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (4)	1C 3発音 2取立 *ハ を /-O を 3V 4N
1966	中国 3 絵を見ての作文 3	車は <u>速</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>歩</u> <u>道</u> <u>の</u> <u>中</u> <u>に</u> <u>歩</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>人</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>水</u> <u>を</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6) <u>ひ</u> <u>っ</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>ね</u> 。 (7)	1スタイル 7活用 4格 *ニ /-ヲ 2接 *ガ / -カラ 3N 5 *テ形 / -体修 6取立 *ガ /- ハ
1967	中国 3 パターン作文 4	毎朝、事務室に来た後、 <u>皆</u> <u>さ</u> は一緒に事務室を掃除しま す。	発音 N
1968	中国 4 聴解要約 4	ヤンさん <u>は</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>さ</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>が</u> 、 <u>天</u> <u>気</u> <u>が</u> とてもあ (1) (2) つかった。	1取立 *ハ /-ガ 2表 現 N
1969	中国 4 自由作文 7	いま <u>ふ</u> <u>る</u> <u>さ</u> <u>と</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>私</u> <u>が</u> <u>4</u> <u>年</u> <u>間</u> <u>を</u> <u>過</u> <u>ご</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>コ</u> <u>ー</u> <u>パ</u> <u>ス</u> <u>を</u> (1) (2) 思うと、非常になつかしいです。	2表記 N 1体修
1970	中国 4 自由作文 8	私の <u>以</u> <u>前</u> <u>の</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>達</u> <u>は</u> <u>今</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>か</u> 。	N
1971	中国 4 パターン作文 6	私はその現象の <u>始</u> <u>の</u> <u>原</u> <u>因</u> <u>が</u> 簡単にいえないだろうと思 (1) (2) う。	2取立 *ガ /-ハ 1N
1972	中国 4 パターン作文 8	実際に女子と男子とを比較してみると大学前には両方の 成績が大抵同じだといえるが、 <u>そ</u> <u>の</u> <u>後</u> <u>女</u> <u>子</u> <u>は</u> <u>自</u> <u>然</u> <u>科</u> <u>学</u> <u>以</u> <u>外</u> <u>の</u> <u>領</u> <u>域</u> <u>へ</u> <u>趣</u> <u>味</u> <u>が</u> <u>変</u> <u>り</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3)	3-のだ 2N 1Ad & 表現
1973	中国 6 自由作文 5	日本語 <u>の</u> <u>習</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>に</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>で</u> <u>習</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ノ連 /-ヲ 2V 3N *コト /-ノ 4V
1974	中国 6 自由作文 9	今度の日本語 <u>コ</u> <u>ー</u> <u>ス</u> 、 <u>私</u> <u>に</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>単</u> <u>語</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>文</u> <u>法</u> (1) (2) (3) (4) <u>と</u> <u>か</u> 、 <u>だ</u> <u>い</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ぶ</u> <u>で</u> 、 <u>聞</u> <u>き</u> <u>は</u> <u>だ</u> <u>め</u> <u>で</u> 、 <u>読</u> <u>解</u> <u>は</u> <u>時</u> (5) (6) (7) (8) <u>間</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>書</u> <u>く</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (9)	1V 2*ノ連 体修 3格 *とシテ /-トッテ 4,5取立 *O /-ハ 6NA 7接 *テ形 /-ガ 8N 9取立 *ハ /-ガ
1975	中国 6 自由作文 12	ですから、来年の大学院入学試験を受けるために、 <u>い</u> <u>ろ</u> (1) <u>い</u> <u>ろ</u> <u>の</u> <u>科</u> <u>目</u> <u>を</u> <u>始</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (2) (3)	1品詞 *N /-NA 2Ad 副用 3スタイル
1976	中国 7 自由作文 1	私は成田空港につくとすぐこの <u>大</u> <u>筑</u> <u>に</u> <u>来</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	N
1977	中国 7 自由作文 4	まどから見ても、 <u>し</u> <u>ば</u> <u>い</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>し</u> 、 <u>松</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	N
1978	中国 7 自由作文 14	<u>上</u> <u>記</u> <u>は</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>筑</u> <u>波</u> <u>大</u> <u>学</u> <u>に</u> <u>入</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>見</u> <u>て</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>も</u> (1) (2) <u>の</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1N 2V
1979	中国 10 自由作文 6	朝早く、おおやさんが廊下のそうじをしているとき、あ るサラリーマンが家を出て <u>お</u> <u>お</u> <u>や</u> <u>と</u> <u>廊</u> <u>下</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	N
1980	中国 10 自由作文 13	自分の意志は絶対に他人に伝えようとはしない日本人で も人間としての <u>言</u> <u>葉</u> <u>交</u> <u>流</u> <u>が</u> <u>必</u> <u>要</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	複N

第3章 語彙論

1981	中国 10 自由作文 17	こんなつまらないあいさつを取り除いて、もっと人間的な <u>思想交流</u> をすればと私は <u>望みます</u> 。	1複 N 2V
1982	中国 11 自由作文 2	わたしは日本に来てからもうすぐ <u>両年</u> です。	N
1983	中国 11 自由作文 5	かれたちは毎日八時半から午後五時半 <u>正常</u> の仕事をしていますが、ほとんど夜十時まで残業しています。	1格 -マデ -ノ連 2N
1984	中国 12 自由作文 4	でも、そのバスは <u>限定時間</u> な <u>人</u> ですが、一步 <u>おくれて</u> 、二十分以上も待たされたこともあります。	1複 N 2N 3*テ形 / タメニ
1985	中国 12 自由作文 8	中国式で <u>自転車</u> を駅の <u>近所</u> に置きました。	1格 *デ / -ニ 2N
1986	中国 12 自由作文 21	でも私はきびしい <u>の</u> <u>ほう</u> が <u>無責任者</u> よりいいだろうと考えています。	1体修 *ノ連 2複 N
1987	中国 13 自由作文 10	東京はかなり広いですが、便利な交通は <u>距離</u> を <u>短縮</u> しています。	1格 ハ / -ニヨッテ 2N
1988	中国 13 自由作文 12	しかし、首都圏の交通が便利な一方、朝夕の電車の <u>停滞</u> 、 <u>混雑</u> も事実です。	N
1989	中国 14 自由作文 4	世界に <u>進んでいる</u> 電子工業、 <u>ゆき届き</u> のサービス業など数多くの分野で、日本国が世界中の <u>一つ</u> <u>経済大国</u> のことがよく分かりました。	1格 *ニ / -デ 2複 N 3数 語順 4-ダート イウ
1990	中国 14 自由作文 12	こんなにきびしい <u>仕事時間</u> であっても、日本人がよく <u>割り込み</u> も、 <u>かけ込み</u> も <u>しない</u> 。	1複 N 2取立 3スタイル
1991	中国 14 自由作文 20	これはお互いに譲り合う気持ちがたりない <u>、</u> <u>知識水準</u> があまり高くないという <u>わけ</u> <u>である</u> と思います。	1並 V -シ 2N 3*ダ
1992	中国 15 自由作文 4	日本へ来る前に、「東京の人口は約一千二百万ぐらい、 <u>世界中</u> に <u>一の大都市</u> で、 <u>中には</u> 、 <u>新宿</u> が <u>挙げられて</u> <u>いる</u> 。」と私は <u>そういう</u> <u>噂</u> が <u>聞いて</u> <u>東京</u> に <u>来た</u> のだ。	1複 N 2,3副用 4*テ イル / -ル 5コソア 6*トイウ 7格 *ガ / - ヲ
1993	中国 15 自由作文 15	これから、東京に <u>暮</u> していきたく私は、 <u>ゆっくり</u> <u>歩く</u> <u>のが</u> 、 <u>大分</u> <u>できない</u> <u>でしょう</u> 。	1格 *ニ / -デ 2名詞 節 -コト 3N 4複 V 5スタイル
1994	中国 16 自由作文 5	そこに日本の昔の <u>跡</u> がよく見えました。	1格 取立 *ニ / -デ ハ 2N
1995	中国 16 自由作文 6	日本の典型的な <u>景物</u> は <u>見</u> て、やはり日本へ来た感じがしました。	1N 2取立 *ハ / -ヲ 3発音
1996	中国 16 自由作文 9	日本人の生活とか習慣とか風俗などを <u>もっと</u> <u>瞭解</u> しました。	N
1997	中国 16 自由作文 15	私は日本が <u>世界中</u> で <u>生活水準</u> の高い <u>国</u> <u>だ</u> 。	1複 N 2接 *ル / -連 用形
1998	中国 16 自由作文 22	もう一つ私に最も強い <u>印象</u> は日本の貸家のことです。	N
1999	中国 17 自由作文 2	私は日本に来る前に日本として <u>世界中</u> <u>経済強国</u> のことを知っていました。	1格 取立 *トシテ / - ハ 2複 N 3*ダ

2000	中国 17 自由作文 4	世界中でも有数な大都市だと思っています。 (1) (2)	1複N 2品詞 *NA/ -N
2001	中国 17 自由作文 17	わたしたちにとって二十世紀の青年はもし、日本人の様 子つまり仕事をしたらきりがないほどの精神を手に入 れる。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1*トッテ/-O 2取 立 *ハ/-ガ 3N 4熟 語 5N 6可能 スタ イル
2002	中国 18 自由作文 2	一九八六年九月二十四日の日わたし が うれしい 気持ち を持って 日本に参りました。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/-ハ 2N 3V
2003	中国 18 自由作文 3	来る前に日本のいろいろなものが必ず優れると思っ ていましたが。来て から 自分の思った とうり と違っ ています。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *ニ/-ハ 2Ad 3*ル/-テイル 4複 V -テミル 5条件 6 N 7*ル/-タ
2004	中国 18 自由作文 4	日本のいろいろな工業は自分の国より 発達 しているに ちがいない と思っていますが、なかにはまだ 発展 して いない物もあると思います。 (1) (2) (3)	1,3N 2△-D
2005	中国 18 自由作文 10	わたしの国はあまり優れていませんけれど消防員 が 国 より 強い にちがいありませ。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/-ハ 2N 3A
2006	中国 18 自由作文 12	もう一つの印象 は日本で 車が 多すぎました。 (1) (2) (3)	1N 2取立で *O / -ハ 3タ/-ル
2007	中国 18 自由作文 19	わたしは日本へ来て勉強 する だけでなく、自分の 視線 が広まりました。 (1) (2)	1*ル/-テイル 2N
2008	中国 18 自由作文 21	これからの 国 のことに自信を持っています。	N
2009	中国 19 自由作文 4	たとえば浮浪者 が もっとも不思議だと 思っ ています が、どうして、経済大国の日本 には こんなに たくさ んな 浮浪者が いますか。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1-名詞節 2格 *ガ/ -ヲ 3活用 4-ノダ 5取立 に*ハ/-に-O 6品詞 *NA/-N 7- ノダ
2010	中国 19 自由作文 5	大手町駅から東京駅までの 地下行人道 や新宿駅などい つも 大勢 きたないかっこうの浮浪者がいます。 (1) (2)	1複N 2語順
2011	中国 20 自由作文 7	それから、日本人はよく働く 人 だと思っ ています。	N
2012	中国 20 自由作文 12	話をしてはじめて 女性 は毎日よそくまで仕事をして いることがわかりました。	複N
2013	中国 22 自由作文 9	きょうはもう学校の冬休みの前の試験の おわな 日です。	品詞(*NA/-N)
2014	中国 22 自由作文 10	に、さんかげつ じゅう、わたしは毎日学校のじゅうきよ うの時間は五時間 があります。 (1) (2) (3) (4)	1複N 2取立 *ハ/- ガ 3格 *ガ/-O 4* ル/-タ
2015	中国 23 自由作文 8	「わたしはがいごくじんです。いまにほんでながいのア パートにすんでいます。わたしのへやはしずかできれい なへやです。へやにはほんばこや しょうほう やテレビなど があります。……」。 (1) (2)	1? 2N
2016	中国 23 自由作文 13	いまがっこう な ふゆやすむ から、じぶんのへやでに ほんごのべんきょうをしています。 (1) (2) (3)	1発音 表記 2N 3ダ

第3章 語彙論

2017	中国 25 自由作文 5	せんせいのなまえはながい <u>サマ</u> です。	N スタイル
2018	中国 26 自由作文 2	にほんごの <u>なか</u> に <u>ひらかな</u> と <u>かたかな</u> と <u>かんじ</u> があります。	1N 2取立 *0 /-ハ
2019	中国 26 自由作文 15	それから、わたしはいつも <u>ほんとな</u> に <u>ほんじんの</u> <u>はすおん</u> をしたいとおもっています。	品詞 *NA/-N 2発音
2020	中国 28 自由作文 3	にほんへきたとき、じどうしゃやえきやみせの <u>けじばん</u> などを <u>かたかな</u> と <u>ひらがな</u> と <u>かんじ</u> でかいてありました。	1N 2格 *ヲ/-ガ
2021	中国 28 自由作文 19	<u>がっこう</u> が <u>おわって</u> 、ときどき <u>しゅくだい</u> もありました。	1N 2接 *テ形/-テカラ
2022	中国 30 自由作文 7	<u>とんな</u> <u>じょだい</u> につか <u>かこう</u> <u>しき</u> 、 <u>げいざい</u> <u>しき</u> 、 <u>みらい</u> <u>しき</u> です。	1,2発音 3V 4,5,6N
2023	中国 30 自由作文 8	そしてわたしは <u>いまちち</u> と <u>はなしている</u> とき <u>とんな</u> <u>こたえ</u> とわかりますね。	1*テイル 2V 3N
2024	中国 30 自由作文 9	しかしわたしの <u>にほんご</u> は <u>ひつよう</u> の <u>きょうちょう</u> です。	N 表現
2025	中国 31 自由作文 11	いちばん <u>むずかしい</u> <u>ところ</u> は <u>ぶんぼう</u> です。	1N 2発音
2026	中国 37 自由作文 3	にほんへ <u>くる</u> の <u>ため</u> は <u>けいざい</u> の <u>べんきょう</u> を <u>します</u> 。	1*ル/-タ 2体修 3N 4一名詞節
2027	中国 37 自由作文 20	わたしは「 <u>いちねん</u> <u>ぐらい</u> <u>にほんご</u> は <u>じょうず</u> になりました」とおもっています。	1N 2書く *0 /-デ 3取立 *ハ/-ガ 4活用
2028	中国 38 自由作文 3	にほんごの <u>べんきょう</u> <u>だから</u> です。	1品詞 *N/-V 2一名詞節 -タメ
2029	中国 38 自由作文 6	まいにち <u>ごじ</u> <u>ぐらい</u> が <u>がっこう</u> で <u>べんきょう</u> をします。	N
2030	中国 38 自由作文 10	にほんごの <u>べんきょう</u> は <u>かく</u> <u>や</u> <u>きく</u> <u>やはなし</u> などがおおいです。	1一名詞節 品詞 *N/-V 2一名詞節 品詞 *N/-V
2031	中国 41 自由作文 7	がっこうに <u>まいにち</u> <u>ごじ</u> <u>かん</u> <u>べんきょう</u> があります。	N
2032	中国 41 自由作文 8	にちようびは <u>やしみ</u> です。	発音 N
2033	中国 41 自由作文 12	うへでテレビの <u>ニュース</u> をみる <u>こと</u> があります。	発音 表記 N
2034	中国 41 自由作文 14	にちようびは <u>ときどき</u> に <u>ほんじん</u> と <u>はなす</u> をします。	発音 品詞 *N/-V
2035	中国 42 自由作文 4	まいしゅうに <u>じかん</u> の <u>にほんご</u> の <u>文部</u> と <u>読み方</u> の勉強だけでした。	N
2036	中国 42 自由作文 8	毎日、 <u>文部</u> や <u>会話</u> など <u>勉強</u> をして、 <u>毎週</u> 、 <u>作文</u> の練習 <u>する</u> <u>こと</u> があります。	1N 2,4 格 *0 /-ヲ 3Ad
2037	中国 44 自由作文 10	<u>このこと</u> がわかりません。	複N

2038	中国 46 自由作文 15	まいしゅう <u>ちゅう</u> にちようび <u>やす</u> みます。 (1) (2)	1複 N 2取立 *0 /- ハ
2039	中国 48 自由作文 8	<u>ちゅうご</u> じん はにほんじん <u>に</u> <u>たいへん</u> にていますが、 (1) (2) <u>かんがえ</u> <u>ぜんぜん</u> ちがいます。 (3) (4)	1発音 2Ad 副用 3N 4格 *0 /-ガ
2040	中国 48 自由作文 13	ざっしや <u>こども</u> の <u>しょうせつ</u> です。	N
2041	中国 48 自由作文 16	ざっしのなか <u>に</u> <u>わかりません</u> <u>ところ</u> を <u>ともたち</u> <u>に</u> <u>し</u> (1) (2) (3) (4) <u>つもん</u> をききます。	1格 *ニ /-ノ連 2体 修 活用(V) 3発音 4 品詞 *N /-V
2042	中国 49 自由作文 8	にほんごは <u>持続</u> のべんきょう <u>する</u> の基礎です。 (1) (2)	1N 2*V /-O
2043	中国 52 自由作文 4	買物や外で <u>あそぶ</u> <u>こと</u> が <u>とても</u> <u>不便利</u> <u>だ</u> <u>から</u> 、 (1) (2) (3) 心の中に <u>持気</u> <u>が</u> <u>よく</u> <u>ありません</u> <u>でした</u> 。 (4)	1V 2NA 3発音 表記 4N &表現
2044	中国 52 自由作文 5	わたしは中国にいるとき、日本語 <u>を</u> <u>ひらかな</u> と <u>カタカナ</u> (1) だけ習って、ことばは「私は <u>Aさん</u> <u>です</u> 」という二文法 (2) を <u>習</u> って <u>した</u> <u>から</u> 、ほかのことばは <u>ひとつ</u> も <u>はなせ</u> <u>ま</u> (3) (4) <u>せん</u> 。	1格 *ヲ /-ノ連 2N 3複 V 4接 *カラ /- ガ
2045	中国 52 自由作文 12	そうですね、今は <u>始め</u> <u>に</u> <u>習</u> って、 <u>後</u> でも <u>もっと</u> <u>むずか</u> (1) (2) (3) <u>しい</u> <u>問題</u> が <u>待</u> っていますね。	1N 2格 *ニ /-ヲ 3* 0 /-テイル &スタ イル
2046	中国 52 自由作文 15	わたしはこの学校を卒業した <u>あと</u> で、日本の <u>大</u> 学校 <u>に</u> (1) (2) <u>は</u> <u>い</u> った <u>い</u> と <u>おも</u> っています。 (3)	1副用 2N 3発音 表 記
2047	中国 53 自由作文 2	<u>語</u> 言 <u>の</u> <u>なら</u> い <u>い</u> つも <u>お</u> もしろい <u>で</u> す。 (1) (2) (3)	1N 2取立 *0 /-ハ
2048	中国 53 自由作文 12	たとえば、助詞 <u>は</u> <u>ただ</u> しい <u>用</u> 法 <u>が</u> <u>い</u> つも <u>あ</u> たま <u>が</u> <u>痛</u> (1) (2) (3) (4) <u>い</u> も <u>ん</u> だ <u>い</u> です。	1取立 *ハ /-ノ連 2 N 3*ガ /-ハ 4格 * ガ /-ノ連
2049	中国 54 自由作文 11	そしてパンをたべて、 <u>きゅう</u> <u>を</u> <u>の</u> みます。	N
2050	中国 54 自由作文 14	わからない時は <u>老</u> 師 <u>が</u> <u>い</u> つも <u>やさ</u> しく <u>お</u> し <u>え</u> ます。 (1) (2)	1N 2VP 受給
2051	中国 58 自由作文 13	八月のおわり <u>と</u> き、 <u>教</u> 師 <u>友</u> <u>だ</u> ち <u>と</u> <u>東</u> 京 <u>へ</u> <u>い</u> きました。 (1) (2)	1副用 2複 N
2052	中国 59 自由作文 3	というのは、私の国には外国から輸入した電気設備とか (1) <u>家</u> 用 <u>電</u> 気 <u>と</u> いう <u>も</u> の <u>が</u> <u>多</u> い <u>い</u> です。 (2)	1複 N 2活用(A)
2053	中国 59 自由作文 4	<u>そ</u> んな <u>お</u> おき <u>い</u> 国 <u>け</u> れ <u>ど</u> も、 <u>電</u> 気 <u>設</u> 備 <u>等</u> の <u>物</u> の <u>産</u> 量 <u>が</u> (1) (2) <u>低</u> い <u>で</u> す。 (3)	1コソア 2N 3A
2054	韓国 1 パターン作文 10	<u>た</u> いて <u>い</u> <u>外</u> 郭 <u>地</u> <u>の</u> <u>駐</u> 車 <u>場</u> <u>に</u> <u>置</u> って <u>地</u> 下 <u>鉄</u> <u>で</u> <u>市</u> 街 <u>地</u> <u>で</u> (1) (2) (3) (4) <u>入</u> ります。	3活用 4格 *デ /-ニ 1副用 2N
2055	韓国 1 パターン作文 11	しかし韓国は開発途上国ですから <u>人</u> 達 <u>が</u> <u>た</u> く <u>さ</u> ん <u>忙</u> (1) (2) <u>い</u> です。	1N 2副用 Ad
2056	韓国 1 パターン作文 13	ですからソウルは常に <u>複</u> 雑 <u>と</u> <u>考</u> えます。	N 品詞(NA)
2057	韓国 2 パターン作文 6	韓国 <u>に</u> は <u>第</u> 一 <u>先</u> に <u>齊</u> 州 <u>道</u> <u>か</u> ら <u>花</u> の <u>消</u> 息 <u>を</u> <u>き</u> きます。 (1) (2) (3)	1格 *ニは /-デは 2Ad 3N

第3章 語彙論

2058	韓国 3 自由作文 6	ソウルの人口は八百万ですが <u>濟州</u> は人口五十万 <u>名</u> です。	N
2059	韓国 5 自由作文 7	ソウルは韓国の <u>一番都市</u> にして <u>韓半島</u> の中心に位置 (一) <u>あります</u> 。	&スタイル 1,3N 4V 2*ダ -連用形
2060	韓国 5 自由作文 8	ソウルは成田から <u>航空便</u> で約二時間ぐらいのところ <u>あります</u> 。	N
2061	韓国 6 自由作文 3	ラジオは聞く <u>の</u> だけですがはこぶ <u>が</u> <u>便利</u> します。	1N *ノ 3品詞 *V /NA *N /-NA 2 体 修 -ノ
2062	韓国 6 自由作文 4	テレビはラジオより <u>電気料</u> がたくさんかかります。	N
2063	韓国 6 自由作文 5	ラジオは <u>電気料</u> がやすいです。	N
2064	韓国 6 自由作文 7	<u>しかし</u> テレビはラジオ <u>に対して</u> サイズが <u>おおきい</u> だか <u>らは</u> <u>こぶ</u> <u>が</u> <u>不便</u> する。	1C 3ダ 2 に*タイシ テ 5品詞 *N /- NA *V /NA 4N - ノ
2065	韓国 6 自由作文 9	いろいろな問題が <u>あります</u> から自分で考えてラジオとテ レビを <u>選ぶ</u> しょう。	1スタイル 2活用(V) 品詞 *N /-V
2066	韓国 6 パターン作文 1	TV宣伝と消費者との関係を考えると、いろいろあ りますが、その一つに <u>視聴</u> に早く新しいものの情報を伝 達します <u>。</u>	1N 2-名詞節
2067	韓国 6 パターン作文 7	その中で一番重要な問題は <u>みなさん</u> に <u>共感代</u> を形成す ることです。	1N 2スタイル
2068	韓国 6 パターン作文 9	人々 <u>各々</u> たべものの <u>差</u> がありますが、日本人のたい ていが <u>あもい</u> ものが大好きです。	4表記 1*0 /-ハ 2副 用 3N
2069	韓国 7 聴解要約 4	ヤンさんは大家さんのお宅から出た後、太郎さん <u>はいし</u> <u>よ</u> にステレオを <u>かお</u> ために秋葉原へいった。	3発音 1格 *ハ/一ト 2N
2070	韓国 7 自由作文 4	若者組は家族の相続と関係がある。	N
2071	韓国 8 パターン作文 1	飛行機と船をくらべると、飛行機は <u>土地</u> の滑走路 <u>で</u> 出 発して空を飛びます。	1N 2格 *デ/一ヲ
2072	韓国 9 自由作文 8	山や <u>江</u> は美しいです。	N
2073	韓国 9 自由作文 9	私は <u>中学校</u> から Seoul にきました。	N
2074	韓国 9 パターン作文 3	ワープロの使い方 <u>が</u> <u>まっと</u> 複雑ですが一旦 <u>使われ</u> ば、 ひじょうに <u>効果</u> があります。	1-ノホウ 2表記 3活 用(V) 4N
2075	韓国 11 自由作文 5	それで私はふるさとの <u>覚え</u> がすこし <u>だけ</u> ありません。	1N 2取立 *ダケ/一 シカ
2076	韓国 11 パターン作文 7	そして私の主人は <u>何時</u> ても <u>私</u> の方があなたより頭がい いですよ” と話します。	N 副用
2077	韓国 12 自由作文 4	京畿道はソウル <u>まわる</u> の <u>ところ</u> として <u>都市</u> の文化や 農村の情景 <u>か</u> <u>造化</u> し <u>ない</u> でいます。	3発音 1N 2取立 *0 /一ハ 4V

2078	韓国 12 自由作文 5	そこには工場の廃水によって川が病 <small>(1)</small> になりました。 <small>(2)</small>	1格 *ニは /ーデは 2 N
2079	韓国 12 パターン作文 4	その原因をあければ第一建設作業がすんだらその図面によつて工場で作られる部材 <small>(1)</small> を建設現場に運送してこの部材を組み合わせ <small>(2)</small> して建設する <small>(3)</small> がら、工事期間を短縮 <small>(4)</small> される <small>(5)</small> ことができる。 <small>(6)</small>	5発音 6受身 2N 1Ad 3コソア 4活用
2080	韓国 13 聴解要約 5	秋葉原のどの点 <small>(1)</small> にで CASSETTERADIOを買 <small>(2)</small> いて価格が高い <small>(3)</small> ですから思いました。 <small>(4)</small>	1表記 N 2発音 格 * ニで /ーOで 3活用 接条件 *テ形 /ーテ モ
2081	韓国 13 パターン作文 2	私の思い <small>(1)</small> は現在日本の生活の中に、 <small>(2)</small> たくん差があります。 <small>(3)</small>	1N 2*O /ーデ 3に * O /にーハ
2082	韓国 13 パターン作文 5	けれどもソウルには私の追憶 <small>(1)</small> がない。 <small>(2)</small>	1発音 2N
2083	韓国 13 パターン作文 11	わたしの思いは日本語がよく、 <small>(1)</small> できます。 <small>(2)</small> 私は学教 <small>(3)</small> で日本語を勉強をします。	1一名詞節 2C 3N
2084	韓国 15 自由作文 3	女の人 <small>(1)</small> ですがたいい男の人と男学生 <small>(2)</small> を相手に基礎日本語の文法と購読、 <small>(3)</small> そして会話を教えました。	1N 2複 N 3表記
2085	韓国 15 自由作文 5	しかし、時間が経つにつれて教える仕方 <small>(1)</small> が身につけてどのくらい余裕ができる <small>(2)</small> ととてもおもしろかったです。 <small>(3)</small>	1N 2格 *ガ /ーヲ 3Ad 副用
2086	韓国 15 自由作文 7	しかし教えれば教えるほどむずかしいのが外国語 <small>(1)</small> というのが気づいて、 <small>(2)</small> もっとも確実な日本語、正確な発音、 <small>(3)</small> さまざまな日本の言語および文化、 <small>(4)</small> さらに日本文学について勉強 <small>(5)</small> したかったです。	1ーダ 2N *ノ /ーコ ト 3格 *ガ /ーニ 4Ad 副用 5VP
2087	韓国 17 自由作文 4	ときどきあなたとのたのしかった時を思いながらその時のあなたの情 <small>(1)</small> がなつかしいでした。 <small>(2)</small>	1N 2活用(A)
2088	韓国 18 自由作文 3	現代には社会問題 <small>(1)</small> で登場 <small>(2)</small> している多 <small>(3)</small> い問題が家庭の機能喪失に困って超来 <small>(4)</small> され問題 <small>(5)</small> ですから家族を通じて社会問題すなわち家族問題の解決方法について研究したいと思いました。	1格 *ニは /ーOは 2 格 *デ /ーニ 3 V 4品 詞 *A /ーN ーノ連 5活用 V
2089	韓国 20 自由作文 10	韓国の漢字は日本の漢字が <small>(1)</small> いみがたいへん同じですが、 <small>(2)</small> 読の方がちがいますからです。 <small>(3)</small>	1格 *ガ /ート 2Ad 副 用 3複 N 4スタイル
2090	韓国 20 自由作文 11	たとえば、生はいろいろな読の方 <small>(1)</small> が日本に <small>(2)</small> あります が、韓国 <small>(3)</small> には一つ <small>(4)</small> あります。 <small>(5)</small>	1複 N 2N 3取立 *O /ーハ 4N 5取立 *O /ーシカ
2091	韓国 21 自由作文 7	そして自分の慣習 <small>(1)</small> でつかうから日本人 <small>(2)</small> はぜんぜんわからないときもあります。	1N 2取立 *ハ /ーガ
2092	韓国 22 自由作文 7	私のくにの人がべんきょうしている外国語の中でいち <small>(1)</small> は んすきな語 <small>(2)</small> は英語です。	1発音 2N
2093	韓国 22 自由作文 11	だから私は毎日朝おきる <small>(1)</small> からねて <small>(2)</small> 前まで日本語会話 <small>(3)</small> カサート <small>(4)</small> をききます。	1*ル /ーテ形 2*テ形 /ール 3ーノ連 4 N 発音

第3章 語彙論

2094	韓国 22 自由作文 14	私はときどき寮のうけつけで日本の学生と <u>いろいろ</u> の日本語を話しています。	品詞 *N / -NA
2095	韓国 23 自由作文 8	学校は学校としての意味より社会の <u>準備場</u> として <u>いみ</u> を持っている <u>と</u> <u>思</u> っています。	1N 2-ノ連 3複 V
2096	韓国 24 自由作文 11	私の <u>任務</u> は書類を整理することでした。	N
2097	韓国 24 自由作文 14	しかし思いきって <u>快心</u> をしました。	N
2098	韓国 24 自由作文 16	それが私にはなにより <u>記念</u> だったです。	N
2099	韓国 24 自由作文 25	とにかく私はちょっとなまいきな <u>話</u> す かもしれませんが日本語について自信が <u>も</u> <u>と</u> <u>と</u> できました。	1品詞 V / N 2副
2100	韓国 25 自由作文 13	韓国の部屋はたたみではありませんから私のはじめ日本で生活した時ちょっとこまりましたが今は <u>習慣</u> になりましたから <u>便利</u> です。	1N 2NA
2101	韓国 26 自由作文 4	だから、ひとつ <u>部</u> は二人が住まなければ <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> 、とても狭いです。	1数 *0 / -ノ連 2N 3発音 4活用 (A)
2102	韓国 26 自由作文 5	私のは <u>ほかに</u> の部屋より小さくて、6畳しかありません。	品詞 *Ad / -N 副用
2103	韓国 26 自由作文 15	<u>下</u> のコタツの上に電気スタンドや辞書が置いてあります。	N
2104	韓国 26 自由作文 18	私と <u>ほかに</u> の友達はすきなテレビが買ってある <u>け</u> <u>ど</u> 、暇な時、 <u>本相</u> の上にのせているテレビをみます。	1品詞 *Ad / -N 2接 *ケド / -ノデ 3表記
2105	韓国 28 自由作文 8	<u>妹さん</u> と一緒に苦しい <u>生活</u> を <u>過</u> こした。	1N スタイル 2VP 発音
2106	韓国 28 自由作文 16	彼女の善良の心を人々に知らせて <u>い</u> <u>た</u> 。	1品詞 *N / -NA * ノ連 体修 2*テイル / -タ
2107	韓国 29 自由作文 11	今までいろいろな <u>例文</u> を <u>申</u> しました。	1N 2V
2108	韓国 29 自由作文 16	これが韓国のかぜにかからないようにする <u>た</u> <u>め</u> です。	N
2109	韓国 30 自由作文 4	小蓮という映画の <u>主要人物</u> は、とても苦しい生活を <u>過</u> ぎて、8才の時、かぞくの生活費のために、 <u>町</u> にある金持ちの家で <u>働</u> かなければ <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1N 2V 3体修 AN 4*ル / -タ
2110	韓国 30 自由作文 8	成年になった彼女 <u>も</u> <u>様</u> <u>々</u> <u>な</u> <u>困</u> <u>難</u> の <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>が</u> 、結局、彼女は、 <u>成</u> <u>功</u> <u>な</u> <u>商</u> <u>業</u> <u>界</u> <u>の</u> <u>名</u> <u>人</u> になった。	1格 *0 も / -ニも 2 品詞 *ノ / -ナ 3NA 4N
2111	韓国 31 自由作文 4	日本は今 <u>世界</u> <u>中</u> に有名な工業国です。	複 N 副用
2112	韓国 31 自由作文 9	最近 <u>国</u> の首相は国民に「東方を学ぶ」という <u>励</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>を</u> して、国民に日本と韓国の進んだ技術を学び <u>ま</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>と</u> 言いました。	1N 2N 3スタイル

2113	韓国 31 自由作文 12	私は日本のいろいろな商業知識 ⁽¹⁾ と 社会の <u>組み</u> ⁽²⁾ がなりたいです。	1並 N *ト/ーヤ 2N
2114	韓国 31 自由作文 16	国 ⁽¹⁾ では <u>たくさん</u> ⁽²⁾ 日本の <u>社会</u> ⁽³⁾ があるから、将来その社会に仕事をさがすことも <u>便利</u> ⁽³⁾ です。	1格 *デは/ーニは 2N 3NA
2115	韓国 32 自由作文 6	その中 ⁽¹⁾ に <u>私</u> ⁽²⁾ は <u>興味</u> ⁽³⁾ を持っているのは、デパート <u>か</u> ⁽⁴⁾ スーパーの経営制度です。	1格 *ニ/ーデ 2取立 *ハ/ーガ 3N 4格 *カ/ート
2116	韓国 32 自由作文 10	私は将来国へ帰って父のデパートを <u>改革</u> ⁽¹⁾ させて <u>もっと</u> ⁽²⁾ <u>大き</u> ⁽³⁾ を <u>したい</u> ⁽³⁾ する <u>思</u> ⁽³⁾ っています。	1*使役 2N 3VP
2117	韓国 33 自由作文 5	今の日本の事情は1060年代の難しかった状態を <u>き</u> ⁽¹⁾ <u>かけ</u> ⁽²⁾ にして今の日本になったと思います。	N
2118	韓国 34 自由作文 4	それで、今までの都市建設は、建物を立てた <u>以後</u> ⁽¹⁾ 、具体的な計画を立てるので、都市の構造が <u>めさ</u> ⁽²⁾ <u>ゃく</u> ⁽²⁾ <u>さ</u> ⁽²⁾ <u>ゃ</u> ⁽²⁾ に <u>た</u> ⁽³⁾ <u>っ</u> ⁽³⁾ <u>て</u> ⁽³⁾ <u>き</u> ⁽³⁾ <u>ま</u> ⁽³⁾ <u>し</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ 。	1N 2表記 発音 3V
2119	韓国 34 自由作文 5	その点、日本の都市計画というのは、昔から、 <u>都市</u> ⁽¹⁾ <u>計画</u> ⁽¹⁾ <u>学</u> ⁽¹⁾ <u>問</u> ⁽¹⁾ の <u>基礎</u> ⁽²⁾ にして建設したので、都市の <u>変化</u> ⁽²⁾ が <u>少</u> ⁽²⁾ <u>く</u> ⁽²⁾ <u>な</u> ⁽²⁾ <u>か</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽²⁾ <u>ん</u> ⁽²⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>す</u> ⁽²⁾ 。	1複 N 2*ノ連 格*0/ーヲ
2120	韓国 35 自由作文 3	それは <u>人間</u> ⁽¹⁾ には <u>なに</u> ⁽¹⁾ により <u>栄光</u> ⁽²⁾ だろうと思います。	1コソア 2N
2121	韓国 35 自由作文 8	その <u>強</u> ⁽¹⁾ <u>大</u> ⁽¹⁾ <u>国</u> ⁽¹⁾ <u>々</u> ⁽¹⁾ の間で政治的 <u>も</u> ⁽²⁾ 経済的 <u>で</u> ⁽³⁾ <u>も</u> ⁽³⁾ <u>成</u> ⁽³⁾ <u>長</u> ⁽³⁾ <u>さ</u> ⁽³⁾ <u>れ</u> ⁽³⁾ <u>る</u> ⁽³⁾ のは <u>と</u> ⁽⁴⁾ <u>て</u> ⁽⁴⁾ <u>も</u> ⁽⁴⁾ <u>む</u> ⁽⁴⁾ <u>ず</u> ⁽⁴⁾ <u>か</u> ⁽⁴⁾ <u>し</u> ⁽⁴⁾ <u>い</u> ⁽⁴⁾ <u>だ</u> ⁽⁴⁾ <u>ら</u> ⁽⁴⁾ <u>う</u> ⁽⁴⁾ <u>と</u> ⁽⁴⁾ <u>思</u> ⁽⁴⁾ <u>い</u> ⁽⁴⁾ <u>ま</u> ⁽⁴⁾ <u>す</u> ⁽⁴⁾ 。	1複 N 2格 *0/ーニ 3格 *デ/ーニ 4受身
2122	韓国 35 自由作文 22	韓国と日本との <u>友</u> ⁽¹⁾ <u>情</u> ⁽¹⁾ がある関係が <u>つ</u> ⁽²⁾ <u>づ</u> ⁽²⁾ <u>く</u> ⁽²⁾ <u>よ</u> ⁽²⁾ <u>う</u> ⁽²⁾ <u>に</u> ⁽²⁾ <u>な</u> ⁽²⁾ <u>る</u> ⁽²⁾ のを祈ります。	1N 2VP
2123	ブラジル 1 聴解要約 9	かとさんの <u>家</u> ⁽¹⁾ <u>方</u> ⁽²⁾ <u>て</u> ⁽³⁾ <u>っ</u> ⁽³⁾ <u>だ</u> ⁽³⁾ <u>っ</u> ⁽³⁾ <u>て</u> ⁽³⁾ <u>し</u> ⁽³⁾ <u>ま</u> ⁽³⁾ <u>し</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ 。	3テ形 1N 4ー受給 2格 *0/ーガ
2124	ブラジル 2 聴解要約 3	やんさんは <u>お</u> ⁽¹⁾ <u>住</u> ⁽¹⁾ <u>まい</u> ⁽¹⁾ の <u>と</u> ⁽²⁾ <u>こ</u> ⁽²⁾ <u>ろ</u> ⁽²⁾ <u>へ</u> ⁽²⁾ <u>行</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽²⁾ 。	N
2125	ブラジル 2 自由作文 1	ブラジルで <u>い</u> ⁽¹⁾ <u>ろ</u> ⁽¹⁾ <u>い</u> ⁽¹⁾ <u>ろ</u> ⁽¹⁾ <u>な</u> ⁽¹⁾ <u>と</u> ⁽¹⁾ <u>こ</u> ⁽¹⁾ <u>ろ</u> ⁽¹⁾ に <u>古</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>れ</u> ⁽²⁾ <u>き</u> ⁽²⁾ <u>し</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>あ</u> ⁽²⁾ <u>る</u> ⁽²⁾ 。	1取立 で*0/でーハ 2N
2126	ブラジル 2 自由作文 4	その <u>き</u> ⁽¹⁾ <u>ょう</u> ⁽¹⁾ <u>か</u> ⁽¹⁾ <u>い</u> ⁽¹⁾ はポルトガルの <u>し</u> ⁽²⁾ <u>ん</u> ⁽²⁾ <u>ぶ</u> ⁽²⁾ <u>さ</u> ⁽²⁾ <u>ん</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽²⁾ <u>ち</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ <u>っ</u> ⁽³⁾ <u>て</u> ⁽³⁾ <u>ま</u> ⁽³⁾ <u>し</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ 。	1コソア 2N 3発音 4スタイル
2127	ブラジル 2 自由作文 5	きょうかいの中に <u>金</u> ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>多</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>す</u> ⁽²⁾ 。	1取立 に*0/にーハ 2N
2128	ブラジル 2 自由作文 6	<u>バ</u> ⁽¹⁾ <u>イ</u> ⁽¹⁾ <u>ア</u> ⁽¹⁾ <u>女</u> ⁽¹⁾ <u>性</u> ⁽¹⁾ <u>に</u> ⁽²⁾ <u>に</u> ⁽²⁾ <u>ん</u> ⁽²⁾ <u>き</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>あ</u> ⁽³⁾ <u>る</u> ⁽³⁾ 。	1複 N 3スタイル 2取立 *ニ/ーハ
2129	ブラジル 2 自由作文 11	ーばんおもしろい <u>は</u> ⁽¹⁾ 、おさら <u>と</u> ⁽²⁾ <u>思</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>ま</u> ⁽²⁾ <u>す</u> ⁽²⁾ 。	1N ーノ 2ダ
2130	ブラジル 2 自由作文 13	<u>し</u> ⁽¹⁾ <u>か</u> ⁽¹⁾ <u>し</u> ⁽¹⁾ ハムのまんなかに <u>目</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>あ</u> ⁽²⁾ <u>り</u> ⁽²⁾ <u>ま</u> ⁽²⁾ <u>す</u> ⁽²⁾ 。	1C 2N
2131	ブラジル 3 聴解要約 1	ヤンさんは、旅行から <u>か</u> ⁽¹⁾ <u>え</u> ⁽¹⁾ <u>て</u> ⁽¹⁾ 来てお土産をもって大家さんの <u>お</u> ⁽²⁾ <u>住</u> ⁽²⁾ <u>まい</u> ⁽²⁾ へ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽²⁾ 。	1発音 2N スタイル
2132	ブラジル 3 聴解要約 4	ヤンさんは、お茶を飲んでからかとうさんの <u>お</u> ⁽¹⁾ <u>住</u> ⁽¹⁾ <u>まい</u> ⁽¹⁾ へ <u>行</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽²⁾ 。	N スタイル

第3章 語彙論

2133	アメリカ 1 聴解要約 3	旅行してした から大家さんの ほへ おみあげ を上げる ために(1)行きました。(2)(3)	1活用 3表記 発音 2 N
2134	アメリカ 1 聴解要約 4	大家さんと奥さんと いっしょう にむぎ茶を飲んだり、写 真を見たり、旅行語(1)を(2)した。(3)	1表記 発音 2N 3並 V *0/ータリ
2135	アメリカ 1 聴解要約 5	暑(1)かった からヤンさんは むぎ(2)に おかわりしました。(3)	1表記 発音 2N 3格 * ニ/ーヲ
2136	アメリカ 1 自由作文 6	利用(1)法も大都市に人口は集中し、交通渋滞、悪どいし、 大気(2)のよごれやもわるく(3)なって(4)ということ(5)が起(6)こ(7)っ てきたのである。	1N 2取立 *ハ/ーガ 3格 *0/ーガ 4A 6* テ形 7名詞節 5並N *ヤも/ー0も
2137	アメリカ 1 自由作文 8	まず、南米と日本を(1)くれべると南米の方が(2)国鉄(3)道と バス線(4)はまだ発達中だが人口集中(5)こと大へんである。	1発音 2*のホウガ 3,4N 5名詞節 表現
2138	アメリカ 1 パターン作文 10	そのこどもはおとなに(1)なる(2)とき自分で自分の(3)好き(4)きら い(5)ことを(6)決(7)ま(8)れ(9)ら(10)れ(11)ま(12)せ(13)ん。	3活用 V 1*ル/ータ 2品詞 *A/ーN
2139	アメリカ 1 パターン作文 11	ですから仕事と遊び(1)意味(2)はわかいときから自分で(3)使 な(4)ければなりません。	1ノ連 3V 2N
2140	アメリカ 2 自由作文 10	始めて(1)日本語を話してみたら(2)間違(3)うと軽蔑されるが黙 って(4)も軽蔑されてしまう(5)という(6)のは例(7)外(8)ではありませ(9)ん。	1Ad 2接 条件 *タラ/ ートキ 3N
2141	アメリカ 4 自由作文 1	弁護士の商売について(1)事(2)を(3)し(4)ま(5)す。	N
2142	インドネシア 1 自由作文 3	仕事時間は7時半から14時まで(1)け(2)れ(3)ど(4)も10時半に20分 休(5)み(6)し(7)な(8)が(9)ら(10)お茶(11)を(12)の(13)み(14)ま(15)す。	1ダ 2品詞 *N/ーV 3接 ーテ形
2143	インドネシア 1 自由作文 4	お茶を(1)する(2)ため(3)にとくべつ(4)の(5)人(6)が(7)し(8)て(9)い(10)ま(11)す。	1N 2V
2144	インドネシア 2 聴解要約 9	まず(1)ぶ(2)っ(3)か(4)が(5)四(6)方(7)円(8)で(9)ち(10)よ(11)っ(12)と(13)高(14)い(15)と(16)言(17)っ(18)た(19)か(20)ら、 てんいんはぶ(21)っ(22)か(23)を(24)ふ(25)え(26)て(27)四(28)方(29)二(30)千(31)円(32)さ(33)い(34)ご(35)四(36)方(37)円(38)に な(39)り(40)ま(41)し(42)た。	2表記 3条件 4V 5Ad 副用 1N
2145	インドネシア 2 パターン作文 2	日本の人口とインドネシアの人口とをくらべると、イン ドネシアの人口(1)の(2)数(3)の(4)ほ(5)う(6)が(7)多(8)き(9)い(10)で(11)す。	1N 2A
2146	インドネシア 2 パターン作文 4	なぜ(1)か(2)、たぶんそれはインドネシアの国のほう(3)が(4)多(5)き(6)い(7) で、人口(8)も(9)い(10)ろ(11)ろ(12)う(13)で(14)あ(15)り、日本の人口(16)が(17)一(18)つ(19)だ(20)け 日本人(21)だから(22)インドネシアの人口(23)の(24)ほ(25)う(26)が(27)日本(28)の(29)人口(30)よ う(31)り(32)多(33)き(34)い(35)だ(36)と(37)お(38)思(39)い(40)ま(41)す。	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形/ーガ 5取立 *ガ/ーハ 6数 8品詞 *NA/ーA 7発音
2147	インドネシア 2 パターン作文 7	それから(1)値(2)段(3)は(4)東京(5)の(6)ほう(7)が(8)高(9)い(10)で(11)す。	N
2148	インドネシア 3 自由作文 5	テ(1)ョ(2)プ(3)は(4)ち(5)い(6)さい(7)の(8)ま(9)ち(10)で(11)す(12)か(13)ら(14)人(15)び(16)と(17)が(18)こ(19)ん(20)で(21)い(22)る な(23)い(24)で(25)す。	3体修 否定 活用(V) 1表記 N 2*/ノ連
2149	インドネシア 3 自由作文 8	たぶん(1)あ(2)の(3)も(4)り(5)い(6)る(7)こ(8)と(9)で(10)す(11)か(12)ら、私(13)は(14)学院(15)と(16)き も(17)り(18)学(19)で(20)べ(21)と(22)き(23)よう(24)し(25)ま(26)し(27)た。	1Ad 副用 2格 *0/ー ニ 3ムード 5N 6表 記 4ーノ連
2150	インドネシア 3 パターン作文 5	これ(1)に(2)対(3)して(4)こ(5)の(6)も(7)り(8)は(9)あ(10)ま(11)り(12)す(13)く(14)な(15)い(16)で(17)す(18)か(19)ら(20)イン ドネシア(21)の(22)さい(23)ふ(24)の(25)アイ(26)デア(27)と(28)い(29)う(30)こ(31)と(32)で(33)す。	1コソア 2A 3N 4表 記

2151	タイ 3 パターン作文 2	タイの仕事はいろいろ <u>の</u> 仕事があります。	品詞(*N /-NA)
2152	タイ 4 自由作文 4	その一ヶ月半の間にアセアン <u>来たから</u> ⁽¹⁾ の青年たちと日本の青年たちと一緒にいろいろな経験を交換したり現代の青年の <u>働き</u> ⁽²⁾ について議論したりしました。	1語順 2N
2153	タイ 4 自由作文 7	ですから、 <u>日本語力</u> のために日本に日本語を勉強しに来ました。	複N
2154	タイ 4 自由作文 9	日・タイ関係を深めるための仕事は私の <u>意志</u> なのです。	N
2155	タイ 5 パターン作文 12	そのあとでみなさんはいっしょに <u>整理</u> しました。	N
2156	香港 2 自由作文 7	ところで、僕は来週に日本史のテストがあるので、今復習したいんですけど、 <u>都合</u> で、例の本を返してほしいんです。	N
2157	香港 4 自由作文 9	来年二月、地域研究の修士 <u>入学試</u> を受けるつもりです。	N
2158	香港 4 自由作文 10	<u>専攻中心</u> については、古典文を知らなければ、ならないから、 <u>特な</u> ⁽¹⁾ <u>古文</u> ⁽²⁾ コースをさがして勉強したいです。	1複N 2NA
2159	香港 6 自由作文 2	昭和三十年（ <u>公元</u> ⁽¹⁾ 一九五五年）以降、日本全国的に <u>展</u> ⁽²⁾ <u>開された</u> <u>都市化現象</u> は、人口移動という視点からみた場合1、郡部から市部へ2、周辺から中央へという二つの基調をもっていた。	1N 2受身
2160	香港 6 自由作文 5	<u>首</u> ⁽¹⁾ の <u>特点</u> ⁽²⁾ は、 <u>第二次大戦以降</u> ⁽³⁾ にみられた、一方における急成長都市の出現と他方における衰退都市の簇生、すなわち、都市成長格差の拡大である。	1,2N 3体修
2161	香港 6 自由作文 8	この都市システムの <u>転換</u> ⁽¹⁾ について、日本の都市の <u>順位</u> ⁽²⁾ <u>規模曲線</u> は明治初頭が <u>明治後期</u> ⁽³⁾ へと <u>転換</u> ⁽⁴⁾ して以降、きわめて安定した形をとってきた。	1取立 *ニツイテ/ハ 2複N 3格 *ガ/カラ 4-ニカケテ
2162	香港 6 自由作文 13	日本の都市化は、いわばこの村から町への人口移動その結果としての町のエクメーネの相対的拡大並びに <u>一</u> から都への人口移動その結果としての都のエクメーネの相対的拡大として理解できよう。	N
2163	香港 7 自由作文 5	日本 <u>前代</u> ⁽¹⁾ の文学は、けつきよく、月、雪、花 <u>き</u> ⁽²⁾ わまると思います。	1N 2格 *0 /-ニ
2164	香港 7 自由作文 10	<u>それ</u> ⁽¹⁾ には当代の日本人を導いてくれる <u>約</u> ⁽²⁾ があった。	1,2N
2165	香港 7 自由作文 11	日本 <u>近代</u> ⁽¹⁾ <u>文学家</u> ⁽²⁾ <u>には</u> ⁽³⁾ 、夏目漱石 <u>は</u> ⁽⁴⁾ いちばん立派なようです。	1-ノ連 2N 3格 *ニ /-デ 4取立 *ハ/ーガ
2166	香港 7 自由作文 19	この作者特有の <u>滑稽的手法</u> ⁽¹⁾ によるものであって、彼が世間から余裕派などと評せられた <u>所以</u> ⁽²⁾ である。	1複N 2発音

第3章 語彙論

2167	香港 7 自由作文 22	つまり、彼らは自分の立場や心をはっきり <u>言わなくて</u> 、 相手が自分の考えを察してくれ ⁽¹⁾ ることを期待 ⁽²⁾ する。	1N 2テ形
2168	香港 7 自由作文 31	晩年になるにつれて、漱石は一段と現実を直視する方向 に進み、「彼岸過迄」「行人」「ころ」「道草」と、 <u>一作は一作より内へ内へと深く掘り下げられていった</u> 。 ^(1,2)	1N 2副用
2169	香港 7 自由作文 34	西洋人はこうした <u>行動</u> がめったにない。	N
2170	香港 7 自由作文 36	彼らは自分の理論と <u>愛悪</u> を直接に言い出す。	N
2171	香港 7 自由作文 46	これらの <u>共同動作</u> の世界に、明確に意志を伝達する言葉 は、ヨーロッパ人の狩猟の生活のほど大切ではなかった。 ⁽¹⁾	1複N 2*/ノ連
2172	香港 7 自由作文 58	そのように <u>かれはふうと</u> によってじこをりょうかいす る。 ^{(1) (2)}	1N 2発音
2173	香港 7 自由作文 60	たとえばにんげん ⁽¹⁾ のい、しょく、じゅうあるいは <u>しょう</u> とする <u>どうぐう</u> は、かれのすむとちの <u>ふうと</u> に <u>てきお</u> <u>おしてとくしゅ</u> にはったつした。 ^{(2) (3) (4) (5) (6)}	1品詞 *N/-V 2,3, 発音 4表記 5NA 副 用
2174	香港 7 自由作文 66	<u>もくばちいき</u> に、しぜんはにんげんにたいしてじゅうぶ んであったから、にんげんの性格はごうりてきである。	N
2175	香港 9 短文作文 5	ごはお客さま <u>いえへきて</u> 、はははわざわざ <u>おちそう</u> <u>をつくて</u> 。 ^{(1) (2) (3)}	1格 *O/-ガ 2N 3 活用 *テ形/-タ
2176	香港 10 短文作文 4	日本の社会と言うのは最近 <u>研究の学者</u> が多い。	N
2177	香港 10 短文作文 6	映画と言えば <u>主角</u> の選ばれるのは大事だ。	N
2178	香港 14 短文作文 8	一般的に言って、日本人はしんせつな <u>人たち</u> です。	N
2179	香港 15 短文作文 2	京都や津和野はいい <u>見どころ</u> です。	N
2180	香港 15 短文作文 4	彼は一生懸命 <u>社会</u> のために働いて、まるで会社の番犬で す。	N
2181	香港 15 短文作文 5	友達にこの書を <u>くれ</u> ました、この本を読むことを <u>推薦</u> <u>だ</u> ですから。 ⁽¹⁾	1受給 2品詞 *N/- V
2182	香港 15 短文作文 14	かれらの実の <u>要求</u> はしりません。	N
2183	香港 16 短文作文 5	友達は私にこの <u>書</u> をかしくてく ⁽¹⁾ れて、 <u>読む</u> ほうがいと 言う。 ⁽²⁾	1N 2*/ル/-タ
2184	香港 16 短文作文 11	おおきい家と <u>いって</u> 、私は小さいとき、よくある <u>親族</u> の家へ遊びに <u>いき</u> 、この家はおもしろかったです。 ^{(1) (2) (3)}	1表現 2N 3接 *ル/ -タ *連用形/-ガ
2185	香港 16 短文作文 12	私達は <u>いっしょう</u> にこの問題を考えてみれば、 <u>決解</u> の 方法があるかもしれない。 ^{(1) (2) (3)}	2発音 3N 1取立 *ハ /-ガ
2186	香港 16 短文作文 13	<u>櫻花</u> を <u>みていき</u> たく <u>な</u> って <u>な</u> かった <u>です</u> が、私はた いへん <u>忙</u> しがった <u>です</u> 。 ^{(1) (2) (3) (4) (5)}	4発音 3,4-のだ 1複 N 2VP 4接

2187	香港 17 短文作文 2	私は彼についてのおかしい <u>デマ</u> を <u>聞いてみ</u> なかった。 (1) (2)	1N 2複V
2188	香港 17 短文作文 4	彼は日本へ留学したから、日本語は非常に上手になって、 まるで <u>地元</u> の日本人です。 (1) (2)	2N 1取立 *ハ/ーガ
2189	香港 17 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も <u>スペン</u> 語 もでき、 <u>ですから</u> 心配しないで、 <u>外国旅行</u> <u>できる</u> 。 (1) (2) (3) (4)	2スタイル 4格 *0/ ーガ 3品詞 *V /- N 1発音 表記
2190	香港 17 短文作文 19	この <u>見</u> を見ると、日本人の平均寿命が年々 <u>ふえて</u> いる ことがわかる。	1N 2V
2191	香港 17 短文作文 20	このクラス <u>に</u> 、成績がいちばんよい人は田中さんです。 彼の右に出る <u>は</u> ないでしょう。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2-N
2192	香港 18 短文作文 8	この大学は小さいけど、見きれないほど <u>地方</u> がある。	N
2193	香港 18 短文作文 12	考えてみれば、子供の時は <u>最</u> も <u>楽</u> しかった <u>好</u> だ <u>日</u> 子 だ。 (1) (2) (3) (4)	1表記 2並V *タ/ー テ形 3NA 4N
2194	香港 19 自由作文 8	実に、根強く建立 <u>して</u> しまった <u>もの</u> を推倒するの <u>が</u> <u>人</u> <u>気</u> がないと思われる。 (1) (2) (3)	1V 2取立 *ガ/ーハ 3N
2195	香港 19 自由作文 10	まず、 <u>訓読み</u> を <u>持</u> っている <u>本</u> あるいは <u>印刷品</u> <u>が</u> <u>修正</u> し なければならない。 (1) (2) (3)	1V 2複N 3格 *ガ/ ーヲ
2196	香港 19 自由作文 25	そこで、ウチの者の <u>共同語</u> は区別するための名称を作る 必要もないとかがえられる。	N
2197	香港 19 短文作文 16	技術という面では、若い <u>選</u> 失 <u>に</u> 負けないが、体力につい て <u>限</u> り、全盛期を過ぎてしまったようである。 (1) (2)	1N 2熟語
2198	香港 20 自由作文 1	日本語はテレビ型の <u>語</u> 言 <u>と</u> 言う <u>何</u> 故 <u>そ</u> う <u>と</u> <u>評</u> して いるか。 (1) (2) (3) (4)	1N 2接 *0/ーガ 2 コソア 副用 3受身
2199	香港 20 自由作文 4	ある言葉を見ると発音が <u>わ</u> かないでも <u>その</u> 漢字の型で意 味を <u>推</u> 想 <u>す</u> ることができる。 (1) (2)	1活用(A) 2N
2200	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間 <u>交</u> 化 <u>交</u> 流 <u>が</u> <u>絶</u> え <u>ず</u> <u>に</u> <u>行</u> われ <u>て</u> <u>た</u> め <u>に</u> 、イギリス人 <u>は</u> <u>自</u> 分の <u>言</u> 語 <u>を</u> <u>Eng</u> lish <u>の</u> ほう <u>N</u> ational <u>L</u> anguage <u>よ</u> り <u>と</u> <u>言</u> う <u>の</u> は、日本人の、閉 塞性と <u>極</u> 端的な <u>対</u> 照 <u>だ</u> ろう。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 ーデ N 発音 2副 用 3活用 5語順 4取 立 *ハ/ーガ 6NA 品 詞
2201	香港 21 短文作文 13	さくらを見に <u>いた</u> く <u>な</u> い <u>こ</u> と <u>は</u> <u>な</u> い。私は忙しい <u>が</u> <u>わ</u> け <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1活用 3名詞節 2ムー ド 4N
2202	香港 22 短文作文 8	この地方は伝統芸術で有名で、 <u>一</u> 日 <u>中</u> <u>見</u> きれない <u>事</u> <u>が</u> あります。 (1) (2)	2N 1Ad 副用
2203	香港 22 短文作文 9	ひらがなとカタカナと <u>の</u> <u>共</u> 通点 <u>が</u> あって、 <u>源</u> 来 <u>は</u> 漢字 である。 (1) (2)	2N 1取立 *ノ連/ー ハ
2204	香港 22 短文作文 12	考えてみれば、友達にはたいへんお世話 <u>に</u> なって、この いい <u>住</u> み <u>所</u> <u>を</u> さがす <u>こ</u> と <u>を</u> <u>手</u> 伝 <u>い</u> ました。 (1) (2) (3)	2N 3やりもらい 1接 *テ形
2205	香港 23 自由作文 8	日本の自分の <u>語</u> 言 <u>特</u> 色 <u>は</u> <u>全</u> 然 <u>消</u> 失 <u>す</u> る <u>。</u> (1) (2) (3)	1N 2Ad 副用 3ムー ド

第3章 語彙論

2206	香港 23 自由作文 11	例えば、ある人は「東名高速 <u>公路</u> 」という漢字を <u>見る</u> ⁽¹⁾ <u>と</u> 、もし彼は「名」は「名古屋」つまり「ナゴヤ」の「名」である <u>こと</u> ⁽²⁾ <u>を知っていない</u> ⁽³⁾ 、彼はこれは地名がわからない。	1N 4接 条件 3取立 * ハ/ーガ 2接 *ト/ー テ形
2207	香港 23 自由作文 14	日本人は一般に自国の <u>語言</u> を「国語」と言う。	N
2208	香港 23 自由作文 20	自国の <u>語言</u> ⁽¹⁾ <u>は</u> 「国語」とよぶのは <u>自然</u> ⁽²⁾ <u>の事</u> ⁽³⁾ である。	1N 2格 取立 *ハ/ー ヲ 3品詞(*N/ー NA)
2209	香港 23 自由作文 28	自国の文化の輸出に対する <u>積極</u> ではない。	品詞(*N/ーNA)
2210	香港 23 自由作文 29	さらに、日本人は自国の文化に <u>忠実</u> <u>の</u> 感じがする。	品詞 *N/ーNA
2211	香港 23 自由作文 30	そして、日本人は自国の <u>語言</u> を日本語と呼ぶよりも、むしろ「国語」と呼ぶ。	N
2212	香港 23 短文作文 8	証拠がたくさんあるから、彼女 <u>は</u> <u>罪人</u> ⁽¹⁾ <u>と</u> <u>考え</u> ⁽²⁾ <u>ないこと</u> ⁽³⁾ <u>は</u> <u>はない</u> 。	3否定 1取立 *ハ/ー ガ 2N
2213	香港 23 短文作文 12	極端な <u>気温</u> ⁽¹⁾ <u>は</u> 彼岸まで <u>に</u> ⁽²⁾ <u>しかない</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>われ</u> <u>る</u> 。	2格 *ニ/ー O 1N
2214	香港 23 短文作文 15	<u>語言</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> <u>發展</u> ⁽²⁾ <u>は</u> <u>それなりに</u> <u>する</u> <u>ほう</u> <u>が</u> <u>いい</u> 。	1N 2副用
2215	香港 23 短文作文 16	技術について見ると、彼は若い <u>運動員</u> ⁽¹⁾ と同じですが、体力について見る <u>限</u> <u>て</u> 、彼は盛りをすぎました。	1N 2活用(V)
2216	香港 24 自由作文 18	そして島国の性格を持って、 <u>独立</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。	品詞(*N/ーV)
2217	香港 24 短文作文 12	金がなくて、 <u>同志</u> ⁽¹⁾ もなくて、いずれにせよ、いま旅行しよう <u>は</u> <u>だ</u> <u>め</u> <u>だ</u> 。	1N 2名詞節 ムード
2218	香港 24 短文作文 13	失ってみて、妻 <u>は</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>な</u> <u>役</u> <u>か</u> <u>が</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>る</u> 。	1取立 *ハ/ーガ 2N
2219	香港 24 短文作文 19	有名な大学を <u>出</u> <u>て</u> <u>ば</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>で</u> 、必ずしも <u>生</u> <u>活</u> <u>で</u> <u>出</u> <u>世</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1*テ形/ータ 2取立 * バカリ/ーダケ 3N
2220	香港 25 自由作文 4	第一 <u>一</u> ⁽¹⁾ 、訓は日本人 <u>自</u> <u>分</u> ⁽²⁾ <u>の</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>み</u> <u>方</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	1副用 格 *O/ーニ 2 N 3*ル/ータ
2221	香港 25 自由作文 5	この <u>音</u> ⁽¹⁾ <u>を</u> <u>捨</u> <u>て</u> <u>て</u> <u>音</u> <u>よ</u> <u>み</u> <u>だ</u> <u>け</u> <u>で</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>る</u> <u>は</u> <u>ず</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	1N 2V 3ムード
2222	香港 25 自由作文 11	これは日本人の強い <u>国民性</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	1N 2活用(ダ)
2223	香港 25 自由作文 16	昔は日本という <u>地</u> <u>方</u> ⁽¹⁾ <u>が</u> <u>外</u> <u>国</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>地</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>知</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>外</u> <u>国</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>地</u> <u>方</u> <u>へ</u> <u>訪</u> <u>れ</u> <u>た</u> 。	1N 2格 *ガ/ーヲ 4Ad 副用 3*ル/ータ
2224	香港 25 自由作文 17	この地方の人は自己の <u>語</u> <u>言</u> ⁽¹⁾ と世界中のほかの <u>語</u> <u>言</u> <u>が</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>違</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1N 2名詞節 3*ル/ー タ
2225	香港 25 自由作文 18	それで自分の <u>語</u> <u>言</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> <u>名</u> <u>が</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>呼</u> <u>ば</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	1N 2V

2226	香港 25 自由作文 19	あと、日本人は自分の <u>語言</u> は「国語」と呼ぶ。 (1) (2) (3)	1C 2N 3取立 *ハ/ ーヲ
2227	香港 25 自由作文 25	ほかの国に <u>自分の 語言</u> の名がある。 (1) (2)	1取立 に*0 /にーハ 2N
2228	香港 25 自由作文 28	それは日本人の強い国民性の <u>招き</u> である。	N
2229	香港 25 自由作文 29	国民性は協力と統一という気持ちと自分がほかの国より、 もっと優秀であるかと思われるかもしれない。	複N ーノ連 N
2230	香港 25 短文作文 1	春を <u>初め</u> として、 <u>一年中</u> の計画をつくる。 (1) (2)	2複N 1熟語
2231	香港 25 短文作文 13	技術 <u>によって</u> 彼はまだ <u>青年な 運動員</u> と負けない、とこ (1) (2) (3) ろが、体力について見る限り、一番高い成就を <u>過こす</u> よ (4) うである。	1格 *にヨッテ/ーに ツイテ 2品詞 *NA/ ーA NA 3N 4自他 *ル/ーヲ
2232	香港 26 自由作文 1	言語は人々の <u>社会中</u> で <u>交流</u> と <u>表現</u> の工具です。 (1) (2)	2ーノ連 1複N
2233	香港 26 自由作文 3	日本語は <u>深さの 文化</u> 、 <u>歴史の 根基</u> があります。 (1) (2)	1体修 2N
2234	香港 26 自由作文 6	漢字の訓読みの <u>廃止</u> すれば、 <u>混乱な 情況</u> をおこしまし (1) (2) (3) よう。	1品詞(N/ーV) 2表 記格 3*ヲ/ーガ
2235	香港 26 自由作文 11	日本は多くの島の <u>組合</u> です。	N
2236	香港 26 自由作文 12	<u>太平洋中</u> 、 <u>日本列島</u> <u>上</u> に日本人 <u>が生活</u> する。 (1) (2) (3) (4)	1複N 2ーノ連 3格 取立 *ガ/ーハ 4*ル/ ーテイル
2237	香港 26 自由作文 13	その地理的條件 <u>うえに</u> 、 <u>外国人と 交流機会</u> が少ない。 (1) (2)(3)	1接 *ウエ/ータメ 3 複N 2体修 ーノ連
2238	香港 26 自由作文 14	つまり、明治維新以前 <u>かなり 鎖国</u> です。 (1) (2)	1副用 Ad 2品詞 *NA/ーN
2239	香港 26 短文作文 4	<u>この多くの証拠</u> として、 <u>私たち</u> <u>彼女は 罪犯</u> を <u>考え</u> (1) (2) (3) (4) (5) なければならない。	4N 1表現 2取立 *0 /ーハ 3*ハ/ーガ 取 立
2240	香港 26 短文作文 5	<u>部分の 学校</u> は <u>男性学生</u> に <u>長く 髪</u> の毛を <u>禁止</u> する。 (1) (2) (3) (4)	2N 3A 1AN 4ーテ イル
2241	香港 26 短文作文 8	技術 <u>について</u> 彼は若い <u>運動員</u> <u>ような</u> 、 <u>力強</u> <u>につい</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6) <u>て彼の 高峯</u> は過ぎました。	2,5N 4接 1,6*にツイ テ 7*ノ/ーハ 3ノ連
2242	香港 26 短文作文 10	有名な大学 <u>卒業生</u> するしか、 <u>成功の保証</u> が <u>しません</u> 。 (1)(2) (3)	1格 *0/ーヲ 2N 3 V
2243	スリランカ 1 パターン作文 4	<u>ふた もいしょう</u> にタクシに <u>のて</u> 会社へ <u>いた</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3発音 N 2格 *モ/ ーハ 4,5活用
2244	スリランカ 1 パターン作文 6	<u>あの 女</u> は、 <u>ヤンさん</u> は <u>えきの前</u> <u>でんわ</u> したとき <u>あ</u> (1) (2) (3) (4) (5) <u>た人</u> です。	1コソア 5発音 2N 3 取立 *ハ/ーガ 4格 *0/ーデ
2245	スリランカ 1 パターン作文 8	<u>あの</u> <u>とき</u> また前あった <u>女</u> に <u>あつて</u> <u>びっくり</u> <u>した</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 3,4発音 Ad 2N
2246	スリランカ 1 パターン作文 9	<u>あの 女</u> は「 <u>私のこい人</u> に <u>たたら</u> <u>いい</u> ですね」と <u>かん</u> (1) (2) (3) (4) (5) <u>がえ</u> で <u>たのし</u> になりました。 (6)	1コソア 4発音 2N 3 取立 *ハ/ーガ 6品詞(*N/ーA) 5 V

第3章 語彙論

2247	フランス 1 自由作文 6	形式名詞という品しそのものの作用を解説しようと思うと <u>厳しい</u> 問題が出てくるかもしれないからその問題をとく ⁽¹⁾ <u>には</u> ⁽²⁾ <u>えらい</u> 言語学者について研究しなければなら ⁽³⁾ <u>ない</u> でしょう。	1A 2-N 3取立 *ハ /-0
2248	フランス 2 自由作文 12	にほんごをはなすのもたいせつだとおもいますから、にほんにきたいまのもくてきはにほんごを <u>かうく</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> ⁽²⁾ とよむ <u>のため</u> ⁽³⁾ <u>です</u> 。	1V 発音 2N *ノ /-コト 3*ノ連 4N *タメ /-コト
2249	フランス 2 自由作文 13	しかしにほんごははなす <u>の</u> ⁽¹⁾ だけではなく、 <u>よめる</u> ⁽²⁾ <u>の</u> ⁽³⁾ <u>べんきょう</u> もあります。	1N *ノ /-コト 2活用(V) 3-名詞節
2250	イラン 1 自由作文 15	日本の <u>校かず</u> のとイランの校のかずとをくらべると日本のほうが多い。	複N
2251	イラン 1 自由作文 16	イランでは <u>校</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> ⁽²⁾ <u>ふそく</u> である。	&表現 1N 2品詞 *N /-V VP
2252	イラン 1 自由作文 19	しかしいなかではまだまだ <u>校</u> ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>じゅぶん</u> ⁽³⁾ <u>なくて</u> <u>だいぶ</u> <u>ぶん</u> ⁽⁴⁾ のこどもは <u>よく</u> <u>教育</u> がうけけられない。	1N 2発音 4Ad 副用 5接 *テ形 /-ノデ
2253	イラン 1 パターン作文 4	イラン <u>入</u> ⁽¹⁾ もよく <u>ごはん</u> ⁽²⁾ を <u>たべて</u> ⁽³⁾ <u>います</u> が、イランの <u>米</u> ⁽⁴⁾ と日本の米の違いはつくりかたです。	1表記 2発音 3*テイ ル /-ル 4N
2254	マレーシア 1 自由作文 4	にほんごのじは <u>かきかた</u> <u>が</u> <u>みつ</u> <u>つ</u> あります。	N
2255	マレーシア 1 自由作文 8	しかし、なかなか <u>もの</u> <u>が</u> <u>たり</u> <u>の</u> <u>ない</u> ようはわかりません。	N
2256	マレーシア 2 自由作文 15	私は学こうでたくさん <u>もの</u> ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>なら</u> <u>い</u> ます。	1-ノ連 2N *モノ /-コト 3格 *ガ /-ヲ
2257	マレーシア 3 自由作文 5	それから、かわいそうな <u>もの</u> ⁽¹⁾ をよく助けてあげる、 <u>平</u> ⁽²⁾ <u>和</u> にする。	1N 2VP
2258	マレーシア 3 自由作文 6	<u>きらい</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> はやっぱり乱暴で <u>悪い</u> ⁽²⁾ <u>もの</u> <u>だ</u> 。	1活用 *NA 2N
2259	マレーシア 4 自由作文 10	そして、 <u>狩物</u> をおもちゃにし、ひとり言をいいながら、遊んでいます。	N
2260	マレーシア 4 自由作文 11	<u>次</u> ⁽¹⁾ <u>ぐ</u> 、子供やおびめ様などを殺して、海岸へ持って行って、海水で洗ってから <u>あお</u> ⁽²⁾ <u>の</u> <u>ま</u> <u>ま</u> 食べます。	1表記 2N
2261	マレーシア 4 自由作文 13	<u>人</u> ⁽¹⁾ <u>たち</u> は、どうしても、そのこわい <u>オー</u> <u>オー</u> を <u>殺</u> ⁽²⁾ <u>した</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1N 2VP
2262	マレーシア 4 自由作文 16	だから、だれでも、近くに <u>きて</u> ⁽¹⁾ 、すぐ出す <u>水</u> ⁽²⁾ を利用して、人々を焼いてしまいました。	1V 2N
2263	マレーシア 5 自由作文 1	子供のころの一番なつかしいことには、なんと <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>も</u> 、 <u>小</u> ⁽¹⁾ <u>学</u> <u>の</u> <u>修</u> <u>学</u> <u>旅</u> <u>行</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1格 *ニは /-0 は 2 N 3*ノ /-コト
2264	マレーシア 5 自由作文 20	農民は親切に <u>狩</u> <u>り</u> <u>方</u> <u>法</u> を教えてくれました。	品詞 *N /-V
2265	マレーシア 6 自由作文 6	月へ行っても、ほかの <u>星</u> <u>球</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>を</u> <u>知</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	N

2266	マレーシア 8 自由作文 20	先生から <u>各種</u> スポーツのやりかたを <u>習</u> って もらいま す。 (1) (2)	1品詞 *NA/-N 2V
2267	マレーシア 9 自由作文 1	このごろ、世界の中の経済が <u>不隠定</u> とだれでもよく <u>わ</u> <u>か</u> ります。 (1) (2)	1品詞 *N/-NA 2V
2268	マレーシア 9 自由作文 3	この問題が <u>いろいろ</u> <u>関係</u> がある、例えば、人々の <u>自私</u> の心、 <u>国と国</u> の貿易戦争など、これらのために、 <u>世界</u> の経済がむかしよりわるくなってき <u>ま</u> す。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ガ/-ハ 2品 詞 *Ad/-NA 3,4N 5接 *O/-デ 6*O/ -テイル
2269	マレーシア 9 自由作文 4	もし、私は <u>国聯</u> の <u>国際経済学家</u> だったら、 <u>その時</u> 、 各国の経済学者と一緒に会議をして、 <u>種種</u> の原因を <u>さか</u> <u>し</u> て、研究したあとで、いろいろな解決方法を使って、 いつか世界の経済を <u>平隠</u> しましょう。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ハ/-ガ 2N 3複 N 4C 5発音表 記 6V(活用)
2270	マレーシア 9 自由作文 5	<u>外</u> のは、 <u>国聯</u> の権力を使用して、必要な物の <u>価値</u> が 一つずつ <u>実行</u> するだけでなく、生産も <u>固定</u> します。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1副用 Ad 2N 3N 4 格 *ガ/-ヲ 5V 6V
2271	マレーシア 9 自由作文 6	しかし、この <u>地球中</u> の国々の政治家が <u>だれ</u> でも自分の 利益が一番大切だと思っていますから、 <u>短期</u> の間に、 <u>非</u> <u>常</u> 困難にこの世界の経済の状況を <u>まわ</u> します。 (1) (2) (3) (4)	1複 N 2取立 *ガ/- ハ 3表現 4V
2272	マレーシア 11 自由作文 2	人々は毎日天気予報を聞いたあとで、何 <u>か</u> する <u>つもり</u> <u>か</u> 、決められる。 (1) (2)	1格 *カ/-ヲ 2N
2273	マレーシア 11 自由作文 7	<u>安心</u> で <u>仕事</u> する。 (1) (2)	1品詞 *V/-N 2V
2274	マレーシア 11 自由作文 9	もう一つは <u>あす</u> の天気予報、これは、 <u>さき</u> の方より、 よく <u>役に立ち</u> だ。 (1) (2) (3) (4)	1,2N 3熟語 品詞 4* ダ
2275	マレーシア 11 自由作文 11	<u>教課書</u> によって、昔の人々はいろいろな方法をする、そ して、 <u>あす</u> の天気を予知ができる、うえに、天気予報の 重要性がわかる。 (1) (2) (3) (4)	1表記 2格 *にヨッテ /-にヨルト 3N
2276	マレーシア 11 自由作文 12	このごろ、 <u>人造衛星</u> を <u>つか</u> って、 <u>それ</u> では <u>天気予報</u> がよくできる。 (1) (2) (3)	1複 N 2接 *テ形/- ノデ 3C
2277	マレーシア 11 自由作文 13	気象庁に <u>ある</u> 人の <u>類推</u> の <u>結果</u> も大切 <u>なんだ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1V 2,3N 4スタイル
2278	マレーシア 13 自由作文 1	もしわたしが高校の校長だったら、いろいろなふるい <u>校</u> <u>規</u> を <u>変</u> りたいです。 (1) (2)	1N 2自他
2279	マレーシア 13 自由作文 2	高校の時、様々な <u>校規</u> は不満を持っている、例えば、 <u>女の学生</u> の髪が長くてはいけないし <u>パー</u> ムする <u>も</u> だ めなのです。 (1) (2) (3) (4) (5)	1N 2*ル/-タ 3複 N 4V 5-名詞節
2280	マレーシア 13 自由作文 4	先生たちの中に、 <u>感情</u> が親しまないし、学生たちは <u>外</u> に <u>えある</u> い行為をしている <u>も</u> あり、 <u>授業</u> や宿題 が多くて難しいので、時々、 <u>反効果</u> の事件もありました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	2取立 *O/-ハ 3表 現 4格 *ニ/-デ 7- 名詞節 -コト 6A 8 C 9複 N
2281	マレーシア 13 自由作文 7	まず、 <u>女の学生</u> の髪が <u>自由</u> に <u>やり</u> ます、 <u>せめて</u> 、清 潔に <u>する</u> がっていました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1複 N 2格 *ガ/-ヲ 3V 4Ad 5複 V

第3章 語彙論

2282	マレーシア 13 会話作文 2	つまり、私が日本に来たのは、私 <u>自分</u> で <u>ほんとに</u> この <u>国</u> が <u>来たい</u> のが <u>必要</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1N 2発音 3格 *ガ/ 一へ 4複 V
2283	マレーシア 14 自由作文 4	<u>我々</u> の <u>天気</u> は <u>変わりやすい</u> 。	N
2284	マレーシア 15 自由作文 5	一種 <u>祝う</u> <u>盛節大会</u> <u>こと</u> と <u>あり</u> ました。 (1) (2) (3) (4)	1一ノ連 2体言 3複 N 4複 V
2285	マレーシア 16 自由作文 2	もしわたしがマレーシアの首相だったら、国の <u>国務</u> が、 <u>たくさん</u> <u>改革</u> すると <u>おも</u> います。 (1) (2)	1N 2格 *ガ/一ヲ
2286	マレーシア 16 自由作文 7	その政策 <u>は</u> 、 <u>マレ人</u> に <u>優待</u> を <u>し</u> ます、例えば、会社 <u>を</u> つくる時、 <u>四十四</u> パーセントの <u>股権</u> <u>は</u> 、 <u>マレ人</u> に、 <u>あげ</u> なければなりません。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1格 *0 は/一デは 5 N 2,6表記 3格 *ニ/ 一ヲ 4VP 7V
2287	マレーシア 16 自由作文 8	だから、マレーシアの <u>華僑</u> と <u>印度族</u> <u>は</u> 、 <u>こま</u> ります。	N
2288	マレーシア 16 自由作文 11	この政策 <u>の</u> <u>内容</u> <u>は</u> 、 <u>原族公民</u> <u>は</u> 、 <u>特別</u> の <u>優待</u> <u>が</u> 、 <u>あ</u> ります。 (1) (2) (3)	2格 *0 は/一ニは 3 N
2289	マレーシア 16 自由作文 15	<u>そう</u> すると、 <u>先生</u> は <u>みな</u> <u>親切</u> しています。 (1) (2)	1C 2品詞 *N/一NA
2290	マレーシア 17 自由作文 19	だから、 <u>庶民</u> の <u>生活</u> <u>は</u> 、 <u>共和</u> 、 <u>進歩</u> <u>に</u> なります。 (1) (2) (3) (4)	2N 4VP ムード 1C *ダカラ/一ソウス レバ 3品詞 *N/一V
2291	マレーシア 18 自由作文 3	マレーシアで <u>お医者さん</u> は一番金持ちだと思う、私 <u>立</u> の <u>医院</u> が <u>たくさん</u> ある、 <u>しりょう代</u> が <u>高</u> いだ。 (1) (2) (3)	2N 発音 3品詞 *NA/一A グ 1取立 で*0/一ハ
2292	マレーシア 18 自由作文 14	<u>国民健康保険</u> と <u>国立病院</u> <u>を</u> 提案する。 (1) (2)	1,2 N
2293	マレーシア 18 自由作文 17	そうすれば、 <u>貧民</u> が <u>よく</u> <u>医療</u> に <u>い</u> く <u>の</u> が <u>でき</u> る。 (1) (2)	1N 2名詞節 *ノ/一 コト 表現 熟語
2294	マレーシア 18 自由作文 19	そして、新しい <u>医療方法</u> <u>を</u> 使い、 <u>看護婦</u> の <u>態度</u> <u>が</u> <u>ぜ</u> ひ <u>良</u> く <u>変</u> える。 (1) (2) (3) (4)	1N 3Ad 副用 4VP 自他 2格 *ガ/一ヲ
2295	マレーシア 18 自由作文 22	<u>小学校</u> <u>一年級生</u> <u>で</u> <u>英語</u> <u>を</u> 勉強します。 (1) (2)	1N 2格 *デ/一カラ
2296	マレーシア 18 自由作文 23	<u>国語</u> と <u>英語</u> と <u>華語</u> の <u>授業時間</u> は <u>同じ</u> <u>期限</u> <u>は</u> <u>ず</u> です。 (1) (2)	1N 2ノ連 表現 ムー ド
2297	マレーシア 19 自由作文 5	だから、いつか <u>医者さん</u> <u>に</u> なりたい <u>で</u> あります。 (1) (2)	1複 N 2のだ
2298	マレーシア 19 自由作文 6	もしわたしが <u>医者さん</u> <u>に</u> なったら、やはり私は <u>なん</u> とか <u>か</u> して <u>患人</u> の <u>さまざま</u> な <u>病気</u> <u>を</u> <u>治</u> りたいもの <u>か</u> と <u>考</u> えています。 (1) (2) (3) (4)	1複 N 2N 3自他 4一 疑問節
2299	マレーシア 19 自由作文 7	<u>貧困</u> な <u>病人</u> <u>は</u> 、 <u>薬費</u> <u>を</u> 払わくでも <u>いい</u> です。 (1) (2)	1NA 2N
2300	マレーシア 19 自由作文 8	平日は、 <u>都市</u> にある <u>自分</u> の <u>診療所</u> に <u>い</u> ますが <u>日曜日</u> <u>なら</u> 、 <u>い</u> なかへ <u>行</u> って、 <u>そこ</u> <u>庶民</u> に <u>服</u> 務 <u>を</u> <u>す</u> るつもりです。 (1) (2) (3)	1取立 *ナラ/一ハ 2 格 *0/一デ 3 N
2301	マレーシア 20 自由作文 18	<u>と</u> ころで、ある <u>曜日</u> 、 <u>池袋</u> へ <u>買</u> 物に <u>い</u> った。	N

2302	マレーシア 20 自由作文 19	独りでやすい商店に入った、サンシャイン六十にある展望台へ行って、 <u>全</u> 東京の景色を見て、とてもきれいな景色 <u>、</u> 残念ながら、雨が降りそうな天気 <u>から</u> 、富士山が全然見えない。	1N 2-ダ 接 3-ダ
2303	マレーシア 21 自由作文 1	夏休みは、私にとって何よりの <u>楽しみ</u> の <u>時刻</u> 。	N
2304	マレーシア 21 自由作文 8	<u>なぜなら</u> 野球が好きと巨人の <u>支持者</u> だから。	1発音 2N
2305	マレーシア 21 自由作文 10	<u>第三週間</u> の水曜日に先生と別科生みな一緒に東京の本屋 <u>本</u> をさがしに行きました。	1N 2格 *0 /-へ
2306	マレーシア 21 自由作文 16	いろいろな日本料理、てんぷらとたくさんわからない料理があった、 <u>あお</u> の日本人みんな親切に日本と国の <u>こと</u> の話をした。	1N 2副用 活用 3*コト
2307	マレーシア 22 自由作文 4	ある時 <u>、</u> 気温が三十六度の <u>ところ</u> もありました。	1取立 *0 /-ハ 2N
2308	マレーシア 22 自由作文 8	東上線の沿線情報誌によるとある会社は <u>男性</u> が急募 <u>だ</u> そうでした。	1取立 *ハ /-ガ 2格 *ガ /-ヲ 3品詞 *NA /-N 4ムード
2309	マレーシア 22 自由作文 10	そんなに <u>優れ</u> い <u>の</u> 待遇のアルバイトを <u>みて</u> 、 <u>どう</u> やっても、探してみるつもりでした。	1N 2接 *テ形 /-ノ デ 3副用 接 *0 も /-デ も
2310	マレーシア 22 自由作文 20	今度の経験は <u>勇気</u> が <u>ない</u> し、日本語では <u>はっきり</u> 本意を説明 <u>できない</u> ためでしょう。	1*ル /-タ 2N 3*ル /-タ
2311	マレーシア 22 自由作文 21	今度の <u>経験中</u> に、私の日本語は <u>どんな</u> に <u>経た</u> な <u>ほど</u> とわかりました。	1複 N 2格 *ニ /-デ 3取立 *ハ /-ガ 4不定 5表記 6名詞節
2312	マレーシア 23 自由作文 7	だから、部屋で <u>夜分</u> でも、おそくまでなかなか寝られませんでした。	N
2313	マレーシア 23 自由作文 15	私は、 <u>理科書</u> を三冊ばかり買いました。	N
2314	マレーシア 23 自由作文 16	その後、私たちは、 <u>河川</u> へ行って、船に乗りました。	N
2315	マレーシア 23 自由作文 22	私の仕事は、主としてベルトコンベヤーで流れてきた品物を取って、 <u>らく</u> におきました。	1N 2*タ /-ル
2316	マレーシア 23 自由作文 27	連休期間のある日、みんなそろって坂戸にある河川で <u>焼き会合</u> を <u>行</u> っていま。	1複 N 2*テイル /-タ
2317	マレーシア 24 自由作文 5	<u>夜</u> の時 <u>も</u> 、テレビを見たり、ラジオを <u>き</u> たりしました。	1N 2格 *モ /-ハ 3活用
2318	マレーシア 24 自由作文 8	私の国、マレーシアは、熱帯にある国ですから、一年の平均気温は <u>三十度位</u> 、日本より、高いですが、日本の <u>夏</u> の時 <u>、</u> 温度は、マレーシアより、低いから、暑さは、日本 <u>ほど</u> 、もっと高いでしょう。	1ダ 2N 3取立 *0 /-ハ 4格 *ハ /-ガ 5*ホウガ

第3章 語彙論

2319	マレーシア 24 自由作文 16	もし、来年 ⁽¹⁾ は、日本の大学に ⁽²⁾ はいれば、夏休みの時、 国へ帰えらなかつたら、北海道へ、 ⁽³⁾ 光観に行こうと思 います。	1取立 *ハ/-0 2可 能条件+バ/-連用 3N
2320	マレーシア 25 自由作文 15	帰る前に、私たちは、明治神宮へ、明治天皇を <u>お祭り</u> しに、いきました。	N
2321	マレーシア 25 自由作文 17	そこは、 <u>お祭り</u> ⁽¹⁾ した ⁽²⁾ 人たちが多く、私私のような外国 人も <u>多い</u> ⁽³⁾ でした。	1N 2*タ/-ル 3*ル/ -タ
2322	マレーシア 25 自由作文 18	日光が強くて、暑い <u>うち</u> ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ 、一日中歩いたので、大変 疲れました。	1N 2格ニ/-ヲ
2323	マレーシア 26 自由作文 3	私の国、マレーシアも暑い国で、 <u>一年中</u> 平均気温は、日 本よりずっと高いのですが暑さは、日本ほどではありま せん。	複N ノ連
2324	マレーシア 26 自由作文 14	そして車が走らない道では髪や服 <u>を</u> ⁽¹⁾ 変な ⁽²⁾ 若い物 が踊り を踊っています。	1ノ連 2N
2325	マレーシア 27 自由作文 2	この間、 <u>いろいろ</u> のわけで、国へ帰らなかつた。	品詞 *N/-NA
2326	マレーシア 27 自由作文 11	では、 <u>社長</u> ⁽¹⁾ だち ⁽²⁾ がやさしい人 ⁽³⁾ だから、一週間 <u>あと</u> ⁽⁴⁾ で、 仕事 <u>が</u> ⁽¹⁾ 上手 ⁽²⁾ になってきた。	1C 2発音 表記 3*ル/ -タ 4N 副用
2327	マレーシア 27 自由作文 13	仕事が始まったばかりの時 <u>に</u> ⁽¹⁾ 、お客さんが来ると、なに か <u>ほしい</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽³⁾ <u>わからない</u> ⁽⁴⁾ 、いつも日本人の仲間に頼んで いた。	1N 2取立 *0/-ハ 3,4発音 5接
2328	マレーシア 27 自由作文 15	だんだんに、 <u>自分</u> ⁽¹⁾ はすこしお客さんと話してみても、日本 語の普通会話は前よりすこしできるようになった。	N
2329	マレーシア 27 自由作文 16	でも、 <u>変</u> の言葉もいっぱいならつた。	品詞 *N/-NA
2330	マレーシア 28 自由作文 1	私の夏休みには、 <u>なつかしく</u> ⁽¹⁾ の国へ帰つた ⁽²⁾ <u>こと</u> ⁽³⁾ です。	1表現 2活用(A) 品 詞 *N/-A 3名詞 節
2331	マレーシア 28 自由作文 7	帰つた <u>の</u> ⁽¹⁾ <u>次日</u> ⁽²⁾ は、私の誕生日 <u>な</u> ⁽³⁾ ので、たくさん <u>友</u> ⁽⁴⁾ だちと一緒に <u>ディスコ</u> ⁽⁵⁾ へ行きました。	1*ノ連 2N 3*ル/ -タ 4ノ連 5表記
2332	マレーシア 28 自由作文 8	その <u>ディスコ</u> ⁽¹⁾ は新しく、 <u>大さ</u> ⁽²⁾ はアジアの中で、 <u>第三</u> ⁽³⁾ <u>大</u> ⁽¹⁾ と <u>言</u> ⁽²⁾ われています。	1,2表記 3N
2333	マレーシア 28 自由作文 11	その <u>誕生日会</u> ⁽¹⁾ は <u>おとなび</u> ⁽²⁾ るらしい <u>で</u> ⁽³⁾ した。	1複N 2体修 *ラシイ /-名詞節
2334	マレーシア 28 自由作文 13	一つ私にとって、おどろいたことはクアラルンプールで、 今とても日本製品 <u>を</u> ⁽¹⁾ <u>はや</u> ⁽²⁾ っています、 <u>例</u> ⁽³⁾ るなら、日 本 <u>旅客</u> ⁽⁴⁾ もかなり <u>デパー</u> ⁽⁵⁾ と <u>で</u> ⁽⁶⁾ <u>多く</u> ⁽⁷⁾ <u>見</u> ⁽⁸⁾ えました。	1格 *ヲ/-ガ 2一名 詞節 3C 4N 5表記 6 副用 7V
2335	マレーシア 28 自由作文 18	その中では、 <u>娯系</u> ⁽¹⁾ <u>場所</u> ⁽²⁾ や <u>ホテル</u> ⁽³⁾ や <u>す</u> ⁽⁴⁾ <u>スポーツ</u> ⁽⁵⁾ <u>設</u> ⁽⁶⁾ <u>など</u> ⁽⁷⁾ が 入 ⁽¹⁾ っていて、一番人気が <u>あ</u> ⁽²⁾ るの <u>は</u> ⁽³⁾ <u>有名</u> ⁽⁴⁾ な <u>カジノ</u> ⁽⁵⁾ で、いっ ぱい <u>ホテル</u> ⁽⁶⁾ の中 <u>で</u> ⁽⁷⁾ <u>あ</u> ⁽⁸⁾ ります。	1N 2表記 3表記 複 N 4格 *デ/-ニ

3.8. 名詞 [N]

2336	マレーシア 28 自由作文 24	飾っていたビールは山頂で <u>そびえ立</u> っていると、 <u>気</u> になりました。 (1) (2)	1VP 2N
2337	マレーシア 28 自由作文 25	その <u>次</u> 日、私たちが <u>ジョギン</u> グーをし、温水のプールへ泳ぎに行き、とても楽しかったです。 (1) (2) (3)	1N 2取立 *ガ/ーハ 3表記
2338	マレーシア 29 自由作文 2	首相は、国の政治に一番 <u>有力</u> な人で、国政を指揮して、だれでも <u>尊敬</u> して <u>名望</u> をもっている人です。 (1) (2) (3)	1NA 2受身 3N
2339	マレーシア 29 自由作文 5	けれども、私が首相になる <u>思い</u> 事は野心をもっているというわけではありません。	N
2340	マレーシア 29 自由作文 6	なぜなら国を <u>も</u> っと進歩的な国になる <u>発展</u> をするつもりですから。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2N
2341	マレーシア 29 自由作文 8	もし、私が国の首相だったら、まず、国民の団結と愛国心のことを高めます。	N *コト
2342	マレーシア 30 自由作文 2	私の国マレーシアにはは、 <u>発展</u> 中国です。 (1) (2)	1格 *ニ/ーO 取立 2 複 N
2343	マレーシア 30 自由作文 9	<u>第</u> 一、マレーシア <u>は</u> 、 <u>発展</u> 中国だから、経済成長が遅れていますが、日本やアメリカなど先進国 <u>は</u> 、直接的に、また間接的に、私の国と <u>経済</u> 成長な <u>影響</u> があります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1副用 2取立 *O/ーハ 3複 N 4取立 *O/ーハ 5品詞 *NA/ーN
2344	マレーシア 30 自由作文 19	今、だけれども、国の経済や、国民の生活などすすんでいます。もし、このいろいろの方をしたら、かならず、国の <u>発展</u> や国民の生活水準、 <u>経済</u> などが <u>ま</u> えにもっと早くすすんでくると思います。 (1) (2)	1N 2Ad
2345	スペイン 1 自由作文 4	たとえば、 <u>みんな</u> さんは三月から始まります。	発音 N
2346	スペイン 1 自由作文 8	私の国はこの <u>きび</u> さがない、でもだいたい <u>社長</u> さんはいつも <u>男</u> の人 <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2N 3Ad 副用 4 ーダ
2347	スペイン 2 聴解要約 10	<u>お友達</u> は <u>たいへん</u> わらった、彼はうたをうたうことは <u>上</u> 手だったからである。 (1) (2) (3)	3格 取立 *ハ/ーガ 1 N 2副用 Ad
2348	スペイン 2 パターン作文 6	<u>りよほ</u> は <u>絵</u> や <u>単</u> があります、けど、日本の本を <u>あ</u> んまり <u>読</u> めません。 (1) (2) (3) (4) (5)	1発音 3N 2格 *ハ/ーニ 4取立 *ヲ/ーハ 5副用
2349	ナイジェリア 1 パターン作文 10	ナジェリアは赤道の <u>と</u> なりにあるから <u>一</u> ねんじ <u>雨</u> がふります。 (1) (2)	2発音 1N
2350	ナイジェリア 1 パターン作文 12	みなみナイジェリアの <u>と</u> なりに大西洋があります、きたの <u>と</u> なり <u>は</u> サハラ砂漠があります。 (1) (2)	1N 2 *O は/ーニは
2351	エチオピア 1 パターン作文 2	<u>そ</u> げ <u>ぞ</u> け <u>わ</u> たしの <u>さ</u> もん <u>て</u> す。 (1) (2) (3)	1? 2N 2,3発音
2352	オーストラリア 1 聴解要約 3	<u>さい</u> しょう <u>か</u> れは <u>局</u> にいきました。 (1) (2)	1発音 2N
2353	オーストラリア 2 自由作文 2	オーストラリアで私は <u>けん</u> こうの <u>仕事</u> <u>は</u> たらきました。 (1) (2) (3) (4)	1表記 2N 3格 *O/ーヲ 4V
2354	インド 1 自由作文 5	このアパートは七つ <u>室</u> があって、私の部屋は <u>三</u> 番 <u>室</u> です。 (1) (2)	1N 2数

第3章 語彙論

2355	インド 3 自由作文 8	窓の <u>となり</u> ₍₁₎ <u>に</u> ₍₂₎ 、本ばことこたつがあります。	1N 2格 *0 /-ニ
2356	インド 3 自由作文 11	部屋の中に <u>電気</u> があります。	N
2357	インド 3 自由作文 13	玄関の右にようふくだんすがあります、なかに <u>全部</u> <u>私の</u> <u>シャツと雑物</u> ₍₁₎ <u>です</u> ₍₂₎ <u>。</u> ₍₃₎	1語順 2N 3*グ -V
2358	インド 3 自由作文 16	<u>部屋</u> ₍₁₎ <u>で</u> ₍₂₎ 私はとても <u>満足</u> ₍₃₎ です。	1コソア 2格*デ/-ニ 3N
2359	インド 3 自由作文 17	家主は <u>親切</u> ₍₁₎ の人です、私は大変 <u>好き</u> ₍₂₎ です。	1品詞 *N /-NA 2NA
2360	インド 4 自由作文 4	<u>こう</u> は、共用です。	N
2361	インド 4 自由作文 7	<u>こう</u> 中に <u>に</u> ₍₁₎ <u>に</u> ₍₂₎ 、着物を置いています。	1N 2-ノ連
2362	インド 4 自由作文 8	<u>右</u> ₍₁₎ <u>に</u> ₍₂₎ 、たんすの上に、テレビがあります。	1N 2格 *ニ /-ノ連
2363	インド 4 自由作文 13	今、 <u>ハイファイ</u> とせんたく機を買いたいと思います。	N
2364	インド 5 自由作文 4	私の部屋の <u>う</u> ₍₁₎ <u>え</u> ₍₂₎ に <u>電燈</u> ₍₃₎ が <u>あ</u> ₍₄₎ <u>っ</u> ₍₅₎ て天井に <u>な</u> ₍₆₎ <u>が</u> ₍₇₎ い木が あります。	1N 2,4取立 *0 /-ハ 3接 *テ形
2365	インド 6 自由作文 8	部屋の右の <u>か</u> ₍₁₎ <u>と</u> ₍₂₎ にこたつがあります。	発音 N
2366	インド 8 自由作文 6	<u>門</u> をあけると、すぐ台所がみえます。	N
2367	インド 8 自由作文 12	<u>後</u> ₍₁₎ のかべに <u>門</u> ₍₂₎ があります。	1表記 2N
2368	インド 8 自由作文 14	<u>門</u> ₍₁₎ の右に <u>に</u> ₍₂₎ テーブルがあります。	1N 2取立 *0 /-ハ
2369	インド 8 自由作文 17	<u>門</u> ₍₁₎ の左に <u>に</u> ₍₂₎ ほんばこがおいてあります。	1N 2取立 *0 /-ハ
2370	インド 8 自由作文 24	値段は三万二千円でちょっと高いですが、音楽がすきだし、このラジオは <u>新発売</u> し、音もいいし、とてもすきです。	品詞 *V /-N
2371	インド 8 自由作文 28	前の <u>門</u> ₍₁₎ の左に <u>に</u> ₍₂₎ せんたくきがおいてありますから、一週間に二回せんたくします。	1N 2取立 * /-ハ
2372	インド 9 自由作文 5	その部屋に <u>住むところ</u> ₍₁₎ <u>は</u> ₍₂₎ きれいで、虫がぜんぜん <u>ない</u> ₍₃₎ でした。	1格 *ニ /-ノ連 2N 3V, 活用(V)
2373	インド 9 自由作文 13	部屋のひろさ <u>が</u> ₍₁₎ 狭いですから、ふとんやこたつや本箱な <u>ど</u> ₍₂₎ <u>が</u> ₍₃₎ いる <u>の</u> ₍₄₎ はいっぱいになります。	1N 2*名詞節, 接, 条件 *ノハ /-ト
2374	インド 9 自由作文 15	<u>た</u> ₍₁₎ <u>か</u> ₍₂₎ ら、台所や <u>お</u> ₍₃₎ <u>洗</u> ₍₄₎ <u>手</u> ₍₅₎ は公共 <u>の</u> ₍₆₎ です。	1発音 2N 3*ノ代
2375	インド 9 自由作文 17	<u>た</u> ₍₁₎ <u>っ</u> ₍₂₎ とれば、あさは <u>を</u> ₍₃₎ <u>み</u> ₍₄₎ <u>か</u> ₍₅₎ きとお風呂に <u>は</u> ₍₆₎ <u>り</u> ₍₇₎ はちよ つと困ります。	1発音 C 2,3品詞 *N /-V 3発音

2376	インド 9 自由作文 18	その事をせんばいに <u>おしえて</u> 、彼は一万四千元の <u>屋代</u> の部屋は <u>そのよう</u> の <u>だ</u> といいました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1V, 接 *テ形/一ト 2N 3発音, 表記 4ム 一ド 5*のだ/一〇
2377	インド 10 自由作文 3	コーポナナ <u>の</u> <u>称号</u> です。 (1) (2)	1一トイウ 2N
2378	インド 10 自由作文 14	彼女の机の上に <u>電気スタンド</u> や、 <u>書</u> や、 <u>目覚まし</u> <u>時計</u> などがあります。 (1) (2)	1取立 に*0 /に一ハ 2N
2379	インド 10 自由作文 20	押し入れの <u>斜め</u> に <u>私</u> の机がおいてあります。 (1) (2)	1N 2取立 に*0 /に 一ハ
2380	インド 15 自由作文 16	<u>屋代</u> は毎月 <u>計</u> で 3万2千 <u>え</u> です。 (1) (2) (3)	1N 2熟語 3表記
2381	インド 15 自由作文 17	高いですけど、私はひろい部屋 <u>は</u> <u>ほしい</u> から、日用品 <u>ほか</u> のものは買っては <u>ありません</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ/一ガ 2複 N
2382	インド 16 自由作文 6	冷蔵庫 <u>が</u> <u>小さい</u> です <u>けど</u> <u>いろいろ</u> な <u>飲料</u> や <u>食べもの</u> <u>を</u> <u>入</u> ってあります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ガ /一ハ 2ス スタイル 3N 4格 *ヲ / 一ガ 5自他
2383	インド 16 自由作文 11	しかし壁にはいろいろ <u>な</u> <u>広告画</u> や <u>写真</u> をはっています。 (1) (2)	N
2384	インド 18 自由作文 20	みなみのほう <u>が</u> <u>ベランダ</u> へ <u>できる</u> <u>もうひとつ</u> <u>もん</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ガ/一ニ 2VP 可能 3ノ連 4N 5*ダ
2385	インド 18 自由作文 23	はれ <u>なら</u> 、 <u>となりの</u> <u>ひと</u> びとは <u>ふとん</u> も <u>だ</u> って <u>太陽</u> <u>に</u> <u>ほ</u> される <u>こと</u> もあります。 (1) (2) (3) (4)	1接 条件 2N 3取立 4*受身/一可能
2386	インド 19 自由作文 18	そして <u>むらさき</u> <u>カーテン</u> <u>が</u> <u>は</u> ってあります。 (1) (2) (3)	1複 N 2表記 3V
2387	インド 20 自由作文 10	おおやさんは <u>毎週</u> <u>二回</u> か <u>三回</u> <u>で</u> <u>うち</u> へ <u>来</u> て <u>整頓</u> します。 (1) (2)	1格 *デ/一〇 2N
2388	インド 20 自由作文 16	<u>住所</u> の <u>近く</u> に <u>と</u> ても <u>静か</u> です。 (1) (2)	1N 2取立 *ニ/一ハ
2389	インド 21 自由作文 8	本箱の上に <u>テレビ</u> と <u>月曆</u> <u>が</u> あります。 (1) (2)	N
2390	インド 21 自由作文 10	厨房には <u>台所</u> と <u>冷蔵庫</u> <u>が</u> あります。 (1) (2)	N
2391	インド 23 自由作文 2	私の部屋は <u>学校貸寮</u> <u>です</u> 。 (1) (2)	複 N
2392	インド 23 自由作文 4	<u>お</u> おきいて <u>きれいな</u> <u>8畳</u> <u>へ</u> や <u>です</u> 。 (1) (2)	1活用(A) 2複 N 一 ノ連
2393	インド 23 自由作文 5	へやの中に <u>いろいろ</u> <u>用品</u> <u>が</u> あります。 (1) (2)	1品詞 *N/一NA 2N
2394	インド 23 自由作文 9	しかし <u>用品</u> <u>が</u> <u>なく</u> ない <u>け</u> ど <u>と</u> ても <u>きれ</u> いです。 (1) (2)	1N 2?
2395	インド 23 自由作文 11	<u>間</u> に入る <u>時</u> 、 <u>左側</u> <u>トイレ</u> と <u>お風呂</u> と <u>ころ</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2接 条件 *トキ/ 一ト 3取立 *0 /一 ハ 4N
2396	インド 23 自由作文 20	以上は私の部屋 <u>は</u> <u>簡単な</u> <u>配置</u> <u>を</u> <u>紹介</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 2格 *ヲ/一ノ 連 3品詞 *V/一N N

第3章 語彙論

2397	インド 24 自由作文 6	このアパートは8畳 <u>部屋</u> と台所とお手洗いとバスが <u>形</u> <u>成</u> になっています。 (1) (2)	1,2N
2398	インド 24 自由作文 7	まず、はじめに、台所の <u>門</u> から紹介しましょう。	N
2399	インド 24 自由作文 8	<u>門</u> には三つ鎖があります。	N
2400	インド 24 自由作文 12	それに、 <u>ガスこんろ</u> もバスの中についているので、とて も便利です。	N
2401	インド 24 自由作文 13	バスの外にせんとく機が <u>買って置いて</u> 、その <u>相対</u> の方 には冷蔵庫と炊飯器と電気ポットも置いてあります。 (1) (2)	1複 V N
2402	インド 24 自由作文 20	部屋に入って、まっすぐ行くと <u>東南に向き</u> の窓で、右 の方に見たら、 <u>入れ出し</u> です。 (2) (3)	1複 N *ニ/-O 2格 *ニ/-ヲ 3N
2403	インド 24 自由作文 24	勉強が終わったら、 <u>いれだし</u> の中に、 <u>ふと</u> を持って、 畳に敷く <u>はず</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3N 2格 *ニ/-ノ 連 4V 5ムード *ハ ズ
2404	インド 24 自由作文 25	ところで、 <u>いれだし</u> の左側は私の楽園です。	N
2405	インド 24 自由作文 36	とても <u>楽しみ</u> です。	N
2406	インド 25 自由作文 2	いつも私の心に残っている人はゴ先生といって私の <u>小学</u> の時の先生です。	N
2407	インド 25 自由作文 3	いまゴ先生は「〇〇〇」という <u>小学</u> で英語を教えます。	N
2408	インド 25 自由作文 6	私の <u>小学</u> の時、 <u>あり</u> いい学生じゃなかった。 (1) (2) (3)	1*ノ連/-ハ 2N 3発 音
2409	インド 25 自由作文 10	学校 <u>やみ</u> の時、ゴ先生は私をつれて川のそばにあそび に行きました。 (1) (2)	1格 *O/-ガ 2N
2410	インド 25 自由作文 11	学校実験 の前に先生はいつも私のうちに英語や数学やマ <u>レー語</u> などを <u>おしえて</u> くれて来ました。 (1) (2) (3)	1複 N N 2*テ形 3受 給 複 V
2411	インド 25 自由作文 12	ときときゴ先生は <u>書局</u> で新しい本をかって私にくれました。 た。	N
2412	インド 26 自由作文 5	彼女と <u>いろいろ</u> の話をしながら、彼女は私ににこにこし てくれました。	品詞(*N/-NA)
2413	インド 26 自由作文 10	弟妹 も <u>面倒</u> をし なければなりませんでした。 (1) (2)	1N 2VP
2414	インド 26 自由作文 15	私は彼女の <u>有能</u> を すっかり感心しました。 (1) (2)	1N 2格 *ヲ/-ニ
2415	インド 26 自由作文 18	彼女は重態で <u>入院急救中</u> なくなりました。	複 N
2416	インド 26 自由作文 20	彼女の明朗な態度と <u>豊か</u> の 教養と勤勉な学習態度、今 までも <u>深刻</u> に私の心の底に <u>残</u> っている。 (2) (3) (4)	1品詞 *N/-NA 2格 *マデ 3副用 Ad 4発 音
2417	インド 28 自由作文 6	<u>第二次の大戦</u> 、日本の軍隊はビルマへ行った。 (1) (2)	1N 2接 *O/-トキ

2418	インド 28 自由作文 9	この <u>気分</u> は日本人 <u>で</u> なくて、世界の人も戦争 <u>や</u> <u>めたい</u> 。	1N 2取立 *0 /-ダ ケ 3格 *0 /-ヲ 4L /一タ
2419	インド 28 自由作文 11	私はこの映画 <u>見る</u> あとで、自分の <u>感覚</u> はもし世界の中 で <u>戦争</u> <u>はない</u> 、 <u>いいわね</u> と思いました。	1ル /-タ 2N 3格 デ /-ニ 4取立 ハ /- ガ 5接 条件 *0 /- トラ 6ムード
2420	インド 28 自由作文 12	<u>こちそち</u> 平和の <u>気分</u> があって、みんな <u>幸せ</u> に生活 <u>し</u> <u>て</u> 、これは、いいことではありませんか。	1Ad コソア 2N 3カ ク *0 /-ガ 4条件 * テ形 /-バ
2421	インド 29 自由作文 4	そのときには <u>たくさん</u> な人々がこの映画を見に行きました。	品詞 *NA /-N 体修
2422	インド 29 自由作文 6	映画の内容はおじいさんとおよめさんと <u>ふたり</u> の生活 の中でいろいろな問題 <u>を</u> <u>出</u> <u>で</u> <u>く</u> <u>る</u> という <u>映画</u> でした。	1-ノ連 2格 ラ /-ガ 3発音 4N 体修
2423	インド 29 自由作文 7	おじいさんは奥さんが急に死んだことをいつも心に <u>記憶</u> <u>して</u> いたので、 <u>精神</u> や体が悪くなってしまいました。	1V 2N
2424	インド 30 自由作文 5	ですから、もし都心へ <u>いたら</u> 、 <u>他人</u> に車 <u>を</u> <u>乗</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>さ</u> <u>せ</u> なければなりませんでした。	1接 条件 *トラ /-ナ ラ 2N 3格 *ヲ /-ニ 4受身 使役 受給
2425	インド 30 自由作文 12	このように、おじは、私 <u>に</u> 自分の <u>親子</u> <u>を</u> ように、世話 をしてくれました。	1格 *ニ /-ヲ 2N 3* 0 /-ノ連
2426	インド 31 自由作文 6	朝起きて、新聞を <u>取</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>開</u> <u>く</u> と、沢山の <u>折</u> <u>り</u> <u>込</u> <u>む</u> 広告 が落ちる。	1V 2複 N
2427	インド 31 自由作文 7	駅で電車を待つ時もむこうの <u>大きな</u> 広告看板が見える、 電車の中で <u>なんか</u> 吊り皮についているとか天井に掛けて、 <u>貼</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 広告も <u>少</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1格 *ノ連 /-ニ 2不 定 3複 N 4表記
2428	インド 31 自由作文 8	これらの広告は <u>みな</u> に対して、じゃまではないか。	N
2429	インド 31 自由作文 11	もしこの様々と <u>おもしろい</u> 広告画 <u>が</u> <u>それ</u> <u>毎日</u> <u>辛い</u> 、 心配、緊張している <u>の</u> 社員 <u>に</u> 対して、助けることがあ れば、広告は私達にとって大切なものである。	1並 V *ト 体修 2N 3Ad 4-連用形 5*ノ 連
2430	インド 31 自由作文 13	ただ商品を知らせるだけではない、 <u>実は</u> <u>国際的</u> 、 <u>文化的</u> 、 <u>国の</u> <u>芸術水準</u> 、 <u>技術性</u> <u>の</u> 一体である。	1C 2N 3*ノ連 /-ト
2431	インド 31 自由作文 14	したがって、広告が <u>多くの</u> 国は <u>進歩的</u> 、 <u>現代化</u> <u>の</u> 国と 呼ぶことはできるでしょう。	1,2N /-A 体修 NA
2432	インド 32 自由作文 2	太るという言葉は、ほとんどの女性にとってはこわくて、 悩む <u>で</u> しょう。	N 体修
2433	インド 32 自由作文 4	なぜなら、 <u>身</u> が小さくて低い <u>で</u> す。	1N 2接 *0 /-カラ
2434	インド 33 自由作文 3	しかし彼女の <u>ひとつ</u> が私の心 <u>に</u> いつまでも <u>のこ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	数 N

第3章 語彙論

2435	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭があたたかかったが <u>富裕</u> ではなく なかったから、ほかの子供に <u>うらやましい</u> でした、 <u>毎度</u> 、 友達が <u>いっぱい</u> のおもちゃをもっている <u>とき</u> 、私は <u>金</u> <u>もちさん</u> になって、もっと <u>多い</u> おもちゃをもっている 夢をつくた。	1NA 2格 *ニ/-ガ 3 活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *ト キ/-ト 7N 8A 9V 発音
2436	インド 33 自由作文 7	人間は <u>いちばん</u> いるものは物質的なものより精神的な ほうが <u>大切</u> と思います。	1取立 *ハ/-ガ 2Ad 副用 3品詞 *N/- NA &表現
2437	インド 33 自由作文 8	ところで有名人の話やことわざなど、いろいろな <u>影</u> を あげて人間が悟っていたのは有益です。	1N 2V
2438	インド 34 自由作文 2	狭い教室で、五十さいぐらいの <u>年より</u> の <u>めかね</u> をかけ ている先生は <u>歴史</u> <u>授教</u> を教えているところでした。	1N 2発音 3*テイル/ ータ 4取立 *ハ/- ガ 5N
2439	インド 34 自由作文 10	教室の <u>以外</u> には彼を私達のピンポンの <u>教連</u> にしたり していました。	1*ノ連 2格 *ニは/- デは 3N
2440	インド 35 自由作文 3	日本へ来たばかり、時々故郷のいろいろな <u>人物</u> とか 景色とか思い出しています。	1格 *O/-デ 2N
2441	インド 35 自由作文 10	その <u>時</u> 、私はいつも、村の中の子供たちと一緒に遊びま した。	N 副用
2442	インド 35 自由作文 11	太陽が西に <u>沈下</u> の時、母は私に「家へ帰ってご飯をたべ てますよう」とおおきい <u>ごえ</u> を <u>かけて</u> しまいました。	1N 2発音 3複V - テイル
2443	インド 36 自由作文 7	私は <u>明朗</u> な性格、 <u>活発</u> な <u>生活</u> などが父親の遺伝に <u>ま ち</u> がありません。	1取立 *ハ/-ノ 2N 3格 *ヲ/-ガ 4N
2444	インド 36 自由作文 10	父母と私の将来のために、 <u>最初</u> の感じを出して、先生の <u>ほめる</u> を <u>受けて</u> 、今から <u>努力</u> にしよう。	1表現 2品詞 *V/- N 3*テ形 4V
2445	インド 37 自由作文 2	しかし <u>あの</u> 人は非常に勇敢な <u>克服</u> <u>障礙</u> 、まい朝を「 <u>報童</u> 」します、 <u>不論</u> 大風が刮たり、雨が <u>降</u> たり、 <u>毎 々</u> 送達します。	1C 2コソア 3N 4格 *ヲ/-O 5N 6? 7 活用(V) 8?
2446	インド 37 自由作文 3	ひまなときは、自動車洗車 <u>中心</u> に <u>アルバート</u> にいきま した。	1N 2表記
2447	インド 37 自由作文 4	それに、 <u>毎日</u> よる <u>たき</u> も <u>家教</u> 中心の <u>アルバート</u> にい きました。	1C 2N 3? 4N 5表記
2448	インド 37 自由作文 5	直至深夜 <u>結束</u> にうちに帰ります。	副用 N
2449	インド 37 自由作文 7	映画 <u>中の</u> <u>男</u> <u>演員</u> と船が <u>も</u> 同じ、 <u>不</u> <u>怕</u> <u>風</u> <u>不</u> <u>怕</u> <u>雨</u> 、 <u>男 往</u> <u>直</u> <u>前</u> 本当に感動しました。	1ノ連 2N 3*モ/-O 4
2450	インド 39 自由作文 10	この山の紅土は <u>屋</u> を <u>建て</u> <u>大切</u> 原料です。	1N 2*テ形/-ル 3品 詞(*N/-NA)
2451	インド 39 自由作文 12	林の <u>山</u> には、おいしい <u>くだもの</u> があるし、 <u>川</u> があるし、 <u>川</u> の中 <u>に</u> 魚を <u>捕</u> るし、ときどき <u>川</u> 中 <u>に</u> 泳ぎました。	1体修 2並V 3格 *ニ /-デ 4並V 5複N 6格 *ニ/-デ 7発音

2452	インド 39 自由作文 13	でも、 <u>屋</u> ⁽¹⁾ へ帰ったとき、ははが <u>しが</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽³⁾ られました。	1N 2格 *ガ/-ニ 3 発音
2453	インド 40 自由作文 9	もし、 <u>天気</u> ⁽¹⁾ は急に冷えれば、 <u>かぜ</u> ⁽²⁾ にかかりやすいです。	1N 2取立 *ハ/-ガ
2454	インド 40 自由作文 12	<u>第三は</u> ⁽¹⁾ 、 <u>休み時</u> 、 <u>運動場</u> でスポーツをやったほうが <u>いい</u> ⁽²⁾ と思います。	1Ad 副用 2複N 副用
2455	インド 40 自由作文 32	子供のころには、私にとって一番 <u>なつかしい</u> ⁽¹⁾ <u>時光</u> ですから、できれば、もう一度その <u>ころ</u> ⁽²⁾ に <u>入れて</u> 、これは私の <u>願い</u> です。	1N 2V 接 *テ形/- 複V
2456	インド 41 自由作文 6	小さい <u>町</u> で <u>住んで</u> ⁽¹⁾ <u>いる</u> から、 <u>休暇</u> ⁽²⁾ だったら、友達と一緒 <u>に</u> 林へ行く。	1*テイル/-テイタ 2N
2457	インド 41 自由作文 12	風の季節がくると、 <u>たこ</u> ⁽¹⁾ を遊ぶ、近くには <u>広場</u> があるから、みんなと <u>たこ</u> を作ったあとで、 <u>たこ</u> の <u>きれい</u> ⁽²⁾ 、 <u>大きさ</u> 、 <u>高さ</u> を比べる、そして、 <u>リーダー</u> ⁽³⁾ になった。	1格 *ヲ/-デ 2N 3 表記 4V
2458	インド 42 自由作文 5	しかし、家にいるおじさんが、 <u>悲しい</u> ⁽¹⁾ と <u>病気</u> ⁽²⁾ になっている <u>が</u> 、 <u>悲傷</u> ⁽³⁾ の心情です。	1A 2接 *ト 3名詞節 4*N -NA
2459	インド 42 自由作文 7	彼女の <u>個人</u> <u>演</u> <u>唱</u> <u>会</u> ⁽¹⁾ に、 <u>な</u> ⁽²⁾ <u>って</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1N 2複V
2460	インド 42 自由作文 13	この映画の内容は、これ <u>概要</u> です。	N
2461	インド 43 自由作文 2	かぜは、昔から「 <u>万年病</u> 」 <u>といわれ</u> ⁽¹⁾ <u>て</u> ⁽²⁾ います。	1N 2表記
2462	インド 43 自由作文 5	それで <u>かぜ</u> ⁽¹⁾ には <u>一</u> ⁽²⁾ <u>種</u> ⁽³⁾ <u>類</u> ⁽⁴⁾ の <u>普</u> ⁽¹⁾ <u>通</u> ⁽²⁾ な <u>病</u> ⁽³⁾ <u>気</u> ⁽⁴⁾ だろうと思いま <u>す</u> 。	1C 2取立 *ニは/- Oは 3数 4品 *NA/ -N
2463	インド 43 自由作文 8	<u>かぜ</u> ⁽¹⁾ の <u>伝</u> <u>染</u> <u>病</u> ⁽²⁾ を <u>流</u> <u>行</u> する時、 <u>人</u> <u>込</u> <u>み</u> ⁽³⁾ <u>場</u> <u>合</u> に入らない方 <u>が</u> いいです。	1*ダ 2格 *ヲ/-ガ 3*N
2464	インド 43 自由作文 12	<u>かぜ</u> ⁽¹⁾ について、 <u>一</u> ⁽²⁾ <u>種</u> ⁽³⁾ <u>類</u> ⁽⁴⁾ な <u>か</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>病</u> <u>気</u> ⁽⁵⁾ だから、もし、 <u>か</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> お医者 <u>に</u> み <u>に</u> い <u>く</u> となおる <u>よ</u> <u>う</u> に <u>な</u> ⁽⁶⁾ <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1取立 *ニツイテ/ ハ 2数品 *NA/- N 3品 *NA/-A 4 複V 5*ヨウニ
2465	インド 43 自由作文 14	かぜは普通の病気だから、もし上の予防をすれば、 <u>か</u> <u>か</u> ⁽¹⁾ <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>何</u> <u>数</u> ⁽²⁾ が少ないと思います。	1否定 2N
2466	インド 44 自由作文 3	小説と <u>幻</u> <u>想</u> <u>故</u> <u>事</u> が一番好きです。	N
2467	インド 44 自由作文 16	このふたり <u>男</u> <u>女</u> ⁽¹⁾ したいです。	1取立 *O/-ハ 2N
2468	インド 47 自由作文 2	私は日本の <u>発</u> <u>達</u> ⁽¹⁾ の <u>木</u> <u>土</u> 工程を学ぶために日本の <u>大</u> <u>学</u> ⁽²⁾ で、 <u>留</u> <u>学</u> する <u>つ</u> <u>も</u> <u>り</u> です。	1品詞 *N/-V 2格 *デ/-ニ 3ムード
2469	インド 47 自由作文 3	というのは、私の国は、まだ <u>発</u> <u>展</u> 途中の国ですから、いろいろな <u>建</u> <u>築</u> 、特に、 <u>土</u> <u>木</u> の <u>建</u> <u>築</u> が、あまり、 <u>発</u> <u>達</u> では <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	品詞 *N/-V

第3章 語彙論

2470	インド 47 自由作文 7	私はこれらの <u>高度進歩</u> の工学の要因を学んで、将来は国の土木建築に <u>貢献</u> します、 <u>そのとき</u> 、マレーシアの土木建築工程が、 <u>発達</u> になると思っています。	1複 N 2C 3品詞 *N /-V
2471	インド 48 自由作文 3	現在、私の国の経済は <u>発展中</u> です。	複 N
2472	インド 49 自由作文 2	私は <u>機械工学科</u> を学びに日本へ来ました。	N
2473	インド 49 自由作文 8	そして、国の工業界は <u>原産品加工業</u> を <u>除いて</u> 、ほとんど日本の工業です。	1複 N 2接 *テ形 /-ト
2474	インド 50 自由作文 6	私は広告写真について非常に <u>趣味</u> が <u>ある人</u> です、 <u>という</u> のは広告写真は商業と芸術を <u>つないで</u> いわゆる商業設計で、いま私の国には、 <u>そういう</u> <u>人才</u> はあまり <u>多くて</u> はありません。	1N 2表現 3*テ形 体修 4発音 5表記 6*テ形 7取立 *ハ/-O
2475	インド 50 自由作文 14	<u>ほう</u> に心から <u>うらやましい</u> を持っています。	1発音 2品詞 *N /-NA
2476	インド 50 自由作文 15	ですから国の <u>経済的</u> や国民の生活は裕福に <u>過ごして</u> います。	1品詞 *N /-NA 2V
2477	インド 51 自由作文 11	第二次世界大戦後、短い <u>時間内</u> 、 <u>発達</u> で強大な経済発展を <u>とどけた</u> 。	1複 N 2品詞 *N /-V 3V
2478	インド 51 自由作文 17	<u>これら</u> の経済の高度成長を <u>向上</u> に尽くしたいと思っている。	1コソア 2格 *ヲ /-O 3-ノ連 4N
2479	インド 52 自由作文 5	その点は、日本の <u>科学管理制度</u> は日本の経済に <u>猛進</u> させていて <u>世界中</u> で経済大国 <u>になって</u> います。	1複 N 2格 *ニ /-ヲ 3副用 4VP
2480	インド 53 自由作文 2	私は経済や経営などが <u>趣味</u> をもっています。	1格 *ガ /-ニ 2N
2481	インド 53 自由作文 3	将来商業界の <u>強人</u> になりたいと思っています。	1N 2格 *O /-ニ
2482	インド 53 自由作文 9	また日本人 <u>よく</u> <u>働き</u> <u>経神</u> をもっています。	1取立 *O /-ハ 2体修 3N
2483	インド 53 自由作文 12	私はこれらの経済制度と日本人 <u>よく</u> <u>働き</u> <u>経神</u> の要因を学び、将来は国の経済制度を改良したり、商業の向上に尽くしたりしたいと思っています。	1-ノ連 2体修 3N
2484	インド 54 自由作文 3	私は子供の時からいつもこの <u>願望</u> を持っている <u>ので</u> ある。	1N 2のだ 3スタイル
2485	インド 54 自由作文 4	人間が生まれた運命によって未来の <u>発展</u> がちがう <u>ので</u> ある。	1取立 *ガ /-ハ 2N 3スタイル
2486	インド 54 自由作文 6	もし、私がお金持ちになったら、 <u>貧困</u> の人を手助けしてあげて富豪の人と同じ <u>平等線</u> に自分の将来は <u>創造</u> すると思っています。	1N 2N 3取立 *ハ /-ヲ 4活用(V)
2487	インド 54 自由作文 8	李さんはあたまが <u>いい</u> 、勉強が <u>すき</u> <u>だった</u> 、 <u>小学生</u> 一年から五年までいつも一番という成績を持っていた。	1接 -テ形 2*タ /-テ形 3N

2488	インド 54 自由作文 11	その時、母と一緒に病院へ見舞に行きました、李さんの ⁽¹⁾ お母さんは非常に <u>傷心</u> と私の母に言いました。 ⁽²⁾	1副用 2N
2489	インド 54 自由作文 12	正輝の病気がひどくてたくさんのお金がかかる、 <u>私</u> の家 ⁽¹⁾ 庭はそんなに豊かではなかった <u>結果</u> 、手術の費用 <u>は</u> たり ⁽²⁾ がないので三日にわたって病気が <u>悪化</u> のためになくなっ ⁽³⁾ てしまいました。 ⁽⁴⁾	1N 2N 3取立 4品詞 *N/-V
2490	インド 54 自由作文 13	私はその悲惨な <u>光景</u> を見ました。	N
2491	インド 55 自由作文 13	次は、国民の生活 <u>ができる</u> ために、広大の土地に <u>利用</u> ⁽¹⁾ して、農業を発展させて、また、マレーシア <u>豊富</u> の天 ⁽²⁾ 然資源も積極的に開拓させます。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1*可能/-ノ連 2格 * ニ/-ヲ 3-ノ連 4品 詞 *N/-NA
2492	インド 55 自由作文 16	また、失業という <u>こと</u> も解決します。	N
2493	インド 55 自由作文 25	ところで、国の平和や <u>さかん</u> や平等などを <u>図</u> したいで ⁽¹⁾ す。 ⁽²⁾ ⁽³⁾	1N 2格 *ヲ/-モ 3 V
2494	フィンランド 1 自由作文 14	テーブルの <u>となり</u> に本がたてかけてあります。	N
2495	フィンランド 1 自由作文 16	アパートの <u>サイズ</u> は一人ですむのに <u>丁</u> もいいです。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1N 2表記
2496	フィンランド 2 自由作文 22	部屋の <u>中心</u> に <u>こだつ</u> があります。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1N 2発音
2497	フィンランド 4 自由作文 9	左の <u>側</u> にテーブルと椅子があります。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1*ノ連 2N
2498	フィンランド 4 自由作文 18	私の部屋は狭いですから、 <u>寝室</u> <u>だし</u> 、 <u>居間</u> も <u>共用</u> して ⁽¹⁾ います。 ⁽²⁾ ⁽³⁾	1並N 2格 *モ/-ヲ 3N
2499	フィンランド 5 自由作文 9	本ばこの中にたくさん中国語と日本語 <u>と</u> 漫画がありま す。	-N
2500	フィンランド 5 自由作文 10	<u>東</u> に <u>たんす</u> があります。	N 副用
2501	フィンランド 5 自由作文 11	私のベッドの前にテレビと <u>ハイファイ</u> があります。	N
2502	フィンランド 5 自由作文 15	<u>小さい</u> の <u>みぎ</u> に鏡台があります。	品詞 -N
2503	フィンランド 5 自由作文 20	中医界の <u>けんい人</u> たちがびっくりしました。	複N
2504	フィンランド 5 自由作文 28	私は鼻こう炎の治療方法 <u>文章</u> がもう日本語訳した。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1-ノ連 2N 3格 ガ/ -ヲ
2505	フィンランド 6 自由作文 7	彼 <u>が</u> 私と <u>師生</u> <u>関係</u> をなりました。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1取立 2N 3格 *ヲ/ -ニ
2506	フィンランド 6 自由作文 12	特に、その <u>時</u> から、エイ先生は鼻こう炎の新しい治療方 ⁽¹⁾ 法 <u>が</u> <u>研究</u> して、毎日実験の時間が長くて、よるおそく ⁽²⁾ <u>お</u> わります。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1N 2格 *ガ/-ヲ 3* 0/-テイル 4ル/- テイタ
2507	フィンランド 6 自由作文 13	<u>むちゅうな</u> 仕事をつづけました。	品詞 *NA /-N 格 -デ 副用

第3章 語彙論

2508	フィンランド 8 自由作文 5	ばいきんが ⁽¹⁾ 見えない ⁽²⁾ ためにかぜを ⁽³⁾ ひかない ⁽⁴⁾ ことが ⁽⁴⁾ むずかしいです。	1,4取立 *ガ/ーハ 2 接 *タメニ/ーノデ, カラ 3複 N
2509	フィンランド 8 自由作文 7	時々、 ⁽¹⁾ 気温が ⁽²⁾ さむくなさそう と思います。	1N 2複 N
2510	フィンランド 8 自由作文 8	しかし、急に「 ⁽¹⁾ こうからし」が ⁽²⁾ 来ることが ⁽²⁾ 出来ます。	1発音 2複 N
2511	フィンランド 8 自由作文 11	私は、 ⁽¹⁾ さむすき時、 ⁽²⁾ すい込みが ⁽²⁾ 少しむずかしいですが、 ⁽³⁾ ストップを使うの ⁽⁴⁾ が ⁽⁵⁾ 大じょうぶ ⁽⁵⁾ です。	語順 1複 N 2,4取立 * ガ/ーハ 3発音 表記 5NA
2512	フィンランド 8 自由作文 16	もし、いつも ⁽¹⁾ おかいとか、 ⁽²⁾ ケーキとか、 ⁽²⁾ クッキーを ⁽²⁾ 食べ、 ビールとか ⁽³⁾ お酒をいつも ⁽³⁾ 飲み、 ⁽³⁾ 外の ⁽³⁾ ことは、 ⁽⁴⁾ 体が ⁽⁵⁾ ふっ ⁽⁶⁾ せい ⁽⁷⁾ だったら、 ⁽⁶⁾ 病気になる ⁽⁷⁾ ことが ⁽⁷⁾ 簡たんです。	1,2,5発音 表記 3Ad 4N 6名詞節 7取立 * ガ/ーハ

3.9. 副詞 [Ad]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
2513	台湾 1 自由作文 5	それから文化の <u>気分</u> が沢山あるし、古跡も多いです。 (1) (2)	1C Ad 副用 2N
2514	台湾 1 パターン作文 8	季節風の影響がある <u>だから</u> 、冬は北風が <u>できる</u> 、天気 お <u>ちょっと</u> 寒い。 (1) (2) (3)	1接(一ノデ)2活用 V Ad 一連用形 3表記
2515	台湾 1 パターン作文 22	つぎに、 <u>だんだん</u> 涼しい、空も晴れるし、温度も。	副用 Ad
2516	台湾 2 自由作文 4	台湾の台南と日本の京都は <u>とても</u> 似ている都市です。 (1)	Ad 副用
2517	台湾 2 自由作文 8	都市の <u>進む</u> <u>こと</u> に従がって、 <u>いよいよ</u> 古い建物を保 存する <u>こと</u> が <u>できない</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ノ/ーガ 2名詞 節 *コト/ーO 3Ad 副用 4VP
2518	台湾 2 自由作文 10	今、台南 <u>の中</u> で <u>昔</u> のお寺などはあまり <u>ばらばら</u> にの こっていない。 (1) (2) (3)	1表現 取立 2で*O/ でーハ 3Ad 副用
2519	台湾 2 自由作文 14	この十五個の古い物は <u>大抵</u> 長い歴史があるものです。	Ad 副用
2520	台湾 3 自由作文 11	そして、 <u>うるさい</u> や古典や <u>いろいろ</u> <u>音楽</u> の <u>タイプ</u> も <u>すぎ</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2品詞 *N/ーA 3品詞 *Ad/ー NA 4 語順 5ーダ
2521	台湾 3 自由作文 12	でも、古典方面の音楽 <u>すこし</u> <u>もっと</u> <u>すぎ</u> 。 (1)(2)(3) (4) (5) (6)	1ーノホウ 2格 *O/ ーガ 3,4Ad 副用 5発 音 6ーダ
2522	台湾 3 自由作文 13	<u>更に</u> 、古典の音楽をききながら、唐の詩 <u>、</u> 詞 <u>読む</u> と き <u>、</u> 感覚 <u>一番</u> いいと思います。 (1) (2) (3) (4) (5)	1Ad 副用 2並 N *O/ ーヤ 3格 *O /ーヲ 4 ーノ連 5格 *O/ーガ
2523	台湾 7 自由作文 5	もし木村さんは <u>もう</u> みおわった <u>から</u> 来月私は実技試験 で参考するために名画家の作品が必要になりましたから <u>急</u> <u>におくり</u> <u>もと</u> としてもいいでしょうか。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2接 *カラ/ーナラ 3副用 Ad 4複 V
2524	台湾 9 自由作文 3	小学校 <u>勉強</u> をした <u>時</u> 、家の経済状況は <u>十分に</u> <u>*難</u> な ので、母は田に <u>仕事</u> を <u>やたら</u> 私を自分の背に <u>負</u> った。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *O/ーデ 2*タ/ ーテイタ 3Ad 副用 4ル/ータ 5格 *ニ/ ーデ 6活用 (V)*タラ/ ーナガラ
2525	台湾 12 自由作文 11	論文を <u>専念</u> に <u>書く</u> 途中に <u>そんな</u> ような無理なことをた のんでご迷惑をかけて御めんなさい。 (1) (2)	1Ad 副用 2コソア
2526	台湾 17 自由作文 10	いまから <u>もっと</u> <u>いっそう</u> <u>がんばら</u> なければなりません。 (1) (2)	1,2Ad
2527	台湾 18 自由作文 1	もし、私が鳥だったら、それは <u>どの</u> <u>ぐらい</u> <u>嬉しい</u> <u>で</u> しょう。 (1) (2)	1Ad 2一名詞節
2528	台湾 20 自由作文 2	<u>もと</u> 、台湾は <u>農業</u> 国 <u>と</u> 言えます。 (1) (2)	1Ad 語順 2ーダ
2529	台湾 20 自由作文 3	<u>最近</u> 、二十年来、政府と人民と <u>、</u> 一生懸命に、農業社 会を <u>工商</u> 社会にする <u>方針</u> に <u>奮</u> 励しています。 (1) (2) (3) (4)	1Ad ーコソア 2取立 *O/ーハ 3複 N 4N 5V

第3章 語彙論

2530	台湾 20 自由作文 5	ほとんど、外国から原料を輸入して加工してから、 <u>外</u> <u>銷品</u> として <u>もどって</u> 外国へ輸出しています。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 2接 *テ形 / - 連 用形 3複 N 4複用
2531	台湾 20 自由作文 6	しかし、最近、世界経済の不況のえいきょうで、国内の <u>社会</u> がたくさん、たおれて、貿易のとりひきする金額が <u>大幅</u> に下がり、失業の割合が高くなるという現象が <u>十分</u> に存在している、もし、私が <u>通大臣</u> だったら、その現 象を克服して。。。。。 (1) (2) (3)	1N 2Ad 3V
2532	台湾 21 自由作文 2	ところで <u>決して</u> 自分の専門のみについて勉強するのでは なくて、 <u>自分の興味を持つことと</u> 、 <u>あの国</u> の特有のこ とを勉強する <u>わけだ</u> と思っています。 (1) (2) (3) (4)	1C 2Ad 3コソア 4ム ーD
2533	台湾 23 自由作文 5	仕事は簡単でしたが、 <u>一日中に</u> <u>いつも</u> <u>立って</u> 足が非常 に疲れました。 (1) (2) (3)	1副用 格 *ニ / - O 2 副用 Ad 3ーテイル
2534	中国 3 聴解要約 5	先に <u>郵便局</u> で手紙を <u>送り</u> ました。 (1) (2)	2V 1Ad(副)
2535	中国 4 パターン作文 8	実際に女子と男子とを比較してみると大学前には両方の 成績が大抵同じだといえるが、 <u>その後</u> 女子は自然科学以 外の領域へ <u>趣味</u> が変りやすい <u>だろう</u> 。 (1) (2) (3)	3ーのだ 2N 1Ad & 表現
2536	中国 6 自由作文 7	<u>また</u> じょうずじゃないです。	発音 Ad 副用
2537	中国 6 自由作文 8	自分で <u>習う</u> のために、 <u>聞く</u> のことは <u>特別に</u> なかなか できません。 (1) (2) (3) (4)	1V 2,3*ノ連 体修 4Ad 副用
2538	中国 6 自由作文 12	ですから、来年の大学院入学試験を受けるために、 <u>いろ</u> <u>いろの科目を</u> <u>始めに</u> 勉強しなければ <u>ならない</u> 。 (1) (2) (3)	1品詞 *N / - NA 2Ad 副用 3スタイル
2539	中国 6 自由作文 13	私は、日本語を習う <u>と</u> <u>いっしょに</u> 、一生懸命勉強す るつもりです。 (1) (2)	1ーノ連 2Ad 副用
2540	中国 6 自由作文 14	<u>また</u> 時間があるから、少し <u>書かない</u> でしょうか。 (1) (2)	1発音 副用 Ad 2表現
2541	中国 6 自由作文 15	私は、 <u>ちょっと</u> 結婚してから、日本へきました。	Ad 副用
2542	中国 7 自由作文 9	私はスポーツがたいへん <u>すぎ</u> だから、 <u>たいへ</u> <u>ぬれしい</u> です。 (1) (2) (3)	1発音 2Ad 副用 3A 発音
2543	中国 7 自由作文 12	あそこには、 <u>深く</u> 勉強できる <u>だろう</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ニ / - デ 2Ad 副 用 3スタイル
2544	中国 12 自由作文 11	すると、警察官に <u>きびしい</u> 質問されました。「名前 <u>は</u> 」、「国籍」、「保証人」、「住所」、「勤務先」、「 その電話番号」、「身元証明書」など、いろいろ <u>言いつ</u> められました。 (1) (2) (3)	1品詞 *A / - Ad 2取 立 *ハ / - O 3 V
2545	中国 15 自由作文 16	<u>今度</u> 毎日すこしずつ練習しなければならない。	Ad
2546	中国 16 自由作文 26	私は <u>いままで</u> まだ信じられません。	Ad

2547	中国 18 自由作文 3	来る前 <small>(1)</small> に日本のいろいろなものが必ず <small>(2)</small> 優れる <small>(3)</small> と思っ ていましたが。来てから <small>(4)</small> 自分の思っ <small>(5)</small> たとうり <small>(6)</small> と違っ <small>(7)</small> ています。	1取立 *ニ/ーハ 2Ad 3*ル/ーテイル 4複 V ーテミル 5条件 6 N 7*ル/ータ
2548	中国 19 自由作文 2	日本に来てからやがて半年 <small>(1)</small> になりました <small>(2)</small> 。	1Ad 2*タ/ール
2549	中国 19 自由作文 7	私ははじめて見てまさ <small>(1)</small> に驚 <small>(2)</small> きました。	1接 *テ形/ートキ 2Ad
2550	中国 20 自由作文 18	毎日電車に乗っているとき、電車 <small>(1)</small> でよく本を讀んでいる 人もいます <small>(2)</small> 。	1Ad 副用 2格 *モ/ー ガ
2551	中国 21 自由作文 6	はじめてにほんじんのはなしはぜんぜんわからなかった <small>(1)</small> まいにちねんしゅうするから、だんだんすこしわか <small>(2)</small> りなります <small>(3)</small> 。	1Ad 副用 2接 *0/ー ガ 3発音 表記 4*ル/ ーテイル 5VP *ル/ ータ
2552	中国 24 自由作文 10	そして、上手に日本語を話せれば <small>(1)</small> 、また時間 <small>(2)</small> がたくさ んかかると思 <small>(3)</small> っています。	1複 V 接 ー条件 2Ad 副用 3*テイル/ ール
2553	中国 24 自由作文 11	もし、私が日本へ来た目的はよくにほんごをべんきょう して <small>(1)</small> うるの <small>(2)</small> です <small>(3)</small> 。	1Ad 副用 2活用 3*ノ /ーコト
2554	中国 27 自由作文 13	しかしわたしはいまにほんごはあまりじょうずではあ りません <small>(1)</small> 。	Ad 取立 *ハ/ーガ
2555	中国 28 自由作文 4	わたしはかんじのいみ <small>(1)</small> がたいていわかりました <small>(2)</small> が、ひら がなとかたかなはぜんぶ <small>(3)</small> わかりませんでした。	1取立 *ガ/ーハ 2Ad
2556	中国 29 自由作文 2	わたしは日本へきた前 <small>(1)</small> に、にほんごはぜんぶ <small>(2)</small> はわか りません <small>(3)</small> 。	1*タ/ール 2取立 *ニ /ーハ 3Ad 副用 4*ル/ ータ
2557	中国 30 自由作文 3	いままでにほんごのちょっとすこし <small>(1)</small> きてたり <small>(2)</small> はなして たり <small>(3)</small> します <small>(4)</small> 。	1副用 2格 *ノ連/ー ヲ 3Ad 4,5活用
2558	中国 30 自由作文 6	きょうしつにせんせいはいっしょうけんのおしえて <small>(1)</small> 、 わたしたちはわからないことがあ <small>(2)</small> ったから <small>(3)</small> している「 なれ」というかこうで、なんとい <small>(4)</small> うけいようしであう。	1格 *ニ/ーデ 2Ad 発音 3接 *テ形 4条 件 *カラ/ータラ & 表現
2559	中国 31 自由作文 10	だいたいばんごはんのあとでふくしゅうをします。	Ad
2560	中国 31 自由作文 15	だいたいさんじっぶんぐらい、もう <small>(1)</small> べんきょうを <small>(2)</small> つづ いています <small>(3)</small> 。	1Ad *モウ 2*テイル 3自他
2561	中国 32 自由作文 3	今もう三ヶ月です。	Ad 副用
2562	中国 32 自由作文 12	今まで先生は教室で話すこと <small>(1)</small> が95パーセント以上 <small>(2)</small> 理解することができ <small>(3)</small> ます <small>(4)</small> 。	1Ad 副用 2取立 *ハ/ ーガ 3格 *ガ/ーノ 連 4*0/ーヲ
2563	中国 32 自由作文 15	これからはもっとも一生けんめいに日本語の勉強をしま す。	Ad
2564	中国 33 自由作文 12	いま、にほんごのことばはたくさん <small>(1)</small> 、ふゆやすみは <small>(2)</small> わたしがぜんぶ <small>(3)</small> の <small>(4)</small> にほんごのことば <small>(5)</small> はいっしょうけめ べんきょうします。	1活用 ー接 2取立 * ハ/ーニ 3*ガ/ーハ 4Ad 副用 5*ハ/ーヲ

第3章 語彙論

2565	中国 34 自由作文 4	にほんごはちゅうごくごと <u>だいたい</u> ちがいます。	Ad 副用
2566	中国 35 自由作文 4	わたしは日本語をはじめて <u>ならう</u> から <u>いままで</u> <u>じゅ</u> <u>うかけつ</u> <u>ぐらい</u> です。	1取立 *ハ/ーガ 2活用(V)一複V 3Ad 副用 4表記 5-V
2567	中国 35 自由作文 6	ひらがなとかたかなは <u>たくさん</u> かきますから、よみ方と かき方 <u>が</u> できます。	1Ad 2取立 *ガ/ーハ
2568	中国 42 自由作文 8	毎日、 <u>文部</u> や会話など <u>勉強</u> をして、 <u>毎週</u> 、作文の練 習 <u>する</u> ことがあります。	1N 2,4 格 *O /ーヲ 3Ad
2569	中国 42 自由作文 11	<u>時々</u> 、友達が先生に <u>きいている</u> <u>質問</u> は難しいから、 私達はその質問からいろいろな日本語を習うことができ ます。	1Ad 2V *テイル 3 取立 *ハ/ーガ 4接 *カラ/ーノデ
2570	中国 43 自由作文 17	さらいねんの三月に大学のにゅうがく試験があるから いまわたし <u>毎月</u> 一生懸命 <u>べんきゅう</u> しています。	1取立 *O /ーハ 2Ad 3発音
2571	中国 44 自由作文 3	そのまえににほんごが <u>ぜんぶ</u> わかりません。	1Ad 副用 2*ル/ータ
2572	中国 44 自由作文 8	にほんごがっこうにちゅうごくじんやアメリカじんや <u>マ</u> <u>ネシア</u> じんなどが <u>おおぜい</u> いますが <u>たいてい</u> ちゅうご くじんが <u>いちばん</u> おおぜい います。	1表記 2Ad 副用
2573	中国 45 自由作文 5	しかし、 <u>いまから</u> <u>たんたん</u> <u>むずかしく</u> なりますが、 <u>ど</u> <u>きとき</u> <u>すき</u> ではないに <u>べんきょう</u> します。	1Ad 副用 発音 2*ル/ ータ 複V 3 発音 4接 ーテモ
2574	中国 46 自由作文 20	わたしは <u>いまから</u> 一生懸命に <u>ほんご</u> <u>べんきょう</u> を します。	1Ad 副用 2格 *O /ー ノ連 3-ムード
2575	中国 47 自由作文 17	<u>い</u> <u>ご</u> <u>わたし</u> の <u>に</u> <u>ほんご</u> <u>が</u> <u>がんばり</u> <u>ほしい</u> 。	1副用 Ad 2取立格 * ノ連/ーハ 3格 *ガ/ ーヲ 4V
2576	中国 48 自由作文 5	だから、わたしは「にほんごはたいへんむずかしいです 」というかんがえを <u>だんだん</u> <u>おも</u> いただきます。	1Ad 副用 2V
2577	中国 48 自由作文 7	にほんごを <u>よく</u> <u>わが</u> <u>たら</u> 、にほんのふうぞくやにほ んじんを <u>はじめ</u> <u>に</u> <u>わが</u> <u>る</u> <u>はず</u> <u>だ</u> 。	1格 *ヲ/ーガ 2,5 発 音 3格 *ヲ/ーガ 4Ad 副用 6スタイル
2578	中国 48 自由作文 8	<u>ちゅうご</u> <u>じん</u> はにほんじん <u>に</u> <u>たいへん</u> <u>に</u> <u>て</u> います、 <u>かんがえ</u> <u>ぜんぜん</u> <u>ちが</u> います。	1発音 2Ad 副用 3N 4格 *O /ーガ
2579	中国 48 自由作文 11	まいにち <u>いっしょ</u> <u>げんめ</u> <u>べんきょう</u> をしています。	発音 Ad
2580	中国 50 自由作文 3	日本語を勉強する時、 <u>特別</u> に <u>文法</u> は一番難しいです。	副用 Ad
2581	中国 50 自由作文 11	日本の漢字と中国の漢字は <u>多分</u> 意味がちがいます。	副用 Ad
2582	中国 50 自由作文 16	日本の漢字は意味が沢山ありますが、正しいかどうか <u>な</u> <u>かな</u> わかりません。	副用 Ad
2583	中国 50 自由作文 20	私はこれから、 <u>きっと</u> 一生けんめいに日本語を勉強しま す。	副用 Ad

2584	中国 51 自由作文 11	わたしはこのことばを聞いたとき、心の中 <u>に</u> <u>うれしい</u> が、 <u>もっとも</u> <u>一生懸命日本語を勉強</u> <u>する</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>って</u> <u>いま</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ータ 3副用 Ad 4ムー ド 5*テイル/ータ
2585	中国 53 自由作文 7	先生は三人で <u>ぜんぶ</u> やさしいひとです。	Ad
2586	中国 57 自由作文 10	しかし、私は <u>たぶん</u> わかりません。	副用 Ad
2587	韓国 1 パターン作文 3	韓国は <u>まだ</u> マイカが全体人口の30%くらい <u>待</u> <u>って</u> <u>あり</u> <u>ます</u> 。	4否定 2取立(ーシカ) 3表記 1Ad マダ
2588	韓国 1 パターン作文 8	ですから <u>このころ</u> <u>たいてい</u> 地下鉄を <u>たいへん</u> <u>利用</u> <u>しま</u> <u>す</u> 。	1発音 2副用 Ad
2589	韓国 1 パターン作文 11	しかし韓国は開発途上国ですから <u>人達</u> <u>が</u> <u>たくさん</u> <u>忙</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>です</u> 。	1N 2副用 Ad
2590	韓国 2 パターン作文 6	韓国には <u>第一</u> <u>先</u> に齊州道から花の <u>消息</u> をききます。	1格 *ニは/ーデは 2Ad 3N
2591	韓国 2 パターン作文 8	では <u>日本</u> のよりも <u>ほうか</u> <u>すこし</u> <u>ふ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1C 2ノホウガ 発音 3Ad 副用
2592	韓国 2 パターン作文 9	夏には <u>たくさん</u> <u>暑</u> <u>です</u> 。	3表記 2Ad 1格(*ニ は/ー0は)
2593	韓国 4 自由作文 6	しかし韓国は西洋の文物を <u>流入</u> <u>した</u> <u>のが</u> <u>もう</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>3</u> <u>0</u> <u>年</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>。</u>	&表現 1接 ーテカラ 2Ad *モウ/ーマダ 3 発音 取立 シカ 4*タ /ール
2594	韓国 5 自由作文 2	日本の物価と韓国 <u>物価</u> とをくらべると日本の物価 <u>が</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>。</u>	4品詞 *NA/ーA 5ダ 1ーノ連 2熟語 ーノ ホウ 3Ad 副用
2595	韓国 6 自由作文 1	ラジオとテレビとくらべるとテレビのほうが <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	Ad 副用
2596	韓国 7 聴解要約 10	家族はヤンさんがおふろにはいり、歌う <u>こと</u> <u>を</u> <u>聞</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>全</u> <u>部</u> <u>わ</u> <u>ら</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>。</u>	1名詞節 2活用(V) 3 副用 Ad
2597	韓国 7 パターン作文 7	また大漁祭が春に行なわれるのは夏に主に漁るために <u>か</u> <u>ね</u> <u>に</u> <u>予</u> <u>祝</u> <u>儀</u> <u>礼</u> <u>で</u> <u>行</u> <u>な</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>。</u>	1Ad 2*デ/ートシテ (1)
2598	韓国 8 パターン作文 3	飛行機と船はみんな <u>危険</u> <u>します</u> 。	品詞(*V/ーNA) Ad
2599	韓国 9 パターン作文 7	しかしワープロの方がタイプライターより値段が高いで すから、まだ使う人が少しですが、 <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>範</u> <u>圍</u> <u>か</u> <u>広</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1Ad 副用 2表記 3発 音 4ダ スタイル
2600	韓国 12 パターン作文 4	その原因をあければ <u>第一</u> <u>建設</u> <u>作業</u> <u>が</u> <u>す</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>図</u> <u>面</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>工</u> <u>場</u> <u>で</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>部</u> <u>材</u> <u>を</u> <u>建</u> <u>設</u> <u>現</u> <u>場</u> <u>に</u> <u>運</u> <u>送</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>部</u> <u>材</u> <u>を</u> <u>組</u> <u>み</u> <u>合</u> <u>わ</u> <u>せ</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>建</u> <u>設</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>が</u> <u>ら</u> <u>工</u> <u>事</u> <u>期</u> <u>間</u> <u>を</u> <u>短</u> <u>縮</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>。</u>	5発音 6受身 2N 1Ad 3コソア 4活用
2601	韓国 13 パターン作文 9	ふるさとの母の牧場 <u>に</u> 情景はソウルの <u>わ</u> <u>た</u> <u>り</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>ほん</u> <u>と</u> <u>う</u> <u>美</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーノ連 2発 音 3副用 Ad

第3章 語彙論

2602	韓国 15 自由作文 5	しかし、時間が経つにつれて教える <u>仕方</u> が身につけて <u>どのくらい</u> 余裕ができるととてもおもしろかったです。	1N 2格 *ガ/ーヲ 3Ad 副用
2603	韓国 15 自由作文 7	しかし教えれば教えるほどむずかしいのが外国語 <u></u> とい <u>うのが</u> 気づいて、 <u>もっとも</u> 確実な日本語、正確な発音、 <u>さまざまな</u> 日本の言語および文化、さらに日本文学につ <u>いて</u> <u>勉強</u> したかったです。	1ーダ 2N *ノ/ーコ ト 3格 *が/ーニ 4Ad 副用 5VP
2604	韓国 16 自由作文 7	<u>早速</u> 、日本語になれて日本語の講義を聞かなければなら <u>ない</u> だろう。	Ad 副用
2605	韓国 17 自由作文 1	その間 <u>なかなか</u> ごぶさたしました。	1副用 コソア 2Ad
2606	韓国 19 自由作文 3	いま私が書きたいことは <u>また</u> <u>この</u> 生活にも慣れてい <u>ません</u> けど <u>その</u> 間 <u>日本で</u> <u>ときに</u> 私の研究室と研究科 <u>の</u> 雰囲気に対するものです。	1発音 2コソア 3Ad
2607	韓国 20 自由作文 5	学校はさんかいのたてもので、 <u>ちょうど</u> いいビルです。	発音 Ad 副用
2608	韓国 20 自由作文 10	韓国の漢字は日本の漢字が <u>いみがたい</u> へん <u>同じ</u> ですが、 <u>読の方</u> が <u>ちがいます</u> からです。	1格 *ガ/ート 2Ad 副 用 3複 N 4スタイル
2609	韓国 21 自由作文 3	それから <u>はじめに</u> <u>べんきょう</u> する <u>ときは</u> 日本の字はめ <u>ずらしい</u> とおもいました。	1c 2Ad 副用 3 *ル/ ータ
2610	韓国 21 自由作文 9	この学校にはいろいろな国から来た学生が <u>おせいい</u> いる <u>から</u> その人たちと一緒に国の風俗 <u>を</u> はなすときはとても <u>おもしろい</u> ですがみんな日本語がへただからまちかく知 <u>っている</u> こともあります。	1Ad 副用 発音 2格 * ヲ
2611	韓国 22 自由作文 15	私がおもって <u>日本語</u> は外国語 <u>から</u> 毎日 <u>すこし</u> 勉強を <u>したり</u> 会話を <u>はな</u> したりします。	1表現 2ーダ 3Ad 4V
2612	韓国 23 自由作文 2	いまの学校教育 <u>は</u> 社会生活と合わないことが <u>とても</u> <u>たくさん</u> あります。	1格 *O/ーニ 2Ad
2613	韓国 23 自由作文 3	例えば <u>すなわち</u> <u>内容</u> がなくて形式的な面が多い <u>です</u> 。	1Ad 2一名詞節
2614	韓国 26 自由作文 5	私のは <u>ほかに</u> の部屋より小さくて、6畳しかありません。	品詞 *Ad/ーN 副用
2615	韓国 26 自由作文 9	<u>今</u> 、私の部屋を紹介しましょう。	Ad 副用
2616	韓国 26 自由作文 18	私と <u>ほかに</u> の友達はすきなテレビが買ってある <u>けど</u> 、 <u>暇な</u> 時、 <u>本相</u> の上にのせているテレビをみます。	1品詞 *Ad/ーN 2接 *ケド/ーノデ 3表記
2617	韓国 28 自由作文 13	たとえ御主人 <u>は</u> <u>悪い態度</u> を <u>して</u> も、マリアは <u>仁義慈悲</u> <u>に</u> 対した。	1取立 *ハ/ーガ 2V 3Ad 副用
2618	韓国 28 自由作文 14	ある日、家 <u>は</u> 火事があって、火事現場から <u>もっとも</u> 幼 <u>い</u> こどもを <u>救</u> ったのに自分自身は <u>不幸</u> に <u>焼</u> かれて <u>いた</u> 。	1取立 ハ/ーニ 2Ad 3 複 V 4副用 5*テイル
2619	韓国 29 自由作文 2	<u>まず</u> 、 <u>なぜ</u> にかからないほうがいいでしょう。	C Ad

2620	韓国 29 自由作文 4	人々の体はほとんど同じだと思いますから、 <u>十分</u> な運動をします。	Ad
2621	韓国 29 自由作文 6	二番目 ⁽¹⁾ 、十分に <u>寝</u> ます。	1取立 *0 /-ハ 2- 名詞節 Ad 副用
2622	韓国 29 自由作文 8	でも寝すぎるのは <u>いっそ</u> 、体によくありませんからこれを注意したほうがいいと思います。	1Ad 2取立 *ヲ /-ハ
2623	韓国 29 自由作文 9	三番目 ⁽¹⁾ 、十分なえいようを <u>補充</u> します。	1取立 *0 /-ハ 2- 名詞節 Ad 副用
2624	韓国 29 自由作文 10	しかし、よるおそくたべすることは <u>だいふ</u> 体を <u>あらす</u> と思いますから <u>すなわち</u> やしょくはできればたべないほうがいいと思います。	1Ad 2V 3C
2625	韓国 29 自由作文 12	しかし <u>一番</u> 、重要なことがあります。	Ad
2626	韓国 29 自由作文 15	<u>なにも</u> まして <u>難</u> しい方法だと思います。	Ad 副用
2627	韓国 31 自由作文 3	日本は今 <u>世界中</u> に 有名な工業国です。	Ad 副用
2628	韓国 34 自由作文 2	私は <u>もっと</u> 専門的な都市計画という学問を学ぶために日本へやって来ました。	Ad 副用
2629	韓国 35 自由作文 2	まず、私が首相になったら <u>いくら</u> いいでしょうか。	Ad 副用
2630	韓国 35 自由作文 16	また昔に韓国人を <u>ちょっと</u> 差別して米国人を無条件承認している日本と関係を改めたいと思います。	Ad 副用
2631	ブラジル 2 自由作文 14	<u>多分</u> このハムは食べる人を <u>見</u> て おいしくなさそうです。	2発音 2Ad 副用 & 表現
2632	ブラジル 2 パターン作文 1	ブラジルと日本の <u>番</u> 大きいちがいは、ブラジル <u>は</u> クルザドで <u>使</u> う、日本人は円が <u>使</u> います。	1副用 Ad 2格 *0は / -デは 3格 *デ / -ヲ 4*ル /-連用形 5 格 *ガ /-ヲ 6名詞節
2633	アメリカ 2 自由作文 10	<u>始</u> めて 日本語を話してみたら <u>間違</u> うと軽蔑されるが黙っても軽蔑されてしまうというのは <u>例</u> 外ではありません。	1Ad 2接 条件 *クラ / -トキ 3N
2634	アメリカ 3 自由作文 4	いちも <u>あそ</u> んたり <u>ね</u> たりしました。	1発音 Ad 副用 2発音
2635	アメリカ 3 自由作文 13	わたしはいつもかんじが <u>いっしょ</u> れんめい <u>べんき</u> ょうして、まだほかの <u>べんき</u> ょう <u>へ</u> たです。	1Ad 副用 2取立 *0 / -ハ 3NA
2636	エジプト 1 自由作文 6	25分だけど体の調子は <u>もっと</u> よくなります。	Ad 副用
2637	エジプト 1 自由作文 9	日本語は <u>やや</u> 難しいので日本語の文法の先生になれる <u>か</u> うまく <u>通</u> 訳と <u>翻</u> 訳が出来る <u>か</u> わかりません。	1Ad 副用 2,3熟語
2638	インドネシア 2 聴解要約 9	まず <u>ぶ</u> っか が <u>四</u> 方円 で <u>ち</u> ょっと高いと <u>言</u> ったから、 <u>て</u> んいんは <u>ぶ</u> っかを <u>ふ</u> えて 四万二千元 <u>さ</u> いご <u>四</u> 方円になりました。	2表記 3条件 4V 5Ad 副用 1N

第3章 語彙論

2639	インドネシア 3 自由作文 8	たぶん <u>あのもり</u> <u>いる</u> <u>こと</u> <u>です</u> <u>から</u> 、私は学院 <u>とき</u> ⁽¹⁾ <u>もり</u> <u>学</u> <u>で</u> <u>べ</u> <u>とき</u> <u>よう</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ ⁽⁶⁾	1Ad 副用 2格 *0 /- ニ 3ムード 5 N 6表 記 4-ノ連
2640	タイ 4 自由作文 8	なるべく、「 <u>社会言語学</u> 」を研究するつもりです。	Ad
2641	香港 7 自由作文 68	前者の肉食率が後者よりも <u>もっと</u> 高い。	Ad 副用
2642	香港 9 短文作文 3	わたしはよく夜おそくまで勉強します。 <u>さいわいに</u> 、か らだがまだやはりつよいです。	Ad 副用
2643	香港 9 短文作文 6	時間は <u>とかくに</u> とても早く流れていきます。	Ad 副用
2644	香港 9 短文作文 7	<u>のびのびの</u> すきな勉強 <u>する</u> <u>こと</u> <u>という</u> <u>の</u> は、わたし ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ のいちばんのたのしみです。	1Ad 副用 2格 *0 /- ヲ 3名詞節
2645	香港 9 短文作文 8	一般的に言って、香港大学の学生は、 <u>ほとんど</u> 、いい学 生です。	発音 Ad 副用
2646	香港 10 短文作文 3	勉強したけれども、試験がむずかしくて <u>もう一度</u> 失敗し たが、しかたがない。	Ad 副用
2647	香港 11 短文作文 6	その文章の中で <u>とかくに</u> ありません。	Ad 副用
2648	香港 12 短文作文 3	私は <u>さいわい</u> 怪我がありませんね。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	2ムード 1Ad 副用
2649	香港 12 短文作文 8	一般的に言ってことばは <u>よく</u> やさしいです。	Ad 副用
2650	香港 13 短文作文 4	もうすぐ試験があるので、今から <u>むちゅう</u> で勉強しよう と思います。	Ad 副用
2651	香港 14 短文作文 6	<u>とかくに</u> 成功よりも失敗がずっとおおい。	Ad 副用
2652	香港 14 短文作文 10	せんたくやらそうじやらで、きのう <u>一日中</u> <u>ばたばた</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ いそがしかったです。	1取立 *0 /-ハ 2Ad 副用
2653	香港 15 短文作文 1	彼の流言を <u>せっかく</u> <u>聞き</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>。</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾	2活用 1Ad
2654	香港 16 短文作文 10	<u>一概には</u> 、学生たちは試験 <u>が</u> <u>きら</u> <u>がる</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	2格 *ガ /-ヲ 3V 1 副用 Ad
2655	香港 17 短文作文 10	香港大学の日本がっかに、 <u>一概には</u> 日本語と日本文化と いう二つの課程が含まれます。	副用 Ad
2656	香港 18 短文作文 6	わざわざここにきて、 <u>きっと</u> 多くの品物を買わなければ ならない。	副用 Ad
2657	香港 19 短文作文 12	寒さも暑も彼岸までだと <u>うまく</u> 言われる。	副用 Ad
2658	香港 21 短文作文 10	<u>一概には</u> 、子供たちは宿題をすることが <u>すき</u> <u>ない</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1副用 Ad 2品詞 活用 (NA)
2659	香港 22 短文作文 6	彼は遠くのところに住んでいる <u>けど</u> 、毎日 <u>わざわざ</u> <u>こ</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ の学校へ通って勉強します。	1スタイル 2Ad

2660	香港 22 短文作文 8	この地方は伝統芸術で有名で、 <u>一日中</u> <u>見きれない事</u> <u>が</u> <u>あります</u> 。 (1) (2)	2N 1Ad 副用
2661	香港 22 短文作文 10	<u>一概には</u> 、この <u>展覧会</u> はたいへん成功で、 <u>品物</u> がよく <u>売</u> れました。	Ad
2662	香港 23 自由作文 7	そこで、日本人は <u>全然</u> この読みかたに依存する <u>。</u> (1) (2)	1Ad 副用 2ムード
2663	香港 23 自由作文 8	日本の自分の <u>語言</u> 特色は <u>全然</u> 消失する <u>。</u> (1) (2) (3)	1N 2Ad 副用 3ムード
2664	香港 23 短文作文 19	<u>なまじ</u> 今朝早く起きた、 <u>行かない</u> ために遅刻しました。 (1) (2)	1Ad 2*ル/ータ
2665	香港 24 自由作文 2	<u>まずは</u> 、鈴木孝夫の「二本立て」と <u>おり</u> に、いまの日本語の表記法のままで、日常語彙と専門語彙は <u>連合</u> できる。 (1) (2)	2発音 1Ad 副用
2666	香港 24 短文作文 7	こんな証拠によって、 <u>必ずしも</u> <u>彼女は</u> <u>犯人だ</u> と <u>思わせ</u> ない、ほかの考えはない。 (1) (2) (3)	1Ad 2取立 *ハ/ーガ 3自発 使役
2667	香港 24 短文作文 18	<u>なまじ</u> 家を出たから、 <u>ゆうだん</u> して、かえって、 <u>学校</u> <u>を</u> おくれて来ている。 (1) (2) (3)	2発音 3格 *ヲ/ーニ 1Ad
2668	香港 25 自由作文 16	昔は日本という <u>地方</u> が外国人がこの <u>地方</u> が <u>知らない</u> から、 <u>すこし</u> 外国人がこの地方へ訪れた。 (1) (2) (3) (4)	1N 2格 *ガ/ーヲ 4Ad 副用 3*ル/ータ
2669	香港 25 短文作文 11	失ってみて、 <u>妻</u> は <u>私</u> に <u>何となく</u> 重要なことがよく <u>わ</u> かられた。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ニ/ーにトッテ 3Ad 4受身
2670	香港 26 自由作文 14	つまり、明治維新以前 <u>かなり</u> <u>鎖国</u> です。 (1) (2)	1副用 Ad 2品詞 *NA/ーN
2671	スリランカ 1 パターン作文 8	<u>あの</u> ときまた前あった <u>女</u> にあって <u>びっくり</u> しました。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 3,4発音 Ad 2N
2672	フランス 1 自由作文 7	ところで <u>一生</u> <u>け命</u> 筑波大学で一年半で言語学、形式名詞のことを勉強してから <u>たぶん</u> <u>言語学者</u> になるかという <u>気望</u> があります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1発音 表記 2Ad 副用 3VP 4表記 5V
2673	イラン 1 自由作文 19	しかしいなかではまだまだ <u>校</u> が <u>じゅぶん</u> なくて <u>だいぶ</u> ぶんのこどもはよく <u>教育</u> がうけられない。 (1) (2) (3) (4)	1N 2発音 4Ad 副用 5接 *テ形/ーノデ
2674	イラン 1 自由作文 20	やっぱり <u>その</u> <u>りょう</u> のためにイランと日本と <u>くらべ</u> てイランでは <u>もっと</u> <u>文盲</u> がいる。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,2発音 1副用 3格* 0/ーヲ 4接 *テ形/ ート 5Ad 副用
2675	イラン 1 パターン作文 2	でもイランのりょうりの方が日本のより <u>あぶらぎ</u> です。	Ad
2676	マレーシア 2 自由作文 9	<u>学こう</u> は <u>まい朝</u> <u>九時十三分</u> <u>ちょうど</u> <u>は</u> じまります。 (1) (2) (3) (4)	1,2表記 3Ad 副用 4格 *0/ーニ
2677	マレーシア 2 自由作文 11	私は <u>はじめ</u> に <u>日本</u> <u>ご</u> は <u>ぜんぜん</u> わかりませんでした。 (1) (2)	1Ad 副用 2取立 *ハ/ーガ
2678	マレーシア 2 自由作文 14	学こうのせんせいは <u>ぜんぶ</u> <u>しんせつ</u> です <u>ね</u> 。 (1) (2)	1Ad 副用 2スタイル
2679	マレーシア 3 自由作文 4	おにの話に、 <u>負け</u> たのは、いつも <u>悪い物</u> だから、 <u>サン・カンチルー</u> は <u>よく</u> <u>勝</u> っている。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーデ 2*タ/ー ール 3表現 4Ad 副用

2680	マレーシア 5 自由作文 14	それから、夜はみんな集って <u>いて</u> 、 <u>食べたり</u> 、 <u>飲んだり</u> 、 <u>しかも</u> 、 <u>歌を歌ったり</u> 、 <u>躍ったり</u> しました。 (1)	1*テイル 2Ad
2681	マレーシア 5 自由作文 18	<u>そのうち</u> 、 <u>付近</u> にある小さい工場や、農園などを見学しました。	Ad
2682	マレーシア 5 自由作文 22	だから、いつまでもあの時のことが私にとって <u>ずいぶん</u> <u>思い出</u> になっている <u>ので</u> あります。 (1)	1Ad 副用 2スタイル
2683	マレーシア 7 自由作文 3	この動物を <u>養う</u> 方法は、 <u>あまり</u> 、 <u>むずかしい</u> と思う。 (1) (2)	1V 2Ad 副用
2684	マレーシア 7 自由作文 5	この犬は、必ず、 <u>まだ</u> 、 <u>赤ちゃん</u> を生むといわれる。	Ad
2685	マレーシア 7 自由作文 8	そのあと、 <u>あまり</u> <u>暗い</u> 所に、 <u>おいて</u> いる。 (1) (2)	1Ad 2複V
2686	マレーシア 9 自由作文 3	この問題 <u>が</u> <u>いろいろ</u> <u>関係</u> がある、例えば、人々の <u>自私</u> の心、 <u>国と国</u> の貿易戦争など、 <u>これら</u> のために、 <u>世界</u> の経済がむかしよりわるくなってき <u>ます</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ガ/ーハ 2品詞 *Ad/ーNA 3,4N 5接 *O/ーデ 6*O/ーテイル
2687	マレーシア 9 自由作文 5	<u>外</u> は、 <u>国聯</u> の権力を使用して、必要な物の <u>価値</u> <u>が</u> <u>一つずつ</u> <u>実行</u> する <u>だけ</u> でなく、 <u>生産</u> も <u>固定</u> します。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1副用 Ad 2N 3N 4格 *ガ/ーヲ 5V 6V
2688	マレーシア 10 自由作文 10	それで、 <u>是非</u> <u>日本</u> へ留学しに行く <u>を</u> 考えた。 (1) (2)	1副用 Ad 2一名詞節
2689	マレーシア 10 自由作文 11	このようにして、 <u>こちら</u> から <u>速く</u> <u>日本</u> の学校をさがして、 <u>種種</u> 手続をしたあとで、 <u>やっと</u> 今年の四月二日に日本へ <u>行った</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2副用 Ad 3V
2690	マレーシア 13 自由作文 5	<u>ある時</u> 、 <u>いろいろ</u> な学科 <u>が</u> <u>同じ日</u> にテストをするのも <u>大変</u> なのです。 (1) (2)	1Ad 2格 *ガ/ーヲ
2691	マレーシア 13 自由作文 7	まず、 <u>女の学生</u> の髪が <u>自由に</u> <u>やります</u> 、 <u>せめて</u> 、 <u>清潔</u> にする <u>が</u> っていました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1複N 2格 *ガ/ーヲ 3V 4Ad 5複V
2692	マレーシア 17 自由作文 6	マレー人は <u>往々に</u> <u>優先権</u> を <u>あげ</u> させます。 (1) (2)	1Ad 副用 2受給 2使役 2V
2693	マレーシア 17 自由作文 12	法務の社員は <u>かならず</u> <u>マレー人</u> ではありません。	Ad 副用
2694	マレーシア 17 自由作文 20	もし、私が、マレーシアの首相になった <u>とき</u> 、 <u>国の政治</u> や経済など、 <u>きっと</u> 、 <u>進んで</u> いって、 <u>なります</u> 。 (1) (2) (3)	2Ad 副用 3接 *テ形 VP 1条件 *トキ/ーヲ
2695	マレーシア 18 自由作文 19	そして、新しい <u>医療方法</u> を使い、看護婦の態度 <u>が</u> <u>ぜひ</u> <u>良く</u> 変える。 (1) (2) (3) (4)	1N 3Ad 副用 4VP 自他 2格 *ガ/ーヲ
2696	マレーシア 18 自由作文 20	<u>できれば</u> 、 <u>私</u> が <u>一生懸命</u> 改革する <u>はずだ</u> 。 (1) (2) (3)	1Ad 2取立 *ガ/ーハ 3ムード
2697	マレーシア 20 自由作文 13	社員ふたり、 <u>みんな</u> <u>やさしく</u> て、 <u>真面目</u> な人だ。	Ad
2698	マレーシア 22 自由作文 13	でもついに <u>せっかく</u> <u>目的地</u> に着きました。	Ad
2699	マレーシア 22 自由作文 15	私達 <u>びっくり</u> させました。 (1) (2) (3)	1取立 *O/ーハ 2Ad 3使役

2700	マレーシア 29 自由作文 11	とにかく国民は愛国心を教わて、政治と教育と文化に ① ついて政策は平等に実施させます。 ② ③ ④ ⑤	1Ad 副用 2取立 *ハ/ -ニ 3V 4取立 *ハ/ -ニ 5使役
2701	マレーシア 30 自由作文 6	中国人やインド人などの生活水準は マレ人 より、 もっ ① と ② 高いです。	1表記 2Ad 副用
2702	マレーシア 30 自由作文 14	私は、 <u>かならず</u> この自然景色や海岸を保護しようと思 います。	Ad 副用
2703	マレーシア 30 自由作文 19	今、だけれども、国の経済や、国民の生活などすすんで いますが、もし、このいろいろの方をしたら、かならず、 ① 国の発展や国民の生活水準、経済などが <u>まえに</u> もっと早 ② くすすんでくると思います。	1N 2Ad
2704	スペイン 1 自由作文 5	女の人は <u>早い</u> <u>ご結婚</u> します。 ① ②	1Ad 副用 2V
2705	スペイン 1 自由作文 6	お茶を <u>入れた</u> 人は <u>やはり</u> わかい女の子 <u>。</u> ① ② ③	1*ル /-タ 2発音 Ad 副用 3-ダ
2706	スペイン 1 自由作文 8	私の国はこの <u>きびさ</u> がない、でもだいたい <u>社長さん</u> は ① ② <u>いつも</u> 男の人 <u>。</u> ③ ④	1N 2N 3Ad 副用 4 -ダ
2707	スペイン 2 聴解要約 10	<u>お友達</u> は <u>たいへん</u> わらった、彼はうたをうたうことは ① ② <u>上手</u> だったからである。 ③	3格 取立 *ハ /-ガ 1 N 2副用 Ad
2708	メキシコ 1 自由作文 6	しかし、もし山本さん は <u>まだ</u> その本を使いたいなら、 ① <u>必ず</u> 2週間たって、またお貸しします。 ②	1取立 *ハ /-ガ 2語 順 Ad
2709	イラク 1 自由作文 1	もし私が中国の大統領だったら、 <u>きっと</u> 支配階級に存在 ① している官僚主義を徹底的に <u>消滅</u> する。 ②	1Ad 2V 副V
2710	イラク 1 自由作文 2	官僚主義は長い年月 <u>以来</u> 、中国を <u>統治</u> する。 ① ②	1Ad 2-テイル
2711	インド 1 自由作文 6	このアパートの玄関を入ると <u>。</u> 私の部屋があります。	- Ad
2712	インド 6 自由作文 7	部屋のなかに <u>。</u> 北と西 <u>。</u> まどが <u>ふたつ</u> あります。 ① ② ③	1取立 *0 /-ハ 2格 *0 /-ニ 3数 Ad
2713	インド 6 自由作文 14	昼間ベットは <u>全部</u> ようふくのしたにいれてあります。	Ad
2714	インド 7 自由作文 9	私のふくは <u>全部</u> に <u>ふく</u> たんす <u>。</u> であります。 ① ② ③	1Ad 2格 *デ /-ニ 3 V
2715	インド 7 自由作文 11	日本へ来たばかりですから <u>丁度</u> 不便です。	Ad
2716	インド 8 自由作文 30	<u>みんなさん</u> <u>。</u> 、暇な時、私の部屋へ来ます。 ① ②	1Ad 2取立 *0 /-ハ
2717	インド 8 自由作文 31	私は <u>かならず</u> 、 <u>ねっしん</u> な招待します。 ① ②	1Ad 2活用 (Na) *ナ/ -ニ
2718	インド 9 自由作文 11	だから <u>ちょっと</u> <u>すこし</u> 不便です。 ① ②	1,2Ad
2719	インド 9 自由作文 14	ほかに <u>。</u> の物は <u>。</u> <u>たいたい</u> は <u>。</u> いられない ようです。 ① ② ③	1Ad 2発音 3活用 (V)
2720	インド 10 自由作文 22	<u>きっと</u> 辞書や、ノートや、日本語の本が <u>。</u> ならんで しょう。	Ad

第3章 語彙論

2721	インド 15 自由作文 2	私の部屋は入ると、台所とよくしつが <u>まっすぐ</u> ある <u>け</u> <u>ど</u> 、 <u>畳</u> の部屋も見えます。	1Ad 副用 2スタイル
2722	インド 18 自由作文 4	ですから家 <u>は</u> <u>すっきり</u> <u>すむ</u> のはしあわせですね。	1取立 *ハ/-ニ 2Ad 副用 &表現
2723	インド 18 自由作文 29	にしに窓がありますから、なつなら、 <u>ごご</u> <u>とき</u> 日がちよ くしゃして <u>もっと</u> <u>あつ</u> くなります。	1接 *トキ 2Ad 副用
2724	インド 18 自由作文 34	<u>もし</u> <u>じしん</u> のときゆらゆらするようす <u>、</u> <u>おもしろい</u> そ うです。	1Ad 副用 2取立 *0 / -ハ
2725	インド 20 自由作文 13	しかしほかのふたり <u>ひと</u> は <u>大分</u> の時間 <u>が</u> うちにいま せん。	1数 2Ad 副用 3格 * ガ/-0
2726	インド 20 自由作文 14	ですから、 <u>屋</u> の台所、冷蔵庫、洗濯機、などの用品は <u>大分</u> <u>自分</u> で使います。	1表記 2Ad 副用
2727	インド 21 自由作文 18	日本 <u>には</u> <u>また</u> <u>遠い</u> 地方へ <u>行き</u> ません <u>が</u> 夏休み <u>の時</u> <u>山</u> と海へ行きたいです。	1格 *ニは/-デは 2 発音 Ad 副用 3*ル/ -テイル 4副用
2728	インド 24 自由作文 38	<u>ある時</u> 、窓をあけて、下に住ん <u>る</u> <u>いる</u> の <u>友達</u> <u>話</u> し ます。	1Ad 副用 2? 3体修 * ノ連/-0 4格 *0 / -ト
2729	インド 26 自由作文 20	彼女の明朗な態度と <u>豊か</u> の <u>教養</u> と勤勉な学習態度、今 までも <u>深刻</u> に <u>私の心</u> の底に <u>残</u> こている。	1品詞 *N/-NA 2格 *マデ 3副用 Ad 4発 音
2730	インド 28 自由作文 12	<u>こちそち</u> <u>平和</u> の <u>気分</u> <u>が</u> あつて、みんな <u>幸せ</u> に生活 <u>し</u> <u>て</u> 、これは、いいことではありませんか。	1Ad コソア 2N 3カ ク *0/-ガ 4条件 * テ形 /-バ
2731	インド 29 自由作文 9	一方、やさしいおよめさんはいつも <u>細心</u> に <u>おじいさん</u> を お世話 <u>に</u> なりました。	1Ad 副用 2複V
2732	インド 29 自由作文 11	夜中に皆なで寝る時はおじいさんが <u>なんか</u> いに <u>呼ん</u> でも きて <u>し</u> かられなかつた <u>で</u> した。	1Ad 副用 数 2*テ形 3*ダ スタイル
2733	インド 29 自由作文 15	毎日、同じ <u>の</u> <u>仕事</u> を <u>や</u> つて <u>あ</u> まりにも <u>偉大</u> <u>で</u> した。	1品詞 *ノ/-0 体修 2*テ形 3Ad 副用 4NA
2734	インド 30 自由作文 16	いまでも、おじが <u>やさしい</u> で <u>く</u> れたことを、いつも <u>思</u> い出す <u>も</u> のです。	1Ad 副用 2V 3-テ イル 4ムード
2735	インド 31 自由作文 4	それは今私達の生活 <u>には</u> <u>ほとんど</u> 「 <u>広告</u> 」というもの を <u>取</u> り囲んでいるという事である。	1格 *ニハ/-ヲ 2Ad 3格 *ヲ/-ガ
2736	インド 31 自由作文 5	私たちが毎日 <u>見</u> た <u>の</u> <u>テレビ</u> 、 <u>新聞</u> 、 <u>雑誌</u> と <u>毎日</u> <u>通</u> つ <u>た</u> <u>商店街</u> 、 <u>駅</u> 、 <u>デパート</u> などに <u>確</u> か <u>広</u> 告というものが 入り込んでいる。	1,4*タ/-テイル 2* ノ連 3並N *ト/-ソ シテ 5Ad 副用
2737	インド 31 自由作文 11	もしこの様々 <u>と</u> <u>おもしろい</u> <u>広告</u> 画 <u>が</u> <u>それ</u> <u>毎日</u> <u>辛</u> い、 心配、緊張している <u>の</u> <u>会社員</u> に対して、 <u>助</u> けることがあ れば、 <u>広</u> 告は私達にとって大切なものである。	1並V *ト 体修 2N 3Ad 4-連用形 5*ノ 連

2738	インド 32 自由作文 6	長間 に気をつけると、私はおなかがすいても、すかなく (1) ても、 <u>ふだんに</u> 食べています、ことに、焼物が一番すき (2) です。	1,2Ad 副用
2739	インド 32 自由作文 10	特に、 <u>今</u> 寒くなると、熱量が <u>需要</u> なので、たくさんた (1) べなくてははいけません。(2)	1Ad 副用 2NA
2740	インド 33 自由作文 2	ハイロン・キャイラというひとは目もみえないしみみも きこえないし、話も <u>はきり</u> ではありません。	発音 表記 品詞 副用 Ad
2741	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭があたかかったが <u>富裕</u> ではな (1) かったから、ほかの子供にうらやましいでした、 <u>毎度</u> 、 (2) (3) 友達が <u>いっぱい</u> おもちゃをもっている <u>とき</u> 、私は <u>金</u> (4) <u>もちさん</u> になって、もっと <u>多い</u> おもちゃをもっている (5) (6) (7) 夢をつくた。 (8) (9)	1NA 2格 *ニ/ーガ 3 活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *ト キ/ート 7N 8A 9V 発音
2742	インド 33 自由作文 6	その日まで、私は感動しました、彼女に感謝しました、 この話におこされました、不満足なかんじも <u>たくさん</u> (1) 減少しました、私よりずっとかわいそうな人が <u>いっぱい</u> (2) いる、かていのこうふくは私にとって極度な幸運ではあ りませんか。	1V 2Ad 副用
2743	インド 33 自由作文 7	人間 <u>は</u> <u>いちばん</u> いるものは物質的なものより精神的な (1) (2) ほうが <u>大切</u> と思います。 (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2Ad 副用 3品詞 *N/ー NA &表現
2744	インド 35 自由作文 6	夜、 <u>寝中</u> に 足がですから、突然に涙きました。	Ad 副用
2745	インド 38 自由作文 3	<u>特別</u> に、子どものころ、いろいろなことが思いだせます、 おもしろい物があるかと思えば、悲しい物もあります。	Ad 副用
2746	インド 39 自由作文 6	私の町 <u>は</u> <u>山</u> がふたつ <u>別</u> あります。 (1) (2)	1格 *0は/ーニは 2Ad
2747	インド 39 自由作文 11	私が行く <u>多い</u> 山は、 <u>もちろん</u> 植物がある山 <u>でした</u> 。 (1) (2) (3)	1A 副用 2Ad 副用 3 発音
2748	インド 39 自由作文 19	<u>ひま</u> は先生と一緒に山へ行くことができました。	Ad 副用
2749	インド 40 自由作文 10	<u>次</u> は、 <u>かぜ</u> がはやっている時、人があつまっている所へ 行ってはいけません。	Ad 副用
2750	インド 40 自由作文 12	<u>第三</u> は、 <u>休み時</u> 、運動場でスポーツをやったほうがい (1) いと思います。	1Ad 副用 2複N 副用
2751	インド 40 自由作文 14	かぜは <u>あまり</u> ひどい 病気ですが、不注意 <u>なら</u> 、肺病に (1) なりやすいです。(2)	1Ad 副用 2接 条件 * ナラ/ート
2752	インド 52 自由作文 3	というのは、私の国にまだ <u>注目</u> されなくて <u>ほとんど</u> (1) (2) (3) (4) アメリカから伝えられました。	1副用 2格 *で0/ー でハ 3複V 4Ad 副用
2753	インド 52 自由作文 4	<u>近い</u> ころ <u>多く</u> 人事管理によって問題が <u>でき</u> ているの (1) (2) (3) で <u>ほか</u> の 人事に <u>面</u> して 管理 と 知識がほしいと思っ (4) (5) (6) ています。	1Ad 副用 2語順 副用 3複V 発音 4副用 5* にメンシテ 6並N * ト/ーヤ

第3章 語彙論

2754	インド 52 自由作文 6	日本の経営管理のやり方は日本の経済を <u>進んで</u> ばかりでなく国民のゆとりも <u>だんだん</u> <u>あたえ</u> させています。 (1) (2) (3)	1 自他 接 *テ形 /ータ 2 Ad 副用 3 使役
2755	フィンランド 2 自由作文 20	<u>わかりませんの</u> ことばは <u>時</u> <u>辞書</u> <u>が</u> <u>すぐ</u> <u>しら</u> べます。 (1) (2) (3)	1 *体修 2 Ad 3 格 *ガ /ーデ
2756	フィンランド 4 自由作文 3	<u>全部</u> 食事の必需品がおいてあります。	副用 Ad 語順
2757	フィンランド 8 自由作文 2	<u>今から</u> <u>どん</u> <u>どん</u> <u>さ</u> <u>む</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	Ad
2758	フィンランド 8 自由作文 13	<u>少し</u> <u>ね</u> <u>る</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> 、 <u>体</u> <u>が</u> <u>よ</u> <u>わ</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1 Ad 2 接 条件 否定
2759	フィンランド 8 自由作文 15	<u>最後</u> <u>でも</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>食</u> <u>べ</u> <u>物</u> <u>を</u> <u>食</u> <u>べ</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>よ</u> 。 (1) (2) (3)	1, 2 Ad 3 一名詞節
2760	フィンランド 8 自由作文 16	もし、いつも <u>お</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>か</u> 、 <u>ケ</u> <u>ー</u> <u>キ</u> <u>と</u> <u>か</u> 、 <u>ク</u> <u>ー</u> <u>キ</u> <u>を</u> <u>食</u> <u>べ</u> 、 (1) (2) <u>ビ</u> <u>ー</u> <u>ル</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>お</u> <u>酒</u> <u>を</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>飲</u> <u>み</u> 、 <u>外</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>ば</u> 、 <u>体</u> <u>が</u> <u>ふ</u> <u>っ</u> <u>せ</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> 、 <u>病</u> <u>気</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>簡</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (3) (4) (5) (6) (7)	1, 2, 5 発音 表記 3 Ad 4 N 6 名詞節 7 取立 * ガ /ーハ

3.10. 連体詞 [AN]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
2761	韓国 30 自由作文 4	小蓮という映画の <u>主要人物</u> は、とても苦しい生活を <u>過</u> <u>ぎて</u> 、8才の時、 <u>かぞく</u> の生活費のために、 <u>町</u> にある 金持ちの家で <u>働</u> かなければならない。 (1) (2) (3) (4)	1N 2V 3体修 AN 4*ル/ータ
2762	アメリカ 1 聴解要約 1	ヤンさん <u>が</u> あるの <u>日</u> 。 (1) (2)	1格 *ガ/ーノ連 2体 修 AN
2763	アメリカ 1 自由作文 14	ある <u>市内住宅</u> は大へん <u>ひどい</u> <u>し</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>に</u> <u>引</u> <u>越</u> <u>し</u> <u>し</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ば</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>者</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1AN 3,4発音 5ノ連 6 ダ 2ー連用形
2764	香港 15 短文作文 10	<u>大</u> <u>き</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>あ</u> <u>る</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>子</u> <u>供</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>い</u> <u>く</u> <u>親</u> <u>類</u> <u>は</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>を</u> <u>と</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	2表現 6V 3語順 1活 用(A) 4ノ連 3AN 5*ル/ータ
2765	香港 26 短文作文 5	<u>部</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>は</u> <u>男</u> <u>性</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>に</u> <u>長</u> <u>く</u> <u>髪</u> <u>の</u> <u>毛</u> <u>を</u> <u>禁</u> <u>止</u> <u>す</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	2N 3A 1AN 4ーテ イル
2766	イラン 1 自由作文 7	イサハーハンは <u>一</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>イ</u> <u>ラ</u> <u>ン</u> <u>の</u> <u>古</u> <u>い</u> <u>町</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	語順 数 AN
2767	マレーシア 17 自由作文 13	<u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>で</u> 、 <u>一</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>国</u> <u>で</u> <u>文</u> <u>部</u> <u>も</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1AN 2取立
2768	フィンランド 2 自由作文 19	<u>と</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>ベ</u> <u>ッ</u> <u>ト</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1ーAN 2取立 *0/ー ハ

3.11. コソア

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
2769	台湾 1 パターン作文 12	四、五月で梅雨が <u>できる</u> 、湿度が <u>高い</u> だ、そして、 <u>あの</u> 時、 <u>かび</u> が生える。	4コソア 2V 1格 *デ /-ニ 3*ダ 品詞 (*NA/-A)
2770	台湾 1 パターン作文 19	だから、 <u>この時</u> の <u>前</u> に、政府と民間とが防災のために、いろいろな仕事を <u>やって</u> おきます。	&スタイル コソア
2771	台湾 1 パターン作文 26	しかし、人間的な関係が <u>だんだん</u> <u>遠い</u> 、 <u>そう</u> 一つに、人工受精ということには <u>男女</u> の <u>関係</u> が <u>生育</u> の <u>機能</u> のため <u>だけ</u> が、 <u>情愛</u> が <u>だんだん</u> <u>うすい</u> 。	2コソア 1A 1,7VP 5格 *ニは /-デは 6接(*ガ)
2772	台湾 2 聴解要約 7	奥さんは <u>この</u> おみやげの <u>包装</u> を開いた。	コソア
2773	台湾 8 自由作文 4	<u>そのような</u> わけで今年の4月に日本へ来ました。	コソア
2774	台湾 9 自由作文 4	<u>その</u> <u>様</u> に私達 <u>子供</u> の <u>三人</u> を育てた。	1コソア 2N 3語順
2775	台湾 12 自由作文 11	論文を <u>専念</u> に <u>書く</u> 途中に <u>そんな</u> ような無理なことをたのんでご迷惑をかけて御めんなさい。	1Ad 副用 2コソア
2776	台湾 20 自由作文 3	<u>最近</u> 、二十年来、政府と人民と、 <u>一生懸命</u> に、 <u>農業社会</u> を <u>工商社会</u> にする <u>方針</u> に <u>奮励</u> しています。	1Ad -コソア 2取立 *0 /-ハ 3複 N 4N 5V
2777	台湾 21 自由作文 2	<u>ところで</u> <u>決して</u> <u>自分の専門</u> のみについて勉強するのではなくて、 <u>自分の興味</u> を持つことと、 <u>あの</u> <u>国</u> の <u>特有</u> のことを勉強する <u>わけだ</u> と思っています。	1C 2Ad 3コソア 4ムード
2778	台湾 21 自由作文 3	だから、 <u>私</u> は <u>留学生</u> だったら、言葉が一番基本的なものでも <u>もちろん</u> 勉強しなければならないが、一番勉強したいことは、 <u>あの</u> <u>国</u> の <u>文化</u> とか <u>歴史</u> とかの <u>こと</u> です。	1取立 *ハ /-ガ 2コソア 3並 N 4*コト
2779	台湾 23 自由作文 7	<u>その</u> とき、 <u>私</u> たちはいつも <u>整理</u> 、 <u>再整理</u> しました。	1コソア 副用 2表現 V
2780	台湾 23 自由作文 10	夏休みの第三週は、 <u>こちら</u> <u>そちら</u> で遊んだり、食べたり、とても <u>楽し</u> だ。	1コソア 副用 2V 表記
2781	台湾 23 自由作文 12	<u>その</u> 時、 <u>国</u> の <u>両親</u> から電話が <u>あ</u> った。	1コソア 副用 2発音 表記
2782	台湾 25 自由作文 12	<u>そんなに</u> <u>悲惨</u> の <u>映画</u> を <u>見た</u> <u>当時</u> <u>わたし</u> まで涙を流しました。	1コソア 2品詞 *N /-NA 3接 *体修 /-テ形
2783	台湾 25 自由作文 13	<u>そういう</u> <u>映画</u> は <u>ほんと</u> に心から <u>す</u> っかり感動しました。	1コソア 2取立 *0は /-ニは
2784	中国 3 聴解要約 12	<u>この</u> 庭の <u>門</u> が <u>立派</u> です <u>ね</u> 。	1コソア 2取立 *ガ /-ハ 3ムード
2785	中国 3 絵を見ての作文 1	<u>その</u> とき、 <u>雨</u> が <u>ザー</u> ー <u>ザー</u> ふっていました。	コソア
2786	中国 11 自由作文 8	でも <u>あの</u> <u>人</u> は <u>ど</u> しても <u>帰</u> えられ <u>ませ</u> ん。	1コソア 2発音 3活用

2787	中国 12 自由作文 5	その わけで自転車を買いました。	コソア
2788	中国 12 自由作文 17	ここで私はびっくりしました。	コソア
2789	中国 14 自由作文 21	あまり遠くない の 将来、人々の知識水準が高くなる ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ ⁽⁶⁾ ⁽⁷⁾ ⁽⁸⁾ ⁽⁹⁾ ⁽¹⁰⁾ ⁽¹¹⁾ ⁽¹²⁾ ⁽¹³⁾ ⁽¹⁴⁾ ⁽¹⁵⁾ ⁽¹⁶⁾ ⁽¹⁷⁾ ⁽¹⁸⁾ ⁽¹⁹⁾ ⁽²⁰⁾ ⁽²¹⁾ ⁽²²⁾ ⁽²³⁾ ⁽²⁴⁾ ⁽²⁵⁾ ⁽²⁶⁾ ⁽²⁷⁾ ⁽²⁸⁾ ⁽²⁹⁾ ⁽³⁰⁾ ⁽³¹⁾ ⁽³²⁾ ⁽³³⁾ ⁽³⁴⁾ ⁽³⁵⁾ ⁽³⁶⁾ ⁽³⁷⁾ ⁽³⁸⁾ ⁽³⁹⁾ ⁽⁴⁰⁾ ⁽⁴¹⁾ ⁽⁴²⁾ ⁽⁴³⁾ ⁽⁴⁴⁾ ⁽⁴⁵⁾ ⁽⁴⁶⁾ ⁽⁴⁷⁾ ⁽⁴⁸⁾ ⁽⁴⁹⁾ ⁽⁵⁰⁾ ⁽⁵¹⁾ ⁽⁵²⁾ ⁽⁵³⁾ ⁽⁵⁴⁾ ⁽⁵⁵⁾ ⁽⁵⁶⁾ ⁽⁵⁷⁾ ⁽⁵⁸⁾ ⁽⁵⁹⁾ ⁽⁶⁰⁾ ⁽⁶¹⁾ ⁽⁶²⁾ ⁽⁶³⁾ ⁽⁶⁴⁾ ⁽⁶⁵⁾ ⁽⁶⁶⁾ ⁽⁶⁷⁾ ⁽⁶⁸⁾ ⁽⁶⁹⁾ ⁽⁷⁰⁾ ⁽⁷¹⁾ ⁽⁷²⁾ ⁽⁷³⁾ ⁽⁷⁴⁾ ⁽⁷⁵⁾ ⁽⁷⁶⁾ ⁽⁷⁷⁾ ⁽⁷⁸⁾ ⁽⁷⁹⁾ ⁽⁸⁰⁾ ⁽⁸¹⁾ ⁽⁸²⁾ ⁽⁸³⁾ ⁽⁸⁴⁾ ⁽⁸⁵⁾ ⁽⁸⁶⁾ ⁽⁸⁷⁾ ⁽⁸⁸⁾ ⁽⁸⁹⁾ ⁽⁹⁰⁾ ⁽⁹¹⁾ ⁽⁹²⁾ ⁽⁹³⁾ ⁽⁹⁴⁾ ⁽⁹⁵⁾ ⁽⁹⁶⁾ ⁽⁹⁷⁾ ⁽⁹⁸⁾ ⁽⁹⁹⁾ ⁽¹⁰⁰⁾ ⁽¹⁰¹⁾ ⁽¹⁰²⁾ ⁽¹⁰³⁾ ⁽¹⁰⁴⁾ ⁽¹⁰⁵⁾ ⁽¹⁰⁶⁾ ⁽¹⁰⁷⁾ ⁽¹⁰⁸⁾ ⁽¹⁰⁹⁾ ⁽¹¹⁰⁾ ⁽¹¹¹⁾ ⁽¹¹²⁾ ⁽¹¹³⁾ ⁽¹¹⁴⁾ ⁽¹¹⁵⁾ ⁽¹¹⁶⁾ ⁽¹¹⁷⁾ ⁽¹¹⁸⁾ ⁽¹¹⁹⁾ ⁽¹²⁰⁾ ⁽¹²¹⁾ ⁽¹²²⁾ ⁽¹²³⁾ ⁽¹²⁴⁾ ⁽¹²⁵⁾ ⁽¹²⁶⁾ ⁽¹²⁷⁾ ⁽¹²⁸⁾ ⁽¹²⁹⁾ ⁽¹³⁰⁾ ⁽¹³¹⁾ ⁽¹³²⁾ ⁽¹³³⁾ ⁽¹³⁴⁾ ⁽¹³⁵⁾ ⁽¹³⁶⁾ ⁽¹³⁷⁾ ⁽¹³⁸⁾ ⁽¹³⁹⁾ ⁽¹⁴⁰⁾ ⁽¹⁴¹⁾ ⁽¹⁴²⁾ ⁽¹⁴³⁾ ⁽¹⁴⁴⁾ ⁽¹⁴⁵⁾ ⁽¹⁴⁶⁾ ⁽¹⁴⁷⁾ ⁽¹⁴⁸⁾ ⁽¹⁴⁹⁾ ⁽¹⁵⁰⁾ ⁽¹⁵¹⁾ ⁽¹⁵²⁾ ⁽¹⁵³⁾ ⁽¹⁵⁴⁾ ⁽¹⁵⁵⁾ ⁽¹⁵⁶⁾ ⁽¹⁵⁷⁾ ⁽¹⁵⁸⁾ ⁽¹⁵⁹⁾ ⁽¹⁶⁰⁾ ⁽¹⁶¹⁾ ⁽¹⁶²⁾ ⁽¹⁶³⁾ ⁽¹⁶⁴⁾ ⁽¹⁶⁵⁾ ⁽¹⁶⁶⁾ ⁽¹⁶⁷⁾ ⁽¹⁶⁸⁾ ⁽¹⁶⁹⁾ ⁽¹⁷⁰⁾ ⁽¹⁷¹⁾ ⁽¹⁷²⁾ ⁽¹⁷³⁾ ⁽¹⁷⁴⁾ ⁽¹⁷⁵⁾ ⁽¹⁷⁶⁾ ⁽¹⁷⁷⁾ ⁽¹⁷⁸⁾ ⁽¹⁷⁹⁾ ⁽¹⁸⁰⁾ ⁽¹⁸¹⁾ ⁽¹⁸²⁾ ⁽¹⁸³⁾ ⁽¹⁸⁴⁾ ⁽¹⁸⁵⁾ ⁽¹⁸⁶⁾ ⁽¹⁸⁷⁾ ⁽¹⁸⁸⁾ ⁽¹⁸⁹⁾ ⁽¹⁹⁰⁾ ⁽¹⁹¹⁾ ⁽¹⁹²⁾ ⁽¹⁹³⁾ ⁽¹⁹⁴⁾ ⁽¹⁹⁵⁾ ⁽¹⁹⁶⁾ ⁽¹⁹⁷⁾ ⁽¹⁹⁸⁾ ⁽¹⁹⁹⁾ ⁽²⁰⁰⁾ ⁽²⁰¹⁾ ⁽²⁰²⁾ ⁽²⁰³⁾ ⁽²⁰⁴⁾ ⁽²⁰⁵⁾ ⁽²⁰⁶⁾ ⁽²⁰⁷⁾ ⁽²⁰⁸⁾ ⁽²⁰⁹⁾ ⁽²¹⁰⁾ ⁽²¹¹⁾ ⁽²¹²⁾ ⁽²¹³⁾ ⁽²¹⁴⁾ ⁽²¹⁵⁾ ⁽²¹⁶⁾ ⁽²¹⁷⁾ ⁽²¹⁸⁾ ⁽²¹⁹⁾ ⁽²²⁰⁾ ⁽²²¹⁾ ⁽²²²⁾ ⁽²²³⁾ ⁽²²⁴⁾ ⁽²²⁵⁾ ⁽²²⁶⁾ ⁽²²⁷⁾ ⁽²²⁸⁾ ⁽²²⁹⁾ ⁽²³⁰⁾ ⁽²³¹⁾ ⁽²³²⁾ ⁽²³³⁾ ⁽²³⁴⁾ ⁽²³⁵⁾ ⁽²³⁶⁾ ⁽²³⁷⁾ ⁽²³⁸⁾ ⁽²³⁹⁾ ⁽²⁴⁰⁾ ⁽²⁴¹⁾ ⁽²⁴²⁾ ⁽²⁴³⁾ ⁽²⁴⁴⁾ ⁽²⁴⁵⁾ ⁽²⁴⁶⁾ ⁽²⁴⁷⁾ ⁽²⁴⁸⁾ ⁽²⁴⁹⁾ ⁽²⁵⁰⁾ ⁽²⁵¹⁾ ⁽²⁵²⁾ ⁽²⁵³⁾ ⁽²⁵⁴⁾ ⁽²⁵⁵⁾ ⁽²⁵⁶⁾ ⁽²⁵⁷⁾ ⁽²⁵⁸⁾ ⁽²⁵⁹⁾ ⁽²⁶⁰⁾ ⁽²⁶¹⁾ ⁽²⁶²⁾ ⁽²⁶³⁾ ⁽²⁶⁴⁾ ⁽²⁶⁵⁾ ⁽²⁶⁶⁾ ⁽²⁶⁷⁾ ⁽²⁶⁸⁾ ⁽²⁶⁹⁾ ⁽²⁷⁰⁾ ⁽²⁷¹⁾ ⁽²⁷²⁾ ⁽²⁷³⁾ ⁽²⁷⁴⁾ ⁽²⁷⁵⁾ ⁽²⁷⁶⁾ ⁽²⁷⁷⁾ ⁽²⁷⁸⁾ ⁽²⁷⁹⁾ ⁽²⁸⁰⁾ ⁽²⁸¹⁾ ⁽²⁸²⁾ ⁽²⁸³⁾ ⁽²⁸⁴⁾ ⁽²⁸⁵⁾ ⁽²⁸⁶⁾ ⁽²⁸⁷⁾ ⁽²⁸⁸⁾ ⁽²⁸⁹⁾ ⁽²⁹⁰⁾ ⁽²⁹¹⁾ ⁽²⁹²⁾ ⁽²⁹³⁾ ⁽²⁹⁴⁾ ⁽²⁹⁵⁾ ⁽²⁹⁶⁾ ⁽²⁹⁷⁾ ⁽²⁹⁸⁾ ⁽²⁹⁹⁾ ⁽³⁰⁰⁾ ⁽³⁰¹⁾ ⁽³⁰²⁾ ⁽³⁰³⁾ ⁽³⁰⁴⁾ ⁽³⁰⁵⁾ ⁽³⁰⁶⁾ ⁽³⁰⁷⁾ ⁽³⁰⁸⁾ ⁽³⁰⁹⁾ ⁽³¹⁰⁾ ⁽³¹¹⁾ ⁽³¹²⁾ ⁽³¹³⁾ ⁽³¹⁴⁾ ⁽³¹⁵⁾ ⁽³¹⁶⁾ ⁽³¹⁷⁾ ⁽³¹⁸⁾ ⁽³¹⁹⁾ ⁽³²⁰⁾ ⁽³²¹⁾ ⁽³²²⁾ ⁽³²³⁾ ⁽³²⁴⁾ ⁽³²⁵⁾ ⁽³²⁶⁾ ⁽³²⁷⁾ ⁽³²⁸⁾ ⁽³²⁹⁾ ⁽³³⁰⁾ ⁽³³¹⁾ ⁽³³²⁾ ⁽³³³⁾ ⁽³³⁴⁾ ⁽³³⁵⁾ ⁽³³⁶⁾ ⁽³³⁷⁾ ⁽³³⁸⁾ ⁽³³⁹⁾ ⁽³⁴⁰⁾ ⁽³⁴¹⁾ ⁽³⁴²⁾ ⁽³⁴³⁾ ⁽³⁴⁴⁾ ⁽³⁴⁵⁾ ⁽³⁴⁶⁾ ⁽³⁴⁷⁾ ⁽³⁴⁸⁾ ⁽³⁴⁹⁾ ⁽³⁵⁰⁾ ⁽³⁵¹⁾ ⁽³⁵²⁾ ⁽³⁵³⁾ ⁽³⁵⁴⁾ ⁽³⁵⁵⁾ ⁽³⁵⁶⁾ ⁽³⁵⁷⁾ ⁽³⁵⁸⁾ ⁽³⁵⁹⁾ ⁽³⁶⁰⁾ ⁽³⁶¹⁾ ⁽³⁶²⁾ ⁽³⁶³⁾ ⁽³⁶⁴⁾ ⁽³⁶⁵⁾ ⁽³⁶⁶⁾ ⁽³⁶⁷⁾ ⁽³⁶⁸⁾ ⁽³⁶⁹⁾ ⁽³⁷⁰⁾ ⁽³⁷¹⁾ ⁽³⁷²⁾ ⁽³⁷³⁾ ⁽³⁷⁴⁾ ⁽³⁷⁵⁾ ⁽³⁷⁶⁾ ⁽³⁷⁷⁾ ⁽³⁷⁸⁾ ⁽³⁷⁹⁾ ⁽³⁸⁰⁾ ⁽³⁸¹⁾ ⁽³⁸²⁾ ⁽³⁸³⁾ ⁽³⁸⁴⁾ ⁽³⁸⁵⁾ ⁽³⁸⁶⁾ ⁽³⁸⁷⁾ ⁽³⁸⁸⁾ ⁽³⁸⁹⁾ ⁽³⁹⁰⁾ ⁽³⁹¹⁾ ⁽³⁹²⁾ ⁽³⁹³⁾ ⁽³⁹⁴⁾ ⁽³⁹⁵⁾ ⁽³⁹⁶⁾ ⁽³⁹⁷⁾ ⁽³⁹⁸⁾ ⁽³⁹⁹⁾ ⁽⁴⁰⁰⁾ ⁽⁴⁰¹⁾ ⁽⁴⁰²⁾ ⁽⁴⁰³⁾ ⁽⁴⁰⁴⁾ ⁽⁴⁰⁵⁾ ⁽⁴⁰⁶⁾ ⁽⁴⁰⁷⁾ ⁽⁴⁰⁸⁾ ⁽⁴⁰⁹⁾ ⁽⁴¹⁰⁾ ⁽⁴¹¹⁾ ⁽⁴¹²⁾ ⁽⁴¹³⁾ ⁽⁴¹⁴⁾ ⁽⁴¹⁵⁾ ⁽⁴¹⁶⁾ ⁽⁴¹⁷⁾ ⁽⁴¹⁸⁾ ⁽⁴¹⁹⁾ ⁽⁴²⁰⁾ ⁽⁴²¹⁾ ⁽⁴²²⁾ ⁽⁴²³⁾ ⁽⁴²⁴⁾ ⁽⁴²⁵⁾ ⁽⁴²⁶⁾ ⁽⁴²⁷⁾ ⁽⁴²⁸⁾ ⁽⁴²⁹⁾ ⁽⁴³⁰⁾ ⁽⁴³¹⁾ ⁽⁴³²⁾ ⁽⁴³³⁾ ⁽⁴³⁴⁾ ⁽⁴³⁵⁾ ⁽⁴³⁶⁾ ⁽⁴³⁷⁾ ⁽⁴³⁸⁾ ⁽⁴³⁹⁾ ⁽⁴⁴⁰⁾ ⁽⁴⁴¹⁾ ⁽⁴⁴²⁾ ⁽⁴⁴³⁾ ⁽⁴⁴⁴⁾ ⁽⁴⁴⁵⁾ ⁽⁴⁴⁶⁾ ⁽⁴⁴⁷⁾ ⁽⁴⁴⁸⁾ ⁽⁴⁴⁹⁾ ⁽⁴⁵⁰⁾ ⁽⁴⁵¹⁾ ⁽⁴⁵²⁾ ⁽⁴⁵³⁾ ⁽⁴⁵⁴⁾ ⁽⁴⁵⁵⁾ ⁽⁴⁵⁶⁾ ⁽⁴⁵⁷⁾ ⁽⁴⁵⁸⁾ ⁽⁴⁵⁹⁾ ⁽⁴⁶⁰⁾ ⁽⁴⁶¹⁾ ⁽⁴⁶²⁾ ⁽⁴⁶³⁾ ⁽⁴⁶⁴⁾ ⁽⁴⁶⁵⁾ ⁽⁴⁶⁶⁾ ⁽⁴⁶⁷⁾ ⁽⁴⁶⁸⁾ ⁽⁴⁶⁹⁾ ⁽⁴⁷⁰⁾ ⁽⁴⁷¹⁾ ⁽⁴⁷²⁾ ⁽⁴⁷³⁾ ⁽⁴⁷⁴⁾ ⁽⁴⁷⁵⁾ ⁽⁴⁷⁶⁾ ⁽⁴⁷⁷⁾ ⁽⁴⁷⁸⁾ ⁽⁴⁷⁹⁾ ⁽⁴⁸⁰⁾ ⁽⁴⁸¹⁾ ⁽⁴⁸²⁾ ⁽⁴⁸³⁾ ⁽⁴⁸⁴⁾ ⁽⁴⁸⁵⁾ ⁽⁴⁸⁶⁾ ⁽⁴⁸⁷⁾ ⁽⁴⁸⁸⁾ ⁽⁴⁸⁹⁾ ⁽⁴⁹⁰⁾ ⁽⁴⁹¹⁾ ⁽⁴⁹²⁾ ⁽⁴⁹³⁾ ⁽⁴⁹⁴⁾ ⁽⁴⁹⁵⁾ ⁽⁴⁹⁶⁾ ⁽⁴⁹⁷⁾ ⁽⁴⁹⁸⁾ ⁽⁴⁹⁹⁾ ⁽⁵⁰⁰⁾ ⁽⁵⁰¹⁾ ⁽⁵⁰²⁾ ⁽⁵⁰³⁾ ⁽⁵⁰⁴⁾ ⁽⁵⁰⁵⁾ ⁽⁵⁰⁶⁾ ⁽⁵⁰⁷⁾ ⁽⁵⁰⁸⁾ ⁽⁵⁰⁹⁾ ⁽⁵¹⁰⁾ ⁽⁵¹¹⁾ ⁽⁵¹²⁾ ⁽⁵¹³⁾ ⁽⁵¹⁴⁾ ⁽⁵¹⁵⁾ ⁽⁵¹⁶⁾ ⁽⁵¹⁷⁾ ⁽⁵¹⁸⁾ ⁽⁵¹⁹⁾ ⁽⁵²⁰⁾ ⁽⁵²¹⁾ ⁽⁵²²⁾ ⁽⁵²³⁾ ⁽⁵²⁴⁾ ⁽⁵²⁵⁾ ⁽⁵²⁶⁾ ⁽⁵²⁷⁾ ⁽⁵²⁸⁾ ⁽⁵²⁹⁾ ⁽⁵³⁰⁾ ⁽⁵³¹⁾ ⁽⁵³²⁾ ⁽⁵³³⁾ ⁽⁵³⁴⁾ ⁽⁵³⁵⁾ ⁽⁵³⁶⁾ ⁽⁵³⁷⁾ ⁽⁵³⁸⁾ ⁽⁵³⁹⁾ ⁽⁵⁴⁰⁾ ⁽⁵⁴¹⁾ ⁽⁵⁴²⁾ ⁽⁵⁴³⁾ ⁽⁵⁴⁴⁾ ⁽⁵⁴⁵⁾ ⁽⁵⁴⁶⁾ ⁽⁵⁴⁷⁾ ⁽⁵⁴⁸⁾ ⁽⁵⁴⁹⁾ ⁽⁵⁵⁰⁾ ⁽⁵⁵¹⁾ ⁽⁵⁵²⁾ ⁽⁵⁵³⁾ ⁽⁵⁵⁴⁾ ⁽⁵⁵⁵⁾ ⁽⁵⁵⁶⁾ ⁽⁵⁵⁷⁾ ⁽⁵⁵⁸⁾ ⁽⁵⁵⁹⁾ ⁽⁵⁶⁰⁾ ⁽⁵⁶¹⁾ ⁽⁵⁶²⁾ ⁽⁵⁶³⁾ ⁽⁵⁶⁴⁾ ⁽⁵⁶⁵⁾ ⁽⁵⁶⁶⁾ ⁽⁵⁶⁷⁾ ⁽⁵⁶⁸⁾ ⁽⁵⁶⁹⁾ ⁽⁵⁷⁰⁾ ⁽⁵⁷¹⁾ ⁽⁵⁷²⁾ ⁽⁵⁷³⁾ ⁽⁵⁷⁴⁾ ⁽⁵⁷⁵⁾ ⁽⁵⁷⁶⁾ ⁽⁵⁷⁷⁾ ⁽⁵⁷⁸⁾ ⁽⁵⁷⁹⁾ ⁽⁵⁸⁰⁾ ⁽⁵⁸¹⁾ ⁽⁵⁸²⁾ ⁽⁵⁸³⁾ ⁽⁵⁸⁴⁾ ⁽⁵⁸⁵⁾ ⁽⁵⁸⁶⁾ ⁽⁵⁸⁷⁾ ⁽⁵⁸⁸⁾ ⁽⁵⁸⁹⁾ ⁽⁵⁹⁰⁾ ⁽⁵⁹¹⁾ ⁽⁵⁹²⁾ ⁽⁵⁹³⁾ ⁽⁵⁹⁴⁾ ⁽⁵⁹⁵⁾ ⁽⁵⁹⁶⁾ ⁽⁵⁹⁷⁾ ⁽⁵⁹⁸⁾ ⁽⁵⁹⁹⁾ ⁽⁶⁰⁰⁾ ⁽⁶⁰¹⁾ ⁽⁶⁰²⁾ ⁽⁶⁰³⁾ ⁽⁶⁰⁴⁾ ⁽⁶⁰⁵⁾ ⁽⁶⁰⁶⁾ ⁽⁶⁰⁷⁾ ⁽⁶⁰⁸⁾ ⁽⁶⁰⁹⁾ ⁽⁶¹⁰⁾ ⁽⁶¹¹⁾ ⁽⁶¹²⁾ ⁽⁶¹³⁾ ⁽⁶¹⁴⁾ ⁽⁶¹⁵⁾ ⁽⁶¹⁶⁾ ⁽⁶¹⁷⁾ ⁽⁶¹⁸⁾ ⁽⁶¹⁹⁾ ⁽⁶²⁰⁾ ⁽⁶²¹⁾ ⁽⁶²²⁾ ⁽⁶²³⁾ ⁽⁶²⁴⁾ ⁽⁶²⁵⁾ ⁽⁶²⁶⁾ ⁽⁶²⁷⁾ ⁽⁶²⁸⁾ ⁽⁶²⁹⁾ ⁽⁶³⁰⁾ ⁽⁶³¹⁾ ⁽⁶³²⁾ ⁽⁶³³⁾ ⁽⁶³⁴⁾ ⁽⁶³⁵⁾ ⁽⁶³⁶⁾ ⁽⁶³⁷⁾ ⁽⁶³⁸⁾ ⁽⁶³⁹⁾ ⁽⁶⁴⁰⁾ ⁽⁶⁴¹⁾ ⁽⁶⁴²⁾ ⁽⁶⁴³⁾ ⁽⁶⁴⁴⁾ ⁽⁶⁴⁵⁾ ⁽⁶⁴⁶⁾ ⁽⁶⁴⁷⁾ ⁽⁶⁴⁸⁾ ⁽⁶⁴⁹⁾ ⁽⁶⁵⁰⁾ ⁽⁶⁵¹⁾ ⁽⁶⁵²⁾ ⁽⁶⁵³⁾ ⁽⁶⁵⁴⁾ ⁽⁶⁵⁵⁾ ⁽⁶⁵⁶⁾ ⁽⁶⁵⁷⁾ ⁽⁶⁵⁸⁾ ⁽⁶⁵⁹⁾ ⁽⁶⁶⁰⁾ ⁽⁶⁶¹⁾ ⁽⁶⁶²⁾ ⁽⁶⁶³⁾ ⁽⁶⁶⁴⁾ ⁽⁶⁶⁵⁾ ⁽⁶⁶⁶⁾ ⁽⁶⁶⁷⁾ ⁽⁶⁶⁸⁾ ⁽⁶⁶⁹⁾ ⁽⁶⁷⁰⁾ ⁽⁶⁷¹⁾ ⁽⁶⁷²⁾ ⁽⁶⁷³⁾ ⁽⁶⁷⁴⁾ ⁽⁶⁷⁵⁾ ⁽⁶⁷⁶⁾ ⁽⁶⁷⁷⁾ ⁽⁶⁷⁸⁾ ⁽⁶⁷⁹⁾ ⁽⁶⁸⁰⁾ ⁽⁶⁸¹⁾ ⁽⁶⁸²⁾ ⁽⁶⁸³⁾ ⁽⁶⁸⁴⁾ ⁽⁶⁸⁵⁾ ⁽⁶⁸⁶⁾ ⁽⁶⁸⁷⁾ ⁽⁶⁸⁸⁾ ⁽⁶⁸⁹⁾ ⁽⁶⁹⁰⁾ ⁽⁶⁹¹⁾ ⁽⁶⁹²⁾ ⁽⁶⁹³⁾ ⁽⁶⁹⁴⁾ ⁽⁶⁹⁵⁾ ⁽⁶⁹⁶⁾ ⁽⁶⁹⁷⁾ ⁽⁶⁹⁸⁾ ⁽⁶⁹⁹⁾ ⁽⁷⁰⁰⁾ ⁽⁷⁰¹⁾ ⁽⁷⁰²⁾ ⁽⁷⁰³⁾ ⁽⁷⁰⁴⁾ ⁽⁷⁰⁵⁾ ⁽⁷⁰⁶⁾ ⁽⁷⁰⁷⁾ ⁽⁷⁰⁸⁾ ⁽⁷⁰⁹⁾ ⁽⁷¹⁰⁾ ⁽⁷¹¹⁾ ⁽⁷¹²⁾ ⁽⁷¹³⁾ ⁽⁷¹⁴⁾ ⁽⁷¹⁵⁾ ⁽⁷¹⁶⁾ ⁽⁷¹⁷⁾ ⁽⁷¹⁸⁾ ⁽⁷¹⁹⁾ ⁽⁷²⁰⁾ ⁽⁷²¹⁾ ⁽⁷²²⁾ ⁽⁷²³⁾ ⁽⁷²⁴⁾ ⁽⁷²⁵⁾ ⁽⁷²⁶⁾ ⁽⁷²⁷⁾ ⁽⁷²⁸⁾ ⁽⁷²⁹⁾ ⁽⁷³⁰⁾ ⁽⁷³¹⁾ ⁽⁷³²⁾ ⁽⁷³³⁾ ⁽⁷³⁴⁾ ⁽⁷³⁵⁾ ⁽⁷³⁶⁾ ⁽⁷³⁷⁾ ⁽⁷³⁸⁾ ⁽⁷³⁹⁾ ⁽⁷⁴⁰⁾ ⁽⁷⁴¹⁾ ⁽⁷⁴²⁾ ⁽⁷⁴³⁾ ⁽⁷⁴⁴⁾ ⁽⁷⁴⁵⁾ ⁽⁷⁴⁶⁾ ⁽⁷⁴⁷⁾ ⁽⁷⁴⁸⁾ ⁽⁷⁴⁹⁾ ⁽⁷⁵⁰⁾ ⁽⁷⁵¹⁾ ⁽⁷⁵²⁾ ⁽⁷⁵³⁾ ⁽⁷⁵⁴⁾ ⁽⁷⁵⁵⁾ ⁽⁷⁵⁶⁾ ⁽⁷⁵⁷⁾ ⁽⁷⁵⁸⁾ ⁽⁷⁵⁹⁾ ⁽⁷⁶⁰⁾ ⁽⁷⁶¹⁾ ⁽⁷⁶²⁾ ⁽⁷⁶³⁾ ⁽⁷⁶⁴⁾ ⁽⁷⁶⁵⁾ ⁽⁷⁶⁶⁾ ⁽⁷⁶⁷⁾ ⁽⁷⁶⁸⁾ ⁽⁷⁶⁹⁾ ⁽⁷⁷⁰⁾ ⁽⁷⁷¹⁾ ⁽⁷⁷²⁾ ⁽⁷⁷³⁾ ⁽⁷⁷⁴⁾ ⁽⁷⁷⁵⁾ ⁽⁷⁷⁶⁾ ⁽⁷⁷⁷⁾ ⁽⁷⁷⁸⁾ ⁽⁷⁷⁹⁾ ⁽⁷⁸⁰⁾ ⁽⁷⁸¹⁾ ⁽⁷⁸²⁾ ⁽⁷⁸³⁾ ⁽⁷⁸⁴⁾ ⁽⁷⁸⁵⁾ ⁽⁷⁸⁶⁾ ⁽⁷⁸⁷⁾ ⁽⁷⁸⁸⁾ ⁽⁷⁸⁹⁾ ⁽⁷⁹⁰⁾ ⁽⁷⁹¹⁾ ⁽⁷⁹²⁾ ⁽⁷⁹³⁾ ⁽⁷⁹⁴⁾ ⁽⁷⁹⁵⁾ ⁽⁷⁹⁶⁾ ⁽⁷⁹⁷⁾ ⁽⁷⁹⁸⁾ ⁽⁷⁹⁹⁾ ⁽⁸⁰⁰⁾ ⁽⁸⁰¹⁾ ⁽⁸⁰²⁾ ⁽⁸⁰³⁾ ⁽⁸⁰⁴⁾ ⁽⁸⁰⁵⁾ ⁽⁸⁰⁶⁾ ⁽⁸⁰⁷⁾ ⁽⁸⁰⁸⁾ ⁽⁸⁰⁹⁾ ⁽⁸¹⁰⁾ ⁽⁸¹¹⁾ ⁽⁸¹²⁾ ⁽⁸¹³⁾ ⁽⁸¹⁴⁾ ⁽⁸¹⁵⁾ ⁽⁸¹⁶⁾ ⁽⁸¹⁷⁾ ⁽⁸¹⁸⁾ ⁽⁸¹⁹⁾ ⁽⁸²⁰⁾ ⁽⁸²¹⁾ ⁽⁸²²⁾ ⁽⁸²³⁾ ⁽⁸²⁴⁾ ⁽⁸²⁵⁾ ⁽⁸²⁶⁾ ⁽⁸²⁷⁾ ⁽⁸²⁸⁾ ⁽⁸²⁹⁾ ⁽⁸³⁰⁾ ⁽⁸³¹⁾ ⁽⁸³²⁾ ⁽⁸³³⁾ ⁽⁸³⁴⁾ ⁽⁸³⁵⁾ ⁽⁸³⁶⁾ ⁽⁸³⁷⁾ ⁽⁸³⁸⁾ ⁽⁸³⁹⁾ ⁽⁸⁴⁰⁾ ⁽⁸⁴¹⁾ ⁽⁸⁴²⁾ ⁽⁸⁴³⁾ ⁽⁸⁴⁴⁾ ⁽⁸⁴⁵⁾ ⁽⁸⁴⁶⁾ ⁽⁸⁴⁷⁾ ⁽⁸⁴⁸⁾ ⁽⁸⁴⁹⁾ ⁽⁸⁵⁰⁾ ⁽⁸⁵¹⁾ ⁽⁸⁵²⁾ ⁽⁸⁵³⁾ ⁽⁸⁵⁴⁾ ⁽⁸⁵⁵⁾ ⁽⁸⁵⁶⁾ ⁽⁸⁵⁷⁾ ⁽⁸⁵⁸⁾ ⁽⁸⁵⁹⁾ ⁽⁸⁶⁰⁾ ⁽⁸⁶¹⁾ ⁽⁸⁶²⁾ ⁽⁸⁶³⁾ ⁽⁸⁶⁴⁾ ⁽⁸⁶⁵⁾ ⁽⁸⁶⁶⁾ ⁽⁸⁶⁷⁾ ⁽⁸⁶⁸⁾ ⁽⁸⁶⁹⁾ ⁽⁸⁷⁰⁾ ⁽⁸⁷¹⁾ ⁽⁸⁷²⁾ ⁽⁸⁷³⁾ ⁽⁸⁷⁴⁾ ⁽⁸⁷⁵⁾ ⁽⁸⁷⁶⁾ ⁽⁸⁷⁷⁾ ⁽⁸⁷⁸⁾ ⁽⁸⁷⁹⁾ ⁽⁸⁸⁰⁾ ⁽⁸⁸¹⁾ ⁽⁸⁸²⁾ ⁽⁸⁸³⁾ ⁽⁸⁸⁴⁾ ⁽⁸⁸⁵⁾ ⁽⁸⁸⁶⁾ ⁽⁸⁸⁷⁾ ⁽⁸⁸⁸⁾ ⁽⁸⁸⁹⁾ ⁽⁸⁹⁰⁾ ⁽⁸⁹¹⁾ ⁽⁸⁹²⁾ ⁽⁸⁹³⁾ ⁽⁸⁹⁴⁾ ⁽⁸⁹⁵⁾ ⁽⁸⁹⁶⁾ ⁽⁸⁹⁷⁾ ⁽⁸⁹⁸⁾ ⁽⁸⁹⁹⁾ ⁽⁹⁰⁰⁾ ⁽⁹⁰¹⁾ ⁽⁹⁰²⁾ ⁽⁹⁰³⁾ ⁽⁹⁰⁴⁾ ⁽⁹⁰⁵⁾ ⁽⁹⁰⁶⁾ ⁽⁹⁰⁷⁾ ⁽⁹⁰⁸⁾ ⁽⁹⁰⁹⁾ ⁽⁹¹⁰⁾ ⁽⁹¹¹⁾ ⁽⁹¹²⁾ ⁽⁹¹³⁾ ⁽⁹¹⁴⁾ ⁽⁹¹⁵⁾ ⁽⁹¹⁶⁾ ⁽⁹¹⁷⁾ ⁽⁹¹⁸⁾ ⁽⁹¹⁹⁾ ⁽⁹²⁰⁾ ⁽⁹²¹⁾ ⁽⁹²²⁾ ⁽⁹²³⁾ ⁽⁹²⁴⁾ ⁽⁹²⁵⁾ ⁽⁹²⁶⁾ ⁽⁹²⁷⁾ ⁽⁹²⁸⁾ ⁽⁹²⁹⁾ ⁽⁹³⁰⁾ ⁽⁹³¹⁾ ⁽⁹³²⁾ ⁽⁹³³⁾ ⁽⁹³⁴⁾ ⁽⁹³⁵⁾ ⁽⁹³⁶⁾ ⁽⁹³⁷⁾ ⁽⁹³⁸⁾ ⁽⁹³⁹⁾ ⁽⁹⁴⁰⁾ ⁽⁹⁴¹⁾ ⁽⁹⁴²⁾ ⁽⁹⁴³⁾ ⁽⁹⁴⁴⁾ ⁽⁹⁴⁵⁾ ⁽⁹⁴⁶⁾ ⁽⁹⁴⁷⁾ ⁽⁹⁴⁸⁾ ⁽⁹⁴⁹⁾ ⁽⁹⁵⁰⁾ ⁽⁹⁵¹⁾ ⁽⁹⁵²⁾ ⁽⁹⁵³⁾ ⁽⁹⁵⁴⁾ ⁽⁹⁵⁵⁾ ⁽⁹⁵⁶⁾ ⁽⁹⁵⁷⁾ ⁽⁹⁵⁸⁾ ⁽⁹⁵⁹⁾ ⁽⁹⁶⁰⁾ ⁽⁹⁶¹⁾ ⁽⁹⁶²⁾ ⁽⁹⁶³⁾ ⁽⁹⁶⁴⁾ ⁽⁹⁶⁵⁾ ⁽⁹⁶⁶⁾ ⁽⁹⁶⁷⁾ ⁽⁹⁶⁸⁾ ⁽⁹⁶⁹⁾ ⁽⁹⁷⁰⁾ ⁽⁹⁷¹⁾ ⁽⁹⁷²⁾ ⁽⁹⁷³⁾ ⁽⁹⁷⁴⁾ ⁽⁹⁷⁵⁾ ⁽⁹⁷⁶⁾ ⁽⁹⁷⁷⁾ ⁽⁹⁷⁸⁾ ⁽⁹⁷⁹⁾ ⁽⁹⁸⁰⁾ ⁽⁹⁸¹⁾ ⁽⁹⁸²⁾ ⁽⁹⁸³⁾ ⁽⁹⁸⁴⁾ ⁽⁹⁸⁵⁾ ⁽⁹⁸⁶⁾ ⁽⁹⁸⁷⁾ ⁽⁹⁸⁸⁾ ⁽⁹⁸⁹⁾ ⁽⁹⁹⁰⁾ ⁽⁹⁹¹⁾ ⁽⁹⁹²⁾ ⁽⁹⁹³⁾ ⁽⁹⁹⁴⁾ ⁽⁹⁹⁵⁾ ⁽⁹⁹⁶⁾ ⁽⁹⁹⁷⁾ ⁽⁹⁹⁸⁾ ⁽⁹⁹⁹⁾ ⁽¹⁰⁰⁰⁾	1*ノ連 2一名詞節 3 コソア 4格 *ニ / ガ 5活用 6複V ーテ イク
2790	中国 15 自由作文 3	「いモを洗うように混雑しているでしょう、このような 情景は東京 には 珍しくないですよ。」とおばあさんが そう 言った。	1格 *ニは /ーデは 2 コソア
2791	中国 15 自由作文 4	日本へ来る前に、「東京の人口は約一千二百万ぐらい、 世界中に 一の大都市で、 中には、新宿が挙げられてい る。」と私は そういう 噂 が 聞いて東京に来たのだ。	1複N 2,3副用 4*テ イル/ール 5コソア 6*トイウ 7格 *ガ/ー ヲ
2792	中国 15 自由作文 8	しかし、電車があまり込んでいたため、あの人 は やは り 電車の中へ掛け込む の を できなかった。	1コソア 2副用 3名詞 節 ーコト 4格 *ヲ/ ーガ 5VP
2793	中国 15 自由作文 11	急いで歩いているうちに、あの人 は 後から私の前に行っ てしまった。	コソア
2794	中国 15 自由作文 13	皆も あの人 のスピートに 驚かれた のだ。	1コソア 2受身 使役 3*ノダ
2795	中国 15 自由作文 14	東京には あの人 のように 歩く スピト を持っている人 はきつと多い。	1コソア 2ーA 3発音 4ムード
2796	中国 17 自由作文 7	けれども、後は 「すみません」とか、「失礼いたします 」とかよく聞こえます。日本はさすが文明国だとしみじ み思っています。	1コソア 2格 *ハ/ー デ
2797	中国 17 自由作文 15	という 点になると、今のような日本を 建てた 事実を見 ると、不思議なことだと思いますか。	1*トイウ *コソア 2 V 3ムード
2798	中国 18 自由作文 7	それ を 比べたら日本の消防隊員の動作 が 本当に遅いと 思っています。	1コソア 2取立 *ガ/ ーハ 3*テイル/ータ
2799	中国 19 自由作文 9	私はそれを見て「あの人 は教育も いい し、お金もある し、なぜ普通の生活をしないで、浮浪者になっている でしょう。」と考えましたが、聞くと 「仕事がしたく ない ですよ。」との返事がしました。	1コソア 2A 3接 ー ノニ 4スタイル 5条件 *ト/ートラ 6 接 ーカラ 7ーダ
2800	中国 31 自由作文 18	そしてまいにちかならず これを たくさんれんしゅうして います。	コソア
2801	中国 47 自由作文 12	みち であるいて、その ひと は むじかしかった こと が たずけてあげ ます たき は、にほんご で はなしてつ かうます。	1,10格 *デ/ーヲ 2* 0 /ーテイル 3*コソ ア/ー0 4取立 *ハ/ ーガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト/ーノ 7格 *ガ/ーヲ 8スタイ ル 11VP 発音
2802	中国 59 自由作文 4	そんな おおきい国けれども、電気設備等の物の 産量 が 低い ですよ。	1コソア 2N 3A

第3章 語彙論

2803	韓国 9 パターン作文 11	これが季節風です。	コソア
2804	韓国 12 パターン作文 4	その原因をあければ 第一 建設作業がすんだらその図面によって工場で作られる 部材 を建設現場に運送して この 部材を 組み合わせして 建設する ながら 工事期間を短縮 される ことができる。	5発音 6受身 2N 1Ad 3コソア 4活用
2805	韓国 17 自由作文 1	その間 なかなか ごぶさたしました。	1副用 コソア 2Ad
2806	韓国 17 自由作文 8	でも私はまだ実力もないし、無理かも 思いましたが、やっぱりこれは身分の体のための運動ですから、出戦 その 自体に意味を 与えよう と思います。	1ー引用 2コソア 3発音 ムード
2807	韓国 19 自由作文 3	いま私が書きたいことは一 また この生活にも慣れていませんけどー その 間日本で ときに 私の研究室と研究科の雰囲気に対するものです。	1発音 2コソア 3Ad
2808	韓国 24 自由作文 18	私が こう 日本語を話せるのは全部先生のおかげで こう 日本語をすこしは話せると思いました。	&表現 1コソア 2コソア
2809	韓国 26 自由作文 13	これから、テニスコートが見えます。	コソア
2810	韓国 26 自由作文 14	そして、コタツを置っているがわのかべに窓があるから、昼間の時、いつも そんなに 明るいです。	1活用 (V) 2副用 3コソア
2811	韓国 31 自由作文 14	日本はなぜ そんな 短い時間 に 世界 ひとつ 工業国 になる か という 原因が知りたいです。	1コソア 2格 *ニ/ー デ 3数 4*ル/ータ 5接 *トイウ
2812	韓国 34 自由作文 3	というのは、私が国には その ついて、まだ 発展されな い し、大学でもそんな科目の時間が 少なくなかった んです。	1コソア 2受身 3表記
2813	韓国 35 自由作文 3	それは人間にはなにより 栄光 だろうと思います。	1コソア 2N
2814	韓国 35 自由作文 17	今は そう じゃないと思います。	コソア
2815	ブラジル 2 自由作文 3	バイアは 古町 から その ところにたくさんきょうかいがある。	1活用(A) 体修 2ダ 3コソア
2816	ブラジル 2 自由作文 4	その きょうかいはポルトガルの しんぷさん たちが たっ てました。	1コソア 2N 3発音 4スタイル
2817	ブラジル 2 自由作文 7	その 女性たちは、バイアりょうりを作ります。	コソア
2818	アメリカ 1 パターン作文 5	アーパート のほうは、部屋がひろくて そんな きたない しでは ありません。	1発音 2コソア 副用 3A 活用 *並A
2819	インドネシア 3 パターン作文 5	これに対して この もりは あまりすくない ですからインドネシアの さいふ の アイデア ということです。	1コソア 2A 3N 4表記
2820	タイ 2 自由作文 13	この びんのそばにコップもあります。	コソア

2821	タイ 5 パターン作文 5	<u>この</u> 家がとても気に入りました。	コソア
2822	タイ 5 パターン作文 6	そしてヤンさんは <u>この</u> 家に引っ越しました。	コソア
2823	香港 4 自由作文 8	<u>この</u> <u>中</u> に江戸時代の教育は専攻の中心です。 (1) (2) (3)	1コソア 2格 *ニ/ー デ 3取立 *ハ/ーガ
2824	香港 6 自由作文 6	<u>こう</u> した、 <u>短期</u> 的かつ <u>個別</u> 的な原因では説明し得ない。	コソア
2825	香港 7 自由作文 40	でも <u>この</u> 程度は日本人のほど高くない。	コソア
2826	香港 7 自由作文 69	<u>こんな</u> 違いは思想の相違をもたらす。	コソア
2827	香港 8 自由作文 4	<u>後</u> に、都市化にともなう人口移動は全国の農村に甚大 (1) (2) な影響をあたえた。	1コソア 2格 *ニ/ー 0
2828	香港 20 自由作文 1	日本語はテレビ型の <u>語言</u> と言う <u>何故</u> <u>そう</u> と <u>評</u> して (1) (2) (3) (4) いるか。	1N 2接 *0/ーガ 2 コソア 副用 3受身
2829	香港 26 自由作文 8	言語は <u>国</u> に人々の心理状態の反映ですから。 (1) (2)	2格 *ニ/ーノ連 1コ ソア
2830	スリランカ 1 パターン作文 3	<u>あそこ</u> で <u>か</u> と <u>さん</u> と <u>でんわ</u> ではなした <u>ので</u> <u>さ</u> と <u>さん</u> (1) (2) (3) (4) は <u>でんしゃ</u> に来て <u>ヤン</u> さんにあいました。 (5) (6)	1コソア 2,4発音 3接 (*ノデ) 6-受給 5格 *ニ/ーデ
2831	スリランカ 1 パターン作文 6	<u>あ</u> の <u>女</u> は、ヤンさん <u>は</u> えきの前 <u>で</u> <u>でんわ</u> したとき <u>あ</u> (1) (2) (3) (4) <u>た</u> 人です。 (5)	1コソア 5発音 2N 3 取立 *ハ/ーガ 4格 *0/ーデ
2832	スリランカ 1 パターン作文 8	<u>あ</u> の <u>とき</u> また前 <u>あ</u> った <u>女</u> に <u>あ</u> って <u>び</u> くり <u>し</u> ました。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 3,4発音 Ad 2N
2833	スリランカ 1 パターン作文 9	<u>あ</u> の <u>女</u> は「私の <u>こ</u> い人に <u>た</u> たら <u>い</u> いですね」と <u>か</u> ん (1) (2) (3) (4) <u>が</u> え <u>で</u> <u>た</u> の <u>し</u> になりました。 (5)	1コソア 4発音 2N 3 取立 *ハ/ーガ 6品詞(*N/ーA) 5 V
2834	マレーシア 10 自由作文 11	このようにして、 <u>こ</u> ら <u>か</u> ら <u>速</u> く日本の学校をさがして、 (1) (2) 種種手続をしたあとで、やっと今年の四月二日に日本へ (3) 行った。	1コソア 2副用 Ad 3 V
2835	マレーシア 15 自由作文 11	今、 <u>私</u> <u>が</u> <u>こ</u> の <u>こ</u> と <u>を</u> わかりました。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/ーハ 2コ ソア 3格 *ヲ/ーガ
2836	マレーシア 17 自由作文 7	<u>こ</u> の <u>し</u> ょうこに、 <u>う</u> ちを <u>買</u> う時や工場を開店時や政府部 (1) で <u>仕</u> 事をする <u>の</u> <u>機</u> 会など全部マレー人が <u>お</u> 先に。 (2) (3)	1コソア 2ノ連 3表現
2837	マレーシア 17 自由作文 8	<u>こ</u> の <u>は</u> 不公平だと思います。	コソア
2838	マレーシア 28 自由作文 14	<u>そ</u> れら <u>の</u> ように、 <u>目</u> を <u>見</u> ながら、 <u>頭</u> の中 <u>に</u> は、日本で (1) (2) (3) 勉強するのが違くないかと思っていました。	1コソア 2格 *ヲ/ー デ 3格 *ニ/ーデ
2839	オーストラリア 1 聴解要約 4	<u>こ</u> こ <u>で</u> <u>か</u> れは <u>切</u> 手 <u>お</u> <u>か</u> いました <u>そ</u> した <u>手</u> 紙を <u>だ</u> しまし (1) (2) (3) <u>た</u> 。	1コソア 2表記 3C
2840	インド 3 自由作文 16	<u>部</u> 屋 <u>で</u> <u>私</u> は <u>と</u> ても <u>満</u> 意 <u>で</u> す。 (1) (2) (3)	1コソア 2格 *デ/ー ニ 3N

第3章 語彙論

2841	インド 27 自由作文 8	この時、彼女は本当に今にもなき出しそうなかおをして、 かわいそうな目をしました。	コソア
2842	インド 28 自由作文 4	この映画のなまえは「ビルマのたて琴」です。	コソア
2843	インド 28 自由作文 5	この映画の中でみんな <u>戦争</u> はやめたいと <u>深刻な</u> <u>出る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 2取立 *0 / -ハ 3活用(NA)* ナ /ニ 4V
2844	インド 28 自由作文 12	<u>こちそち</u> <u>平和の</u> <u>気分</u> があって、みんな <u>幸せに</u> <u>生活</u> <u>し</u> (1) (2) (3) (4) て、これは、いいことではありませんか。	1Adコソア 2N 3カ ク *0 /-ガ 4条件 * テ形 /-バ
2845	インド 32 自由作文 9	それは、 <u>どんどん</u> <u>ふと</u> るようにわけである。 (1) (2) (3)	1コソア 2取立 *ハ / -ガ 3複V
2846	インド 32 自由作文 12	考えると、それは <u>たくさん</u> <u>食べても</u> 、 <u>ふと</u> らな <u>わけ</u> <u>し</u> (1) (2) (3) (4) ないでしょう。	1複V 2コソア 3否定 4取立 *0 /-ハ
2847	インド 34 自由作文 4	その時に <u>につまらない</u> <u>授教</u> <u>を</u> <u>きいた</u> のは無理でした。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 副用 2格 * ニ /-0 3表記 4*タ / -ル
2848	インド 34 自由作文 6	そういうのは、 <u>彼</u> <u>がよくて</u> 、 <u>やさしい</u> 先生でした。 (1) (2) (3)	1コソア 2取立 *ガ / -ハ 3A
2849	インド 37 自由作文 2	しかし <u>あの</u> <u>人は</u> <u>非常に</u> <u>勇敢な</u> <u>克服</u> <u>障礙</u> 、 <u>まい朝</u> <u>を</u> 「 (1) (2) (3) (4) <u>報童</u> 」 <u>します</u> 、 <u>不論</u> <u>大風</u> <u>が</u> <u>刮</u> たり、 <u>雨</u> <u>が</u> <u>降</u> たり、 <u>毎</u> (5) (6) (7) (8) <u>々</u> <u>送達</u> <u>します</u> 。	1C 2コソア 3N 4格 *ヲ /-0 5N 6? 7 活用(V) 8?
2850	インド 48 自由作文 8	日本の学生は中学校から、 <u>学校</u> <u>で</u> <u>それ</u> <u>を</u> <u>学</u> <u>ぶ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2活用(V) 3*タ /-ル
2851	インド 48 自由作文 9	<u>まだ</u> 、 <u>それ</u> <u>について</u> <u>、</u> <u>大学</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>専門学校</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>、</u> <u>非</u> (1) (2) (3) (4) <u>常に</u> <u>多い</u> <u>です</u> 。	1発音 2コソア 3-ノ 連 4格 *0 /-ガ
2852	インド 48 自由作文 10	私は <u>それ</u> <u>の</u> <u>専門</u> <u>知識</u> <u>を</u> <u>学</u> <u>ん</u> <u>で</u> 、 <u>国</u> <u>の</u> <u>経済</u> <u>の</u> <u>発達</u> <u>に</u> <u>尽</u> <u>く</u> (1) (2) <u>し</u> <u>たい</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1コソア 2V
2853	インド 51 自由作文 9	<u>その</u> <u>きっかけ</u> <u>で</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>関</u> <u>心</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>つ</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> 。	コソア
2854	インド 51 自由作文 17	<u>これら</u> <u>の</u> <u>経済</u> <u>の</u> <u>高度</u> <u>成長</u> <u>を</u> <u>向</u> <u>上</u> <u>に</u> <u>尽</u> <u>く</u> <u>し</u> <u>たい</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> (1) (2) (3) (4) <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。	1コソア 2格 *ヲ /- 0 3-ノ連 4N
2855	インド 53 自由作文 7	<u>これ</u> <u>が</u> <u>きっかけ</u> <u>で</u> <u>日本</u> <u>へ</u> <u>留</u> <u>学</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1コソア 2VP

3.12. 不定語

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
2856	台湾 2 聴解要約 5	奥さんは非常に楽しくなって、 <u>なんの</u> おみやげ <u>を</u> 見たかった。 (1) (2)	1不定詞 2一名詞節
2857	中国 10 自由作文 4	こんな競争の激しい経済大国の人々はロボットのように働いていながら、一分一秒も大切にしているのにかたく <u>るしいあいさつ</u> <u>に</u> <u>いくら</u> 時間がかかっても <u>も</u> <u>も</u> ったいな <u>い</u> とは思わないことは私は不思議だと思います。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 *ナガラ/ー連用形 2格 *ニ/ーデ 3不定 4取立 *モ/ーハ 5取立 *ハ /ーニ
2858	中国 18 自由作文 13	<u>どちら</u> <u>行</u> っても車でもいっばいです。 <u>それを見た</u> <u>わた</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>この</u> 点はたぶん国 <u>の</u> <u>発</u> 達するにつれて増えると思 <u>い</u> ます。 (1) (2) (3) (4) (5)	1不定 2格 *0 /ーハ 3表現 体修 4 取立 *ガ/ーハ 5*ノ連
2859	アメリカ 4 自由作文 4	<u>なぜ</u> <u>か</u> 弁護士になりたいと聞かせたら複雑な理由があ <u>り</u> ます。 (1) (2) (3) (4)	1不定 2*0 と /ーカ と 3V 4接 条件 *タラ/ート
2860	香港 16 短文作文 15	かれらが <u>な</u> <u>に</u> <u>か</u> 求めているの <u>は</u> <u>わ</u> からない。 (1) (2)	1不定詞 2名詞節
2861	香港 20 短文作文 12	妻を失った後、彼女が私にとってどんな <u>大</u> 切だか <u>を</u> <u>よ</u> くわ <u>か</u> る。 (1) (2)	2格 *ヲ/ーガ 1副用 不定 3*ル/ータ
2862	香港 21 短文作文 15	彼らの要求 <u>は</u> <u>一</u> 体に <u>ど</u> うか <u>わ</u> からない。 (1) (2) (3)	3不定詞 2副用 1取立 *ハ/ーガ
2863	香港 22 短文作文 15	<u>世</u> <u>の中</u> に <u>彼</u> <u>ら</u> <u>の</u> <u>要</u> 求が <u>な</u> <u>ん</u> <u>か</u> が私 <u>は</u> <u>は</u> <u>っ</u> きりとわ <u>か</u> りません。 (1) (2) (3)	2不定詞 ダ 1表現 3 格 *0 は /ーニ は
2864	イラン 1 パターン作文 1	日本のりょうりとイランのりょうり <u>ど</u> ちでも美味です。 (1)(2)	1格 取立 *0 /ーハ 2 不定
2865	マレーシア 21 自由作文 18	国にいる家族と友達も思い出した、 <u>いつ</u> <u>か</u> 国へ帰るか。 (1)	不定
2866	マレーシア 22 自由作文 21	今度の <u>経</u> 験中 <u>に</u> 、私の日本語 <u>は</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>に</u> <u>経</u> た <u>な</u> <u>ほ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>わ</u> かりました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1複N 2格 *ニ/ーデ 3取立 *ハ/ーガ 4不 定 5表記 6名詞節
2867	マレーシア 22 自由作文 23	<u>今</u> 年の夏休みみはアルバイトを <u>し</u> <u>な</u> <u>く</u> て、 <u>ど</u> <u>こ</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>行</u> きませんでした。 (1) (2) (3)	1C 2*ル/ータ 3不定
2868	マレーシア 27 自由作文 25	<u>い</u> <u>く</u> <u>ら</u> 疲れた <u>、</u> おしえなくても <u>わ</u> <u>か</u> <u>っ</u> たでし <u>よ</u> う。 (1) (2) (3)	1不定 副用 2ーカ 3 スタイル
2869	ナイジェリア 1 パターン作文 2	日本の農業とナイジェリアの農業 <u>に</u> <u>へ</u> <u>ら</u> <u>べ</u> る <u>と</u> 、おも <u>し</u> <u>ろ</u> い <u>な</u> <u>に</u> <u>か</u> <u>で</u> ある。 (1) (2) (3) (4)	2表記 3不定詞 1格 *ニ/ーヲ 4*ダ
2870	インド 26 自由作文 17	しかし、ある日、彼女は学へ行く途中で <u>ど</u> うも <u>交</u> 通事故 <u>に</u> あった。 (1)	不定
2871	インド 31 自由作文 2	もし、我々の生活のまわりに、よく <u>留</u> 心 <u>す</u> れば、 <u>な</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>一</u> つの <u>こ</u> とを <u>見</u> <u>け</u> る。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーヲ 2V 3 不定 4複V ムード
2872	インド 31 自由作文 7	駅で電車を待つ時もむこう <u>の</u> <u>大</u> きな広告看板が見える、電車の中で <u>な</u> <u>ん</u> <u>か</u> 吊り皮についているとか天井に掛けて、 <u>貼</u> っている <u>広</u> 告も <u>少</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ノ連/ーニ 2不 定 3複N 4表記

第3章 語彙論

2873	フィンランド 4 自由作文 20	部屋代は三万二千円で、高いか安いか、 <u>何と</u> <u>思</u> っていま <u>すか</u> 。 <small>(1) (2)</small>	1不定 2*テイル/ー ル
------	---------------------	---	------------------

3.13. 数量詞 [数]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
2874	台湾 2 自由作文 13	したがって、政府は全国の古い物の中から <u>十五個の大</u> <u>切に保存しなければならない</u> の <u>を</u> 選んで、よく <u>維持し</u> <u>ている</u> 。	1C 2数 語順 3N *ノ /モノ 4V
2875	台湾 17 自由作文 3	これはかがく <u>しんぼう</u> から <u>の</u> <u>なやみの</u> <u>いち</u> です。	1ーノ連 2発音 3体修 4数
2876	中国 3 聴解要約 8	不動産屋の先生は大家さんに <u>一軒</u> を紹介しました。	数
2877	中国 3 聴解要約 21	そのとき、又、女の方を <u>三回</u> 会いました。	1格 *ヲ/ート/ーニ 2 数
2878	中国 14 自由作文 4	世界に <u>進んでいる</u> 電子工業、 <u>ゆき届き</u> のサービス業な ど数多くの分野で、日本国が世界中の <u>一つ</u> 経済大国 <u>の</u> <u>こと</u> がよく分かりました。	1格 *ニ/ーデ 2複N 3数 語順 4ーダート イウ
2879	中国 14 自由作文 10	早目めに <u>並びに行かない</u> と、 <u>一本</u> の電車で遅れたら、 会社に遅刻するに <u>ちがいない</u> 。	1VP ーテ形 2数 3ム ード スタイル
2880	中国 27 自由作文 4	それから、きょねん <u>じゅう</u> にがつかから今年の <u>きゅう</u> が <u>つ</u> までいつもにほんで <u>あそんで</u> しました。	1ーノ連 2数 3複V
2881	中国 42 自由作文 3	<u>よんねん</u> まえにくにのがっこうで日本語をべんきょうし ました。	数 発音
2882	中国 53 自由作文 6	わたしたちのクラスにはみんな <u>18人</u> が <u>いって</u> <u>いい</u> <u>仲</u> です。	1副用 格 *0/ーデ 2 数 *ガ/ー0 3発音 4 複V
2883	韓国 26 自由作文 3	私は <u>川越市</u> 的場に三人 <u>友</u> だちと一緒に住んでいる家 は、 <u>ふたつ</u> 部屋があります。	1取立 *ハ/ーガ 2数 *0/ーノ連
2884	韓国 26 自由作文 4	だから、ひとつ <u>部</u> は二人が住まなければならぬで、 とても狭いです。	1数 *0/ーノ連 2N 3発音 4活用 (A)
2885	韓国 31 自由作文 14	日本はなぜ <u>そんな</u> <u>短い</u> 時間に <u>世界</u> <u>ひとつ</u> 工業国にな <u>る</u> <u>か</u> という <u>原因</u> がしりたいです。	1コソア 2格 *ニ/ー デ 3数 4*ル/ータ 5 接 *トイウ
2886	アメリカ 1 自由作文 13	ですから、私のふるさととは <u>二つ</u> があります。	1副用 数 2格 *ガ/ー 0
2887	アメリカ 2 自由作文 6	おとし名古屋で <u>留学</u> したので今年は <u>二第目</u> に日本に 来ています。	1格 *デ/ーニ 2副用 3数
2888	インドネシア 2 パターン作文 4	なぜか、たぶんそれはインドネシアの国のほうが <u>多</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>で</u> 、 <u>人口</u> もいろいろ <u>であり</u> 、日本の人口が <u>一つ</u> <u>だけ</u> 日本人だからインドネシアの人口のほうが日本の人口 <u>よ</u> <u>うり</u> <u>多</u> <u>き</u> <u>い</u> だ と思います。	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形/ーガ 5取立 *ガ/ーハ 6数 8品詞 *NA/ーA 7発音
2889	タイ 1 パターン作文 2	タイでは大学の仕事は <u>三</u> グループがあります。	数
2890	タイ 1 パターン作文 3	<u>一</u> グループは行政です、 <u>た</u> とうば <u>社長</u> <u>の</u> 。	1数 2C 3スタイル

第3章 語彙論

2891	タイ 1 パターン作文 4	二 グループは先生です。	数
2892	タイ 1 パターン作文 5	三 グループは事務です。	数
2893	タイ 4 自由作文 2	バンコクにある高等学校で勉強していた時に英語に <u>プラ</u> ⁽¹⁾ <u>ンス</u> ⁽²⁾ 語を勉強することにしましたけれどもチュラロンコン大学に入学してから日本語と日本に興味を持っていましたので日本語を <u>四年間</u> ⁽³⁾ に <u>専攻</u> ⁽⁴⁾ する <u>の</u> ⁽⁵⁾ を決めました。	1並N 2発音 表記 3 副用 数 4名詞節 *ノ /ーコト 5格 *ヲ/ー ニ
2894	香港 15 短文作文 7	彼に <u>三つ</u> ⁽¹⁾ <u>手紙</u> ⁽²⁾ を <u>つく</u> ⁽³⁾ が、 <u>返事</u> ⁽⁴⁾ が <u>まだ</u> ⁽⁵⁾ <u>き</u> ⁽⁶⁾ いていません。	3活用(V) 2V 1数
2895	香港 19 自由作文 21	逆に、日本語と呼んだら、この言葉は英語などのような言葉と世界中の <u>一つ</u> ⁽¹⁾ のもので、自分 <u>が</u> ⁽²⁾ 所属集団の特有のものではない、という気がするかもしれない。	1数 2格 *ガ/ーノ連
2896	香港 19 短文作文 13	この <u>二つ</u> ⁽¹⁾ の <u>切符</u> ⁽²⁾ は <u>い</u> ⁽³⁾ <u>づ</u> ⁽⁴⁾ <u>れ</u> ⁽⁵⁾ に <u>せ</u> ⁽⁶⁾ <u>よ</u> ⁽⁷⁾ <u>い</u> ⁽⁸⁾ い。	2熟語 1数
2897	香港 20 自由作文 7	<u>もう一</u> ⁽¹⁾ は、日本語の <u>言葉</u> ⁽²⁾ <u>よ</u> ⁽³⁾ く <u>漢</u> ⁽⁴⁾ <u>字</u> ⁽⁵⁾ で <u>新</u> ⁽⁶⁾ <u>しい</u> ⁽⁷⁾ <u>言葉</u> ⁽⁸⁾ を <u>作</u> ⁽⁹⁾ る。	1C 数 2取立 *0/ーハ
2898	イラン 1 自由作文 7	イサハーハンは <u>一つ</u> ⁽¹⁾ の <u>イ</u> ⁽²⁾ <u>ラン</u> ⁽³⁾ の <u>古</u> ⁽⁴⁾ <u>い</u> ⁽⁵⁾ <u>町</u> ⁽⁶⁾ である。	語順 数 AN
2899	マレーシア 16 自由作文 13	だから、この政策は、 <u>一</u> ⁽¹⁾ <u>番</u> ⁽²⁾ <u>よ</u> ⁽³⁾ <u>い</u> ⁽⁴⁾ と <u>思</u> ⁽⁵⁾ <u>い</u> ⁽⁶⁾ <u>ま</u> ⁽⁷⁾ <u>す</u> ⁽⁸⁾ 。	数
2900	マレーシア 18 自由作文 5	<u>日本</u> ⁽¹⁾ の <u>と</u> ⁽²⁾ <u>違</u> ⁽³⁾ <u>う</u> ⁽⁴⁾ 、日本では、国民保険がついている、 <u>約</u> ⁽⁵⁾ <u>八</u> ⁽⁶⁾ <u>十</u> ⁽⁷⁾ <u>パ</u> ⁽⁸⁾ <u>ー</u> ⁽⁹⁾ <u>セ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ン</u> ⁽¹¹⁾ <u>ト</u> ⁽¹²⁾ の <u>治</u> ⁽¹³⁾ <u>療</u> ⁽¹⁴⁾ <u>代</u> ⁽¹⁵⁾ を <u>返</u> ⁽¹⁶⁾ <u>す</u> ⁽¹⁷⁾ 、つまり、 <u>安</u> ⁽¹⁸⁾ <u>い</u> ⁽¹⁹⁾ <u>だ</u> ⁽²⁰⁾ 。	1表現 接 ーテ形 2語 順 数 3品詞 *NA/ー A ダ
2901	マレーシア 23 自由作文 18	<u>た</u> ⁽¹⁾ <u>く</u> ⁽²⁾ <u>さ</u> ⁽³⁾ <u>ん</u> ⁽⁴⁾ <u>外</u> ⁽⁵⁾ <u>人</u> ⁽⁶⁾ <u>観</u> ⁽⁷⁾ <u>光</u> ⁽⁸⁾ <u>客</u> ⁽⁹⁾ も <u>そ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>の</u> ⁽¹¹⁾ <u>船</u> ⁽¹²⁾ に <u>い</u> ⁽¹³⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁴⁾ <u>し</u> ⁽¹⁵⁾ <u>た</u> ⁽¹⁶⁾ 。	語順 数
2902	マレーシア 29 自由作文 14	今国に <u>七</u> ⁽¹⁾ <u>間</u> ⁽²⁾ の <u>大</u> ⁽³⁾ <u>学</u> ⁽⁴⁾ が <u>あ</u> ⁽⁵⁾ <u>り</u> ⁽⁶⁾ <u>ま</u> ⁽⁷⁾ <u>す</u> ⁽⁸⁾ 。	数
2903	インド 1 自由作文 5	このアパートは七つ <u>室</u> ⁽¹⁾ が <u>あ</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> ⁽³⁾ <u>て</u> ⁽⁴⁾ 、私の部屋は <u>三</u> ⁽⁵⁾ <u>番</u> ⁽⁶⁾ <u>室</u> ⁽⁷⁾ です。	1N 2数
2904	インド 2 自由作文 7	かべで <u>お</u> ⁽¹⁾ <u>お</u> ⁽²⁾ <u>き</u> ⁽³⁾ <u>い</u> ⁽⁴⁾ <u>日</u> ⁽⁵⁾ <u>本</u> ⁽⁶⁾ の <u>地</u> ⁽⁷⁾ <u>図</u> ⁽⁸⁾ や <u>書</u> ⁽⁹⁾ <u>棚</u> ⁽¹⁰⁾ や <u>ふ</u> ⁽¹¹⁾ <u>る</u> ⁽¹²⁾ <u>い</u> ⁽¹³⁾ <u>時</u> ⁽¹⁴⁾ <u>け</u> ⁽¹⁵⁾ <u>い</u> ⁽¹⁶⁾ <u>や</u> ⁽¹⁷⁾ <u>字</u> ⁽¹⁸⁾ が <u>書</u> ⁽¹⁹⁾ <u>い</u> ⁽²⁰⁾ <u>て</u> ⁽²¹⁾ <u>あ</u> ⁽²²⁾ <u>る</u> ⁽²³⁾ <u>ふ</u> ⁽²⁴⁾ <u>た</u> ⁽²⁵⁾ <u>つ</u> ⁽²⁶⁾ の <u>か</u> ⁽²⁷⁾ <u>み</u> ⁽²⁸⁾ が <u>あ</u> ⁽²⁹⁾ <u>り</u> ⁽³⁰⁾ <u>ま</u> ⁽³¹⁾ <u>す</u> ⁽³²⁾ 。	1格 *デ/ーニ 2数
2905	インド 6 自由作文 7	部屋のなかに <u>北</u> ⁽¹⁾ と <u>西</u> ⁽²⁾ <u>ま</u> ⁽³⁾ <u>ど</u> ⁽⁴⁾ が <u>ふ</u> ⁽⁵⁾ <u>た</u> ⁽⁶⁾ <u>つ</u> ⁽⁷⁾ <u>あ</u> ⁽⁸⁾ <u>り</u> ⁽⁹⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁰⁾ <u>す</u> ⁽¹¹⁾ 。	1取立 *0/ーハ 2格 *0/ーニ 3数 Ad
2906	インド 10 自由作文 4	この学生寮は二階の建物で、全部で <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>っ</u> ⁽²⁾ <u>け</u> ⁽³⁾ <u>ん</u> ⁽⁴⁾ <u>部</u> ⁽⁵⁾ <u>屋</u> ⁽⁶⁾ が <u>あ</u> ⁽⁷⁾ <u>り</u> ⁽⁸⁾ <u>ま</u> ⁽⁹⁾ <u>す</u> ⁽¹⁰⁾ 。	数
2907	インド 20 自由作文 13	しかしほかのふたり <u>ひ</u> ⁽¹⁾ <u>と</u> ⁽²⁾ は <u>大</u> ⁽³⁾ <u>分</u> ⁽⁴⁾ の <u>時</u> ⁽⁵⁾ <u>間</u> ⁽⁶⁾ が <u>う</u> ⁽⁷⁾ <u>ち</u> ⁽⁸⁾ に <u>い</u> ⁽⁹⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁰⁾ <u>し</u> ⁽¹¹⁾ <u>て</u> ⁽¹²⁾ <u>ん</u> ⁽¹³⁾ 。	1数 2Ad 副用 3格 * ガ/ー0
2908	インド 29 自由作文 11	夜中に皆なで寝る時はおじいさんが <u>なん</u> ⁽¹⁾ <u>か</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽³⁾ に <u>呼</u> ⁽⁴⁾ <u>ん</u> ⁽⁵⁾ <u>で</u> ⁽⁶⁾ <u>も</u> ⁽⁷⁾ <u>き</u> ⁽⁸⁾ <u>て</u> ⁽⁹⁾ <u>し</u> ⁽¹⁰⁾ <u>か</u> ⁽¹¹⁾ <u>ら</u> ⁽¹²⁾ <u>れ</u> ⁽¹³⁾ <u>な</u> ⁽¹⁴⁾ <u>か</u> ⁽¹⁵⁾ <u>つ</u> ⁽¹⁶⁾ <u>た</u> ⁽¹⁷⁾ <u>で</u> ⁽¹⁸⁾ <u>し</u> ⁽¹⁹⁾ <u>た</u> ⁽²⁰⁾ 。	1Ad 副用 数 2*テ形 3*ダ スタイル
2909	インド 33 自由作文 3	しかし彼女の <u>ひ</u> ⁽¹⁾ <u>と</u> ⁽²⁾ <u>つ</u> ⁽³⁾ が <u>私</u> ⁽⁴⁾ の <u>心</u> ⁽⁵⁾ に <u>い</u> ⁽⁶⁾ <u>つ</u> ⁽⁷⁾ <u>ま</u> ⁽⁸⁾ <u>で</u> ⁽⁹⁾ <u>も</u> ⁽¹⁰⁾ の <u>こ</u> ⁽¹¹⁾ <u>っ</u> ⁽¹²⁾ <u>て</u> ⁽¹³⁾ <u>い</u> ⁽¹⁴⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁵⁾ <u>す</u> ⁽¹⁶⁾ 。	数 N
2910	インド 43 自由作文 5	それで <u>か</u> ⁽¹⁾ <u>ぜ</u> ⁽²⁾ <u>に</u> ⁽³⁾ は <u>一</u> ⁽⁴⁾ <u>種</u> ⁽⁵⁾ <u>類</u> ⁽⁶⁾ の <u>普</u> ⁽⁷⁾ <u>通</u> ⁽⁸⁾ な <u>病</u> ⁽⁹⁾ <u>気</u> ⁽¹⁰⁾ <u>だ</u> ⁽¹¹⁾ <u>ら</u> ⁽¹²⁾ <u>う</u> ⁽¹³⁾ と <u>思</u> ⁽¹⁴⁾ <u>い</u> ⁽¹⁵⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁶⁾ <u>す</u> ⁽¹⁷⁾ 。	1C 2取立 *ニは/ー 0は 3数 4品 *NA/ ーN

3.13. 数量詞[数]

2911	インド 43 自由作文 12	かぜ ⁽¹⁾ について、一 ⁽²⁾ 種類な ⁽³⁾ かかりやすい ⁽⁴⁾ だ ⁽⁵⁾ 病気だから、もし、か ⁽⁶⁾ かったら ⁽⁷⁾ お医者に ⁽⁸⁾ み ⁽⁹⁾ に ⁽¹⁰⁾ いく ⁽¹¹⁾ と ⁽¹²⁾ なおる ⁽¹³⁾ ように ⁽¹⁴⁾ なります。	1取立 *ニツイテ/ー ハ 2数 品 *NA/ー N 3品 *NA/ーA 4 複 V 5*ヨウニ
2912	インド 44 自由作文 4	私は、中学校のころ、中国の ⁽¹⁾ 武 ⁽²⁾ 俠 ⁽³⁾ だ ⁽⁴⁾ いた ⁽⁵⁾ い ⁽⁶⁾ 20冊 ⁽⁷⁾ を ⁽⁸⁾ 読 ⁽⁹⁾ み ⁽¹⁰⁾ ま ⁽¹¹⁾ した。	数
2913	インド 44 自由作文 5	「神* ⁽¹⁾ 俠 ⁽²⁾ 侶」の中 ⁽³⁾ で ⁽⁴⁾ ふ ⁽⁵⁾ た ⁽⁶⁾ り ⁽⁷⁾ 男 ⁽⁸⁾ 女 ⁽⁹⁾ が ⁽¹⁰⁾ 私 ⁽¹¹⁾ は ⁽¹²⁾ 一 ⁽¹³⁾ 番 ⁽¹⁴⁾ 好 ⁽¹⁵⁾ き ⁽¹⁶⁾ です。	1数
2914	インド 46 自由作文 9	多 ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ 会 ⁽³⁾ 社 ⁽⁴⁾ や ⁽⁵⁾ 工 ⁽⁶⁾ * ⁽⁷⁾ など ⁽⁸⁾ 、正 ⁽⁹⁾ 確 ⁽¹⁰⁾ な ⁽¹¹⁾ 管 ⁽¹²⁾ 理 ⁽¹³⁾ で ⁽¹⁴⁾ 事 ⁽¹⁵⁾ 業 ⁽¹⁶⁾ が ⁽¹⁷⁾ だ ⁽¹⁸⁾ ん ⁽¹⁹⁾ だ ⁽²⁰⁾ ん ⁽²¹⁾ 成 ⁽²²⁾ 功 ⁽²³⁾ しま ⁽²⁴⁾ した。	1数 2表記 3取立 *0 /ーハ 4NA
2915	フィンランド 2 自由作文 16	本 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ こ ⁽³⁾ の ⁽⁴⁾ と ⁽⁵⁾ な ⁽⁶⁾ り ⁽⁷⁾ に ⁽⁸⁾ 針 ⁽⁹⁾ 灸 ⁽¹⁰⁾ の ⁽¹¹⁾ 図 ⁽¹²⁾ 、三 ⁽¹³⁾ 枚 ⁽¹⁴⁾ が ⁽¹⁵⁾ あ ⁽¹⁶⁾ り ⁽¹⁷⁾ ます。	1格 *0 /ーガ 2数 副 用 *ガ/ー0

3.14. 接続詞 [C]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
2916	台湾 1 自由作文 5	それから 文化の <u>気分</u> が沢山あるし、古跡も多いです。 (1) (2)	1C Ad 副用 2N
2917	台湾 1 パターン作文 6	そして、一年中大抵暖かい。	C
2918	台湾 2 聴解要約 6	だから「 <u>見てもいい</u> か」と <u>質問</u> して、ヤンさんは「どうぞ」と言った。 (1) (2) (3)	3接 テ形 1C 2品詞 * V/-A
2919	台湾 2 自由作文 9	から、台南の成功大学に <u>四年間勉強</u> したから、軍隊に <u>二年間入った</u> から、中の中原大学に <u>助手</u> になりました、一年半間ぐらいあとで、日本へ <u>留学</u> にきた。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1C 4接(*カラ/-テカラ) 2,6格 *ニ /-デ 3-連用形 &スタイル
2920	台湾 2 自由作文 13	したがって、政府は全国の古い物の中から <u>十五個</u> の <u>大切</u> に保存しなければならないの <u>を</u> 選んで、よく <u>維持</u> している。 (1) (2) (3) (4)	1C 2数 語順 3N *ノ /-モノ 4V
2921	台湾 3 自由作文 11	そして、 <u>うるさい</u> や古典や <u>いろいろ</u> <u>音楽</u> の <u>タイプ</u> も <u>好き</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2品詞 *N/-A 3品詞 *Ad/- NA 4 語順 5-ダ
2922	台湾 9 自由作文 6	それから <u>私は</u> 高校と大学 <u>を</u> <u>入</u> いることができた。 (1) (2)	1C 2格 *ヲ/-ニ
2923	台湾 11 自由作文 10	つまり、 <u>友達</u> は私の宝である。	C
2924	台湾 12 自由作文 13	そうすると、ご都合が <u>よろしかったら</u> 、その二冊の本 <u>を</u> 学習室に私の机の上に置いていただきたい <u>です</u> 、 <u>よろしい</u> でしょうか。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2接 *タラ/-レバ 3格 *ニ/-ノ連 4*ダ/-ノダ 5接 -ガ
2925	台湾 17 自由作文 7	それではわたしのけいけんによ <u>ると</u> <u>そう</u> だんします。 (1) (2)	1C 2接 *ト/-テ形
2926	台湾 21 自由作文 2	ところで <u>決して</u> <u>自分の専門</u> のみについて勉強するのではなくて、 <u>自分の興味</u> を持つことと、 <u>あの</u> 国の特有のことを勉強する <u>わけだ</u> と思っています。 (1) (2) (3) (4)	1C 2Ad 3コソア 4ム -ド
2927	台湾 24 自由作文 10	毎週 <u>三次</u> や <u>四次</u> 、プールや海へ泳ぎに行きました。 (1) (2) (3)	1,3N 2C
2928	中国 3 聴解要約 6	<u>あと</u> 、居間をさがしていました。	C
2929	中国 3 聴解要約 28	それでは、 <u>友達</u> は大家さんの家具 <u>は</u> <u>を</u> <u>たず</u> けて運び入れ、 <u>中午時</u> 、そば店の店員はそば <u>を</u> とどけました。 (1) (2) (3) (4)	1C 3発音 2取立 *ハを/-Oを 3V 4N
2930	中国 4 聴解要約 12	しかし <u>その値段</u> がちょっと高いといっ <u>て</u> <u>かわない</u> つもりだったが、おみせと <u>相談</u> した <u>あと</u> <u>安</u> く <u>か</u> って <u>き</u> た。 (1) (2) (3)	1C 2V 3接 *アト/-テ形
2931	中国 7 自由作文 2	すると、日本という国は <u>どう</u> いう国かよくわかりませんが、筑波大学の環境 <u>が</u> <u>す</u> きな <u>ん</u> です。 (1) (2) (3)	1C 2取立 *ガ/-ハ 3*のだ
2932	中国 10 自由作文 8	それで、 <u>長いあいさつ</u> を <u>始</u> めました。	C

2933	中国 10 自由作文 11	ところが、サラリーマンが会社へ <u>途中</u> 、急に何か部屋に忘れた <u>みたい</u> 、又もどってきました、 <u>又</u> おおやと廊下で会いました。	1体修 接 2活用 3C
2934	中国 11 自由作文 11	<u>かれ</u> は一人 <u>しか</u> 仕事を <u>する</u> から、毎日の残業する <u>のが</u> <u>ほしい</u> です。	1C 2取立 *ハ/ーガ 3*シカ 4*ル/ーテイル 否定 5V 6接 -カラ
2935	中国 15 自由作文 5	初めて新宿へ行った時、町の両側に建ち並んでいる林みたい高層ビルに、 <u>町</u> の次から次へ <u>の</u> 人々にびっくりさせられた。	1C 2*ノ連
2936	中国 16 自由作文 17	<u>私の</u> 性格は何でもゆっくりして、のんびり生活をして、 <u>しかし</u> 、日本へ <u>来て</u> 、こちらの人々の生活はとても緊張していて、生活と戦争しているようです。	1C 2接 *テ形 &表現
2937	中国 16 自由作文 23	最初日本に <u>来て</u> 、住む所は <u>解決</u> しなければ、なりません <u>から</u> 、アパートを探しに <u>いって</u> 、不動産屋さんを探してくれましたが、いろいろ契約して、 <u>そして</u> 敷金、礼金ということ <u>は</u> やっとわかりました。	1接 *テ形/ートキ 2 取立 *ハ/ーヲ3V 4 接 *カラ/ーノデ 5条件 *テ形 /ート 6C 7*ハ/ーガ
2938	中国 17 自由作文 13	そうすると、 <u>国民</u> の教養度が自然に <u>すすめる</u> はずです。	1C 2V
2939	中国 18 自由作文 11	<u>だから</u> そのこと <u>で</u> 印象が一番深いです。	1C 2格 *デ/ーガ
2940	中国 18 自由作文 14	<u>車</u> が多いけれど、運転手は <u>ほとんど</u> 道を渡る人を見ると <u>さける</u> または <u>止まる</u> ことが多いです。	1取立 *ガ/ーハ 2語順 3並V -タリ 4C
2941	中国 19 自由作文 11	私の国では仕事がなく、人々を <u>雇</u> われないのですが、経済大国では仕事があっ <u>て</u> 、 <u>しかし</u> 、仕事をせずに浮浪者になる人もいるのは本当に不思議です。	1受身 2接 *テ形/ーニ、 -テモ 3C
2942	中国 24 自由作文 14	<u>それから</u> 、学校の方は自分でよく <u>なら</u> って、ほかの時間 <u>は</u> <u>自分</u> もよく勉強しようと思っています。	1C 2V 3取立 *ハ/ーモ 4格 *モ/ーデ
2943	中国 26 自由作文 19	<u>そのあと</u> で いろいろな医学のほんをべんきょうすることができます。	C 副用
2944	中国 27 自由作文 9	<u>それでは</u> 、まいあさしちじじゅっぷんにおきます。	C
2945	中国 28 自由作文 17	<u>そのとき</u> 、わたしたちはかいわのれんしゅうをしました。	C 副用
2946	中国 38 自由作文 11	<u>しかし</u> 、せんせいはしんせつです。	C
2947	中国 38 自由作文 18	<u>しかし</u> 、いまにほんごはすこし <u>し</u> っています。	1C 2V
2948	中国 42 自由作文 6	<u>それから</u> 、日本語の勉強のために日本へ来ました。	C
2949	中国 43 自由作文 16	<u>だから</u> いまわたしはにほんにすんでいる <u>に</u> ほんごの <u>べんきょう</u> <u>を</u> <u>する</u> ことがたいせつです。	1C 2接 *0/ーカラ 3発音 4格 *0/ーヲ
2950	韓国 1 パターン作文 5	<u>ロシア</u> ワ時間 <u>には</u> <u>パス</u> と地下鉄 <u>を</u> 乗りません。	1C 2表記 3発音 4格 *ヲ/ーニ

2970	韓国 33 自由作文 3	そのために 経済や社会文化などがはってんしていない要因だと思ひます。	C
2971	韓国 33 自由作文 8	だから、今の日本は政治と経済はすばらしいと思ひます。	C
2972	ブラジル 1 聴解要約 6	そして、 <u>か</u> とさんと <u>ふ</u> どうさんやに <u>行</u> て家をさがした。 (1) (2) (3)	1C 2,3発音 &スタイル
2973	ブラジル 2 聴解要約 6	そのときは やんさんは <u>お</u> ぶろ に入りましたそしてステレオを聞いて歌を <u>歌</u> えました。 (1) (2) (3)	1C 取立 *ハ/ー0 2発音 3V
2974	ブラジル 2 自由作文 13	しかし ハムのまんなかに <u>目</u> があります。 (1) (2)	1C 2N
2975	ブラジル 4 自由作文 1	それで、 <u>旅行</u> へ行くつもりです。	C
2976	アメリカ 1 自由作文 12	しかし 南米の方が国土 <u>不</u> 足していない <u>だ</u> が いい住宅はたり <u>ま</u> せん。 (1) (2) (3) (4)	1C 2取立 *0 /ーハ 3*ダガ/ーガ 4スタイル
2977	アメリカ 3 自由作文 14	しかし <u>かん</u> じがいちばんすきなべんきょうです。	C
2978	アメリカ 4 自由作文 11	<u>全部</u> 言いかえると 弁護士 <u>だ</u> たら 日米関係の法律をした <u>い</u> と思ひます。 (1) (2)	1表現 C 2発音 表記
2979	エジプト 1 自由作文 8	そして 日本語の文法の先生になることを考えていますけど出来るかどうかわかりません。	C
2980	インドネシア 2 聴解要約 2	その時は 大家さんが出て <u>米</u> た。 (1) (2)	1C 2表記
2981	インドネシア 2 パターン作文 4	なぜか、たぶんそれはインドネシアの国のほうが <u>多</u> さい <u>い</u> で、 <u>人</u> 口もいろいろ <u>で</u> あり、日本の人口が <u>一</u> つだけ <u>日</u> 本人だからインドネシアの人口のほうが日本の人口 <u>よ</u> うり <u>多</u> さいだ <u>と</u> お思ひます。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形/ーガ 5取立 *ガ/ーハ 6数 8品詞 *NA/ーA 7発音
2982	インドネシア 2 パターン作文 8	それに、 <u>ヅ</u> カルタ はいつもあついです。 (1) (2)	1C 2表記
2983	タイ 1 聴解要約 13	そした ヤンさんと加藤さん <u>家</u> 族は <u>そ</u> うば を食べまし <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1C 3発音 2ノ連
2984	タイ 1 パターン作文 3	一 <u>グ</u> ループは行政です、 <u>た</u> とうば <u>社</u> 長 <u>。</u> (1) (2) (3)	1数 2C 3スタイル
2985	タイ 2 自由作文 10	そして <u>ぶ</u> どう酒のびんもあります。	C
2986	香港 2 自由作文 8	<u>又</u> は、来週でテストが終る。	C 副用
2987	香港 3 自由作文 14	しかし、私は一年前から日本語の勉強をしています。	C 語順
2988	香港 6 自由作文 18	そして、農業就業人口の女性化とならんで、その老齡化もいちじるしい。	C
2989	香港 7 自由作文 6	それは 第三はどうこうことか？。	C
2990	香港 7 自由作文 51	または、日本人は礼儀正しい国民である。	C

第3章 語彙論

2991	香港 19 自由作文 22	それも、日本語という名称はほかの言葉と対比あるいは 区別するものである。	C
2992	香港 20 自由作文 7	もう一は、日本語の言葉 ⁽¹⁾ よく漢字で新しい言葉を作る。 ⁽²⁾	1C 数 2取立 *0 /- ハ
2993	香港 24 自由作文 15	そして、梅棹忠夫の理論 ⁽¹⁾ を賛成ではない。 ⁽²⁾	1C 2格 *ヲ /-ニ
2994	香港 24 自由作文 19	それから、「国」は日本自体を示めす。	C
2995	香港 24 短文作文 10	いろいろなことを考えながら、何気なく ⁽¹⁾ 、ついに ⁽²⁾ 学校 に着いている。	2C 1副用
2996	香港 25 自由作文 6	それで、日本の自分のよみ方の特徴が消失する。	C
2997	香港 25 自由作文 15	そして、「漢字の訓読みの廃止」という梅棹の主張はま だ行われないと信じられる。	C
2998	香港 25 自由作文 19	あと、日本人は自分の ⁽¹⁾ 言語は「国語」と呼ぶ。 ⁽²⁾ ⁽³⁾	1C 2N 3取立 *ハ / ーヲ
2999	マレーシア 9 自由作文 4	もし、私は ⁽¹⁾ 国聯 ⁽²⁾ の ⁽³⁾ 国際経済学家 ⁽⁴⁾ だったら、その時、 各国の ⁽⁵⁾ 経済学者と一緒に会議をして、種々の原因 ⁽⁶⁾ をさか して、研究したあとで、いろいろな解決方法を使って、 いつか世界の ⁽⁷⁾ 経済を平穩 ⁽⁸⁾ しましょう。	1取立 *ハ /-ガ 2N 3複N 4C 5発音表 記 6V (活用)
3000	マレーシア 11 自由作文 6	そして、仕事する時 ⁽¹⁾ か、出かける時 ⁽²⁾ か、何も ⁽³⁾ 心配し ない。	1C 2並N *カ /-ヤ 3V
3001	マレーシア 11 自由作文 10	そして、飛行機の着陸すること ⁽¹⁾ と農業をすることも天 気の変化とよく関係がある。 ⁽²⁾	1C 2並N ト /-ヤ
3002	マレーシア 11 自由作文 12	このごろ、人造衛星 ⁽¹⁾ をつかって、 ⁽²⁾ それでは ⁽³⁾ 天気予報 がよくできる。	1複N 2接 *テ形 /- ノデ 3C
3003	マレーシア 11 自由作文 14	そして、天気予報があるのは大切 ⁽¹⁾ なんだ。 ⁽²⁾	1C 2スタイル
3004	マレーシア 13 自由作文 4	先生たちの中に ⁽¹⁾ 、感情が親しまない ⁽²⁾ し、学生たちは 外に ⁽³⁾ えあるい ⁽⁴⁾ 行為をしている ⁽⁵⁾ もあり、 ⁽⁶⁾ 授業や宿題 が多くて難しいので、時々、 ⁽⁷⁾ 反効果 ⁽⁸⁾ の事件もありました。 ⁽⁹⁾	2取立 *0 /-ハ 3表 現 4格 *ニ /-デ 7- 名詞節 -コト 6A 8 C 9複N
3005	マレーシア 13 自由作文 6	それでは、もし私が学校に ⁽¹⁾ 権力がある人 ⁽²⁾ ー ⁽³⁾ 校長だっ たら、それらの不満なこと ⁽⁴⁾ 全部きれいにおしたいで す。	1C 2VP 3,4取立 *0 /-ハ
3006	マレーシア 13 会話作文 1	それは ⁽¹⁾ 学生たちは自分の時間がないから、学校に反感を 持っている時、宿題 ⁽²⁾ らのことは全然注意しない ⁽³⁾ と、 しだいに成績が ⁽⁴⁾ 退歩 ⁽⁵⁾ してしまったのである。	1C 2品詞 3取立 *ハ /-ニ 4接条件 *ト / -カラ 5V
3007	マレーシア 14 自由作文 7	それで、天気の子知がとても大切だ。	C
3008	マレーシア 16 自由作文 15	そうすると、先生はみな ⁽¹⁾ 親切 ⁽²⁾ しています。	1C 2品詞 *N /-NA
3009	マレーシア 17 自由作文 9	それで、私はかならずこの制度を ⁽¹⁾ 取り消し ⁽²⁾ ます。	1C 2V

3010	マレーシア 17 自由作文 15	でも <u>いつ行かせた</u> <u>ほうが</u> <u>いい</u> <u>ですか</u> 。 (1) (2) (3)	1C 2熟語 3表現 3ムード
3011	マレーシア 17 自由作文 18	もし、私が、首相になったら、せめて一か月に一回、庶民の身分で、やおやや魚屋などを訪問します、 <u>そのよう</u> (1) <u>に</u> 、国民の生活状態が、よくわかります。	1C 条件 副用
3012	マレーシア 17 自由作文 19	<u>だから</u> 、庶民の生活は、 <u>共和</u> 、 <u>進歩</u> <u>になります</u> 。 (1) (2) (3) (4)	2N 4VP ムード 1C *ダカラ/ーソウス レバ 3品詞 *N/ーV
3013	マレーシア 18 自由作文 11	<u>そして</u> 、いい看護婦もあまりいない。	C
3014	マレーシア 18 自由作文 21	できれば、 <u>私</u> <u>が</u> <u>一生懸命改革する</u> <u>はずだ</u> 。 (1) (2) (3)	1C 副用 3表現 ムード 2取立 *ガ/ーハ
3015	マレーシア 18 自由作文 25	<u>そして</u> 、ほかにいろいろな方面も <u>改革</u> <u>たいつもり</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3)	1C 2VP 活用(V) 3ムード
3016	マレーシア 20 自由作文 24	<u>うえに</u> 、先生にもらった宿題もやった。	C
3017	マレーシア 20 自由作文 26	<u>それでは</u> 、私の夏休みはここまで <u>に</u> 、 <u>おわたんだ</u> 。 (1,2) (3) (4)	1C 2取立 *ハ/ー0 3格 *ニ/ーデ4活用
3018	マレーシア 21 自由作文 14	<u>その間</u> <u>写真も取って</u> 、 <u>花火</u> <u>を</u> <u>遊んで</u> 、 <u>歌を歌って</u> 、 <u>い</u> (1) <u>ろいろの話をした</u> 、 <u>二時ごろ</u> <u>に</u> <u>終わった</u> 。 (2)	1C 2格 *ヲ/ーデ
3019	マレーシア 22 自由作文 7	<u>ところで</u> 、夏休み中 <u>に</u> 、 <u>暇な時間</u> <u>がたくさん</u> <u>ありまし</u> (1) <u>たから</u> 。アルバイトしたいと思っていました。 (2)	1C 2取立 *ニ/ーハ
3020	マレーシア 22 自由作文 17	<u>そうすると</u> 、 <u>私達は</u> <u>気をはずかしく</u> <u>しました</u> 。 (1) (2) (3)	1C 2熟語 3V
3021	マレーシア 22 自由作文 18	<u>私達は</u> アルバイトを探しに来たのです。。と <u>はなせる</u> (1) <u>よう</u> <u>になりました</u> 。 (2)	1C 2V
3022	マレーシア 22 自由作文 23	<u>今年の夏休み</u> <u>みは</u> <u>アルバイトを</u> <u>しなくて</u> 、 <u>どこでも</u> (1) <u>行きませんでした</u> 。 (2) (3)	1C 2*ル/ータ 3不定
3023	マレーシア 23 自由作文 10	<u>ところが</u> 、テレビのドラマを見たり、むこうへの手紙を (1) <u>書ったり</u> <u>していました</u> 。 (2)	1C 2活用
3024	マレーシア 23 自由作文 31	<u>つまり</u> 、この夏休みは、私に、だいぶ新鮮な感じを <u>与え</u> (1) <u>ます</u> 。 (2)	1C 2表記 受給
3025	マレーシア 25 自由作文 20	<u>残って</u> 一週間ぐらい、キュウさんとシュウさんと一緒 に、学校でアルバイトをしました。	C
3026	マレーシア 27 自由作文 11	<u>では</u> 、 <u>社長</u> <u>だち</u> <u>が</u> <u>やさしい人</u> <u>だから</u> 、一週間 <u>あと</u> <u>で</u> 、 (1) (2) (3) (4) <u>仕事</u> <u>が上手</u> <u>になってきた</u> 。	1C 2発音 表記 3*ル/ータ 4N 副用
3027	マレーシア 27 自由作文 17	<u>一方</u> 、ガソリンスタンドのお客さんが多くて、日本人の 友達はいっぱいできた。	C
3028	マレーシア 28 自由作文 13	一つ私にとって、おどろいたことはクアラルンプールで、 今とても日本製品 <u>を</u> <u>はやっています</u> 、 <u>例るなら</u> 、 <u>日</u> (1) <u>本</u> <u>旅客</u> <u>もかなり</u> <u>デパート</u> <u>と</u> <u>多く</u> <u>見えました</u> 。 (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1格 *ヲ/ーガ 2一名 詞節 3C 4N 5表記 6 副用 7V
3029	マレーシア 30 自由作文 8	<u>そしで</u> 、国民の生活水準は、全部おなじになります。	発音 C

第3章 語彙論

3030	フィリピン 1 パターン作文 7	そして、日本の筑波大学へ <u>帰</u> ました。 (1) (2)	1C 2表記
3031	オーストラリア 1 聴解要約 4	こ <u>こ</u> でかれは切手 <u>お</u> きました <u>そ</u> した <u>手</u> 紙をだしまし (1) (2) (3) た。	1コソア 2表記 3C
3032	インド 1 自由作文 7	そして、便利です。	C
3033	インド 9 自由作文 17	た <u>っ</u> とれば、あさはを <u>み</u> かき とお風呂に <u>は</u> り <u>は</u> ちよ <u>っ</u> (1) (2) (3) と困ります。	1発音 C 2,3品詞 *N /-V 3発音
3034	インド 10 自由作文 16	<u>ゴ</u> さんの友達の写 <u>真</u> <u>が</u> <u>た</u> くさんはってあります。 (1) (2)	1C 2格 *ガ/-モ
3035	インド 15 自由作文 22	それから、たのしいです。	C
3036	インド 18 自由作文 24	やちんは毎月3万5ひゃくえんですがおふろ <u>あ</u> るし <u>か</u> (1) (2) <u>ん</u> きょうがしずかだし、 <u>そ</u> こで <u>こ</u> こに <u>す</u> んでいました。	1格 *0/-モ 2語順 3C 4*タ/-ル
3037	インド 24 自由作文 39	<u>つ</u> まり、このような部屋に住んでいるので、満足 <u>の</u> <u>は</u> ず (1) <u>だ</u> と思っています。	1C 2ムード *ハズダ
3038	インド 25 自由作文 5	ゴ先生はまじめな先生 <u>、</u> いつも学生に <u>親</u> 切に <u>あ</u> げて (1) (2) <u>だ</u> から学生たちはゴ先生 <u>は</u> たいへん <u>す</u> きです。 (3) (4)	1接 *0/-デ 2受給 3C *ダから/-0 4 から 4取立 *ハ/-ガ
3039	インド 25 自由作文 13	<u>だ</u> からゴ先生は私にいろいろ <u>せ</u> わや <u>親</u> 切に <u>く</u> れた、 <u>い</u> (1) (2) つも私の心に残っています。	1C *ダカラ 2並V 接 *タ/-ノデ
3040	インド 26 自由作文 8	それから、洗濯をしたり、朝ごはんを作ったり掃除した りします。	C *ソレカラ
3041	インド 26 自由作文 12	それよく 私は宿題について、いろいろなことを <u>お</u> しえ (1) (2) <u>く</u> れました。 (3)	1C 3受給 2複V
3042	インド 29 自由作文 8	それに 毎日奥さんの名前を呼んで、およめさん <u>が</u> 奥さ (1) (2) ん <u>に</u> としていた時もありました。 (3) (4)	1C 2格 ガ/-ヲ 3* ニ/-0 4V
3043	インド 31 自由作文 13	ただ商品を知らせるだけではない、 <u>実</u> は <u>国</u> 際的、文化的、 (1) 国の芸術水準、 <u>技</u> 術性 <u>の</u> 一体である。 (2) (3)	1C 2N 3*ノ連/-ト
3044	インド 37 自由作文 2	しかし <u>あ</u> の <u>人</u> は非常に勇敢な <u>克</u> 服障 <u>礙</u> 、 <u>ま</u> い朝 <u>を</u> 「 (1) (2) (3) (4) <u>報</u> 童」します、 <u>不</u> 論大風が刮たり、 <u>雨</u> が <u>降</u> たり、 <u>毎</u> (5) (6) (7) (8) <u>々</u> 送達します。	1C 2コソア 3N 4格 *ヲ/-0 5 N 6? 7 活用(V) 8?
3045	インド 37 自由作文 4	それに、毎日よる <u>た</u> きも <u>家</u> 教中心 <u>の</u> <u>ア</u> ルバート <u>に</u> (1) (2) (3) (4) (5) きました。	1C 2N 3? 4N 5表記
3046	インド 38 自由作文 10	たしがって、私が、チームのヒーロになりました。	C
3047	インド 40 自由作文 26	あるとき、ははが <u>見</u> えないで、 <u>涙</u> が <u>流</u> れで、 <u>そ</u> れに (1) (2) (3) 大きな声で泣いた。	1連用形 2発音 3C
3048	インド 42 自由作文 2	<u>成</u> 功ですが、彼女は、女優に、なりました。 (1)(2)	1-C 2接 *ガ/-テ 形
3049	インド 42 自由作文 3	あとで、忙しくな <u>っ</u> たら、毎日、 <u>ほ</u> どんと家へ帰ら (1) (2) (3) <u>な</u> いです。 (4)	1C 2接 *タラ/-テ 形 3表記 4スタイル

3.14. 接続詞 [C]

3050	インド 42 自由作文 8	だから、おじさんが、なくなりました。	C
3051	インド 43 自由作文 5	それで <u>なぜ</u> ⁽¹⁾ には <u>一</u> ⁽²⁾ <u>種類</u> ⁽³⁾ の <u>普通</u> ⁽⁴⁾ な <u>病</u> ⁽⁵⁾ 気だろうと思いま す。	1C 2取立 *ニは /- 0は 3数 4品 *NA /- N
3052	インド 43 自由作文 7	それもし、 <u>なぜ</u> ⁽¹⁾ が <u>か</u> ⁽²⁾ かかったら、すくお医者さんに <u>み</u> ⁽³⁾ に いった方がいでしょう。	1C 2格 *ガ /-ニ 3 複 V
3053	インド 43 自由作文 13	すると大丈夫だと思います。	C
3054	インド 44 自由作文 10	そして、 <u>と</u> ⁽¹⁾ 先生 <u>に</u> ⁽²⁾ 一緒に住んでいました。	1C 2格 *ニ /-ト
3055	インド 46 自由作文 3	というのは、 <u>ち</u> ⁽¹⁾ ちは <u>工</u> ⁽²⁾ * <u>を</u> ⁽³⁾ 持っていますから、 <u>開</u> ⁽⁴⁾ 業 <u>か</u> ⁽⁵⁾ <u>ら</u> ⁽⁶⁾ いつも自分でいろいろな仕事をやってしまいました。	1C 2表記 3-テ形
3056	インド 47 自由作文 7	私はこれらの <u>高</u> ⁽¹⁾ 度 <u>進</u> ⁽²⁾ 歩 <u>の</u> ⁽³⁾ 工 <u>程</u> ⁽⁴⁾ 学 <u>の</u> ⁽⁵⁾ 要 <u>因</u> ⁽⁶⁾ を <u>学</u> ⁽⁷⁾ んで、 <u>将</u> ⁽⁸⁾ 来 <u>は</u> ⁽⁹⁾ 国 <u>の</u> ⁽¹⁰⁾ 土 <u>木</u> ⁽¹¹⁾ 建 <u>築</u> ⁽¹²⁾ に <u>貢</u> ⁽¹³⁾ 献 <u>し</u> ⁽¹⁴⁾ ま <u>す</u> 、 <u>そ</u> ⁽¹⁵⁾ の <u>と</u> ⁽¹⁶⁾ き、 <u>マ</u> ⁽¹⁷⁾ レ <u>ー</u> ⁽¹⁸⁾ シ <u>ア</u> ⁽¹⁹⁾ の <u>土</u> ⁽²⁰⁾ 木 <u>建</u> ⁽²¹⁾ 築 <u>工</u> ⁽²²⁾ 程 <u>が</u> 、 <u>発</u> ⁽²³⁾ 達 <u>に</u> ⁽²⁴⁾ な <u>る</u> ⁽²⁵⁾ と思 <u>っ</u> ⁽²⁶⁾ て <u>い</u> ⁽²⁷⁾ ま <u>す</u> 。	1複 N 2C 3品詞 *N /-V
3057	インド 50 自由作文 9	というのは、私の父は <u>前</u> ⁽¹⁾ に <u>経</u> ⁽²⁾ 営 <u>管</u> ⁽³⁾ 理 <u>職</u> ⁽⁴⁾ を <u>持</u> ⁽⁵⁾ っ <u>て</u> ⁽⁶⁾ <u>い</u> ⁽⁷⁾ る <u>こ</u> ⁽⁸⁾ <u>と</u> ⁽⁹⁾ が <u>き</u> ⁽¹⁰⁾ っ <u>か</u> ⁽¹¹⁾ け <u>で</u> 、 <u>だ</u> ⁽¹²⁾ か <u>ら</u> ⁽¹³⁾ 、 <u>子</u> ⁽¹⁴⁾ の <u>時</u> ⁽¹⁵⁾ か <u>ら</u> ⁽¹⁶⁾ い <u>つ</u> ⁽¹⁷⁾ も <u>父</u> ⁽¹⁸⁾ の <u>あ</u> ⁽¹⁹⁾ と <u>を</u> ⁽²⁰⁾ 継 <u>ご</u> ⁽²¹⁾ う <u>と</u> ⁽²²⁾ 思 <u>っ</u> ⁽²³⁾ て <u>い</u> ⁽²⁴⁾ ま <u>す</u> 。	1取立 *ハ /-ガ 2V 3C 4*ル /-タ
3058	インド 50 自由作文 11	<u>し</u> ⁽¹⁾ か <u>し</u> ⁽²⁾ 、 <u>そ</u> ⁽³⁾ の <u>時</u> ⁽⁴⁾ 、 <u>父</u> ⁽⁵⁾ の <u>話</u> ⁽⁶⁾ し <u>、</u> <u>全</u> ⁽⁷⁾ 然 <u>わ</u> ⁽⁸⁾ か <u>り</u> ⁽⁹⁾ ま <u>せ</u> ⁽¹⁰⁾ ん <u>が</u> ⁽¹¹⁾ だ <u>ん</u> ⁽¹²⁾ <u>だ</u> ⁽¹³⁾ ん <u>大</u> ⁽¹⁴⁾ き <u>く</u> ⁽¹⁵⁾ な <u>っ</u> ⁽¹⁶⁾ て <u>こ</u> ⁽¹⁷⁾ の <u>仕</u> ⁽¹⁸⁾ 事 <u>の</u> ⁽¹⁹⁾ 興 <u>味</u> ⁽²⁰⁾ を <u>持</u> ⁽²¹⁾ っ <u>て</u> ⁽²²⁾ <u>い</u> ⁽²³⁾ ま <u>す</u> 。	1C 2取立 *0 /-ハ 3*ル /-タ 4*ノ連 格 *0 /-ニ 5VP
3059	インド 51 自由作文 5	というのは、マレーシアは農工業国である。	C
3060	インド 51 自由作文 8	それに <u>国</u> ⁽¹⁾ 民 <u>の</u> ⁽²⁾ 生 <u>活</u> ⁽³⁾ も <u>営</u> ⁽⁴⁾ め <u>ま</u> ⁽⁵⁾ い <u>わ</u> ⁽⁶⁾ け <u>で</u> <u>あ</u> ⁽⁷⁾ る。	1C 2活用(V) ムー ド
3061	フィンランド 2 自由作文 8	そして、 <u>机</u> ⁽¹⁾ の <u>と</u> ⁽²⁾ な <u>り</u> <u>に</u> <u>、</u> <u>た</u> ⁽³⁾ ん <u>す</u> ⁽⁴⁾ が <u>あ</u> ⁽⁵⁾ り <u>ま</u> ⁽⁶⁾ す。	1C 2取立 *0 /-ハ
3062	フィンランド 7 自由作文 6	はじめて食べるひとは、 <u>に</u> ⁽¹⁾ お <u>い</u> ⁽²⁾ が <u>い</u> ⁽³⁾ や <u>だ</u> ⁽⁴⁾ と <u>い</u> ⁽⁵⁾ う <u>か</u> ⁽⁶⁾ も、 <u>知</u> ⁽⁷⁾ <u>れ</u> ⁽⁸⁾ ま <u>せ</u> ⁽⁹⁾ ん <u>が</u> 、 <u>そ</u> ⁽¹⁰⁾ し <u>た</u> ⁽¹¹⁾ ら、 <u>さ</u> ⁽¹²⁾ と <u>う</u> ⁽¹³⁾ を <u>い</u> ⁽¹⁴⁾ れ <u>て</u> 、 <u>の</u> ⁽¹⁵⁾ め <u>ば</u> 、 <u>だ</u> ⁽¹⁶⁾ い <u>じ</u> ⁽¹⁷⁾ ょう <u>ぶ</u> ⁽¹⁸⁾ だ <u>と</u> 、 <u>思</u> ⁽¹⁹⁾ い <u>ま</u> ⁽²⁰⁾ す。	C 発音 スタイル

3.15. 熟語

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
3063	台湾 16 自由作文 11	もしわたしが台湾の野球の理事長だったら、どうやって台湾の野球にもっと <u>人気になる</u> ⁽¹⁾ <u>と思います</u> ⁽²⁾ 。	1熟語 2ムード
3064	台湾 16 自由作文 15	このようにやったら、たぶん台湾の野球にもっと <u>人気になります</u> 。	熟語
3065	中国 10 自由作文 16	<u>いやながら</u> ⁽¹⁾ <u>そうしなければならぬ</u> ⁽²⁾ と思う日本人も少なく <u>ない</u> ⁽³⁾ <u>と思っています</u> ⁽⁴⁾ 。	1熟語 2接 *ナガラ / ーデモ
3066	中国 12 自由作文 10	<u>途方にくれない</u> ⁽¹⁾ <u>ところ</u> ⁽²⁾ 、 <u>警察官</u> ⁽³⁾ <u>を思いだしました</u> ⁽⁴⁾ 。	熟語 *ル /ーテイル
3067	中国 17 自由作文 17	わたしたち <u>とって</u> ⁽¹⁾ <u>二十世紀の青年</u> ⁽²⁾ は <u>もし</u> ⁽³⁾ 、 <u>日本人の</u> ⁽⁴⁾ <u>様子</u> ⁽⁵⁾ <u>つまり</u> ⁽⁶⁾ <u>仕事をしたら</u> ⁽⁷⁾ <u>きりが</u> ⁽⁸⁾ <u>ない</u> ⁽⁹⁾ <u>ほどの</u> ⁽¹⁰⁾ <u>精神</u> ⁽¹¹⁾ <u>を</u> ⁽¹²⁾ <u>手に</u> ⁽¹³⁾ <u>入れる</u> ⁽¹⁴⁾ 。	1*トッテ /ーO 2取 立 *ハ /ーガ 3N 4熟 語 5N 6可能 スタイル
3068	韓国 5 自由作文 2	日本の物価と韓国 <u>物価</u> ⁽¹⁾ <u>とを</u> ⁽²⁾ <u>くらべると</u> ⁽³⁾ <u>日本の物価</u> ⁽⁴⁾ <u>が</u> ⁽⁵⁾ <u>たくさん</u> ⁽⁶⁾ <u>高い</u> ⁽⁷⁾ <u>である</u> ⁽⁸⁾ 。	4品詞 *NA /ーA 5ダ 1ーノ連 2熟語 ーノ ハウ 3Ad 副用
3069	韓国 19 自由作文 8	筑波大学の特別なもの <u>かも</u> ⁽¹⁾ <u>しりませ</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽³⁾ <u>開らかに</u> ⁽⁴⁾ <u>された</u> ⁽⁵⁾ <u>もの</u> ⁽⁶⁾ は <u>日本</u> ⁽⁷⁾ <u>も</u> ⁽⁸⁾ <u>いま</u> ⁽⁹⁾ <u>急速に</u> ⁽¹⁰⁾ <u>すべての</u> ⁽¹¹⁾ <u>方面で</u> ⁽¹²⁾ <u>かなり</u> ⁽¹³⁾ <u>開放</u> ⁽¹⁴⁾ <u>されて</u> ⁽¹⁵⁾ <u>いて</u> ⁽¹⁶⁾ 、 <u>また</u> ⁽¹⁷⁾ <u>は</u> ⁽¹⁸⁾ <u>いま</u> ⁽¹⁹⁾ <u>開放</u> ⁽²⁰⁾ <u>が</u> ⁽²¹⁾ <u>進めて</u> ⁽²²⁾ <u>いる</u> ⁽²³⁾ <u>方面</u> ⁽²⁴⁾ <u>も</u> ⁽²⁵⁾ <u>あります</u> ⁽²⁶⁾ 。	1熟語 VP 2NA 3*モ ノ /ーコト 4自他
3070	アメリカ 3 自由作文 18	わたし <u>た</u> ⁽¹⁾ <u>も</u> ⁽²⁾ <u>だ</u> ⁽³⁾ <u>ち</u> ⁽⁴⁾ <u>は</u> ⁽⁵⁾ <u>いっしょに</u> ⁽⁶⁾ <u>べんきょう</u> ⁽⁷⁾ <u>WP</u> ⁽⁸⁾ <u>した</u> ⁽⁹⁾ <u>こ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>と</u> ⁽¹¹⁾ <u>が</u> ⁽¹²⁾ <u>あります</u> ⁽¹³⁾ 。	1格 *タ /ート 2発音 3*タ /ール 4熟語
3071	エジプト 1 自由作文 9	日本語は <u>やや</u> ⁽¹⁾ <u>難しい</u> ⁽²⁾ <u>ので</u> ⁽³⁾ <u>日本語の</u> ⁽⁴⁾ <u>文法の</u> ⁽⁵⁾ <u>先生に</u> ⁽⁶⁾ <u>なれる</u> ⁽⁷⁾ <u>か</u> ⁽⁸⁾ <u>う</u> ⁽⁹⁾ <u>まく</u> ⁽¹⁰⁾ <u>通訳と</u> ⁽¹¹⁾ <u>翻訳が</u> ⁽¹²⁾ <u>出来る</u> ⁽¹³⁾ <u>か</u> ⁽¹⁴⁾ <u>わかり</u> ⁽¹⁵⁾ <u>ません</u> ⁽¹⁶⁾ 。	1Ad 副用 2,3熟語
3072	香港 17 短文作文 16	先日 <u>彼に</u> ⁽¹⁾ <u>ひさしぶり</u> ⁽²⁾ <u>学校</u> ⁽³⁾ <u>に</u> ⁽⁴⁾ <u>会</u> ⁽⁵⁾ <u>いました</u> ⁽⁶⁾ 。もう <u>三年間</u> ⁽⁷⁾ <u>わかれて</u> ⁽⁸⁾ <u>いて</u> ⁽⁹⁾ 、 <u>言</u> ⁽¹⁰⁾ <u>われて</u> ⁽¹¹⁾ <u>みると</u> ⁽¹²⁾ 、 <u>彼は</u> ⁽¹³⁾ <u>ずいぶん</u> ⁽¹⁴⁾ <u>やせて</u> ⁽¹⁵⁾ <u>来た</u> ⁽¹⁶⁾ <u>という</u> ⁽¹⁷⁾ <u>気が</u> ⁽¹⁸⁾ <u>し</u> ⁽¹⁹⁾ <u>ません</u> ⁽²⁰⁾ 。	1副用 *O /ーニ 2格 *ニ /ーデ 3熟語 4複 V (*てクル /ータ)
3073	香港 18 短文作文 20	彼は <u>いつも</u> ⁽¹⁾ <u>奥</u> ⁽²⁾ <u>さん</u> ⁽³⁾ <u>の</u> ⁽⁴⁾ <u>右</u> ⁽⁵⁾ <u>に</u> ⁽⁶⁾ <u>出</u> ⁽⁷⁾ <u>る</u> ⁽⁸⁾ 。	熟語
3074	香港 19 短文作文 1	今度は <u>外来語</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> ⁽²⁾ <u>使い</u> ⁽³⁾ <u>方</u> ⁽⁴⁾ <u>を</u> ⁽⁵⁾ <u>初め</u> ⁽⁶⁾ <u>として</u> ⁽⁷⁾ <u>討論</u> ⁽⁸⁾ <u>しまし</u> ⁽⁹⁾ <u>ょう</u> ⁽¹⁰⁾ 。	熟語
3075	香港 19 短文作文 7	外国語を <u>うまく</u> ⁽¹⁾ <u>学</u> ⁽²⁾ <u>ぶ</u> ⁽³⁾ <u>なら</u> ⁽⁴⁾ 、 <u>その</u> ⁽⁵⁾ <u>国</u> ⁽⁶⁾ <u>へ</u> ⁽⁷⁾ <u>勉強</u> ⁽⁸⁾ <u>に</u> ⁽⁹⁾ <u>行く</u> ⁽¹⁰⁾ <u>こと</u> ⁽¹¹⁾ <u>が</u> ⁽¹²⁾ <u>もの</u> ⁽¹³⁾ <u>を</u> ⁽¹⁴⁾ <u>言</u> ⁽¹⁵⁾ <u>う</u> ⁽¹⁶⁾ 。	2熟語 1ムード
3076	香港 19 短文作文 9	彼が <u>外国</u> ⁽¹⁾ <u>に</u> ⁽²⁾ <u>移民</u> ⁽³⁾ <u>した</u> ⁽⁴⁾ <u>とい</u> ⁽⁵⁾ <u>う</u> ⁽⁶⁾ <u>か</u> ⁽⁷⁾ 、 <u>香港</u> ⁽⁸⁾ <u>に</u> ⁽⁹⁾ <u>住</u> ⁽¹⁰⁾ <u>んで</u> ⁽¹¹⁾ <u>いる</u> ⁽¹²⁾ <u>とい</u> ⁽¹³⁾ <u>う</u> ⁽¹⁴⁾ <u>か</u> ⁽¹⁵⁾ 、 <u>みんな</u> ⁽¹⁶⁾ <u>は</u> ⁽¹⁷⁾ <u>し</u> ⁽¹⁸⁾ <u>ら</u> ⁽¹⁹⁾ <u>ない</u> ⁽²⁰⁾ 。	1,2熟語 名詞節
3077	香港 19 短文作文 11	試験 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>失敗</u> ⁽²⁾ <u>した</u> ⁽³⁾ <u>ため</u> ⁽⁴⁾ 、 <u>何</u> ⁽⁵⁾ <u>気</u> ⁽⁶⁾ <u>な</u> ⁽⁷⁾ <u>く</u> ⁽⁸⁾ <u>な</u> ⁽⁹⁾ <u>って</u> ⁽¹⁰⁾ <u>いた</u> ⁽¹¹⁾ 。	2熟語 1*ガ /ーニ 格
3078	香港 19 短文作文 13	この <u>二</u> ⁽¹⁾ <u>つ</u> ⁽²⁾ <u>の</u> ⁽³⁾ <u>切</u> ⁽⁴⁾ <u>符</u> ⁽⁵⁾ <u>は</u> ⁽⁶⁾ <u>い</u> ⁽⁷⁾ <u>ず</u> ⁽⁸⁾ <u>れ</u> ⁽⁹⁾ <u>に</u> ⁽¹⁰⁾ <u>せ</u> ⁽¹¹⁾ <u>よ</u> ⁽¹²⁾ <u>い</u> ⁽¹³⁾ <u>い</u> ⁽¹⁴⁾ 。	2熟語 1数
3079	香港 19 短文作文 16	技術という面では、若い <u>選</u> ⁽¹⁾ <u>失</u> ⁽²⁾ <u>に</u> ⁽³⁾ <u>負</u> ⁽⁴⁾ <u>け</u> ⁽⁵⁾ <u>な</u> ⁽⁶⁾ <u>い</u> ⁽⁷⁾ <u>が</u> ⁽⁸⁾ 、 <u>体力</u> ⁽⁹⁾ <u>につ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>い</u> ⁽¹¹⁾ <u>て</u> ⁽¹²⁾ <u>限</u> ⁽¹³⁾ <u>り</u> ⁽¹⁴⁾ 、 <u>全</u> ⁽¹⁵⁾ <u>盛</u> ⁽¹⁶⁾ <u>期</u> ⁽¹⁷⁾ <u>を</u> ⁽¹⁸⁾ <u>過</u> ⁽¹⁹⁾ <u>ぎ</u> ⁽²⁰⁾ <u>て</u> ⁽²¹⁾ <u>し</u> ⁽²²⁾ <u>ま</u> ⁽²³⁾ <u>っ</u> ⁽²⁴⁾ <u>た</u> ⁽²⁵⁾ <u>よ</u> ⁽²⁶⁾ <u>う</u> ⁽²⁷⁾ <u>で</u> ⁽²⁸⁾ <u>あ</u> ⁽²⁹⁾ <u>る</u> ⁽³⁰⁾ 。	1N 2熟語

3080	香港 20 短文作文 7	彼の専門は基礎医学 ⁽¹⁾ とい <u>うか</u> 、臨床医学 ⁽²⁾ とい <u>うか</u> はつきりわかりません。	熟語
3081	香港 21 短文作文 18	彼はこれに <u>わ</u> かったような <u>わ</u> からぬような名前をつけた。	熟語
3082	香港 22 短文作文 16	一週間の中に、仕事を <u>済</u> まれる ⁽¹⁾ と <u>言</u> われてみると、みんな徹夜で働かなければならない。 ⁽²⁾	1自他 受身 2熟語
3083	香港 22 短文作文 17	彼は英語ができることを <u>言</u> ってもなくて、フランス語も ⁽¹⁾ ドイツ語も、その上スペイン語も <u>で</u> きて、海外旅行することが心配しなくてもいいです。 ⁽²⁾	3格 *ガ/ーヲ 1熟語 2接 *テ形/ーノデ
3084	香港 23 短文作文 1	この試験の範囲は教えたことを <u>初</u> めとして <u>で</u> ある。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1熟語 格 *とシテ 2ダ
3085	香港 23 短文作文 7	この試験の失敗の原因には、彼の病気が <u>も</u> の <u>を</u> 言う。	熟語
3086	香港 25 短文作文 1	春を <u>初</u> めとして、 <u>一</u> 年中 ⁽¹⁾ の <u>計</u> 画をつくる。 ⁽²⁾	2複 N 1熟語
3087	マレーシア 11 自由作文 9	もう一つは <u>あ</u> す ⁽¹⁾ の天気予報、これは、 <u>さ</u> き ⁽²⁾ の方より、よく <u>役</u> く <u>立</u> ち <u>だ</u> 。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1,2N 3熟語 品詞 4*ダ
3088	マレーシア 17 自由作文 15	<u>で</u> も <u>い</u> つ行かせた <u>ほう</u> が <u>い</u> い <u>で</u> すか。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1C 2熟語 3表現 3ムード
3089	マレーシア 18 自由作文 17	そうすれば、 <u>貧</u> 民 ⁽¹⁾ がよく医療に <u>い</u> く <u>の</u> <u>が</u> <u>で</u> きる。 ⁽²⁾	1N 2名詞節 *ノ/ーコト 表現 熟語
3090	マレーシア 22 自由作文 17	そうすると、私達は <u>気</u> を <u>は</u> ずかしく <u>し</u> ました。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1C 2熟語 3V
3091	マレーシア 23 自由作文 25	上役さんも、四、五人のおばちゃんも、親切だし、明るい <u>心</u> の <u>持</u> 主 <u>だ</u> から、いろいろな話をしました。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1熟語 2接
3092	インド 1 自由作文 15	来年の大学 <u>ま</u> だ <u>分</u> かりません <u>か</u> ら、引越す時は大変 <u>気</u> を <u>煩</u> す <u>で</u> しょうね。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1取立 *O/ーハ 2接 3熟語
3093	インド 15 自由作文 16	<u>屋</u> 代 ⁽¹⁾ は毎月 <u>計</u> ⁽²⁾ で 3万2千 <u>え</u> ⁽³⁾ です。	1N 2熟語 3表記
3094	インド 18 自由作文 7	<u>3</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>あ</u> るけんちく <u>の</u> <u>に</u> <u>か</u> い <u>に</u> <u>す</u> んで <u>い</u> ます。	熟語 *体修
3095	インド 18 自由作文 33	私のへやから、60かい <u>あ</u> る <u>の</u> サンシャインがみえます。	熟語 *体修

4. 形態論 [活用]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
3096	台湾 1 パターン作文 8	季節風の影響がある <u>だから</u> 、冬は北風が <u>できる</u> 、天気 <u>お</u> ちょっと寒い。 (1) (2) (3)	1接(一ノデ) 2活用 V Ad-連用形 3表記
3097	台湾 1 パターン作文 14	夏、全島は <u>大大</u> 暑い <u>が</u> った。 (1) (2)	2活用 *タ/ール 1副 用
3098	台湾 2 自由作文 12	<u>残</u> されていた古い物はよく <u>保存</u> して <u>い</u> ないから、 <u>こ</u> わ (1) (2) (3) <u>ら</u> れたし、さらに <u>モ</u> ーダ <u>ン</u> の型を <u>付</u> けた。 (4) (5) (6)	1,2 受身 3自他 活用(V) 4並V 5品詞 *N/ -NA 6VP-テイル
3099	台湾 2 パターン作文 9	<u>語</u> 言について <u>、</u> 日本語の動詞 <u>の</u> いろいろな変化が <u>多</u> (1) (2) (3) (4) <u>い</u> で、敬語の用法 <u>が</u> <u>む</u> す <u>が</u> しい <u>で</u> 。 (5) (6)	1N 4,6活用 2格にツ イテ*0/にツイテ ハ 3*ノ連/一ハ 取 立 5取立 *ガ/一モ
3100	台湾 3 自由作文 4	郊外の <u>フ</u> レ <u>ッ</u> シ <u>空</u> 気や広い草原を <u>接</u> して <u>と</u> 気持ち <u>が</u> よ (1) (2) くなります。	1NA 表記 2活用(V)
3101	台湾 7 自由作文 3	私は、毎日、日本語を <u>勉</u> 強 <u>た</u> り、 <u>絵</u> を描 <u>い</u> たりすること (1) があるから忙しくな <u>っ</u> て <u>い</u> る <u>が</u> 大変元 <u>気</u> です <u>よ</u> 。 (2)	1活用(V) 2スタイル
3102	台湾 8 自由作文 3	学校における時は日本語を <u>学</u> び <u>ま</u> して、日本へ留学する ことに興味をもちました。	スタイル 活用(V)
3103	台湾 9 自由作文 3	小学校 <u>勉</u> 強を <u>し</u> た <u>時</u> 、家の経済状況は <u>十</u> 分に <u>*難</u> な (1) (2) (3) (4) ので、母は <u>田</u> に <u>仕</u> 事を <u>や</u> たら <u>私</u> を自分の背に <u>負</u> った。 (5) (6)	1格 *0/一デ 2*タ/ 一テイタ 3Ad 副用 4ル/一タ 5格 *ニ/ 一デ 6活用 (V)*タラ/ 一ナガラ
3104	台湾 12 自由作文 15	それでは論文を <u>頑</u> 張 <u>て</u> ください。	活用 発音 表記
3105	台湾 13 自由作文 8	<u>お</u> 忙しいところで、失礼ですが、もし、聞き <u>続</u> きたく (1) (2) なら、後で、もう一度貸して <u>あ</u> ります。 (3)	1副用 *デ 2活用(V) 3表記
3106	台湾 17 自由作文 2	さまざまな <u>な</u> やみやくつうなど、 <u>一</u> 日 <u>づ</u> つ <u>あ</u> つま <u>っ</u> てほ (1) かの人に <u>話</u> する <u>こ</u> とができませんから、せいしんじょう (2) たいにえいきょう <u>さ</u> れます。 (3)	1副用 2活用(V) 3受 身
3107	台湾 22 自由作文 20	これは、私が生まれ <u>た</u> からこんな <u>広</u> さ <u>果</u> 樹園を見たの (1) (2) は始めてで胸 <u>を</u> <u>い</u> ばい <u>果</u> 物の香りをすいながらぶどう (3) (4) やももを <u>取</u> って <u>い</u> て <u>と</u> ても楽しかった。 (5)	1接 2活用 3格 *ヲ/ 一ニ 4発音 5*テイ ル/ル
3108	台湾 23 自由作文 1	私は夏休みの前に国へ <u>帰</u> りたい <u>で</u> した。	活用(A)
3109	台湾 23 自由作文 14	電話 <u>を</u> <u>聞</u> った <u>と</u> き、 <u>心</u> に <u>気</u> 持 <u>ち</u> が <u>悪</u> い、なかなか平 (1) (2) (3) (4) 静にかえらな <u>か</u> った。	1格 *ヲ/一デ 2活用 3表現 4並A
3110	中国 3 聴解要約 23	ヤンさんの気持は <u>う</u> れ <u>し</u> い <u>で</u> した。	活用 スタイル ムー ド
3111	中国 3 絵を見ての作文 3	車は <u>速</u> い <u>で</u> した <u>が</u> <u>歩</u> 道 <u>の</u> <u>中</u> に <u>歩</u> いて <u>人</u> たち <u>が</u> <u>水</u> を (1) (2) (3) (4) (5) (6) <u>ひ</u> っかけ <u>れ</u> ました <u>ね</u> 。 (7)	1スタイル 7活用 4格 *ニ/一ヲ 2接 *ガ/ 一カラ 3N 5*テ形/ 一休修6取立 *ガ/一 ハ

第4章 形態論

3129	中国 33 自由作文 12	いま、にほんごのことはたくさん ⁽¹⁾ 、ふゆやすみ ⁽²⁾ は わたしが ⁽³⁾ <u>ぜんぶの</u> ⁽⁴⁾ にほんごのことは ⁽⁵⁾ は ⁽⁶⁾ いっしょうげめ べんきょうします。	1活用 一接 2取立 * ハ/ーニ 3*ガ/ーハ 4Ad 副用 5*ハ/ーヲ
3130	中国 35 自由作文 4	わたし ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 日本語を ⁽³⁾ はじめて ⁽⁴⁾ ならう ⁽⁵⁾ から ⁽⁶⁾ いままで ⁽⁷⁾ <u>じゅ</u> <u>うかげつ</u> ⁽⁸⁾ ぐらい ⁽⁹⁾ です。	1取立 *ハ/ーガ 2活 用(V) 一複 V 3Ad 副 用 4表記 5-V
3131	中国 35 自由作文 11	ときどきともだちと日本語ででんわ <u>を</u> ⁽¹⁾ <u>かなし</u> ⁽²⁾ ことがあ ります。	1格 *ヲ/ーデ 2活用(V)
3132	中国 37 自由作文 20	わたしは「いちねん ⁽¹⁾ ぐらい ⁽²⁾ にほんご ⁽³⁾ は ⁽⁴⁾ じょうずに ⁽⁵⁾ な りました」とおもっています。	1N 2書く *O/ーデ 3取立 *ハ/ーガ 4活 用
3133	中国 39 自由作文 6	せんせいはわたしたちに「やすみじかんのとき、にほん ごではなします。」といました。	活用
3134	中国 45 自由作文 9	いつ ⁽¹⁾ まで ⁽²⁾ わかれる ⁽³⁾ かとおもいます。	1格 *マデ/ーO 2活 用(V) ムード 可能
3135	中国 46 自由作文 7	すぐ歯 <u>を</u> ⁽¹⁾ <u>磨</u> ⁽²⁾ て <u>顔</u> ⁽³⁾ を <u>洗</u> ⁽⁴⁾ ています。	1表記 2活用(V) 3* テイル/ール
3136	中国 46 自由作文 18	わたしはともだちと一緒に <u>はなし</u> ⁽¹⁾ とき <u>にほご</u> ⁽²⁾ が <u>つかっ</u> <u>て</u> ⁽³⁾ います。	1活用(V) 2表記 3格 *ガ/ーヲ
3137	中国 48 自由作文 10	ところで、にほんごは <u>むずかしい</u> ⁽¹⁾ が、わたしはにほんご を <u>あかるく</u> ⁽²⁾ <u>な</u> ⁽³⁾ っ <u>て</u> ⁽⁴⁾ しま <u>い</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1スタイル 2格 *ヲ/ ーニ 3A 4VP 活用(V)
3138	中国 48 自由作文 16	ざっしのなか <u>に</u> ⁽¹⁾ <u>わかり</u> ⁽²⁾ <u>ませ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>を</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーノ連 2体 修 活用(V) 3発音 4 品詞 *N/ーV
3139	中国 48 自由作文 18	にほんじん <u>です</u> ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ 、 <u>どう</u> <u>して</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1接 *ガ/ーノニ 2活 用(V) スタイル 3 V
3140	中国 51 自由作文 2	わたしはじゅうがつからにほんごを <u>べんきょし</u> ⁽¹⁾ していま す。	活用(V) 発音
3141	中国 51 自由作文 5	せんせいはまいにち、かいわやぶんぼうなどが <u>おしえ</u> ⁽¹⁾ <u>ま</u> <u>す</u> <u>た</u> <u>が</u> 、 <u>い</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>で</u> 、 <u>い</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>で</u> 、 <u>な</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *が/ーヲ 2受給 *タ/ール 活用(V) 3V
3142	中国 54 自由作文 20	買いもの <u>の</u> ⁽¹⁾ <u>とき</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *O/ーノ連 2活 用
3143	中国 56 自由作文 14	「は」とか、「が」とか、「に」とか、「で」とか、ど れを、いつ <u>使</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> 、とてもむずかしいです。	活用
3144	中国 58 自由作文 12	<u>た</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	活用(A)
3145	中国 58 自由作文 25	ねだんはとても <u>高</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	活用(A)
3146	中国 59 自由作文 3	というのは、私の国には外国から輸入した電気設備とか <u>家</u> <u>用</u> <u>電</u> <u>気</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>多</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1複 N 2活用(A)

4. 形態論 [活用]

3147	韓国 1 パターン作文 10	たいてい <u>外郭地</u> の駐車場に <u>置いて</u> 地下鉄で市街地 <u>で</u> 入ります。 (1) (2) (3) (4)	3活用 4格 *デ/ーニ 1副用 2N
3148	韓国 6 自由作文 9	いろいろな問題が <u>あります</u> から自分で考えてラジオとテレビを <u>選ぶ</u> でしょう。 (1) (2)	1スタイル 2活用(V))品詞 *N/ーV
3149	韓国 6 パターン作文 3	そして安いものとか <u>便利</u> ものとか生活に必要なものを近い店へ <u>買</u> います。 (1) (2)	2格 *へ /ーデ 1NA 活用
3150	韓国 7 聴解要約 10	家族はヤンさんがおふろにはいり、歌う <u>こと</u> を <u>聞いて</u> <u>全部</u> わらった。 (1) (2) (3)	1名詞節 2活用(V) 3 副用 Ad
3151	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机のうえに <u>カセット</u> で音楽を <u>聞</u> ます 時にヤンさんはお風呂 <u>から</u> <u>音楽</u> を聞いて歌を <u>呼</u> びました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーノ連 2表 記 活用 体修 ーテイ ルスタイル 3格 *カ ラ/ーデ 4V
3152	韓国 9 聴解要約 3	ヤンさんは太郎さんといっしょにあきはばらへ <u>行</u> る の やくそくをしたと話した。 (1) (2)	1活用(V) 2体修
3153	韓国 9 聴解要約 5	<u>だから</u> 、 <u>かいた</u> いステレオの <u>ねだ</u> んを <u>安</u> く <u>か</u> うた。 (1) (2) (3)	3活用 1C 2表現
3154	韓国 9 自由作文 13	父母は <u>うれ</u> しいでした。	ムード 活用
3155	韓国 9 パターン作文 3	ワープロの使い方 <u>が</u> <u>ま</u> とと <u>複</u> 雑ですが一旦 <u>使</u> われれば、 <u>ひ</u> じょうに <u>効</u> 果 <u>が</u> <u>あ</u> ります。 (1) (2) (3) (4)	1ーノホウ 2表記 3活 用(V) 4N
3156	韓国 12 パターン作文 4	その原因をあければ <u>第</u> 一 <u>建</u> 設作業がすんだらその図面によって工場で作られる <u>部</u> 材 <u>を</u> <u>建</u> 設現場に運送して <u>こ</u> の <u>部</u> 材を <u>組</u> み合わせして <u>建</u> 設する <u>が</u> ら <u>工</u> 事期間を <u>短</u> 縮 <u>さ</u> れる <u>こ</u> とができる。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	5発音 6受身 2N 1Ad 3コソア 4活用
3157	韓国 12 パターン作文 9	それに対し <u>で</u> <u>学</u> 園都市はあまり人の生活を <u>感</u> じてき <u>な</u> いて <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1,3発音 2活用(V)
3158	韓国 13 聴解要約 5	秋葉原の <u>ど</u> の <u>点</u> <u>に</u> <u>で</u> CASSETTERADIOを <u>買</u> <u>い</u> って <u>価</u> 格が <u>高</u> い <u>で</u> すから <u>思</u> いました。 (1) (2) (3) (4)	1表記 N 2発音 格 * ニで /ーOで 3活用 接 条件 *テ形 /ーテ モ
3159	韓国 16 自由作文 8	もっと熱心に勉強して <u>帰</u> えて <u>行</u> くころには <u>笑</u> 顔 <u>に</u> <u>日</u> 本 <u>と</u> <u>離</u> れたい。 (1) (2) (3)	1活用(V) 発音 2格 * ニ/ーデ 3格 *ト/ー ヲ
3160	韓国 17 自由作文 4	ときどきあなたとの <u>た</u> の <u>し</u> かった <u>時</u> を <u>思</u> いながらその <u>時</u> の <u>あ</u> なたの <u>情</u> <u>が</u> <u>な</u> つかしいでした。 (1) (2)	1N 2活用(A)
3161	韓国 18 自由作文 3	現代 <u>に</u> は <u>社</u> 会問題 <u>で</u> <u>登</u> 場している <u>多</u> い <u>問</u> 題が <u>家</u> 庭の <u>機</u> 能喪失に <u>困</u> って <u>超</u> 来 <u>さ</u> れ <u>問</u> 題ですから <u>家</u> 族を通じて <u>社</u> 会問題すなわち <u>家</u> 族問題の <u>解</u> 決方法について <u>研</u> 究したい <u>と</u> <u>思</u> いました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニは /ーOは 2 格 *デ/ーニ 3 V 4品 詞 *A /ーN ーノ連 5活用 V
3162	韓国 18 自由作文 4	家庭 <u>た</u> け <u>が</u> <u>担</u> 当 <u>す</u> る <u>こ</u> と <u>が</u> <u>で</u> きる <u>機</u> 能が <u>社</u> 会の <u>い</u> ろんな <u>団</u> 体 <u>で</u> <u>し</u> っ <u>さ</u> れているから <u>家</u> 庭の <u>特</u> 別な <u>機</u> 能の <u>性</u> 格 <u>を</u> <u>失</u> う <u>こ</u> と <u>を</u> <u>思</u> います。 (1) (2) (3) (4) (5)	1発音 2V 3格 *ガ/ ーノ連 4発音 表記 5 活用(V)

第4章 形態論

3163	韓国 18 自由作文 6	筑波大学で勉強が <u>終</u> たら国へ <u>帰</u> て社会問題研究所 <u>と</u> か ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ 家族問題研究所等 <u>で</u> つとめたいです。 ⁽⁴⁾	1,2活用(V) 表記 発 音 3並N *トカ/ーヤ 4格 *デ/ーニ
3164	韓国 20 自由作文 3	日本の秋はたいへんきれいで、 <u>天気</u> が <u>いい</u> でした。	活用(A)
3165	韓国 20 自由作文 7	<u>ひらかな</u> は <u>かたかな</u> はきれいで、 <u>おもしろい</u> ですが、 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ たいへん <u>むずかしい</u> でした。 ⁽³⁾	1並N *ハ/ート 2発 音 3活用(A)
3166	韓国 22 自由作文 10	日本語は韓国語と文法や <u>文形</u> <u>な</u> と <u>か</u> たいだい同じ <u>か</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ら英語より <u>べんきょう</u> をしてすこしやさしい <u>が</u> 、日本語 ⁽⁵⁾ とわたしに <u>外国語</u> から毎日 <u>べんきょう</u> しなし <u>ど</u> き ⁽⁶⁾ ⁽⁷⁾ ⁽⁸⁾ ⁽⁹⁾ ⁽¹⁰⁾ ⁽¹¹⁾ はむずかしいです。	1表記 2,3発音 4,9- タ 5語順 VP6取立 * ト/ーハ 7格に*0/ にートッテ 8取立 * 0/ーハ 10活用(V) 11 発音 条件*トキ/ ーバ
3167	韓国 24 自由作文 24	しかし日本へ <u>帰</u> えて <u>の</u> こった夏休の日は最善を尽しま ⁽¹⁾ ⁽²⁾ した。	1活用 2接
3168	韓国 24 自由作文 27	今からはもっとねっしん勉強しなければならないと <u>おも</u> <u>い</u> されます。	活用
3169	韓国 26 自由作文 4	だから、ひとつ <u>部</u> は二人が住まなければならぬで、 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ とても狭いです。	1数 *0/ーノ連 2N 3発音 4活用(A)
3170	韓国 26 自由作文 14	そして、 <u>コタツ</u> を <u>置</u> ているがわのかべに窓があるから、 ⁽¹⁾ <u>昼間</u> の時、いつも <u>そんな</u> に 明るいです。 ⁽²⁾ ⁽³⁾	1活用(V) 2副用 3コ ソア
3171	韓国 27 自由作文 8	<u>た</u> から、 <u>かぜ</u> というの <u>は</u> <u>自分</u> <u>自信</u> の努力で、自然に <u>な</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>お</u> れる と私もいつも考えています。	1発音 2表記 3活用
3172	韓国 32 自由作文 2	私は商学科の経営についての専門知識を <u>学</u> ぶたいです。	活用(V)
3173	韓国 32 自由作文 9	経営についての <u>もの</u> ばかりか <u>市場</u> の調査と経済のこ ⁽¹⁾ ⁽²⁾ も積極的に <u>学</u> ばけれなりません。 ⁽³⁾	1コト 2接 3活用(V)
3174	韓国 32 自由作文 11	家族の明るい将来を <u>持</u> って <u>あ</u> げろう と思っています。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1V 2活用
3175	韓国 35 自由作文 20	韓国と <u>一</u> 番重要な <u>北</u> 朝鮮との関係は対話で問題を <u>解</u> い ⁽¹⁾ ⁽²⁾ た <u>ほう</u> が <u>いい</u> と <u>思</u> いされます。 ⁽³⁾	1語順 2V 3活用(V)
3176	ブラジル 2 聴解要約 7	たろうさんのかぞくは <u>やん</u> さんの歌を <u>聞</u> きた。	活用
3177	ブラジル 2 聴解要約 8	<u>おもしろ</u> いだった。	活用
3178	ブラジル 2 自由作文 3	バイアは <u>古</u> <u>町</u> から <u>その</u> ところにたくさんきょうかい ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ がある。	1活用(A) 体修 2タ 3 コソア
3179	アメリカ 1 聴解要約 3	<u>旅行</u> してした から <u>大家</u> さんの <u>ほ</u> へ <u>お</u> みあげ を上げる ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ために行きました。	1活用 3表記 発音 2 N
3180	アメリカ 1 聴解要約 9	ヤンさんは一日中 <u>い</u> そがしい <u>か</u> った から <u>ふ</u> ろに <u>は</u> いり ⁽¹⁾ ⁽²⁾ <u>な</u> がら、 <u>いい</u> きもちになった。	1活用 2接 *ナガラ
3181	アメリカ 1 パターン作文 5	<u>ア</u> ーパート のほうは、 <u>部</u> 屋がひろくて <u>そ</u> んな <u>き</u> たない ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>し</u> では ありません。	1発音 2コソア 副用 3A 活用 *並A

4. 形態論 [活用]

3182	アメリカ 1 パターン作文 6	ふつう仕事と遊びははんたいのもののように <u>かんがい</u> られているが、幸福 <u>つくる</u> のために <u>仕事と遊び</u> ちがいが <u>ありません</u> と <u>かんがえ</u> られば <u>いい</u> と思います。	1発音 5スタイル 格 *0 /-ニ 6活用(V) 2V 4取立(に*0 /-ハ)
3183	アメリカ 1 パターン作文 8	先生とか親から子どもに「勉強を <u>しなさい</u> 」と「 <u>それしないで</u> 」と <u>言</u> られます。	1並V(*ト/-トカ) 2活用
3184	アメリカ 1 パターン作文 10	そのこどもはおとなに <u>なる</u> とき自分で自分の <u>好き</u> きらい <u>ことを</u> <u>決</u> まれられ <u>ませ</u> せん。	3活用 V 1*ル/-タ 2品詞 *A /-N
3185	アメリカ 4 自由作文 3	ところが <u>弁護士</u> になってから <u>特別な</u> やりたい <u>こと</u> があります。	副用 活用(NA) *ナ /-ニ
3186	アメリカ 4 自由作文 10	大学院を卒業してから、会社 <u>に</u> <u>入</u> りて、日米関係の結婚の法律をやりたいです。	活用
3187	インドネシア 2 パターン作文 4	<u>なぜか</u> 、たぶんそれはインドネシアの国のほうが <u>多い</u> で、 <u>人口</u> もいろいろ <u>であり</u> 、日本の人口 <u>が</u> <u>一つだけ</u> 日本人だからインドネシアの人口のほうが日本の人口 <u>より</u> <u>多い</u> だ <u>と</u> 思います。	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形/-ガ 5取立 *ガ/-ハ 6数 8品詞 *NA/-A 7発音
3188	インドネシア 3 自由作文 5	<u>テョプ</u> は <u>ちいさい</u> の <u>ま</u> ちですから <u>人びと</u> が <u>こん</u> でいる <u>ない</u> です。	3体修 否定 活用(V) 1表記 N 2*ノ連
3189	タイ 1 聴解要約 11	そのあと <u>うちへ</u> <u>か</u> いた。	活用 発音
3190	タイ 2 自由作文 5	ハムのまんなか <u>は</u> <u>大き</u> <u>目</u> があります。	1取立 *ハ/-ニ 2活用(A)
3191	タイ 3 絵を見ての作文 1	<u>可哀</u> そう <u>おばあ</u> さん。	NA 活用
3192	香港 7 自由作文 49	メレディスという <u>有名</u> の <u>な</u> 作家がいます。	活用(NA)
3193	香港 9 短文作文 5	ご <u>ご</u> は <u>お客</u> さま <u>いえ</u> へきて、 <u>は</u> は <u>は</u> わざ <u>わざ</u> <u>おち</u> そう <u>を</u> <u>つ</u> くて。	1格 *0 /-ガ 2N 3活用 *テ形/-タ
3194	香港 15 短文作文 1	彼の <u>流言</u> を <u>せ</u> っ <u>か</u> く <u>聞</u> き <u>い</u> ませ <u>ん</u> 。	2活用 1Ad
3195	香港 15 短文作文 7	彼に <u>三</u> つ <u>手紙</u> を <u>つ</u> く <u>が</u> 、 <u>返</u> 事が <u>ま</u> だ <u>き</u> っ <u>て</u> <u>い</u> ませ <u>ん</u> 。	3活用(V) 2V 1数
3196	香港 15 短文作文 10	<u>大き</u> <u>部屋</u> <u>と</u> い <u>っ</u> て、 <u>ある</u> <u>私</u> の <u>子</u> 供 <u>時</u> に <u>よ</u> く <u>い</u> く <u>親</u> 類 <u>は</u> <u>お</u> も <u>し</u> ろ <u>い</u> <u>部</u> 屋 <u>を</u> <u>と</u> り <u>ま</u> した。	2表現 6V 3語順 1活用(A) 4ノ連 3AN 5*ル/-タ
3197	香港 15 短文作文 12	桜の花を <u>い</u> き <u>み</u> た <u>な</u> く <u>な</u> った、 <u>い</u> そ <u>が</u> <u>し</u> い <u>で</u> した <u>か</u> <u>ら</u> 。	1VP 1活用 2スタイル 4語順 4接 3活用(A)
3198	香港 15 短文作文 17	この <u>図表</u> を <u>み</u> れ <u>ば</u> 、 <u>日</u> 本 <u>人</u> の <u>平</u> 均 <u>寿</u> 命 <u>は</u> <u>ど</u> ん <u>ど</u> ん <u>増</u> っ <u>て</u> <u>い</u> る。	1接 条件 *バ/-ト 2活用(V)
3199	香港 19 自由作文 4	漢字の音読・訓読みは古くから <u>用</u> わ <u>ら</u> ている。	V 活用 受身
3200	香港 19 自由作文 7	この <u>過</u> 渡 <u>期</u> の <u>中</u> で、 <u>混</u> 乱 <u>は</u> <u>お</u> こ <u>ろ</u> <u>か</u> も <u>し</u> れ <u>な</u> い。	1取立 *ハ/-ガ 2活用

第4章 形態論

3201	香港 19 自由作文 2	だから、漢字の音読・訓読を保存する <u>べき</u> と思われる。	活用 (べき*0 /べきーダ) 名詞節
3202	香港 20 自由作文 2	日本語 <u>音声</u> <u>だけ</u> <u>情報</u> を <u>伝</u> うより、文字表現で <u>視</u> 覚的な <u>情報</u> を <u>伝</u> 達と <u>働</u> く。	1取立 *0 /ーハ 2格 *0 /ーデ 5V 3活用 4NA 副用
3203	香港 20 自由作文 4	ある言葉を見ると発音が <u>わ</u> かないでも その漢字の型で意味を <u>推</u> 想することができる。	1活用(A) 2N
3204	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間 <u>交</u> 文化交流が <u>絶</u> えずに <u>行</u> われて <u>た</u> めに、イギリス人は <u>自</u> 分の言葉を <u>Eng</u> lish のほう <u>Nati</u> onal Language よりと <u>言</u> うのは、日本人の、閉塞性と <u>極</u> 端的な <u>対</u> 照だろう。	1格 ーデ N 発音 2副用 3活用 5 語順 4取立 *ハ/ーガ 6NA 品詞
3205	香港 20 短文作文 5	この問題を <u>考</u> えば <u>考</u> えほど この難点を <u>よ</u> くわかって <u>く</u> る。	1,2活用(V) 3格 *ヲ/ーガ
3206	香港 21 短文作文 10	一概には、子供たちは宿題をすることが <u>す</u> きない。	1副用 Ad 2品詞 活用 (NA)
3207	香港 21 短文作文 13	さくらを見に <u>いた</u> く <u>ない</u> ことはない。私は忙しい <u>が</u> <u>わ</u> けだ。	1活用 3名詞節 2ムード 4N
3208	香港 23 自由作文 10	それに加えて、訓読みは漢字の意味が <u>わ</u> かれることができる。	VP 活用 V
3209	香港 23 短文作文 16	技術について見ると、彼は若い <u>運</u> 動員 と同じですが、体力について見る <u>限</u> て、彼は盛りをすぎました。	1N 2活用(V)
3210	香港 23 短文作文 20	有名な大学の学生だ <u>な</u> がら、必ずしも成功の人生がある <u>こ</u> とではない。	1活用(ダ) 2ムード
3211	香港 24 短文作文 5	難問を <u>思</u> えれば <u>思</u> うほど、もっとむずかしさがわかる。	活用(V)
3212	香港 25 自由作文 10	第三 <u>、</u> 国民を訓の音を <u>わ</u> すれらせる のはたいへんむずかしいことである。	1格 *ヲ/ーニ 2活用 使役
3213	香港 25 自由作文 11	これは日本人の強い <u>国</u> 民性 ののである。	1N 2活用(ダ)
3214	香港 25 自由作文 14	このことは標準英語の普及の同一化と <u>お</u> なじようで <u>む</u> ずかしいである。	1副用 活用 2品詞 3ダ スタイル
3215	香港 25 短文作文 4	彼の名は国の中で <u>有</u> 名 だけでなく、外国 <u>も</u> よく知られている。	1活用(NA) 2格 取立 *0も /ーニも
3216	香港 25 短文作文 10	<u>極</u> 端的に 気温は彼岸までだとよく言われている。	NA 活用(NA)
3217	香港 25 短文作文 15	そうですが、でも、人々は <u>こ</u> れに <u>価</u> 値観が <u>お</u> おく <u>変</u> わる のではないでしょうか。	1取立 *ハ/ーノ連 2格 *ニ/ーにツイテ 3A 活用(A) 4*ル/ータ
3218	香港 25 短文作文 17	ある人は <u>た</u> った 有名な大学の卒業生 <u>の</u> <u>た</u> めに彼が一生の中で <u>成</u> 功 <u>し</u> なければならない <u>の</u> は <u>必</u> 要ではない。	1発音 2活用(ダ) 3, 4ムード
3219	スリランカ 1 パターン作文 2	ヤンさんは <u>す</u> んでいる家から <u>ゆ</u> うびんきゃく <u>を</u> <u>よ</u> て <u>し</u> ぶやのえきまで行きました。	4活用 1,2発音 3格 *ヲ/ーニ

4. 形態論 [活用]

3220	スリランカ 1 パターン作文 4	ふたもいしょうにタクシにのて会社へいた。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3発音 N 2格 *モ/ ーハ 4,5活用
3221	フランス 1 自由作文 3	今までのところパリの東洋言語学院で日本語を四年間習 いしましたが卒業してからコンピュータによって仏和 (1) (2) (3) 一和仏自動翻訳をやるプログラムも作りはじめました。 (4)	1接 *ガ /ー連用形 2 取立 *0 /ーハ 3活 用 *テ形 /ール 体修 4*V /ーノ連
3222	フランス 2 自由作文 8	かんじをよめるように、いろいろなよみかたがおぼえ (1) (2) らなければなりません。	1格 *ヲ /ーガ 2活用 (V)
3223	フランス 2 自由作文 13	しかしにほんごははなすのだけではなく、よめるの (1) (2) (3) べんきょうもあります。	1N *ノ /ーコト 2活 用 (V) 3一名詞節
3224	マレーシア 3 自由作文 6	きらいのはやっぱり乱暴で悪いものだ。 (1) (2)	1活用 *NA 2N
3225	マレーシア 6 自由作文 2	いつか私が月へ行きたいのはわすれてしまったんだけど、 (1) その時から、もし、私がほんどうに月へ行けたら、寿命 (2) が十年を短くなくてもかまいませんだと思っている。 (3) (4)	1スタイル 2表記 3* ヲ /ー0 4活用 (V)
3226	マレーシア 9 自由作文 4	もし、私は国聯の国際経済学家だったら、その時、 (1) (2) (3) (4) (5) 各国の経済学者と一緒に会議をして、種々の原因をさか (6) して、研究したあとで、いろいろな解決方法を使って、 (7) いつか世界の経済を平隠しましょう。	1取立 *ハ /ーガ 2N 3複 N 4C 5発音 表 記 6V (活用)
3227	マレーシア 10 自由作文 8	そして、父や日本に留学した先輩たちと商量して、日本 (1) (2) でいろいろなことが習いできるし、日本語も知っている (3) しだと彼らは言った。	1V 2活用 3?
3228	マレーシア 12 自由作文 4	また、漁民も、天気と、関係があります、台風の時、 (1) (2) (3) (4) なみは、おおきですから、漁民は、出かせん。	1取立 *0 /ーハ 2取 立 *ハ /ーガ 3発音 4 活用 (V)
3229	マレーシア 12 自由作文 9	漁民は、海で、仕事をしながら、台風やおおきいなみ などを、心配します。	活用 (V)
3230	マレーシア 15 自由作文 8	おばさんの親切に話によると、それわ日本人と信仰 (1) (2) (3) に関係があるだろうと思っています。 (4)	1活用 (NA) *ニ /ーナ 2表記 3格 *ト /ーノ 連 4複 V
3231	マレーシア 16 自由作文 16	あるいは、できるだけ宿題を減って行くと、学生たちは (1) (2) (3) きょうみがあるの方面を勉強します、そこで、もっと (4) 効果があろうと思います。いろいろなゲームをしてあげ ます。	1自他 2*ノ連 2体修 3副用 4活用 (V)
3232	マレーシア 18 自由作文 25	そして、ほかにいろいろな方面も改革たいつもりです。 (1) (2) (3)	1C 2VP 活用 (V) 3 ムード
3233	マレーシア 20 自由作文 20	そして、おみやげを買って帰た。	活用
3234	マレーシア 20 自由作文 22	そして、歩きで原宿へ行た	活用
3235	マレーシア 20 自由作文 26	それでは、私の夏休みはここまでに、おわたんだ。 (1,2) (3) (4)	1C 2取立 *ハ /ー0 3格 *ニ /ーデ 4活用

第4章 形態論

3236	マレーシア 21 自由作文 16	いろいろな日本料理、てんぷらとたくさんわからない料理があった、 <u>あお</u> の日本人みんな <u>親切</u> に日本と国の <u>こと</u> の話をした。 (1) (2) (3)	1N 2副用 活用 3*コト
3237	マレーシア 23 自由作文 10	<u>ところが</u> 、テレビのドラマを見たり、むこうへの手紙を <u>書</u> ったりしていました。 (1) (1)	1C 2活用
3238	マレーシア 24 自由作文 5	夜の <u>時</u> も、テレビを見たり、ラジオを <u>き</u> たりしました。 (1) (2) (3)	1N 2格*モ/ーハ 3活用
3239	マレーシア 26 自由作文 12	原宿で <u>降</u> った明治神宮へ行きました。	活用 -デ形
3240	マレーシア 27 自由作文 1	<u>私</u> たち 別科生の夏休みは、大学生より一か月 <u>短</u> いで、八月九日から九月七日までだった。 (1) (2)	1発音 表記 2活用(A)
3241	マレーシア 28 自由作文 1	<u>私</u> の夏休みには、 <u>なつか</u> しくの国へ帰った <u>こと</u> です。 (1) (2) (3)	1表現 2活用(A) 品詞 *N/-A 3名詞節
3242	スペイン 2 聴解要約 8	そして、お風呂にはいった、 <u>きたな</u> かたになつたからである。	発音 活用 副用 活用(A)
3243	スペイン 2 パターン作文 12	また、日本語の勉強を <u>よく</u> <u>がん</u> はらなければなりません、ほしい本 <u>スペイン</u> 語で <u>ない</u> だからだと <u>思</u> います。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1副用 2表記 3取立 *0/-ハ 4活用(A) 5ダ 6表現
3244	ナイジェリア 1 パターン作文 5	東京と筑波を <u>くら</u> べと東京の方が <u>にんぎ</u> やかです。 (1) (2)	1活用(V) 2発音
3245	イギリス 1 自由作文 5	しかし <u>今</u> たいてい女の人はその仕事をする <u>いい</u> ではありません <u>と</u> 言います。 (1) (2) (3)	1副用 3取立 *0/-ハ 活用(A) スタイル 2名詞節
3246	エチオピア 1 パターン作文 4	<u>あたら</u> し <u>かん</u> がい <u>か</u> たと <u>ぎん</u> だ <u>い</u> <u>ぎ</u> じつ <u>研</u> <u>す</u> もり <u>い</u> てす。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2,3,4,7発音 5-格 *0/-ヲ 1活用(A) 6V
3247	ヨルダン 1 聴解要約 2	郵便局 <u>行</u> た電車 <u>を</u> <u>の</u> て 駅の前 <u>に</u> 小林さん <u>電</u> 話をした。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	4活用 2発音 3格 *ヲ/-ニ 1格*0/-ニ 5格*ニ/-デ 2-連用形
3248	インド 4 自由作文 11	小さい引きだしの中に <u>、</u> <u>大切</u> に物があります。 (1) (2)	1取立 *0/-ハ 2活用(Na) *ニ/-ナ
3249	インド 8 自由作文 16	私はテーブルがなければ、勉強することが <u>でき</u> ませんからです。	活用(V)
3250	インド 8 自由作文 26	日のさしこまないへやは、健康に <u>よく</u> ありませんからです。	活用(A)
3251	インド 8 自由作文 31	私は <u>かな</u> らず、 <u>ね</u> っしんな招待します。 (1) (2)	1Ad 2活用(Na) *ナ/-ニ
3252	インド 9 自由作文 5	その部屋 <u>に</u> <u>住</u> むところ <u>は</u> きれいで、虫が <u>ぜん</u> ぜん <u>ない</u> でした。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/-ノ連 2N 3V, 活用(V)
3253	インド 9 自由作文 14	ほかに <u>の</u> 物は <u>たい</u> たい <u>は</u> いられないようです。 (1) (2) (3)	1Ad 2発音 3活用(V)
3254	インド 15 自由作文 3	台所は板の間 <u>の</u> で、掃除 <u>す</u> る <u>や</u> すい <u>で</u> す。 (1) (2)	1接 ノデ 活用(ダ) 2複 V 活用

4. 形態論 [活用]

3255	インド 15 自由作文 7	右の方 ⁽¹⁾ は本箱が ⁽²⁾ お ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ ます。	1格 *0は /-ニは 2 活用(V) -テアル
3256	インド 16 自由作文 8	そして、もっと ⁽¹⁾ 入 ⁽²⁾ て ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ って ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 私 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 寝 ⁽¹⁾ り ⁽²⁾ と ⁽¹⁾ 勉 ⁽²⁾ 強 ⁽¹⁾ する ⁽²⁾ 所 ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ す。	1活用(V) 2-名詞節 3-並V *ト /-タリ
3257	インド 19 自由作文 15	机のみぎに ⁽¹⁾ 大 ⁽²⁾ き ⁽¹⁾ た ⁽²⁾ ん ⁽¹⁾ す ⁽²⁾ が ⁽¹⁾ あ ⁽²⁾ り ⁽¹⁾ ま ⁽²⁾ す。	発音 活用
3258	インド 19 自由作文 17	ひかしに ⁽¹⁾ 大 ⁽²⁾ き ⁽¹⁾ ま ⁽²⁾ ど ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ あ ⁽¹⁾ り ⁽²⁾ ま ⁽¹⁾ す。	1発音 2発音 活用
3259	インド 23 自由作文 4	お ⁽¹⁾ お ⁽²⁾ き ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ て ⁽¹⁾ き ⁽²⁾ れ ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ な ⁽¹⁾ 8 ⁽²⁾ 畳 ⁽¹⁾ へ ⁽²⁾ や ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ す。	1活用(A) 2複N - ノ連
3260	インド 23 自由作文 22	大 ⁽¹⁾ き ⁽²⁾ い ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ き ⁽¹⁾ れ ⁽²⁾ い ⁽¹⁾ な ⁽²⁾ 部 ⁽¹⁾ 屋 ⁽²⁾ で ⁽¹⁾ す。	活用(A)
3261	インド 28 自由作文 5	この ⁽¹⁾ 映 ⁽²⁾ 画 ⁽¹⁾ の中 ⁽²⁾ で ⁽¹⁾ み ⁽²⁾ ん ⁽¹⁾ な ⁽²⁾ 戦 ⁽¹⁾ 争 ⁽²⁾ は ⁽¹⁾ や ⁽²⁾ め ⁽¹⁾ た ⁽²⁾ い ⁽¹⁾ と ⁽²⁾ 深 ⁽³⁾ 刻 ⁽⁴⁾ な ⁽¹⁾ 出 ⁽²⁾ る ⁽⁴⁾ 。	1コソア 2取立 *0 / -ハ 3活用(NA)*ナ /-ニ 4V
3262	インド 29 自由作文 14	でも、およめさんは何も ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ わ ⁽¹⁾ な ⁽²⁾ い ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ し ⁽¹⁾ た。	活用V
3263	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭が ⁽¹⁾ あ ⁽²⁾ た ⁽¹⁾ た ⁽²⁾ か ⁽¹⁾ か ⁽²⁾ つ ⁽¹⁾ た ⁽²⁾ が ⁽¹⁾ 富 ⁽¹⁾ 裕 ⁽²⁾ では ⁽¹⁾ な ⁽²⁾ か ⁽¹⁾ つ ⁽²⁾ た ⁽¹⁾ から、ほかの子供に ⁽²⁾ う ⁽³⁾ ら ⁽¹⁾ や ⁽²⁾ ま ⁽¹⁾ し ⁽²⁾ い ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ し ⁽¹⁾ た、毎 ⁽⁴⁾ 度 ⁽¹⁾ 、友 ⁽⁵⁾ 達 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ い ⁽³⁾ っ ⁽¹⁾ ば ⁽²⁾ い ⁽³⁾ な ⁽¹⁾ お ⁽⁶⁾ も ⁽⁷⁾ ち ⁽¹⁾ ゃ ⁽²⁾ を ⁽³⁾ も ⁽⁶⁾ つ ⁽⁷⁾ て ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ る ⁽³⁾ 時 ⁽⁴⁾ き、私 ⁽⁵⁾ は ⁽⁶⁾ 金 ⁽⁷⁾ も ⁽¹⁾ ち ⁽²⁾ さん ⁽³⁾ にな ⁽⁴⁾ っ ⁽¹⁾ て、も ⁽⁵⁾ つ ⁽⁶⁾ と ⁽⁷⁾ 多 ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ お ⁽³⁾ も ⁽⁴⁾ ち ⁽⁵⁾ ゃ ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ も ⁽¹⁾ つ ⁽²⁾ て ⁽³⁾ い ⁽⁴⁾ る ⁽⁵⁾ 夢 ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ つ ⁽¹⁾ く ⁽²⁾ た。	1NA 2格 *ニ /-ガ 3 活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *ト キ /-ト 7N 8A 9V 発音
3264	インド 34 自由作文 7	彼の ⁽¹⁾ 授 ⁽²⁾ 教 ⁽¹⁾ で、つま ⁽¹⁾ ら ⁽²⁾ な ⁽¹⁾ か ⁽²⁾ つ ⁽¹⁾ た ⁽²⁾ り、お ⁽¹⁾ も ⁽²⁾ し ⁽¹⁾ か ⁽²⁾ つ ⁽¹⁾ た ⁽²⁾ りする ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ で ⁽¹⁾ し ⁽²⁾ た。	1表記 取立 *デ /-ハ 2活用(A)
3265	インド 35 自由作文 7	病院へ ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ っ ⁽¹⁾ て ⁽²⁾ 足 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 病 ⁽¹⁾ 気 ⁽²⁾ につ ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ て ⁽¹⁾ 答 ⁽¹⁾ え ⁽²⁾ を ⁽¹⁾ も ⁽²⁾ ら ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ た ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ で ⁽¹⁾ し ⁽²⁾ た。	活用(A)
3266	インド 37 自由作文 2	しかし ⁽¹⁾ あ ⁽²⁾ の ⁽¹⁾ 人 ⁽²⁾ は ⁽¹⁾ 非 ⁽²⁾ 常 ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ 勇 ⁽³⁾ 敢 ⁽⁴⁾ な ⁽¹⁾ 克 ⁽²⁾ 服 ⁽³⁾ 障 ⁽⁴⁾ 礙 ⁽¹⁾ 、ま ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ 朝 ⁽³⁾ を ⁽⁴⁾ 「 ⁽¹⁾ 報 ⁽²⁾ 童 ⁽³⁾ 」し ⁽⁴⁾ ま ⁽¹⁾ す、不 ⁽⁵⁾ 論 ⁽⁶⁾ 大 ⁽⁷⁾ 風 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 刮 ⁽³⁾ た ⁽⁴⁾ り、雨 ⁽⁵⁾ が ⁽⁶⁾ 降 ⁽⁷⁾ た ⁽¹⁾ り、毎 ⁽²⁾ 々 ⁽³⁾ 送 ⁽⁴⁾ 達 ⁽¹⁾ し ⁽²⁾ ま ⁽³⁾ す。	1C 2コソア 3N 4格 *ヲ /-O 5N 6? 7 活用(V) 8?
3267	インド 45 自由作文 2	私は、高校の時 ⁽¹⁾ から ⁽²⁾ 化学 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 勉 ⁽³⁾ 強 ⁽⁴⁾ に ⁽¹⁾ 濃 ⁽²⁾ い ⁽¹⁾ 興 ⁽²⁾ 味 ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ 持 ⁽³⁾ つ ⁽⁴⁾ 始 ⁽¹⁾ め ⁽²⁾ ま ⁽³⁾ す。	1A 2活用(V) 3*ル / -タ
3268	インド 48 自由作文 4	コン ⁽¹⁾ ピ ⁽²⁾ ユ ⁽³⁾ タ ⁽⁴⁾ ー ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ 使 ⁽³⁾ い ⁽⁴⁾ こ ⁽¹⁾ と ⁽²⁾ が ⁽³⁾ だ ⁽⁴⁾ ん ⁽¹⁾ だ ⁽²⁾ ん ⁽³⁾ 多 ⁽⁴⁾ い ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ す。	1発音 2活用(V) 3複 V
3269	インド 48 自由作文 8	日本の学生は中学校から、学校で ⁽¹⁾ そ ⁽²⁾ れ ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ 学 ⁽³⁾ ぶ ⁽⁴⁾ ま ⁽¹⁾ し ⁽²⁾ た。	1コソア 2活用(V) 3*タ /-ル
3270	インド 50 自由作文 7	ですから ⁽¹⁾ そ ⁽²⁾ れ ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ き ⁽¹⁾ っ ⁽²⁾ か ⁽¹⁾ け ⁽²⁾ で、日本へ ⁽¹⁾ 写 ⁽²⁾ 真 ⁽¹⁾ 技 ⁽²⁾ 術 ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ 学 ⁽³⁾ ぶ ⁽⁴⁾ に ⁽¹⁾ 来 ⁽²⁾ ま ⁽³⁾ し ⁽⁴⁾ た。	1格 *ヲ /-ガ 2活用(V)
3271	インド 50 自由作文 13	貿易の面から ⁽¹⁾ 見 ⁽²⁾ ると ⁽¹⁾ 日本 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 経 ⁽³⁾ 営 ⁽⁴⁾ 管 ⁽¹⁾ 理 ⁽²⁾ は ⁽¹⁾ 一 ⁽²⁾ 番 ⁽¹⁾ と ⁽²⁾ 呼 ⁽³⁾ ば ⁽⁴⁾ ら ⁽¹⁾ け ⁽²⁾ れ ⁽¹⁾ ば ⁽²⁾ な ⁽³⁾ り ⁽⁴⁾ ま ⁽¹⁾ せ ⁽²⁾ ん。	活用(V)
3272	インド 51 自由作文 8	それに ⁽¹⁾ 国民 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 生 ⁽³⁾ 活 ⁽⁴⁾ も ⁽¹⁾ 営 ⁽²⁾ め ⁽³⁾ ま ⁽⁴⁾ い ⁽¹⁾ わ ⁽²⁾ け ⁽³⁾ で ⁽⁴⁾ あ ⁽¹⁾ る。	1C 2活用(V) ム- ド
3273	インド 51 自由作文 16	私は ⁽¹⁾ し ⁽²⁾ っ ⁽¹⁾ か ⁽²⁾ り ⁽¹⁾ 日本 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 経 ⁽³⁾ 済 ⁽⁴⁾ 学 ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ 学 ⁽³⁾ ん ⁽⁴⁾ で ⁽¹⁾ 将 ⁽²⁾ 来 ⁽³⁾ 国 ⁽¹⁾ へ ⁽²⁾ 帰 ⁽³⁾ え ⁽⁴⁾ つ ⁽¹⁾ たら ⁽²⁾ 国 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 経 ⁽³⁾ 済 ⁽⁴⁾ 発 ⁽¹⁾ 展 ⁽²⁾ をつ ⁽³⁾ い ⁽⁴⁾ て ⁽¹⁾ 国 ⁽¹⁾ 家 ⁽²⁾ の ⁽³⁾ 経 ⁽⁴⁾ 済 ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ め ⁽³⁾ ざ ⁽⁴⁾ ま ⁽¹⁾ し ⁽²⁾ い ⁽³⁾ 発 ⁽⁴⁾ 展 ⁽¹⁾ さ ⁽²⁾ せ ⁽³⁾ た ⁽⁴⁾ い ⁽¹⁾ と ⁽²⁾ 思 ⁽³⁾ っ ⁽⁴⁾ て ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ る。	1表現 2活用(A)

第4章 形態論

3274	インド 54 自由作文 2	もし、私がお金持ちになったら <u>社会にはまだ</u> <u>たくさん</u> の苦難の人、 <u>憐れな</u> <u>人に援助してあげろう</u> <u>と</u> <u>思っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1ーノ連 2副用 3NA 4活用(V)
3275	インド 54 自由作文 5	もし、富豪の家庭に生れたら稚い時から何の衣食の心配 も無く、 <u>愉快なる</u> <u>生活をする</u> 、 <u>一方には</u> <u>貧困の家庭</u> に生れたら、 <u>経済の問題によって</u> <u>自分の理想や願望が</u> <u>変わる</u> <u>のである</u> 。	1活用(NA) 2接 3副 用 4スタイル
3276	インド 54 自由作文 6	もし、私がお金持ちになったら、 <u>貧困</u> <u>の人を手助けして</u> <u>あげて</u> <u>富豪の人と同じ</u> <u>平等線</u> <u>に自分の将来</u> <u>は</u> <u>創造する</u> <u>と</u> <u>思っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1N 2N 3取立 *ハ/ ーヲ 4活用(V)
3277	インド 54 自由作文 17	もし、李さんが <u>死な</u> <u>なかったら</u> 、 <u>現在は</u> 、 <u>偉大な科学者</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1表記 活用 2スタイ ル
3278	インド 55 自由作文 15	そして、 <u>就職の機会も</u> <u>ふ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	活用(V)
3279	フィンランド 1 自由作文 3	アメリカ人は <u>くつをぬぐ</u> <u>こと</u> <u>は</u> <u>わ</u> <u>す</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>下</u> <u>さ</u> <u>い</u> 。	1取立 *ハ/ーヲ 2発 音 活用(V)
3280	フィンランド 5 自由作文 21	時々手紙を <u>か</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	活用
3281	フィンランド 6 自由作文 11	エイ先生は私に理論と実践 <u>が</u> <u>一</u> <u>緒</u> <u>に</u> <u>親</u> <u>切</u> <u>な</u> <u>教</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ガ/ーヲ 2副用 活用(NA) *ナ/ーニ
3282	フィンランド 6 自由作文 14	私が <u>ほう</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>そ</u> <u>ば</u> <u>に</u> <u>数</u> <u>字</u> <u>を</u> <u>か</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>り</u> 、 <u>文</u> <u>献</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ら</u> <u>べ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1発音 2格 *ニ/ーデ 3活用 4並V
3283	フィンランド 7 自由作文 7	もし、 <u>ほ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> 、 <u>私</u> <u>に</u> 、 <u>言</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>ぐ</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> 。	1活用 A 2発音

5. シンタクス・意味論

5.1. 補語

5.1.1. 格助詞ガ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
3284	台湾 3 自由作文 12	でも、古典方面の音楽 <u>すこし</u> <u>もっと</u> <u>すぎ</u> 。 (1)(2)(3) (4) (5) (6)	1-ノホウ 2格 *0 / -ガ 3,4Ad 副用 5発 音 6-ダ
3285	台湾 3 自由作文 13	<u>更に</u> 、古典の音楽をききながら、唐の詩 <u>、</u> 詞 <u>読むと</u> (1) (2) (3) <u>き</u> <u>、</u> 感覚 <u>一番いい</u> と思います。 (4) (5)	1Ad 副用 2並 N *0 / -ヤ 3格 *0 /-ヲ 4 -ノ連 5格 *0 /-ガ
3286	台湾 4 自由作文 3	生まれてからずっと台南の文化の影響をうけていたので、 私はデザインと文学 <u>の</u> <u>趣味</u> <u>が</u> もっている。 (1) (2)	1格 *ノ連 /-ニ 2格 *ガ /-ヲ
3287	台湾 6 自由作文 6	もし、時間 <u>、</u> あれば、その資料を送って下さい。	格 *0 /-ガ
3288	台湾 7 自由作文 2	先日木村さんから <u>持った</u> 手紙 に ありがとう、 <u>天気</u> は (1) (2) (3) 10月の試験が終わってから大変寒くなって <u>きた</u> から身 (4) 体 <u>かき</u> をつけてください。 (5)	1V 2格 *ニ /-ヲ 3 N 4スタイル 5格 * ガ /-ニ
3289	台湾 7 自由作文 4	木村さんは先月私に貸して <u>持った</u> 名画家の作品のスラ (1) (2) ド <u>が</u> もう見ましたか <u>感想</u> がありますか、 <u>いい作品</u> <u>が</u> (3) (4) (5) たくさん見て、参考して、 <u>自分に</u> アイデアの発想に <u>激</u> (6) (7) <u>発</u> なが ことがあるかもしれないと思います。 (8)	1取立 *ハ /-ガ 2受 給 3格 *ガ /-ヲ 4表 現 5格 *ガ /-ヲ 6- ノ連 7NA
3290	台湾 10 自由作文 2	大学 <u>卒業</u> した から、大変長く時間 <u>を</u> たって いました。 (1) (2) (3)	1*タ /-テ形 2格 *ヲ /-ガ 3*テイル /- ル
3291	台湾 12 自由作文 3	先週久美子さんからの <u>お祝い</u> の手紙 <u>が</u> <u>見ました</u> <u>いろい</u> (1) (2) (3) <u>ろ</u> のお世話になりました非常にありがとうございます。 (4)	1格 *ガ /-ヲ 2スタ イル 3品詞 *N /- NA
3292	台湾 12 自由作文 6	先週久美子さんからの <u>お祝い</u> の手紙 <u>が</u> <u>見ました</u> 。 (1) (2)	1格 *ガ /-ヲ 2スタ イル
3293	台湾 13 自由作文 11	来年の春ChicagoSymphonyOrchestra <u>、</u> 来る予定です。	格 *0 /-ガ
3294	台湾 15 自由作文 5	最初休みの日を利用して、第一学期の授業を復習する予 定 <u>です</u> <u>が</u> <u>今日</u> の円が高くて台湾の父母 <u>が</u> ちょっとお (1) (2) (3) 金がかからない <u>ために</u> <u>ガソリン</u> スタンドで働いていま (4) した。	1*ル /-タ 2N 3格 * ガ /-ニ 4接 -ヨウ ニ
3295	台湾 15 自由作文 9	それが私 <u>は</u> コンピュータに興味 <u>が</u> 持つはじめでした。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ガ 2格 *ガ /-ヲ
3296	台湾 15 自由作文 19	いまから決心して、父母の期待 <u>が</u> はずれないように一生 懸命最後までがんばりましょう。	格 *ガ /-ニ
3297	台湾 16 自由作文 13	二番目は野球の試合 <u>が</u> よくおこないます。	格 *ガ /-ヲ
3298	台湾 17 自由作文 5	もしわたしがしんりそうだんしゃだったら、できるだけ、 <u>うつぜん</u> <u>な</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>たす</u> けさせられます。 (1) (2) (3)	1NA 2格 *ガ /-ヲ 3 使役 受身 複 V

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3299	台湾 17 自由作文 8	ひとびとのせいしんの <u>あつりよく</u> はほとんどにんげんや かんじょうのもんだいやじぎょうなどから <u>ていねい</u> に <u>かんしゃ</u> のなやみをきいて <u>かっかん</u> に <u>けいせつ</u> なら ら、だんだんあたらしいじんせいかん <u>を</u> <u>たつ</u> はずです。	1N 2-ダ 3発音 4 5 6格 *ヲ/ーガ 7自他
3300	台湾 19 自由作文 3	公務員 <u>が</u> 人 <u>の</u> 目の中になにも <u>を</u> <u>思</u> われている <u>の</u> は全 然考 ⁽¹⁾ えなく ⁽²⁾ て、上役 ⁽³⁾ にどんな不公平な事 ⁽⁴⁾ をさせられても、 け ⁽⁵⁾ っしてあ ⁽⁶⁾ ませなく ⁽⁷⁾ て、大衆 ⁽⁸⁾ に対して、 <u>ら</u> ずに責任 ⁽⁹⁾ <u>が</u> お ⁽¹⁰⁾ われて、いつも人 ⁽¹¹⁾ に服 ⁽¹²⁾ 務する <u>思</u> いつき <u>を</u> 持っている。	1取立 *ガ/ーハ 2表 現 一疑問節 一トイ ウ 3接 *テ形 4V 5格 *ガ/ーヲ 6自他 7N
3301	台湾 22 自由作文 1	私は、来年の大学費 <u>は</u> たりないために夏休の前に、アル バイトを探 ⁽¹⁾ がして行 ⁽²⁾ きました。	格 *ハ/ーガ
3302	台湾 22 自由作文 10	現在、アルバイトも <u>持</u> っている <u>の</u> で機械の操作方 <u>に</u> <u>だ</u> んだん、上手 ⁽¹⁾ になってき ⁽²⁾ ました。	1V 2格 *ニ/ーガ
3303	台湾 22 自由作文 11	八月十九日に、会社は夏休で私や姉や姉の主人など <u>が</u> 一 緒に山梨県へぶどうやももを狩 ⁽¹⁾ に行 ⁽²⁾ きました。	格 *ガ/ート
3304	台湾 22 自由作文 17	道の両方 <u>には</u> <u>時々</u> ネオンでかざられた夜景 <u>は</u> 美しいで す。	1ノ連 2副 3格 *ハ/ ーガ
3305	台湾 24 自由作文 2	8月9日台北に <u>着</u> いて、空港で <u>家族</u> <u>もう</u> <u>ま</u> ってこ が ⁽¹⁾ れていま ⁽²⁾ した。	1接 条件 *テ形/ータ ラ 2取立 *0/ーハ 3 格 *0/ーガ 4VP
3306	中国 2 絵を見ての作文 7	おばさん <u>さ</u> しているかさ <u>が</u> <u>落</u> としています。	2格 *ガ/ーヲ 3*テ イル 1*0/ーハ
3307	中国 4 聴解要約 3	このあいだヤンさんは <u>が</u> 東京へ旅行 ⁽¹⁾ をしてきたので、か とうさんの家 ⁽²⁾ を訪問 ⁽³⁾ した。	格 *ガ/ー0
3308	中国 4 パターン作文 2	自然科学 <u>を</u> 従事 ⁽¹⁾ している人は女子より男子の方が上位 ⁽²⁾ を 占 ⁽³⁾ めているということ <u>を</u> よくい ⁽⁴⁾ われます。	格 1*ヲ/ーニ 2*ヲ/ ーガ
3309	中国 4 パターン作文 5	食物 <u>に</u> として日本料理 ⁽¹⁾ は美味しいですが、中国料理と比 べると <u>違</u> ところ <u>は</u> あります。	1格 *ニ/ー0 3取立 格 *ハ/ーガ 2表記
3310	中国 7 自由作文 6	ほんとうの勉強 <u>で</u> できるところです。	格 *0/ーガ
3311	中国 8 自由作文 10	もし日本語 <u>に</u> 上手 ⁽¹⁾ になったら、日本語の小説も読むこと <u>が</u> <u>で</u> きる、それはとてもうれ ⁽²⁾ しいです ⁽³⁾ ね!	1格 *ニ/ーガ 2,3ス タイル
3312	中国 10 自由作文 15	情のうすい日本人はただあいさつ ⁽¹⁾ だけで人間関係 <u>を</u> <u>結</u> び 付 ⁽²⁾ いていると私は思 ⁽³⁾ います。	格 *ヲ/ーガ
3313	中国 14 自由作文 21	あまり遠くない <u>の</u> 将来、人々の知識水準 ⁽¹⁾ が高くなる によって、 <u>それら</u> <u>の</u> 人 <u>に</u> <u>い</u> やがれる <u>こと</u> がだんだん 無 ⁽²⁾ くなる <u>と</u> 信 ⁽³⁾ じます。	1*ノ連 2-名詞節 3 コソア 4格 *ニ / ーガ 5活用 6複V 一テ イク
3314	中国 15 自由作文 4	日本へ来る前に、「東京の人口は約一千二百万ぐらい、 <u>世界中</u> <u>に</u> <u>一</u> の大都市で、 <u>中</u> <u>には</u> 、新宿が挙げ ^(1,2) られてい る。」と私は <u>そ</u> う <u>い</u> う <u>噂</u> <u>が</u> <u>聞</u> いて東京 ⁽³⁾ に来 ⁽⁴⁾ たのだ。	1複N 2,3副用 4*テ イル/ール 5コソア 6*トイウ 7格 *ガ/ー ヲ
3315	中国 15 自由作文 8	しかし、電車があまり込 ⁽¹⁾ んでいたため、 <u>あ</u> の人 <u>は</u> <u>や</u> は <u>り</u> 電車の中へ掛 ⁽²⁾ け込 ⁽³⁾ む <u>の</u> <u>を</u> <u>で</u> きな ⁽⁴⁾ か ⁽⁵⁾ った。	1コソア 2副用 3名詞 節 一コト 4格 *ヲ/ーガ 5VP

3316	中国 16 自由作文 10	でも日本の中で私 ⁽¹⁾ に 受けた最も強い印象 ⁽²⁾ の は日本の生活・習慣です。	1格 *ニ/ーガ 2ノ代
3317	中国 17 自由作文 5	日本は中国と同じように人口 <u>を</u> 密集している国です。	格 *ヲ/ーガ
3318	中国 18 自由作文 11	だから <u>そのこと</u> ⁽¹⁾ で 印象が一番深いです。 ⁽²⁾	1C 2格 *デ/ーガ
3319	中国 19 自由作文 3	この半年の間に <u>日本</u> ⁽¹⁾ で暮して、いろいろなこと <u>を</u> ⁽²⁾ 次第にわかって来ました。	1副用 2格 *ヲ/ーガ
3320	中国 19 自由作文 4	たとえば浮浪者 <u>が</u> ⁽¹⁾⁽²⁾ もっとも不思議だと <u>思</u> ⁽³⁾ ています <u>が</u> ⁽⁴⁾ 、どうして、経済大国の日本 <u>には</u> ⁽⁵⁾ こんなに <u>たく</u> ⁽⁶⁾ <u>さん</u> ⁽⁷⁾ な浮浪者がいますか。	1一名詞節 2格 *ガ/ーヲ 3活用 4ーノダ 5取立 に*ハ/にー0 6品詞 *NA/ーN 7ーノダ
3321	中国 20 自由作文 18	毎日電車に乗っているとき、電車 <u>で</u> ⁽¹⁾ よく <u>本</u> ⁽²⁾ を読んでいます。	1Ad 副用 2格 *モ/ーガ
3322	中国 20 自由作文 19	どんなに年をとったひとでも、電車 <u>が</u> ⁽¹⁾ いくらこんでいても、本 <u>を</u> ⁽²⁾ 読んでいます。	格 *モ/ーガ
3323	中国 22 自由作文 10	に、さんかげつ <u>じゅう</u> ⁽¹⁾ 、わたしは毎日学校の <u>じゅうきょう</u> ⁽²⁾ の時間 <u>は</u> ⁽³⁾ <u>五時間</u> ⁽⁴⁾ <u>が</u> ⁽⁵⁾ <u>あります</u> ⁽⁶⁾ 。	1複N 2取立 *ハ/ーガ 3格 *ガ/ー0 4*ル/ータ
3324	中国 28 自由作文 3	にほんへきたとき、じどうしゃやえきやみせの <u>けいばん</u> ⁽¹⁾ などをかたかなとひらがなとかんじでかいてありました。	1N 2格 *ヲ/ーガ
3325	中国 32 自由作文 5	九時ごろ家を出て教室へ <u>来</u> ⁽¹⁾ て先生 <u>から</u> ⁽²⁾ わたしに教えてくれます。	1接条件 *テ形/ート 2格 *カラ/ーガ 3受給スタイル
3326	中国 32 自由作文 12	今まで先生 <u>は</u> ⁽¹⁾ 教室で話すこと <u>が</u> ⁽²⁾ 95パーセント以上 ⁽³⁾ <u>理解</u> ⁽⁴⁾ することができます。	1Ad 副用 2取立 *ハ/ーガ 3格 *ガ/ーノ 連 4*0/ーヲ
3327	中国 38 自由作文 7	ひらがなやカタカナやかんじなど <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>べんきょう</u> ⁽²⁾ をします。	格 *ガ/ーヲ
3328	中国 45 自由作文 11	いみはたいていわかりますがよみかた <u>と</u> ⁽¹⁾ <u>ちゅうごくご</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽³⁾ <u>ちが</u> ⁽⁴⁾ <u>います</u> ⁽⁵⁾ 。	1格 *ト/ーガ 2*ガ/ート
3329	中国 46 自由作文 18	わたしはともだちと一緒に <u>はなし</u> ⁽¹⁾ と <u>き</u> ⁽²⁾ <u>に</u> ⁽³⁾ <u>ほご</u> ⁽⁴⁾ <u>が</u> ⁽⁵⁾ <u>つか</u> ⁽⁶⁾ <u>っています</u> ⁽⁷⁾ 。	1活用(V) 2表記 3格 *ガ/ーヲ
3330	中国 47 自由作文 10	にほんでのせいかつは、にほんご <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>でき</u> ⁽²⁾ <u>ません</u> ⁽³⁾ <u>とき</u> ⁽⁴⁾ 、いちばん <u>ぶべんり</u> ⁽⁵⁾ です <u>ね</u> ⁽⁶⁾ 。	1取立 *ハ/ーガ 2スタイル 3格 *0/ーガ 4NA 5スタイル
3331	中国 47 自由作文 12	みち <u>で</u> ⁽¹⁾ あるいて <u>、</u> ⁽²⁾ <u>その</u> ⁽³⁾ <u>ひと</u> ⁽⁴⁾ <u>は</u> ⁽⁵⁾ <u>むじかし</u> ⁽⁶⁾ <u>かった</u> ⁽⁷⁾ <u>こと</u> ⁽⁸⁾ <u>が</u> ⁽⁹⁾ <u>たす</u> ⁽¹⁰⁾ <u>けて</u> ⁽¹¹⁾ <u>あげ</u> ⁽¹²⁾ <u>ます</u> ⁽¹³⁾ <u>た</u> ⁽¹⁴⁾ <u>きは</u> ⁽¹⁵⁾ 、 <u>にほんご</u> ⁽¹⁶⁾ <u>で</u> ⁽¹⁷⁾ <u>はなし</u> ⁽¹⁸⁾ <u>て</u> ⁽¹⁹⁾ <u>つ</u> ⁽²⁰⁾ <u>かう</u> ⁽²¹⁾ <u>ます</u> ⁽²²⁾ 。	1,10格 *デ/ーヲ 2*0/ーテイル 3*コソア/ー0 4取立 *ハ/ーガ 5,9発音 A 6名詞節 *コト/ーノ 7格 *ガ/ーヲ 8スタイル 11VP 発音
3332	中国 47 自由作文 17	いご <u>わた</u> ⁽¹⁾ <u>し</u> ⁽²⁾ <u>の</u> ⁽³⁾ <u>にほんご</u> ⁽⁴⁾ <u>が</u> ⁽⁵⁾ <u>がんば</u> ⁽⁶⁾ <u>り</u> ⁽⁷⁾ <u>ほ</u> ⁽⁸⁾ <u>しい</u> ⁽⁹⁾ 。	1副用 Ad 2取立 格 *ノ連/ーハ 3格 *ガ/ーヲ 4V

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3333	中国 48 自由作文 7	にほんご <u>を</u> <u>よく</u> <u>わが</u> <u>たら</u> 、にほんのふうぞくやにほ んじん <u>を</u> <u>はじめ</u> <u>に</u> <u>わが</u> <u>る</u> <u>はず</u> <u>だ</u> 。 _{(1) (2) (3) (4) (5) (6)}	1格 *ヲ/ーガ 2,5発 音 3格 *ヲ/ーガ 4Ad 副用 6スタイル
3334	中国 48 自由作文 8	ちゅうごじん はにほんじんに <u>たい</u> <u>へん</u> にていますが、 <u>かん</u> <u>が</u> <u>え</u> <u>ぜん</u> <u>ぜん</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	1発音 2Ad 副用 3N 4格 *0/ーガ
3335	中国 52 自由作文 7	十月九日からこの学校で日本語 <u>が</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 _{(1) (2)}	1格 *ガ/ーヲ 2格 * ヲ/ー0
3336	中国 52 自由作文 17	冬休み <u>す</u> <u>ぐ</u> <u>始</u> <u>め</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2)}	1格 *0/ーガ 2自他
3337	中国 53 自由作文 6	わたしたちのクラスにはみんな <u>1</u> <u>8</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>仲</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	1副用 格 *0/ーデ 2 数 *ガ/ー0 3発音 4 複 V
3338	中国 53 自由作文 12	たとえば、助詞 <u>は</u> <u>た</u> <u>だ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>用</u> <u>法</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>た</u> <u>ま</u> <u>が</u> <u>痛</u> <u>い</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	1取立 *ハ/ーノ連 2 N 3*ガ/ーハ 4格 * ガ/ーノ連
3339	中国 59 自由作文 11	ですから日本の家庭や事務室は電気製品 <u>が</u> <u>多</u> <u>く</u> <u>使</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2)}	格 *ガ/ーヲ
3340	韓国 2 パターン作文 11	6月 <u>来</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>梅</u> <u>雨</u> <u>か</u> <u>始</u> <u>め</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	2接 (*カラ/ート) 3発 音 4自他 1格 *0/ー ガ
3341	韓国 4 自由作文 4	日本の場合は約120年前の明治維新で世界の新しい文 物 <u>を</u> <u>流</u> <u>入</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>て</u> <u>近</u> <u>代</u> <u>化</u> <u>に</u> <u>成</u> <u>功</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>現</u> <u>在</u> <u>の</u> <u>経</u> <u>済</u> <u>発</u> <u>展</u> <u>を</u> <u>成</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	2自他 1格 *ヲ/ーガ 4*テ形/ー連用形 3 発音
3342	韓国 4 パターン作文 5	それで映画を見る <u>の</u> <u>が</u> <u>興</u> <u>味</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>が</u> 、TVとくら <u>べ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>映</u> <u>画</u> <u>を</u> <u>見</u> <u>る</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>お</u> <u>金</u> <u>が</u> <u>必</u> <u>要</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1名詞節 *ノ/ーコト 2*ガ/ーニ 2格 *デ/ ーニ
3343	韓国 11 パターン作文 9	そのことば <u>が</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>ら</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2)}	1格 *ガ/ーニ 2格 取 立 *ニ/ーハ
3344	韓国 12 パターン作文 10	これに反して在来式工法によって建設 <u>に</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>る</u> <u>い</u> <u>平</u> <u>面</u> <u>と</u> <u>立</u> <u>面</u> <u>を</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1格 (*ニ/ーガ) 2,3発 音
3345	韓国 15 自由作文 5	しかし、時間が経つにつれて教える <u>仕</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>身</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>ど</u> <u>の</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>余</u> <u>裕</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1N 2格 *ガ/ーヲ 3Ad 副用
3346	韓国 18 自由作文 4	家庭 <u>た</u> <u>け</u> <u>が</u> <u>担</u> <u>当</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>機</u> <u>能</u> <u>が</u> <u>社</u> <u>会</u> <u>の</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>団</u> <u>体</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>家</u> <u>庭</u> <u>の</u> <u>特</u> <u>別</u> <u>な</u> <u>機</u> <u>能</u> <u>の</u> <u>性</u> <u>格</u> <u>を</u> <u>失</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1発音 2V 3格 *ガ/ ーノ連 4発音 表記 5 活用(V)
3347	韓国 19 自由作文 9	教授 <u>の</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>心</u> <u>の</u> <u>壁</u> <u>を</u> <u>こ</u> <u>わ</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>に</u> <u>話</u> <u>し</u> <u>合</u> <u>う</u> <u>雰</u> <u>囲</u> <u>気</u> <u>は</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>たら</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>や</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>な</u> <u>や</u> <u>み</u> <u>の</u> <u>所</u> <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1格 *ノ/ーガ 2表記 3-引用 4V
3348	韓国 20 自由作文 10	韓国の漢字は日本の漢字 <u>が</u> <u>い</u> <u>み</u> <u>が</u> <u>たい</u> <u>へん</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> 、 <u>読</u> <u>の</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	1格*ガ/ート 2Ad 副 用 3複 N 4スタイル
3349	韓国 23 自由作文 7	学校が社会人になる <u>準</u> <u>備</u> <u>段</u> <u>階</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>教</u> <u>育</u> <u>の</u> <u>実</u> <u>質</u> <u>化</u> <u>を</u> <u>実</u> <u>現</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1体修 2格 *ガ/ート 3V
3350	韓国 26 自由作文 16	そして、コタツの下もノートや本 <u>を</u> <u>並</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2)}	格 *ヲ/ーガ

3351	韓国 26 自由作文 20	本相 <u>が</u> 置いてある側のかべに、オートバイの絵 <u>を</u> はっ (1) (2) てあります。	1表記 2格 *ヲ/ーガ
3352	韓国 29 自由作文 3	もしかぜにかからないようにする方法 <u>を</u> みなさん <u>が</u> よ (1) (2) くわからなければいまから私がおしえてあげます。	1格 *ヲ/ーガ 2*ガ/ ーニ
3353	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店 <u>を</u> つくられて商業も <u>盛ん</u> <u>て</u> いま (1) (2) (3) <u>す</u> 。	1格 *ヲ/ーガ 2品詞 *V/ーNA 3発音表 記 *テイル/ールタ
3354	韓国 33 自由作文 2	我が国はまだ、政治 <u>を</u> 安定していたい状態です。	格 *0/ーガ
3355	ブラジル 1 聴解要約 9	かとさんの家方 <u>で</u> つだって <u>ま</u> しました。 (1) (2)(3) (4)	3テ形 1N 4ー受給 2 格 *0/ーガ
3356	ブラジル 2 自由作文 16	ぶどう酒のびん <u>が</u> <u>い</u> っぱいはいっています。 (1) (2)	1格 *ガ/ーニ 2取立 ーハ
3357	ブラジル 2 パターン作文 1	ブラジルと日本の <u>番</u> 大きいちがいは、ブラジル <u>は</u> ク (1) (2) ルザド <u>で</u> 使う、日本人は円 <u>が</u> 使います。 (3) (4) (5) (6)	1副用 Ad 2格 *0は/ ーデは 3格 *デ/ー ヲ 4*ル/ー連用形 5 格 *ガ/ーヲ 6名詞節
3358	ブラジル 2 パターン作文 3	ブラジルにくらべて日本は文力 <u>が</u> <u>お</u> そうです。 (1)(2)	1格 *0/ーガ 2A
3359	アメリカ 1 聴解要約 1	ヤンさん <u>が</u> あるの 日。 (1) (2)	1格 *ガ/ーノ連 2体 修 AN
3360	アメリカ 1 聴解要約 7	秋葉原で <u>テイプレコーダ</u> <u>を</u> 買うとき店の人と売買契約 (1) (2) <u>が</u> しました。 (3)	2格 *0/ーヲ 3格 * ガ/ーヲ 1表記
3361	アメリカ 1 自由作文 6	利用法も大都市に人口は集中し、交通渋滞 <u>が</u> <u>悪</u> だし、 (1) (2) (3)(4) 大気 <u>の</u> よごれ <u>や</u> もわるく <u>な</u> って <u>と</u> うこと <u>が</u> 起こって (5) (6) (7) きたのである。	1N 2取立 *ハ/ーガ 3格 *0/ーガ 4A 6* テ形 7名詞節 5並N *ヤも/ー0も
3362	アメリカ 1 自由作文 13	ですから、私のふるさと <u>は</u> <u>二</u> つ <u>が</u> あります。 (1) (2)	1副用 数 2格 *ガ/ー 0
3363	アメリカ 1 パターン作文 7	よく <u>聞</u> かける <u>こ</u> と <u>あ</u> り ます。 (1) (2)(3)	3格 *0/ーガ 1V 2 複 V
3364	インドネシア 2 聴解要約 5	おくさんはやんさん <u>が</u> りょこう <u>か</u> ら おみやげをもらっ (1) (2) て、うれしかった。	1格 *ガ/ーニ 2*カラ
3365	インドネシア 2 聴解要約 7	やんさんは飲んだあとで「どうもごちそさま」と言った、 大家さん <u>は</u> 「お出かけですか」と <u>言</u> って、「あきはば (1) (2) らに行きたい」と言った。	1取立 格 *ハ/ーガ 2 接 *テ形/ーノデ
3366	インドネシア 2 聴解要約 10	やんさん <u>は</u> 大家さんの家にかえたあとで。	取立 格 *ハ/ーガ
3367	インドネシア 3 自由作文 6	このまちのそばにたくさんもり <u>も</u> あります。	格 *0/ーガ
3368	インドネシア 3 パターン作文 4	むかしインドネシアにはたくさんもり <u>も</u> あります。 (1)(2)	1格 *0/ーガ 2*ル/ ータ
3369	タイ 1 聴解要約 5	そして、うち <u>を</u> 気に入りました。	格 *ヲ/ーガ
3370	タイ 3 絵を見ての作文 3	そのとき、スポーツカーを運転している人 <u>を</u> <u>通</u> ってい (1) (2) ました。	1格 *ヲ/ーガ 2*テイ ル/ーテイク

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3371	タイ 5 パターン作文 8	昼食のときは <u>そば</u> <u>出まえ</u> <u>が</u> たのみました。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ/0 副用 2 ノ連 3格 *ガ/ーヲ
3372	香港 6 自由作文 8	この都市システムの <u>転換</u> <u>について</u> 、日本の都市の <u>順位</u> <u>規模曲線</u> は明治初頭 <u>が</u> 明治後期 <u>へと</u> <u>転換</u> して以降、 <u>き</u> <u>わめて</u> <u>安定</u> した形をとってきた。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ニツイテ/ー ハ 2複 N 3格 *ガ/ー カラ 4ーニカケテ
3373	香港 7 自由作文 2	最近百年間の日本の <u>文学</u> の <u>目標</u> にしたものは三つである。	格 *ノ連 /ーガ
3374	香港 7 自由作文 26	もし相手が外国人であれば、この意味 <u>を</u> <u>分</u> からないだろ う。	格 *ヲ/ーガ
3375	香港 9 短文作文 4	わたしの妹はいつもむちゅうでピアノを <u>ひ</u> いて、うたを うたったりして、宿題 <u>が</u> 全然しません。 (1) (2)	2格 *ガ/ーヲ 1並 V *テ形/ータリ
3376	香港 9 短文作文 5	ごはお客さま <u>い</u> えへきて、ははは <u>わ</u> ざわざ <u>お</u> ちそう <u>を</u> <u>つ</u> くて。 (1) (2) (3)	1格 *0/ーガ 2N 3 活用 *テ形/ータ
3377	香港 11 短文作文 3	この道路は <u>車</u> <u>を</u> <u>た</u> くさん通りますが、さいわい事故があ りません。	格 *ヲ/ーガ
3378	香港 16 短文作文 7	彼に三回もてがみを送ったのに、まだ返信 <u>が</u> <u>もら</u> わな い。 (1) (2)	2受給 V 1格 *ガ/ー ヲ
3379	香港 16 短文作文 8	あまり時間がない <u>だ</u> から、全部の映画 <u>見</u> きれない。 (1) (2)	2格 *0/ーガ 1*ダ/ ー0
3380	香港 16 短文作文 10	<u>一</u> 概には、学生たちは試験 <u>が</u> <u>き</u> らがる。 (1) (2) (3)	2格 *ガ/ーヲ 3V 1 副用 Ad
3381	香港 17 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も <u>ス</u> ペン語 もでき、 <u>で</u> すから心配しないで、 <u>外</u> 国旅行 <u>を</u> <u>し</u> る。 (1) (2) (3) (4)	2スタイル 4格 *0/ ーガ 3品詞 *V /ー N 1発音 表記
3382	香港 18 短文作文 7	彼に三回手紙を出したのだが、返事 <u>が</u> <u>く</u> れ ない。 (1) (2)	2受給 1格 *ガ/ーヲ
3383	香港 19 自由作文 6	新しいものに <u>適</u> 応するの <u>が</u> <u>長</u> い年月 <u>を</u> <u>か</u> ける。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/ーハ 格 * ガ/ーニ 3自他 2格 *ヲ/ーガ
3384	香港 19 自由作文 10	まず、 <u>訓</u> 読みを <u>持</u> っている本あるいは <u>印</u> 刷品 <u>が</u> <u>修</u> 正し なければならない。 (1) (2) (3)	1V 2複 N 3格 *ガ/ ーヲ
3385	香港 19 自由作文 21	逆に、日本語と呼んだら、この言葉は英語などのような 言葉と世界中の <u>一</u> つのもので、自分 <u>が</u> <u>所</u> 属集団の特有 のものではない、 <u>と</u> いう気がするかもしれない。 (1) (2)	1数 2格 *ガ/ーノ連
3386	香港 19 短文作文 11	試験 <u>が</u> 失敗したため、 <u>何</u> 気なく <u>な</u> っていた。 (1) (2)	2熟語 1*ガ/ーニ 格
3387	香港 19 短文作文 18	そうかもしれない。でも、人に与える価値 <u>が</u> <u>大</u> いに <u>か</u> <u>え</u> ているか。 (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2V 自 他
3388	香港 20 自由作文 5	たとえば「火災発生件数」を見たら、起った火事の災害 について <u>事</u> 件の数」と意味 <u>を</u> <u>わ</u> かる。 (1) (2)	1ーノ連 2格 *ヲ/ー ガ
3389	香港 20 自由作文 9	もし「 <u>ナ</u> ゴヤ」が「 <u>名</u> 古屋」で表現すると <u>わ</u> かない 人は、「 <u>東</u> 名高速道路」 <u>は</u> <u>な</u> んですかと疑う。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 条件 2格 *ガ/ー ヲ 3一名詞節 4ート(引) 5スタイル

3390	香港 20 短文作文 5	この問題を <u>考え</u> ば <u>考え</u> ほど <u>この</u> 難点 <u>を</u> よくわかってくる。 (1) (2) (3)	1,2活用(V) 3格 *ヲ/ーガ
3391	香港 20 短文作文 6	この証拠 <u>を</u> <u>そろ</u> って、彼女 <u>は</u> 真犯人だと考えざるをえない。 (1) (2) (3)	2接 条件 *テ形/ート 1格 *ヲ/ーガ 3取立 *ハ/ーガ
3392	香港 20 短文作文 12	妻を失った後、彼女が私にとってどんな <u>大切</u> だか <u>を</u> よくわかる。 (3)	2格 *ヲ/ーガ 1副用 不定 3*ル/ータ
3393	香港 22 短文作文 17	彼は英語ができること <u>を</u> <u>言</u> ってもなくて、フランス語もドイツ語も、その上スペイン語も <u>でき</u> て、海外旅行することが心配しなくてもいいです。 (1) (2) (3)	3格 *ガ/ーヲ 1熟語 2接 *テ形/ーノデ
3394	香港 22 短文作文 19	この表を <u>見</u> れば、日本人の平均の生活水準が年々 <u>さ</u> がすこと <u>を</u> 表われる。 (1) (2) (3) (4)	1条件 2V 3格 *ヲ/ーガ 4ーテイル
3395	香港 23 自由作文 12	だから訓読みは漢字の意味 <u>を</u> わかられることができる <u>を</u> と考えないではない。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2VP
3396	香港 23 自由作文 27	外国から文化 <u>を</u> <u>輸</u> 入され <u>続</u> ける。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーガ 2受身 3*ル/ーテイル
3397	香港 23 短文作文 10	ある学校は男性の学生が髪 <u>の</u> 毛の長い <u>の</u> が 禁じる。	格 *ガ/ーヲ
3398	香港 24 自由作文 11	その原因はたぶん日本語で <u>、</u> 視覚印象と聴覚印象と <u>同</u> じ重要なことだ <u>か</u> もしれない。 (1) (2)	1取立 で*0/でーハ 2格 *0/ーガ 3接ーカラ
3399	香港 24 自由作文 16	日本人 <u>は</u> 「日本語辞典」の代わりに、「国語辞典」という言葉を用いるの <u>は</u> いろいろな原因がある。 (1) (2)	1取立 格 *ハ/ーガ 2格 *0は/ーニは
3400	香港 24 自由作文 26	それはさておき、日本の家屋の構造で <u>、</u> 部屋がしきるふすま <u>は</u> あけることができ、全部 <u>を</u> <u>あ</u> けて、家全体になる。 (1) (2) (3)	1取立 で*0/でーハ 2格 *ガ/ーヲ 3接 条件 *テ形/ート
3401	香港 24 自由作文 27	それは「うち」だ。	格 取立 *ハ/ーガ
3402	香港 24 自由作文 28	でも、家と「そと」はかぎで、と <u>を</u> <u>あ</u> くこと <u>は</u> 必要だ。 (1) (2)	&表現 1自他 2格 取立 *ハ/ーガ
3403	香港 24 短文作文 11	彼岸 <u>だ</u> けまで 天候はそんな違 <u>い</u> <u>を</u> つづくと言われている。 (1) (2)	1語順 取立 2格 *ヲ/ーガ
3404	香港 25 自由作文 2	私はこの主張 <u>が</u> 不賛成である。	格 *ガ/ーニ
3405	香港 25 自由作文 16	昔は日本という <u>地</u> 方 <u>が</u> 外国人がこの地方が <u>知</u> らないから、 <u>す</u> こし外国人がこの地方へ訪れた。 (1) (2) (3) (4)	1N 2格 *ガ/ーヲ 4Ad 副用 3*ル/ータ
3406	香港 25 自由作文 22	日本では「日本語学」よりも「国語学」 <u>が</u> <u>広</u> まって <u>つ</u> かう。 (1) (2) (3) (4)	1ーノホウ 2副用 3格 *ガ/ーヲ 4受身
3407	香港 25 自由作文 27	しかし、日本では、自分の辞典は「日本語辞典」よりも、「国語辞典」 <u>が</u> よく呼ばれる。	格 *ガ/ート
3408	香港 25 短文作文 3	柄 <u>が</u> よしあしはさておき、ほかの点は変わらない。	格 *ガ/ーノ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3409	香港 25 短文作文 7	この証拠によって、彼女 <u>は</u> 犯人 <u>が</u> 考えざるをえない。	1取立 *ハ/ーガ 2- 名詞節 3格 *ガ/ー ト
3410	香港 25 短文作文 8	金持ちはおおくのお金 <u>が</u> 持つ <u>か</u> 、奢侈な生活を <u>暮らす</u> <u>か</u> というか。 (1) (2)	&表現 1格 *ガ/ーヲ 2V
3411	香港 25 短文作文 16	彼女はなまじ美人のために、結婚機会 <u>が</u> 見逃して、現在 はまだ結婚していない。	格 *ガ/ーヲ
3412	香港 26 自由作文 6	漢字の訓読みの <u>廃止</u> <u>すれば</u> 、混乱な <u>情況</u> <u>を</u> おこりまし ょう。 (1) (2) (3)	1品詞(N/ーV) 2表 記格 3*ヲ/ーガ
3413	香港 26 自由作文 15	日本人中心の文化 <u>を</u> おこりました。 (1) (2)	2自他 1格 *ヲ/ーガ
3414	香港 26 短文作文 3	この問題 <u>を</u> 考えれば考えるほど、難点 <u>を</u> よくわかりま す。 (1) (2)	1取立 *ヲ/ーハ 格 * ヲ/ーガ
3415	フランス 2 自由作文 8	かんじ <u>を</u> よめるように、いろいろなよみかたが <u>おぼえ</u> <u>らなければ</u> なりません。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2活用(V)
3416	イラン 1 自由作文 18	日本の教育とイランの教育を比較してみると日本の制度 は中国とドイツのえいきょう <u>で</u> イランの制度はまずフラ ンスそのあとイングランドのえいきょう <u>が</u> あった。 (1) (2)	2VP 格 *0/ーガ 1 接 *テ形
3417	マレーシア 2 自由作文 15	私は学こうでたくさん <u>もの</u> <u>が</u> ならいます。 (1) (2) (3)	1ーノ連 2N *モノ/ ーコト 3格 *ガ/ー ヲ
3418	マレーシア 7 自由作文 21	回教の聖書によると、モハマヤという回教の神 <u>を</u> 、むか し、森の中で、死ぬ犬を救って <u>あげる</u> そうだ、だから、 回教者は、ブティーアナを養うことは、神聖な仕事だと思 う。 (1) (2)	1格 *0/ーガ 2*ル/ ータ
3419	マレーシア 9 自由作文 5	<u>外</u> <u>は</u> 、 <u>国聯</u> <u>の</u> 権力を使用して、必要な物の <u>価値</u> <u>が</u> <u>一つずつ</u> <u>実行する</u> <u>だけでなく</u> 、生産も <u>固定</u> <u>します</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1副用 Ad 2N 3N 4 格 *ガ/ーヲ 5V 6V
3420	マレーシア 9 自由作文 7	いつか私 <u>が</u> 権力がある時、どうしても今の世界の経済を <u>平隠し</u> <u>しよう</u> <u>と</u> 思います。 (1) (2)	1格 *ガ/ーハ 2V
3421	マレーシア 10 自由作文 2	日本のいろいろなこと <u>を</u> 紹介され <u>た</u> 。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2ーテ イル
3422	マレーシア 10 自由作文 7	国の新聞や雑誌などの中で、いつも日本 <u>を</u> 紹介された。	格 *ヲ/ーガ
3423	マレーシア 11 自由作文 8	天気予報 <u>が</u> 二とおりある、一つは一週間の天気予報。	格 取立 *ガ/ーニハ
3424	マレーシア 13 自由作文 5	<u>ある時</u> 、いろいろな学科 <u>が</u> 同じ日にテストをするのも <u>大変</u> <u>な</u> <u>ので</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1Ad 2格 *ガ/ーヲ
3425	マレーシア 13 自由作文 7	まず、 <u>女</u> <u>の</u> <u>学生</u> <u>の</u> 髪 <u>が</u> <u>自由</u> <u>に</u> <u>やります</u> 、 <u>せめて</u> 、清 潔 <u>に</u> <u>する</u> <u>が</u> <u>って</u> <u>いま</u> <u>した</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1複N 2格 *ガ/ーヲ 3V 4Ad 5複V
3426	マレーシア 13 会話作文 2	つまり、私が日本に来たのは、私 <u>自分</u> <u>で</u> <u>ほんと</u> <u>に</u> <u>この</u> <u>国</u> <u>が</u> <u>来</u> <u>たい</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>必要</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2発音 3格 *ガ/ ーハ 4複V
3427	マレーシア 14 自由作文 1	我々 <u>に</u> <u>は</u> 毎日テレビやラジオで天気予報 <u>が</u> 聞く。 (1) (2)	1格 *ニ/ー0 2*ガ/ ーヲ

3428	マレーシア 14 自由作文 8	例えば、学校へ行く前や会社へ行く前など雨が <u>ふるそう</u> かさを持って行くと雨 <u>が</u> ふられなくて、便利だ。 (1) (2)	1ムード 複V 接一 テ形 2格 *ガ/ーニ
3429	マレーシア 15 自由作文 11	今、私 <u>が</u> <u>この</u> <u>こと</u> <u>を</u> わかりました。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/ーハ 2コ ソア 3格 *ヲ/ーガ
3430	マレーシア 16 自由作文 2	もしわたしがマレーシアの首相だったら、国の <u>国務</u> <u>が</u> 、 たくさん改革するとおもいます。 (1) (2)	1N 2格 *ガ/ーヲ
3431	マレーシア 17 自由作文 10	人民 <u>が</u> みんな同じ <u>の</u> 人権 <u>を</u> <u>あげ</u> させます。 (1) (2) (3)	1格 *ガ/ーニ 2*ノ連 3受給 3使役 3V
3432	マレーシア 17 自由作文 11	人民は <u>ほかに</u> <u>の</u> 種族の文化 <u>が</u> <u>尊重</u> してください。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *ガ/ーヲ 3ムード
3433	マレーシア 18 自由作文 9	マレーシアで <u>、</u> おおきな病院 <u>が</u> <u>しか</u> <u>新しい</u> <u>方法</u> <u>を</u> <u>使</u> わな、国立病院でも、治療代 <u>が</u> <u>高い</u> だ。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *0/でーハ 2格 *ガ/ー0 3取立 *ガしか/ー0 しか 4 格 *0/ーヲ 5品詞 *NA/ーA
3434	マレーシア 18 自由作文 18	そして、新しい医療方法を <u>使う</u> 、看護婦の態度 <u>が</u> <u>ぜび</u> <u>良く</u> 変える。 (1) (2) (3)	1ー連用形 2格 *ガ/ ーヲ 3副用
3435	マレーシア 18 自由作文 19	そして、新しい <u>医療</u> <u>方法</u> <u>を</u> <u>使</u> い、看護婦の態度 <u>が</u> <u>ぜび</u> <u>良く</u> 変える。 (1) (2) (3) (4)	1N 3Ad 副用 4VP 自他 2格 *ガ/ーヲ
3436	マレーシア 21 自由作文 5	宿題 <u>は</u> <u>たくさん</u> あるから、そのうえ日本語まだ <u>上手</u> <u>で</u> アルバイト <u>が</u> やらなかった。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0/ーガ 2NA 3 接 4*ガ/ーヲ
3437	マレーシア 22 自由作文 6	これはマレーシア <u>が</u> <u>みどり</u> <u>が</u> <u>たくさん</u> <u>で</u> しょう。 (1) (2)	1格 *ガ/ーニ 2接一 カラ
3438	マレーシア 22 自由作文 8	東上線の沿線情報誌によるとある会社 <u>は</u> <u>男性</u> <u>が</u> <u>急募</u> <u>だ</u> <u>そう</u> でした。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ 3品詞 *NA/ーN 4ムード
3439	マレーシア 22 自由作文 19	だから、アルバイトを聞く <u>の</u> <u>を</u> <u>食事</u> <u>を</u> <u>する</u> <u>よう</u> <u>に</u> <u>か</u> <u>わ</u> りました。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2名詞 節
3440	マレーシア 22 自由作文 24	けれども、お金が <u>持</u> たら、 <u>その</u> <u>う</u> <u>え</u> <u>で</u> <u>夏</u> <u>休</u> <u>み</u> <u>が</u> <u>暇</u> <u>が</u> あったら、北海道へ旅行に行きたいと思ひます。 (1) (2) (3)	1V 接条件 *カラ/ ー連用形 2副用 3格 *ガ/ーニ
3441	マレーシア 23 自由作文 20	さて、私 <u>は</u> 、アルバイトをした場所は、川越市の鯨井に あるコーユー工芸株式会社です。	格*ハ/ーガ
3442	マレーシア 24 自由作文 8	私の国、マレーシアは、熱帯にある国ですから、一年の 平均気温は三十度位 <u>、</u> 日本より、高いですが、日本の <u>夏</u> <u>の時</u> <u>、</u> 温度 <u>は</u> 、マレーシアより、低いから、暑さ は、日本 <u>ほど</u> 、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>高</u> いでしょう。 (1) (2) (3) (4) (5)	1ダ 2N 3取立*0/ー ハ 4格*ハ/ーガ 5*ホウガ
3443	マレーシア 28 自由作文 13	一つ私にとって、おどろいたことはクアラルンプールで、 今とても日本製品 <u>を</u> <u>は</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 、 <u>例</u> <u>る</u> <u>な</u> <u>ら</u> 、 <u>日</u> <u>本</u> <u>旅</u> <u>客</u> <u>も</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>デ</u> <u>パ</u> <u>ー</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>多</u> <u>く</u> <u>見</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1格 *ヲ/ーガ 2ー名 詞節 3C 4N 5表記 6 副用 7V
3444	マレーシア 29 自由作文 6	なぜなら国 <u>を</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>進</u> <u>歩</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>国</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>発</u> <u>展</u> <u>を</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>つ</u> <u>も</u> りですから。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2N
3445	スペイン 2 聴解要約 10	お友達 <u>は</u> <u>たい</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>わ</u> <u>ら</u> <u>っ</u> <u>た</u> 、 <u>彼</u> <u>は</u> <u>う</u> <u>た</u> <u>を</u> <u>う</u> <u>た</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>上</u> <u>手</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	3格 取立 *ハ/ーガ 1 N 2副用 Ad

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3446	スペイン 2 パターン作文 10	言葉を知らないし、漢字 <u>を</u> ⁽¹⁾ 読めないし、意味を <u>しか</u> ⁽²⁾ で きません。	1格 *ヲ/ーガ 2取立(シカ)
3447	スペイン 2 パターン作文 13	また魚はピアノ <u>を</u> ⁽¹⁾ ひけません、 <u>手</u> ⁽²⁾ が <u>ない</u> ⁽³⁾ だからです。	格 *0/ーガ 2接 3品詞(*NA/ーA)
3448	スペイン 2 パターン作文 14	これに対して魚はおよぐ <u>の</u> ⁽¹⁾ <u>こと</u> ⁽²⁾ <u>と</u> ⁽³⁾ ても上手です。	1*ノ連 体修 2格 *0/ーガ
3449	ナイジェリア 1 パターン作文 7	日本では農業きかい <u>が</u> ⁽¹⁾ よくつかう <u>の</u> ⁽²⁾ 、 <u>国</u> ⁽³⁾ <u>べんり</u> ⁽⁴⁾ なき かいはあまりない。	2接(ーガ) 1格 *ガ/ーヲ 3取立 *0/ーニハ
3450	ナイジェリア 1 パターン作文 8	<u>国</u> ⁽¹⁾ の <u>農業</u> ⁽²⁾ <u>として</u> ⁽³⁾ <u>は</u> ⁽⁴⁾ <u>だいたい</u> ⁽⁵⁾ <u>ぜんぶ</u> ⁽⁶⁾ <u>すい</u> ⁽⁷⁾ <u>でん</u> ⁽⁸⁾ である、 <u>くに</u> ⁽⁹⁾ <u>の</u> ⁽¹⁰⁾ <u>は</u> ⁽¹¹⁾ <u>すい</u> ⁽¹²⁾ <u>でん</u> ⁽¹³⁾ <u>あまり</u> ⁽¹⁴⁾ ない。	2格 *0/ーガ 3*ノ形 1取立 *トシテは/0は 4取立(*0/ーは)
3451	イギリス 1 自由作文 4	英国の会社ではお茶をいれる <u>の</u> ⁽¹⁾ <u>人</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽³⁾ <u>ティー</u> ⁽⁴⁾ <u>ラー</u> ⁽⁵⁾ <u>デー</u> ⁽⁶⁾ <u>ー</u> ⁽⁷⁾ と言います。	1ノ連 3発音 表記 2格 *ガ/ーヲ
3452	エチオピア 1 パターン作文 6	にぎのために、 <u>せ</u> ⁽¹⁾ <u>かつ</u> ⁽²⁾ <u>ら</u> ⁽³⁾ <u>く</u> ⁽⁴⁾ <u>なる</u> ⁽⁵⁾ <u>よ</u> ⁽⁶⁾ <u>には</u> ⁽⁷⁾ <u>ほ</u> ⁽⁸⁾ <u>ほ</u> ⁽⁹⁾ <u>研</u> ⁽¹⁰⁾ <u>す</u> ⁽¹¹⁾ <u>その</u> ⁽¹²⁾ <u>た</u> ⁽¹³⁾ <u>め</u> ⁽¹⁴⁾ <u>に</u> ⁽¹⁵⁾ <u>日本</u> ⁽¹⁶⁾ <u>べん</u> ⁽¹⁷⁾ <u>け</u> ⁽¹⁸⁾ <u>よ</u> ⁽¹⁹⁾ <u>し</u> ⁽²⁰⁾ <u>ま</u> ⁽²¹⁾ <u>す</u> ⁽²²⁾ 。	1,3,5発音 2格 *0/ーガ 3格 *0/ーデ
3453	イラク 1 自由作文 4	文化大革命という運動が <u>終</u> ⁽¹⁾ <u>わ</u> ⁽²⁾ <u>つ</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽⁴⁾ <u>以</u> ⁽⁵⁾ <u>来</u> ⁽⁶⁾ 、 <u>経</u> ⁽⁷⁾ <u>済</u> ⁽⁸⁾ <u>が</u> ⁽⁹⁾ <u>高</u> ⁽¹⁰⁾ <u>速</u> ⁽¹¹⁾ <u>的</u> ⁽¹²⁾ <u>に</u> ⁽¹³⁾ <u>発</u> ⁽¹⁴⁾ <u>展</u> ⁽¹⁵⁾ <u>で</u> ⁽¹⁶⁾ <u>き</u> ⁽¹⁷⁾ <u>る</u> ⁽¹⁸⁾ <u>た</u> ⁽¹⁹⁾ <u>め</u> ⁽²⁰⁾ <u>に</u> ⁽²¹⁾ <u>い</u> ⁽²²⁾ <u>ろ</u> ⁽²³⁾ <u>い</u> ⁽²⁴⁾ <u>ろ</u> ⁽²⁵⁾ <u>な</u> ⁽²⁶⁾ <u>方</u> ⁽²⁷⁾ <u>針</u> ⁽²⁸⁾ <u>と</u> ⁽²⁹⁾ <u>政</u> ⁽³⁰⁾ <u>策</u> ⁽³¹⁾ <u>を</u> ⁽³²⁾ <u>定</u> ⁽³³⁾ <u>め</u> ⁽³⁴⁾ <u>ら</u> ⁽³⁵⁾ <u>れ</u> ⁽³⁶⁾ <u>た</u> ⁽³⁷⁾ 。	1接 *タ/ーテ形 3副用 4*タメニ/ーヨウニ 5格 *ヲ/ーガ
3454	インド 7 自由作文 10	日本の部屋より台湾 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>小</u> ⁽²⁾ <u>さい</u> ⁽³⁾ です。	ーノハウ、格 *0/ーガ
3455	インド 8 自由作文 8	台所の中に <u>冷</u> ⁽¹⁾ <u>蔵</u> ⁽²⁾ <u>庫</u> ⁽³⁾ や <u>な</u> ⁽⁴⁾ <u>が</u> ⁽⁵⁾ <u>し</u> ⁽⁶⁾ <u>や</u> ⁽⁷⁾ <u>炊</u> ⁽⁸⁾ <u>飯</u> ⁽⁹⁾ <u>器</u> ⁽¹⁰⁾ など <u>あ</u> ⁽¹¹⁾ <u>り</u> ⁽¹²⁾ <u>ま</u> ⁽¹³⁾ <u>す</u> ⁽¹⁴⁾ 。	1取立 *0/ーハ 2格 *0/ーガ
3456	インド 8 自由作文 18	ほんばこの中に <u>本</u> ⁽¹⁾ や <u>薬</u> ⁽²⁾ や <u>カ</u> ⁽³⁾ <u>セ</u> ⁽⁴⁾ <u>ツ</u> ⁽⁵⁾ <u>ト</u> ⁽⁶⁾ <u>な</u> ⁽⁷⁾ <u>ど</u> ⁽⁸⁾ <u>なら</u> ⁽⁹⁾ <u>べ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>て</u> ⁽¹¹⁾ <u>い</u> ⁽¹²⁾ <u>ま</u> ⁽¹³⁾ <u>す</u> ⁽¹⁴⁾ 。	1取立 *0/ーハ 2格 *0/ーガ 3自他
3457	インド 8 自由作文 25	この部屋 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>一</u> ⁽²⁾ <u>番</u> ⁽³⁾ <u>こ</u> ⁽⁴⁾ <u>ま</u> ⁽⁵⁾ <u>る</u> ⁽⁶⁾ <u>こ</u> ⁽⁷⁾ <u>と</u> ⁽⁸⁾ <u>は</u> ⁽⁹⁾ 、 <u>日</u> ⁽¹⁰⁾ <u>が</u> ⁽¹¹⁾ <u>さ</u> ⁽¹²⁾ <u>し</u> ⁽¹³⁾ <u>こ</u> ⁽¹⁴⁾ <u>み</u> ⁽¹⁵⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁶⁾ <u>せ</u> ⁽¹⁷⁾ <u>ん</u> ⁽¹⁸⁾ <u>だ</u> ⁽¹⁹⁾ 。	1格 *ガ/ーデ 2一名詞節
3458	インド 9 自由作文 6	しかし、このごろは <u>きた</u> ⁽¹⁾ <u>な</u> ⁽²⁾ <u>く</u> ⁽³⁾ <u>て</u> 、 <u>つ</u> ⁽⁴⁾ <u>ゆ</u> ⁽⁵⁾ <u>きた</u> ⁽⁶⁾ <u>の</u> ⁽⁷⁾ <u>た</u> ⁽⁸⁾ <u>め</u> ⁽⁹⁾ <u>に</u> 、 <u>部</u> ⁽¹⁰⁾ <u>屋</u> ⁽¹¹⁾ <u>の</u> ⁽¹²⁾ <u>中</u> ⁽¹³⁾ <u>虫</u> ⁽¹⁴⁾ <u>が</u> ⁽¹⁵⁾ <u>多</u> ⁽¹⁶⁾ <u>く</u> ⁽¹⁷⁾ <u>な</u> ⁽¹⁸⁾ <u>り</u> ⁽¹⁹⁾ <u>ま</u> ⁽²⁰⁾ <u>し</u> ⁽²¹⁾ <u>た</u> ⁽²²⁾ 。	1ー複V 2格 *0/ーガ 3*体修 4*0/ーニ
3459	インド 9 自由作文 9	部屋の中に <u>こ</u> ⁽¹⁾ <u>た</u> ⁽²⁾ <u>つ</u> ⁽³⁾ <u>だ</u> ⁽⁴⁾ <u>け</u> ⁽⁵⁾ <u>が</u> ⁽⁶⁾ <u>あ</u> ⁽⁷⁾ <u>り</u> ⁽⁸⁾ <u>ま</u> ⁽⁹⁾ <u>す</u> ⁽¹⁰⁾ 。	1取立 *0/ーハ 2*ダケ/ーシカ 3格 *ガ/ー0 4否定
3460	インド 9 自由作文 10	そのこたつは <u>ひ</u> ⁽¹⁾ <u>く</u> ⁽²⁾ <u>く</u> ⁽³⁾ <u>て</u> <u>が</u> ⁽⁴⁾ <u>私</u> ⁽⁵⁾ <u>の</u> <u>あ</u> ⁽⁶⁾ <u>し</u> ⁽⁷⁾ <u>は</u> ⁽⁸⁾ <u>な</u> ⁽⁹⁾ <u>が</u> ⁽¹⁰⁾ <u>く</u> ⁽¹¹⁾ <u>て</u> 。	格 *ガ/ー0
3461	インド 10 自由作文 12	また、音楽を聞く <u>の</u> ⁽¹⁾ 、 <u>私</u> ⁽²⁾ <u>の</u> <u>楽</u> ⁽³⁾ <u>し</u> ⁽⁴⁾ <u>み</u> ⁽⁵⁾ です。	1ーノ連 2格 *0/ーガ
3462	インド 10 自由作文 16	<u>ゴ</u> ⁽¹⁾ <u>さん</u> ⁽²⁾ <u>の</u> <u>友</u> ⁽³⁾ <u>達</u> ⁽⁴⁾ <u>の</u> <u>写</u> ⁽⁵⁾ <u>真</u> ⁽⁶⁾ <u>が</u> ⁽⁷⁾ <u>た</u> ⁽⁸⁾ <u>く</u> ⁽⁹⁾ <u>さ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ん</u> ⁽¹¹⁾ <u>は</u> ⁽¹²⁾ <u>っ</u> ⁽¹³⁾ <u>て</u> <u>あ</u> ⁽¹⁴⁾ <u>り</u> ⁽¹⁵⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁶⁾ <u>す</u> ⁽¹⁷⁾ 。	1C 2格 *ガ/ーモ
3463	インド 15 自由作文 4	毎日自分で料理を作るので冷蔵庫と炊飯器 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>買</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽³⁾ <u>ま</u> ⁽⁴⁾ <u>し</u> ⁽⁵⁾ <u>た</u> ⁽⁶⁾ 。	1格 *ガ/ーヲ
3464	インド 15 自由作文 10	左の方 <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>冷</u> ⁽²⁾ <u>蔵</u> ⁽³⁾ <u>庫</u> ⁽⁴⁾ <u>の</u> <u>と</u> ⁽⁵⁾ <u>な</u> ⁽⁶⁾ <u>り</u> <u>に</u> <u>く</u> ⁽⁷⁾ <u>ろ</u> ⁽⁸⁾ <u>い</u> <u>本</u> ⁽⁹⁾ <u>箱</u> ⁽¹⁰⁾ <u>も</u> ⁽¹¹⁾ <u>あ</u> ⁽¹²⁾ <u>る</u> ⁽¹³⁾ <u>が</u> ⁽¹⁴⁾ <u>中</u> ⁽¹⁵⁾ <u>で</u> <u>日</u> ⁽¹⁶⁾ <u>用</u> ⁽¹⁷⁾ <u>品</u> ⁽¹⁸⁾ <u>と</u> <u>テ</u> ⁽¹⁹⁾ <u>ー</u> ⁽²⁰⁾ <u>プ</u> ⁽²¹⁾ <u>お</u> ⁽²²⁾ <u>い</u> ⁽²³⁾ <u>て</u> 、 <u>本</u> ⁽²⁴⁾ <u>で</u> <u>は</u> ⁽²⁵⁾ <u>あ</u> ⁽²⁶⁾ <u>り</u> ⁽²⁷⁾ <u>ま</u> ⁽²⁸⁾ <u>せ</u> ⁽²⁹⁾ <u>ん</u> ⁽³⁰⁾ 。	1取立 *0は/ーニは 2格 *モ/ーガ 3格 *デ/ーニ 4格 *0/ーガ 5ーテアル
3465	インド 16 自由作文 6	冷蔵庫 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>小</u> ⁽²⁾ <u>さい</u> ⁽³⁾ <u>で</u> <u>す</u> <u>け</u> ⁽⁴⁾ <u>ど</u> <u>い</u> ⁽⁵⁾ <u>ろ</u> ⁽⁶⁾ <u>い</u> ⁽⁷⁾ <u>ろ</u> ⁽⁸⁾ <u>な</u> <u>飲</u> ⁽⁹⁾ <u>料</u> ⁽¹⁰⁾ <u>や</u> <u>食</u> ⁽¹¹⁾ <u>べ</u> ⁽¹²⁾ <u>も</u> ⁽¹³⁾ <u>の</u> <u>を</u> ⁽¹⁴⁾ <u>入</u> ⁽¹⁵⁾ <u>っ</u> <u>て</u> <u>あ</u> ⁽¹⁶⁾ <u>り</u> ⁽¹⁷⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁸⁾ <u>す</u> ⁽¹⁹⁾ 。	1取立 *ガ/ーハ 2スタイル 3N 4格 *ヲ/ーガ 5自他

3466	インド 16 自由作文 7	冷蔵庫の上にも沢山お菓子 <u>を</u> おいてあります。	格 *ヲ/ーガ
3467	インド 17 自由作文 19	テレビの反対がわ <u>で</u> 、ラジカセ <u>を</u> <u>見</u> ます。	1格 *デ/ーニ 2格 * ヲ/ーガ 3自他
3468	インド 18 自由作文 20	みなみのほう <u>が</u> ベランダへ <u>で</u> きる <u>も</u> うひとつ <u>も</u> ん <u>で</u> す。	1格 *ガ/ーニ 2VP 可能 3ノ連 4N 5*ダ
3469	インド 18 自由作文 21	ベランダにせんたくき <u>に</u> <u>お</u> かれました。	1格 *ニ/ーガ 2ル/ー テイル
3470	インド 18 自由作文 30	そこでせんぶうき <u>が</u> <u>か</u> うつもりです。	格 *ガ/ーヲ
3471	インド 19 自由作文 3	台所や、お手洗いやおふろなど <u>も</u> <u>あ</u> りますがゆか <u>が</u> <u>じ</u> ゅうたんがしいてありません。	1,2格 *0/ーガ *ガ/ ーニ
3472	インド 19 自由作文 5	私 <u>は</u> <u>か</u> った絵 <u>が</u> <u>見</u> て下さい。	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ
3473	インド 19 自由作文 12	机の上に電気スタンド <u>が</u> <u>や</u> ラジオや本など <u>を</u> <u>お</u> いてあ ります。	1,2格 *ガや/ー0や *0/ーガ
3474	インド 19 自由作文 16	たんすの中に洋服 <u>を</u> <u>は</u> っています。	1格 *ヲ/ーガ 2発音
3475	インド 19 自由作文 20	ベッドのひだりにほんばこ <u>に</u> <u>あ</u> ります。	格 *ニ/ーガ
3476	インド 19 自由作文 21	ほんばこの上にカラ テレビ <u>に</u> <u>お</u> いてあります。	1発音 2格 *ニ/ーガ
3477	インド 20 自由作文 2	私のいえは角栄商店街のうしろ <u>が</u> <u>あ</u> ります。	格 *ガ/ーニ
3478	インド 20 自由作文 13	しかしほかのふたり <u>ひ</u> とは <u>大</u> 分の時間 <u>が</u> <u>う</u> ちにいま せん。	1数 2Ad 副用 3格 * ガ/ー0
3479	インド 23 自由作文 15	障子の裏 <u>に</u> <u>い</u> まです。	取立 *ニ/ーハ 格 * ニ/ーガ
3480	インド 23 自由作文 19	本箱は左側の角 <u>が</u> <u>あ</u> る。	格 ガ/ーニ
3481	インド 24 自由作文 27	私もこたつ <u>が</u> <u>持</u> っています。	1格 *ガ/ーヲ 2*テア ル/ーテイル
3482	インド 24 自由作文 28	その上に友達とおにいさんからの写真 <u>を</u> <u>置</u> いてあります。	格 *0/ーガ
3483	インド 25 自由作文 8	<u>た</u> から <u>ほ</u> かの先生たちは私 <u>に</u> <u>たい</u> へん <u>い</u> やです。	1発音 2格 *ニ/ーガ 3*ル/ータ
3484	インド 25 自由作文 10	学校 <u>や</u> み <u>の</u> 時、ゴ先生は私をつれて川 <u>の</u> そばにあそび <u>に</u> <u>行</u> きました。	1格 *0/ーガ 2N
3485	インド 26 自由作文 9	なぜなら、ロスナのお母さんは彼女 <u>ち</u> さい <u>時</u> 病気で <u>な</u> くなりましたからです。	1格 *0/ーガ 2発音 3スタイル
3486	インド 29 自由作文 6	映画の内容はおじいさんとおよめさんと <u>ふ</u> たりの生活 <u>の</u> 中でいろいろな問題 <u>を</u> <u>出</u> でくる <u>と</u> いう <u>映</u> 画 <u>で</u> した。	1ーノ連 2格 ヲ/ーガ 3発音 4N 体修
3487	インド 29 自由作文 8	それに <u>毎</u> 日奥さんの名前を呼んで、およめさん <u>が</u> <u>奥</u> <u>さん</u> <u>に</u> <u>と</u> して <u>いた</u> 時もありました。	1C 2格 ガ/ーヲ 3* ニ/ー0 4V

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3488	インド 31 自由作文 4	それは今私達の生活 <u>には</u> <u>ほとんど</u> 「広告」というもの <u>を</u> <u>取り囲んでいる</u> という事である。 (1) (2) (3)	1格 *ニハ/ーヲ 2Ad 3格 *ヲ/ーガ
3489	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭が <u>あたたか</u> かったが <u>富裕</u> ではな <u>か</u> ったから、ほかの子供に <u>うらやま</u> しいで <u>した</u> 、 <u>毎度</u> 、 <u>友達</u> が <u>いっぱい</u> な <u>おもちゃ</u> を <u>も</u> っている <u>とき</u> 、 <u>私は</u> <u>金</u> <u>もち</u> さん <u>に</u> な <u>っ</u> て、 <u>も</u> っと <u>多</u> い <u>おも</u> ちゃを <u>も</u> っている <u>夢</u> を <u>つ</u> くた。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	1NA 2格 *ニ/ーガ 3 活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *ト キ/ート 7N 8A 9V 発音
3490	インド 36 自由作文 5	どんな <u>困難</u> <u>あ</u> っても、 <u>冷静</u> に <u>乗り</u> 越える <u>こ</u> とが <u>て</u> きま <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *0/ーガ 2発音
3491	インド 36 自由作文 6	父母の <u>教育</u> 方針と <u>か</u> 人 <u>に</u> <u>交</u> 際する <u>こ</u> と <u>を</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>影</u> 響が <u>多</u> いと <u>思</u> います。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ート 2格 * ヲ/ーガ 3表現
3492	インド 36 自由作文 7	<u>私</u> <u>は</u> <u>明</u> 朗な <u>性</u> 格、 <u>活</u> 発な <u>生</u> 活 <u>な</u> ど <u>が</u> <u>父</u> 親の <u>遺</u> 伝 <u>に</u> <u>ま</u> <u>ち</u> が <u>あ</u> りませ <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーノ 2N 3格 *ヲ/ーガ 4N
3493	インド 36 自由作文 8	<u>わ</u> たし <u>は</u> <u>新</u> しい <u>も</u> の <u>に</u> <u>関</u> 心 <u>が</u> <u>五</u> 分 <u>し</u> が <u>も</u> って <u>い</u> ない <u>の</u> <u>が</u> <u>た</u> ぶん <u>父</u> から <u>の</u> <u>だ</u> らう <u>か</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ 3発音 4取 立 *ガ/ーハ
3494	インド 39 自由作文 2	<u>私</u> <u>は</u> <u>こ</u> ども <u>の</u> <u>こ</u> ろ <u>一</u> 番 <u>な</u> つかしい <u>思</u> い出 <u>こ</u> と <u>は</u> <u>山</u> <u>が</u> <u>登</u> る <u>こ</u> と <u>で</u> <u>し</u> た。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーガ 2名 詞節 3格 *ガ/ーニ 4*ル/ータ 5*タ/ー ル
3495	インド 39 自由作文 5	<u>だ</u> から、 <u>学</u> 校の <u>授</u> 業 <u>を</u> <u>お</u> わった、 <u>友</u> だちと <u>一</u> 緒に <u>山</u> <u>を</u> <u>登</u> って、 <u>き</u> れい <u>町</u> と <u>景</u> 色 <u>を</u> <u>み</u> ました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーガ 2接 条 件 3格 *ヲ/ーニ 4品 詞 *A/ーNA
3496	インド 39 自由作文 13	でも、 <u>屋</u> へ <u>帰</u> った <u>と</u> き、 <u>は</u> は <u>が</u> <u>し</u> が <u>ら</u> れ <u>ま</u> した。 (1) (2) (3)	1N 2格 *ガ/ーニ 3 発音
3497	インド 40 自由作文 3	特に、 <u>子</u> 供 <u>に</u> <u>一</u> 番 <u>困</u> る <u>病</u> 気で、 <u>は</u> や <u>っ</u> ている <u>時</u> 、 <u>学</u> 校 <u>は</u> <u>か</u> ぜ <u>で</u> <u>休</u> 講 <u>す</u> る <u>こ</u> とも <u>あ</u> ります。 (1) (2) (3)	格 *ニ/ーガ
3498	インド 40 自由作文 6	<u>な</u> ぜ <u>な</u> ら <u>そ</u> の <u>ま</u> ま <u>に</u> <u>き</u> て、 <u>か</u> ぜ <u>が</u> <u>か</u> かり <u>や</u> すい <u>か</u> ら <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 2-テイル 接 条件 *テ形/ート 3格 *ガ/ーニ
3499	インド 43 自由作文 7	<u>そ</u> れ <u>も</u> し、 <u>か</u> ぜ <u>が</u> <u>か</u> か <u>っ</u> たら、 <u>す</u> く <u>お</u> 医 <u>者</u> さん <u>に</u> <u>み</u> に <u>い</u> った <u>方</u> <u>が</u> <u>い</u> い <u>で</u> <u>し</u> ょう。 (1) (2) (3)	1C 2格 *ガ/ーニ 3 複V
3500	インド 43 自由作文 8	<u>か</u> ぜ <u>の</u> <u>伝</u> 染 <u>病</u> <u>を</u> <u>流</u> 行 <u>す</u> る <u>時</u> 、 <u>人</u> 込 <u>み</u> <u>場</u> 合 <u>に</u> <u>入</u> ら <u>な</u> い <u>方</u> <u>が</u> <u>い</u> い <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1*ダ 2格 *ヲ/ーガ 3*N
3501	インド 45 自由作文 7	昨年、 <u>こ</u> の <u>頃</u> 、 <u>先</u> 生 <u>と</u> <u>家</u> 族 <u>な</u> ど <u>の</u> <u>強</u> く <u>励</u> して <u>く</u> れて、 <u>食</u> 品 <u>工</u> 業 <u>化</u> 学 <u>を</u> <u>学</u> ぼう <u>と</u> <u>決</u> 心 <u>し</u> ました。 (1) (2)	1副用 2格 *ノ/ーガ
3502	インド 45 自由作文 11	<u>私</u> <u>は</u> 、 <u>も</u> し <u>こ</u> れ <u>ら</u> <u>の</u> <u>勉</u> 強 <u>を</u> <u>終</u> わ <u>っ</u> たら、 <u>国</u> <u>で</u> <u>食</u> 品 <u>化</u> 学 <u>の</u> <u>研</u> 究 <u>の</u> <u>向</u> 上 <u>に</u> <u>尽</u> く <u>し</u> たい <u>と</u> <u>思</u> っています。 (1) (2)	格 *ヲ/ーガ
3503	インド 45 自由作文 12	でも、 <u>統</u> 一 <u>考</u> 試 <u>日</u> <u>に</u> <u>近</u> づ <u>き</u> 、 <u>私</u> <u>は</u> <u>何</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>言</u> え <u>な</u> い <u>ゆ</u> う <u>う</u> つ <u>が</u> <u>始</u> ま <u>り</u> <u>ま</u> す。 (1) (2) (3)	1格 *0/ーガ 2副用 体修 3VP
3504	インド 46 自由作文 2	<u>私</u> <u>は</u> <u>経</u> 営 <u>管</u> 理 <u>と</u> <u>い</u> う <u>学</u> 科 <u>が</u> <u>勉</u> 強 <u>し</u> たい <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>日</u> 本 <u>へ</u> <u>き</u> ま <u>し</u> た。 (1) (2)	格 ガ/ーヲ

3505	インド 47 自由作文 6	日本の工程について、私は青森と函館、また、本*と九*の <u>水下通路の建築</u> が、非常に、感心しています。	格 *ガ/ーニ
3506	インド 48 自由作文 7	特に <u>コンピューター</u> が普通に使います。 (1) (2)	1発音 2格 *ガ/ーヲ
3507	インド 48 自由作文 9	まだ、 <u>それ</u> について (1) (2) (3)、大学とか専門学校とか (4)、非常に多いです。	1発音 2コソア 3ーノ 連 4格 *0/ーガ
3508	インド 49 自由作文 7	一般的な家庭に持つ <u>電気製品</u> が八十パーセントは <u>日本製品</u> であって、自動車もほとんど <u>日本製</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニ/ーガ 3格 * ガ/ー0ーノ連 2,4,5表記
3509	インド 49 自由作文 11	それを <u>対して</u> 、私が <u>趣味</u> を持っています。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーニ 2*にタ イシテ 3取立 *ガ/ー ハ
3510	インド 50 自由作文 7	ですからそれを <u>き</u> っかけで、日本へ写真技術を <u>学</u> ぶに 来ました。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2活用(V)
3511	インド 51 自由作文 7	それで国の <u>経済成長</u> <u>対して</u> <u>大き</u> 影* <u>が</u> <u>当</u> えてしま う。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0/ーニ 2発音 3格 *ガ/ーヲ 4表記
3512	インド 51 自由作文 13	それは、全世界に <u>学</u> び、しりたい <u>経済政策</u> である。	格 *ニ/ーガ
3513	インド 51 自由作文 15	なぜなら日本の <u>成功な</u> <u>経済政策</u> <u>が</u> <u>私の国</u> <u>として</u> <u>学</u> ぶ べき <u>から</u> である。 (1) (2) (3) (4)	1品詞 *NA/ーV 2格 *ガ/ーヲ 3格 *トシ テ/ーガ 4ーダ
3514	インド 53 自由作文 2	私は <u>経済や経営</u> などが <u>趣味</u> をもっています。 (1) (2)	1格 *ガ/ーニ 2N
3515	インド 54 自由作文 7	子供の時李正輝という人は私が一番いいの友達でした、 毎日、一緒に学校へ行って遊んで午後の授業が <u>終</u> った一 緒に家へ帰りました。 (1) (2) (3)	1格 *ガ/ー0ーノ連 2*ノ連 3条件
3516	インド 54 自由作文 16	もし、その時、私が <u>お金持ち</u> になったら李さんの病気が <u>必ず</u> 治したと <u>思</u> っています。 (2) (3)	1VP 2格 *ガ/ーヲ 3 複V
3517	インド 55 自由作文 6	教育が普及したり、 <u>上</u> がったりします。 (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2自他
3518	インド 55 自由作文 11	そうすると、国民が皆知識人にして、 <u>進</u> 歩的な社会も できます。 (1) (2)	1自他 2格 *モ/ーガ
3519	インド 55 自由作文 18	また、私は国民が皆平等に対して、いつも国民に利益を <u>図</u> させます。 (2)	1格 *ガ/ーニ 2V
3520	インド 55 自由作文 20	先進の治療方法が外国からとり入れます、そして医療費 も無料です。	格 *ガ/ーヲ
3521	インド 55 自由作文 21	国民の生活を <u>優</u> しく <u>楽</u> しい生活を送るために収支税金 という制度も廃除します。 (1) (2)	1格 *ノ/ーガ 2A
3522	インド 55 自由作文 24	それらのはする <u>と</u> 、国民が <u>ど</u> んどん <u>優</u> しく <u>の</u> 生活 <u>を</u> <u>で</u> きます。 (1) (2) (3)	1副用 2A 3格 *ヲ/ ーガ
3523	フィンランド 2 自由作文 16	本ばこのとなりに針灸の <u>図</u> <u>三</u> 枚 <u>が</u> <u>あ</u> ります。 (1) (2)	1格 *0/ーガ 2数 副 用 *ガ/ー0

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3524	フィンランド 2 自由作文 17	私は針灸をする <u>一</u> 大好きですから、ときどき針灸の本と 図を見ます。	一名詞節, 格 *0 / ーガ
3525	フィンランド 2 自由作文 20	<u>わかりませんの</u> ことばは <u>時</u> 辞書 <u>が</u> すぐしらべます。 (1) (2) (3)	1*体修 2Ad 3格 *ガ/ ーデ
3526	フィンランド 2 自由作文 25	また友だち <u>一</u> 来てあそぶ時 <u>二</u> 私はおいしい物 <u>三</u> 招待しま す。	1格 *0 /ーガ 2取立 *0 /ーハ 3** 0 /ー ヲ
3527	フィンランド 5 自由作文 19	私はテレビと音楽と <u>一</u> すきですから、毎日音楽を <u>きたり</u> テレビを <u>みます</u> 。 (3) (2)	1格 *0 /ーガ 2発音 3並 V ータリ
3528	フィンランド 5 自由作文 26	今、エイ先生が半身??の問題 <u>が</u> 研究している。	格 *ガ/ーヲ
3529	フィンランド 5 自由作文 28	私は鼻こう炎の治療方法 <u>一</u> 文章 <u>が</u> もう日本語訳した。 (1)(2) (3)	1ーノ連 2N 3格 ガ/ ーヲ
3530	フィンランド 6 自由作文 11	エイ先生は私に理論と実践 <u>が</u> 一緒に <u>親切な</u> 教えてくれ ました。 (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2副用 活用 (NA) *ナ/ーニ
3531	フィンランド 6 自由作文 12	特に、その <u>時</u> から、エイ先生は鼻こう炎の新しい治療方 法 <u>が</u> 研究 <u>して</u> 、毎日実験の時間が長くて、よるおそく <u>おわります</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2格 *ガ/ーヲ 3* 0 /ーテイル 4ル/ー テイタ

5.1.2. 格助詞ヲ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
3532	台湾 1 自由作文 4	台南は「台湾の都市」ということ <u>を</u> なった。	格 *ヲ/ーニ
3533	台湾 1 パターン作文 4	<u>北回線</u> が台湾の南 <u>に</u> <u>おっ</u> ているので、亜熱気候になっ ています。	1N 3V 2格 *ニ/ー ヲ
3534	台湾 1 パターン作文 21	その時 <u>に</u> 台湾人 <u>が</u> 「秋老虎」という言葉に <u>な</u> った。	3V 1格 *ニ/ーヲ 2 取立 *ガ/ーハ
3535	台湾 2 聴解要約 9	写真を見る時 <u>に</u> 「すごい」 <u>て</u> 「きれいな」などの言葉 とときどき言った。	3格 *ト/ーヲ 1接 * トキ/ーテ形 接 *ト キ/ーナガラ 2並 N * テ/ーヤ
3536	台湾 3 自由作文 10	部屋いるとき <u>、</u> 音楽 <u>き</u> きながら、他のことやります。	1取立 *0/ーハ 2格 *0/ーヲ
3537	台湾 3 自由作文 13	<u>更</u> に、古典の音楽をききながら、唐の詩 <u>、</u> 詞 <u>読</u> むと き <u>、</u> 感覚 <u>一</u> 番いいと思います。	1Ad 副用 2並 N *0/ ーヤ 3格 *0/ーヲ 4 ーノ連 5格 *0/ーガ
3538	台湾 4 自由作文 3	生まれてからずっと台南の文化の影響をうけていたので、 私はデザインと文学の趣味 <u>が</u> もっている。	1格 *ノ連/ーニ 2格 *ガ/ーヲ
3539	台湾 5 自由作文 9	そうすると、私の学問を研究する方法 <u>を</u> <u>是正</u> に役立っ てことがあります。	1接 条件 *ト/ーバ 2 格 *ヲ/ーノ 3品詞 * V/ーN
3540	台湾 7 自由作文 2	先日木村さんから <u>持</u> った手紙にありがとう、 <u>天</u> 気は 10月の試験が終わってから大変寒くなっ <u>て</u> <u>き</u> たから身 体 <u>か</u> きをつけてください。	1V 2格 *ニ/ーヲ 3 N 4スタイル 5格 *ガ/ ーニ
3541	台湾 7 自由作文 4	木村さんは先月私に貸して <u>持</u> った名画家の作品のスラ ド <u>が</u> もう見ましたか <u>感</u> 想がありますか、いい作品 <u>が</u> たくさん見て、参考して、 <u>自</u> 分に アイデアの発想に <u>激</u> <u>発</u> なことがあるかもしれないと思います。	1取立 *ハ/ーガ 2受 給 3格 *ガ/ーヲ 4表 現 5格 *ガ/ーヲ 6ー ノ連 7NA
3542	台湾 7 自由作文 8	木村さんはほとんど学校 <u>を</u> 来ないから、いつも <u>あ</u> わな くなります。	1格 *ヲ/ーニ 2VP
3543	台湾 7 自由作文 9	もし、学校 <u>を</u> 来たら、私の宿舎に <u>遊</u> んできて下さい。	1格 *ヲ/ーニ 2VP
3544	台湾 8 自由作文 5	私は学校を卒業してからずっと台湾にある中正国際空港 に保安官 <u>を</u> 勤めていました。	格 *ヲ/ーとシテ
3545	台湾 9 自由作文 6	それから <u>私</u> は高校と大学 <u>を</u> 入ることができた。	1C 2格 *ヲ/ーニ
3546	台湾 9 自由作文 7	高校一年生から柔道 <u>を</u> <u>興</u> 味になり <u>な</u> りました。	1格 *ヲ/ーニ 2格 * ニ/ーヲ 3V 4スタ イル
3547	台湾 9 自由作文 9	高校の比*成績 <u>は</u> <u>優</u> 勝を取ったら、体育専門学校 <u>を</u> <u>直</u> <u>接</u> に入 <u>っ</u> た。	1取立 *ハ/ーデ 2N 3格 *ヲ/ーニ 4格 *ニ/ ー0
3548	台湾 10 自由作文 2	大学 <u>卒</u> 業したから、大変長く時間 <u>を</u> <u>た</u> って <u>い</u> ました。	1*タ/ーテ形 2格 *ヲ/ ーガ 3*テイル/ー ル

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3549	台湾 12 自由作文 3	先週久美子さんからのお祝いの手紙 <u>が</u> <u>見ました</u> <u>いろい</u> <u>ろのお世話になりました</u> <u>非常に</u> <u>ありがとう</u> <u>ございました</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ガ/ーヲ 2スタ イル 3品詞 *N /ー NA
3550	台湾 12 自由作文 6	先週久美子さんからのお祝いの手紙 <u>が</u> <u>見ました</u> 。 (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2スタ イル
3551	台湾 14 自由作文 10	ところが、接続語は文章 <u>は</u> 形作る重要な要素となるもの です。	格 *ハ/ーヲ
3552	台湾 15 自由作文 9	それが私 <u>は</u> コンピュータに興味 <u>が</u> 持つはじめでした。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ
3553	台湾 16 自由作文 13	二番目は野球の試合 <u>が</u> よくおこないます。	格 *ガ/ーヲ
3554	台湾 17 自由作文 5	もしわたしがしんりそうだんしゃだったら、できるだけ、 <u>うっぜんな</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>たすけ</u> <u>させられます</u> 。 (1) (2) (3)	1NA 2格 *ガ/ーヲ 3 使役 受身 複V
3555	台湾 17 自由作文 8	ひとびとのせいしんの <u>あつりょく</u> はほとんどにんげんや かんじょうのもんだいやじぎょうなどから <u>、</u> ていねい に <u>かんしゃ</u> のなやみをきいて <u>かっかん</u> に <u>けいせつ</u> な ら、 <u>だんだん</u> <u>あたらしい</u> <u>じんせい</u> <u>かん</u> を <u>たつ</u> <u>はず</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1N 2-ダ 3発音 4 5 6格 *ヲ/ーガ 7自他
3556	台湾 19 自由作文 3	公務員 <u>が</u> <u>人</u> の目の中になにもものを思われているのは全 然考えなくて、上役にどんな不公平な事をさせられても、 けっして <u>あませ</u> なくて、大衆に対して、 <u>ら</u> <u>ずに</u> <u>責任</u> <u>が</u> おわれて、いつも人に服務する <u>思いつき</u> を持っている。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *ガ/ーハ 2表 現 一疑問節 一トイ ウ 3接 *テ形 4V 5格 *ガ/ーヲ 6自他 7N
3557	台湾 21 自由作文 4	さらに、これは <u>を</u> <u>基づいて</u> 、どのように <u>演化</u> <u>して</u> <u>きた</u> のか、なぜ <u>いま</u> のようになったのかの <u>こと</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーO 2格 *ヲ/ーニ 3V 4-ト イウ
3558	台湾 22 自由作文 20	これは、私が生まれ <u>た</u> からこんな <u>広さ</u> <u>果樹園</u> を見たの は始めてで胸 <u>を</u> <u>いばい</u> 果物の香りをすいながらぶどう やももを <u>取</u> <u>って</u> <u>いて</u> とても楽しかった。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 2活用 3格 *ヲ/ ーニ 4発音 5* テイ ル/ル
3559	台湾 23 自由作文 14	電話 <u>を</u> <u>聞</u> <u>った</u> <u>とき</u> 、 <u>心</u> に <u>気持</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>悪</u> <u>い</u> 、なかなか平 静にかえらなかつた。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーデ 2活用 3表現 4並A
3560	台湾 24 自由作文 8	スポーツは私の命で、だから暑休みいろいろな運動 <u>、</u> <u>よ</u> <u>く</u> やりました。	格 *O/ーヲ
3561	台湾 25 自由作文 8	親子は毎日、 <u>素質</u> <u>な</u> <u>生活</u> <u>に</u> <u>過</u> <u>ぎ</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1NA 2格 *ニ/ーヲ
3562	台湾 25 自由作文 10	しかし、子供が大学 <u>卒</u> <u>業</u> <u>した</u> <u>あと</u> <u>で</u> 母親はひどい病 気 <u>な</u> <u>ので</u> 病院へ入院しました。 (1) (2) (3)	1格 *O/ーヲ 2格 * デ/ーO 3接 *ノデ/ ーデ
3563	中国 2 絵を見ての作文 7	おばさん <u>、</u> <u>さ</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>さ</u> <u>が</u> <u>落</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	2格 *ガ/ーヲ 3* テイ ル 1*O/ーハ
3564	中国 3 聴解要約 9	駅の前電話 <u>ぼく</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>女</u> <u>の</u> <u>方</u> <u>を</u> <u>会</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1表記 3格 *ニ/ーデ 2-名詞 4格 *ヲ/ー ト/ーニ
3565	中国 3 聴解要約 13	それから電車にのって渋谷 <u>を</u> <u>お</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	格 *ヲ/ーデ
3566	中国 3 聴解要約 17	タクシーを <u>お</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>き</u> 、 <u>二</u> <u>回</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>方</u> <u>を</u> <u>会</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1スタイル 3格 *ヲ/ ーニ/ート 2ノ連体 修

3567	中国 3 聴解要約 21	そのとき、又、女の方を <u>三回</u> 会いました。 (1) (2)	1格 *ヲ/ト/ニ 2 数
3568	中国 3 聴解要約 24	そのあと、大家さんが <u>部屋の中</u> に見にいきました。 (1) (2)	2格 *ニ/ヲ 1取立 *ガ/ハ
3569	中国 3 絵を見ての作文 3	車は <u>速い</u> でしたが <u>歩道の中</u> に歩いて人たちが水を ひっかけましたね。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1スタイル 7活用 4格 *ニ/ヲ 2接 *ガ/ ーカラ 3N 5 *テ形/ ー体修 6取立 *ガ/ ハ
3570	中国 4 パターン作文 2	自然科学を <u>従事</u> している人は女子より男子の方が <u>上位</u> を 占めているということ <u>を</u> よくいわれます。 (1) (2)	格 1*ヲ/ニ 2*ヲ/ ーガ
3571	中国 6 自由作文 3	日本へ来る前に、北京のある大学院に <u>修士課程</u> を勉 強しました。 (1) (2)	1格 *ニ/ノ連 2格 *ヲ/ーデ
3572	中国 6 自由作文 5	日本語の <u>習う</u> ことはおもに自分で <u>習</u> います。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ノ連 /ーヲ 2V 3N *コト/ーノ 4V
3573	中国 10 自由作文 15	情のうすい日本人はただあいさつだけで人間関係を <u>結び</u> 付いていると私は思います。	格 *ヲ/ーガ
3574	中国 12 自由作文 14	終わった <u>頃</u> 、十一時半に <u>すぎ</u> ました。 (1) (2) (3)	1体修 2格 *ニ/ヲ 3*タ/ーテイタ
3575	中国 15 自由作文 2	初めて新宿の街で歩いていた時、「ヘイ！！すごい人々 ですね。」と私はおばあさんに言った。	格 *デ/ーヲ
3576	中国 15 自由作文 4	日本へ来る前に、「東京の人口は約一千二百万ぐらい、 <u>世界中</u> に <u>一</u> の大都市で、 <u>中には</u> 、 <u>新宿が挙げられて</u> <u>いる</u> 。」と私は <u>そういう噂</u> が聞いて東京に来たのだ。 (1,2) (3) (4) (5) (6) (7)	1複N 2,3副用 4*テ イル/ール 5コソア 6*トイウ 7格 *ガ/ ヲ
3577	中国 15 自由作文 8	しかし、電車があまり込んでいたため、 <u>あの人は</u> <u>やはり</u> <u>電車の中へ掛け込むのを</u> できなかった。 (1) (2) (3) (4) (5)	1コソア 2副用 3名詞 節 ーコト 4格 *ヲ/ ーガ 5VP
3578	中国 16 自由作文 11	例えば、こちらの若者は <u>着た</u> 洋服とか <u>ヘアのタイプ</u> とか自由な生活などを <u>びっくり</u> しました。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ/ーノ連 2* タ/ーテイル 3格 * ヲ/ニ
3579	中国 17 自由作文 5	日本は中国と同じように人口 <u>を</u> 密集している国です。	格 *ヲ/ーガ
3580	中国 19 自由作文 3	<u>この半年の間に</u> 日本で暮して、いろいろなこと <u>を</u> 次第 にわかって来ました。 (1) (2)	1副用 2格 *ヲ/ーガ
3581	中国 19 自由作文 4	たとえば浮浪者 <u>が</u> もっとも不思議だ <u>と</u> 思っています <u>が</u> 、どうして、 <u>経済大国の日本</u> には <u>こんなに</u> <u>たくさ</u> <u>んな浮浪者が</u> いますか。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1一名詞節 2格 *ガ/ ーヲ 3活用 4ーノダ 5取立に*ハ/にー0 6品詞 *NA/ーN 7ー ノダ
3582	中国 23 自由作文 16	しかし、いっしょけんめの <u>べんきょう</u> はらいねんを <u>そ</u> <u>つぎょう</u> <u>たぶん</u> いいでしょう。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーノ連 2格 *0/ーヲ 3V &表現
3583	中国 28 自由作文 3	にはんへきたとき、じどうしゃやえきやみせの <u>けじばん</u> などをかたかなとひらがなとかんじてかいてありました。 (1) (2)	1N 2格 *ヲ/ーガ
3584	中国 30 自由作文 3	いままでにはんごの <u>ちょっと</u> すこし <u>きて</u> たりはなして <u>たり</u> します。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1副用 2格 *ノ連/ー ヲ 3Ad 4,5活用

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3585	中国 30 自由作文 4	まなぶ <u>カタカナ</u> と <u>ひらがな</u> で <u>かいて</u> はじめます。 (1) (2) (3)	1語順 2格 *デ/ーヲ 3接 *テ形 VP
3586	中国 32 自由作文 12	今まで <u>先生</u> は <u>教室</u> で <u>話すこと</u> が <u>95パーセント以上</u> <u>理解</u> することができます。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2取立 *ハ/ ーガ 3格 *ガ/ーノ 連 4*0/ーヲ
3587	中国 33 自由作文 4	わたしの <u>あたま</u> は <u>へた</u> で <u>からにほんご</u> は <u>ときどぎ</u> <u>わすれます</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *ノ連/ーハ 2取立 ハ/ーガ 3A 4活用 5*ハ/ーヲ 6 発音
3588	中国 35 自由作文 11	ときどぎともだちと日本語で <u>でんわ</u> を <u>かなし</u> ことがあります。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーデ 2活用(V)
3589	中国 37 自由作文 14	<u>じゅうず</u> から <u>じゅう</u> に <u>じまで</u> <u>テレビこ</u> <u>きくれんしゅ</u> <u>う</u> をしています。 (1) (2) (3)	1発音 2表記 3格 *0/ ーヲ
3590	中国 38 自由作文 7	ひらがなやカタカナやかんじなどが <u>べんきょう</u> をします。	格 *ガ/ーヲ
3591	中国 42 自由作文 8	毎日、 <u>文部</u> や <u>会話</u> など <u>勉強</u> をして、 <u>毎週</u> 、 <u>作文</u> の <u>練習</u> <u>する</u> ことがあります。 (1) (2) (3) (4)	1N 2,4 格 *0/ーヲ 3Ad
3592	中国 43 自由作文 12	いい <u>日本語</u> の <u>ならう</u> ところです。 (1) (2)	1A 2体修 格 *ノ/ー ヲ & 語順
3593	中国 43 自由作文 14	わたしは毎日 <u>テープ</u> で <u>つかって</u> <u>べんきゅう</u> しています <u>が</u> <u>なかなか</u> <u>おぼえ</u> られません。 (1) (2)	1格 *デ/ーヲ 2発音
3594	中国 43 自由作文 16	<u>だから</u> <u>いま</u> <u>わたし</u> は <u>にほん</u> に <u>すんで</u> いる <u>にほんご</u> の <u>べんきゅう</u> <u>する</u> ことが <u>たいせつ</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1C 2接 *0/ーカラ 3発音 4格 *0/ーヲ
3595	中国 46 自由作文 4	<u>いま</u> <u>とうきょう</u> と <u>しんじゅく</u> に <u>こくさい</u> が <u>くゆうかい</u> <u>にほんご</u> が <u>こうで</u> <u>にほんご</u> <u>べんきょう</u> を <u>します</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーノ連 2格 *0/ーヲ 3*ル/ー テイル
3596	中国 46 自由作文 18	わたしはともだちと <u>一緒に</u> <u>はなし</u> <u>とき</u> <u>に</u> <u>ほご</u> が <u>つかっ</u> <u>て</u> います。 (1) (2) (3)	1活用(V) 2表記 3格 *ガ/ーヲ
3597	中国 47 自由作文 8	<u>うち</u> で <u>おおい</u> <u>じかん</u> <u>つかう</u> ます。 (1) (2) (3)	1副用品詞 2格 *0/ ーヲ 3発音
3598	中国 47 自由作文 12	<u>みち</u> である <u>いて</u> 、 <u>その</u> <u>ひと</u> は <u>むじかし</u> <u>かった</u> <u>こと</u> <u>が</u> <u>たす</u> けて <u>あげ</u> ます <u>たき</u> は、 <u>にほんご</u> で <u>はなし</u> して <u>つ</u> <u>かう</u> ます。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11)	1,10格 *デ/ーヲ 2* 0/ーテイル 3*コソ ア/ー0 4取立 *ハ/ ーガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト/ーノ 7格 *ガ/ーヲ 8スタイル 11VP 発音
3599	中国 47 自由作文 17	<u>いご</u> <u>わたし</u> の <u>にほんご</u> が <u>がんばり</u> <u>ほしい</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1副用 Ad 2取立 格 * ノ連/ーハ 3格 *ガ/ ーヲ 4V
3600	中国 48 自由作文 4	<u>いま</u> <u>まで</u> <u>いろいろ</u> <u>なめい</u> <u>しやけい</u> <u>よう</u> <u>しや</u> <u>なら</u> った <u>が</u> 、 <u>まだ</u> <u>はなし</u> ません。 (1) (2)	1並N 格 *ヤ/ーヲ 2 スタイル
3601	中国 48 自由作文 7	<u>にほんご</u> を <u>よく</u> <u>わが</u> たら、 <u>にほん</u> の <u>ふうぞく</u> や <u>にほ</u> <u>んじん</u> を <u>はじめ</u> <u>に</u> <u>わが</u> る <u>はず</u> だ。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *ヲ/ーガ 2,5発 音 3格 *ヲ/ーガ 4Ad 副用 6スタイル

3602	中国 48 自由作文 10	ところで、にほんごは <u>むずかしい</u> が、わたしはにほんごを <u>あかるく</u> ⁽¹⁾ <u>な</u> ⁽²⁾ <u>って</u> ⁽³⁾ <u>しま</u> ⁽⁴⁾ <u>い</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1スタイル 2格 *ヲ / ーニ 3A 4VP 活用(V)
3603	中国 49 自由作文 13	そして、あさごはんを <u>あとで</u> ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>へ</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ヲ /ーノ連 2副 用 3*タ /ール
3604	中国 49 自由作文 15	ばんごはんを <u>あとで</u> ⁽¹⁾ <u>あ</u> ⁽²⁾ <u>し</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>本</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>ゅ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ヲ /ーノ連 2副 用 3格 *O /ーノ連 4 発音
3605	中国 51 自由作文 5	せんせいはまいにち、かいわやぶんぼうなど <u>が</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>た</u> <u>が</u> 、いままで、いままで、なかなか <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *が /ーヲ 2受給 *タ /ール 活用 (V) 3V
3606	中国 52 自由作文 5	わたしは中国にいるとき、日本語を <u>ひ</u> <u>ら</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>だ</u> <u>け</u> <u>し</u> <u>ゅ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、ことばは「私は <u>A</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 」という二文法を <u>し</u> <u>ゅ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、ほかのことばはひとつも <u>は</u> <u>な</u> <u>せ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	1格 *ヲ /ーノ連 2N 3複 V 4接 *カラ /ー ガ
3607	中国 52 自由作文 7	十月九日からこの学校で日本語 <u>が</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ゅ</u> <u>じ</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ガ /ーヲ 2格 * ヲ /ーO
3608	中国 52 自由作文 12	そうですね、今は <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>ゅ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>後</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>が</u> <u>待</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。	1N 2格 *ニ /ーヲ 3* O /ーテイル & スタ イル
3609	中国 58 自由作文 11	図書館で宿題をしたり、友だち <u>を</u> <u>話</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>り</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	格 *ヲ /ート
3610	中国 58 自由作文 22	親切な気分 <u>を</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	格 *ヲ /ーニ
3611	中国 58 自由作文 24	そこで二冊本 <u>の</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	格 *ノ /ーヲ
3612	中国 59 自由作文 11	ですから日本の家庭や事務室は電気製品 <u>が</u> <u>多</u> <u>く</u> <u>使</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	格 *ガ /ーヲ
3613	中国 59 自由作文 12	私はこれらの複雑ではあるが、高度な技術を学び、将来は日本の会社に入って日中技術交流 <u>を</u> <u>し</u> <u>る</u> <u>人</u> <u>を</u> <u>や</u> <u>り</u> <u>た</u> <u>い</u> 。	1格 *O /ーヲ 2V
3614	韓国 1 パターン作文 4	韓国のソウルは <u>ラ</u> <u>シ</u> <u>ア</u> <u>ワ</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>複</u> <u>雑</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>人</u> <u>々</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>出</u> <u>勤</u> <u>時</u> <u>間</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>早</u> <u>く</u> <u>家</u> <u>に</u> <u>出</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1,2表記 4ー複 V 3格 *ニ /ーヲ
3615	韓国 1 パターン作文 5	<u>ラ</u> <u>シ</u> <u>ア</u> <u>ワ</u> <u>時</u> <u>間</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>パ</u> <u>ー</u> <u>ス</u> <u>と</u> <u>地</u> <u>下</u> <u>鉄</u> <u>を</u> <u>乗</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	1C 2表記 3発音 4格 *ヲ /ーニ
3616	韓国 4 自由作文 4	日本の場合は約120年前の明治維新で世界の新しい文物を <u>流</u> <u>入</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>て</u> <u>近</u> <u>代</u> <u>化</u> <u>に</u> <u>成</u> <u>功</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>現</u> <u>在</u> <u>の</u> <u>経</u> <u>済</u> <u>発</u> <u>展</u> <u>を</u> <u>成</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	2自他 1格 *ヲ /ーガ 4*テ形 /ー連用形 3 発音
3617	韓国 8 パターン作文 1	飛行機と船をくらべると、飛行機は <u>土</u> <u>地</u> <u>の</u> <u>滑</u> <u>走</u> <u>路</u> <u>で</u> <u>出</u> <u>発</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>空</u> <u>を</u> <u>飛</u> <u>び</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1N 2格 *デ /ーヲ
3618	韓国 9 聴解要約 4	あとで、ヤンさんと太郎さんはあるみせへ入って、いろいろなオーディオを見て店員と <u>か</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>の</u> <u>ね</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>取</u> <u>り</u> <u>引</u> <u>き</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ト /ーヲ 2V

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3619	韓国 15 自由作文 5	しかし、時間が経つにつれて教える <u>仕方</u> が 身につけて <u>どのくらい</u> 余裕ができるととてもおもしろかったです。	1N 2格 *ガ/ーヲ 3Ad 副用
3620	韓国 15 自由作文 8	それで日本留学 に 決心して、今は教える立場では <u>なく</u> て 習う立場で <u>いっしょけんめい</u> 勉強しています。	1格 *ニ/ーヲ 2接 * テ形/ー連用形 3発音
3621	韓国 16 自由作文 8	もっと熱心に勉強して <u>帰って</u> 行くころには笑顔 に 日本 と <u>離れた</u> い。	1活用(V) 発音 2格 * ニ/ーデ 3格 *ト/ー ヲ
3622	韓国 21 自由作文 9	この学校にはいろいろな国から来た学生が <u>おせいい</u> いるからその人たちと一緒に国の風俗 <u>を</u> はなすときはとてもおもしろいですがみんな日本語がへただからまちかく知っていることもあります。	1Ad 副用 発音 2格 * ヲ
3623	韓国 26 自由作文 16	そして、コタツの下もノートや本 <u>を</u> 並べてあります。	格 *ヲ/ーガ
3624	韓国 26 自由作文 20	<u>本相</u> が置いてある側のかべに、オートバイの絵 <u>を</u> はってあります。	1表記 2格 *ヲ/ーガ
3625	韓国 28 自由作文 12	マリアのことが好きではなくて、こども <u>を</u> 面倒を見ることばかり でした。	1格 *ヲ/ーノ連 2取 立 語順
3626	韓国 29 自由作文 3	もしかぜにかからないようにする方法 <u>を</u> みなさんがよくわからなければいままから私がおしえてあげます。	1格 *ヲ/ーガ 2*ガ/ ーニ
3627	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店 <u>を</u> つくられて商業も <u>盛ん</u> ています。	1格 *ヲ/ーガ 2品詞 *V/ーNA 3発音 表 記 *テイル/ールタ
3628	韓国 34 自由作文 5	その点、日本の都市計画というのは、昔から、 <u>都市計画</u> 学問 の 基礎にして建設したので、都市の変化が少なくなかったんです。	1複N 2*ノ連 格 *O/ ーヲ
3629	ブラジル 2 聴解要約 5	やんさんは大家さんのごしゅ人とつめたいおちゃを飲んだ、あとでやんさんはたろうさんといっしょにあきはばらへステレオ <u>買いに</u> 行、それからたろうさんの家にとめた。	3発音 自他 1格 *O/ ーヲ 2ータ 表記
3630	ブラジル 2 パターン作文 1	ブラジルと日本の <u>番</u> 大きいちがいは、ブラジル <u>は</u> クルザド <u>で</u> 使う、日本人は円 <u>が</u> 使います。	1副用 Ad 2格 *Oは/ ーデは 3格 *デ/ー ヲ 4*ル/ー連用形 5 格 *ガ/ーヲ 6名詞節
3631	アメリカ 1 聴解要約 5	<u>暑</u> かった からヤンさんは <u>むぎ</u> におかわりました。	1表記 発音 2N 3格 * ニ/ーヲ
3632	アメリカ 1 聴解要約 7	秋葉原で <u>テイプレコーダ</u> <u>を</u> 買うとき店の人と売買契約 <u>が</u> しました。	2格 *O/ーヲ 3格 * ガ/ーヲ 1表記
3633	インドネシア 5 自由作文 3	私の日本語のべんきょうのもくてきは日本 <u>へ</u> 電子の勉強 <u>に</u> 行きます。	1格 *へ/ーデ 2格 * ニ/ーヲ 3V 4ー名詞 節 5ーダ
3634	タイ 1 聴解要約 5	そして、うち <u>を</u> 気に入りました。	格 *ヲ/ーガ
3635	タイ 1 聴解要約 9	この日は大家さんにあいさつしにいきました、引越しの <u>そば</u> と <u>持</u> っていました。	1発音 2格 *ト/ーヲ 表記 3複V

3636	タイ 2 パターン作文 2	いま最終ほうこくしょ <u>書いて</u> います。 (1)(2)	1-格 *0 /-ヲ 2表 記
3637	タイ 3 絵を見ての作文 3	そのとき、スポーツカーを運転している人 <u>を</u> <u>通</u> って ました。 (1) (2)	1格 *ヲ /-ガ 2*テイ ル /-テイク
3638	タイ 3 パターン作文 3	その仕事 <u>の中</u> は <u>男</u> の人と <u>女</u> の人 <u>は</u> しています。 (1) (2)	2取立 *ハ /-ガ 1格 *ハ /-ヲ 副用
3639	タイ 4 自由作文 2	バンコクにある高等学校で勉強していた時に英語 <u>に</u> <u>プ</u> <u>ラ</u> <u>ン</u> <u>ス</u> <u>語</u> を勉強することにしましたけれどもチュラロン コン大学に入学してから日本語と日本に興味を持ってい ましたので日本語を <u>四</u> 年間に <u>専</u> 攻する <u>の</u> <u>を</u> 決めました。 (3) (4) (5)	1並 N 2発音 表記 3 副用 数 4名詞節 *ノ /-コト 5格 *ヲ /- ニ
3640	タイ 5 パターン作文 8	昼食のとき <u>は</u> <u>そ</u> ば <u>が</u> <u>出</u> ま <u>え</u> <u>が</u> <u>た</u> のみました。 (1) (2) (3)	2ノ連 3格 *ガ /-ヲ 1取立 *ハ /0 副用
3641	香港 3 自由作文 6	今年八月北京へ行って「中国中日関係史国際学術会議」 <u>を</u> <u>出</u> 席し、 <u>論</u> 文を <u>提</u> 交 <u>し</u> ました。 (1) (2)	1格 *ヲ /-ニ 2V
3642	香港 6 自由作文 4	まず、農村の問題とにたく、日本の都市化についてさま ざまな個別的説明 <u>を</u> <u>す</u> る。	格 *0 /-ヲ
3643	香港 7 自由作文 26	もし相手が外国人であれば、この意味 <u>を</u> <u>分</u> からないだろ う。	格 *ヲ /-ガ
3644	香港 7 自由作文 39	漱石の小説と当時の社会状況と <u>を</u> <u>結</u> びあわせて、日本の 文明批評ということを考え直す方もずいぶんいます。	格 *0 /-ヲ
3645	香港 7 自由作文 70	ヨーロッパでは、人間と動物の間 <u>の</u> はっきり区別し、人 間をあらゆるものの上に置くという「断絶」の思想が生 まれた。	*ノ連 格 0 /-ヲ
3646	香港 7 自由作文 71	この「断絶」の思想から人間の支配階級と被支配階級と の間 <u>に</u> はっきりと区別する階層意識が育てられた。	格 *ニ /-ヲ
3647	香港 7 自由作文 75	その他、彼らの衣服に花鳥草木を描き、料理はできるだ け自然のままの形 <u>を</u> <u>作</u> る。 (2)	格 *ヲ /-デ
3648	香港 9 短文作文 4	わたしの妹はいつもむちゅうでピアノを <u>ひ</u> いて、うたを うたったりして、宿題 <u>が</u> <u>全</u> 然しません。 (1) (2)	2格 *ガ /-ヲ 1並 V *テ形 /-タリ
3649	香港 9 短文作文 7	<u>の</u> <u>び</u> <u>の</u> <u>び</u> <u>の</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>を</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>は</u> 、 <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>み</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1Ad 副用 2格 *0 /- ヲ 3名詞節
3650	香港 9 短文作文 10	わたしは勉強やら、ピアノ <u>を</u> <u>練</u> 習やらで、たいへんいそ がしいです。	格 *ヲ /-ノ連
3651	香港 11 短文作文 3	この道路は車 <u>を</u> <u>た</u> くさん通りますが、さいわい事故があ りません。	格 *ヲ /-ガ
3652	香港 14 短文作文 4	かれは自分の <u>き</u> <u>よ</u> <u>み</u> や <u>す</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>を</u> <u>む</u> <u>ち</u> <u>ゅう</u> <u>で</u> <u>じ</u> <u>ゃ</u> <u>へ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1,3発音 表記 2格 *ヲ /-に ツイテ
3653	香港 15 短文作文 6	おそろしいものの <u>な</u> <u>か</u> <u>て</u> <u>わ</u> <u>ざ</u> <u>わ</u> <u>ざ</u> <u>お</u> <u>じ</u> <u>さん</u> <u>と</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1発音 2格 *0 /-ヲ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3654	香港 16 短文作文 7	彼に三回もてがみを送ったのに、まだ返信 <u>がもらわな</u> <u>い。</u> (1) (2)	2受給 V 1格 *ガ/ー ヲ
3655	香港 16 短文作文 10	<u>一概には</u> 、学生たちは試験 <u>がきら</u> がる。 (1) (2) (3)	2格 *ガ/ーヲ 3V 1 副用 Ad
3656	香港 18 短文作文 7	彼に三回手紙を出したのだが、返事 <u>がくれ</u> ない。 (1) (2)	2受給 1格 *ガ/ーヲ
3657	香港 19 自由作文 6	新しいものに適応するの <u>が長い年月</u> <u>をかける</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/ーハ 格 *ガ/ーニ 2格 *ヲ/ ーガ 3自他
3658	香港 19 自由作文 10	まず、訓読みを <u>持っている</u> 本あるいは <u>印刷品</u> <u>が修正</u> <u>しなければならない。</u> (1) (2) (3)	1V 2複 N 3格 *ガ/ ーヲ
3659	香港 19 短文作文 18	そうかもしれない。でも、人に与える価値 <u>が大いに</u> <u>か</u> <u>えているか。</u> (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2V 自 他
3660	香港 20 自由作文 5	たとえば「火災発生件数」を見たら、起った火事の災害 について <u>事件の数</u> と意味 <u>を</u> わかる。 (1) (2)	1ーノ連 2格 *ヲ/ー ガ
3661	香港 20 自由作文 9	もし「ナゴヤ」 <u>が</u> 「名古屋」で表現すると <u>わかない</u> 人は、「東名高速道路」 <u>は</u> <u>なんですか</u> と疑う。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 条件 2格 *ガ/ー ヲ 3ー名詞節 4ート(引) 5スタイル
3662	香港 20 自由作文 12	特に徳川家康の江戸時代に二百年くらい鎖国政策を設け た後、日本人は外の世界 <u>を</u> <u>接触</u> の機会 <u>は</u> <u>ほとんど</u> なく なった。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ート/ーニ 2表記 3取立 *ハ/ー ガ
3663	香港 20 自由作文 17	日本人の世界観は四大島に枠を設定して、他の人間の存 在を見逃して地球は日本 <u>に</u> <u>軸</u> として廻っているぐらい <u>の</u> 観念があるかもしれない。 (1) (2)	1格 *ニ/ーヲ 2ーノ 連
3664	香港 20 短文作文 5	この問題を <u>考え</u> ば <u>考え</u> ほど <u>この難点</u> <u>を</u> よくわかってく る。 (1) (2) (3)	1,2活用(V) 3格 *ヲ/ ーガ
3665	香港 20 短文作文 6	この証拠 <u>を</u> <u>そろ</u> って、彼女 <u>は</u> <u>真犯人</u> だと考えざるをえ ない。 (1) (2) (3)	2接 条件 *テ形/ート 1格 *ヲ/ーガ 3取立 *ハ/ーガ
3666	香港 20 短文作文 12	妻を失った後、彼女が私にとってどんな <u>大切</u> だか <u>を</u> よくわ <u>か</u> る。 (1) (2)	2格 *ヲ/ーガ 1副用 不定 3*ル/ータ
3667	香港 22 短文作文 17	彼は英語ができること <u>を</u> <u>言</u> ってもなくて、フランス語も ドイツ語も、その上スペイン語も <u>でき</u> て、海外旅行する こと <u>が</u> 心配しなくてもいいです。 (1) (2) (3)	3格 *ガ/ーヲ 1熟語 2接 *テ形/ーノデ
3668	香港 22 短文作文 19	この表を <u>見</u> れば、日本人の平均の生活水準が年年 <u>さ</u> <u>が</u> すこと <u>を</u> <u>表</u> われる。 (1) (2) (3) (4)	1条件 2V 3格 *ヲ/ ーガ 4ーテイル
3669	香港 23 自由作文 5	もし、訓読みを廃止する <u>の</u> 、日本人は音読みだけ <u>を</u> <u>依</u> <u>存</u> する <u>の</u> 。 (1) (2)	1接 条件 2格 *ヲ/ー ニ 3ムード
3670	香港 23 自由作文 12	だから訓読みは漢字の意味 <u>を</u> <u>わ</u> かれることができる と <u>考</u> えないではない。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2VP
3671	香港 23 自由作文 20	自国の <u>語</u> 言 <u>は</u> 「国語」とよぶのは <u>自</u> 然 <u>の</u> 事である。 (1) (2) (3)	1N 2格 取立 *ハ/ー ヲ 3品詞(*N/ー NA)

3672	香港 23 自由作文 26	文化的条件について見ると、日本人は明治以降、外国文化を <u>接觸する</u> ものの、一方交通の文化だけである。 (1) (2)	1格 *ヲ/ート 2*ル/ーテイル
3673	香港 23 自由作文 27	外国から文化を <u>輸入され続ける</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーガ 2受身 3*ル/ーテイル
3674	香港 23 短文作文 10	ある学校は男性の学生が髪 <u>の毛の長いのが</u> 禁じる。	格 *ガ/ーヲ
3675	香港 24 自由作文 14	特に、もとの訓読みに示めされる <u>意味に代りの</u> 語彙は作るにちがいない。 (1) (2)	2取立 格 *ハ/ーヲ 1表現
3676	香港 24 自由作文 15	そして、梅棹忠夫の理論を <u>賛成</u> ではない。 (1) (2)	1C 2格 *ヲ/ーニ
3677	香港 24 自由作文 26	それはさておき、日本の家屋の構造で <u>ふすま</u> はあけることができ、 <u>全部を</u> あけて、家全体になる。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /でーハ 2格 *ガ/ーヲ 3接条件 *テ形 /ート
3678	香港 24 短文作文 11	彼岸 <u>だけまで</u> 天候はそんな違いを <u>つづく</u> と言われている。 (1) (2)	1語順 取立 2格 *ヲ/ーガ
3679	香港 24 短文作文 18	なまじ家を出たから、 <u>ゆうだん</u> して、かえって、学校 <u>を</u> おくれて来ている。 (1) (2) (3)	2発音 3格 *ヲ/ーニ 1Ad
3680	香港 25 自由作文 10	第三 <u>に</u> 、国民を訓の音を <u>わすれらせる</u> のはたいへんむずかしいことである。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーニ 2活用 使役
3681	香港 25 自由作文 16	昔は日本という <u>地方</u> が外国人がこの地方が <u>知らない</u> から、 <u>すこし</u> 外国人がこの地方へ訪れた。 (1) (2) (3) (4)	1N 2格 *ガ/ーヲ 4Ad 副用 3*ル/ータ
3682	香港 25 自由作文 22	日本では「日本語学」よりも「国語学」 <u>が</u> <u>広まって</u> <u>つかう</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1ーノハウ 2副用 3格 *ガ/ーヲ 4受身
3683	香港 25 短文作文 6	この問題 <u>を</u> 考えれば考えるほど、もっとむずかしさがわかってくる。	格 *ヲ/ーハ
3684	香港 25 短文作文 8	金持ちはおおくのお金 <u>が</u> 持つというか、 <u>暮らす</u> というか。 (1) (2)	&表現 1格 *ガ/ーヲ 2V
3685	香港 25 短文作文 16	彼女はなまじ美人のために、結婚機会 <u>が</u> 見逃して、現在はまだ結婚していない。	格 *ガ/ーヲ
3686	香港 26 自由作文 6	漢字の訓読みの <u>廃止</u> すれば、 <u>混乱な</u> 状況 <u>を</u> おこりましょう。 (1) (2) (3)	1品詞(N/ーV) 2表記 格 3*ヲ/ーガ
3687	香港 26 自由作文 15	日本人中心の文化 <u>を</u> おこりました。 (1) (2)	2自他 1格 *ヲ/ーガ
3688	香港 26 自由作文 16	それで、一般日本民衆は、「日本」 <u>は</u> 「国」に変換しました。	取立 格 *ハ/ーヲ
3689	香港 26 短文作文 3	この問題 <u>を</u> 考えれば考えるほど、 <u>難点</u> をよくわかります。 (1) (2)	1取立 *ヲ /ーハ 格 *ヲ /ーガ
3690	香港 26 短文作文 10	有名な大学 <u>を</u> 卒業生するしか、成功の保証が <u>しません</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *0 /ーヲ 2N 3V
3691	スリランカ 1 パターン作文 2	ヤンさんは <u>すんて</u> いる家から <u>ゆうびんきゃく</u> を <u>よて</u> しゅやのえきまで行きました。 (1) (2) (3) (4)	4活用 1,2発音 3格 *ヲ/ーニ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3692	スリランカ 1 パターン作文 5	会社の <u>けんかん</u> に <u>きれいな女の人</u> を <u>あた</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1,4発音 2格 *ニ/ー デ 3格 *ヲ/ーニ
3693	フランス 2 自由作文 8	<u>かんじ</u> を <u>よめるように</u> 、 <u>いろいろなよみかた</u> が <u>おぼえ</u> <u>らなければ</u> なりません。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2活用(V)
3694	イラン 1 自由作文 20	<u>やっぱり</u> <u>その りょう</u> のためにイランと日本と <u>くらべ</u> <u>て</u> イランでは <u>もっと</u> <u>文盲</u> がいる。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,2発音 1副用 3格* 0 /ーヲ 4接*テ形/ ート 5Ad 副用
3695	イラン 1 パターン作文 3	それにイランのりょうり <u>と</u> 日本のりょうり <u>を</u> <u>くらべ</u> <u>と</u> からいです。 (1) (2)	&表現 1取立 格 *ト/ ーハ 2格 *ヲ /ート
3696	マレーシア 2 自由作文 15	私は学こうでたくさん <u>もの</u> が <u>なら</u> います。 (1)(2) (3)	1ーノ連 2N *モノ/ ーコト 3格 *ガ /ー ヲ
3697	マレーシア 4 自由作文 17	それだけではなく、 <u>かれ</u> が <u>大雨</u> や <u>洪水</u> や、 <u>台風</u> ・ <u>地震</u> な <u>ど</u> の <u>作る力</u> も持っています。 (1) (2)	1取立 *ガ/ーハ 2格 *ノ/ーヲ
3698	マレーシア 6 自由作文 4	必ず世界の人の将来の <u>幸福</u> な <u>こと</u> <u>し</u> なければなら <u>ない</u> でしょう。 (1) (2)	1VP 2格 *0 /ーヲ
3699	マレーシア 9 自由作文 5	<u>外</u> の <u>は</u> 、 <u>国聯</u> の権力を使用して、必要な物の <u>価値</u> <u>が</u> <u>一つずつ</u> <u>実行</u> するだけでなく、 <u>生産</u> も <u>固定</u> します。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1副用 Ad 2N 3N 4 格 *ガ/ーヲ 5V 6V
3700	マレーシア 10 自由作文 2	日本のいろいろな <u>こと</u> <u>を</u> <u>紹介</u> され <u>た</u> 。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2ーテ イル
3701	マレーシア 10 自由作文 7	国の新聞や雑誌などの中で、いつも日本 <u>を</u> <u>紹介</u> された。 (1) (2)	格 *ヲ/ーガ
3702	マレーシア 11 自由作文 2	人々は毎日天気予報を聞いたあとで、 <u>何</u> <u>か</u> <u>する</u> <u>つもり</u> <u>か</u> 、 <u>決め</u> られる。 (1) (2)	1格 *カ/ーヲ 2N
3703	マレーシア 12 自由作文 11	私たち (他の仕事の人) も、 <u>天気</u> の <u>変化</u> <u>を</u> 、 <u>準備</u> するよ <u>うに</u> 、 <u>なり</u> ます、 <u>と</u> ても、 <u>便利</u> です。 (1) (2)	格 *ヲ /ーにタイシ テ 接 ー連用形 ー テ形
3704	マレーシア 13 自由作文 5	<u>ある時</u> 、 <u>いろいろ</u> な学科 <u>が</u> <u>同じ日</u> に <u>テスト</u> をするのも <u>大変</u> なのです。 (1) (2)	1Ad 2格 *ガ/ーヲ
3705	マレーシア 13 自由作文 7	まず、 <u>女</u> の <u>学生</u> の <u>髪</u> <u>が</u> <u>自由</u> に <u>やり</u> ます、 <u>せめて</u> 、 <u>清</u> <u>潔</u> に <u>する</u> が <u>って</u> いました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1複N 2格 *ガ/ーヲ 3V 4Ad 5複V
3706	マレーシア 14 自由作文 1	我々 <u>には</u> 毎日テレビやラジオで <u>天気</u> 予報 <u>が</u> <u>聞</u> く。 (1) (2)	1格 *ニ/ー0 2*ガ/ ーヲ
3707	マレーシア 15 自由作文 11	今、 <u>私</u> <u>が</u> <u>この</u> <u>こと</u> <u>を</u> <u>わか</u> りました。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/ーハ 2コ ソア 3格 *ヲ /ーガ
3708	マレーシア 16 自由作文 2	もしわたしがマレーシアの首相だったら、国の <u>国務</u> <u>が</u> 、 <u>たくさん</u> 改革するとおもいます。 (1) (2)	1N 2格 *ガ/ーヲ
3709	マレーシア 16 自由作文 7	その政策 <u>は</u> 、 <u>マレ</u> 人 <u>に</u> <u>優待</u> をします、例えば、 <u>会社</u> <u>をつ</u> くる時、 <u>四十四</u> パーセントの <u>股権</u> <u>は</u> 、 <u>マレ</u> 人 <u>に</u> 、 <u>あ</u> げなければなりません。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1格 *0は/ーデは 5 N 2,6表記 3格 *ニ/ ーヲ 4VP 7V
3710	マレーシア 17 自由作文 11	人民は <u>ほかに</u> <u>の</u> 種族の文化 <u>が</u> <u>尊重</u> し <u>て</u> <u>くだ</u> さい。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *ガ/ーヲ 3ムード

3711	マレーシア 18 自由作文 9	マレーシアで、おおきな病院がしか新しい方法使 わ ⁽¹⁾ ない、国立病院でも、治療代が ⁽²⁾ 高 ⁽³⁾ い ⁽⁴⁾ だ。	1取立で*0 /で-ハ 2格 *ガ /-0 3取立 *ガしか /-0 しか 4 格 *0 /-ヲ 5品詞 *NA /-A
3712	マレーシア 18 自由作文 18	そして、新しい医療方法を ⁽¹⁾ 使 ⁽²⁾ う、看護婦の態度が ⁽³⁾ ぜ ⁽⁴⁾ び 良 ⁽⁵⁾ く ⁽⁶⁾ 変 ⁽⁷⁾ える。	1-連用形 2格 *ガ/ -ヲ 3副用
3713	マレーシア 18 自由作文 19	そして、新しい医療方法を ⁽¹⁾ 使 ⁽²⁾ い、看護婦の態度が ⁽³⁾ ぜ ⁽⁴⁾ び 良 ⁽⁵⁾ く ⁽⁶⁾ 変 ⁽⁷⁾ える。	1N 3Ad 副用 4VP 自他 2格 *ガ/-ヲ
3714	マレーシア 21 自由作文 5	宿題 ⁽¹⁾ たくさんあるから、そのうえ日本語まだ ⁽²⁾ 上 ⁽³⁾ 手 ⁽⁴⁾ アルバイト ⁽⁵⁾ が ⁽⁶⁾ や ⁽⁷⁾ ら ⁽⁸⁾ な ⁽⁹⁾ か ⁽¹⁰⁾ つ ⁽¹¹⁾ た。	1格 *0 /-ガ 2NA 3 接 4*ガ/-ヲ
3715	マレーシア 21 自由作文 13	伍さんと林さんの ⁽¹⁾ た ⁽²⁾ す ⁽³⁾ け ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ も ⁽⁶⁾ ら ⁽⁷⁾ つ ⁽⁸⁾ た、いろいろな料理を つ ⁽⁹⁾ く ⁽¹⁰⁾ つ ⁽¹¹⁾ て、友達と ⁽¹²⁾ 後 ⁽¹³⁾ に ⁽¹⁴⁾ 住 ⁽¹⁵⁾ ん ⁽¹⁶⁾ で ⁽¹⁷⁾ い ⁽¹⁸⁾ る ⁽¹⁹⁾ 日 ⁽²⁰⁾ 本 ⁽²¹⁾ 人 ⁽²²⁾ の ⁽²³⁾ 家 ⁽²⁴⁾ 族 ⁽²⁵⁾ を ⁽²⁶⁾ 一 ⁽²⁷⁾ 緒 ⁽²⁸⁾ に ⁽²⁹⁾ た ⁽³⁰⁾ べ ⁽³¹⁾ ま ⁽³²⁾ し ⁽³³⁾ た。	1VP 接 2格 *ヲ/- ト
3716	マレーシア 21 自由作文 14	その ⁽¹⁾ 間 ⁽²⁾ 写 ⁽³⁾ 真 ⁽⁴⁾ も ⁽⁵⁾ 取 ⁽⁶⁾ つ ⁽⁷⁾ て、花 ⁽⁸⁾ 火 ⁽⁹⁾ を ⁽¹⁰⁾ 遊 ⁽¹¹⁾ ん ⁽¹²⁾ で、歌 ⁽¹³⁾ を ⁽¹⁴⁾ 歌 ⁽¹⁵⁾ つ ⁽¹⁶⁾ て、い ろ ⁽¹⁷⁾ い ⁽¹⁸⁾ ろ ⁽¹⁹⁾ の ⁽²⁰⁾ 話 ⁽²¹⁾ を ⁽²²⁾ し ⁽²³⁾ た、二 ⁽²⁴⁾ 時 ⁽²⁵⁾ ご ⁽²⁶⁾ ろ ⁽²⁷⁾ に ⁽²⁸⁾ 終 ⁽²⁹⁾ わ ⁽³⁰⁾ つ ⁽³¹⁾ た。	1C 2格 *ヲ/-デ
3717	マレーシア 22 自由作文 8	東上線の沿線情報誌によるとある会社は ⁽¹⁾ 男 ⁽²⁾ 性 ⁽³⁾ が ⁽⁴⁾ 急 ⁽⁵⁾ 募 ⁽⁶⁾ だ そ ⁽⁷⁾ う ⁽⁸⁾ で ⁽⁹⁾ し ⁽¹⁰⁾ た。	1取立 *ハ/-ガ 2格 *ガ/-ヲ 3品詞 *NA/-N 4ム-ド
3718	マレーシア 22 自由作文 16	そのレストランの人は、お客様、何 ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ し ⁽³⁾ ま ⁽⁴⁾ す ⁽⁵⁾ か。と ⁽⁶⁾ 言 い ⁽⁷⁾ ま ⁽⁸⁾ し ⁽⁹⁾ た。	格 *ヲ/-ニ
3719	マレーシア 22 自由作文 19	だから、アルバイトを ⁽¹⁾ 聞 ⁽²⁾ く ⁽³⁾ の ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ 食 ⁽⁶⁾ 事 ⁽⁷⁾ を ⁽⁸⁾ す ⁽⁹⁾ る ⁽¹⁰⁾ よ ⁽¹¹⁾ う ⁽¹²⁾ に ⁽¹³⁾ か ⁽¹⁴⁾ わ ⁽¹⁵⁾ り ⁽¹⁶⁾ ま ⁽¹⁷⁾ し ⁽¹⁸⁾ た。	1格 *ヲ/-ガ 2名詞 節
3720	マレーシア 25 自由作文 18	日光が強くて、暑い ⁽¹⁾ う ⁽²⁾ ち ⁽³⁾ に ⁽⁴⁾ 、一 ⁽⁵⁾ 日 ⁽⁶⁾ 中 ⁽⁷⁾ 歩 ⁽⁸⁾ い ⁽⁹⁾ た ⁽¹⁰⁾ の ⁽¹¹⁾ で、大 ⁽¹²⁾ 変 ⁽¹³⁾ 疲 ⁽¹⁴⁾ れ ⁽¹⁵⁾ ま ⁽¹⁶⁾ し ⁽¹⁷⁾ た。	1N 2格ニ/-ヲ
3721	マレーシア 25 自由作文 24	来年、もし大学に入学できたら、夏休みは、東京にある 町、上野や銀座などで ⁽¹⁾ 見 ⁽²⁾ 物 ⁽³⁾ し ⁽⁴⁾ た ⁽⁵⁾ い ⁽⁶⁾ と ⁽⁷⁾ 思 ⁽⁸⁾ い ⁽⁹⁾ ま ⁽¹⁰⁾ す。	格*デ/-ヲ
3722	マレーシア 28 自由作文 13	一つ私にとって、おどろいたことはクアラルンプールで、 今 ⁽¹⁾ と ⁽²⁾ も ⁽³⁾ 日 ⁽⁴⁾ 本 ⁽⁵⁾ 製 ⁽⁶⁾ 品 ⁽⁷⁾ を ⁽⁸⁾ は ⁽⁹⁾ や ⁽¹⁰⁾ つ ⁽¹¹⁾ て ⁽¹²⁾ い ⁽¹³⁾ ま ⁽¹⁴⁾ す、例 ⁽¹⁵⁾ る ⁽¹⁶⁾ な ⁽¹⁷⁾ ら ⁽¹⁸⁾ 、日 本 ⁽¹⁹⁾ 旅 ⁽²⁰⁾ 客 ⁽²¹⁾ も ⁽²²⁾ か ⁽²³⁾ な ⁽²⁴⁾ り ⁽²⁵⁾ デ ⁽²⁶⁾ パ ⁽²⁷⁾ ー ⁽²⁸⁾ と ⁽²⁹⁾ で ⁽³⁰⁾ 多 ⁽³¹⁾ く ⁽³²⁾ 見 ⁽³³⁾ え ⁽³⁴⁾ ま ⁽³⁵⁾ し ⁽³⁶⁾ た。	1格 *ヲ/-ガ 2-名 詞節 3C 4N 5表記 6 副用 7V
3723	マレーシア 28 自由作文 14	それ ⁽¹⁾ ら ⁽²⁾ の ⁽³⁾ よ ⁽⁴⁾ う ⁽⁵⁾ に、目 ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ 見 ⁽⁸⁾ な ⁽⁹⁾ が ⁽¹⁰⁾ ら、頭 ⁽¹¹⁾ の中 ⁽¹²⁾ に ⁽¹³⁾ は、日 ⁽¹⁴⁾ 本 ⁽¹⁵⁾ 勉 ⁽¹⁶⁾ 強 ⁽¹⁷⁾ す ⁽¹⁸⁾ る ⁽¹⁹⁾ の ⁽²⁰⁾ が ⁽²¹⁾ 違 ⁽²²⁾ い ⁽²³⁾ な ⁽²⁴⁾ い ⁽²⁵⁾ か ⁽²⁶⁾ と ⁽²⁷⁾ 思 ⁽²⁸⁾ つ ⁽²⁹⁾ て ⁽³⁰⁾ い ⁽³¹⁾ ま ⁽³²⁾ し ⁽³³⁾ た。	1コソア 2格 *ヲ/- デ 3格 *ニ/-デ
3724	マレーシア 28 自由作文 15	夜 ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ な ⁽³⁾ つ ⁽⁴⁾ て、父 ⁽⁵⁾ 母 ⁽⁶⁾ は ⁽⁷⁾ い ⁽⁸⁾ つ ⁽⁹⁾ も ⁽¹⁰⁾ 私 ⁽¹¹⁾ を ⁽¹²⁾ つ ⁽¹³⁾ れ ⁽¹⁴⁾ て、親 ⁽¹⁵⁾ 戚 ⁽¹⁶⁾ の ⁽¹⁷⁾ 家 ⁽¹⁸⁾ に ⁽¹⁹⁾ 訪 問 ⁽²⁰⁾ を ⁽²¹⁾ し ⁽²²⁾ ま ⁽²³⁾ し ⁽²⁴⁾ た、それ ⁽²⁵⁾ は ⁽²⁶⁾ と ⁽²⁷⁾ も ⁽²⁸⁾ つ ⁽²⁹⁾ ま ⁽³⁰⁾ ら ⁽³¹⁾ な ⁽³²⁾ い ⁽³³⁾ こ ⁽³⁴⁾ で ⁽³⁵⁾ す ⁽³⁶⁾ け ⁽³⁷⁾ れ ⁽³⁸⁾ ど ⁽³⁹⁾ も、 父 ⁽⁴⁰⁾ と ⁽⁴¹⁾ 母 ⁽⁴²⁾ の ⁽⁴³⁾ た ⁽⁴⁴⁾ め ⁽⁴⁵⁾ に、行 ⁽⁴⁶⁾ か ⁽⁴⁷⁾ な ⁽⁴⁸⁾ く ⁽⁴⁹⁾ て ⁽⁵⁰⁾ は ⁽⁵¹⁾ い ⁽⁵²⁾ け ⁽⁵³⁾ ま ⁽⁵⁴⁾ せ ⁽⁵⁵⁾ ん。	1接条件 *テ形/-ト 2格ニ/-ヲ 3格 *ヲ/ -0
3725	マレーシア 29 自由作文 6	なぜなら国 ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ も ⁽³⁾ つ ⁽⁴⁾ と ⁽⁵⁾ 進 ⁽⁶⁾ 歩 ⁽⁷⁾ 的 ⁽⁸⁾ な ⁽⁹⁾ 国 ⁽¹⁰⁾ に ⁽¹¹⁾ な ⁽¹²⁾ る ⁽¹³⁾ 発 ⁽¹⁴⁾ 展 ⁽¹⁵⁾ を ⁽¹⁶⁾ す ⁽¹⁷⁾ る ⁽¹⁸⁾ つ ⁽¹⁹⁾ も り ⁽²⁰⁾ で ⁽²¹⁾ す ⁽²²⁾ か ⁽²³⁾ ら。	1格 *ヲ/-ガ 2N
3726	マレーシア 29 自由作文 17	教育水準を高められれば、その知識と技術 ⁽¹⁾ を ⁽²⁾ 使 ⁽³⁾ え ⁽⁴⁾ て、国 ⁽⁵⁾ の た ⁽⁶⁾ く ⁽⁷⁾ さ ⁽⁸⁾ ん ⁽⁹⁾ 天 ⁽¹⁰⁾ 然 ⁽¹¹⁾ 資 ⁽¹²⁾ 源 ⁽¹³⁾ た ⁽¹⁴⁾ と ⁽¹⁵⁾ え ⁽¹⁶⁾ ば ⁽¹⁷⁾ 石 ⁽¹⁸⁾ 油 ⁽¹⁹⁾ や ⁽²⁰⁾ 錫 ⁽²¹⁾ や ⁽²²⁾ ゴ ⁽²³⁾ ム ⁽²⁴⁾ や ⁽²⁵⁾ 木 ⁽²⁶⁾ や ⁽²⁷⁾ 農 ⁽²⁸⁾ 作 ⁽²⁹⁾ 物 ⁽³⁰⁾ な ⁽³¹⁾ ど ⁽³²⁾ で ⁽³³⁾ 利 ⁽³⁴⁾ 用 ⁽³⁵⁾ し ⁽³⁶⁾ て、工 ⁽³⁷⁾ 業 ⁽³⁸⁾ を ⁽³⁹⁾ 盛 ⁽⁴⁰⁾ ん ⁽⁴¹⁾ て、進 ⁽⁴²⁾ 歩 ⁽⁴³⁾ 的 ⁽⁴⁴⁾ な ⁽⁴⁵⁾ 工 ⁽⁴⁶⁾ 業 ⁽⁴⁷⁾ 国 ⁽⁴⁸⁾ に ⁽⁴⁹⁾ な る ⁽⁵⁰⁾ と ⁽⁵¹⁾ 思 ⁽⁵²⁾ い ⁽⁵³⁾ ま ⁽⁵⁴⁾ す。	1*テ形 2格 *デ/-ヲ 3VP

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3727	スペイン 2 パターン作文 2	スペインと日本の本の <u>比</u> <u>べ</u> る <u>こ</u> と <u>で</u> す。 (1) (2)	2名詞節 1格 *ノ/ー ヲ
3728	スペイン 2 パターン作文 4	スペインと日本の本 <u>に</u> <u>比</u> べると、ぜんぜんちがいます。	格 *0 /ーヲ
3729	スペイン 2 パターン作文 8	私はまだ日本語 <u>の</u> <u>話</u> す <u>時</u> には、下手だからです。 (1) (2)	1格 *ノ/ーヲ 2名詞節
3730	スペイン 2 パターン作文 10	言葉を知らないし、漢字 <u>を</u> <u>読</u> めないし、意味を <u>しか</u> <u>で</u> きません。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2取立(シカ)
3731	スペイン 2 パターン作文 11	しかし魚は足が <u>な</u> い <u>車</u> 道 <u>で</u> <u>歩</u> けません。 (1) (2)	1接 *0 /ーノデ 2格 *デ/ーヲ
3732	ナイジェリア 1 聴解要約 8	ヤンさんはりょうこう <u>か</u> ら <u>しゃ</u> しん <u>を</u> <u>見</u> せてあげた。 (1) (2)	1格 *カラ/ーノ連 2格 *0 /ーヲ
3733	ナイジェリア 1 パターン作文 2	日本の農業とナイジェリアの農業 <u>に</u> <u>へ</u> らべると、おもしろい <u>な</u> にか <u>で</u> ある。 (3) (4)	2表記 3不定詞 1格 *ニ/ーヲ 4*ダ
3734	ナイジェリア 1 パターン作文 3	どうぶつと人間のサラダの違いは、どうぶつのサラダがサラダの油 <u>と</u> <u>い</u> ろいろな <u>え</u> いよ <u>を</u> <u>使</u> わないということ <u>で</u> す。 (1) (2) (3)	1並 N *ト/ーヤ 2表記 3格 *0 /ーヲ
3735	ナイジェリア 1 パターン作文 7	日本では農業きかい <u>が</u> <u>よ</u> くつかう <u>こ</u> 、 <u>国</u> <u>を</u> <u>べ</u> んりなき <u>か</u> いはあまりない。 (1) (2) (3)	2接(-ガ) 1格 *ガ/ーヲ 3取立 *0 /ーニハ
3736	イギリス 1 自由作文 4	英国の会社ではお茶をいれる <u>の</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>ティー</u> ラーディー <u>と</u> <u>い</u> います。 (1) (2) (3)	1ノ連 3発音 表記 2格 *ガ/ーヲ
3737	エチオピア 1 聴解要約 2	<u>か</u> いして <u>こ</u> ばやしさんに同僚 <u>と</u> <u>し</u> ょかい <u>し</u> ました。 (1) (2) (3) (4)	1,2発音 3格 *0 /ーヲ 4受身
3738	エチオピア 1 パターン作文 3	<u>え</u> ろな <u>ぎ</u> いりよ <u>を</u> <u>つ</u> かて <u>え</u> もの <u>を</u> <u>つ</u> くるつもりです。 (1) (2) (3)(4) (5) (6)	1,2,4,5発音 3,6格 *0 /ーヲ
3739	エチオピア 1 パターン作文 4	<u>あ</u> たらし <u>か</u> んがい <u>か</u> たと <u>ぎ</u> んだい <u>ぎ</u> じつ <u>を</u> <u>研</u> すもり <u>い</u> てす。 (1) (2) (3) (4) (5)(6) (7)	2,3,4,7発音 5-格 *0 /ーヲ 1活用 (A) 6V
3740	エチオピア 1 パターン作文 5	<u>け</u> かい <u>と</u> <u>あ</u> たま <u>を</u> <u>あ</u> わせて <u>え</u> ままで <u>え</u> ないの <u>す</u> ばらし <u>を</u> <u>お</u> でぎけて <u>は</u> けん <u>し</u> たい。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3,4,5発音 2格 *0 /ーヲ
3741	オーストラリア 2 自由作文 2	オーストラリアで私はけんこう <u>の</u> <u>し</u> 仕事 <u>を</u> <u>は</u> たらきました。 (1) (2) (3)(4)	1表記 2N 3格 *0 /ーヲ 4V
3742	オーストラリア 2 自由作文 4	私はプログラム <u>を</u> <u>そ</u> しきました。 (1)(2)	1格 *0 /ーヲ 2V
3743	ヨルダン 1 聴解要約 1	ヤンさんはあさ <u>お</u> 家 <u>さん</u> <u>を</u> <u>み</u> た。 (1) (2)(3)	3V 2格 *0 /ーヲ 1発音
3744	ヨルダン 1 聴解要約 2	郵便局 <u>に</u> <u>行</u> た <u>電</u> 車 <u>を</u> <u>の</u> て <u>駅</u> の前 <u>に</u> <u>小</u> 林さん <u>と</u> <u>電</u> 話を <u>し</u> た。 (1)(2) (3) (4) (5) (6)	4活用 2発音 3格 *ヲ /ーニ 1格 *0 /ーニ 5格 *ニ/ーデ 2-連用形
3745	ヨルダン 1 聴解要約 3	<u>タ</u> キノ <u>で</u> <u>会</u> 社の <u>い</u> ちよう <u>に</u> <u>行</u> た <u>会</u> 社の <u>前</u> <u>に</u> <u>女</u> らし <u>を</u> <u>み</u> た。 <u>会</u> 社の <u>同</u> 僚 <u>と</u> <u>か</u> い <u>し</u> た。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3,5発音 2格 *ニ/ーデ 3格 *0 /ーヲ
3746	イラク 1 自由作文 4	文化大革命という運動が <u>終</u> わった <u>以</u> 来、 <u>経</u> 済が <u>高</u> 速的 <u>に</u> <u>発</u> 展できる <u>た</u> めに <u>い</u> ろいろな <u>方</u> 針と <u>政</u> 策 <u>を</u> <u>定</u> められ <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 *タ /ーテ形 3副用 4接 *タメニ/ーヨウニ 5格 *ヲ/ーガ

5.1.2. 格助詞ヲ

3747	インド 15 自由作文 4	毎日自分で料理を作るので冷蔵庫と炊飯器が <u>買</u> いました。 (1)	1格 *ガ/ーヲ
3748	インド 16 自由作文 6	冷蔵庫が小さいです <u>けど</u> いろいろな飲料や食べもの <u>を</u> <u>入</u> ってあります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ガ/ーハ 2ス スタイル 3N 4格 *ヲ/ ーガ 5自他
3749	インド 16 自由作文 7	冷蔵庫の上にも沢山お菓子 <u>を</u> おいてあります。	格 *ヲ/ーガ
3750	インド 17 自由作文 19	テレビの反対が <u>わ</u> で、ラジカセ <u>を</u> 見 <u>ま</u> す。 (1) (2) (3)	1格 *デ/ーニ 2格 * ヲ/ーガ 3自他
3751	インド 18 自由作文 30	そこでせんぶうき <u>が</u> かうつもりです。	格 *ガ/ーヲ
3752	インド 19 自由作文 5	私 <u>は</u> か <u>っ</u> た絵 <u>が</u> 見 <u>て</u> 下さい。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ
3753	インド 19 自由作文 16	たんすの中に洋服 <u>を</u> は <u>っ</u> ています。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2発音
3754	インド 23 自由作文 20	以上は私の部屋 <u>は</u> 簡単な配置 <u>を</u> 介 <u>紹</u> です。 (1) (2) (3)	1取立 2格 *ヲ/ーノ 連 3品詞 *V/ーN N
3755	インド 24 自由作文 20	部屋に入 <u>っ</u> て、ま <u>っ</u> ずく行くと <u>東</u> 南に <u>向</u> きの窓で、右 の方に見たら、 <u>入</u> れ出 <u>し</u> です。 (1) (2) (3)	1複N *ニ/ー〇 2格 *ニ/ーヲ 3N
3756	インド 24 自由作文 27	私もこたつ <u>が</u> 持 <u>っ</u> てあ <u>り</u> ます。 (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2*テア ル/ーテイル
3757	インド 26 自由作文 15	私は彼女の <u>有</u> 能 <u>を</u> す <u>っ</u> かり感心しました。 (1) (2)	1N 2格 *ヲ/ーニ
3758	インド 28 自由作文 9	この <u>気</u> 分は日本人 <u>で</u> はなくて、世界の人も戦争 <u>や</u> <u>め</u> たい。 (1) (2) (3) (4)	1N 2取立 *〇/ーダ ケ 3格 *〇/ーヲ 4ル /ータ
3759	インド 29 自由作文 6	映画の内容はおじいさんとおよめさんと <u>ふ</u> たりの生活 の中でいろいろな問題 <u>を</u> 出 <u>で</u> くるという映画 <u>で</u> した。 (1) (2) (3) (4)	1ーノ連 2格 ヲ/ーガ 3発音 4N 体修
3760	インド 29 自由作文 8	それに毎日奥さんの名前を呼んで、およめさん <u>が</u> 奥さん にと <u>し</u> ていた時もありました。 (1) (2) (3) (4)	1C 2格 ガ/ーヲ 3* ニ/ー〇 4V
3761	インド 30 自由作文 5	ですから、もし都心へ <u>い</u> たら、 <u>他</u> 人に車 <u>を</u> 乗 <u>ら</u> れさ せなければなりません <u>で</u> した。 (1) (2) (3) (4)	1接条件 *タラ/ーナ ラ 2N 3格 *ヲ/ーニ 4受身 使役 受給
3762	インド 30 自由作文 6	私は、いつもとなり <u>に</u> 住 <u>ん</u> でいるおじの車 <u>を</u> 乗 <u>り</u> まし た。 (1) (2)	1格 〇/ーニ 2ヲ/ー ニ
3763	インド 30 自由作文 12	このように、おじは、私 <u>に</u> 自分の親 <u>子</u> のように、世話 をしてくれました。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーヲ 2N 3* 〇/ーノ連
3764	インド 31 自由作文 2	もし、我々の生活のまわり <u>に</u> 、よく <u>留</u> 心すれば、 <u>なん</u> <u>か</u> 一つのことを <u>見</u> ける。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーヲ 2V 3 不定 4複 V ムード
3765	インド 31 自由作文 4	それは今私達の生活 <u>には</u> ほとんど「広告」というもの <u>を</u> 取り <u>囲</u> んでいるという事である。 (1) (2) (3)	1格 *ニハ/ーヲ 2Ad 3格 *ヲ/ーガ
3766	インド 32 自由作文 5	そのうえ、どんなきれいな洋服 <u>に</u> 着ても、 <u>見</u> にくくなる に違 <u>い</u> ありません。 (1) (2)	1格 ニ/ーヲ 2複 V

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3767	インド 34 自由作文 12	彼 <u>こそしかいない</u> 、私 <u>を</u> 親しみを感じさせる先生でした。 (1) (2)	1取立 2格 *ヲ/ーニ
3768	インド 35 自由作文 5	例えば、かぜをひいた時、父母は私 <u>に</u> つれて都市の病院へ行きました。	格 *ニ/ーヲ
3769	インド 35 自由作文 16	今、病気の時とか、試験の時とか、父と母の顔 <u>に</u> 、時々思い出します。	格 *0/ーヲ
3770	インド 36 自由作文 6	父母の教育方針とか人 <u>に</u> 交際することを私 <u>に</u> 影響が <u>多</u> いと思います。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ート 2格 *ヲ/ーガ 3表現
3771	インド 36 自由作文 7	私は 明朗な性格、活発な <u>生活</u> などが父親の遺伝に <u>ま</u> ちが <u>あ</u> りません。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーノ 2N 3格 *ヲ/ーガ 4N
3772	インド 36 自由作文 8	わたし <u>は</u> 新しいものに関心 <u>が</u> 五分 <u>し</u> が <u>も</u> っていないの <u>が</u> たぶん父からのだろうか。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ 3発音 4取立 *ガ/ーハ
3773	インド 37 自由作文 2	しかし <u>あ</u> の人は非常に勇敢な <u>克服</u> 障礙、まい朝 <u>を</u> 「 <u>報</u> 童」 <u>し</u> ます、 <u>不</u> 論大風が刮たり、 <u>雨</u> が <u>降</u> たり、 <u>毎</u> 々送達 <u>し</u> ます。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	1C 2コソア 3N 4格 *ヲ/ー0 5 N 6? 7 活用(V) 8?
3774	インド 37 自由作文 8	また、ふたりの愛情 <u>な</u> 非常に <u>可</u> 貴、私は、「汪洋中の <u>一</u> 条船」 <u>に</u> 映画 <u>を</u> 見たとき感動 <u>し</u> 非常に <u>涙</u> が泣きました。 (3) (4) (5) (6)	1取立 ーハ 2NA 3トイウ 4格 *0/ーヲ 5 格 *0/ーデ 6VP
3775	インド 39 自由作文 4	小学校 <u>を</u> 入って時、友だちがたくさんいました。	格 *ヲ/ーニ
3776	インド 39 自由作文 5	だから、学校の授業 <u>を</u> おわった、友だちと一緒に山 <u>を</u> 登って、 <u>きれ</u> い町と景色をみました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーガ 2接条件 3格 *ヲ/ーニ 4品詞 *A/ーNA
3777	インド 40 自由作文 25	午前中毎日家の近くの幼稚園 <u>を</u> 通った。	格 *ヲ/ーニ
3778	インド 41 自由作文 9	たまに木 <u>を</u> 登り、果物を取り、そこで友達と話した。	格 *ヲ/ーニ
3779	インド 41 自由作文 12	風の季節がくると、たこ <u>を</u> 遊ぶ、近くには広場があるから、みんなとたこを作ったあとで、たこの <u>きれ</u> い、 <u>大</u> きさ、高さを比べる、そして、 <u>リー</u> ダ <u>に</u> なった。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーデ 2N 3 表記 4V
3780	インド 43 自由作文 8	かぜの伝染病 <u>を</u> 流行する時、人込み <u>場</u> 合 <u>に</u> 入らない方が <u>い</u> いです。 (1) (2) (3)	1*ダ 2格 *ヲ/ーガ 3*N
3781	インド 43 自由作文 11	生活 <u>に</u> <u>規</u> 則する <u>よ</u> うにして下さい。 (1) (2)	1格 *ニ/ーヲ 2VP ー副用
3782	インド 44 自由作文 20	このふたりだけ <u>に</u> 、ふたり山の中で遊んだり、川で魚を取ったり、いろいろな自分 <u>に</u> <u>好</u> きなこと <u>し</u> ました。 (1) (2) (3)	1格 *0/ーデ 2格 ーノ連 3格 *0/ーヲ
3783	インド 45 自由作文 6	それは、万国 <u>を</u> 認められているでしょう。	格 *ヲ/ーニ
3784	インド 45 自由作文 11	私は、もしこれらの勉強 <u>を</u> 終わったら、国で食品化学の研究の向上に尽くしたいと思っています。	格 *ヲ/ーガ
3785	インド 46 自由作文 2	私は経営管理という学科 <u>が</u> 勉強したいので、日本へきました。	格 ガ/ーヲ

3786	インド 46 自由作文 6	それは <u>工*</u> の黒字や赤字 を 影響しています。 (1) (2)	1表記 2格 *ヲ/ーニ
3787	インド 46 自由作文 12	将来は、ちち <u>の</u> 手伝ってあげたいと思っています。	*ノ連格 *0/ーヲ
3788	インド 48 自由作文 7	特に <u>コンピューター</u> が 普通に使います。 (1) (2)	1発音 2格 *ガ/ーヲ
3789	インド 49 自由作文 11	それを <u>対して</u> 、私 <u>が</u> 趣味を持っています。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーニ 2*にタイシテ 3取立*ガ/ーハ
3790	インド 50 自由作文 7	ですからそれを <u>を</u> きっかけで、日本へ写真技術を <u>学ぶ</u> に 来ました。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2活用(V)
3791	インド 50 自由作文 8	私は経営管理 <u>として</u> 勉強するために日本へやって来まし た。	格 *とシテ/ーヲ
3792	インド 51 自由作文 4	国の経済の発展 <u>を</u> 尽くす <u>ために</u> 日本へ <u>きて</u> 経済学 を学ぶつもりです。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーニ 2V 3 発音 接 *テ形
3793	インド 51 自由作文 7	それで国の経済成長 <u>に</u> 対して <u>大き</u> 影* <u>が</u> <u>当</u> えてしま う。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0/ーニ 2発音 3格 *ガ/ーヲ 4表記
3794	インド 51 自由作文 15	なぜなら日本の <u>成功な</u> 経済政策 <u>が</u> 私 <u>の</u> 国 <u>として</u> 学ぶ べき <u>から</u> である。 (1) (2) (3) (4)	1品詞 *NA/ーV 2格 *ガ/ーヲ 3格*トシ テ/ーガ 4ーダ
3795	インド 51 自由作文 17	<u>これら</u> の経済の高度成長 <u>を</u> <u>向上</u> に尽くしたいと思っ ている。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 2格 *ヲ/ー 0 3ーノ連 4N
3796	インド 52 自由作文 5	その点は、日本の <u>科学管理制度</u> は日本の経済 <u>に</u> 猛進さ せていて <u>世界の中</u> で経済大国 <u>にな</u> っています。 (1) (2) (3) (4)	1複N 2格 *ニ/ーヲ 3副用 4VP
3797	インド 54 自由作文 16	もし、その時、私が <u>お金持ちにな</u> った <u>ら</u> 李さんの病気 <u>が</u> 必ず治したと <u>思</u> っています。 (1) (2) (3)	1VP 2格 *ガ/ーヲ 3 複V
3798	インド 55 自由作文 6	教育 <u>が</u> 普及したり、 <u>上</u> がったりします。 (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2自他
3799	インド 55 自由作文 7	教育が普及するのでたくさんの小学校や中学校などに開 設します。	格 *ニ/ーヲ
3800	インド 55 自由作文 12	なぜなら進歩的な社会が <u>国</u> を 繁栄のひとつの条件です。	格 *ヲ/ーノ
3801	インド 55 自由作文 13	次は、国民の生活 <u>が</u> できる <u>ために</u> 、広大の土地 <u>に</u> 利用 して、農業を <u>発展</u> させて、また、マレーシア <u>の</u> <u>豊富</u> の天 然資源も積極的に開拓させます。 (1) (2) (3) (4)	1*可能/ーノ連 2格 * ニ/ーヲ 3ーノ連 4品 詞 *N/ーNA
3802	インド 55 自由作文 19	たとえば、国民の健康のために、私は、病院や診療所な ど <u>に</u> たくさん開設します。	格 *ニ/ーヲ
3803	インド 55 自由作文 20	先進の治療方法 <u>が</u> 外国からとり入れます、そして医療費 も無料です。	格 *ガ/ーヲ
3804	インド 55 自由作文 24	<u>それら</u> のはする <u>と</u> 、国民が <u>ど</u> んどん <u>優</u> しく <u>の</u> 生活 <u>を</u> <u>で</u> きます。 (1) (2) (3)	1副用 2A 3格 *ヲ/ ーガ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3805	インド 55 自由作文 25	ところで、国の平和や <u>さかん</u> や平等などを <u>図</u> したいです。 (1) (2) (3)	1N 2格 *ヲ / -モ 3 V
3806	フィンランド 2 自由作文 25	また友だち <u>来</u> てあそぶ時 <u>私</u> はおいしい物 <u>招待</u> します。 (1) (2) (3)	1格 *O / -ガ 2取立 *O / -ハ 3** O / - ヲ
3807	フィンランド 4 自由作文 18	私の部屋は狭いですから、 <u>寝室</u> <u>だし</u> 、 <u>居間</u> <u>も</u> <u>共用</u> しています。 (1) (2) (3)	1並N 2格 *モ / -ヲ 3N
3808	フィンランド 5 自由作文 26	今、エイ先生が半身??の問題 <u>が</u> 研究している。	格 *ガ / -ヲ
3809	フィンランド 5 自由作文 27	以上は私の部屋の説明 <u>を</u> <u>し</u> ました。 (1)(2)	1格 *O / -ヲ 2複V
3810	フィンランド 5 自由作文 28	私は鼻こう炎の治療方法 <u>を</u> <u>文章</u> <u>が</u> もう日本語訳した。 (1)(2) (3)	1-ノ連 2N 3格 ガ / -ヲ
3811	フィンランド 6 自由作文 7	彼 <u>が</u> 私と <u>師生</u> <u>関係</u> <u>を</u> なりました。 (1) (2) (3)	1取立 2N 3格 *ヲ / -ニ
3812	フィンランド 6 自由作文 11	エイ先生は私に理論と実践 <u>が</u> <u>一緒に</u> <u>親切な</u> 教えてくれました。 (1) (2)	1格 *ガ / -ヲ 2副用 活用 (NA) *ナ / -ニ
3813	フィンランド 6 自由作文 12	特に、その <u>時</u> から、エイ先生は鼻こう炎の新しい治療方法 <u>が</u> <u>研究</u> して、毎日実験の時間が長くて、よるおそく <u>お</u> わります。 (1) (2) (3) (4)	1N 2格 *ガ / -ヲ 3* O / -テイル 4ル / - テイタ

5.1.3. 格助詞 二

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
3814	台湾 1 自由作文 4	台南は「台湾の都市」ということ <u>を</u> なった。	格 *ヲ/ーニ
3815	台湾 1 パターン作文 4	北回線 <u>が</u> 台湾の南 <u>に</u> <u>お</u> っているの <u>で</u> 、亜熱気候になっ ています。 (1) (2) (3)	1N 3V 2格 *ニ/ー ヲ
3816	台湾 1 パターン作文 12	四、五月 <u>で</u> 梅雨が <u>で</u> できる、湿度が <u>高</u> いた、そして、 <u>あ</u> の時、 <u>か</u> びが生える。 (1) (2) (3) (4)	4コソア 2V 1格 *デ /ーニ 3*ダ 品詞 (*NA/ーA)
3817	台湾 1 パターン作文 21	その時 <u>に</u> 台湾人が「秋老虎」という言葉になっ <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	3V 1格 *ニ/ーヲ 2 取立 *ガ/ーハ
3818	台湾 1 パターン作文 26	しかし、人間的な関係がだんだん <u>遠</u> い、 <u>そ</u> う一つに、 人工受精ということ <u>に</u> は男女の関係が生育の機能のため だけ <u>が</u> 、情愛がだんだん <u>う</u> すい。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2コソア 1A 1,7VP 5 格 *ニは/ーデは 6 接(*ガ)
3819	台湾 2 聴解要約 4	その時、ヤンさんはおみやげと旅行 <u>に</u> とった写真を上げ た。	格 *ニ/ーデ
3820	台湾 2 自由作文 9	<u>か</u> ら、台南の成功大学 <u>に</u> 四年間勉強 <u>し</u> た <u>か</u> ら、軍隊に <u>二</u> 年間入った <u>か</u> ら、中の中原大学 <u>に</u> 助手になりました、 一年半間ぐらいあとで、日本へ留学 <u>に</u> きた。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1C 4接(*カラ/ーテ カラ) 2,6格 *ニ/ー デ 3-連用形 &スタ イル
3821	台湾 2 パターン作文 1	筑波学園都市とほかの都市の一番大きい違いは筑波学園 都市が事前の計画 <u>に</u> <u>で</u> ける ことです。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ーテイル
3822	台湾 2 パターン作文 5	筑波学園都市 <u>に</u> 自転車 <u>で</u> のることはゆったりした事 <u>で</u> す。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2格 * デ/ーニ
3823	台湾 3 自由作文 9	教師のとき <u>に</u> 、 <u>毎</u> 土曜日 <u>あ</u> るいは <u>日</u> 曜日 <u>に</u> 、いつも生 徒と一緒に台北 <u>の</u> 近い所 <u>で</u> ハイキングする、ハイキン グしながら地形や地理方面の知識も生徒に教えました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *0/ーハ 2複 N 3並N *アルイハ/ ーカ 4格 *0/ーニ 5 格 *ノ連 /ーニ、へ 6格 *0/ーニ、へ 7接 ーテ形
3824	台湾 4 自由作文 3	生まれてからずっと台南の文化の影響をうけていたので、 私はデザインと文学 <u>の</u> 趣味 <u>が</u> もっている。 (1) (2)	1格 *ノ連/ーニ 2格 *ガ/ーヲ
3825	台湾 7 自由作文 2	先日木村さんから <u>持</u> った手紙 <u>に</u> ありがとう、 <u>天</u> 気 <u>は</u> 10月の試験が終わって <u>か</u> ら大変寒くなっ <u>て</u> きた <u>か</u> ら身 体 <u>か</u> きをつけてください。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1V 2格 *ニ/ーヲ 3 N 4スタイル5格 *ガ /ーニ
3826	台湾 7 自由作文 8	木村さんはほとんど学校 <u>を</u> 来ないから、いつも <u>あ</u> わな <u>く</u> なります。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーニ 2VP
3827	台湾 7 自由作文 9	もし、学校 <u>を</u> 来たら、私の宿舎 <u>に</u> <u>遊</u> んできて下さい。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーニ 2VP
3828	台湾 9 自由作文 3	小学校 <u>で</u> 勉強 <u>を</u> <u>し</u> た時、家の経済状況は <u>十</u> 分に <u>*</u> 難 <u>な</u> ので、母は田 <u>に</u> 仕事 <u>を</u> やたら私 <u>を</u> 自分の背 <u>に</u> 負 <u>っ</u> た。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *0/ーデ 2*タ/ ーテイタ 3Ad 副用 4ル/ータ 5格 *ニ/ー デ 6活用 (V)*タラ/ ーナガラ
3829	台湾 9 自由作文 6	<u>そ</u> れから 私は高校と大学 <u>を</u> 入 <u>い</u> ることができた。 (1) (2)	1C 2格 *ヲ/ーニ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3830	台湾 9 自由作文 7	高校一年生から柔道 <u>を</u> 興味 <u>に</u> なりました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーニ 2格 * ニ/ーヲ 3V 4 スタ イル
3831	台湾 9 自由作文 9	高校の比*成績 <u>は</u> 優勝 <u>を</u> 取ったら、体育専門学校 <u>を</u> 直 接 <u>に</u> 入った。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーデ 2N 3格 *ヲ/ーニ 4格 *ニ/ ー0
3832	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文 <u>の</u> ため、私に二冊の高校 及び中学校の歴史教科書を <u>貸</u> しましたが <u>この近頃</u> 私も ちょっと <u>参考</u> したい <u>です</u> <u>ので</u> 久美子さんは <u>もし</u> <u>よか</u> <u>ったら</u> <u>今週</u> の金曜日 <u>に</u> <u>ちょっと</u> 返して <u>くださ</u> いませんか。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	1*ノ連 -V 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V/ -N 6*ダ 7取立 *ハ /ーガ, サエ 8スタ イル 9格 *0/ーニ
3833	台湾 12 自由作文 13	そうすると、ご都合が <u>よろ</u> しかったら、その二冊の本 <u>を</u> 学習室 <u>に</u> 私の机 <u>の上</u> に置いて <u>いただ</u> きたい <u>です</u> 、 <u>よろ</u> しいでしょうか。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1C 2接 *タラ/ーレ バ 3格 *ニ/ーノ連 4*ダ/ーノダ 5接 - ガ
3834	台湾 14 自由作文 8	その時、中国人が日本語を <u>習</u> っている <u>時</u> 、初級程度 を越えた後、日本語の文と文、文章と文章の <u>間</u> に、接続 表現がかなり困難だと <u>考え</u> られた <u>こと</u> を発見しました。 (1) (2) (3) (4)	1*テイル/ール 2格 * 0/ーニ 3格 *ニ/ー ノ連 4V
3835	台湾 15 自由作文 5	最初休みの日を利用して、第一学期の授業を復習する予 定 <u>です</u> <u>が</u> <u>今日</u> の円が <u>高く</u> て台湾の父母 <u>が</u> <u>ちょ</u> っとお 金 <u>が</u> <u>か</u> からない <u>ため</u> に <u>ガソ</u> リンスタンドで働いていま した。 (1) (2) (3) (4)	1*ル/ータ 2N 3格 * ガ/ーニ 4接 -ヨウ ニ
3836	台湾 15 自由作文 19	いまから決心して、父母の期待 <u>が</u> <u>はず</u> れないように一生 懸命最後まで <u>がんば</u> りましょう。	格 *ガ/ーニ
3837	台湾 16 自由作文 5	日本 <u>に</u> プロ野球の外に、会社のチームや大学のチームや 高校のチームなど、たくさんあります。	格 *0/ーニハ
3838	台湾 16 自由作文 7	チームもおおいし、観衆もおおぜいですから、私 <u>に</u> <u>び</u> っ くりしました。	格 取立 *ニ/ーハ
3839	台湾 19 自由作文 2	そして、利益と功名が私から <u>はず</u> れて、民衆のため <u>に</u> 一生懸命にやっ、 <u>命</u> を失う <u>ほど</u> <u>働</u> く。 (1) (2) (3) (4)	1V 2格 *0/ーニ 3 副用 4複 V
3840	台湾 19 自由作文 4	人のため生き、人のため <u>に</u> しぬ <u>こと</u> は公務員 <u>と</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>私</u> の信念です。 (1) (2) (3)	1格 *0/ーニ 2V 3 体修
3841	台湾 21 自由作文 4	さらに、これは <u>を</u> <u>基</u> づいて、どのように <u>演</u> 化して <u>き</u> た <u>の</u> か、なぜ <u>いま</u> のようになった <u>の</u> か <u>の</u> <u>こ</u> とです。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ー0 2格 *ヲ/ーニ 3V 4ート イウ
3842	台湾 22 自由作文 10	現在、アルバイトも <u>持</u> っている <u>ので</u> 機械の操作方 <u>に</u> <u>だ</u> <u>んだ</u> ん、上手になって <u>き</u> ました。 (1) (2)	1V 2格 *ニ/ーガ
3843	台湾 22 自由作文 20	これは、私が生まれた <u>から</u> <u>こ</u> んな <u>広</u> さ 果樹園を見たの は始めてで胸 <u>を</u> <u>い</u> ばい 果物の香りを <u>す</u> いながら <u>ぶ</u> どう やも <u>も</u> <u>を</u> <u>取</u> っていて <u>と</u> ても楽しかった。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 2活用 3格 *ヲ/ ーニ 4発音 5* テイ ル/ル
3844	台湾 23 自由作文 3	夏休みの <u>間</u> に <u>最</u> 初の二週間、私と洪さん <u>に</u> <u>一</u> 緒に川越、 長崎屋の洋服部でアルバイトしました。 (1) (2)	1副用 格 *ニ/ー0 2 取立 *0/ーハ
3845	台湾 23 自由作文 5	仕事は簡単でしたが、 <u>一</u> 日中 <u>に</u> <u>い</u> つも <u>立</u> っ て <u>足</u> が非常 に <u>疲</u> れました。 (1) (2) (3)	1副用 格 *ニ/ー0 2 副用 Ad 3ーテイル

3846	台湾 24 自由作文 6	なぜなら、日本 <u>には</u> 、こんな料理が高いし、場所もよくわからないからです。	格 *ニは /ーデは
3847	台湾 24 自由作文 15	日本 <u>に</u> 生活について、家族にはなして、家族は家や国のいろいろなことを私に知らせました。	格 *ニ /ーノ連
3848	台湾 24 自由作文 17	深夜 <u>の</u> <u>時間</u> 、勉強のこともわすれないように勉強していました。	1格 *ノ連 /ーニ 2副用 *時間
3849	台湾 25 自由作文 8	親子は毎日、 <u>素質な</u> <u>生活</u> <u>に</u> 過ごしました。	1NA 2格 *ニ /ーヲ
3850	中国 3 聴解要約 9	駅前の電話 <u>bok</u> <u>に</u> <u>きれいな女の方</u> <u>を</u> 会いました。	1表記 3格 *ニ /ーデ 2一名詞 4格 *ヲ /ート /ーニ
3851	中国 3 聴解要約 17	タクシーを <u>おりました</u> <u>の</u> <u>とき</u> 、 <u>二回きれいな方</u> <u>を</u> 会いました。	1スタイル 3格 *ヲ /ーニ /ート 2ノ連 体修
3852	中国 3 聴解要約 18	池 <u>は</u> <u>何も</u> <u>あり</u> <u>ません</u> <u>でした</u> <u>ね</u> 。	1格 *0 は /ーニ は 2 V
3853	中国 3 聴解要約 19	会社 <u>に</u> ヤンさんを会社の友達に <u>紹介</u> <u>され</u> <u>まし</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ /ーデ 2自他
3854	中国 3 聴解要約 21	そのとき、又、女の方 <u>を</u> <u>三回</u> <u>会</u> <u>いま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ヲ /ート /ーニ 2数
3855	中国 3 聴解要約 24	そのあと、大家さん <u>が</u> <u>部屋の中</u> <u>に</u> <u>見</u> <u>にい</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	2格 *ニ /ーヲ 1取立 *ガ /ーハ
3856	中国 3 絵を見ての作文 3	車は <u>速い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>歩道の中</u> <u>に</u> <u>歩</u> <u>いて</u> <u>人</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>水</u> <u>を</u> <u>ひ</u> <u>っ</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>ね</u> 。	1スタイル 7活用 4格 *ニ /ーヲ 2接 *ガ /ーカラ 3N 5 *テ形 /ー体修 6取立 *ガ /ーハ
3857	中国 4 自由作文 5	私はそこ <u>で</u> 大学卒業まですんでいました。	格 *デ /ーニ
3858	中国 4 パターン作文 2	自然科学 <u>を</u> 従事している人は女子より男子の方が <u>上位</u> <u>を</u> 占めているということ <u>を</u> よくいわれます。	格 1*ヲ /ーニ 2*ヲ /ーガ
3859	中国 4 パターン作文 4	その原因 <u>に</u> としては一般的に女子は男子ほど頭がよくないという人がいるし、女子の方が芸術などには <u>もっと上</u> <u>手</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>人</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>る</u> 。	1格 *ニ /ー0 2表現
3860	中国 4 パターン作文 5	食物 <u>に</u> として日本料理は美味しいですが、中国料理と比べると <u>違</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ /ー0 3取立格 *ハ /ーガ 2表記
3861	中国 6 自由作文 2	今年の六月 <u>に</u> 日本へ来ました。	格 *0 /ーニ
3862	中国 6 自由作文 3	日本へ来る前に、北京のある大学院 <u>に</u> 修士課程 <u>を</u> 勉強しました。	1格 *ニ /ーノ連 2格 *ヲ /ーデ
3863	中国 7 自由作文 12	あそこ <u>に</u> は、 <u>深く</u> <u>勉強</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>。</u>	1格 *ニ /ーデ 2Ad 副用 3スタイル
3864	中国 7 自由作文 13	私は静かなところ <u>に</u> 勉強する習慣がありますから、たいへんうれしいです。	格 *ニ /ーデ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3865	中国 8 自由作文 10	もし日本語に上手になったら、日本語の小説も読むことができる、それはとてもうれしいですね！	1格 *ニ/ーガ 2,3スタイル
3866	中国 10 自由作文 4	こんな競争の激しい経済大国の人々はロボットのように働いていながら、一分一秒も大切にしているのにかたくらしいあいさつにいくら時間がかかってももったいないとは思わないことは私は不思議だと思います。	1接 *ナガラ/ー連用形 2格 *ニ/ーデ 3不定 4取立 *モ/ーハ 5取立 *ハ/ーニ
3867	中国 11 自由作文 3	受けた印象がたくさんありますが、なかにも最も強いのは日本人の生活の緊張です。	1表現 2格 *ニも/ーデも 3格 *0/ーニツイテ
3868	中国 11 自由作文 12	そうすれば、収入が残業しない人により多いです。	格 *ニ/ー0
3869	中国 12 自由作文 8	中国式で自転車を駅の近所に置きました。	1格 *デ/ーニ 2N
3870	中国 12 自由作文 14	終わった頃、十一時半にすぎました。	1体修 2格 *ニ/ーヲ 3*タ/ーテイタ
3871	中国 13 自由作文 10	東京はかなり広いですが、便利な交通は距離を短縮しています。	1格 ハ/ーニヨッテ 2N
3872	中国 14 自由作文 4	世界に進んでいる電子工業、ゆき届きのサービス業など数多くの分野で、日本国が世界中の一つ経済大国のことがよく分かりました。	1格 *ニ/ーデ 2複N 3数 語順 4ーダートイウ
3873	中国 14 自由作文 8	人々は仕事の時間に遅れないために、急いで、自分が目標したホームへ走って行きます。	1V 2格 *0/ーニ
3874	中国 14 自由作文 9	電車に乗るのも、長い列に並べなければなりません。	1格 *0も/ーニも 2自他
3875	中国 14 自由作文 19	中国では乗合バスの中で本当のつまらないことで、或は席を取るためでけんかを起したことが時々あります。	1副用 2格 *デ/ーニ 3*タ/ーール
3876	中国 14 自由作文 21	あまり遠くないの将来、人々の知識水準が高くなることによって、それらの人にはいやがれることがだんだん無くなると思えます。	1*ノ連 2一名詞節 3コソア 4格 *ニ/ーガ 5活用 6複V ーテイク
3877	中国 15 自由作文 3	「いモを洗うように混雑しているでしょう、このような情景は東京には珍しくないですよ。」とおばあさんがそう言った。	1格 *ニは/ーデは 2コソア
3878	中国 15 自由作文 15	これから、東京に暮していきたい私は、ゆっくり歩くのが、大分できないでしょう。	1格 *ニ/ーデ 2名詞節 ーコト 3N 4複V 5スタイル
3879	中国 16 自由作文 5	そこに日本の昔の跡がよく見えました。	1格 取立 *ニ/ーデハ 2N
3880	中国 16 自由作文 8	今、私は日本にいて、こちらに生活して、勉強している人にとって、もっと日本とちかづくになりました。	1格 *ニ/ーデ 2*テ形/ー連用形 3並V 4副用 5発音 6名詞節 ーコト
3881	中国 16 自由作文 10	でも日本の中で私に受けた最も強い印象のは日本の生活・習慣です。	1格 *ニ/ーガ 2ノ代

3882	中国 16 自由作文 11	例えば、こちらの若者は <u>着た</u> 洋服とかヘーアのタイプとか自由な生活などを <u>びっくり</u> しました。	1取立 *ハ/ーノ連 2* タ/ーテイル 3格 * ヲ/ーニ
3883	中国 16 自由作文 25	世界中で日本だけ <u>で</u> このことがある <u>で</u> しょうか。	1格 *デ/ーニ 2ーノ ダ
3884	中国 17 自由作文 9	日本はなぜ戦後数十年間 <u>そんな</u> すばらしい国を建て <u>ま</u> したか。	1格 *0 /ーニ 2スタ イル ー引用 &表現
3885	中国 17 自由作文 11	今日本 <u>には</u> 中学まで義務教育です。	格 *ニは/ーデは
3886	中国 18 自由作文 8	何でもできる <u>優れた</u> 国 <u>として</u> <u>消防隊員</u> の動作がそんなに遅いのは <u>本当</u> にふしぎです。	1*タ/ーテイル 2格 * ト/ーニ 3取立*0/ ーハ
3887	中国 18 自由作文 16	わたしの国の運転手は <u>乱暴</u> <u>で</u> 運転することが多いです。	格 *デ/ーニ
3888	中国 20 自由作文 5	たとえばデパートで買物をするとき「いらっしゃいませ」とか「ありがとうございました」とか、あちらこちらに <u>きこえる</u> ことができます。	1格 *ニ/ーデ 2自発
3889	中国 20 自由作文 8	私のとなりに <u>すんでいる</u> ある女性は毎朝八時 <u>家</u> をでて、よる十一時ごろ帰ってきます。	格 *0 /ーニ
3890	中国 20 自由作文 21	東京にたくさん図書館があるのに図書館へ行くたびに閲覧室 <u>の</u> あいている席がほとんどありません。小学生でさえ <u>しずか</u> <u>で</u> まじめに勉強しています。	1格 *ノ連/ーニ 2活用 (NA)
3891	中国 27 自由作文 2	わたしは <u>きょねん</u> <u>じゅう</u> に <u>が</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>へ</u> <u>つ</u> きました。	1ーノ連 2格 *0 /ー ニ 3*へ/ーニ
3892	中国 27 自由作文 5	しかし、せんせんげつ <u>に</u> 学友会日本語学校 <u>は</u> <u>入れ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ/ー0 2取立 *ハ/ーニ 3V
3893	中国 27 自由作文 6	学校はまいしゅうげつ <u>よう</u> <u>び</u> から <u>金</u> <u>よう</u> <u>び</u> まで、くじじ <u>っ</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	格 *0 /ーニ
3894	中国 28 自由作文 9	ほかの <u>が</u> <u>く</u> <u>せい</u> <u>が</u> <u>じゅう</u> <u>は</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1副用 2格 *ノ連/ー ニ
3895	中国 29 自由作文 3	だから <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	格 *ニ/ーニトツテ
3896	中国 29 自由作文 17	<u>そ</u> <u>し</u> <u>で</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>は</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>や</u> <u>さ</u> <u>し</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 2格 *ニ/ーニ トツテ
3897	中国 30 自由作文 6	きょうしつ <u>に</u> <u>せん</u> <u>せい</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>けん</u> <u>の</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>て</u> 、わたしたちは <u>わ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 「なれ」というかこうで、 <u>なん</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>けい</u> <u>よう</u> <u>し</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>う</u> 。	1格 *ニ /ーデ 2Ad 発音 3接 *テ形 4条 件 *カラ /ータラ & 表現
3898	中国 33 自由作文 7	まいしゅうに <u>ち</u> <u>よう</u> <u>び</u> 、 <u>と</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>の</u> <u>う</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> 。	格 *ニ/ーデ
3899	中国 35 自由作文 5	日本語 <u>の</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>で</u> <u>ひ</u> <u>ら</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>と</u> <u>漢</u> <u>字</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1表現 2格 *デ/ーニ ハ
3900	中国 37 自由作文 16	<u>う</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>あ</u> <u>ね</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーデ 2取立 *0 /ーハ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3901	中国 43 自由作文 5	国際学友会のなか <u>で</u> <u>いろいろ</u> <u>なく</u> <u>に</u> <u>の</u> <u>学生</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *デ/ーニ 2取立 *0/ーハ
3902	中国 43 自由作文 18	さらいねんの三月 <u>に</u> <u>試験</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>大</u> <u>学</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ/ーノ連 2ー ノ連
3903	中国 44 自由作文 5	いま、わたしは <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (2) (1)	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ーテイル
3904	中国 44 自由作文 7	じぶんの <u>く</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ねん</u> <u>あ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>さん</u> <u>げ</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>ほう</u> <u>が</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ず</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーデ 2発音 3表記 4複 V
3905	中国 44 自由作文 13	りゅうがく <u>せ</u> <u>い</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (2) (3) (4) (1)	1格 *ニは/ーデは 2 ー名詞節 3取立 *ハ/ ーガ 4A
3906	中国 44 自由作文 14	いま、わたしは <u>ま</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>ち</u> <u>く</u> <u>じ</u> <u>ご</u> <u>ろ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>ご</u> <u>じ</u> <u>ご</u> <u>ろ</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	格 *ニ/ーデ
3907	中国 44 自由作文 17	じゅうじごろ <u>か</u> <u>ら</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>で</u> 、 <u>さん</u> <u>じ</u> <u>ご</u> <u>ろ</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>ね</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	格 *マデ/ーニ
3908	中国 45 自由作文 2	わたしは <u>ご</u> <u>か</u> <u>げ</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>え</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>ぶ</u> <u>や</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>を</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1*ノ連/ー0 2格 *ニ /ーカラ 3*タ/ーテ イル
3909	中国 46 自由作文 4	いま <u>と</u> <u>う</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>じ</u> <u>ゅ</u> <u>く</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>こ</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>ゆ</u> <u>う</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーノ連 2格 *0/ーヲ 3*ル / ーテイル
3910	中国 48 自由作文 10	ところで、 <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>が</u> 、 <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>を</u> <u>あ</u> <u>か</u> <u>る</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1スタイル 2格 *ヲ/ ーニ 3A 4VP 活用(V)
3911	中国 48 自由作文 16	ざっしのなか <u>に</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>を</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーノ連 2体 修 活用(V) 3発音 4 品詞 *N/ーV
3912	中国 49 自由作文 9	がっこうは <u>ま</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>ち</u> <u>く</u> <u>じ</u> <u>じ</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	格 *0/ーニ
3913	中国 51 自由作文 11	わたしはこのことばを聞いたとき、 <u>心</u> <u>の</u> <u>中</u> <u>に</u> <u>う</u> <u>れ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>が</u> 、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>一</u> <u>生</u> <u>懸</u> <u>命</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ータ 3副用 Ad4△ー ド 5*テイル/ータ
3914	中国 52 自由作文 12	そうですね、今は <u>始</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>習</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>後</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>が</u> <u>待</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。 (1) (2) (3)	1N 2格 *ニ/ーヲ 3* 0/ーテイル & スタ イル
3915	中国 54 自由作文 15	私の学校は <u>3</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>終</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	格 *0/ーニ
3916	中国 55 自由作文 5	わたしは <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>せ</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>授</u> <u>業</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2格 * デ/ーノ連
3917	中国 57 自由作文 5	わたしの学校は <u>日</u> <u>本</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	格 *ニは/ーデは
3918	中国 57 自由作文 18	いろいろ <u>な</u> <u>し</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>心</u> <u>配</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>の</u> <u>文</u> <u>法</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 取立 *ニハ/ーデ 2取立 *ハ/ーガ 3品 詞 4取立 *ガ/ーハ
3919	中国 58 自由作文 21	長い <u>時</u> <u>間</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>う</u> <u>話</u> <u>を</u> <u>話</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ/ー0 2V

3920	中国 58 自由作文 22	親切な気分を <u>な</u> りました。	格 *ヲ/ーニ
3921	韓国 1 パターン作文 4	韓国のソウルは <u>ラシアワ時</u> には <u>複雑</u> していますから人々はたいてい <u>出勤時間</u> より早く <u>家</u> に <u>出</u> きます。	1,2表記 4ー複V 3格 *ニ/ーヲ
3922	韓国 1 パターン作文 5	<u>ラシアワ時間</u> には <u>パース</u> と <u>地下鉄</u> を <u>乗</u> りません。	1C 2表記 3発音 4格 *ヲ/ーニ
3923	韓国 1 パターン作文 7	たくさんの車がソウル市街地 <u>で</u> <u>入</u> いる時には道が <u>複雑</u> します。	1格 *デ/ーニ 2V
3924	韓国 1 パターン作文 9	しかし日本人は <u>たいてい</u> <u>車</u> で市街地 <u>で</u> <u>入</u> りません。	2格 *デ/ーニ 1副用
3925	韓国 1 パターン作文 10	<u>たいてい</u> <u>外郭地</u> の <u>駐車場</u> に <u>置</u> って <u>地下鉄</u> で市街地 <u>で</u> <u>入</u> ります。	3活用 4格 *デ/ーニ 1副用 2N
3926	韓国 1 パターン作文 12	それだから <u>市街地</u> のまんなかに会社がたくさんあります <u>から</u> <u>車</u> が <u>市街地</u> <u>で</u> <u>入</u> ります。	1C 3格 *デ/ーニ 2 取立 *ガ/ーハ
3927	韓国 2 パターン作文 2	南北 <u>は</u> <u>長</u> いです。	格 *0/ーニ
3928	韓国 2 パターン作文 4	3月から南地方 <u>には</u> <u>花</u> が <u>あ</u> げます。	1格 *ニは/ーデは 2 自他
3929	韓国 2 パターン作文 5	ソウル <u>には</u> <u>南</u> よりもおそい <u>ます</u> 。	1格 *ニは/ーデは 2 ーダ スタイル
3930	韓国 2 パターン作文 6	韓国 <u>には</u> <u>第一</u> <u>先</u> に齊州道から花の <u>消</u> 息をききます。	1格 *ニは/ーデは 2Ad 3N
3931	韓国 2 パターン作文 9	夏 <u>には</u> <u>たく</u> さん <u>暑</u> です。	3表記 2Ad 1格(*ニは/ー0は)
3932	韓国 3 自由作文 9	ですから亜熱帯植物の中 <u>に</u> <u>パナナ</u> と <u>みかん</u> が <u>出</u> ます。	3動詞 1格 *ニ/ーデ 2表記 発音
3933	韓国 4 自由作文 5	私は日本にくる前まで馬山 <u>へ</u> <u>す</u> んでいました。	格 *0/ーニ
3934	韓国 4 パターン作文 5	それで映画を見る <u>の</u> <u>が</u> 興味がありますが、TVとくらべると映画を見る <u>で</u> はお金が必要です。	1名詞節 *ノ/ーコト 2*ガ/ーニ 2格*デ/ーニ
3935	韓国 5 パターン作文 4	そして同じ漢字で意味が完全に <u>ち</u> かいは <u>韓国</u> <u>に</u> は勉強の漢字は工夫です。	1発音 品詞(*A/ーV) 2格 *ニは/ーデは
3936	韓国 8 聴解要約 3	その後秋葉原 <u>に</u> ステレオカセットを <u>買</u> う時店員 <u>で</u> から <u>四万五千円</u> <u>づ</u> つ <u>カセット</u> を <u>四万円</u> <u>に</u> <u>買</u> いました。	1,4格 *ニ/ーデ 2格 *デから/ー0から 3 格 *0/ーノ連
3937	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机の <u>う</u> えに <u>カ</u> セットで音楽を <u>聞</u> ます <u>時</u> にヤンさんはお風呂 <u>か</u> ら <u>音</u> 楽を聞いて歌を <u>呼</u> びました。	1格 *ニ/ーノ連 2表記 活用 体修 ーテイ ルスタイル 3格 *カラ/ーデ4V
3938	韓国 9 聴解要約 7	そして、みんながステレオのおんがくを <u>聞</u> た <u>と</u> き、ヤンさんはおふろば <u>に</u> は <u>う</u> たをうたっていた。	1表記 発音 ーテイ ル 2格 *ニ/ーデ 3取立 <u>に</u> *ハ/にー0
3939	韓国 9 自由作文 5	楊平は冬 <u>に</u> <u>さ</u> むい <u>で</u> す。	格 取立 *ニ/ーハ 副用
3940	韓国 11 パターン作文 9	そのことば <u>が</u> <u>私</u> <u>に</u> は <u>ら</u> がたち <u>ま</u> す。	1格 *ガ/ーニ 2格 取立 *ニ/ーハ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3941	韓国 12 自由作文 5	そこ <u>には</u> 工場の廃水によって川が <u>病</u> になりました。 (1) (2)	1格 *ニは/ーデは 2 N
3942	韓国 12 パターン作文 7	しかし他の都市はその中 <u>で</u> 人の生活の感じを <u>もらいま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *デ/ーニ 2受給 V
3943	韓国 12 パターン作文 10	これに反して在来式工法によって建設 <u>に</u> <u>てきれば</u> <u>おも</u> <u>しるい</u> 平面と立面をつくることのできる。 (1) (2) (3)	1格(*ニ/ーガ) 2,3発 音
3944	韓国 13 聴解要約 5	秋葉原の <u>どの点</u> <u>に</u> <u>で</u> CASSETTERADIOを <u>買</u> <u>い</u> <u>って</u> <u>価格が高い</u> <u>です</u> <u>から</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1表記 N 2発音 格 *ニで /ーOで 3活用 接 条件 *テ形 /ー テモ
3945	韓国 13 パターン作文 9	ふるさとの母の牧場 <u>に</u> 情景はソウルの <u>わたり</u> <u>より</u> <u>ほん</u> <u>とう</u> 美しいです。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーノ連 2発 音 3副用 Ad
3946	韓国 13 パターン作文 12	宿舎 <u>に</u> も日本語を勉強します。	格 *ニ/ーデ
3947	韓国 15 自由作文 6	毎日授業準備をするのもいいし、学生たち <u>に</u> 「やさしく 教えてくださってほんとうにありがとうございました」 という言葉 <u>を</u> 聞くときも非常によかったです。	格 *ニ/ーノ連
3948	韓国 15 自由作文 7	しかし教えれば教えるほどむずかしいのが外国語 <u>とい</u> <u>う</u> のが <u>気づ</u> <u>い</u> <u>て</u> 、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>確</u> <u>実</u> <u>な</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> 、 <u>正</u> <u>確</u> <u>な</u> <u>発</u> <u>音</u> 、 <u>さ</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>な</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>言</u> <u>語</u> <u>お</u> <u>よ</u> <u>び</u> <u>文</u> <u>化</u> 、 <u>さ</u> <u>ら</u> <u>に</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>文</u> <u>学</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1ーダ 2N *ノ/ーコ ト 3格 *が/ーニ 4Ad 副用 5VP
3949	韓国 15 自由作文 8	それで日本留学 <u>に</u> 決心して、今は教える立場では <u>なく</u> <u>て</u> 習う立場で <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょ</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>め</u> <u>い</u> 勉強しています。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーヲ 2接 * テ形/ー連用形 3発音
3950	韓国 16 自由作文 8	もっと熱心に勉強して <u>帰</u> <u>え</u> <u>て</u> 行くころには笑顔 <u>に</u> 日本 <u>と</u> <u>離</u> <u>れ</u> <u>た</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3)	1活用(V) 発音 2格 * ニ/ーデ 3格*ト/ー ヲ
3951	韓国 17 自由作文 2	ここ筑波 <u>に</u> も冬になって、ちょっとさむくなりました。	格 *ニ/ーO
3952	韓国 18 自由作文 2	社会学 <u>は</u> いろいろな分野がありますけれど特に家族社 会学を選んだ動機は次のよう <u>です</u> 。 (1) (2)	1格 *Oは/ーニは 2 一名詞節
3953	韓国 18 自由作文 3	現代 <u>に</u> は社会問題 <u>で</u> <u>登</u> <u>場</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>多</u> <u>い</u> 問題が家庭の 機能喪失に困って <u>超</u> <u>来</u> <u>さ</u> <u>れ</u> 問題ですから家族を通じて社 会問題すなわち家族問題の解決方法について研究したい <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニは/ーOは 2 格 *デ/ーニ 3 V 4品 詞 *A/ーN ーノ連 5活用 V
3954	韓国 18 自由作文 5	だから現代の人間生活の中 <u>に</u> 、新しい家族の意味と重要 性を強調して家族の問題が発生しないようにする対策方 法 <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>も</u> 勉強したいんです。 (1) (2)	1格 *O/ーニ 2発音 表記
3955	韓国 18 自由作文 6	筑波大学で勉強が <u>終</u> <u>た</u> <u>ら</u> 国へ <u>帰</u> <u>て</u> 社会問題研究所 <u>と</u> <u>か</u> 家族問題研究所等 <u>で</u> <u>つ</u> <u>と</u> <u>め</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1,2活用(V) 表記 発 音 3並N *トカ/ーヤ 4格 *デ/ーニ
3956	韓国 21 自由作文 4	ときどき「あなた」というしつものとき <u>あ</u> <u>だ</u> <u>ま</u> <u>の</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> は「わたし」とおもいますが、そのまま「あなた」と <u>い</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2格 *ニ/ーデ

3957	韓国 22 自由作文 5	私のくに <u>に</u> は学校で外国語をべんきょうしています。	格 *ニ/ーデ
3958	韓国 23 自由作文 2	いまの学校教育 <u>は</u> 社会生活と合わないことが <u>とても</u> <u>た</u> <u>く</u> さんあります。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1格 *0/ーニ 2Ad
3959	韓国 25 自由作文 2	私の部屋は4畳半ですけれどちょっとせまいですから私 <u>には</u> <u>不便だ</u> と思っています。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1格 ニは/ー0は 2ム ーD
3960	韓国 25 自由作文 9	しかし私 <u>に</u> たいせつな物は <u>ディズニーランド</u> <u>に</u> <u>と</u> ったし <u>ゃ</u> しんと私が韓国で <u>と</u> った <u>し</u> ゃしんです。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1*ニ/ーノ連 *に0/ ーにトッテ 3格 ニ/ ーデ
3961	韓国 25 自由作文 11	私は <u>い</u> っかい <u>で</u> すんでいます。	格 *デ/ーニ
3962	韓国 29 自由作文 3	もしかぜにかからないようにする方法 <u>を</u> <u>みなさん</u> <u>が</u> <u>よ</u> <u>く</u> わからなければいまから私が <u>お</u> しえて <u>あ</u> げます。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1格 *ヲ/ーガ 2*ガ/ ーニ
3963	韓国 30 自由作文 8	成年になった彼女 <u>も</u> 様々な困難 <u>の</u> ことがあったが、 結局、彼女は、 <u>成功</u> な <u>商業界</u> の <u>名人</u> になった。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1格 *0も/ーニも 2 品詞 *ノ/ーナ 3NA 4 N
3964	韓国 31 自由作文 5	世界各地 <u>で</u> 会社の支店を <u>つ</u> くられて <u>商業</u> も <u>盛</u> んていま <u>す</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1格 *デ/ーニ 2受身 3NA 複V
3965	韓国 31 自由作文 14	日本はなぜ <u>そんな</u> <u>短い</u> 時間 <u>に</u> <u>世界</u> <u>ひとつ</u> <u>工業国</u> に <u>な</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>という</u> 原因がしりたいです。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾	1コソア 2格 *ニ/ー デ 3数 4*ル/ータ 5 接 *トイウ
3966	韓国 31 自由作文 16	国 <u>で</u> は <u>たくさん</u> 日本の <u>社会</u> <u>が</u> あるから、将来その社会 <u>に</u> 仕事をさがすことも <u>便利</u> です。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1格 *デは/ーニは 2 N 3NA
3967	韓国 32 自由作文 5	日本 <u>で</u> は、いろいろな商業の種類があります。	格 *デ/ーニ
3968	韓国 32 自由作文 6	その中 <u>に</u> 私 <u>は</u> <u>興味</u> <u>を</u> 持っているのは、デパート <u>か</u> <u>ス</u> <u>ー</u> パーの経営制度です。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1格 *ニ/ーデ 2取立 *ハ/ーガ 3N 4格 * カ/ート
3969	韓国 34 自由作文 6	私が国 <u>に</u> はそのため、都市建設は計画を立てて <u>建設</u> <u>し</u> ます。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1格 *ニ 2V
3970	韓国 35 自由作文 8	その <u>強</u> 大 <u>国</u> 々 <u>の</u> 間で政治的 <u>も</u> 経済的 <u>で</u> も <u>成長</u> され <u>る</u> <u>の</u> はとてもむずかしいだろうと思います。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1複N 2格 *0/ーニ 3格 *デ/ーニ 4受身
3971	ブラジル 1 聴解要約 5	ヤンさんは日本 <u>で</u> <u>住</u> いるつもりです。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	2V 1格 *デ/ーニ
3972	ブラジル 2 自由作文 12	おさらの上 <u>に</u> <u>ハ</u> ムがあります。	格 *0/ーニ
3973	ブラジル 2 自由作文 16	ぶどう酒のびん <u>が</u> <u>い</u> っぱいはいっています。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1格 *ガ/ーニ 2取立 ーハ
3974	アメリカ 1 聴解要約 5	<u>暑</u> かったからヤンさんは <u>む</u> ぎ <u>に</u> <u>お</u> かわりました。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1表記 発音 2N 3格 * ニ/ーヲ
3975	アメリカ 1 パターン作文 1	アーパートと学生宿舎に住むこと <u>は</u> 、アーパート <u>に</u> <u>住</u> <u>む</u> こと <u>は</u> <u>気</u> 楽です。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾	1発音 2取立 *0は/ ーデは 3格 *0/ー ニ 4ーノホウ 5取立 *ハ/ーガ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

3976	アメリカ 1 パターン作文 6	ふつう仕事と遊びははんたいのもののように <u>かんが</u> いら れているが、幸福 <u>つくる</u> のために <u>仕事と遊び</u> ちが がありませんと <u>かんが</u> えられれば <u>いい</u> と思います。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1発音 5スタイル 格 *0/-ニ 6活用(V) 2V 4取立(に*0/- 一ハ)
3977	アメリカ 2 自由作文 4	去年、イスラエルのエルサレムのヘブライ大学 <u>で</u> 留学 して 来年の二月に筑波大学の入学試験を受ける <u>つまり</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *デ/-ニ 2接 * テ形/-タ 3発音
3978	アメリカ 2 自由作文 6	おとし名古屋 <u>で</u> 留学したので今年は <u>二第目</u> に 日本に 来ています。 (1) (23)	1格 *デ/-ニ 2副用 3数
3979	アメリカ 2 自由作文 8	まず私がベルギーとイスラエル <u>で</u> 留学した時、普通の人 間、時々友だちとしても親しく扱われたが日本に来ると 野蛮人、或は人間では <u>ないだ</u> と思う人が多いです。 (1) (2)	1格 *デ/-ニ 2品詞 *NA/-A
3980	アメリカ 4 自由作文 5	私の意見 <u>には</u> <u>仕事</u> について 分析的な考え方を使わなけ ればならない <u>仕事</u> は一番 <u>面白い</u> と満足な <u>仕事</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニは/-デは 2 体修 3取立 *ハ /- ガ 4並A *ト
3981	エジプト 1 自由作文 2	1981年 <u>カイロ</u> 大学日本語日本文学科を卒業してか ら通訳と翻訳をやりましたけどその時日本語が下手でし たので簡単な日本語をアラビア語に通訳した <u>し</u> アラビア 語のやさしい会話を日本語に直していました。 (1) (2)	1格 *0/-ニ 2並V *シ/-タリ
3982	エジプト 1 自由作文 3	今年1985年 <u>筑波</u> 大学の地域研究の研究生になりました。	格 *0/-ニ
3983	インドネシア 2 聴解要約 5	おくさんはやんさん <u>が</u> りょこう <u>から</u> おみやげをもらっ て、うれしかった。 (1) (2)	1格 *ガ/-ニ 2*カラ
3984	インドネシア 2 聴解要約 8	それからあきはばら <u>で</u> テープレコーダーを <u>買って</u> 行っ た。 (1) (2)	1格 *デ/-へ 2VP * テ形/-シニ
3985	インドネシア 3 自由作文 8	<u>たぶん</u> あのもり <u>いる</u> ことですから、私は学院 <u>とき</u> <u>もり</u> 学 <u>で</u> <u>べときょう</u> しました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1Ad 副用 2格 *0 /- ニ 3ムード 5 N 6表 記 4-ノ連
3986	インドネシア 5 自由作文 3	私の日本語のべんきょうのもくてきは日本 <u>へ</u> 電子の勉強 に <u>行きます</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *へ/-デ 2格 * ニ/-ヲ 3V 4-名詞 節 5-ダ
3987	インドネシア 5 自由作文 9	いっしゅうかん <u>は</u> <u>にかい</u> に 日本語を勉強をしました。 (1) (2)	1取立 *ハ/-ニ 2格 *ニ/-0
3988	タイ 4 自由作文 2	バンコクにある高等学校で勉強していた時に英語 <u>に</u> <u>プラ</u> <u>ンス</u> 語を勉強することにしましたけれどもチュラロンコ ン大学に入学してから日本語と日本に興味を持っていま したので日本語を <u>四年間</u> に <u>専攻</u> する <u>の</u> を <u>決め</u> ました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1並N 2発音 表記 3 副用 数 4名詞節 *ノ /-コト 5格 *ヲ/- ニ
3989	香港 2 自由作文 5	君は理科研究生 <u>として</u> 、ほかの学問 <u>も</u> <u>興味</u> を持って、 <u>素敵</u> だね。 (1) (2) (3)	1格 *とシテ 接 -ノ ニ 2格 *0 /-ニ 3- テイル
3990	香港 3 自由作文 6	今年八月北京へ行って「中国中日関係史国際学術会議」 を <u>出席</u> し、論文を <u>提出</u> しました。 (1) (2)	1格 *ヲ/-ニ 2V
3991	香港 4 自由作文 4	中文大学を卒業して、香港大学の教育学院 <u>に</u> 教師専門訓 練を受けました。	格 *ニ/-デ

3992	香港 4 自由作文 8	この中に江戸時代の教育は専攻の中心です。 (1) (2) (3)	1コソア 2格 *ニ/ー デ 3取立 *ハ/ーガ
3993	香港 6 自由作文 14	戦後、貿易主導重化学工業中心の日本経済の発展と続いた都市化が、農業と農民に及ぼした影響である。	格 *ト/ーニ
3994	香港 6 自由作文 20	これを兼業農家と言いますが、兼業農家の内、農業を主な仕事としている農家を第一種兼業農家、農業以外の仕事を中心にとしている農家を第二種兼業農家と言う。 (1) (2)	1スタイル 2格 *ニ/ー 0
3995	香港 6 自由作文 24	日本に四季の変化に富む自然条件が日本人の日常生活――あいさつによく反映している。 (1) (2)	1格 *ニ/ー0 ーノ連 2取立 *ガ/ーハ
3996	香港 6 自由作文 28	五月のは新緑の候、六月のは初夏の候、七月のは盛夏の候、八月のは残暑の候、九月のは秋涼の候、十月のは秋冷の候、十一月のは晩秋の候、十二月のは初冬の候というあいさつがある。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	1,2,3,4,5,6,7,8 *ノ連 格 *0は /ーニは
3997	香港 7 自由作文 5	日本前代の文学は、けっきょく、月、雪、花きわまると思います。 (1) (2)	1N 2格 *0 /ーニ
3998	香港 7 自由作文 11	日本近代文学者には、夏目漱石はいちばん立派なようです。 (1) (2) (3) (4)	1ーノ連 2N 3格 *ニ/ー デ 4取立 *ハ/ーガ
3999	香港 7 自由作文 29	初期の作には、浪漫的色調の強いものが見られたが「虞美人草」を頂点にして散文的なものに移っていった。	格 *ニ/ート
4000	香港 7 自由作文 71	この「断絶」の思想から人間の支配階級と被支配階級との間にはっきりと区別する階層意識が育てられた。	格 *ニ/ーヲ
4001	香港 8 自由作文 4	後に、都市化にともなう人口移動は全国の農村に甚大な影響をあたえた。 (1) (2)	1コソア 2格 *ニ/ー 0
4002	香港 16 短文作文 1	私は彼におかしいはなしを聞くまいとする。 (1) (2)	2ムード 1格 *ニ/ー にツイテ
4003	香港 16 短文作文 2	私達の旅行の地方のなかに、この町は見どころである。 (1) (2)	2格 *ニ/ーデ 1*ノ連 /ースル
4004	香港 16 短文作文 3	この美しい庭は雪舟に <u>てられる</u> そうだ。 (1) (2) (3)	3*ル/ータ 2V 1格 *ニ/ー にヨッテ
4005	香港 17 短文作文 14	一人で一日中図書館に勉強していて、夕方に友達に晩御飯に呼ばれることは何にもましてうれしいです。 (1) (2) (3)	1格 (*ニ/ーデ) 2*ニ/ー 0 3-名詞節
4006	香港 17 短文作文 16	先日彼にひさしぶりに学校に会いました。もう三年間わかれていて、言われてみると、彼はずいぶんやせて来たという気がしません。 (1) (2) (3) (4)	1副用 *0 /ーニ 2格 *ニ/ーデ 3熟語 4複 V (*テクル/ータ)
4007	香港 17 短文作文 20	このクラスに、成績がいちばんよい人は田中さんです。彼の右に出る <u>は</u> ないでしょう。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2ーN
4008	香港 19 自由作文 6	新しいものに <u>適応する</u> のが長い年月をかける。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ /ーハ 格 *ガ /ーニ 2格 *ヲ /ー ガ 3自他
4009	香港 19 短文作文 11	試験が失敗したため、 <u>何気なく</u> なっていた。 (1) (2)	2熟語 1*ガ /ーニ 格

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4010	香港 20 自由作文 12	特に徳川家康の江戸時代に二百年くらい鎖国政策を設けた後、日本人は外の世界 <u>を 接觸</u> の機会 <u>は</u> ほとんどなくなった。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ート/ーニ 2表記 3取立 *ハ/ーガ
4011	香港 20 自由作文 17	日本人の世界観は四大島に枠を設定して、他の人間の存在を見逃して地球は日本 <u>に</u> 軸として廻っているぐらい <u>の</u> 観念があるかもしれない。 (1) (2)	1格 *ニ/ーヲ 2ーノ 連
4012	香港 22 短文作文 3	この美しいにわは雪舟 <u>に</u> 設計 <u>される</u> と言う。 (1) (2)	1格 *ニ/ーにヨッテ 2*ル/ータ
4013	香港 22 短文作文 15	世の中に <u>彼らの要求が</u> <u>なんか</u> が私 <u>は</u> ははっきりとわかりません。 (1) (2) (3)	2不定詞 グ 1表現 3 格 *0 は/ーニは
4014	香港 23 自由作文 5	もし、訓読みを廃止する <u>の</u> 、日本人は音読みだけ <u>を</u> 依存する <u>の</u> 。 (1) (2)	1接 条件 2格 *ヲ/ー ニ 3ムード
4015	香港 23 自由作文 23	日本人は自分の文化だけ <u>に</u> 接触した。	格 *0 /ーニ
4016	香港 23 短文作文 4	彼の名は国内ばかりでなく、海外 <u>に</u> も広まる。	格 取立 *0 も /ーニ も
4017	香港 23 短文作文 12	極端な <u>気温</u> は彼岸まで <u>に</u> しかないとされる。 (1) (2)	2格 *ニ/ー0 1N
4018	香港 24 自由作文 15	そして、梅棹忠夫の理論 <u>を</u> 賛成ではない。 (1) (2)	1C 2格 *ヲ/ーニ
4019	香港 24 自由作文 16	日本人 <u>は</u> 「日本語辞典」の代わりに、「国語辞典」という言葉を用いるの <u>の</u> はいろいろな原因がある。 (1) (2)	1取立 格 *ハ/ーガ 2 格 *0 は/ーニは
4020	香港 24 短文作文 8	床屋とか、理髪店とか、二通り <u>の</u> <u>に</u> はまったく同じ意味である。 (1) (2)	2格 *ニ 1代ノ
4021	香港 24 短文作文 18	なまじ <u>家</u> を出たから、 <u>ゆうだん</u> して、かえって、学校 <u>を</u> おくれて来ている。 (1) (2) (3)	2発音 3格 *ヲ/ーニ 1Ad
4022	香港 25 自由作文 2	私はこの主張 <u>が</u> 不賛成である。	格 *ガ/ーニ
4023	香港 25 自由作文 4	第一 <u>の</u> 、訓は日本人 <u>自分</u> の <u>つくる</u> よみ方である。 (1) (2) (3)	1副用 格 *0 /ーニ 2 N 3*ル/ータ
4024	香港 25 自由作文 8	第二 <u>の</u> 、よみ方の創造力も減る。	副用 格 *0 /ーニ
4025	香港 25 自由作文 10	第三 <u>の</u> 、国民を訓の音を <u>わすれらせる</u> のはたいへんむずかしいことである。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーニ 2活用 使役
4026	香港 25 自由作文 21	大学 <u>に</u> 日本語を勉強する学生は「私は国語学を勉強している」とよく言っている。	格 *ニ/ーデ
4027	香港 25 短文作文 4	彼の名は国の中で <u>有名</u> だけでなく、外国 <u>も</u> よく知られている。	1活用 (NA) 2格 取 立 *0 も /ーニも
4028	香港 25 短文作文 11	失ってみて、妻 <u>は</u> 私 <u>に</u> <u>何となく</u> 重要なことがよく <u>わ</u> かれた。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ニ/ーにトッテ 3Ad 4受身

4029	香港 25 短文作文 15	そうですが、でも、人々 <u>は</u> <u>これ</u> <u>に</u> <u>価値観</u> <u>が</u> <u>おおく</u> <u>変</u> <u>わる</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>か</u> 。	1取立 *ハ/ーノ連 2 格 *ニ/ーにツイテ 3 A 活用(A) 4*ル/ー タ
4030	香港 26 自由作文 4	日本語 <u>で</u> は、表記法が三つ、漢字、カナモジ、ひらかな である。	格 *デは/ーニは
4031	香港 26 自由作文 8	言語は <u>一</u> <u>国</u> <u>に</u> 人々の心理状態の反映ですから。	2格 *ニ/ーノ連 1コ ソア
4032	スリランカ 1 パターン作文 2	ヤンさんは <u>すん</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>家</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>ゆう</u> <u>びん</u> <u>き</u> <u>ゃ</u> <u>く</u> <u>を</u> <u>よ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ぶ</u> <u>や</u> <u>の</u> <u>え</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>行</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	4活用 1,2発音 3格 * ヲ/ーニ
4033	スリランカ 1 パターン作文 3	<u>あ</u> <u>そ</u> <u>こ</u> <u>で</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>ん</u> <u>わ</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>さ</u> <u>と</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>で</u> <u>ん</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>に</u> <u>来</u> <u>て</u> <u>ヤ</u> <u>ン</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1コソア 2,4発音 3接 (*ノデ) 6-受給 5格 *ニ/ーデ
4034	スリランカ 1 パターン作文 5	会社の <u>けん</u> <u>かん</u> <u>に</u> <u>きれ</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>女</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>を</u> <u>あ</u> <u>た</u> 。	1,4発音 2格 *ニ/ー デ 3格 *ヲ/ーニ
4035	イラン 1 自由作文 17	それに二つとも <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>教</u> <u>育</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>え</u> <u>き</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。	2格 *カラ/ーニ 1副 用 3発音 4受身
4036	マレーシア 1 自由作文 10	にほん <u>い</u> <u>す</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> 、にほん <u>ご</u> <u>は</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>こ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 格 *イ/ーニ 2*ダ 3接 *ガ/ーノニ 4取立 *ハ/ーガ
4037	マレーシア 2 自由作文 9	学 <u>こ</u> <u>う</u> <u>は</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>朝</u> <u>九</u> <u>時</u> <u>十</u> <u>三</u> <u>ふ</u> <u>ん</u> <u>ち</u> <u>ょう</u> <u>ど</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1,2表記 3Ad 副用 4 格 *0/ーニ
4038	マレーシア 3 自由作文 4	おに <u>の</u> <u>話</u> <u>に</u> 、 <u>負</u> <u>け</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>は</u> 、 <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>悪</u> <u>い</u> <u>物</u> <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>サ</u> <u>ン</u> <u>・</u> <u>カ</u> <u>ン</u> <u>チ</u> <u>ル</u> <u>ー</u> <u>は</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>勝</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。	1格 *ニ/ーデ 2*タ/ ール 3表現 4Ad 副用
4039	マレーシア 5 自由作文 1	子供のころの一番 <u>な</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>に</u> <u>は</u> 、 <u>な</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>も</u> 、 <u>小</u> <u>学</u> <u>の</u> <u>修</u> <u>学</u> <u>旅</u> <u>行</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1格 *ニは/ー0は 2 N 3*ノ/ーコト
4040	マレーシア 5 自由作文 9	約八時間船 <u>で</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>と</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>く</u> 、 <u>楽</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	格 *デ/ーニ
4041	マレーシア 7 自由作文 1	マレーシア <u>に</u> <u>は</u> 、 <u>一</u> <u>番</u> <u>有</u> <u>名</u> <u>な</u> <u>架</u> <u>空</u> <u>の</u> <u>動</u> <u>物</u> <u>は</u> 、 <u>プ</u> <u>テ</u> <u>ィ</u> <u>ー</u> <u>ア</u> <u>ナ</u> <u>だ</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	1格 *ニは/ーデは 2* ダ
4042	マレーシア 7 自由作文 12	だから、養う人は、 <u>毎</u> <u>日</u> <u>に</u> 、 <u>陶</u> <u>器</u> <u>の</u> <u>か</u> <u>ま</u> <u>の</u> <u>血</u> <u>を</u> 、 <u>換</u> <u>え</u> <u>る</u> 。	格 *ニ/ー0
4043	マレーシア 7 自由作文 18	むかしから、この動物 <u>に</u> <u>は</u> 、 <u>不</u> <u>思</u> <u>議</u> <u>な</u> <u>力</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>う</u> 。	格 *ニは/ー0は
4044	マレーシア 10 自由作文 1	去年の一月か二月かわすれてしまったんだけど、 <u>あ</u> <u>る</u> <u>日</u> <u>に</u> 、 <u>日</u> <u>本</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> 、 <u>書</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>本</u> <u>を</u> <u>見</u> <u>た</u> 。	1副用 2格 *ニ/ー0
4045	マレーシア 11 自由作文 8	天気予報 <u>が</u> <u>二</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>り</u> <u>あ</u> <u>る</u> 、 <u>一</u> <u>つ</u> <u>は</u> <u>一</u> <u>週</u> <u>間</u> <u>の</u> <u>天</u> <u>気</u> <u>予</u> <u>報</u> 。	格 取立 *ガ/ーニハ
4046	マレーシア 12 自由作文 1	私たち <u>、</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> 、 <u>テ</u> <u>レ</u> <u>ビ</u> <u>の</u> <u>放</u> <u>送</u> <u>で</u> 、 <u>天</u> <u>気</u> <u>予</u> <u>報</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>ま</u> <u>す</u> 、 また、 <u>新</u> <u>聞</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>雑</u> <u>誌</u> <u>で</u> 、 <u>天</u> <u>気</u> <u>予</u> <u>報</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。	1取立 *0/ーハ 2並 N *ト/ーヤートカ 3格 *デ/ーニ *0/ー モ 4格 *モ/ーハ
4047	マレーシア 13 自由作文 4	先生たちの中に <u>、</u> <u>感</u> <u>情</u> <u>が</u> <u>親</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>し</u> 、 <u>学</u> <u>生</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>は</u> <u>外</u> <u>に</u> <u>え</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>い</u> <u>行</u> <u>為</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>り</u> 、 <u>授</u> <u>業</u> <u>や</u> <u>宿</u> <u>題</u> <u>が</u> <u>多</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>難</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>時</u> <u>々</u> 、 <u>反</u> <u>効</u> <u>果</u> <u>の</u> <u>事</u> <u>件</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	2取立 *0/ーハ 3表 現 4格 *ニ/ーデ 7- 名詞節 ーコト 6A 8 C 9複N

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4048	マレーシア 13 自由作文 8	そのうえ、高校の友だちと一緒に <u>来る</u> の <u>が</u> います。 (1) (2)	1格 *0 /-ニ 副用 2*ノ代
4049	マレーシア 14 自由作文 1	我々 <u>には</u> 毎日テレビやラジオで天気予報 <u>が</u> <u>聞く</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ /-0 2*ガ/ -ヲ
4050	マレーシア 14 自由作文 2	天気予報 <u>が</u> 日本 <u>で</u> あるだけ <u>て</u> なく、世界中の国 <u>は</u> <u>み</u> <u>んな</u> 天気予報 <u>が</u> ある。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ガ /-ハ 2格 *デ /-ニ 3発音 4* ハ /-ニ
4051	マレーシア 14 自由作文 8	例えば、学校へ行く前や会社へ行く前など雨が <u>ふる</u> <u>そう</u> <u>かさ</u> を持って行くと雨 <u>が</u> <u>ふ</u> られなくて、便利だ。 (1) (2)	1ムード 複V 接一 テ形 2格 *ガ /-ニ
4052	マレーシア 14 自由作文 13	津波は小さい船 <u>に</u> 危険だ。	格 *ニ /-に トッテ
4053	マレーシア 15 自由作文 8	おばさんの <u>親切</u> <u>に</u> 話によると、それ <u>わ</u> 日本人 <u>と</u> 信仰 <u>に</u> 関係があるだろう <u>と</u> <u>思</u> っています。 (1) (2) (3) (4)	1活用(NA) *ニ /-ナ 2表記 3格 *ト /-ノ 連 4複V
4054	マレーシア 16 自由作文 7	その政策 <u>は</u> 、マレ人 <u>に</u> 優待をします、例えば、会社 をつくる時、四十四パーセントの <u>股</u> <u>権</u> <u>は</u> 、マレ人 <u>に</u> 、 <u>あ</u> <u>げ</u> なければなりません。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1格 *0 は /-デ は 5 N 2,6表記 3格 *ニ / -ヲ 4VP 7V
4055	マレーシア 16 自由作文 11	この政策 <u>の</u> 内容は、原族公民 <u>は</u> 、特別の <u>優</u> <u>待</u> <u>が</u> 、あ ります。 (1) (2) (3)	2格 *0 は /-ニ は 3 N
4056	マレーシア 17 自由作文 3	マレーシア <u>は</u> いろいろな種族 <u>が</u> <u>あ</u> ります。 (1) (2)	1格 *0 は /-ニ は 2 V
4057	マレーシア 17 自由作文 10	人民 <u>が</u> みんな同じ <u>の</u> 人権 <u>を</u> <u>あ</u> げさせます。 (1) (2) (3)	1格 *ガ /-ニ 2*ノ連 3受給 3使役 3V
4058	マレーシア 19 自由作文 4	当時 <u>に</u> 、私は、お医者さんが世の中 <u>には</u> 、一番えらい <u>人</u> <u>が</u> <u>あ</u> る <u>と</u> 思いました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ /-0 2*ニ / -デ 3取立 *ハ /- 0 4-ダ
4059	マレーシア 20 自由作文 12	店長と所長は北海道 <u>から</u> 、来年 <u>に</u> 帰るつもりだ。 (1) (2)	1格 *カラ /-へ 2*ニ /-0
4060	マレーシア 20 自由作文 23	その日は雨だから、原宿 <u>で</u> 、人々 <u>で</u> はなくて、おもしろ くなかった。 (1) (2)	1格 *デ /-ニ 2*ダ / -V
4061	マレーシア 20 自由作文 26	<u>それ</u> <u>で</u> は、私の夏休みはここまで <u>に</u> 、 <u>お</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>だ</u> 。 (1,2) (3) (4)	1C 2取立 *ハ /-0 3格 *ニ /-デ 4活用
4062	マレーシア 21 自由作文 6	毎日 <u>に</u> 日本語の本を読んでたくさんのわからない言葉 <u>が</u> <u>あ</u> ったからいつも <u>読</u> み方をしらべてあとで意味をしらべ <u>て</u> <u>大</u> 変なことである。 (1) (2)	1格 *ニ /-0 2並V
4063	マレーシア 21 自由作文 17	八月31日のあさ一時 <u>に</u> 、国の建国記念日で、マレーシア からの別科生全員邱さんの部屋 <u>に</u> 国歌を歌ったり、話し たり、食べたりした。 (1) (2)	1取立 *ニ /-ハ 2格 *ニ /-デ
4064	マレーシア 22 自由作文 6	これはマレーシア <u>が</u> みどりがたくさん <u>で</u> しょう。 (1) (2)	1格 *ガ /-ニ 2接一 カラ
4065	マレーシア 22 自由作文 16	そのレストランの人は、お客様、何 <u>を</u> しますか。と言 いました。	格 *ヲ /-ニ
4066	マレーシア 22 自由作文 21	今度の <u>経</u> 験中 <u>に</u> 、私の日本語 <u>は</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>に</u> <u>経</u> た <u>な</u> <u>ほ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>わ</u> かりました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1複N 2格 *ニ /-デ 3取立 *ハ /-ガ 4不 定 5表記 6名詞節

4067	マレーシア 22 自由作文 24	けれども、お金が持ったら、そのうえで夏休みが暇があったら、北海道へ旅行に行きたいと思います。	1V 接条件 *タラ/ 一連用形 2副用 3格 *ガ/ーニ
4068	マレーシア 23 自由作文 1	光陰矢のごとし、待ち焦れた四週間の夏休みが一瞬の間もうすぎゆきました。	1格 *0/ーニ 2モウ
4069	マレーシア 23 自由作文 26	でも、私、日本語がまだ変だから、時々おばちゃんの話は幾度も熱心に耳を傾け、わかりませんでした。	1取立*0/ーハ 2NA 3格*ハ/ーニ 4接ー テモ
4070	マレーシア 25 自由作文 7	図書館で、クーラーがあり、涼しかった。	格*デ/ーニ 取立*デ/ ーニハ
4071	マレーシア 25 自由作文 8	そこでいろと、夏の暑さをわすれてしまうほどでした。	格デ/ーニ
4072	マレーシア 25 自由作文 12	原宿には、若い人たちがたくさん歩いていました。	1格*ニは/ーデは 2 発音
4073	マレーシア 25 自由作文 18	日光が強くて、暑いうちに、一日中歩いたので、大変疲れました。	1N 2格ニ/ーヲ
4074	マレーシア 25 自由作文 23	しかし日本にたった夏休みも、とても楽しいと思いました。	1格ニ/ーデ 2V
4075	マレーシア 26 自由作文 6	そこで、毎日朝九時から夕方五時まで涼しくて静かな図書館に宿題をしたり、勉強したりします。	1格ニ/ーデ 2*ル/ー タ
4076	マレーシア 27 自由作文 4	円高のために、休みの一週間前に、アルバイトをさがしていた。	格 *ニ/ーカラ
4077	マレーシア 27 自由作文 6	それで、私の夏休みはだいたいこのガソリンスタンドで通ったばかりだった。	1発音 表記 2格 *デ/ ーニ 3*タ/ール
4078	マレーシア 28 自由作文 14	それらのように、目を見ながら、頭の中には、日本で勉強するのが違くないかと思っていました。	1コソア 2格 *ヲ/ー デ 3格 *ニ/ーデ
4079	マレーシア 28 自由作文 15	夜になって、父母はいつも私をつれて、親戚の家を訪問をしました、それはとてもつまらないことですが、父と母のために、行かなくてははいけません。	1接条件 *テ形/ート 2格 ニ/ーヲ 3格 *ヲ/ ー0
4080	マレーシア 28 自由作文 18	その中は、娯楽場所やホテルやスポーツ施設などが入っていて、一番人気があるのは有名なカジノで、いっぱいホテルの中です。	1N 2表記 3表記 複 N 4格 *デ/ーニ
4081	マレーシア 28 自由作文 26	帰る前に、多くの風景に写真を撮ってしまいました。	格 *ニ/ーノ連
4082	マレーシア 30 自由作文 2	私の国マレーシアにはは、発展中国です。	1格 *ニ/ー0 取立 2 複 N
4083	マレーシア 30 自由作文 13	また、美しい海岸もたくさんあり、観光のいい国です。	1格 *ノ/ーニ 2A
4084	スペイン 2 パターン作文 6	りよほは絵や単があります、けど、日本の本をあんまり読めません。	1発音 3N 2格 *ハ/ ーニ 4取立*ヲ/ーハ 5副用
4085	フィリピン 1 パターン作文 5	フィリピン大学に交通工学のがっかを教えています。	格 *ニ/ーデ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4086	フィリピン 1 パターン作文 8	環境科学 <u>には</u> 交通の環境もんだいを勉強しています。	格 *ニは /-デは
4087	ナイジェリア 1 聴解要約 12	そこでおふろ <u>は</u> いったりうたったりした。	格 *0 /-ニ
4088	ナイジェリア 1 自由作文 2	ナイジェリア <u>で</u> <u>ふる</u> いまちがおおい。 (1) (2)	1発音 2格 *デ /-ニ 取立 *0 /-ハ
4089	ナイジェリア 1 自由作文 3	たとえば、イフェロイフェ <u>で</u> <u>たくさん</u> <u>じんじゃ</u> <u>である</u> 。 (1) (2)	1格 *デ /-ニ 取立 *0 /-ハ 2*ダ
4090	ナイジェリア 1 パターン作文 2	日本の農業とナイジェリアの農業 <u>に</u> <u>へら</u> <u>べる</u> と、おも しろい <u>な</u> <u>にか</u> <u>である</u> 。 (1) (2) (3) (4)	2表記 3不定詞 1格 * ニ /-ヲ 4*ダ
4091	ナイジェリア 1 パターン作文 7	日本では農業 <u>さ</u> <u>かい</u> <u>が</u> <u>よく</u> <u>つかう</u> <u>国</u> <u>べん</u> <u>り</u> <u>な</u> <u>き</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3)	2接(-ガ) 1格 *ガ/ -ヲ 3取立 *0 /- ニハ
4092	イギリス 1 自由作文 2	いつも女の人は男の人より下 <u>に</u> <u>います</u> 。	格 -ニ
4093	オーストラリア 1 聴解要約 2	かれは <u>おばあ</u> <u>さん</u> <u>「い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>い</u> <u>」</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1発音 2格 *0 /-ニ
4094	ヨルダン 1 聴解要約 2	郵便局 <u>に</u> <u>行</u> <u>た</u> <u>電</u> <u>車</u> <u>を</u> <u>の</u> <u>て</u> <u>駅</u> <u>の</u> <u>前</u> <u>に</u> <u>小</u> <u>林</u> <u>さん</u> <u>に</u> <u>電</u> <u>話</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	4活用 2発音 3格 *ヲ /-ニ 1格 *0 /-ニ 5 格 *ニ /-デ 2-連用 形
4095	ヨルダン 1 聴解要約 3	<u>タ</u> <u>キ</u> <u>ソ</u> <u>で</u> <u>会</u> <u>社</u> <u>の</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ょう</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>た</u> <u>会</u> <u>社</u> <u>の</u> <u>前</u> <u>に</u> <u>女</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>み</u> <u>た</u> 。 <u>会</u> <u>社</u> <u>の</u> <u>同</u> <u>僚</u> <u>こ</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3,5発音 2格 *ニ /- デ 3格 *0 /-ヲ
4096	インド 1 自由作文 3	部屋の中 <u>で</u> <u>台</u> <u>所</u> <u>や</u> <u>風</u> <u>呂</u> <u>場</u> <u>や</u> <u>便</u> <u>所</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>ア</u> <u>バ</u> <u>ー</u> <u>ト</u> <u>の</u> <u>中</u> <u>で</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1,2格 *デ /-ニ 3取 立 *ガ /-ハ
4097	インド 1 自由作文 11	部屋の中 <u>で</u> <u>こ</u> <u>た</u> <u>つ</u> <u>や</u> <u>シャ</u> <u>ツ</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>す</u> <u>や</u> <u>ベ</u> <u>ッ</u> <u>ド</u> <u>や</u> <u>本</u> <u>ば</u> <u>こ</u> <u>や</u> <u>電</u> <u>燈</u> <u>や</u> <u>窓</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1)	格 *デ /-ニ
4098	インド 1 自由作文 12	本ばこの中 <u>で</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>の</u> <u>本</u> <u>と</u> <u>辞</u> <u>書</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	格 *デ /-ニ
4099	インド 2 自由作文 4	部屋の中 <u>で</u> 、 <u>こ</u> <u>た</u> <u>つ</u> <u>と</u> <u>ベ</u> <u>ッ</u> <u>ド</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	格 *デ /-ニ
4100	インド 2 自由作文 7	<u>か</u> <u>べ</u> <u>で</u> <u>お</u> <u>お</u> <u>き</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>地</u> <u>図</u> <u>や</u> <u>書</u> <u>棚</u> <u>や</u> <u>ふ</u> <u>る</u> <u>い</u> <u>時</u> <u>け</u> <u>い</u> <u>や</u> <u>字</u> <u>が</u> <u>書</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>ふ</u> <u>た</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>か</u> <u>み</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *デ /-ニ 2数
4101	インド 2 自由作文 10	<u>こ</u> <u>こ</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>わ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>テ</u> <u>レ</u> <u>ビ</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>て</u> 、 <u>気</u> <u>持</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *デ /-ニ 2接 * テ形 /-ト 3スタイ ル
4102	インド 3 自由作文 8	窓の <u>と</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>に</u> 、 <u>本</u> <u>ば</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>た</u> <u>つ</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1N 2格 *0 /-ニ
4103	インド 3 自由作文 16	<u>部</u> <u>屋</u> <u>で</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>満</u> <u>意</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2格 *デ /- ニ 3N
4104	インド 4 自由作文 8	<u>右</u> <u>に</u> 、 <u>た</u> <u>ん</u> <u>す</u> <u>の</u> <u>上</u> <u>に</u> 、 <u>テ</u> <u>レ</u> <u>ビ</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1N 2格 *ニ /-ノ連
4105	インド 5 自由作文 5	机の上 <u>は</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>本</u> <u>や</u> <u>辞</u> <u>書</u> <u>や</u> <u>時</u> <u>計</u> <u>や</u> <u>ペ</u> <u>ン</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	格 *0 は /-ニは
4106	インド 5 自由作文 8	部屋のゆか <u>に</u> <u>じ</u> <u>ゅう</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 取立 *0 /-ニハ 2V

4107	インド 5 自由作文 11	ベッドのそば <u>本</u> ばこがあります。	格 取立 *0 /-ニハ
4108	インド 5 自由作文 12	ドアのそば <u>戸</u> 棚があります。	格 取立 *0 /-ニハ
4109	インド 5 自由作文 14	戸棚のとなり <u>旅</u> 行のかばんがあります。	格 取立 *0 /-ニハ
4110	インド 6 自由作文 7	部屋のなかに <u>北</u> と <u>西</u> <u>ま</u> どが <u>ふたつ</u> あります。	1取立 *0 /-ハ 2格 *0 /-ニ 3数 Ad
4111	インド 7 自由作文 3	部屋の中 <u>で</u> <u>でん</u> と <u>やつくえ</u> や <u>テレビ</u> <u>な</u> とがあります。	1格 *デ/-ニ 2取立 *0 /-ハ 3,4 発音
4112	インド 7 自由作文 4	台所の中 <u>で</u> <u>冷</u> 蔵庫があります。	1格 *デ/-ニ 2取立 *0 /-ハ
4113	インド 7 自由作文 9	私のふくは <u>全</u> 部に <u>ふ</u> く <u>た</u> んす <u>で</u> <u>あ</u> ります。	1Ad 2格 *デ/-ニ 3 V
4114	インド 9 自由作文 5	その部屋 <u>に</u> <u>住</u> むところ <u>は</u> きれいで、 <u>虫</u> が <u>ぜん</u> ぜん <u>な</u> い <u>で</u> した。	1格 *ニ/-ノ連 2N 3V, 活用(V)
4115	インド 9 自由作文 6	しかし、 <u>こ</u> の <u>ご</u> ろは <u>き</u> たなくて、 <u>つゆ</u> <u>き</u> た <u>の</u> <u>た</u> めに、 部屋の中 <u>虫</u> <u>が</u> <u>多</u> く <u>な</u> りました。	1-複V 2格 *0 /- ガ 3*体修 4*0 /- ニ
4116	インド 9 自由作文 7	夜 <u>に</u> <u>ふ</u> とんに入 <u>っ</u> て <u>ね</u> る時、 <u>体</u> が <u>か</u> ゆい <u>で</u> す。	格 *ニ/-0
4117	インド 15 自由作文 5	畳の部屋 <u>の</u> <u>真</u> 中 <u>で</u> <u>こ</u> たつと <u>椅</u> 子があります。	格 *デ/-ニ
4118	インド 15 自由作文 7	右の方 <u>は</u> <u>本</u> 箱が <u>お</u> い <u>ま</u> す。	1格 *0 は /-ニは 2 活用(V) -テアル
4119	インド 15 自由作文 8	本箱の中 <u>で</u> <u>本</u> を <u>排</u> べて <u>、</u> <u>上</u> に <u>日</u> 本へ <u>来</u> <u>た</u> <u>か</u> ら <u>秋</u> 葉 原で <u>買</u> った <u>テ</u> レビと <u>覚</u> 目 <u>ど</u> けい <u>が</u> <u>お</u> いて <u>あ</u> ります。	1格 *デ/-ニ 2表記 3複V 接 4*タ/-テ 5表記
4120	インド 15 自由作文 10	左の方 <u>は</u> <u>冷</u> 蔵庫の <u>と</u> なり <u>に</u> <u>く</u> ろい <u>本</u> 箱 <u>も</u> <u>あ</u> る <u>が</u> <u>中</u> <u>で</u> <u>日</u> 用品と <u>テ</u> ープ <u>お</u> いて、 <u>本</u> では <u>あ</u> り <u>ま</u> せん。	1取立 *0 は /-ニは 2格 *モ/-ガ 3格 *デ/ -ニ 4格 *0 /-ガ 5 -テアル
4121	インド 15 自由作文 13	かべ <u>で</u> <u>カ</u> レン- <u>タ</u> <u>が</u> <u>は</u> って <u>あ</u> ります。	1格 *デ/-ニ 2表記
4122	インド 17 自由作文 19	テレビの <u>反</u> 対 <u>が</u> <u>わ</u> <u>で</u> 、 <u>ラ</u> ジカセ <u>を</u> <u>見</u> <u>ま</u> す。	1格 *デ/-ニ 2格 * ヲ/-ガ 3自他
4123	インド 18 自由作文 6	コーポ <u>に</u> <u>言</u> わ <u>れ</u> <u>ま</u> す。	1格 *ニ/-ト 2*ル/ -テイル
4124	インド 18 自由作文 8	いえの <u>しゅ</u> うい <u>で</u> <u>さ</u> ま <u>ま</u> な <u>花</u> <u>が</u> <u>う</u> えて <u>あ</u> ります。	格 *デ/-ニ
4125	インド 18 自由作文 15	台所の中 <u>で</u> <u>ひ</u> と <u>つ</u> <u>窓</u> <u>が</u> <u>あ</u> って、 <u>毎</u> 朝 <u>あ</u> <u>さ</u> <u>か</u> <u>す</u> <u>み</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>な</u> <u>が</u> <u>ら</u> <u>は</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>が</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *デ/-ニ 2語順 3発音
4126	インド 18 自由作文 18	さて <u>い</u> ま <u>の</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>で</u> 、 <u>ベ</u> ッドや <u>押</u> し <u>入</u> れや <u>テ</u> レビや <u>ほ</u> ん <u>ぱ</u> <u>こ</u> <u>な</u> <u>ど</u> 、 <u>い</u> ろ <u>い</u> ろ <u>な</u> <u>か</u> <u>ぐ</u> <u>が</u> <u>あ</u> ります。	格 *デ/-ニ
4127	インド 18 自由作文 20	みな <u>み</u> <u>の</u> <u>ほ</u> う <u>が</u> <u>ベ</u> ラン <u>ダ</u> <u>へ</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>も</u> <u>う</u> <u>ひ</u> <u>と</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1格 *ガ/-ニ 2VP 可能 3ノ連 4N 5*ダ
4128	インド 18 自由作文 21	ベラン <u>ダ</u> <u>に</u> <u>せ</u> ん <u>た</u> <u>く</u> <u>き</u> <u>に</u> <u>お</u> <u>か</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ/-ガ 2ル/- テイル

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4129	インド 19 自由作文 3	台所や、お手洗いやお風呂など <u>①</u> ありますがゆか <u>②</u> が <u>③</u> じゅうたんが <u>④</u> いてありません。	1,2格 *0 /-ガ *ガ /-ニ
4130	インド 19 自由作文 9	私は毎週月曜日から、金曜日まで学校 <u>①</u> に勉強します。	格 *ニ /-デ
4131	インド 19 自由作文 20	ベッドのひだりにほんばこ <u>①</u> にあります。	格 *ニ /-ガ
4132	インド 19 自由作文 21	ほんばこの上にカラ <u>①</u> テレビ <u>②</u> においてあります。	1発音 2格 *ニ /-ガ
4133	インド 20 自由作文 2	私のいえは角栄商店街のうしろ <u>①</u> があります。	格 *ガ /-ニ
4134	インド 20 自由作文 5	私 <u>①</u> は <u>②</u> へやのなか <u>③</u> でいろいろな部品があります。	1取立 *ハ /-ノ 2格 *デ /-ニ
4135	インド 20 自由作文 12	いえは三人 <u>①</u> に住んでいます。	格 *ニ /-デ
4136	インド 21 自由作文 7	窓がわ <u>①</u> で本箱があります。	格 *デ /-ニ
4137	インド 21 自由作文 12	ときどき、友達 <u>①</u> に一緒に食事します。	格 *ニ /-ト
4138	インド 21 自由作文 17	ときどき、自転車にのって川越 <u>①</u> で買物 <u>②</u> へ行きます。	1格 *デ /-ニ 2*へ /-ニ
4139	インド 21 自由作文 18	日本 <u>①</u> には <u>②</u> また <u>③</u> 遠い地方 <u>④</u> へ行きません <u>⑤</u> が夏休みの時 <u>⑥</u> 山 <u>⑦</u> と海 <u>⑧</u> へ行きたいです。	1格 *ニは /-デは 2発音 Ad 副用 3*ル /-テイル 4副用
4140	インド 22 自由作文 4	この部屋は、三年前 <u>①</u> たてられました、まだあたらしいです。	格 *0 /-ニ
4141	インド 23 自由作文 13	台所の隣 <u>①</u> は冷蔵庫がある。	格 *0 は /-ニは
4142	インド 23 自由作文 14	冷蔵庫のそば <u>①</u> 障子がある。	格 *0 /-ニ
4143	インド 23 自由作文 15	障子の裏 <u>①</u> にいます。	取立 *ニ /-ハ 格 *ニ /-ガ
4144	インド 23 自由作文 19	本箱は左側の角 <u>①</u> がある。	格 ガ /-ニ
4145	インド 23 自由作文 23	そして勉強 <u>①</u> のいいところです。	格 *ノ連 /-ニ
4146	インド 24 自由作文 11	外から <u>①</u> 入った時 <u>②</u> 、右側 <u>③</u> とバスやお手洗があります。	1接条件 *トキ /-ト 2格 *ト /-ニ
4147	インド 24 自由作文 17	台所と部屋が戸 <u>①</u> に分かれています。	格 *ニ /-デ
4148	インド 24 自由作文 20	部屋に入って、まっすぐ行くと <u>①</u> 東南 <u>②</u> に向き <u>③</u> の窓で、右の方 <u>④</u> に見たら、入れ出し <u>⑤</u> です。	1複N *ニ /-0 2格 *ニ /-ヲ 3N
4149	インド 24 自由作文 24	勉強が終わったら、いれだし <u>①</u> の中に、ふと <u>②</u> を持って、畳 <u>③</u> に敷く <u>④</u> はず <u>⑤</u> です。	1,3N 2格 *ニ /-ノ 連 4V 5ムード *ハズ
4150	インド 25 自由作文 8	だから <u>①</u> ほかの先生たちは私 <u>②</u> にたいへん <u>③</u> いや <u>④</u> です。	1発音 2格 *ニ /-ガ 3*ル /-タ
4151	インド 26 自由作文 15	私は彼女の <u>①</u> 有能 <u>②</u> をすっかり感心しました。	1N 2格 *ヲ /-ニ

4152	インド 28 自由作文 2	先週の日曜日 <u>①</u> テレビ <u>②</u> から <u>③</u> 見た <u>④</u> の 映画は本当にいい映画です。	1格 *0 /-ニ 2*カラ /-デ 3体修
4153	インド 28 自由作文 10	映画の中 <u>①</u> で <u>②</u> たくさん <u>③</u> 美しい歌があります。	1格 デ/-ニ 2*0 /-ノ連
4154	インド 28 自由作文 11	私はこの映画 <u>①</u> 見る <u>②</u> あとで、自分の <u>③</u> 感覚 <u>④</u> はもし世界の中 <u>⑤</u> で <u>⑥</u> 戦争 <u>⑦</u> は <u>⑧</u> ない、いい <u>⑨</u> わね <u>⑩</u> と思いました。	1ル /-タ 2N 3格 デ /-ニ 4取立 ハ /-ガ 5接 条件 *0 /-タラ 6ムード
4155	インド 29 自由作文 8	それに <u>①</u> 毎日奥さんの名前を呼んで、およめさん <u>②</u> が <u>③</u> 奥さん <u>④</u> にと <u>⑤</u> して <u>⑥</u> いた時もありました。	1C 2格 ガ /-ヲ 3*ニ /-O 4V
4156	インド 30 自由作文 5	ですから、もし都心へ <u>①</u> いたら、 <u>②</u> 他人 <u>③</u> に <u>④</u> 車 <u>⑤</u> を <u>⑥</u> 乗られさせ <u>⑦</u> なければなりませんでした。	1接 条件 *タラ /-ナラ 2N 3格 *ヲ /-ニ 4受身 使役 受給
4157	インド 30 自由作文 6	私は、いつもとなり <u>①</u> 住んでいるおじの車 <u>②</u> を <u>③</u> 乗りました。	1格 O /-ニ 2ヲ /-ニ
4158	インド 30 自由作文 12	このように、おじは、私 <u>①</u> に <u>②</u> 自分の <u>③</u> 親子 <u>④</u> ように、世話をしてくれました。	1格 *ニ /-ヲ 2N 3*O /-ノ連
4159	インド 31 自由作文 1	現代の社会 <u>①</u> では、なぜ「広告」が大切か。	格 *デは /-ニは
4160	インド 31 自由作文 2	もし、我々の生活のまわり <u>①</u> に、よく <u>②</u> 留心 <u>③</u> すれば、 <u>④</u> なん <u>⑤</u> か <u>⑥</u> 一つのことを <u>⑦</u> 見ける。	1格 *ニ /-ヲ 2V 3不定 4複 V ムード
4161	インド 31 自由作文 4	それは今私達の生活 <u>①</u> には <u>②</u> ほとんど <u>③</u> 「広告」というものを <u>④</u> 取り囲んでいるという事である。	1格 *ニハ /-ヲ 2Ad 3格 *ヲ /-ガ
4162	インド 31 自由作文 7	駅で電車を待つ時もむこう <u>①</u> の <u>②</u> 大きな広告看板が見える、電車の中で <u>③</u> なん <u>④</u> か吊り皮についているとか天井に掛けて、 <u>⑤</u> 貼っている <u>⑥</u> 広告も <u>⑦</u> 少く <u>⑧</u> なく <u>⑨</u> ない。	1格 *ノ連 /-ニ 2不定 3複 N 4表記
4163	インド 31 自由作文 9	しかしこれらを取ってしまうと、我々の生活 <u>①</u> には <u>②</u> つまらなくなる <u>③</u> そうだ。	取立 格 *ニは /-O は
4164	インド 31 自由作文 10	なぜかという、いま工業社会と呼ばれている <u>①</u> の <u>②</u> 生活 <u>③</u> に、みんな <u>④</u> ほとんど <u>⑤</u> 毎日 <u>⑥</u> 緊張 <u>⑦</u> な気が <u>⑧</u> なっている、毎日 <u>⑨</u> 見た <u>⑩</u> のは冷たい <u>⑪</u> の <u>⑫</u> 建物、と無表情 <u>⑬</u> の <u>⑭</u> 顔。	1,6,7*ノ連 体修 2格ニ /-デ 3発音 4VP 5*タ /-ル
4165	インド 32 自由作文 5	そのうえ、どんなきれいな洋服 <u>①</u> に <u>②</u> 着ても、 <u>③</u> 見 <u>④</u> にくる <u>⑤</u> に <u>⑥</u> 違い <u>⑦</u> ありません。	1格 ニ /-ヲ 2複 V
4166	インド 32 自由作文 7	いつも、自分にもういいよ、食べたら、お金がなくなってしまうよ、とか <u>①</u> すぐ <u>②</u> ふと <u>③</u> るよとか <u>④</u> と <u>⑤</u> 戒めたりしても、おいしい食べ物 <u>⑥</u> の <u>⑦</u> 前 <u>⑧</u> に、食欲 <u>⑨</u> が <u>⑩</u> な <u>⑪</u> ま <u>⑫</u> ら <u>⑬</u> ない <u>⑭</u> の <u>⑮</u> です。	1格 *ト /-O 2取立ニ /-テハ 3発音 V
4167	インド 33 自由作文 5	私は子どものころに家庭があたにかかったが <u>①</u> 富裕 <u>②</u> では <u>③</u> な <u>④</u> かったから、ほかの子供に <u>⑤</u> う <u>⑥</u> ら <u>⑦</u> や <u>⑧</u> ま <u>⑨</u> しい <u>⑩</u> でした、 <u>⑪</u> 毎 <u>⑫</u> 度、 <u>⑬</u> 友 <u>⑭</u> 達が <u>⑮</u> い <u>⑯</u> っ <u>⑰</u> ば <u>⑱</u> い <u>⑲</u> な <u>⑳</u> お <u>㉑</u> も <u>㉒</u> ち <u>㉓</u> ゃ <u>㉔</u> を <u>㉕</u> も <u>㉖</u> っ <u>㉗</u> て <u>㉘</u> いる <u>㉙</u> とき、私は <u>㉚</u> 金 <u>㉛</u> も <u>㉜</u> ち <u>㉝</u> さん <u>㉞</u> に <u>㉟</u> な <u>㊱</u> っ <u>㊲</u> て、 <u>㊳</u> も <u>㊴</u> っ <u>㊵</u> と <u>㊶</u> 多 <u>㊷</u> い <u>㊸</u> お <u>㊹</u> も <u>㊺</u> ち <u>㊻</u> ゃ <u>㊼</u> を <u>㊽</u> も <u>㊾</u> っ <u>㊿</u> て <u>㊿</u> いる <u>㊿</u> 夢 <u>㊿</u> を <u>㊿</u> つ <u>㊿</u> く <u>㊿</u> た。	1NA 2格 *ニ /-ガ 3活用(A) 4Ad 副用語順 5品詞 6接 *トキ /-ト 7N 8A 9V 発音

4168	インド 34 自由作文 4	その時に <u>につまらない</u> <u>授教</u> を <u>きいた</u> のは無理でした。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 副用 2格 * ニ/ーO 3表記4*タ/ ール
4169	インド 34 自由作文 10	教室の <u>以外</u> <u>には</u> <u>彼</u> を私達のピンポンの <u>教連</u> にしたり していました。 (1) (2) (3)	1*ノ連 2格 *ニは/ デは 3N
4170	インド 34 自由作文 12	彼 <u>こそ</u> <u>しか</u> <u>い</u> <u>ない</u> 、 <u>私</u> を <u>親</u> <u>しみ</u> を感じさせる先生でし た。 (1) (2)	1取立 2格 *ヲ/ーニ
4171	インド 35 自由作文 5	例えば、 <u>かぜ</u> をひいた時、 <u>父母</u> は <u>私</u> <u>につ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>都</u> <u>市</u> の病院 へ行きました。	格 *ニ/ーヲ
4172	インド 35 自由作文 12	ご飯のあとに兄弟と <u>い</u> <u>ど</u> <u>こ</u> <u>た</u> <u>ち</u> と一緒に軒の上 <u>2</u> に <u>星</u> を見ました。 (1)	1発音 2格 *ニ/ーデ
4173	インド 35 自由作文 15	小学校の卒業試験 <u>に</u> <u>私</u> は50円をもらって、とてもうれし かった。	格 *ニ/ーデ
4174	インド 36 自由作文 6	父母の教育方針とか人 <u>に</u> <u>交</u> <u>際</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> を <u>私</u> <u>に</u> <u>影</u> <u>響</u> <u>が</u> <u>多</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ート 2格 * ヲ/ーガ 3表現
4175	インド 39 自由作文 2	<u>私</u> は <u>こ</u> <u>ど</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>一</u> <u>番</u> <u>な</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>出</u> <u>こ</u> <u>と</u> は <u>山</u> <u>が</u> <u>登</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> で <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーガ 2名 詞節 3格 *ガ/ーニ 4*ル/ータ 5*タ/ ール
4176	インド 39 自由作文 4	小学校 <u>を</u> <u>入</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>時</u> 、 <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	格 *ヲ/ーニ
4177	インド 39 自由作文 5	だから、学校の授業 <u>を</u> <u>お</u> <u>わ</u> <u>つ</u> <u>た</u> 、 <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> と一緒に <u>山</u> <u>を</u> <u>登</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>町</u> と景色をみました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーガ 2接 条 件 3格 *ヲ/ーニ 4品 詞 *A/ーNA
4178	インド 39 自由作文 6	私の町 <u>は</u> <u>山</u> <u>が</u> <u>ふ</u> <u>た</u> <u>つ</u> <u>別</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *Oは/ーニは 2Ad
4179	インド 39 自由作文 12	<u>林</u> <u>の</u> <u>山</u> <u>に</u> <u>は</u> 、 <u>お</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>し</u> 、 <u>川</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>し</u> 、 <u>川</u> <u>の</u> <u>中</u> <u>に</u> <u>魚</u> <u>を</u> <u>捕</u> <u>る</u> <u>し</u> 、 <u>と</u> <u>き</u> <u>ど</u> <u>き</u> <u>川</u> <u>中</u> <u>に</u> <u>泳</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1体修 2並V 3格 *ニ /ーデ 4並V 5複N 6格 *ニ/ーデ 7発音
4180	インド 39 自由作文 13	でも、 <u>屋</u> <u>へ</u> <u>帰</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>き</u> 、 <u>は</u> <u>は</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1N 2格 *ガ/ーニ 3 発音
4181	インド 39 自由作文 15	子供 <u>時</u> 、 <u>お</u> <u>弟</u> <u>は</u> 、 <u>林</u> <u>に</u> <u>蚊</u> <u>を</u> <u>か</u> <u>み</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1ーノ連 2表記 3格 * ニ/ーデ
4182	インド 40 自由作文 3	特に、子供 <u>に</u> <u>一</u> <u>番</u> <u>困</u> <u>る</u> <u>病</u> <u>気</u> で、 <u>は</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>時</u> 、 <u>学</u> <u>校</u> <u>は</u> <u>か</u> <u>ぜ</u> で休講することもあります。	格 *ニ/ーガ
4183	インド 40 自由作文 6	なぜなら <u>そ</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>て</u> 、 <u>か</u> <u>ぜ</u> <u>が</u> <u>か</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 2ーテイル 接 条件 *テ形/ート 3格 *ガ/ーニ
4184	インド 40 自由作文 13	<u>運</u> <u>動</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>体</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>し</u> 、 <u>ば</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>抵</u> <u>抗</u> <u>力</u> <u>も</u> <u>強</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1名詞節 2格 *ニ/ー ノ 3品詞 *NA/ーA
4185	インド 40 自由作文 18	私は4歳 <u>ま</u> <u>え</u> <u>に</u> 、 <u>高</u> <u>尾</u> <u>の</u> <u>近</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>鳥</u> <u>松</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>に</u> <u>住</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 ーマデ 2格 * ニ/ーノ 3発音
4186	インド 40 自由作文 21	<u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>木</u> <u>と</u> <u>花</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>ん</u> <u>で</u> 、 <u>毎</u> <u>日</u> 、 <u>花</u> <u>と</u> <u>木</u> <u>の</u> <u>間</u> <u>に</u> <u>遊</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1並N *ト/ーヤ 2格 *ニ/ーデ 3発音

4187	インド 40 自由作文 25	午前中毎日家の近くの幼稚園 <u>を</u> 通った。	格 *ヲ/ーニ
4188	インド 40 自由作文 30	休みの <u>間に</u> 、 <u>ときとき</u> 友達と一緒に、竹林 <u>に</u> <u>遊んで</u> いた。 (1) (2) (3) (4)	1副用 2発音 3格 *ニ /ーデ 4発音
4189	インド 41 自由作文 9	たまに木 <u>を</u> 登り、果物を取り、そこで友達と話した。	格 *ヲ/ーニ
4190	インド 41 自由作文 10	雨なら、家の前 <u>に</u> <u>サッカー</u> をする。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2表記
4191	インド 42 自由作文 1	彼女は、とても <u>幸い</u> で、あるレコード会社の支配人が、 彼女 <u>に</u> 、録音をみてあげました。 (1) (2)	1*A /ーNA 2格 *ニ/ ーノ
4192	インド 43 自由作文 7	<u>それも</u> し、 <u>かぜ</u> が <u>か</u> かたら、すぐお医者さんに <u>みに</u> <u>いった</u> 方がいいでしょう。 (1) (2) (3)	1C 2格 *ガ/ーニ 3 複V
4193	インド 43 自由作文 9	寒くなる時自分 <u>に</u> <u>気</u> をつけて下さい。	格 *ニ/ーデ
4194	インド 43 自由作文 11	生活 <u>に</u> <u>規則</u> する ようにして下さい。 (1) (2)	1格 *ニ/ーヲ 2VP ー副用
4195	インド 44 自由作文 10	そして、 <u>と</u> 先生 <u>に</u> 一緒に住んでいました。 (1) (2)	1C 2格 *ニ/ート
4196	インド 44 自由作文 22	この本は外 <u>の</u> <u>ずばらしい</u> 所もあります。 (1) (2)	1*ノ連 格 ーニ 2発 音
4197	インド 45 自由作文 3	ことに、食品と関係 <u>に</u> ある化学 <u>の</u> が好きです。 (1) (2)	1格 *ニ/ーO 2ノ代
4198	インド 45 自由作文 6	それは、万国 <u>を</u> 認められているでしょう。	格 *ヲ/ーニ
4199	インド 46 自由作文 6	それは <u>工*</u> の黒字や赤字 <u>を</u> 影響しています。 (1) (2)	1表記 2格 *ヲ/ーニ
4200	インド 47 自由作文 2	私は日本の <u>発達</u> の木土工程を学ぶために日本の大学で、 留学する <u>つもり</u> です。 (1) (2) (3)	1品詞 *N/ーV 2格 *デ/ーニ 3ムード
4201	インド 47 自由作文 6	日本の工程について、私は青森と函館、また、本*と九 *の <u>水下通路の建築</u> <u>が</u> 、非常に、感心しています。	格 *ガ/ーニ
4202	インド 49 自由作文 7	一般的な家庭 <u>に</u> <u>持つ</u> <u>電気製品</u> <u>が</u> 八十パーセントは <u>日</u> <u>本製品</u> であって、自動車もほとんど <u>日本制</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニ/ーガ 3格 * ガ/ーO ーノ連 2,4,5表記
4203	インド 49 自由作文 11	それ <u>を</u> <u>対して</u> 、私 <u>が</u> 趣味を持っています。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーニ 2*にタ イシテ 3取立*ガ/ー ハ
4204	インド 50 自由作文 3	というのは、私の国 <u>に</u> はいろんな撮影器材はほとんど日 本から <u>輸入</u> されました。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーデ 2複V 3*タ/ール
4205	インド 50 自由作文 5	私は自分の国 <u>に</u> 日本の雑誌を見ても日本へ来て日本のテ レビを見ても、やはり日本は「東方の芸術の国」と言え る <u>でしょう</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2ムー ド
4206	インド 50 自由作文 11	<u>しかし</u> 、その時、父の話 <u>し</u> <u>全然</u> <u>わかりません</u> <u>が</u> だん だん大きくなってこの仕事 <u>の</u> <u>興味</u> <u>を</u> <u>持</u> っています。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2取立 *O /ーハ 3*ル/ータ 4*ノ連 格 *O /ーニ 5VP

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4207	インド 51 自由作文 4	国の経済の発展を <u>尽くす</u> ために日本へ <u>きって</u> 経済学を学ぶつもりです。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーニ 2V 3 発音 接 *テ形
4208	インド 51 自由作文 7	それで国の経済成長 <u>に対して</u> <u>大き</u> 影* <u>が</u> <u>当えて</u> しま う。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0/ーニ 2発音 3格 *ガ/ーヲ 4表記
4209	インド 51 自由作文 13	それは、全世界に <u>学び</u> 、 <u>しりたい</u> 経済政策である。	格 *ニ/ーガ
4210	インド 52 自由作文 5	その点は、日本の科学管理制度は日本の経済に <u>猛進</u> さ せていて <u>世界中</u> で <u>経済大国</u> になっています。 (1) (2) (3) (4)	1複 N 2格 *ニ/ーヲ 3副用 4VP
4211	インド 53 自由作文 2	私は経済や経営などが <u>趣味</u> をもっています。 (1) (2)	1格 *ガ/ーニ 2N
4212	インド 53 自由作文 3	将来商業界の <u>強人</u> になりたいと思っています。 (1) (2)	1N 2格 *0/ーニ
4213	インド 53 自由作文 5	というのは <u>国よりも</u> っと進んでいる東の国に <u>特に</u> 日本 の経済や商業経営を <u>習</u> てもらいます。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *ニ/ー0 3V 受給 表現
4214	インド 54 自由作文 10	しかし、六年生になった時李さんがひどい病気のため <u>の</u> 病院に <u>入院</u> していました。 (1) (2)	1*ノ連 格 *0/ーニ 2複 V
4215	インド 55 自由作文 7	教育が普及するのでたくさんの小学校や中学校などに <u>開</u> 設します。	格 *ニ/ーヲ
4216	インド 55 自由作文 13	次は、国民の生活 <u>ができる</u> ために、 <u>広大</u> の土地に <u>利用</u> して、 <u>農業</u> を <u>発展</u> させて、また、マレーシア <u>豊富</u> の <u>天</u> 然資源も <u>積極的</u> に開拓させます。 (1) (2) (3) (4)	1*可能/ーノ連 2格 * ニ/ーヲ 3ーノ連 4品 詞 *N/ーNA
4217	インド 55 自由作文 18	また、私は国民 <u>が</u> <u>皆平等</u> に対して、いつも国民に利益を <u>図</u> させます。 (1) (2)	1格 *ガ/ーニ 2V
4218	インド 55 自由作文 19	たとえば、国民の健康のために、私は、病院や診療所な どに <u>たくさん</u> 開設します。	格 *ニ/ーヲ
4219	フィンランド 2 自由作文 9	たんすの中 <u>で</u> <u>ようふく</u> と旅行かばんがあります。 (1) (2)	1格 *デ/ーニ 2取立 *0/ーハ
4220	フィンランド 4 自由作文 17	服と生活必需品が窓の左側にある押し入れ <u>で</u> <u>入れて</u> あり ます。	格 *デ/ーニ
4221	フィンランド 5 自由作文 16	五年間 <u>に</u> <u>堅苦しみ</u> 研究した。 (1) (2)	1格 *ニ/ー0 2V
4222	フィンランド 6 自由作文 7	彼 <u>が</u> 私と <u>師生</u> <u>関係</u> を になりました。 (1) (2) (3)	1取立 2N 3格 *ヲ/ ーニ
4223	フィンランド 6 自由作文 14	私が <u>ほうどん</u> と <u>そば</u> <u>に</u> <u>数字</u> を <u>かきたり</u> 、 <u>文献</u> をしら べ <u>ま</u> しました。 (1) (2) (3) (4)	1発音 2格 *ニ/ーデ 3活用 4並 V
4224	フィンランド 7 自由作文 5	私の国 <u>では</u> 、 <u>人参</u> という物があります <u>ので</u> <u>それが</u> 、 <u>ど</u> んな、 <u>病気</u> にもよく、 <u>きくん</u> です。 (1) (2)	1格 *デは/ーニは 2 接 *ノデ/ーガ

5.1.4. 格助詞 デ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4225	台湾 1 自由作文 6	台南市 <u>は</u> <u>まった</u> <u>有名な</u> ことは台湾料理が一番おいしいです。 (1) (2) (3)	2発音 副用 1格 取立 *ハ/ーデ 3一名詞節
4226	台湾 1 パターン作文 12	四、五月で梅雨が <u>できる</u> 、湿度が <u>高い</u> だ、そして、 <u>あの</u> 時、 <u>かび</u> が生える。 (1) (2) (3) (4)	4コソア 2V 1格 *デ /ーニ 3*ダ 品詞 (*NA/ーA)
4227	台湾 1 パターン作文 26	しかし、人間的な関係がだんだん <u>遠い</u> 、 <u>そう</u> 一つに、人工受精ということ <u>には</u> <u>男女</u> の関係が生育の機能のため <u>だけ</u> が、 <u>情愛</u> がだんだん <u>うすい</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2コソア 1A 1,7VP 5 格 *ニは/ーデは 6 接(*ガ)
4228	台湾 2 聴解要約 4	その時、ヤンさんはおみやげと旅行 <u>に</u> <u>とった</u> 写真を上げた。 (1) (2)	格 *ニ/ーデ
4229	台湾 2 自由作文 9	から、台南の成功大学 <u>に</u> <u>四年間勉強</u> したから、軍隊に <u>二年間</u> 入ったから、中の中原大学 <u>に</u> <u>助手</u> になりました、 <u>一年半</u> 間ぐらいあとで、日本へ留学にきた。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1C 4接(*カラ/ーテ カラ) 2,6格 *ニ/ー デ 3ー連用形 &スタ イル
4230	台湾 2 パターン作文 1	筑波学園都市とほかの都市の一番大きい違いは筑波学園都市が事前の計画 <u>に</u> <u>できる</u> ことです。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ーテイル
4231	台湾 2 パターン作文 5	筑波学園都市 <u>に</u> <u>自転車</u> <u>で</u> <u>の</u> ることはゆったりした事です。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2格 * デ/ーニ
4232	台湾 8 自由作文 7	今の研究したい専門は法律の観点から企業の <u>悪性的な</u> 倒産による影響の研究で、 <u>それ</u> <u>にした</u> がって <u>企業倒産</u> の可能性を予測することや、 <u>それを</u> 回避すること、改善という <u>こと</u> を日本 <u>で</u> <u>在籍</u> 期間にこれらの知識を吸収しようと思 <u>い</u> ます。 (1) (2) (3)	1NA 2格 <u>に</u> *シクガ ッテ /にーヨッテ 3 格 *デ/ーノ連
4233	台湾 9 自由作文 3	小学校 <u>勉強</u> をした時、家の経済状況は <u>十分に</u> <u>*難</u> な <u>ので</u> 、母は <u>田</u> に <u>仕事</u> を <u>やたら</u> 私を自分の背に <u>負</u> った。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *0/ーデ 2*タ/ ーテイタ 3Ad 副用 4ル/ータ 5格 *ニ/ー デ 6活用 (V)*タラ/ ーナガラ
4234	台湾 9 自由作文 11	そして、 <u>中華</u> 民国柔道チームの選手と <u>な</u> った、 <u>国外</u> へ <u>試合</u> に <u>参加</u> した、 <u>卒業</u> を <u>したら</u> <u>警官</u> 学校に勤めて <u>柔道</u> を教えている。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3ー連用形 2格 *へ /ーデ 4ーテ形 接 * タラ/ーカラ 5取立 * 0/ーハ
4235	台湾 22 自由作文 6	それに、入社二ヶ月ばかり <u>もう</u> 二回レストランで <u>ごち</u> そうしていただきました。 (1) (2)	格 *0/ーデ
4236	台湾 23 自由作文 14	電話 <u>を</u> <u>聞</u> ったとき、 <u>心</u> に <u>気持</u> ちが <u>悪</u> い、なかなか平 <u>静</u> にかえらな <u>か</u> った。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーデ 2活用 3表現 4並A
4237	台湾 24 自由作文 6	なぜなら、日本 <u>には</u> 、 <u>こんな</u> 料理が高いし、 <u>場所</u> もよく <u>わ</u> からないから <u>で</u> す。 (1) (2)	格 *ニは/ーデは
4238	台湾 25 自由作文 10	しかし、子供が大学 <u>卒業</u> したあと <u>で</u> <u>母親</u> はひどい病 <u>気</u> な <u>ので</u> <u>病院</u> へ入院 <u>し</u> ました。 (1) (2) (3)	1格 *0/ーヲ 2格 * デ/ー0 3接 *ノデ/ ーデ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4239	中国 3 聴解要約 9	駅の前の電話 <u>book</u> <u>に</u> <u>きれいな女の方</u> <u>を</u> <u>会</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)(3) (4)	1表記 3格 *ニ/一デ 2一名詞 4格 *ヲ/一ト/一ニ
4240	中国 3 聴解要約 13	それから電車に <u>の</u> って <u>渋谷</u> <u>を</u> <u>お</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	格 *ヲ/一デ
4241	中国 3 聴解要約 19	会社 <u>に</u> <u>ヤンさん</u> <u>を</u> <u>会社</u> <u>の</u> <u>友</u> <u>達</u> <u>に</u> <u>紹</u> <u>介</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ/一デ 2自他
4242	中国 4 自由作文 5	私は <u>そ</u> <u>こ</u> <u>で</u> <u>大</u> <u>学</u> <u>卒</u> <u>業</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	格 *デ/一ニ
4243	中国 6 自由作文 3	日本へ来る前に、北京のある大学院 <u>に</u> <u>修</u> <u>士</u> <u>課</u> <u>程</u> <u>を</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ/一ノ連 2格 *ヲ/一デ
4244	中国 7 自由作文 12	あそこ <u>に</u> <u>は</u> 、 <u>深</u> <u>く</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> 。	1格 *ニ/一デ 2Ad 副 用 3スタイル
4245	中国 7 自由作文 13	私は静かなところ <u>に</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>習</u> <u>慣</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>た</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>う</u> <u>れ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	格 *ニ/一デ
4246	中国 10 自由作文 4	こんな競争の激しい経済大国の人々はロボットのように働いて <u>い</u> <u>な</u> <u>が</u> <u>ら</u> 、 <u>一</u> <u>分</u> <u>一</u> <u>秒</u> <u>も</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>る</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>さ</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>時</u> <u>間</u> <u>が</u> <u>か</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>思</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>不</u> <u>思</u> <u>議</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1接 *ナガラ/一連用形 2格 *ニ/一デ 3不定 4取立 *モ/一ハ 5取立 *ハ/一ニ
4247	中国 11 自由作文 3	受けた印象がたくさんありますが、 <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>も</u> <u>最</u> <u>も</u> <u>強</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>人</u> <u>の</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>の</u> <u>緊</u> <u>張</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1表現 2格 *ニも/一デも 3格 *0/一ニツイテ
4248	中国 12 自由作文 8	中国式 <u>で</u> <u>自</u> <u>転</u> <u>車</u> <u>を</u> <u>駅</u> <u>の</u> <u>近</u> <u>所</u> <u>に</u> <u>置</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *デ/一ニ 2N
4249	中国 14 自由作文 4	世界 <u>に</u> <u>進</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>電</u> <u>子</u> <u>工</u> <u>業</u> 、 <u>ゆ</u> <u>き</u> <u>届</u> <u>き</u> <u>の</u> <u>サ</u> <u>ー</u> <u>ビ</u> <u>ス</u> <u>業</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>数</u> <u>多</u> <u>く</u> <u>の</u> <u>分</u> <u>野</u> <u>で</u> 、 <u>日</u> <u>本</u> <u>国</u> <u>が</u> <u>世</u> <u>界</u> <u>中</u> <u>の</u> <u>一</u> <u>つ</u> <u>経</u> <u>済</u> <u>大</u> <u>国</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>分</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ/一デ 2複N 3数 語順 4ーダートイウ
4250	中国 14 自由作文 19	中国では乗合バスの中で <u>本</u> <u>当</u> <u>の</u> <u>つ</u> <u>ま</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> 、 <u>或</u> <u>は</u> <u>席</u> <u>を</u> <u>取</u> <u>る</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>で</u> <u>けん</u> <u>か</u> <u>を</u> <u>起</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>時</u> <u>々</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1副用 2格 *デ/一ニ 3*タ/一ル
4251	中国 15 自由作文 2	初めて新宿の街 <u>で</u> <u>歩</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>時</u> 、「 <u>へ</u> <u>い</u> <u>!!</u> <u>す</u> <u>ご</u> <u>い</u> <u>人</u> <u>々</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。」 <u>と</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>お</u> <u>ば</u> <u>あ</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>言</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	格 *デ/一ヲ
4252	中国 15 自由作文 3	「 <u>い</u> <u>そ</u> <u>を</u> <u>洗</u> <u>う</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>混</u> <u>雑</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>ょう</u> 、 <u>こ</u> <u>の</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>な</u> <u>情</u> <u>景</u> <u>は</u> <u>東</u> <u>京</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>珍</u> <u>し</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>よ</u> 。」 <u>と</u> <u>お</u> <u>ば</u> <u>あ</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>言</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	1格 *ニは/一デは 2 コソア
4253	中国 15 自由作文 15	これから、東京 <u>に</u> <u>暮</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>たい</u> <u>私</u> <u>は</u> 、 <u>ゆ</u> <u>っ</u> <u>く</u> <u>り</u> <u>歩</u> <u>く</u> <u>の</u> <u>が</u> 、 <u>大</u> <u>分</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>ょう</u> 。	1格 *ニ/一デ 2名詞 節 ーコト 3N 4複V 5スタイル
4254	中国 16 自由作文 5	そこ <u>に</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>昔</u> <u>の</u> <u>跡</u> <u>が</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>見</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 取立 *ニ/一デハ 2N
4255	中国 16 自由作文 8	今、私は日本にいて、こちら <u>に</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>う</u> <u>人</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>と</u> <u>ち</u> <u>か</u> <u>つ</u> <u>ぐ</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ/一デ 2*テ形 /一連用形 3並V 4副 用 5発音 6名詞節 ー コト
4256	中国 16 自由作文 25	世界中で日本だけ <u>で</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>か</u> 。	1格 *デ/一ニ 2ーノ ダ

4257	中国 17 自由作文 7	けれども、 <u>後</u> は「すみません」とか、「失礼いたします」とかよく聞こえます。日本はさすが文明国だとしみじみ思っています。	1コソア 2格 *ハ/ー デ
4258	中国 17 自由作文 11	今日本 <u>には</u> 中学まで義務教育です。	格 *ニは/ーデは
4259	中国 18 自由作文 11	<u>だから</u> そのこと <u>で</u> 印象が一番深いです。	1C 2格 *デ/ーガ
4260	中国 18 自由作文 16	わたしの国の運転手は乱暴 <u>で</u> 運転することが多いです。	格 *デ/ーニ
4261	中国 20 自由作文 5	たとえばデパートで買物をするとき「いらっしゃいませ」とか「ありがとうございました」とか、あちらこちらに <u>きこえる</u> ことができます。	1格 *ニ/ーデ 2自発
4262	中国 24 自由作文 14	<u>それから</u> 、学校の方は自分でよく <u>ならって</u> 、ほかの <u>時</u> 間は自分もよく勉強しようと思っ <u>て</u> います。	1C 2V 3取立 *ハ/ ーモ 4格 *モ/ーデ
4263	中国 30 自由作文 4	<u>まなぶ</u> カタカナとひらがな <u>で</u> <u>かいて</u> はじめます。	1語順 2格 *デ/ーヲ 3接 *テ形 VP
4264	中国 30 自由作文 6	きょうしつ <u>に</u> <u>せんせい</u> は <u>いっしょうけん</u> のおしえて、わたしたちはわからないことが <u>あつた</u> から <u>しつて</u> いる「なれ」というかこうで、 <u>なん</u> というけいようしてあう。	1格 *ニ /ーデ 2Ad 発音 3接 *テ形 4条件 *カラ /ータラ & 表現
4265	中国 33 自由作文 7	まいしゅうにちようび、 <u>とも</u> たちの <u>うち</u> に <u>べんきょう</u> にほんご。	格 *ニ/ーデ
4266	中国 35 自由作文 5	日本語の <u>なか</u> で <u>ひらがな</u> と <u>かたかな</u> と漢字があります。	1表現 2格 *デ/ーニ ハ
4267	中国 35 自由作文 11	ときどきともだちと日本語で <u>でんわ</u> <u>を</u> <u>かなし</u> ことがあります。	1格 *ヲ/ーデ 2活用(V)
4268	中国 37 自由作文 4	しかし、 <u>だい</u> がく <u>の</u> <u>べんきょう</u> の <u>まえ</u> に <u>に</u> <u>ほんご</u> の <u>べんきょう</u> をします。	格 *0 /ーデ
4269	中国 37 自由作文 10	どようびはくじからじゅうに <u>じま</u> で <u>お</u> わります。	格 *0 /ーデ
4270	中国 37 自由作文 16	<u>うち</u> <u>に</u> <u>しつもん</u> のあるとき <u>あ</u> ねに <u>き</u> きます。	1格 *ニ/ーデ 2取立 *0 /ーハ
4271	中国 43 自由作文 5	国際学友会の <u>なか</u> で <u>いろいろ</u> なく <u>に</u> <u>の</u> <u>学生</u> がいます。	1格 *デ/ーニ 2取立 *0 /ーハ
4272	中国 43 自由作文 14	わたしは毎日テープ <u>で</u> <u>つか</u> つて <u>べんきゅう</u> <u>し</u> ています <u>が</u> <u>な</u> <u>な</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>お</u> <u>ぼ</u> <u>え</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	1格 *デ/ーヲ 2発音
4273	中国 44 自由作文 5	いま、わたしは <u>に</u> <u>ほんご</u> が <u>う</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほんご</u> の <u>べんきょう</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ーテイル
4274	中国 44 自由作文 6	<u>に</u> <u>ほ</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほんご</u> の <u>べんきょう</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>んご</u> の <u>べんきょう</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>や</u> <u>さ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1発音 2取立 *ハ/ー デノ 3格 *デ/ーデノ
4275	中国 44 自由作文 7	じぶんの <u>く</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ね</u> <u>ん</u> <u>あ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>さん</u> <u>げ</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ず</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーデ 2発音 3表記 4複V

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4276	中国 44 自由作文 13	りゅうがくせいはいつものにほん <u>に</u> はにほんごのべんきょう <u>は</u> いちばん <u>いい</u> ことです。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニは /ーデは 2 一名詞節 3取立 *ハ/ ーガ 4A
4277	中国 44 自由作文 14	いま、わたしはまいにちくじごろからごじごろまでがっ こう <u>に</u> はにほんごのべんきょうです。	格 *ニ /ーデ
4278	中国 45 自由作文 9	いつ <u>まで</u> <u>わかる</u> かとおもいます。 (1) (2)	1格 *マデ /ーO 2活用(V) ムード 可能
4279	中国 47 自由作文 12	みち <u>である</u> いて <u>、</u> <u>その</u> <u>ひとは</u> <u>むじかしかった</u> <u>こと</u> <u>が</u> <u>たすけて</u> <u>あげ</u> <u>ます</u> <u>た</u> <u>きは</u> 、 <u>にほんご</u> <u>で</u> <u>はなして</u> <u>つ</u> <u>かう</u> <u>ます</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11)	1,10格 *デ /ーヲ 2* O /ーテイル 3* コソ ア /ーO 4取立 *ハ/ ーガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト /ーノ 7格 *ガ /ーヲ 8スタイル 11VP 発音
4280	中国 47 自由作文 16	にほんご <u>を</u> <u>かい</u> <u>わ</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	格 *O /ーデ
4281	中国 50 自由作文 4	日本語 <u>は</u> <u>文</u> <u>法</u> <u>や</u> <u>読</u> <u>み</u> <u>方</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>を</u> <u>分</u> <u>け</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	格 *O /ーデ
4282	中国 50 自由作文 6	読み方 <u>は</u> <u>又</u> <u>音</u> <u>読</u> <u>と</u> <u>訓</u> <u>読</u> <u>を</u> <u>分</u> <u>け</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *O /ーデ 2語順 副用
4283	中国 51 自由作文 11	わたしはこのことばを聞いたとき、心の中 <u>に</u> <u>う</u> <u>れ</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>が</u> 、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>一</u> <u>生</u> <u>懸</u> <u>命</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニ /ーデ 2*ル/ ータ 3副用 Ad4ムー ド 5*テイル /ータ
4284	中国 53 自由作文 6	わたしたちのクラスにはみんな <u>18</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>仲</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1副用 格 *O /ーデ 2 数 *ガ /ーO 3発音 4 複V
4285	中国 55 自由作文 5	わたしはきょうしつ <u>に</u> <u>せん</u> <u>せい</u> <u>で</u> <u>授</u> <u>業</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ /ーデ 2格 * デ /ーノ 連
4286	中国 57 自由作文 5	わたしの学校は日本 <u>に</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	格 *ニは /ーデは
4287	中国 57 自由作文 18	いろいろなしけん <u>に</u> <u>は</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>心</u> <u>配</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>の</u> <u>文</u> <u>法</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 取立 *ニハ /ーデ 2取立 *ハ /ーガ 3品 詞 4取立 *ガ /ーハ
4288	中国 59 自由作文 2	私は工学部 <u>の</u> <u>電</u> <u>気</u> <u>を</u> <u>学</u> <u>ぶ</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>へ</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>来</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	*ノ 連 格 *O /ーデ
4289	韓国 1 パターン作文 7	たくさん車がソウル市街地 <u>で</u> <u>入</u> <u>る</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>道</u> <u>が</u> <u>複</u> <u>雑</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *デ /ーニ 2V
4290	韓国 1 パターン作文 9	しかし日本人は <u>た</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>車</u> <u>で</u> <u>市</u> <u>街</u> <u>地</u> <u>で</u> <u>入</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	2格 *デ /ーニ 1副用
4291	韓国 1 パターン作文 10	<u>た</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>外</u> <u>郭</u> <u>地</u> <u>の</u> <u>駐</u> <u>車</u> <u>場</u> <u>に</u> <u>置</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>地</u> <u>下</u> <u>鉄</u> <u>で</u> <u>市</u> <u>街</u> <u>地</u> <u>で</u> <u>入</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	3活用 4格 *デ /ーニ 1副用 2N
4292	韓国 1 パターン作文 12	<u>そ</u> <u>れ</u> <u>で</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>市</u> <u>街</u> <u>地</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>会</u> <u>社</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>車</u> <u>が</u> <u>市</u> <u>街</u> <u>地</u> <u>で</u> <u>入</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1C 3格 *デ /ーニ 2 取立 *ガ /ーハ
4293	韓国 2 パターン作文 4	3月から南地方 <u>に</u> <u>は</u> <u>花</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>け</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *ニは /ーデは 2 自他
4294	韓国 2 パターン作文 5	ソウル <u>に</u> <u>は</u> <u>南</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>も</u> <u>お</u> <u>そ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格 *ニは /ーデは 2 ーダ スタイル

4295	韓国 2 パターン作文 6	韓国 <u>①</u> には <u>②</u> 先に齊州道から花の <u>③</u> 消息 をききます。	1格 *ニは /-デは 2Ad 3N
4296	韓国 3 自由作文 9	ですから亜熱帯植物の中 <u>①</u> に <u>②</u> パナナ とみかんが <u>③</u> 出ます。	3動詞 1格 *ニ /-デ 2表記 発音
4297	韓国 4 パターン作文 5	それで映画を見る <u>①</u> の <u>②</u> が 興味がありますが、TVとくら べると映画を見る <u>③</u> でお金が必要です。	1名詞節 *ノ /-コト 2*ガ /-ニ 2格 *デ / -ニ
4298	韓国 5 パターン作文 4	そして同じ漢字で意味が完全に <u>①</u> ちかいのは 韓国 <u>②</u> には勉 強の漢字は工夫です。	1発音 品詞(*A /-V) 2格 *ニは /-デは
4299	韓国 6 パターン作文 3	そして安いものとか <u>①</u> 便利 ものとか生活に必要なものを近 い店 <u>②</u> へ 買います。	2格 *へ /-デ 1NA 活用
4300	韓国 7 聴解要約 5	はじめに、店員は4万5千円 <u>①</u> 売ろうにした が、けっき よくヤンさんは4万円であった。	1格 *0 /-デ 2複V
4301	韓国 7 自由作文 2	日本の村落組織の中 <u>①</u> で 若者組をしらべると、東日本の若 者組は長男 <u>②</u> として 構成されている。	2格 *とシテ /-にヨ ッテ 1格 *デ /-ノ ノ連
4302	韓国 7 自由作文 3	西日本 <u>①</u> は長男 <u>②</u> 他にも次男 <u>③</u> と 三男と <u>④</u> 若者組に加入 することができる。	1格 *0は /-デは 2 ノ連 取立 3並N *ト /-ヤ 4取立-モ
4303	韓国 7 自由作文 6	東日本 <u>①</u> は長男単独相続のために、若者組が長男 <u>②</u> として 構成される。	2発音 1格 *0は /- デは 2格 *とシテ /- にヨッテ
4304	韓国 7 自由作文 7	西日本 <u>①</u> は分割相続のために <u>②</u> 次三男 も成員になる。	1格 *0は /-デは 2 並N
4305	韓国 8 聴解要約 3	その後秋葉原 <u>①</u> に ステレオカセットを買う時店員 <u>②</u> で から 四万五千円 <u>③</u> ずつ カセットを四万円 <u>④</u> に 買いました。	1,4格 *ニ /-デ 2格 * デから /-0から 3 格 *0 /-ノ連
4306	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机のうえ <u>①</u> に カ セットで音楽を <u>②</u> 聞まず 時にヤンさんはお風呂 <u>③</u> から 音楽 を聞いて歌を <u>④</u> 呼びました。	1格 *ニ /-ノ連 2表 記 活用 体修 -テ イル スタイル 3格 *カ ラ /-デ 4V
4307	韓国 8 パターン作文 1	飛行機と船をくらべると、飛行機は <u>①</u> 土地 の滑走路 <u>②</u> で 出 発して空を飛びます。	1N 2格 *デ /-ヲ
4308	韓国 9 聴解要約 7	そして、みんながステレオのおんがくを <u>①</u> 聞た とき、ヤン さんはおふろば <u>②</u> には うたをうたっていた。	1表記 発音 -テ イル 2格 *ニ /-デ 3取 立 に*ハ /-に-0
4309	韓国 9 パターン作文 10	それで、冬には大陸の影響 <u>①</u> ように <u>②</u> 北西の風が吹いて、 夏にはたいようのように東南の風が吹きます。	1C (*ソレデ /-ソ レハ) 2格 (*ヨウニ / -デ)
4310	韓国 12 自由作文 5	そこ <u>①</u> には 工場の廃水によって川が <u>②</u> 病 になりました。	1格 *ニは /-デは 2 N
4311	韓国 12 パターン作文 7	しかし他の都市はその中 <u>①</u> で 人の生活の感じを <u>②</u> もらいま す。	1格 *デ /-ニ 2受給 V
4312	韓国 13 パターン作文 12	宿舎 <u>①</u> にも日本語を勉強します。	格 *ニ /-デ
4313	韓国 15 自由作文 1	今、地域研究科の研究生 <u>①</u> で 勉強している学生です。	格 *デ /-とシテ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4314	韓国 16 自由作文 8	もっと熱心に勉強して <u>帰</u> て行くころには笑顔 <u>に</u> 日本 <u>と</u> 離れたい。 (1) (2) (3)	1活用(V) 発音 2格 * ニ/ーデ 3格 *ト/ー ヲ
4315	韓国 18 自由作文 1	私の専門は社会学の中 <u>で</u> 家族社会学です。	格 *デ/ーノ連
4316	韓国 18 自由作文 3	現代 <u>に</u> は社会問題 <u>で</u> 登場 <u>し</u> ている <u>多</u> い問題が家庭の機能喪失に困って <u>超</u> 来され <u>問</u> 題ですから家族を通じて社会問題すなわち家族問題の解決方法について研究したいと思いました。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニは/ー0は 2 格 *デ/ーニ 3 V 4品 詞 *A/ーN ーノ連 5活用 V
4317	韓国 18 自由作文 6	筑波大学で勉強が <u>終</u> たら国へ <u>帰</u> て社会問題研究所 <u>と</u> か家族問題研究所等 <u>で</u> つとめたいです。 (1) (2) (3) (4)	1,2活用(V) 表記 発音 3並N *トカ/ーヤ 4格 *デ/ーニ
4318	韓国 21 自由作文 4	ときどき「あなた」というしつものとき <u>あ</u> だま <u>の</u> なか <u>に</u> は「わたし」とおもいますが、そのまま「あなた」ということがあります。 (1) (2)	1発音 2格 *ニ/ーデ
4319	韓国 22 自由作文 5	私のく <u>に</u> <u>に</u> は学校で外国語をべんきょうしています。	格 *ニ/ーデ
4320	韓国 25 自由作文 9	しかし私 <u>に</u> たいせつな物は <u>ディズニランド</u> <u>に</u> とったしゅしんと私が韓国でとったしゅしんです。 (1) (2) (3)	1*ニ/ーノ連 *に0/ ーにトッテ 3格 ニ/ ーデ
4321	韓国 25 自由作文 11	私はいっかい <u>で</u> すんでいます。	格 *デ/ーニ
4322	韓国 31 自由作文 5	世界各地 <u>で</u> 会社の支店を <u>つ</u> くられて <u>商</u> 業も <u>盛</u> んていま <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *デ/ーニ 2受身 3NA 複V
4323	韓国 31 自由作文 14	日本はなぜ <u>そ</u> んな <u>短</u> い時間 <u>に</u> <u>世</u> 界 <u>ひ</u> とつ <u>工</u> 業国 <u>に</u> <u>な</u> る <u>か</u> <u>と</u> いう <u>原</u> 因がしりたいです。 (1) (2) (3) (4) (5)	1コソア 2格 *ニ/ー デ 3数 4*ル/ータ 5 接 *トイウ
4324	韓国 31 自由作文 16	国 <u>で</u> は <u>た</u> くさん日本の <u>社</u> 会 <u>が</u> あるから、将来その <u>社</u> 会 <u>に</u> 仕事をさがすことも <u>便</u> 利です。 (1) (2) (3)	1格 *デは/ーニは 2 N 3NA
4325	韓国 32 自由作文 5	日本 <u>で</u> は、いろいろな商業の種類があります。	格 *デ/ーニ
4326	韓国 32 自由作文 6	その中 <u>に</u> 私 <u>は</u> <u>興</u> 趣 <u>を</u> 持っているのは、 <u>デ</u> パート <u>か</u> <u>ス</u> ーパーの経営制度です。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーデ 2取立 *ハ/ーガ 3N 4格 * カ/ート
4327	韓国 33 自由作文 4	国民の一人 <u>で</u> 、ずいぶん不安な状態だと思ったのでそれをきっかけにして関心を持つようになったと思います。	格 *デ/ートシテ
4328	韓国 35 自由作文 8	その <u>強</u> 大 <u>国</u> 々 <u>の</u> 間で政治的 <u>も</u> <u>経</u> 済的 <u>も</u> <u>成</u> 長 <u>さ</u> れる <u>の</u> はととてもむずかしいだろうと思います。 (1) (2) (3) (4)	1複N 2格 *0/ーニ 3格 *デ/ーニ 4受身
4329	ブラジル 1 聴解要約 5	ヤンさんは日本 <u>で</u> <u>住</u> いる <u>つ</u> もりです。 (1) (2)	2V 1格 *デ/ーニ
4330	ブラジル 2 パターン作文 1	ブラジルと日本の <u>番</u> <u>大</u> きい <u>ち</u> がいは、ブラジル <u>は</u> <u>ク</u> ルザド <u>で</u> <u>使</u> う、日本人は <u>円</u> <u>が</u> <u>使</u> います。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1副用 Ad 2格 *0は/ ーデは 3格 *デ/ー ヲ 4*ル/ー連用形 5 格 *ガ/ーヲ 6名詞節
4331	アメリカ 1 自由作文 18	例えば、ポゴタ市とか <u>メ</u> ッケシコ <u>市</u> 内過密の問題が <u>す</u> さまじい。 (1) (2)	1発音 表記 2格 *0/ ーデ 取立で *0/ ーハ

4332	アメリカ 2 自由作文 4	去年、イスラエルのエルサレムのヘブライ大学 <u>で</u> 留学して 来年の二月に筑波大学の入学試験を受ける <u>つまり</u> <u>です</u> 。	1格 *デ/ーニ 2接 * テ形/ータ 3発音
4333	アメリカ 2 自由作文 6	おとし名古屋 <u>で</u> 留学したので今年は <u>二第目</u> に 日本に 来ています。	1格 *デ/ーニ 2副用 3数
4334	アメリカ 2 自由作文 8	まず私がベルギーとイスラエル <u>で</u> 留学した時、普通の人間、時々友だちとしても親しく扱われたが日本に來ると野蛮人、或は人間では <u>ないだ</u> と思う人が多いです。	1格 *デ/ーニ 2品詞 *NA/ーA
4335	アメリカ 4 自由作文 5	私の意見 <u>には</u> <u>仕事について</u> 分析的な考え方を使わなければならぬ <u>仕事</u> は一番 <u>面白い</u> と満足な <u>仕事</u> です。	1格 *ニは/ーデは 2 体修 3取立 *ハ/ー ガ 4並A *ト
4336	インドネシア 2 聴解要約 8	それからあきはばら <u>で</u> テープレコーダーを <u>買って</u> 行っ た。	1格 *デ/ーヘ 2VP * テ形/ーシニ
4337	インドネシア 5 自由作文 3	私の日本語のべんきょうのもくてきは日本 <u>へ</u> 電子の勉強 に行きます <u>。</u>	1格 *へ/ーデ 2格 * ニ/ーヲ 3V 4一名詞 節 5ーダ
4338	香港 4 自由作文 4	中文大学を卒業して、香港大学の教育学院 <u>に</u> 教師専門訓練を受けました。	格 *ニ/ーデ
4339	香港 4 自由作文 8	<u>この</u> <u>中</u> に 江戸時代の教育 <u>は</u> 専攻の中心です。	1コソア 2格 *ニ/ー デ 3取立 *ハ/ーガ
4340	香港 7 自由作文 11	日本 <u>近代</u> <u>文学家</u> <u>には</u> 、夏目漱石 <u>は</u> いちばん立派な ようです。	1ーノ連 2N 3格 *ニ /ーデ 4取立*ハ/ー ガ
4341	香港 7 自由作文 16	この期間、一方 <u>は</u> 急成長都市の出現があり、他方 <u>は</u> 衰退都市の簇生があった。	1格 *0は/ーデは 2 格 *0は/ーデは
4342	香港 7 自由作文 75	その他、彼らの衣服に花鳥草木を描き、料理はできるだけ自然のままの形 <u>を</u> 作る。	格 *ヲ/ーデ
4343	香港 15 短文作文 8	漢字の源 <u>の</u> という点 <u>から</u> 、ひらがなとかたかなは同じ です。	1ダ 2格 *カラ/ーデ
4344	香港 16 短文作文 2	私達の旅行の地方のなかに、この町は見どころである。	2格 *ニ/ーデ 1*ノ連 /ースル
4345	香港 17 短文作文 14	一人で一日中図書館 <u>に</u> 勉強していて、夕方に友達に晩御飯に呼ばれることは何にもましてうれしい <u>です</u> 。	1格(*ニ/ーデ) 2*ニ/ ー0 3一名詞節
4346	香港 17 短文作文 16	先日彼にひさしぶり <u>学校</u> <u>に</u> 会いました。もう三年間わかれていて、 <u>言われてみると</u> 、彼はずいぶんやせて来たという気が <u>しません</u> 。	1副用 *0/ーニ 2格 *ニ/ーデ 3熟語 4複 V(*てクル/ータ)
4347	香港 17 短文作文 20	このクラス <u>に</u> 、成績がいちばんよい人は田中さんです。彼の右に出る <u>は</u> ないでしょう。	1格 *ニ/ーデ 2ーN
4348	香港 18 短文作文 3	この美しい庭は雪舟 <u>で</u> 作られたそうだ。	格 *デ/ーにヨッテ
4349	香港 20 自由作文 2	日本語 <u>音声</u> だけ <u>情報</u> を <u>伝</u> うより、文字表現で <u>視覚</u> 的な <u>情報</u> を伝達 <u>と</u> <u>働</u> く。	1取立 *0/ーハ 2格 *0/ーデ 5V 3活用 4NA 副用

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4350	香港 20 自由作文 8	「東名高速道路」は東京と名古屋の間 <u>で</u> の道路である。	格 *デ/ー0
4351	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間 <u>に</u> 文化交流が <u>絶えずに</u> 行われて <u>る</u> ために、イギリス人 <u>は</u> 自分の言葉を <u>English</u> <u>の</u> ほう National Language よりと <u>言う</u> のは、日本人の、閉塞性と <u>極端的な</u> 対照だろう。	1格 - ーデ N 発音 2副 用 3活用 5語順 4取 立 *ハ/ーガ 6NA 品 詞
4352	香港 21 短文作文 8	香港は小 <u>い</u> いけれども観光地も多いから一日だけ <u>見</u> きれない。	1表記 2取立 格 *0/ ーデ
4353	香港 23 自由作文 4	これは日本人 <u>は</u> 漢語に <u>基づく</u> <u>自分</u> の <u>作った</u> 読み方である。	1取立 *ハ/ーガ 2- 連用形 3-テ形 4格 * ノ/ーデ
4354	香港 24 自由作文 21	中国からの深い影響があるのに、九世紀末の鎖国 <u>は</u> 日本は世界の国々とはなれていたので、接触は <u>ぜんぜん</u> <u>な</u> い。	1格 *0は/ーデは 2* ル/ータ
4355	香港 25 自由作文 21	大学 <u>に</u> 日本語を勉強する学生は「私は国語学を勉強している」とよく言っている。	格 *ニ/ーデ
4356	香港 25 自由作文 26	たとえば、英語とフランス語とドイツ語など <u>は</u> かれらの辞典は「英語辞典」と「フランス語辞典」、「ドイツ語辞典」と呼ばれる。	取立 格 *0は/ーデ は
4357	香港 26 自由作文 4	日本語 <u>で</u> は、表記法が三つ、漢字、カナモジ、ひらかなである。	格 *デは/ーニは
4358	スリランカ 1 パターン作文 3	あそこ <u>で</u> かと <u>さん</u> とでんわではなした <u>ので</u> さと <u>さん</u> はでんしゃ <u>に</u> 来て <u>ヤン</u> さんにあいました。	1コソア 2,4発音 3接 (*ノデ) 6-受給 5格 *ニ/ーデ
4359	スリランカ 1 パターン作文 5	会社の <u>けんかん</u> <u>に</u> <u>きれいな</u> 女の人 <u>を</u> あた。	1,4発音 2格 *ニ/ー デ 3格 *ヲ/ーニ
4360	スリランカ 1 パターン作文 6	あ <u>の</u> 女 <u>は</u> 、ヤン <u>さん</u> <u>は</u> えきの前 <u>で</u> だんわしたとき <u>あ</u> た <u>人</u> です。	1コソア 5発音 2N 3 取立 *ハ/ーガ 4格 *0/ーデ
4361	マレーシア 3 自由作文 4	おにの話 <u>に</u> 、負 <u>け</u> た <u>のは</u> 、いつも <u>悪い</u> 物 <u>だから</u> 、サン・カンチルー <u>は</u> <u>よく</u> 勝 <u>っている</u> 。	1格 *ニ/ーデ 2*タ/ ール 3表現 4Ad 副用
4362	マレーシア 5 自由作文 9	約八時間船 <u>で</u> いましたがとてもおもしろく、楽しかった <u>です</u> 。	格 *デ/ーニ
4363	マレーシア 7 自由作文 1	マレーシア <u>には</u> 、一番有名な架空の動物は、プティーナ <u>だ</u> のである。	1格 *ニは/ーデは 2* ダ
4364	マレーシア 12 自由作文 1	私たち <u>は</u> 、いつも、テレビの放送で、天気予報をみます、また、新聞 <u>と</u> いろいろな雑誌 <u>で</u> 、天気予報 <u>も</u> ありま <u>しょう</u> 。	1取立 *0/ーハ 2並 N *ト/ーヤートカ 3格 *デ/ーニ *0/ー モ 4格 *モ/ーハ
4365	マレーシア 13 自由作文 4	先生たちの中に <u>は</u> 、感情が親しまない <u>し</u> 、学生たちは外 <u>に</u> えあ <u>る</u> い <u>行為</u> をしている <u>も</u> あり、 <u>授業</u> や宿題 <u>が</u> 多くて難しいので、時々、 <u>反効果</u> の事件もありました。	2取立 *0/ーハ 3表 現 4格 *ニ/ーデ 7- 名詞節 -コト 6A 8 C 9複N

4366	マレーシア 14 自由作文 2	天気予報 <u>が</u> 日本 <u>で</u> あるだけ <u>て</u> なく、世界中の国 <u>は</u> <u>み</u> <u>んな</u> 天気予報 <u>が</u> ある。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ガ/-ハ 2格 *デ/-ニ 3発音 4* ハ/-ニ
4367	マレーシア 16 自由作文 7	その政策 <u>は</u> 、マレ人 <u>に</u> 優待 <u>を</u> します、例えば、会社 <u>を</u> つくる時、四十四パーセントの <u>股</u> <u>権</u> <u>は</u> 、マレ人 <u>に</u> 、 <u>あ</u> <u>げ</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1格 *0は/-デは 5 N 2,6表記 3格 *ニ/ -ヲ 4VP 7V
4368	マレーシア 17 自由作文 16	子供は七歳 <u>で</u> <u>廃</u> <u>除</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1格 *0/-デ 2V 2 表現
4369	マレーシア 18 自由作文 22	小学校 <u>一</u> <u>年</u> <u>級</u> <u>生</u> <u>で</u> 英語を勉強します。 (1) (2)	1N 2格 *デ/-カラ
4370	マレーシア 19 自由作文 4	当時 <u>に</u> 、私は、お医者さんが世の中 <u>に</u> <u>は</u> 、一番えらい <u>人</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>と</u> 思いました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/-0 2*ニ/ -デ 3取立 *ハ/- 0 4-ダ
4371	マレーシア 19 自由作文 8	平日は、都市にある自分の診療所にいますが日曜日なら、 <u>い</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>へ</u> <u>行</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、そこ <u>で</u> <u>庶</u> <u>民</u> <u>に</u> <u>服</u> <u>務</u> <u>を</u> するつもりです。 (1) (2) (3)	1取立 *ナラ/-ハ 2 格 *0/-デ 3N
4372	マレーシア 20 自由作文 23	その日は雨だから、原宿 <u>で</u> 、人々 <u>で</u> はなくて、おもしろ <u>く</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1格 *デ/-ニ 2*ダ/ -V
4373	マレーシア 20 自由作文 26	それでは、私の夏休みはここまで <u>に</u> 、おわたんだ。 (1,2) (3) (4)	1C 2取立 *ハ/-0 3格 *ニ/-デ 4活用
4374	マレーシア 21 自由作文 14	その間 <u>写</u> <u>真</u> <u>も</u> <u>取</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、花火 <u>を</u> 遊んで、歌を歌って、い <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>の</u> <u>話</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> 、二時ごろに終わった。 (1) (2)	1C 2格 *ヲ/-デ
4375	マレーシア 21 自由作文 17	八月31日のあさ一時 <u>に</u> 、国の建国記念日で、マレーシア からの別科生全員邱さんの部屋 <u>に</u> 国歌を歌ったり、話し <u>た</u> <u>り</u> 、食べたりした。 (1) (2)	1取立 *ニ/-ハ 2格 *ニ/-デ
4376	マレーシア 22 自由作文 5	熱帯の天候のマレーシア <u>も</u> <u>こ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>に</u> <u>暑</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1格 *0も/-デも 2 取立 *ガ/-ハ
4377	マレーシア 22 自由作文 21	今度の経験中 <u>に</u> 、私の日本語 <u>は</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>に</u> <u>経</u> <u>た</u> <u>な</u> <u>ほ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1複N 2格 *ニ/-デ 3取立 *ハ/-ガ 4不 定 5表記 6名詞節
4378	マレーシア 23 自由作文 12	まず、マレーシアの同胞九人だけ <u>で</u> 渋谷にある大使館へ <u>行</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1)	&表現 1格*0/-デ
4379	マレーシア 25 自由作文 7	図書館 <u>で</u> 、クーラーがあり、涼しかったす。	格*デ/-ニ 取立*デ/ -ニハ
4380	マレーシア 25 自由作文 8	そこ <u>で</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>と</u> 、夏の暑さをわすれてしまうほどでした。	格デ/-ニ
4381	マレーシア 25 自由作文 12	原宿 <u>に</u> <u>は</u> 、若い人 <u>た</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>歩</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1格*ニは/-デは 2 発音
4382	マレーシア 25 自由作文 23	しかし日本 <u>に</u> <u>た</u> <u>っ</u> <u>た</u> 夏休みも、とても楽しいと思いま <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1格ニ/-デ 2V
4383	マレーシア 25 自由作文 24	来年、もし大学に入学できたら、夏休みは、東京にある 町、上野や銀座など <u>で</u> 見物したいと思えます。	格*デ/-ヲ
4384	マレーシア 26 自由作文 6	そこで、毎日朝九時から夕方五時まで涼しくて静かな図 書館 <u>に</u> 宿題をしたり、勉強したり <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1格ニ/-デ 2*ル/- タ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4385	マレーシア 27 自由作文 6	それで、私の夏休みは <u>だいたい</u> ⁽¹⁾ このガソリンスタンド <u>で</u> ⁽²⁾ <u>通った</u> ⁽³⁾ ばかりだった。	1発音 表記 2格 *デ/ ーニ 3*タ/ール
4386	マレーシア 27 自由作文 24	その日だけ <u>一</u> 、大手町、東京駅、四ツ谷、新日本橋、池袋などの町へ行った。	格 *0 /ーデ
4387	マレーシア 28 自由作文 14	<u>それら</u> ⁽¹⁾ のように、目 <u>を</u> ⁽²⁾ 見ながら、頭の中 <u>に</u> ⁽³⁾ は、日本で勉強するのが違くないかと思っていました。	1コソア 2格 *ヲ/ー デ 3格 *ニ/ーデ
4388	マレーシア 28 自由作文 18	その中は、 <u>娯楽</u> ⁽¹⁾ 場所や <u>ホテル</u> ⁽²⁾ や <u>スポーツ設</u> ⁽³⁾ などが入っていて、一番人気があるのは有名なカジノで、いっぱい <u>ホテル</u> ⁽⁴⁾ の中 <u>で</u> ⁽⁵⁾ あります。	1N 2表記 3表記 複 N 4格 *デ/ーニ
4389	マレーシア 29 自由作文 17	教育水準を高められれば、その知識と技術を <u>使えて</u> ⁽¹⁾ 、国のたくさん天然資源たとえば石油や錫やゴムや木や農作物などで <u>利用して</u> ⁽²⁾ 、工業を <u>盛ん</u> ⁽³⁾ に進歩的な工業国になると思います。	1*テ形 2格 *デ/ーヲ 3VP
4390	スペイン 2 聴解要約 6	それから、あきはばら <u>で</u> ⁽¹⁾ 買物をする <u>の</u> ⁽²⁾ ために行った。	2接 *ノデ/ーしニ 1 格 *デ/ーハ
4391	スペイン 2 パターン作文 11	しかし魚は足が <u>ない</u> ⁽¹⁾ 車道 <u>で</u> ⁽²⁾ 歩けません。	1接 *0 /ーノデ 2格 *デ/ーヲ
4392	フィリピン 1 パターン作文 5	フィリピン大学 <u>に</u> ⁽¹⁾ 交通工学の <u>が</u> ⁽²⁾ っかを教えています。	格 *ニ/ーデ
4393	フィリピン 1 パターン作文 8	環境科学 <u>に</u> ⁽¹⁾ は 交通の環境も <u>ん</u> ⁽²⁾ だいを勉強しています。	格 *ニは/ーデは
4394	ナイジェリア 1 自由作文 2	ナイジェリア <u>て</u> ⁽¹⁾ <u>一</u> ⁽²⁾ ふるいまちがおおい。	1発音 2格 *デ/ーニ 取立 *0 /ーハ
4395	ナイジェリア 1 自由作文 3	たとえば、イフェロイフェ <u>で</u> ⁽¹⁾ たくさん <u>じん</u> ⁽²⁾ じゃ <u>である</u> ⁽³⁾ 。	1格 *デ /ーニ 取立 *0 /ーハ 2*ダ
4396	エチオピア 1 パターン作文 6	にぎのために、 <u>せ</u> ⁽¹⁾ <u>か</u> ⁽²⁾ <u>つ</u> ⁽³⁾ らくなる <u>よ</u> ⁽⁴⁾ にほほ研すそのために日本 <u>べん</u> ⁽⁵⁾ <u>け</u> ⁽⁶⁾ よ します。	1,3,5発音 2格 *0 /ー ガ 3格 *0 /ーデ
4397	ヨルダン 1 聴解要約 2	郵便局 <u>で</u> ⁽¹⁾ <u>行</u> ⁽²⁾ た <u>電</u> ⁽³⁾ 車 <u>を</u> ⁽⁴⁾ の <u>て</u> ⁽⁵⁾ 駅の前 <u>に</u> ⁽⁶⁾ 小林さん <u>に</u> ⁽⁷⁾ 電話をした。	4活用 2発音 3格 *ヲ /ーニ 1格*0 /ーニ 5 格*ニ/ーデ 2-連用 形
4398	ヨルダン 1 聴解要約 3	<u>タキソ</u> ⁽¹⁾ で会社のいちょうに行た会社の前 <u>に</u> ⁽²⁾ 女 <u>らし</u> ⁽³⁾ <u>み</u> ⁽⁴⁾ た。会社の同僚 <u>こ</u> ⁽⁵⁾ かい した。	1,3,5発音 2格 *ニ/ー デ 3格 *0 /ーヲ
4399	イラク 1 自由作文 6	経済改革の一方 <u>一</u> ⁽¹⁾ 、人材の欠乏は深刻な問題 <u>に</u> ⁽²⁾ なる。	1格 *0 /ーデ 2-テ イル
4400	インド 1 自由作文 3	部屋の中 <u>で</u> ⁽¹⁾ 台所や風呂場や便所などありませんがアパートの中 <u>で</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽³⁾ あります。	1,2格 *デ/ーニ 3取 立 *ガ/ーハ
4401	インド 1 自由作文 11	部屋の中 <u>で</u> ⁽¹⁾ こたつやシャツのたんすやベッドや本ばこや電燈や窓などがあります。	格 *デ/ーニ
4402	インド 1 自由作文 12	本ばこの中 <u>で</u> ⁽¹⁾ 日本語の本と辞書がなっています。	格 *デ/ーニ
4403	インド 2 自由作文 4	部屋の中 <u>で</u> ⁽¹⁾ 、こたつとベッドがあります。	格 *デ/ーニ

4404	インド 2 自由作文 7	かべで <u>お</u> おきい日本の地図や書棚やふるい時けいや字が <u>書</u> いてある <u>ふ</u> たつ <u>の</u> かみがあります。	1格 *デ/ーニ 2数
4405	インド 2 自由作文 10	こ <u>こ</u> ですわって、テレビを <u>み</u> て、 <u>気</u> 持がいいです <u>ね</u> 。	1格 *デ/ーニ 2接 * テ形/ート 3スタイ ル
4406	インド 3 自由作文 16	<u>部</u> 屋で私はとても <u>満</u> 意です。	1コソア 2格 *デ/ー ニ 3N
4407	インド 4 自由作文 9	私 <u>は</u> 、自分 <u>で</u> 物は、ベッドと <u>こ</u> だつ <u>と</u> 小さいたんす とい <u>す</u> があります。	1取立 *ハ/ーノ連 2 格 *デ/ーノ連 3発音
4408	インド 6 自由作文 2	私のアパートは7人 <u>住</u> んでいます。	格 *0/ーデ
4409	インド 7 自由作文 3	部屋の中 <u>で</u> <u>で</u> んと <u>や</u> つくえやテレビ <u>な</u> と <u>が</u> あります。	1格 *デ/ーニ 2取立 *0/ーハ 3,4 発音
4410	インド 7 自由作文 4	台所の中 <u>で</u> <u>冷</u> 蔵庫があります。	1格 *デ/ーニ 2取立 *0/ーハ
4411	インド 7 自由作文 9	私のふくは <u>全</u> 部に <u>ふ</u> く <u>た</u> んす <u>で</u> <u>あ</u> ります。	1Ad 2格 *デ/ーニ 3 V
4412	インド 8 自由作文 25	この部屋 <u>が</u> <u>一</u> 番 <u>こ</u> まることは、日 <u>が</u> <u>さ</u> し <u>こ</u> みません <u>。</u>	1格 *ガ/ーデ 2ー名 詞節
4413	インド 15 自由作文 5	畳の部屋の真中 <u>で</u> <u>こ</u> たつと椅子 <u>が</u> あります。	格 *デ/ーニ
4414	インド 15 自由作文 8	本箱の中 <u>で</u> <u>本</u> を <u>並</u> べて <u>、</u> <u>上</u> に日本へ来 <u>た</u> から秋葉 原で <u>買</u> ったテレビと <u>覚</u> 目 <u>ど</u> けい <u>が</u> おいてあります。	1格 *デ/ーニ 2表記 3複 V 接 4* タ/ーテ 5表記
4415	インド 15 自由作文 10	左の方 <u>は</u> <u>冷</u> 蔵庫のとりにくろい本箱 <u>も</u> <u>あ</u> るが中 <u>で</u> 日用品とテープ <u>お</u> いて、本 <u>で</u> は <u>あ</u> りません。	1取立 *0は/ーニは 2格 *モ/ーガ 3格 *デ/ ーニ 4格 *0/ーガ 5 ーテアル
4416	インド 15 自由作文 13	かべで <u>カ</u> レンタ <u>が</u> はってあります。	1格 *デ/ーニ 2表記
4417	インド 17 自由作文 19	テレビの反対 <u>が</u> <u>わ</u> で、ラジカセ <u>を</u> <u>見</u> ます。	1格 *デ/ーニ 2格 * ラ/ーガ 3自他
4418	インド 17 自由作文 20	このあいわのラジカセは、東武 <u>デ</u> ーパト <u>か</u> ら <u>か</u> いまし た。	1表記 2格 *カラ/ー デ
4419	インド 18 自由作文 8	いえのしゅうい <u>で</u> <u>さ</u> まざまな花 <u>が</u> うえてあります。	格 *デ/ーニ
4420	インド 18 自由作文 15	台所の中 <u>で</u> <u>ひ</u> とつ窓 <u>が</u> <u>あ</u> って、毎朝 <u>あ</u> さかすみ <u>を</u> <u>み</u> な がら <u>は</u> <u>を</u> <u>み</u> がきます。	1格 *デ/ーニ 2語順 3発音
4421	インド 18 自由作文 18	さていまのなか <u>で</u> 、ベッドや押し入れやテレビやほんば こなど、いろいろなか <u>が</u> あります。	格 *デ/ーニ
4422	インド 19 自由作文 9	私は毎週月曜日 <u>か</u> ら、金曜日 <u>ま</u> で学校 <u>に</u> <u>勉</u> 強します。	格 *ニ/ーデ
4423	インド 20 自由作文 5	私 <u>は</u> <u>へ</u> やのなか <u>で</u> <u>い</u> ろいろな部品 <u>が</u> あります。	1取立 *ハ/ーノ 2格 *デ/ーニ
4424	インド 20 自由作文 10	おおやさんは毎週二回 <u>か</u> 三回 <u>で</u> <u>う</u> ちへ来て <u>整</u> 頓 <u>し</u> ます。	1格 *デ/ーニ 2N

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4425	インド 20 自由作文 12	いえは三人 <u>に</u> 住んでいます。	格 *ニ/ーデ
4426	インド 21 自由作文 7	窓がわ <u>で</u> 本箱があります。	格 *デ/ーニ
4427	インド 21 自由作文 17	ときどき、自転車にのって川越 <u>で</u> 買物 <u>へ</u> 行きます。	1格 *デ/ーニ 2*へ/ ーニ
4428	インド 21 自由作文 18	日本 <u>には</u> <u>また</u> 遠い地方へ <u>行きません</u> が夏休み <u>の時</u> 山と海へ行きたいです。	1格 *ニは/ーデは 2 発音 Ad 副用3*ル/ ーテイル 4副用
4429	インド 23 自由作文 10	いま <u>、</u> 自分 <u>で</u> へやを <u>紹介する</u> 。	1格 *0/ーカラ 2格 *デ/ーノ 3V
4430	インド 24 自由作文 17	台所と部屋が戸 <u>に</u> 分かれています。	格 *ニ/ーデ
4431	インド 28 自由作文 2	先週 <u>の</u> 土曜日 <u>に</u> テレビ <u>から</u> 見た <u>の</u> 映画は本当にいい映画です。	1格 *0/ーニ 2*カラ /ーデ 3体修
4432	インド 28 自由作文 3	今 <u>まで</u> も心に残っています。	格 *マデ/ー0
4433	インド 28 自由作文 10	映画の中 <u>で</u> たくさん <u>、</u> 美しい歌があります。	1格 デ/ーニ 2*0/ー ノ連
4434	インド 28 自由作文 11	私はこの映画 <u>見る</u> あとで、自分の <u>感覚</u> はもし世界の中 <u>で</u> 戦争 <u>は</u> ない、いい <u>わね</u> と思いました。	1ル/ータ 2N 3格 デ /ーニ 4取立 ハ/ー ガ 5接条件 *0/ー タラ 6ムード
4435	インド 31 自由作文 1	現代の社会 <u>では</u> 、なぜ「広告」が大切か。	格 *デは/ーニは
4436	インド 31 自由作文 10	なぜかという、いま工業社会と呼ばれている <u>の</u> 生活 <u>に</u> 、みんな <u>ほとんど</u> 毎日 <u>緊張</u> な気がなっている、毎日 <u>見た</u> <u>のは</u> 冷たい <u>の</u> 建物、と無表情 <u>の</u> 顔。	1,6,7*ノ連 体修 2格 ニ/ーデ 3発音 4VP 5*タ/ール
4437	インド 34 自由作文 10	教室 <u>の</u> 以外 <u>には</u> 彼を私達のピンポンの <u>教連</u> にしたりしていました。	1*ノ連 2格 *ニは/ー デは 3N
4438	インド 35 自由作文 3	日本へ来たばかり <u>、</u> 時々故郷のいろいろな <u>人物</u> とか景色とか思い出しています。	1格 *0/ーデ 2N
4439	インド 35 自由作文 12	ご飯のあとに兄弟と <u>いどこ</u> たちと一緒に軒の上 <u>に</u> 星を見ました。	1発音 2格 *ニ/ーデ
4440	インド 35 自由作文 15	小学校の卒業試験 <u>に</u> 私は50円をもらって、とてもうれしかった。	格 *ニ/ーデ
4441	インド 37 自由作文 8	また、ふたりの愛情 <u>な</u> 非常に <u>可貴</u> 、私は、「汪洋中の一条船」 <u>、</u> 映画 <u>見た</u> とき感動 <u>、</u> 非常に <u>涙</u> が泣きました。	1取立 ーハ 2NA 3ト イウ 4格 *0/ーヲ 5 格 *0/ーデ 6VP
4442	インド 39 自由作文 12	林の山 <u>には</u> 、おいしいくだものがあるし、川が <u>ある</u> し、川の中 <u>に</u> 魚を <u>捕る</u> し、ときどき <u>川中</u> <u>に</u> 泳ぎました。	1体修 2並V 3格 *ニ /ーデ 4並V 5複N 6格 *ニ/ーデ 7発音
4443	インド 39 自由作文 15	子供 <u>時</u> 、お弟 <u>は</u> 、林 <u>に</u> 蚊をかみました。	1ーノ連 2表記 3格 * ニ/ーデ
4444	インド 40 自由作文 21	たくさんの木 <u>と</u> 花がならんで、毎日、花と木の間 <u>に</u> 遊んで <u>いった</u> 。	1並N *ト/ーヤ 2格 *ニ/ーデ 3発音

4445	インド 40 自由作文 30	休みの <u>間に</u> 、 <u>ときとき</u> 友達と一緒に、竹林 <u>に遊んで</u> いた。 (1) (2) (3) (4)	1副用 2発音 3格 *ニ /ーデ 4発音
4446	インド 41 自由作文 10	雨なら、家の前 <u>にサッカー</u> をする。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2表記
4447	インド 41 自由作文 12	風の季節がくると、たこ <u>を遊ぶ</u> 、近くには広場があるから、みんなとたこを作ったあとで、たこの <u>きれい</u> 、大きさ、高さを比べる、そして、 <u>リーダ</u> <u>になった</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーデ 2N 3 表記 4V
4448	インド 43 自由作文 9	寒くなる時自分 <u>に気をつけて</u> 下さい。	格 *ニ/ーデ
4449	インド 44 自由作文 20	このふたりだけ <u>、</u> ふたり山の中で遊んだり、川で魚を取ったり、いろいろな自分 <u>好きなこと</u> <u>しました</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *0/ーデ 2格 ー ノ連 3格 *0 /ーヲ
4450	インド 45 自由作文 9	国 <u>では</u> 、農業国で、化学工業などがまだ急速な発展を遂げていません。	格 *デ/ー0
4451	インド 46 自由作文 8	近況、日本 <u>について</u> 、この方面の発展はきわめて <u>進歩</u> <u>しています</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *ニツイテ /ーデ 取立 *0 /ー ハ 3V
4452	インド 47 自由作文 2	私は日本の <u>発達</u> の木土工程を学ぶために日本の大学で、 留学する <u>つもりです</u> 。 (1) (2) (3)	1品詞 *N/ーV 2格 *デ/ーニ 3ムード
4453	インド 47 自由作文 4	国の鉄道や橋などが、いつも、ちいさい天災 <u>の</u> 、こわれる <u>わけ</u> です。 (1) (2)	1*ノ連 格 *0 /ーデ 2一名詞節
4454	インド 48 自由作文 5	しかし、 <u>コンピューター</u> について、国 <u>はこの方面の専門</u> <u>学校がすくないです</u> から。 (1) (2) (3)	1発音 2格 *0は/ー デは 3接 *カラ /ー 0
4455	インド 50 自由作文 3	というのは、私の国 <u>には</u> いろいろな撮影器材はほとんど日本から <u>輸入</u> されました。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーデ 2複V 3*タ/ール
4456	インド 50 自由作文 5	私は自分の国 <u>に</u> 日本の雑誌を見ても日本へ来て日本のテレビを見ても、やはり日本は「東方の芸術の国」と言える <u>でしょう</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2ムード
4457	フィンランド 2 自由作文 9	たんすの中 <u>で</u> <u>ようふく</u> と旅行かばんがあります。 (1) (2)	1格 *デ/ーニ 2取立 *0 /ーハ
4458	フィンランド 2 自由作文 20	<u>わかりません</u> の ことばは <u>時</u> <u>辞書</u> が <u>すぐ</u> しらべます。 (1) (2) (3)	1*体修 2Ad 3格 *ガ/ ーデ
4459	フィンランド 4 自由作文 17	服と生活必需品が窓の左側にある押し入れ <u>で</u> 入れてあります。	格 *デ/ーニ
4460	フィンランド 5 自由作文 29	日本語 <u>早く</u> 発表したい。	格 *0 /ーデ
4461	フィンランド 6 自由作文 13	<u>むちゅうな</u> 仕事をつづけました。	品詞 *NA /ーN 格 ーデ 副用
4462	フィンランド 6 自由作文 14	私が <u>ほうどんと</u> <u>そば</u> <u>に</u> 数字を <u>かき</u> たり、文献をしらべ <u>ました</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1発音 2格 *ニ/ーデ 3活用 4並V
4463	フィンランド 7 自由作文 5	私の国 <u>では</u> 、人参という物があります <u>ので</u> それが、どんな、病気にもよく、きくんです。 (1) (2)	1格 *デは/ーニは 2 接 *ノデ/ーガ

5.1.5. 格助詞ト

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4464	台湾 2 聴解要約 9	写真を見る <u>時に</u> 「すごい」 <u>て</u> 「きれいな」などの言葉 と <u>ときどき</u> <u>言</u> った。 _{(1) (2) (3)}	3格 *ト/ーヲ 1接 * トキ/ーテ形 接 *ト キ/ーナガラ 2並N * テ/ーヤ
4465	台湾 8 自由作文 9	主としては日本で学んだものを帰国後の勤務上に発揮で きる <u>ように</u> <u>思</u> います。 _{(1) (2)}	1VP V 2格 *0 / ト
4466	台湾 22 自由作文 11	八月十九日に、会社は夏休で私や姉や姉の主人など <u>が</u> 一 緒に山梨県へぶどうやももを狩に行きました。	格 *ガ/ート
4467	中国 3 聴解要約 9	駅前の電話 bok <u>に</u> <u>きれいな女の方</u> <u>を</u> 会いました。 _{(1) (2) (3) (4)}	1表記 3格 *ニ/ーデ 2一名詞 4格 *ヲ/ー ト/ーニ
4468	中国 3 聴解要約 17	タクシーを <u>おりました</u> の <u>とき</u> 、二回きれいな方 <u>を</u> 会 いました。 _{(1) (2) (3)}	1スタイル 3格 *ヲ/ ーニ/ート 2ノ連 体 修
4469	中国 3 聴解要約 21	そのとき、又、女の方 <u>を</u> <u>三回</u> 会いました。 _{(1) (2)}	1格 *ヲ/ート/ーニ 2 数
4470	中国 17 自由作文 10	という問題を考えたら、これ <u>と</u> 教育普及 <u>の</u> 関係がある にちがいありません。 _{(1) (2)}	1取立 *ト/ーハ 2格 *ノ/ート
4471	中国 18 自由作文 8	何でもできる <u>優れた</u> 国 <u>として</u> <u>消防隊員の動作がそん</u> なに遅いのは本当にふしぎです。 _{(1) (2) (3)}	1*タ/ーテイル 2格 * ト/ーニ 3取立*0 / ーハ
4472	中国 45 自由作文 11	いみはたいいわかりますがよみかた <u>と</u> <u>ちゅうごくご</u> <u>が</u> ちがいます。 _{(1) (2)}	1格 *ト/ーガ 2*ガ/ ート
4473	中国 52 自由作文 11	わたしの <u>ほうしゅうにん</u> は「よくなったよ、頑ばりまし よう」 <u>い</u> いました。 _{(1) (2)}	1発音 表記 2格 *0 / ート
4474	中国 58 自由作文 11	図書館で宿題をしたり、友だち <u>を</u> 話したりしました。	格 *ヲ/ート
4475	韓国 9 聴解要約 4	あとで、ヤンさんと太郎さんはあるみせへ入って、いろ いろなオーディオを見て店員とかいたいもののねだん <u>と</u> <u>取り引き</u> した。 _{(1) (2)}	1格 *ト/ーヲ 2V
4476	韓国 16 自由作文 8	もっと熱心に勉強して <u>帰</u> て行くころには笑顔 <u>に</u> 日本 <u>と</u> 離れたい。 _{(1) (2) (3)}	1活用(V) 発音 2格 * ニ/ーデ 3格*ト/ー ヲ
4477	韓国 20 自由作文 10	韓国の漢字は日本の漢字が <u>いみがたいへん</u> 同じですが、 <u>読の方</u> <u>が</u> ちがいます からです。 _{(1) (2) (3) (4)}	1格*ガ/ート 2Ad 副 用 3複N 4スタイル
4478	韓国 21 自由作文 5	日本の字はにている <u>と</u> みえますからわたしはただしくな いことばをつかうことがあります。	格 *ト/ーヨウニ
4479	韓国 23 自由作文 7	学校が社会人になる <u>準備段階</u> <u>が</u> なるように学校教育 の実質化を <u>実</u> 現します。 _{(1) (2) (3)}	1体修 2格 *ガ/ート 3V
4480	韓国 32 自由作文 6	その中 <u>に</u> 私 <u>は</u> <u>興</u> 趣 <u>を</u> 持っているのは、デパート <u>か</u> ス ーパーの経営制度です。 _{(1) (2) (3) (4)}	1格 *ニ/ーデ 2取立 *ハ/ーガ 3N 4格 * カ/ート

4481	アメリカ 3 自由作文 18	わたしたちもだちはいっしょに <u>べんきょう</u> WPした <u>こと</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *タ/ート 2発音 3*タ/ール 4熟語
4482	タイ 1 聴解要約 9	この日は大家さんにあいさつしにいきました、引越しの <u>そうば</u> <u>と</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1発音 2格 *ト/ーヲ 表記 3複 V
4483	香港 6 自由作文 14	戦後、貿易主導重化学工業中心の日本経済の発展 <u>と</u> <u>続</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>都</u> <u>市</u> <u>化</u> <u>が</u> 、農業と農民に及ぼした影響である。	格 *ト/ーニ
4484	香港 7 自由作文 29	初期の作には、浪漫的色調の強いものが見られたが「虞美人草」を頂点 <u>に</u> <u>し</u> <u>て</u> 散文的なものに移っていった。	格 *ニ/ート
4485	香港 20 自由作文 12	特に徳川家康の江戸時代に二百年くらい鎖国政策を設けた後、日本人は外の世界 <u>を</u> <u>接</u> <u>触</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>機</u> <u>会</u> <u>は</u> <u>ほ</u> <u>と</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ート/ーニ 2表記 3取立 *ハ/ーガ
4486	香港 23 自由作文 26	文化的条件について見ると、日本人は明治以降、外国文化 <u>を</u> <u>接</u> <u>触</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>の</u> 、一方交通の文化だけである。 (1) (2)	1格 *ヲ/ート 2*ル/ーテイル
4487	香港 25 自由作文 27	しかし、日本では、自分の辞典は「日本語辞典」よりも、「国語辞典」 <u>が</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>呼</u> <u>ば</u> <u>れ</u> <u>る</u> 。	格 *ガ/ート
4488	香港 25 短文作文 7	この証拠によって、彼女 <u>は</u> <u>犯</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>ざ</u> <u>る</u> <u>を</u> <u>え</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1取立 *ハ/ーガ 2- 名詞節 3格 *ガ/ート
4489	香港 26 自由作文 5	この表記法は日本人の生活 <u>に</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>な</u> <u>関</u> <u>係</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	格 *0/ート
4490	イラン 1 パターン作文 3	それにイランのりょうり <u>と</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>の</u> <u>り</u> <u>ょう</u> <u>り</u> <u>を</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>べ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	&表現 1取立 格 *ト/ーハ 2格 *ヲ/ート
4491	マレーシア 15 自由作文 8	おばさんの <u>親</u> <u>切</u> <u>に</u> <u>話</u> <u>によ</u> <u>ると</u> 、それ <u>わ</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>人</u> <u>と</u> <u>信</u> <u>仰</u> <u>に</u> <u>関</u> <u>係</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1活用(NA) *ニ/ーナ 2表記 3格 *ト/ーノ 連 4複 V
4492	マレーシア 21 自由作文 13	伍さんと林さんの <u>た</u> <u>す</u> <u>け</u> <u>を</u> <u>も</u> <u>ら</u> <u>っ</u> <u>た</u> 、いろいろな料理をつくって、友達と後に住んでいる日本人の家族 <u>を</u> <u>一</u> <u>緒</u> <u>に</u> <u>た</u> <u>べ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1VP 接 2格 *ヲ/ート
4493	マレーシア 29 自由作文 9	マレーシアは <u>マ</u> <u>シ</u> <u>ー</u> <u>系</u> <u>と</u> <u>中</u> <u>国</u> <u>系</u> <u>と</u> <u>イ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>系</u> <u>の</u> <u>民</u> <u>族</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>て</u> 、ほかの少数民族 <u>と</u> <u>組</u> <u>合</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1表記 2格 *とシテ/ート 3V
4494	インド 1 自由作文 2	私の部屋は四畳半で、 <u>私</u> <u>と</u> <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>は</u> <u>渡</u> <u>辺</u> <u>荘</u> <u>の</u> <u>ア</u> <u>パ</u> <u>ー</u> <u>ト</u> <u>に</u> <u>住</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	&表現 1格 ート 2- トイウ
4495	インド 18 自由作文 6	コーポ <u>に</u> <u>言</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ/ート 2*ル/ーテイル
4496	インド 21 自由作文 12	ときどき、友達 <u>に</u> <u>一</u> <u>緒</u> <u>に</u> <u>食</u> <u>事</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	格 *ニ/ート
4497	インド 24 自由作文 11	外から <u>入</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>時</u> 、右側 <u>と</u> <u>バ</u> <u>ス</u> <u>や</u> <u>お</u> <u>手</u> <u>洗</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1接 条件 *トキ/ート 2格 *ト/ーニ
4498	インド 24 自由作文 38	<u>あ</u> <u>る</u> <u>時</u> 、窓をあけて、下に住ん <u>る</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>友</u> <u>達</u> <u>と</u> <u>話</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2? 3体修 * ノ連/ー0 4格 *0/ート

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4499	インド 32 自由作文 7	いつも、自分にもういいよ、食べたら、お金がなくなっ てしまうよ、とかすぐふとるよとかと戒めたりしても、 おいしい食べ物の前 <small>(2)</small> に、食欲が <small>(1)</small> なま <small>(3)</small> らないのです。	1格 *ト/ーO 2取立 ニ/ーテハ 3発音 V
4500	インド 36 自由作文 6	父母の教育方針とか人 <small>(1)</small> に交際すること <small>(2)</small> を私 <small>(3)</small> に影響が多 いと思います。	1格 *ニ/ート 2格 * ヲ/ーガ 3表現
4501	インド 44 自由作文 10	そして、と先生 <small>(1)</small> に <small>(2)</small> 一緒に住んでいました。	1C 2格 *ニ/ート

5.1.6. 格助詞へ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4502	台湾 3 自由作文 9	教師のとき ⁽¹⁾ 、 <u>毎土曜日</u> ⁽²⁾ <u>あるいは</u> ⁽³⁾ <u>日曜日</u> ⁽⁴⁾ 、いつも生徒と一緒に <u>台北</u> ⁽⁵⁾ <u>の</u> <u>近い所</u> ⁽⁶⁾ <u>ハイキングする</u> ⁽⁷⁾ 、ハイキングしながら <u>地形</u> や <u>地理</u> 方面の <u>知識</u> も生徒に教えました。	1取立 *0 /-ハ 2複 N 3並 N *アルイハ /-カ 4格 *0 /-ニ 5格 *ノ連 /-ニ、へ 6格 *0 /-ニ、へ 7接一テ形
4503	台湾 9 自由作文 11	そして、 <u>中華民国</u> 柔道チームの選手と <u>なった</u> 、 <u>国外</u> ⁽¹⁾ <u>へ</u> ⁽²⁾ <u>試合に</u> <u>参加した</u> 、 <u>卒業</u> ⁽³⁾ <u>をしたら</u> ⁽⁴⁾ <u>警官学校</u> ⁽⁵⁾ <u>に勤めて</u> 柔道を教えている。	1,3-連用形 2格 *へ /-デ 4-テ形 接 *タラ /-カラ 5取立 *0 /-ハ
4504	中国 18 自由作文 13	<u>どちら</u> ⁽¹⁾ <u>行っても</u> ⁽²⁾ <u>車で</u> ⁽³⁾ <u>いっばい</u> ⁽⁴⁾ <u>です</u> 。 <u>それを見た</u> ⁽⁵⁾ <u>わたし</u> ⁽⁶⁾ <u>が</u> ⁽⁷⁾ <u>この点</u> ⁽⁸⁾ <u>は</u> ⁽⁹⁾ <u>たぶん</u> ⁽¹⁰⁾ <u>国</u> ⁽¹¹⁾ <u>の</u> <u>発達</u> ⁽¹²⁾ <u>するにつれて</u> ⁽¹³⁾ <u>増える</u> ⁽¹⁴⁾ <u>と思</u> ⁽¹⁵⁾ <u>います</u> 。	1不定 2格 *0 /-へ 3表現 体修 4取立 *ガ /-ハ 5*ノ連
4505	中国 27 自由作文 2	わたしはきょねん ⁽¹⁾ <u>じゅう</u> ⁽²⁾ <u>に</u> ⁽³⁾ <u>が</u> ⁽⁴⁾ <u>つ</u> ⁽⁵⁾ <u>に</u> ⁽⁶⁾ <u>ほん</u> ⁽⁷⁾ <u>へ</u> ⁽⁸⁾ <u>つ</u> ⁽⁹⁾ <u>き</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ま</u> ⁽¹¹⁾ <u>し</u> ⁽¹²⁾ <u>た</u> 。	1-ノ連 2格 *0 /-ニ 3*へ /-ニ
4506	韓国 6 パターン作文 3	そして安いものとか <u>便利</u> ⁽¹⁾ <u>もの</u> ⁽²⁾ <u>とか</u> ⁽³⁾ <u>生活</u> ⁽⁴⁾ <u>に</u> ⁽⁵⁾ <u>必要</u> ⁽⁶⁾ <u>なもの</u> ⁽⁷⁾ <u>を</u> ⁽⁸⁾ <u>近</u> ⁽⁹⁾ <u>い</u> ⁽¹⁰⁾ <u>店</u> ⁽¹¹⁾ <u>へ</u> ⁽¹²⁾ <u>買</u> ⁽¹³⁾ <u>い</u> ⁽¹⁴⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁵⁾ <u>す</u> 。	2格 *へ /-デ 1NA 活用
4507	インドネシア 2 聴解要約 8	それからあきはばら ⁽¹⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>テープレコーダー</u> ⁽³⁾ <u>を</u> ⁽⁴⁾ <u>買</u> ⁽⁵⁾ <u>っ</u> ⁽⁶⁾ <u>て</u> ⁽⁷⁾ <u>行</u> ⁽⁸⁾ <u>っ</u> ⁽⁹⁾ <u>た</u> 。	1格 *デ /-へ 2VP *テ形 /-シニ
4508	インドネシア 5 自由作文 3	私の日本語のべんきょうのもくてきは日本 ⁽¹⁾ <u>へ</u> ⁽²⁾ <u>電子</u> ⁽³⁾ <u>の</u> <u>勉強</u> ⁽⁴⁾ <u>に</u> ⁽⁵⁾ <u>行</u> ⁽⁶⁾ <u>き</u> ⁽⁷⁾ <u>ま</u> ⁽⁸⁾ <u>す</u> ⁽⁹⁾ <u>。</u> ⁽¹⁰⁾	1格 *へ /-デ 2格 *ニ /-ヲ 3V 4-名詞 節 5-ダ
4509	マレーシア 13 会話作文 2	つまり、私が日本に来たのは、 <u>私</u> ⁽¹⁾ <u>自分</u> ⁽²⁾ <u>で</u> ⁽³⁾ <u>ほんと</u> ⁽⁴⁾ <u>に</u> ⁽⁵⁾ <u>この</u> ⁽⁶⁾ <u>国</u> ⁽⁷⁾ <u>が</u> ⁽⁸⁾ <u>来</u> ⁽⁹⁾ <u>たい</u> ⁽¹⁰⁾ <u>の</u> ⁽¹¹⁾ <u>が</u> ⁽¹²⁾ <u>必要</u> ⁽¹³⁾ <u>です</u> 。	1N 2発音 3格 *ガ /-へ 4複V
4510	マレーシア 20 自由作文 12	店長と所長は <u>北海道</u> ⁽¹⁾ <u>から</u> ⁽²⁾ 、 <u>来年</u> ⁽³⁾ <u>に</u> ⁽⁴⁾ <u>帰</u> ⁽⁵⁾ <u>る</u> ⁽⁶⁾ <u>つ</u> ⁽⁷⁾ <u>も</u> ⁽⁸⁾ <u>り</u> ⁽⁹⁾ <u>だ</u> 。	1格 *カラ /-へ 2*ニ /-0
4511	マレーシア 21 自由作文 10	<u>第三週間</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> ⁽²⁾ <u>水曜日</u> ⁽³⁾ <u>に</u> ⁽⁴⁾ <u>先生</u> ⁽⁵⁾ <u>と</u> ⁽⁶⁾ <u>別科生</u> ⁽⁷⁾ <u>みな</u> ⁽⁸⁾ <u>一緒</u> ⁽⁹⁾ <u>に</u> ⁽¹⁰⁾ <u>東京</u> ⁽¹¹⁾ <u>の本屋</u> ⁽¹²⁾ <u>本</u> ⁽¹³⁾ <u>を</u> ⁽¹⁴⁾ <u>さが</u> ⁽¹⁵⁾ <u>し</u> ⁽¹⁶⁾ <u>に</u> ⁽¹⁷⁾ <u>行</u> ⁽¹⁸⁾ <u>き</u> ⁽¹⁹⁾ <u>ま</u> ⁽²⁰⁾ <u>し</u> ⁽²¹⁾ <u>た</u> 。	1N 2格 *0 /-へ
4512	スペイン 2 聴解要約 6	それから、あきはばら ⁽¹⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>買物</u> ⁽³⁾ <u>を</u> ⁽⁴⁾ <u>する</u> ⁽⁵⁾ <u>の</u> ⁽⁶⁾ <u>な</u> ⁽⁷⁾ <u>ので</u> ⁽⁸⁾ <u>行</u> ⁽⁹⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>た</u> 。	2接 *ノデ /-シニ 1格 *デ /-へ
4513	インド 7 自由作文 14	毎日学校 ⁽¹⁾ <u>へ</u> ⁽²⁾ <u>帰</u> ⁽³⁾ <u>る</u> ⁽⁴⁾ <u>と</u> ⁽⁵⁾ <u>き</u> ⁽⁶⁾ <u>写</u> ⁽⁷⁾ <u>真</u> ⁽⁸⁾ <u>を</u> ⁽⁹⁾ <u>み</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ま</u> ⁽¹¹⁾ <u>す</u> 。	1格 *へ /-カラ 2接 *トキ /-ト
4514	インド 21 自由作文 17	ときどき、自転車にのって <u>川越</u> ⁽¹⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>買物</u> ⁽³⁾ <u>へ</u> ⁽⁴⁾ <u>行</u> ⁽⁵⁾ <u>き</u> ⁽⁶⁾ <u>ま</u> ⁽⁷⁾ <u>す</u> 。	1格 *デ /-ニ 2*へ /-ニ

5.1.7. 格助詞 カラ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4515	中国 32 自由作文 5	九時ごろ家を出て教室へ <u>来て</u> 先生 <u>から</u> わたしに教えて くれます。 _{(1) (2) (3)}	1接 条件 *テ形/ート 2格 *カラ/ーガ 3受 給 スタイル
4516	中国 45 自由作文 2	わたしはごかげつ <u>の</u> まえ <u>に</u> しぶやのにほんごがっこう でにほんごをべんぎょう <u>しました</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1*ノ連/ー0 2格 *ニ /ーカラ 3*タ/ーテ イル
4517	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机のうえ <u>に</u> カ セットで音楽を <u>聞きます</u> 時にヤンさんはお風呂 <u>から</u> <u>音楽</u> を聞いて歌を <u>呼び</u> ました。 _{(1) (2) (3) (4)}	1格 *ニ/ーノ連 2表 記 活用 体修 ーテイ ル スタイル 3格 *カ ラ/ーデ4V
4518	インドネシア 2 聴解要約 5	おくさんはやんさん <u>がり</u> ょこう <u>から</u> おみやげをもらっ て、うれしかった。 _{(1) (2)}	1格 *ガ/ーニ 2*カラ
4519	香港 6 自由作文 8	この都市システムの転換 <u>について</u> 、日本の都市の <u>順位</u> <u>規模曲線</u> は明治初頭 <u>が</u> 明治後期 <u>へと</u> 転換して以降、き わめて安定した形をとってきた。 _{(1) (2) (3) (4)}	1取立 *ニツイテ/ー ハ 2複 N 3格 *ガ/ー カラ 4ーニカケテ
4520	香港 15 短文作文 8	漢字の源 <u>の</u> という点 <u>から</u> 、ひらがなとかたかなは同じ です。 _{(1) (2)}	1ダ 2格 *カラ/ーデ
4521	イラン 1 自由作文 17	それに二つとも <u>いろいろな</u> 教育 <u>から</u> えきょう <u>されてい</u> <u>る</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	2格 *カラ/ーニ 1副 用 3発音 4受身
4522	マレーシア 18 自由作文 22	小学校 <u>一年級生</u> <u>で</u> 英語を勉強します。 _{(1) (2)}	1N 2格 *デ/ーカラ
4523	マレーシア 20 自由作文 12	店長と所長は北海道 <u>から</u> 、来年 <u>に</u> 帰るつもりだ。 _{(1) (2)}	1格 *カラ/ーへ 2*ニ /ー0
4524	マレーシア 27 自由作文 4	円高のために、休みの一週間前 <u>に</u> 、アルバイトをさがし ていた。	格 *ニ/ーカラ
4525	ナイジェリア 1 聴解要約 8	ヤンさんはりょこう <u>から</u> しゃしん <u>見せて</u> あげた。 _{(1) (2)}	1格 *カラ/ーノ連 2 格 *0/ーヲ
4526	インド 7 自由作文 14	毎日学校 <u>へ</u> 帰る <u>とき</u> 写真をみます。 _{(1) (2)}	1格 *へ/ーカラ 2接 *トキ/ート
4527	インド 17 自由作文 20	このあいわのラジカセは、東武 <u>デパート</u> <u>から</u> かいまし た。 _{(1) (2)}	1表記 2格 *カラ/ー デ
4528	インド 23 自由作文 10	いま <u>、</u> 自分 <u>で</u> <u>へや</u> <u>を</u> <u>紹介</u> する。 _{(1) (2) (3)}	1格 *0/ーカラ 2格 *デ/ーノ 3V
4529	インド 28 自由作文 2	先先週の土曜日 <u>、</u> テレビ <u>から</u> 見た <u>の</u> 映画は本当にいい 映画です。 _{(1) (2) (3)}	1格 *0/ーニ 2*カラ /ーデ 3体修
4530	インド 55 自由作文 28	習慣と言語もちがう <u>ために</u> 、できるだけ、民族の平和と 平等を <u>図</u> します。 _{(1) (2)}	1格 *タメニ/ーカラ 2V

5.1.8. 格助詞 ヨリ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4531	台湾 2 パターン作文 12	単語の発音については、中国語の四つの音調の高低がむずかしいので日本語 <u>ほと</u> 中国語は非常に勉強しにくいです。 (1) (2)	2発音 1取立 *ガ/ーハ 2格(ーヨリ)
4532	台湾 24 自由作文 4	台湾のたべものやあそびものなど <u>、</u> 日本 <u>も</u> もっとやすいですから、 <u>暑</u> 休みの時に国でよくたべたり、あそんだりしました。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /ーハ 2ーヨリ 3表記
4533	中国 26 自由作文 8	にほんごのべんきょうのじかんが <u>みじかい</u> から、えいごより <u>じょうず</u> ではありません。 (1) (2) (3)	1*ル/ータ 2格 *ヨリ 3NA

5.1.9. 格助詞 ニヨッテ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4534	台湾 2 パターン作文 2	台湾と日本とのいろいろな事物をくらべる <u>ことについて</u> 、 以下は各 <u>種類</u> によって説明します。 ₍₁₎ ₍₂₎ ₍₃₎	1格 *にツイテ/ーに ヨッテ 3格 *にヨッ テ/ーにツイテ 2N
4535	韓国 7 自由作文 2	日本の村落組織の中 <u>で</u> 若者組をしらべると、東日本の若 者組は長男 <u>として</u> 構成されている。 ₍₁₎ ₍₂₎	2格 *とシテ/ーにヨ ッテ 1格 *デ/ーノ ノ連
4536	韓国 7 自由作文 6	東日本 <u>は</u> 長男単独相続のために、若者組が長男 <u>として</u> 構成される。 ₍₁₎ ₍₂₎	2発音 1格 *0は/ー デは 2格 *とシテ/ー にヨッテ
4537	香港 16 短文作文 3	この美しい庭は雪舟に <u>て</u> られる そうだ。 ₍₁₎ ₍₂₎ ₍₃₎	3*ル/ータ 2V 1格 * ニ/ーにヨッテ
4538	香港 18 短文作文 3	この美しい庭は雪舟 <u>で</u> 作られたそうだ。	格 *デ/ーにヨッテ
4539	香港 22 短文作文 3	この美しいにわは雪舟に <u>設計</u> されると言う。 ₍₁₎ ₍₂₎	1格 *ニ/ーにヨッテ 2*ル/ータ
4540	香港 25 短文作文 13	技術 <u>によって</u> 彼はまだ <u>青年な</u> <u>運動員</u> と負けない、とこ ろが、体力について見る限り、一番高い成就を <u>過</u> こすよ うである。 ₍₁₎ ₍₂₎ ₍₃₎ ₍₄₎	1格 *にヨッテ/ーに ツイテ 2品詞*NA/ ーA NA 3N 4自他 *ル/ータ
4541	マレーシア 11 自由作文 11	教課書 <u>によって</u> 、昔の人々はいろいろな方法をする、そ して、 <u>あす</u> の天気を予知ができる、うえに、天気予報の 重要性がわかる。 ₍₁₎ ₍₂₎ ₍₃₎	1表記 2格 *にヨッテ /ーにヨルト 3N

5.1.10. 格助詞 ニツイテ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4542	台湾 2 パターン作文 2	台湾と日本とのいろいろな事物をくらべる <u>こと</u> について、 以下は各種類 <u>によって</u> 説明します。 (1) (2) (3)	1格 *にツイテ/ーに ヨッテ 3格 *にヨッ テ/ーにツイテ 2N
4543	台湾 2 パターン作文 9	<u>語言</u> について、日本語の動詞のいろいろな変化が <u>多</u> い <u>で</u> 、敬語の用法が <u>むずかしい</u> <u>で</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1N 4,6活用 2格 にツ イテ*0 /にツイテー ハ 3*ノ連/ーハ 取 立 5取立 *ガ/ーモ
4544	中国 4 パターン作文 11	<u>味</u> にと <u>って</u> 日本料理は常にちょっとあますぎで塩もあま りつかいません。	格 *にトッテ/ーに ツイテ
4545	中国 18 自由作文 20	これから国へ帰っていろいろなことを特に印象が一番 深い <u>こと</u> を自分の国の友達に伝えようと思っています。	格 ーにツイテ
4546	香港 14 短文作文 4	かれは自分の <u>きよみ</u> や <u>すきなもの</u> などを <u>むちゅうで</u> <u>じ</u> <u>ゃ</u> へりました。 (1) (2) (3)	1,3発音 表記 2格 *ヲ /ーにツイテ
4547	香港 16 短文作文 1	私は <u>彼</u> におかしいはなしを聞く <u>まい</u> とする。 (1) (2)	2ムード 1格 *ニ/ー にツイテ
4548	香港 25 短文作文 13	<u>技術</u> によって彼はまだ <u>青年な</u> <u>運動員</u> と負けない、 <u>とこ</u> <u>ろ</u> が、体力について見る <u>限り</u> 、一番高い <u>成就</u> を <u>過</u> <u>こ</u> <u>す</u> <u>よ</u> うである。 (1) (2) (3) (4)	1格 *にヨッテ/ーに ツイテ 2品詞*NA/ ーA NA 3N 4自他 *ル/ータ
4549	香港 25 短文作文 15	そうですが、でも、人々はこれに <u>価値観</u> が <u>おおく</u> <u>変</u> <u>わる</u> のではないのでしょうか。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーノ連 2 格 *ニ/ーにツイテ 3 A 活用(A) 4*ル/ー タ
4550	香港 26 短文作文 8	<u>技術</u> について彼は若い <u>運動員</u> <u>よ</u> うな、 <u>力強</u> につい <u>て</u> 彼の <u>高峯</u> は過ぎました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2,5N 4接 1,6*にツイ テ 7*ノ/ーハ 3ノ連

5.1.11. 格助詞 ニトッテ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4551	中国 4 パターン作文 11	味 <u>にとって</u> 日本料理は常にちょっとあますぎで塩もあま りつかいません。	格 *にトッテ/ーに ツイテ
4552	韓国 25 自由作文 9	しかし私 <u>に</u> ⁽¹⁾ たいせつな物は <u>ディズニーランド</u> ⁽²⁾ <u>にと</u> ⁽³⁾ ったし ゃしんと私が韓国でとったしゃしんです。	1*ニ/ーノ連 *に0/ ーにトッテ 3格 ニ/ ーデ
4553	香港 23 自由作文 13	そして、訓読みの廃止は日本人 <u>に対する</u> よくないことで ある。	格 *にタイスル/ー にトッテ
4554	香港 24 自由作文 12	しかも、古くからならう訓読みは一旦 <u>廃止して</u> 、一般的 な人 <u>に対して</u> 、やさしいことではなさ ⁽¹⁾ そうだ。 ⁽²⁾	1*テ形 名詞節 2格 * にタイシテ/ーにト ッテ
4555	香港 25 短文作文 11	失ってみて、妻 <u>は</u> 私 <u>に</u> <u>何となく</u> <u>重要な</u> <u>ことがよく</u> <u>わ</u> <u>かられた</u> 。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ニ/ーにトッテ 3Ad 4受身
4556	マレーシア 14 自由作文 13	津波は小さい船 <u>に</u> 危険だ。	格 *ニ/ーにトッテ
4557	インド 30 自由作文 15	この事 <u>、</u> 私 <u>に</u> <u>一番</u> <u>悲しかった</u> <u>の</u> ことでした。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1取立 *0/ーハ 2格 *に0/ーにトッテ 3*タ/ール 4体修

5.1.12. 格助詞 ニタイシテ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4558	韓国 12 パターン作文 1	学園都市と他の都市 <u>が</u> <u>一番</u> <u>違いは</u> 、学園都市は前もつて都市計画が <u>できる</u> 、他の都市は自然発生に <u>なる</u> ことです。 (1) (2) (3) (4) (5)	1ノ連 2品詞 3発音 一受身 4接 一にタイシテ /ーガ /ー連用形 5V *ル /ーテイル
4559	アメリカ 1 自由作文 16	日本では大都市の周辺部 <u>人口増加のスピードがゆるく</u> <u>なって</u> 、その周辺部で人口がだんだん増加している。 (1) (2) (3)	1ーノ連 2ーテイル 接 *テ形 3名詞節 格 一にタイシテ
4560	香港 24 自由作文 12	しかも、古くからならう訓読みは一旦 <u>廃止して</u> 、一般的な人 <u>に対して</u> 、やさしいことではなさそうだ。 (1) (2)	1*テ形 名詞節 2格 * にタイシテ /ーにト ッテ
4561	マレーシア 12 自由作文 11	私たち (他の仕事の人) も、 <u>天気の変化</u> <u>を</u> 、準備するよ うに、なります、とても、便利です。	格 *ヲ /ーにタイシ テ 接 一連用形 ー テ形
4562	インド 49 自由作文 11	それを <u>対して</u> 、私 <u>が</u> <u>趣味</u> を持っています。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ /ーニ 2*に イシテ 3取立 *ガ /ー ハ

5.1.13. 格助詞 ノハウガ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4563	台湾 2 パターン作文 4	季節の変化について <u>①</u> 、台湾 <u>②</u> のほうが 一年を通じて春のような気候です。	1取立 について*0 /について-ハ 2取立 *ノハウガ /-ハ
4564	台湾 3 自由作文 12	でも、古典方面の音楽 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> <u>⑥</u> すこし <u>④</u> もっと <u>⑤</u> <u>⑥</u> すぎ <u>⑥</u> 。	1-ノハウ 2格 *0 /-ガ 3,4Ad 副用 5発音 6-ダ
4565	中国 53 自由作文 13	英語より日本語 <u>ハ</u> <u>ハ</u> むずかしいです。	取立 ハ /-ノハウガ
4566	韓国 2 パターン作文 8	では 日本 <u>①</u> のよりも <u>②</u> <u>③</u> ほうが <u>③</u> すこし <u>③</u> ふります。	1C 2ノハウガ 発音 3Ad 副用
4567	韓国 5 自由作文 2	日本の物価と韓国 <u>①</u> 物価とをくらべると日本の物価 <u>②</u> が <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> たくさん <u>④</u> 高い <u>⑤</u> である。	4品詞 *NA /-A 5ダ 1-ノ連 2熟語 -ノハウ 3Ad 副用
4568	韓国 6 自由作文 2	ラジオに対してテレビ <u>①</u> のほうが <u>②</u> 聞いたり見たり <u>③</u> します。	1*ノハウ 2取立 *ガ /-ハ 3V
4569	韓国 8 パターン作文 2	しかし飛行機と船の料金をくらべると飛行機 <u>ハ</u> が船より高いです。	-ノハウ
4570	韓国 8 パターン作文 6	同じ目的地 <u>①</u> ですが 飛行機 <u>②</u> が船より <u>③</u> 時間的 <u>③</u> で早く到着します。	1条件 -テモ 2-ノハウ 3NA 副用
4571	韓国 9 パターン作文 3	ワープロの使い方 <u>①</u> が <u>②</u> まっと <u>②</u> 複雑ですが一旦 <u>③</u> 使われれば、 <u>③</u> ひじょうに <u>④</u> 効果 <u>④</u> があります。	1-ノハウ 2表記 3活用(V) 4N
4572	韓国 11 パターン作文 8	また、あなたと私をくらべると私 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> は <u>③</u> きれい <u>③</u> です”。	1-ノハウ 3NA 2取立 *ハ /-ガ
4573	韓国 13 パターン作文 7	ソウルの方がふるさとより長いあいだ <u>①</u> <u>②</u> ですが <u>②</u> 短い <u>②</u> ふるさとの生活 <u>③</u> を思います。	1ダ 2*ル /-タ 3-ノハウ
4574	アメリカ 1 自由作文 8	まず、南米と日本を <u>①</u> くれべると南米 <u>②</u> の方が <u>③</u> 国鉄道 <u>③</u> とバス線 <u>④</u> はまだ発達中だが人口集中 <u>⑤</u> <u>⑥</u> こと <u>⑥</u> 大へんである。	1発音 2*のハウガ 3,4N 5名詞節 表現
4575	アメリカ 1 パターン作文 1	アーパート <u>①</u> と学生宿舎に住むこと <u>②</u> は、アーパート <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 住むこと <u>④</u> <u>⑤</u> は <u>④</u> <u>⑤</u> 気楽 <u>④</u> です。	1発音 2取立 *0 は /-デは 3格 *0 /-ニ 4-ノハウ 5取立 *ハ /-ガ
4576	香港 25 自由作文 22	日本では「日本語学」よりも「国語学」 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> が <u>③</u> 広まって <u>④</u> <u>⑤</u> つかう <u>④</u> 。	1-ノハウ 2副用 3格 *ガ /-ヲ 4受身
4577	インド 7 自由作文 10	日本の部屋より台湾 <u>ハ</u> 小さいです。	-ノハウ、格 *0 /-ガ

5.1.14. 連体助詞ノ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4578	台湾 2 パターン作文 9	語言 ⁽¹⁾ について ⁽²⁾ 、日本語の動詞 ⁽³⁾ のいろいろな変化が ⁽⁴⁾ 多 ⁽⁴⁾ いで、敬語の用法 ⁽⁵⁾ が ⁽⁶⁾ むすがしい ⁽⁶⁾ で。	1N 2格 にツイテ*0 /にツイテハ 3*ノ 連/ハ 取立 4,6活 用 5取立 *ガ/一モ
4579	台湾 1 パターン作文 25	生命と医学の驚異的な進歩との関係を考えてみると、大 勢 ⁽¹⁾ 人 ⁽²⁾ が ⁽³⁾ 受益 ⁽³⁾ する ⁽³⁾ ことを ⁽³⁾ も ⁽³⁾ って ⁽³⁾ います。	1一ノ連 2,3V
4580	台湾 3 自由作文 9	教師のとき ⁽¹⁾ 、毎土曜日 ⁽²⁾ あるいは日曜日 ⁽³⁾ 、いつも生 徒と一緒に台北 ⁽⁴⁾ の近い所 ⁽⁵⁾ ハイキングする ⁽⁶⁾ 、ハイキン グしながら地形や地理方面 ⁽⁷⁾ の知識も生徒に教えました。	1取立 *0 /一ハ 2複 N 3並N *アルイハ/ 一カ 4格 *0 /一ニ 5 格 *ノ連 /一ニ、ハ 6格 *0 /一ニ、ハ 7接 一テ形
4581	台湾 3 自由作文 13	更に ⁽¹⁾ 、古典の音楽をききながら、唐の詩 ⁽²⁾ 、詞 ⁽³⁾ 読むと き ⁽⁴⁾ 、感覚 ⁽⁵⁾ 一番いいと思います。	1Ad 副用 2並N *0 / 一ヤ 3格 *0 /一ヲ 4 一ノ連 5格 *0 /一ガ
4582	台湾 4 自由作文 3	生まれてからずっと台南の文化の影響をうけていたので、 私はデザインと文学 ⁽¹⁾ の趣味 ⁽²⁾ がもっている。	1格 *ノ連 /一ニ 2格 *ガ/一ヲ
4583	台湾 7 自由作文 4	木村さん ⁽¹⁾ は先月私に貸して持 ⁽²⁾ った名画家の作品のスラ ド ⁽³⁾ がもう見ましたか感想 ⁽⁴⁾ がありますか、いい作品 ⁽⁵⁾ が たくさん見て、参考して、自分 ⁽⁶⁾ にアイデアの発想に ⁽⁷⁾ 激 発 ⁽⁷⁾ なことがあるかもしれないと思います。	1取立 *ハ/一ガ 2受 給 3格 *ガ/一ヲ 4表 現 5格 *ガ/一ヲ 6一 ノ連 7NA
4584	台湾 8 自由作文 6	仕事の性質 ⁽¹⁾ は飛行機の飛行 ⁽²⁾ 安全を確保するために安全 検査を ⁽³⁾ 執行 ⁽⁴⁾ する ⁽⁴⁾ のです。	1N 2一ノ連 3一名詞 節 4*のだ
4585	台湾 8 自由作文 7	今の研究したい専門は法律の観点から企業の悪 ⁽¹⁾ 性的な倒 産による影響の研究で、それ ⁽²⁾ にしたがって ⁽²⁾ 企業倒産の可 能性を予測することや、それを回避すること、改善とい うことを日本 ⁽³⁾ で在籍期間にこれらの知識を吸収しようと 思います。	1NA 2格 に*シタガ ッテ /一ヨッテ 3 格 *デ /一ノ連
4586	台湾 9 自由作文 8	日曜日を除いて毎日二時間の稽古 ⁽¹⁾ があ ⁽²⁾ った、合宿した 時 ⁽³⁾ 毎朝一時 ⁽⁴⁾ 半のトレーニングに ⁽⁵⁾ な ⁽⁶⁾ った、その厳しい 訓練を ⁽⁷⁾ 練 ⁽⁷⁾ った、二段になった。	1,4一連用形 2*V 一 ノ連 体修 3一N 5V 連用形
4587	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文 ⁽¹⁾ のため、私に二冊の高校 及び中学校の歴史教科書を ⁽²⁾ 貸 ⁽³⁾ しましたがこの近頃 ⁽⁴⁾ 私も ち ⁽⁵⁾ よ ⁽⁶⁾ っ ⁽⁷⁾ ど ⁽⁸⁾ 参 ⁽⁹⁾ 考 ⁽⁹⁾ したい ⁽⁹⁾ です ⁽⁹⁾ ので久美子さん ⁽¹⁰⁾ はもしよ ⁽¹¹⁾ か っ ⁽¹²⁾ たら今週 ⁽¹³⁾ の金曜日 ⁽¹⁴⁾ ち ⁽¹⁵⁾ よ ⁽¹⁶⁾ っ ⁽¹⁷⁾ ど ⁽¹⁸⁾ 返 ⁽¹⁹⁾ して ⁽¹⁹⁾ くださいませんか。	1*ノ連 一V 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V/ 一N 6*ダ 7取立 *ハ /一ガ、サエ 8スタ イル 9格 *0 /一ニ
4588	台湾 12 自由作文 13	そうすると、ご都合 ⁽¹⁾ がよろしか ⁽²⁾ かったら、その二冊の本 を ⁽³⁾ 学習室 ⁽⁴⁾ に私の机の上に置いて ⁽⁵⁾ いただきたい ⁽⁶⁾ です ⁽⁶⁾ 、 よろしい ⁽⁷⁾ でしょうか。	1C 2接 *タラ/一レ バ 3格 *ニ/一ノ連 4*ダ/一ノダ 5接 一 ガ
4589	台湾 14 自由作文 8	その時、中国人が日本語を ⁽¹⁾ 習 ⁽²⁾ っている ⁽²⁾ 時 ⁽³⁾ 、初級程度 を越えた後、日本語の文と文、文章と文章の間 ⁽⁴⁾ に、接続 表現 ⁽⁵⁾ がかなり困難だと ⁽⁶⁾ 考 ⁽⁷⁾ えられた ⁽⁷⁾ ことを ⁽⁸⁾ 発見 ⁽⁸⁾ しました。	1*テイル/一ール 2格 * 0 /一ニ 3格 *ニ/一 ノ連 4V

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4590	台湾 15 自由作文 15	ただし、夏休み <u>の</u> 中には指定の宿題も <u>課業</u> もすこしも しませんでした。	1*ノ連 2N
4591	台湾 17 自由作文 3	これはかがく <u>しんぼう</u> からの <u>なやみの</u> <u>いち</u> です。	1ーノ連 2発音 3体修 4数
4592	台湾 20 自由作文 10	3、会社 <u>結構</u> を更に <u>変更</u> して <u>健全な会社</u> にするよう に検討する。	1ーノ連 2N 3V
4593	台湾 20 自由作文 12	4、会計制度 <u>健全のある</u> 会社に融資する。	1体修 2ーノ連 副用
4594	台湾 20 自由作文 13	5、政府の公共支出を増加して就業 <u>機会</u> を <u>創造</u> する。	1ーノ連 2N 3V
4595	台湾 22 自由作文 17	道の両方 <u>には</u> <u>時々</u> ネオンでかざられた夜景 <u>は</u> <u>美しい</u> で す。	1ノ連 2副 3格 *ハ/ ーガ
4596	台湾 24 自由作文 15	日本 <u>に</u> <u>生活</u> について、家族にはなして、家族は家や国の いろいろなことを私にしらせました。	格 *ニ/ーノ連
4597	台湾 24 自由作文 17	深夜 <u>の</u> <u>時間</u> 、勉強のこともわすれないように勉強して いました。	1格 *ノ連/ーニ 2副 用 *時間
4598	中国 3 聴解要約 17	タクシーを <u>おりました</u> <u>の</u> とき、二回きれいな方 <u>を</u> <u>会</u> い ました。	1スタイル 3格 *ヲ/ ーニ/ート 2ノ連 体 修
4599	中国 3 聴解要約 26	お茶を <u>飲みました</u> <u>の</u> あと、大家さんは部屋の主人の家 へ行きました。	1スタイル 2ノ連
4600	中国 6 自由作文 3	日本へ来る前に、北京のある大学院 <u>に</u> <u>修士課程</u> を勉強 しました。	1格 *ニ/ーノ連 2格 *ヲ/ーデ
4601	中国 6 自由作文 5	日本語 <u>の</u> <u>習う</u> <u>こと</u> はおもに自分で <u>習</u> います。	1格 *ノ連 /ーヲ 2V 3N *コト/ーノ 4V
4602	中国 6 自由作文 8	自分で <u>習う</u> <u>の</u> <u>ために</u> 、 <u>聞く</u> <u>の</u> <u>こと</u> は <u>特別</u> に <u>なかなか</u> できません。	1V 2,3*ノ連 体修 4Ad 副用
4603	中国 6 自由作文 9	今度の日本語 <u>コース</u> 、私に <u>として</u> <u>単語</u> とか <u>文法</u> とか <u>、</u> <u>だいじょうぶ</u> で、 <u>聞き</u> はだめで、 <u>読解</u> は <u>時間</u> <u>は</u> <u>なくて</u> <u>書く</u> <u>こと</u> はできません。	1V 2*ノ連 体修 3格 *とシテ/ートツテ 4,5取立 *0/ーハ 6NA 7接 *テ形/ーガ 8N 9取立 *ハ/ーガ
4604	中国 6 自由作文 11	専攻している <u>の</u> <u>こと</u> と私の発表した修士論文の内容 <u>ち</u> ょと違 う <u>です</u> 。	1*ノ連 体修 2取立 * 0/ーハ 3*ダ
4605	中国 6 自由作文 13	私は、日本語を習う <u>と</u> <u>いっしょ</u> に、一生懸命勉強す るつもりです。	1ーノ連 2Ad 副用
4606	中国 8 自由作文 11	だから、今、私の一番の希望は日本語が上手になること で日本人のように話すことや読むことをできれば、これ からの専門 <u>勉強</u> が多分できるでしょう。	ーノ連
4607	中国 9 自由作文 1	日本へ <u>の</u> <u>留学</u> すること。	*ノ連
4608	中国 11 自由作文 5	かれたちは毎日八時半から午後五時半 <u>正常</u> の仕事をし ていますが、ほとんど夜十時まで残業しています。	1格 ーマデ ーノ連 2 N

4609	中国 12 自由作文 7	つまり、自転車について <u>禁止事項</u> はぜんぜんわかりませんでした。	一ノ連
4610	中国 12 自由作文 21	でも私はきびしい <u>の</u> <u>ほう</u> が <u>無責任者</u> よりいいだろうと 考えています。	1体修 *ノ連 2複N
4611	中国 14 自由作文 5	しかし、わたしに一番強い印象を与えて <u>くれた</u> のは日本人がお互いよく譲り合うと <u>の</u> ことです。	1受給 2*ノ連/一トイウ
4612	中国 14 自由作文 21	あまり遠くない <u>の</u> 将来、人々の知識水準が高くなる <u>の</u> <u>によって</u> 、 <u>それら</u> <u>の人</u> <u>に</u> <u>いやがれる</u> ことがだんだん <u>無くなる</u> と信じます。	1*ノ連 2一名詞節 3コソア 4格 *ニ /一ガ 5活用 6複V 一テイク
4613	中国 15 自由作文 5	初めて新宿へ行った時、町の両側に建ち並んでいる林みたい高層ビルに、 <u>町</u> の次から次へ <u>の</u> 人々にびっくりさせられた。	1C 2*ノ連
4614	中国 16 自由作文 11	例えば、こちらの若者は <u>着た</u> 洋服とかヘアのタイプとか自由な生活などを <u>びっくり</u> しました。	1取立 *ハ/一ノ連 2*タ/一テイル 3格 *ヲ/一ニ
4615	中国 17 自由作文 16	でも、日本人はよく働く <u>つまり</u> 日本の国民性を考えたら、この問題の答えはよくわかるでしょう。	1一ノ連 2一トイウ
4616	中国 18 自由作文 13	<u>どちら</u> <u>行</u> っても車でいっぱいです。 <u>それを見た</u> <u>わたし</u> <u>が</u> <u>この点</u> はたぶん <u>国</u> <u>の</u> 発達するにつれて増えると思 います。	1不定 2格 *0 /一へ 3表現 体修 4取立 *ガ/一ハ 5*ノ連
4617	中国 20 自由作文 21	東京にたくさん図書館があるのに図書館へ行くたびに閲覧室 <u>の</u> あいている席がほとんどありません。小学生でさえ <u>し</u> ずか <u>で</u> まじめに勉強しています。	1格 *ノ連/一ニ 2活用(NA)
4618	中国 21 自由作文 2	わたしはいちねん <u>の</u> まえからにほんごをべんきょうして います。	*ノ連/一0
4619	中国 21 自由作文 10	わたしはいまにほんごで <u>かいわ</u> がへたですから、いまからまいにちさんじかんぐらいかいわのねんしゅうをするつもりです。	格 *0 /一ノ連
4620	中国 23 自由作文 16	しかし、いっしょけんめいのべんきょうはらいねんを <u>そ</u> <u>つぎ</u> <u>の</u> <u>たぶん</u> <u>いい</u> でしょう。	1格 *ヲ/一ノ連 2格 *0 /一ヲ 3V & 表現
4621	中国 25 自由作文 7	わたし <u>な</u> <u>きょう</u> <u>しつ</u> <u>の</u> <u>がく</u> <u>せい</u> はいろいろなくにのひと です。	一ノ連 発音
4622	中国 27 自由作文 2	わたしはきょねん <u>じゅう</u> <u>に</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>へ</u> <u>つ</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1一ノ連 2格 *0 /一ニ 3*へ/一ニ
4623	中国 27 自由作文 4	それから、きょねん <u>じゅう</u> <u>に</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>から</u> <u>今年</u> <u>の</u> <u>きゅう</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>そ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1一ノ連 2数 3複V
4624	中国 28 自由作文 9	<u>ほか</u> <u>の</u> <u>がく</u> <u>せい</u> <u>が</u> <u>じゅう</u> <u>は</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1副用 2格 *ノ連/一ニ
4625	中国 28 自由作文 20	まいしゅう <u>の</u> <u>すい</u> <u>よう</u> <u>び</u> 、 <u>お</u> <u>お</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>けん</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ノ連/一0 2*ル/一タ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4626	中国 30 自由作文 3	いままで <u>にほんご</u> の <u>ちょっと</u> <u>すこし</u> <u>きて</u> <u>たり</u> <u>はな</u> <u>して</u> <u>たり</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1副用 2格 *ノ連/ー ヲ 3Ad 4,5活用
4627	中国 31 自由作文 8	らいねん <u>にほんご</u> <u>だい</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1発音 2ーノ連
4628	中国 32 自由作文 12	今 <u>ま</u> <u>で</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>は</u> <u>教</u> <u>室</u> <u>で</u> <u>話</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>9</u> <u>5</u> <u>パ</u> <u>ー</u> <u>セ</u> <u>ン</u> <u>ト</u> <u>以</u> <u>上</u> <u>理</u> <u>解</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1Ad 副用 2取立 *ハ/ ーガ 3格 *ガ /ーノ 連 4*0 /ーヲ
4629	中国 33 自由作文 4	わた <u>し</u> <u>の</u> <u>あ</u> <u>た</u> <u>ま</u> <u>は</u> <u>へ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>ど</u> <u>き</u> <u>わ</u> <u>す</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ノ連/ーハ 2取 立 ハ/ーガ 3A 4活用 5*ハ/ーヲ 6 発音
4630	中国 38 自由作文 9	に <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>ち</u> <u>ゅ</u> <u>う</u> <u>ご</u> <u>く</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	*ノ連
4631	中国 42 自由作文 10	先 <u>生</u> <u>が</u> <u>授</u> <u>業</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>、</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>の</u> <u>質</u> <u>問</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1体修 *ノ連 2VP
4632	中国 43 自由作文 18	さ <u>ら</u> <u>い</u> <u>ね</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>三</u> <u>月</u> <u>に</u> <u>試</u> <u>験</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>大</u> <u>学</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーノ連 2ー ノ連
4633	中国 45 自由作文 2	わた <u>し</u> <u>は</u> <u>ご</u> <u>か</u> <u>げ</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>え</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>ぶ</u> <u>や</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>を</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1*ノ連/ー0 2格 *ニ/ ーカラ 3*タ/ーテ イル
4634	中国 46 自由作文 4	いま <u>と</u> <u>う</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>じ</u> <u>ゅ</u> <u>く</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>こ</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>ゆ</u> <u>う</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーノ連 2格 *0 /ーヲ 3*ル /ー テイル
4635	中国 46 自由作文 16	げ <u>つ</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>び</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>き</u> <u>ん</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>び</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>が</u> <u>じ</u> <u>か</u> <u>ん</u> <u>ぐ</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 2格 *0 /ーノ 連
4636	中国 46 自由作文 20	わた <u>し</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>一</u> <u>生</u> <u>懸</u> <u>念</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1Ad 副用 2格 *0 /ー ノ連 3ームード
4637	中国 47 自由作文 15	と <u>き</u> <u>ど</u> <u>き</u> <u>お</u> <u>じ</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>う</u> <u>ち</u> <u>へ</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	ーノ連
4638	中国 47 自由作文 17	い <u>ご</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>が</u> <u>ん</u> <u>ば</u> <u>り</u> <u>ほ</u> <u>し</u> <u>い</u> 。	1副用 Ad 2取立 格 * ノ連/ーハ 3格 *ガ/ ーヲ 4V
4639	中国 48 自由作文 16	ざ <u>っ</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>を</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ニ/ーノ連 2体 修 活用(V) 3発音 4 品詞 *N/ーV
4640	中国 49 自由作文 7	こ <u>の</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>せ</u> <u>い</u> <u>は</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>せ</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>、</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>き</u> <u>も</u> <u>ち</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1品詞 *A/ーNA 2取 立 *ノ連/ーハ
4641	中国 49 自由作文 13	そ <u>し</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>あ</u> <u>さ</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>へ</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ヲ/ーノ連 2副 用 3*タ/ール
4642	中国 49 自由作文 15	ば <u>ん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>本</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>ゅ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1格 *ヲ/ーノ連 2副 用 3格 *0 /ーノ連 4 発音
4643	中国 49 自由作文 16	に <u>ち</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>び</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>み</u> <u>に</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>ど</u> <u>き</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>じ</u> <u>ゅ</u> <u>く</u> <u>へ</u> <u>あ</u> <u>ぞ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *0 /ーノ連 2発 音 表記 3発音 4*タ/ ー
4644	中国 50 自由作文 12	た <u>と</u> <u>え</u> <u>ば</u> <u>中</u> <u>国</u> <u>の</u> <u>漢</u> <u>字</u> <u>「</u> <u>手</u> <u>紙</u> <u>」</u> <u>は</u> <u>中</u> <u>国</u> <u>語</u> <u>の</u> <u>意</u> <u>味</u> <u>は</u> <u>便</u> <u>所</u> <u>用</u> <u>紙</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	取立 *ハ/ーノ連

4645	中国 52 自由作文 5	わたしは中国にいるとき、日本語をひらかなとカタカナだけ習って、ことばは「私はA ⁽¹⁾ さん ⁽²⁾ です」という二文法を習 ⁽³⁾ ってしたから、ほかのことばはひとつもはなせ ⁽⁴⁾ ません。	1格 *ヲ/ノ連 2N 3複 V 4接 *カラ/ー ガ
4646	中国 53 自由作文 12	たとえば、助詞 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ た ⁽³⁾ だ ⁽⁴⁾ しい ⁽⁵⁾ 用法 ⁽⁶⁾ が ⁽⁷⁾ いつも ⁽⁸⁾ あ ⁽⁹⁾ た ⁽¹⁰⁾ ま ⁽¹¹⁾ が ⁽¹²⁾ 痛 ⁽¹³⁾ い ⁽¹⁴⁾ も ⁽¹⁵⁾ ん ⁽¹⁶⁾ だ ⁽¹⁷⁾ い ⁽¹⁸⁾ です。	1取立 *ハ/ノ連 2 N 3*ガ/ーハ 4格 * ガ/ノ連
4647	中国 54 自由作文 20	買 ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ も ⁽³⁾ の ⁽⁴⁾ 時 ⁽⁵⁾ は ⁽⁶⁾ に ⁽⁷⁾ ほ ⁽⁸⁾ ん ⁽⁹⁾ ご ⁽¹⁰⁾ で ⁽¹¹⁾ は ⁽¹²⁾ な ⁽¹³⁾ し ⁽¹⁴⁾ こ ⁽¹⁵⁾ と ⁽¹⁶⁾ が ⁽¹⁷⁾ あ ⁽¹⁸⁾ り ⁽¹⁹⁾ ま ⁽²⁰⁾ す。	1格 *0/ノ連 2活 用
4648	中国 55 自由作文 5	わたしはきょうしつ ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ せん ⁽³⁾ せい ⁽⁴⁾ で ⁽⁵⁾ 授 ⁽⁶⁾ 業 ⁽⁷⁾ を ⁽⁸⁾ き ⁽⁹⁾ き ⁽¹⁰⁾ ま ⁽¹¹⁾ す。	1格 *ニ/ーデ 2格 * デ/ノ連
4649	中国 59 自由作文 2	私は工学部 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 電 ⁽³⁾ 気 ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ 学 ⁽⁶⁾ ぶ ⁽⁷⁾ た ⁽⁸⁾ め ⁽⁹⁾ に ⁽¹⁰⁾ 日 ⁽¹¹⁾ 本 ⁽¹²⁾ へ ⁽¹³⁾ や ⁽¹⁴⁾ っ ⁽¹⁵⁾ て ⁽¹⁶⁾ 来 ⁽¹⁷⁾ ま ⁽¹⁸⁾ し ⁽¹⁹⁾ た。	*ノ連 格 *0/ーデ
4650	韓国 4 パターン作文 2	TVを見る ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 方 ⁽³⁾ が ⁽⁴⁾ 映 ⁽⁵⁾ 画 ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ 見る ⁽⁸⁾ の ⁽⁹⁾ よ ⁽¹⁰⁾ り ⁽¹¹⁾ ず ⁽¹²⁾ つ ⁽¹³⁾ と ⁽¹⁴⁾ 便 ⁽¹⁵⁾ 利 ⁽¹⁶⁾ で ⁽¹⁷⁾ す。	*ノ連 体修
4651	韓国 5 自由作文 2	日本の物価と韓国 ⁽¹⁾ 物 ⁽²⁾ 価 ⁽³⁾ と ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ く ⁽⁶⁾ ら ⁽⁷⁾ べ ⁽⁸⁾ ると ⁽⁹⁾ 日 ⁽¹⁰⁾ 本 ⁽¹¹⁾ の ⁽¹²⁾ 物 ⁽¹³⁾ 価 ⁽¹⁴⁾ が ⁽¹⁵⁾ た ⁽¹⁶⁾ く ⁽¹⁷⁾ さ ⁽¹⁸⁾ ん ⁽¹⁹⁾ 高 ⁽²⁰⁾ い ⁽²¹⁾ で ⁽²²⁾ あ ⁽²³⁾ る。	4品詞 *NA/ーA 5ダ 1ーノ連 2熟語 ーノ ホウ 3Ad 副用
4652	韓国 5 自由作文 6	そして韓国 ⁽¹⁾ 子 ⁽²⁾ 供 ⁽³⁾ は ⁽⁴⁾ バ ⁽⁵⁾ ナ ⁽⁶⁾ ナ ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ 一 ⁽⁹⁾ 番 ⁽¹⁰⁾ 大 ⁽¹¹⁾ 好 ⁽¹²⁾ き ⁽¹³⁾ で ⁽¹⁴⁾ す。	2NA 1ーノ連 3ーノ ダ
4653	韓国 7 自由作文 2	日本の村落組織の中 ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ 若 ⁽³⁾ 者 ⁽⁴⁾ 組 ⁽⁵⁾ を ⁽⁶⁾ し ⁽⁷⁾ ら ⁽⁸⁾ べ ⁽⁹⁾ ると、東 ⁽¹⁰⁾ 日 ⁽¹¹⁾ 本 ⁽¹²⁾ の ⁽¹³⁾ 若 ⁽¹⁴⁾ 者 ⁽¹⁵⁾ 組 ⁽¹⁶⁾ は ⁽¹⁷⁾ 長 ⁽¹⁸⁾ 男 ⁽¹⁹⁾ と ⁽²⁰⁾ し ⁽²¹⁾ て ⁽²²⁾ 構 ⁽²³⁾ 成 ⁽²⁴⁾ さ ⁽²⁵⁾ れ ⁽²⁶⁾ て ⁽²⁷⁾ い ⁽²⁸⁾ る。	2格 *とシテ/ーにヨ ッテ 1格 *デ/ノ ノ連
4654	韓国 7 自由作文 3	西 ⁽¹⁾ 日 ⁽²⁾ 本 ⁽³⁾ は ⁽⁴⁾ 長 ⁽⁵⁾ 男 ⁽⁶⁾ 他 ⁽⁷⁾ に ⁽⁸⁾ も ⁽⁹⁾ 次 ⁽¹⁰⁾ 男 ⁽¹¹⁾ と ⁽¹²⁾ 三 ⁽¹³⁾ 男 ⁽¹⁴⁾ と ⁽¹⁵⁾ 若 ⁽¹⁶⁾ 者 ⁽¹⁷⁾ 組 ⁽¹⁸⁾ に ⁽¹⁹⁾ 加 ⁽²⁰⁾ 入 ⁽²¹⁾ す ⁽²²⁾ こ ⁽²³⁾ と ⁽²⁴⁾ が ⁽²⁵⁾ で ⁽²⁶⁾ き ⁽²⁷⁾ る。	1格 *0は/ーデは 2 ノ連 取立 3並 N *ト /ーヤ 4取立ーモ
4655	韓国 8 聴解要約 3	その後秋葉原 ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ ステ ⁽³⁾ レ ⁽⁴⁾ オ ⁽⁵⁾ カ ⁽⁶⁾ セ ⁽⁷⁾ ット ⁽⁸⁾ を ⁽⁹⁾ 買 ⁽¹⁰⁾ う ⁽¹¹⁾ 時 ⁽¹²⁾ 店 ⁽¹³⁾ 員 ⁽¹⁴⁾ で ⁽¹⁵⁾ か ⁽¹⁶⁾ ら ⁽¹⁷⁾ 四 ⁽¹⁸⁾ 万 ⁽¹⁹⁾ 五 ⁽²⁰⁾ 千 ⁽²¹⁾ 円 ⁽²²⁾ ず ⁽²³⁾ つ ⁽²⁴⁾ カ ⁽²⁵⁾ セ ⁽²⁶⁾ ット ⁽²⁷⁾ を ⁽²⁸⁾ 四 ⁽²⁹⁾ 万 ⁽³⁰⁾ 円 ⁽³¹⁾ に ⁽³²⁾ 買 ⁽³³⁾ い ⁽³⁴⁾ ま ⁽³⁵⁾ し ⁽³⁶⁾ た。	1,4格 *ニ/ーデ 2格 * デから/ー0から 3 格 *0/ノ連
4656	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ う ⁽³⁾ え ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ カ ⁽⁶⁾ セ ⁽⁷⁾ ット ⁽⁸⁾ で ⁽⁹⁾ 音 ⁽¹⁰⁾ 楽 ⁽¹¹⁾ を ⁽¹²⁾ 聞 ⁽¹³⁾ ま ⁽¹⁴⁾ す ⁽¹⁵⁾ 時 ⁽¹⁶⁾ に ⁽¹⁷⁾ ヤ ⁽¹⁸⁾ ン ⁽¹⁹⁾ さ ⁽²⁰⁾ ん ⁽²¹⁾ は ⁽²²⁾ お ⁽²³⁾ 風 ⁽²⁴⁾ 呂 ⁽²⁵⁾ か ⁽²⁶⁾ ら ⁽²⁷⁾ 音 ⁽²⁸⁾ 楽 ⁽²⁹⁾ を ⁽³⁰⁾ 聞 ⁽³¹⁾ い ⁽³²⁾ て ⁽³³⁾ 歌 ⁽³⁴⁾ を ⁽³⁵⁾ 呼 ⁽³⁶⁾ び ⁽³⁷⁾ ま ⁽³⁸⁾ し ⁽³⁹⁾ た。	1格 *ニ/ノ連 2表 記 活用 体修 ーテイ ル スタイル 3格 *カ ラ/ーデ 4V
4657	韓国 12 パターン作文 1	学園都市と他の都市 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 一 ⁽³⁾ 番 ⁽⁴⁾ 違 ⁽⁵⁾ い ⁽⁶⁾ は、学 ⁽⁷⁾ 園 ⁽⁸⁾ 都 ⁽⁹⁾ 市 ⁽¹⁰⁾ は ⁽¹¹⁾ 前 ⁽¹²⁾ も ⁽¹³⁾ っ ⁽¹⁴⁾ て ⁽¹⁵⁾ 都 ⁽¹⁶⁾ 市 ⁽¹⁷⁾ 計 ⁽¹⁸⁾ 画 ⁽¹⁹⁾ が ⁽²⁰⁾ て ⁽²¹⁾ き ⁽²²⁾ る ⁽²³⁾ 、他 ⁽²⁴⁾ の ⁽²⁵⁾ 都 ⁽²⁶⁾ 市 ⁽²⁷⁾ は ⁽²⁸⁾ 自 ⁽²⁹⁾ 然 ⁽³⁰⁾ 発 ⁽³¹⁾ 生 ⁽³²⁾ に ⁽³³⁾ な ⁽³⁴⁾ る ⁽³⁵⁾ こ ⁽³⁶⁾ と ⁽³⁷⁾ で ⁽³⁸⁾ す。	1ノ連 2品詞 3発音 ー受身 4接 ーにタイ シテ/ーガ/ー連用形 5V *ル/ーテイル
4658	韓国 13 聴解要約 6	しかし安 ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ の ⁽³⁾ 価 ⁽⁴⁾ 格 ⁽⁵⁾ で ⁽⁶⁾ 買 ⁽⁷⁾ う。	体修 *ノ連
4659	韓国 13 パターン作文 9	ふるさとの母の牧場 ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ 情 ⁽³⁾ 景 ⁽⁴⁾ は ⁽⁵⁾ ソ ⁽⁶⁾ ウ ⁽⁷⁾ ル ⁽⁸⁾ の ⁽⁹⁾ わ ⁽¹⁰⁾ た ⁽¹¹⁾ り ⁽¹²⁾ よ ⁽¹³⁾ り ⁽¹⁴⁾ ほ ⁽¹⁵⁾ ん ⁽¹⁶⁾ ど ⁽¹⁷⁾ う ⁽¹⁸⁾ 美 ⁽¹⁹⁾ し ⁽²⁰⁾ い ⁽²¹⁾ で ⁽²²⁾ す。	1格 *ニ/ノ連 2発 音 3副用 Ad
4660	韓国 15 自由作文 6	毎日授業準備をするのもいいし、学生たち ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ 「やさしく教 ⁽³⁾ えて ⁽⁴⁾ く ⁽⁵⁾ だ ⁽⁶⁾ さ ⁽⁷⁾ っ ⁽⁸⁾ て ⁽⁹⁾ ほ ⁽¹⁰⁾ ん ⁽¹¹⁾ と ⁽¹²⁾ う ⁽¹³⁾ に ⁽¹⁴⁾ あ ⁽¹⁵⁾ り ⁽¹⁶⁾ が ⁽¹⁷⁾ と ⁽¹⁸⁾ う ⁽¹⁹⁾ ご ⁽²⁰⁾ ざ ⁽²¹⁾ い ⁽²²⁾ ま ⁽²³⁾ し ⁽²⁴⁾ た」とい ⁽²⁵⁾ う ⁽²⁶⁾ 言 ⁽²⁷⁾ 葉 ⁽²⁸⁾ を ⁽²⁹⁾ 聞 ⁽³⁰⁾ く ⁽³¹⁾ と ⁽³²⁾ き ⁽³³⁾ も ⁽³⁴⁾ 非 ⁽³⁵⁾ 常 ⁽³⁶⁾ に ⁽³⁷⁾ よ ⁽³⁸⁾ か ⁽³⁹⁾ つ ⁽⁴⁰⁾ た ⁽⁴¹⁾ で ⁽⁴²⁾ す。	格 *ニ/ノ連
4661	韓国 16 自由作文 2	エネルギーの受給問題とか価格問題など ⁽¹⁾ 政 ⁽²⁾ 策 ⁽³⁾ を ⁽⁴⁾ 樹 ⁽⁵⁾ 立 ⁽⁶⁾ し ⁽⁷⁾ 執 ⁽⁸⁾ 行 ⁽⁹⁾ し ⁽¹⁰⁾ な ⁽¹¹⁾ が ⁽¹²⁾ ら ⁽¹³⁾ 何 ⁽¹⁴⁾ よ ⁽¹⁵⁾ り ⁽¹⁶⁾ も ⁽¹⁷⁾ 経 ⁽¹⁸⁾ 済 ⁽¹⁹⁾ 学 ⁽²⁰⁾ の ⁽²¹⁾ 知 ⁽²²⁾ 識 ⁽²³⁾ の ⁽²⁴⁾ 必 ⁽²⁵⁾ 要 ⁽²⁶⁾ 性 ⁽²⁷⁾ を ⁽²⁸⁾ 強 ⁽²⁹⁾ く ⁽³⁰⁾ 覚 ⁽³¹⁾ え ⁽³²⁾ た。	1ーノ連 2V

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4662	韓国 18 自由作文 1	私の専門は社会学の中 <u>で</u> 家族社会学です。	格 *デ/ーノ連
4663	韓国 18 自由作文 3	現代には社会問題で登場している多い問題が家庭の機能喪失に困って超えられ問題ですから家族を通じて社会問題すなわち家族問題の解決方法について研究したいと思ひました。	1格 *ニは/ー〇は 2格 *デ/ーニ 3 V 4品詞 *A/ーN ーノ連 5活用 V
4664	韓国 18 自由作文 4	家庭 <u>たけ</u> が <u>担当</u> する <u>こと</u> が <u>できる</u> 機能が社会のいろいろな団体で <u>し</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> から家庭の特別な機能の性格を <u>失</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> と思ひます。	1発音 2V 3格 *ガ/ーノ連 4発音 表記 5活用 (V)
4665	韓国 22 自由作文 11	だから私は毎日朝 <u>お</u> <u>き</u> <u>る</u> から <u>ね</u> <u>て</u> <u>前</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>会</u> <u>話</u> <u>カ</u> <u>サ</u> <u>ー</u> <u>ト</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1*ル/ーテ形 2*テ形 /ール 3ーノ連 4 N 発音
4666	韓国 23 自由作文 6	どうすればよくなるか学校は社会の準備教育 <u>場</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1ーノ連 2VP
4667	韓国 23 自由作文 8	学校は学校としての意味より社会の <u>準備場</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>み</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1N 2ーノ連 3複 V
4668	韓国 25 自由作文 9	しかし私にたいせつな物は <u>ディズニランド</u> <u>に</u> <u>と</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>私</u> <u>が</u> <u>韓</u> <u>国</u> <u>で</u> <u>と</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1*ニ/ーノ連 *に〇/ーにトッテ 3格 ニ/ーデ
4669	韓国 26 自由作文 3	私 <u>は</u> <u>川</u> <u>越</u> <u>市</u> <u>的</u> <u>場</u> <u>に</u> <u>三</u> <u>人</u> <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>一</u> <u>緒</u> <u>に</u> <u>住</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>家</u> <u>は</u> <u>、</u> <u>ふ</u> <u>た</u> <u>つ</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1取立 *ハ/ーガ 2数 *〇/ーノ連
4670	韓国 26 自由作文 4	だから、ひとつ <u>部</u> <u>は</u> <u>二</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>住</u> <u>ま</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>、</u> <u>と</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>狭</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1数 *〇/ーノ連 2N 3発音 4活用 (A)
4671	韓国 28 自由作文 12	マリアのことが好きではなくて、こども <u>を</u> <u>面</u> <u>倒</u> <u>を</u> <u>見</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>ば</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ヲ/ーノ連 2取立 語順
4672	韓国 28 自由作文 16	彼女の善良 <u>の</u> <u>心</u> <u>を</u> <u>人</u> <u>々</u> <u>に</u> <u>知</u> <u>ら</u> <u>せ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>た</u> 。	1品詞 *N /ーNA *ノ連 体修 2*テイル /ータ
4673	韓国 28 自由作文 18	その教訓的な映画は「 <u>醜</u> <u>い</u> <u>顔</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>、</u> <u>人</u> <u>間</u> <u>の</u> <u>心</u> <u>の</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>方</u> <u>は</u> <u>一</u> <u>番</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>だ</u> 」 <u>と</u> <u>描</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1A 2ーテイル 3取立 *ノ連/ーハ 4 V 5*ハ/ーガ 6ートイウ 7名詞節
4674	韓国 29 自由作文 7	人にとって、寝る <u>の</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>ひ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	体修 *ノ連 名詞節
4675	韓国 31 自由作文 13	日本人の生活について <u>こ</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>知</u> <u>り</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	ーノ連
4676	韓国 33 自由作文 9	最高の先進国だ <u>と</u> <u>言</u> <u>う</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>で</u> <u>留</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>を</u> <u>つ</u> <u>う</u> <u>じ</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>正</u> <u>確</u> <u>し</u> <u>で</u> <u>高</u> <u>度</u> <u>の</u> <u>学</u> <u>問</u> <u>は</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>観</u> <u>や</u> <u>価</u> <u>値</u> <u>観</u> <u>や</u> <u>国</u> <u>家</u> <u>観</u> <u>に</u> <u>役</u> <u>だ</u> <u>て</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>ひ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1*トイウ 2ーノ連 3品詞 *V /ーNA 4取立 *ハ /ーヲ
4677	韓国 34 自由作文 5	その点、日本の都市計画というのは、昔から、 <u>都市計画</u> <u>学</u> <u>問</u> <u>の</u> <u>基</u> <u>礎</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>建</u> <u>設</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>、</u> <u>都</u> <u>市</u> <u>の</u> <u>変</u> <u>化</u> <u>が</u> <u>少</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1複 N 2*ノ連 格*〇/ーヲ
4678	韓国 35 自由作文 9	別に共産主義 <u>と</u> <u>言</u> <u>う</u> <u>北</u> <u>朝</u> <u>鮮</u> <u>と</u> <u>ソ</u> <u>ビ</u> <u>エ</u> <u>ト</u> <u>と</u> <u>中</u> <u>国</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>軍</u> <u>事</u> <u>的</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>ず</u> <u>い</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>不</u> <u>利</u> <u>な</u> <u>立</u> <u>場</u> <u>に</u> <u>お</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1*トイウ/ーノ連 2*タ/ール 3受身 VP

4679	アメリカ 1 聴解要約 1	ヤンさん <u>がある</u> の日。 (1) (2)	1格 *ガ/ーノ連 2体修 AN
4680	アメリカ 1 聴解要約 6	そのあとヤンさんは秋葉原へ太郎 <u>と</u> いうの 友だちと行った。	表記 体修 *ノ連/ー0
4681	アメリカ 1 自由作文 14	<u>ある</u> 市内住宅は大へん <u>ひどい</u> <u>し</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>に</u> <u>引</u> <u>越</u> <u>し</u> <u>し</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ば</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>者</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1AN 3,4発音 5ノ連 6 グ 2ー連用形
4682	アメリカ 1 自由作文 16	日本では大都市の周辺部 <u>に</u> 人口増加のスピードがゆるくなつて <u>い</u> 、その周辺部で人口がだんだん増加している。 (1) (2) (3)	1ーノ連 2ーテイル接 *テ形 3名詞節 格ーにタイシテ
4683	アメリカ 1 パターン作文 3	学生宿舎の部屋と <u>ア</u> <u>パ</u> <u>ー</u> <u>ト</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>を</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>べ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>宿</u> <u>舎</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>は</u> <u>せ</u> <u>ま</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1発音 2ーノ連
4684	アメリカ 1 パターン作文 11	ですから仕事と遊び <u>の</u> <u>意</u> <u>味</u> はわかいときから自分で <u>使</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3)	1ノ連 3V 2N
4685	アメリカ 4 自由作文 7	それだけではなくて、アメリカでは弁護の商売は法律だけ <u>の</u> 訳ではないのです。	体修 *ノ連/ートイウ
4686	インドネシア 3 自由作文 5	<u>テ</u> <u>ョ</u> <u>プ</u> <u>は</u> <u>ち</u> <u>い</u> <u>さ</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>ち</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>人</u> <u>び</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>こ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	3体修 否定 活用(V) 1表記 N 2*ノ連
4687	インドネシア 3 自由作文 8	<u>た</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>あ</u> <u>の</u> <u>も</u> <u>り</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>私</u> <u>は</u> <u>学</u> <u>院</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>も</u> <u>り</u> <u>学</u> <u>で</u> <u>べ</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1Ad 副用 2格 *0/ーニ 3ムード 5 N 6表記 4ーノ連
4688	インドネシア 3 パターン作文 3	インドネシア語と日本語をくらべると <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>の</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>ぽ</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>使</u> <u>い</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>違</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	取立 *ノ連/ーハ
4689	タイ 1 聴解要約 4	住む <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>不</u> <u>動</u> <u>産</u> <u>屋</u> <u>と</u> <u>会</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 、 <u>う</u> <u>ち</u> <u>を</u> <u>調</u> <u>べ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1ノ連 2接(ーテ形、一連用形) 3V
4690	タイ 1 聴解要約 13	<u>そ</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>ヤ</u> <u>ン</u> <u>サ</u> <u>ン</u> <u>と</u> <u>加</u> <u>藤</u> <u>サ</u> <u>ン</u> <u>の</u> <u>家</u> <u>族</u> <u>は</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>ば</u> <u>を</u> <u>食</u> <u>べ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1C 3発音 2ノ連
4691	タイ 3 パターン作文 5	私の仕事は女の人 <u>の</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>多</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	ーノ連
4692	タイ 4 自由作文 5	そのプログラム <u>の</u> <u>受</u> <u>け</u> <u>た</u> <u>経</u> <u>験</u> <u>は</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>将</u> <u>来</u> <u>の</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>に</u> <u>対</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>影</u> <u>響</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1*ノ連 2V
4693	タイ 5 パターン作文 4	住む <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>調</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	ノ連
4694	タイ 5 パターン作文 8	昼食のときは <u>そ</u> <u>ば</u> <u>の</u> <u>出</u> <u>ま</u> <u>え</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>み</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	2ノ連 3格 *ガ/ーヲ 1取立 *ハ/0 副用
4695	香港 6 自由作文 16	一九八〇年現在の農家人口は三十年 <u>に</u> 農家人口に比べると、43.3%の減少である。	ーノ連
4696	香港 6 自由作文 19	また日本では農家の一戸あたり <u>に</u> 耕地面積が狭いので多くの農家が農業のほかいろいろな仕事をして収入をえている。	ーノ連
4697	香港 6 自由作文 24	日本 <u>に</u> 四季の変化に富む自然条件 <u>が</u> 日本人の日常生活 <u>に</u> 反映している。 (1) (2)	1格 *ニ/ー0 ーノ連 2取立 *ガ/ーハ

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4698	香港 6 自由作文 28	五月 <u>の</u> は 新緑の候、六月 <u>の</u> は 初夏の候、七月 <u>の</u> は 盛夏の候、八月 <u>の</u> は 残暑の候、九月 <u>の</u> は 秋涼の候、十月 <u>の</u> は 秋冷の候、十一月 <u>の</u> は 晩秋の候、十二月 <u>の</u> は 初冬の候というあいさつがある。	1,2,3,4,5,6,7,8 *ノ連格*0は /-ニは
4699	香港 7 自由作文 2	最近百年間の日本の文学の <u>目標</u> にしたものは三つである。	格 *ノ連 /-ガ
4700	香港 7 自由作文 11	日本 <u>の</u> 近代 <u>の</u> 文学 <u>家</u> <u>に</u> は、夏目漱石 <u>は</u> いちばん立派なようです。	1-ノ連 2N 3格 *ニ /-デ 4取立*ハ /-ガ
4701	香港 7 自由作文 14	中学校 <u>の</u> 英語教師の飼猫を主人公としてぎ人体で <u>書かれ</u> ている。	1-ノ連 2発音
4702	香港 7 自由作文 30	それにしても、このあいまいな行動はしばしば自分の主張 <u>を</u> 邪魔に <u>する</u> 。	1ノ連 2V
4703	香港 7 自由作文 42	相互理解のために言葉が重要でないという日本人の感覚の発生 <u>の</u> 原因は彼らの昔の社会生活と関係がある。	*ノ連
4704	香港 7 自由作文 46	これらの <u>共同動作</u> の世界に、明確に意志を伝達する言葉は、ヨーロッパ人の狩猟の生活のほど大切ではなかった。	1複 N 2*ノ連
4705	香港 7 自由作文 64	しかし、わたしがここにのべるのは、にんげんそんざいのれきしてき、ふうとてき こうぞうを、とくに <u>ふうと</u> の <u>かわ</u> からはあくしようとする <u>の</u> のみである。	1,2,3発音 4*ノ連
4706	香港 7 自由作文 70	ヨーロッパでは、人間と動物の間 <u>の</u> はっきり区別し、人間をあらゆるものの上に置くという「断絶」の思想が生まれた。	*ノ連 格 0 /-ヲ
4707	香港 9 短文作文 10	わたしは勉強やら、ピアノ <u>を</u> 練習やらで、たいへんいそがしいです。	格 *ヲ /-ノ連
4708	香港 15 短文作文 10	大きい部屋 <u>と</u> いって、ある <u>私</u> の子供時によく <u>いく</u> 親類はおもしろい部屋を <u>とり</u> ました。	2表現 6V 3語順 1活用(A) 4ノ連 3AN 5*ル /-タ
4709	香港 15 短文作文 11	考えてみれば、桜 <u>の</u> 花は日本人の集団行動の象徴です。	ノ連
4710	香港 15 短文作文 15	彼は英語も、フランス語も <u>スポン</u> 語も <u>して</u> いて、海外へ <u>旅行</u> は安心です。	1,2発音 4ノ連 3接 *テ形 /-ノデ
4711	香港 16 短文作文 2	私達の旅行 <u>の</u> 地方のなか <u>に</u> 、この町は見どころである。	2格 *ニ /-デ 1*ノ連 /-スル
4712	香港 17 短文作文 8	京都 <u>で</u> の <u>名所</u> はたくさんありますし、一日では見きれない <u>と</u> 思います。	1取立 *0 /-ハ *デ /-ニ 2*ノ連 3*ハ /-ガ
4713	香港 19 自由作文 21	逆に、日本語と呼んだら、この言葉は英語などのような言葉と世界中の <u>一つ</u> のもので、自分 <u>が</u> 所属集団の特有のものではない、 <u>という</u> 気がするかもしれない。	1数 2格 *ガ /-ノ連
4714	香港 20 自由作文 5	たとえば「火災発生件数」を見たら、起った火事の災害について <u>事件の数</u> と意味 <u>を</u> わかる。	1-ノ連 2格 *ヲ /-ガ

4715	香港 20 自由作文 17	日本人の世界観は四大島に樁を設定して、他の人間の存在を見逃して地球は日本に軸として廻っているぐらいの観念があるかもしれない。	1格 *ニ/一ヲ 2一ノ連
4716	香港 22 短文作文 9	ひらがなとカタカナとの共通点があって、 <u>源来</u> は漢字である。	2N 1取立 *ノ連/一ハ
4717	香港 25 自由作文 29	国民性は協力と統一という気持ちと自分がほかの国より、もっと優秀であるかと思われるかもしれない。	複N 一ノ連 N
4718	香港 25 短文作文 15	そうですが、でも、人々はこれに <u>価値観</u> が <u>おおく</u> <u>変わる</u> のではないのでしょうか。	1取立 *ハ/一ノ連 2格 *ニ/一にツイテ 3A 活用(A) 4*ル/一タ
4719	香港 26 自由作文 1	言語は人々の <u>社会</u> で <u>交流</u> と <u>表現</u> の工具です。	2一ノ連 1複N
4720	香港 26 自由作文 8	言語は <u>国</u> に人々の心理状態の反映ですから。	2格 *ニ/一ノ連 1コソア
4721	香港 26 自由作文 12	<u>太平洋中</u> 、 <u>日本列島</u> 上に日本人が <u>生活</u> する。	1複N 2一ノ連 3格 取立 *ガ/一ハ 4*ル/一テイル
4722	香港 26 自由作文 13	その地理的 <u>条件</u> うえに、 <u>外国人</u> と <u>交流機会</u> が少ない。	1接 *ウエ/一タメ 3複N 2体修 一ノ連
4723	香港 26 短文作文 8	<u>技術</u> について彼は若い <u>運動員</u> ような、 <u>力強</u> について彼の <u>高峯</u> は過ぎました。	2,5N 4接 1,6*にツイテ 7*ノ/一ハ 3ノ連
4724	フランス 1 自由作文 3	今までのところパリの東洋言語学院で日本語を四年間 <u>習</u> いましたが <u>卒業</u> してから <u>コンピュータ</u> によって <u>和仏一和仏自動翻訳</u> をやるプログラムも作りはじめました。	1接 *ガ/一連用形 2取立 *0/一ハ 3活用 *テ形 /一ル 体修 4*V /一ノ連
4725	フランス 2 自由作文 3	しかしにほんごの <u>べんきょう</u> をするにつれてだんだんむずかしくなります。	*ノ連 取立 *0/一ハ
4726	フランス 2 自由作文 12	にほんごをはなすのもたいせつだとおもいますから、にほんごにきたいまのもくてきはにほんごを <u>かうく</u> の <u>とよむ</u> のためです。	1V 発音 2N *ノ/一コト 3*ノ連 4N *タメ/一コト
4727	イラン 1 自由作文 3	それに、ヨーロッパ <u>大きさ</u> 人口あたり <u>日本</u> より広いので住宅問題は <u>たいせつ</u> ではない。	&表現 1語順 2ノ連 3NA
4728	マレーシア 1 自由作文 11	これから、にほんごをもっと <u>べんきょう</u> しての <u>ほう</u> が <u>とおも</u> います。	1*テ形/一タ 2*ノ連 3一A
4729	マレーシア 2 自由作文 1	にほんご <u>べんきょう</u> 。	一ノ連
4730	マレーシア 2 自由作文 15	私は学こうでたくさん <u>もの</u> が <u>なら</u> います。	1一ノ連 2N *モノ/一コト 3格 *ガ/一ヲ
4731	マレーシア 2 自由作文 18	なぜなら日本に <u>きて</u> の <u>前</u> にかんじが少しもわかりませんでした。	1*テ形/一ル 2*ノ連
4732	マレーシア 4 自由作文 8	普通は、 <u>昼</u> の <u>時</u> 、水中にいるが夜になると、 <u>陸上</u> へ向って行きます。	*ノ連

4733	マレーシア 11 自由作文 1	天気と私たちの生活 <u>の</u> 関係があるでしょう。	取立 格 *ノ連 /ーハ
4734	マレーシア 15 自由作文 2	それで、「盆踊り」 <u>を</u> 初めて <u>きいて</u> 、それ <u>何</u> <u>こ</u> <u>と</u> の だろうか。 _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1ートイウ 2接 *テ形 3取立 *0 /ーハ 4ー ノ連 5ーのだ ー疑問 節
4735	マレーシア 15 自由作文 5	一種 <u>祝う盛節大会</u> <u>ことと</u> <u>あり</u> <u>ました</u> 。 _{(1)(2) (3) (4)}	1ーノ連 2体言 3複N 4複V
4736	マレーシア 15 自由作文 8	おばさんの <u>親切に</u> 話によると、それ <u>わ</u> 日本人 <u>と</u> 信仰 <u>に</u> 関係があるだろうと <u>思</u> <u>って</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	1活用(NA) *ニ /ーナ 2表記 3格 *ト /ーノ 連 4複V
4737	マレーシア 16 自由作文 14	それから、もし先生の間 <u>に</u> 、感情がわるければ、よくせ める <u>と</u> <u>か</u> 解雇をします。 _{(1) (2)}	1ーノ連 2並V *トカ /ータリ
4738	マレーシア 16 自由作文 16	あるいは、できるだけ宿題を <u>減</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>行</u> <u>く</u> <u>と</u> 、学生たちは きょうみがある <u>の</u> 方面を勉強します、 <u>そ</u> <u>こ</u> <u>で</u> 、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> 効果が <u>あ</u> <u>ろ</u> <u>う</u> <u>と</u> 思います。いろいろなゲームをしてあげ ます。 _{(1) (2) (3) (4)}	1自他 2*ノ連 2体修 3副用 4活用(V)
4739	マレーシア 17 自由作文 7	<u>こ</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>こ</u> <u>に</u> 、うちをかう時や工場を開店時や政府部 <u>で</u> 仕事をする <u>の</u> 機会など全部マレー人が <u>お</u> <u>先</u> <u>に</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1コソア 2ノ連 3表現
4740	マレーシア 17 自由作文 10	人民がみんな同じ <u>の</u> 人権を <u>あ</u> <u>げ</u> <u>さ</u> <u>せ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1格 *ガ /ーニ 2*ノ連 3受給 3使役 3V
4741	マレーシア 18 自由作文 23	国語と英語と <u>華語</u> の授業時間は同じ期限 <u>は</u> <u>ず</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2)}	1N 2ノ連 表現 ムー ド
4742	マレーシア 24 自由作文 3	毎日、私は、同じ <u>の</u> ことをくり返しました。	ノ連
4743	マレーシア 26 自由作文 3	私の国、マレーシアも暑い国で、 <u>一</u> <u>年</u> <u>中</u> 平均気温は、日 本よりずっと高いのですが暑さは、日本ほどではありま せん。	複N ノ連
4744	マレーシア 26 自由作文 14	そして車が走らない道では髪や服 <u>を</u> <u>変</u> <u>な</u> <u>若</u> <u>い</u> <u>物</u> が踊り を踊っています。 _{(1) (2)}	1ノ連 2N
4745	マレーシア 28 自由作文 7	帰った <u>の</u> <u>次</u> <u>日</u> は、私の誕生日 <u>な</u> <u>の</u> <u>で</u> 、たくさん <u>友</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>と</u> <u>一</u> <u>緒</u> <u>に</u> <u>デ</u> <u>ィ</u> <u>ス</u> <u>ー</u> <u>コ</u> <u>へ</u> 行きました。 _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1*ノ連 2N 3*ル /ー タ 4ーノ連 5表記
4746	マレーシア 28 自由作文 10	友だちの中で、私をのぞい <u>で</u> 、アメリカやカナダや台湾 など <u>国</u> <u>へ</u> 勉強に行くつもり <u>だ</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、それらの ような国の大学制度をお互いに話しあいました。 _{(1) (2) (3)}	1発音 2ーノ連 3表現
4747	マレーシア 28 自由作文 26	帰る前に、多くの風景 <u>に</u> 写真を取ってしまいました。	格 *ニ /ーノ連
4748	マレーシア 29 自由作文 12	国民に国の発展 <u>は</u> 一番大切な観念を与えたり、いろいろ な激励を <u>あ</u> <u>げ</u> <u>た</u> <u>り</u> 、するつもりです。 _{(1) (2)}	1取立 *ハ /ーにツイエ ーノ連 2V
4749	スペイン 2 パターン作文 14	これに対して魚はおよぐ <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>上</u> <u>手</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1*ノ連 体修 2格 *0 /ーガ
4750	ナイジェリア 1 聴解要約 8	ヤンさんはりょこう <u>か</u> <u>ら</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>見</u> <u>せ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>た</u> 。 _{(1) (2)}	1格 *カラ /ーノ連 2 格 *0 /ーヲ

4751	ナイジェリア 1 パターン作文 13	砂漠から <u>の</u> <u>モノスーン</u> の風がふくとさむくて <u>かんそし</u> ます。 (1) (2) (3)	2表記 3発音 1ノ連
4752	イギリス 1 自由作文 4	英国の会社ではお茶をいれる <u>の</u> <u>人</u> が <u>ティーラディー</u> と言います。 (1) (2) (3)	1ノ連 3発音 表記 2 格 *ガ/ーヲ
4753	エチオピア 1 聴解要約 1	ヤンさんはあさはやいうちからでかける <u>とけ</u> に <u>となれ</u> <u>をばさん</u> をきこいたして <u>あいせ</u> してかいしゃのほて ねし <u>の</u> <u>て</u> <u>えた</u> 。 (3) (4) (5) (6)	1,2,4,5,6発音 3ーノ 連
4754	インド 4 自由作文 7	<u>こう</u> 中に <u>、</u> 着物を置いています。 (1) (2)	1N 2ーノ連
4755	インド 4 自由作文 8	<u>右</u> に、 <u>たんす</u> の上に、テレビがあります。 (1) (2)	1N 2格 *ニ/ーノ連
4756	インド 4 自由作文 9	私 <u>は</u> 、 <u>自分</u> で物は、 <u>ベッド</u> と <u>こだつ</u> と小さいたんす といす <u>が</u> あります。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ/ーノ連 2 格 *デ/ーノ連 3発音
4757	インド 5 自由作文 3	私の部屋 <u>中</u> に <u>テレビ</u> と <u>机</u> と <u>いす</u> <u>本</u> <u>ば</u> <u>こと</u> <u>じゅ</u> <u>うたん</u> と <u>ベッド</u> があります。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1ーノ連 2取立 *0/ ーハ 3,4,6,7並 N *ト /ーヤ 5取立 *0/ ーヤ
4758	インド 5 自由作文 15	まだそうじ機がありませんから、そうじ <u>時</u> <u>たい</u> <u>べん</u> 不便です。 (1) (2)	1ーノ連 2発音
4759	インド 6 自由作文 12	ようふくだんす <u>な</u> <u>か</u> に <u>パスポート</u> や <u>シャツ</u> や <u>お金</u> が <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> あります。 (1) (2) (3) (4)	1ーノ連 2取立 *0/ ーハ 3発音 表記 4V 自他
4760	インド 8 自由作文 2	私の部屋は、山王荘 <u>2</u> <u>、</u> 105号室で、8畳です。	ーノ連
4761	インド 9 自由作文 2	私の部屋 <u>の</u> <u>ひろさ</u> は <u>四畳半</u> です。 (1) (2)	1取立 *ノ連/ーハ 2 取立 *ハ/ーガ
4762	インド 9 自由作文 5	その部屋 <u>に</u> <u>住む</u> <u>と</u> <u>ころ</u> はきれいで、虫がぜんぜん <u>ない</u> <u>で</u> <u>した</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーノ連 2N 3V, 活用(V)
4763	インド 10 自由作文 9	南東 <u>に</u> 窓には水色のたてじまのカーテンがかけてありま す。	ノ連
4764	インド 10 自由作文 12	また、音楽を聞く <u>、</u> 私の楽しみです。 (1) (2)	1ーノ連 2格 *0/ ーガ
4765	インド 16 自由作文 14	私の部屋は西向 <u>の</u> です。	ノ連
4766	インド 18 自由作文 2	いえは人々が <u>やすみ</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>ころ</u> です。 (1) (2)	1体修 2ーノ連
4767	インド 18 自由作文 20	みなみのほう <u>が</u> <u>ベランダ</u> <u>へ</u> <u>でき</u> <u>る</u> <u>も</u> <u>う</u> <u>ひ</u> <u>と</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ガ/ーニ 2VP 可能 3ノ連 4N 5*ダ
4768	インド 18 自由作文 31	へやおおきさより <u>きれ</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>ほう</u> が大せつです。	NA *ノ連
4769	インド 21 自由作文 9	まだ机がありませんが、勉強 <u>の</u> <u>と</u> <u>ころ</u> は <u>ご</u> <u>た</u> <u>つ</u> です。 (1) (2)	1体修 *ノ連 2発音
4770	インド 22 自由作文 7	ドアの左に、電気 <u>ス</u> <u>イ</u> <u>ツ</u> <u>が</u> あります。 (1) (2)	1ーノ連 2表記

第5章 シンタクス - 意味論 1. 補語

4771	インド 22 自由作文 11	これは、私がかったばかり <u>の</u> です。	*ノ連
4772	インド 22 自由作文 27	ドーア <u>反対</u> がわのかべに、とけいがかけて <u>います</u> 。 (1) (2) (3)	1表記 2ノ連 3複V
4773	インド 23 自由作文 4	おおきいて <u>きれいな</u> <u>8畳</u> へやです。 (1) (2)	1活用(A) 2複N ノ連
4774	インド 23 自由作文 17	へや <u>まん中</u> に <u>こだつ</u> がある。 (1) (2)	1ノ連 2発音
4775	インド 23 自由作文 18	テレビは <u>こだつ</u> <u>左側</u> <u>かべ</u> の前です。 (1) (2) (3)	1発音 2,3ノ連
4776	インド 23 自由作文 20	以上は私の部屋 <u>は</u> <u>簡単な配置</u> <u>を</u> <u>紹介</u> です。 (1) (2) (3)	1取立 2格 *ヲ/ノ連 3品詞 *V/ノN
4777	インド 23 自由作文 23	そして勉強 <u>の</u> いいところです。	格 *ノ連/ノニ
4778	インド 24 自由作文 24	勉強が終わったら、 <u>いれだし</u> の中に、 <u>ふと</u> を <u>持って</u> 、 <u>畳</u> に敷く <u>はず</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,3N 2格 *ニ/ノ連 4V 5ムード *ハズ
4779	インド 24 自由作文 34	そして、手紙は壁に掛けてある <u>の</u> はこに入れます。	*ノ連/ノ0
4780	インド 24 自由作文 37	時々、私とティアンさんが部屋 <u>角</u> に置いてある <u>の</u> テープレコーダを聞いたり、テレビを見たり、はなしたりしています。	1*0/ノ連 2体修 ノ連/ノ0
4781	インド 24 自由作文 38	<u>ある時</u> 、窓をあけて、下に住ん <u>る</u> いる <u>の</u> 友達 <u>と</u> <u>話し</u> ます。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2? 3体修 *ノ連/ノ0 4格 *0/ノト
4782	インド 25 自由作文 6	私 <u>の</u> <u>小学</u> の時、 <u>あり</u> いい学生じゃなかった。 (1) (2) (3)	1*ノ連/ノハ 2N 3発音
4783	インド 28 自由作文 10	映画の中 <u>で</u> <u>たくさん</u> <u>美しい</u> 歌があります。 (1) (2)	1格 デ/ノニ 2*0/ノ連
4784	インド 29 自由作文 6	映画の内容はおじいさんとおよめさんと <u>ふたりの</u> 生活 <u>の中</u> でいろいろな問題 <u>を</u> <u>出で</u> くる <u>という</u> <u>映画</u> でした。 (1) (2) (3) (4)	1ノ連 2格 ヲ/ノガ 3発音 4N 体修
4785	インド 30 自由作文 12	このように、おじは、私 <u>に</u> 自分 <u>の</u> <u>親子</u> <u>と</u> <u>ように</u> 、世話をしてくれました。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ノヲ 2N 3*0/ノ連
4786	インド 31 自由作文 5	私たちが毎日 <u>見た</u> <u>の</u> テレビ、新聞、雑誌 <u>と</u> 毎日 <u>通</u> った <u>商店街</u> 、 <u>駅</u> 、 <u>デパート</u> などに <u>確か</u> <u>広告</u> というものが <u>入り</u> 込んでいる。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,4*タ/ノテイル 2*ノ連 3並N *ト/ノソ シテ 5Ad 副用
4787	インド 31 自由作文 7	駅で電車を待つ時もむこう <u>の</u> 大きな広告看板が見える、電車の中で <u>なんか</u> 吊り皮についているとか天井に掛けて、 <u>貼</u> っている <u>広告</u> も <u>少く</u> なく <u>ない</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ノ連/ノニ 2不定 3複N 4表記
4788	インド 31 自由作文 10	なぜかという、いま工業社会と呼ばれている <u>の</u> 生活 <u>に</u> 、みんな <u>ほとんど</u> 毎日 <u>緊張</u> な気がなっている、毎日 <u>見た</u> <u>のは</u> 冷たい <u>の</u> 建物、と無表情 <u>の</u> 顔。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1,6,7*ノ連 体修 2格 ニ/ノデ 3発音 4VP 5*タ/ノル

4789	インド 31 自由作文 11	もしこの様々とおもしろい <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 広告画がそれ毎日辛い、心配、緊張しているの社員に対して、助けることがあれば、広告は私達にとって大切なものである。	1並V *ト 体修 2N 3Ad 4ー連用形 5*ノ 連
4790	インド 31 自由作文 13	ただ商品を知らせるだけではない、実は <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 国際的、文化的、国の芸術水準、技術性の一体である。	1C 2N 3*ノ連/ート
4791	インド 33 自由作文 4	「私はくつがないの <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> ためによくきました、ずうとあしがない人をみた日まで。」。	1*ノ連/ー0 2発音 表記 品詞 語順 3*タ/ール
4792	インド 34 自由作文 10	教室の <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 以外には彼を私達のピンポンの教連にしたりしていました。	1*ノ連 2格 *ニは/ー デは 3N
4793	インド 37 自由作文 7	映画 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 中の男演員と船がも同じ、 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 不怕風不怕雨、男往直前 本当に感動しました。	1ノ連 2N 3*モ/ー0 4
4794	インド 38 自由作文 6	その時、私の町の一人 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 代表は、病気がありましたので、欠席でした。	1ーノ連 2ダ
4795	インド 39 自由作文 15	子供 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 時、お弟は、林に蚊をかみました。	1ーノ連 2表記 3格 * ニ/ーデ
4796	インド 39 自由作文 22	これは、私のこども <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 時、なつかしい思い出、楽しいことでした。	1ーノ連 2ーノ連 3接 *0/ーデ 4*タ/ー ル
4797	インド 40 自由作文 2	かぜは伝染病です、はやっている時、たくさん <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 人がかかりやすいです。	ーノ連
4798	インド 40 自由作文 23	5歳 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 時、私の家族と一緒に、台北へ移されていった。	1ーノ連 副用 2V 3 発音
4799	インド 40 自由作文 31	一回、 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 帰るの時間がおそくて、ちちにしかられた。	1体修 *ノ連 2発音
4800	インド 44 自由作文 20	このふたりだけ <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 、ふたり山の中で遊んだり、川で魚を取ったり、いろいろな自分 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 好きなこと <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> しました。	1格 *0/ーデ 2格 ー ノ連 3格 *0/ーヲ
4801	インド 44 自由作文 22	この本は外の <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> ずばらしい所もあります。	1*ノ連 格 ーニ 2発 音
4802	インド 46 自由作文 12	将来は、ちち <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> の手伝ってあげたいと思っています。	*ノ連 格 *0/ーヲ
4803	インド 47 自由作文 4	国の鉄路や橋などが、いつも、ちいさい天災 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> の、こわれるわけ <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> です。	1*ノ連 格 *0/ーデ 2ー名詞節
4804	インド 48 自由作文 9	まだ、それ <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> について、大学とか専門学校とか <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> 、非常に多いです。	1発音 2コソア 3ーノ 連 4格 *0/ーガ
4805	インド 49 自由作文 7	一般的な家庭 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> に持つ電気製品が八十パーセントは日本製品 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> であって、自動車もほとんど日本制 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> です。	1格 *ニ/ーガ 3格 * ガ/ー0 ーノ連 2,4,5表記
4806	インド 50 自由作文 4	したがって私の国の写真技術 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> がもちろん日本よりずっと低い、学びたいの技術 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> も限られています。	1取立 *ガ/ーハ 2ー 連用形 3*ノ連
4807	インド 50 自由作文 11	しかし、その時、父の話 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> し全然わかりませんがだんだん大きくなってこの仕事 <u>①</u> <u>②</u> <u>③</u> <u>④</u> <u>⑤</u> の興味を持っています。	1C 2取立 *0/ーハ 3*ル/ータ 4*ノ連 格 *0/ーニ 5VP

第5章 シンタクス・意味論 1. 補語

4808	インド 51 自由作文 17	これらの経済の高度成長を <u>向上</u> に尽くしたいと思っ ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ている。	1コソア 2格 *ヲ/ー 0 3ーノ連 4N
4809	インド 53 自由作文 12	私はこれらの経済制度と日本人 <u>よく働き 経神</u> の要因 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ を学び、将来は国の経済制度を改良したり、商業の向上 に尽くしたりしたいと思っています。	1ーノ連 2体修 3N
4810	インド 54 自由作文 2	もし、私がお金持ちになったら <u>社会には まだ</u> たくさん ⁽¹⁾ ⁽²⁾ の苦難の人、 <u>憐れな</u> 人に援助して <u>あげろう</u> と思ってい ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ます。	1ーノ連 2副用 3NA 4活用(V)
4811	インド 54 自由作文 7	子供の時李正輝という人は私が一番いいの友達でした、 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ 毎日、一緒に学校へいって遊んで午後の授業が <u>終わった</u> 一 ⁽³⁾ 緒に家へ帰りました。	1格 *ガ/ー 0 ーノ連 2*ノ連 3条件
4812	インド 54 自由作文 10	しかし、六年生になった時李さんがひどい病気のため <u>の</u> ⁽¹⁾ 病院に <u>入院</u> していました。 ⁽²⁾	1*ノ連 格 *0/ーニ 2複V
4813	インド 55 自由作文 13	次は、国民の生活 <u>ができる</u> ために、広大の土地に <u>利用</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ して、農業を発展させて、また、マレーシア <u>豊富の</u> 天 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ 然資源も積極的に開拓させます。	1*可能/ーノ連 2格 * ニ/ーヲ 3ーノ連 4品 詞 *N/ーNA
4814	フィンランド 1 自由作文 8	そして、私は二人 <u>友だちと</u> <u>いっしょう</u> に川ごえでれ ⁽¹⁾ ⁽²⁾ いぞうこを買いました。	1ーノ連 2発音
4815	フィンランド 1 自由作文 9	本当に <u>かわいいの</u> れいぞうこです。	体修 *ノ連
4816	フィンランド 4 自由作文 9	左 <u>の側</u> にテーブルと椅子があります。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1*ノ連 2N
4817	フィンランド 5 自由作文 28	私は鼻こう炎の治療方法 <u>文章</u> がもう日本語訳した。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1ーノ連 2N 3格 ガ/ ーヲ
4818	フィンランド 8 自由作文 17	良く食べた <u>の</u> 方がいいです。	体修 *ノ連

5.2. ヴォイス

5.2.1. 受身

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4819	台湾 2 自由作文 12	残 <small>(1)</small> されて いた古い物はよく 保存 <small>(2)</small> して いないから、 <u>こわ</u> <small>(3)</small> <u>られた</u> <small>(4)</small> し、さらに <u>モーダン</u> <small>(5)</small> の型を <u>付</u> <small>(6)</small> けた。	1,2 受身 3 自他 活用 (V) 4 並 V 5 品詞 *N / -NA 6 VP -テイル
4820	台湾 17 自由作文 2	さまざまななやみやくつうなど、 <u>一日</u> <small>(1)</small> <u>ずつ</u> <small>(2)</small> あつまってほ かの人に <u>話</u> <small>(3)</small> する ことができ <small>(4)</small> ませんから、せいしんじょう たいにえいきょう <u>さ</u> <small>(5)</small> れます。	1 副用 2 活用 (V) 3 受身
4821	台湾 17 自由作文 5	もしわたしがしんりそうだんしゃだったら、できるだけ、 <u>うつ</u> <small>(1)</small> <u>ぜん</u> <small>(2)</small> な <u>人</u> <small>(3)</small> が <u>た</u> <small>(4)</small> すけさせられます。	1 NA 2 格 *ガ/ーヲ 3 使役 受身 複 V
4822	台湾 17 自由作文 9	もしわたし <u>は</u> <small>(1)</small> しんりそうだんしゃだったらさまざま <u>じ</u> <small>(2)</small> <u>んげん</u> <small>(3)</small> のもんだいが私 <u>に</u> <small>(4)</small> <u>けん</u> <small>(5)</small> <u>けん</u> <small>(6)</small> <u>きゅう</u> <small>(7)</small> <u>さ</u> <small>(8)</small> れます。	1 取立 *ハ/ーガ 2 発音 3 格に *O / に一ヨッテ 4 表記 5 受身
4823	台湾 20 自由作文 9	2、 <u>人</u> <small>(1)</small> 才を <u>培</u> <small>(2)</small> 養する ために外国へ技術・学問を <u>学</u> <small>(3)</small> びに <u>派</u> <small>(4)</small> 遣する。	1 V 2 VP 受身
4824	台湾 25 自由作文 14	もし、この映画 <u>は</u> <small>(1)</small> もう一度、 <u>放</u> <small>(2)</small> 映し たら再びもう一回 見ようと思っています。	1 取立 *ハ/ーガ 2 受身
4825	中国 15 自由作文 13	皆も <u>あ</u> <small>(1)</small> の人 のスピートに <u>驚</u> <small>(2)</small> かれた のだ。 <small>(3)</small>	1 コソア 2 受身 使役 3 *ノダ
4826	中国 17 自由作文 8	日本の <u>こ</u> <small>(1)</small> とを見る と <u>感</u> <small>(2)</small> 心 <u>さ</u> <small>(3)</small> れた のはこれだけではあ りません。	1 *名詞節 2 条件 *ト / -テ形 3 受身 使役
4827	中国 19 自由作文 11	私の国では仕事がなく、人々を <u>雇</u> <small>(1)</small> われない のですが、 経済大国では仕事があっ <u>て</u> <small>(2)</small> 、 <u>し</u> <small>(3)</small> <u>か</u> <small>(4)</small> し、仕事をせず浮 浪者になる人もいるのは本当に不思議です。	1 受身 2 接 *テ形 / -ニ、-テモ 3 C
4828	中国 59 自由作文 10	新登場の物が毎日 <u>発</u> <small>(1)</small> 表します。	受身
4829	韓国 9 自由作文 10	まず、景州では三国時代の新羅のたてものと、芸術品な とがほぞん <u>し</u> <small>(1)</small> ている。	受身
4830	韓国 12 パターン作文 1	学園都市と他の都市 <u>が</u> <small>(1)</small> <u>一</u> <small>(2)</small> 番 違いは、学園都市は前もっ て都市計画が <u>て</u> <small>(3)</small> きる <u>ら</u> <small>(4)</small> 、他の都市は自然発生に <u>な</u> <small>(5)</small> る こ とです。	1 ノ連 2 品詞 3 発音 -受身 4 接 -にタイシテ/ーガ/ー連用形 5 V *ル/ーテイル
4831	韓国 12 パターン作文 4	その原因をあければ <u>第</u> <small>(1)</small> <u>一</u> <small>(2)</small> 建設作業がすんだらその図面 よって工場でつくられる <u>部</u> <small>(3)</small> <u>材</u> <small>(4)</small> を建設現場に運送して <u>こ</u> <small>(5)</small> <u>の</u> <small>(6)</small> <u>部</u> <small>(7)</small> <u>材</u> <small>(8)</small> を <u>組</u> <small>(9)</small> み <u>合</u> <small>(10)</small> わせして <u>建</u> <small>(11)</small> 設する <u>が</u> <small>(12)</small> <u>ら</u> <small>(13)</small> <u>工</u> <small>(14)</small> 事期間を短縮 <u>さ</u> <small>(15)</small> れる <u>こ</u> <small>(16)</small> とができる。	5 発音 6 受身 2 N 1 Ad 3 コソア 4 活用
4832	韓国 31 自由作文 5	世界各地 <u>で</u> <small>(1)</small> 会社の支店を <u>つ</u> <small>(2)</small> くられて <u>商</u> <small>(3)</small> 業も <u>盛</u> <small>(4)</small> んていま <u>す</u> <small>(5)</small> 。	1 格 *デ/ーニ 2 受身 3 NA 複 V
4833	韓国 34 自由作文 3	というのは、私が国には <u>そ</u> <small>(1)</small> の <u>つ</u> <small>(2)</small> いて、まだ <u>発</u> <small>(3)</small> 展されな <u>い</u> <small>(4)</small> し、大学でもそんな科目の時間が <u>少</u> <small>(5)</small> くなかった <u>ん</u> <small>(6)</small> で <u>す</u> <small>(7)</small> 。	1 コソア 2 受身 3 表記

4834	韓国 35 自由作文 8	その <u>強大国々</u> の間で政治的 <u>も</u> 経済的 <u>でも</u> <u>成長</u> される <u>のは</u> と <u>ても</u> <u>むずかしい</u> だろう <u>と</u> <u>思</u> います。 (1) (2) (3) (4)	1複 N 2格 *0 /-ニ 3格 *デ/-ニ 4受身
4835	韓国 35 自由作文 9	別に共産主義 <u>と</u> <u>言</u> う 北朝鮮とソビエトと中国が <u>あ</u> った <u>ので</u> 軍事的 <u>でも</u> <u>ずいぶん</u> 不利な立場に <u>お</u> いて <u>あ</u> ります。 (1) (2) (3)	1*トイウ/-ノ連 2* タ/-ル 3受身 VP
4836	香港 6 自由作文 2	昭和三十年 (<u>公</u> 元 一九五五年) 以降、日本全国的に <u>展</u> 開された <u>都</u> 市化現象は、人口移動という視点からみた場合1、郡部から市部へ2、周辺から中央へという二つの基調をもっていた。 (1) (2)	1N 2受身
4837	香港 19 自由作文 1	漢字の訓読みをやめると <u>す</u> れば、おくりがなの不統一も <u>な</u> にも <u>全</u> 部なくなると <u>い</u> った。 (1) (2)	1接 条件 と *スレバ/ とー0 2受身 *タ/ テイル
4838	香港 19 自由作文 4	漢字の音読・訓読みは古くから <u>用</u> わられている。	V 活用 受身
4839	香港 20 自由作文 1	日本語はテレビ型の <u>語</u> 言 <u>と</u> <u>言</u> う <u>何</u> 故 <u>そ</u> う <u>と</u> <u>評</u> して <u>い</u> るか。 (1) (2) (3) (4)	1N 2接 *0 /-ガ 2 コソア 副用 3 受身
4840	香港 20 自由作文 6	漢語を全部 <u>消</u> けられれば、文章を読む時、必ず一字一字 <u>呼</u> んで <u>自</u> 分の想像力を伸して作者の考えに至って推測する。 (1) (2)	1V 受身 2表記
4841	香港 22 短文作文 16	一週間の中に、仕事を <u>済</u> まれる <u>と</u> <u>言</u> われてみると、みんな徹夜で働かなければ <u>な</u> らない。 (1) (2)	1自他 受身 2熟語
4842	香港 23 自由作文 27	外国から文化を <u>輸</u> 入され <u>続</u> ける。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/-ガ 2受身 3*ル/-テイル
4843	香港 24 短文作文 4	彼の名は国内で知って <u>い</u> られる <u>だ</u> けでなく、海外にも <u>ひ</u> ろく <u>知</u> っている。 (1) (2)	語順 テイル 受身
4844	香港 25 自由作文 20	「国語」以外は「外国語」と <u>呼</u> ばれる <u>と</u> <u>い</u> う考え方が <u>う</u> まれた。 (1) (2)	受身
4845	香港 25 自由作文 22	日本では「日本語学」よりも「国語学」 <u>が</u> <u>広</u> まって <u>つ</u> かう。 (1) (2) (3) (4)	1ーノホウ 2副用 3格 *ガ/-ヲ 4受身
4846	香港 25 短文作文 11	失ってみて、妻は私に <u>何</u> となく <u>重</u> 要なことがよく <u>わ</u> かれた。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/-ガ 2格 *ニ/-に トッテ 3Ad 4受身
4847	香港 26 短文作文 2	彼の名は国内 <u>て</u> も、海外 <u>も</u> <u>し</u> っています。 (1) (2)	1発音 2受身
4848	イラン 1 自由作文 17	それに二つとも <u>い</u> ろいろな <u>教</u> 育 <u>か</u> ら <u>え</u> きよう <u>さ</u> れて <u>い</u> る。 (1) (2) (3) (4)	2格 *カラ/-ニ 1副 用 3発音 4受身
4849	マレーシア 29 自由作文 2	首相は、国の政治に一番 <u>有</u> 力な <u>人</u> で、国政を指揮して、 <u>だ</u> れでも <u>尊</u> 敬して <u>名</u> 望 <u>を</u> もっている人です。 (1) (2) (3)	1NA 2受身 3N
4850	マレーシア 29 自由作文 20	国の発展 <u>ら</u> れる <u>た</u> めに、私は一生懸命働くつもりです。 (1) (2)	受身 使役
4851	エチオピア 1 聴解要約 2	<u>か</u> いして <u>こ</u> ばやしさんに同僚 <u>し</u> ょかい <u>し</u> ました。 (1) (2) (3) (4)	1,2発音 3格 *0 /- ヲ 4受身
4852	インド 18 自由作文 22	ふくなどはここで <u>干</u> されます。 (1) (2)	*受身 /-可能

5.2.1. 受身

4853	インド 18 自由作文 23	はれ <u>なら</u> 、 <u>となりのひとびと</u> は <u>ふとんもだって</u> 太陽 に <u>ほされる</u> こともあります。 (1) (2) (3) (4)	1接 条件 2N 3取立 4*受身/-可能
4854	インド 30 自由作文 5	ですから、もし都心へ <u>いたら</u> 、 <u>他人</u> に車 <u>を</u> <u>乗られさ</u> <u>せ</u> なければなりません <u>でした</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1接 条件 *クラ/-ナ ラ 2N 3格 *ヲ/-ニ 4受身 使役 受給
4855	インド 53 自由作文 8	日本は、自由経済制度や終身雇用制度を <u>行なわれていま</u> <u>す</u> 。	受身 V
4856	インド 55 自由作文 9	<u>もっと</u> <u>進歩的な技術</u> を外国から多く採り入れ <u>られます</u> 。 (1) (2)	1副用 2*受身
4857	インド 55 自由作文 10	国民に皆平等に <u>教育</u> を <u>受けられます</u> 。	*受身/-使役

5.2.2. 使役

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4858	台湾 17 自由作文 5	もしわたしがしんりそうだんしゃだったら、できるだけ、 うっせんな人がたすけさせられます。 <small>(1) (2) (3)</small>	1NA 2格 *ガ/ーヲ 3 使役 受身 複V
4859	中国 15 自由作文 13	皆もあの人 の スピートに驚かれたのだ。 <small>(1) (2) (3)</small>	1コソア 2受身 使役 3*ノダ
4860	中国 17 自由作文 8	日本のことを見る と 感心されたのはこれだけではあ りません。 <small>(1) (2) (3)</small>	1*名詞節 2条件 *ト/ ーテ形 3受身 使役
4861	韓国 28 自由作文 2	アメリカで作った「紫色」という映画は私を感動させた。	使役 表現
4862	韓国 30 自由作文 3	この映画は、私が見た映画の中で一番いい映画 <u>じゃなく</u> <u>て</u> 、しかし、この映画の内容はとて <u>私に感動させた</u> 。 <small>(1) (2)</small>	1接 *テ形/ーガ 2使 役 表現 VP
4863	韓国 32 自由作文 10	私は将来国へ帰って父のデパートを <u>改革させて</u> もっと <u>大き</u> をしたい <u>思</u> っています。 <small>(2) (3) (1)</small>	1*使役 2N 3VP
4864	香港 24 短文作文 7	こんな証拠によって、 <u>必ずしも</u> <u>彼女</u> <u>は</u> <u>犯人だと</u> <u>思</u> わ せ <u>ない</u> 、ほかの考えはない。 <small>(1) (2) (3)</small>	1Ad 2取立 *ハ/ーガ 3自発 使役
4865	香港 25 自由作文 10	第三 <u>、</u> 国民を訓の音を <u>わすれ</u> らせる <u>のは</u> たいへんむ ずかしいことである。 <small>(1) (2)</small>	1格 *ヲ/ーニ 2活用 使役
4866	マレーシア 17 自由作文 6	マレー人は <u>往々に</u> <u>優先権</u> を <u>あげ</u> させます。 <small>(1) (2)</small>	1Ad 副用 2受給 2使 役 2V
4867	マレーシア 17 自由作文 10	人民が <u>みんな</u> <u>同じ</u> <u>の</u> <u>人権</u> を <u>あげ</u> させます。 <small>(1) (2) (3)</small>	1格 *ガ/ーニ 2*ノ連 3受給 3使役 3V
4868	マレーシア 22 自由作文 15	私達 <u>びっくり</u> <u>させ</u> ました。 <small>(1) (2) (3)</small>	1取立 *0/ーハ 2Ad 3使役
4869	マレーシア 29 自由作文 11	とにかく <u>国民</u> <u>は</u> <u>愛</u> 国心を <u>教</u> わて、政治と教育と文化に <u>つ</u> いて政策 <u>は</u> <u>平等</u> に <u>実</u> 施させます。 <small>(1) (2) (3) (4) (5)</small>	1Ad 副用 2取立 *ハ/ ーニ 3V 4取立 *ハ/ ーニ 5使役
4870	マレーシア 29 自由作文 19	もし私 <u>は</u> <u>首相</u> <u>だ</u> ったら、国を <u>発</u> 展する <u>か</u> たわら、国民 の快適な生活を <u>与</u> える <u>こ</u> とも <u>欠</u> かさず。 <small>(1) (2) (3) (4)</small>	1取立 *ハ/ーガ 2使 役 3V 4表現
4871	マレーシア 29 自由作文 20	国の発展 <u>ら</u> れる <u>た</u> めに、私は一生懸命働くつもりです。	受身 使役
4872	インド 30 自由作文 5	ですから、もし都心へ <u>い</u> たら、 <u>他</u> 人に車 <u>を</u> <u>乗</u> られさ <u>せ</u> なければなりません <u>で</u> した。 <small>(1) (2) (3) (4)</small>	1接 条件 *タラ/ーナ ラ 2N 3格 *ヲ/ーニ 4受身 使役 受給
4873	インド 52 自由作文 6	日本の経営管理のやり方は日本の経済を <u>進</u> んでばかりで なく国民のゆとりも <u>だ</u> んだん <u>あ</u> たえさせて <u>い</u> ます。 <small>(1) (2) (3)</small>	1自他 接 *テ形/ータ 2Ad 副用 3使役
4874	インド 53 自由作文 6	また日本へ留学した友人からいろいろないいことを <u>聞</u> か <u>せ</u> ました。	使役
4875	インド 55 自由作文 10	国民に皆平等に教育を <u>受</u> けられます。	*受身/ー使役

5.2.3. 可能

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4876	台湾 10 自由作文 5	まず言語の障害を除去しなければならぬので、日本語を上手に <u>話す出来る</u> ように、日本語を勉強したいと思います。	VP 可能
4877	中国 3 パターン作文 7	コピーの機械は自由に <u>使う</u> 。	可能 スタイル
4878	中国 12 自由作文 18	そして <u>一生に忘れない</u> ほど深い印象が残されました。 (1) (2)	1副用 2可能
4879	中国 16 自由作文 13	そして、駅の近くの浮浪者も <u>見えました</u> 。	可能
4880	中国 17 自由作文 17	わたしたち <u>とって</u> 二十世紀の青年は <u>もし</u> 、日本人の <u>様子</u> つまり仕事をしたら <u>きりが無い</u> ほどの <u>精神</u> を手に <u>入れる</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1*トッテ /-0 2取立 *ハ /-ガ 3N 4熟語 5N 6可能 スタイル
4881	中国 45 自由作文 9	いつ <u>まで</u> <u>わかれる</u> かとおもいます。 (1) (2)	1格 *マデ /-0 2活用(V) ムード 可能
4882	中国 45 自由作文 15	いまから、みんなといっしょに将来大学に <u>はいる</u> <u>こと</u> を <u>がんばり</u> ましょう。 (1) (2)	1-可能 2*コト VP(-ヨウニ)
4883	マレーシア 3 自由作文 2	でも、一番 <u>忘れない</u> のは「サン・カンチルー」という話だ。	可能
4884	マレーシア 6 自由作文 1	人間は、十七年ほど <u>の時</u> 、月へ <u>行けて</u> なった。 (1) (2)	1副用 2-可能
4885	マレーシア 24 自由作文 16	もし、来年は、日本の大学に <u>はいれば</u> 、夏休みの時、国へ帰えらなかつたら、北海道へ、 <u>光観</u> に行こうと思います。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ /-0 2可能 条件+バ /-連用 3N
4886	インド 18 自由作文 20	みなみのほう <u>が</u> ベランダへ <u>できる</u> もうひとつ <u>もん</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ガ /-ニ 2VP 可能 3ノ連 4N 5*ダ
4887	インド 18 自由作文 22	ふくなどはここで <u>干</u> されます。	*受身 /-可能
4888	インド 18 自由作文 23	はれ <u>なら</u> 、となりの <u>ひと</u> <u>びと</u> は <u>ふとん</u> <u>も</u> <u>だ</u> <u>って</u> 太陽に <u>ほ</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>る</u> こともあります。 (1) (2) (3) (4)	1接 条件 2N 3取立 4*受身 /-可能
4889	インド 55 自由作文 13	次は、国民の生活 <u>が</u> <u>できる</u> <u>ため</u> に、 <u>広</u> <u>大</u> の <u>土</u> <u>地</u> に <u>利</u> <u>用</u> して、 <u>農</u> <u>業</u> を <u>発</u> <u>展</u> させて、また、マレーシア <u>豊</u> <u>富</u> の <u>天</u> <u>然</u> <u>資</u> <u>源</u> も <u>積</u> <u>極</u> 的に <u>開</u> <u>拓</u> させます。 (1) (2) (3) (4)	1*可能 /-ノ連 2格 *ニ /-ヲ 3-ノ連 4品詞 *N /-NA

5.2.4. 自発

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4890	中国 20 自由作文 5	たとえばデパートで買物をするとき「いらっしゃいませ」とか「ありがとうございました」とか、あちらこちらにきこえることができます。	1格 *ニ /ーデ 2自発
4891	香港 24 短文作文 7	こんな証拠によって、 <u>必ずしも</u> <u>彼女は</u> <u>犯人だと</u> <u>思わせ</u> ない、ほかの考えはない。 <small>(1) (2) (3)</small>	1Ad 2取立 *ハ /ーガ 3自発 使役

5.2.5. 自他の区別

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4892	台湾 2 自由作文 12	残されて <u>いた</u> 古い物はよく <u>保存</u> して <u>いない</u> から、 <u>こわ</u> <u>られた</u> し、さらに <u>モーダン</u> の型を <u>付</u> けた。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,2 受身 3自他 活用(V)4並V 5品詞 *N / -NA 6VP -テイル
4893	台湾 11 自由作文 3	私はよく友達に <u>あだ</u> の <u>をつ</u> くので、友達もいろいろな <u>あだ</u> なを <u>つ</u> いた。 (1) (2) (3)	1発音 2自他 3自他
4894	台湾 13 自由作文 4	先日、買い物に行った時に、ベートーベン交響曲第九番 の新演奏レコードが <u>見</u> つかりました。	自他
4895	台湾 17 自由作文 8	ひとびとのせいしんの <u>あつ</u> りよくはほとんどにんげんや かんじょうのもんだいやじぎょうなどから <u>て</u> いねい に <u>かん</u> しゃのなやみをきいて <u>か</u> っかん <u>に</u> <u>けい</u> せつな ら、だんだんあたらしいじんせい <u>かん</u> を <u>た</u> つはずです。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1N 2-ダ 3発音 4 5 6格 *ヲ/ーガ 7自他
4896	台湾 19 自由作文 3	公務員 <u>が</u> <u>人</u> の <u>目</u> の <u>中</u> に <u>な</u> に <u>もの</u> を <u>思</u> われているのは全 然 <u>考</u> えなくて、上役にどんな不公平な事をさせられても、 <u>け</u> っして <u>あ</u> ませなくて、大衆に対して、 <u>ら</u> ずに <u>責</u> 任 <u>が</u> <u>お</u> われて、いつも人に <u>服</u> 務する <u>思</u> い <u>つ</u> き <u>を</u> 持っている。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *ガ/ーハ 2表 現 -疑問節 -トイ ウ 3接 *テ形 4V 5格 *ガ/ーヲ 6自他 7N
4897	台湾 22 自由作文 19	果樹園へ行くと <u>眼</u> 下 <u>の</u> 下に <u>展</u> 開する <u>い</u> ばい <u>果</u> 物を <u>う</u> <u>え</u> ています。 (1) (2) (3) (4)	1N 2V 3発音 4自他
4898	台湾 25 自由作文 3	「親情」という映画 <u>が</u> 母親の愛は <u>充</u> 分に <u>表</u> られました 。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/ーハ 2取 立 *ガ/ーハ 3自他
4899	台湾 25 自由作文 6	それに子供の学資を <u>送</u> ったために毎日一生懸命に仕事を <u>や</u> って <u>い</u> って <u>夜</u> 遅くまで <u>続</u> いていました。 (1) (2) (3)	1*タ/ール 2*テイル 3自他
4900	中国 3 聴解要約 19	会社 <u>に</u> ヤンさんを会社の友達に <u>紹</u> 介 <u>さ</u> れました。 (1) (2)	1格 *ニ/ーデ 2自他
4901	中国 3 パターン作文 6	みずを飲むとき、自分でコップの中に水を入っています。	自他 V
4902	中国 10 自由作文 12	二人ともちょっと困ったような表情を見せましたが、そ れでも、あいさつをもう一度しました・・・・これは めったにないことですが、深く印象に <u>の</u> こしました。	自他
4903	中国 11 自由作文 6	わたしが時々夜八時に仕事を <u>終</u> わろうする時、従業員の 中でいちばんわかい三井さんはいつもわたしに「いいね、 うらやましいね。」と言います。	自他
4904	中国 12 自由作文 13	最後に警備車で私と警察官三人 <u>を</u> 乗せて、私の家へ来ま した。	自他
4905	中国 14 自由作文 9	電車に乗るの <u>も</u> 、長い列に <u>並</u> べなければなりません。 (1) (2)	1格 *0 も/ーニも 2 自他
4906	中国 18 自由作文 5	ところである日わたしは初めて日本の消防員たちが燃え ている火事を <u>消</u> える場面を見ました。	自他
4907	中国 31 自由作文 15	だいたいさんじっぶんぐらい、 <u>も</u> う <u>べ</u> んきょうを <u>つ</u> づ <u>い</u> ています。 (1) (2,3)	1Ad *モウ 2*テイル 3自他

4908	中国 31 自由作文 20	まいにち <u>つづいて</u> にほんごはできるでしょう。	自他 接条件 *テ形 / ート
4909	中国 32 自由作文 7	授業 <u>は</u> はじまる <u>とき</u> いつも「みなさんおはようございます。では、 <u>はじまり</u> しましょう」と言います。	1取立 *ハ / ーガ 2自他
4910	中国 52 自由作文 17	冬休み <u>すぐ</u> <u>始め</u> ます。	1格 *0 / ーガ 2自他
4911	中国 57 自由作文 13	いま、私たちは <u>に</u> <u>じゅううちか</u> の <u>べんきょう</u> を <u>はじ</u> <u>ま</u> <u>り</u> ます。	1発音 表記 2自他
4912	韓国 2 パターン作文 4	3月から南地方 <u>には</u> <u>花</u> が <u>あ</u> <u>け</u> ます。	1格 *ニは / ーデは 2自他
4913	韓国 2 パターン作文 11	6月 <u>来</u> る <u>か</u> ら <u>梅雨</u> <u>か</u> <u>始</u> <u>め</u> ます。	2接(*カラ / ート) 3発音 4自他 1格*0 / ーガ
4914	韓国 4 自由作文 4	日本の場合は約120年前の明治維新で世界の新しい文物を <u>流入</u> した <u>あと</u> で近代化に <u>成功</u> して現在の経済発展を成したと思います。	2自他 1格 *ヲ / ーガ 4*テ形 / ー連用形 3発音
4915	韓国 4 パターン作文 7	これに対して映画を見るために映画館まで <u>出</u> <u>し</u> に行かなければなりません。	自他 *シニ / ーテ形
4916	韓国 6 自由作文 8	もう一つ不便なことは建物の外にアンテナを <u>立</u> <u>つ</u> ことがある。	1取立 *ハ / ーニ 2自他
4917	韓国 16 自由作文 3	そのためには韓国の本のみでなく日本の本や他の知識を知るのが重要だと思って日本語の勉強を <u>始</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。	自他
4918	韓国 19 自由作文 8	筑波大学の特別なもの <u>か</u> も <u>し</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>が</u> <u>開</u> <u>ら</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>た</u> <u>も</u> <u>の</u> は日本もいま急速にすべての方面でかなり開放されていて、またはいま開放が <u>進</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 方面もあります。	1熟語 VP 2NA 3*モノ / ーコト 4自他
4919	韓国 31 自由作文 15	国へ帰るといろいろな学んだ知識をつかって、国を <u>発</u> <u>展</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> を <u>め</u> <u>ざ</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>国</u> は <u>進</u> <u>歩</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>工</u> <u>業</u> <u>国</u> になるゆめを実現したいです。	1接条件 *ト / ータラ 2自他 3接 4取立 *ハ / ーヲ
4920	ブラジル 2 聴解要約 5	やんさんは大家さんのごしゅ人とつめたいおちゃを飲んだ、あとでやんさんはたろうさんといっしょにあきはばらへステレオ <u>買</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>き</u> 、それからたろうさんの家にとめた。	3発音 自他 1格 *0 / ーヲ 2ータ 表記
4921	アメリカ 3 自由作文 2	わたしはにねんまえににほんごのべんきょうを <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	自他
4922	香港 5 自由作文 2	淑雅さんは風邪をひいた <u>そ</u> <u>う</u> と <u>聞</u> <u>き</u> 、もう <u>治</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> か。	1ムード 接 ーガ スタイル 2自他
4923	香港 18 短文作文 1	彼に関しては妙な噂を <u>聞</u> <u>か</u> <u>せ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>け</u> <u>ど</u> 。	1自他
4924	香港 19 自由作文 6	新しいものに適応するのが <u>長</u> <u>い</u> <u>年</u> <u>月</u> を <u>か</u> <u>け</u> <u>る</u> 。	1取立 *ガ / ーハ 格 *ガ / ーニ 2格 *ヲ / ーガ 3自他

4925	香港 19 短文作文 18	そうかもしれない。でも、人に与える価値 <u>が</u> 大いに <u>か</u> <u>えているか。</u> (1) (2)	1格 *ガ/ーヲ 2V 自 他
4926	香港 19 短文作文 19	なまじ、自信を持って <u>いて</u> <u>忠告を</u> <u>受け付か</u> <u>なかつたの</u> <u>で、事業は失敗に終わってしまった。</u> (1) (2)	1接 2自他
4927	香港 20 自由作文 11	従って隠れた環境の中で日本人は自分の歴史と特異な世 界観を <u>生まれた。</u>	自他
4928	香港 20 短文作文 3	冗談 <u>を</u> <u>さておき、</u> <u>改</u> <u>って</u> <u>相談</u> <u>しまし</u> <u>ょう。</u> (1) (2)	1取立 *ヲ/ーハ 2自 他
4929	香港 22 短文作文 16	一週間の中に、仕事を <u>済まれる</u> <u>と</u> <u>言われて</u> <u>みると、</u> <u>み</u> <u>んな徹夜で働かなければならぬ。</u> (1) (2)	1自他 受身 2熟語
4930	香港 24 自由作文 28	でも、家と「そと」はかぎで、 <u>とをあく</u> <u>ことは</u> <u>必要だ。</u> (1) (2)	&表現 1自他 2格 取 立 *ハ/ーガ
4931	香港 24 短文作文 15	彼は技術の点で <u>若い</u> <u>運動員に</u> <u>負け</u> <u>ないが、</u> <u>体力につい</u> <u>て見る限り、全盛期は</u> <u>過</u> <u>ごし</u> <u>そう</u> <u>だ。</u> (1) (2) (3)	1取立 *0/ーハ 2自 他 3ムード
4932	香港 25 自由作文 12	第四 <u>、</u> <u>この計画は</u> <u>時間と金も</u> <u>か</u> <u>ける。</u> (1) (2)	1副用 *0/ーニ 2自 他
4933	香港 25 短文作文 13	技術 <u>によって</u> <u>彼は</u> <u>まだ</u> <u>青年な</u> <u>運動員</u> <u>と</u> <u>負け</u> <u>ない、</u> <u>とこ</u> <u>ろが、体力について見る限り、一番高い</u> <u>成就を</u> <u>過</u> <u>こす</u> <u>よ</u> <u>うである。</u> (1) (2) (3) (4)	1格 *にヨッテ/ーに ツイテ 2品詞*NA/ ーA NA 3N 4自他 *ル/ータ
4934	香港 26 自由作文 15	日本人中心の文化 <u>を</u> <u>おこ</u> <u>りました。</u> (1) (2)	2自他 1格 *ヲ/ーガ
4935	マレーシア 12 自由作文 8	農民は、いつ、仕事を <u>始</u> <u>まる</u> <u>か、</u> <u>わかり</u> <u>ませ</u> <u>ん。</u>	自他 VP
4936	マレーシア 13 自由作文 1	もしわたしが高校の校長だったら、いろいろなふり <u>校</u> <u>規を</u> <u>変</u> <u>り</u> <u>たい</u> <u>です。</u> (1) (2)	1N 2自他
4937	マレーシア 16 自由作文 16	あるいは、できるだけ宿題を <u>減</u> <u>って</u> <u>行</u> <u>くと、</u> <u>学生</u> <u>たち</u> <u>は</u> <u>きょうみがある</u> <u>の</u> <u>方面を</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>ます、</u> <u>そ</u> <u>こ</u> <u>で、</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>効果</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す。</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>ゲ</u> <u>ー</u> <u>ム</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>ま</u> <u>す。</u> (1) (2) (3) (4)	1自他 2*ノ連 2体修 3副用 4活用 (V)
4938	マレーシア 18 自由作文 19	そして、新しい <u>医療方法</u> <u>を</u> <u>使</u> <u>い、</u> <u>看護婦の</u> <u>態度</u> <u>が</u> <u>ぜ</u> <u>ひ</u> <u>良</u> <u>く</u> <u>変</u> <u>え</u> <u>る。</u> (1) (2) (3) (4)	1N 3Ad 副用 4VP 自他 2格 *ガ/ーヲ
4939	マレーシア 19 自由作文 3	診療所や病院で <u>、</u> <u>お</u> <u>医</u> <u>者</u> <u>さん</u> <u>は</u> <u>親</u> <u>切</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>病</u> <u>気</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>患</u> <u>者</u> <u>を</u> <u>治</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た。</u> (1) (2) (3) (4)	1取立 *0/ーハ 2副 用 3自他 4複V
4940	マレーシア 19 自由作文 6	もしわたしが <u>医</u> <u>者</u> <u>さん</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>たら、</u> <u>や</u> <u>はり</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>して</u> <u>患</u> <u>人</u> <u>の</u> <u>さ</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>な</u> <u>病</u> <u>気</u> <u>を</u> <u>治</u> <u>り</u> <u>たい</u> <u>もの</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す。</u> (1) (2) (3) (4)	1複N 2N 3自他 4一 疑問節
4941	マレーシア 20 自由作文 5	土曜日から、近くに有るガソリンスタンドで李さんとア ルバイトをやり <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>た。</u>	自他
4942	マレーシア 30 自由作文 11	このように、私は、日本やアメリカなどと外交関係をも っと <u>進</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>く</u> <u>る</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>り</u> <u>で</u> <u>す。</u>	自他 VP

第5章 シンタクス・意味論 2. ヴォイス

4943	インド 6 自由作文 12	ようふくだんす <u>なかに</u> <u>パスポート</u> やシャツやお金が <u>いって</u> あります。 (1) (2) (3) (4)	1ーノ連 2取立 *0 / ーハ 3発音 表記 4V 自他
4944	インド 8 自由作文 18	ほんばこの中に <u>本</u> や <u>薬</u> や <u>カセット</u> など <u>ならべて</u> いま す。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /ーハ 2格 *0 /ーガ 3自他
4945	インド 16 自由作文 6	冷蔵庫 <u>が</u> <u>小さい</u> です <u>けど</u> <u>いろいろ</u> な <u>飲料</u> や <u>食べもの</u> <u>を</u> <u>入って</u> あります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ガ /ーハ 2ス タイル 3N 4格 *ヲ / ーガ 5自他
4946	インド 17 自由作文 19	テレビの <u>反対</u> が <u>わ</u> で、 <u>ラジカセ</u> を <u>見</u> ます。 (1) (2) (3)	1格 *デ /ーニ 2格 * ヲ /ーガ 3自他
4947	インド 51 自由作文 6	農産品が主要な輸出品でいつも農産品の <u>価格</u> が <u>上げ</u> たり <u>2 下げ</u> たりしている。 (1)	1,2自他
4948	インド 52 自由作文 6	日本の経営管理のやり方は日本の <u>経済</u> を <u>進んで</u> ばかりで なく国民のゆとりも <u>だんだん</u> <u>あたえ</u> させています。 (1) (2) (3)	1自他 接 *テ形 /ータ 2Ad 副用 3使役
4949	インド 53 自由作文 4	このごろ、私の国で <u>向東学習</u> を <u>提唱</u> しています。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /ーハ 2複 V 3自他
4950	インド 54 自由作文 14	私まで自然と涙を <u>流</u> しました。	自他
4951	インド 55 自由作文 6	教育 <u>が</u> 普及したり、 <u>上</u> がったりします。 (1) (2)	1格 *ガ /ーヲ 2自他
4952	インド 55 自由作文 11	そうすると、国民が皆知識人 <u>にして</u> 、 <u>進歩的</u> な社会 <u>も</u> できます。 (1) (2)	1自他 2格 *モ /ーガ

5.2.6. やりもらい [受給]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4953	台湾 5 自由作文 3	実は、あなたは、去年、私からかし <u>てもらった</u> 本と資料は今、試験と論文を書くために、その本と統計資料は私にとって <u>急用</u> ですから、はやくかえしてもらおうのが <u>欲しい</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2受給 3N 4A
4954	台湾 5 自由作文 8	<u>あなたは</u> 私に学問の研究についての忠告をして <u>もらいたい</u> です。 (1) (2)	受給
4955	台湾 7 自由作文 4	木村さんは先月私に貸して <u>持った</u> 名画家の作品のスラドがもう見ましたか <u>感想がありますか</u> 、いい作品 <u>が</u> たくさん見て、参考して、 <u>自分に</u> アイデアの発想に <u>激</u> 発なことがあるかもしれないと思います。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *ハ/ーガ 2受給 3格 *ガ/ーヲ 4表現 5格 *ガ/ーヲ 6ーノ連 7NA
4956	台湾 20 自由作文 7	つぎの提案を <u>出して</u> <u>参考して</u> <u>ご覧</u> なさい。 (1) (2) (3)	1接 *テ形/ー 2副用 3スタイル 受給
4957	台湾 22 自由作文 5	でも、会社の課長さんは、ほんとうに親切な人で私たちに少しずつお教えて <u>あげ</u> ました。 (1) (2)	受給
4958	台湾 22 自由作文 7	その課長さんは、いろいろの指導を <u>いただき</u> ま して感謝しています。 (1) (2)	受給
4959	中国 9 自由作文 7	そこで東京外国語大学の先生 <u>は</u> 親切に教えて <u>私</u> の日本語はだんだん上手になった。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーガ 2ー受給
4960	中国 14 自由作文 3	この半年の間、自分の目で見た日本が色々な感想を与えて <u>くれました</u> 。 (1) (2)	受給
4961	中国 14 自由作文 5	しかし、わたしに一番強い印象を与えて <u>くれた</u> のは日本人がお互いよく譲り合うと <u>の</u> ことです。 (1) (2)	1受給 2*ノ連/ート イウ
4962	中国 32 自由作文 5	九時ごろ家を出て教室へ <u>来て</u> 先生 <u>から</u> わたしに教えて <u>くれます</u> 。 (1) (2) (3)	1接 条件 *テ形/ート 2格 *カラ/ーガ 3受給 スタイル
4963	中国 33 自由作文 8	いま、わたし <u>の</u> にほごは <u>たくさん</u> しりませんから、ともたちはしんせつに <u>おし</u> えます。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ノ/ーハ 2表記 3*ハ/ーヲ 4 副用 5受給
4964	中国 39 自由作文 3	せんせいはいつもしんせつに <u>おし</u> えました。 (1) (2)	受給 *タ/ール
4965	中国 47 自由作文 7	すこしわからないときせんせいにおしえて <u>ください</u> 。 (1) (2)	発音 受給
4966	中国 51 自由作文 5	せんせいはまいにち、かいわやぶんぼうなどが <u>おし</u> え <u>ました</u> <u>が</u> 、いままで、いままで、なかなか <u>でき</u> ません <u>で</u> した。 (1) (2) (3)	1格 *が/ーヲ 2受給 *タ/ール 活用 (V) 3V
4967	中国 54 自由作文 14	わからない時は <u>老師</u> がいつもやさしく <u>おし</u> えます。 (1) (2)	1N 2VP 受給
4968	韓国 12 パターン作文 7	しかし他の都市はその中 <u>で</u> 人の生活の感じを <u>もら</u> います。 (1) (2)	1格 *デ/ーニ 2受給 V

第5章 シンタクス・意味論 2. ヴォイス

4969	韓国 24 自由作文 10	私は韓国にある大学で貿易を専攻したことがあったので 友達を <u>手伝いやす</u> かったです。	受給
4970	ブラジル 1 聴解要約 9	かとさんの <u>家方</u> <u>て</u> <u>つ</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> (1) (2)(3) (4)	3テ形 1N 4-受給 2 格 *0 /-ガ
4971	インドネシア 5 自由作文 6	はじめに先生はひらがなとかたかなを <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u>	受給
4972	インドネシア 5 自由作文 7	それからかんじとぶんぼうを <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u>	受給
4973	インドネシア 5 自由作文 8	いつも <u>じ</u> <u>ぎ</u> <u>ょう</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>わ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>、</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>せい</u> <u>は</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>ゅ</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>を</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> (1) (2)	1発音 2受給
4974	香港 5 自由作文 3	さて、先月淑雅さんに「日本近代歴史辞典」を <u>貸</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> <u>、</u> <u>再</u> <u>来</u> <u>週</u> <u>、</u> <u>明</u> <u>治</u> <u>時</u> <u>代</u> <u>の</u> <u>教</u> <u>育</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>発</u> <u>表</u> <u>会</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>、</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>本</u> <u>が</u> <u>必</u> <u>要</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u>	受給 スタイル
4975	香港 5 自由作文 8	常用の辞典ではありませんから、お役に立つのは、 <u>貸</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1接 条件 *ハ/-ナラ 2受給 スタイル
4976	香港 11 短文作文 5	田中さんはわざわざここへつれて <u>き</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> (1) (2)	1発音 2受給
4977	香港 15 短文作文 5	友達にこの書を <u>く</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>、</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>本</u> <u>を</u> <u>読</u> <u>む</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>を</u> <u>推</u> <u>薦</u> <u>だ</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>。</u> (1)	1受給 2品詞 *N/- V
4978	香港 15 短文作文 13	言われてみると、 <u>そ</u> <u>の</u> <u>気</u> <u>が</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>も</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>。</u> (1) (2)	1AV 2V 受給
4979	香港 16 短文作文 7	彼に三回もてがみを送ったのに、まだ返信 <u>が</u> <u>も</u> <u>ら</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>。</u> (1) (2)	2受給 V 1格 *ガ/- ヲ
4980	香港 18 短文作文 5	この本を読んでみたらどうかと友達に <u>貸</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>た</u> <u>。</u>	1受給
4981	香港 18 短文作文 7	彼に三回手紙を出したのだが、返事 <u>が</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>。</u> (1) (2)	2受給 1格 *ガ/-ヲ
4982	香港 21 短文作文 5	読ませたいと <u>提</u> <u>案</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>、</u> <u>友</u> <u>人</u> <u>は</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>本</u> <u>を</u> <u>借</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> (1) (2)	2受給 1V
4983	スリランカ 1 パターン作文 3	<u>あ</u> <u>そ</u> <u>こ</u> <u>で</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>ん</u> <u>わ</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>さ</u> <u>と</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>で</u> <u>ん</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>に</u> <u>来</u> <u>て</u> <u>。</u> <u>ヤ</u> <u>ン</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1コソア 2,4発音 3接 (*ノデ) 6-受給 5格 *ニ/-デ
4984	マレーシア 17 自由作文 6	マレー人は <u>往</u> <u>々</u> <u>に</u> <u>優</u> <u>先</u> <u>権</u> <u>を</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>さ</u> <u>せ</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2)	1Ad 副用 2受給 2使 役 2V
4985	マレーシア 17 自由作文 10	人民 <u>が</u> <u>み</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>権</u> <u>を</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>さ</u> <u>せ</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2) (3)	1格 *ガ/-ニ 2*ノ連 3受給 3使役 3V
4986	マレーシア 23 自由作文 31	<u>つ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>、</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>夏</u> <u>休</u> <u>み</u> <u>は</u> <u>、</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>、</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>ぶ</u> <u>新</u> <u>鮮</u> <u>な</u> <u>感</u> <u>じ</u> <u>を</u> <u>与</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2)	1C 2表記 受給
4987	マレーシア 28 自由作文 6	また、祖母から様々な料理をつくって <u>く</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u>	受給
4988	マレーシア 30 自由作文 10	たとえば、先進国にいろいろ先端技術や貿易などを <u>お</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2)	1V 2受給
4989	インド 25 自由作文 5	ゴ先生ははじめな先生 <u>、</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>に</u> <u>親</u> <u>切</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>て</u> <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>学</u> <u>生</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>は</u> <u>ゴ</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u> (1) (2) (3) (4)	1接 *0/-デ 2受給 3C *ダから/-0か ら 4取立 *ハ/-ガ

5.2.6. やりもらい [受給]

4990	インド 25 自由作文 9	しかしゴ先生は私に親切に <u>くれた</u> 。	受給
4991	インド 25 自由作文 11	<u>学校実験</u> の前に先生はいつも私のうちに英語や数学やマ <u>レー語などをおしえてくれて来ました。</u> (1) (2) (3)	1複 N N 2*テ形 3受 給 複 V
4992	インド 26 自由作文 12	<u>それよく</u> 私は宿題について、いろいろなことを <u>おしえ</u> <u>くれました。</u> (1) (2) (3)	1C 3受給 2複 V
4993	インド 27 自由作文 11	いつも私にしん剣なはげましや <u>いだわり</u> を <u>与えました。</u> (1) (2)	1発音 2受給
4994	インド 30 自由作文 5	ですから、もし都心へ <u>いたら</u> 、 <u>他人</u> に <u>車</u> を <u>乗られさ</u> <u>せ</u> なければなりませんでした。 (1) (2) (3) (4)	1接 条件 *タラ/ーナ ラ 2N 3格 *ヲ/ーニ 4受身 使役 受給
4995	インド 53 自由作文 5	<u>というのは</u> 国よりもっと進んでいる東の国 <u>に</u> 特に日本 の経済や商業経営を <u>習って</u> もらいます。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *ニ/ー O 3V 受給 表現

5.3. テンス・アスペクト

5.3.1. タ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
4996	台湾 1 自由作文 7	去年、テレビの番組（世界の料理の試合）で放送する <u>と</u> 、台南の台湾料理が <u>大ニ番</u> を取った。 (1) (2) (3)	3N 2接 *ト/ートキ 1*ル/ータ
4997	台湾 1 パターン作文 14	夏、全島は <u>大ニ暑</u> い <u>が</u> った。 (1) (2)	2活用 *タ/ール 1副 用
4998	台湾 1 パターン作文 16	けれども、季節風によって変わると、東の南風が吹いて、 涼しく <u>な</u> った。	*タ/ール
4999	台湾 1 パターン作文 17	日本語と専門科の違いは、日本語の文法が解りにくい 、専門科が大学での、もう <u>習</u> った <u>、</u> そした理解が <u>や</u> すい。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,3格 取立 *ガ/ーハ 2接 -ガ 5接 -ノデ 4*タ/ーテイル 6 5品 詞 複 V
5000	台湾 1 パターン作文 18	六月から九月まで、たびたび、台風が台湾にくると、雨 も多いし、風も <u>強</u> い <u>だ</u> ので、 <u>災</u> 難に <u>な</u> った。 (1) (2) (3)	2品詞(*NA/ーA) 1 接(*ト) 3*タ/ール
5001	台湾 5 自由作文 2	長い時間 <u>お</u> そろかにあなたに手紙をかくことが <u>あ</u> りま せんが、 <u>ど</u> うも、すみませんでした。 (1) (2)	1NA 2 *ル/ータ
5002	台湾 8 自由作文 8	私は日本へ来る前に <u>公</u> 務員 <u>で</u> すので、帰国してから政府 機関に戻るつもりです。	*ル/ータ
5003	台湾 9 自由作文 3	小学校 <u>勉</u> 強をした時、家の経済状況は <u>十</u> 分に <u>*難</u> な ので、母は田に <u>仕</u> 事を <u>や</u> たら私を自分の背に負った。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *0/ーデ 2*タ/ ーテイタ 3Ad 副用 4ル/ータ 5格 *ニ/ ーデ 6活用 (V)*タラ/ ーナガラ
5004	台湾 10 自由作文 2	大学 <u>卒</u> 業したから、大ニ長 <u>く</u> 時間 <u>を</u> た <u>っ</u> ていました。 (1) (2) (3)	1*タ/ーテ形 2格 *ヲ /ーガ 3*テイル / ール
5005	台湾 15 自由作文 5	最初休みの日を利用して、第一学期の授業を復習する予 定 <u>で</u> す <u>が</u> 今日 <u>の</u> 円が高くて台湾の父母が <u>ち</u> ょ <u>っ</u> とお 金がかからない <u>た</u> めに <u>ガ</u> ソリスタンドで働いていまし た。 (1) (2) (3) (4)	1*ル/ータ 2N 3格 * ガ/ーニ 4接 -ヨウ ニ
5006	台湾 22 自由作文 8	その仕事をやっている時 <u>ず</u> う <u>ぶ</u> ん、新しい言葉が出て くる <u>た</u> めに、私は毎日辞書を持っていなければなりませ ん。 (1) (2)	1発音 2オル/タ
5007	台湾 22 自由作文 15	<u>ず</u> う <u>ぶ</u> ん 長い時間の温泉に <u>入</u> る <u>た</u> めに <u>疲</u> れる <u>よ</u> うに <u>な</u> って部屋に <u>ね</u> ていました。 (1) (2) (3)	1発音 2*ル/ータ 3ム ード
5008	台湾 23 自由作文 8	仕事 <u>が</u> <u>終</u> った家へ帰ってすぐ <u>ね</u> ました。	接 条件 *0/ート *タ/ ール
5009	台湾 23 自由作文 11	しかし、お金がたくさん <u>出</u> た、勉強も全然しなかったか ら <u>心</u> 配 <u>で</u> しょう。 (1) (2)	1並 V *0/ーシ 2- タ
5010	台湾 24 自由作文 14	毎晩家族と一緒に <u>晩</u> ごはんをたべたり、はなしたり <u>し</u> <u>ま</u> す。	*ル/ータ

5011	台湾 25 自由作文 6	それに子供の学資を <u>送った</u> ために毎日一生懸命に仕事を <u>やって</u> いて <u>夜遅くまで</u> <u>続</u> いていました。 (1) (2) (3)	1*タ/ール 2*テイル 3自他
5012	中国 10 自由作文 9	二人ともしきりにおじぎをしながら、相手の話もきかずに自分勝手に <u>話し</u> あいました。 (1) (2)	*タ/ーテイタ
5013	中国 12 自由作文 14	終わった <u>頃</u> 、十一時半 <u>に</u> <u>すぎ</u> ました。 (1) (2) (3)	1体修 2格 *ニ/ーヲ 3*タ/ーテイタ
5014	中国 14 自由作文 19	中国では乗合バスの中で <u>本当</u> のつまらないことで、或は席を取るため <u>で</u> <u>けんか</u> を <u>起</u> したことが時々あります。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *デ/ーニ 3*タ/ール
5015	中国 16 自由作文 4	最初京都に行って、とても古い町 <u>だ</u> った と思いました。 (1)	*タ/ール
5016	中国 16 自由作文 11	例えば、こちらの若者 <u>は</u> <u>着</u> た 洋服とかヘアのタイプとか自由な生活など <u>を</u> <u>び</u> っくりしました。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ/ーノ連 2* タ/ーテイル 3格 * ヲ/ーニ
5017	中国 16 自由作文 16	そして、日本もいつも綺麗なおもてを <u>見</u> せ <u>ま</u> した から、日本に浮浪者のような人が <u>少</u> ない でしょう <u>と</u> <u>思</u> いました。 (1) (2)	1*タ/ーテイタ 2ス スタイル
5018	中国 18 自由作文 3	来る前 <u>に</u> 日本のいろいろなものが <u>必</u> ず <u>優</u> れる <u>と</u> <u>思</u> っていた <u>が</u> 。来て <u>から</u> <u>自</u> 分の <u>思</u> った <u>と</u> うり <u>と</u> <u>違</u> っ ています。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *ニ/ーハ 2Ad 3*ル/ーテイル 4複V ーテミル 5条件 6N 7*ル/ータ
5019	中国 18 自由作文 7	それ <u>を</u> <u>比</u> べたら日本の消防隊員の動作 <u>が</u> <u>本</u> 当に遅いと <u>思</u> っ ています。 (1) (2) (3)	1コソア 2取立 *ガ/ ーハ 3*テイル/ータ
5020	中国 18 自由作文 8	何でもできる <u>優</u> れた <u>国</u> <u>と</u> して <u>消</u> 防隊員の動作が <u>そ</u> んな <u>に</u> <u>遅</u> いのは <u>本</u> 当にふしぎです。 (1) (2) (3)	1*タ/ーテイル 2格 * ト/ーニ 3取立*0/ ーハ
5021	中国 18 自由作文 12	もう一つの <u>印</u> 象は日本で <u>車</u> が <u>多</u> すぎました。 (1) (2) (3)	1N 2取立 *0/ ーハ 3*タ/ール
5022	中国 19 自由作文 2	日本に来てから <u>や</u> が <u>て</u> <u>半</u> 年に <u>な</u> りました。 (1) (2)	1Ad 2*タ/ール
5023	中国 21 自由作文 6	<u>は</u> じめて <u>に</u> <u>ほん</u> じんの <u>は</u> なし <u>は</u> ぜんぜん <u>わ</u> かな <u>な</u> かった <u>ま</u> い <u>に</u> <u>ち</u> <u>ねん</u> しゅう <u>す</u> る <u>か</u> ら、 <u>だ</u> んだん <u>す</u> こし <u>わ</u> か <u>り</u> <u>な</u> ります。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1Ad 副用 2接 *0/ ーガ 3発音 表記 4*ル/ ーテイル 5VP *ル/ ータ
5024	中国 22 自由作文 10	<u>に</u> 、 <u>さん</u> かげつ <u>じ</u> ゅう、 <u>わ</u> たしは毎日学校の <u>じ</u> ゅう <u>き</u> ょうの <u>時</u> 間は <u>五</u> 時間 <u>が</u> <u>あ</u> ります。 (1) (2) (3) (4)	1複N 2取立 *ハ/ー ガ 3格 *ガ/ー0 4* ル/ータ
5025	中国 25 自由作文 3	わたしは <u>ち</u> ゅう <u>ご</u> く <u>か</u> ら <u>に</u> <u>ほん</u> へ <u>は</u> じめて <u>き</u> ます。 (1)	*ル/ータ
5026	中国 25 自由作文 17	がくせい <u>は</u> が <u>こ</u> う <u>で</u> <u>べん</u> きょう <u>を</u> <u>す</u> る <u>あ</u> と <u>で</u> <u>じ</u> ぶんの <u>う</u> ち <u>で</u> <u>けい</u> ぞく <u>が</u> <u>に</u> <u>ほん</u> ごと <u>べん</u> きょう <u>し</u> ます。 (1) (2)	1*ル/ータ 2副用
5027	中国 26 自由作文 8	<u>に</u> <u>ほん</u> どの <u>べん</u> きょう <u>の</u> <u>じ</u> かん <u>が</u> <u>み</u> じ <u>か</u> い <u>か</u> ら、 <u>えい</u> ごと <u>よ</u> り <u>じ</u> ょう <u>ず</u> <u>で</u> は <u>あ</u> り <u>ま</u> せん。 (1) (2) (3)	1*ル/ータ 2格 *ヨリ 3NA
5028	中国 28 自由作文 20	<u>ま</u> い <u>し</u> ゅう <u>の</u> <u>す</u> い <u>よ</u> う <u>び</u> 、 <u>お</u> お <u>き</u> い <u>し</u> けん <u>が</u> <u>あ</u> り <u>ま</u> す。 (1) (2)	1格 *ノ連/ー0 2*ル/ ータ
5029	中国 29 自由作文 2	わたしは日本へ <u>き</u> た <u>前</u> <u>に</u> 、 <u>に</u> <u>ほん</u> ごと <u>は</u> <u>ぜん</u> ぶ <u>は</u> <u>わ</u> か <u>り</u> <u>ま</u> せん。 (1) (2) (3) (4)	1*タ/ール 2取立 *ニ/ ーハ 3Ad 副用 4*ル/ ータ

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5030	中国 29 自由作文 9	うちへ <u>かえる</u> あとで、すこし休みます。	*ル/ータ
5031	中国 31 自由作文 4	にほんへ <u>きたり</u> <u>ょうがくせい</u> はおおぜいいます。 (1) (2)	1*ル/ータ 2発音
5032	中国 33 自由作文 6	わたし <u>が</u> にほんごの <u>べんきょう</u> は <u>へた</u> から <u>にほん</u> <u>にん</u> の <u>ともたち</u> を <u>つくり</u> ます。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ガ/ーハ 2*ハ/ーガ 3活用 (NA) 4,5発音 6*ル/ータ
5033	中国 36 自由作文 3	しかし、じかんが <u>ない</u> から、たくさんのにほんごの <u>べんきょう</u> はできませんでした。	*ル/ータ
5034	中国 37 自由作文 3	にほんへ <u>くる</u> の <u>ため</u> は <u>けいざい</u> の <u>べんきょう</u> を <u>し</u> ます。 (1) (2) (3) (4)	1*ル/ータ 2体修 3N 4一名詞節
5035	中国 38 自由作文 5	まえにわたしはにほんごを <u>し</u> りません。	*ル/ータ
5036	中国 39 自由作文 3	せんせいはいつもしんせつに <u>おし</u> えました。	受給 *タ/ール
5037	中国 39 自由作文 5	ともだちはいつもいっしょけんめいに <u>べんきょう</u> <u>し</u> ました。	*タ/ーテイル
5038	中国 42 自由作文 7	はじめは、 <u>国際学友会日本語学校</u> で <u>勉強</u> <u>し</u> ます。 (1,2) (3)	1副用 2取立 *ハ/ーニ 3*ル/ータ
5039	中国 44 自由作文 3	そのまえににほんごが <u>ぜんぶ</u> <u>わ</u> かりません。 (1) (2)	1Ad 副用 2*ル/ータ
5040	中国 45 自由作文 2	わたしは <u>ごかげつ</u> の <u>まえ</u> に <u>しぶや</u> のにほんごが <u>ごう</u> ぐ でにほんごを <u>べんきょう</u> <u>し</u> ました。 (1) (2) (3)	1*ノ連/ー0 2格 *ニ/ーカラ 3*タ/ーテイル
5041	中国 45 自由作文 4	とても <u>おもしろ</u> かったとおもってました。	*タ/ール
5042	中国 45 自由作文 5	しかし、 <u>いま</u> から <u>たんたん</u> <u>むずか</u> しく <u>な</u> りますが、 <u>ど</u> <u>き</u> と <u>き</u> <u>す</u> き ではないに <u>べんきょう</u> <u>し</u> ます。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 発音 2*ル/ータ 複V 3発音 4接ーテモ
5043	中国 45 自由作文 14	<u>残念</u> でした。	*タ/ール
5044	中国 47 自由作文 4	にほんごはたいへん <u>む</u> じかしかった です。	発音 *タ/ール
5045	中国 47 自由作文 9	デパートへ <u>い</u> く <u>と</u> き <u>か</u> い も の は、い つ も にほんご で は な して います。	*ル/ータ
5046	中国 47 自由作文 12	<u>みち</u> で ある いて、 <u>そ</u> の <u>ひ</u> と は <u>む</u> じかしかった <u>こ</u> と <u>が</u> <u>た</u> す け て あ げ <u>ま</u> す <u>た</u> き は、 <u>に</u> <u>ほ</u> ん <u>ご</u> で は <u>な</u> し て つ <u>か</u> う ます。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11)	1,10格 *デ/ーヲ 2* 0/ーテイル 3*コソ ア/ー0 4取立 *ハ/ ーガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト/ーノ 7格 *ガ/ーヲ 8スタ イル 11VP 発音
5047	中国 49 自由作文 13	そして、あさごは <u>ん</u> を <u>あ</u> と で <u>が</u> っ ぐ <u>う</u> へ <u>い</u> き ました。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーノ連 2副 用 3*タ/ール
5048	中国 49 自由作文 16	にちようび <u>やす</u> み に わ た し は <u>ど</u> き と き <u>し</u> ん じ ゅ く へ <u>あ</u> ぞ ん で <u>い</u> き ました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0/ーノ連 2発 音 表記 3発音 4*タ/ ール
5049	中国 51 自由作文 4	まいにちが <u>ごう</u> へ <u>い</u> っ て、せんせいに <u>お</u> し えて <u>も</u> ら い ました。	*タ/ール

5050	中国 51 自由作文 5	せんせいはまいにち、かいわやぶんぼうなどがおしえま すた が、いままで、いままで、なかなか <u>できません</u> で した。 (1) (2) (3)	1格 *が/ーヲ 2受給 *タ/ール 活用 (V) 3V
5051	中国 51 自由作文 6	さくぶんのれんしゅうもまいしゅういっかい <u>ありました</u> 。	*タ/ール
5052	中国 51 自由作文 11	わたしはこのことばを聞いたとき、心の中 <u>に うれしい</u> が、 <u>もっとも</u> 一生懸命日本語を勉強 <u>する</u> と <u>思</u> っ ていま す。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ータ 3副用 Ad4ムー ド 5*テイル/ータ
5053	中国 54 自由作文 19	今わたしは日本に3かげつぐらい <u>いました</u> 。	*タ/ール
5054	中国 55 自由作文 3	にほんでにほんごのべんきょうを <u>しました</u> 。	*タ/ール
5055	韓国 4 自由作文 6	しかし韓国は西洋の文物を <u>流入したのが</u> <u>もう</u> やっと3 0年くらい <u>し</u> が <u>なら</u> なかつた。 (1) (2) (3) (4)	&表現 1接 ーテカラ 2Ad *モウ/ーマダ 3 発音 取立 シカ 4*タ /ール
5056	韓国 8 聴解要約 1	ヤンさんは大家さんの家を訪問 <u>する</u> 時におみやげをあげ た。	*ル/ータ
5057	韓国 11 パターン作文 6	私と私の主人をくらべると私の主人の方が余裕のある態 度が <u>ありました</u> 。	*タ/ール
5058	韓国 13 聴解要約 12	家へ <u>帰</u> えって 同じカセットが <u>あり</u> ます。 (1) (2)	1表記 接 *テ形/ート 2*ル/ータ
5059	韓国 13 パターン作文 7	ソウルの方がふるさとより長いあいだ <u>です</u> が <u>短い</u> ふる さとの生活 <u>を</u> 思います。 (1) (2) (3)	1ダ 2*ル/ータ 3ーノ ホウ
5060	韓国 21 自由作文 3	それから <u>はじめに</u> <u>べんきょうする</u> ときは日本の字はめ ずらしいとおもいました。 (1) (2) (3)	1c 2Ad 副用 3*ル/ ータ
5061	韓国 25 自由作文 3	そしてすこしふるいへやですから虫が時々 <u>いま</u> す が私 が 1かげつに一度けむりの出るくすりをつかっています から虫はぜんぜん <u>ない</u> です。 (1) (2) (3)	1*ル/ータ 2取立 *ガ /ーハ 3V
5062	韓国 28 自由作文 16	彼女の善良 <u>の</u> 心を人々に知らせて <u>いた</u> 。 (1) (2)	1品詞 *N/ーNA *ノ連 体修 2*テイル/ータ
5063	韓国 30 自由作文 4	小蓮という映画の <u>主要人物</u> は、とても苦しい生活を <u>過</u> <u>ぎ</u> て、8才の時、かぞくの生活費のために、 <u>町</u> にある 金持ちの家で <u>働</u> かなければならない。 (1) (2) (3) (4)	1N 2V 3体修 AN 4*ル/ータ
5064	韓国 30 自由作文 7	このように、何年 <u>でも</u> かぞくに <u>会</u> えない。 (1) (2)	1取立 *デも/ーOモ 2*ル/ータ
5065	韓国 31 自由作文 2	私はなぜ日本へ留学 <u>し</u> にきますか。	VP *ル/ータ
5066	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店 <u>を</u> つくられて商業も <u>盛</u> ん <u>て</u> いま す。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/ーガ 2品詞 *V/ーNA 3発音 表 記 *テイル/ールタ
5067	韓国 31 自由作文 14	日本はなぜ <u>そんな</u> 短い時間 <u>に</u> <u>世界</u> <u>ひとつ</u> <u>工業国</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>る</u> <u>か</u> という <u>原因</u> がしりたいです。 (1) (2) (3) (4) (5)	1コソア 2格 *ニ/ー デ 3数 4*ル/ータ 5 接 *トイウ

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5068	韓国 35 自由作文 9	別に共産主義 ⁽¹⁾ と言う ⁽²⁾ 北朝鮮とソビエトと中国が ⁽³⁾ あった ⁽⁴⁾ ので軍事的でも ⁽⁵⁾ ずいぶん不利な立場に ⁽⁶⁾ おいてあります。	1*トイウ/ノ連 2* タ/ール 3受身VP
5069	ブラジル 1 聴解要約 3	日本に ⁽¹⁾ 来る ⁽²⁾ 時は ⁽³⁾ 友だちがおでむかえに ⁽⁴⁾ 行き ⁽⁵⁾ ました。	1*ル/ータ 2接 とき* ハ/とき-0 3 V
5070	ブラジル 2 聴解要約 2	やんさんはりょこうから ⁽¹⁾ かえて ⁽²⁾ 。	発音 *テ形/ータ
5071	アメリカ 1 パターン作文 10	そのこどもはおとなに ⁽¹⁾ なる ⁽²⁾ とき自分で自分の ⁽³⁾ 好き ⁽⁴⁾ きらい ⁽⁵⁾ ことを ⁽⁶⁾ 決ま ⁽⁷⁾ れられ ⁽⁸⁾ ません。	3活用 V 1*ル/ータ 2品詞 *A/-N
5072	アメリカ 3 自由作文 18	わたし ⁽¹⁾ た ⁽²⁾ も ⁽³⁾ だ ⁽⁴⁾ ち ⁽⁵⁾ は ⁽⁶⁾ い ⁽⁷⁾ っ ⁽⁸⁾ しょ ⁽⁹⁾ に ⁽¹⁰⁾ べ ⁽¹¹⁾ ん ⁽¹²⁾ き ⁽¹³⁾ ょう ⁽¹⁴⁾ WP ⁽¹⁵⁾ した ⁽¹⁶⁾ こ ⁽¹⁷⁾ と ⁽¹⁸⁾ が ⁽¹⁹⁾ あり ⁽²⁰⁾ ます。	1格 *タ/ート 2発音 3*タ/ール 4熟語
5073	インドネシア 2 聴解要約 4	やんさん ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ お ⁽³⁾ じ ⁽⁴⁾ ゃ ⁽⁵⁾ ま ⁽⁶⁾ します ⁽⁷⁾ と ⁽⁸⁾ 言 ⁽⁹⁾ っ ⁽¹⁰⁾ て、 お ⁽¹¹⁾ く ⁽¹²⁾ さ ⁽¹³⁾ ん ⁽¹⁴⁾ が ⁽¹⁵⁾ 飲 ⁽¹⁶⁾ み ⁽¹⁷⁾ 物 ⁽¹⁸⁾ を ⁽¹⁹⁾ も ⁽²⁰⁾ っ ⁽²¹⁾ て ⁽²²⁾ 来 ⁽²³⁾ る ⁽²⁴⁾ 飲 ⁽²⁵⁾ み ⁽²⁶⁾ 物 ⁽²⁷⁾ を ⁽²⁸⁾ 飲 ⁽²⁹⁾ ん ⁽³⁰⁾ で、 「つ ⁽³¹⁾ め ⁽³²⁾ た ⁽³³⁾ い、 お ⁽³⁴⁾ い ⁽³⁵⁾ し ⁽³⁶⁾ い ⁽³⁷⁾ 」 と ⁽³⁸⁾ 言 ⁽³⁹⁾ っ ⁽⁴⁰⁾ た。	1格 取立 *ガ/-ハ 2 体修 3*ル/ータ
5074	インドネシア 3 パターン作文 4	むかし ⁽¹⁾ イ ⁽²⁾ ん ⁽³⁾ ド ⁽⁴⁾ ネ ⁽⁵⁾ シ ⁽⁶⁾ ア ⁽⁷⁾ に ⁽⁸⁾ は ⁽⁹⁾ た ⁽¹⁰⁾ く ⁽¹¹⁾ さ ⁽¹²⁾ ん ⁽¹³⁾ も ⁽¹⁴⁾ り ⁽¹⁵⁾ あり ⁽¹⁶⁾ ます。	1格 *0/-ガ 2*ル/ ータ
5075	インドネシア 4 自由作文 1	そのとき、 ⁽¹⁾ 恥 ⁽²⁾ か ⁽³⁾ し ⁽⁴⁾ か ⁽⁵⁾ っ ⁽⁶⁾ た ⁽⁷⁾ と ⁽⁸⁾ 思 ⁽⁹⁾ い ⁽¹⁰⁾ ます。	1*タ/ール 2*ル/ ータ
5076	香港 7 自由作文 17	作者自身 ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ 人 ⁽³⁾ 間 ⁽⁴⁾ 観 ⁽⁵⁾ から ⁽⁶⁾ す ⁽⁷⁾ る ⁽⁸⁾ 文 ⁽⁹⁾ 明 ⁽¹⁰⁾ 批 ⁽¹¹⁾ 評 ⁽¹²⁾ が ⁽¹³⁾ 猫 ⁽¹⁴⁾ に ⁽¹⁵⁾ 託 ⁽¹⁶⁾ し ⁽¹⁷⁾ て ⁽¹⁸⁾ 試 ⁽¹⁹⁾ み ⁽²⁰⁾ ら ⁽²¹⁾ れ ⁽²²⁾ て ⁽²³⁾ いる。	V *ル/ータ
5077	香港 9 短文作文 5	ご ⁽¹⁾ ぞ ⁽²⁾ は ⁽³⁾ お ⁽⁴⁾ 客 ⁽⁵⁾ さ ⁽⁶⁾ ま ⁽⁷⁾ い ⁽⁸⁾ え ⁽⁹⁾ へ ⁽¹⁰⁾ き ⁽¹¹⁾ て、 は ⁽¹²⁾ は ⁽¹³⁾ は ⁽¹⁴⁾ わ ⁽¹⁵⁾ ざ ⁽¹⁶⁾ わ ⁽¹⁷⁾ ざ ⁽¹⁸⁾ お ⁽¹⁹⁾ ち ⁽²⁰⁾ そ ⁽²¹⁾ う ⁽²²⁾ を ⁽²³⁾ つ ⁽²⁴⁾ く ⁽²⁵⁾ て。	1格 *0/-ガ 2N 3 活用 *テ形/ータ
5078	香港 15 短文作文 10	大 ⁽¹⁾ き ⁽²⁾ 部 ⁽³⁾ 屋 ⁽⁴⁾ と ⁽⁵⁾ い ⁽⁶⁾ っ ⁽⁷⁾ て、 あ ⁽⁸⁾ る ⁽⁹⁾ 私 ⁽¹⁰⁾ の ⁽¹¹⁾ 子 ⁽¹²⁾ 供 ⁽¹³⁾ 時 ⁽¹⁴⁾ に ⁽¹⁵⁾ よ ⁽¹⁶⁾ く ⁽¹⁷⁾ い ⁽¹⁸⁾ く ⁽¹⁹⁾ 親 ⁽²⁰⁾ 類 ⁽²¹⁾ は ⁽²²⁾ お ⁽²³⁾ も ⁽²⁴⁾ し ⁽²⁵⁾ ろ ⁽²⁶⁾ い ⁽²⁷⁾ 部 ⁽²⁸⁾ 屋 ⁽²⁹⁾ を ⁽³⁰⁾ と ⁽³¹⁾ り ⁽³²⁾ ま ⁽³³⁾ した。	2表現 6V 3語順 1活 用(A) 4ノ連 3AN 5* ル/ータ
5079	香港 16 短文作文 3	この美しい庭 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 雪 ⁽³⁾ 舟 ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ て ⁽⁶⁾ ら ⁽⁷⁾ れ ⁽⁸⁾ る ⁽⁹⁾ そ ⁽¹⁰⁾ う ⁽¹¹⁾ だ。	3*ル/ータ 2V 1格 * ニ/-にヨッテ
5080	香港 16 短文作文 5	友 ⁽¹⁾ 達 ⁽²⁾ は ⁽³⁾ 私 ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ この ⁽⁶⁾ 書 ⁽⁷⁾ を ⁽⁸⁾ か ⁽⁹⁾ し ⁽¹⁰⁾ て ⁽¹¹⁾ く ⁽¹²⁾ れ ⁽¹³⁾ て、 読 ⁽¹⁴⁾ む ⁽¹⁵⁾ ほ ⁽¹⁶⁾ う ⁽¹⁷⁾ が ⁽¹⁸⁾ い ⁽¹⁹⁾ い ⁽²⁰⁾ と ⁽²¹⁾ 言 ⁽²²⁾ う。	1N 2*ル/ータ
5081	香港 16 短文作文 11	お ⁽¹⁾ お ⁽²⁾ き ⁽³⁾ い ⁽⁴⁾ 家 ⁽⁵⁾ と ⁽⁶⁾ い ⁽⁷⁾ っ ⁽⁸⁾ て、 私 ⁽⁹⁾ は ⁽¹⁰⁾ 小 ⁽¹¹⁾ さ ⁽¹²⁾ い ⁽¹³⁾ と ⁽¹⁴⁾ き、 よ ⁽¹⁵⁾ く ⁽¹⁶⁾ あ ⁽¹⁷⁾ る ⁽¹⁸⁾ 親 ⁽¹⁹⁾ 族 ⁽²⁰⁾ の ⁽²¹⁾ 家 ⁽²²⁾ へ ⁽²³⁾ 遊 ⁽²⁴⁾ び ⁽²⁵⁾ に ⁽²⁶⁾ い ⁽²⁷⁾ き、 こ ⁽²⁸⁾ の ⁽²⁹⁾ 家 ⁽³⁰⁾ は ⁽³¹⁾ お ⁽³²⁾ も ⁽³³⁾ し ⁽³⁴⁾ ろ ⁽³⁵⁾ か ⁽³⁶⁾ っ ⁽³⁷⁾ た ⁽³⁸⁾ です。	1表現 2N 3接 *ル/ ータ *連用形/-ガ
5082	香港 17 短文作文 7	私 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 三 ⁽³⁾ 回 ⁽⁴⁾ も ⁽⁵⁾ 彼 ⁽⁶⁾ に ⁽⁷⁾ 手 ⁽⁸⁾ 紙 ⁽⁹⁾ を ⁽¹⁰⁾ か ⁽¹¹⁾ い ⁽¹²⁾ た ⁽¹³⁾ の ⁽¹⁴⁾ に、 返 ⁽¹⁵⁾ 事 ⁽¹⁶⁾ が ⁽¹⁷⁾ ま ⁽¹⁸⁾ だ ⁽¹⁹⁾ こ ⁽²⁰⁾ な ⁽²¹⁾ か ⁽²²⁾ っ ⁽²³⁾ た ⁽²⁴⁾ 。	*タ/ール
5083	香港 17 短文作文 16	先 ⁽¹⁾ 日 ⁽²⁾ 彼 ⁽³⁾ に ⁽⁴⁾ ひ ⁽⁵⁾ さ ⁽⁶⁾ し ⁽⁷⁾ ぶ ⁽⁸⁾ り ⁽⁹⁾ 学 ⁽¹⁰⁾ 校 ⁽¹¹⁾ に ⁽¹²⁾ 会 ⁽¹³⁾ い ⁽¹⁴⁾ ま ⁽¹⁵⁾ した ⁽¹⁶⁾ 。 も ⁽¹⁷⁾ う ⁽¹⁸⁾ 三 ⁽¹⁹⁾ 年 ⁽²⁰⁾ 間 ⁽²¹⁾ わ ⁽²²⁾ か ⁽²³⁾ れ ⁽²⁴⁾ て ⁽²⁵⁾ いて、 言 ⁽²⁶⁾ わ ⁽²⁷⁾ れ ⁽²⁸⁾ て ⁽²⁹⁾ み ⁽³⁰⁾ る ⁽³¹⁾ と、 彼 ⁽³²⁾ は ⁽³³⁾ ず ⁽³⁴⁾ い ⁽³⁵⁾ ぶ ⁽³⁶⁾ ん ⁽³⁷⁾ や ⁽³⁸⁾ せ ⁽³⁹⁾ て ⁽⁴⁰⁾ 来 ⁽⁴¹⁾ た ⁽⁴²⁾ と ⁽⁴³⁾ い ⁽⁴⁴⁾ う ⁽⁴⁵⁾ 気 ⁽⁴⁶⁾ が ⁽⁴⁷⁾ し ⁽⁴⁸⁾ ま ⁽⁴⁹⁾ せ ⁽⁵⁰⁾ ん。	1副用 *0/-ニ 2格 *ニ/-デ 3熟語 4複 V(*てクル/ータ)
5084	香港 18 短文作文 9	ひ ⁽¹⁾ ら ⁽²⁾ が ⁽³⁾ な ⁽⁴⁾ と ⁽⁵⁾ カ ⁽⁶⁾ タ ⁽⁷⁾ カ ⁽⁸⁾ ナ ⁽⁹⁾ が ⁽¹⁰⁾ お ⁽¹¹⁾ 同 ⁽¹²⁾ じ ⁽¹³⁾ よ ⁽¹⁴⁾ う ⁽¹⁵⁾ に ⁽¹⁶⁾ 漢 ⁽¹⁷⁾ 字 ⁽¹⁸⁾ から ⁽¹⁹⁾ 生 ⁽²⁰⁾ ま ⁽²¹⁾ れ ⁽²²⁾ る。	2表記 1取立 *ガ/- ハ 3*ル/ータ
5085	香港 18 短文作文 11	広 ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ っ ⁽³⁾ て ⁽⁴⁾ い ⁽⁵⁾ え ⁽⁶⁾ ば、 子 ⁽⁷⁾ 供 ⁽⁸⁾ の ⁽⁹⁾ 時 ⁽¹⁰⁾ よ ⁽¹¹⁾ く ⁽¹²⁾ い ⁽¹³⁾ た ⁽¹⁴⁾ あ ⁽¹⁵⁾ る ⁽¹⁶⁾ 親 ⁽¹⁷⁾ 類 ⁽¹⁸⁾ の ⁽¹⁹⁾ も ⁽²⁰⁾ の ⁽²¹⁾ 家 ⁽²²⁾ は ⁽²³⁾ た ⁽²⁴⁾ い ⁽²⁵⁾ へ ⁽²⁶⁾ ん ⁽²⁷⁾ お ⁽²⁸⁾ も ⁽²⁹⁾ し ⁽³⁰⁾ ろ ⁽³¹⁾ い。	1スタイル 2発音 3* ル/ータ
5086	香港 18 短文作文 12	考 ⁽¹⁾ え ⁽²⁾ て ⁽³⁾ み ⁽⁴⁾ れ ⁽⁵⁾ ば、 子 ⁽⁶⁾ 供 ⁽⁷⁾ の ⁽⁸⁾ 時 ⁽⁹⁾ は ⁽¹⁰⁾ 最 ⁽¹¹⁾ も ⁽¹²⁾ 楽 ⁽¹³⁾ し ⁽¹⁴⁾ か ⁽¹⁵⁾ っ ⁽¹⁶⁾ た ⁽¹⁷⁾ 好 ⁽¹⁸⁾ だ ⁽¹⁹⁾ 日 ⁽²⁰⁾ 子 ⁽²¹⁾ だ。	1表記 2並 V *タ/- テ形 3NA 4N

5087	香港 19 自由作文 14	それは地理的、歴史的、文化的条件を <u>見て</u> <u>わかって</u> <u>きた</u> かもしれない。 (1) (2)	1接 条件 *テ形 /ーバ 2VP *タ /ー ル ムー ド
5088	香港 19 短文作文 15	少年犯罪の問題 <u>は</u> <u>それなりに</u> <u>深刻になって</u> <u>来る</u> <u>のは</u> <u>危</u> <u>険だ</u> <u>と思</u> <u>われ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1*ハ /ーガ 取立 2*ル /ータ
5089	香港 20 短文作文 12	妻を失った後、彼女が私にとってどんな <u>大切</u> <u>だか</u> <u>を</u> <u>よく</u> <u>わか</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	2格 *ヲ /ーガ 1副用 不定 3*ル /ータ
5090	香港 20 短文作文 17	なまじ自信が <u>ある</u> <u>ため</u> <u>に</u> 、試験に失敗しました。	*ル /ータ
5091	香港 21 短文作文 3	これは雪舟がつくったきれいな庭 <u>だ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>われ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1*タ /ー ル 2語順
5092	香港 22 短文作文 3	この美しいにわは雪舟 <u>に</u> <u>設計</u> <u>され</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>う</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ /ーに ヨッテ 2*ル /ータ
5093	香港 23 短文作文 14	私は妻 <u>は</u> <u>離</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>に</u> 、妻 <u>は</u> <u>と</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>に</u> <u>重</u> <u>要</u> <u>な</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>わか</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2V 2,7*ル /ータ 5発 音 6名詞節 1*ハ /ー ト 4取立 *ハ /ーガ 3 接 *トキ /ーテ形
5094	香港 23 短文作文 19	なまじ今朝早く起きた、 <u>行</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>遅</u> <u>刻</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1Ad 2*ル /ータ
5095	香港 24 自由作文 21	中国からの深い影響があるのに、九世紀末の鎖国 <u>は</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>は</u> <u>世</u> <u>界</u> <u>の</u> <u>国</u> <u>々</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>接</u> <u>触</u> <u>は</u> <u>ぜ</u> <u>ん</u> <u>ぜ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1格 *0 は /ーデ は 2* ル /ータ
5096	香港 24 自由作文 22	そして、孤立的な状況で、「国」はすべて日本自体の代 名詞だと <u>思</u> <u>われ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1*ル /ータ 2ーのだ
5097	香港 24 短文作文 19	有名な大学を <u>出</u> <u>て</u> <u>ば</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>で</u> 、必ずしも <u>生</u> <u>活</u> <u>で</u> <u>出</u> <u>世</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1*テ形 /ータ 2取立 * バカリ /ーダケ 3N
5098	香港 25 自由作文 4	第一 <u>、</u> <u>訓</u> <u>は</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>人</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>み</u> <u>方</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 格 *0 /ーニ 2 N 3*ル /ータ
5099	香港 25 自由作文 16	昔は日本という <u>地</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>外</u> <u>国</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>地</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>知</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>外</u> <u>国</u> <u>人</u> <u>が</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>地</u> <u>方</u> <u>へ</u> <u>訪</u> <u>れ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2格 *ガ /ーヲ 4Ad 副用 3*ル /ータ
5100	香港 25 自由作文 17	この地方の人は自己の <u>語</u> <u>言</u> <u>と</u> <u>世</u> <u>界</u> <u>中</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>か</u> <u>の</u> <u>語</u> <u>言</u> <u>が</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>違</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3)	1N 2名詞節 3*ル /ー タ
5101	香港 25 短文作文 13	技術 <u>に</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>彼</u> <u>は</u> <u>ま</u> <u>だ</u> <u>青</u> <u>年</u> <u>な</u> <u>運</u> <u>動</u> <u>員</u> <u>と</u> <u>負</u> <u>け</u> <u>な</u> <u>い</u> 、 <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>が</u> 、 <u>体</u> <u>力</u> <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>見</u> <u>る</u> <u>限</u> <u>り</u> 、 <u>一</u> <u>番</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>成</u> <u>就</u> <u>を</u> <u>過</u> <u>こ</u> <u>す</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *に ヨッテ /ーに ツイテ 2品詞 *NA/ ーA NA 3N 4自他 *ル /ータ
5102	香港 25 短文作文 15	そうですが、でも、人々 <u>は</u> <u>こ</u> <u>れ</u> <u>に</u> <u>価</u> <u>値</u> <u>観</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>お</u> <u>く</u> <u>変</u> <u>わ</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>か</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ /ーノ連 2 格 *ニ /ーに ツイテ 3 A 活用(A) 4*ル /ー タ
5103	マレーシア 1 自由作文 1	わたしはにほんへ <u>き</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、いままで、もうはんとしぐ らいにほんにすんでいます。	*タ /ーテ形
5104	マレーシア 1 自由作文 9	おともだちは、「あなたはにほんごがまだできませんね 」と <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	*タ /ール

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5105	マレーシア 1 自由作文 11	これから、にほんごをもっと <u>べんきょうして</u> <u>の</u> <u>ほう</u> が <u>とおも</u> います。 (1) (2) (3)	1*テ形/ータ 2*ノ連 3-A
5106	マレーシア 3 自由作文 4	おにの話 <u>に</u> 、 <u>負け</u> た <u>のは</u> 、いつも <u>悪い物</u> <u>だから</u> 、サ ン・カンチルーは <u>よく</u> <u>勝</u> っている。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーデ 2*タ/ ール 3表現 4Ad 副用
5107	マレーシア 4 自由作文 12	かれは、海水で塩味をつけて食べる <u>ほろ</u> <u>おいしい</u> ことに 気が <u>つく</u> <u>そう</u> です。 (1) (2)	1発音 2*ル/ーテイ ル、ーテイタ
5108	マレーシア 6 自由作文 8	国にいた時、時々望遠鏡で空を見 <u>て</u> 、月を見た時、穴が いっぱい <u>ある</u> 。 (1) (2)	1接 2*ル/ータ
5109	マレーシア 7 自由作文 21	回教の聖書によると、モハマヤという回教の神 <u>、</u> <u>むか</u> し、森の中で、死ぬ犬を救って <u>あげる</u> <u>そう</u> だ、 <u>だから</u> 、 回教者は、プティーアナを養うことは、神聖な仕事だと 思う。 (1) (2)	1格 *0/ーガ 2*ル/ ータ
5110	マレーシア 10 自由作文 3	<u>あ</u> の <u>ごろ</u> <u>考</u> えて、なぜ日本へ経済を勉強しに <u>行く</u> <u>で</u> し よう。 (1) (2)	1発音 表記 2V *ル/ ータ
5111	マレーシア 10 自由作文 12	あの日から、日本で一生懸命勉強 <u>した</u> <u>と思</u> っている <u>の</u> <u>だ</u> 。 (1) (2)	1*タ/ーテイル 2*ノ ダ
5112	マレーシア 13 自由作文 2	高校の時、様々な <u>校規</u> は不満を持っ <u>て</u> いる、例えば、 <u>女</u> の <u>学生</u> の髪が長くては <u>いけ</u> ないし <u>パーム</u> する <u>も</u> <u>だ</u> <u>め</u> な <u>の</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5)	1N 2*ル/ータ 3複N 4V 5-名詞節
5113	マレーシア 15 自由作文 7	そのことについて、一緒にアルバイトを <u>する</u> 、もう五十 才になる日本人のおばさんに <u>き</u> いて <u>み</u> <u>ま</u> す。 (1) (2)	1-テイル 2-ータ
5114	マレーシア 18 自由作文 6	一方、日本では <u>進む</u> 医療方法、機械をよく <u>使う</u> 、 <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> でも <u>医療方法</u> <u>が</u> <u>だ</u> いたい同じ <u>だ</u> ろうと <u>思</u> う。 (1) (2) (3) (4)	1*ル/ータ 2並N 接 一連用形 3発音 4取 立 *ガ/ーハ
5115	マレーシア 21 自由作文 12	ある日伍さんの誕生日 <u>だ</u> から、私たちの家でパーティを 開いた。	*ル/ータ
5116	マレーシア 22 自由作文 20	今度の経験は勇気が <u>ない</u> し、日本語では <u>っ</u> きり <u>本意</u> を 説明 <u>でき</u> ないため <u>で</u> しょう。 (1) (2) (3)	1*ル/ータ 2N 3*ル/ ータ
5117	マレーシア 22 自由作文 23	<u>今</u> 年の夏休みみはアルバイトを <u>し</u> なくて、 <u>ど</u> <u>こ</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>行</u> きませんでした。 (1) (2) (3)	1C 2*ル/ータ 3不定
5118	マレーシア 23 自由作文 22	私の仕事は、主としてベルトコンベヤーで流れてきた品 物を取って、 <u>らく</u> <u>に</u> <u>お</u> きました。 (1) (2)	1N 2*タ/ール
5119	マレーシア 23 自由作文 23	そして、早くそれらの品物がかわくように、乾燥機に <u>入</u> <u>れ</u> ました。	*タ/ール
5120	マレーシア 23 自由作文 27	連休期間のある日、みんなそろって坂戸にある河川で <u>焼</u> <u>き</u> <u>会</u> <u>合</u> <u>を</u> <u>行</u> って <u>い</u> ま。 (1) (2)	1複N 2*テイル/ー タ
5121	マレーシア 24 自由作文 1	今年の八月十一日から九月七日まで、私は、日本で、四 週間が <u>か</u> かる <u>夏</u> <u>休</u> み <u>で</u> す。 (1) (2)	1V 2*ル/ータ
5122	マレーシア 24 自由作文 9	夏で、 <u>暑</u> いために、 <u>夜</u> には、三時ごろ、ねましたので、 朝は、 <u>十</u> 二まで、 <u>ま</u> だ、 <u>ね</u> ました。 (1) (2) (3)	1*ル/ータ 2取立*ニ ハ/ー0ハ 3マダ

5123	マレーシア 24 自由作文 11	でも、図書館で <u>①</u> 、大部分の時間は、友達といろいろなことを、話した <u>②</u> で、晩強 <u>④</u> ができませんでした。	1取立 *0 /でーハ 2*タ /ーテイル3ノデ 4表記
5124	マレーシア 25 自由作文 1	私は、ちちとはは <u>①</u> <u>あいたい</u> ですから、夏休みに、帰るつもり <u>②</u> です。	1*ル /ータ 2*ル /ー タ
5125	マレーシア 25 自由作文 17	そこは、お祭り <u>①</u> した <u>②</u> 人たちが多く、私私のような外国人も <u>③</u> 多い <u>④</u> でした。	1N 2*タ /ール 3*ル / ータ
5126	マレーシア 26 自由作文 6	そこで、毎日朝九時から夕方五時まで涼しくて静かな図書館 <u>①</u> に宿題をしたり、勉強 <u>②</u> したり <u>③</u> します。	1格ニ /ーデ 2*ル /ー タ
5127	マレーシア 26 自由作文 7	アパートに帰ってから、御飯を作って、いつもテレビをみながら食事を <u>①</u> します。	*ル /ータ
5128	マレーシア 26 自由作文 9	だからほとんど毎日一時ごろ <u>①</u> 寝ます。	*ル /ータ
5129	マレーシア 27 自由作文 6	それで、私の夏休みは <u>①</u> <u>だいたい</u> このガソリンスタンドで <u>②</u> <u>通った</u> ばかりだった。	1発音 表記 2格 *デ / ーニ 3*タ /ール
5130	マレーシア 27 自由作文 9	また、日本語がまだへた <u>①</u> <u>だ</u> から、ガソリンスタンドの社長 <u>②</u> だち <u>③</u> に <u>ごまる</u> <u>④</u> ことをいっばい <u>あげた</u> <u>⑤</u> 。	1*ル /ータ 2,3発音 表記 4V
5131	マレーシア 27 自由作文 11	では、社長 <u>①</u> だち <u>②</u> がやさしい人 <u>③</u> だから、一週間 <u>④</u> <u>あと</u> で、仕事 <u>⑤</u> が上手になってきた。	1C 2発音 表記 3*ル / ータ 4N 副用
5132	マレーシア 27 自由作文 12	しかし、時々、 <u>①</u> <u>間違い</u> こともした。	体修 *ル /ータ
5133	マレーシア 27 自由作文 19	休みの間、仕事をして、ほかのことは <u>①</u> <u>わすれて</u> はいけなくて、宿題 <u>②</u> <u>か</u> 、大学入学試験の準備 <u>③</u> をしなければ <u>④</u> <u>な</u> <u>⑤</u> <u>ら</u> <u>ない</u> 。	1取立 *0 /ーハ 2並 N *カ /ーヤ 3*ル / ータ
5134	マレーシア 27 自由作文 22	時々、話 <u>①</u> した <u>②</u> ばかりで、勉強 <u>③</u> ができなかつた <u>④</u> <u>も</u> あつた <u>⑤</u> <u>よ</u> 。	1*タ /ール 2名詞節 ーコト 3スタイル
5135	マレーシア 28 自由作文 3	必要な手続をおわって、出口を出た時、父が三つ日本で食べられない果物を <u>①</u> <u>くれると</u> 、ほんとに、私 <u>②</u> が心から感動 <u>③</u> しました。	1接 条件 *ト /ーノ デ *ル /ータ 2取立 * ガ /ーハ
5136	マレーシア 28 自由作文 7	帰った <u>①</u> の <u>②</u> <u>次日</u> は、私の誕生日 <u>③</u> なので、たくさん <u>④</u> <u>友</u> だちと一緒に <u>⑤</u> <u>ディスコ</u> へ行きました。	1*ノ連 2N 3*ル /ー タ 4ーノ連 5表記
5137	マレーシア 28 自由作文 12	そのころ、家族のみんなからお金がもらい <u>①</u> <u>やすい</u> ので、ずいぶんデパートへ買物に行きました。	*ル /ータ
5138	マレーシア 28 自由作文 22	そのあと、映画館に <u>①</u> <u>入って</u> 、「電子夢」という映画で、コンピュータについておもしろいストーリーがでて来ました。	接 *テ形 /ータ
5139	マレーシア 28 自由作文 29	二週間ばかりの帰国期間 <u>①</u> <u>です</u> けど、私 <u>②</u> が満足 <u>③</u> です。	1*ル /ータ 2取立 *ガ /ーハ
5140	マレーシア 29 自由作文 4	私は子供の時から首相になりたいと思うことが <u>①</u> <u>あります</u> 。	*ル /ータ
5141	スペイン 1 自由作文 6	お茶を <u>①</u> <u>入れた</u> 人は <u>②</u> <u>やはり</u> わかい女の子 <u>③</u> 。	1*ル /ータ 2発音 Ad 副用 3ーダ

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5142	スペイン 2 パターン作文 5	雨が <u>ふる</u> <u>とき</u> 、魚は家があんまりいりません。 (1) (2)	1*ル/ータ 2接 *トキ /ーテモ
5143	イラク 1 自由作文 4	文化大革命という運動が <u>終わった</u> 以来、経済が <u>高速的</u> <u>に</u> <u>発展</u> <u>できる</u> <u>ために</u> <u>いろいろ</u> <u>な</u> <u>方針</u> <u>と</u> <u>政策</u> <u>を</u> <u>定め</u> <u>られ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 *タ/ーテ形 3副 用 4*タメニ/ーヨウ ニ 5格 *ヲ/ーガ
5144	インド 17 自由作文 18	このテレビは、 <u>よくて</u> 、 <u>やすかった</u> です。	並V *テ/ーシ *ル/ タ
5145	インド 18 自由作文 24	やちんは毎月3万5ひゃくえんですがおふろ <u>あるし</u> <u>か</u> <u>んきょう</u> <u>が</u> <u>しずか</u> <u>だし</u> 、 <u>そこ</u> <u>で</u> <u>ここ</u> <u>に</u> <u>すん</u> <u>で</u> <u>いま</u> <u>した</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0/ーモ 2語順 3C 4*タ/ール
5146	インド 25 自由作文 8	<u>たから</u> <u>ほか</u> <u>の</u> <u>先生</u> <u>たち</u> <u>は</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>たい</u> <u>へん</u> <u>い</u> <u>や</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3)	1発音 2格 *ニ/ーガ 3*ル/ータ
5147	インド 27 自由作文 15	なみだにぬれた目がだんだん重くなっていくので、 <u>ねる</u> <u>ほう</u> <u>が</u> <u>いい</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>いま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1*ル/ータ 2*テイル /ール
5148	インド 28 自由作文 7	みんなこの <u>無義意</u> <u>な</u> <u>戦争</u> <u>は</u> <u>いや</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1NA 2*ル/ータ 発音
5149	インド 28 自由作文 8	故郷の人は <u>思</u> <u>い</u> <u>出</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>みんな</u> <u>か</u> <u>え</u> <u>り</u> <u>た</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1取立 ハ/ーヲ 2ル/ ータ
5150	インド 28 自由作文 9	この <u>気分</u> <u>は</u> <u>日本</u> <u>人</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> 、 <u>世界</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>も</u> <u>戦争</u> <u>や</u> <u>め</u> <u>た</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2取立 *0/ーダ ケ 3格 *0/ーヲ 4ル /ータ
5151	インド 28 自由作文 11	私はこの映画 <u>見</u> <u>る</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> 、 <u>自分</u> <u>の</u> <u>感</u> <u>覚</u> <u>は</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>世界</u> <u>の中</u> <u>で</u> <u>戦争</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> 、 <u>いい</u> <u>わ</u> <u>ね</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1ル/ータ 2N 3格 デ /ーニ 4取立 ハ/ー ガ 5接 条件 *0/ー タラ 6ムード
5152	インド 29 自由作文 2	私の心に <u>残</u> <u>る</u> 映画は「わたしのおじいさん」という映画 でした。	*ル/ーテイル ータ
5153	インド 30 自由作文 11	けれども、子供が一人もいないで、 <u>さび</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>た</u> <u>す</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1接 *テ形/ーノデ 2 タ/ーテイル 3*ダ スタイル
5154	インド 30 自由作文 13	ある日、私は、おじの車に乗って、おじと一緒に都心へ <u>行</u> <u>た</u> <u>途</u> <u>中</u> 、 <u>交通</u> <u>事</u> <u>故</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>こ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーガ 2*タ /ール 発音
5155	インド 30 自由作文 15	この事、 <u>私</u> <u>に</u> <u>一</u> <u>番</u> <u>悲</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *0/ーハ 2格 *に0/ーにトッテ 3*タ/ール 4体修
5156	インド 31 自由作文 5	私たちが毎日 <u>見</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>テ</u> <u>レ</u> <u>ビ</u> 、 <u>新聞</u> 、 <u>雑誌</u> <u>と</u> <u>毎</u> <u>日</u> <u>通</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>商</u> <u>店</u> <u>街</u> 、 <u>駅</u> 、 <u>デ</u> <u>パ</u> <u>ー</u> <u>ド</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>に</u> <u>確</u> <u>か</u> <u>広</u> <u>告</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>入</u> <u>り</u> <u>込</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,4*タ/ーテイル 2* ノ連 3並N *ト/ーソ シテ 5Ad 副用
5157	インド 31 自由作文 10	なぜかという、いま工業社会と呼ばれている <u>の</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>に</u> 、 <u>みんな</u> <u>ほ</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>毎</u> <u>日</u> <u>緊</u> <u>張</u> <u>な</u> <u>気</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 、 <u>毎</u> <u>日</u> <u>見</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>冷</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>建</u> <u>物</u> 、 <u>と</u> <u>無</u> <u>表</u> <u>情</u> <u>の</u> <u>顔</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1,6,7*ノ連 体修 2格 ニ/ーデ 3発音 4VP 5*タ/ール
5158	インド 33 自由作文 4	「私はくつがない <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 、 <u>ず</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>あ</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>人</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>た</u> <u>日</u> <u>ま</u> <u>で</u> 。」 (1) (2) (3)	1*ノ連/ー0 2発音 表記 品詞 語順 3*タ/ール
5159	インド 34 自由作文 2	狭い教室で、五十さいぐらいの <u>年</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>の</u> <u>め</u> <u>か</u> <u>ね</u> <u>を</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>は</u> <u>歴</u> <u>史</u> <u>授</u> <u>教</u> <u>を</u> <u>教</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1N 2発音 3*テイル/ ータ 4取立 *ハ/ー ガ 5N

5160	インド 34 自由作文 3	気温が <u>暑い</u> のでみんなねむかったんです。	*ル/ータ
5161	インド 34 自由作文 4	その時に <u>につまらない</u> <u>授教</u> を <u>きいた</u> のは無理でした。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 副用 2格 * ニ/ー 0 3表記 4*タ/ ー ル
5162	インド 36 自由作文 2	ひとりで日本に留学している別科生 <u>だ</u> <u>ち</u> はみなはじめて、 家族と <u>はなれる</u> と思います。 (1) (2)	1発音 2*ル/ータ
5163	インド 36 自由作文 9	日本語を <u>習う</u> はじめに <u>必死</u> に <u>勉強</u> <u>する</u> 態度はだんだん へていた <u>と</u> はっきり感じています。 (1) (2) (3)	1VP 接 2*ル/ータ 3 複 V 発音 表記
5164	インド 38 自由作文 4	私の <u>こ</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> 、サッカーが好きでしたから、毎日、 <u>運</u> <u>動</u> <u>場</u> に <u>通</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> が、私の体が、ちいさくて、よわそ <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> から、他の人が、サッカーを <u>し</u> <u>た</u> 時、私 <u>が</u> 、 <u>運</u> <u>動</u> <u>場</u> の外で、みるだけ <u>。</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ノ/ーハ 2複 V 3*ル/ータ 4*タ/ ーテイル 5取立 *ガ/ ーハ 6ダ
5165	インド 39 自由作文 2	私は <u>こ</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> 一番 <u>な</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>出</u> <u>こ</u> <u>と</u> は <u>山</u> <u>が</u> <u>登</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーガ 2名 詞節 3格 *ガ/ーニ 4*ル/ータ 5*タ/ ー ル
5166	インド 39 自由作文 3	私の <u>生</u> <u>ま</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>町</u> は、山々がたくさんあります。	*ル/ータ
5167	インド 39 自由作文 21	とても楽しかった <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	*タ/ー ル
5168	インド 39 自由作文 22	これは、私の <u>こ</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>も</u> <u>時</u> 、 <u>な</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>出</u> 、 <u>楽</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1ーノ連 2ーノ連 3接 *0/ーデ 4*タ/ ー ル
5169	インド 41 自由作文 6	小さい町で <u>住</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> から、 <u>休</u> <u>暇</u> だったら、友達と一 緒に林へ行く。 (1) (2)	1*テイル/ーテイタ 2N
5170	インド 41 自由作文 15	残念ながら、中学校から、ちちの仕事のために、引越し した、友達と分れることが <u>悲</u> <u>し</u> <u>い</u> 。	*ル/ータ
5171	インド 45 自由作文 2	私は、高校の時から化学の勉強に <u>濃</u> <u>い</u> <u>興</u> <u>味</u> を <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>始</u> <u>め</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1A 2活用(V) 3*ル/ ータ
5172	インド 45 自由作文 4	できれば、いつか外国へ留学したいと思っています。	*ル/ータ
5173	インド 48 自由作文 8	日本の学生は中学校から、学校で <u>そ</u> <u>れ</u> を <u>学</u> <u>ぶ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2活用(V) 3*タ/ー ル
5174	インド 49 自由作文 4	ですから、そういう機械を作ろうと前から <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	*ル/ータ
5175	インド 50 自由作文 3	というのは、私の国 <u>に</u> はいろいろな撮影器材はほとんど日 本から <u>輸</u> <u>入</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーデ 2複 V 3*タ/ー ル
5176	インド 50 自由作文 9	というのは、私の父 <u>は</u> <u>前</u> に <u>経</u> <u>営</u> <u>管</u> <u>理</u> <u>職</u> を <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> が <u>き</u> <u>っ</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>で</u> 、 <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、子供の時から <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> 父のあと <u>を</u> <u>継</u> <u>ご</u> <u>う</u> と <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2V 3C 4*ル/ータ
5177	インド 50 自由作文 11	しかし、その時、父の話 <u>し</u> <u>全</u> <u>然</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>大</u> <u>き</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>の</u> <u>興</u> <u>味</u> を <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2取立 *0/ーハ 3*ル/ータ 4*ノ連 格 *0/ーニ 5VP

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5178	インド 52 自由作文 8	私は日本で勉強した知識ややり方を ^① もって国へ帰って ^② 会社に入 ^③ る時に ^④ 少なくとも ^⑤ 会社の人事管理と経済発展に役に ^⑥ だつたろう ^⑦ と思っています。	1語順 複V 2*ル/ー タ 3副用
5179	フィンランド 2 自由作文 13	とても <u>おもしろかった</u> です。	*タ/ール
5180	フィンランド 5 自由作文 22	なぜならば、そういう治療方法と前の治療方法が全然ちが <u>っています</u> 。	*ル/ータ ーカラ 名 詞節
5181	フィンランド 6 自由作文 6	その時、父の友だちは上海で有名な医者さん <u>です</u> 。	*ル/ータ
5182	フィンランド 6 自由作文 12	特に、その <u>時</u> から、エイ先生は鼻こう炎の新しい治療方法 <u>が</u> <u>研究</u> ^① <u>して</u> 、毎日実験の時間が長くて、よるおそく <u>お</u> <u>わ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 ^② ^③ ^④	1N 2格 *ガ/ーヲ 3* 0 /ーテイル 4ル/ー テイタ

5.3.2. ル

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5183	台湾 1 自由作文 7	去年、テレビの番組（世界の料理の試合）で放送する <u>と</u> 、 台南の台湾料理が <u>大ニ番</u> を取った。 <small>(1) (2) (3)</small>	3N 2接 *ト/ートキ 1*ル/ータ
5184	台湾 1 パターン作文 14	夏、全島は <u>大ニ暑</u> い <u>が</u> った。 <small>(1) (2)</small>	2活用 *タ/ール 1副 用
5185	台湾 1 パターン作文 16	けれども、季節風によって変わると、東の南風が吹いて、 涼しく <u>な</u> った。 <small>(1) (2)</small>	*タ/ール
5186	台湾 1 パターン作文 18	六月から九月まで、たびたび、台風が台湾にくると、雨 も多いし、風も <u>強</u> い <u>だ</u> ので、 <u>災難</u> にな <u>っ</u> た。 <small>(1) (2) (3)</small>	2品詞(*NA/ーA) 1 接(*ト) 3*タ/ール
5187	台湾 5 自由作文 2	長い時間 <u>おそろ</u> かに <u>あなた</u> に手紙をかくことが <u>あり</u> ま <u>せん</u> <u>が</u> 、 <u>どう</u> も、 <u>すみ</u> ませんでした。 <small>(1) (2)</small>	1NA 2 *ル/ータ
5188	台湾 5 自由作文 7	私は、大学時代に学問を勉強する方法がすこし <u>まち</u> が <u>い</u> ました。 <small>(1) (2)</small>	*ル/ーテイル
5189	台湾 8 自由作文 8	私は日本へ来る前に <u>公務員</u> <u>で</u> す <u>の</u> で、 <u>帰国</u> してから政府 機関に戻るつもりです。 <small>(1) (2)</small>	*ル/ータ
5190	台湾 9 自由作文 3	小学校 <u>勉</u> 強をした <u>時</u> 、家の経済状況は <u>十分</u> に <u>*難</u> な ので、 <u>母</u> は <u>田</u> に <u>仕</u> 事を <u>や</u> たら <u>私</u> を自分の背に <u>負</u> った。 <small>(1) (2) (3) (4) (5) (6)</small>	1格 *0/ーデ 2*タ/ ーテイタ 3Ad 副用 4ル/ータ 5格 *ニ/ ーデ 6活用 (V)*タラ/ ーナガラ
5191	台湾 10 自由作文 2	大学 <u>卒</u> 業した <u>か</u> ら、 <u>大</u> 変長く <u>時</u> 間を <u>た</u> って <u>い</u> ました。 <small>(1) (2) (3)</small>	1*タ/ーテ形 2格 *ヲ /ーガ 3*テイル /ー ル
5192	台湾 14 自由作文 8	その時、中国人が日本語を <u>習</u> っている <u>時</u> 、 <u>初</u> 級程度 を越えた後、日本語の文と文、文章と文章の <u>間</u> に、 <u>接</u> 続 表現がかなり困難だと <u>考</u> えられた <u>こ</u> とを <u>発</u> 見しました。 <small>(1) (2) (3) (4)</small>	1*テイル/ール 2格 * 0/ーニ 3格 *ニ/ ーノ連 4V
5193	台湾 14 自由作文 11	だから、やはり日本語は日本で学んだ方がいいという <u>気</u> <u>持</u> ちで日本に留学し、中国人に適切な教材を研究しよう と、 <u>が</u> んば <u>り</u> ま <u>す</u> 。 <small>(1) (2)</small>	1N 2*ル/ーテイル ムード
5194	台湾 15 自由作文 5	最初休みの日を利用して、第一学期の授業を復習する予 定 <u>で</u> す <u>が</u> <u>今</u> 日 <u>の</u> 円が <u>高</u> くて台湾の父母 <u>が</u> <u>ち</u> ょ <u>っ</u> とお 金がかからない <u>た</u> めに <u>ガ</u> ソリンスタンドで働いていまし た。 <small>(1) (2) (3) (4)</small>	1*ル/ータ 2N 3格 * ガ/ーニ 4接 -ヨウ ニ
5195	台湾 22 自由作文 15	<u>ず</u> う <u>ぶ</u> ん <u>長</u> い時間の温泉に <u>入</u> る <u>た</u> めに <u>疲</u> れる <u>よ</u> うに <u>な</u> って部屋に <u>ね</u> ていました。 <small>(1) (2) (3)</small>	1発音 2*ル/ータ 3ム ード
5196	台湾 22 自由作文 20	これは、私が生まれた <u>か</u> ら <u>こ</u> んな <u>広</u> さ <u>果</u> 樹園を見たの は始めてで胸を <u>い</u> ば <u>い</u> <u>果</u> 物の香りを <u>す</u> いながら <u>ぶ</u> どう や <u>も</u> も <u>取</u> って <u>い</u> て <u>と</u> ても <u>楽</u> しかった。 <small>(1) (2) (3) (4) (5)</small>	1接 2活用 3格 *ヲ/ ーニ 4発音 5*テイル ル/ル
5197	台湾 23 自由作文 8	仕事 <u>が</u> <u>終</u> った <u>家</u> へ <u>帰</u> って <u>す</u> ぐ <u>ね</u> ました。 <small>(1) (2)</small>	接 条件 *0/ート *タ/ ール

5198	台湾 24 自由作文 14	毎晩家族と一緒に晩ごはんをたべたり、はなしたり <u>しま</u> <u>す</u> 。	*ル/ータ
5199	台湾 25 自由作文 5	母親は毎日、子供を <u>背</u> ⁽¹⁾ う学校へ通って行きました。	1接 *ル/ーテ形
5200	台湾 25 自由作文 6	それに子供の学資を <u>送</u> ⁽¹⁾ ったために毎日一生懸命に仕事を やっ <u>て</u> ⁽²⁾ いって夜遅くまで <u>続</u> ⁽³⁾ いていました。	1*タ/ール 2*テイル 3自他
5201	中国 4 パターン作文 7	その <u>ち</u> ⁽¹⁾ かいはまず日本料理の方が野菜はあまりないし、 野菜の <u>つ</u> ⁽²⁾ くり方も少ないと <u>思</u> ⁽³⁾ っています。	1発音 2*テイル/ー ル
5202	中国 11 自由作文 11	<u>か</u> ⁽¹⁾ れは <u>一</u> ⁽²⁾ 人 <u>し</u> ⁽³⁾ か <u>仕</u> ⁽⁴⁾ 事を <u>す</u> ⁽⁵⁾ る から、毎日の <u>残</u> ⁽⁶⁾ 業する のが <u>ほ</u> ⁽⁷⁾ しい <u>で</u> ⁽⁸⁾ す。	1C 2取立 *ハ/ーガ 3取立 4*ル/ーテイ ル 否定 5V 6接 ー カラ
5203	中国 12 自由作文 10	<u>途</u> ⁽¹⁾ 方にくれない <u>と</u> ⁽²⁾ ころ、 <u>警</u> ⁽³⁾ 察官を思いました。	熟語 *ル/ーテイル
5204	中国 14 自由作文 19	中国では乗合バスの中で <u>本</u> ⁽¹⁾ 当の <u>つま</u> ⁽²⁾ らないことで、或は 席を取るため <u>で</u> ⁽³⁾ けんか <u>を</u> ⁽⁴⁾ <u>起</u> ⁽⁵⁾ したことが時々あります。	1副用 2格 *デ/ーニ 3*タ/ール
5205	中国 15 自由作文 4	日本へ来る前に、「東京の人口は約一千二百万ぐらい、 <u>世</u> ^(1,2) 界中に <u>一</u> ⁽³⁾ の大都市で、 <u>中</u> ⁽⁴⁾ には、 <u>新</u> ⁽⁵⁾ 宿が <u>挙</u> ⁽⁶⁾ げられ <u>て</u> ⁽⁷⁾ <u>い</u> ⁽⁸⁾ る。」と私は <u>そ</u> ⁽⁹⁾ う <u>い</u> ⁽¹⁰⁾ う <u>噂</u> ⁽¹¹⁾ が <u>聞</u> ⁽¹²⁾ いて東京に来たのだ。	1複N 2,3副用 4*テ イル/ール 5コソア 6*トイウ 7格 *ガ/ー ヲ
5206	中国 16 自由作文 4	最初京都に行って、とても古い町 <u>だ</u> ⁽¹⁾ ったと思いました。	*タ/ール
5207	中国 16 自由作文 15	私は日本が <u>世</u> ⁽¹⁾ 界中で <u>生</u> ⁽²⁾ 活水準の高い国 <u>だ</u> ⁽³⁾ 。	1複N 2接 *ル/ー連 用形
5208	中国 18 自由作文 3	来る前 <u>に</u> ⁽¹⁾ 日本のいろいろなものが <u>必</u> ⁽²⁾ ず <u>優</u> ⁽³⁾ れる <u>と</u> ⁽⁴⁾ 思っ て <u>い</u> ⁽⁵⁾ ましたが。来て <u>か</u> ⁽⁶⁾ ら <u>自</u> ⁽⁷⁾ 分の思っ <u>た</u> ⁽⁸⁾ <u>と</u> ⁽⁹⁾ う <u>り</u> ⁽¹⁰⁾ と違 <u>っ</u> ⁽¹¹⁾ <u>て</u> ⁽¹²⁾ <u>い</u> ⁽¹³⁾ ます。	1取立 *ニ/ーハ 2Ad 3*ル/ーテイル 4複V ーテミル 5条件 6N 7*ル/ータ
5209	中国 18 自由作文 12	もう一つの <u>印</u> ⁽¹⁾ 象は日本で <u>車</u> ⁽²⁾ が <u>多</u> ⁽³⁾ すぎました。	1N 2取立 *0/で ーハ 3*タ/ール
5210	中国 18 自由作文 19	わたしは日本へ来て勉強 <u>す</u> ⁽¹⁾ る だけでなく、自分の <u>視</u> ⁽²⁾ 線 が広まりました。	1*ル/ーテイル 2N
5211	中国 19 自由作文 2	日本に来てから <u>や</u> ⁽¹⁾ が <u>て</u> ⁽²⁾ 半年 <u>に</u> ⁽³⁾ なりました。	1Ad 2*タ/ール
5212	中国 19 自由作文 8	ある浮浪者が英語の新聞を見ながらトップソングを <u>聞</u> ⁽¹⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ ていて、そばにいる犬にハンバーグをやっています <u>ま</u> ⁽³⁾ 。 <u>ま</u> ⁽⁴⁾ 。	1*テイル/ール *テ形/ ー連用形 2ーノダ
5213	中国 21 自由作文 5	わたしはまいにちにほんじんとはなし <u>ま</u> ⁽¹⁾ す。	*ル/ーテイル
5214	中国 21 自由作文 6	はじめて <u>に</u> ⁽¹⁾ ほんじんのはなしはぜんぜんわからなかった <u>ま</u> ⁽²⁾ いにち <u>ね</u> ⁽³⁾ ん <u>し</u> ⁽⁴⁾ ゅう <u>す</u> ⁽⁵⁾ る から、だんだん <u>す</u> ⁽⁶⁾ こし <u>わ</u> ⁽⁷⁾ <u>か</u> ⁽⁸⁾ り <u>な</u> ⁽⁹⁾ ります。	1Ad 副用 2接 *0/ー ガ 3発音 表記 4*ル/ ーテイル 5VP *ル/ ータ
5215	中国 22 自由作文 10	に、さんかげつ <u>じ</u> ⁽¹⁾ ゅう、わたしは毎日学校の <u>じ</u> ⁽²⁾ ゅう <u>き</u> ⁽³⁾ よ うの <u>時</u> ⁽⁴⁾ 間は <u>五</u> ⁽⁵⁾ 時間 <u>が</u> ⁽⁶⁾ <u>あ</u> ⁽⁷⁾ ります。	1複N 2取立 *ハ/ー ガ 3格 *ガ/ー 0 4* ル/ータ
5216	中国 23 自由作文 2	わたしはいま国際学友会日本語学校で日本語の勉強を <u>し</u> <u>ま</u> ⁽¹⁾ す。	*ル/ーテイル

5217	中国 23 自由作文 6	わたしはいま毎晩五時からじゆうじまでごじかん日本語の勉強を <u>します</u> 。	*ル/ーテイル
5218	中国 24 自由作文 10	そして、上手に日本語を <u>話せば</u> 、 <u>また</u> 時間がたくさんかかると <u>思っています</u> 。	1複V 接 一条件 2Ad 副用 3*テイル/ー ル
5219	中国 25 自由作文 3	わたしはちゅうごくからにほんへはじめて <u>きます</u> 。	*ル/ータ
5220	中国 25 自由作文 17	がくせいのがっこうでべんきょうを <u>する</u> あとでじぶんのうちで <u>けいぞくが</u> にほんごをべんきょうします。	1*ル/ータ 2副用
5221	中国 26 自由作文 8	にほんごのべんきょうのじかんが <u>みじかい</u> から、えいごより <u>じょうず</u> ではありません。	1*ル/ータ 2格 *ヨリ 3NA
5222	中国 28 自由作文 20	まいしゅうの <u>すいようび</u> 、 <u>おおきいしけん</u> があります。	1格 *ノ連/ー0 2*ル/ー タ
5223	中国 29 自由作文 2	わたしは日本へ <u>きた</u> 前に、にほんごは <u>ぜんぶは</u> <u>わか</u> りません。	1*タ/ール 2取立 *ニ/ーハ 3Ad 副用 4*ル/ー タ
5224	中国 29 自由作文 9	うちへ <u>かえる</u> あとで、すこし休みます。	*ル/ータ
5225	中国 31 自由作文 4	にほんへ <u>きた</u> りょうがくせいはおおぜいいます。	1*ル/ータ 2発音
5226	中国 33 自由作文 6	わたし <u>が</u> にほんごのべんきょうは <u>へた</u> から <u>にほん</u> にん <u>の</u> ともたちをつくり <u>ます</u> 。	1取立 *ガ/ーハ 2*ハ/ーガ 3活用 (NA) 4,5発音 6*ル/ータ
5227	中国 36 自由作文 3	しかし、じかんが <u>ない</u> から、たくさんのにほんごのべんきょうはできませんでした。	*ル/ータ
5228	中国 37 自由作文 3	にほんへくる <u>のため</u> はけいざいのべんきょうを <u>します</u> 。	1*ル/ータ 2体修 3N 4一名詞節
5229	中国 38 自由作文 5	まえにわたしはにほんごを <u>しりません</u> 。	*ル/ータ
5230	中国 39 自由作文 3	せんせいはいつもしんせつに <u>おしえました</u> 。	受給 *タ/ール
5231	中国 42 自由作文 7	はじめは、国際学友会日本語学校で勉強 <u>します</u> 。	1副用 2取立 *ハ/ー ニ 3*ル/ータ
5232	中国 44 自由作文 3	そのまえににほんごが <u>ぜんぶ</u> わかりません。	1Ad 副用 2*ル/ータ
5233	中国 44 自由作文 5	いま、わたしはにほんごが <u>っこう</u> ににほんごのべんきょうを <u>します</u> 。	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ー テイル
5234	中国 45 自由作文 4	とても <u>おもしろかった</u> とおもっていました。	*タ/ール
5235	中国 45 自由作文 5	しかし、 <u>いまからたんたん</u> むずかしく <u>なりますが</u> 、 <u>ど</u> き <u>とき</u> すきではないに <u>べんきょう</u> します。	1Ad 副用 発音 2*ル/ー タ 複V 3発音 4接 ーテモ
5236	中国 45 自由作文 14	残念 <u>でした</u> 。	*タ/ール
5237	中国 46 自由作文 4	いまとうきょうとしんじゅくく <u>に</u> こくさいがくゆうかいにほんごが <u>っこう</u> でにほんご <u>べんきょう</u> を <u>します</u> 。	1格 *ニ/ーノ連 2格 *0/ーヲ 3*ル/ー テイル

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5238	中国 46 自由作文 7	すぐ歯を磨 ₍₁₎ て顔を洗 ₍₂₎ ています。	1表記 2活用(V) 3* テイル/ール
5239	中国 47 自由作文 3	はじめてにほんごのべんきょうをします。	*ル/ーテイル
5240	中国 47 自由作文 4	にほんごはたいへんむじかしかったです。	発音 *タ/ール
5241	中国 47 自由作文 9	デパートへいくときかいものは、いつもにほんごではな しています。	*ル/ータ
5242	中国 49 自由作文 4	わたしははじめてにほんごのべんきょうをします。	1発音 表記 2*ル/ー テイル
5243	中国 49 自由作文 13	そして、あさごはんをあとでがっこうへいきました。	1格 *ヲ/ーノ連 2副 用 3*タ/ール
5244	中国 49 自由作文 16	にちようびやすみにわたしはどきときしんじゅくへ あぞんでいきました。	1格 *0/ーノ連 2発 音 表記 3発音 4*タ/ ール
5245	中国 51 自由作文 4	まいにちがっこうへ行って、せんせいにおしえてもら いました。	*タ/ール
5246	中国 51 自由作文 5	せんせいはまいにち、かわやぶんぼうなどがおしえま すたが、いままで、いままで、なかなかできませんで した。	1格 *が/ーヲ 2受給 *タ/ール 活用 (V) 3V
5247	中国 51 自由作文 6	さくぶんのれんしゅうもまいしゅういっかいありました。	*タ/ール
5248	中国 51 自由作文 11	わたしはこのことばを聞いたとき、心の中 ₍₁₎ にうれい しい ₍₂₎ が、もっとも一生懸命日本語を勉強する ₍₃₎ と思っ ています ₍₄₎ 。	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ータ 3副用 Ad4△ ード 5*テイル/ータ
5249	中国 54 自由作文 6	わたしはどもだちといっしょにべんきょうをします。	1発音 表記 2*ル/ー テイル
5250	中国 54 自由作文 19	今わたしは日本に3かげつぐらいいました。	*タ/ール
5251	中国 55 自由作文 3	にほんでにほんごのべんきょうをしました。	*タ/ール
5252	中国 57 自由作文 12	わからないときいつも、「すみません、先生、もいちと いってください」といきました。	1発音 表記 2*タ/ー ル
5253	韓国 4 自由作文 6	しかし韓国は西洋の文物を流入したのがもうやっ と30年くらいしがならなかった。	&表現 1接ーテカラ 2Ad *モウ/ーマダ 3 発音 取立 シカ 4*タ/ ール
5254	韓国 8 聴解要約 1	ヤンさんは大家さんの家を訪 ₍₁₎ 問する ₍₂₎ 時におみやげをあげ た。	*ル/ータ
5255	韓国 11 パターン作文 6	私と私の主人をくらべると私の主人の方が余裕のある態 度がありました。	*タ/ール
5256	韓国 12 パターン作文 1	学園都市と他の都市が一番 ₍₁₎ 違いは、学園都市は前もっ て都市計画が ₍₂₎ できる ₍₃₎ 、他の都市は自然発生に ₍₄₎ なる ₍₅₎ ことです。	1ノ連 2品詞 3発音 ー受身 4接ーにタイ シテ/ーガ/ー連用形 5V *ル/ーテイル

5257	韓国 13 聴解要約 12	家へ帰 ⁽¹⁾ って同じカセッ ⁽²⁾ トがあります。	1表記 接 *テ形 /-ト 2*ル /-タ
5258	韓国 13 パターン作文 7	ソウルの方がふるさとより長いあ ⁽¹⁾ いだ ⁽²⁾ です が 短い ⁽³⁾ ふる さとの生活 ⁽⁴⁾ を思 ⁽⁵⁾ います。	1ダ 2*ル /-タ 3-ノ ホウ
5259	韓国 21 自由作文 3	それから ⁽¹⁾ はじめに ⁽²⁾ <u>べんきょうする</u> ⁽³⁾ ときは日本の字はめ ずらしいとおも ⁽⁴⁾ いました。	1c 2Ad 副用 3*ル / -タ
5260	韓国 22 自由作文 11	だから私は毎日朝 おき ⁽¹⁾ る から ねて ⁽²⁾ 前まで日本語会話 ⁽³⁾ カサート ⁽⁴⁾ をき ⁽⁵⁾ きます。	1*ル /-テ形 2*テ形 / -ル 3-ノ連 4 N 発音
5261	韓国 25 自由作文 3	そしてすこしふるいへやですから虫が時々 ⁽¹⁾ います ⁽²⁾ が私 が 1 かげつに一度けむりの出 ⁽³⁾ るくすりをつか ⁽⁴⁾ っています から虫はぜんぜん ⁽⁵⁾ ない ⁽⁶⁾ です。	1*ル /-タ 2取立 *ガ / -ハ 3V
5262	韓国 30 自由作文 4	小蓮という映画の 主要人物 ⁽¹⁾ は、とても苦しい生活を 過 ⁽²⁾ ぎて、8才の時、かぞくの生活費のために、 <u>町にある</u> ⁽³⁾ 金持ちの家で 働 ⁽⁴⁾ かなければなら ⁽⁵⁾ ない。	1N 2V 3体修 AN 4*ル /-タ
5263	韓国 30 自由作文 7	このように、何年 ⁽¹⁾ でも かぞくに 会 ⁽²⁾ えない。	1取立 *デも /-O モ 2*ル /-タ
5264	韓国 31 自由作文 2	私はなぜ日本へ留学 ⁽¹⁾ しにき ⁽²⁾ ますか。	VP *ル /-タ
5265	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店 ⁽¹⁾ を つくられて商業も 盛ん ⁽²⁾ ていま す ⁽³⁾ 。	1格 *ヲ /-ガ 2品詞 *V /-NA 3発音 表 記 *テイル /-ルタ
5266	韓国 31 自由作文 14	日本はなぜ そんな ⁽¹⁾ 短い時間 ⁽²⁾ に 世界 ⁽³⁾ ひとつ 工業国 ⁽⁴⁾ に な る ⁽⁵⁾ か という 原因 ⁽⁶⁾ がしりたいです。	1コソア 2格 *ニ /- デ 3数 4*ル /-タ 5 接 *トイウ
5267	韓国 35 自由作文 9	別に共産主義 ⁽¹⁾ と言う 北朝鮮とソビエトと中国が あった ⁽²⁾ ので軍事的でもずいぶん不利な立場に おいてあり ⁽³⁾ ます。	1*トイウ /-ノ連 2* タ /-ル 3受身 VP
5268	ブラジル 1 聴解要約 3	日本に 来る ⁽¹⁾ 時は 友だちがおでむかえに 行き ⁽²⁾ ました ⁽³⁾ 。	1*ル /-タ 2接 とき* ハ / とき-O 3V
5269	ブラジル 2 パターン作文 1	ブラジルと日本の 番 ⁽¹⁾ 大きいちがいは、ブラジル ⁽²⁾ はク ルザド ⁽³⁾ で使 ⁽⁴⁾ う、日本人は円 ⁽⁵⁾ が使 ⁽⁶⁾ います。	1副用 Ad 2格 *O は / -デは 3格 *デ /- ヲ 4*ル /-連用形 5 格 *ガ /-ヲ 6名詞節
5270	アメリカ 1 パターン作文 10	そのこどもはおとなに なる ⁽¹⁾ とき自分で自分の 好き ⁽²⁾ きら い ⁽³⁾ ことを 決ま ⁽⁴⁾ れられ ⁽⁵⁾ ません。	3活用 V 1*ル /-タ 2品詞 *A /-N
5271	アメリカ 3 自由作文 18	わたし たもだち ⁽¹⁾ はいっしょに <u>べんきょう</u> ⁽²⁾ WPした ⁽³⁾ こ と ⁽⁴⁾ があります。	1格 *タ /-ト 2発音 3*タ /-ル 4熟語
5272	インドネシア 2 聴解要約 4	やんさん ⁽¹⁾ が おじゃましますと ⁽²⁾ 言 ⁽³⁾ って、おくさんが 飲 ⁽⁴⁾ み 物 ⁽⁵⁾ をも ⁽⁶⁾ って 来 ⁽⁷⁾ る 飲 ⁽⁸⁾ み物を飲んで、「つめたい、おいし い」と言 ⁽⁹⁾ った。	1格 取立 *ガ /-ハ 2 体修 3*ル /-タ
5273	インドネシア 2 自由作文 4	私は大学を 卒業 ⁽¹⁾ した ⁽²⁾ までそこで過 ⁽³⁾ ごしました。	接 *タまで /-ルま で
5274	インドネシア 2 自由作文 5	私は生まれてから大学を 卒業 ⁽¹⁾ した ⁽²⁾ までの24年間をその 地方で過 ⁽³⁾ ごしました。	接 *タまで /-ルま で

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5275	インドネシア 3 パターン作文 4	むかしインドネシアにはたくさんもり <u>あります</u> 。 (1)(2)	1格 *0 /ーガ 2*ル /ー タ
5276	インドネシア 4 自由作文 1	そのとき、 <u>恥かしかった</u> <u>と思います</u> 。 (1) (2)	1*タ /ール 2*ル /ー タ
5277	香港 7 自由作文 17	作者自身の人間観から <u>する</u> 文明批評が猫に託して試みら れている。	V *ル /ータ
5278	香港 15 短文作文 10	<u>大き部屋</u> <u>と</u> <u>いって</u> 、 <u>ある</u> <u>私</u> <u>の</u> <u>子供</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>よく</u> <u>いく</u> <u>親類</u> (1) (2) (3) (4) (5) <u>は</u> <u>おもしろい</u> <u>部屋</u> <u>を</u> <u>とり</u> <u>ました</u> 。 (6)	2表現 6V 3語順 1活 用(A) 4ノ連 3AN 5* ル /ータ
5279	香港 15 短文作文 16	この講義には彼はわかったようなわからぬような顔を <u>す</u> <u>る</u> 。	*ル /ーテイル
5280	香港 16 短文作文 3	この美しい庭は雪舟に <u>て</u> <u>られる</u> <u>そう</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3)	3*ル /ータ 2V 1格 * ニ /ーに ヨッテ
5281	香港 16 短文作文 5	友達は私にこの <u>書</u> <u>を</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>て</u> 、 <u>読</u> <u>む</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>と</u> (1) (2) <u>言</u> <u>う</u> 。	1N 2*ル /ータ
5282	香港 16 短文作文 11	おおきい家と <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、私は小さいとき、よくある <u>親</u> <u>族</u> (1) (2) <u>の</u> <u>家</u> <u>へ</u> <u>遊</u> <u>び</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>き</u> 、この家はおもしろかったです。	1表現 2N 3接 *ル / ータ *連用形 /ーガ
5283	香港 17 短文作文 7	私は三回も彼に手紙をかいたのに、返事がまだ <u>こ</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 <u>た</u> 。	*タ /ール
5284	香港 18 短文作文 9	ひらがなとカタカナが <u>お</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>漢</u> <u>字</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>生</u> <u>ま</u> <u>れ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	2表記 1取立 *ガ /ー ハ 3*ル /ータ
5285	香港 18 短文作文 11	<u>広</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>え</u> <u>ば</u> 、子供の時よく <u>い</u> <u>た</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>親</u> <u>類</u> <u>の</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>の</u> (1) (2) <u>家</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>い</u> 。 (3)	1スタイル 2発音 3* ル /ータ
5286	香港 19 自由作文 14	それは地理的、歴史的、文化的条件を <u>見</u> <u>て</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> (1) (2) <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1接 条件 *テ形 /ーバ 2VP *タ /ール ムー ド
5287	香港 19 自由作文 20	國語と呼ぶ時、みんなは自分 <u>は</u> <u>同</u> <u>一</u> <u>集</u> <u>団</u> <u>に</u> <u>属</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>気</u> <u>が</u> (1) <u>す</u> <u>る</u> 。 (2)	1取立 *ハ /ーガ 2*ル /ーテイル
5288	香港 19 短文作文 15	少年犯罪の問題 <u>は</u> <u>そ</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>深</u> <u>刻</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>来</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>危</u> (1) (2) <u>険</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>る</u> 。	1*ハ /ーガ 取立 2*ル /ータ
5289	香港 20 短文作文 12	妻を失った後、彼女が私にとってどんな <u>大</u> <u>切</u> <u>だ</u> <u>か</u> <u>を</u> (1) (2) <u>よ</u> <u>く</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>る</u> 。 (3)	2格 *ヲ /ーガ 1副用 不定 3*ル /ータ
5290	香港 20 短文作文 17	なまじ自信が <u>あ</u> <u>る</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> 、試験に失敗しました。	*ル /ータ
5291	香港 21 短文作文 3	これは雪舟がつくったきれいな庭 <u>だ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1*タ /ール 2語順
5292	香港 22 短文作文 3	この美しいにわは雪舟に <u>設</u> <u>計</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>う</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ /ーに ヨッテ 2*ル /ータ
5293	香港 23 自由作文 26	文化的条件について見ると、日本人は明治以降、外国文 <u>化</u> <u>を</u> <u>接</u> <u>触</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>の</u> 、一方交通の文化だけである。 (1) (2)	1格 *ヲ /ート 2*ル / ーテイル
5294	香港 23 自由作文 27	外国から文化 <u>を</u> <u>輸</u> <u>入</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>続</u> <u>け</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ /ーガ 2受身 3*ル /ーテイル

5295	香港 23 短文作文 14	私は妻は <u>離れる</u> <u>とき</u> に、妻は <u>とんな</u> に重要な <u>の</u> <u>が</u> <u>わかる</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2V 2,7*ル/ータ 5発 音 6名詞節 1*ハ/ー ト 4取立 *ハ/ーガ 3 接 *トキ /ーテ形
5296	香港 23 短文作文 19	<u>なまじ</u> 今朝早く起きた、 <u>行かない</u> ために遅刻しました。 (1) (2)	1Ad 2*ル/ータ
5297	香港 24 自由作文 21	中国からの深い影響があるのに、九世紀末の鎖国 <u>は</u> 日 本は世界の国々とはなれていたので、 <u>接触</u> は <u>ぜんぜん</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1格 *0は/ーデは 2* ル/ータ
5298	香港 24 自由作文 22	そして、孤立的な状況で、「国」はすべて日本自体の代 名詞だと <u>思われている</u> かもしれない <u>。</u> (1) (2)	1*ル/ータ 2ーのだ
5299	香港 25 自由作文 4	第一 <u>、</u> 訓は日本人 <u>自分</u> の <u>つくる</u> よみ方である。 (1) (2) (3)	1副用 格 *0 /ーニ 2 N 3*ル/ータ
5300	香港 25 自由作文 16	昔は日本という <u>地方</u> が外国人がこの地方が <u>知らない</u> か ら、 <u>すこし</u> 外国人がこの地方へ訪れた。 (1) (2) (3) (4)	1N 2格 *ガ/ーヲ 4Ad 副用 3*ル/ータ
5301	香港 25 自由作文 17	この地方の人は自己の <u>語言</u> と世界中のほかの <u>語言</u> がどう 違う <u>のは</u> <u>考えない</u> 。 (1) (2) (3)	1N 2名詞節 3*ル/ー タ
5302	香港 25 短文作文 9	学校によって <u>、</u> 男の子が長いかみのけを <u>持って</u> は禁じ られている。	1取立 *0 /ーハ 2V *テ形/ール 名詞節
5303	香港 25 短文作文 13	技術 <u>によって</u> 彼はまだ <u>青年な</u> <u>運動員</u> と負けない、とこ ろが、体力について見る限り、一番高い <u>成就</u> を <u>過こす</u> よ うである。 (1) (2) (3) (4)	1格 *にヨッテ/ーに ツイテ 2品詞*NA/ ーA NA 3N 4自他 *ル/ータ
5304	香港 25 短文作文 15	そうですが、でも、人々は <u>これ</u> に <u>価値観</u> が <u>おおく</u> <u>変</u> <u>わる</u> のではないのでしょうか。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーノ連 2 格 *ニ/ーにツイテ 3 A 活用(A) 4*ル/ー タ
5305	香港 26 自由作文 12	太平洋中、日本列島 <u>上</u> に日本人 <u>が</u> <u>生活する</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1複N 2ーノ連 3格 取立 *ガ/ーハ4*ル/ ーテイル
5306	フランス 1 自由作文 3	今までのところパリの東洋言語学院で日本語を四年間 <u>習</u> <u>い</u> ましたが卒業してから <u>、</u> コンピュータによって <u>仏和</u> <u>一和仏自動翻訳</u> をやるプログラムも作りはじめました。 (1) (2) (3) (4)	1接 *ガ /ー連用形 2 取立 *0 /ーハ 3活 用 *テ形 /ール 体修 4*V /ーノ連
5307	フランス 1 自由作文 4	ところが <u>シンタクスの意味的な</u> <u>ちゃんとした基準</u> を見つ けるには <u>よく</u> 日本語の構造などやはり言語学が <u>わかる</u> <u>必要がある</u> でしょう。 (1) (2) (3)	1NA 2語順 3*ル/ー テイル
5308	イラン 1 パターン作文 4	イラン <u>人</u> もよく <u>ごはん</u> を <u>たべて</u> いますが、イランの <u>米</u> と日本の米の違いはつくりかたです。 (1) (2) (3) (4)	1表記 2発音 3*テイ ル/ール 4N
5309	マレーシア 1 自由作文 9	おともだちは、「あなたはにほんごがまだできませんね 」と <u>い</u> いました。	*タ/ール
5310	マレーシア 2 自由作文 18	なぜなら日本に <u>きて</u> の <u>前</u> にかんじが少しもわかりませ んでした。 (1) (2)	1*テ形/ール 2*ノ連
5311	マレーシア 3 自由作文 4	おにの話 <u>に</u> 、 <u>負け</u> たのは、いつも <u>悪い物</u> だから、サ ン・カンチルーは <u>よく</u> 勝っている。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/ーデ 2*タ/ ール 3表現 4Ad 副用

5312	マレーシア 3 自由作文 8	サン・チルーはぜんぜん <u>暴力をしない</u> 、頭だけ使う、そして、いつも <u>勝っている</u> 。	1VP 2*テイル/ール
5313	マレーシア 4 自由作文 12	かれは、海水で塩味をつけて食べる <u>ほろ</u> おいしいことに <u>気がつく</u> そうです。	1発音 2*ル/ーテイル、ーテイタ
5314	マレーシア 6 自由作文 8	国にいた時、時々望遠鏡で空を見 <u>て</u> 、月を見た時、穴が <u>いっぱいある</u> 。	1接 2*ル/ータ
5315	マレーシア 7 自由作文 21	回教の聖書によると、モハマヤという回教の神 <u>、</u> むかし、森の中で、死ぬ犬を救って <u>あげる</u> そうだ、だから、回教者は、プティーアナを養うことは、神聖な仕事だと思ふ。	1格 *0/ーガ 2*ル/ータ
5316	マレーシア 10 自由作文 3	<u>あのごろ</u> 考えて、なぜ日本へ経済を勉強しに <u>行く</u> でしょう。	1発音 表記 2V *ル/ータ
5317	マレーシア 13 自由作文 2	高校の時、様々な <u>校規</u> は不満を持っている、例えば、 <u>女の学生</u> の髪が長くてはいけないし <u>パームする</u> もだめなのです。	1N 2*ル/ータ 3複N 4V 5一名詞節
5318	マレーシア 18 自由作文 6	一方、日本では <u>進む</u> 医療方法、機械をよく <u>使う</u> 、 <u>どこ</u> ても <u>医療方法</u> が <u>だいたい</u> 同じだろうと思ふ。	1*ル/ータ 2並N 接一連用形 3発音 4取立 *ガ/ーハ
5319	マレーシア 21 自由作文 12	ある日伍さんの誕生日 <u>だから</u> 、私たちの家でパーティを開いた。	*ル/ータ
5320	マレーシア 22 自由作文 20	今度の経験は勇気が <u>ない</u> し、日本語ではっきり <u>本意</u> を <u>説明</u> <u>できない</u> ためでしょう。	1*ル/ータ 2N 3*ル/ータ
5321	マレーシア 22 自由作文 23	<u>今年</u> の夏休みみはアルパイトを <u>しなくて</u> 、 <u>どこ</u> でも <u>行きません</u> でした。	1C 2*ル/ータ 3不定
5322	マレーシア 23 自由作文 22	私の仕事は、主としてベルトコンベヤーで流れてきた品物を取って、 <u>らく</u> に <u>おきました</u> 。	1N 2*タ/ール
5323	マレーシア 23 自由作文 23	そして、早くそれらの品物がかわくように、乾燥機に <u>入</u> れました。	*タ/ール
5324	マレーシア 24 自由作文 1	今年の八月十一日から九月七日まで、私は、日本で、四週間が <u>かかる</u> <u>夏休み</u> <u>です</u> 。	1V 2*ル/ータ
5325	マレーシア 24 自由作文 9	夏で、 <u>暑い</u> ために、 <u>夜</u> には、三時ごろ、ねましたので、朝は、 <u>十二</u> まで、 <u>まだ</u> 、ねました。	1*ル/ータ 2取立*ニハ/ー0ハ 3マダ
5326	マレーシア 25 自由作文 1	私は、ちちとはは <u>あいたい</u> ですから、夏休みに、帰るつもり <u>です</u> 。	1*ル/ータ 2*ル/ータ
5327	マレーシア 25 自由作文 17	そこは、 <u>お祭り</u> <u>した</u> 人たちが多く、私私のような外国人も <u>多い</u> でした。	1N 2*タ/ール 3*ル/ータ
5328	マレーシア 26 自由作文 6	そこで、毎日朝九時から夕方五時まで涼しくて静かな図書館に宿題をしたり、勉強したり <u>します</u> 。	1格ニ/ーデ 2*ル/ータ
5329	マレーシア 26 自由作文 7	アパートに帰ってから、御飯を作って、いつもテレビをみながら食事を <u>します</u> 。	*ル/ータ

5330	マレーシア 26 自由作文 9	だからほとんど毎日一時ごろ <u>寝ます</u> 。	*ル / タ
5331	マレーシア 27 自由作文 6	それで、私の夏休みは <u>だいたい</u> このガソリンスタンドで <u>通った</u> ばかりだった。 (1) (2) (3)	1*発音 表記 2格 *デ / 一ニ 3*タ / ル
5332	マレーシア 27 自由作文 9	また、日本語がまだへた <u>だ</u> から、ガソリンスタンドの <u>社長だち</u> に <u>ごまる</u> ことを <u>いっばい</u> <u>あげた</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1*ル / タ 2,3発音 表記 4V
5333	マレーシア 27 自由作文 11	では、 <u>社長だち</u> が <u>やさしい人</u> <u>だから</u> 、一週間 <u>あと</u> で、 <u>仕事</u> が <u>上手</u> になってきた。 (1) (2) (3) (4)	1C 2発音 表記 3*ル / タ 4N 副用
5334	マレーシア 27 自由作文 12	しかし、時々、 <u>間違い</u> こともした。	体修 *ル / タ
5335	マレーシア 27 自由作文 19	休みの間、仕事をして、ほかのことは <u>わす</u> れてはいけなくて、宿題 <u>か</u> 、大学入学試験の準備をしなければ <u>な</u> らない。 (1) (2) (3)	1取立 *0 / ハ 2並 N *カ / ヤ 3*ル / タ
5336	マレーシア 28 自由作文 3	必要な手続をおわって、出口を出た時、父が三つ日本で <u>食べられない果物</u> を <u>くれる</u> と、ほんとに、 <u>私</u> が <u>心</u> から感動しました。 (1) (2)	1接 条件 *ト / ノ デ *ル / タ 2取立 * ガ / ハ
5337	マレーシア 28 自由作文 7	帰った <u>の</u> <u>次日</u> は、私の誕生日 <u>な</u> ので、たくさん <u>友</u> だちと一緒に <u>ディスコ</u> へ行きました。 (1) (2) (3) (4)	1*ノ連 2N 3*ル / タ 4-ノ連 5表記
5338	マレーシア 28 自由作文 12	そのころ、家族のみんなからお金がもらい <u>やすい</u> ので、 <u>ずいぶん</u> デパートへ買物に行きました。	*ル / タ
5339	マレーシア 28 自由作文 29	二週間ばかりの帰国期間 <u>です</u> けど、 <u>私</u> が <u>満足</u> です。 (1) (2)	1*ル / タ 2取立 *ガ / ハ
5340	マレーシア 28 自由作文 30	今、アルバイトを一生懸命 <u>や</u> っていると、お金をたくさん <u>使</u> っ <u>て</u> 、ぜひ来年の夏休みに <u>国</u> へ帰ろうと思っ <u>て</u> います。 (1) (2)	1*テイル / ル 接 条件 *ト / テ形 2 V
5341	マレーシア 29 自由作文 4	私は子供の時から首相になりたいと思っ <u>て</u> あります。	*ル / タ
5342	スペイン 1 自由作文 6	お茶を <u>入</u> れた <u>人</u> は <u>や</u> ぱり <u>わ</u> かい <u>女</u> の <u>子</u> 。	1*ル / タ 2発音 Ad 副用 3-ダ
5343	スペイン 2 パターン作文 3	魚と人間の一番大きい違いは、魚は水の中に <u>す</u> んで <u>いま</u> <u>す</u> 、人間は <u>土</u> という <u>です</u> 。 (1) (2)	1接 *ル / テ形 2表 現 3名詞節
5344	スペイン 2 パターン作文 5	雨が <u>ふ</u> る <u>と</u> き、魚は家があんまり <u>い</u> りません。 (1) (2)	1*ル / タ 2接 *トキ / テモ
5345	インド 15 自由作文 12	私は音楽を <u>き</u> くことが大好きですから <u>い</u> つも <u>つ</u> かいます。	*ル / テイル
5346	インド 17 自由作文 18	このテレビは、 <u>よ</u> く <u>て</u> 、 <u>や</u> す <u>か</u> った <u>で</u> す。	並 V *テ / シ *ル / タ
5347	インド 18 自由作文 6	コーポ <u>に</u> <u>言</u> われます。 (1) (2)	1格 *ニ / ト 2*ル / テイル
5348	インド 18 自由作文 21	ベランダに <u>せ</u> ん <u>た</u> く <u>き</u> <u>に</u> <u>お</u> かれました。 (1) (2)	1格 *ニ / ガ 2ル / テイル
5349	インド 18 自由作文 24	やちんは毎月 3 万 5 千 円 ですがおふろ <u>あ</u> る <u>し</u> <u>か</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>よ</u> う <u>が</u> <u>し</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>だ</u> <u>し</u> 、 <u>そ</u> <u>こ</u> <u>で</u> <u>こ</u> <u>こ</u> <u>に</u> <u>す</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *0 / モ 2語順 3C 4*タ / ル

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5350	インド 21 自由作文 18	日本にはまた遠い地方へ行きませんかが夏休みの時山と海へ行きたいです。	1格 *ニは /ーデは 2 発音 Ad 副用 3*ル/ ーテイル 4副用
5351	インド 25 自由作文 8	だからほかの先生たちは私にたいへんいやです。	1発音 2格 *ニ /ーガ 3*ル /ータ
5352	インド 27 自由作文 15	なみだにぬれた目がだんだん重くなっていくので、ねるほうがいいと思っています。	1*ル /ータ 2*テイル /ール
5353	インド 28 自由作文 7	みんなこの無義意な戦争はいやだ。	1NA 2*ル /ータ 発音
5354	インド 28 自由作文 8	故郷の人は思い出して、みんなかえりたい。	1取立 ハ /ーヲ 2ル / ータ
5355	インド 28 自由作文 9	この気分は日本人ではなくて、世界の人も戦争をやめたい。	1N 2取立 *0 /ーダ ケ 3格 *0 /ーヲ 4ル /ータ
5356	インド 28 自由作文 11	私はこの映画見るあとで、自分の感覚はもし世界の中で戦争はない、いいわねと思いました。	1ル /ータ 2N 3格 デ /ーニ 4取立 ハ /ー ガ 5接条件 *0 /ー トラ 6ムード
5357	インド 29 自由作文 2	私の心に残る映画は「わたしのおじいさん」という映画でした。	*ル /ーテイル ータ
5358	インド 30 自由作文 13	ある日、私は、おじの車に乗って、おじと一緒に都心へ行った途中、交通事故が occurred。	1取立 *ハ /ーガ 2*タ /ール 発音
5359	インド 30 自由作文 15	この事、私に一番悲しかったのことでした。	1取立 *0 /ーハ 2格 *に 0 /ーに トッチ 3*タ /ール 4体修
5360	インド 31 自由作文 10	なぜかという、いま工業社会と呼ばれているの生活に、みんなほとんど毎日緊張な気がなっている、毎日見たのは冷たいの建物、と無表情の顔。	1,6,7*ノ連 体修 2格 ニ /ーデ 3発音 4VP 5*タ /ール
5361	インド 33 自由作文 4	「私はくつががないのたためによくきました、ずうとあしがない人をみた日まで。」	1*ノ連 /ー 0 2発音 表記 品詞 語順 3*タ /ール
5362	インド 34 自由作文 3	気温が暑いのでみんなねむかったんです。	*ル /ータ
5363	インド 34 自由作文 4	その時ににつまらない授教をきいたのは無理でした。	1コソア 副用 2格 * ニ /ー 0 3表記 4*タ / ール
5364	インド 36 自由作文 2	ひとりで日本に留学している別科生だちはみなはじめて、家族とはなれると思います。	1発音 2*ル /ータ
5365	インド 36 自由作文 9	日本語を習うはじめに必死に勉強する態度はだんだんへっていたとはっきり感じています。	1VP 接 2*ル /ータ 3 複 V 発音 表記
5366	インド 38 自由作文 4	私のこどものころ、サッカーが好きでしたから、毎日、運動場に通ってきたが、私の体が、ちいさくて、よわそうですから、他の人が、サッカーをした時、私が、運動場の外で、みるだけ。	1取立 *ノ /ーハ 2複 V 3*ル /ータ 4*タ / ーテイル 5取立 *ガ / ーハ 6ダ

5367	インド 39 自由作文 2	私は <u>こどものころ一番なつかしい思い出</u> <u>こと</u> は山 <u>が</u> <u>登る</u> <u>こと</u> <u>で</u> <u>した</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーガ 2名 詞節 3格 *ガ/ーニ 4*ル/ータ 5*タ/ー ル
5368	インド 39 自由作文 3	私の <u>生まれる町</u> は、山々がたくさんあります。	*ル/ータ
5369	インド 39 自由作文 10	この山の紅土は <u>屋</u> を <u>建て</u> <u>大切</u> 原料です。 (1) (2) (3)	1N 2*テ形/ール 3品 詞(*N/ーNA)
5370	インド 39 自由作文 21	とても楽しかった <u>でした</u> 。	*タ/ール
5371	インド 39 自由作文 22	これは、私のこども <u>時</u> 、 <u>なつかしい思い出</u> 、 <u>楽し</u> <u>いこと</u> <u>でした</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1ーノ連 2ーノ連 3接 *0/ーデ 4*タ/ー ル
5372	インド 41 自由作文 15	残念ながら、中学校から、ちちの仕事のために、引越し した、友達と分れることが <u>悲しい</u> 。	*ル/ータ
5373	インド 45 自由作文 2	私は、高校の時から化学の勉強に <u>濃い</u> <u>興味</u> を <u>持つ</u> <u>始め</u> <u>ます</u> 。 (1) (2) (3)	1A 2活用(V) 3*ル/ ータ
5374	インド 45 自由作文 4	できれば、いつか外国へ留学したいと思っ <u>て</u> <u>います</u> 。	*ル/ータ
5375	インド 48 自由作文 8	日本の学生は中学校から、学校で <u>それ</u> を <u>学</u> <u>ぶ</u> <u>まし</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2活用(V) 3*タ/ール
5376	インド 49 自由作文 4	ですから、そういう機械を作ろうと前 <u>から</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	*ル/ータ
5377	インド 50 自由作文 3	というのは、私の国 <u>に</u> はいろんな撮影器材はほとんど日 本から <u>輸</u> <u>入</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーデ 2複V 3*タ/ール
5378	インド 50 自由作文 9	というのは、私の父は <u>前</u> に経営管理職を <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>き</u> <u>っ</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>で</u> 、 <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、子供の時からいつも父のあと を継ごうと思っ <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2V 3C 4*ル/ータ
5379	インド 50 自由作文 11	<u>し</u> <u>か</u> <u>し</u> 、その時、父の話 <u>し</u> <u>も</u> <u>全</u> <u>然</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>大</u> <u>き</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>じ</u> <u>の</u> <u>興</u> <u>味</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1C 2取立 *0/ーハ 3*ル/ータ 4*ノ連 格 *0/ーニ 5VP
5380	インド 52 自由作文 8	私は日本で勉強した知識ややり方を <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>国</u> <u>へ</u> <u>帰</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>会</u> <u>社</u> <u>に</u> <u>入</u> <u>る</u> <u>時</u> <u>に</u> <u>少</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>会</u> <u>社</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>事</u> <u>管</u> <u>理</u> <u>と</u> <u>経</u> <u>済</u> <u>発</u> <u>展</u> <u>に</u> <u>役</u> <u>に</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1語順 複V 2*ル/ ータ 3副用
5381	フィンランド 2 自由作文 13	とても <u>おもしろ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	*タ/ール
5382	フィンランド 4 自由作文 20	部屋代は三万二千円で、高いか安いかわからず、 <u>何</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> 。 (1) (2)	1不定 2*テイル/ー ル
5383	フィンランド 5 自由作文 4	おふろと台所とお手洗いはあります <u>が</u> 。	接 *ガ/ール
5384	フィンランド 5 自由作文 22	なぜならば、そういう治療方法と前の治療方法が全然ち がっ <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	*ル/ータ ーカラ 名 詞節
5385	フィンランド 6 自由作文 6	その時、父の友だちは上海で有名なお医者さん <u>で</u> <u>す</u> 。	*ル/ータ

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5386	フィンランド 6 自由作文 12	特に、その時 ⁽¹⁾ から、エイ先生は鼻こう炎の新しい治療方法が研究 ⁽²⁾ して、毎日実験の時間が長くて、よるおそく ⁽³⁾ おわります ⁽⁴⁾ 。	1N 2格 *ガ/ーヲ 3* 0 /ーテイル 4ル/ー テイタ
------	---------------------	---	---------------------------------------

5.3.3. テイル

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5387	台湾 2 自由作文 12	残されていた古い物はよく保存してないから、 <u>こわ</u> <u>られたし</u> 、さらに <u>モーダン</u> の型を <u>付けた</u> 。	1,2 受身 3自他 活用(V)4並V 5品詞 *N/ -NA 6VP -テイル
5388	台湾 2 パターン作文 1	筑波学園都市とほかの都市の一番大きい違いは筑波学園都市が事前の計画に <u>できる</u> ことです。	1格 *ニ/-デ 2*ル/ -テイル
5389	台湾 5 自由作文 7	私は、大学時代に学問を勉強する方法がすこし <u>まちがい</u> ました。	*ル/-テイル
5390	台湾 10 自由作文 2	大学 <u>卒業</u> したから、大変長く時間を <u>たっ</u> ていました。	1*タ/-テ形 2格 *ヲ /-ガ 3*テイル /- ル
5391	台湾 14 自由作文 8	その時、中国人が日本語を <u>習</u> っている時、初級程度を越えた後、日本語の文と文、文章と文章の間に、 <u>接続</u> 表現がかなり困難だと <u>考えられた</u> ことを発見しました。	1*テイル/-ール 2格 * 0 /-ニ 3格 *ニ/- ノ連 4V
5392	台湾 14 自由作文 11	だから、やはり日本語は日本で学んだ方がいいという <u>気</u> <u>持ち</u> で日本に留学し、中国人に適切な教材を研究しようと、 <u>がんばります</u> 。	1N 2*ル/-テイル ムード
5393	台湾 22 自由作文 20	これは、私が生まれたからこんな <u>広さ</u> <u>果樹園</u> を見たのは始めてで胸を <u>いばい</u> 果物の香りをすいながらぶどうやももを <u>取</u> っていてとても楽しかった。	1接 2活用 3格 *ヲ/ -ニ 4発音 5*テ イル/ル
5394	台湾 23 自由作文 5	仕事は簡単でしたが、一日中に <u>いつ</u> も <u>立</u> って足が非常に疲れました。	1副用 格 *ニ/-0 2 副用 Ad 3-テイル
5395	台湾 25 自由作文 6	それに子供の学資を <u>送</u> ったために毎日一生懸命に仕事を <u>や</u> って <u>い</u> って夜遅くまで <u>続</u> いていました。	1*タ/-ール 2*テイル 3自他
5396	中国 2 絵を見ての作文 7	おばさん <u>さ</u> しているかさ <u>が</u> <u>落</u> としています。	2格 *ガ/-ヲ 3*テ イル 1*0 /-ハ
5397	中国 4 パターン作文 7	その <u>ち</u> かいはまず日本料理の方が野菜はあまりないし、野菜の <u>つ</u> くり方も少ないと <u>思</u> っています。	1発音 2*テイル/- ル
5398	中国 11 自由作文 11	<u>かれ</u> は一人 <u>し</u> か <u>し</u> 仕事を <u>す</u> るから、毎日の残業する <u>の</u> が <u>ほ</u> しいです。	1C 2取立 *ハ/-ガ 3*シカ 4*ル/-テ イル 否定 5V 6接 -カ ラ
5399	中国 12 自由作文 10	<u>途</u> 方に <u>く</u> れないところ、警察官を思いました。	熟語 *ル/-テイル
5400	中国 15 自由作文 4	日本へ来る前に、「東京の人口は約一千二百万ぐらい、 <u>世界</u> 中に <u>一</u> の大都市で、 <u>中</u> には、 <u>新</u> 宿が <u>挙</u> げられて <u>い</u> る。」と私は <u>そ</u> う <u>い</u> う <u>噂</u> が <u>聞</u> いて東京に来たのだ。	1複N 2,3副用 4*テ イル/-ール 5コソア 6*トイウ 7格 *ガ/- ヲ
5401	中国 16 自由作文 11	例えば、こちらの若者は <u>着</u> た洋服とか <u>ヘ</u> アのタイプとか自由な生活などを <u>び</u> っくりしました。	1取立 *ハ/-ノ連 2* タ/-テイル 3格 * ヲ/-ニ

第5章 シンタクス・意味論 3. テンス・アスペクト

5402	中国 18 自由作文 3	来る前 ⁽¹⁾ に日本のいろいろなものが必ず ⁽²⁾ 優れる ⁽³⁾ と思っ ていましたが。来て ⁽⁴⁾ から ⁽⁵⁾ 自分の思っ ⁽⁶⁾ た ⁽⁷⁾ とうり ⁽⁸⁾ と違っ ⁽⁹⁾ て ⁽¹⁰⁾ います。	1 取立 *ニ/ーハ 2 Ad 3 *ル/ーテイル 4 複V ーテイル 5 条 件 6 N 7 *ル/ータ
5403	中国 18 自由作文 7	それ ⁽¹⁾ を比べたら日本の消防隊員の動作 ⁽²⁾ が本当に遅いと 思っ ⁽³⁾ ています。	1コソア 2取立 *ガ/ ーハ 3*テイル/ータ
5404	中国 18 自由作文 8	何でもできる ⁽¹⁾ 優れた ⁽²⁾ 国 ⁽³⁾ として ⁽⁴⁾ 消防隊員の動作がそん なに遅いのは本当にふしぎです。	1 *タ/ーテイル 2 格 *ト/ーニ 3 取立 *O /ーハ
5405	中国 18 自由作文 19	わたしは日本へ来て勉強 ⁽¹⁾ する ⁽²⁾ だけでなく、自分の視線 ⁽³⁾ が広まりました。	1*ル/ーテイル 2N
5406	中国 19 自由作文 8	ある浮浪者が英語の新聞を見ながらトップソングを ⁽¹⁾ 聞い ていて、そばにいる犬にハンバーグをやっています ⁽²⁾ 。	1*テイル/ール *テ形/ ー連用形 2ーノダ
5407	中国 21 自由作文 5	わたしはまいにちにほんじんとはなし ⁽¹⁾ ます。	*ル/ーテイル
5408	中国 21 自由作文 6	はじめて ⁽¹⁾ にほんじんのはなしはぜんぜんわからなかった まいにち ⁽²⁾ ねんしゅう ⁽³⁾ する ⁽⁴⁾ から、だんだんすこし ⁽⁵⁾ わか り ⁽⁶⁾ なります。	1Ad 副用 2接 *O / ーガ 3発音 表記 4*ル/ ーテイル 5VP *ル/ ータ
5409	中国 23 自由作文 2	わたしはいま国際学友会日本語学校で日本語の勉強を ⁽¹⁾ し ます。	*ル/ーテイル
5410	中国 23 自由作文 6	わたしはいま毎晩五時からじゅうじまでごじかん日本語 の勉強を ⁽¹⁾ します。	*ル/ーテイル
5411	中国 24 自由作文 10	そして、上手に日本語を ⁽¹⁾ 話せれば、また ⁽²⁾ 時間がたくさ んかかると思っ ⁽³⁾ ています。	1複V 接 ー条件 2Ad 副用 3*テイル/ ール
5412	中国 25 自由作文 4	いまわたしはにほんのがっこうでにほんごを ⁽¹⁾ ならいます。	ーテイル
5413	中国 27 自由作文 10	高円寺えきででんしゃに ⁽¹⁾ のっています。	*テイル
5414	中国 30 自由作文 8	そしてわたしはいまちちとはなし ⁽¹⁾ している ⁽²⁾ とき ⁽³⁾ とんなこ たえ ⁽⁴⁾ とわかりますね。	1*テイル 2V 3N
5415	中国 31 自由作文 15	だいたいさんじっぶんぐらい、もう ⁽¹⁾ べんきょうを ⁽²⁾ つづ いて ⁽³⁾ います。	1Ad *モウ 2*テイル 3自他
5416	中国 35 自由作文 3	日本の大学にはいたいですからいま日本語を一生けん めいに勉強 ⁽¹⁾ します。	ーテイル
5417	中国 39 自由作文 5	ともだちはいつもいっしょけんめいにべんきょう ⁽¹⁾ しまし た。	*タ/ーテイル
5418	中国 42 自由作文 11	時々、友達が先生に ⁽¹⁾ きいている ⁽²⁾ 質問 ⁽³⁾ は難しいから、 私達はその質問から ⁽⁴⁾ いろいろな日本語を ⁽⁵⁾ 習う ⁽⁶⁾ ことができ ます。	1Ad 2V *テイル 3 取立 *ハ/ーガ 4接 *カラ/ーノデ
5419	中国 44 自由作文 5	いま、わたしはにほんごがっこう ⁽¹⁾ ににほんごのべんきょ うを ⁽²⁾ します。	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ ーテイル

5420	中国 45 自由作文 2	わたしはごかげつ ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ まえに ⁽³⁾ しぶやの ⁽⁴⁾ にほんごがっこう で ⁽⁵⁾ にほんごを ⁽⁶⁾ べんきょう ⁽⁷⁾ しました。	1*ノ連/ー0 2格 *ニ /ーカラ 3*タ/ーテ イル
5421	中国 46 自由作文 4	いまとうきょうとしんじゅくく ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ こくさいがくゆうかい に ⁽³⁾ ほんごがっこうで ⁽⁴⁾ にほんご ⁽⁵⁾ べんきょうを ⁽⁶⁾ します。	1格 *ニ/ーノ連 2格 *0/ーヲ 3*ル /ー テイル
5422	中国 46 自由作文 7	すぐ歯を ⁽¹⁾ 磨て ⁽²⁾ 顔を ⁽³⁾ 洗っています。	1表記 2活用(V) 3* テイル/ーール
5423	中国 47 自由作文 3	はじめてにほんごのべんきょうを ⁽¹⁾ します。	*ル/ーテイル
5424	中国 47 自由作文 12	みち ⁽¹⁾ である ⁽²⁾ いて ⁽³⁾ 、その ⁽⁴⁾ ひとは ⁽⁵⁾ むじかしかった ⁽⁶⁾ こと が ⁽⁷⁾ たすけて ⁽⁸⁾ あげ ⁽⁹⁾ ます ⁽¹⁰⁾ た ⁽¹¹⁾ きは、 ⁽¹²⁾ にほんご ⁽¹³⁾ では ⁽¹⁴⁾ なして ⁽¹⁵⁾ つ かう ⁽¹⁶⁾ ます。	1,10格 *デ/ーヲ 2* 0/ーテイル 3*コソ ア/ー0 4取立 *ハ/ ーガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト/ーノ 7格 *ガ/ーヲ 8スタイ ル 11VP 発音
5425	中国 49 自由作文 4	わたしは ⁽¹⁾ はじめて ⁽²⁾ にほんごのべんきょうを ⁽³⁾ します。	1発音 表記 2*ル/ー テイル
5426	中国 51 自由作文 11	わたしはこのことばを聞いたとき、心の中 ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ うれしい が、 ⁽³⁾ もっとも ⁽⁴⁾ 一生懸命 ⁽⁵⁾ 日本語を勉強 ⁽⁶⁾ する ⁽⁷⁾ と思 ⁽⁸⁾ って ⁽⁹⁾ いま す。	1格 *ニ/ーデ 2 *ル/ ータ 3 副用 Ad 4 ム ード 5 *テイル/ータ
5427	中国 52 自由作文 12	そうですね、今は ⁽¹⁾ 始め ⁽²⁾ に ⁽³⁾ 習 ⁽⁴⁾ って ⁽⁵⁾ 、後 ⁽⁶⁾ でも ⁽⁷⁾ もっと ⁽⁸⁾ むずか しい ⁽⁹⁾ 問題 ⁽¹⁰⁾ が ⁽¹¹⁾ 待 ⁽¹²⁾ って ⁽¹³⁾ いま ⁽¹⁴⁾ す。	1N 2格 *ニ/ーヲ 3* 0/ーテイル &スタ イル
5428	中国 54 自由作文 6	わたしは ⁽¹⁾ ども ⁽²⁾ だち ⁽³⁾ といっしょ ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ べんきょう ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ します。	1発音 表記 2*ル/ー テイル
5429	韓国 6 パターン作文 10	そして、日本人の中に ⁽¹⁾ 、 ⁽²⁾ 虫歯 ⁽³⁾ がある ⁽⁴⁾ 人や、 ⁽⁵⁾ 入歯 ⁽⁶⁾ が ⁽⁷⁾ あ る ⁽⁸⁾ 人 ⁽⁹⁾ が多い ⁽¹⁰⁾ です。	3V ーテイル 2に*0 /にーハ 1C 4の ⁽¹⁾ だ
5430	韓国 7 聴解要約 8	おふろに ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ いる ⁽³⁾ あいだ ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ 外 ⁽⁶⁾ から ⁽⁷⁾ うた ⁽⁸⁾ を ⁽⁹⁾ 聞 ⁽¹⁰⁾ く ⁽¹¹⁾ こと ⁽¹²⁾ が ⁽¹³⁾ でき た。	1ーテイル 2接 *アイ ダに/ートキに
5431	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが ⁽¹⁾ 机 ⁽²⁾ の ⁽³⁾ う ⁽⁴⁾ え ⁽⁵⁾ に ⁽⁶⁾ カ セ ⁽⁷⁾ ット ⁽⁸⁾ で ⁽⁹⁾ 音 ⁽¹⁰⁾ 楽 ⁽¹¹⁾ を ⁽¹²⁾ 聞 ⁽¹³⁾ ます ⁽¹⁴⁾ 時 ⁽¹⁵⁾ に ⁽¹⁶⁾ ヤ ⁽¹⁷⁾ ン ⁽¹⁸⁾ さん ⁽¹⁹⁾ は ⁽²⁰⁾ お ⁽²¹⁾ 風 ⁽²²⁾ 呂 ⁽²³⁾ ⁽²⁴⁾ か ⁽²⁵⁾ ら ⁽²⁶⁾ 音 ⁽²⁷⁾ 楽 を ⁽²⁸⁾ 聞 ⁽²⁹⁾ いて ⁽³⁰⁾ 歌 ⁽³¹⁾ を ⁽³²⁾ 呼 ⁽³³⁾ び ⁽³⁴⁾ ま ⁽³⁵⁾ した。	1格 *ニ/ーノ連 2 表 記 活用 体修 ーテ イル スタイル 3格 * カラ/ーデ 4V
5432	韓国 9 聴解要約 7	そして、みんなが ⁽¹⁾ ステレオ ⁽²⁾ のお ⁽³⁾ ん ⁽⁴⁾ が ⁽⁵⁾ く ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ 聞 ⁽⁸⁾ た ⁽⁹⁾ とき、 ⁽¹⁰⁾ ヤ ⁽¹¹⁾ ン さん ⁽¹²⁾ は ⁽¹³⁾ お ⁽¹⁴⁾ ふ ⁽¹⁵⁾ ろ ⁽¹⁶⁾ ば ⁽¹⁷⁾ に ⁽¹⁸⁾ は ⁽¹⁹⁾ う ⁽²⁰⁾ た ⁽²¹⁾ を ⁽²²⁾ う ⁽²³⁾ た ⁽²⁴⁾ って ⁽²⁵⁾ いた。	2格 *ニ/ーデ 3 取立 に*ハ/にー0 1 表 記 発音 ーテイル
5433	韓国 12 パターン作文 1	学園都市 ⁽¹⁾ と ⁽²⁾ 他の ⁽³⁾ 都市 ⁽⁴⁾ が ⁽⁵⁾ 一 ⁽⁶⁾ 番 ⁽⁷⁾ 違 ⁽⁸⁾ いは、 ⁽⁹⁾ 学園 ⁽¹⁰⁾ 都市 ⁽¹¹⁾ は ⁽¹²⁾ 前 ⁽¹³⁾ も ⁽¹⁴⁾ っ て ⁽¹⁵⁾ 都市 ⁽¹⁶⁾ 計 ⁽¹⁷⁾ 画 ⁽¹⁸⁾ が ⁽¹⁹⁾ て ⁽²⁰⁾ きる ⁽²¹⁾ 、 ⁽²²⁾ 他の ⁽²³⁾ 都市 ⁽²⁴⁾ は ⁽²⁵⁾ 自然 ⁽²⁶⁾ 発 ⁽²⁷⁾ 生 ⁽²⁸⁾ に ⁽²⁹⁾ な ⁽³⁰⁾ る ⁽³¹⁾ こ と ⁽³²⁾ です。	1ノ連 2品詞 3発音 ー受身 4接 ーにタイ シテ/ーガ/ー連用形 5V *ル/ーテイル
5434	韓国 26 自由作文 19	下の ⁽¹⁾ 本 ⁽²⁾ 相 ⁽³⁾ は、 ⁽⁴⁾ 日本 ⁽⁵⁾ の ⁽⁶⁾ 漫 ⁽⁷⁾ 画 ⁽⁸⁾ が ⁽⁹⁾ 並 ⁽¹⁰⁾ べ ⁽¹¹⁾ て ⁽¹²⁾ いま ⁽¹³⁾ す。	1表記 2*テイル/ー テアル
5435	韓国 28 自由作文 14	ある日、家 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 火 ⁽³⁾ 事 ⁽⁴⁾ があ ⁽⁵⁾ って、 ⁽⁶⁾ 火 ⁽⁷⁾ 事 ⁽⁸⁾ 現 ⁽⁹⁾ 場 ⁽¹⁰⁾ か ⁽¹¹⁾ ら ⁽¹²⁾ も ⁽¹³⁾ っ ⁽¹⁴⁾ と ⁽¹⁵⁾ も ⁽¹⁶⁾ 幼 い ⁽¹⁷⁾ こ ⁽¹⁸⁾ ども ⁽¹⁹⁾ を ⁽²⁰⁾ 救 ⁽²¹⁾ っ ⁽²²⁾ て ⁽²³⁾ 来 ⁽²⁴⁾ た ⁽²⁵⁾ の ⁽²⁶⁾ に ⁽²⁷⁾ 自 ⁽²⁸⁾ 分 ⁽²⁹⁾ 自 ⁽³⁰⁾ 身 ⁽³¹⁾ は ⁽³²⁾ 不 ⁽³³⁾ 幸 ⁽³⁴⁾ に ⁽³⁵⁾ 焼 ⁽³⁶⁾ か ⁽³⁷⁾ れ ⁽³⁸⁾ て いた。	1取立 ハ/ーニ 2Ad 3 複 V 4副用 5*テイル
5436	韓国 28 自由作文 16	彼女の ⁽¹⁾ 善 ⁽²⁾ 良 ⁽³⁾ の ⁽⁴⁾ 心 ⁽⁵⁾ を ⁽⁶⁾ 人 ⁽⁷⁾ 々 ⁽⁸⁾ に ⁽⁹⁾ 知 ⁽¹⁰⁾ ら ⁽¹¹⁾ せ ⁽¹²⁾ て ⁽¹³⁾ い ⁽¹⁴⁾ た。	1品詞 *N /ーNA * ノ連 体修 2*テイル /ータ

5437	韓国 28 自由作文 18	その教訓的な映画は「 <u>醜しい顔をして</u> も、人間の心の <u>あり方は一番大切だ</u> 」と描きました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1A 2-テイル 3取立 *ノ連/-ハ 4 V 5* ハ/-ガ 6-トイウ 7 名詞節
5438	韓国 31 自由作文 6	世界各地で会社の支店を <u>つくられて</u> 商業も <u>盛ん</u> ていま <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/-ガ 2品詞 *V/-NA 3発音表 記 *テイル/-ルタ
5439	アメリカ 1 自由作文 16	日本では大都市の周辺部 <u>人口増加のスピードがゆるく</u> な <u>って</u> 、その周辺部で人口が <u>だんだん増加</u> している。 (1) (2) (3)	1-ノ連 2-テイル 接 *テ形 3名詞節 格 -にタイシテ
5440	アメリカ 1 自由作文 17	南米ではこのドーナツ現象が <u>起こって</u> きません。 (1) (2)	2VP -テイル 1取立 *ガ/-ハ
5441	タイ 3 絵を見ての作文 3	そのとき、スポーツカーを運転している人 <u>を</u> 通 <u>って</u> い ました。 (1) (2)	1格 *ヲ/-ガ 2*テ イル/-テイク
5442	タイ 5 パターン作文 7	加藤さんと家族は <u>運ぶのを</u> て <u>つ</u> だ <u>って</u> いました。 (1) (2)	テイル
5443	香港 2 自由作文 5	君は理科研究生 <u>として</u> 、ほかの学問 <u>も</u> 興味を <u>持</u> て、 素敵だね。 (1) (2) (3)	1格 *とシテ接 -ノ ニ 2格 *0 /-ニ 3- テイル
5444	香港 7 自由作文 7	最近百年間は、いつも新しい文学でなければだめだとい うおたけびが身に <u>つ</u> く。 (1) (2)	-テイル
5445	香港 15 短文作文 16	この講義には彼はわかったようなわからぬような顔を <u>す</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	*ル/-テイル
5446	香港 19 自由作文 1	漢字の訓読みをやめると <u>す</u> れば、おくりがなの不統一も なにも全部なくなると <u>い</u> った。 (1) (2)	1接 条件 と *スレバ/ と-O 2受身 *タ/- テイル
5447	香港 19 自由作文 20	國語と呼ぶ時、みんなは自分 <u>は</u> 同一集団に属する気が する。 (1) (2)	1取立 *ハ/-ガ 2*ル /-テイル
5448	香港 22 短文作文 19	この表を <u>見</u> れば、日本人の平均の生活水準が年年 <u>さ</u> <u>が</u> す <u>こ</u> とを <u>表</u> われる。 (1) (2) (3) (4)	1条件 2V 3格 *ヲ/ -ガ 4-テイル
5449	香港 23 自由作文 26	文化的条件について見ると、日本人は明治以降、外国文 化を <u>接</u> 触する <u>もの</u> 、一方交通の文化だけである。 (1) (2)	1格 *ヲ/-ト 2*ル/ -テイル
5450	香港 23 自由作文 27	外国から文化を <u>輸</u> 入され <u>続</u> ける。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/-ガ 2受身 3*ル/-テイル
5451	香港 24 自由作文 7	「米国」は「亜米利加」に <u>由</u> 来してくる。 (1) (2)	VP -テイル
5452	香港 24 短文作文 4	彼の名は国内で知って <u>い</u> られる <u>だけ</u> でなく、海外にもひ ろく <u>知</u> ってられる。 (1) (2)	語順 テイル 受身
5453	香港 26 自由作文 12	太平洋中、日本列島 <u>上</u> に日本人 <u>が</u> <u>生</u> 活する。 (1) (2) (3) (4)	1複 N 2-ノ連 3格 取立 *ガ/-ハ 4*ル/ -テイル
5454	香港 26 短文作文 5	部分の <u>学</u> 校は <u>男</u> 性学生 <u>に</u> <u>長</u> く <u>髪</u> の毛を <u>禁</u> 止する。 (1) (2) (3) (4)	2N 3A 1AN 4-テ イル
5455	香港 26 短文作文 9	そうかもしれません。だが、そのことの価値は <u>変</u> った <u>ま</u> <u>せ</u> んか。 (1) (2)	テイル

5456	フランス 1 自由作文 4	ところが <u>シンタクスの意味的な</u> <u>ちゃんとした基準</u> を見つけるには <u>よく</u> <u>日本語の構造</u> などやはり <u>言語学が</u> <u>わかる</u> 必要があるでしょう。	1NA 2語順 3*ル/ーテイル
5457	フランス 2 自由作文 2	にほんごの <u>べんきょう</u> をはじめたときは、にほんご <u>が</u> <u>そんな</u> に <u>むずかしく</u> ないだろうと <u>おもって</u> <u>しまった</u> 。	1取立 *ガ/ーハ 2複 V *テシマウ/ーテイル
5458	イラン 1 パターン作文 4	イラン <u>入</u> もよく <u>ごはん</u> を <u>たべて</u> <u>います</u> が、イランの <u>米</u> と日本の米の違いは <u>つくりかた</u> です。	1表記 2発音 3*テイル/ール 4N
5459	マレーシア 2 自由作文 7	うちから <u>学こう</u> まで一時 <u>かんぐらい</u> 電車に <u>のって</u> <u>います</u> 。	1表記 2複 V *テイル/ーテイク
5460	マレーシア 3 自由作文 1	国 <u>で</u> <u>おに</u> の話が <u>いっぱい</u> あるけど、私はあまり <u>おぼえ</u> <u>ない</u> <u>んだ</u> 。	1取立 *デ/ーニハ 2ーテイル 3スタイル
5461	マレーシア 3 自由作文 8	サン・チルーは <u>ぜんぜん</u> <u>暴力</u> を <u>しない</u> 、 <u>頭</u> だけ使う、そして、いつも <u>勝</u> <u>っている</u> 。	1VP 2*テイル/ール
5462	マレーシア 4 自由作文 12	かれは、海水で <u>塩味</u> をつけて食べる <u>ほろ</u> <u>おいしい</u> ことに <u>気が</u> <u>つく</u> そうです。	1発音 2*ル/ーテイル、ーテイク
5463	マレーシア 5 自由作文 14	それから、夜は <u>みんな</u> <u>集</u> <u>って</u> <u>いて</u> 、 <u>食</u> <u>べ</u> <u>たり</u> 、 <u>飲</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>り</u> 、 <u>し</u> <u>か</u> <u>も</u> 、 <u>歌</u> を <u>歌</u> <u>っ</u> <u>たり</u> 、 <u>躍</u> <u>っ</u> <u>たり</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1*テイル 2Ad
5464	マレーシア 9 自由作文 3	この <u>問題</u> <u>が</u> <u>いろいろ</u> <u>関係</u> <u>がある</u> 、例えば、人々の <u>自</u> <u>私</u> の心、 <u>国</u> と <u>国</u> の <u>貿易</u> <u>戦争</u> など、 <u>これ</u> <u>ら</u> の <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> 、 <u>世</u> <u>界</u> の <u>経</u> <u>済</u> <u>が</u> <u>む</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>わ</u> <u>る</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1取立 *ガ/ーハ 2品詞 *Ad/ーNA3,4N 5接 *0/ーデ 6*0/ーテイル
5465	マレーシア 10 自由作文 2	日本の <u>いろいろ</u> な <u>こと</u> を <u>紹</u> <u>介</u> <u>さ</u> <u>れ</u> <u>た</u> 。	1格 *ヲ/ーガ 2ーテイル
5466	マレーシア 10 自由作文 12	あの <u>日</u> から、日本で <u>一生</u> <u>懸命</u> <u>勉強</u> <u>した</u> と <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>だ</u> 。	1*タ/ーテイル 2*ノダ
5467	マレーシア 15 自由作文 4	「 <u>盆踊り</u> 」は <u>夏</u> になると、日本人は <u>寄</u> <u>り</u> <u>集</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>て</u> 、 <u>踊</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。」と書かれています。	1表記 2*テイル
5468	マレーシア 15 自由作文 6	でも、私は、 <u>その</u> <u>こと</u> を <u>まだ</u> <u>よく</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1取立 *ヲ/ーハ 2ーテイル
5469	マレーシア 15 自由作文 7	<u>その</u> <u>こと</u> について、 <u>一緒</u> に <u>アル</u> <u>バ</u> <u>イ</u> <u>ト</u> を <u>す</u> <u>る</u> 、 <u>もう</u> <u>五十</u> <u>才</u> になる <u>日本</u> 人の <u>お</u> <u>ば</u> <u>さん</u> に <u>き</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>み</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1ーテイル 2ータ
5470	マレーシア 18 自由作文 4	日本のと <u>違</u> <u>う</u> 、日本では、 <u>国民</u> <u>保険</u> <u>が</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 、 <u>約</u> <u>八十</u> <u>パー</u> <u>セント</u> の <u>治</u> <u>療</u> <u>代</u> を <u>返</u> <u>す</u> 、つまり、 <u>安</u> <u>い</u> <u>だ</u> 。	1取立 *0/ーハ 2ーテイル 3接 *0/ーシ 4複 V 5*ダ
5471	マレーシア 23 自由作文 27	連休期間のある日、 <u>みんな</u> <u>そ</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>で</u> <u>坂</u> <u>戸</u> に <u>あ</u> <u>る</u> <u>河</u> <u>川</u> で <u>焼</u> <u>き</u> <u>会</u> <u>合</u> を <u>行</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1複 N 2*テイル/ータ
5472	マレーシア 24 自由作文 11	でも、 <u>図書館</u> で、 <u>大部分</u> の <u>時間</u> は、 <u>友達</u> と <u>い</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>こと</u> を、 <u>話</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>で</u> 、 <u>晩</u> <u>強</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1取立 *0/ーハ 2*タ/ーテイル 3ノデ 4表記
5473	マレーシア 28 自由作文 30	今、 <u>アル</u> <u>バ</u> <u>イ</u> <u>ト</u> を <u>一生</u> <u>懸命</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> と、 <u>お</u> <u>金</u> を <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>使</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>ぜひ</u> <u>来</u> <u>年</u> の <u>夏</u> <u>休</u> <u>み</u> に <u>国</u> へ <u>帰</u> <u>ろ</u> <u>う</u> と <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1*テイル/ール 接条件 *ト/ーテ形 2V

5474	イラク 1 自由作文 2	官僚主義は長い年月 <u>以来</u> 、中国を <u>統治する</u> 。 (1) (2)	1Ad 2-テイル
5475	イラク 1 自由作文 6	経済改革の一方 <u>、</u> 人材の欠乏は深刻な問題に <u>なる</u> 。 (1) (2)	1格 *0 /-デ 2-テイル
5476	インド 9 自由作文 8	でも、 <u>つかれる</u> <u>時</u> <u>、</u> いくらかゆくてもねられます。 (1) (2)	1-テイル 2取立 *0 /-ハ
5477	インド 15 自由作文 12	私は音楽をきくことが大好きですからいつも <u>つか</u> います。 (1) (2)	*ル /-テイル
5478	インド 18 自由作文 6	コーポに <u>言</u> われます。 (1) (2)	1格 *ニ /-ト 2*ル /-テイル
5479	インド 18 自由作文 21	ベランダにせんたくき <u>に</u> <u>お</u> かれました。 (1) (2)	1格 *ニ /-ガ 2ル /-テイル
5480	インド 21 自由作文 18	日本 <u>には</u> <u>また</u> <u>遠い</u> <u>地方へ</u> <u>行</u> きません <u>が</u> 夏休み <u>の</u> <u>時</u> <u>山</u> と海へ行きたいです。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニは /-デは 2 発音 Ad 副用 3*ル /-テイル 4副用
5481	インド 24 自由作文 27	私もこたつ <u>が</u> <u>持</u> って <u>あ</u> ります。 (1) (2)	1格 *ガ /-ヲ 2*テアル /-テイル
5482	インド 25 自由作文 4	ゴ先生はめがねを <u>か</u> けます。 (1) (2)	-テイル
5483	インド 27 自由作文 2	外 <u>には</u> 雨が <u>降</u> る ようです。 (1) (2)	1*ニ /-O 2-テイル
5484	インド 27 自由作文 15	なみだにぬれた目がだんだん重くなっていくので、 <u>ね</u> る ほうがいと <u>思</u> っています。 (1) (2)	1*ル /-タ 2*テイル /-ル
5485	インド 29 自由作文 2	私の心に <u>残</u> る 映画は「わたしのおじいさん」という映画 でした。 (1) (2)	*ル /-テイル -タ
5486	インド 29 自由作文 3	この映画は4年前に私の国で <u>映</u> って <u>し</u> ました。 (1) (2)	1V 2複 V *テシマウ /-テイル
5487	インド 30 自由作文 11	けれども、子供が一人もいないで、 <u>さ</u> びしがった <u>で</u> す。 (1) (2) (3)	1接 *テ形 /-ノデ 2 タ /-テイル 3*ダ スタイル
5488	インド 30 自由作文 16	いまでも、おじが <u>やさ</u> しいで <u>、</u> <u>く</u> れたことを、いつも <u>思</u> い出す <u>も</u> の <u>で</u> す。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2V 3-テイル 4ムード
5489	インド 31 自由作文 5	私たちが毎日 <u>見</u> た <u>の</u> テレビ、新聞、雑誌 <u>と</u> 毎日 <u>通</u> っ た <u>商</u> 店街、 <u>駅</u> 、 <u>デ</u> パートなどに <u>確</u> か <u>広</u> 告というものが 入り込んでいる。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,4*タ /-テイル 2* ノ連 3並 N *ト /-ソ シテ 5Ad 副用
5490	インド 34 自由作文 2	狭い教室で、五十さいぐらいの <u>年</u> より <u>の</u> <u>め</u> かね <u>を</u> <u>か</u> け ている <u>先</u> 生は <u>歴</u> 史 <u>授</u> 教 <u>を</u> <u>教</u> えているところでした。 (1) (2) (3) (4) (5)	1N 2発音 3*テイル / -タ 4取立 *ハ /- ガ 5N
5491	インド 35 自由作文 11	太陽が西に <u>沈</u> 下 <u>の</u> <u>時</u> 、母は私に「家へ帰ってご飯をたべ てますよう」とおおきい <u>ご</u> え <u>を</u> <u>か</u> けて <u>し</u> ました。 (1) (2) (3)	1N 2発音 3複 V - テイル
5492	インド 38 自由作文 4	私 <u>の</u> <u>こ</u> どものころ、サッカーが好きでしたから、毎日、 <u>運</u> 動場に <u>通</u> ってきた <u>が</u> 、私の体が、ちいさくて、よわそ う <u>で</u> す <u>か</u> ら、他の人が、サッカーを <u>し</u> た <u>時</u> 、私 <u>が</u> 、 運動場の外で、みるだけ <u>、</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ノ /-ハ 2複 V 3*ル /-タ 4*タ / -テイル 5取立 *ガ / -ハ 6ダ

5493	インド 40 自由作文 6	なぜなら <u>そのままに</u> <u>きて</u> 、 <u>かぜ</u> <u>が</u> <u>かかりやすい</u> からです。 (1) (2) (3)	1副用 2-テイル 接 条件 *テ形/-ト 3格 *ガ/-ニ
5494	インド 41 自由作文 6	小さい町で <u>住んでいる</u> から、 <u>休暇</u> だったら、友達と一緒に林へ行く。 (1) (2)	1*テイル/-テイタ 2N
5495	インド 42 自由作文 9	彼女 <u>が</u> 、その悪い事件を聞いて <u>いて</u> 、びっくりしました。 (1) (2)	1取立 *ガ/-ハ 2*テ イル
5496	インド 44 自由作文 6	「神*侠侶」が今、ずっと心に <u>残ります</u> 。	-テイル
5497	インド 44 自由作文 18	そのために、このふたり <u>山に</u> <u>住んでいます</u> 。	1取立 *0/-ハ 2- テイル
5498	インド 44 自由作文 23	私は <u>書く</u> 一段の故事がずっと心に <u>残ります</u> 。	1体修 2-テイル
5499	フィンランド 4 自由作文 20	部屋代は三万二千元で、高いか安いかわ、 <u>何と</u> <u>思っていますか</u> 。 (1) (2)	1不定 2*テイル/- ル
5500	フィンランド 6 自由作文 12	特に、その <u>時</u> から、エイ先生は鼻こう炎の新しい治療方法 <u>が</u> <u>研究して</u> 、毎日実験の時間が長くて、よるおそく <u>おわります</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2格 *ガ/-ヲ 3* 0/-テイル 4ル/- テイタ

5.4. 否定

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5501	中国 11 自由作文 11	かれは一人しか仕事を <u>する</u> から、毎日の残業する <u>の</u> が <u>ほしい</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1C 2取立 *ハ/ーガ 3*シカ 4*ル/ーテイ ル 否定 5V 6接ーカ ラ
5502	韓国 1 パターン作文 3	韓国は <u>まだ</u> マイカが全体人口の30%くらい <u>待って</u> <u>あります</u> 。 (1) (2) (3) (4)	4否定 2取立(ーシカ) 3表記 1Ad マダ
5503	インドネシア 3 自由作文 5	テョプは <u>ちいさい</u> の <u>まち</u> ですから人びとが <u>こんでいる</u> <u>ない</u> です。 (1) (2) (3)	3体修 否定 活用(V) 1表記 N 2*ノ連
5504	香港 13 短文作文 1	この本には漢字がたくさんあるから、なかなか <u>読めます</u> 。	否定
5505	香港 18 短文作文 10	犯人は、一概には悪い人と言 <u>える</u> ことはない。	否定 *名詞節
5506	香港 18 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語とか、ドイツ語とか、 スペイン語なども知っている。どこへも <u>心配</u> なくて旅 行することができる。	否定
5507	香港 21 短文作文 16	彼の意見は、言われてみると、同じ感じが <u>なくともない</u> 。	否定
5508	香港 23 短文作文 8	証拠がたくさんあるから、彼女 <u>は</u> 罪人 <u>と</u> 考 <u>え</u> ないこと <u>は</u> はない。 (1) (2) (3)	3否定 1取立 *ハ/ー ガ 2N
5509	マレーシア 23 自由作文 24	同じ品物が七回ずつ操作機へ <u>通</u> ってはなりません。	否定
5510	インド 9 自由作文 4	私は掃除する事が嫌いですから、1か月に一回 <u>だけ</u> 掃除 <u>し</u> のために <u>部屋</u> があまりきれいではありません。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ダケ/ーシカ 2否定 3接 *タメニ/ ーノデ 4取立 *ガ/ー ハ
5511	インド 9 自由作文 9	部屋の中に <u>こたつ</u> だけが <u>あります</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *0/ーハ 2*ダ ケ/ーシカ 3格*ガ/ ー0 4否定
5512	インド 32 自由作文 12	考えると、それはたくさん食べても、 <u>ふとらな</u> わけ <u>ない</u> でしょう。 (1) (2) (3) (4)	1複V 2コソア 3否定 4取立 *0/ーハ
5513	インド 43 自由作文 14	かぜは普通の病気だから、もし上の予防をすれば、 <u>かか</u> <u>らない</u> 何数が少ないと思います。 (1) (2)	1否定 2N
5514	フィンランド 8 自由作文 13	<u>少し</u> ねる <u>だったら</u> 、体がよわくなります。 (1) (2)	1Ad 2接 条件 否定

5.5. 語順

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5515	台湾 2 自由作文 13	したがって、政府は全国の古い物の中から <u>十五個</u> の <u>大切</u> に保存しなければならない <u>の</u> を選んで、よく <u>維持</u> している。	1C 2数 語順 3N *ノ /ーモノ 4V
5516	台湾 3 自由作文 11	そして、 <u>うるさい</u> や古典や <u>いろいろ</u> <u>音楽</u> の <u>タイプ</u> も <u>好き</u> 。	1C 2品詞 *N /ーA 3品詞 *Ad /ー NA 4 語順 5ーダ
5517	台湾 9 自由作文 2	私は台湾の南の農村に <u>生まれた</u> 、 <u>長男</u> です。	1語順 2*ダ /ーとシテ
5518	台湾 9 自由作文 4	<u>その</u> <u>様</u> に私達 <u>子供</u> の <u>三人</u> を育てた。	1コソア 2N 3語順
5519	台湾 20 自由作文 2	<u>もと</u> 、台湾は農業国 <u>と</u> 言えます。	1Ad 語順 2ーダ
5520	中国 14 自由作文 4	世界に <u>進んでいる</u> 電子工業、 <u>ゆき届き</u> のサービス業など数多くの分野で、日本国が世界中の <u>一つ</u> <u>経済</u> 大 <u>国</u> のことがよく分かりました。	1格 *ニ /ーデ 2複 N 3数 語順 4ーダ ートイウ
5521	中国 18 自由作文 14	車 <u>が</u> 多いけれど、運転手は <u>ほとんど</u> <u>道</u> を渡る人を見ると <u>さける</u> <u>または</u> <u>止まる</u> ことが多いです。	1取立 *ガ /ーハ 2語順 3並 V ータリ 4C
5522	中国 19 自由作文 5	大手町駅から東京駅までの <u>地下</u> 行人道 <u>や</u> 新宿駅などいつも <u>大勢</u> きたないかっこうの浮浪者がいます。	1複 N 2語順
5523	中国 30 自由作文 4	<u>まなぶ</u> <u>カタカナ</u> とひらがな <u>で</u> <u>かいて</u> はじめます。	1語順 2格 *デ /ーヲ 3接 *テ形 VP
5524	中国 33 自由作文 2	にほんごの <u>べんきょう</u> はわたし <u>が</u> <u>好き</u> です。	取立 *ガ /ーハ & 語順
5525	中国 33 自由作文 5	ともだちは <u>いしょう</u> けめ <u>べんきょう</u> に <u>ほんご</u> 、 <u>たぶん</u> すこし知っています。	1表記 2語順 活用 3接
5526	中国 37 自由作文 12	<u>まなび</u> <u>もうさん</u> かげつぐらい <u>に</u> <u>ほんご</u> もたくさんおぼえましたが <u>テレビ</u> と <u>しんぶん</u> を <u>よみう</u> とき <u>まだ</u> わかりません。	1,2語順 3並 V *ト /ータリ 4発音 5 取立 *O /ーハ
5527	中国 43 自由作文 12	<u>いい</u> 日本語 <u>の</u> <u>ならう</u> ところです。	1A 2体修 格 *ノ /ーヲ & 語順
5528	中国 50 自由作文 6	読み方 <u>は</u> <u>又</u> <u>音読</u> と訓読を分けます。	1格 *O /ーデ 2語順 副用
5529	韓国 20 自由作文 6	<u>はじめ</u> に、わたしは <u>にほんご</u> がわからないから、 <u>ひらかな</u> から <u>べんきょう</u> しました。	語順
5530	韓国 22 自由作文 10	日本語は韓国語と文法や <u>文形</u> など <u>か</u> <u>たいだい</u> 同じ <u>か</u> ら英語より <u>べんきょう</u> をして <u>すこし</u> や <u>さしい</u> <u>が</u> 、日本語とわたし <u>に</u> <u>外国語</u> から毎日 <u>べんきょう</u> しな <u>し</u> <u>どき</u> は <u>むずかしい</u> です。	1表記 2,3発音 4,9ーダ 5語順 VP6取立 *ト /ーハ 7格に *O /ーハ 10活用 (V) 11 発音条件 *トキ /ーバ
5531	韓国 28 自由作文 12	マリアのことが <u>好き</u> ではなくて、 <u>こども</u> を <u>面倒</u> を見ること <u>ばかり</u> でした。	1格 *ヲ /ーノ 連 2取立 語順

5532	韓国 29 自由作文 14	心を安定させるのがかぜにかからないようにする方法の中で一番いい <u>一</u> と思います。	語順 一名詞節
5533	韓国 31 自由作文 7	日本に留学したい <u>なぜなら</u> 日本の商業知識を学んだり、日本の進歩的な社会を見物したりするから <u>一</u> 。	1接 語順 2複 V 3ー ダ
5534	韓国 35 自由作文 20	韓国と一番重要な北朝鮮との関係は対話で問題を解いたほうがいいと思われ <u>一</u> 。	1語順 2V 3活用(V)
5535	タイ 4 自由作文 4	その一ヶ月半の間にアセアン来たから青年たちと日本の青年たちと一緒にいろいろな経験を交換したり現代の青年の働きについて討論したりしました。	1語順 2N
5536	香港 3 自由作文 14	しかし、私は一年前から日本語の勉強をしています。	C 語順
5537	香港 5 自由作文 1	那賀島淑雅に様	語順
5538	香港 9 短文作文 1	もう日本語は一年勉強したが、たいへんむずかしいから、なかなかじょうずにはなすことはできません。	1副用 語順 3格 取立 *ハ/ーガ 2. スタイル
5539	香港 15 短文作文 9	東京や大阪という大都会一概には多くの人である。	1取立 *0 /ーハ 2副 用 3語順
5540	香港 15 短文作文 10	大きい部屋といて、ある私の子供時によくいく親類はおもしろい部屋をとりました。	2表現 6V 3語順 1活 用(A) 4ノ連 3AN 5* ル/ータ
5541	香港 15 短文作文 12	桜の花をいきみたなくなつた、いそがしいでしたから。	1VP 1活用 2スタイル 4語順 4接 3活用(A)
5542	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間文化交流が絶えずに行われてために、イギリス人は自分の言葉をEnglishのほうNationalLanguageよりと <u>一</u> 言うのは、日本人の、閉塞性と極端的な対照だろう。	1格 ーデ N 発音 2副 用 3活用 5語順 4取 立 *ハ/ーガ 6NA 品 詞
5543	香港 21 短文作文 3	これは雪舟がつくったきれいな庭だったと <u>一</u> 言われる。	1*タ/ール 2語順
5544	香港 24 短文作文 4	彼の名は国内で知って <u>一</u> いられるだけでなく、海外にもひろく知って <u>一</u> いられる。	語順 テイル 受身
5545	香港 24 短文作文 11	彼岸 <u>一</u> だけまで天候はそんな違いを <u>一</u> つづくと言われている。	1語順 取立 2格 *フ/ー ガ
5546	フランス 1 自由作文 4	ところがシンタクスの意味的な <u>一</u> ちゃんとした基準を見つけるにはよく日本語の構造などやはり言語学が <u>一</u> わかる必要があるでしょう。	1NA 2語順 3*ル/ー テイル
5547	イラン 1 自由作文 3	それに、ヨーロッパ <u>一</u> 大きさ人口あたり日本より広いので住宅問題はたいせつではない。	&表現 1語順 2ノ連 3NA
5548	イラン 1 自由作文 7	イサハーハンは <u>一</u> 一つのイランの古い町である。	語順 数 AN
5549	マレーシア 5 自由作文 19	私たちは <u>一</u> さえ農民に <u>一</u> いもを狩ってあげました。	1語順 2V

5550	マレーシア 14 自由作文 9	我々は安全の所へ行く <u>もし予知台風がある。</u>	接 *条件 語順
5551	マレーシア 18 自由作文 5	<u>日本と違う</u> 、日本では、国民保険がついている、 <u>約八</u> <u>十パーセントの治療代</u> を返す、つまり、 <u>安い</u> だ。	1表現 接 -テ形 2語 順 数 3品詞*NA/- A ダ
5552	マレーシア 23 自由作文 18	<u>たくさん</u> 外人観光客もその船にいました。	語順 数
5553	メキシコ 1 自由作文 6	しかし、もし山本さん <u>はまだ</u> その本を使いたいなら、 <u>必ず</u> 2週間たって、またお貸しします。	1取立 *ハ/-ガ 2語 順 Ad
5554	インド 2 自由作文 8	日本語がよく分かりませんので、書棚には七冊の本があ ります <u>だけ</u> 。	語順 取立 *ダケ/- シカ
5555	インド 3 自由作文 13	玄関の右によようふくだんすがあります、なかに <u>全部</u> 私の シャツと <u>雑物</u> です。	1語順 2N 3*ダ -V
5556	インド 18 自由作文 15	台所の中 <u>で</u> <u>ひとつ窓が</u> あって、毎朝 <u>あさかすみ</u> をみな がらは <u>を</u> みかきます。	1格 *デ/-ニ 2語順 3発音
5557	インド 18 自由作文 24	やちんは毎月3万5ひゃくえんですがおふろ <u>あるし</u> <u>か</u> <u>んきょうが</u> しずかだし、 <u>そこで</u> ここに <u>すんで</u> いました。	1格 *O/-モ 2語順 3C 4*タ/-ル
5558	インド 33 自由作文 4	「私はくつがない <u>の</u> <u>ため</u> によくなきました、 <u>ずうと</u> あ しがない人を <u>みた</u> 日まで。」。	1*ノ連/-O 2発音 表記 品詞 語順 3*タ/-ル
5559	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭があたたかかったが <u>富裕</u> ではな かったから、ほかの子供に <u>うらやましい</u> でした、 <u>毎度</u> 、 友達が <u>いっぱい</u> な <u>おもちゃ</u> をもっている <u>とき</u> 、私は <u>金</u> <u>もちさん</u> になって、もっと <u>多い</u> <u>おもちゃ</u> をもっている 夢をつくた。	1NA 2格 *ニ/-ガ 3 活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *ト キ/-ト 7N 8A 9V 発音
5560	インド 52 自由作文 4	<u>近い</u> ごろ <u>多く</u> 人事管理によって問題が <u>でき</u> ているの で <u>ほか</u> の <u>人事</u> に <u>面</u> して <u>管理</u> と <u>知識</u> がほしいと思っ ています。	1Ad 副用 2語順 副用 3複 V 発音 4副用 5* にメンシテ 6並 N * ト/-ヤ
5561	インド 52 自由作文 8	私は日本で勉強した知識ややり方を <u>も</u> って国へ帰って <u>会</u> <u>社</u> に <u>入</u> る <u>時</u> に <u>少</u> くなく <u>会</u> 社の <u>人事</u> 管理と <u>経</u> 済 <u>発</u> 展に <u>役</u> に <u>だ</u> つたらうと思っ ています。	1語順 複 V 2*ル/- タ 3副用
5562	フィンランド 4 自由作文 3	<u>全部</u> 食事の必需品がおいてあります。	副用 Ad 語順
5563	フィンランド 8 自由作文 11	私は、 <u>さむ</u> すき <u>時</u> 、 <u>すい</u> 込みが <u>少</u> し <u>む</u> ずかしいですが、 <u>スト</u> ブ <u>を</u> 使うの <u>が</u> <u>大</u> じょうぶ <u>で</u> す。	語順 1複 N 2,4取立 * ガ/-ハ 3発音 表記 5NA

5.6. 接続

5.6.1. 条件

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5564	台湾 1 自由作文 9	大学院に <u>入れれば</u> 、台南のいろいろなうまい物を全部食べてしまうつもりです。	条件 *バ/ータラ
5565	台湾 4 自由作文 7	デザインを <u>除いて</u> 、私は <u>バレーボール</u> ・ <u>バスケットボール</u> ・ <u>テニス</u> と旅行がすきであるが、お金を節約するために、筑波に来てから <u>旅行</u> のかわりに自転車の運動をしている。	1条件 *テ形/ート 2 発音 表記 3取立 *0 /ーハ
5566	台湾 5 自由作文 9	そうすると、私の学問を研究する方法 <u>を</u> <u>是正に</u> <u>役立つ</u> <u>ことがあります</u> 。	1接 条件 *ト /ーバ 2格 *ヲ /ーノ 3品詞 *V /ーN
5567	台湾 18 自由作文 8	その上に、船とか汽車とかに <u>乗って</u> <u>旅費</u> <u>も</u> <u>いりません</u> 。	1接 条件 *テ形/ーテ モ 2取立 *モ/ーハ
5568	台湾 23 自由作文 8	仕事が <u>終わった</u> 家へ帰ってすぐねました。	接 条件 *0 /ート * タ /ール
5569	台湾 24 自由作文 2	8月9日台北に <u>着いて</u> 、空港で <u>家族</u> <u>もう</u> <u>まってこ</u> <u>がれて</u> いました。	1接 条件 *テ形/ータ ラ 2取立 *0 /ーハ 3 格 *0 /ーガ 4VP
5570	台湾 24 自由作文 7	もしこの <u>暑休み</u> <u>は</u> <u>国へ帰ら</u> <u>なければ</u> 、日本へもどった あとで、こんな料理たぶんたべられないかもしれません。	1表記 2取立 *ハ/ー ニ 3接 条件 *バ/ー タラ
5571	中国 2 絵を見ての作文 1	図2を見て <u>お</u> 、おばさんの <u>きもさ</u> <u>を</u> <u>述</u> べている。	2表記 1ー条件 3表現
5572	中国 12 自由作文 9	ところが夜、駅を出て自転車に乗ろうと思う <u>と</u> 、自転車の姿はどうしても見つけられませんでした。	条件 *ト/ータラ
5573	中国 12 自由作文 16	もし私の古里では <u>せいぜい</u> <u>注意</u> されて済みます。	1条件 2ーダケ
5574	中国 16 自由作文 23	最初日本に <u>来て</u> 、住む所は <u>解決</u> しなければ、なりません <u>から</u> 、 <u>アパート</u> を探しに <u>いって</u> 、不動産屋さんは探してくれましたが、いろいろ契約して、 <u>そして</u> <u>敷金</u> 、 <u>礼金</u> ということ <u>は</u> <u>やっと</u> わかりました。	1接 *テ形/ートキ 2 取立 *ハ/ーヲ 3V 4 接 *カラ/ーノデ 5条 件 *テ形/ート 6C 7*ハ/ーガ
5575	中国 17 自由作文 8	日本の <u>こと</u> <u>を見る</u> <u>と</u> <u>感心</u> <u>された</u> <u>のは</u> <u>これだけ</u> ではありません。	1*名詞節 2条件 *ト/ ーテ形 3受身 使役
5576	中国 18 自由作文 3	来る前 <u>に</u> 日本いろいろなものが <u>必ず</u> <u>優れる</u> <u>と</u> <u>思っ</u> て いましたが。来て <u>から</u> <u>自分の</u> <u>思った</u> <u>とうり</u> <u>と</u> <u>違っ</u> <u>ています</u> 。	1取立 *ニ/ーハ 2Ad 3*ル/ーテイル 4複 V ーテミル 5条件 6N 7*ル/ータ
5577	中国 19 自由作文 9	私はそれを見て「 <u>あの</u> <u>人は</u> <u>教育</u> <u>も</u> <u>いい</u> <u>し</u> 、 <u>お金</u> <u>も</u> <u>ある</u> <u>し</u> 、 <u>なぜ</u> <u>普通</u> の生活をしな ⁽¹⁾ いで、 <u>浮浪者</u> <u>になっ</u> て <u>て</u> <u>しょう</u> 。」と <u>考え</u> ましたが、 <u>聞</u> く <u>と</u> 「 <u>仕事</u> <u>が</u> <u>した</u> く <u>ない</u> <u>です</u> 。」との返事が <u>しま</u> しました。	1コソア 2A 3接ー ノニ 4スタイル 5条件 *ト/ータラ 6 接ーカラ 7ーダ

5578	中国 24 自由作文 10	そして、上手に日本語を <u>話せば</u> 、 <u>また</u> 時間がたくさんかかると <u>思っています</u> 。	1複V 接 一条件 2Ad 副用 3*テイル/ール
5579	中国 28 自由作文 15	まいあさきょうしつへきた <u>とき</u> 、 <u>まず</u> せんせいはがくせい <u>に</u> いろいろなしつもんをします。	接 条件 *トキ/ート
5580	中国 30 自由作文 6	きょうしつ <u>に</u> せんせいは <u>いっしょうけん</u> のおしえて、 <u>わたしたちは</u> わからないことが <u>あったから</u> <u>している</u> 「なれ」というかこうで、 <u>なん</u> というけいようしであう。	1格 *ニ /ーデ 2Ad 発音 3接 *テ形 4条件 *カラ /ータラ & 表現
5581	中国 31 自由作文 20	まいにち <u>つづいて</u> <u>に</u> ほんごはできるでしょう。	自他 接 条件 *テ形/ート
5582	中国 32 自由作文 5	九時ごろ家を出て教室へ <u>来て</u> <u>先生</u> <u>から</u> <u>わたし</u> に教えて <u>くれます</u> 。	1接 条件 *テ形/ート 2格 *カラ/ーガ 3受給 スタイル
5583	中国 33 自由作文 11	かいわのれんしゅう <u>は</u> <u>すこし</u> <u>は</u> なして <u>から</u> <u>わたし</u> はに <u>ほんご</u> が <u>は</u> なしたいです。	1取立 *ハ/ーヲ 2V 3接 一条件 4ー複V
5584	中国 42 自由作文 12	学校の授業が <u>終ってから</u> 、いつも友達と日本語で話しています。	接 条件 *テカラ/ートータラ
5585	中国 47 自由作文 11	それに <u>できません</u> <u>から</u> 、 <u>な</u> にもわかりません。	1スタイル 2接 条件 *カラ/ート
5586	中国 53 自由作文 9	私は毎日の勉強がおわる <u>とき</u> 、少し休んで、すぐアルバイトをします。	接 条件 *トキ/ート
5587	韓国 8 パターン作文 6	同じ目的地 <u>ですが</u> <u>飛行機</u> <u>が</u> 船より <u>時間的</u> で早く到着します。	1条件 ーテモ 2ーノ ハウ 3NA 副用
5588	韓国 13 聴解要約 5	秋葉原の <u>どの点</u> <u>に</u> で CASSETTERADIOを <u>買</u> <u>いて</u> <u>価格</u> が高い <u>ですから</u> <u>思</u> いました。	1表記 N 2発音 格 * ニで /ーOで 3活用 接 条件 *テ形 /ーテ モ
5589	韓国 21 自由作文 8	日本のことばには <u>おもしろくて</u> <u>きれいな</u> ことばもあるとおもいますが、 <u>男の人</u> や <u>女の人</u> や <u>ことも</u> <u>など</u> の人がつかうことばがちがうから日本人の慣習をわかる <u>とき</u> <u>わたし</u> は日本語がじょうずになるとおもいます。	1,2発音 3条件 *トキ/ーバ
5590	韓国 22 自由作文 10	日本語は韓国語と文法や <u>文形</u> <u>など</u> <u>か</u> <u>たいだい</u> <u>同じ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 英語より <u>べんきょう</u> <u>を</u> <u>して</u> <u>すこし</u> <u>やさしい</u> <u>が</u> 、日本語と <u>わたし</u> <u>に</u> <u>外国語</u> <u>から</u> <u>毎日</u> <u>べんきょう</u> <u>し</u> <u>なし</u> <u>どき</u> <u>は</u> <u>むずかしい</u> <u>です</u> 。	1表記 2,3発音 4,9ー グ 5語順 VP6取立 * ト/ーハ 7格に *0/ にートッテ 8取立 * 0 /ーハ 10活用(V) 11 発音 条件 *トキ/ ーバ
5591	韓国 31 自由作文 11	<u>もし</u> <u>4年</u> の大学をおわ <u>たら</u> 、 <u>国</u> へ帰ると日本語の先生になることもできます。	1接 条件 *タラ/ーテ 形
5592	韓国 31 自由作文 15	<u>国</u> へ帰る <u>と</u> <u>いろいろ</u> な学んだ知識をつかって、 <u>国</u> を <u>発</u> <u>展</u> <u>する</u> <u>こと</u> をめざして、 <u>国</u> <u>は</u> <u>進歩的</u> な工業国になるゆめを実現したいです。	1接 条件 *ト/ータラ 2自他 3接 4取立 *ハ/ーヲ
5593	アメリカ 2 自由作文 10	<u>始めて</u> <u>日本語</u> を話してみ <u>たら</u> <u>間違</u> うと軽蔑されるが黙っても軽蔑されてしまうというのは <u>例外</u> ではありません。	1Ad 2接 条件 *タラ/ートキ 3N

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

5594	アメリカ 4 自由作文 4	なぜか 弁護士になりたいと 聞かせたら 複雑な理由があ (1) (2) (3) (4) ります。	1不定 2*0 と /ーカ と 3V 4接 条件 *タ ラ /ート
5595	インドネシア 2 聴解要約 9	まず ぶっか が 四方円 でちょっと高いと 言ったから、 (1) (2) (3) てんいんはぶっかを ふえて 四方二千元 さいご 四方円に (4) (5) なりました。	2表記 3条件 4V 5Ad 副用 1N
5596	香港 5 自由作文 8	常用の辞典ではありませんから、お役に立つのは、貸し (1) て あげても いいです。 (2)	1接 条件 *ハ /ーナラ 2受給 スタイル
5597	香港 11 短文作文 9	この辞書 は よくないと 言えば、私も買いません。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーガ 2条 件
5598	香港 15 短文作文 17	この図表を みれば、日本人の平均寿命はどんどん 増っ (1) (2) ている。	1接 条件 *バ /ート 2 活用(V)
5599	香港 18 短文作文 14	もしあなた は 香港に来る と、これは何にもましていい (1) (2) 事だ。	2接 条件 1取立 *ハ / ーガ
5600	香港 19 自由作文 1	漢字の訓読みをやめると すれば、おくりがなの不統一も (1) なにも全部なくなると いった。 (2)	1接 条件 と *スレバ / とーO 2受身 *タ / ーテイル
5601	香港 19 自由作文 14	それは地理的、歴史的、文化的条件を 見て わかってきた (1) (2) かもしれない。	1接 条件 *テ形 /ーバ 2VP *タ /ール ムー ド
5602	香港 19 短文作文 8	それだけ立証が あって、彼女が犯人だと思わざるをえな い。	接 条件 *テ形 /ート
5603	香港 20 自由作文 9	もし 「ナゴヤ」 が 「名古屋」 で表現すると わかない (1) (2) (3) (4) 人は、「東名高速道路」 は なんですかと 疑う。 (5)	1接 条件 2格 *ガ / ーヲ 3ー名詞節 4ート (引) 5スタイル
5604	香港 20 短文作文 6	この証拠 を そろって、彼女 は 真犯人だと考えざるをえ (1) (2) (3) ない。	2接 条件 *テ形 /ート 1格 *ヲ /ーガ 3取立 *ハ /ーガ
5605	香港 22 短文作文 19	この表を 見れば、日本人の平均の生活水準が 年年 さ (1) (2) がす こと を 表われる。 (3) (4)	1条件 2V 3格 *ヲ / ーガ 4ーテイル
5606	香港 23 自由作文 5	もし、訓読みを廃止する べし、日本人は音読みだけ を 依 (1) (2) 存する べし。 (3)	1接 条件 2格 *ヲ / ーニ 3ムード
5607	香港 23 自由作文 11	例えば、ある人は「東名高速 公路」という漢字を 見 (1) (2) ると、もし彼 は 「名」は「名古屋」つまり「ナゴヤ」の (3) 「名」であることを知っていない べし、彼はこれは地名が (4) わからない。	1N 4接 条件 3取立 * ハ /ーガ 2接 *ト / ーテ形
5608	香港 24 自由作文 20	また、歴史的な面から みれば、その傾向 も ある。 (1) (2)	1接 条件 *バ /ーテモ 2取立 *モ /ーガ
5609	香港 24 自由作文 26	それはさておき、日本の家屋の構造で べし、部屋がしきる (1) ふすま は あけることができ、全部を あけて、家全体に (2) (3) なる。	1取立 で *0 /でーハ 2格 *ガ /ーヲ 3接 条件 *テ形 /ート
5610	香港 26 短文作文 1	夫の観点から べし、週休二日制はいいです。	表現 条件

5611	マレーシア 12 自由作文 3	天気は、農民が、農業をする時、雨が <u>つづいて</u> 、 <u>ふるとか</u> 、 <u>全然</u> <u>ふらない</u> とか、 <u>農民は農産物を</u> <u>しません</u> 。	1並V *トカ/ータリ 2接 ー条件 3 V
5612	マレーシア 12 自由作文 7	もし、 <u>天気予報がない</u> 、 <u>農民と漁民は</u> 、 <u>こまります</u> 。	1接 ー条件 2発音 表記
5613	マレーシア 13 会話作文 1	それは <u>学生たちは自分の時間がないから</u> 、 <u>学校に反感を</u> <u>持っている時</u> 、 <u>宿題</u> <u>らのこと</u> は <u>全然注意しない</u> <u>と</u> 、 <u>しだいに成績が</u> <u>退歩して</u> <u>しまった</u> のである。	1C 2品詞 3取立 *ハ /ーニ 4接 条件 *ト /ーカラ 5V
5614	マレーシア 14 自由作文 9	我々は安全の所へ行く <u>もし予知台風がある</u> 。	接 *条件 語順
5615	マレーシア 14 自由作文 14	それで、 <u>天気予報がある</u> <u>我々の生活に</u> <u>役に立つ</u> 。	1接 ー条件 2表記
5616	マレーシア 17 自由作文 18	もし、私が、首相になったら、せめて一か月に一回、庶民の身分で、やおやや魚屋などを訪問します、 <u>そのよう</u> に、 <u>国民の生活状態が</u> 、よくわかります。	1C 条件 副用
5617	マレーシア 17 自由作文 20	もし、私が、マレーシアの首相になった <u>とき</u> 、 <u>国の政治</u> や <u>経済など</u> 、 <u>きつと</u> 、 <u>進んで</u> <u>いって</u> 、 <u>なります</u> 。	2Ad 副用 3接 *テ形 VP 1条件 *トキ/ータラ
5618	マレーシア 22 自由作文 24	けれども、 <u>お金が</u> <u>持ったら</u> 、 <u>そのうえで</u> <u>夏休みが暇</u> <u>が</u> あったら、 <u>北海道へ旅行に行きたい</u> と思ひます。	1V 接 条件 *タラ /ー連用形 2副用 3格 *ガ/ーニ
5619	マレーシア 24 自由作文 16	もし、 <u>来年</u> <u>は</u> 、 <u>日本の大学に</u> <u>はいれば</u> 、 <u>夏休みの時</u> 、 <u>国へ帰えらなかつたら</u> 、 <u>北海道へ</u> 、 <u>光顧</u> <u>に行こう</u> と思ひます。	1取立 *ハ/ーO 2可能 条件+バ/ー連用 3N
5620	マレーシア 28 自由作文 3	必要な <u>手続</u> をおわって、 <u>出口を出た時</u> 、 <u>父が</u> <u>三つ日本で</u> <u>食べられない果物を</u> <u>くれると</u> 、 <u>ほんとに</u> 、 <u>私</u> <u>が</u> <u>心から</u> 感動しました。	1接 条件 *ト /ーノ デ*ル /ータ 2取立 *ガ /ーハ
5621	マレーシア 28 自由作文 15	夜に <u>なつて</u> 、 <u>父母は</u> <u>いつも私をつれて</u> 、 <u>親戚の家</u> に <u>訪問</u> をしました、それは <u>とてもつまらない</u> <u>こ</u> ですけれども、 <u>父と母のために</u> 、 <u>行かなくて</u> はいけません。	1接 条件 *テ形/ート 2格 ニ/ーヲ 3格 *ヲ /ーO
5622	マレーシア 28 自由作文 30	今、 <u>アルバイトを</u> <u>一生懸命</u> <u>やつて</u> <u>いると</u> 、 <u>お金を</u> <u>たくさん</u> <u>使つて</u> 、 <u>ぜひ</u> <u>来年の夏休みに</u> <u>国へ帰ろう</u> と思ひています。	1*テイル /ール 接 条件 *ト /ーテ形 2 V
5623	インド 9 自由作文 13	<u>部屋のひろさ</u> <u>が狭い</u> ですから、 <u>ふとん</u> や <u>こたつ</u> や <u>本箱</u> <u>などが</u> <u>はいる</u> <u>のは</u> <u>いっぱい</u> になります。	1N 2*名詞節、接、条件 *ノハ/ート
5624	インド 18 自由作文 23	はれ <u>なら</u> 、 <u>となりの</u> <u>ひと</u> <u>びと</u> <u>は</u> <u>ふとん</u> <u>も</u> <u>だつて</u> <u>太陽</u> に <u>ほされる</u> <u>こと</u> もあります。	1接 条件 2N 3取立 4*受身/ー可能
5625	インド 18 自由作文 25	<u>ひま</u> <u>なら</u> 、 <u>ほんば</u> <u>このうえの</u> <u>テープレコーダー</u> と <u>テーブ</u> <u>ルのうえの</u> <u>テレビ</u> <u>は</u> <u>私の</u> <u>たのしみ</u> になります。	1接 条件 2取立 *ハ /ーガ
5626	インド 22 自由作文 13	私は、 <u>暇</u> <u>なら</u> <u>テレビ</u> をみます。	接 条件
5627	インド 23 自由作文 11	<u>間</u> <u>に入る</u> <u>時</u> 、 <u>左側</u> <u>トイレ</u> と <u>お風呂</u> <u>と</u> <u>ころ</u> <u>です</u> 。	1N 2接 条件 *トキ /ート 3取立 *O /ーハ 4N

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

5628	インド 24 自由作文 11	外から <u>入</u> た時、右側 と バスやお手洗があります。 (1) (2)	1接 条件 *トキ/ート 2格 *ト/ーニ
5629	インド 28 自由作文 11	私はこの映画 <u>見</u> るあとで、自分の <u>感</u> 覚はもし世界の 中 <u>で</u> <u>戦</u> 争は <u>な</u> い、 <u>い</u> い <u>わ</u> ね <u>と</u> 思いました。 (3) (4) (5) (6)	1ル/ータ 2N 3格 デ /ーニ 4取立 ハ/ー ガ 5接 条件 *0/ー タラ 6ムード
5630	インド 28 自由作文 12	<u>こ</u> ち <u>そ</u> ち <u>平</u> 和の <u>気</u> 分 <u>が</u> あつて、 <u>み</u> ん <u>な</u> <u>幸</u> せに <u>生</u> 活 <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>こ</u> れは、 <u>い</u> い <u>こ</u> とでは <u>あ</u> り <u>ま</u> せ <u>ん</u> か。 (1) (2) (3) (4)	1Ad コソア 2N 3カ ク *0/ーガ 4条件 * テ形 /ーバ
5631	インド 30 自由作文 5	ですから、もし都心へ <u>い</u> たら、 <u>他</u> 人 <u>に</u> 車 <u>を</u> <u>乗</u> られ <u>さ</u> <u>せ</u> <u>な</u> ければ <u>な</u> り <u>ま</u> せ <u>ん</u> でした。 (1) (2) (3) (4)	1接 条件 *タラ/ーナ ラ 2N 3格 *ヲ/ーニ 4受身 使役 受給
5632	インド 30 自由作文 9	もし、 <u>私</u> <u>が</u> <u>宿</u> 題の問題が <u>あ</u> れば、 <u>お</u> じに <u>教</u> えて <u>も</u> ら <u>い</u> <u>ま</u> した。 (1) (2) (3)	1,3接 条件 *バ/ート 2取立 ガ/ーハ
5633	インド 39 自由作文 5	だから、 <u>学</u> 校の <u>授</u> 業 <u>を</u> <u>お</u> わ <u>つ</u> た、 <u>友</u> だちと <u>一</u> 緒に <u>山</u> <u>を</u> <u>登</u> つて、 <u>き</u> れい <u>町</u> と <u>景</u> 色 <u>を</u> <u>み</u> ました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ/ーガ 2接 条 件 3格 *ヲ/ーニ 4品 詞 *A/ーNA
5634	インド 40 自由作文 6	なぜなら <u>そ</u> の <u>ま</u> まに <u>き</u> て、 <u>か</u> ぜ <u>が</u> <u>か</u> かり <u>や</u> すい <u>か</u> ら <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 2ーテイル 接 条件 *テ形/ート 3格 *ガ/ーニ
5635	インド 40 自由作文 14	かぜは <u>あ</u> まり <u>ひ</u> どい <u>病</u> 気 <u>で</u> す <u>が</u> 、 <u>不</u> 注 <u>意</u> <u>な</u> ら、 <u>肺</u> 病 <u>に</u> <u>な</u> り <u>や</u> すい <u>で</u> す。 (1) (2)	1Ad 副用 2接 条件 * ナラ/ート
5636	インド 40 自由作文 16	もし、かぜにか <u>か</u> <u>れ</u> ば、 <u>病</u> 院へ <u>行</u> つた <u>方</u> が <u>い</u> い <u>と</u> 思 <u>い</u> ま <u>す</u> 。	接 条件 *バ/ータラ
5637	インド 54 自由作文 7	子供の時 <u>李</u> 正輝 <u>と</u> いう <u>人</u> は <u>私</u> <u>が</u> <u>一</u> 番 <u>い</u> い <u>の</u> <u>友</u> 達 <u>で</u> した、 毎 <u>日</u> 、 <u>一</u> 緒に <u>学</u> 校へ <u>い</u> つて <u>遊</u> んで <u>午</u> 後の <u>授</u> 業 <u>が</u> <u>終</u> つた <u>一</u> <u>緒</u> に <u>家</u> へ <u>帰</u> りました。 (1) (2) (3)	1格 *ガ/ー0 ーノ連 2*ノ連 3条件
5638	インド 54 自由作文 9	<u>そ</u> の時 <u>私</u> は <u>ど</u> んな <u>問</u> 題 <u>が</u> <u>あ</u> れば、 <u>必</u> ず、 <u>李</u> さん <u>に</u> <u>相</u> 談 <u>し</u> ました。 (1) (2)	1副用 2条件 *バ/ー テモ
5639	フィンランド 4 自由作文 6	これから <u>入</u> つて、 <u>小</u> さい <u>じ</u> ゅう <u>た</u> ん <u>は</u> <u>ろ</u> う <u>か</u> に <u>お</u> いて <u>あ</u> ります。 (1) (2)	1条件 接 *テ形/ート 2取立 *ハ/ーガ
5640	フィンランド 8 自由作文 13	<u>少</u> し <u>ね</u> る <u>だ</u> つたら、 <u>体</u> が <u>よ</u> わ <u>く</u> な <u>り</u> ます。 (1) (2)	1Ad 2接 条件 否定
5641	フィンランド 8 自由作文 18	もし、 <u>私</u> たちが <u>注</u> 意 <u>し</u> たら、 <u>た</u> と <u>え</u> ば、 <u>ゆ</u> っ <u>く</u> り <u>ね</u> て、 <u>ス</u> ト <u>プ</u> <u>を</u> <u>使</u> つて、 <u>あ</u> た <u>た</u> か <u>い</u> <u>ふ</u> く <u>を</u> <u>き</u> つて、 <u>良</u> く <u>食</u> べ <u>て</u> 、 <u>あ</u> まり <u>病</u> 気 <u>に</u> <u>な</u> ら <u>な</u> ので、 <u>体</u> <u>が</u> <u>強</u> い <u>は</u> ず <u>で</u> す。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,2発音 表記 3接 *テ 形/ー条件 4取立 * ガ/ーハ 5複 V

5.6.2. テ形

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5642	台湾 1 自由作文 2	悠悠吹く、気持がとってもいいな。	接 *連用形/ーテ形
5643	台湾 2 聴解要約 6	だから「 <u>見てもいい</u> か」と <u>質問</u> して、ヤンさんは「どうぞ」と言った。	3接 テ形 1C 2品詞 * V/ーA
5644	台湾 2 聴解要約 9	写真を見る <u>時</u> に「 <u>すごい</u> 」て「 <u>きれいな</u> 」などの言葉と <u>ときどき</u> 言った。	3格 *ト/ーヲ 1接 * トキ/ーテ形 接 *ト キ/ーナガラ 2並N * テ/ーヤ
5645	台湾 3 自由作文 9	教師の <u>とき</u> 、 <u>毎土曜日</u> あるいは <u>日曜日</u> 、いつも生徒と一緒に <u>台北</u> の <u>近い所</u> <u>ハイキング</u> する、 <u>ハイキング</u> しながら <u>地形</u> や <u>地理</u> 方面の <u>知識</u> も生徒に教えました。	1取立 *O/ーハ 2複 N 3並N *アルイハ/ ーカ 4格 *O/ーニ 5 格 *ノ連 /ーニ、へ 6格 *O/ーニ、へ 7接 ーテ形
5646	台湾 4 自由作文 7	デザインを <u>除</u> いて、私は <u>バレーボール</u> ・ <u>バスケットボール</u> ・ <u>テニス</u> と <u>旅行</u> が <u>す</u> きであるが、 <u>お</u> 金を <u>節</u> 約するた <u>め</u> に、 <u>筑波</u> に <u>来</u> てから <u>旅行</u> のかわりに <u>自転車</u> の <u>運</u> 動を <u>し</u> ている。	1条件 *テ形/ート 2 発音 表記 3取立 *O /ーハ
5647	台湾 9 自由作文 11	そして、 <u>中華</u> 国 <u>柔道</u> チ <u>ーム</u> の <u>選</u> 手と <u>な</u> った、 <u>国</u> 外へ <u>試</u> 合に <u>参</u> 加した、 <u>卒</u> 業を <u>し</u> たら <u>警</u> 官 <u>学</u> 校に <u>勤</u> めて <u>柔</u> 道 <u>を</u> 教 <u>え</u> てい <u>る</u> 。	1,3-連用形 2格 *へ /ーデ 4-テ形 接 * タラ/ーカラ 5取立 * O/ーハ
5648	台湾 10 自由作文 2	大学 <u>卒</u> 業した <u>か</u> ら、 <u>大</u> 変 <u>長</u> く <u>時</u> 間 <u>を</u> <u>た</u> って <u>い</u> ました。	1*タ/ーテ形 2格 *ヲ /ーガ 3*テイル /ー ル
5649	台湾 16 自由作文 2	よく <u>プロ</u> 野球を <u>み</u> て、 <u>感</u> 想も <u>た</u> く <u>さ</u> ん <u>あ</u> ります。	接 *テ形
5650	台湾 17 自由作文 7	それでは <u>わ</u> た <u>し</u> の <u>け</u> い <u>け</u> ん <u>に</u> <u>よ</u> ると <u>そ</u> う <u>だ</u> ん <u>し</u> ま <u>す</u> 。	1C 2接 *ト/ーテ形
5651	台湾 18 自由作文 8	その上 <u>に</u> 、 <u>船</u> と <u>か</u> <u>汽</u> 車と <u>か</u> に <u>乗</u> って <u>旅</u> 費 <u>も</u> <u>い</u> り <u>ま</u> せん。	1接 条件 *テ形/ーテ モ 2取立 *モ/ーハ
5652	台湾 19 自由作文 3	<u>公</u> 務員 <u>が</u> <u>人</u> の <u>目</u> の中 <u>に</u> <u>な</u> に <u>も</u> の <u>を</u> <u>思</u> わ <u>れ</u> てい <u>る</u> <u>の</u> は <u>全</u> 然 <u>考</u> え <u>な</u> く <u>て</u> 、 <u>上</u> 役 <u>に</u> <u>ど</u> んな <u>不</u> 公平な <u>事</u> を <u>さ</u> せ <u>ら</u> れても、 <u>け</u> っ <u>し</u> て <u>あ</u> ま <u>せ</u> <u>な</u> く <u>て</u> 、 <u>大</u> 衆 <u>に</u> <u>対</u> して、 <u>ら</u> <u>ず</u> に <u>責</u> 任 <u>が</u> <u>お</u> わ <u>れ</u> て、 <u>い</u> つ <u>も</u> <u>人</u> に <u>服</u> 務する <u>思</u> い <u>つ</u> き <u>を</u> <u>持</u> って <u>い</u> る。	1取立 *ガ/ーハ 2表 現 -疑問節 -トイ ウ 3接 *テ形 4V 5格 *ガ/ーヲ 6自他 7N
5653	台湾 20 自由作文 5	<u>ほと</u> んど、 <u>外</u> 国から <u>原</u> 料を <u>輸</u> 入して <u>加</u> 工して <u>か</u> ら、 <u>外</u> <u>銷</u> 品 <u>と</u> して <u>も</u> <u>ど</u> って <u>外</u> 国へ <u>輸</u> 出して <u>い</u> ます。	1Ad 2接 *テ形/ー連 用形 3複N 4複用
5654	台湾 20 自由作文 7	つぎの <u>提</u> 案を <u>出</u> して <u>参</u> 考して <u>ご</u> 覧 <u>な</u> さい。	1接 *テ形/ー 2副用 3スタイル 受給
5655	台湾 22 自由作文 13	午後2時に向こうへ行 <u>っ</u> てすぐホテルに <u>入</u> って <u>少</u> し休 <u>ん</u> で温泉へ入りに行きました。	*テ形/ー連用
5656	台湾 24 自由作文 2	8月9日 <u>台</u> 北に <u>着</u> いて、 <u>空</u> 港で <u>家</u> 族 <u>も</u> う <u>ま</u> って <u>こ</u> が <u>れ</u> て <u>い</u> ました。	1接 条件 *テ形/ータ ラ 2取立 *O/ーハ 3 格 *O/ーガ 4VP

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

5657	台湾 24 自由作文 20	そのあいだに ⁽¹⁾ しあわせな時間で、だから今度の学期は私は必ずもっと勉強しようと ⁽²⁾ 思って、来年いい大学にはいきます。	1取立 *ニ/ーハ 2接 *テ形
5658	台湾 25 自由作文 5	母親は毎日、子供を ⁽¹⁾ 背う学校へ通って行きました。	1接 *ル/ーテ形
5659	台湾 25 自由作文 11	一週間後、手術の費用は ⁽¹⁾ たりない ⁽²⁾ ので母親が ⁽³⁾ なくなっていました。	1取立 *ハ/ーガ 2接 *デ/ーテ形 3取立 *ガ/ーハ
5660	台湾 25 自由作文 12	そんなに ⁽¹⁾ 悲惨の ⁽²⁾ 映画を ⁽³⁾ 見た当時 わたしまで涙を流しました。	1コソア 2品詞 *N/ーNA 3接 *体修/ーテ形
5661	中国 1 パターン作文 4	その原因を探してみたいと思って日本に ⁽¹⁾ 来て、経営、政策を勉強し、日本のすぐれたところを ⁽²⁾ 手にいれて、中国のために力を注ぎたいと思います。	1テ形 2V
5662	中国 2 絵を見ての作文 5	車が ⁽¹⁾ はしている 水をひっかけられています。	発音 ーテ形 体修
5663	中国 3 絵を見ての作文 3	車は速いでした ⁽¹⁾ が歩道の中 ⁽²⁾ に歩いて人たちが ⁽³⁾ 水をひっかけ ⁽⁴⁾ ましたね。 ⁽⁵⁾	1スタイル 7活用 4格 *ニ/ーヲ 2接 *ガ/ーカラ 3N 5 *テ形/ー体修 6取立 *ガ/ーハ
5664	中国 4 聴解要約 10	同日かとうさんの子の太郎はヤンさんと ⁽¹⁾ ステジオレコダをかいに行った ⁽²⁾ ので、大変面白い体験をした。	1表記 発音 2接 *ノデ/ーテ形
5665	中国 4 聴解要約 12	しかし ⁽¹⁾ その値段がちょっと高い ⁽²⁾ といっってかわないつもりだったが、おみせと ⁽³⁾ 相談した ⁽⁴⁾ あと安 ⁽⁵⁾ くなってきた。	1C 2V 3接 *アト/ーテ形
5666	中国 6 自由作文 9	今度の日本語 ⁽¹⁾ コース ⁽²⁾ 、私に ⁽³⁾ として ⁽⁴⁾ 単語とか文法とか ⁽⁵⁾ 、 ⁽⁶⁾ だいじょうぶで、 ⁽⁷⁾ 聞き ⁽⁸⁾ はだめで、読解は時間 ⁽⁹⁾ はなくて書くことはできません。	1V 2*ノ連 体修 3格 *とシテ/ートッテ 4,5取立 *0/ーハ 6NA 7接 *テ形/ーガ 8N 9取立 *ハ/ーガ
5667	中国 10 自由作文 14	それで、あなたのことも ⁽¹⁾ 言わないで、わたしのことも ⁽²⁾ 言わないで 季節の話をする ⁽³⁾ ことになった ⁽⁴⁾ のかもしれません。	並V *テ形/ーシ
5668	中国 12 自由作文 4	でも、そのバスは ⁽¹⁾ 限定時間 ⁽²⁾ な人 ⁽³⁾ ですが、 ⁽⁴⁾ 一歩 ⁽⁵⁾ おくれて、二十分以上も待たされた ⁽⁶⁾ こともあります。	1複N 2N 3*テ形/ータメニ
5669	中国 14 自由作文 10	早目めに ⁽¹⁾ 並びに行かない ⁽²⁾ と、一本の電車に遅れたら、会社に ⁽³⁾ 遅刻するに ⁽⁴⁾ ちがいない。	1VP ーテ形 2数 3ムード スタイル
5670	中国 16 自由作文 8	今、私は日本にいて、こちらに ⁽¹⁾ 生活して、 ⁽²⁾ 勉強して ⁽³⁾ いろいろ人 ⁽⁴⁾ にあって、 ⁽⁵⁾ もっと ⁽⁶⁾ 日本と ⁽⁷⁾ ちかつぐ ⁽⁸⁾ になりました。	1格 *ニ/ーデ 2*テ形/ー連用形 3並V 4副用 5発音 6名詞節 ーコト
5671	中国 16 自由作文 17	⁽¹⁾ 私の性格は何でもゆっくりして、のんびり生活をして、 ⁽²⁾ しかし、日本へ来て、こちらの人々の生活はとても緊張して、生活と戦争 ⁽³⁾ しているようです。	1C 2接 *テ形 &表現

5672	中国 16 自由作文 23	最初日本に <u>来て</u> 、 <u>住む所</u> は <u>解決</u> しなければ、なりませ んから、 <u>アパート</u> を探しに <u>いって</u> 、 <u>不動産屋</u> さんは探 してくれましたが、いろいろ <u>契約</u> して、 <u>そして</u> <u>敷金</u> 、 <u>礼</u> <u>金</u> ということは <u>やっと</u> わかりました。	1接 *テ形 / ートキ 2 取立 *ハ / ーヲ 3V 4 接 *カラ / ーノデ 5条 件 *テ形 / ート 6C 7*ハ / ーガ
5673	中国 17 自由作文 8	日本の <u>こと</u> を見る <u>と</u> <u>感心</u> <u>された</u> のはこれだけではあ りません。	1*名詞節 2条件 *ト / ーテ形 3受身 使役
5674	中国 19 自由作文 7	私ははじめて <u>見て</u> <u>まさに</u> <u>驚</u> きました。	1接 *テ形 / ートキ 2Ad
5675	中国 19 自由作文 8	ある浮浪者が英語の新聞を見ながら <u>トップソング</u> を <u>聞い</u> <u>ていて</u> 、そばにいる犬に <u>ハンバーグ</u> をやっています。	1*テイル / ール *テ形 / ー連用形 2ーノダ
5676	中国 19 自由作文 11	私の国では仕事がなく、人々を <u>雇</u> われないのですが、 経済大国では仕事があっ <u>て</u> 、 <u>しかし</u> 、仕事をせず <u>に</u> 浮 浪者になる人もいるのは本当に不思議です。	1受身 2接 *テ形 / ー ニ、ーテモ 3C
5677	中国 26 自由作文 3	<u>ひらかな</u> は <u>にほんご</u> の <u>はすおん</u> が、 <u>かたかな</u> は <u>ちゅう</u> <u>ごくごと</u> にているじです。	1,2発音 3並V *ガ / ーテ形、ーダ
5678	中国 26 自由作文 18	<u>たから</u> 、 <u>いちばん</u> <u>たいせつ</u> なことは <u>にほんご</u> を <u>はやく</u> <u>て</u> 、 <u>じょうず</u> になります。	1発音 2接 *テ形 / ー 連用形 & ー名詞節
5679	中国 27 自由作文 12	まいにち <u>がっこう</u> の <u>きょうしち</u> のなかで <u>にほんご</u> を <u>べん</u> <u>きょう</u> して <u>にほんご</u> を <u>はな</u> して <u>会話</u> は <u>いちばん</u> <u>いい</u> です。	1発音 2接 *テ形 3取 立 *ハ / ーガ 4A
5680	中国 28 自由作文 19	<u>がっこう</u> が <u>おわ</u> って、 <u>ときどき</u> <u>しゅくだい</u> もありまし た。	1N 2接 *テ形 / ーテ カラ
5681	中国 30 自由作文 4	<u>まなぶ</u> <u>カタカナ</u> と <u>ひらがな</u> で <u>か</u> いて <u>は</u> じめます。	1語順 2格 *デ / ーヲ 3接 *テ形 VP
5682	中国 30 自由作文 6	<u>きょうしつ</u> に <u>せんせい</u> は <u>いっしょうけん</u> の <u>おし</u> えて、 わたしたちは <u>わからない</u> ことが <u>あ</u> ったから <u>し</u> っている「 なれ」というかこうで、 <u>なん</u> という <u>けい</u> ようし であう。	1格 *ニ / ーデ 2Ad 発音 3接 *テ形 4条 件 *カラ / ータラ & 表現
5683	中国 31 自由作文 20	まいにち <u>つづ</u> いて <u>にほんご</u> は <u>でき</u> るでしょう。	自他 接 条件 *テ形 / ート
5684	中国 32 自由作文 4	毎朝 <u>お</u> きてから <u>歯</u> を <u>み</u> がいて <u>顔</u> を <u>洗</u> っ て <u>すぐ</u> <u>日本語</u> の 教科書を勉強します。	1接 *テカラ / ーテ形 2接 *テ形 / ーテカラ
5685	中国 32 自由作文 5	九時ごろ <u>家</u> を <u>出</u> て <u>教室</u> へ <u>来</u> て <u>先生</u> から <u>わたし</u> に <u>教</u> えて <u>く</u> れます。	1接 条件 *テ形 / ート 2格 *カラ / ーガ 3受 給 スタイル
5686	中国 41 自由作文 10	まいにち <u>がっこう</u> の <u>べんきょう</u> を <u>し</u> て、 <u>アルバイト</u> を <u>し</u> ます。	接 *テ形
5687	中国 59 自由作文 8	また、 <u>日本</u> へ <u>来</u> た から <u>いろいろ</u> の <u>もの</u> を <u>見</u> ました。	*テ形
5688	韓国 4 自由作文 4	日本の場合は約 120 年前の明治維新で世界の新しい文 物を <u>流</u> 入した <u>あと</u> て <u>近代化</u> に <u>成</u> 功して <u>現在の</u> <u>経済</u> <u>発</u> <u>展</u> を <u>成</u> したと思ひます。	2自他 1格 *ヲ / ーガ 4*テ形 / ー連用形 3 発音

5689	韓国 4 自由作文 11	海ではさまざまなとりが <u>とんで</u> 、海の水はあおく、きれいでした。	*テ形 /-連用形
5690	韓国 4 パターン作文 7	これに対して映画を見るために映画館まで <u>出しに</u> 行かなければなりません。	自他 *シニ /-テ形
5691	韓国 9 聴解要約 2	そして、大家さんの住まいへ <u>行て</u> 、 <u>あみやげ</u> のはしを <u>上げて</u> 、つめたい水をのみながら、りょこうの話をした。	1,2表記 発音 3テ形 * テ形 /-テカラ
5692	韓国 9 聴解要約 6	太郎さんの家へ帰った <u>とき</u> 、かとうさんがおふろから出たあと、ヤンさんがおふろに入った。	接 *トキ /-テ形
5693	韓国 10 自由作文 4	いま <u>考えて</u> 、その時の生活が大変なつかしいです。	接 *テ形 /-ト
5694	韓国 13 聴解要約 5	秋葉原の <u>どの点</u> にで CASSETTERADIO を <u>買</u> <u>いって</u> <u>価格が高い</u> <u>ですから</u> <u>思いました</u> 。	1表記 N 2発音 格 * ニで /-Oで 3活用 接 条件 *テ形 /-テ モ
5695	韓国 13 聴解要約 12	家へ <u>帰え</u> <u>って</u> 同じカセットが <u>あり</u> <u>ます</u> 。	1表記 接 *テ形 /-ト 2*ル /-タ
5696	韓国 13 パターン作文 8	先生が <u>はな</u> <u>して</u> よくわかりません。	接(*テ形)
5697	韓国 15 自由作文 8	それで日本留学 に <u>決心</u> <u>して</u> 、今は教える立場では <u>なく</u> <u>て</u> <u>習う立場</u> <u>で</u> <u>いっしょけんめい</u> <u>勉強</u> <u>して</u> <u>います</u> 。	1格 *ニ /-ヲ 2接 * テ形 /-連用形 3発音
5698	韓国 22 自由作文 11	だから私は毎日朝 <u>おき</u> <u>る</u> から <u>ね</u> <u>て</u> <u>前</u> <u>まで</u> <u>日本語</u> <u>会</u> <u>話</u> <u>カ</u> <u>サ</u> <u>ー</u> <u>ト</u> <u>を</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1*ル /-テ形 2*テ形 / -ル 3-ノ連 4 N 発音
5699	韓国 30 自由作文 3	この映画は、私が見た映画の中で一番いい映画 <u>じゃ</u> <u>なく</u> <u>て</u> 、しかし、この映画の内容はとても <u>私</u> <u>に</u> <u>感</u> <u>動</u> <u>さ</u> <u>せ</u> <u>た</u> 。	1接 *テ形 /-ガ 2使 役 表現 VP
5700	韓国 31 自由作文 11	もし 4年の大学をおわっ <u>たら</u> 、国へ帰ると日本語の先生になることもできます。	1接 条件 *タラ /-テ 形
5701	韓国 32 自由作文 4	というのは、日本は今世界で商業と工業が発達している国で、今父の経営方法は私に <u>対</u> <u>して</u> <u>今</u> <u>の</u> <u>競</u> <u>争</u> <u>が</u> <u>ひ</u> <u>ど</u> <u>い</u> <u>業</u> <u>界</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> 、もっと新しい商業知識を身につけなければ <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> からです。	1ト ッテ 2セツ *テ形 / -連用形 3 スタイ ル
5702	ブラジル 1 聴解要約 9	かとうさんの <u>家</u> <u>方</u> <u>で</u> <u>つ</u> <u>だ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	3テ形 1N 4-受給 2 格 *O /-ガ
5703	ブラジル 2 聴解要約 2	やんさんはりょこうから <u>か</u> <u>え</u> <u>て</u> 。	発音 *テ形 /-タ
5704	ブラジル 2 自由作文 2	がいこくからブラジルに <u>旅</u> <u>行</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>ず</u> <u>バ</u> <u>イ</u> <u>ア</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1接 *テ形 /-ト 2ス スタイル
5705	アメリカ 1 自由作文 6	<u>利</u> <u>用</u> <u>法</u> <u>も</u> <u>大</u> <u>都</u> <u>市</u> <u>に</u> <u>人</u> <u>口</u> <u>は</u> <u>集</u> <u>中</u> <u>し</u> 、 <u>交</u> <u>通</u> <u>渋</u> <u>滞</u> <u>悪</u> <u>ど</u> <u>い</u> <u>し</u> 、 <u>大</u> <u>気</u> <u>の</u> <u>よ</u> <u>ご</u> <u>れ</u> <u>や</u> <u>も</u> <u>わ</u> <u>る</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>起</u> <u>こ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	1N 2取立 *ハ /-ガ 3格 *O /-ガ 4A 6* テ形 7名詞節 5並N *ヤも /-Oも
5706	アメリカ 1 自由作文 10	<u>そ</u> <u>の</u> <u>上</u> 、日本と南米とを比較してみると、日本のほうが <u>国</u> <u>土</u> <u>が</u> <u>不</u> <u>足</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> し <u>住</u> <u>宅</u> <u>も</u> <u>せ</u> <u>ま</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>だ</u> <u>が</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>は</u> <u>そ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>き</u> <u>び</u> <u>し</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>る</u> 。	1副用 2接 *テ形 3* ダガ

5707	アメリカ 1 自由作文 16	日本では大都市の周辺部 ⁽¹⁾ 人口増加のスピードがゆるく ⁽²⁾ な ⁽³⁾ って、その周辺部で人口がだんだん増加している。	1-ノ連 2-テイル 接 *テ形 3名詞節 格 -にタイシテ
5708	アメリカ 2 自由作文 4	去年、イスラエルのエルサレムのヘブライ大学 ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ 留学 ⁽³⁾ して 来年の二月に筑波大学の入学試験を受ける ⁽¹⁾ つまり ⁽²⁾ です。	1格 *デ/-ニ 2接 * テ形 /-タ 3発音
5709	アメリカ 3 自由作文 7	わたしはよく ⁽¹⁾ かんが ⁽²⁾ い ⁽³⁾ って、 ⁽⁴⁾ にほんご ⁽⁵⁾ が ⁽⁶⁾ べんり ⁽⁷⁾ で、お ⁽⁸⁾ もしろい ⁽⁹⁾ からいま ⁽¹⁰⁾ いっしょ ⁽¹¹⁾ けんめい ⁽¹²⁾ べんきょう ⁽¹³⁾ しまし ⁽¹⁴⁾ ましょ ⁽¹⁵⁾ う。	1? 2発音 接 *テ形/ -ト 3取立 *ガ/ -ハ 4発音 5ムード
5710	エジプト 1 自由作文 5	趣味は ⁽¹⁾ ジギング ⁽²⁾ 毎朝ジギングします。	1発音 表記 2接 *0/ -テ形
5711	インドネシア 1 自由作文 3	仕事時間は7時半から14時まで ⁽¹⁾ けれども10時半に20分 ⁽²⁾ 休 ⁽³⁾ み ⁽⁴⁾ し ⁽⁵⁾ ながら ⁽⁶⁾ お茶 ⁽⁷⁾ をのみ ⁽⁸⁾ ます。	1ダ 2品詞 *N/-V 3接 -テ形
5712	インドネシア 2 聴解要約 7	ヤんさんは飲んだあとで「どうもごちそさま」と言った、 大家さんは「お出かけですか」と ⁽¹⁾ 言 ⁽²⁾ って、「あきはば ⁽³⁾ らに行きたい」と言った。	1取立 格 *ハ/-ガ 2 接 *テ形 /-ノデ
5713	インドネシア 2 聴解要約 8	それからあきはばら ⁽¹⁾ で ⁽²⁾ テープレコーダー ⁽³⁾ を ⁽⁴⁾ 買 ⁽⁵⁾ って ⁽⁶⁾ 行 ⁽⁷⁾ つ ⁽⁸⁾ た。	1格 *デ/-へ 2VP * テ形 /-シニ
5714	タイ 1 聴解要約 4	住む ⁽¹⁾ の ⁽²⁾ ために ⁽³⁾ 不動産屋 ⁽⁴⁾ と ⁽⁵⁾ 会 ⁽⁶⁾ いま ⁽⁷⁾ した、 ⁽⁸⁾ うち ⁽⁹⁾ を ⁽¹⁰⁾ 調 ⁽¹¹⁾ べ ⁽¹²⁾ まし ⁽¹³⁾ た。	1ノ連 2接(-テ形、 一連用形) 3V
5715	香港 7 自由作文 22	つまり、彼らは自分の立場や心をはっきり ⁽¹⁾ 言 ⁽²⁾ わ ⁽³⁾ な ⁽⁴⁾ く ⁽⁵⁾ て、 相手が自分の考えを察してくれることを ⁽⁶⁾ 期 ⁽⁷⁾ 待 ⁽⁸⁾ する。	1N 2テ形
5716	香港 7 自由作文 53	いつも、他人を傷つけることを避けるから、もし自分が 何か ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ き ⁽³⁾ らい ⁽⁴⁾ と ⁽⁵⁾ 直 ⁽⁶⁾ 接 ⁽⁷⁾ に ⁽⁸⁾ 言 ⁽⁹⁾ わ ⁽¹⁰⁾ な ⁽¹¹⁾ く ⁽¹²⁾ て、 相手が察してくれるのを ⁽¹³⁾ 希 ⁽¹⁴⁾ 望 ⁽¹⁵⁾ する。	1接 *ト/-デモ 2テ 形 3V
5717	香港 9 短文作文 2	ヨーロッパへ旅行にいきたいが、お金が ⁽¹⁾ な ⁽²⁾ く ⁽³⁾ て、 しかた ⁽⁴⁾ が ⁽⁵⁾ な ⁽⁶⁾ い。	接 *テ形 /-カラ/ -ノデ
5718	香港 9 短文作文 4	わたしの妹はいつもむちゅうでピアノを ⁽¹⁾ ひ ⁽²⁾ い ⁽³⁾ て、 うた ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ う ⁽⁶⁾ た ⁽⁷⁾ た ⁽⁸⁾ り ⁽⁹⁾ して、 宿題 ⁽¹⁰⁾ が ⁽¹¹⁾ 全 ⁽¹²⁾ 然 ⁽¹³⁾ し ⁽¹⁴⁾ ま ⁽¹⁵⁾ せ ⁽¹⁶⁾ ん。	2格 *ガ/-ヲ 1並V *テ形 /-タリ
5719	香港 9 短文作文 5	ごごはお客さま ⁽¹⁾ い ⁽²⁾ え ⁽³⁾ へ ⁽⁴⁾ き ⁽⁵⁾ て、 は ⁽⁶⁾ は ⁽⁷⁾ は ⁽⁸⁾ わ ⁽⁹⁾ ざ ⁽¹⁰⁾ わ ⁽¹¹⁾ ざ ⁽¹²⁾ お ⁽¹³⁾ ち ⁽¹⁴⁾ そ ⁽¹⁵⁾ う ⁽¹⁶⁾ を ⁽¹⁷⁾ つ ⁽¹⁸⁾ く ⁽¹⁹⁾ て。	1格 *0/-ガ 2N 3 活用 *テ形 /-タ
5720	香港 15 短文作文 15	彼は英語も、フランス語も ⁽¹⁾ ス ⁽²⁾ プ ⁽³⁾ ン ⁽⁴⁾ 語 ⁽⁵⁾ も ⁽⁶⁾ し ⁽⁷⁾ て ⁽⁸⁾ い ⁽⁹⁾ て、 海外 ⁽¹⁰⁾ へ ⁽¹¹⁾ 旅 ⁽¹²⁾ 行 ⁽¹³⁾ は ⁽¹⁴⁾ 安 ⁽¹⁵⁾ 心 ⁽¹⁶⁾ で ⁽¹⁷⁾ す。	1,2発音 4ノ連 3接 * テ形 /-ノデ
5721	香港 18 短文作文 12	考えてみれば、子供の時は ⁽¹⁾ 最 ⁽²⁾ も ⁽³⁾ 楽 ⁽⁴⁾ し ⁽⁵⁾ か ⁽⁶⁾ っ ⁽⁷⁾ た ⁽⁸⁾ 好 ⁽⁹⁾ だ ⁽¹⁰⁾ 日 ⁽¹¹⁾ 子 ⁽¹²⁾ だ。	1表記 2並V *タ/ テ形 3NA 4N
5722	香港 19 自由作文 14	それは地理的、歴史的、文化的条件を ⁽¹⁾ 見 ⁽²⁾ て ⁽³⁾ わ ⁽⁴⁾ か ⁽⁵⁾ っ ⁽⁶⁾ て ⁽⁷⁾ き ⁽⁸⁾ た かもしれない。	1接 条件 *テ形 /-バ 2VP *タ/-ル ムー ド
5723	香港 19 短文作文 8	それだけ立証が ⁽¹⁾ あ ⁽²⁾ っ ⁽³⁾ て、 彼女が犯人だと思わざるを ⁽⁴⁾ え ⁽⁵⁾ な ⁽⁶⁾ い。	接 条件 *テ形 /-ト

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

5724	香港 20 短文作文 6	この証拠 <u>を</u> <u>そろって</u> 、彼女 <u>は</u> <u>真犯人</u> だと考えざるをえない。 (1) (2) (3)	2接 条件 *テ形 / ト 1格 *ヲ / ガ 3取立 *ハ / ガ
5725	香港 21 短文作文 4	彼はとても <u>ふた</u> っている <u>から</u> 、まるで豚のようです。 (1) (2)	1発音 2接 *カラ / テ形
5726	香港 21 短文作文 19	この表を見たら <u>わ</u> かって、日本人の平均寿命は <u>年</u> 年に <u>伸</u> びている。 (1) (2)	1接 *テ形 / ヨウニ 2副用
5727	香港 22 短文作文 12	考えてみれば、友達にはたいへんお世話に <u>な</u> って、この <u>い</u> い <u>住</u> み所 <u>を</u> <u>さ</u> がすことを <u>手</u> 伝いました。 (2) (3) (1)	2N 3やりもらい 1接 *テ形
5728	香港 22 短文作文 14	学校の寮に住んでいる <u>と</u> ころに、毎回家へ <u>帰</u> って <u>何</u> にも <u>ま</u> してうれしかったです。 (1) (2)	1,2接 2*テ形 / ト
5729	香港 22 短文作文 17	彼は英語ができることを <u>言</u> ってもなくて、フランス語もドイツ語も、その上 <u>ス</u> ペイン語も <u>で</u> きて、海外旅行することが <u>心</u> 配しなくてもいいです。 (1) (2) (3)	3格 *ガ / ヲ 1熟語 2接 *テ形 / ノデ
5730	香港 23 自由作文 4	これは日本人 <u>は</u> <u>漢</u> 語に <u>基</u> づく <u>自</u> 分の <u>作</u> った読み方である。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ / ガ 2- 連用形 3-テ形 4格 * ノ / デ
5731	香港 23 自由作文 11	例えば、ある人は「東名高速 <u>公</u> 路」という漢字を <u>見</u> ると、もし彼は「名」は「名古屋」つまり「ナゴヤ」の「名」である <u>こ</u> とを知っていない <u>、</u> 彼はこれは地名がわからない。 (1) (2) (3) (4)	1N 4接 条件 3取立 * ハ / ガ 2接 *ト / テ形
5732	香港 23 短文作文 14	私は妻 <u>は</u> <u>離</u> れる <u>と</u> きに、妻 <u>は</u> <u>と</u> んなに重要な <u>の</u> <u>が</u> <u>わ</u> かる。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2V 2,7*ル / タ 5発音 6名詞節 1*ハ / ト 4取立 *ハ / ガ 3接 *トキ / テ形
5733	香港 24 自由作文 12	しかも、古くからならう訓読みは一旦 <u>廃</u> 止して、一般的な人 <u>に</u> 対して、やさしいことではなさそうだ。 (1) (2)	1*テ形 名詞節 2格 * にタイシテ / トッテ
5734	香港 24 自由作文 26	それはさておき、日本の家屋の構造で <u>、</u> 部屋がしきる <u>ふ</u> すま <u>は</u> <u>あ</u> けることができ、全部を <u>あ</u> けて、家全体になる。 (1) (2) (3)	1取立 *0 / で-ハ 2格 *ガ / ヲ 3接 条件 *テ形 / ト
5735	香港 24 短文作文 6	今度の試験で、彼は十分な準備が <u>あ</u> って、たぶん努力がものを言うかもしれない。	接 *テ形 / ノデ
5736	香港 24 短文作文 19	有名な大学を <u>出</u> てばかりで、必ずしも <u>生</u> 活で出世しない。 (1) (2) (3)	1*テ形 / タ 2取立 * バカリ / ダケ 3N
5737	香港 25 短文作文 9	学校によって <u>男</u> の子が長いかみのけを <u>持</u> っては禁じられている。 (1) (2)	1取立 *0 / ハ 2V *テ形 / ル 名詞節
5738	フランス 1 自由作文 3	今までのところパリの東洋言語学院で日本語を四年間 <u>習</u> いましたが <u>卒</u> 業してから <u>コ</u> ンピュータに <u>よ</u> って <u>仏</u> 和 <u>一</u> 和 <u>仏</u> 自動翻訳 <u>を</u> やる <u>プ</u> ログラムも作りはじめました。 (1) (2) (3) (4)	1接 *ガ / 連用形 2 取立 *0 / ハ 3活 用 *テ形 / ル 体修 4*V / ノ連

5739	イラン 1 自由作文 2	ヨーロッパの生活と日本の生活の相違はいろいろありますが、まず、ヨーロッパで <u>物価はあまりたかくなくて</u> 、 <u>とちがって</u> 日本で <u>物価はたかくて</u> 、 <u>これに対して</u> <u>きゅうりょうはひくいである</u> 。	1,4取立 *0 /でー ハ 2接 *テ形 /ー連用 形 3表現 5接 *テ形 6 副用 7品詞 *NA/ー A
5740	イラン 1 自由作文 11	イサハーハンのれきしは <u>古い</u> 、三千年ぐら이다。	接 ーテ形 ー連用形
5741	イラン 1 自由作文 18	日本の教育とイランの教育を比較してみると日本の制度は中国とドイツのえいきょうでイランの制度はまずフランスのあとイングランドのえいきょう <u>あった</u> 。	2VP 格 *0 /ーガ 1 接 *テ形
5742	イラン 1 自由作文 19	しかしなかではまだまだ <u>校がじゅぶんなくて</u> <u>だいぶぶんのこどもはよく教育がうけられない</u> 。	1N 2発音 4Ad 副用 3接 *テ形 /ーノデ
5743	イラン 1 自由作文 20	<u>やっぱり</u> <u>そのりょう</u> のためにイランと日本と <u>くらべて</u> <u>イランではもっと</u> <u>文盲がいる</u> 。	1,2発音 1副用 3格 * 0 /ーヲ 4接 *テ形 / ート 5Ad 副用
5744	マレーシア 1 自由作文 1	わたしはにほんへ <u>きた</u> から、いままで、もうはんとしぐらいにほんにすんでいます。	*タ /ーテ形
5745	マレーシア 1 自由作文 11	これから、にほんごをもっと <u>べんきょうして</u> の <u>ほうが</u> <u>とおもいます</u> 。	1*テ形 /ータ 2*ノ連 3ーA
5746	マレーシア 2 自由作文 3	にほんごをべんきょうを <u>してから</u> です。	接 *テ形 ー名詞節 * カラ /ータメ
5747	マレーシア 2 自由作文 18	なぜなら日本に <u>きて</u> の <u>前</u> にかんじが少しもわかりませんでした。	1*テ形 /ール 2*ノ連
5748	マレーシア 10 自由作文 4	日本は、戦争 <u>した</u> から四十年の時間 <u>だけ</u> ある。	1ーテ形 2取立 *ダケ /ーシカ
5749	マレーシア 11 自由作文 12	このごろ、 <u>人造衛星</u> を <u>つかって</u> 、 <u>それでは</u> <u>天気予報</u> がよくできる。	1複N 2接 *テ形 /ー ノデ 3C
5750	マレーシア 12 自由作文 11	私たち (他の仕事の人) も、 <u>天気の変化</u> を、 <u>準備</u> するよ うに、なります、とても、便利です。	格 *ヲ /ーにタイシ テ 接 ー連用形 ー テ形
5751	マレーシア 14 自由作文 8	例えば、学校へ行く前や会社へ行く前など雨が <u>ふるそう</u> <u>かさを持って</u> 行くくと雨がふられなくて、便利だ。	1ムード 複V 接 ー テ形 2格 *ガ /ーニ
5752	マレーシア 15 自由作文 2	それで、「盆踊り」 <u>を初めて</u> <u>きいて</u> 、それ <u>何</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>の</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>か</u> 。	1ートイウ 2接 *テ形 3取立 *0 /ーハ 4ー ノ連 5ーのだ ー疑問 節
5753	マレーシア 17 自由作文 20	もし、私が、マレーシアの首相になった <u>とき</u> 、国の政治 や経済など、 <u>きっと</u> 、 <u>進んで</u> <u>いって</u> 、 <u>なります</u> 。	2Ad 副用 3接 *テ形 VP 1条件 *トキ /ー トラ
5754	マレーシア 18 自由作文 5	日本のと違 <u>う</u> 、日本では、国民保険がついている、 <u>約八</u> <u>十パーセントの治療代</u> を返す、つまり、 <u>安い</u> だ。	1表現 接 ーテ形 2語 順 数 3品詞 *NA /ー A グ
5755	マレーシア 19 自由作文 10	もし、いつか私が <u>ほんどに</u> <u>医者に</u> <u>なって</u> 、父と母もき っと <u>喜びがる</u> でしょう。	1発音 2接 *テ形 /ー トラ 3複V

5756	マレーシア 22 自由作文 10	そんなに <u>①</u> 優れい の待遇のアルバイトを <u>②</u> みて、どうやっ て <u>③</u> も、探してみるつもりでした。	1N 2接 *テ形 /ーノ デ 3副用 接 *0も / ーデも
5757	マレーシア 23 自由作文 17	やく四十五分船が <u>①</u> 走って、美しい風景を <u>②</u> 見かけました。	1*テ形 /ー連用 2複 V
5758	マレーシア 28 自由作文 15	夜に <u>①</u> なって、父母はいつも私をつれて、親戚の家 <u>②</u> に 訪 問を <u>③</u> しました、それはとてもつまらないのですけれども、 父と母のために、行かなくてははいけません。	1接 条件 *テ形 /ート 2格 ニ /ーヲ 3格 *ヲ / ー0
5759	マレーシア 28 自由作文 22	そのあと、映画館に <u>①</u> 入って、「電子夢」という映画で、 コンピュータについておもしろいストーリーがでて来ま した。	接 *テ形 /ータ
5760	マレーシア 28 自由作文 30	今、アルバイトを一生懸命やっていると、お金をたくさ ん <u>①</u> 使って、ぜひ来年の夏休みに国へ帰ろうと思っていま す。 <u>②</u>	1*テイル /ール 接 条件 *ト /ーテ形 2 V
5761	マレーシア 29 自由作文 13	教育は非常に <u>①</u> 重要で、教育水準を高めなければなりませ ん。	*テ形
5762	マレーシア 29 自由作文 17	教育水準を高められれば、その知識と技術を <u>①</u> 使えて、国の たくさん天然資源たとえば石油や錫やゴムや木や農作物 などで <u>②</u> 利用して、工業を <u>③</u> 盛んで、進歩的な工業国にな ると思います。	1*テ形 2格 *デ /ーヲ 3VP
5763	マレーシア 29 自由作文 18	あとで商業と観光業を <u>①</u> 盛かて、世界に <u>②</u> 進歩的な国と有 名な国 <u>③</u> に <u>④</u> 遂げる つもりです。	1VP 2並 N ーテ形 3 V
5764	マレーシア 30 自由作文 17	そして、農業の研究所が <u>①</u> 必要で、たくさんの研究所を <u>②</u> 設立する と <u>③</u> 考かえています。	1*テ形 2ムード 3発 音
5765	スペイン 2 パターン作文 3	魚と人間の一番大きい違いは、魚は水の中にすんで <u>①</u> いま す、人間は土 <u>②</u> という <u>③</u> です。	1接 *ル /ーテ形 2表 現 3名詞節
5766	イラク 1 自由作文 4	文化大革命という運動が <u>①</u> 終わった 以来、経済が <u>②</u> 高速的 に <u>③</u> 発展できる <u>④</u> ために <u>⑤</u> いろいろな方針と政策 <u>⑥</u> を <u>⑦</u> 定められ た。	1接 *タ /ーテ形 3副 用 4*タメニ /ーヨウ ニ 5格 *ヲ /ーガ
5767	インド 2 自由作文 9	こたつの <u>①</u> 近くて、小さいいすがあります。	ーテ形
5768	インド 2 自由作文 10	ここですわって、テレビを <u>①</u> みて、気持ちがいいです <u>②</u> ね。 <u>③</u>	1格 *デ /ーニ 2接 * テ形 /ート 3スタイ ル
5769	インド 3 自由作文 4	せまいですが、静かで <u>①</u> ふるくて 部屋です。	*テ形 体修
5770	インド 4 自由作文 5	南西に <u>①</u> 、窓が <u>②</u> あって、南東に <u>③</u> 、ガラス戸が <u>④</u> あって、 北西に <u>⑤</u> 、戸があります。	1取立 *0 /ーハ 2接 *テ形、並 V 3取立 *0 /ーハ 4接 *テ形、 並 V 5取立 *0 /ー ハ
5771	インド 5 自由作文 4	私の部屋の <u>①</u> うえに <u>②</u> 電燈が <u>③</u> あって天井に <u>④</u> ながい木が あります。	1N 2,4取立 *0 /ー ハ 3接 *テ形

5772	インド 8 自由作文 9	たくさんものがおいてあります <u>から</u> 、ちょっとちいさすぎます。	接 *カラ/ーテ形
5773	インド 8 自由作文 15	このテーブルは、日本へ <u>きた</u> 、すぐかいました。	接 ーテ形
5774	インド 9 自由作文 18	その事をせんぱいにおしえて、彼は一万四千円の <u>屋代</u> の部屋は <u>その</u> <u>よう</u> <u>の</u> <u>だ</u> といました。	1V, 接 *テ形/ート 2N 3発音, 表記 4ム ード 5*のだ/ー0
5775	インド 25 自由作文 11	<u>学校実験</u> の前に先生はいつも私のうちに英語や数学やマレー語などを <u>おしえて</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>来</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1複N N 2*テ形 3受給 複V
5776	インド 28 自由作文 12	<u>こ</u> <u>ち</u> <u>そ</u> <u>ち</u> <u>平</u> <u>和</u> <u>の</u> <u>気</u> <u>分</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>み</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>幸</u> <u>せ</u> <u>に</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>し</u> <u>て</u> 、これは、いいことではありませんか。	1Ad コソア 2N 3カク *0/ーガ 4条件 *テ形 /ーバ
5777	インド 29 自由作文 5	非常にすばらしくて、 <u>よ</u> <u>く</u> <u>て</u> 、 <u>心</u> <u>に</u> <u>感</u> <u>動</u> <u>し</u> <u>た</u> 映画でした。	1*テ形 A 2VP 表現
5778	インド 29 自由作文 11	夜中に皆なで寝る時はおじいさんが <u>なん</u> <u>か</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>呼</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>き</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1Ad 副用 数 2*テ形 3*ダ スタイル
5779	インド 29 自由作文 15	毎日、同じ <u>の</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>を</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>も</u> <u>偉</u> <u>大</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1品詞 *ノ/ー0 体修 2*テ形 3Ad 副用 4NA
5780	インド 30 自由作文 4	都心から村までとても <u>遠</u> <u>く</u> <u>て</u> 、 <u>交</u> <u>通</u> <u>が</u> とても不便でした。	1*テ形/ー連用形 2 取立 ガ/ーモ
5781	インド 30 自由作文 11	けれども、子供が一人もいないで、 <u>さ</u> <u>び</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1接 *テ形/ーノデ 2 タ/ーテイル 3*ダ スタイル
5782	インド 35 自由作文 4	私は小学校に <u>入</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>前</u> <u>に</u> 、いつも父母に面倒をかけました。	体修 *テ形
5783	インド 36 自由作文 10	父母と私の将来のために、 <u>最</u> <u>初</u> <u>の</u> <u>感</u> <u>じ</u> <u>を</u> <u>出</u> <u>し</u> <u>て</u> 、先生の <u>ほ</u> <u>め</u> <u>る</u> <u>を</u> <u>受</u> <u>け</u> <u>て</u> 、 <u>今</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>努</u> <u>力</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。	1表現 2品詞 *V/ーN 3*テ形 4V
5784	インド 39 自由作文 10	この山の紅土は <u>屋</u> <u>を</u> <u>建</u> <u>て</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>原</u> <u>料</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1N 2*テ形/ール 3品詞(*N/ーNA)
5785	インド 40 自由作文 6	なぜなら <u>そ</u> <u>の</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>て</u> 、 <u>か</u> <u>ぜ</u> <u>が</u> <u>か</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1副用 2ーテイル 接条件 *テ形/ート 3格 *ガ/ーニ
5786	インド 40 自由作文 32	子供のころには、私にとって一番なつかしい <u>時</u> <u>光</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、できれば、もう一度そのころに <u>入</u> <u>れ</u> <u>て</u> 、これは私の願いです。	1N 2V 接 *テ形/ー複V
5787	インド 42 自由作文 2	<u>成</u> <u>功</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>が</u> 、彼女は、女優に、なりました。	1ーC 2接 *ガ/ーテ形
5788	インド 42 自由作文 3	あとで、忙しくなっ <u>た</u> <u>ら</u> 、毎日、 <u>ほ</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>家</u> <u>へ</u> <u>帰</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	1C 2接 *タラ/ーテ形 3表記 4スタイル
5789	インド 44 自由作文 24	長い <u>書</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>ち</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	*テ形 名詞節
5790	インド 46 自由作文 3	というのは、ちちは <u>工</u> <u>*</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>開</u> <u>業</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>も</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>を</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1C 2表記 3ーテ形

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

5791	インド 49 自由作文 8	そして、国の工業界は <u>原産品加工業</u> を <u>除いて</u> 、ほとんど日本の工業です。 (1) (2)	1複 N 2接 *テ形 /-ト
5792	インド 50 自由作文 6	私は広告写真について非常に <u>趣味</u> が <u>ある人</u> です、 <u>という</u> のは広告写真は商業と芸術を <u>つないで</u> いわゆる商業設計で、いま私の国には、 <u>そういう</u> <u>人才</u> はあまり <u>多くて</u> はありません。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1N 2表現 3*テ形 体修 4発音 5表記 6*テ形 7取立 *ハ/-0
5793	インド 50 自由作文 16	私はもし経営管理を勉強したら <u>台湾へ帰る</u> 将来国の経営管理を <u>発展し</u> に尽くしたいと思っています。 (1) (2)	1-テ形 2-名詞節
5794	インド 51 自由作文 4	国の経済の発展を <u>尽くす</u> ために日本へ <u>きって</u> 経済学を学ぶつもりです。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ/-ニ 2V 3発音 接 *テ形
5795	インド 52 自由作文 6	日本の経営管理のやり方は日本の経済を <u>進んで</u> ばかりでなく国民のゆとりも <u>だんだん</u> <u>あたえ</u> させています。 (1) (2) (3)	1自他 接 *テ形 /-タ 2Ad 副用 3使役
5796	インド 54 自由作文 8	李さんはあたまが <u>いい</u> 、勉強がすき <u>だった</u> 、 <u>小学生</u> 一年から五年までいつも一番という成績を持っていました。 (1) (2) (3)	1接 -テ形 2*タ /-テ形 3N
5797	フィンランド 4 自由作文 6	これから <u>入って</u> 、小さいじゅうたんは <u>は</u> ろうかにおいてあります。 (1) (2)	1条件 接 *テ形 /-ト 2取立 *ハ/-ガ
5798	フィンランド 6 自由作文 4	その時、自分で針灸を <u>勉強して</u> 、 <u>まだ</u> 少年センターでも勉強しました。 (1) (2)	1接 *テ形 /-ナガラ 2*マダ /-マタ
5799	フィンランド 8 自由作文 18	もし、私たちが注意したら、たとえば、ゆっくりねて、 <u>ストブ</u> を使って、あたたかいふくを <u>きって</u> 、 <u>良く</u> <u>食べ</u> て、あまり病気になるので、 <u>体</u> が <u>強い</u> はずです。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,2発音 表記 3接 *テ形 /-条件 4取立 *ガ /-ハ 5複 V

5.6.3. 連用形

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5800	台湾 1 自由作文 2	悠悠 <u>吹く</u> 、気持がとってもいいな。	接 *連用形 / -テ形
5801	台湾 1 パターン作文 8	季節風の影響がある <u>だから</u> 、冬は北風が <u>できる</u> 、天気 <u>お</u> <u>ち</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>寒</u> <u>い</u> 。	1接(-ノデ) 2活用 V Ad-連用形 3表記
5802	台湾 2 自由作文 9	<u>か</u> <u>ら</u> 、台南の成功大学に <u>四</u> <u>年</u> <u>間</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、軍隊に <u>二</u> <u>年</u> <u>間</u> <u>入</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、中の中原大学に <u>助</u> <u>手</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 、 <u>一</u> <u>年</u> <u>半</u> <u>間</u> <u>ぐ</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> 、日本へ留学にきた。	1C 4接(*カラ/-テカラ) 2,6格 *ニ /-デ 3-連用形 & スタイル
5803	台湾 9 自由作文 11	そして、 <u>中</u> <u>華</u> <u>民</u> <u>国</u> <u>柔</u> <u>道</u> <u>チ</u> <u>ー</u> <u>ム</u> <u>の</u> <u>選</u> <u>手</u> <u>と</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> 、国外へ <u>試</u> <u>合</u> <u>に</u> <u>参</u> <u>加</u> <u>し</u> <u>た</u> 、卒業を <u>し</u> <u>た</u> <u>ら</u> 、 <u>警</u> <u>官</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>に</u> <u>勤</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>柔</u> <u>道</u> <u>を</u> <u>教</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。	1,3-連用形 2格 *へ /-デ 4-テ形 接 *タラ/-カラ 5取立 *0 /-ハ
5804	台湾 20 自由作文 5	<u>ほ</u> <u>と</u> <u>ん</u> <u>ど</u> 、外国から原料を <u>輸</u> <u>入</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>加</u> <u>工</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、外 <u>銷</u> <u>品</u> <u>と</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>ど</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>外</u> <u>国</u> <u>へ</u> <u>輸</u> <u>出</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1Ad 2接 *テ形 /-連用形 3複 N 4複用
5805	台湾 22 自由作文 13	午後2時に向こうへ行行ってすぐホテルに <u>入</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>少</u> <u>し</u> <u>休</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>温</u> <u>泉</u> <u>へ</u> <u>入</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	*テ形 /-連用
5806	中国 10 自由作文 4	こんな競争の激しい経済大国の人々はロボットのように <u>働</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>が</u> <u>ら</u> 、一分一秒も大切にしているのにかたく <u>る</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>さ</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>時</u> <u>間</u> <u>が</u> <u>か</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>思</u> <u>わ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>不</u> <u>思</u> <u>議</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1接 *ナガラ/-連用形 2格 *ニ /-デ 3不定 4取立 *モ /-ハ 5取立 *ハ /-ニ
5807	中国 16 自由作文 8	今、私は日本にいて、こちらに <u>生</u> <u>活</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>人</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>と</u> <u>ち</u> <u>か</u> <u>つ</u> <u>ぐ</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	1格 *ニ /-デ 2*テ形 /-連用形 3並 V 4副用 5発音 6名詞節 -コト
5808	中国 16 自由作文 15	私は日本が <u>世</u> <u>界</u> <u>中</u> <u>で</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>水</u> <u>準</u> <u>の</u> <u>高</u> <u>い</u> <u>国</u> <u>だ</u> 。	1複 N 2接 *ル /-連用形
5809	中国 19 自由作文 8	ある浮浪者が英語の新聞を見ながらトップソングを <u>聞</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>て</u> 、そばにいる犬にハンバーグをやっています。	1*テイル/ール *テ形 /-連用形 2-ノダ
5810	中国 26 自由作文 18	<u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、いちばんたいせつなことはにほんごを <u>は</u> <u>や</u> <u>く</u> <u>て</u> 、 <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ず</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1発音 2接 *テ形 /-連用形 & 一名詞節
5811	中国 52 自由作文 13	日本語の中で漢字のはつおんは中国と同じではありません <u>が</u> 、なかなかおぼえられません。	接 *ガ /-連用形
5812	韓国 4 自由作文 4	日本の場合は約120年前の明治維新で世界の新しい文 <u>物</u> <u>を</u> <u>流</u> <u>入</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>て</u> <u>近</u> <u>代</u> <u>化</u> <u>に</u> <u>成</u> <u>功</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>現</u> <u>在</u> <u>の</u> <u>経</u> <u>済</u> <u>発</u> <u>展</u> <u>を</u> <u>成</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	2自他 1格 *ヲ /-ガ 4*テ形 /-連用形 3発音
5813	韓国 4 自由作文 11	海ではさまざまのとりが <u>と</u> <u>ん</u> <u>で</u> 、海の水はあおく、きれいでした。	*テ形 /-連用形
5814	韓国 9 自由作文 7	しかし、私の国では昔から今まで大なり小なりのせんそうがあったので今は全部では <u>な</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>一</u> <u>部</u> <u>分</u> <u>が</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。	2取立 -シカ 1接 *ガ /-連用形

5815	韓国 12 パターン作文 1	学園都市と他の都市 <u>が</u> <u>一番</u> <u>違いは</u> 、学園都市は前もつて都市計画が <u>できる</u> <u>、</u> 他の都市は自然発生に <u>なる</u> ことです。 (1) (2) (3) (4) (5)	1ノ連 2品詞 3発音 一受身 4接 一にタイ シテ/ーガ/ー連用形 5V *ル/ーテイル
5816	韓国 15 自由作文 8	それで日本留学 に <u>決心して</u> 、今は教える立場では <u>なく</u> て習う立場で <u>いっしょけんめい</u> 勉強しています。 (1) (2) (3)	1格 *ニ/ーヲ 2接 * テ形/ー連用形 3発音
5817	韓国 32 自由作文 4	というのは、日本は今世界で商業と工業が発達している国で、今父の経営方法は私に <u>対して</u> 今の競争がひどい業界に <u>あわなくて</u> 、もっと新しい商業知識を身につけなければ <u>なりません</u> からです。 (1) (2) (3)	1トッテ 2セツ *テ形 /ー連用形 3スタイル
5818	アメリカ 1 自由作文 15	一つは生れたふるさと <u>と</u> 二ばんめは青春時代のふるさとです。	ーダ 接 一連用形
5819	インドネシア 2 パターン作文 4	なぜか、たぶんそれはインドネシアの国のほうが <u>多きい</u> で、 <u>人口</u> もいろいろ <u>であり</u> 、日本の人口 <u>が</u> <u>一つだけ</u> 日本人だからインドネシアの人口のほうが日本の人口 <u>よ</u> うり <u>多きい</u> だ と思います。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1C 2A 活用 3N 4接 *連用形/ーガ 5取立 *ガ/ーハ 6数 8品詞 *NA/ーA 7発音
5820	タイ 1 聴解要約 4	住む <u>の</u> <u>ために</u> 不動産屋と <u>会</u> いました、うちを調べました。 (1) (23)	1ノ連 2接(一テ形、 一連用形) 3V
5821	香港 16 短文作文 11	おおきい家と <u>いって</u> 、私は小さいとき、よくある <u>親族</u> の家へ遊びに <u>いき</u> 、この家はおもしろかったです。 (1) (2) (3)	1表現 2N 3接 *ル/ ータ *連用形/ーガ
5822	香港 23 自由作文 4	これは日本人 <u>は</u> 漢語に <u>基づく</u> <u>自分</u> <u>の</u> 作った読み方である。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2ー 連用形 3ーテ形 4格 * ノ/ーデ
5823	フランス 1 自由作文 3	今までのところパリの東洋言語学院で日本語を四年間 <u>習</u> いましたが <u>卒業</u> してから <u>コンピュータ</u> に <u>よって</u> <u>仏和</u> 一和仏自動翻訳 <u>をやる</u> プログラムも作りはじめました。 (1) (2) (3) (4)	1接 *ガ /ー連用形 2 取立 *O /ーハ 3活用 *テ形 /ール 体修 4*V /ーノ連
5824	イラン 1 自由作文 2	ヨーロッパの生活と日本の生活の相違はいろいろありますが、まず、ヨーロッパで <u>物価</u> はあまりたかく <u>なくて</u> 、 <u>とちがって</u> 日本で <u>物価</u> は <u>たかくて</u> 、 <u>これ</u> に <u>対し</u> て <u>きゅうり</u> ようは <u>ひくい</u> である。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1,4取立で*O/でー ハ 2接 *テ形/ー連用 形 3表現 5接 *テ形 6 副用 7品詞 *NA/ー A
5825	イラン 1 自由作文 11	イサハーハンのれきしは <u>古い</u> 、三千年ぐら이다。	接 一テ形 一連用形
5826	マレーシア 12 自由作文 11	私たち (他の仕事の人) も、 <u>天気</u> の <u>変化</u> <u>を</u> 、準備するよ うに、なります、とても、便利です。	格 *ヲ /ーにタイシ テ 接 一連用形 一 テ形
5827	マレーシア 17 自由作文 17	私たち <u>、</u> <u>全部</u> は、マレーシアの庶民 <u>で</u> 、なぜ民族を <u>区別</u> <u>しますか</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *O/ーハ 2副 用 3接 *連用形 /ー ノニ 4*O /ーのだ
5828	マレーシア 18 自由作文 6	一方、日本では <u>進む</u> 医療方法、機械をよく <u>使う</u> 、 <u>とこ</u> <u>ても</u> 医療方法 <u>が</u> <u>だいたい</u> 同じだろうと思う。 (1) (2) (3) (4)	1*ル/ータ 2並N 接 一連用形 3発音 4取 立 *ガ/ーハ
5829	マレーシア 18 自由作文 7	一方、日本では <u>進む</u> な 医療方法、機械 <u>を</u> よく <u>使う</u> 、 <u>とこ</u> ても 医療方法 <u>が</u> <u>だいたい</u> 同じだろうと思う。 (1) (2) (3) (4) (5)	1品詞 *NA/ーA 2並 N 3接 一連用形 一 ノデ VP 4発音 5*ガ /ーハ 5取立

5.6.3. 連用形

5830 マレーシア 22 自由作文 24		けれども、お金が持ったら、そのうえで夏休みが暇が あったら、北海道へ旅行に行きたいと思ひます。 (1) (2) (3)	1V 接条件 *タラ/ 一連用形 2副用 3格 *ガ/一ニ
5831 マレーシア 23 自由作文 17		やく四十五分船が走って、美しい風景を見かけました。 (1) (2)	1*テ形/一連用形 2複 V
5832 マレーシア 24 自由作文 16		もし、来年は、日本の大学に 是れれば、夏休みの時、 国へ帰えらなかつたら、北海道へ、光観に行こうと思ひ ます。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ/一〇 2可 能条件 +バ/一連用 3N
5833 マレーシア 27 自由作文 8		仕事は、八月九日に 始まり、様々のことがわからなかつ た。	接 *連用形
5834 インド 30 自由作文 4		都心から村までとても 遠くて、交通が とても不便でし た。 (1) (2)	1*テ形/一連用形 2 取立 ガ/一モ
5835 インド 31 自由作文 11		もしこの様々と おもしろい 広告画が それ毎日 辛い、 心配、緊張している の 会社員に対して、助けることがあ れば、広告は私達にとって大切なものである。 (1) (2) (3) (4) (5)	1並 V *ト 体修 2N 3Ad 4一連用形 5*ノ 連

5.6.4. 動詞句の並立 [並V]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5836	台湾 2 自由作文 12	残されていた古い物はよく保存してないから、こわ <u>られたし</u> 、さらに <u>モーダン</u> の型を <u>付けた</u> 。	1,2 受身 3 自他 活用 (V) 4 並 V 5 品詞 *N / -NA 6 VP -テイル
5837	台湾 20 自由作文 15	自分の理想を実現 <u>とか</u> 、通産大臣に <u>する</u> ために、これ から、もっと一生懸命、勉強しようと決心しました。	1 並 V *トカ/タリ 2 V
5838	台湾 23 自由作文 11	しかし、お金がたくさん <u>出た</u> 、勉強も全然しなかったか ら心配 <u>でしょう</u> 。	1 並 V *0 / -シ 2 -タ
5839	中国 8 自由作文 4	日本に来てから、私は大学院に入りたい <u>し</u> ので、筑波大 学の研究生になりました。	並 V *シ / -0
5840	中国 10 自由作文 14	それで、あなたのことも <u>言わないで</u> 、わたしのことも <u>言わないで</u> 季節の話しをすることになったのかもしれま せん。	並 V *テ形 / -シ
5841	中国 12 自由作文 19	日本の警察官は皆 <u>きびしい</u> 、まじめだと思います。	並 V -シ
5842	中国 14 自由作文 20	これはお互いに譲り合う気持ちがたりない <u>、</u> 知識水準 があまり高くないという <u>わけである</u> と思います。	1 並 V -シ 2 N 3 *ダ
5843	中国 16 自由作文 8	今、私は日本にいて、こちらに生活 <u>して</u> 、勉強 <u>してい</u> <u>ろ</u> いる人 <u>にあって</u> 、 <u>もっと</u> 日本と <u>ちかづく</u> <u>になりま</u> <u>した</u> 。	1 格 *ニ / -デ 2 *テ形 / -連用形 3 並 V 4 副用 5 発音 6 名詞節 -コト
5844	中国 18 自由作文 14	車 <u>が</u> 多いけれど、運転手は <u>ほとんど</u> 道を渡る人を見る と <u>さける</u> または <u>止まる</u> ことが多いです。	1 取立 *ガ / -ハ 2 語順 3 並 V -タリ 4 C
5845	中国 26 自由作文 3	ひらかな <u>は</u> にほんごの <u>はすおん</u> <u>が</u> 、かたかなはちゅう ごくごと <u>にて</u> いるじです。	1,2 発音 3 並 V *ガ / -テ形, -ダ
5846	中国 37 自由作文 12	まなび <u>もう</u> さんかげつぐらい <u>に</u> ほんごもたくさんおぼえ ましたが <u>テレビ</u> と <u>しんぶん</u> を <u>よみう</u> <u>とき</u> <u>まだ</u> わかり ません。	1,2 語順 3 並 V *ト / -タリ 4 発音 5 取立 *0 / -ハ
5847	中国 52 自由作文 10	店で買物 <u>や</u> 、自ぶんで映画館で映画をみたり、新宿で あそんだり <u>こと</u> がいくどもできました。	1 -V 2 並 V 3 -V
5848	韓国 9 自由作文 6	歴史 <u>あ</u> っ て 以来 <u>いろん</u> な 国家が <u>成立</u> したり、 <u>なくな</u> <u>た</u> から <u>いろい</u> ろ ところ <u>に</u> ふるい 町がある。	2 並 V -タリ 1 V
5849	アメリカ 1 聴解要約 4	大家さんと奥さんと <u>いっし</u> ょう <u>に</u> むぎ茶を飲んだり、写 真を見たり、 <u>旅行</u> 語 <u>を</u> <u>し</u> た。	1 表記 発音 2 N 3 並 V *0 / -タリ
5850	アメリカ 1 パターン作文 8	先生とか親から子どもに「勉強を <u>しな</u> さい」と「それし ないで」と <u>言</u> られます。	1 並 V (*ト / -トカ) 2 活用
5851	エジプト 1 自由作文 2	1981年 <u>カ</u> イロ大学日本語日本文学科を卒業して から <u>通</u> 訳と <u>翻</u> 訳を <u>や</u> りましたけどその時日本語が下手で したので <u>簡</u> 単な日本語をアラビア語に通訳した <u>し</u> アラビア 語のやさしい会話を日本語に直して <u>いま</u> した。	1 格 *0 / -ニ 2 並 V *シ / -タリ

5852	香港 9 短文作文 4	わたしの妹はいつもむちゅうでピアノをひいて、うたをうたったりして、宿題が全然しません。	2格 *ガ/ーヲ 1並V *テ形/ータリ
5853	香港 18 短文作文 12	考えてみれば、子供の時は <u>最</u> も <u>楽</u> しかった <u>好</u> だ <u>日</u> 子だ。	1表記 2並V *タ/ー テ形 3NA 4N
5854	香港 24 自由作文 29	そして、「うち」と「そと」の観念のために、「国」は日本を <u>指</u> し、「外国」はほかの国 <u>で</u> ある。	1接 2並V 3-のだ
5855	マレーシア 4 自由作文 3	オーオラというのは、体が大きく、長い <u>し</u> 、不気味な姿をしている動物です。	並V
5856	マレーシア 12 自由作文 3	天気は、農民が、農業をする時、雨がつづいて、 <u>ふ</u> ると <u>か</u> 、 <u>全</u> 然 <u>ふ</u> らないと <u>か</u> 、農民は農産物を <u>し</u> ません。	1並V *トカ/ータリ 2接 -条件 3V
5857	マレーシア 14 自由作文 5	いつ <u>か</u> 晴れや雨などがわからないととても困る。	1*疑問節 2並V
5858	マレーシア 16 自由作文 14	それから、もし先生の間 <u>に</u> 、感情がわるければ、よく <u>せ</u> める <u>と</u> か解雇をします。	1-ノ連 2並V *トカ/ータリ
5859	マレーシア 21 自由作文 6	毎日 <u>に</u> 日本語の本を読んでたくさんのわからない言葉があったからいつも <u>読</u> み方を <u>し</u> らべてあとで意味を <u>し</u> らべて大変なことである。	1格 *ニ/ーヲ 2並V
5860	インド 4 自由作文 5	南西に <u>窓</u> が <u>あ</u> って、南東に <u>ガ</u> ラス戸が <u>あ</u> って、北西に <u>戸</u> が <u>あ</u> ります。	1取立 *ヲ/ーハ 2接 *テ形、並V 3取立 *ヲ/ーハ 4接 *テ形、 並V 5取立 *ヲ/ーハ
5861	インド 16 自由作文 8	そして、もっと <u>入</u> て <u>い</u> っては私の <u>寝</u> りと勉強する所です。	1活用(V) 2-名詞節 3-並V *ト/ータリ
5862	インド 17 自由作文 18	このテレビは、 <u>よ</u> くて、 <u>や</u> すかったです。	並V *テ/ーシ *ル/タ
5863	インド 24 自由作文 26	その一畳だけのところは私が寝たり、勉強した、食べたりにしているのです。	並V
5864	インド 25 自由作文 13	<u>だ</u> から <u>ゴ</u> 先生は私にいろいろ <u>せ</u> わや親切にくれた、 <u>い</u> つも私の心に残っています。	1C *ダカラ 2並V 接 *タ/ーノテ
5865	インド 30 自由作文 8	私は、いつもおじの家へ、 <u>遊</u> んだり <u>き</u> ました。	複V 並V
5866	インド 31 自由作文 11	もしこの様々と <u>お</u> もしろい <u>広</u> 告画が <u>そ</u> れ毎日 <u>辛</u> い、心配、緊張しているの <u>会</u> 社員に対して、 <u>助</u> けることがあれば、 <u>広</u> 告は私達にとって大切なものである。	1並V *ト 体修 2N 3Ad 4-連用形 5*ノ連
5867	インド 39 自由作文 12	<u>林</u> の <u>山</u> には、おいしい <u>く</u> だものがあるし、 <u>川</u> があるし、 <u>川</u> の中 <u>に</u> 魚を <u>捕</u> るし、 <u>と</u> きどき <u>川</u> 中 <u>に</u> 泳 <u>き</u> ました。	1体修 2並V 3格 *ニ/ーデ 4並V 5複N 6格 *ニ/ーデ 7発音
5868	フィンランド 2 自由作文 7	よる勉強 <u>す</u> ると手紙を <u>か</u> く時、机を使います。	並V 接 *ト/ータリ
5869	フィンランド 5 自由作文 12	私はさびしい時音楽を <u>き</u> たり手紙を <u>か</u> きます。	1発音 2並V ータリ

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

5870	フィンランド 5 自由作文 19	私はテレビと音楽と <u>す</u> ₍₁₎ きですから、毎日音楽を <u>き</u> ₍₂₎ たり テレビを <u>み</u> ₍₃₎ ます。	1格 *0 /ーガ 2発音 3並 V ータリ
5871	フィンランド 6 自由作文 14	私が <u>ほうどん</u> ₍₁₎ と <u>そば</u> ₍₂₎ に 数字を <u>か</u> ₍₃₎ きたり、文献をしら べ <u>ま</u> ₍₄₎ しました。	1発音 2格 *ニ /ーデ 3活用 4並 V

5.6.5. 名詞句の並立 [並N]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5872	台湾 1 パターン作文 20	一番暑時は夏と秋が ⁽¹⁾ 変わる時だ。 ⁽²⁾	1表記 V 2並N *ト
5873	台湾 2 聴解要約 9	写真を見る時に「すごい」 ⁽¹⁾ て「きれいな」 ⁽²⁾ などの言葉と ⁽³⁾ ときどき言った。	3格 *ト/ーヲ 1接 *トキ/ーテ形 接 *トキ/ーナガラ 2並N *テ/ーヤ
5874	台湾 2 自由作文 6	いろんな古い城門と ⁽¹⁾ お寺があります。	並N *ト/ーヤ
5875	台湾 3 自由作文 9	教師のとき ⁽¹⁾ 、毎土曜日 ⁽²⁾ あるいは日曜日 ⁽³⁾ 、いつも生徒と一緒に台北 ⁽⁴⁾ の近い所 ⁽⁵⁾ ハイキングする、ハイキングしながら地形や地理方面の知識も生徒に教えました。	1取立 *0/ーハ 2複 N 3並N *アルイハ/ーカ 4格 *0/ーニ 5格 *ノ連 /ーニ、へ 6格 *0/ーニ、へ 7接ーテ形
5876	台湾 3 自由作文 13	更に ⁽¹⁾ 、古典の音楽をききながら、唐の詩 ⁽²⁾ 、詞 ⁽³⁾ 読むとき ⁽⁴⁾ 、感覚 ⁽⁵⁾ 一番いいと思います。	1Ad 副用 2並N *0/ーヤ 3格 *0/ーヲ 4ーノ連 5格 *0/ーガ
5877	台湾 4 自由作文 6	日本の工業デザイン ⁽¹⁾ の発展にたいする趣味 ⁽²⁾ があるので、これから、製品計画やCAD ⁽³⁾ と ⁽⁴⁾ デザイン教育を勉強するつもりである。	1N 2並N *ト/ーヤ
5878	台湾 21 自由作文 3	だから、私は ⁽¹⁾ 留学生だったら、言葉が一番基本的なものでももちろん勉強しなければならぬが、一番勉強したいことは、あの国 ⁽²⁾ の文化とか歴史 ⁽³⁾ とかの ⁽⁴⁾ ことです。	1取立 *ハ/ーガ 2コソア 3並N 4*コト
5879	中国 13 自由作文 16	寝ている人は ⁽¹⁾ 本を読んでいる人はいますが、大声で話す人は ⁽²⁾ ほとんど ⁽³⁾ いません。	1並N 2発音
5880	中国 18 自由作文 17	例えば道で車で互いに追いつく ⁽¹⁾ ことと ⁽²⁾ 人をさけないことが ⁽³⁾ 普通です。	1V 2並N *ト/ーヤ 3取立 *ガ/ーハ
5881	中国 48 自由作文 4	いままでいろいろなめいしやけいようしや ⁽¹⁾ ならったが、 ⁽²⁾ まだはなせません。	1並N 格 *ヤ/ーヲ 2スタイル
5882	中国 55 自由作文 6	まいにちにほんごの練習は ⁽¹⁾ 文法はなすと ⁽²⁾ などおさくさん ⁽³⁾ しています。 ⁽⁴⁾	1並N 2名詞節 *0/ーコト 3,4表記
5883	韓国 3 自由作文 4	私はソウルで小学校 ⁽¹⁾ や ⁽²⁾ 中学校 ⁽³⁾ や ⁽⁴⁾ 高等学校 ⁽⁵⁾ や ⁽⁶⁾ 大学校 ⁽⁷⁾ を出て今は済州道の済州大学校に勤務しています。	並N *ヤ/ート
5884	韓国 7 自由作文 3	西日本 ⁽¹⁾ は長男 ⁽²⁾ 他にも次男 ⁽³⁾ と ⁽⁴⁾ 三男と ⁽⁵⁾ 若者組 ⁽⁶⁾ に加入することができる。	1格 *0は/ーデは 2ノ連 取立 3並N *ト/ーヤ 4取立ーモ
5885	韓国 7 自由作文 7	西日本 ⁽¹⁾ は分割相続のために ⁽²⁾ 次三男 ⁽³⁾ も ⁽⁴⁾ 成員になる。	1格 *0は/ーデは 2並N
5886	韓国 18 自由作文 6	筑波大学で勉強が ⁽¹⁾ 終たら ⁽²⁾ 国へ ⁽³⁾ 帰て ⁽⁴⁾ 社会問題研究所 ⁽⁵⁾ とか ⁽⁶⁾ 家族問題研究所等 ⁽⁷⁾ で ⁽⁸⁾ つとめたいです。	1,2活用(V)表記 発音 3並N *トカ/ーヤ 4格 *デ/ーニ
5887	韓国 20 自由作文 7	ひらかなは ⁽¹⁾ かたかな ⁽²⁾ はきれいで、 ⁽³⁾ おもしろい ⁽⁴⁾ ですが、 ⁽⁵⁾ たいへん ⁽⁶⁾ むずかしい ⁽⁷⁾ でした。	1並N *ハ/ート 2発音 3活用(A)

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

5888	韓国 22 自由作文 6	私のくにの人は <u>中学校三年間高等学校三年間</u> 外国語を勉強しています。	並 N *0 / -ト
5889	韓国 31 自由作文 12	私は日本のいろいろな商業知識 <u>と</u> 社会の <u>組み</u> がならないたいです。	1並 N *ト / -ヤ 2N
5890	アメリカ 1 自由作文 4	南米 <u>と</u> 日本では、都市問題が多い <u>です</u> 。	1並 N *ト / -ヤ 2スタイル
5891	アメリカ 1 自由作文 6	<u>利用法</u> も大都市に人口は集中し、交通渋滞 <u>悪どいし</u> 、 <u>大気</u> のよごれ <u>や</u> <u>もわるく</u> <u>な</u> <u>って</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>起</u> <u>こ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>。</u>	1N 2取立 *ハ / -ガ 3格 *0 / -ガ 4A 6* テ形 7名詞節 5並 N *ヤも / -0も
5892	アメリカ 3 自由作文 16	このがっこうに <u>べんきょう</u> <u>や</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>だ</u> <u>ち</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u>	1並 N 2V 表現 一休
5893	エジプト 1 自由作文 1	私はカイロ大学で4年間日本語 <u>を</u> 日本文学史を勉強しました。	並 N *0 / -ト
5894	エジプト 1 自由作文 4	<u>興味</u> は音楽を聞くこと <u>で</u> テニス・サッカー・たっきゅう <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>。</u>	1N 2並 N -ヤ
5895	タイ 4 自由作文 2	バンコクにある高等学校で勉強していた時に英語に <u>プ</u> <u>ラ</u> <u>ン</u> <u>ス</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>に</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ど</u> <u>も</u> <u>チ</u> <u>ュ</u> <u>ラ</u> <u>ロ</u> <u>ン</u> <u>コ</u> <u>ン</u> <u>大</u> <u>学</u> <u>に</u> <u>入</u> <u>学</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>と</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>に</u> <u>興</u> <u>味</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>四</u> <u>年</u> <u>間</u> <u>に</u> <u>専</u> <u>攻</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>を</u> <u>決</u> <u>め</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u>	1並 N 2発音 表記 3 副用 数 4名詞節 *ノ / -コト 5格 *ヲ / - ニ
5896	香港 7 自由作文 15	飼主の家族 <u>を</u> 、周囲の人物とそこにおこるさまざまな事件が猫の目をとおして、風刺的な滑稽味あるストーリーで語られている。	並 N *0 / -ヤ
5897	香港 21 短文作文 17	彼は英語 <u>が</u> <u>も</u> <u>ち</u> <u>ろ</u> <u>ん</u> 、フランス語にドイツ語 <u>か</u> <u>ス</u> <u>ペ</u> <u>ー</u> <u>ン</u> <u>語</u> <u>も</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、外国へ旅行することは問題 <u>が</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>。</u>	3表記 2並 N 1取立 * ガ / -ハ
5898	マレーシア 11 自由作文 6	<u>そ</u> <u>し</u> <u>て</u> 、仕事する時 <u>か</u> 、出かける時 <u>か</u> 、何も <u>心</u> <u>配</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>。</u>	1C 2並 N *カ / -ヤ 3V
5899	マレーシア 11 自由作文 10	<u>そ</u> <u>し</u> <u>て</u> 、飛行機の着陸すること <u>と</u> 農業をすることも天気の変化とよく関係がある。	1C 2並 N ト / -ヤ
5900	マレーシア 12 自由作文 1	私たち <u>は</u> 、いつも、テレビの放送で、天気予報をみます、また、 <u>新</u> <u>聞</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>雑</u> <u>誌</u> <u>で</u> 、天気予報 <u>も</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>。</u>	1取立 *0 / -ハ 2並 N *ト / -ヤ ートカ 3格 *デ / -ニ *0 / - モ 4格 *モ / -ハ
5901	マレーシア 18 自由作文 6	一方、日本では <u>進</u> <u>む</u> <u>医</u> <u>療</u> <u>方</u> <u>法</u> 、機械をよく <u>使</u> <u>う</u> 、 <u>と</u> <u>こ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>医</u> <u>療</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>が</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>う</u> <u>。</u>	1*ル / -タ 2並 N 接 一連用形 3発音 4取 立 *ガ / -ハ
5902	マレーシア 18 自由作文 7	一方、日本では <u>進</u> <u>む</u> <u>な</u> <u>医</u> <u>療</u> <u>方</u> <u>法</u> 、 <u>機</u> <u>械</u> <u>を</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>使</u> <u>う</u> 、 <u>と</u> <u>こ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>医</u> <u>療</u> <u>方</u> <u>法</u> <u>が</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>同</u> <u>じ</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>う</u> <u>。</u>	1品詞 *NA / -A 2並 N 3接 一連用形 一 ノデ VP 4発音 5*ガ / -ハ 5取立
5903	マレーシア 27 自由作文 19	休みの間、仕事をして、ほかのことは <u>わ</u> <u>す</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>け</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> 、宿題 <u>か</u> 、大学入学試験の準備 <u>を</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>。</u>	1取立 *0 / -ハ 2並 N *カ / -ヤ 3*ル / -タ

5.6.5. 名詞句の並立 [並N]

5904	マレーシア 29 自由作文 18	あとで商業と観光業を <u>盛</u> かて、世界に <u>進</u> 歩的な国と有名な国に <u>遂</u> げるつもりです。 (1) (2) (3)	1VP 2並N -テ形 3 V
5905	ナイジェリア 1 パターン作文 3	どうぶつと人間のサラダの違いは、どうぶつのサラダがサラダの油と <u>い</u> ろいろな <u>え</u> いよ <u>使</u> わないということです。 (1) (2) (3)	1並N *ト/-ヤ 2表 記 3格 *0/-ヲ
5906	イギリス 1 自由作文 3	お茶くみと <u>コ</u> ピーをする女の人 <u>は</u> <u>OL</u> と言います。 (1) (2)	1並N *ト/-ヤ 2取 立 *ハ/-ヲ
5907	インド 3 自由作文 9	本ばこのうゑに <u>電</u> 気スタンドが <u>お</u> いてあると <u>テ</u> レビがあります。 (1) (2) (3)	並N
5908	インド 5 自由作文 3	私の部屋 <u>中</u> に <u>テ</u> レビと <u>机</u> と <u>い</u> す <u>本</u> ば <u>こ</u> と <u>じ</u> ゅうたん <u>と</u> <u>ベ</u> ッドなどがあります。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1-ノ連 2取立 *0/ -ハ 3,4,6,7並N *ト /-ヤ 5取立 *0/- ヤ
5909	インド 31 自由作文 5	私たちが毎日 <u>見</u> た <u>の</u> <u>テ</u> レビ、 <u>新</u> 聞、 <u>雑</u> 誌 <u>と</u> <u>毎</u> 日 <u>通</u> った <u>商</u> 店街、 <u>駅</u> 、 <u>デ</u> パートなどに <u>確</u> か <u>広</u> 告というものが <u>入</u> り込んでいる。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,4*タ/-テイル 2* ノ連 3並N *ト/-ソ シテ 5Ad 副用
5910	インド 40 自由作文 21	たくさんの木 <u>と</u> <u>花</u> が <u>な</u> らんで、毎日、 <u>花</u> と木の間 <u>に</u> <u>遊</u> んで <u>い</u> った。 (1) (2) (3)	1並N *ト/-ヤ 2格 *ニ/-デ 3発音
5911	インド 52 自由作文 4	<u>近</u> い <u>ご</u> ろ <u>多</u> く <u>人</u> 事管理によって <u>問</u> 題が <u>で</u> き <u>っ</u> ているので <u>ほ</u> かの <u>人</u> 事に <u>面</u> して <u>管</u> 理 <u>と</u> <u>知</u> 識が <u>ほ</u> しいと思 <u>っ</u> ています。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1Ad 副用 2語順 副用 3複V 発音 4副用 5* にメンシテ 6並N * ト/-ヤ
5912	フィンランド 4 自由作文 18	私の部屋は狭いですから、 <u>寝</u> 室 <u>だ</u> し、 <u>居</u> 間 <u>も</u> <u>共</u> 用 <u>し</u> ています。 (1) (2) (3)	1並N 2格 *モ/-ヲ 3N

5.6.6. 副詞的連用修飾 [副用]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
5913	台湾 1 自由作文 6	台南市は <u>まった</u> 有名なことは台湾料理が一番おいしいです。 (1) (2) (3)	2発音 副用 1格 取立 *ハ/ーデ 3一名詞節
5914	台湾 1 パターン作文 14	夏、全島は <u>大大暑</u> い <u>が</u> った。 (1) (2)	2活用 *タ/ール 1副 用
5915	台湾 5 自由作文 4	あなたは <u>最近</u> の勉強と論文を書くこと <u>が</u> いかがですか？ (1) (2)	1副用 2取立 *ガ/ー ハ
5916	台湾 17 自由作文 1	<u>こうしょう</u> <u>じだいのげんざい</u> 、ひとびとはまいにち <u>きん</u> <u>ちょう</u> に <u>すご</u> します。 (1) (2)	1N 2副用
5917	台湾 17 自由作文 2	さまざまななみやくつうなど、 <u>一日ずつ</u> <u>あ</u> つま <u>って</u> ほ かの人に <u>話</u> する <u>こ</u> とができませんから、せいしんじょう (1) (2) (3) たいにえいきょう <u>さ</u> れます。	1副用 2活用(V) 3受 身
5918	台湾 17 自由作文 6	まず、その人のせいかつを <u>にん</u> しきして、しごとのしゅ (1) (2) (3) るいをしつもんしているいろいろなげんいんを <u>ま</u> せて <u>ぶ</u> んけ <u>い</u> して <u>も</u> んだいの <u>こん</u> げ <u>を</u> は <u>っ</u> けんするはず <u>で</u> す。 (4)	1V 2副用 3発音 N 4 ムード
5919	台湾 18 自由作文 9	獵人に <u>狩</u> られて、 <u>焼</u> き鳥になるという恐れがあるけれど (1) (2) (3) も、 <u>謹</u> 慎して <u>銃</u> を持っている人 <u>を</u> <u>遠</u> く離れると、大丈 夫だと思 <u>い</u> ます。	1V 2副用 3格 *モ/ ーハ
5920	台湾 19 自由作文 2	そして、利益と功名が私から <u>はず</u> れて、民衆のため <u>一</u> (1) (2) (3) 生懸命にや <u>っ</u> て、 <u>命</u> を失うほど <u>働</u> く。	1V 2格 *O /ーニ 3 副用 4複V
5921	台湾 20 自由作文 1	今日、 <u>私</u> が国の経済の具合がよくありません、もし、 (1) (2) (3) 私が通産大臣だったら、ぜひ、このような衰退する経済 状態を <u>よ</u> くにするように努力しようと思 <u>っ</u> ています。	1表記 2取立 *ガ/ー ハ 3副用
5922	台湾 20 自由作文 4	台湾は日本と <u>同</u> じような <u>資</u> 源不足の国なのです。	副用
5923	台湾 20 自由作文 7	つぎの提案を <u>出</u> して <u>参</u> 考して <u>ご</u> 覧な <u>さ</u> い。 (1) (2) (3)	1接 *テ形/ー 2副用 3スタイル 受給
5924	台湾 24 自由作文 17	深夜の <u>時</u> 間、勉強のこともわすれないように勉強して (1) (2) いました。	1格 *ノ連/ーニ 2副 用 *時間
5925	中国 6 自由作文 16	主人と一緒に <u>自</u> 分で料理をつくり、とても楽しいです。	副用
5926	中国 9 自由作文 12	<u>そ</u> の上 <u>い</u> ろいろの実験をしたり、論文を書いたりしよう と思 <u>っ</u> う。	副用
5927	中国 9 自由作文 13	<u>五</u> 年の後で、博士になるつもりだ。	副用
5928	中国 12 自由作文 18	そして <u>一</u> 生に <u>忘</u> れないほど深い印象が残されました。 (1) (2)	1副用 2可能
5929	中国 14 自由作文 19	中国では乗合バスの中で <u>本</u> 当の <u>つま</u> らないことで、或は (1) (2) (3) 席を取るため <u>で</u> けんか <u>を</u> <u>起</u> したことが時々あります。	1副用 2格 *デ/ーニ 3*タ/ール

5.6.6. 副詞的連用修飾 [副用]

5930	中国 15 自由作文 4	日本へ来る前に、「東京の人口は約一千二百万ぐらい、 <u>世界中に</u> 一の大都市で、 <u>中には</u> 、新宿が挙げられてい <u>る。</u> 」と私は <u>そういう</u> <u>噂</u> が聞いて東京に来たのだ。 _{(1,2) (3) (4) (5) (6) (7)}	1複N 2,3副用 4*テ イル/ール 5コソア 6*トイウ 7格 *ガ/ー ヲ
5931	中国 15 自由作文 8	しかし、電車があまり込んでいたため、 <u>あの人は</u> <u>やはり</u> <u>電車の中へ掛け込むの</u> <u>を</u> <u>できなかった。</u> _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1コソア 2副用 3名詞 節 -コト 4格 *ヲ/ ーガ 5VP
5932	中国 16 自由作文 8	今、私は日本にいて、 <u>こちらに</u> <u>生活して</u> 、 <u>勉強してい</u> <u>ろ</u> <u>いる人</u> <u>にあって</u> 、 <u>もっと</u> <u>日本と</u> <u>ちかづく</u> <u>に</u> <u>なりま</u> <u>した。</u> _{(1) (2) (3) (4) (5) (6)}	1格 *ニ/ーデ 2*テ形 /ー連用形 3並V 4副 用 5発音 6名詞節 - コト
5933	中国 19 自由作文 3	<u>この半年の間に</u> <u>日本で暮して</u> 、 <u>いろいろなこと</u> <u>を</u> <u>次第</u> <u>に</u> <u>わかって</u> <u>来</u> <u>ました。</u> _{(1) (2)}	1副用 2格 *ヲ/ーガ
5934	中国 25 自由作文 17	がくせいはがっこうで <u>べんきょうを</u> <u>する</u> <u>あとで</u> <u>じぶんの</u> <u>うちで</u> <u>けいぞくが</u> <u>に</u> <u>ほんごを</u> <u>べんきょう</u> <u>し</u> <u>ます。</u> _{(1) (2)}	1*ル/ータ 2副用
5935	中国 28 自由作文 9	<u>ほかの</u> <u>がくせい</u> <u>が</u> <u>じゅうはち</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>ました。</u> _(1,2)	1副用 2格 *ノ連/ー ニ
5936	中国 30 自由作文 3	<u>い</u> <u>ままで</u> <u>に</u> <u>ほんごの</u> <u>ちょっと</u> <u>すこし</u> <u>きて</u> <u>たり</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>して</u> <u>たり</u> <u>し</u> <u>ます。</u> _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1副用 2格 *ノ連/ー ヲ 3Ad 4,5活用
5937	中国 32 自由作文 10	毎日テープを使って <u>いくとも</u> <u>いくとも</u> <u>練習</u> <u>し</u> <u>ます。</u>	発音 副用
5938	中国 32 自由作文 11	<u>三ヶ月の</u> <u>あとで</u> <u>日本語が</u> <u>たんと</u> <u>ん</u> <u>上手</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>りました。</u> _{(1) (2)}	1発音 副用 2発音
5939	中国 32 自由作文 13	成績も <u>たんと</u> <u>ん</u> <u>上手</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>りました。</u> _{(1) (2)}	1発音 2副用
5940	中国 33 自由作文 8	いま、 <u>わたし</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>ほご</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さん</u> <u>し</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>と</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>は</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>せ</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>す。</u> _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1取立 *ノ/ーハ 2表 記 3*ハ/ーヲ 4 副用 5受給
5941	中国 34 自由作文 5	わたしは <u>ちゅうごく</u> <u>じん</u> <u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>に</u> <u>ほんご</u> <u>の</u> <u>かんじ</u> <u>の</u> <u>い</u> <u>み</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す。</u>	発音 表記 副用
5942	中国 36 自由作文 10	<u>ほかに</u> <u>に</u> <u>ほんご</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>くり</u> <u>つ</u> <u>だ</u> <u>い</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>り</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>い</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょ</u> <u>けん</u> <u>め</u> <u>い</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほんご</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す。</u>	副用
5943	中国 37 自由作文 7	せんせいが <u>た</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>けん</u> <u>め</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す。</u>	副用
5944	中国 37 自由作文 8	わたし <u>ま</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>けん</u> <u>め</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>べん</u> <u>き</u> <u>ょ</u> <u>う</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す。</u> _{(1) (2)}	1発音 表記 2副用
5945	中国 42 自由作文 7	<u>はじめ</u> <u>は</u> 、 <u>国際学友会</u> <u>日本語</u> <u>学校</u> <u>で</u> <u>勉強</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す。</u> _{(1,2) (3)}	1副用 2取立 *ハ/ー ニ 3*ル/ータ
5946	中国 42 自由作文 13	毎週、日本語のテストがあるから、 <u>私</u> <u>達</u> <u>は</u> <u>お</u> <u>楽</u> <u>し</u> <u>み</u> <u>に</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>勉強</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す。</u>	副用
5947	中国 43 自由作文 21	じゃ <u>こ</u> <u>こ</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>さ</u> <u>よ</u> <u>な</u> <u>ら</u> 。	副用
5948	中国 49 自由作文 13	そして、 <u>あ</u> <u>さ</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>こ</u> <u>う</u> <u>へ</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1格 *ヲ/ーノ連 2副 用 3*タ/ール

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

5949	中国 49 自由作文 15	ばんごはんをあとであしたの本 ₍₁₎₍₂₎ ようしゅう ₍₃₎₍₄₎ をします。	1格 *ヲ/ーノ連 2副 用 3格 *0/ーノ連 4 発音
5950	中国 50 自由作文 6	読み方 ₍₁₎ は又 ₍₂₎ 音読と訓読を分けます。	1格 *0/ーデ 2語順 副用
5951	中国 52 自由作文 15	わたしはこの学校を卒業したあと ₍₁₎ で、日本の ₍₂₎ 大学校に は ₍₃₎ いったいとおもっています。	1副用 2N 3発音 表 記
5952	中国 54 自由作文 22	いちねの ₍₁₎ あどでわたしの日本語はどう ₍₂₎ です か。	1発音 表記 副用 2ム ード
5953	中国 58 自由作文 13	八月のおわり ₍₁₎ とき、 ₍₂₎ 教師友だちと東京へいきました。	1副用 2複 N
5954	韓国 1 パターン作文 9	しかし日本人は ₍₁₎ たいてい ₍₂₎ 車で市街地 ₍₃₎ で入りません。	2格 *デ/ーニ 1副用
5955	韓国 4 自由作文 10	それで日本人と韓国人のそれぞれの生活水準を比べてみ ると韓国人のほうが、やはり ₍₁₎ 平均的で ₍₂₎ 劣っていると思 います。	副用
5956	韓国 7 パターン作文 3	これは ₍₁₎ べつべつの ₍₂₎ 土地の自然環境から ₍₃₎ 生られた ₍₄₎ 祭りだ と思う。	2V 1副用
5957	韓国 9 自由作文 5	楊平は冬 ₍₁₎ に ₍₂₎ さむいです。	格 取立 *ニ/ーハ 副 用
5958	韓国 13 パターン作文 13	では日本語 ₍₁₎ が ₍₂₎ ほんと ₍₃₎ むずかしいです。	1C 2取立 *ガ/ーハ 3副用
5959	韓国 17 自由作文 1	その間 ₍₁₎ なかなか ₍₂₎ ごぶさたしました。	1副用 コソア 2Ad
5960	韓国 26 自由作文 14	そして、コタツを ₍₁₎ 置 ₍₂₎ ているがわのかべに窓があるから、 屋間の時 ₍₃₎ 、いつも ₍₄₎ そんなに ₍₅₎ 明るいです。	1活用 (V) 2副用 3コ ソア
5961	韓国 26 自由作文 21	ほかに ₍₁₎ は ₍₂₎ 押し入れの中に服やかばんなどがあります。	1副用 2取立 *ハ/ー 0
5962	韓国 28 自由作文 14	ある日、家 ₍₁₎ は ₍₂₎ 火事があって、火事現場から ₍₃₎ もっとも ₍₄₎ 幼 い子どもを ₍₅₎ 救 ₍₆₎ って来た ₍₇₎ のに自分自身は ₍₈₎ 不幸に ₍₉₎ 焼かれて いた。	1取立 ハ/ーニ 2Ad 3 複 V 4副用 5*テイル
5963	韓国 35 自由作文 4	私が首相だったら ₍₁₎ 一番 ₍₂₎ やらなければならない事がありま す。	副用
5964	アメリカ 1 自由作文 10	その上 ₍₁₎ 、日本と南米とを比較してみると、日本のほうが 国土が不足しているし住宅も ₍₂₎ せまくて ₍₃₎ だが ₍₄₎ 生活はそん なきびしくないということがわかる。	1副用 2接 *テ形 3* ダガ
5965	アメリカ 2 自由作文 6	おとし名古屋 ₍₁₎ で ₍₂₎ 留学したので今年は ₍₃₎ 二第目に ₍₄₎ 日本に 来ています。	1格 *デ/ーニ 2副用 3数
5966	アメリカ 3 自由作文 10	わたしのにほんご ₍₁₎ が ₍₂₎ たぶなたで ₍₃₎ じょうずになるでしょ う。	1取立 *ガ/ーハ 2副 用
5967	アメリカ 4 自由作文 3	ところが弁護士になってから ₍₁₎ 特別な ₍₂₎ やりたいことがあり ません。	副用 活用 (NA) *ナ/ ーニ

5.6.6. 副詞的連用修飾 [副用]

5968	アメリカ 4 自由作文 9	事実上、私は <u>本当の</u> 弁護士になりたくない。 (1) (2)	1副用 2体修
5969	香港 4 自由作文 3	上に 話した交換計画は香港中文大学と日本亜細亜大学の学部生交換計画です。	副用
5970	香港 7 自由作文 27	次いて「坑夫」「三四郎」「それから」「門」など長編小説を発表した。	副用 表記
5971	香港 7 自由作文 31	晩年になるにつれて、漱石は一段と現実を直視する方向に進み、「彼岸過迄」「行人」「こころ」「道草」と、 <u>一作は一作より</u> 内へ内へと深く掘り下げられていった。 (1,2)	1N 2副用
5972	香港 8 自由作文 11	同時に 都市の経済が復興し発展して工場、事務所、土建現場は労働力を要した。	副用
5973	香港 9 短文作文 1	もう日本語は <u>一年 勉強 した</u> が、たいへんむずかしいから、なかなかじょうずにはなすことは <u>できません</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 語順 3格 取立 *ハ/ーガ 2. スタイル
5974	香港 15 短文作文 9	東京や大阪という大都会 <u>一概には</u> <u>多くの人</u> である。 (1)(2) (3)	1取立 *0/ーハ 2副用 3語順
5975	香港 16 短文作文 14	彼は <u>何にも</u> <u>まして</u> <u>たくさん</u> <u>食べて</u> <u>いて</u> 、 <u>ふと</u> <u>ってくる</u> 。 (1) (2)	1副用 2複V(*てクル/ーてイル)
5976	香港 16 短文作文 19	この表をみてわかる <u>から</u> 、日本人の平均寿命は年々 <u>増</u> <u>えて</u> <u>くる</u> 。 (1) (2)	1副用 2複V 1接 1*カラ/ーヨウニ2V
5977	香港 17 短文作文 16	先日彼にひさしぶり <u>学校</u> <u>に</u> <u>会</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。もう三年間わかれていて、 <u>言</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>み</u> <u>る</u> <u>と</u> 、彼は <u>ず</u> <u>い</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>や</u> <u>せ</u> <u>て</u> <u>来</u> <u>た</u> <u>と</u> <u>い</u> <u>う</u> <u>気</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1副用 *0/ーニ 2格 *ニ/ーデ 3熟語 4複V(*てクル/ータ)
5978	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間 <u>交</u> <u>化</u> <u>交</u> <u>流</u> <u>が</u> <u>絶</u> <u>え</u> <u>ず</u> <u>に</u> <u>行</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> 、イギリス人は <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>言</u> <u>葉</u> <u>を</u> <u>English</u> <u>の</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>NationalLanguage</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>う</u> <u>の</u> <u>は</u> 、日本人の、閉塞性と <u>極</u> <u>端</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>対</u> <u>照</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 ーデ N 発音 2副用 3活用 5 語順 4取立 *ハ/ーガ 6NA 品詞
5979	香港 20 短文作文 1	長江を初めとして、中国に <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>長</u> <u>い</u> <u>川</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1)(2)	1取立 に*0/にーハ 2副用
5980	香港 20 短文作文 9	きのう <u>何</u> <u>気</u> <u>な</u> <u>く</u> この特効薬を飲んでしまって、 <u>な</u> <u>ど</u> <u>が</u> <u>たい</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>痛</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	2発音 1副用
5981	香港 21 短文作文 15	彼らの要求は <u>一</u> <u>体</u> <u>に</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>か</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3)	3不定詞 2副用 1取立 *ハ/ーガ
5982	香港 21 短文作文 19	この表を見たら <u>わ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、日本人の平均寿命は <u>年</u> <u>年</u> <u>に</u> <u>伸</u> <u>び</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1接 *テ形/ーヨウニ 2副用
5983	香港 23 短文作文 11	今朝、学校へ <u>帰</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>に</u> 、 <u>何</u> <u>気</u> <u>な</u> <u>く</u> 林さん <u>に</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1V 2副用
5984	香港 23 短文作文 15	言語の発展は <u>そ</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1N 2副用
5985	香港 23 短文作文 17	食物が <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、なかなか <u>食</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>や</u> <u>む</u> <u>を</u> <u>え</u> <u>ず</u> <u>に</u> <u>捨</u> <u>て</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1表記 2副用
5986	香港 24 短文作文 3	美しさは <u>さ</u> <u>て</u> <u>お</u> <u>き</u> 、彼女も <u>頭</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>だ</u> <u>し</u> 、 <u>真</u> <u>の</u> <u>美</u> <u>人</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1品詞 ダ 3副用 2表現

5987	香港 24 短文作文 10	いろいろなことを考えながら、 <u>何気なく</u> 、 <u>ついに</u> 学校に <u>着いている</u> 。 (1) (2)	2C 1副用
5988	香港 25 自由作文 14	このことは標準英語の普及の同一化と <u>おなじよう</u> で <u>むずかしい</u> である。 (1) (2) (3)	1副用 活用 2品詞 3 ダ スタイル
5989	香港 25 自由作文 22	日本では「日本語学」よりも「国語学」 <u>が</u> <u>広まって</u> <u>つかう</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1ーノホウ 2副用 3格 *ガ/ーヲ 4受身
5990	香港 25 短文作文 12	物価が高いですから、 <u>それなりに</u> 一般民衆の生活が <u>困</u> るになる。 (1) (2)	1副用 2名詞節
5991	イラン 1 自由作文 2	ヨーロッパの生活と日本の生活の相違はいろいろありますが、まず、ヨーロッパで <u>物価は</u> あまりたかく <u>なくて</u> 、 <u>とちがって</u> 日本で <u>物価は</u> <u>たかくて</u> 、 <u>これに対して</u> <u>きゅうりょうは</u> <u>ひくい</u> である。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1,4取立 で*0 /でーハ 2接 *テ形/ー連用形 3表現 5接 *テ形 6副用 7品詞 *NA/ーA
5992	イラン 1 自由作文 10	芸術品もいろいろ <u>あて</u> <u>世界じゅに</u> 有名です。 (1) (2)	1発音 2副用
5993	イラン 1 自由作文 17	それに二つとも <u>いろいろな</u> <u>教育</u> から <u>えきよう</u> <u>されてい</u> る。 (1) (2) (3) (4)	2格 *カラ/ーニ 1副用 3発音 4受身
5994	イラン 1 自由作文 20	<u>やっぱり</u> <u>その</u> <u>りょう</u> のためにイランと日本と <u>くらべ</u> <u>て</u> イランでは <u>もっと</u> <u>文盲</u> がいる。 (1) (2) (3) (4) (5)	1,2発音 1副用 3格*0 /ーヲ 4接*テ形/ート 5Ad 副用
5995	マレーシア 6 自由作文 1	人間は、十七年ほど <u>の時</u> 、 <u>月へ</u> <u>行けて</u> <u>なった</u> 。 (1) (2)	1副用 2ー可能
5996	マレーシア 10 自由作文 1	去年の一月か二月かわすれてしまったんだけど、 <u>ある日</u> に、日本について、書いた本を見た。 (1) (2)	1副用 2格 *ニ/ー0
5997	マレーシア 14 自由作文 10	<u>出発している</u> <u>飛行機</u> も <u>遅く</u> <u>なった</u> <u>ほうが</u> いい。 (1) (2) (3)	1VP 2副用 3V
5998	マレーシア 16 自由作文 10	<u>その他に</u> 、「原族公民」と「非原族公民」の政策は、とても、よくない政策です。	副用
5999	マレーシア 16 自由作文 16	あるいは、できるだけ宿題を <u>減</u> って行くと、学生たちは <u>きょうみ</u> がある <u>の</u> <u>方面</u> を勉強します、 <u>そこで</u> 、 <u>もっと</u> <u>効果</u> が <u>あろう</u> <u>と</u> 思います。いろいろなゲームをしてあげます。 (1) (2) (3) (4)	1自他 2*/ノ連 2体修 3副用 4活用 (V)
6000	マレーシア 17 自由作文 11	人民は <u>ほかに</u> <u>の</u> <u>種族</u> の文化が <u>尊重</u> して <u>ください</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *ガ/ーヲ 3ムード
6001	マレーシア 17 自由作文 17	私たち <u>、</u> <u>全部</u> は、マレーシアの庶民 <u>で</u> 、なぜ民族を <u>区別</u> <u>しますか</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *0 /ーハ 2副用 3接 *連用形 /ーノニ 4*0 /ーのだ
6002	マレーシア 17 自由作文 18	もし、私が、首相になったら、せめて一か月に一回、庶民の身分で、やおやや魚屋などを訪問します、 <u>そのよう</u> に、国民の生活状態が、よくわかります。 (1)	1C 条件 副用
6003	マレーシア 18 自由作文 16	そうすれば、貧民 <u>が</u> <u>よく</u> <u>医療</u> に <u>いく</u> <u>の</u> <u>が</u> できる。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ガ/ーハ 2副用 3V 4*/ノ/ーコト
6004	マレーシア 18 自由作文 18	そして、新しい医療方法を <u>使う</u> 、看護婦の態度 <u>が</u> <u>ぜひ</u> <u>良く</u> <u>変</u> える。 (1) (2) (3)	1ー連用形 2格 *ガ/ーヲ 3副用

6022	インド 3 自由作文 3	部屋は四畳半で台所とお手洗いとおふろ <u>全部</u> があります。	副用
6023	インド 15 自由作文 19	<u>毎週</u> の土ようび掃除して、洗濯します。	副用
6024	インド 26 自由作文 19	私は <u>とって</u> <u>そんなに</u> つらい悲しみです。 (1) (2)	1取立 *ハ/-ニ 2副用
6025	インド 26 自由作文 20	彼女の明朗な態度と <u>豊か</u> の 教養と勤勉な学習態度、今までも <u>深刻に</u> 私の心の底に <u>残</u> こている。 (2) (3) (1) (4)	1品詞 *N/-NA 2格 *マデ 3副用 Ad 4発音
6026	インド 37 自由作文 6	<u>日復一日に</u> 大学が卒業前に*業論文の資料収集、一生懸命の勉強、恋人は体貼、溫柔な関愛、最後に*業論文完成しました。	副用
6027	インド 40 自由作文 5	夏の時に、汗にぬれた服は、必ずすぐぬいで、 <u>乾</u> き服 <u>を</u> きなればなりません。 (1) (2)	1副用 2体修
6028	インド 40 自由作文 6	なぜなら <u>そのままに</u> <u>きて</u> 、 <u>かぜ</u> が <u>かかり</u> やすいからです。 (1) (2) (3)	1副用 2-テイル 接条件 *テ形/-ト 3格 *ガ/-ニ
6029	インド 40 自由作文 7	<u>冬の時に</u> は、たぶんかぜが一番はやっているでしょう。	副用
6030	インド 40 自由作文 18	私は4歳 <u>まえに</u> 、高尾の近く <u>に</u> 鳥松というところに <u>住</u> んで <u>い</u> った。 (1) (2) (3)	1副用 -マデ 2格 *ニ/-ノ 3発音
6031	インド 40 自由作文 30	休みの <u>間に</u> 、 <u>ときとき</u> 友達と一緒に、竹林 <u>に</u> <u>遊</u> んで <u>い</u> た。 (1) (2) (3) (4)	1副用 2発音 3格 *ニ/-デ 4発音
6032	インド 41 自由作文 14	今まで、そのたこはまだ家においてある。	副用
6033	インド 45 自由作文 7	昨年、 <u>この頃</u> 、先生と家族などの <u>強</u> く励してくれて、 <u>食品工業化学</u> を学ぼうと決心しました。 (1) (2)	1副用 2格 *ノ/-ガ
6034	インド 46 自由作文 8	<u>近況</u> 、日本 <u>について</u> 、この方面の発展はきわめて <u>進</u> 歩 <u>し</u> ています。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *ニツイテ /-デ 取立 *0/-ハ 3V
6035	インド 52 自由作文 3	<u>というのは</u> 、私の国 <u>に</u> <u>まだ</u> <u>注</u> 目されなくて <u>ほとん</u> ど <u>ア</u> メリカから伝えられました。 (1) (2) (3) (4)	1副用 2格 *で0/-でハ 3複 V 4Ad 副用
6036	インド 52 自由作文 5	その点は、日本の <u>科学管理制度</u> は日本の経済 <u>に</u> <u>猛</u> 進させていて <u>世界の中</u> で <u>経済</u> 大国 <u>に</u> なっています。 (1) (2) (3) (4)	1複 N 2格 *ニ/-ヲ 3副用 4VP
6037	インド 52 自由作文 8	私は日本で勉強した知識ややり方を <u>も</u> って <u>国へ</u> 帰って <u>会</u> 社に <u>入</u> る <u>時</u> に <u>少</u> くなく <u>会</u> 社の人事管理と経済発展に役 <u>に</u> <u>だ</u> つたらうと思っています。 (1) (2) (3)	1語順 複 V 2*ル/-タ 3副用
6038	インド 53 自由作文 5	<u>というのは</u> 国よりもっと進んでいる東の国 <u>に</u> <u>特</u> に日本の経済や商業経営を <u>習</u> ってもらいます。 (1) (2) (3)	1副用 2格 *ニ/-0 3V 受給 表現
6039	インド 53 自由作文 10	その点、日本は戦後、 <u>短</u> く <u>時間</u> で <u>快</u> 速に <u>発</u> 展し、世界 <u>に</u> <u>冠</u> たる経済力を <u>持</u> つ <u>と</u> なっています。 (1) (2) (3)	1体修 2副用 3VP 複 V

5.6.6. 副詞的連用修飾 [副用]

6040	インド 54 自由作文 2	もし、私がお金持ちになったら <u>社会には まだ</u> ⁽¹⁾ ₍₂₎ <u>たくさん</u> の苦難の人、 <u>憐れな</u> ⁽³⁾ <u>人</u> に援助して <u>あげろう</u> ⁽⁴⁾ <u>と</u> 思っています。	1ーノ連 2副用 3NA 4活用(V)
6041	インド 54 自由作文 5	もし、富豪の家庭に生れたら稚い時から何の衣食の心配 も無く、 <u>愉快なる</u> ⁽¹⁾ <u>生活</u> をする <u>、</u> ⁽²⁾ <u>一方には</u> ⁽³⁾ <u>貧困</u> の家庭 に生れたら、 <u>経済の問題</u> によって自分の理想や願望が変 わるの <u>である</u> ⁽⁴⁾ 。	1活用(NA) 2接 3副 用 4スタイル
6042	インド 54 自由作文 9	<u>その時</u> ⁽¹⁾ <u>私は</u> どんな問題が <u>あれば</u> ⁽²⁾ 、必ず、李さんに相談 しました。	1副用 2条件 *バ/ テモ
6043	インド 54 自由作文 11	<u>その時</u> ⁽¹⁾ 、母と一緒に病院へ見舞に行きました、李さんの お母さんは非常に <u>傷心</u> ⁽²⁾ と私の母に言いました。	1副用 2N
6044	インド 54 自由作文 18	<u>とにかく</u> 、私がお金持ちになったら、多く人々を救助し ようと思っています。	副用
6045	インド 55 自由作文 9	<u>もっと</u> ⁽¹⁾ <u>進歩的な</u> <u>技術</u> を外国から多く採り入れられます。	1副用 2*受身
6046	インド 55 自由作文 22	また、 <u>急速に</u> ⁽¹⁾ <u>たくさん</u> の低価の住宅を建て、 <u>一般的</u> <u>な</u> <u>国民</u> に <u>かえます</u> ⁽²⁾ 。	1副用 2NA 3V
6047	インド 55 自由作文 24	<u>それらのは</u> <u>する</u> <u>と</u> 、 <u>国民</u> が <u>どんどん</u> <u>優しく</u> ⁽²⁾ <u>の</u> <u>生活</u> <u>を</u> <u>で</u> <u>きます</u> ⁽³⁾ 。	1副用 2A 3格 *ヲ/ ーガ
6048	インド 55 自由作文 27	多元神族化国というのは、マレ系と中国系とインド系と 一緒に、 <u>公私共立</u> ⁽¹⁾ に日々を <u>過</u> ⁽²⁾ <u>ご</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1副用 2ーコト
6049	フィンランド 6 自由作文 13	<u>むちゅうな</u> <u>仕事</u> をつづけました。	品詞 *NA /ーN 格 ーデ 副用

5.6.7. 連体修飾 [体修]

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
6050	台湾 9 自由作文 8	日曜日を除いて毎日二時間の稽古が <u>あった</u> 、 <u>合宿した</u> 時毎朝一時 <u>半</u> のトレーニングに <u>なった</u> 、その厳しい 訓練を <u>練った</u> 、二段になった。	1,4-連用形 2*V - ノ連 体修 3-N 5V 連用形
6051	台湾 11 自由作文 8	あだなは人と人の <u>つきあう</u> 潤滑剤だと思うので、あだの を使うと互いにもっと親しい感じが <u>あって</u> 、友達になる ことも簡単になる。	1体修 2V
6052	台湾 12 自由作文 5	ところで、 <u>お願い</u> ことがありますので、久美子さんに手 紙をかかなければ <u>ならない</u> 。	1体修 2スタイル
6053	台湾 12 自由作文 12	ところで、 <u>お願い</u> ことがありますので、久美子さんに手 紙をかかなければ <u>ならない</u> 。	1体修 2スタイル
6054	台湾 17 自由作文 3	これはかがく <u>しんぼう</u> から <u>の</u> なやみの <u>いち</u> です。	1-ノ連 2発音 3体修 4数
6055	台湾 19 自由作文 4	人のため生き、人のため <u>しぬ</u> ということは公務員 <u>とす</u> <u>る</u> <u>私の</u> 信念です。	1格 *0 /-ニ 2V 3 体修
6056	台湾 20 自由作文 8	1、政府は力を <u>もら</u> か <u>かい</u> 各産業を <u>整</u> って <u>計</u> 劃 <u>し</u> て有 効に生産する。	1V 2体修 3表記
6057	台湾 20 自由作文 12	4、会計制度 <u>健全</u> のある <u>会社</u> に融資する。	1体修 2-ノ連 副用
6058	台湾 25 自由作文 12	そんなに <u>悲惨</u> の <u>映画</u> を <u>見た</u> 当時 <u>わたし</u> まで涙を流しま した。	1コソア 2品詞 *N / -NA 3接 *体修 / -テ形
6059	中国 2 絵を見ての作文 5	車が <u>は</u> している <u>水</u> をひっかけられています。	発音 -テ形 体修
6060	中国 3 聴解要約 1	ヤンさんと日本 <u>人</u> 々。	体修 -ノ連
6061	中国 3 聴解要約 2	大家さんと日本 <u>人</u> 々。	体修 -ノ連
6062	中国 3 聴解要約 17	タクシーを <u>お</u> りました <u>の</u> <u>とき</u> 、二回きれいな <u>方</u> を <u>会</u> <u>い</u> ました。	1スタイル 3格 *ヲ / -ニ /-ト 2ノ連 体 修
6063	中国 3 絵を見ての作文 3	車は <u>速</u> いでした <u>が</u> <u>歩</u> 道 <u>の</u> <u>中</u> に <u>歩</u> いて <u>人</u> たち <u>が</u> <u>水</u> を ひっかけ <u>れ</u> ましたね。	1スタイル 7活用 4格 *ニ /-ヲ 2接 *ガ / -カラ 3N 5 *テ形 / -体修 6取立 *ガ / -ハ
6064	中国 4 自由作文 7	いま <u>ふる</u> さとにある私が <u>4年間</u> を <u>過</u> ごした <u>コー</u> パス <u>を</u> 思うと、非常になつかしいです。	1体修 2表記 N
6065	中国 6 自由作文 8	自分で <u>習</u> う <u>の</u> <u>た</u> めに、 <u>聞</u> く <u>の</u> <u>こ</u> とは <u>特</u> 別に <u>な</u> かなか できません。	1V 2,3*ノ連 体修 4Ad 副用

6066	中国 6 自由作文 9	今度の日本語 <u>コース</u> 、私に <u>として</u> <u>単語</u> とか文法 とか <u>、</u> <u>だいじょうぶ</u> で、 <u>聞き</u> はだめで、読解は時 間 <u>は</u> なくて書くことはできません。	1V 2*ノ連 体修 3格 *トシテ /-トツテ 4,5取立 *0 /-ハ 6NA 7接 *テ形 /- ガ 8N 9取立 *ハ /- ガ
6067	中国 6 自由作文 11	専攻している <u>の</u> ことと私の発表した修士論文の内容 <u>、</u> ちょっと違う <u>です</u> 。	1*ノ連 体修 2取立 * 0 /-ハ 3*ダ
6068	中国 10 自由作文 11	ところが、サラリーマンが会社へ <u>途中</u> 、急に何か部屋に 忘れた <u>みたい</u> 、又もどってきました、 <u>又</u> おおやと廊 下で会いました。	1体修 接 2活用 3C
6069	中国 12 自由作文 14	終わった <u>頃</u> 、十一時半 <u>に</u> すぎました。	1体修 2格 *ニ /-ヲ 3*タ /-テイタ
6070	中国 12 自由作文 21	でも私はきびしい <u>の</u> ほうが <u>無責任者</u> よりいいだろうと 考えています。	1体修 *ノ連 2複N
6071	中国 18 自由作文 13	どちら <u>行</u> っても車でいっぱいです。それを見た わた し <u>が</u> この点はたぶん国 <u>の</u> 発達するにつれて増えると思 います。	1不定 2格 *0 /-へ 3表現 体修 4取立 * ガ /-ハ 5*ノ連
6072	中国 37 自由作文 3	にほんへ <u>くる</u> <u>の</u> <u>ため</u> はけいざいのべんきょうを <u>します</u> 。	1*ル /-タ 2体修 3 N 4-名詞節
6073	中国 42 自由作文 10	先生が授業 <u>の</u> とき、学生はいろいろの <u>質問</u> があります。	1体修 *ノ連 2VP
6074	中国 43 自由作文 12	いい日本語 <u>の</u> ならうところです。	1A 2体修 格 *ノ /- ヲ &語順
6075	中国 48 自由作文 12	なにをしていますか。	表現 体修
6076	中国 48 自由作文 16	ざっしのなか <u>に</u> <u>わかりません</u> ところを <u>ともたち</u> <u>に</u> <u>つもん</u> をききます。	1格 *ニ /-ノ連 2体 修 活用 (V) 3発音 4 品詞 *N /-V
6077	韓国 4 パターン作文 2	TVを見る <u>の</u> 方が映画を見るのよりずっと便利です。	*ノ連 体修
6078	韓国 6 自由作文 3	ラジオは聞く <u>の</u> だけですがはこぶ <u>が</u> <u>便利</u> します。	1N *ノ 3品詞 *V /NA *N /-NA 2体 修 -ノ
6079	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机のうえ <u>に</u> カ セットで音楽を <u>聞</u> ます 時にヤンさんはお風呂 <u>から</u> <u>音楽</u> を聞いて歌を <u>呼</u> びました。	1格 *ニ /-ノ連 2表 記 活用 体修 -テ イル スタイル 3格 * カラ /-デ 4V
6080	韓国 9 聴解要約 3	ヤンさんは太郎さんといっしょにあきはばらへ <u>行</u> る <u>の</u> やくそくをしたと話した。	1活用 (V) 2体修
6081	韓国 13 聴解要約 6	しかし安い <u>の</u> 価格で買う。	体修 *ノ連
6082	韓国 23 自由作文 7	学校が社会人になる <u>準備段階</u> <u>が</u> なるように学校教育 の実質化を <u>実</u> 現します。	1体修 2格 *ガ /-ト 3V
6083	韓国 28 自由作文 16	彼女の善良 <u>の</u> 心を人々に知らせて <u>いた</u> 。	1品詞 *N /-NA * ノ連 体修 2*テイル /-タ

6084	韓国 29 自由作文 7	人にとって、寝る <u>の</u> よりいい方法はないと思います。	体修 *ノ連 名詞節
6085	韓国 30 自由作文 4	小蓮という映画の <u>主要人物</u> は、とても苦しい生活を <u>過</u> <u>ぎて</u> 、8才の時、 <u>かぞく</u> の生活費のために、 <u>町</u> にある 金持ちの家で <u>働</u> かなければならない。	1N 2V 3体修 AN 4*ル /ータ
6086	韓国 30 自由作文 5	そのうちに、自分で暇 <u>の</u> 時勉強した。	体修 品詞 *ノ /ーナ
6087	韓国 33 自由作文 7	今の日本は、すなわち <u>過渡期</u> だと <u>*う</u> <u>こと</u> を <u>経験</u> した ので政治の安定と豊かで <u>非常</u> にはってんしている <u>経済</u> と 社会文化保障制度に <u>な</u> った <u>と</u> 思います。	1*トイウ 2名詞節 3 V 4体修 5V
6088	ブラジル 2 自由作文 3	バイアは <u>古</u> <u>町</u> から <u>その</u> ところにたくさんきょうかい がある。	1活用(A) 体修 2ダ 3 コソア
6089	アメリカ 1 聴解要約 1	ヤンさん <u>が</u> ある <u>の</u> 日。	1格 *ガ /ーノ連 2体 修 AN
6090	アメリカ 1 聴解要約 6	そのあとヤンさんは秋葉原へ太郎 <u>と</u> <u>い</u> い <u>う</u> <u>の</u> 友だちと行 った。	表記 体修 *ノ連 /ー 0
6091	アメリカ 3 自由作文 16	この <u>が</u> <u>こ</u> うに <u>べん</u> きょうやと <u>も</u> <u>だ</u> ち <u>な</u> ど <u>が</u> <u>あ</u> ります。	1並N 2V 表現 ー 体修
6092	アメリカ 4 自由作文 2	子供の頃から私 <u>が</u> 弁護士になる <u>の</u> <u>よ</u> うな <u>目</u> 的 <u>が</u> <u>あ</u> りま した。	1取立 *ガ /ーハ 2体 修 *ノヨウナ /ート イウ
6093	アメリカ 4 自由作文 5	私の意見 <u>に</u> は <u>仕</u> 事 <u>に</u> ついて <u>分</u> 析 <u>的</u> な <u>考</u> え <u>方</u> を <u>使</u> わ <u>な</u> け れば <u>な</u> ら <u>な</u> い <u>仕</u> 事 <u>は</u> <u>一</u> 番 <u>面</u> 白 <u>い</u> と <u>満</u> 足 <u>な</u> <u>仕</u> 事 <u>で</u> す。	1格 *ニは /ーデは 2 体修 3取立 *ハ /ー ガ 4並A *ト
6094	アメリカ 4 自由作文 7	それだけではなく、アメリカでは弁護の商売は法律だ け <u>の</u> 訳ではないのです。	体修 *ノ連 /ートイ ウ
6095	アメリカ 4 自由作文 9	<u>事</u> 実上、私は <u>本</u> 当 <u>の</u> 弁護士になりたくない。	1副用 2体修
6096	インドネシア 2 聴解要約 4	やんさん <u>が</u> おじゃましますと <u>言</u> って、おくさんが <u>飲</u> み <u>物</u> を <u>も</u> って <u>来</u> る <u>飲</u> み物を飲んで、「つめたい、おいし い」と <u>言</u> った。	1格 取立 *ガ /ーハ 2 体修 3*ル /ータ
6097	インドネシア 3 自由作文 5	<u>テ</u> ョ <u>プ</u> は <u>ち</u> い <u>さ</u> い <u>の</u> <u>ま</u> ち <u>で</u> す <u>か</u> ら <u>人</u> び <u>と</u> が <u>こ</u> ん <u>で</u> い <u>る</u> <u>な</u> い <u>で</u> す。	1表記 N 2*ノ連 3体 修 否定 活用 (V)
6098	香港 6 自由作文 3	この都市化にともなう人口移動は全国の村落だけではな く、全国の都市にも <u>あ</u> た <u>え</u> た <u>影</u> 響 <u>で</u> あろう。	体修
6099	香港 6 自由作文 5	<u>首</u> <u>の</u> <u>特</u> 点 <u>は</u> 、 <u>第</u> 二 <u>次</u> 大 <u>戦</u> 以 <u>降</u> に <u>み</u> ら <u>れ</u> た、 <u>一</u> 方 <u>に</u> お <u>け</u> る <u>急</u> 成 <u>長</u> 都 <u>市</u> の <u>出</u> 現 <u>と</u> 他 <u>方</u> に <u>お</u> ける <u>衰</u> 退 <u>都</u> 市 <u>の</u> <u>簇</u> 生、 <u>す</u> な <u>わ</u> ち、 <u>都</u> 市 <u>成</u> 長 <u>格</u> 差 <u>の</u> <u>拡</u> 大 <u>で</u> ある。	1,2N 3体修
6100	香港 20 自由作文 15	「異人」は我々と異なる人だ <u>と</u> <u>考</u> え <u>。</u>	1体修 ートイウ 2ー ダ
6101	香港 24 自由作文 10	そして、日本語は二重構造の言語 <u>。</u> <u>以</u> 外 <u>に</u> 、「 <u>テ</u> レ <u>ビ</u> 型 」 <u>で</u> <u>あ</u> る。	1接 体修 ーダ 2取立 *0 /ーモ
6102	香港 26 自由作文 3	日本語は <u>深</u> さ <u>の</u> <u>文</u> 化、 <u>歴</u> 史 <u>の</u> <u>根</u> 基 <u>が</u> <u>あ</u> ります。	1体修 2N

6103	香港 26 自由作文 13	その地理的條件 <u>うえに</u> 、外国人と <u>交流機会</u> が少ない。 (1) (2)(3)	1接 *ウエ /-タメ 2 体修 -ノ連 3複N
6104	フランス 1 自由作文 3	今までのところパリの東洋言語学院で日本語を四年間 <u>習</u> <u>いましたが</u> 卒業してから <u>コンピュータによって</u> <u>仏和</u> <u>一和仏自動翻訳</u> をやる <u>プログラム</u> も作りはじめました。 (1) (2) (3) (4)	1接 *ガ /-連用形 2 取立 *0 /-ハ 3活 用 *テ形 /-ル 体修 4 *V /-ノ連
6105	マレーシア 4 自由作文 5	歩く <u>の</u> 様子は、人間のようによくゆっくり一歩ずつ歩くのと はちがっています。	体修
6106	マレーシア 16 自由作文 16	あるいは、できるだけ宿題を <u>減って</u> 行くと、学生たちは きょうみがある <u>の</u> 方面を勉強します、 <u>そこで</u> 、もっと 効果が <u>あろう</u> と思います。いろいろなゲームをしてあげ ます。 (1) (2) (3) (4)	1自他 2*ノ連 2体修 3副用 4活用 (V)
6107	マレーシア 19 自由作文 9	私の志望を <u>達する</u> <u>の</u> ために、今から、一生懸命勉強し なければなりません。 (1) (2)	1V 2体修
6108	マレーシア 20 自由作文 25	一番残念なのは、先生と一緒に東京へ本を買いに行けな かった <u>。</u>	-コト 体修
6109	マレーシア 27 自由作文 12	しかし、時々、 <u>間違い</u> こともした。	体修 *ル /-タ
6110	マレーシア 28 自由作文 11	その <u>誕生日会</u> は <u>おとなび</u> らしいでした。 (1) (2)	1複N 2体修 *ラシイ /-名詞節
6111	マレーシア 30 自由作文 5	独立のあとで、種族によって、生活水準が <u>ちがいます</u> <u>の</u> <u>問題</u> があります。	スタイル 体修 -ト イウ
6112	スペイン 2 聴解要約 3	おみやげを <u>お持ちます</u> のためである。	スタイル V 体修
6113	スペイン 2 パターン作文 14	これに対して魚はおよぐ <u>の</u> こと <u>。</u> とでも上手です。	1*ノ連 体修 2格 *0 /-ガ
6114	インド 3 自由作文 4	せまいですが、静かで <u>ふるくて</u> <u>部屋</u> です。	*テ形 体修
6115	インド 9 自由作文 6	しかし、このごろは <u>きたなくて</u> 、つゆ <u>きた</u> のために、 部屋の中 <u>虫</u> が多くなりました。 (1) (2) (3) (4)	1-複V 2格 *0 /- ガ 3*体修 4*0 /- ニ
6116	インド 18 自由作文 2	いえは人々が <u>やすみ</u> <u>の</u> ところです。 (1) (2)	1体修 2-ノ連
6117	インド 18 自由作文 7	<u>3がい</u> あるけんちくのにかいにすんでいます。	熟語 *体修
6118	インド 18 自由作文 33	私のへやから、60かい <u>ある</u> のサンシャインがみえます。	熟語 *体修
6119	インド 21 自由作文 9	まだ机がありませんが、勉強 <u>の</u> ところは <u>ごたつ</u> です。 (1) (2)	1体修 *ノ連 2発音
6120	インド 24 自由作文 37	時々、私とティアンさんが部屋 <u>。</u> 角に置いてある <u>の</u> テ ープレコーダを聞いたり、テレビを見たり、はなしたり しています。 (2)	1*0 /-ノ連 2体修 ノ連 /-0
6121	インド 24 自由作文 38	ある時、窓をあけて、下に住ん <u>る</u> いる <u>の</u> 友達 <u>。</u> 話し ます。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2? 3体修 *ノ連 /-0 4格 *0 /-ト

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

6122	インド 27 自由作文 13	しかしこれはしかたの <u>なさ</u> の ことです。	体修 品詞
6123	インド 28 自由作文 2	先先週の土曜日 <u>テレビ</u> から <u>見た</u> の 映画は本当にいい映画です。	1格 *0 /-ニ 2*カラ /-デ 3体修
6124	インド 29 自由作文 4	そのときには <u>たくさん</u> な 人々がこの映画を見に行きました。	品詞 *NA /-N 体修
6125	インド 29 自由作文 6	映画の内容はおじいさんとおよめさんと <u>ふたり</u> の生活の中でいろいろな問題 <u>を出</u> てくる という <u>映画</u> でした。	1-ノ連 2格 ヲ /-ガ 3発音 4N 体修
6126	インド 29 自由作文 15	毎日、同じ <u>の</u> 仕事を <u>や</u> って <u>あまり</u> にも <u>偉大</u> でした。	1品詞 *ノ /-0 体修 2*テ形 3Ad 副用 4NA
6127	インド 30 自由作文 15	この事 <u>、</u> 私に <u>一番</u> <u>悲</u> しかった <u>の</u> ことでした。	1取立 *0 /-ハ 2格 *に 0 /-にトッテ 3*タ /-ル 4体修
6128	インド 31 自由作文 10	なぜかという、いま工業社会と呼ばれている <u>の</u> 生活に、みんな <u>ほとんど</u> <u>毎日</u> <u>緊張</u> な気がなっている、 <u>毎日</u> <u>見た</u> のは冷たい <u>の</u> 建物、と無表情 <u>の</u> 顔。	1,6,7*ノ連 体修 2格 ニ /-デ 3発音 4VP 5*タ /-ル
6129	インド 31 自由作文 11	もしこの様々 <u>と</u> おもしろい <u>広告</u> 画が <u>それ</u> <u>毎日</u> <u>辛い</u> 、心配、緊張している <u>の</u> 会社員に対して、助けることがあれば、 <u>広告</u> は私達にとって大切なものである。	1並V *ト 体修 2N 3Ad 4-連用形 5*ノ連
6130	インド 31 自由作文 14	したがって、 <u>広告</u> が <u>多く</u> <u>の</u> 国は進歩的、 <u>現代化</u> <u>の</u> 国と呼ぶことはできるでしょう。	1,2N /-A 体修 NA
6131	インド 32 自由作文 2	太るという言葉は、ほとんどの女性にとってはこわくて、 <u>悩</u> む <u>で</u> しょう。	N 体修
6132	インド 35 自由作文 4	私は小学校に <u>入</u> って 前に、いつも父母に面倒をかけた。	体修 *テ形
6133	インド 39 自由作文 12	林の <u>山</u> には、おいしいくだものがあるし、川が <u>ある</u> し、川の中 <u>に</u> <u>魚</u> を <u>捕</u> るし、ときどき <u>川</u> 中 <u>に</u> <u>泳</u> きました。	1体修 2並V 3格 *ニ /-デ 4並V 5複N 6格 *ニ /-デ 7発音
6134	インド 40 自由作文 5	<u>夏</u> の時に、汗にぬれた服は、必ずすぐぬいで、 <u>乾</u> き <u>服</u> をきなければなりません。	1副用 2体修
6135	インド 40 自由作文 8	毎日 <u>出</u> かけ まえ、温度計を見たほうがいいと思います。	体修
6136	インド 40 自由作文 31	一回、 <u>帰</u> る <u>の</u> 時間が <u>お</u> そく <u>で</u> 、ちちにしかられた。	1体修 *ノ連 2発音
6137	インド 44 自由作文 15	昔、中国で <u>先生</u> と <u>学生</u> <u>結</u> 婚 <u>が</u> * <u>対</u> <u>5</u> <u>た</u> め です。	1取立 *0 /-ハ 2体修 3取立 *ガ /-ハ 5発音
6138	インド 44 自由作文 23	私は <u>書</u> く 一段の故事がずっと心に <u>残</u> ります。	1体修 2-テイル
6139	インド 45 自由作文 10	だから、空気汚染や、食物中毒などの <u>困</u> る 問題も少くありません。	体修
6140	インド 45 自由作文 12	でも、統一考試日 <u>近</u> づき、私は <u>何</u> <u>と</u> も <u>言</u> え <u>な</u> い <u>ゆ</u> う <u>う</u> つ <u>が</u> 始まります。	1格 *0 /-ガ 2副用 体修 3VP

5.6.7. 連体修飾 [体修]

6141	インド 50 自由作文 6	私は広告写真について非常に <u>趣味</u> が <u>ある人</u> です、とい うのは広告写真は商業と芸術を <u>つないで</u> いわゆる商業設 計で、いま私の国には、 <u>そういう</u> <u>人才</u> はあまり <u>多くて</u> は ありません。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1N 2表現 3*テ形 体 修 4発音 5表記 6*テ 形 7取立 *ハ /ー 0
6142	インド 52 自由作文 7	それを学んだり研究したりして <u>国の経済に発達してあわ せます</u> わけである。	体修 表現
6143	インド 53 自由作文 9	また日本人 <u>よく</u> <u>働き</u> <u>経神</u> をもっています。 (2) (3)	1取立 *0 /ーハ 2体 修 3N
6144	インド 53 自由作文 10	その点、日本は戦後、 <u>短く</u> <u>時間で</u> <u>快速に</u> <u>発展し</u> 、世界 に冠たる経済力を <u>持つ</u> となってきます。 (1) (2) (3)	1体修 2副用 3VP 複 V
6145	インド 53 自由作文 12	私はこれらの経済制度と日本人 <u>よく</u> <u>働き</u> <u>経神</u> の要因 を学び、将来は国の経済制度を改良したり、商業の向上 に尽くしたりしたいと思っています。 (1) (2) (3)	1ーノ連 2体修 3N
6146	フィンランド 1 自由作文 9	本当に <u>かわいいの</u> れいぞうこです。	体修 *ノ連
6147	フィンランド 2 自由作文 20	<u>わかりませんの</u> ことばは <u>時</u> <u>辞書</u> が <u>すぐ</u> しらべます。 (1) (2) (3)	1*体修 2Ad 3格 *ガ /ーデ
6148	フィンランド 8 自由作文 17	良く食べた <u>の</u> 方がいいです。	体修 *ノ連

5.6.8. 名詞節

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
6149	台湾 1 自由作文 6	台南市は <u>まった</u> 有名なことは台湾料理が一番おいしい <u>です</u> 。 (1) (2) (3)	2発音 副用 1格 取立 *ハ/ーデ 3-名詞節
6150	台湾 2 聴解要約 5	奥さんは非常に楽しくなって、 <u>なんの</u> おみやげ <u>を見</u> たかった。 (1) (2)	1不定詞 2-名詞節
6151	台湾 2 自由作文 8	都市の <u>進む</u> ことに従がって、 <u>いよいよ</u> 古い建物を保 存することが <u>できない</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ノ/ーガ 2名詞 節 *コト/ーO 3Ad 副用 4VP
6152	台湾 8 自由作文 6	仕事の <u>性質</u> は飛行機の飛行 <u>安全</u> を確保するために安 全検査を <u>執行する</u> のです。 (1) (2) (3) (4)	1N 2-ノ連 3-名詞 節 4*のだ
6153	台湾 11 自由作文 7	友達が直接私の名前を呼ぶ <u>こと</u> より、むしろ好きなあだ な <u>について</u> 、それを使うほうがいいと思う。 (1) (2)	1名詞節 *コト/ーO 2?
6154	台湾 18 自由作文 1	もし、私が鳥だったら、それは <u>どのぐらい</u> 嬉しい <u>で</u> しょう。 (1) (2)	1Ad 2-名詞節
6155	中国 5 自由作文 1	もう一つは私の趣味は文学と <u>小説</u> を読み <u>好き</u> です。 (1) (2)	1-名詞節 2NA
6156	中国 8 自由作文 7	自分の専門の勉強もできない、 <u>だから</u> 、今私の希望はま ず日本語を <u>マスターしたい</u> のです。 (1) (2) (3)	1? 2-名詞節 -コト 3*のだ
6157	中国 14 自由作文 13	それに感心しました。自分が急いで <u>という</u> から並んでい る列を割って先頭に出る <u>の</u> をする人は一回 <u>でも</u> 見たこ とがありません。 (1) (2) (3)	1*トイウ 2名詞節 * ノ/ーコト 3取立 * デも/ーOも
6158	中国 14 自由作文 21	あまり遠くない <u>の</u> 将来、人々の知識水準が高くなる <u>に</u> よって、 <u>それら</u> の人に <u>いやがれる</u> ことがだんだん 無くなる <u>と</u> 信じます。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1*ノ連 2-名詞節 3 コソア 4格 *ニ / ーガ 5活用 6複V -テ イク
6159	中国 15 自由作文 8	しかし、電車があまり込んでいたため、 <u>あの人</u> は <u>やは</u> <u>り</u> 電車の中へ <u>掛け込む</u> の <u>を</u> できなかった。 (1) (2) (3) (4) (5)	1コソア 2副用 3名詞 節 -コト 4格 *ヲ/ ーガ 5VP
6160	中国 15 自由作文 15	これから、東京に <u>暮</u> していきたい私は、 <u>ゆっくり歩</u> <u>く</u> のが、 <u>大分</u> できないでしょう。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニ/ーデ 2名詞 節 -コト 3N 4複V 5スタイル
6161	中国 16 自由作文 8	今、私は日本にいて、こちらに生活して、 <u>勉強</u> してい る <u>人</u> にあって、 <u>もっと</u> 日本と <u>ちか</u> つぐ <u>に</u> なりま した。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *ニ/ーデ 2*テ形 /ー連用形 3並V 4副 用 5発音 6名詞節 - コト
6162	中国 17 自由作文 8	日本の <u>こと</u> を見ると <u>感心</u> されたのはこれだけではあ りません。 (1) (2) (3)	1*名詞節 2条件 *ト/ ーテ形 3受身 使役
6163	中国 19 自由作文 4	たとえば浮浪者 <u>が</u> もっとも不思議だと <u>思</u> っています <u>が</u> 、どうして、 <u>経済</u> 大国の日本 <u>には</u> <u>こんな</u> に <u>たく</u> さ <u>んな</u> 浮浪者が <u>います</u> か。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1-名詞節 2格 *ガ/ ーヲ 3活用 4-ノダ 5取立 に*ハ/に-O 6品詞 *NA/ーN 7- ノダ
6164	中国 23 自由作文 11	にほんごのなかでわたしがいちばん好きな <u>かん</u> じです。	名詞節 *O /ーノ 取 立 *O /ーハ

6165	中国 26 自由作文 18	<u>だから</u> 、いちばんたいせつなことはにほんごを <u>はやくて</u> (1) (2) 、じょうずになります。	1発音 2接 *テ形/一 連用形 & 一名詞節
6166	中国 37 自由作文 3	にほんへ <u>くる</u> の <u>ため</u> は <u>けいざい</u> の <u>べんきょう</u> を <u>します</u> (1) (2) (3) (4) 。	1*ル/一タ 2体修 3N 4一名詞節
6167	中国 38 自由作文 3	にほんごの <u>べんきょう</u> <u>だから</u> です。 (1) (2)	1品詞 *N/一V 2一 名詞節 一タメ
6168	中国 38 自由作文 10	にほんごのべんきょうは <u>かく</u> や <u>きく</u> やはなしなどがお (1) (2) おいです。	1一名詞節 品詞 *N/ 一V 2一名詞節 品 詞 *N/一V
6169	中国 39 自由作文 11	にほんへきたもくてきは <u>だい</u> が <u>く</u> で <u>べんきょう</u> する <u>ため</u> です。	名詞節 一コト
6170	中国 44 自由作文 13	りゅうがくせいはいつにもほん <u>に</u> は <u>にほんご</u> の <u>べんきょ</u> (1) <u>う</u> <u>は</u> <u>いちばん</u> <u>いい</u> ことです。 (2) (3) (4)	1格 *ニは/一デは 2 一名詞節 3取立 *ハ/ 一ガ 4A
6171	中国 47 自由作文 12	<u>みち</u> <u>で</u> <u>ある</u> <u>いて</u> <u>、</u> <u>その</u> <u>ひと</u> <u>は</u> <u>むじかし</u> <u>かった</u> <u>こと</u> (1) (2) (3) (4) (5) (6) <u>が</u> <u>たす</u> <u>けて</u> <u>あげ</u> <u>ます</u> <u>た</u> <u>きは</u> <u>、</u> <u>にほんご</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>して</u> <u>つ</u> (7) (8) (9) (10) (11) <u>かう</u> <u>ます</u> 。	1,10格 *デ/一ヲ 2* 0/一テイル 3*コソ ア/一O 4取立 *ハ/ 一ガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト/一ノ 7格 *ガ/一ヲ 8スタイ ル 11VP 発音
6172	中国 49 自由作文 6	にほんごのべんきょう <u>する</u> <u>が</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>です</u> 。 (1) (2)	1格 *O/一ヲ 2名詞 節 *O/一ノ
6173	中国 55 自由作文 6	まいにちにほんごの練習は <u>文法</u> は <u>な</u> <u>す</u> <u>と</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>お</u> <u>さ</u> <u>く</u> <u>さ</u> (1,2) (3) (4) <u>ん</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1並N 2名詞節 *O/ 一コト 3,4表記
6174	韓国 4 パターン作文 5	それで映画を見る <u>の</u> <u>が</u> <u>興</u> <u>味</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>が</u> 、TVとくら (1) (2) べると映画を見る <u>で</u> <u>は</u> <u>お</u> <u>金</u> <u>が</u> <u>必</u> <u>要</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (3)	1名詞節 *ノ/一コト 2*ガ/一ニ 2格*デ/ 一ニ
6175	韓国 4 パターン作文 6	またTVはうちで見る <u>の</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1)	名詞節 *ノ/一コト
6176	韓国 6 パターン作文 1	TV宣伝と消費者との関係を考えてみると、いろいろあ りますが、その一つに <u>視聴</u> <u>に</u> <u>早</u> <u>く</u> <u>新</u> <u>しい</u> <u>もの</u> <u>の</u> <u>情</u> <u>報</u> <u>を</u> <u>伝</u> (1) <u>達</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>。</u> (2)	1N 2一名詞節
6177	韓国 7 聴解要約 10	家族はヤンさんがおふろにはいり、歌う <u>こと</u> <u>を</u> <u>聞</u> <u>っ</u> <u>て</u> (1) (2) <u>全</u> <u>部</u> <u>わ</u> <u>ら</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (3)	1名詞節 2活用(V) 3 副用 Ad
6178	韓国 13 パターン作文 6	そのひとつに日本語が <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1)	&スタイル 名詞節
6179	韓国 13 パターン作文 11	わたしの思いは日本語がよく <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>、</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>学</u> <u>教</u> <u>で</u> <u>日</u> (1) (2) (3) <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1一名詞節 2C 3N
6180	韓国 17 自由作文 3	あなたが筑波にたずねてきた <u>の</u> <u>も</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1)	*名詞節/一接
6181	韓国 18 自由作文 2	社会学 <u>は</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>分</u> <u>野</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ど</u> <u>特</u> <u>に</u> <u>家</u> <u>族</u> <u>社</u> (1) <u>会</u> <u>学</u> <u>を</u> <u>選</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>動</u> <u>機</u> <u>は</u> <u>次</u> <u>の</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (2)	1格 *Oは/一ニは 2 一名詞節
6182	韓国 23 自由作文 3	例えば <u>す</u> <u>な</u> <u>わ</u> <u>ち</u> <u>内</u> <u>容</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>形</u> <u>式</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>面</u> <u>が</u> <u>多</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1Ad 2一名詞節

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

6183	韓国 27 自由作文 5	げつろんはカゼというのは自分自信でなおすの ⁽¹⁾ がで ⁽²⁾ きる ⁽³⁾ のを ⁽⁴⁾ わかりました ⁽⁵⁾ 。	1発音 2,3表記 4名詞節 5V
6184	韓国 28 自由作文 4	映画の内容はアメリカの黒人社会を描いた ⁽¹⁾ 。	一名詞節 ーダ
6185	韓国 28 自由作文 18	その教訓的な映画は「醜 ⁽¹⁾ しい顔をして ⁽²⁾ も、人間 ⁽³⁾ の心のあり方は一番大切だ」と描 ⁽⁴⁾ きました ⁽⁵⁾ 。	1A 2ーテイル 3取立 *ノ連/ーハ 4V 5* ハ/ーガ 6ートイウ 7名詞節
6186	韓国 29 自由作文 6	二番目 ⁽¹⁾ 、十分に寝 ⁽²⁾ ます。	1取立 *0/ーハ 2一名詞節 Ad 副用
6187	韓国 29 自由作文 7	人にとって、寝る ⁽¹⁾ のよりいい方法はないと思います。	体修 *ノ連 名詞節
6188	韓国 29 自由作文 9	三番目 ⁽¹⁾ 、十分なえいようを補充 ⁽²⁾ します。	1取立 *0/ーハ 2一名詞節 Ad 副用
6189	韓国 29 自由作文 13	なんか ⁽¹⁾ というところ ⁽²⁾ です。	1スタイル 2一名詞節
6190	韓国 29 自由作文 14	心を安定させるのがかぜにかからないようにする方法の中で一番いい ⁽¹⁾ と思います。	語順 一名詞節
6191	韓国 30 自由作文 9	この映画を見たあとで、この世の中に不公平なことがいっぱいあっても、驚かないで、自分の意志や自信 ⁽¹⁾ が一番大切だと私が考えた ⁽²⁾ 。	1一名詞節 2取立 *ガ/ーハ
6192	韓国 31 自由作文 8	日本に留学したい ⁽¹⁾ なぜなら日本の商業知識を学んだり、日本の進歩的な社会を見物したりする ⁽²⁾ からです。	1接 *C 一名詞節 2V
6193	韓国 33 自由作文 7	今の日本は、すなわち過渡期だ ⁽¹⁾ と*う ⁽²⁾ ことを経験したので政治の安定と豊かで非常 ⁽³⁾ にはってんしている ⁽⁴⁾ 経済と社会文化保障制度にな ⁽⁵⁾ った ⁽⁶⁾ と思います。	1*トイウ 2名詞節 3V 4体修 5V
6194	韓国 35 自由作文 12	こんなに難しい環境にある私の祖国の韓国で首相をすることはほかの国で首相 ⁽¹⁾ をするのよりたいへんな事だと思 ⁽²⁾ います。	名詞節
6195	韓国 35 自由作文 19	しかしソビエトと中国とは触 ⁽¹⁾ ったことがありませんからなんと ⁽²⁾ 言うことがちょっと困 ⁽³⁾ ると思 ⁽⁴⁾ います。	1V 2名詞節
6196	韓国 35 自由作文 21	其の他は問題 ⁽¹⁾ になるのはそんなに難しくなさそうだと思 ⁽²⁾ います。	名詞節
6197	ブラジル 2 パターン作文 1	ブラジルと日本の番 ⁽¹⁾ 大きいちがいは、ブラジル ⁽²⁾ はクルザド ⁽³⁾ で使う ⁽⁴⁾ 、日本人は円 ⁽⁵⁾ が使 ⁽⁶⁾ います。	1副用 Ad 2格 *0は/ーデは 3格 *デ/ーヲ 4*ル/ー連用形 5格 *ガ/ーヲ 6名詞節
6198	アメリカ 1 自由作文 6	利用 ⁽¹⁾ 法も大都市に人口は集中し、交通渋滞 ⁽²⁾ 、悪 ⁽³⁾ どいし、大気 ⁽⁴⁾ のよごれやもわるく ⁽⁵⁾ な ⁽⁶⁾ って ⁽⁷⁾ という ⁽⁸⁾ ことが起 ⁽⁹⁾ こ ⁽¹⁰⁾ ってきたのである。	1N 2取立 *ハ/ーガ 3格 *0/ーガ 4A 6*テ形 7名詞節 5並N *ヤも/ー0も
6199	アメリカ 1 自由作文 8	まず、南米と日本を ⁽¹⁾ くれべる ⁽²⁾ と南米 ⁽³⁾ の方が ⁽⁴⁾ 国 ⁽⁵⁾ 鉄 ⁽⁶⁾ 道 ⁽⁷⁾ とバス ⁽⁸⁾ 線 ⁽⁹⁾ はまだ発達中だが人口集中 ⁽¹⁰⁾ こと ⁽¹¹⁾ 大 ⁽¹²⁾ へんである。	1発音 2*のハウガ 3,4N 5名詞節 表現

6200	アメリカ 1 自由作文 16	日本では大都市の周辺部 <u>人口増加のスピードがゆるく</u> <u>なって</u> 、その周辺部で人口がだんだん増加している。	1ーノ連 2ーテイル 接 *テ形 3名詞節 格 ーにタイシテ
6201	アメリカ 1 パターン作文 4	仕事と遊びの関係を考えてみるといろいろありますがそ の <u>一つに幸福</u> があります。	名詞節 ーコト ーモ ノ
6202	インドネシア 1 自由作文 1	インドネシアの学校の女先生と男先生の <u>仕事</u> をすること。	名詞節
6203	インドネシア 1 自由作文 2	どんな学校でもインドネシアで <u>女先生と男先生の 仕事</u> <u>をすること</u> が <u>だいたい</u> おなじです。	1取立 で*0 /でーハ 2名詞節 3取立*ガ/ ーハ
6204	インドネシア 3 パターン作文 1	日本料理とインドネシア料理の <u>違</u> はインドネシア料理の 方が辛い <u>です</u> 。	1表記 2名詞節
6205	インドネシア 5 自由作文 3	私の日本語のべんきょうのもくてきは日本 <u>へ</u> <u>電子の勉強</u> <u>に行きます</u> 。	1格 *へ/ーデ 2格 * ニ/ーヲ 3V 4ー名詞 節 5ーダ
6206	タイ 4 自由作文 2	バンコクにある高等学校で勉強していた時に英語に <u>プラ</u> <u>ンス</u> 語を勉強することにしましたけれどもチュラロンコ ン大学に入学してから日本語と日本に興味を持っていま したので日本語を <u>四年間に</u> <u>専攻する</u> <u>の</u> <u>を</u> <u>決め</u> ました。	1並 N 2発音 表記 3 副用 数 4名詞節 *ノ /ーコト 5格 *ヲ/ー ニ
6207	香港 6 自由作文 11	即ち、その一つは、 <u>町的エクメーネ</u> と <u>村的エクメーネ</u> が 存在している <u>の</u> 。	1ー名詞節 2ーダ
6208	香港 9 短文作文 7	<u>のびのびの</u> <u>すきな勉強</u> <u>すること</u> <u>というの</u> は、わたし の <u>いちばんのたのしみ</u> です。	1Ad 副用 2格 *0 /ー ヲ 3名詞節
6209	香港 16 短文作文 15	かれらが <u>なにか</u> <u>求めているの</u> <u>は</u> <u>わから</u> ない。	1不定詞 2名詞節
6210	香港 17 短文作文 14	一人で一日中図書館に勉強していて、夕方に <u>友達</u> に <u>晩</u> <u>御飯</u> に呼ばれることは何にも <u>まして</u> うれしい <u>です</u> 。	1格(*ニ/ーデ) 2*ニ/ ー0 3ー名詞節
6211	香港 17 短文作文 15	いったい彼 <u>は</u> <u>何を</u> <u>要求</u> しているの <u>は</u> <u>私は</u> <u>全然</u> <u>わかり</u> <u>ませ</u> ん。	2名詞節 1*ハ/ーガ 取立
6212	香港 18 短文作文 10	犯人は、一概には悪い人と言 <u>える</u> <u>こと</u> <u>は</u> <u>な</u> い。	否定 *名詞節
6213	香港 18 短文作文 15	いったい何を要求するの <u>は</u> <u>わから</u> ない。	名詞節
6214	香港 19 自由作文 12	だから、漢字の音読・訓読を保存する <u>べき</u> <u>と思</u> われる。	活用 (べき*0 /べき ーダ) 名詞節
6215	香港 19 短文作文 9	彼が外国に移住した <u>とい</u> うか、香港に住んでいる <u>とい</u> <u>う</u> か、みんなは <u>しら</u> ない。	1,2熟語 名詞節
6216	香港 20 自由作文 3	つまり、文字のフィルターを <u>通</u> じて <u>言葉</u> の <u>形象</u> を頭に <u>描</u> ぐ <u>こと</u> 。	1発音 V 2表記 3ム ーD 名詞節
6217	香港 20 自由作文 9	<u>もし</u> 「ナゴヤ」が「名古屋」で表現すると <u>わ</u> か <u>な</u> い 人は、「東名高速道路」 <u>は</u> <u>なん</u> です <u>か</u> <u>と</u> <u>疑</u> う。	1接 条件 2格 *ガ/ー ヲ 3ー名詞節 4ート(引) 5スタイル
6218	香港 21 短文作文 13	さくらを見に <u>いた</u> く <u>な</u> い <u>こと</u> <u>は</u> <u>な</u> い。私は忙しい <u>が</u> <u>わ</u> けだ。	1活用 3名詞節 2ムー D 4N

6219	香港 23 短文作文 14	私は妻は <u>離れる</u> <u>とき</u> に、妻は <u>とんな</u> に重要な <u>の</u> <u>が</u> わかる。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	2V 2,7*ル/ータ 5発 音 6名詞節 1*ハ/ー ト 4取立 *ハ/ーガ 3 接 *トキ /ーテ形
6220	香港 24 自由作文 12	しかも、古くからならう訓読みは一旦 <u>廃止</u> して、一般的 な人 <u>に対して</u> 、やさしいことではなさそうだ。 (1) (2)	1*テ形 名詞節 2格 * にタイシテ/ーにト ッテ
6221	香港 24 短文作文 12	金がなくて、 <u>同志</u> もなくて、いずれにせよ、いま旅行 しよう <u>は</u> だめだ。 (1) (2)	1N 2名詞節 ムード
6222	香港 25 自由作文 13	しかも、結果はまだ成功 <u>に</u> <u>知らない</u> 。 (1) (2)	&表現 1一名詞節 2 V
6223	香港 25 自由作文 17	この地方の人は自己の <u>語言</u> と世界中のほかの <u>語言</u> がどう 違う <u>のは</u> <u>考え</u> ない。 (1) (2) (3)	1N 2名詞節 3*ル/ー タ
6224	香港 25 短文作文 7	この証拠によって、彼女 <u>は</u> <u>犯人</u> <u>が</u> <u>考え</u> ざるをえない。	1取立 *ハ/ーガ 2一 名詞節 3格 *ガ /ー ト
6225	香港 25 短文作文 9	学校によって <u>男</u> の子が長いかみのけを <u>持</u> って <u>は</u> 禁じ られている。 (1) (2)	1取立 *0 /ーハ 2V *テ形/ール 名詞節
6226	香港 25 短文作文 12	物価が高いですから、 <u>それ</u> なりに <u>一般</u> 民衆の生活が <u>困</u> <u>る</u> になる。 (1) (2)	1副用 2名詞節
6227	香港 26 自由作文 10	ですから言語は国の歴史、地理、文化の反映 <u>の</u> <u>とい</u> う考え方が <u>立</u> ちます。 (1) (2) (3)	2名詞節 3V 1ダ
6228	フランス 2 自由作文 13	しかしにほんごははなす <u>の</u> <u>だけ</u> ではなく、 <u>よめる</u> <u>の</u> べんきょうもあります。 (1) (2) (3)	1N *ノ/ーコト 2活 用(V) 3一名詞節
6229	マレーシア 2 自由作文 3	にほんごをべんきょうを <u>して</u> から <u>です</u> 。	接 *テ形 一名詞節 * カラ /ータメ
6230	マレーシア 7 自由作文 15	養う人の家は、いつも、暗くなる <u>、</u> <u>その</u> ためだ。	一名詞節
6231	マレーシア 7 自由作文 22	こうして見てくると、ブティーアナと <u>い</u> っては、 <u>こわ</u> そ うですが、この動物を養うのはいいことが分かる。	*トイウ 一名詞節
6232	マレーシア 10 自由作文 10	それで、 <u>是非</u> 日本へ留学しに行く <u>を</u> <u>考</u> えた。 (1) (2)	1副用 Ad 2一名詞節
6233	マレーシア 13 自由作文 2	高校の時、様々な <u>校規</u> は不満を <u>持</u> っている、例えば、 <u>女</u> の学生 <u>の</u> 髪が長くては <u>い</u> けないし <u>パー</u> ムする <u>も</u> <u>だ</u> <u>め</u> なのです。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1N 2*ル/ータ 3複N 4V 5一名詞節
6234	マレーシア 13 自由作文 4	先生たちの中に <u>、</u> <u>感情</u> が親しまないし、学生たちは <u>外</u> に <u>え</u> ある <u>い</u> 行為を <u>し</u> ている <u>も</u> あり、 <u>授</u> 業や宿題 <u>が</u> 多くて難しいので、時々、 <u>反</u> 効果の事件も <u>あ</u> りました。 (5) (6) (7) (8) (9)	2取立 *0 /ーハ 3表 現 4格 *ニ/ーデ 7一 名詞節 ーコト 6A 8 C 9複N
6235	マレーシア 14 自由作文 12	天気がよかったり、悪かったり <u>と</u> ても <u>大</u> 切だ。 (1) (2)	1名詞節 2NA
6236	マレーシア 18 自由作文 17	そうすれば、 <u>貧</u> 民 <u>が</u> よく医療に <u>い</u> く <u>の</u> <u>が</u> できる。 (1) (2)	1N 2名詞節 *ノ/ー コト 表現 熟語
6237	マレーシア 18 自由作文 24	国語の授業時間が一番長い <u>は</u> <u>よ</u> くないと思います。	名詞節 *0 /ーノ

6238	マレーシア 21 自由作文 11	その間 本屋へ <u>いった</u> 、浅草から浜松町までボートに乗 <u>ったりする</u> おもしろかった。 (1) (2) (3)	1副用 2接 3一名詞節
6239	マレーシア 22 自由作文 19	だから、アルバイトを聞くの <u>を</u> 食事をする <u>よう</u> にかわ りました。 (1) (2)	1格 *ヲ/ーガ 2名詞節
6240	マレーシア 22 自由作文 21	今度の <u>経験中</u> に、私の日本語 <u>は</u> <u>どんな</u> に <u>経た</u> な <u>ほ</u> <u>と</u> がわかりました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1複N 2格 *ニ/ーデ 3取立 *ハ/ーガ 4不 定 5表記 6名詞節
6241	マレーシア 25 会話作文 1	毎日、図書館に、開館時刻の朝九時から、閉館時刻の午 後五時半まで、 <u>いた</u> <u>こと</u> である。 (1) (2) (3)	1スタイル 2名詞節 3 ダ
6242	マレーシア 27 自由作文 22	時々、 <u>話した</u> ばかりで、勉強ができなかった <u>も</u> あっ た <u>よ</u> 。 (1) (2)	1*タ/ール 2名詞節 ーコト 3スタイル
6243	マレーシア 28 自由作文 1	私の <u>夏休み</u> には、 <u>なつかしく</u> の国へ帰った <u>こと</u> です。 (1) (2) (3)	1表現 2活用(A) 品 詞 *N/ーA 3名詞 節
6244	マレーシア 28 自由作文 11	その <u>誕生日会</u> は <u>おとなび</u> らしいでした。 (1) (2)	1複N 2体修 *ラシイ /ー名詞節
6245	マレーシア 28 自由作文 13	一つ私にとって、おどろいたことはクアラルンプールで、 今とても日本製品 <u>を</u> はやっています、 <u>例</u> らなら、日 本 <u>旅客</u> もかなり <u>デパート</u> とで <u>多く</u> <u>見</u> えました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1格 *ヲ/ーガ 2一名 詞節 3C 4N 5表記 6 副用 7V
6246	スペイン 2 パターン作文 2	スペインと日本の本 <u>の</u> <u>比</u> べる <u>こと</u> です。 (1) (2)	2名詞節 1格 *ノ/ー ヲ
6247	スペイン 2 パターン作文 3	魚と人間の一番大きい違いは、魚は水の中にすんで <u>いま</u> <u>す</u> 、人間は土 <u>と</u> いう <u>です</u> 。 (1) (2)	1接 *ル/ーテ形 2表 現 3名詞節
6248	スペイン 2 パターン作文 8	私はまだ日本語 <u>の</u> <u>話</u> す <u>時</u> には、下手だからです。 (1) (2)	1格 *ノ/ーヲ 2名詞 節
6249	フィリピン 1 パターン作文 4	例えば、traffic signal の時間は何びよう ですか <u>。</u>	一名詞節 表現
6250	イギリス 1 自由作文 5	しかし <u>今</u> <u>たい</u> い女の人はその仕事をする <u>いい</u> では <u>ありません</u> と言います。 (1) (2) (3)	1副用 3取立 *O/ー ハ 活用(A) スタイル 2名詞節
6251	インド 3 自由作文 10	こたつのうえに <u>。</u> 全部日本語の本です。	ーV 一名詞節
6252	インド 8 自由作文 25	この部屋 <u>が</u> 一番こまることは、日がさしこみません <u>。</u> (1) (2)	1格 *ガ/ーデ 2一名 詞節
6253	インド 9 自由作文 13	<u>部屋のひろさ</u> が狭いですから、ふとんやこたつや本箱な どがはいる <u>の</u> は <u>い</u> っぱいになります。 (1) (2)	1N 2*名詞節、接、 条件 *ノハ/ート
6254	インド 16 自由作文 8	そして、もっと <u>入</u> て <u>い</u> っでは私の寝りと勉強する所 で <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1活用(V) 2一名詞節 3ー並V *ト/ータリ
6255	インド 32 自由作文 8	もう一つ大事なのは、たくさん食べても全然動きたくな いし、スポーツも大きい <u>。</u> です。	一名詞節
6256	インド 39 自由作文 2	私 <u>は</u> <u>こ</u> どものころ一番なつかしい思い出 <u>こと</u> は山 <u>が</u> <u>登</u> る <u>こと</u> でした。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ/ーガ 2名 詞節 3格 *ガ/ーニ 4*ル/ータ 5*タ/ー ル

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

6257	インド 40 自由作文 13	運動の は体にいいし、ばいきんに 抵抗力も 強い になり ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ます。	1名詞節 2格 *ニ/ー ノ 3品詞 *NA/ーA
6258	インド 41 自由作文 17	子供のころ _ はいつでも私のなつかしい思い出です。	名詞節
6259	インド 42 自由作文 5	しかし、家にいるおじさんが、 悲しい と 病気になって ⁽¹⁾ ⁽²⁾ いる _ が、 悲傷 の心情です。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1A 2接 *ト 3名詞節 4*N ーNA
6260	インド 44 自由作文 24	長い 書いて ちょっとむずかしいです。	*テ形 名詞節
6261	インド 46 自由作文 7	そして、 どういうふ に、一つの 工* の管理を順利に進 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ む こと はとても、大切 _ から です。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾⁽⁵⁾	1発音 2表記 3*名詞節 4ーダ 5接*カラ
6262	インド 47 自由作文 4	国の鉄道や橋などが、いつも、ちいさい天災 の、こわれ ⁽¹⁾ る わけ です。 ⁽²⁾	1*ノ連 格 *0 /ーデ 2ー名詞節
6263	インド 50 自由作文 16	私はもし経営管理を勉強したら 台湾へ帰る 将来国の経営 ⁽¹⁾ 管理を 発展し に尽くしたいと思っています。 ⁽²⁾	1ーテ形 2ー名詞節
6264	インド 53 自由作文 11	国民の生活もだんだん やさしく になってくるわけ です。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1A 2名詞節
6265	フィンランド 2 自由作文 17	私は針灸をする _ 大好きですから、ときどき針灸の本と 図を見ます。	一名詞節、格 *0 / ーガ
6266	フィンランド 4 自由作文 5	玄関から4メートルぐらい _ は戸があります。 ⁽¹⁾⁽²⁾	1名詞節 2取立 *ハ/ ーニ
6267	フィンランド 5 自由作文 22	なぜならば、そういう治療方法と前の治療方法が全然ち がって います。	*ル/ータ ーカラ 名 詞節
6268	フィンランド 5 自由作文 25	友だちは私に部屋で遊び も不便です。	名詞節 表現
6269	フィンランド 8 自由作文 14	その上に、ばいきんは体に入るのが簡たんで _ なく、 ば ⁽¹⁾ ⁽²⁾ いきんが入るの が 知りません。 ⁽³⁾	表現 1取立 0 /ーハ 2ー名詞節 3V
6270	フィンランド 8 自由作文 15	最後まで 大切 どんな食べ物を食べるの が大切ですよ。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾	1,2Ad 3ー名詞節
6271	フィンランド 8 自由作文 16	もし、いつもおかいとか、ケーキとか、クッキーを食べ、 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ビールとかお酒をいつも飲み、 外のことは、 体が ふっ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ せい だったら、病気になる こと が 簡たんです。 ⁽⁶⁾ ⁽⁷⁾	1,2,5発音 表記 3Ad 4N 6名詞節 7取立 * ガ/ーハ

5.6.9. 疑問節

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
6272	台湾 19 自由作文 3	公務員 <u>が</u> <u>人</u> <u>の</u> <u>目</u> <u>の</u> <u>中</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>に</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>を</u> <u>思</u> <u>わ</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>全</u> <small>(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)</small> 然考 <small>(3)</small> えなく <small>(4)</small> て、上役 <small>(5)</small> にど <small>(6)</small> んな不公平 <small>(7)</small> な事をさせられても、 けっしてあ <small>(4)</small> ませなく <small>(5)</small> て、大衆 <small>(6)</small> に対して、 <u>ら</u> <u>ず</u> <u>に</u> <u>責</u> <u>任</u> <u>が</u> <small>(4) (5) (6) (7)</small> おわ <small>(4)</small> れて、いつも人 <small>(5)</small> に服 <small>(6)</small> 務する <u>思</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>き</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 <small>(7)</small>	1取立 *ガ /-ハ 2表 現 -疑問節 -ト イウ 3接 *テ形 4V 5 格 *ガ /-ヲ 6自他 7 N
6273	マレーシア 14 自由作文 5	いつ <u>か</u> <u>晴</u> <u>れ</u> <u>や</u> <u>雨</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>が</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>困</u> <u>る</u> 。 <small>(1) (2)</small>	1*疑問節 2並V
6274	マレーシア 15 自由作文 2	それで、「盆踊り」 <u>を</u> <u>初</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>て</u> 、それ <u>何</u> <u>こ</u> <small>(1) (2) (3) (4)</small> <u>の</u> <u>だ</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>か</u> 。 <small>(5)</small>	1-トイウ 2接 *テ形 3取立 *O /-ハ 4- ノ連 5-のだ -疑 問節
6275	マレーシア 19 自由作文 6	もしわたしが <u>医</u> <u>者</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> 、やはり私はなんとか <small>(1)</small> して <u>患</u> <u>人</u> <u>の</u> <u>さ</u> <u>ま</u> <u>ざ</u> <u>ま</u> <u>な</u> <u>病</u> <u>気</u> <u>を</u> <u>治</u> <u>り</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>考</u> <u>え</u> <small>(2) (3) (4)</small> ています。	1複N 2N 3自他 4- 疑問節

5.6.10. 引用

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
6276	台湾 19 自由作文 3	公務員が人の目の中になにもを思われているのは全然考えなくて、上役にどんな不公平な事をさせられても、 <u>けっしてあませなくて</u> 、大衆に対して、 <u>らずに責任がおわれて</u> 、いつも人に服務する <u>思いつき</u> を持っている。	1取立 *ガ /ーハ 2表現 一疑問節 ートイウ 3接 *テ形 4V 5格 *ガ /ーヲ 6自他 7N
6277	台湾 21 自由作文 4	さらに、これはを基づいて、どのように <u>演化</u> してきたのか、なぜいまようになったのかの <u>こと</u> です。	1取立 *ハ /ーO 2格 *ヲ /ーニ 3V 4ートイウ
6278	中国 8 自由作文 2	そのときから、日本へ行って、化学の専攻を勉強し、日本語も勉強する <u>希望</u> がありました。	ートイウ
6279	中国 14 自由作文 4	世界に <u>進んでいる</u> 電子工業、 <u>ゆき届き</u> のサービス業など数多くの分野で、日本国が世界中の <u>一つ</u> 経済大国 <u>の</u> ことがよく分かりました。	1格 *ニ /ーデ 2複N 3数 語順 4ーグ ートイウ
6280	中国 14 自由作文 5	しかし、わたしに一番強い印象を与えてくれたのは日本人がお互いよく譲り合う <u>こと</u> です。	1受給 2*ノ連 /ートイウ
6281	中国 14 自由作文 13	それに感心しました。自分が急いで <u>という</u> から並んで <u>いる</u> 列を割って先頭に出る <u>の</u> をする人は一回 <u>でも</u> 見たことがありません。	1*トイウ 2名詞節 *ノ /ーコト 3取立 *デも /ーOも
6282	中国 15 自由作文 4	日本へ来る前に、「東京の人口は約一千二百万ぐらい、 <u>世界中に</u> 一の大都市で、 <u>中には</u> 、新宿が <u>挙げられて</u> いる。」と私は <u>そういう噂</u> が聞いて東京に来たのだ。	1複N 2,3副用 4*テイル /ール 5コソア 6*トイウ 7格 *ガ /ーヲ
6283	中国 17 自由作文 9	日本はなぜ戦後数十年間 <u>そんな</u> すばらしい国を建て <u>ましたか</u> 。	1格 *O /ーニ 2スタイル ー引用 & 表現
6284	中国 17 自由作文 15	<u>という</u> 点になると、今のような日本を <u>建てた</u> 事実を見ると、不思議なことだと思います <u>か</u> 。	1*トイウ *コソア 2V 3ムード
6285	中国 17 自由作文 16	でも、日本人はよく働く <u>つまり</u> 日本の国民性を考えたら、この問題の答えはよくわかるでしょう。	1ーノ連 2ートイウ
6286	韓国 17 自由作文 8	でも私はまだ実力もないし、無理かも <u>思いました</u> が、やっぱりこれは身分の体のための運動ですから、 <u>出戦</u> その <u>自体</u> に意味を <u>与えろ</u> うと思います。	1ー引用 2コソア 3発音 ムード
6287	韓国 19 自由作文 4	なぜ私がこれを書こうと <u>すれば</u> 、ここの雰囲気は私が韓国で聞いたのとはとても違っているからです。	ー引用
6288	韓国 19 自由作文 9	教授の <u>自分の</u> 心の壁をこわして学生たちと <u>いっしょ</u> に話し合う雰囲気はどうしたら <u>日本</u> がいま <u>やん</u> でいるなやみの所かもしれません。	1格 *ノ /ーガ 2表記 3ー引用 4V
6289	韓国 28 自由作文 18	その教訓的な映画は「 <u>醜い</u> 顔をして <u>も</u> 、人間の <u>心</u> の <u>あり方</u> は一番大切だ」と <u>描</u> きました。	1A 2ーテイル 3取立 *ノ連 /ーハ 4V 5*ハ /ーガ 6ートイウ 7名詞節

6290	韓国 31 自由作文 14	日本はなぜ <u>そんな</u> <u>短い時間</u> に <u>世界</u> <u>ひとつ</u> <u>工業国</u> に <u>なる</u> <u>か</u> <u>という</u> <u>原因</u> が <u>しりたい</u> ですか。 (1) (2) (3) (4) (5)	1コソア 2格 *ニ / デ 3数 4*ル /-タ 5 接 *トイウ
6291	韓国 33 自由作文 7	今の日本は、 <u>すなわち</u> <u>過渡期</u> だ <u>と*</u> <u>う</u> <u>こと</u> を <u>経験</u> した ので政治の安定と豊かで <u>非常</u> には <u>ってん</u> している <u>経済</u> と 社会文化保障制度に <u>な</u> った <u>と</u> 思います。 (1) (2) (3) (4) (5)	1*トイウ 2名詞節 3 V 4体修 5V
6292	韓国 33 自由作文 9	最高の先進国だ <u>と</u> 言う <u>日本</u> で <u>留</u> 学生活をつうじて、 <u>正</u> 確し <u>で</u> 高度の学問 <u>は</u> <u>私</u> の生活観や価値観や国家観に 役だ <u>て</u> たい <u>と</u> 思います。 (1) (2) (3) (4) (5)	1*トイウ 2-ノ連 3 品詞 *V /-NA 4取 立 *ハ /-ヲ
6293	韓国 35 自由作文 9	別に <u>共産主義</u> <u>と</u> 言う <u>北朝鮮</u> と <u>ソビエト</u> と <u>中国</u> が <u>あ</u> った ので <u>軍事的</u> でも <u>ずいぶん</u> <u>不利</u> な <u>立場</u> に <u>お</u> いて <u>あ</u> ります。 (1) (2) (3)	1*トイウ /-ノ連 2* タ /-ル 3受身 VP
6294	アメリカ 4 自由作文 2	子供の頃から <u>私</u> が <u>弁護士</u> になる <u>の</u> ような <u>目的</u> が <u>あ</u> り ました。 (1) (2)	1取立 *ガ /-ハ 2体 修 *ノヨウナ /-ト イウ
6295	アメリカ 4 自由作文 7	それだけではなくて、アメリカでは <u>弁護</u> の <u>商売</u> は <u>法律</u> だ け <u>の</u> <u>訳</u> ではないのです。	体修 *ノ連 /-トイ ウ
6296	タイ 4 自由作文 6	私の希望の仕事は <u>タイ</u> の <u>外務省</u> の <u>日本語</u> の <u>翻訳者</u> ・ <u>通訳</u> <u>者</u> <u>と</u> いう <u>こと</u> です。	*トイウ
6297	香港 20 自由作文 9	もし 「 <u>ナゴヤ</u> 」 が 「 <u>名古屋</u> 」 で <u>表現</u> すると <u>わ</u> かない <u>人</u> は、「 <u>東名高速道路</u> 」 <u>は</u> <u>なん</u> ですか <u>と</u> 疑う。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 条件 2格 *ガ / -ヲ 3-名詞節 4- ト(引) 5スタイル
6298	香港 20 自由作文 15	「 <u>異人</u> 」は <u>我々</u> と <u>異なる</u> <u>人</u> だ <u>と</u> <u>考</u> え <u>。</u> (1) (2)	1体修 -トイウ 2- ダ
6299	マレーシア 7 自由作文 22	こうして見てくると、 <u>プティ</u> <u>ア</u> ナ <u>と</u> いう <u>は</u> 、 <u>こ</u> わ <u>そ</u> <u>う</u> ですが、この動物を <u>養</u> う <u>の</u> は <u>い</u> い <u>こ</u> と <u>が</u> <u>分</u> かる。	*トイウ -名詞節
6300	マレーシア 15 自由作文 2	それで、「 <u>盆踊り</u> 」 <u>を</u> <u>初</u> めて <u>き</u> いて、 <u>そ</u> れ <u>何</u> <u>こ</u> <u>と</u> の <u>だ</u> ろう <u>か</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1-トイウ 2接 *テ形 3取立 *0 /-ハ 4- ノ連 5-の <u>だ</u> -疑 問節
6301	マレーシア 30 自由作文 5	独立のあとで、 <u>種族</u> によって、 <u>生活水準</u> が <u>ち</u> が <u>い</u> ます <u>の</u> <u>問</u> 題 <u>が</u> <u>あ</u> ります。	スタイル 体修 -ト イウ
6302	インド 1 自由作文 2	私の部屋は <u>四畳半</u> で、 <u>私</u> と <u>友</u> だ <u>ち</u> は <u>渡</u> 辺 <u>荘</u> の <u>ア</u> パー ト <u>に</u> <u>住</u> んで <u>い</u> ます。 (1) (2)	&表現 1格 -ト 2- トイウ
6303	インド 10 自由作文 3	コーポナ <u>の</u> <u>称</u> 号 <u>で</u> す。 (1) (2)	1-トイウ 2N
6304	インド 37 自由作文 8	また、ふたりの <u>愛情</u> な <u>非常</u> に <u>可</u> 貴、 <u>私</u> は、「 <u>汪洋中</u> <u>の</u> <u>一</u> 条 <u>船</u> 」 <u>映</u> 画 <u>見</u> た <u>と</u> き <u>感</u> 動 <u>非</u> 常 に <u>涙</u> が <u>泣</u> きました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 -ハ 2NA 3 トイウ 4格 *0 /- ヲ 5格 *0 /-デ 6VP
6305	インド 50 自由作文 12	日本の <u>経営管理</u> は <u>世界</u> で <u>一</u> 番 <u>と</u> いう <u>発</u> 達 <u>し</u> ています。	*トイウ

5.6.11. その他

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
6306	台湾 1 自由作文 7	去年、テレビの番組（世界の料理の試合）で放送 <u>する</u> と、 台南の台湾料理が <u>大ニ番</u> を取った。	3N 2接 *ト /ートキ 1*ル /ータ
6307	台湾 1 パターン作文 17	日本語と専門科の違いは、日本語の文法 <u>が</u> 解りにくい、 専門科 <u>が</u> 大学での、もう <u>習った</u> 、そして理解が <u>や</u> <u>すい</u> 。	1,3格 取立 *ガ /ー ハ 2接 -ガ 5接 - ノデ 4*タ /ーテイル 6 5品詞 複V
6308	台湾 1 パターン作文 18	六月から九月まで、たびたび、台風が台湾にくると、雨 も多いし、風も <u>強</u> いたので、 <u>災難</u> になった。	2品詞(*NA /ーA) 1 接(*ト) 3*タ /ール
6309	台湾 1 パターン作文 24	商品と消費者との関係を考えてみると、 <u>沢山</u> <u>媒体</u> <u>が</u> あり ますが、その一つに <u>新聞広告</u> という <u>こと</u> <u>が</u> <u>一番</u> <u>普遍</u> に 使われています。	4副用 NA 1N 2接 3*コト /ーモノ
6310	台湾 1 パターン作文 26	しかし、人間的な関係がだんだん <u>遠</u> い、 <u>そう</u> 一つに、 人工受精ということ <u>には</u> <u>男女</u> の関係が生育の機能のため だけが、 <u>情愛</u> がだんだん <u>う</u> すい。	2コソア 1A 1,7VP 5 格 *ニは /ーデは 6 接(*ガ)
6311	台湾 7 自由作文 5	もし木村さん <u>は</u> もうみおわた <u>から</u> 来月私は実技試験 で参考するために名画家の作品が <u>必要</u> になりましたから <u>急</u> <u>におくりも</u> としてもいいでしょうか。	1取立 *ハ /ーガ 2接 *カラ /ーナラ 3 副 用 Ad 4複V
6312	台湾 9 自由作文 5	中学校以後、父は <u>商</u> もやった、 <u>そう</u> すると家庭の経 済が <u>だんだん</u> <u>好転</u> した。	1N 2接 -ノデ 3取 立 *ガ /ーハ 4ーテ クル
6313	台湾 12 自由作文 9	もちろん、二、三日 <u>使</u> ってから <u>すぐ</u> に久美子さんに貸し てさしあげます。	接 *カラ /ータラ
6314	台湾 12 自由作文 13	<u>そう</u> すると、ご都合が <u>よろ</u> しかったら、その二冊の本 を学習室に <u>私の机</u> の上に置いていただきたい <u>です</u> 、 <u>よろ</u> しいでしょうか。	1C 2接 *タラ /ーレ バ 3格 *ニ /ーノ連 4*ダ /ーノダ 5接 - ガ
6315	台湾 13 自由作文 6	先月、貸してあげたレコードは、私の先輩も <u>聞</u> きたいで すが、 <u>私</u> に頼んで、 <u>貸</u> して下さいと言いました。	1接 -ノデ 2表現
6316	台湾 15 自由作文 5	最初休みの日を利用して、第一学期の授業を復習する予 定 <u>です</u> が <u>今日</u> の円が高くて台湾の父母が <u>ち</u> ょっとお 金がかからない <u>ため</u> に <u>ガソリン</u> スタンドで働いていま した。	1*ル /ータ 2N 3格 * ガ /ーニ 4接 -ヨ ウニ
6317	台湾 22 自由作文 20	これは、私が生まれ <u>た</u> からこんな <u>広</u> さ <u>果樹園</u> を見たの は始めてで胸を <u>い</u> ばい <u>果物</u> の香りをすいながらぶどう やももを <u>取</u> っていてとても楽しかった。	1接 2活用 3格 *ヲ / ーニ 4発音 5*テイル /ル
6318	台湾 23 自由作文 13	台風で国の家の軒が全部飛びました <u>だ</u> から、日本へ来る <u>日</u> 期をあらためました。	1接 *ダから /ー0 から 2N
6319	台湾 25 自由作文 10	しかし、子供が大学 <u>卒</u> 業したあと <u>で</u> 母親はひどい病 気な <u>ので</u> 病院へ入院しました。	1格 *0 /ーヲ 2格 * デ /ー0 3接 *ノデ / ーデ

6320	中国 4 聴解要約 5	ヤンさんがかとうさんの奥さんに冷いお茶をもらって、 飲んだあと気持ちがよくなった。	1取立 *ガ /ーハ 2接 *アト /ータラ
6321	中国 4 聴解要約 13	夜に入ったと、ヤンさんは風呂にはいって音楽。	1V 2接 *ト /ーカラ
6322	中国 10 自由作文 16	いながら そうしなければならないと思う日本人も少な くないと思っています。	1熟語 2接 *ナガラ / ーデモ
6323	中国 11 自由作文 9	その理由は一つは仕事がまた終わらない。	接 ーカラ ーダ
6324	中国 11 自由作文 11	かれは一人しか仕事を する から、毎日の残業する のがほしい です。	1C 2取立 *ハ /ーガ 3*シカ 4*ル /ーテイ ル 否定 5V 6接 ー カラ
6325	中国 14 自由作文 14	電車の席があまり多くない、三分の二の人 が 一時間 ぐらい立ったまま、会社に行きます。	1接 ーノデ 2取立 * ガ /ーハ
6326	中国 17 自由作文 3	東京へ来た 後、東京は人口も多いし、交通も便利だし、 やはり日本の政治、経済の中心地です。	表現 接
6327	中国 21 自由作文 6	はじめて にほんじんの はなしはぜんぜんわからなかった まいにち ねんしゅう する から、だんだんすこし わか りなります。	1Ad 副用 2接 *0 / ーガ 3発音 表記 4* ル /ーテイル 5VP * ル /ータ
6328	中国 24 自由作文 16	この間に私はぜひよく ならって、卒業して から、いい 大学に入ろうと思っています。	1V 2接 *カラ /ー0
6329	中国 31 自由作文 13	いちじかんぐらいべんきょう した から、テレビをみなが らコーヒーをのみます。	活用 接 *カラ /ーテ カラ
6330	中国 31 自由作文 19	ふくしゅうのあとでじかんはおそいから、すぐねます。	1接 *アトデ 2取立 * ハ /ーガ
6331	中国 33 自由作文 5	ともだちは いしょうけめ べんきょうにほんご、たぶ んすこし知っています。	1表記 2語順 活用 3 接
6332	中国 33 自由作文 10	まいにちいっしょうけめ、しかしへたです。	ー接
6333	中国 33 自由作文 12	いま、にほんごのことばはたくさん、ふゆやすみ は わたしが ぜんぶの にほんごのことば は いっしょうけめ べんきょうします。	1活用 ー接 2取立 * ハ /ーニ 3*ガ /ーハ 4Ad 副用 5*ハ /ー ヲ
6334	中国 42 自由作文 11	時々、友達が先生に きいている 質問 は 難しい から、 私達はその質問からいろいろな日本語を習うことができ ます。	1Ad 2V *テイル 3 取立 *ハ /ーガ 4接 *カラ /ーノデ
6335	中国 43 自由作文 3	わたしははじめてこのくにへ きた、きれいでいくに です。	1スタイル 2接 *0 / ーガ
6336	中国 43 自由作文 16	だから いまわたしはにほんにすんでいる にほんごの べんきょう することがたいせつです。	1C 2接 *0 /ーカラ 3発音 4格 *0 /ーヲ
6337	中国 45 自由作文 5	しかし、いまからたんたん むずかしく なりますが、ど きとき すきではないに べんきょうします。	1Ad 副用 発音 2* ル /ータ 複V 3発音 4接 ーテモ

6338	中国 45 自由作文 15	いまから、みんなといっしょに将来大学に <u>はいる</u> <u>こと</u> を <u>がんばり</u> ましよう。 (1) (2)	1-可能 2*コト VP(-ヨウニ)
6339	中国 48 自由作文 18	にほんじんです <u>が</u> 、どうして <u>わかりません</u> <u>か</u> と <u>おもっ</u> <u>て</u> います。 (1) (2) (3)	1接 *ガ /-ノニ 2活用(V) スタイル 3 V
6340	中国 52 自由作文 5	わたしは中国にいるとき、日本語を <u>ひらかな</u> と <u>カタカナ</u> <u>だけ</u> 習って、ことばは「私は <u>Aさん</u> <u>です</u> 」という二文法を <u>習</u> ってしたから、ほかのことばはひとつもはなせ <u>ま</u> <u>せん</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ /-ノ連 2N 3複 V 4接 *カラ /-ガ
6341	中国 58 自由作文 1	私は、国に帰らない <u>に</u> 、夏休みの間も、ずっと日本にいました。	接 *ニ /-デ
6342	韓国 2 パターン作文 11	6月 <u>来</u> る <u>から</u> <u>梅雨</u> <u>か</u> <u>始め</u> ます。 (1) (2) (3) (4)	2接(*カラ /-ト) 3 発音 4自他 1格 *O /-ガ
6343	韓国 4 自由作文 6	しかし韓国は西洋の文物を <u>流入</u> したのが <u>もう</u> <u>やっ</u> と 3 0年くらい <u>し</u> が <u>なら</u> <u>な</u> かった。 (1) (2) (3) (4)	&表現 1接 -テカラ 2Ad *モウ /-マダ 3 発音 取立 シカ 4* タ /-ール
6344	韓国 6 パターン作文 6	その作品を作る <u>時</u> <u>自然</u> を見るとか <u>音楽</u> をきくとか <u>い</u> る <u>い</u> る <u>気</u> 持を <u>あ</u> らわします。 (1) (2)	2表記 1接 *トキ
6345	韓国 7 聴解要約 8	おふろに <u>は</u> いる <u>あ</u> いだに <u>外</u> からうたを聞くことができた。 (1) (2)	1-テイル 2接 *アイダに /-トキに
6346	韓国 7 パターン作文 8	農村で大漁祭がないのは、海がない <u>の</u> である。	接 *のだ /-カラ
6347	韓国 8 パターン作文 5	その理由は大陸や大陸間を連結した交通手段 <u>で</u> す。	接 *O /-カラ
6348	韓国 9 パターン作文 6	これは大陸と大洋との影響 <u>か</u> ら <u>で</u> す。	接 *カラ
6349	韓国 21 自由作文 5	日本の字はにている <u>と</u> <u>み</u> えますからわたしはただしくないことばをつかうことがあります。	格 *ト /-ヨウニ
6350	韓国 23 自由作文 4	学校を <u>卒業</u> と同時に <u>社会人</u> になる <u>の</u> に <u>学校</u> はいつもいい人になれとおしえています。 (1) (2)	1V 2接 *ノニ /-タメニ
6351	韓国 24 自由作文 24	しかし日本へ <u>帰</u> えて <u>の</u> こった夏休の日は最善を尽しました。 (1) (2)	1活用 2接
6352	韓国 26 自由作文 18	私と <u>ほ</u> かに <u>の</u> 友達はすきなテレビが買ってある <u>け</u> ど、 <u>暇</u> な時、 <u>本</u> 相 <u>の</u> 上にのせているテレビをみます。 (1) (2) (3)	1品詞 *Ad /-N 2接 *ケド /-ノデ 3表記
6353	韓国 26 自由作文 24	<u>それ</u> では、小さくてもいいと思います。	接 *ソレデハ /-ダカラ
6354	韓国 31 自由作文 7	日本に留学したい <u>な</u> ぜなら <u>日本</u> の商業知識を学んだり、 <u>日本</u> の進歩的な社会を見物したり <u>す</u> る <u>か</u> ら <u>し</u> 。 (1) (2) (3)	1接 語順 2複 V 3-ダ
6355	韓国 32 自由作文 9	経営についての <u>も</u> の <u>ば</u> かりか <u>市場</u> の調査と経済のことも <u>積</u> 極的に <u>学</u> ば <u>け</u> れ <u>な</u> りません。 (1) (2) (3)	1コト 2接 3活用(V)

6356	ブラジル 1 聴解要約 3	日本に <u>来る</u> <u>時は</u> <u>友だちがおでむかえに</u> <u>行きました</u> 。 (1) (2) (3)	1*ル /-タ 2接 とき *ハ /とき-0 3 V
6357	アメリカ 1 聴解要約 9	ヤンさんは一日中 <u>いそがしかった</u> からふろに <u>はいり</u> <u>ながら</u> 、 <u>いきもちになった</u> 。 (1) (2)	1活用 2接 *ナガラ
6358	アメリカ 1 自由作文 11	南アメリカのコロンビアで <u>生れた</u> から四さいまで <u>任ん</u> <u>で</u> いました。 (1) (2)	1接 *タから /-テか ら 2表記
6359	アメリカ 2 自由作文 5	言語とか歴史と <u>言っても</u> 、むしろ比較文化、取り分け比 較宗教に興味があります。	接 *テモ /-ヨリモ
6360	アメリカ 3 自由作文 5	わたしのかおが <u>ねむく</u> <u>なった</u> <u>とき</u> 、せんせいは「シェ リルゆうべなにをしましたか。」とききました。 (1) (2)	1ムード 2接 *トキ / -ト
6361	インドネシア 2 自由作文 4	私は大学を <u>卒業した</u> までそこで過ごしました。	接 *タまで /-ルま で
6362	インドネシア 2 自由作文 5	私は生まれてから大学を <u>卒業した</u> までの24年間をその 地方で過ごしました。	接 *タまで /-ルま で
6363	インドネシア 2 パターン作文 6	いろいろ問題があります <u>ので</u> 、インドネシアでBIRT HCONTROLまたFAMILYPLANNINGと 言うことがあります。	接(*ノデ)
6364	香港 2 自由作文 5	君は理科研究生として、ほかの学問 <u>も</u> <u>興味を持って</u> 、 <u>素敵だね</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *とシテ 接 - ノニ 2格 *0 /-ニ 3 -テイル
6365	香港 2 自由作文 6	このごろ、「日本教科書事件」が <u>たちあがっている</u> 、 君はどうおもいますか。 (1) (2)	1V 2接 *0 /-ケド
6366	香港 3 自由作文 8	第一には中国人で日本研究をしている人はあまり多くな い <u>。</u> (1)(2)	1接 -カラ 2-ダ
6367	香港 3 自由作文 9	第二には、日中両国は関係が大変 <u>密切です</u> 。 (1) (2)(3)	1表記 2接 -カラ 3 -ダ
6368	香港 5 自由作文 2	淑雅さんは風邪をひいた <u>そうと聞き</u> 、もう <u>治し</u> <u>ました</u> <u>か</u> 。 (1) (2)	1ムード 接 -ガ スタイル 2自他
6369	香港 5 自由作文 6	来週、東京へ行く予定がある <u>から</u> 、その時、お宅によっ て、その辞典を持って帰るつもりです。	接 *カラ /-ノデ
6370	香港 11 短文作文 7	大雨がくると言う <u>のは</u> 、私はどこへもいきません。	接 *ノハ /-ノデ
6371	香港 15 短文作文 12	桜の花を <u>いきみた</u> <u>なくな</u> <u>った</u> 、 <u>いそがしい</u> <u>でした</u> <u>か</u> <u>ら</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1VP 1活用 2スタイ ル 4語順 4接 3活用 (A)
6372	香港 16 短文作文 4	彼は水泳が上手 <u>なのだから</u> 、まるで飛魚のようである。	接 *のだ /-デ
6373	香港 16 短文作文 13	<u>櫻花を</u> <u>みていき</u> <u>たくな</u> <u>ってな</u> <u>かった</u> <u>です</u> が、私はた <u>いへん</u> <u>忙しが</u> <u>った</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	4発音 3,4-のだ 1複 N 2VP 4接
6374	香港 16 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も、 <u>スเปน</u> <u>語も</u> <u>でき</u> 、 <u>それから</u> <u>世界中へ</u> <u>旅行する</u> <u>のは</u> <u>くよくよし</u> <u>ない</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1発音 2,3接 4V

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

6375	香港 16 短文作文 19	この表をみてわかる <u>から</u> 、日本人の平均寿命は年々 <u>増</u> <u>えてくる</u> 。	1副用 2複V 1接 1* カラ /ーヨウニ 2V
6376	香港 18 短文作文 13	桜を見に行きたく <u>ないではない</u> が、忙しいからいけ <u>ま</u> <u>せんから</u> 。	2スタイル 1ムード 3 接 *カラ
6377	香港 19 短文作文 19	なまじ、自信を持って <u>いて</u> 忠告を <u>受け付か</u> なかったの で、事業は失敗に終わってしまった。	1接 2自他
6378	香港 20 自由作文 1	日本語はテレビ型の <u>語言</u> と言う <u>何故</u> <u>そう</u> と <u>評して</u> いるか。	1N 2接 *0 /ーガ 2 コソア 副用 3受身
6379	香港 21 短文作文 9	ひらがなとカタカナは同じに、漢字のもとにからである。	1ダ ーヨウニ &接
6380	香港 21 短文作文 19	この表を見たら <u>わかって</u> 、日本人の平均寿命は <u>年年に</u> <u>伸びている</u> 。	1接 *テ形 /ーヨウニ 2副用
6381	香港 23 短文作文 13	<u>楽しいか楽しくないか</u> 、いずれにせよその会議に出ること とは必要である。	接
6382	香港 24 自由作文 11	その原因はたぶん日本語で <u>、</u> 視覚印象と聴覚印象と <u>、</u> 同じ重要なことだ <u>かもしれない</u> 。	1取立 で*0 /でー ハ 2格 *0 /ーガ 3接 ーカラ
6383	香港 25 短文作文 2	<u>夫の立場から</u> 、週休二日制はまったくよいものである。	接
6384	香港 26 自由作文 13	その地理的條件 <u>うえに</u> 、外国人と <u>交流機会</u> が少ない。	1接 *ウエ /ータメ 3 複N 2体修 ーノ連
6385	香港 26 短文作文 7	妻は <u>去るなから</u> 、彼女の重要性は <u>わかりました</u> 。	2接 1取立 *ハ /ーガ 3*ハ /ーガ 取立
6386	香港 26 短文作文 8	技術 <u>について</u> 彼は若い <u>運動員</u> <u>ような</u> 、 <u>力強</u> <u>につい</u> <u>て</u> <u>彼の</u> 高峯は過ぎました。	2,5N 4接 1,6*にツイ テ 7*ノ /ーハ 3ノ連
6387	スリランカ 1 パターン作文 3	<u>あそこで</u> <u>かと</u> <u>さんと</u> <u>でんわ</u> <u>では</u> <u>なした</u> <u>ので</u> <u>さと</u> <u>さん</u> <u>は</u> <u>でんしゃ</u> <u>に</u> <u>来て</u> <u>ヤンさん</u> <u>にあいました</u> 。	1コソア 2,4発音 3接 (*ノデ) 6ー受給 5格 *ニ /ーデ
6388	フランス 1 自由作文 5	ですから一年前にパリで言語学を勉強しようと思って今 まで形式名詞という日本語の言葉(もの、こと、ところ)の語法に <u>直面して</u> <u>論文</u> <u>を書きました</u> 。	1ーテクル 2接 ーノ デ &表現
6389	イラン 1 自由作文 13	日本の教育は中学校までぎむきょういく <u>ので</u> 日本では 文盲 <u>ほとんど</u> <u>ない</u> 。	2接 ノデ 1ダ 3取立 *0 /ーハ
6390	マレーシア 1 自由作文 10	にほん <u>い</u> <u>すん</u> <u>でいる</u> <u>です</u> <u>が</u> 、 <u>にほん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>できない</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>こまります</u> 。	1発音 格 *イ /ーニ 2*ダ 3接 *ガ /ーノ ニ 4取立 *ハ /ーガ
6391	マレーシア 4 自由作文 14	けれども、工夫に工夫を重ね <u>て</u> 、失敗しかありませんで した。	接 *テ /ーテモ
6392	マレーシア 6 自由作文 8	国にいた時、時々望遠鏡で空を見 <u>て</u> 、月を見た時、穴が <u>いっぱい</u> <u>ある</u> 。	1接 2*ル /ータ
6393	マレーシア 9 自由作文 3	この問題 <u>が</u> <u>いろいろ</u> <u>関係</u> <u>がある</u> 、例えば、人々の <u>自私</u> <u>の</u> <u>心</u> 、 <u>国</u> <u>と</u> <u>国</u> <u>の</u> <u>貿易</u> <u>戦争</u> <u>など</u> 、 <u>これら</u> <u>のため</u> <u>に</u> 、 <u>世界</u> <u>の</u> <u>経済</u> <u>が</u> <u>むかし</u> <u>より</u> <u>わる</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>って</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1取立 *ガ /ーハ 2品 詞 *Ad /ーNA 3,4 N 5接 *0 /ーデ 6* 0 /ーテイル

6394	マレーシア 18 自由作文 2	マレーシアで <u>①</u> 、お医者さん <u>②</u> は一番金持ちだと思ふ、 私立の医院がたくさんある <u>③</u> 、 <u>④</u> <u>⑤</u> しりょう代が高いだ。	1取立 *0 /-ハ 2取立 *ハ /-ガ 3接 *0 /-シ 4発音 5*ダ
6395	マレーシア 18 自由作文 4	日本のと <u>①</u> <u>②</u> 違う、日本では、国民保険がついている <u>③</u> 、 約八十パーセントの治療代を <u>④</u> 返す、つまり、 <u>⑤</u> 安いだ。	1取立 *0 /-ハ 2-テイル 3接 *0 /-シ 4複 V 5*ダ
6396	マレーシア 20 自由作文 19	独りでやすい商店に入った、サンシャイン六十にある展 望台へ行って、 <u>①</u> 全東京の景色を見て、とてもきれいな景 色 <u>②</u> 、残念ながら、雨が降りそうな天気 <u>③</u> から、富士山 が全然見えない。	1N 2-ダ 接 3-ダ
6397	マレーシア 21 自由作文 4	夏休みに、毎日暑い天気がつづいていた <u>①</u> <u>②</u> あから、厳し い暑さは、私 <u>③</u> マレーシア人だから我慢できる。	1表記 2接 3取立 *0 /-ハ
6398	マレーシア 21 自由作文 5	宿題 <u>①</u> たくさんあるから、そのうえ日本語まだ <u>②</u> <u>③</u> 上手で アルバイト <u>④</u> がやらなかった。	1格 *0 /-ガ 2NA 3接 4*ガ /-ヲ
6399	マレーシア 21 自由作文 11	その間 <u>①</u> 本屋へ <u>②</u> いった、浅草から浜松町までボートに乗 ったりする <u>③</u> おもしろかった。	1副用 2接 3-名詞節
6400	マレーシア 21 自由作文 13	伍さんと林さんの <u>①</u> たすけをもらった、いろいろな料理を つくって、友達と後に住んでいる日本人の家族 <u>②</u> を一緒に たべました。	1VP 接 2格 *ヲ /-ト
6401	マレーシア 22 自由作文 6	これはマレーシア <u>①</u> がみどりがたくさん <u>②</u> でしょう。	1格 *ガ /-ニ 2接 -カラ
6402	マレーシア 23 自由作文 25	上役さんも、四、五人のおばちゃんも、親切だし、明る い <u>①</u> 心の持主 <u>②</u> だから、いろいろな話をしました。	1熟語 2接
6403	マレーシア 23 自由作文 26	でも、私 <u>①</u> 、日本語がまだ <u>②</u> 変だ から、時々おばちゃん の話題 <u>③</u> は 幾度も熱心に耳を傾け <u>④</u> 、わかりませんでした。	1取立 *0 /-ハ 2NA 3格 *ハ /-ニ 4接一 テモ
6404	マレーシア 24 自由作文 4	あさ、顔を洗ったあとで、昼御飯をたべて <u>①</u> から、図書館 へ行きました。	接
6405	マレーシア 24 自由作文 13	浅草で、船にのって <u>①</u> から、いろいろな形の橋が紹介され ました。	接
6406	マレーシア 27 自由作文 13	仕事が始まったばかりの時 <u>①</u> <u>②</u> 、お客さんが来ると、なに か <u>③</u> ほしい <u>④</u> が <u>⑤</u> わからない、いつも日本人の仲間に頼んで いた。	1N 2取立 *0 /-ハ 3,4発音 5接
6407	マレーシア 28 自由作文 9	私たちが <u>①</u> 話したり、飲物をのんだりしました、私のダン ス姿はなんだか、しばらくおどらなかつた <u>②</u> か、なかなか へたそうでした。 <u>③</u>	1取立 *ガ /-ハ 2接 *カ /-タメニ 3ムード *ソウダ /-ヨウダ
6408	スペイン 2 聴解要約 6	それから、あきはばら <u>①</u> で買物をする <u>②</u> のなので行った。	2接 *ノデ /-シニ 1格 *デ /-ハ
6409	スペイン 2 聴解要約 9	おふろに入りながら、音楽を聞き <u>①</u> ながら、気持ちはだん だんよくなった。	接 *ナガラ
6410	スペイン 2 パターン作文 5	雨が <u>①</u> ふる <u>②</u> とき、魚は家があんまりいりません。	1*ル /-タ 2接 *トキ /-テモ

第5章 シンタクス・意味論 6. 接続

6411	スペイン 2 パターン作文 11	しかし魚は足が <u>ない</u> 車道 <u>で</u> 歩けません。	1接 *0 /-ノデ 2格 *デ /-ヲ
6412	スペイン 2 パターン作文 13	また魚はピアノ <u>ひ</u> けません、 <u>手</u> が <u>ない</u> だからです。	格 *0 /-ガ 2接 3品 詞(*NA /-A)
6413	ナイジェリア 1 パターン作文 7	日本では農業きかいが <u>よく</u> つかう、 <u>国</u> <u>べんり</u> なき かいはあまりない。	2接(-ガ) 1格 *ガ / -ヲ 3取立 *0 /- ニハ
6414	イラク 1 自由作文 4	文化大革命という運動が <u>終わ</u> った 以来、 <u>経済</u> が <u>高速的</u> <u>に</u> <u>発展</u> できる <u>ため</u> に <u>いろ</u> いろな方針と政策 <u>を</u> <u>定め</u> られ た。	1接 *タ /-テ形 3副 用 4*タメニ /-ヨウ ニ 5格 *ヲ /-ガ
6415	インド 1 自由作文 15	来年の大学 <u>ま</u> だ分かります <u>か</u> ら、 <u>引越</u> す時は大変 <u>気</u> を <u>煩</u> すでしょうね。	1取立 *0 /-ハ 2接 3熟語
6416	インド 3 自由作文 14	冷蔵庫と炊飯器とそうじ機とせんたく機は全部共用です <u>一</u> 、とても不便です。	接 *0 /-カラ
6417	インド 7 自由作文 14	毎日学校 <u>へ</u> <u>帰</u> る <u>と</u> き <u>写</u> 真をみます。	1格 *へ /-カラ 2接 *トキ /-ト
6418	インド 8 自由作文 29	私は授業がおわった <u>時</u> 、 <u>たぶ</u> ん部屋にいるだろうと思 います。	接 *トキ /-タラ
6419	インド 9 自由作文 4	私は掃除する事が嫌いですから、1か月に一回 <u>だ</u> け <u>掃</u> 除 <u>し</u> <u>の</u> <u>た</u> めに <u>部</u> 屋 <u>が</u> <u>あ</u> まりきれいではありません。	1取立 *ダケ /-シカ 2否定 3接 *タメニ / -ノデ 4取立 *ガ / -ハ
6420	インド 10 自由作文 23	まだ電気スタンドと本箱がありません <u>か</u> ら、 <u>大</u> 変不便な ので、 <u>今</u> 度の日曜日に <u>買</u> いに行こうと思います。	接
6421	インド 15 自由作文 3	台所は板の間 <u>の</u> で、 <u>掃</u> 除 <u>す</u> る <u>や</u> すい <u>で</u> す。	1接 ノデ 活用(ダ) 2複 V 活用
6422	インド 15 自由作文 8	本箱の中 <u>で</u> <u>本</u> を <u>排</u> べて <u>上</u> に日本へ来 <u>た</u> から秋葉 原で <u>買</u> ったテレビと <u>覚</u> 目 <u>ど</u> けいがおいてあります。	1格 *デ /-ニ 2表記 3複 V 接 4*タ /-テ 5表記
6423	インド 18 自由作文 29	にしに窓がありますから、なつなら、 <u>ご</u> <u>と</u> き <u>日</u> がちょ くしゃして <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>あ</u> つくなります。	1接 *トキ 2Ad 副用
6424	インド 24 自由作文 14	それぞれ <u>は</u> 私とティアンさんが日本に <u>来</u> たばかり <u>買</u> っ たのです。	1取立 *ハ /-0 副 用 2接 *0 /-トキ
6425	インド 25 自由作文 5	ゴ先生はまじめな先生 <u>、</u> <u>い</u> つも学生に <u>親</u> 切に <u>あ</u> げて <u>だ</u> から <u>学</u> 生たちはゴ先生 <u>は</u> <u>たい</u> へんすきです。	1接 *0 /-デ 2受給 3C *ダから /-0 から 4取立 *ハ /-ガ
6426	インド 28 自由作文 6	<u>第</u> 二次の大戦 <u>、</u> <u>日</u> 本の軍隊はビルマへ行 <u>っ</u> た。	1N 2接 *0 /-トキ
6427	インド 32 自由作文 3	私 <u>が</u> <u>今</u> 十九才 <u>で</u> も、日本に来てから、 <u>ど</u> んどん <u>ふ</u> とる よ <u>う</u> にな <u>っ</u> て来 <u>た</u> ので、それに悩んでいる。	1取立 *ガ /-ハ 2接 *テモ /-ガ 3複 V
6428	インド 32 自由作文 4	なぜなら、 <u>身</u> が <u>小</u> くて <u>低</u> くい <u>で</u> す。	1N 2接 *0 /-カラ

6429	インド 33 自由作文 5	私はこどものころに家庭があたたかかったが <u>富裕</u> ではなく なかったから、ほかの子供にうらやましいでした、 <u>毎度</u> 、 友達が <u>いっぱい</u> <u>おもちゃ</u> をもっている <u>とき</u> 、私は <u>金</u> <u>もちさん</u> になって、もっと <u>多い</u> <u>おもちゃ</u> をもっている <u>夢</u> を <u>つく</u> た。	1NA 2格 *ニ /ーガ 3活用(A) 4Ad 副用 語順 5品詞 6接 *ト キ /ート 7N 8A 9V 発音
6430	インド 35 自由作文 9	小学生になった <u>二</u> 、あまり勉強しませんでした。	接
6431	インド 36 自由作文 9	日本語を <u>習</u> うはじめに <u>必死</u> に勉強 <u>する</u> 態度はだんだん へていた <u>と</u> はっきり感じています。	1VP 接 2*ル /ータ 3複V 発音 表記
6432	インド 39 自由作文 22	これは、私のこども <u>時</u> 、なつかしい思い出 <u>、</u> 楽し いこと <u>で</u> した。	1ーノ連 2ーノ連 3接 *0 /ーデ 4*タ /ー ル
6433	インド 41 自由作文 13	私はたこの作り方があまり上手ではないから、一回、父 に手伝わせる <u>から</u> 、一回しかリーダにならなかった。	1接 *カラ /ーテ &表 現
6434	インド 42 自由作文 5	しかし、家にいるおじさんが、 <u>悲しい</u> と <u>病気</u> になって いる <u>が</u> 、 <u>悲傷</u> の心情です。	1A 2接 *ト 3名詞節 4*N -NA
6435	インド 42 自由作文 14	今まで、この映画を思い出す <u>の時</u> 、 <u>心に残</u> っていまし た。	1形名 接 *トキ 2VP
6436	インド 43 自由作文 4	私達の生活 <u>には</u> <u>不注意</u> 、 <u>不せつ生</u> の <u>ため</u> にかかりやす いです。	1取立 *ニハ /ーガ 2 接 *タメニ /ートキ
6437	インド 43 自由作文 12	かぜ <u>について</u> 、 <u>一種類</u> な <u>かかりやす</u> い <u>だ</u> <u>病気</u> だから、 もし、 <u>か</u> かったら <u>お医者</u> に <u>み</u> <u>にい</u> く <u>とな</u> おる <u>よう</u> にな ります。	1取立 *ニツイテ /ー ハ 2数 品 *NA /ー N 3品 *NA /ーA 4 複V 5*ヨウニ
6438	インド 46 自由作文 7	そして、 <u>どう</u> いう <u>ふ</u> に、 <u>一つ</u> の <u>工</u> の <u>管</u> 理を <u>順</u> 利に進 む <u>こと</u> は <u>と</u> ても、 <u>大切</u> <u>から</u> です。	1発音 2表記 3*名詞 節 4ーダ 5接 *カラ
6439	インド 48 自由作文 5	しかし、 <u>コンピュー</u> ター <u>について</u> 、 <u>国</u> <u>は</u> この <u>方面</u> の <u>専</u> <u>門</u> <u>学校</u> が <u>す</u> くない <u>です</u> <u>から</u> 。	1発音 2格 *0 は /ー デは 3接 *カラ /ー 0
6440	インド 54 自由作文 5	もし、 <u>富豪</u> の <u>家庭</u> に <u>生</u> れたら <u>稚</u> い <u>時</u> から <u>何</u> の <u>衣食</u> の <u>心</u> 配 も <u>無</u> く、 <u>愉快</u> な <u>生</u> 活を <u>する</u> 、 <u>一方</u> には <u>貧困</u> の <u>家庭</u> に <u>生</u> れたら、 <u>経済</u> の <u>問題</u> によって <u>自分</u> の <u>理想</u> や <u>願</u> 望が <u>変</u> <u>わる</u> の <u>で</u> ある。	1活用(NA) 2接 3副 用 4スタイル
6441	フィンランド 5 自由作文 4	おふろと台所とお手洗いはあります <u>が</u> 。	接 *ガ /ール
6442	フィンランド 7 自由作文 5	私の <u>国</u> <u>では</u> 、 <u>人参</u> という <u>物</u> があります <u>ので</u> <u>それ</u> が、 <u>ど</u> <u>んな</u> 、 <u>病気</u> にも <u>よく</u> 、 <u>き</u> くん <u>です</u> 。	1格 *デは /ーニは 2 接 *ノデ /ーガ
6443	フィンランド 8 自由作文 5	<u>ばい</u> きん <u>が</u> <u>見</u> えな <u>い</u> <u>ため</u> に <u>か</u> ぜを <u>ひ</u> かない <u>こと</u> <u>が</u> <u>む</u> <u>ず</u> かしい <u>です</u> 。	1,4取立 *ガ /ーハ 2 接 *タメニ /ーノデ、 カラ 3複N
6444	フィンランド 8 自由作文 6	<u>冬</u> の <u>時</u> 、 <u>あ</u> たた <u>か</u> い <u>ふ</u> くを <u>き</u> なければ <u>な</u> りません。	1接 2取立 0 /ーハ

5.7. モダリティ

5.7.1. とりたて詞ハ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
6445	台湾 1 自由作文 6	台南市は <u>まった</u> 有名なことは台湾料理が一番おいしい <u>です</u> 。 (1) (2) (3)	2発音 副用 1格 取立 *ハ /ーデ 3一名 詞節
6446	台湾 1 パターン作文 3	我が <u>もっと</u> 深い学問を <u>欲しい</u> ために日本へ来た。 (1) (2)	N 取立 *ガ /ーハ 2 V
6447	台湾 1 パターン作文 9	たとえば、視覚 <u>デザイ</u> の方 <u>ば</u> 日本語より <u>面白い</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1表記 発音 2発音 取立 *ハ /ーガ 3品 詞(*NA /ーA) 4ダ スタイル
6448	台湾 1 パターン作文 10	山の上に時々雪が降ります、しかし南の海辺で <u>人</u> が泳ぐことがある。	&スタイル 取立 で *0 /ーハ
6449	台湾 1 パターン作文 15	<u>けれども</u> 、日本語と視覚デザインをくらべると、視覚デザインが外来語や専門用語が沢山あります。 (1) (2)	1発音 2取立 *ガ /ーハ
6450	台湾 1 パターン作文 17	日本語と専門科の違いは、日本語の文法が <u>解りにくい</u> 、専門科が大学での、もう <u>習った</u> 、そして理解が <u>やすい</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1,3格 取立 *ガ /ーハ 2接 -ガ 5接 -ノデ 4*タ /ーテイル 6 5品詞 複 V
6451	台湾 1 パターン作文 21	その時に台湾人が「秋老虎」という言葉に <u>なった</u> 。 (1) (2) (3)	3V 1格 *ニ /ーヲ 2 取立 *ガ /ーハ
6452	台湾 2 自由作文 10	今、台南 <u>の中</u> で <u>昔</u> のお寺などはあまり <u>ばらばら</u> にのこっていない。 (1) (2) (3)	1表現 取立 2で*0 /ーハ 3Ad 副用
6453	台湾 2 パターン作文 3	東京都より筑波学園都市の方がにぎやかで <u>ない</u> がここに住んでいる人はいつも非常に <u>楽しい</u> です。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /ーハ 2スタイル 3A
6454	台湾 2 パターン作文 4	季節の変化について <u>台湾</u> の <u>ほうが</u> 一年を通じて春のような気候です。 (1) (2)	1取立 について*0 /ーハ 2 取立 *ノホウガ /ーハ
6455	台湾 2 パターン作文 8	日本の四季の変化ははっきり <u>きわだ</u> っている <u>ので</u> 、自然の <u>ながめ</u> に関して <u>台湾</u> より日本のほうが豊かです。 (1) (2) (3)	3取立 *0 /ーハ 1V 2N
6456	台湾 2 パターン作文 9	<u>語言</u> について <u>日本語</u> の動詞の <u>いろいろな</u> 変化が <u>多い</u> で、敬語の用法が <u>むずかしい</u> で。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1N 4,6活用 2格 にツイテ*0 /にツイテーハ 3*ノ連 /ーハ 取立 5取立 *ガ /ーモ
6457	台湾 2 パターン作文 12	単語の発音については、中国語の四つの音調の高低が <u>むずかしい</u> ので日本語 <u>ほと</u> 中国語は非常に勉強しにくい <u>です</u> 。 (1) (2)	2発音 1取立 *ガ /ーハ 2格(ーヨリ)
6458	台湾 3 自由作文 9	教師のとき <u>毎土曜日</u> あるいは <u>日曜日</u> 、いつも生徒と一緒に <u>台北</u> の <u>近い所</u> <u>ハイキング</u> する、 <u>ハイキング</u> しながら <u>地形</u> や <u>地理</u> 方面の知識も生徒に教えました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1取立 *0 /ーハ 2複 N 3並 N *アルイハ /ーカ 4格 *0 /ーニ 5格 *ノ連 /ーニ、へ 6格 *0 /ーニ、へ 7接 -テ形
6459	台湾 3 自由作文 10	部屋いるとき <u>音楽</u> <u>ききながら</u> 、他のことやります。 (1) (2)	1取立 *0 /ーハ 2格 *0 /ーヲ

6460	台湾 4 自由作文 7	デザインを <u>除いて</u> 、私は <u>バレーボール</u> ・ <u>バスケットボール</u> ・ <u>テニス</u> と <u>旅行</u> が <u>すき</u> であるが、 <u>お金を節約</u> するために、 <u>筑波</u> に来てから <u>旅行</u> のかわりに <u>自転車の運動</u> をしている。	1条件 *テ形 /ート 2 発音 表記 3取立 *0 /ーハ
6461	台湾 5 自由作文 3	実は、あなた <u>は</u> 、去年、私から <u>かして</u> <u>もら</u> った本と資料は今、試験と論文を書くために、その本と統計資料は私にとって <u>急用</u> ですから、 <u>はやく</u> かえして <u>もら</u> うのが <u>欲しい</u> です。	1取立 *ハ /ーガ 2受 給 3N 4A
6462	台湾 5 自由作文 4	あなたは <u>最近</u> の勉強と論文を書くこと <u>が</u> <u>い</u> かがですか？	1副用 2取立 *ガ /ー ハ
6463	台湾 5 自由作文 5	あなたの学問を研究する方法 <u>が</u> <u>尊</u> 敬されています。	取立 *ガ /ーハ
6464	台湾 7 自由作文 4	木村さんは先月私に貸して <u>持</u> った名画家の作品のスラド <u>が</u> <u>もう</u> 見ましたか <u>感想</u> がありますか、 <u>いい</u> 作品 <u>が</u> <u>た</u> くさん見て、参考して、 <u>自分</u> に <u>アイディア</u> の発想に <u>激</u> 発 <u>な</u> ことがあるかもしれないと思います。	1取立 *ハ /ーガ 2受 給 3格 *ガ /ーヲ 4表 現 5格 *ガ /ーヲ 6ー ノ連 7NA
6465	台湾 7 自由作文 5	もし木村さんは <u>もう</u> みおわった <u>から</u> 来月私は実技試験で参考するために名画家の作品が <u>必要</u> になりましたから <u>急</u> におくりもと <u>して</u> もいいでしょうか。	1取立 *ハ /ーガ 2接 *カラ /ーナラ 3副 用 Ad 4複 V
6466	台湾 9 自由作文 5	中学校以後、父は <u>商</u> もやった <u>、</u> そうすると家庭の経済 <u>が</u> <u>だ</u> んだん好転 <u>し</u> た。	1N 2接 ーノデ 3取 立 *ガ /ーハ 4ーテ クル
6467	台湾 9 自由作文 9	高校の比*成績 <u>は</u> <u>優</u> 勝 <u>を</u> 取ったら、 <u>体育</u> 専門学校 <u>を</u> <u>直</u> 接 <u>に</u> <u>入</u> った。	1取立 *ハ /ーデ 2N 3格 *ヲ /ーニ 4格 * ニ /ー0
6468	台湾 9 自由作文 11	そして、 <u>中華</u> 民国柔道チームの選手と <u>な</u> った、 <u>国外</u> <u>へ</u> <u>試</u> 合に <u>参</u> 加した、 <u>卒業</u> を <u>し</u> たら <u>警</u> 官学校に勤めて柔道を教えている。	1,3ー連用形 2格 *ハ /ーデ 4ーテ形 接 * タラ /ーカラ 5取立 *0 /ーハ
6469	台湾 11 自由作文 6	そして、友達どうして <u>「朱朱」</u> ・ <u>「D」</u> ・ <u>「荀子」</u> (竹の子) などと呼ばれていた。	取立 *0 /ーハ
6470	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文 <u>の</u> <u>た</u> め、私に二冊の高校及び中学校の歴史教科書を <u>貸</u> しましたが <u>この</u> 近頃 <u>私</u> も <u>ち</u> よっど <u>参</u> 考 <u>し</u> たい <u>で</u> す <u>の</u> で久美子さんは <u>もし</u> <u>よ</u> か <u>っ</u> たら <u>今</u> 週 <u>の</u> 金曜日 <u>、</u> <u>ち</u> よっど返して <u>く</u> ださいませんか。	1*ノ連 ーV 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V / ーN 6*ダ 7取立 *ハ /ーガ、サエ 8スタ イル 9格 *0 /ーニ
6471	台湾 14 自由作文 1	私 <u>は</u> <u>日</u> 本に <u>来</u> た目的	取立 *ハ /ーガ
6472	台湾 15 自由作文 9	それが私 <u>は</u> <u>コ</u> ンピュータに <u>興</u> 味 <u>が</u> <u>持</u> つはじめでした。	1取立 *ハ /ーガ 2格 *ガ /ーヲ
6473	台湾 15 自由作文 13	それがなぜ日本 <u>が</u> <u>世</u> 界の経済強国 <u>に</u> なっているの <u>で</u> しょう。	取立 *ガ /ーハ
6474	台湾 15 自由作文 16	またちかいうちに大学の入学試験 <u>は</u> <u>来</u> るそうです。	取立 *ハ /ーガ

6475	台湾 16 自由作文 7	チームもおおいし、観衆もおおぜいですから、私にびっくりしました。	格 取立 *ニ /ーハ
6476	台湾 17 自由作文 9	もしわたしはしんりそうだんしゃだったらさまざまじんげんのもんだいが私にけんけんきゅうされます。	1取立 *ハ /ーガ 2発音 3格 に*0 /にーヨッテ 4表記 5受身
6477	台湾 18 自由作文 8	その上に、船とか汽車とかに乗って旅費もいりません。	1接 条件 *テ形 /ーテモ 2取立 *モ /ーハ
6478	台湾 19 自由作文 3	公務員が人の目の中になにものを思われているのは全然考えなくて、上役にどんな不公平な事をさせられても、けっしてあませなくて、大衆に対して、らずに責任がおわれて、いつも人に服務する思いつきを持っている。	1取立 *ガ /ーハ 2表現 一疑問節 ートイウ 3接 *テ形 4V 5格 *ガ /ーヲ 6自他 7N
6479	台湾 20 自由作文 1	今日、私が国の経済の具合がよくありません、もし、私が通産大臣だったら、ぜひ、このような衰退する経済状態をよくにするように努力しようと思っています。	1表記 2取立 *ガ /ーハ 3副用
6480	台湾 20 自由作文 3	最近、二十年来、政府と人民と、一生懸命に、農業社会を工商社会にする方針に奮励しています。	1Ad ーコソア 2取立 *0 /ーハ 3複 N 4N 5V
6481	台湾 20 自由作文 14	以上、私の個人的な考え方です。	取立 *0 /ーハ
6482	台湾 21 自由作文 3	だから、私は留学生だったら、言葉が一番基本的なものでもちろん勉強しなければならないが、一番勉強したいことは、あの国の文化とか歴史とかのことです。	1取立 *ハ /ーガ 2コソア 3並 N 4*コト
6483	台湾 21 自由作文 4	さらに、これはを基づいて、どのように演化してきたのか、なぜいまようになったのかのことです。	1取立 *ハ /ー0 2格 *ヲ /ーニ 3V 4ートイウ
6484	台湾 23 自由作文 2	しかし、国の両親は日本へ来る予定があったのだから、私は国へ帰りませんでした。	1取立 *ハ /ーガ 2*ノダ /ー0
6485	台湾 23 自由作文 3	夏休みの間に最初の二週間、私と洪さん一緒に川越、長崎屋の洋服部でアルバイトしました。	1副用 格 *ニ /ー0 2取立 *0 /ーハ
6486	台湾 24 自由作文 1	暑休みは私が国へかえりました。	1表記 2取立 *ガ /ーハ
6487	台湾 24 自由作文 2	8月9日台北に着いて、空港で家族もうまってこがれていました。	1接 条件 *テ形 /ートラ 2取立 *0 /ーハ 3格 *0 /ーガ 4VP
6488	台湾 24 自由作文 4	台湾のたべものやおそびものなど、日本もっとうすいですから、暑休みの時に国でよくたべたり、あそんだりしました。	1取立 *0 /ーハ 2ーヨリ 3表記
6489	台湾 24 自由作文 7	もしこの暑休みは国へ帰らなければ、日本へもどったあとで、こんな料理たぶたべられないかもしれません。	1表記 2取立 *ハ /ーニ 3接 条件 *バ /ートラ
6490	台湾 24 自由作文 16	こんなはなし時間は一番うれしかったです。	1複 N 2取立 *ハ /ーガ

6491	台湾 24 自由作文 20	そのあいだに ⁽¹⁾ しあわせな時間で、だから今度の学期は私は ⁽²⁾ 必ずもっと勉強しようと ⁽³⁾ 思って、来年いい大学にはいます。	1取立 *ニ /ーハ 2接 *テ形
6492	台湾 25 自由作文 3	「親情」という映画 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 母親の愛 ⁽³⁾ は ⁽⁴⁾ 十分に ⁽⁵⁾ 表られました。	1取立 *ガ /ーハ 2取立 *ガ /ーハ 3自他
6493	台湾 25 自由作文 11	一週間後、手術の費用 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ たりない ⁽³⁾ ので ⁽⁴⁾ 母親 ⁽⁵⁾ が ⁽⁶⁾ なくな ⁽⁷⁾ って ⁽⁸⁾ しま ⁽⁹⁾ って ⁽¹⁰⁾ いました。	1取立 *ハ /ーガ 2接 *デ /ーテ形 3取立 *ガ /ーハ
6494	台湾 25 自由作文 14	もし、この映画 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ もう一度、 ⁽³⁾ 放映 ⁽⁴⁾ したら ⁽⁵⁾ 再び ⁽⁶⁾ もう一回 ⁽⁷⁾ 見 ⁽⁸⁾ よう ⁽⁹⁾ と思 ⁽¹⁰⁾ っています。	1取立 *ハ /ーガ 2受身
6495	中国 3 聴解要約 12	この庭の門 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 立派 ⁽³⁾ ですね。	1コソア 2取立 *ガ /ーハ 3ムード
6496	中国 3 聴解要約 14	庭 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 広 ⁽³⁾ いです。	取立 *ガ /ーハ、ーモ
6497	中国 3 聴解要約 24	そのあと、大家さん ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 部屋 ⁽³⁾ の中 ⁽⁴⁾ に見 ⁽⁵⁾ にいきました。	2格 *ニ /ーヲ 1取立 *ガ /ーハ
6498	中国 3 聴解要約 28	それでは、友達は大家さんの家具 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ を ⁽³⁾ た ⁽⁴⁾ ず ⁽⁵⁾ けて ⁽⁶⁾ 運 ⁽⁷⁾ び ⁽⁸⁾ 入 ⁽⁹⁾ れ、 ⁽¹⁰⁾ 中 ⁽¹¹⁾ 午 ⁽¹²⁾ 時 ⁽¹³⁾ 、 ⁽¹⁴⁾ そば ⁽¹⁵⁾ 店の ⁽¹⁶⁾ 店 ⁽¹⁷⁾ 員 ⁽¹⁸⁾ は ⁽¹⁹⁾ そば ⁽²⁰⁾ を ⁽²¹⁾ と ⁽²²⁾ ど ⁽²³⁾ け ⁽²⁴⁾ ました。	1C 3発音 2取立 *ハを /ーOを 3V 4N
6499	中国 3 聴解要約 29	皆 ⁽¹⁾ さん ⁽²⁾ が ⁽³⁾ 一 ⁽⁴⁾ 緒 ⁽⁵⁾ に ⁽⁶⁾ そば ⁽⁷⁾ を ⁽⁸⁾ 食 ⁽⁹⁾ べ ⁽¹⁰⁾ ま ⁽¹¹⁾ し ⁽¹²⁾ た。	取立 *ガ /ーハ
6500	中国 3 絵を見ての作文 3	車 ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 速 ⁽³⁾ い ⁽⁴⁾ で ⁽⁵⁾ し ⁽⁶⁾ た ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ 歩 ⁽⁹⁾ 道 ⁽¹⁰⁾ の ⁽¹¹⁾ 中 ⁽¹²⁾ に ⁽¹³⁾ 歩 ⁽¹⁴⁾ い ⁽¹⁵⁾ て ⁽¹⁶⁾ 人 ⁽¹⁷⁾ た ⁽¹⁸⁾ ち ⁽¹⁹⁾ が ⁽²⁰⁾ 水 ⁽²¹⁾ を ⁽²²⁾ ひ ⁽²³⁾ っ ⁽²⁴⁾ か ⁽²⁵⁾ け ⁽²⁶⁾ れ ⁽²⁷⁾ ま ⁽²⁸⁾ し ⁽²⁹⁾ た ⁽³⁰⁾ ね。	1スタイル 7活用 4格 *ニ /ーヲ 2接 *ガ /ーカラ 3N 5 *テ形 /ー体修 6取立 *ガ /ーハ
6501	中国 3 パターン作文 3	医者の事務室に ⁽¹⁾ 六 ⁽²⁾ 人 ⁽³⁾ い ⁽⁴⁾ ま ⁽⁵⁾ す。	取立 に*0 /にーハ
6502	中国 4 聴解要約 4	ヤンさん ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ き ⁽³⁾ た ⁽⁴⁾ と ⁽⁵⁾ き ⁽⁶⁾ は ⁽⁷⁾ あ ⁽⁸⁾ さ ⁽⁹⁾ だ ⁽¹⁰⁾ つ ⁽¹¹⁾ が ⁽¹²⁾ 、 ⁽¹³⁾ 天 ⁽¹⁴⁾ 気 ⁽¹⁵⁾ が ⁽¹⁶⁾ と ⁽¹⁷⁾ と ⁽¹⁸⁾ も ⁽¹⁹⁾ あ ⁽²⁰⁾ つ ⁽²¹⁾ か ⁽²²⁾ つ ⁽²³⁾ た。	1取立 *ハ /ーガ 2表現 N
6503	中国 4 聴解要約 5	ヤンさん ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ か ⁽³⁾ と ⁽⁴⁾ う ⁽⁵⁾ さ ⁽⁶⁾ ん ⁽⁷⁾ の ⁽⁸⁾ 奥 ⁽⁹⁾ さ ⁽¹⁰⁾ ん ⁽¹¹⁾ に ⁽¹²⁾ 冷 ⁽¹³⁾ い ⁽¹⁴⁾ お ⁽¹⁵⁾ 茶 ⁽¹⁶⁾ を ⁽¹⁷⁾ も ⁽¹⁸⁾ ら ⁽¹⁹⁾ っ ⁽²⁰⁾ て、 ⁽²¹⁾ 飲 ⁽²²⁾ ん ⁽²³⁾ だ ⁽²⁴⁾ あ ⁽²⁵⁾ と ⁽²⁶⁾ 気 ⁽²⁷⁾ 持 ⁽²⁸⁾ ち ⁽²⁹⁾ が ⁽³⁰⁾ よ ⁽³¹⁾ く ⁽³²⁾ な ⁽³³⁾ つ ⁽³⁴⁾ た。	1取立 *ガ /ーハ 2接 *アト /ータラ
6504	中国 4 自由作文 4	その近くに ⁽¹⁾ 二 ⁽²⁾ 人 ⁽³⁾ が ⁽⁴⁾ い ⁽⁵⁾ ま ⁽⁶⁾ す。	取立 に*0 /にーハ
6505	中国 4 パターン作文 5	食物 ⁽¹⁾ に ⁽²⁾ と ⁽³⁾ し ⁽⁴⁾ て ⁽⁵⁾ 日 ⁽⁶⁾ 本 ⁽⁷⁾ 料 ⁽⁸⁾ 理 ⁽⁹⁾ は ⁽¹⁰⁾ 美 ⁽¹¹⁾ 味 ⁽¹²⁾ し ⁽¹³⁾ い ⁽¹⁴⁾ で ⁽¹⁵⁾ す ⁽¹⁶⁾ が ⁽¹⁷⁾ 、 ⁽¹⁸⁾ 中 ⁽¹⁹⁾ 国 ⁽²⁰⁾ 料 ⁽²¹⁾ 理 ⁽²²⁾ と ⁽²³⁾ 比 ⁽²⁴⁾ べ ⁽²⁵⁾ る ⁽²⁶⁾ と ⁽²⁷⁾ 違 ⁽²⁸⁾ と ⁽²⁹⁾ こ ⁽³⁰⁾ ろ ⁽³¹⁾ は ⁽³²⁾ あ ⁽³³⁾ り ⁽³⁴⁾ ま ⁽³⁵⁾ す。	1格 *ニ /ーO 3取立 格 *ハ /ーガ 2表記
6506	中国 4 パターン作文 6	私はその現象の ⁽¹⁾ 始 ⁽²⁾ の ⁽³⁾ 原因 ⁽⁴⁾ が ⁽⁵⁾ 簡 ⁽⁶⁾ 単 ⁽⁷⁾ に ⁽⁸⁾ い ⁽⁹⁾ え ⁽¹⁰⁾ な ⁽¹¹⁾ い ⁽¹²⁾ だ ⁽¹³⁾ ら ⁽¹⁴⁾ う ⁽¹⁵⁾ と ⁽¹⁶⁾ 思 ⁽¹⁷⁾ う。	2取立 *ガ /ーハ 1N
6507	中国 6 自由作文 1	私の名前 ⁽¹⁾ 二 ⁽²⁾ * ⁽³⁾ * ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ で ⁽⁶⁾ す。	取立 *0 /ーハ
6508	中国 6 自由作文 9	今度の日本語 ⁽¹⁾ 二 ⁽²⁾ コ ⁽³⁾ ー ⁽⁴⁾ ス ⁽⁵⁾ 、 ⁽⁶⁾ 私 ⁽⁷⁾ に ⁽⁸⁾ と ⁽⁹⁾ し ⁽¹⁰⁾ て ⁽¹¹⁾ 一 ⁽¹²⁾ ⁽¹³⁾ 語 ⁽¹⁴⁾ と ⁽¹⁵⁾ か ⁽¹⁶⁾ 文 ⁽¹⁷⁾ 法 ⁽¹⁸⁾ と ⁽¹⁹⁾ か ⁽²⁰⁾ 、 ⁽²¹⁾ だ ⁽²²⁾ い ⁽²³⁾ じ ⁽²⁴⁾ ょう ⁽²⁵⁾ ぶ ⁽²⁶⁾ で ⁽²⁷⁾ 、 ⁽²⁸⁾ 聞 ⁽²⁹⁾ き ⁽³⁰⁾ は ⁽³¹⁾ だ ⁽³²⁾ め ⁽³³⁾ で ⁽³⁴⁾ 、 ⁽³⁵⁾ 読 ⁽³⁶⁾ 解 ⁽³⁷⁾ は ⁽³⁸⁾ 時 ⁽³⁹⁾ 間 ⁽⁴⁰⁾ は ⁽⁴¹⁾ な ⁽⁴²⁾ く ⁽⁴³⁾ て ⁽⁴⁴⁾ 書 ⁽⁴⁵⁾ く ⁽⁴⁶⁾ こ ⁽⁴⁷⁾ と ⁽⁴⁸⁾ は ⁽⁴⁹⁾ で ⁽⁵⁰⁾ き ⁽⁵¹⁾ ま ⁽⁵²⁾ せ ⁽⁵³⁾ ん。	1V 2*ノ連 体修 3格 *とシテ /ートッテ 4,5取立 *0 /ーハ 6NA 7接 *テ形 /ーガ 8N 9取立 *ハ /ーガ

第5章 シンタクス・意味論 7. モダリティ

6509	中国 6 自由作文 11	専攻している の ことと私の発表した修士論文の内容 ちよつと違 <u>う</u> です。 (1) (2)	1*ノ連 体修 2取立 * 0 /-ハ 3*ダ
6510	中国 7 自由作文 2	すると、日本という国はど <u>う</u> いう国かよくわかりませ <u>ん</u> が、筑波大学の環 <u>境</u> がすきな <u>ん</u> です。 (1) (2) (3) (4)	1C 2取立 *ガ /-ハ 3*のだ
6511	中国 8 自由作文 6	日本語はへたで、日本人と友 <u>達</u> になることはだ <u>め</u> です。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ガ 2NA
6512	中国 9 自由作文 7	そこで東京外国語大学の先生は親 <u>切</u> に教 <u>え</u> て、 <u>私</u> の日 本語はだ <u>ん</u> だ <u>ん</u> 上手にな <u>っ</u> た。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ガ 2- 受給
6513	中国 9 自由作文 8	日本は光学は発 <u>達</u> だ。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ガ 2品 詞 *NA /-V
6514	中国 10 自由作文 2	わたしは日本へ来 <u>て</u> 、日本人が <u>あ</u> いさつが多いこと <u>に</u> び っくりしま <u>し</u> た。	取立 *ガ /-ハ
6515	中国 10 自由作文 4	こんな競争の激しい経済大国の人々はロボットのよう <u>に</u> 働いてい <u>な</u> が <u>ら</u> 、一分一秒も大切 <u>に</u> しているの <u>に</u> かた <u>く</u> るしいあいさつ <u>に</u> いく <u>ら</u> 時間がかか <u>っ</u> てもも <u>っ</u> た <u>い</u> な いとは思 <u>わ</u> ないこと <u>は</u> 私 <u>は</u> 不思議だと思 <u>い</u> ます。 (1) (2) (3) (4) (5)	1接 *ナガラ /-連用 形 2格 *ニ /-デ 3不 定 4取立 *モ /-ハ 5 取立 *ハ /-ニ
6516	中国 10 自由作文 5	わたし <u>に</u> は一番印象深 <u>か</u> ったのは日本へ来 <u>て</u> から三日 <u>め</u> のこと <u>で</u> した。	取立 に*ハ /-に-0
6517	中国 11 自由作文 4	わたしはアルバイトを <u>し</u> ている電気製品 <u>の</u> 倉庫 <u>に</u> <u>従</u> 業員が五人 <u>い</u> ます。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ガ 2に *ハ /-に-0
6518	中国 11 自由作文 11	<u>か</u> れは一人 <u>し</u> か <u>し</u> 仕事を <u>す</u> るから、毎日の残業 <u>す</u> るの <u>が</u> ほ <u>し</u> い <u>で</u> す。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1C 2取立 *ハ /-ガ 3*シカ 4*ル /-テイ ル 否定 5V 6接 - カラ
6519	中国 12 自由作文 11	すると、警察官に <u>き</u> びしい <u>質</u> 問 <u>さ</u> れました。「名前 <u>は</u> 」、「国籍」、「保 <u>証</u> 人」、「住 <u>所</u> 」、「勤務先」、「 その電話番 <u>号</u> 」、「身元証明 <u>書</u> 」など、いろいろ <u>言</u> い <u>つ</u> め <u>ら</u> れました。 (1) (2) (3)	1品詞 *A /-Ad 2取 立 *ハ /-0 3V
6520	中国 12 自由作文 15	こんな <u>一</u> — <u>一</u> — <u>一</u> — <u>一</u> きびしさは中国で <u>ど</u> うしても理解 <u>で</u> き ないに違 <u>い</u> ありませ <u>ん</u> 。	取立 *0 /-ハ
6521	中国 14 自由作文 14	電車の席があまり多 <u>く</u> ない、三分の二の人 <u>が</u> 一時間 ぐ <u>ら</u> い立 <u>っ</u> たまま、会社に行 <u>き</u> ます。 (1) (2)	1接 -ノデ 2取立 * ガ /-ハ
6522	中国 16 自由作文 5	そこ <u>に</u> 日本の昔の <u>跡</u> がよく見 <u>え</u> ました。 (1) (2)	1格 取立 *ニ /-デ ハ 2N
6523	中国 16 自由作文 6	日本の典型的な <u>景</u> 物 <u>は</u> 見 <u>っ</u> て、やはり日本へ来 <u>た</u> 感 <u>じ</u> がしま <u>し</u> た。 (1) (2) (3)	1N 2取立 *ハ /-ヲ 3発音
6524	中国 16 自由作文 11	例えば、こちらの若者 <u>は</u> 着 <u>た</u> 洋服とかへ <u>ア</u> のタイ <u>プ</u> とか自由な生活 <u>な</u> ど <u>を</u> び <u>っ</u> くりしま <u>し</u> た。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ /-ノ連 2*タ /-テイル 3格 *ヲ /-ニ

6525	中国 16 自由作文 23	最初日本に <u>来て</u> 、住む所は <u>解決し</u> なければ、なりませ ん <u>から</u> 、 <u>アパート</u> を探しに <u>いって</u> 、不動産屋さんは探 してくれましたが、いろいろ <u>契約</u> して、 <u>そして</u> <u>敷金</u> 、 <u>礼</u> <u>金</u> ということ <u>は</u> <u>やっと</u> わかりました。	1接 *テ形 /ートキ 2 取立 *ハ /ーヲ 3V 4接 *カラ /ーノデ 5 条件 *テ形 /ート 6 C 7*ハ /ーガ
6526	中国 17 自由作文 2	私は日本に来る前に日本 <u>として</u> <u>世界中</u> <u>経済強国</u> のこと を知っていました。	1格 取立 *トシテ / ーハ 2複 N 3*ダ
6527	中国 17 自由作文 10	という問題を考えたら、これ <u>と</u> <u>教育普及</u> の <u>関係</u> がある にちがいありません。	1取立 *ト /ーハ 2格 *ノ /ート
6528	中国 17 自由作文 17	わたしたち <u>とって</u> <u>二十世紀</u> の青年 <u>は</u> <u>もし</u> 、日本人の <u>様</u> <u>子</u> <u>つまり</u> <u>仕事</u> をしたら <u>きりが</u> ないほどの <u>精神</u> <u>を</u> 手 <u>に</u> <u>入れる</u> 。	1*トッテ /ーO 2取 立 *ハ /ーガ 3N 4 熟語 5N 6可能 スタ イル
6529	中国 18 自由作文 2	一九八六年九月二十四日の日わたしが <u>う</u> れしい <u>気持</u> <u>ち</u> <u>を</u> <u>持</u> って日本に参りました。	1取立 *ガ /ーハ 2N 3V
6530	中国 18 自由作文 3	来る前 <u>に</u> <u>日本</u> のいろいろなものが <u>必ず</u> <u>優</u> れる <u>と思</u> って いました。来て <u>から</u> <u>自分</u> の思っ <u>た</u> <u>とう</u> り <u>と</u> 違っ <u>て</u> <u>い</u> ます。	1取立 *ニ /ーハ 2Ad 3*ル /ーテイル 4複 V ーテミル 5条件 6 N 7*ル /ータ
6531	中国 18 自由作文 7	<u>それ</u> <u>を</u> <u>比</u> べたら日本の消防隊員の動作 <u>が</u> <u>本</u> 当に遅いと <u>思</u> っています。	1コソア 2取立 *ガ / ーハ 3*テイル /ータ
6532	中国 18 自由作文 8	何でもできる <u>優</u> れた <u>国</u> <u>とし</u> て <u>消防</u> 隊員の動作がそん なに遅いのは本 <u>当</u> にふしぎです。	1*タ /ーテイル 2格 *ト /ーニ 3取立 *O /ーハ
6533	中国 18 自由作文 10	わたしの国はあまり優れていませんけれど消防員 <u>が</u> <u>国</u> より <u>強</u> い <u>に</u> ちがいありませ。	1取立 *ガ /ーハ 2N 3A
6534	中国 18 自由作文 12	もう一つの <u>印</u> 象は日本で <u>車</u> が <u>多</u> すぎました。	1N 2取立 で*O / ーハ 3タ /ール
6535	中国 18 自由作文 13	<u>ど</u> ちら <u>行</u> っても車でいっばいです。 <u>それ</u> を見た <u>わ</u> た <u>し</u> <u>が</u> <u>この</u> 点はたぶん国 <u>の</u> <u>発</u> 達するにつれて増えると思 います。	1不定 2格 *O /ーへ 3表現 体修 4取立 * ガ /ーハ 5*ノ連
6536	中国 18 自由作文 14	<u>車</u> <u>が</u> <u>多</u> いけれど、運転手は <u>ほと</u> んど <u>道</u> を渡る人を見る <u>と</u> <u>さ</u> ける <u>ま</u> たは <u>止</u> まることが多 <u>い</u> です。	1取立 *ガ /ーハ 2語 順 3並 V ータリ 4C
6537	中国 18 自由作文 17	例えば道で車で互いに <u>追</u> いつく <u>こ</u> と <u>と</u> <u>人</u> をさけないこ <u>と</u> <u>が</u> <u>普</u> 通です。	1V 2並 N *ト /ーヤ 3取立 *ガ /ーハ
6538	中国 19 自由作文 4	たとえば浮浪者 <u>が</u> <u>も</u> っとも不思議だと <u>思</u> っています <u>が</u> 、 <u>どう</u> して、 <u>経済</u> 大国の日本 <u>に</u> は <u>こ</u> んなに <u>た</u> くさ <u>ん</u> な <u>浮</u> 浪者がいますか。	1一名詞節 2格 *ガ / ーヲ 3活用 4ーノダ 5取立 <u>に</u> *ハ /ー O 6品詞*NA /ーN 7ーノダ
6539	中国 20 自由作文 16	第三 <u>は</u> <u>日本</u> 人はよく勉強していると思 <u>い</u> ます。	取立 *ハ /ーニ
6540	中国 22 自由作文 4	いろいろな <u>ど</u> ころ <u>は</u> <u>い</u> ろいろなふうぞくと風景があ ります。	1発音 2取立 *ハ /ー ニ
6541	中国 22 自由作文 7	しかし、 <u>べ</u> んきょうにき <u>ま</u> りました。	取立 *O /ーハ

6542	中国 22 自由作文 10	に、さんかげつ <u>じゅう</u> 、わたしは毎日学校のじゅうきよ うの時間 <u>は</u> <u>五時間</u> <u>が</u> <u>あります</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1複 N 2取立 *ハ /- ガ 3格 *ガ /-0 4* ル /-タ
6543	中国 22 自由作文 13	文法の方 <u>が</u> 強くなりました。	取立 *ガ /-ハ
6544	中国 22 自由作文 14	しかし、話すこと <u>を</u> <u>心配</u> <u>します</u> 。 (1) (2)	1取立 *ヲ /-ハ 2品 詞(V /-NA)
6545	中国 22 自由作文 17	日本語 <u>が</u> おもしろいが、むずかしいです。	取立 *ガ /-ハ
6546	中国 23 自由作文 11	にほんごのなかでわたしがいちばんすきな <u>かん</u> <u>じ</u> <u>です</u> 。	名詞節 *0 /-ノ 取 立 *0 /-ハ
6547	中国 23 自由作文 14	にほんごのべんきょう <u>は</u> <u>わたし</u> <u>が</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>です</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ガ 2取 立 *ガ /-ハ
6548	中国 23 自由作文 15	にほんご <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	取立 *0 /-ハ
6549	中国 24 自由作文 14	<u>それから</u> 、学校の方は自分でよく <u>な</u> <u>ら</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、ほかの時 <u>間</u> <u>は</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>も</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1C 2V 3取立 *ハ /- モ 4格 *モ /-デ
6550	中国 25 自由作文 11	ほか <u>は</u> <u>ア</u> <u>メ</u> <u>リ</u> <u>カ</u> <u>じ</u> <u>ん</u> <u>や</u> <u>タイ</u> <u>じ</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>ど</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	取立 *ハ /-ニ 副用
6551	中国 25 自由作文 16	にほんご <u>が</u> <u>たい</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	取立 *ガ /-ハ
6552	中国 26 自由作文 2	にほんごの <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>ひ</u> <u>ら</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>ん</u> <u>じ</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1N 2取立 *0 /-ハ
6553	中国 26 自由作文 9	ちちは <u>ご</u> <u>じ</u> <u>ゅう</u> <u>ね</u> <u>ま</u> <u>え</u> <u>に</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>の</u> <u>だい</u> <u>が</u> <u>く</u> <u>で</u> <u>けい</u> <u>ぎ</u> <u>の</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、わたしはにほんごがわからないと き <u>、</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>ち</u> <u>ち</u> <u>に</u> <u>き</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1発音 2取立 *0 /- ハ
6554	中国 27 自由作文 5	しかし、せんせんげつ <u>に</u> <u>学</u> <u>友</u> <u>会</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>は</u> <u>入</u> <u>れ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *ニ /-0 2取立 *ハ /-ニ 3V
6555	中国 27 自由作文 12	まいにちがっこうの <u>き</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>ち</u> <u>の</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>で</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>を</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>を</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>会</u> <u>話</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1発音 2接 *テ形 3取 立 *ハ /-ガ 4A
6556	中国 27 自由作文 13	しかしわたしは <u>いま</u> <u>に</u> <u>ほん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ず</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	Ad 取立 *ハ /-ガ
6557	中国 28 自由作文 4	わたしはかんじの <u>い</u> <u>み</u> <u>が</u> <u>たい</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> 、ひら が <u>な</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>は</u> <u>ぜん</u> <u>ぶ</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1取立 *ガ /-ハ 2Ad
6558	中国 28 自由作文 6	ことしのじゅうがつこのか、にほんごがっこうのじゅ うぎょう <u>は</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	取立 *ハ /-ガ
6559	中国 28 自由作文 16	たとえば、「あなたはきのうどこかへいきましたか。」、 「チンさん、あなた <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> 。」。	取立 *ハ /-ガ、ノ
6560	中国 28 自由作文 27	せんせい <u>は</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>さ</u> <u>く</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>て</u> <u>ご</u> <u>ら</u> <u>ん</u> <u>な</u> <u>さ</u> <u>い</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ 2複 V

6561	中国 29 自由作文 2	わたしは日本へ <u>きた</u> <u>前</u> <u>に</u> 、にほんごは <u>ぜんぶ</u> <u>は</u> <u>わか</u> <u>り</u> <u>ませ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1*タ /ール 2取立 * ニ /ーハ 3Ad 副用 4*ル /ータ
6562	中国 31 自由作文 19	ふくしゅうのあとで <u>じかん</u> <u>は</u> <u>おそ</u> <u>い</u> <u>から</u> 、 <u>すぐ</u> <u>ね</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1接 *アトデ 2取立 * ハ /ーガ
6563	中国 32 自由作文 7	授業 <u>は</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>い</u> <u>つ</u> <u>も</u> 「 <u>みな</u> <u>さん</u> <u>お</u> <u>は</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>ご</u> <u>ざ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 <u>で</u> <u>は</u> 、 <u>は</u> <u>じ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 」 <u>と</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーガ 2自 他
6564	中国 32 自由作文 8	授業 <u>は</u> <u>お</u> <u>わ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>き</u> 「 <u>みな</u> <u>さん</u> <u>質</u> <u>問</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> 。 <u>宿</u> <u>題</u> <u>を</u> <u>持</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>家</u> <u>へ</u> <u>帰</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>予</u> <u>習</u> <u>と</u> <u>復</u> <u>習</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。 <u>忘</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>だ</u> <u>さ</u> <u>い</u> 」 <u>と</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ /ーガ 2取 立 *0 /ーハ 3格 *0 /ーハ
6565	中国 32 自由作文 12	<u>今</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>は</u> <u>教</u> <u>室</u> <u>で</u> <u>話</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>9</u> <u>5</u> <u>パ</u> <u>ー</u> <u>セ</u> <u>ン</u> <u>ト</u> <u>以</u> <u>上</u> <u>に</u> <u>理</u> <u>解</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1Ad 副用 2取立 *ハ /ーガ 3格 *ガ /ーノ 連 4*0 /ーヲ
6566	中国 33 自由作文 2	にほんごのべんきょうはわたし <u>が</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	取立 *ガ /ーハ &語 順
6567	中国 33 自由作文 4	わたし <u>の</u> <u>あ</u> <u>た</u> <u>ま</u> <u>は</u> <u>へ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>ど</u> <u>き</u> <u>わ</u> <u>す</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *ノ連 /ーハ 2取 立 ハ /ーガ 3A 4活 用 5*ハ /ーヲ 6発音
6568	中国 33 自由作文 6	わたし <u>が</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>は</u> <u>へ</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>を</u> <u>つ</u> <u>く</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ガ /ーハ 2* ハ /ーガ 3活用 (NA) 4,5発音 6*ル /ータ
6569	中国 33 自由作文 8	いま、わたし <u>の</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>し</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>と</u> <u>も</u> <u>た</u> <u>ち</u> <u>は</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>せ</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ノ /ーハ 2表 記 3*ハ /ーヲ 4副用 5受給
6570	中国 33 自由作文 11	かいわのれんしゅう <u>は</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>が</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ /ーヲ 2V 3接 一条件 4一複V
6571	中国 33 自由作文 12	いま、にほんごのことばは <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> 、 <u>ふ</u> <u>ゆ</u> <u>や</u> <u>す</u> <u>み</u> <u>は</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>が</u> <u>ぜん</u> <u>ぶ</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>ば</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>け</u> <u>め</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>き</u> <u>ょう</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1活用 一接 2取立 * ハ /ーニ 3*ガ /ーハ 4Ad 副用 5*ハ /ー ヲ
6572	中国 34 自由作文 9	ホンコンにいたときに <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>せ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	取立 *0 /ーハ
6573	中国 35 自由作文 4	わたし <u>は</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>を</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>う</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>じ</u> <u>ゅ</u> <u>う</u> <u>か</u> <u>げ</u> <u>つ</u> <u>ぐ</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ /ーガ 2活 用 (V) 一複 V 3Ad 副用 4表記 5ーV
6574	中国 35 自由作文 6	ひらがなとかたかなは <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>よ</u> <u>み</u> <u>方</u> <u>と</u> <u>か</u> <u>き</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1Ad 2取立 *ガ /ーハ
6575	中国 36 自由作文 2	わたし <u>は</u> <u>たい</u> <u>わ</u> <u>ん</u> <u>に</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>き</u> 、 <u>いち</u> <u>ばん</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>こ</u> <u>く</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	取立 *ハ /ーガ
6576	中国 36 自由作文 5	まいにちがっこうのじゅうぎょう <u>は</u> <u>お</u> <u>わ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>う</u> <u>ち</u> <u>で</u> <u>ふ</u> <u>く</u> <u>し</u> <u>ゅう</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	取立 *ハ /ーガ
6577	中国 36 自由作文 8	ときどきにほんのうたをきいたり、テレビをみたりする <u>こ</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>り</u> 、 <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>は</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーガ 2複 V ムード
6578	中国 36 自由作文 11	そしてらいねんじゅうに <u>が</u> <u>つ</u> <u>の</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>の</u> <u>う</u> <u>り</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>し</u> <u>け</u> <u>ん</u> <u>は</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>つ</u> <u>も</u> <u>り</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	取立 *ハ /ーニ

第5章 シンタクス・意味論 7. モダリティ

6579	中国 36 自由作文 12	そのとき <u> </u> にほんごもじょうずにできるとおもいます。	取立 *0 /-ハ
6580	中国 37 自由作文 12	まなび <u> </u> もうさんかげつぐらい <u> </u> にほんごもたくさんおぼえ (1) (2) <u> </u> ましたがテレビ <u> </u> と しんぶんを <u> </u> よみう <u> </u> とき <u> </u> まだわかり (3) (4) (5) <u> </u> ません。	1,2語順 3並V *ト / -タリ 4発音 5取立 *0 /-ハ
6581	中国 37 自由作文 16	うち <u> </u> に しつもんのあるとき <u> </u> あねにききます。 (1) (2)	1格 *ニ /-デ 2取立 *0 /-ハ
6582	中国 37 自由作文 20	わたしは「いちねん <u> </u> ぐらい <u> </u> にほんごは <u> </u> じょうずに <u> </u> な (1) (2) (3) (4) <u> </u> りました」とおもっています。	1N 2書く *0 /-デ 3取立 *ハ /-ガ 4活用
6583	中国 39 自由作文 2	いま、べんきょうしているにほんごがっこう <u> </u> が <u> </u> きたしん じゅくにあります。	取立 *ガ /-ハ
6584	中国 42 自由作文 7	はじめは、国際学友会日本語学校で勉強 <u> </u> します。 (1,2) (3)	1副用 2取立 *ハ /- ニ 3*ル /-タ
6585	中国 42 自由作文 11	時々、友達が先生に <u> </u> きいている <u> </u> 質問 <u> </u> は <u> </u> 難しい <u> </u> から、 (1) (2) (3) (4) 私達はその質問からいろいろな日本語を習うことができ ます。	1Ad 2V *テイル 3 取立 *ハ /-ガ 4接 *カラ /-ノデ
6586	中国 43 自由作文 5	国際学友会のなか <u> </u> で <u> </u> いろいろなくにの学生がいます。 (1) (2)	1格 *デ /-ニ 2取立 *0 /-ハ
6587	中国 43 自由作文 17	さらいねんの三月に大学のにゅうがく試験があるから いまわたし <u> </u> 毎月 <u> </u> 一生懸命 <u> </u> べんきゅう <u> </u> しています。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /-ハ 2Ad 3発音
6588	中国 44 自由作文 6	にほに <u> </u> は <u> </u> にほんごのべんきょうは <u> </u> じぶんのくに <u> </u> に <u> </u> にほ (1) (2) (3) <u> </u> んごのべんきょうよりやさしいです。	1発音 2取立 *ハ /- デノ 3格 *デ /-デ ノ
6589	中国 44 自由作文 13	りゅうがくせいはいつもにほん <u> </u> に <u> </u> は <u> </u> にほんごのべんきよ (1) <u> </u> う <u> </u> は <u> </u> いちばん <u> </u> いい <u> </u> ことです。 (2) (3) (4)	1格 *ニは /-デは 2 -名詞節 3取立 *ハ /-ガ 4A
6590	中国 46 自由作文 15	まいしゅう <u> </u> ちゅう <u> </u> にちようび <u> </u> やすみませ。 (1) (2)	1複N 2取立 *0 /- ハ
6591	中国 46 自由作文 21	しかしにほご <u> </u> が <u> </u> むずかし <u> </u> でしょう。 (1) (2)	1取立 *ガ /-ハ 2発 音
6592	中国 47 自由作文 10	にほんでのせいかつは、にほんごは <u> </u> でき <u> </u> ません <u> </u> とき <u> </u> 、 (1) (2) (3) <u> </u> いちばん <u> </u> ぶべんり <u> </u> です <u> </u> ね。 (4) (5)	1取立 *ハ /-ガ 2ス タイル 3格 *0 /- ガ 4NA 5スタイル
6593	中国 47 自由作文 12	みち <u> </u> であるいて <u> </u> 、 <u> </u> その <u> </u> ひと <u> </u> は <u> </u> むじかし <u> </u> かった <u> </u> こと (1) (2) (3) (4) (5) (6) <u> </u> が <u> </u> たすけて <u> </u> あげ <u> </u> ます <u> </u> たき <u> </u> は、 <u> </u> にほんご <u> </u> で <u> </u> は <u> </u> なして <u> </u> つ (7) (8) (9) (10) (11) <u> </u> かう <u> </u> ます。	1,10格 *デ /-ヲ 2* 0 /-テイル 3*コソ ア /-O 4取立 *ハ / -ガ 5,9発音 A 6 名詞節 *コト /-ノ 7格 *ガ /-ヲ 8スタ イル 11VP 発音
6594	中国 47 自由作文 17	いご <u> </u> わたし <u> </u> の <u> </u> にほんご <u> </u> が <u> </u> が <u> </u> んばり <u> </u> ほしい。 (1) (2) (3) (4)	1副用 Ad 2取立 格 *ノ連 /-ハ 3格 *ガ /-ヲ 4V
6595	中国 49 自由作文 7	このがっこうのせんせいは <u> </u> しんせつ <u> </u> から、わたし <u> </u> の <u> </u> き (1) (2) <u> </u> もちいいです。	1品詞 *A /-NA 2 取立 *ノ連 /-ハ
6596	中国 50 自由作文 12	たとえば中国の漢字「手紙」 <u> </u> は <u> </u> 中国語の意味は <u> </u> 便所用紙 です。	取立 *ハ /-ノ連

6597	中国 50 自由作文 19	日本語はいつも <u>つか</u> ったら、日本語が <u>だんだん</u> 上手に <u>ふ</u> えています。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーヲ 2VP ムード
6598	中国 51 自由作文 3	にほんごが <u>たい</u> へんむつかしいです。	取立 *ガ /ーハ
6599	中国 53 自由作文 2	言語の <u>なら</u> い <u>い</u> つも <u>お</u> もしろいです。 (1) (2) (3)	1N 2取立 *0 /ーハ
6600	中国 53 自由作文 12	たとえば、助詞は <u>ただ</u> しい <u>用</u> 法がいつも <u>あ</u> たまが <u>痛</u> い <u>も</u> んだいです。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ /ーノ連 2 N 3*ガ /ーハ 4格 * ガ /ーノ連
6601	中国 53 自由作文 13	英語より日本語は <u>む</u> ずかしいです。	取立 ハ /ーノホウ ガ
6602	中国 54 自由作文 8	わたしと <u>わ</u> かいが <u>く</u> せんより日本ごが <u>へ</u> たです。 (1) (2)	1取立 *ト /ーハ 2発 音 表記
6603	中国 57 自由作文 18	いろいろなしけんにはわたしは <u>い</u> ちばん <u>心</u> 配の <u>し</u> けんが日本語の文法の <u>し</u> けんです。 (1) (2) (3) (4)	1格 取立 *ニハ /ー デ 2取立 *ハ /ーガ 3 品詞 4取立 *ガ /ー ハ
6604	中国 58 自由作文 18	私 <u>が</u> びっくりしました。	取立 *ガ /ーハ
6605	韓国 1 パターン作文 12	それ <u>で</u> から市街地の <u>ま</u> んなかに会社 <u>が</u> たくさんあります (1) から車 <u>が</u> 市街地 <u>で</u> 入ります。 (2) (3)	1C 3格 *デ /ーニ 2 取立 *ガ /ーハ
6606	韓国 2 パターン作文 7	春に <u>雨</u> が <u>ふ</u> ります。	取立 (に*0 /にーハ)
6607	韓国 4 自由作文 9	私が子供の <u>時</u> 、 <u>馬</u> 山は <u>な</u> かなか <u>し</u> ずかな <u>港</u> 口の <u>町</u> でした。	取立 *0 /ーハ
6608	韓国 4 自由作文 12	しかし人間の思考力は <u>経</u> 済力 <u>だ</u> けで <u>比</u> べる <u>の</u> が <u>な</u> い <u>で</u> す (1) から <u>が</u> ん <u>ば</u> ります。 (2)	1の <u>だ</u> 取立 ーハ 2 ムード
6609	韓国 6 自由作文 2	ラジオに対して <u>テ</u> レ <u>ビ</u> の <u>ほ</u> うが <u>聞</u> いたり <u>見</u> たり <u>し</u> ます。 (1) (2) (3)	1*ノホウ 2取立 *ガ /ーハ 3V
6610	韓国 6 自由作文 8	もう一つ不便な <u>こ</u> とは <u>建</u> 物の <u>外</u> にアンテナを <u>立</u> つ <u>こ</u> と (1) <u>が</u> ある。 (2)	1取立 *ハ /ーニ 2自 他
6611	韓国 7 パターン作文 9	すなわち農村の風土と漁村の風土 <u>が</u> ちがうのである。	取立 *ガ /ーハ
6612	韓国 9 聴解要約 7	そして、みんながステレオのおんがくを <u>聞</u> た <u>と</u> き、ヤン (1) さんはおふる <u>ば</u> には <u>う</u> たを <u>う</u> たっていた。 (2) (3)	2格 *ニ /ーデ 3取立 に*ハ /にー0 1表 記 発音 ーテイル
6613	韓国 9 自由作文 5	楊平は冬に <u>さ</u> むい <u>で</u> す。	格 取立 *ニ /ーハ 副用
6614	韓国 11 パターン作文 8	また、あなたと私をくらべると私 <u>は</u> きれ <u>い</u> です”。 (1) (2) (3)	1ーノホウ 3NA 2取 立 *ハ /ーガ
6615	韓国 11 パターン作文 9	その <u>こ</u> と <u>ば</u> が私 <u>に</u> は <u>ら</u> が <u>た</u> ちます。 (1) (2)	1格 *ガ /ーニ 2格 取立 *ニ /ーハ
6616	韓国 12 自由作文 4	京畿道はソウル <u>ま</u> わる <u>の</u> <u>と</u> ころとして <u>都</u> 市の文化や (1) 農村の情景 <u>か</u> <u>造</u> 化 <u>し</u> ない <u>で</u> います。 (2) (3) (4)	3発音 1N 2取立 *0 /ーハ 4V
6617	韓国 12 パターン作文 3	ですから学園都市の方が物理的側面で <u>さ</u> きれ <u>い</u> です。	取立 *0 /ーハ

6618	韓国 12 パターン作文 5	学園都市にくらべて他の <u> </u> きたないです。	ノ代 取立 *0 /-ハ
6619	韓国 13 パターン作文 13	では日本語 <u>が</u> <u>ほんと</u> <u>むずかしい</u> です。 (1) (2) (3)	1C 2取立 *ガ /-ハ 3副用
6620	韓国 20 自由作文 11	たとえば、生はいろいろな <u>読</u> の <u>方</u> が <u>日本</u> に <u> </u> あります が、 <u>韓国</u> には一つ <u> </u> あります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1複N 2N 3取立 *0 /-ハ 4N 5取立 *0 /-シカ
6621	韓国 20 自由作文 13	しかし、一年後に <u> </u> 、にほんごがたぶん <u>きれい</u> でしょ う。 (1) (2)	1取立 *0 /-ハ 2NA VP
6622	韓国 21 自由作文 7	そして自分の <u>慣習</u> でつかうから日本人 <u>は</u> <u>ぜんぜん</u> わか らないときもあります。 (1) (2)	1N 2取立 *ハ /-ガ
6623	韓国 22 自由作文 10	日本語は韓国語と文法や <u>文形</u> など <u>か</u> <u>たいだい</u> 同じ <u> </u> <u>か</u> ら英語より <u>べんきょう</u> をしてすこしやさしいが、日本語 とわたしに <u> </u> <u>外国語</u> から毎日 <u>べんきょう</u> しな <u>しど</u> <u>き</u> は <u>むずかしい</u> です。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11)	1表記 2,3発音 4,9- ダ 5語順 VP 6取立 * ト /-ハ 7格 に*0 /-にトッテ 8取立 *0 /-ハ 10活用(V) 11発音 条件*トキ /-バ
6624	韓国 25 自由作文 3	そしてすこしふるいへやですから虫が時々 <u>います</u> が私 が <u>1</u> かげつに一度けむりの出るくすりをつかっています から虫は <u>ぜんぜん</u> <u>ない</u> です。 (1) (2) (3)	1*ル /-タ 2取立 * ガ /-ハ 3V
6625	韓国 26 自由作文 3	私 <u>は</u> <u>川越市</u> 的場に三人 <u> </u> 友だちと一緒に住んでいる家 は、ふたつ部屋があります。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ガ 2数 *0 /-ノ連
6626	韓国 26 自由作文 7	しかし、必要なコタツや <u>本相</u> が <u>買</u> っています。 (1) (2)	1表記 2取立 *ガ /- ハ
6627	韓国 26 自由作文 21	ほかには <u>押し入れ</u> の中に服やかばんなどがあります。 (1) (2)	1副用 2取立 *ハ /- 0
6628	韓国 28 自由作文 11	その人はもう結婚していて、こども <u>は</u> <u>三人</u> いた。	取立 *ハ /-ガ
6629	韓国 28 自由作文 13	たとえ御主人 <u>は</u> <u>悪い態度</u> を <u>して</u> も、マリアは <u>仁義慈悲</u> に <u>対</u> した。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ /-ガ 2V 3Ad 副用
6630	韓国 28 自由作文 14	ある日、家 <u>は</u> <u>火事</u> があって、火事現場から <u>もっとも</u> <u>幼</u> いこどもを <u>救</u> ったのに自分自身は <u>不幸</u> に <u>焼</u> かれて いた。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 ハ /-ニ 2Ad 3複V 4副用 5*テ イル
6631	韓国 28 自由作文 18	その教訓的な映画は「 <u>醜</u> しい <u>顔</u> をして <u> </u> も、人間 <u>の</u> <u>心</u> <u>の</u> <u>あり方</u> は <u>一番</u> <u>大切</u> だ」と <u> </u> <u>描</u> きました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	1A 2-テイル 3取立 *ノ連 /-ハ 4V 5* ハ /-ガ 6-トイウ 7名詞節
6632	韓国 29 自由作文 6	二番目 <u> </u> 、十分に <u>寝</u> ます。 (1) (2)	1取立 *0 /-ハ 2- 名詞節 Ad 副用
6633	韓国 29 自由作文 8	でも寝すぎるのは <u>いっそ</u> 、体によくありませんからこれ を <u>注意</u> したほうが <u>いい</u> と思います。 (1) (2)	1Ad 2取立 *ヲ /-ハ
6634	韓国 29 自由作文 9	三番目 <u> </u> 、十分なえいようを <u>補充</u> します。 (1) (2)	1取立 *0 /-ハ 2- 名詞節 Ad 副用

6635	韓国 30 自由作文 9	この映画を見たあとで、この世の中に不公平なことがいっぱいあっても、驚かないで、自分の意志や自信 <u>①</u> が一番大切だと私 <u>②</u> が考えた。	1-名詞節 2取立 *ガ /-ハ
6636	韓国 31 自由作文 15	国へ帰ると <u>①</u> いろいろな学んだ知識をつかって、国を <u>②</u> 展することをめざして、国 <u>③</u> は <u>④</u> 進歩的な工業国になるゆめを実現したいです。	1接 条件 *ト /-タ ラ 2自他 3接 4取立 * ハ /-ヲ
6637	韓国 31 自由作文 17	だから日本 <u>①</u> が私 <u>②</u> は一番留学したい国です。	1取立 *ガ /-ハ 2取立 *ハ /-ガ
6638	韓国 32 自由作文 6	その中に私 <u>①</u> は <u>②</u> 興味 <u>③</u> を持っているのは、デパート <u>④</u> かスーパーの経営制度です。	1格 *ニ /-デ 2取立 *ハ /-ガ 3N 4格 *カ /-ト
6639	韓国 32 自由作文 7	日本のそれに関する経営制度 <u>①</u> が <u>②</u> 非常に <u>③</u> 完善 <u>④</u> しています。	1取立 *ガ /-ハ 2V
6640	韓国 33 自由作文 9	最高の先進国だ <u>①</u> と言う <u>②</u> 日本で <u>③</u> 留学生活をつうじて、 <u>④</u> 正確 <u>⑤</u> し <u>⑥</u> で高度の学問 <u>⑦</u> は <u>⑧</u> 私の生活観や価値観や国家観に役だてたいと思います。	1*トイウ 2-ノ連 3品詞 *V /-NA 4取立 *ハ /-ヲ
6641	韓国 34 自由作文 7	私はこれから習う、都市建設論 <u>①</u> は、国の高度都市の発展のために <u>②</u> 尽く <u>③</u> したいと思っています。	1取立 *ハ /-ヲ 2V
6642	ブラジル 1 聴解要約 7	ヤンさんとかとさんと不動産屋の人 <u>①</u> 家を見に行きました。	取立 *0 /-ハ
6643	ブラジル 1 聴解要約 8	それからヤンさん <u>①</u> 引越しました。	取立 *0 /-ハ
6644	ブラジル 2 聴解要約 6	そのときは <u>①</u> やんさんは <u>②</u> おぶろ <u>③</u> に入りましたそしてステレオを聞いて歌を <u>④</u> 歌 <u>⑤</u> えました。	1C 取立 *ハ /-0 2発音 3V
6645	ブラジル 2 自由作文 1	ブラジルで <u>①</u> いろいろなところ <u>②</u> に古い <u>③</u> れきし <u>④</u> がある。	1取立 で*0 /-ハ 2N
6646	ブラジル 2 自由作文 5	きょうかいの中に <u>①</u> 金 <u>②</u> が多いです。	1取立 に*0 /-ハ 2N
6647	ブラジル 2 自由作文 6	バイア女性 <u>①</u> に <u>②</u> にんき <u>③</u> がある。	1複 N 3スタイル 2取立 *ニ /-ハ
6648	ブラジル 2 自由作文 16	ぶどう酒のびん <u>①</u> が <u>②</u> いっぱい <u>③</u> は <u>④</u> っています。	1格 *ガ /-ニ 2取立 -ハ
6649	アメリカ 1 自由作文 6	利用法 <u>①</u> も大都市に人口 <u>②</u> は <u>③</u> 集中し、交通渋滞 <u>④</u> 悪 <u>⑤</u> どいし、 <u>⑥</u> 大気 <u>⑦</u> のよごれ <u>⑧</u> や <u>⑨</u> もわるく <u>⑩</u> なって <u>⑪</u> ということ <u>⑫</u> が <u>⑬</u> 起こってきたのである。	1N 2取立 *ハ /-ガ 3格 *0 /-ガ 4 A 6*テ形 7名詞節 5並 N *やも /-0 も
6650	アメリカ 1 自由作文 12	しかし <u>①</u> 南米の方が国土 <u>②</u> 不足 <u>③</u> していない <u>④</u> だが <u>⑤</u> いい住宅 <u>⑥</u> は <u>⑦</u> たり <u>⑧</u> ません。	1C 2取立 *0 /-ハ 3*ダガ /-ガ 4スタイル
6651	アメリカ 1 自由作文 17	南米ではこのドーナツ現象 <u>①</u> が <u>②</u> 起 <u>③</u> こ <u>④</u> っ <u>⑤</u> て <u>⑥</u> き <u>⑦</u> ません。	2VP -テイル 1取立 *ガ /-ハ
6652	アメリカ 1 自由作文 18	例えば、ボゴタ市とか <u>①</u> メッケシコ <u>②</u> 市内過密の問題 <u>③</u> が <u>④</u> さまざま <u>⑤</u> 。	1発音 表記 2格 *0 /-デ 取立 で*0 /-ハ

6653	アメリカ 1 パターン作文 1	アーパート と学生宿舎に住むこと ⁽¹⁾ は、アーパート ⁽²⁾ 住むこと ⁽³⁾ は ⁽⁴⁾ 気楽です。 ⁽⁵⁾	1発音 2取立 *0は / ーデは 3格 *0 / ニ 4ーノホウ 5取立 *ハ /ーガ
6654	アメリカ 1 パターン作文 6	ふつう仕事と遊びはほんたいのもののように ⁽¹⁾ かんがいら れているが、幸福 ⁽²⁾ つくる ⁽³⁾ のために ⁽⁴⁾ 仕事と遊びちがい がありません ⁽⁵⁾ と ⁽⁶⁾ かんがえられれば ⁽⁷⁾ いい ⁽⁸⁾ と思います。	1発音 5スタイル 格 *0 /ーニ 6活用 (V) 2V 4取立(に*0 / ーハ)
6655	アメリカ 2 自由作文 3	私 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ セム語や古代オリエント歴史を勉強しています。	取立 *ガ /ーハ
6656	アメリカ 2 自由作文 11	日本語の教科書も励ましてくれる代わりに「日本語 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 難 しいですネ。」というような文句を出します。	取立 *ガ /ーハ
6657	アメリカ 3 自由作文 7	わたしはよく ⁽¹⁾ かんがいて、 ⁽²⁾ にほんご ⁽³⁾ が ⁽⁴⁾ べんり ⁽⁵⁾ で、お もしろいからいま ⁽⁶⁾ いっしょけんめい ⁽⁷⁾ べんきょう ⁽⁸⁾ しましょ う。	1? 2発音 接 *テ形 / ート 3取立 *ガ / ーハ 4発音 5ムード
6658	アメリカ 3 自由作文 10	わたしのにほんご ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ たぶなたで ⁽³⁾ じょうず ⁽⁴⁾ になるでし ょう。	1取立 *ガ /ーハ 2副 用
6659	アメリカ 3 自由作文 11	しかし、わたしはいま ⁽¹⁾ かんじ ⁽²⁾ が ⁽³⁾ すこし ⁽⁴⁾ しか ⁽⁵⁾ よめ ⁽⁶⁾ ません。	取立 *0 /ーハ
6660	アメリカ 3 自由作文 13	わたしはいつもかんじが ⁽¹⁾ いっしょ ⁽²⁾ れんめい ⁽³⁾ べんきょう ⁽⁴⁾ し て、まだほかのべんきょう ⁽⁵⁾ ⁽⁶⁾ ⁽⁷⁾ へ ⁽⁸⁾ た ⁽⁹⁾ です。	1Ad 副用 2取立 *0 /ーハ 3NA
6661	アメリカ 3 自由作文 20	このにほんごのべんきょうとこのがっこうでべんきょう していること ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ いい ⁽³⁾ けい ⁽⁴⁾ けん ⁽⁵⁾ です。	1取立 *ガ /ーハ 2ム ード
6662	アメリカ 4 自由作文 2	子供の頃から私 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 弁護士になる ⁽³⁾ の ⁽⁴⁾ よう ⁽⁵⁾ な ⁽⁶⁾ 目的 ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ あり ⁽⁹⁾ ま した。	1取立 *ガ /ーハ 2体 修 *ノヨウナ /ート イウ
6663	アメリカ 4 自由作文 5	私の意見 ⁽¹⁾ には ⁽²⁾ 仕事 ⁽³⁾ について ⁽⁴⁾ 分析的な考え方を使わなけ ればならない仕事 ⁽⁵⁾ は ⁽⁶⁾ 一番 ⁽⁷⁾ 面白 ⁽⁸⁾ い ⁽⁹⁾ と満足 ⁽¹⁰⁾ な ⁽¹¹⁾ 仕事 ⁽¹²⁾ です。	1格 *ニは /ーデは 2 体修 3取立 *ハ / ーガ 4並 A *ト
6664	インドネシア 1 自由作文 2	どんな学校でもインドネシアで ⁽¹⁾ 女先生 ⁽²⁾ と男先生 ⁽³⁾ の ⁽⁴⁾ 仕事 ⁽⁵⁾ を ⁽⁶⁾ すること ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ だいたい ⁽⁹⁾ おなじ ⁽¹⁰⁾ です。	1取立 で*0 / ーハ 2名詞節 3取立 * ガ /ーハ
6665	インドネシア 2 聴解要約 4	やんさん ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ おじゃ ⁽³⁾ ます ⁽⁴⁾ ます ⁽⁵⁾ と ⁽⁶⁾ 言 ⁽⁷⁾ っ ⁽⁸⁾ て、 おくさん ⁽⁹⁾ が ⁽¹⁰⁾ 飲 ⁽¹¹⁾ み ⁽¹²⁾ 物 ⁽¹³⁾ を ⁽¹⁴⁾ も ⁽¹⁵⁾ っ ⁽¹⁶⁾ て ⁽¹⁷⁾ 来 ⁽¹⁸⁾ る ⁽¹⁹⁾ 飲 ⁽²⁰⁾ み ⁽²¹⁾ 物 ⁽²²⁾ を ⁽²³⁾ 飲 ⁽²⁴⁾ ん ⁽²⁵⁾ で、 「つめたい、おいし い」と ⁽²⁶⁾ 言 ⁽²⁷⁾ っ ⁽²⁸⁾ た。	1格 取立 *ガ / ーハ 2体修 3*ル / ータ
6666	インドネシア 2 聴解要約 7	やんさんは飲んだあとで「どうもごちそさま」と ⁽¹⁾ 言 ⁽²⁾ っ ⁽³⁾ た、 大家さん ⁽⁴⁾ は ⁽⁵⁾ 「お出 ⁽⁶⁾ かけ ⁽⁷⁾ ですか」と ⁽⁸⁾ 言 ⁽⁹⁾ っ ⁽¹⁰⁾ て、 「あきはば ⁽¹¹⁾ ら ⁽¹²⁾ に ⁽¹³⁾ 行 ⁽¹⁴⁾ き ⁽¹⁵⁾ た ⁽¹⁶⁾ い」と ⁽¹⁷⁾ 言 ⁽¹⁸⁾ っ ⁽¹⁹⁾ た。	1取立 格 *ハ / ーガ 2接 *テ形 / ーノデ
6667	インドネシア 2 聴解要約 10	やんさん ⁽¹⁾ は ⁽²⁾ 大家 ⁽³⁾ さん ⁽⁴⁾ の ⁽⁵⁾ 家 ⁽⁶⁾ に ⁽⁷⁾ か ⁽⁸⁾ え ⁽⁹⁾ っ ⁽¹⁰⁾ た ⁽¹¹⁾ あ ⁽¹²⁾ と ⁽¹³⁾ で。	取立 格 *ハ / ーガ
6668	インドネシア 2 パターン作文 4	なぜ ⁽¹⁾ か、 ⁽²⁾ たぶん ⁽³⁾ それ ⁽⁴⁾ は ⁽⁵⁾ インドネシア ⁽⁶⁾ の ⁽⁷⁾ 国 ⁽⁸⁾ の ⁽⁹⁾ ほう ⁽¹⁰⁾ が ⁽¹¹⁾ 多 ⁽¹²⁾ き ⁽¹³⁾ い で、 ⁽¹⁴⁾ 人口 ⁽¹⁵⁾ も ⁽¹⁶⁾ いろ ⁽¹⁷⁾ いろ ⁽¹⁸⁾ で ⁽¹⁹⁾ あり、 ⁽²⁰⁾ 日本 ⁽²¹⁾ の ⁽²²⁾ 人口 ⁽²³⁾ が ⁽²⁴⁾ 一 ⁽²⁵⁾ つ ⁽²⁶⁾ だ ⁽²⁷⁾ け 日本 ⁽²⁸⁾ 人 ⁽²⁹⁾ だ ⁽³⁰⁾ から ⁽³¹⁾ インドネシア ⁽³²⁾ の ⁽³³⁾ 人口 ⁽³⁴⁾ の ⁽³⁵⁾ ほう ⁽³⁶⁾ が ⁽³⁷⁾ 日本 ⁽³⁸⁾ の ⁽³⁹⁾ 人口 ⁽⁴⁰⁾ よ う ⁽⁴¹⁾ り ⁽⁴²⁾ 多 ⁽⁴³⁾ き ⁽⁴⁴⁾ い ⁽⁴⁵⁾ だ ⁽⁴⁶⁾ と ⁽⁴⁷⁾ お ⁽⁴⁸⁾ 思 ⁽⁴⁹⁾ い ⁽⁵⁰⁾ ます。 ⁽⁵¹⁾	1C 2A 活用 3N 4 接 *連用形 / ーガ 5 取立 *ガ / ーハ 6数 8 品詞 *NA / ーA 7発 音

6669	インドネシア 3 パターン作文 3	インドネシア語と日本語をくらべると <u>日本語のぶんぼう</u> <u>の使い方</u> が違います。	取立 *ノ連 /ーハ
6670	インドネシア 5 自由作文 9	いっしゅうかん <u>は</u> <u>にかい</u> <u>に</u> 日本語を勉強をしました。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーニ 2格 *ニ /ー0
6671	タイ 1 聴解要約 10	ヤンさん <u>に</u> 「よろしくお願ひいたします」と言った。 (1)	&スタイル 1取立 * 0 /ーハ
6672	タイ 2 自由作文 2	このテーブルの上に <u>た</u> <u>べ</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>の</u> <u>み</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	取立 *0 /ーハ
6673	タイ 2 自由作文 5	ハムのまんなか <u>は</u> <u>大</u> <u>き</u> <u>目</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーニ 2活 用(A)
6674	タイ 3 パターン作文 3	その仕事 <u>の</u> <u>中</u> <u>は</u> <u>男</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>と</u> <u>女</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>は</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	2取立 *ハ /ーガ 1格 *ハ /ーヲ 副用
6675	タイ 5 パターン作文 8	昼食のとき <u>は</u> <u>そば</u> <u>を</u> <u>出</u> <u>ま</u> <u>え</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>み</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	2ノ連 3格 *ガ /ーヲ 1取立 *ハ /0 副用
6676	香港 4 自由作文 1	三年前に成田空港に着いた時、日本語 <u>は</u> <u>ぜん</u> <u>ぜん</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>つ</u> <u>た</u> <u>が</u> 、一年の交換計画を <u>渡</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>上</u> <u>手</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /ーハ 2ス スタイル 3V
6677	香港 4 自由作文 2	しかし、香港へ <u>返</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>に</u> 、大学の授業は全部英語 <u>と</u> <u>中</u> <u>国</u> <u>語</u> <u>で</u> <u>教</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>だ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>ん</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>語</u> <u>は</u> <u>下</u> <u>手</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	1表記 2取立 *0 /ー ハ 3取立 *ハ /ーガ
6678	香港 4 自由作文 8	<u>こ</u> <u>の</u> <u>中</u> <u>に</u> <u>江</u> <u>戸</u> <u>時</u> <u>代</u> <u>の</u> <u>教</u> <u>育</u> <u>は</u> <u>専</u> <u>攻</u> <u>の</u> <u>中</u> <u>心</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2格 *ニ /ー デ 3取立 *ハ /ーガ
6679	香港 6 自由作文 8	この都市システムの転換 <u>に</u> <u>つ</u> <u>い</u> <u>て</u> 、日本の都市の <u>順</u> <u>位</u> <u>規</u> <u>模</u> <u>曲</u> <u>線</u> <u>は</u> <u>明</u> <u>治</u> <u>初</u> <u>頭</u> <u>が</u> <u>明</u> <u>治</u> <u>後</u> <u>期</u> <u>へ</u> <u>と</u> <u>転</u> <u>換</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>以</u> <u>降</u> 、 <u>き</u> <u>わ</u> <u>め</u> <u>て</u> <u>安</u> <u>定</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>形</u> <u>を</u> <u>と</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ニツイテ /ー ハ 2複N 3格 *ガ /ー カラ 4ーニカケテ
6680	香港 6 自由作文 24	日本 <u>に</u> <u>四</u> <u>季</u> <u>の</u> <u>変</u> <u>化</u> <u>に</u> <u>富</u> <u>む</u> <u>自</u> <u>然</u> <u>条</u> <u>件</u> <u>が</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>人</u> <u>の</u> <u>日</u> <u>常</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>い</u> <u>さ</u> <u>つ</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>反</u> <u>映</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1格 *ニ /ー0 ーノ 連 2取立 *ガ /ーハ
6681	香港 7 自由作文 11	日本 <u>の</u> <u>近</u> <u>代</u> <u>文</u> <u>学</u> <u>家</u> <u>に</u> <u>は</u> 、 <u>夏</u> <u>目</u> <u>漱</u> <u>石</u> <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>立</u> <u>派</u> <u>な</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1ーノ連 2N 3格 *ニ /ーデ 4取立 *ハ /ー ガ
6682	香港 8 自由作文 5	戦中から戦後にかけて、多くの疎開者と復員者 <u>は</u> <u>農</u> <u>村</u> <u>に</u> <u>ど</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>流</u> <u>入</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	取立 *ハ /ーガ
6683	香港 9 短文作文 1	もう日本語は <u>一</u> <u>年</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> 、 <u>たい</u> <u>へ</u> <u>ん</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>な</u> <u>か</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>じ</u> <u>ょう</u> <u>ず</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 語順 3格 取 立 *ハ /ーガ 2. ス スタイル
6684	香港 10 短文作文 5	一般的に言ってこんなことは日本に <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。	取立 に*0 /ーハ
6685	香港 11 短文作文 9	この辞書 <u>は</u> <u>よ</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>え</u> <u>ば</u> 、 <u>私</u> <u>も</u> <u>買</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーガ 2条 件
6686	香港 12 短文作文 9	かれ <u>は</u> <u>こ</u> <u>こ</u> <u>へ</u> <u>い</u> <u>く</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>え</u> <u>ば</u> 、 <u>私</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ /ーガ 2,3 V
6687	香港 14 短文作文 10	せんたくやらそうじやらで、きのう <u>一</u> <u>日</u> <u>中</u> <u>ば</u> <u>た</u> <u>ば</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>そ</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>つ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1取立 *0 /ーハ 2Ad 副用
6688	香港 15 短文作文 9	東京や大阪という大都会 <u>に</u> <u>一</u> <u>概</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>多</u> <u>く</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /ーハ 2副 用 3語順

6689	香港 16 短文作文 12	私達は <u>いっしょう</u> にこの問題を考えてみれば、 <u>決解</u> の方法があるかもしれない。 (1) (2) (3)	2発音 3N 1取立 *ハ /ーガ
6690	香港 17 短文作文 4	彼は日本へ留学したから、日本語は <u>非常に</u> 上手になって、まるで <u>地元</u> の日本人です。 (1) (2)	2N 1取立 *ハ /ーガ
6691	香港 17 短文作文 8	京都 <u>で</u> の <u>名所</u> はたくさんありますし、一日では見きれないと思います。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /ーハ *デ /ーニ 2*ノ連 3*ハ /ーガ
6692	香港 17 短文作文 9	ひらがなとかたかなとは似ているのは、二つ <u>も</u> 漢字からうまれたもの <u>からだ</u> 。 (1) (2) (3)	3ダ 1取立 *ハ /ーガ 2取立
6693	香港 17 短文作文 12	大きい家という <u>と</u> 、子供のときによく遊びに行った <u>親戚</u> は <u>おもしろい</u> 家があった。	取立 *ハ /ーニ
6694	香港 17 短文作文 15	いったい彼 <u>は</u> 何を要求しているの <u>は</u> 私は全然わかりません。	2名詞節 1*ハ /ーガ 取立
6695	香港 18 短文作文 9	ひらがなとカタカナが <u>おなじ</u> ように漢字から <u>生まれる</u> 。 (1) (2) (3)	2表記 1取立 *ガ /ーハ 3*ル /ータ
6696	香港 18 短文作文 14	もしあなた <u>は</u> 香港に来ると、これは何にも <u>ま</u> していい事だ。 (1) (2)	2接 条件 1取立 *ハ /ーガ
6697	香港 19 自由作文 6	新しいものに <u>適応</u> するの <u>が</u> 長い年月を <u>かける</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ /ーハ 格 *ガ /ーニ 3自他 2格 *ヲ /ーガ
6698	香港 19 自由作文 7	この <u>過渡期</u> の中で、 <u>混乱</u> は <u>おこ</u> るかもしれない。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーガ 2活用
6699	香港 19 自由作文 8	実に、 <u>根強く</u> 建立して <u>しまった</u> ものを推倒するの <u>が</u> 人 <u>氣</u> がないと思われる。 (1) (2) (3)	1V 2取立 *ガ /ーハ 3N
6700	香港 19 自由作文 18	日本人 <u>は</u> 日本語を国語と呼ぶのは強い帰属意識と関係があると <u>思</u> われる。	取立 *ハ /ーガ
6701	香港 19 自由作文 20	国語と呼ぶ時、みんなは自分 <u>は</u> 同一集団に属する <u>気が</u> する。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーガ 2*ル /ーテイル
6702	香港 19 短文作文 10	学校によって <u>男子</u> の <u>学生</u> は <u>長髪</u> を禁じる。 (1) (2)	取立 1*0 /ーハ 2*ハ /ーノ
6703	香港 19 短文作文 15	少年犯罪の問題は <u>それ</u> なりに <u>深刻</u> になって <u>来る</u> のは <u>危険</u> だと思われる。 (1) (2)	1*ハ /ーガ 取立 2*ル /ータ
6704	香港 20 自由作文 2	日本語 <u>は</u> 音声だけ <u>情報</u> を <u>伝</u> うより、文字表現で <u>視覚</u> 的な <u>情報</u> を <u>伝</u> 達と <u>働</u> く。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *0 /ーハ 2格 *0 /ーデ 5V 3活用 4NA 副用
6705	香港 20 自由作文 7	<u>もう</u> 一は、日本語の <u>言葉</u> よく漢字で新しい <u>言葉</u> を作る。 (1) (2)	1C 数 2取立 *0 /ーハ
6706	香港 20 自由作文 12	特に徳川家康の江戸時代に二百年くらい鎖国政策を設けた後、日本人は <u>外の世界</u> を <u>接</u> 触の <u>機会</u> はほとんどなくなった。 (1) (2) (3)	1格 *ヲ /ート /ーニ 2表記 3取立 *ハ /ーガ
6707	香港 20 自由作文 16	国という概念がつかめるけれど自分は「日本」と表現する場合は稀で、自分 <u>が</u> 日本と外人に <u>言</u> われる事実もよく察知しなかった。	取立 *ガ /ーハ

6708	香港 20 自由作文 19	ヨーロッパの場合、国と国の間 <u>①</u> 文化交流が <u>②</u> 絶えずに <u>③</u> 行われて <u>④</u> ために、イギリス人は <u>⑤</u> 自分の言葉を <u>⑥</u> English のほう <u>⑦</u> National Language よりと <u>⑧</u> 言うのは、日本人の、閉塞性と <u>⑨</u> 極端的な 対照だろう。	1格 ーデ N 発音 2 副用 3活用 5 語順 4 取立 *ハ /ーガ 6NA 品詞
6709	香港 20 短文作文 1	長江を初めとして、中国に <u>①</u> <u>②</u> たくさんの 長い川がある。	1取立 に*0 /にー ハ 2副用
6710	香港 20 短文作文 3	冗談 <u>①</u> を <u>②</u> さておき、 <u>③</u> 改って 相談しましょう。	1取立 *ヲ /ーハ 2自 他
6711	香港 20 短文作文 6	この証拠 <u>①</u> を <u>②</u> そろって、彼女 <u>③</u> は 真犯人だと考えざるをえない。	2接 条件 *テ形 /ー ト 1格 *ヲ /ーガ 3取 立 *ハ /ーガ
6712	香港 21 短文作文 7	彼に <u>①</u> 三度手紙を送ったけれども、今までも返事がない。	取立 に*0 /にーハ
6713	香港 21 短文作文 15	彼らの要求 <u>①</u> は <u>②</u> 一体に <u>③</u> どうか わからない。	3不定詞 2副用 1取立 *ハ /ーガ
6714	香港 21 短文作文 17	彼は英語 <u>①</u> が もちろん、フランス語にドイツ語 <u>②</u> か <u>③</u> スペー ン 語もできるから、外国へ旅行することは問題がない。	3表記 2並 N 1取立 * ガ /ーハ
6715	香港 22 短文作文 9	ひらがなとカタカナと <u>①</u> の 共通点があつて、 <u>②</u> 由来 <u>③</u> は漢字 である。	2N 1取立 *ノ連 /ー ハ
6716	香港 22 短文作文 11	大屋敷といつては、私 <u>①</u> が 子供のころによくある親類のお もしろい家を訪れた。	&表現 1取立 *ガ /ー ハ
6717	香港 23 自由作文 4	これは日本人 <u>①</u> は 漢語に <u>②</u> 基づく <u>③</u> 自分 <u>④</u> の 作った読み方 である。	1取立 *ハ /ーガ 2ー 連用形 3ーテ形 4格 *ノ /ーデ
6718	香港 23 自由作文 11	例えば、ある人は「東名高速 <u>①</u> 公路 <u>②</u> 」という漢字を <u>③</u> 見る と、もし彼 <u>④</u> は 「名」は「名古屋」つまり「ナゴヤ」の 「名」であることを知らない <u>⑤</u> 、彼はこれは地名が わからない。	1N 4接 条件 3取立 *ハ /ーガ 2接 *ト / ーテ形
6719	香港 23 自由作文 20	自国の <u>①</u> 語言 <u>②</u> は 「国語」とよぶのは <u>③</u> 自然の 事である。	1N 2格 取立 *ハ / ーヲ 3品詞(*N /ー NA)
6720	香港 23 短文作文 6	この問題 <u>①</u> を <u>②</u> 考えれば考えるほど、むずかしさがわかる。	取立 *ヲ /ーハ
6721	香港 23 短文作文 8	証拠がたくさんあるから、彼女 <u>①</u> は <u>②</u> 罪人 <u>③</u> と考え <u>④</u> ないこと は <u>⑤</u> はない。	3否定 1取立 *ハ /ー ガ 2N
6722	香港 23 短文作文 14	私は妻 <u>①</u> は <u>②</u> 離れる <u>③</u> ときに、妻 <u>④</u> は <u>⑤</u> とんな に重要な <u>⑥</u> の <u>⑦</u> が わかる。	2V 2,7*ル /ータ 5発 音 6名詞節 1*ハ /ー ト 4取立 *ハ /ーガ 3 接 *トキ /ーテ形
6723	香港 24 自由作文 14	特に、もとの訓読みに示めされる <u>①</u> 意味に代りの <u>②</u> 語彙 <u>③</u> は 作るにちがいない。	2取立 格 *ハ /ーヲ 1表現
6724	香港 24 自由作文 16	日本人 <u>①</u> は 「日本語辞典」の代わりに、「国語辞典」とい う言葉を用いるの <u>②</u> はいろいろな原因がある。	1取立 格 *ハ /ーガ 2格 *0 は /ーニは

6725	香港 24 自由作文 26	それはさておき、日本の家屋の構造で <u>ふすま</u> は <u>あける</u> ことができ、全部を <u>あけて</u> 、家全体になる。	1取立 で*0 /でーハ 2格 *ガ /ーヲ 3接条件 *テ形 /ート
6726	香港 24 自由作文 27	それは「うち」だ。	格 取立 *ハ /ーガ
6727	香港 24 自由作文 28	でも、家と「そと」はかぎで、とを <u>あく</u> ことは <u>必要</u> だ。	&表現 1自他 2格 取立 *ハ /ーガ
6728	香港 24 短文作文 7	こんな証拠によって、 <u>必ずしも</u> <u>彼女</u> は <u>犯人</u> だと <u>思わせ</u> ない、ほかの考えはない。	1Ad 2取立 *ハ /ーガ 3自発 使役
6729	香港 24 短文作文 9	学校によって、 <u>男</u> の学生は長髪を禁じる。	取立 *0 /ーハ
6730	香港 24 短文作文 13	失ってみて、妻は <u>どんな</u> 大切な <u>役</u> かがわかる。	1取立 *ハ /ーガ 2N
6731	香港 24 短文作文 15	彼は技術の点で <u>若い</u> 運動員に負けないが、体力について見る限り、 <u>全盛期</u> は <u>過ぎ</u> そうだ。	1取立 *0 /ーハ 2自他 3ムード
6732	香港 25 自由作文 19	<u>あと</u> 、日本人は自分の <u>言語</u> は「国語」と呼ぶ。	1C 2N 3取立 *ハ /ーヲ
6733	香港 25 自由作文 23	「日本語学」をつかったら、日本人 <u>が</u> <u>おかしい</u> 感じが <u>ある</u> 。	1表現 2取立 *ガ /ーハ 3V
6734	香港 25 自由作文 25	ほかの国に <u>自分の</u> <u>言語</u> の名がある。	1取立 に*0 /にーハ 2N
6735	香港 25 短文作文 7	この証拠によって、 <u>彼女</u> は <u>犯人</u> <u>が</u> <u>考え</u> ざるをえない。	1取立 *ハ /ーガ 2-名詞節 3格 *ガ /ート
6736	香港 25 短文作文 9	学校によって、 <u>男</u> の子が長いかみのけを <u>持って</u> は禁じられている。	1取立 *0 /ーハ 2V *テ形 /ール 名詞節
6737	香港 25 短文作文 11	失ってみて、妻は <u>私</u> に <u>何となく</u> <u>重要な</u> ことがよく <u>わ</u> <u>から</u> れた。	1取立 *ハ /ーガ 2格 *ニ /ーにトツテ 3Ad 4受身
6738	香港 25 短文作文 15	そうですが、でも、人々は <u>これ</u> に <u>価値観</u> が <u>おおく</u> <u>変</u> <u>わる</u> のではないのでしょうか。	1取立 *ハ /ーノ連 2格 *ニ /ーにツイテ 3A 活用(A) 4*ル /ーヲ
6739	香港 26 自由作文 7	だが、おくりがなの不統一現象 <u>去</u> ります。	1取立 *0 /ーハ 2V
6740	香港 26 自由作文 12	太平洋中、日本列島 <u>上</u> に日本人 <u>が</u> <u>生活</u> する。	1複N 2ーノ連 3格 取立 *ガ /ーハ 4*ル /ーテイル
6741	香港 26 自由作文 16	それで、一般日本民衆は、「日本」は「国」に <u>変換</u> しました。	取立 格 *ハ /ーヲ
6742	香港 26 短文作文 3	この問題 <u>を</u> <u>考え</u> れば考えるほど、 <u>難点</u> <u>を</u> よくわかりま <u>す</u> 。	1取立 *ヲ /ーハ 格 *ヲ /ーガ
6743	香港 26 短文作文 4	この多くの証拠とって、私たち <u>彼女</u> は <u>罪犯</u> <u>を</u> <u>考</u> <u>え</u> なければならない。	4N 1表現 2取立 *0 /ーハ 3*ハ /ーガ 取立
6744	香港 26 短文作文 7	妻は <u>去</u> るなから、彼女の重要性 <u>は</u> わかりました。	2接 1取立 *ハ /ーガ 3*ハ /ーガ 取立

6745	スリランカ 1 パターン作文 6	あの女は、ヤンさんはえきの前 ⁽¹⁾ でんわしたときあ ⁽²⁾ た人です。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾	1コソア 5発音 2N 3 取立 *ハ /ーガ 4格 *0 /ーデ
6746	スリランカ 1 パターン作文 9	あの女は「私のこい人に たたら いいですね」とかん ⁽¹⁾ がえでたのしになりました。 ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾ ⁽⁵⁾ ⁽⁶⁾	1コソア 4発音 2N 3 取立 *ハ /ーガ 6品 詞(*N /ーA) 5V
6747	フランス 1 自由作文 3	今までのところパリの東洋言語学院で日本語を四年間 習 ⁽¹⁾ いましたが 卒業してから コンピュータに よって 仏和 ⁽²⁾ 一和仏自動翻訳 をやる プログラムも作りはじめました。 ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1接 *ガ /ー連用形 2 取立 *0 /ーハ 3活 用 *テ形 /ール 体修 4 *V /ーノ連
6748	フランス 1 自由作文 6	形式名詞という品しそのものの作用を解説しようと思う と 厳しい問題が出てくるかもしれないからその問題をと く ⁽¹⁾ には えらい言語学者について研究しなければなら ないでしょう。 ⁽²⁾ ⁽³⁾	1A 2-N 3取立 *ハ /ー0
6749	フランス 2 自由作文 2	にほんごのべんきょうをはじめたときは、にほんごがそ んなにむずかしくないだろうとおもってしまった。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1取立 *ガ /ーハ 2複 V *テシマウ /ーテ イル
6750	フランス 2 自由作文 3	しかしにほんごのべんきょうをするにつれてだんだんむ ずかしくなります。	*ノ連 取立 *0 /ー ハ
6751	フランス 2 自由作文 7	かんじとひらがなとかたかながあるから、にほんごをな らうときにかきかたは みっつおぼえなければなりません。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1取立 に*0 /にー ハ 2取立 *ハ /ーヲ
6752	イラン 1 自由作文 9	文化てきなたてもものはたくさんあります。	取立 *ハ /ガ
6753	イラン 1 自由作文 13	日本の教育は中学校までぎむきょういく ⁽¹⁾ ので 日本では 文盲 ⁽²⁾ ほとんどない。	2接 ノデ 1ダ 3取立 *0 /ーハ
6754	イラン 1 パターン作文 1	日本のりょうりとイランのりょうり ⁽¹⁾ どちでも美味です。 ⁽²⁾	1格 取立 *0 /ーハ 2不定
6755	イラン 1 パターン作文 3	それにイランのりょうりと日本のりょうりをくらべ るとからいです。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	&表現 1取立 格 *ト /ーハ 2格 *ヲ /ート
6756	イラン 1 パターン作文 5	イランりょうり ⁽¹⁾ なかによく牛肉をつかいます。	取立 格 *0 /ーハ
6757	マレーシア 1 自由作文 6	かんじがかけますが、よみかたはできません。	取立 *ガ /ーハ
6758	マレーシア 1 自由作文 10	にほんいすんでいるですが、にほんごはできないの で、こまります。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾ ⁽³⁾ ⁽⁴⁾	1発音 格 *イ /ーニ 2*ダ 3接 *ガ /ーノ ニ 4取立 *ハ /ーガ
6759	マレーシア 2 自由作文 11	私ははじめに日本ごはぜんぜんわかりませんでした。 ⁽¹⁾ ⁽²⁾	1Ad 副用 2取立 *ハ /ーガ
6760	マレーシア 2 自由作文 12	しかし今 ⁽¹⁾ 日本ごは少しわかります。	取立 *0 /ーハ
6761	マレーシア 2 自由作文 17	しかしかんじなんかだいきらい ⁽¹⁾ 。 ⁽²⁾	1取立 *ナンカ /ーハ 2ーダ スタイル
6762	マレーシア 3 自由作文 3	マレー人の話の中に、サン・カンチルーというのは体 ⁽¹⁾ が 小さいが、大変聡明な動物である。	取立 *ガ /ーハ

6763	マレーシア 4 自由作文 17	それだけではなく、かれが大雨や洪水や、台風・地震などの作る力も持っています。	1取立 *ガ /ーハ 2格 *ノ /ーヲ
6764	マレーシア 5 自由作文 2	見物をした場所は テョウマンじまは小さいですが、風景が極めてすばらしく、観光地として有名です。	取立 *ハ /ーノ
6765	マレーシア 6 自由作文 11	しかし、このことが無希望のことでしょう。	1取立 *ガ /ーハ 2VP
6766	マレーシア 7 自由作文 19	もし、人々は ブティーアナを養えば、生活が幸福になると言われる。	取立 *ハ /ーガ
6767	マレーシア 9 自由作文 3	この問題がいろいろ関係がある、例えば、人々の自心の心、国と国の貿易戦争など、これらのために、世界の経済がむかしよりわるくなってきました。	1取立 *ガ /ーハ 2品 詞 *Ad /ーNA 3,4 N 5接 *0 /ーデ 6* 0 /ーテイル
6768	マレーシア 9 自由作文 4	もし、私は 国連の 国際経済学者 だったら、その時、各国の経済学者と一緒に会議をして、種々の原因をさかして、研究したあとで、いろいろな解決方法を使って、いつか世界の経済を平隠しましょう。	1取立 *ハ /ーガ 2N 3複 N 4C 5発音 表 記 6V(活用)
6769	マレーシア 9 自由作文 6	しかし、この地球中の国々の政治家がだれでも自分の利益が一番大切だと思っていますから、短期の間に、非常困難にこの世界の経済の状況をまわします。	1複 N 2取立 *ガ /ー ハ 3表現 4V
6770	マレーシア 11 自由作文 1	天気と私たちの生活の関係があるでしょう。	取立 格 *ノ連 /ーハ
6771	マレーシア 12 自由作文 1	私たち、いつも、テレビの放送で、天気予報をみます、また、新聞といろいろな雑誌で、天気予報もありましょう。	1取立 *0 /ーハ 2並 N *ト /ーヤ ートカ 3格 *デ /ーニ *0 / ーモ 4格 *モ /ーハ
6772	マレーシア 12 自由作文 4	また、漁民も、天気と、関係があります、台風の時、なみは、おおきですから、漁民は、出かせん。	1取立 *0 /ーハ 2取 立 *ハ /ーガ 3発音 4 活用(V)
6773	マレーシア 13 自由作文 4	先生たちの中に、感情が親しまないし、学生たちは外にえあるい行為をしているもあり、授業や宿題が多くて難しいので、時々、反効果の事件もありました。	2取立 *0 /ーハ 3表 現 4 格 *ニ /ーデ 7 一名詞節 ーコト 6 A 8C 9複 N
6774	マレーシア 13 自由作文 6	それでは、もし私が学校に権力がある人ー校長だったら、それらの不満なこと全部きれいになおしたいです。	1C 2VP 3,4取立 *0 /ーハ
6775	マレーシア 13 会話作文 1	それは 学生たちは自分の時間がないから、学校に反感を持っている時、宿題らのことは全然注意しないと、しだいに成績が退歩してしまったのである。	1C 2品詞 3取立 *ハ /ーニ 4接 条件 *ト /ーカラ 5V
6776	マレーシア 14 自由作文 2	天気予報が日本であるだけでなく、世界中の国はみんな天気予報がある。	1取立 *ガ /ーハ 2格 *デ /ーニ 3発音 4* ハ /ーニ
6777	マレーシア 14 自由作文 6	天気と我々の生活に関係がある。	取立 *ニ /ーハ
6778	マレーシア 14 自由作文 11	洪水や津波などが漁夫に関係がある。	取立 *ガ /ーハ

6779	マレーシア 15 自由作文 2	それで、「盆踊り」 ⁽¹⁾ を初めて ⁽²⁾ きて、それ ⁽³⁾ 何 ⁽⁴⁾ こと ⁽⁵⁾ のだろうか。	1-トイウ 2接 *テ形 3取立 *0 /-ハ 4- ノ連 5-のだ -疑問節
6780	マレーシア 15 自由作文 6	でも、私は、そのこと ⁽¹⁾ をまだよく ⁽²⁾ わかりませんでした。	1取立 *ヲ /-ハ 2- テイル
6781	マレーシア 15 自由作文 11	今、私 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ この ⁽³⁾ こと ⁽⁴⁾ を ⁽⁵⁾ わかりました。	1取立 *ガ /-ハ 2コ ソア 3格 *ヲ /-ガ
6782	マレーシア 17 自由作文 17	私たち ⁽¹⁾ 、全部 ⁽²⁾ は、マレーシアの庶民 ⁽³⁾ で、なぜ民族を ⁽⁴⁾ 区別 ⁽⁵⁾ しますか。	1取立 *0 /-ハ 2副 用 3接 *連用形 /- ノニ 4*0 /-のだ
6783	マレーシア 18 自由作文 2	マレーシアで ⁽¹⁾ 、お医者さん ⁽²⁾ は一番金持ちだと思ふ、 私立の医院がたくさんある ⁽³⁾ 、しりょう代 ⁽⁴⁾ が ⁽⁵⁾ 高いだ。	1取立 *0 /-ハ 2取 立 *ハ /-ガ 3接 *0 /-シ 4発音 5*ダ
6784	マレーシア 18 自由作文 4	日本のと ⁽¹⁾ 違 ⁽²⁾ う、日本では、国民保険がついている ⁽³⁾ 、 約八十パーセントの治療代を ⁽⁴⁾ 返 ⁽⁵⁾ す、つまり、安 ⁽⁶⁾ いだ。	1取立 *0 /-ハ 2- テイル 3接 *0 /- シ 4複 V 5*ダ
6785	マレーシア 18 自由作文 6	一方、日本では ⁽¹⁾ 進 ⁽²⁾ む医療方法、機械をよく ⁽³⁾ 使 ⁽⁴⁾ う、 とこ ⁽⁵⁾ ても医療方法 ⁽⁶⁾ が ⁽⁷⁾ だいたい同じだろうと思ふ。	1*ル /-タ 2並 N 接 -連用形 3発音 4取 立 *ガ /-ハ
6786	マレーシア 18 自由作文 7	一方、日本では ⁽¹⁾ 進 ⁽²⁾ むな医療方法、機械 ⁽³⁾ をよく ⁽⁴⁾ 使 ⁽⁵⁾ う、 とこ ⁽⁶⁾ ても医療方法 ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ だいたい同じだろうと思ふ。	1品詞 *NA /-A 2 並 N 3接 -連用形 -ノデ VP 4発音 5* ガ /-ハ 5取立
6787	マレーシア 18 自由作文 9	マレーシアで ⁽¹⁾ 、おおきな病院 ⁽²⁾ が ⁽³⁾ しか ⁽⁴⁾ 新しい方法 ⁽⁵⁾ 使 わない、国立病院でも、治療代 ⁽⁶⁾ が ⁽⁷⁾ 高いだ。	1取立 *0 /-ハ 2副 用 3格 *ガ /-0 3取 立 *ガしか /-0 し か 4格 *0 /-ヲ 5品 詞 *NA /-A
6788	マレーシア 18 自由作文 16	そうすれば、貧民 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ よく ⁽³⁾ 医療 ⁽⁴⁾ に ⁽⁵⁾ いく ⁽⁶⁾ の ⁽⁷⁾ が ⁽⁸⁾ できる。	1取立 *ガ /-ハ 2副 用 3V 4*ノ /-コト
6789	マレーシア 18 自由作文 21	できれば、私 ⁽¹⁾ が ⁽²⁾ 一生懸命改革する ⁽³⁾ は ⁽⁴⁾ ずだ。	1C 副用 3表現 ム ード 2取立 *ガ /- ハ
6790	マレーシア 19 自由作文 3	診療所や病院で ⁽¹⁾ 、お医者さんは ⁽²⁾ 親切 ⁽³⁾ に ⁽⁴⁾ いろいろな病 気がある患者を ⁽⁵⁾ 治 ⁽⁶⁾ って ⁽⁷⁾ しま ⁽⁸⁾ いました。	1取立 *0 /-ハ 2副 用 3自他 4複 V
6791	マレーシア 19 自由作文 4	当時 ⁽¹⁾ に、私は、お医者さんが世の中 ⁽²⁾ には、一番えらい 人 ⁽³⁾ が ⁽⁴⁾ ある ⁽⁵⁾ と思 ⁽⁶⁾ いました。	1格 *ニ /-0 2*ニ / -デ 3取立 *ハ /- 0 4-ダ
6792	マレーシア 19 自由作文 8	平日は、都市にある自分の診療所にいますが日曜日なら、 いなかへ行 ⁽¹⁾ って、そこ ⁽²⁾ 庶民 ⁽³⁾ に ⁽⁴⁾ 服 ⁽⁵⁾ 務 ⁽⁶⁾ を ⁽⁷⁾ するつもりです。	1取立 *ナラ /-ハ 2 格 *0 /-デ 3N
6793	マレーシア 20 自由作文 15	けれども、私の話はわかりにくい ⁽¹⁾ だ、それ ⁽²⁾ ではよく漢 字を書 ⁽³⁾ いて、わかりやす ⁽⁴⁾ くなった。	1品詞 *NA /-A 2 取立 *ハ /-0
6794	マレーシア 20 自由作文 26	それ ⁽¹⁾ では、私の夏休みは ⁽²⁾ ここまで ⁽³⁾ に、おわた ⁽⁴⁾ んだ。	1C 2取立 *ハ /-0 3格 *ニ /-デ 4活用
6795	マレーシア 21 自由作文 4	夏休みに、毎日暑い天気がつづいていた ⁽¹⁾ あ ⁽²⁾ から、厳 ⁽³⁾ し い暑さは、私 ⁽⁴⁾ マレーシア人だから我慢 ⁽⁵⁾ できる。	1表記 2接 3取立 *0 /-ハ

6796	マレーシア 21 自由作文 17	八月31日のあさ一時に、国の建国記念日で、マレーシアからの別科生全員邱さんの部屋に国歌を歌ったり、話したり、食べたりした。	1取立 *ニ /ーハ 2格 *ニ /ーデ
6797	マレーシア 22 自由作文 4	ある時、気温が三十六度のところもありました。	1取立 *0 /ーハ 2N
6798	マレーシア 22 自由作文 5	熱帯の天候のマレーシアもこんなに暑いことがありません。	1格 *0も /ーデも 2 取立 *ガ /ーハ
6799	マレーシア 22 自由作文 7	ところで、夏休み中に、暇な時間がたくさんありましたから。アルバイトしたいと思っていました。	1C 2取立 *ニ /ーハ
6800	マレーシア 22 自由作文 8	東上線の沿線情報誌によるとある会社は男性が急募だそうでした。	1取立 *ハ /ーガ 2格 *ガ /ーヲ 3品詞 *NA /ーN 4ムード
6801	マレーシア 22 自由作文 9	待遇が時給七百五十円で交通費も支給だそうでした。	1取立 *ガ /ーハ 2ム ード
6802	マレーシア 22 自由作文 15	私達びっくりさせました。	1取立 *0 /ーハ 2Ad 3使役
6803	マレーシア 22 自由作文 21	今度の経験中に、私の日本語はどんなに経たなほとがわかりました。	1複N 2格 *ニ /ーデ 3取立 *ハ /ーガ 4不 定 5表記 6名詞節
6804	マレーシア 23 自由作文 6	私の国、マレーシアは、四季の区別がない熱帯国で、もちろん一年の平均気温は、日本よりずっと高いですが、夏の暑さは、日本ほどとてもありません。	1*だ 2取立 *0 /ー ハ 副
6805	マレーシア 23 自由作文 26	でも、私も、日本語がまだ変だから、時々おばちゃんの話は幾度も熱心に耳を傾け、わかりませんでした。	1取立*0 /ーハ 2NA 3格*ハ /ーニ 4接ー テモ
6806	マレーシア 24 自由作文 7	日本の夏には、とても暑いです。	取立*ニハ /ー0ハ
6807	マレーシア 24 自由作文 8	私の国、マレーシアは、熱帯にある国ですから、一年の平均気温は三十度位、日本より、高いですが、日本の夏の時、温度は、マレーシアより、低いから、暑さは、日本ほど、もっと高いでしょう。	1ダ 2N 3取立*0 / ーハ 4格*ハ /ーガ 5*ホウガ
6808	マレーシア 24 自由作文 9	夏で、暑いために、夜には、三時ごろ、ねましたので、朝は、十二まで、まだ、ねました。	1*ル /ータ 2取立*ニ ハ /ー0ハ 3マダ
6809	マレーシア 24 自由作文 16	もし、来年は、日本の大学にあれば、夏休みの時、国へ帰えらなかつたら、北海道へ、光顧に行こうと思います。	1取立 *ハ /ー0 2可 能 条件+バ /ー連 用 3N
6810	マレーシア 26 自由作文 15	私たちがそこで写真をたくさん取りました。	取立 *ガ /ーハ
6811	マレーシア 27 自由作文 13	仕事が始まったばかりの時、お客さんが来ると、なにかほしいがわからない、いつも日本人の仲間に頼んでいた。	1N 2取立 *0 /ーハ 3,4発音 5接

6812	マレーシア 27 自由作文 19	休みの間、仕事をして、ほかのことはわすれてはいけなくて、宿題 <u>か</u> 、大学入学試験の準備をしなければ <u>ならない</u> 。	1取立 *0 /ーハ 2並 N *カ /ーヤ 3*ル / ータ
6813	マレーシア 27 自由作文 20	それで、会社へ行かない時 <u>ー</u> 、学校の図書館へ勉強しに行った。	取立 *ハ /ーヲ
6814	マレーシア 28 自由作文 3	必要な手続をおわって、出口を出た時、父が三つ日本で食べられない果物を <u>くれると</u> 、ほんとに、私 <u>が</u> 心から感動しました。	1接 条件 *ト /ーノ デ *ル /ータ 2取立 * ガ /ーハ
6815	マレーシア 28 自由作文 9	私たちが <u>話したり</u> 、飲物をのんだりしました、私のダンス姿はなんだか、しばらくおどろなかった <u>か</u> 、なかなかへたそうでした。	1取立 *ガ /ーハ 2接 *カ /ータメニ 3ム ード *ソウダ /ーヨ ウダ
6816	マレーシア 28 自由作文 25	その <u>次日</u> 、私たちが <u>ジョギング</u> をし、温水のプールへ泳ぎに行って、とても楽しかったです。	1N 2取立 *ガ /ーハ 3表記
6817	マレーシア 28 自由作文 29	二週間ばかりの帰国期間 <u>です</u> けど、私 <u>が</u> 満足です。	1*ル /ータ 2取立 * ガ /ーハ
6818	マレーシア 29 自由作文 11	<u>とにかく</u> 国民は <u>愛国心を教</u> えて、政治と教育と文化について政策は <u>平等に</u> <u>実施</u> させます。	1Ad 副用 2取立 *ハ /ーニ 3V 4取立 *ハ /ーニ 5使役
6819	マレーシア 29 自由作文 12	国民に国の発展は <u>一番大切な</u> 観念を与えたり、いろいろな <u>激励を</u> <u>あげたり</u> 、するつもりです。	1取立 *ハ /ーにツイ エーノ連 2V
6820	マレーシア 29 自由作文 19	もし私 <u>は</u> 首相だったら、国を <u>発展</u> する <u>かた</u> たら、国民の <u>快適な</u> 生活を <u>与える</u> ことも <u>欠か</u> さず。	1取立 *ハ /ーガ 2使 役 3V 4表現
6821	マレーシア 30 自由作文 9	<u>第</u> 、マレーシア <u>ー</u> 、 <u>発展</u> 中国 <u>国家</u> だから、経済成長が遅れていますが、日本やアメリカなど <u>先進</u> 国 <u>ー</u> 、直接的に、また間接的に、私の国と <u>経済</u> 成長 <u>な</u> 影響があります。	1副用 2取立 *0 /ー ハ 3複 N 4取立 *0 /ーハ 5品詞 *NA / ーN
6822	スペイン 2 聴解要約 10	お友達 <u>は</u> <u>たいへん</u> <u>わら</u> った、彼は <u>うた</u> を <u>うた</u> うことは <u>上手</u> だったからである。	3格 取立 *ハ /ーガ 1N 2副用 Ad
6823	スペイン 2 パターン作文 6	<u>りよほ</u> <u>は</u> <u>絵</u> や <u>単</u> があります、けど、日本の本 <u>を</u> <u>あんまり</u> <u>読</u> ません。	1発音 3N 2格 *ハ / ーニ 4取立 *ヲ /ー ハ 5副用
6824	スペイン 2 パターン作文 12	また、日本語の勉強を <u>よく</u> <u>がん</u> はら なければなりません、ほしい本 <u>ー</u> <u>スペイン</u> 語で <u>ない</u> だからだと <u>思</u> います。	2表記 5ダ 6表現 3取 立 *0 /ーハ 1副用 4 活用(A)
6825	ナイジェリア 1 聴解要約 7	大家さんとヤンさん <u>を</u> <u>つめ</u> たいおちゃ <u>を</u> のんだ。	取立 格 *ヲ /ーハ
6826	ナイジェリア 1 自由作文 2	ナイジェリア <u>で</u> <u>ー</u> <u>ふる</u> いまちが <u>お</u> おい。	1発音 2格 *デ /ーニ 取立 *0 /ーハ
6827	ナイジェリア 1 自由作文 3	たとえば、イフェロイフェ <u>で</u> <u>た</u> くさん <u>じん</u> じゃ <u>で</u> ある。	1格 *デ /ーニ 取立 *0 /ーハ 2*ダ
6828	ナイジェリア 1 パターン作文 4	<u>さい</u> しょに <u>国</u> の <u>農業</u> 人口 <u>が</u> 60%以上である。	1副用 2取立 *ガ /ー ハ
6829	メキシコ 1 自由作文 5	大変失礼なことだと <u>ー</u> 思いますが <u>少</u> なくとも、2週間その本を使用したいと思ひます。	取立 *0 /ーハ

6830	メキシコ 1 自由作文 6	しかし、もし山本さん ⁽¹⁾ は まだその本を使いたいなら、 <u>必ず</u> ⁽²⁾ 2週間たって、またお貸しします。	1取立 *ハ /ーガ 2語 順 Ad
6831	イギリス 1 自由作文 3	お茶くみ ⁽¹⁾ と コピーをする女の人 ⁽²⁾ は OLと言います。	1並 N *ト /ーヤ 2取 立 *ハ /ーヲ
6832	イギリス 1 自由作文 5	しかし <u>今</u> ⁽¹⁾ たいてい女の人はその仕事をする <u>いい</u> ⁽²⁾ <u>では</u> ⁽³⁾ <u>ありません</u> ⁽⁴⁾ と言います。	1副用 3 取立 *0 / ーハ 活用(A) スタ イル 2名詞節
6833	オーストラリア 1 聴解要約 1	けさヤンさん <u>家</u> ⁽¹⁾ を <u>で</u> ⁽²⁾ ました。	取立 *0 /ーハ
6834	イラク 1 自由作文 5	しかし全面的な改革 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>話し</u> ⁽²⁾ <u>そう</u> ⁽³⁾ に 簡単ではなく、実行 は大変難しい。	1取立 *ガ /ーハ 2ム ード *ソウだ /ーヨ ウだ
6835	インド 1 自由作文 3	部屋の中 ⁽¹⁾ で 台所や風呂場や便所などがありませんがアパ ートの中 ⁽²⁾ ⁽³⁾ <u>で</u> ⁽⁴⁾ があります。	1,2格 *デ /ーニ 3取 立 *ガ /ーハ
6836	インド 1 自由作文 15	来年の大学 <u>まだ</u> ⁽¹⁾ 分かりません <u>から</u> ⁽²⁾ 、引越す時は大変 <u>気を煩</u> ⁽³⁾ す でしょうね。	1取立 *0 /ーハ 2接 3熟語
6837	インド 3 自由作文 12	電気の下 <u>に</u> ⁽¹⁾ ベッドです。	取立 *ニ /ーハ
6838	インド 4 自由作文 3	私 <u>は</u> ⁽¹⁾ 、タンさんと住んでいる部屋は6畳で、台所とお手 洗いはありますが、おふろはありません。	取立 *ハ /ーガ
6839	インド 4 自由作文 5	南西に <u>窓</u> ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>あ</u> ⁽³⁾ <u>っ</u> ⁽⁴⁾ <u>て</u> ⁽⁵⁾ 、南東に <u>ガラ</u> ⁽⁶⁾ <u>ス</u> ⁽⁷⁾ <u>戸</u> ⁽⁸⁾ <u>が</u> ⁽⁹⁾ <u>あ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>っ</u> ⁽¹¹⁾ <u>て</u> ⁽¹²⁾ 、 北西に <u>戸</u> ⁽¹³⁾ <u>が</u> ⁽¹⁴⁾ <u>あ</u> ⁽¹⁵⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁶⁾ <u>て</u> ⁽¹⁷⁾ 。	1取立 *0 /ーハ 2接 *テ形、並 V 3取立 * 0 /ーハ 4接 *テ形、 並 V 5取立 *0 /ー ハ
6840	インド 4 自由作文 6	北東に <u>押し</u> ⁽¹⁾ <u>入</u> ⁽²⁾ れがあります。	取立 *0 /ーハ
6841	インド 4 自由作文 9	私 <u>は</u> ⁽¹⁾ 、自分 <u>で</u> ⁽²⁾ 物は、ベッドと <u>こ</u> ⁽³⁾ <u>だ</u> ⁽⁴⁾ <u>つ</u> ⁽⁵⁾ と小さいたんす といすがあります。	1取立 *ハ /ーノ連 2 格 *デ /ーノ連 3発 音
6842	インド 4 自由作文 10	<u>こ</u> ⁽¹⁾ <u>だ</u> ⁽²⁾ <u>つ</u> ⁽³⁾ の上 <u>に</u> ⁽⁴⁾ <u>電</u> ⁽⁵⁾ <u>池</u> ⁽⁶⁾ や本や小さい引きだしなどを置い ています。	1発音 2取立 *0 /ー ハ
6843	インド 4 自由作文 11	小さい引きだしの中に <u>大</u> ⁽¹⁾ <u>切</u> ⁽²⁾ に 物があります。	1取立 *0 /ーハ 2活 用(Na) *ニ /ーナ
6844	インド 5 自由作文 2	私の部屋 <u>二</u> ⁽¹⁾ <u>階</u> ⁽²⁾ にあります。	取立 *0 /ーハ
6845	インド 5 自由作文 3	私の部屋 <u>中</u> ⁽¹⁾ に <u>テ</u> ⁽²⁾ <u>レ</u> ⁽³⁾ <u>ビ</u> ⁽⁴⁾ と <u>机</u> ⁽⁵⁾ と <u>い</u> ⁽⁶⁾ <u>す</u> ⁽⁷⁾ <u>本</u> ⁽⁸⁾ <u>ば</u> ⁽⁹⁾ <u>こ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>と</u> ⁽¹¹⁾ <u>じ</u> ⁽¹²⁾ <u>ゅ</u> ⁽¹³⁾ <u>う</u> ⁽¹⁴⁾ <u>た</u> ⁽¹⁵⁾ <u>ん</u> ⁽¹⁶⁾ と <u>ベ</u> ⁽¹⁷⁾ <u>ッ</u> ⁽¹⁸⁾ <u>ド</u> ⁽¹⁹⁾ などがああります。	1ーノ連 2取立 *0 / ーハ 3,4,6,7並 N *ト /ーヤ 5取立 *0 /ー ヤ
6846	インド 5 自由作文 4	私の部屋の <u>う</u> ⁽¹⁾ <u>え</u> ⁽²⁾ に <u>電</u> ⁽³⁾ <u>燈</u> ⁽⁴⁾ <u>が</u> ⁽⁵⁾ <u>あ</u> ⁽⁶⁾ <u>っ</u> ⁽⁷⁾ <u>て</u> ⁽⁸⁾ 天井に <u>な</u> ⁽⁹⁾ <u>が</u> ⁽¹⁰⁾ <u>い</u> ⁽¹¹⁾ <u>木</u> ⁽¹²⁾ <u>が</u> ⁽¹³⁾ あります。	1N 2,4取立 *0 /ー ハ 3接 *テ形
6847	インド 5 自由作文 6	引きだしの中に <u>パ</u> ⁽¹⁾ <u>ス</u> ⁽²⁾ <u>ポ</u> ⁽³⁾ と <u>日</u> ⁽⁴⁾ <u>記</u> ⁽⁵⁾ と <u>写</u> ⁽⁶⁾ <u>真</u> ⁽⁷⁾ と <u>手</u> ⁽⁸⁾ <u>紙</u> ⁽⁹⁾ と <u>お</u> ⁽¹⁰⁾ <u>金</u> ⁽¹¹⁾ と 英語の本があります。	1取立 *0 /ーハ 2発 音 表記
6848	インド 5 自由作文 7	机のたなに <u>英</u> ⁽¹⁾ <u>語</u> ⁽²⁾ の <u>辞</u> ⁽³⁾ <u>書</u> ⁽⁴⁾ と <u>ティ</u> ⁽⁵⁾ <u>ッ</u> ⁽⁶⁾ <u>シ</u> ⁽⁷⁾ <u>ュ</u> ⁽⁸⁾ <u>ペ</u> ⁽⁹⁾ <u>ー</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ペ</u> ⁽¹¹⁾ <u>ー</u> ⁽¹²⁾ と <u>コ</u> ⁽¹³⁾ <u>ッ</u> ⁽¹⁴⁾ と <u>ス</u> ⁽¹⁵⁾ <u>タ</u> ⁽¹⁶⁾ <u>ン</u> ⁽¹⁷⁾ <u>ド</u> ⁽¹⁸⁾ <u>ー</u> ⁽¹⁹⁾ があります。	1取立 *0 /ハ 2発音 表記

6849	インド 5 自由作文 9	机の左に <u> </u> テレビがあります。	取立 *0 /-ハ
6850	インド 5 自由作文 13	戸棚の中に <u> </u> たくさんあります。	取立 *0 /-ハ
6851	インド 6 自由作文 4	部屋のなかに <u> </u> おふろと <u> </u> たいところと <u> </u> お手洗いが <u> </u> ありません。	1取立 *0 /-ハ 2発音 3取立 *ガ /-ハ
6852	インド 6 自由作文 7	部屋のなかに <u> </u> 北と西 <u> </u> まどが <u> </u> ふたつ あります。	1取立 *0 /-ハ 2格 *0 /-ニ 3数 Ad
6853	インド 6 自由作文 9	こたつのうえに <u> </u> スタンドや辞書や鉛筆などがあります。	取立 *0 /-ハ
6854	インド 6 自由作文 10	こたつの上の方に <u> </u> ペナントがはってあります。	取立 *0 /-ハ
6855	インド 6 自由作文 11	こたつの左がわに <u> </u> テレビと <u> </u> ようふくたんす <u> </u> があります。	1取立 *0 /-ハ 2発音
6856	インド 6 自由作文 12	ようふくだんす <u> </u> なかに <u> </u> パスポート や <u> </u> シャツや <u> </u> お金が <u> </u> いてあります。	1-ノ連 2取立 *0 /-ハ 3発音 表記 4V 自他
6857	インド 6 自由作文 13	こたつの前に <u> </u> ベットがあります。	取立 *0 /-ハ
6858	インド 7 自由作文 3	部屋の中で <u> </u> でんと や <u> </u> つくえや <u> </u> テレビなど <u> </u> があります。	1格 *デ /-ニ 2取立 *0 /-ハ 3,4発音
6859	インド 7 自由作文 4	台所の中で <u> </u> 冷蔵庫 <u> </u> があります。	1格 *デ /-ニ 2取立 *0 /-ハ
6860	インド 7 自由作文 16	机の上に <u> </u> ラジオも <u> </u> あります。	取立 *0 /-ハ
6861	インド 7 自由作文 17	机の隣に <u> </u> ベット <u> </u> があります。	1取立 *0 /-ハ 2表記
6862	インド 8 自由作文 8	台所の中に <u> </u> 、冷蔵庫や <u> </u> ながしや <u> </u> 炊飯器など <u> </u> あります。	1取立 *0 /-ハ 2格 *0 /-ガ
6863	インド 8 自由作文 14	門の右に <u> </u> テーブル <u> </u> があります。	1N 2取立 *0 /-ハ
6864	インド 8 自由作文 17	門の左に <u> </u> ほんば <u> </u> こが <u> </u> おいてあります。	1N 2取立 *0 /-ハ
6865	インド 8 自由作文 18	ほんば <u> </u> この中に <u> </u> 本や <u> </u> 薬や <u> </u> カセットなど <u> </u> ならべて <u> </u> います。	1取立 *0 /-ハ 2格 *0 /-ガ 3自他
6866	インド 8 自由作文 19	ほんば <u> </u> この上に <u> </u> テレビが <u> </u> おいてあります。	取立 *0 /-ハ
6867	インド 8 自由作文 21	部屋の中に <u> </u> 、 <u> </u> こたつも <u> </u> あります。	取立 *0 /-ハ
6868	インド 8 自由作文 23	こたつの上に <u> </u> ラジオ <u> </u> があります。	取立 *0 /-ハ
6869	インド 8 自由作文 28	前の <u> </u> 門の左に <u> </u> せんたく <u> </u> きが <u> </u> おいてありますから、 <u> </u> 一週間に <u> </u> 二回 <u> </u> せんたく <u> </u> します。	1N 2取立 * /-ハ
6870	インド 8 自由作文 30	<u> </u> みんなさん <u> </u> 、 <u> </u> 暇な時、 <u> </u> 私の <u> </u> 部屋へ <u> </u> 来ます。	1Ad 2取立 *0 /-ハ
6871	インド 9 自由作文 2	私の <u> </u> 部屋 <u> </u> の <u> </u> ひろさ <u> </u> は <u> </u> 四畳半 <u> </u> です。	1取立 *ノ連 /-ハ 2 取立 *ハ /-ガ

6872	インド 9 自由作文 4	私は掃除する事が嫌いですから、1か月に一回 <u>だけ</u> <u>掃除</u> <u>し</u> <u>のために</u> <u>部屋</u> <u>が</u> <u>あまり</u> <u>きれい</u> <u>ではありません</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ダケ /ーシカ 2否定 3接 *タメニ / ーノデ 4取立 *ガ / ーハ
6873	インド 9 自由作文 8	でも、 <u>つかれる</u> <u>時</u> 、いくらかゆくてもねられます。 (1) (2)	1ーテイル 2取立 *0 /ーハ
6874	インド 9 自由作文 9	部屋の中に <u>こたつ</u> <u>だけ</u> <u>があります</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *0 /ーハ 2* ダケ /ーシカ 3格 * ガ /ー0 4否定
6875	インド 10 自由作文 24	台所はそんなに狭く <u>ない</u> です。	取立 *0 /ーハ
6876	インド 15 自由作文 17	高いですけど、私はひろい部屋 <u>は</u> <u>ほしい</u> から、日用品 <u>ほか</u> <u>の</u> <u>もの</u> <u>は</u> <u>買って</u> <u>ありません</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーガ 2複 N
6877	インド 16 自由作文 6	冷蔵庫 <u>が</u> <u>小さい</u> <u>です</u> <u>けど</u> <u>いろいろ</u> <u>な</u> <u>飲料</u> <u>や</u> <u>食べ</u> <u>もの</u> <u>を</u> <u>入</u> <u>って</u> <u>あります</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ガ /ーハ 2ス タイル 3N 4格 *ヲ /ヱーガ 5自他
6878	インド 16 自由作文 16	その時 <u>に</u> <u>起き</u> <u>なければ</u> <u>なりません</u> 。	取立 *ニ /ーハ
6879	インド 18 自由作文 4	ですから家 <u>は</u> <u>すっきり</u> <u>すむ</u> <u>のは</u> <u>しあわせ</u> <u>ですね</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーニ 2Ad 副用 &表現
6880	インド 18 自由作文 17	一日 <u>今</u> <u>からは</u> <u>じま</u> <u>ります</u> 。	取立 *0 /ーハ
6881	インド 18 自由作文 25	ひま <u>なら</u> 、ほんばこのうえのテープレコーダーとテーブ <u>ル</u> <u>の</u> <u>うえ</u> <u>の</u> <u>テレビ</u> <u>は</u> <u>私の</u> <u>たのしみ</u> <u>になります</u> 。 (1) (2)	1接 条件 2取立 *ハ /ーガ
6882	インド 18 自由作文 27	ひろさ <u>ち</u> <u>ょう</u> <u>ど</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>です</u> 。	取立 *0 /ーハ
6883	インド 18 自由作文 34	<u>もし</u> <u>じ</u> <u>し</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>と</u> <u>き</u> <u>ゆ</u> <u>ら</u> <u>ゆ</u> <u>ら</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>す</u> 、 <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>そ</u> <u>う</u> <u>です</u> 。 (1) (2)	1Ad 副用 2取立 *0 /ーハ
6884	インド 19 自由作文 5	私 <u>は</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>絵</u> <u>が</u> <u>見</u> <u>て</u> <u>下</u> <u>さい</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーガ 2格 *ガ /ーヲ
6885	インド 19 自由作文 22	このテレビ <u>が</u> 私 <u>は</u> <u>先</u> <u>週</u> <u>の</u> <u>金</u> <u>曜</u> <u>日</u> <u>に</u> <u>秋</u> <u>葉</u> <u>原</u> <u>で</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ば</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>です</u> 。 (1) (2)	1取立 *ガ /ーハ 2* ハ /ーガ
6886	インド 19 自由作文 30	時間があれば、みなさん <u>は</u> <u>私の</u> <u>部屋</u> <u>に</u> <u>いら</u> <u>っ</u> <u>し</u> <u>ゃ</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ー0 2ム ード
6887	インド 20 自由作文 5	私 <u>は</u> <u>へ</u> <u>や</u> <u>の</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>い</u> <u>ろ</u> <u>な</u> <u>部</u> <u>品</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /ーノ 2格 *デ /ーニ
6888	インド 20 自由作文 11	ですから、いえの <u>ま</u> <u>お</u> <u>り</u> <u>に</u> <u>大</u> <u>変</u> <u>清</u> <u>潔</u> <u>です</u> 。 (1) (2)	1表記 2取立 *ニ /ー ハ
6889	インド 20 自由作文 16	<u>住所</u> <u>の</u> <u>近</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>と</u> <u>と</u> <u>も</u> <u>静</u> <u>か</u> <u>です</u> 。 (1) (2)	1N 2取立 *ニ /ーハ
6890	インド 21 自由作文 15	土曜日と日曜日 <u>に</u> <u>休</u> <u>み</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	取立 *0 /ーハ
6891	インド 22 自由作文 9	いろいろ <u>な</u> <u>本</u> <u>は</u> 、 <u>本</u> <u>ば</u> <u>こ</u> <u>の</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>に</u> <u>入</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	取立 *ハ /ーガ
6892	インド 23 自由作文 11	<u>間</u> <u>に</u> <u>入</u> <u>る</u> <u>時</u> 、 <u>左</u> <u>側</u> <u>ト</u> <u>イ</u> <u>レ</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>風</u> <u>呂</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2接 条件 *トキ /ート 3取立 *0 /ー ハ 4N

6893	インド 23 自由作文 15	障子の裏にいます。	取立 *ニ /-ハ 格 * ニ /-ガ
6894	インド 23 自由作文 16	障子の向こうは <u>おおきい窓がある窓には</u> カーテンがかかっている。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ノ 2表 現
6895	インド 24 自由作文 14	それぞれは <u>私とティアンさんが日本に</u> <u>来たばかり</u> 買ったのです。 (1) (2)	1取立 *ハ /-0 副 用 2接 *0 /-トキ
6896	インド 25 自由作文 5	ゴ先生はまじめな先生 <u>、</u> いつも学生に <u>親切にあげて</u> <u>だから</u> 学生たちはゴ先生 <u>は</u> <u>たいへん</u> すきです。 (1) (2) (3) (4)	1接 *0 /-デ 2受給 3C *ダから /-0 か ら 4取立 *ハ /-ガ
6897	インド 26 自由作文 7	ロスナは小学校3年生で私 <u>は</u> よりずっと年上です。	取立 *ハ /-0
6898	インド 26 自由作文 13	彼女 <u>、</u> 真面目で勤勉な学生です。	取立 *0 /-ハ
6899	インド 26 自由作文 16	私 <u>は</u> とってとてもいい友達です。	取立 *ハ /-ニ
6900	インド 26 自由作文 19	私 <u>は</u> とって <u>そんなに</u> つらい悲しみです。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ニ 2副 用
6901	インド 27 自由作文 10	彼女 <u>、</u> 本当にやさしい人です。	取立 *0 /-ハ
6902	インド 28 自由作文 5	<u>この映画の中でみんな</u> <u>戦争はやめたいと</u> <u>深刻な</u> <u>出る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1コソア 2取立 *0 / -ハ 3活用(NA)*ナ /-ニ 4V
6903	インド 28 自由作文 8	故郷の人 <u>は</u> <u>思い出して</u> 、 <u>みんな</u> <u>かえり</u> たい。 (1) (2)	1取立 ハ /-ヲ 2ル /-タ
6904	インド 28 自由作文 11	私はこの映画 <u>見る</u> あとで、自分の <u>感覚</u> <u>は</u> <u>もし</u> <u>世界の中</u> <u>で</u> <u>戦争</u> <u>は</u> <u>ない</u> 、 <u>いい</u> <u>わね</u> <u>と</u> <u>思</u> いました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1ル /-タ 2N 3格 デ /-ニ 4取立 ハ /-ガ 5接 条件 *0 /-タラ 6ムード
6905	インド 30 自由作文 9	<u>もし</u> 、 <u>私</u> <u>が</u> <u>宿題の問題が</u> <u>あれば</u> 、 <u>おじに</u> <u>教えて</u> <u>もら</u> いました。 (1) (2) (3)	1,3接 条件 *バ /- ト 2取立 ガ /-ハ
6906	インド 30 自由作文 13	ある日、私 <u>は</u> 、 <u>おじの車に乗って</u> 、 <u>おじと</u> <u>一緒に</u> <u>都心へ</u> <u>行</u> <u>た</u> <u>途中</u> 、 <u>交通</u> <u>事故</u> <u>が</u> <u>お</u> <u>こ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	1取立 *ハ /-ガ 2* タ /-ル 発音
6907	インド 30 自由作文 15	<u>この事</u> <u>、</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>一</u> <u>番</u> <u>悲</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *0 /-ハ 2格 *に 0 /-に トツテ 3*タ /-ル 4体修
6908	インド 32 自由作文 3	私 <u>が</u> <u>今</u> <u>十</u> <u>九</u> <u>才</u> <u>で</u> <u>も</u> 、 <u>日本</u> <u>に</u> <u>来</u> <u>て</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ふ</u> <u>と</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>来</u> <u>た</u> <u>の</u> <u>で</u> 、 <u>そ</u> <u>れ</u> <u>に</u> <u>悩</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ /-ハ 2接 *テモ /-ガ 3複V
6909	インド 32 自由作文 9	それは、 <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>ん</u> <u>ふ</u> <u>と</u> <u>る</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>わ</u> <u>け</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1コソア 2取立 *ハ / -ガ 3複V
6910	インド 32 自由作文 12	<u>考</u> <u>え</u> <u>る</u> <u>と</u> 、 <u>そ</u> <u>れ</u> <u>は</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>さ</u> <u>ん</u> <u>食</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>も</u> 、 <u>ふ</u> <u>と</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>わ</u> <u>け</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1複V 2コソア 3否定 4取立 *0 /-ハ
6911	インド 33 自由作文 7	人間 <u>は</u> <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>物</u> <u>質</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>も</u> <u>の</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>精</u> <u>神</u> <u>的</u> <u>な</u> <u>ほ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *ハ /-ガ 2Ad 副用 3品詞 *N /- NA & 表現
6912	インド 34 自由作文 2	狭い教室で、 <u>五</u> <u>十</u> <u>さい</u> <u>ぐ</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>年</u> <u>よ</u> <u>り</u> <u>の</u> <u>め</u> <u>か</u> <u>ね</u> <u>を</u> <u>か</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>は</u> <u>歴</u> <u>史</u> <u>授</u> <u>教</u> <u>を</u> <u>教</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>こ</u> <u>ろ</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1N 2発音 3*テイル /-タ 4取立 *ハ /- ガ 5N

6913	インド 34 自由作文 6	そういうのは、彼がよくて、やさしい先生でした。 (1) (2) (3)	1コソア 2取立 *ガ / ーハ 3A
6914	インド 34 自由作文 7	彼の授教で、つまらなかつたり、おもしろかつたりする のでした。 (1) (2)	1表記 取立 *デ /ー ハ 2活用(A)
6915	インド 36 自由作文 7	私は明朗な性格、活発な生活などが父親の遺伝にま ちがありません。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ /ーノ 2N 3格 *ヲ /ーガ 4N
6916	インド 36 自由作文 8	わたしは新しいものに関心があるが五分しがない のがたぶん父からのだろうか。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ /ーガ 2格 *ガ /ーヲ 3発音 4取 立 *ガ /ーハ
6917	インド 37 自由作文 8	また、ふたりの愛情な非常に可貴、私は、「汪洋中の 一条船」映画見たとき感動非常に涙が泣きました。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 ーハ 2NA 3 トイウ 4格 *0 /ー ヲ 5格 *0 /ーデ 6VP
6918	インド 38 自由作文 4	私のこどものころ、サッカーが好きでしたから、毎日、 運動場に通ってきたが、私の体が、ちいさくて、よわそ うですから、他の人が、サッカーをした時、私が、 運動場の外で、みるだけ。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1取立 *ノ /ーハ 2複 V 3*ル /ータ 4*タ /ーテイル 5取立 *ガ /ーハ 6タ
6919	インド 39 自由作文 2	私はこどものころ一番なつかしい思い出ことは山が 登ることでした。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ /ーガ 2名 詞節 3格 *ガ /ーニ 4*ル /ータ 5*タ /ー ル
6920	インド 39 自由作文 8	もういつの山は、土の色は赤いですから、植物の栄 養がありません。 (1) (2)	1発音 2取立 *ハ /ー ガ
6921	インド 39 自由作文 18	以後、ちちは私だちが山へ行くことは禁止でした。 (1) (2) (3)	1発音 2取立 *ハ /ー ヲ 3V
6922	インド 40 自由作文 9	もし、天気は急に冷えれば、かぜにかかりやすいです。 (1) (2)	1N 2取立 *ハ /ーガ
6923	インド 40 自由作文 19	そこで、風景がきれいでした。	取立 *デ /ーハ
6924	インド 42 自由作文 9	彼女が、その悪い事件を聞いていて、びっくりしまし た。 (1) (2)	1取立 *ガ /ーハ 2* テイル
6925	インド 42 自由作文 12	とても、人々に、感動しました。	取立 *ニ /ーハ
6926	インド 43 自由作文 12	かぜについて、一種類なかかりやすいだ病気だから、 もし、かかったらお医者にみにいくとなおるようにな ります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ニツイテ /ー ハ 2数品 *NA /ー N 3品 *NA /ーA 4 複V 5*ヨウニ
6927	インド 44 自由作文 9	男の人、子供のころ両親がしにました。	取立 ーハ
6928	インド 44 自由作文 15	昔、中国で先生と学生結婚が*対5ためです。 (1) (2) (3)	1取立 *0 /ーハ 2体 修 3取立 *ガ /ーハ 5発音
6929	インド 44 自由作文 16	このふたり男女したいです。 (1) (2)	1取立 *0 /ーハ 2N
6930	インド 44 自由作文 18	そのために、このふたり山に住んでいます。 (1) (2)	1取立 *0 /ーハ 2ー テイル
6931	インド 44 自由作文 21	生活が非常に幸福です。	取立 *ガ /ーハ

6932	インド 46 自由作文 8	近況、日本 ⁽¹⁾ <u>について</u> ⁽²⁾ 、この方面の発展はきわめて <u>進歩</u> ⁽³⁾ <u>しています</u> 。	1副用 2格 *ニツイテ /ーデ 取立 *0 /ー ハ 3V
6933	インド 46 自由作文 9	多い会社や <u>工*</u> ⁽¹⁾ <u>など</u> ⁽²⁾ <u>正確な</u> ⁽³⁾ <u>管理</u> ⁽⁴⁾ で事業がどんどん成 功しました。	1数 2表記 3取立 *0 /ーハ 4NA
6934	インド 49 自由作文 6	だから、日本の会社 <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>だんだん</u> ⁽²⁾ <u>建</u> ⁽³⁾ <u>って</u> ⁽⁴⁾ <u>きました</u> 。	1取立 *ハ /ーガ 2V
6935	インド 49 自由作文 11	それを <u>対</u> ⁽¹⁾ <u>して</u> ⁽²⁾ 、 <u>私</u> ⁽³⁾ <u>が</u> ⁽⁴⁾ <u>趣味</u> ⁽⁵⁾ <u>を</u> ⁽⁶⁾ <u>持</u> ⁽⁷⁾ <u>っ</u> ⁽⁸⁾ <u>て</u> ⁽⁹⁾ <u>い</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ま</u> ⁽¹¹⁾ <u>す</u> 。	1格 *ヲ /ーニ 2*に タイシテ 3取立 *ガ /ーハ
6936	インド 50 自由作文 4	したがって私の国の写真技術 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>もちろん</u> ⁽²⁾ <u>日本</u> ⁽³⁾ <u>より</u> ⁽⁴⁾ <u>ずっと</u> <u>低い</u> ⁽⁵⁾ 、 <u>学びたい</u> ⁽⁶⁾ <u>の</u> ⁽⁷⁾ <u>技術</u> ⁽⁸⁾ <u>も</u> ⁽⁹⁾ <u>限</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ら</u> ⁽¹¹⁾ <u>れ</u> ⁽¹²⁾ <u>て</u> ⁽¹³⁾ <u>い</u> ⁽¹⁴⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁵⁾ <u>す</u> 。	1取立 *ガ /ーハ 2ー 連用形 3*ノ連
6937	インド 50 自由作文 6	私は広告写真について非常に <u>趣味</u> ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>ある</u> ⁽³⁾ <u>人</u> ⁽⁴⁾ <u>です</u> 、とい うのは広告写真は商業と芸術を <u>つ</u> ⁽⁵⁾ <u>な</u> ⁽⁶⁾ <u>い</u> ⁽⁷⁾ <u>で</u> ⁽⁸⁾ <u>い</u> ⁽⁹⁾ <u>わ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ゆる</u> ⁽¹¹⁾ <u>商</u> ⁽¹²⁾ <u>業</u> ⁽¹³⁾ <u>設</u> ⁽¹⁴⁾ <u>計</u> ⁽¹⁵⁾ <u>で</u> 、いま私の国には、 <u>そ</u> ⁽¹⁶⁾ <u>う</u> ⁽¹⁷⁾ <u>人</u> ⁽¹⁸⁾ <u>才</u> ⁽¹⁹⁾ <u>は</u> ⁽²⁰⁾ <u>あ</u> ⁽²¹⁾ <u>ま</u> ⁽²²⁾ <u>り</u> ⁽²³⁾ <u>多</u> ⁽²⁴⁾ <u>く</u> ⁽²⁵⁾ <u>て</u> ⁽²⁶⁾ <u>は</u> ⁽²⁷⁾ <u>あ</u> ⁽²⁸⁾ <u>り</u> ⁽²⁹⁾ <u>ま</u> ⁽³⁰⁾ <u>せ</u> ⁽³¹⁾ <u>ん</u> 。	1N 2表現 3*テ形 体 修 4発音 5表記 6*テ 形 7取立 *ハ /ー0
6938	インド 50 自由作文 9	というのは、私の父 <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>前</u> ⁽²⁾ <u>に</u> ⁽³⁾ <u>経</u> ⁽⁴⁾ <u>営</u> ⁽⁵⁾ <u>管</u> ⁽⁶⁾ <u>理</u> ⁽⁷⁾ <u>職</u> ⁽⁸⁾ <u>を</u> ⁽⁹⁾ <u>持</u> ⁽¹⁰⁾ <u>っ</u> ⁽¹¹⁾ <u>て</u> ⁽¹²⁾ <u>い</u> ⁽¹³⁾ <u>る</u> ⁽¹⁴⁾ <u>こ</u> ⁽¹⁵⁾ <u>と</u> ⁽¹⁶⁾ <u>が</u> ⁽¹⁷⁾ <u>き</u> ⁽¹⁸⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁹⁾ <u>か</u> ⁽²⁰⁾ <u>け</u> ⁽²¹⁾ <u>で</u> 、 <u>だ</u> ⁽²²⁾ <u>か</u> ⁽²³⁾ <u>ら</u> 、 <u>子</u> ⁽²⁴⁾ <u>供</u> ⁽²⁵⁾ <u>の</u> ⁽²⁶⁾ <u>時</u> ⁽²⁷⁾ <u>か</u> ⁽²⁸⁾ <u>ら</u> ⁽²⁹⁾ <u>い</u> ⁽³⁰⁾ <u>つ</u> ⁽³¹⁾ <u>も</u> ⁽³²⁾ <u>父</u> ⁽³³⁾ <u>の</u> ⁽³⁴⁾ <u>あ</u> ⁽³⁵⁾ <u>と</u> ⁽³⁶⁾ <u>を</u> ⁽³⁷⁾ <u>継</u> ⁽³⁸⁾ <u>ご</u> ⁽³⁹⁾ <u>う</u> ⁽⁴⁰⁾ <u>と</u> ⁽⁴¹⁾ <u>思</u> ⁽⁴²⁾ <u>っ</u> ⁽⁴³⁾ <u>て</u> ⁽⁴⁴⁾ <u>い</u> ⁽⁴⁵⁾ <u>ま</u> ⁽⁴⁶⁾ <u>す</u> 。	1取立 *ハ /ーガ 2V 3C 4*ル /ータ
6939	インド 50 自由作文 11	<u>し</u> ⁽¹⁾ <u>か</u> ⁽²⁾ <u>し</u> 、その時、父の話 <u>し</u> ⁽³⁾ <u>全</u> ⁽⁴⁾ <u>然</u> ⁽⁵⁾ <u>わ</u> ⁽⁶⁾ <u>か</u> ⁽⁷⁾ <u>り</u> ⁽⁸⁾ <u>ま</u> ⁽⁹⁾ <u>せ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ん</u> ⁽¹¹⁾ <u>が</u> ⁽¹²⁾ <u>だ</u> ⁽¹³⁾ <u>ん</u> ⁽¹⁴⁾ <u>だ</u> ⁽¹⁵⁾ <u>ん</u> ⁽¹⁶⁾ <u>大</u> ⁽¹⁷⁾ <u>き</u> ⁽¹⁸⁾ <u>く</u> ⁽¹⁹⁾ <u>な</u> ⁽²⁰⁾ <u>っ</u> ⁽²¹⁾ <u>て</u> ⁽²²⁾ <u>こ</u> ⁽²³⁾ <u>の</u> ⁽²⁴⁾ <u>仕</u> ⁽²⁵⁾ <u>事</u> ⁽²⁶⁾ <u>の</u> ⁽²⁷⁾ <u>興</u> ⁽²⁸⁾ <u>味</u> ⁽²⁹⁾ <u>を</u> ⁽³⁰⁾ <u>持</u> ⁽³¹⁾ <u>っ</u> ⁽³²⁾ <u>て</u> ⁽³³⁾ <u>い</u> ⁽³⁴⁾ <u>ま</u> ⁽³⁵⁾ <u>す</u> 。	1C 2取立 *0 /ーハ 3*ル /ータ 4*ノ連 格 *0 /ーニ 5VP
6940	インド 51 自由作文 2	<u>私</u> ⁽¹⁾ <u>は</u> ⁽²⁾ <u>以</u> ⁽³⁾ <u>前</u> ⁽⁴⁾ <u>か</u> ⁽⁵⁾ <u>ら</u> ⁽⁶⁾ <u>関</u> ⁽⁷⁾ <u>心</u> ⁽⁸⁾ <u>を</u> ⁽⁹⁾ <u>持</u> ⁽¹⁰⁾ <u>っ</u> ⁽¹¹⁾ <u>て</u> ⁽¹²⁾ <u>き</u> ⁽¹³⁾ <u>た</u> ⁽¹⁴⁾ <u>こ</u> ⁽¹⁵⁾ <u>と</u> ⁽¹⁶⁾ <u>は</u> ⁽¹⁷⁾ <u>国</u> ⁽¹⁸⁾ <u>の</u> ⁽¹⁹⁾ <u>経</u> ⁽²⁰⁾ <u>済</u> ⁽²¹⁾ <u>発</u> ⁽²²⁾ <u>展</u> ⁽²³⁾ <u>と</u> ⁽²⁴⁾ <u>成</u> ⁽²⁵⁾ <u>長</u> ⁽²⁶⁾ <u>で</u> ⁽²⁷⁾ <u>あ</u> ⁽²⁸⁾ <u>る</u> 。	取立 *ハ /ーガ
6941	インド 53 自由作文 4	このごろ、私の国で <u>向</u> ⁽¹⁾ <u>東</u> ⁽²⁾ <u>学</u> ⁽³⁾ <u>習</u> ⁽⁴⁾ <u>を</u> ⁽⁵⁾ <u>提</u> ⁽⁶⁾ <u>唱</u> ⁽⁷⁾ <u>し</u> ⁽⁸⁾ <u>て</u> ⁽⁹⁾ <u>い</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ま</u> ⁽¹¹⁾ <u>す</u> 。	1取立 *0 /ーハ 2複 V 3自他
6942	インド 53 自由作文 9	また日本人 <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>よ</u> ⁽²⁾ <u>く</u> ⁽³⁾ <u>働</u> ⁽⁴⁾ <u>き</u> ⁽⁵⁾ <u>経</u> ⁽⁶⁾ <u>神</u> ⁽⁷⁾ <u>を</u> ⁽⁸⁾ <u>も</u> ⁽⁹⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>て</u> ⁽¹¹⁾ <u>い</u> ⁽¹²⁾ <u>ま</u> ⁽¹³⁾ <u>す</u> 。	1取立 *0 /ーハ 2体 修 3N
6943	インド 54 自由作文 4	人間 <u>が</u> ⁽¹⁾ <u>生</u> ⁽²⁾ <u>ま</u> ⁽³⁾ <u>れ</u> ⁽⁴⁾ <u>た</u> ⁽⁵⁾ <u>運</u> ⁽⁶⁾ <u>命</u> ⁽⁷⁾ <u>に</u> ⁽⁸⁾ <u>よ</u> ⁽⁹⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>て</u> ⁽¹¹⁾ <u>未</u> ⁽¹²⁾ <u>来</u> ⁽¹³⁾ <u>の</u> ⁽¹⁴⁾ <u>発</u> ⁽¹⁵⁾ <u>展</u> ⁽¹⁶⁾ <u>が</u> ⁽¹⁷⁾ <u>ち</u> ⁽¹⁸⁾ <u>が</u> ⁽¹⁹⁾ <u>う</u> ⁽²⁰⁾ <u>の</u> ⁽²¹⁾ <u>で</u> ⁽²²⁾ <u>あ</u> ⁽²³⁾ <u>る</u> 。	1取立 *ガ /ーハ 2N 3スタイル
6944	インド 54 自由作文 6	もし、私がお金持ちになったら、 <u>貧</u> ⁽¹⁾ <u>困</u> ⁽²⁾ <u>の</u> ⁽³⁾ <u>人</u> ⁽⁴⁾ <u>を</u> ⁽⁵⁾ <u>手</u> ⁽⁶⁾ <u>助</u> ⁽⁷⁾ <u>け</u> ⁽⁸⁾ <u>し</u> ⁽⁹⁾ <u>て</u> ⁽¹⁰⁾ <u>あ</u> ⁽¹¹⁾ <u>げ</u> ⁽¹²⁾ <u>て</u> ⁽¹³⁾ <u>富</u> ⁽¹⁴⁾ <u>豪</u> ⁽¹⁵⁾ <u>の</u> ⁽¹⁶⁾ <u>人</u> ⁽¹⁷⁾ <u>と</u> ⁽¹⁸⁾ <u>同</u> ⁽¹⁹⁾ <u>じ</u> ⁽²⁰⁾ <u>平</u> ⁽²¹⁾ <u>等</u> ⁽²²⁾ <u>線</u> ⁽²³⁾ <u>に</u> ⁽²⁴⁾ <u>自</u> ⁽²⁵⁾ <u>分</u> ⁽²⁶⁾ <u>の</u> ⁽²⁷⁾ <u>将</u> ⁽²⁸⁾ <u>来</u> ⁽²⁹⁾ <u>は</u> ⁽³⁰⁾ <u>創</u> ⁽³¹⁾ <u>造</u> ⁽³²⁾ <u>す</u> ⁽³³⁾ <u>る</u> ⁽³⁴⁾ <u>と</u> ⁽³⁵⁾ <u>思</u> ⁽³⁶⁾ <u>っ</u> ⁽³⁷⁾ <u>て</u> ⁽³⁸⁾ <u>い</u> ⁽³⁹⁾ <u>ま</u> ⁽⁴⁰⁾ <u>す</u> 。	1N 2N 3取立 *ハ / ーヲ 4活用(V)
6945	インド 54 自由作文 19	世界の人々 <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>毎</u> ⁽²⁾ <u>日</u> ⁽³⁾ 、 <u>楽</u> ⁽⁴⁾ <u>しい</u> ⁽⁵⁾ <u>生</u> ⁽⁶⁾ <u>活</u> ⁽⁷⁾ <u>を</u> ⁽⁸⁾ <u>過</u> ⁽⁹⁾ <u>ご</u> ⁽¹⁰⁾ <u>す</u> ⁽¹¹⁾ <u>こ</u> ⁽¹²⁾ <u>と</u> ⁽¹³⁾ <u>を</u> ⁽¹⁴⁾ <u>願</u> ⁽¹⁵⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁶⁾ <u>て</u> ⁽¹⁷⁾ <u>い</u> ⁽¹⁸⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁹⁾ <u>す</u> 。	取立 *ハ /ーガ
6946	インド 55 自由作文 5	もし、私が私の国の首相だったら、 <u>私</u> ⁽¹⁾ <u>は</u> ⁽²⁾ <u>一</u> ⁽³⁾ <u>番</u> ⁽⁴⁾ <u>先</u> ⁽⁵⁾ <u>に</u> ⁽⁶⁾ <u>し</u> ⁽⁷⁾ <u>たい</u> ⁽⁸⁾ <u>い</u> ⁽⁹⁾ <u>こ</u> ⁽¹⁰⁾ <u>と</u> ⁽¹¹⁾ <u>ろ</u> ⁽¹²⁾ <u>は</u> 、 <u>教</u> ⁽¹³⁾ <u>育</u> ⁽¹⁴⁾ <u>の</u> ⁽¹⁵⁾ <u>改</u> ⁽¹⁶⁾ <u>善</u> ⁽¹⁷⁾ <u>が</u> ⁽¹⁸⁾ <u>実</u> ⁽¹⁹⁾ <u>現</u> ⁽²⁰⁾ <u>さ</u> ⁽²¹⁾ <u>れ</u> ⁽²²⁾ <u>た</u> 。	1取立 *ハ /ーガ 2コ ト 3/ーダ
6947	フィンランド 1 自由作文 3	アメリカ人はくつをぬぐことは <u>わ</u> ⁽¹⁾ <u>す</u> ⁽²⁾ <u>ら</u> ⁽³⁾ <u>な</u> ⁽⁴⁾ <u>い</u> ⁽⁵⁾ <u>で</u> ⁽⁶⁾ <u>下</u> ⁽⁷⁾ <u>さい</u> 。	1取立 *ハ /ーヲ 2発 音 活用(V)
6948	フィンランド 1 自由作文 11	みなみに <u>大</u> ⁽¹⁾ <u>き</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽³⁾ <u>ま</u> ⁽⁴⁾ <u>ど</u> ⁽⁵⁾ <u>が</u> ⁽⁶⁾ <u>あ</u> ⁽⁷⁾ <u>っ</u> ⁽⁸⁾ <u>て</u> 、 <u>カー</u> ⁽⁹⁾ <u>テン</u> ⁽¹⁰⁾ <u>も</u> ⁽¹¹⁾ <u>あ</u> ⁽¹²⁾ <u>り</u> ⁽¹³⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁴⁾ <u>す</u> 。	取立 *0 /ーハ
6949	フィンランド 1 自由作文 13	そして、 <u>テ</u> ⁽¹⁾ <u>ール</u> ⁽²⁾ <u>ル</u> ⁽³⁾ <u>の</u> ⁽⁴⁾ <u>上</u> ⁽⁵⁾ <u>に</u> ⁽⁶⁾ <u>か</u> ⁽⁷⁾ <u>ぞ</u> ⁽⁸⁾ <u>く</u> ⁽⁹⁾ <u>の</u> ⁽¹⁰⁾ <u>しゃ</u> ⁽¹¹⁾ <u>しん</u> ⁽¹²⁾ <u>と</u> ⁽¹³⁾ <u>友</u> ⁽¹⁴⁾ <u>だ</u> ⁽¹⁵⁾ <u>ち</u> ⁽¹⁶⁾ <u>と</u> ⁽¹⁷⁾ <u>私</u> ⁽¹⁸⁾ <u>の</u> ⁽¹⁹⁾ <u>しゃ</u> ⁽²⁰⁾ <u>しん</u> ⁽²¹⁾ <u>が</u> ⁽²²⁾ <u>あ</u> ⁽²³⁾ <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>ラン</u> ⁽²⁴⁾ <u>プ</u> ⁽²⁵⁾ <u>と</u> ⁽²⁶⁾ <u>ラ</u> ⁽²⁷⁾ <u>ジ</u> ⁽²⁸⁾ <u>オ</u> ⁽²⁹⁾ <u>も</u> ⁽³⁰⁾ <u>あ</u> ⁽³¹⁾ <u>り</u> ⁽³²⁾ <u>ま</u> ⁽³³⁾ <u>す</u> 。	1発音 2取立 *0 /ー ハ

第5章 シンタクス・意味論 7. モダリティ

6950	フィンランド 2 自由作文 2	私の部屋は4畳半で、台所 <u>が</u> ありますが、お手洗いとお ふろ <u>が</u> ありません。 (1)(2)	1,2取立 *ガ /-ハ
6951	フィンランド 2 自由作文 5	東に窓がありますが、まだカーテン <u>が</u> ありません。	取立 *ガ /-ハ
6952	フィンランド 2 自由作文 6	窓の前に <u>机</u> といすがあります。	取立 *0 /-ハ
6953	フィンランド 2 自由作文 8	そして、机のとなりに <u>たんす</u> があります。 (1)(2)	1C 2取立 *0 /-ハ
6954	フィンランド 2 自由作文 9	たんすの中 <u>で</u> <u>ようふく</u> と旅行かばんがあります。 (1)(2)	1格 *デ /-ニ 2取立 *0 /-ハ
6955	フィンランド 2 自由作文 10	反対側のかべの前に <u>本ばこ</u> があります。	取立 *0 /-ハ
6956	フィンランド 2 自由作文 11	本ばこの中に <u>日本語の本</u> や <u>数学の本</u> や <u>いぐの本</u> <u>など</u> <u>が</u> ならんでいます。 (1)(2)	1取立 *0 /-ハ 2発音
6957	フィンランド 2 自由作文 14	本ばこの前に <u>テレビ</u> があります。	取立 *0 /-ハ
6958	フィンランド 2 自由作文 18	図の前に <u>テープレコーダー</u> と <u>辞書</u> があります。	取立 *0 /-ハ
6959	フィンランド 2 自由作文 19	<u>と</u> なりに <u>ベット</u> があります。 (1)(2)	1-AN 2取立 *0 / -ハ
6960	フィンランド 2 自由作文 23	<u>こだつ</u> の上に <u>ポット</u> があります。 (1)(2)	1発音 2取立 *0 /- ハ
6961	フィンランド 2 自由作文 25	また友だち <u>来</u> てあそぶ時 <u>私</u> はおいしい物 <u>招待</u> しま す。 (1)(2)(3)	1格 *0 /-ガ 2取立 *0 /-ハ 3**0 /- ヲ
6962	フィンランド 4 自由作文 5	玄関から4メートルぐらい <u>は</u> <u>戸</u> があります。 (1)(2)	1名詞節 2取立 *ハ / -ニ
6963	フィンランド 4 自由作文 6	これから <u>入</u> って、小さいじゅうたん <u>は</u> ろうかにおいて あります。 (1)(2)	1条件 接 *テ形 /- ト 2取立 *ハ /-ガ
6964	フィンランド 5 自由作文 2	私 <u>と</u> あにとあねと、一緒に住んでいます。	取立 *ト /-ハ
6965	フィンランド 5 自由作文 3	私たちの部屋 <u>が</u> 2階にあります。	取立 *ガ /-ハ
6966	フィンランド 6 自由作文 2	私 <u>の</u> 中学のとき、父からの影響がありました。	格 取立 *ノ /-ハ
6967	フィンランド 8 自由作文 5	ばいきん <u>が</u> 見えない <u>ため</u> に <u>かぜ</u> を <u>ひか</u> ない <u>こと</u> <u>が</u> <u>む</u> <u>ず</u> かしいです。 (1)(2)(3)(4)	1,4取立 *ガ /-ハ 2 接 *タメニ /-ノデ、 カラ 3複N
6968	フィンランド 8 自由作文 6	冬の時 <u>に</u> 、あたたかいふくをきなればなりません。 (1)(2)	1接 2取立 0 /-ハ
6969	フィンランド 8 自由作文 11	私は、さむすき時、すい込み <u>が</u> 少しむずかしいですが、 <u>ストブ</u> を使うの <u>が</u> <u>大じょうぶ</u> です。 (1)(2)(3)(4)(5)	語順 1複N 2,4取立 * ガ /-ハ 3発音 表 記 5NA
6970	フィンランド 8 自由作文 14	その上に、ばいきんは体に入るのが簡たんで <u>なく</u> 、 <u>ば</u> <u>い</u> きんが入るの <u>が</u> <u>知り</u> ません。 (1)(2)(3)	表現 1取立 0 /-ハ 2-名詞節 3V

5.7.1. とりたて詞ハ

6971	フィンランド 8 自由作文 16	もし、いつもお ^① かいとか、ケーキとか、ク ^② ーキを ^③ 食べ、 ビールとかお酒をいつも飲 ^④ み、外 ^⑤ の ^⑥ ことば、体 ^⑦ が ^⑧ ふっ せ ^⑨ い ^⑩ だったら、病 ^⑪ 気 ^⑫ にな ^⑬ る ^⑭ こ ^⑮ と ^⑯ が ^⑰ 簡 ^⑱ た ^⑲ ん ^⑳ です。	1,2,5発音 表記 3Ad 4N 6名詞節 7 取立 *ガ /ーハ
6972	フィンランド 8 自由作文 18	もし、私 ^① た ^② ち ^③ が ^④ 注 ^⑤ 意 ^⑥ し ^⑦ た ^⑧ ら、た ^⑨ と ^⑩ え ^⑪ ば、ゆ ^⑫ っ ^⑬ く ^⑭ り ^⑮ ね ^⑯ て、 スト ^⑰ ブ ^⑱ を ^⑲ 使 ^⑳ っ ^㉑ て、あ ^㉒ た ^㉓ た ^㉔ か ^㉕ い ^㉖ ふ ^㉗ く ^㉘ を ^㉙ き ^㉚ っ ^㉛ て、良 ^㉜ く ^㉝ 食 ^㉞ べ て、あ ^㉟ ま ^㊱ り ^㊲ 病 ^㊳ 気 ^㊴ にな ^㊵ ら ^㊶ な ^㊷ の ^㊸ で、体 ^㊹ が ^㊺ 強 ^㊻ い ^㊼ は ^㊽ ず ^㊾ です。	1,2発音 表記 3接 * テ形 /ー条件 4取立 *ガ /ーハ 5複 V

5.7.2. とりたて詞モ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
6973	台湾 1 パターン作文 5	そして、日本語と <u>専門科</u> (視覚デザイン)、両方 <u>も</u> 勉強しています。	1表記 N 2取立 ートモ
6974	台湾 2 聴解要約 8	珍しい箸 <u>も</u> です。	取立 *モ /ー0
6975	台湾 2 パターン作文 9	<u>語言</u> について <u>、</u> 、日本語の動詞 <u>の</u> いろいろな変化が <u>多</u> <u>い</u> で、敬語の用法 <u>が</u> むすかしいで。	1N 4,6活用 2格 にツイテ*0 /にツイテーハ 3*/連 /ーハ 取立 5取立 *ガ /ーモ
6976	台湾 18 自由作文 8	その上に、船とか汽車とかに <u>乗</u> って <u>旅費</u> <u>も</u> いりません。	1接 条件 *テ形 /ーテモ 2取立 *モ /ーハ
6977	中国 3 聴解要約 14	庭 <u>が</u> 広いです。	取立 *ガ /ーハ、ーモ
6978	中国 10 自由作文 4	こんな競争の激しい経済大国の人々はロボットのように働いて <u>い</u> ながら、一分一秒も大切にしているのにかたく <u>る</u> しいあいさつ <u>に</u> <u>い</u> くら時間が <u>か</u> かっても <u>も</u> ったいな <u>い</u> とは思わないことは私は不思議だと思ひます。	1接 *ナガラ /ー連用形 2格 *ニ /ーデ 3不定 4取立 *モ /ーハ 5取立 *ハ /ーニ
6979	中国 13 自由作文 13	通勤、通学するには一時間ぐら <u>い</u> かかるのが普通ですが、なかには二時間以上もかかる人 <u>が</u> います。	取立 *ガ /ーモ
6980	中国 14 自由作文 13	それに感心しました。自分が急いで <u>と</u> いうから並んで <u>い</u> る列を割って先頭に出る <u>の</u> をする人は一回 <u>で</u> も見たことがありません。	1*トイウ 2名詞節 *ノ /ーコト 3取立 *デも /ー0も
6981	中国 24 自由作文 14	それから、学校の方は自分でよく <u>な</u> らって、ほかの時間 <u>は</u> <u>自</u> 分 <u>も</u> よく勉強しようと思ひています。	1C 2V 3取立 *ハ /ーモ 4格 *モ /ーデ
6982	韓国 7 自由作文 3	西日本 <u>は</u> 長男 <u>、</u> 他にも次男 <u>と</u> 三男 <u>と</u> 若者組に加入することができる。	1格 *0 は /ーデは 2ノ連 取立 3並 N *ト /ーヤ 4取立ーモ
6983	韓国 30 自由作文 7	このように、何年 <u>で</u> も <u>か</u> ぞくに <u>会</u> えない。	1取立 *デも /ー0モ 2*ル /ータ
6984	香港 2 自由作文 9	しばらく勉強のことを忘れて、のんびりしたいんですけど、君 <u>と</u> いっしょにたのしみ <u>ま</u> しょうか。敬具	1格 取立 *ト /ーモ 2ムード
6985	香港 24 自由作文 10	そして、日本語は二重構造の言語 <u>、</u> 以外に、「テレビ型」で <u>あ</u> る。	1接 体修 ーダ 2取立 *0 /ーモ
6986	香港 24 自由作文 20	また、歴史的な面から <u>み</u> れば、その傾向 <u>も</u> ある。	1接 条件 *バ /ーテモ 2取立 *モ /ーガ
6987	インド 2 自由作文 6	花のおいもよくて、気持 <u>も</u> いいですね。	取立 *モ /ーガ
6988	インド 30 自由作文 4	都心から村までとても <u>遠</u> くて、交通 <u>が</u> とても不便でした。	1*テ形 /ー連用形 2取立 ガ /ーモ
6989	インド 32 自由作文 11	最近、毎日 <u>も</u> <u>チ</u> ョコレット <u>と</u> <u>アイ</u> スクリームを一本ずつ食べています。	1取立 *モ /ー0 2,3 発音、表記

6990	インド 40 自由作文 22	今思い出して ₍₁₎ 、ほんとにうれしかった。 ₍₂₎	1取立 *0 /-モ 2A
------	-------------------	--	---------------

5.7.3. とりたて詞 ダケ・シカ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
6991	中国 11 自由作文 11	かれは一人しか仕事を <u>する</u> から、毎日の <u>残業</u> する の <u>が</u> <u>ほしい</u> <u>です</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1C 2取立 *ハ /ーガ 3*シカ 4*ル /ーテ イル 否定 5V 6接 ーカラ
6992	韓国 1 パターン作文 3	韓国は <u>まだ</u> マイカが全体人口の30%くらい <u>待って</u> <u>あります</u> 。 (1) (2) (3) (4)	4否定 2取立(ーシカ) 3表記 1Ad マダ
6993	韓国 4 自由作文 6	しかし韓国は西洋の文物を <u>流入</u> した <u>のが</u> <u>もう</u> やっと3 0年くらい <u>しが</u> <u>なら</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>つ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4)	&表現 1接 ーテカラ 2Ad *モウ /ーマダ 3 発音 取立 シカ 4* タ /ール
6994	韓国 9 自由作文 7	しかし、私の国では昔から今まで大なり小なりのせんそ うがあったので今は全部では <u>ない</u> <u>が</u> <u>一</u> <u>部</u> <u>分</u> <u>が</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	2取立 ーシカ 1接 * ガ /ー連用形
6995	韓国 11 自由作文 5	それで私はふるさとの <u>覚え</u> <u>が</u> <u>す</u> <u>こ</u> <u>し</u> <u>だ</u> <u>け</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1N 2取立 *ダケ /ー シカ
6996	韓国 20 自由作文 11	たとえば、生はいろいろな <u>読</u> <u>の</u> <u>方</u> <u>が</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>が</u> 、 <u>韓</u> <u>国</u> <u>に</u> <u>は</u> <u>一</u> <u>つ</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1複N 2N 3取立 *0 /ーハ 4N 5取立 *0 /ーシカ
6997	香港 24 短文作文 19	有名な大学を <u>出</u> <u>て</u> <u>ば</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>で</u> 、必ずしも <u>生</u> <u>活</u> <u>で</u> <u>出</u> <u>世</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>い</u> 。 い。	1*テ形 /ータ 2取立 *バカリ /ーダケ 3 N
6998	マレーシア 10 自由作文 4	日本は、戦争 <u>し</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>四</u> <u>十</u> <u>年</u> <u>の</u> <u>時</u> <u>間</u> <u>だ</u> <u>け</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	1ーテ形 2取立 *ダケ /ーシカ
6999	スペイン 2 パターン作文 10	言葉を知らないし、漢字 <u>を</u> <u>読</u> <u>め</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>し</u> 、意味を <u>し</u> <u>か</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1格 *ヲ /ーガ 2取立 (シカ)
7000	インド 2 自由作文 3	台所とお風呂がない <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、少し不便ですが部屋代 は一万四千元 <u>だ</u> <u>け</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、私は不満がありません。 (1) (2)	1のだ 2取立 *ダケ
7001	インド 2 自由作文 8	日本語がよく分かりませんので、書棚には七冊の本があ ります <u>だ</u> <u>け</u> 。 だけ。	語順 取立 *ダケ /ー シカ
7002	インド 9 自由作文 4	私は掃除する事が嫌いですから、1か月に一回 <u>だ</u> <u>け</u> <u>掃</u> <u>除</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>部</u> <u>屋</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ダケ /ーシカ 2否定 3接 *タメニ / ーノデ 4取立 *ガ / ーハ
7003	インド 9 自由作文 9	部屋の中に <u>こ</u> <u>た</u> <u>つ</u> <u>だ</u> <u>け</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *0 /ーハ 2* ダケ /ーシカ 3格 * ガ /ー0 4否定
7004	インド 28 自由作文 9	この <u>気</u> <u>分</u> <u>は</u> <u>日</u> <u>本</u> <u>人</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> 、世界の人も戦争 <u>や</u> <u>め</u> <u>た</u> <u>い</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1N 2取立 *0 /ーダ ケ 3格 *0 /ーヲ 4ル /ータ

5.7.4. その他のとりたて詞

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
7005	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文 ⁽¹⁾ のため、私に二冊の高校及び中学校の歴史教科書を貸 ⁽²⁾ しましたがこの近頃 ⁽³⁾ 私もちよつど参考 ⁽⁴⁾ したいです ⁽⁵⁾ ので久美子さん ⁽⁶⁾ はもしよか ⁽⁷⁾ ったら今週 ⁽⁸⁾ の金曜日 ⁽⁹⁾ ちよつど返して ⁽¹⁰⁾ くださ ⁽¹¹⁾ いませ ⁽¹²⁾ んか。	1*ノ連 -V 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V / -N 6*ダ 7取立 *ハ /ーガ, サエ 8スタ イル 9格 *0 /ーニ
7006	中国 59 自由作文 9	自動販売機 ⁽¹⁾ ばかり ⁽²⁾ か車の工場の使用設備が世界で一流 ⁽³⁾ と思っています。	1取立 *バカリ 2ーダ
7007	マレーシア 19 自由作文 8	平日は、都市にある自分の診療所にいますが日曜日なら、いなかへ行って、そこ ⁽¹⁾ 庶民に ⁽²⁾ 服 ⁽³⁾ 務 ⁽⁴⁾ をするつもりです。	1取立 *ナラ /ーハ 2 格 *0 /ーデ 3N
7008	インド 34 自由作文 12	彼 ⁽¹⁾ こそしかいない、私 ⁽²⁾ を親し ⁽³⁾ みを感じさせる先生でした。	1取立 2格 *ヲ /ーニ

5.7.5. ムード

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
7009	台湾 5 自由作文 10	もし、私は来年の入学試験を <u>パス</u> したら日本の生活習慣と暮らす方式を <u>実地に見学</u> ⁽¹⁾ <u>することがほしい</u> ⁽²⁾ です。	1発音 2ムード Aー タイ
7010	台湾 11 自由作文 9	私は友達がいないと寂しいと思うので、大勢の友達を作りたい <u>わけ</u> ⁽¹⁾ <u>である</u> ⁽²⁾ 。	ムード
7011	台湾 14 自由作文 11	だから、やはり日本語は日本で学んだ方がいいという <u>気</u> ⁽¹⁾ <u>持ち</u> ⁽²⁾ で日本に留学し、中国人に適切な教材を研究しようと、 <u>がんばります</u> ⁽³⁾ 。	1N 2*ル/ーテイル ムード
7012	台湾 16 自由作文 11	もしわたしが台湾の野球の理事長だったら、どうやって台湾の野球にもっと <u>人気</u> ⁽¹⁾ <u>になる</u> ⁽²⁾ <u>と思</u> ⁽³⁾ <u>います</u> ⁽⁴⁾ 。	1熟語 2ムード
7013	台湾 17 自由作文 6	まず、その人のせいかつを <u>にんしき</u> ⁽¹⁾ <u>して</u> ⁽²⁾ 、しごとのしゅるいを <u>しつもん</u> ⁽³⁾ <u>している</u> ⁽⁴⁾ <u>いろなげんいん</u> ⁽⁵⁾ <u>を</u> ⁽⁶⁾ <u>まぜ</u> ⁽⁷⁾ <u>て</u> ⁽⁸⁾ <u>ぶんけ</u> ⁽⁹⁾ <u>い</u> ⁽¹⁰⁾ <u>して</u> ⁽¹¹⁾ <u>もんだい</u> ⁽¹²⁾ <u>の</u> ⁽¹³⁾ <u>こんげ</u> ⁽¹⁴⁾ <u>を</u> ⁽¹⁵⁾ <u>は</u> ⁽¹⁶⁾ <u>は</u> ⁽¹⁷⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁸⁾ <u>け</u> ⁽¹⁹⁾ <u>ん</u> ⁽²⁰⁾ <u>す</u> ⁽²¹⁾ <u>る</u> ⁽²²⁾ <u>は</u> ⁽²³⁾ <u>ず</u> ⁽²⁴⁾ <u>です</u> ⁽²⁵⁾ 。	1V 2副用 3発音 N 4 ムード
7014	台湾 21 自由作文 2	<u>ところ</u> ⁽¹⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>決</u> ⁽³⁾ <u>して</u> ⁽⁴⁾ <u>自</u> ⁽⁵⁾ <u>分</u> ⁽⁶⁾ <u>の</u> ⁽⁷⁾ <u>専</u> ⁽⁸⁾ <u>門</u> ⁽⁹⁾ <u>の</u> ⁽¹⁰⁾ <u>み</u> ⁽¹¹⁾ <u>に</u> ⁽¹²⁾ <u>つ</u> ⁽¹³⁾ <u>い</u> ⁽¹⁴⁾ <u>て</u> ⁽¹⁵⁾ <u>勉</u> ⁽¹⁶⁾ <u>強</u> ⁽¹⁷⁾ <u>す</u> ⁽¹⁸⁾ <u>る</u> ⁽¹⁹⁾ <u>の</u> ⁽²⁰⁾ <u>で</u> ⁽²¹⁾ <u>は</u> ⁽²²⁾ <u>な</u> ⁽²³⁾ <u>く</u> ⁽²⁴⁾ <u>て</u> ⁽²⁵⁾ 、 <u>自</u> ⁽²⁶⁾ <u>分</u> ⁽²⁷⁾ <u>の</u> ⁽²⁸⁾ <u>興</u> ⁽²⁹⁾ <u>味</u> ⁽³⁰⁾ <u>を</u> ⁽³¹⁾ <u>持</u> ⁽³²⁾ <u>つ</u> ⁽³³⁾ <u>こ</u> ⁽³⁴⁾ <u>と</u> ⁽³⁵⁾ 、 <u>あ</u> ⁽³⁶⁾ <u>の</u> ⁽³⁷⁾ <u>国</u> ⁽³⁸⁾ <u>の</u> ⁽³⁹⁾ <u>特</u> ⁽⁴⁰⁾ <u>有</u> ⁽⁴¹⁾ <u>の</u> ⁽⁴²⁾ <u>こ</u> ⁽⁴³⁾ <u>と</u> ⁽⁴⁴⁾ <u>を</u> ⁽⁴⁵⁾ <u>勉</u> ⁽⁴⁶⁾ <u>強</u> ⁽⁴⁷⁾ <u>す</u> ⁽⁴⁸⁾ <u>る</u> ⁽⁴⁹⁾ <u>わ</u> ⁽⁵⁰⁾ <u>け</u> ⁽⁵¹⁾ <u>だ</u> ⁽⁵²⁾ <u>と</u> ⁽⁵³⁾ <u>思</u> ⁽⁵⁴⁾ <u>っ</u> ⁽⁵⁵⁾ <u>て</u> ⁽⁵⁶⁾ <u>い</u> ⁽⁵⁷⁾ <u>ま</u> ⁽⁵⁸⁾ <u>す</u> ⁽⁵⁹⁾ 。	1C 2Ad 3コソア 4ム ード
7015	台湾 22 自由作文 15	<u>ず</u> ⁽¹⁾ <u>う</u> ⁽²⁾ <u>ぶ</u> ⁽³⁾ <u>ん</u> ⁽⁴⁾ <u>長</u> ⁽⁵⁾ <u>い</u> ⁽⁶⁾ <u>時</u> ⁽⁷⁾ <u>間</u> ⁽⁸⁾ <u>の</u> ⁽⁹⁾ <u>温</u> ⁽¹⁰⁾ <u>泉</u> ⁽¹¹⁾ <u>に</u> ⁽¹²⁾ <u>入</u> ⁽¹³⁾ <u>る</u> ⁽¹⁴⁾ <u>た</u> ⁽¹⁵⁾ <u>め</u> ⁽¹⁶⁾ <u>に</u> ⁽¹⁷⁾ <u>疲</u> ⁽¹⁸⁾ <u>れ</u> ⁽¹⁹⁾ <u>る</u> ⁽²⁰⁾ <u>よ</u> ⁽²¹⁾ <u>う</u> ⁽²²⁾ <u>に</u> ⁽²³⁾ <u>な</u> ⁽²⁴⁾ <u>っ</u> ⁽²⁵⁾ <u>て</u> ⁽²⁶⁾ <u>部</u> ⁽²⁷⁾ <u>屋</u> ⁽²⁸⁾ <u>に</u> ⁽²⁹⁾ <u>ね</u> ⁽³⁰⁾ <u>て</u> ⁽³¹⁾ <u>い</u> ⁽³²⁾ <u>ま</u> ⁽³³⁾ <u>し</u> ⁽³⁴⁾ <u>た</u> ⁽³⁵⁾ 。	1発音 2*ル/ータ 3ム ード
7016	中国 3 聴解要約 12	<u>こ</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> ⁽²⁾ <u>庭</u> ⁽³⁾ <u>の</u> ⁽⁴⁾ <u>門</u> ⁽⁵⁾ <u>が</u> ⁽⁶⁾ <u>立</u> ⁽⁷⁾ <u>派</u> ⁽⁸⁾ <u>です</u> ⁽⁹⁾ <u>ね</u> ⁽¹⁰⁾ 。	1コソア 2取立 *ガ/ ーハ 3ムード
7017	中国 3 聴解要約 23	ヤンさんの気持は <u>うれ</u> ⁽¹⁾ <u>しい</u> ⁽²⁾ <u>で</u> ⁽³⁾ <u>し</u> ⁽⁴⁾ <u>た</u> ⁽⁵⁾ 。	活用 スタイル ムー ド
7018	中国 14 自由作文 10	早目めに <u>並</u> ⁽¹⁾ <u>び</u> ⁽²⁾ <u>に</u> ⁽³⁾ <u>行</u> ⁽⁴⁾ <u>か</u> ⁽⁵⁾ <u>な</u> ⁽⁶⁾ <u>い</u> ⁽⁷⁾ <u>と</u> ⁽⁸⁾ 、 <u>一</u> ⁽⁹⁾ <u>本</u> ⁽¹⁰⁾ <u>の</u> ⁽¹¹⁾ <u>電</u> ⁽¹²⁾ <u>車</u> ⁽¹³⁾ <u>に</u> ⁽¹⁴⁾ <u>遅</u> ⁽¹⁵⁾ <u>れ</u> ⁽¹⁶⁾ <u>た</u> ⁽¹⁷⁾ <u>ら</u> ⁽¹⁸⁾ 、 <u>会</u> ⁽¹⁹⁾ <u>社</u> ⁽²⁰⁾ <u>に</u> ⁽²¹⁾ <u>遅</u> ⁽²²⁾ <u>刻</u> ⁽²³⁾ <u>す</u> ⁽²⁴⁾ <u>る</u> ⁽²⁵⁾ <u>に</u> ⁽²⁶⁾ <u>ち</u> ⁽²⁷⁾ <u>が</u> ⁽²⁸⁾ <u>い</u> ⁽²⁹⁾ <u>な</u> ⁽³⁰⁾ <u>い</u> ⁽³¹⁾ 。	1VP ーテ形 2数 3ム ード スタイル
7019	中国 15 自由作文 14	東京には <u>あ</u> ⁽¹⁾ <u>の</u> ⁽²⁾ <u>人</u> ⁽³⁾ <u>の</u> ⁽⁴⁾ <u>よ</u> ⁽⁵⁾ <u>う</u> ⁽⁶⁾ <u>に</u> ⁽⁷⁾ <u>歩</u> ⁽⁸⁾ <u>く</u> ⁽⁹⁾ <u>ス</u> ⁽¹⁰⁾ <u>ピ</u> ⁽¹¹⁾ <u>ト</u> ⁽¹²⁾ <u>を</u> ⁽¹³⁾ <u>持</u> ⁽¹⁴⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁵⁾ <u>て</u> ⁽¹⁶⁾ <u>い</u> ⁽¹⁷⁾ <u>る</u> ⁽¹⁸⁾ <u>人</u> ⁽¹⁹⁾ <u>は</u> ⁽²⁰⁾ <u>き</u> ⁽²¹⁾ <u>っ</u> ⁽²²⁾ <u>と</u> ⁽²³⁾ <u>多</u> ⁽²⁴⁾ <u>い</u> ⁽²⁵⁾ <u>。</u> ⁽²⁶⁾	1コソア 2ーA 3発音 4ムード
7020	中国 17 自由作文 15	<u>と</u> ⁽¹⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>う</u> ⁽³⁾ <u>点</u> ⁽⁴⁾ <u>に</u> ⁽⁵⁾ <u>な</u> ⁽⁶⁾ <u>る</u> ⁽⁷⁾ <u>と</u> ⁽⁸⁾ 、 <u>今</u> ⁽⁹⁾ <u>の</u> ⁽¹⁰⁾ <u>よ</u> ⁽¹¹⁾ <u>う</u> ⁽¹²⁾ <u>な</u> ⁽¹³⁾ <u>日</u> ⁽¹⁴⁾ <u>本</u> ⁽¹⁵⁾ <u>を</u> ⁽¹⁶⁾ <u>建</u> ⁽¹⁷⁾ <u>て</u> ⁽¹⁸⁾ <u>た</u> ⁽¹⁹⁾ <u>事</u> ⁽²⁰⁾ <u>実</u> ⁽²¹⁾ <u>を</u> ⁽²²⁾ <u>見</u> ⁽²³⁾ <u>る</u> ⁽²⁴⁾ <u>と</u> ⁽²⁵⁾ 、 <u>不</u> ⁽²⁶⁾ <u>思</u> ⁽²⁷⁾ <u>議</u> ⁽²⁸⁾ <u>な</u> ⁽²⁹⁾ <u>こ</u> ⁽³⁰⁾ <u>と</u> ⁽³¹⁾ <u>だ</u> ⁽³²⁾ <u>と</u> ⁽³³⁾ <u>思</u> ⁽³⁴⁾ <u>っ</u> ⁽³⁵⁾ <u>て</u> ⁽³⁶⁾ <u>い</u> ⁽³⁷⁾ <u>ま</u> ⁽³⁸⁾ <u>す</u> ⁽³⁹⁾ <u>か</u> ⁽⁴⁰⁾ 。	1*トイウ *コソア 2 V 3ムード
7021	中国 18 自由作文 4	日本のいろいろな工業は自分の国より <u>発</u> ⁽¹⁾ <u>達</u> ⁽²⁾ <u>し</u> ⁽³⁾ <u>て</u> ⁽⁴⁾ <u>い</u> ⁽⁵⁾ <u>る</u> ⁽⁶⁾ <u>に</u> ⁽⁷⁾ <u>ち</u> ⁽⁸⁾ <u>が</u> ⁽⁹⁾ <u>い</u> ⁽¹⁰⁾ <u>な</u> ⁽¹¹⁾ <u>い</u> ⁽¹²⁾ <u>と</u> ⁽¹³⁾ <u>思</u> ⁽¹⁴⁾ <u>っ</u> ⁽¹⁵⁾ <u>て</u> ⁽¹⁶⁾ <u>い</u> ⁽¹⁷⁾ <u>ま</u> ⁽¹⁸⁾ <u>す</u> ⁽¹⁹⁾ <u>が</u> ⁽²⁰⁾ 、 <u>な</u> ⁽²¹⁾ <u>か</u> ⁽²²⁾ <u>に</u> ⁽²³⁾ <u>は</u> ⁽²⁴⁾ <u>ま</u> ⁽²⁵⁾ <u>だ</u> ⁽²⁶⁾ <u>発</u> ⁽²⁷⁾ <u>展</u> ⁽²⁸⁾ <u>し</u> ⁽²⁹⁾ <u>て</u> ⁽³⁰⁾ <u>い</u> ⁽³¹⁾ <u>な</u> ⁽³²⁾ <u>い</u> ⁽³³⁾ <u>物</u> ⁽³⁴⁾ <u>も</u> ⁽³⁵⁾ <u>あ</u> ⁽³⁶⁾ <u>る</u> ⁽³⁷⁾ <u>と</u> ⁽³⁸⁾ <u>思</u> ⁽³⁹⁾ <u>っ</u> ⁽⁴⁰⁾ <u>て</u> ⁽⁴¹⁾ <u>い</u> ⁽⁴²⁾ <u>ま</u> ⁽⁴³⁾ <u>す</u> ⁽⁴⁴⁾ 。	1,3N 2ムード
7022	中国 20 自由作文 9	はじめはこの若い女性がたぶんよくないことをしているの <u>か</u> ⁽¹⁾ <u>も</u> ⁽²⁾ <u>し</u> ⁽³⁾ <u>れ</u> ⁽⁴⁾ <u>ま</u> ⁽⁵⁾ <u>せ</u> ⁽⁶⁾ <u>ん</u> ⁽⁷⁾ 。	ムード VP
7023	中国 24 自由作文 9	そのうえ、片仮名と平仮名の勉強 <u>も</u> ⁽¹⁾ <u>う</u> ⁽²⁾ <u>や</u> ⁽³⁾ <u>さ</u> ⁽⁴⁾ <u>し</u> ⁽⁵⁾ <u>く</u> ⁽⁶⁾ <u>な</u> ⁽⁷⁾ <u>い</u> ⁽⁸⁾ <u>ら</u> ⁽⁹⁾ <u>し</u> ⁽¹⁰⁾ <u>い</u> ⁽¹¹⁾ <u>で</u> ⁽¹²⁾ <u>す</u> ⁽¹³⁾ 。	1表記 2ムード
7024	中国 25 自由作文 15	たぶんごねんあとでわたしはくにへ <u>か</u> ⁽¹⁾ <u>え</u> ⁽²⁾ <u>り</u> ⁽³⁾ <u>ま</u> ⁽⁴⁾ <u>し</u> ⁽⁵⁾ <u>よ</u> ⁽⁶⁾ <u>う</u> ⁽⁷⁾ <u>。</u> ⁽⁸⁾	ムード *マショウ/ ーデショウ
7025	中国 28 自由作文 22	しかし、がくせいたちはとてもしんぱい <u>で</u> ⁽¹⁾ <u>し</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ <u>ね</u> ⁽⁴⁾ 。	ムード

7026	中国 36 自由作文 8	ときどきにほんのうたをきいたり、テレビをみたりすることもあり、にほんごは <u>だんだん</u> <u>むずかしい</u> ですね。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーガ 2複 V ムード
7027	中国 45 自由作文 9	いつ <u>まで</u> <u>わかる</u> かとおもいます。 (1) (2)	1格 *マデ/ーO 2活用(V) ムード 可能
7028	中国 46 自由作文 20	わたしは <u>いまから</u> 一生懸命ににほんご <u>べんきょう</u> を <u>します</u> 。 (1) (2) (3)	1Ad 副用 2格 *O/ーノ連 3-ムード
7029	中国 50 自由作文 19	日本語 <u>は</u> <u>いつ</u> <u>も</u> <u>つか</u> たら、日本語がだんだん上手に <u>ふ</u> えています。 (1) (2)	1取立 *ハ/ーヲ 2VP ムード
7030	中国 51 自由作文 9	にほんごがはやく <u>でき</u> ようとおもっています。	ムード VP
7031	中国 51 自由作文 11	わたしはこのことばを聞いたとき、心の中 <u>に</u> <u>うれ</u> しいが、 <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>も</u> 一生懸命日本語を勉強 <u>する</u> と <u>思</u> っています。 (1) (2) (3) (4) (5)	1格 *ニ/ーデ 2*ル/ータ 3副用 Ad4ムード 5*テイル/ータ
7032	中国 54 自由作文 22	いちねの <u>あ</u> <u>ど</u> でわたしの日本語はどう <u>で</u> すか。 (1) (2)	1発音 表記 副用 2ムード
7033	中国 56 自由作文 8	どうして <u>で</u> すか。	ムード スタイル
7034	中国 58 自由作文 4	とにかく涼しいから、図書館へ行ったほうがいい <u>で</u> しょう。 (1)	ムード
7035	中国 58 自由作文 10	けれどもアパートは <u>小</u> <u>さい</u> ですから、アパートの部屋に <u>い</u> ると、ととも <u>暑</u> いそうでした。 (1) (2)	1A 2ムード
7036	韓国 1 パターン作文 1	日本の交通手段と韓国の交通手段を <u>比</u> べると <u>思</u> います。	ムード
7037	韓国 4 自由作文 12	しかし人間の思考力は経済力だけで比べる <u>の</u> <u>が</u> <u>な</u> いですから <u>が</u> <u>ん</u> <u>ば</u> ります。 (1) (2)	1のだ 取立 ーハ 2ムード
7038	韓国 6 パターン作文 11	つまり、あまいものをたくさんたべるのは虫歯が <u>て</u> <u>き</u> る原因の一つだといえる <u>と</u> <u>言</u> う <u>と</u> <u>思</u> います。 (1) (2)	2ムード 1発音
7039	韓国 9 自由作文 13	父母は <u>う</u> <u>れ</u> しいでした。	ムード 活用
7040	韓国 10 自由作文 5	大学時代は、よく友達とさわいだ <u>も</u> <u>の</u> <u>す</u> 。	ムード
7041	韓国 17 自由作文 8	でも私はまだ実力もないし、無理かも <u>一</u> <u>思</u> いましたが、やっぱりこれは身分の体のための運動ですから、出戦 <u>そ</u> <u>の</u> <u>自</u> <u>体</u> <u>に</u> <u>意</u> <u>味</u> <u>を</u> <u>与</u> <u>え</u> <u>ろ</u> う <u>と</u> <u>思</u> います。 (1) (2)	1-引用 2コソア 3発音 ムード
7042	韓国 19 自由作文 6	すなわち雰囲気が非常に <u>便</u> <u>直</u> されていた <u>そ</u> <u>う</u> でした。 (1) (2)	1V 2ムード
7043	韓国 25 自由作文 2	私の部屋は4畳半ですけれどもちょっとせまいですから私には <u>不</u> <u>便</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> っています。 (1) (2)	1格 ニは/ーO は 2ムード
7044	韓国 33 自由作文 1	私が以前から今まで、関心を持って来たことは、政治経済だ <u>と</u> <u>思</u> います。	ムード
7045	韓国 35 自由作文 14	まず日本とのわるい感情を日本の首相にあって正直に話しながら <u>整</u> <u>理</u> したいです。	ムード

第5章 シンタクス・意味論 7. モダリティ

7046	アメリカ 3 自由作文 5	わたしのかおが <u>ねむく</u> になった <u>とき</u> 、せんせいは「シェ リルゆうべなにを <u>しましたか</u> 。」とききました。	1ムード 2接 *トキ/ ート
7047	アメリカ 3 自由作文 7	わたしは <u>よく</u> <u>かんが</u> いて、 <u>にほんご</u> が <u>べんり</u> で、 <u>お</u> <u>もしろ</u> <u>い</u> <u>から</u> <u>いま</u> <u>いっしょ</u> <u>けんめい</u> <u>べんき</u> <u>ょう</u> <u>しまし</u> <u>ょう</u> 。	1? 2発音 接 *テ形/ ート 3取立 *ガ/ ハ 4発音 5ムード
7048	アメリカ 3 自由作文 20	このにほんごのべんきょうとこのがっこうでべんきょう していることが <u>いい</u> <u>けい</u> <u>けん</u> <u>です</u> 。	1取立 *ガ/ ハ 2ム ード
7049	インドネシア 3 自由作文 8	<u>たぶん</u> <u>あの</u> <u>もり</u> <u>いる</u> <u>こと</u> <u>です</u> <u>から</u> 、 <u>私は</u> <u>学院</u> <u>とき</u> <u>もり</u> <u>学</u> <u>で</u> <u>べ</u> <u>とき</u> <u>ょう</u> <u>しま</u> <u>した</u> 。	1Ad 副用 2格 *0/ ニ 3ムード 5 N 6表 記 4ーノ連
7050	タイ 2 自由作文 4	このハムは、 <u>おもしろ</u> <u>そう</u> <u>です</u> 。	1A 2ムード
7051	タイ 5 パターン作文 11	それからみなさんは <u>おいしい</u> <u>引越</u> <u>そば</u> <u>そう</u> <u>に</u> <u>食</u> <u>べ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>した</u> 。	ムード
7052	香港 2 自由作文 9	しばらく勉強のことを忘れて、 <u>のんびり</u> <u>したい</u> <u>ん</u> <u>です</u> <u>け</u> <u>ど</u> 、 <u>君</u> <u>と</u> <u>いっしょ</u> <u>に</u> <u>たのしみ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>ょう</u> <u>か</u> 。敬具	1格 取立 *ト/ ーモ 2 ムード
7053	香港 5 自由作文 2	淑雅さんは風邪をひいた <u>そう</u> <u>と</u> <u>聞</u> <u>き</u> 、 <u>もう</u> <u>治</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>した</u> <u>か</u> 。	1ムード 接 ーガ スタイル 2自他
7054	香港 12 短文作文 3	私は <u>さい</u> <u>わい</u> <u>怪</u> <u>我</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>ね</u> 。	2ムード 1Ad 副用
7055	香港 16 短文作文 1	私は彼 <u>に</u> <u>おか</u> <u>しい</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>を</u> <u>聞</u> <u>く</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>す</u> <u>る</u> 。	2ムード 1格 *ニ/ ーにツイテ
7056	香港 17 短文作文 18	英語がわからない <u>よう</u> <u>な</u> <u>ウ</u> <u>ェ</u> <u>ト</u> <u>レ</u> <u>ス</u> は私の注文を聞いて から、 <u>わか</u> <u>った</u> <u>よう</u> <u>な</u> <u>わか</u> <u>ら</u> <u>ぬ</u> <u>よう</u> <u>な</u> <u>顔</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>て</u> 、「は <u>い</u> 、 <u>はい</u> 。」と答えました。	2表記 1ムード(*ヨウ ナ/ーラシイ)
7057	香港 18 短文作文 13	桜を見に行きたく <u>ない</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>が</u> 、 <u>忙</u> <u>しい</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>い</u> <u>け</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>ら</u> 。	2スタイル 1ムード 3 接 *カラ
7058	香港 19 自由作文 14	それは地理的、歴史的、文化的条件を <u>見</u> <u>て</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>か</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	1接 条件 *テ形/ーバ 2VP *タ/ール ム ード
7059	香港 19 短文作文 7	外国語をうまく <u>学</u> <u>ぶ</u> <u>な</u> <u>ら</u> 、その国へ勉強に行くことが <u>も</u> <u>の</u> <u>を</u> <u>言</u> <u>う</u> 。	2熟語 1ムード
7060	香港 20 自由作文 3	つまり、文字のフィルターを <u>通</u> <u>じ</u> <u>て</u> <u>言</u> <u>葉</u> <u>の</u> <u>形</u> <u>象</u> <u>を</u> <u>頭</u> <u>に</u> <u>描</u> <u>ぐ</u> <u>こ</u> <u>と</u> 。	1発音 V 2表記 3ム ード 名詞節
7061	香港 21 短文作文 13	桜を見に <u>いた</u> <u>く</u> <u>ない</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> 。私は忙し <u>い</u> <u>が</u> <u>わ</u> <u>け</u> <u>だ</u> 。	1活用 3名詞節 2ム ード 4N
7062	香港 22 短文作文 5	友人は私にこの本を <u>読</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>る</u> <u>と</u> <u>す</u> <u>す</u> <u>ん</u> <u>で</u> 、 <u>貸</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	2V 1ムード
7063	香港 22 短文作文 13	桜を見に <u>行</u> <u>く</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> 、私はたいへ <u>ん</u> <u>い</u> <u>そ</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	2スタイル 3のだ 2ム ード 1VP
7064	香港 23 自由作文 5	もし、訓読みを廃止する <u>こ</u> <u>と</u> 、日本人は音読みだけ <u>を</u> <u>依</u> <u>存</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> 。	1接 条件 2格 *ヲ/ ニ 3ムード

7065	香港 23 自由作文 7	そこで、日本人は <u>全然</u> <u>(1)</u> この読みかたに依存する <u>(2)</u> 。	1Ad 副用 2ムード
7066	香港 23 自由作文 8	日本の自分の <u>語言</u> <u>(1)</u> 特色は <u>全然</u> <u>(2)</u> 消失する <u>(3)</u> 。	1N 2Ad 副用 3ムード
7067	香港 23 短文作文 18	それはそうかもしれない。でも人々のそれに対する価値は変わった <u>かね</u> 。	ムード
7068	香港 23 短文作文 20	有名な大学の学生だ <u>ながら</u> <u>(1)</u> 、必ずしも成功の人生がある <u>ことではない</u> <u>(2)</u> 。	1活用(ダ) 2ムード
7069	香港 24 自由作文 4	それは「人類」は「ひとのたぐい」と「すべてのひと」という意味を <u>示めす</u> <u>(1)</u> <u>わけである</u> <u>(2)</u> 。	1表記 2ムード
7070	香港 24 短文作文 12	金がなくて、 <u>同志</u> <u>(1)</u> もなくて、いずれにせよ、いま <u>旅行しよう</u> <u>(2)</u> はだめた。	1N 2名詞節 ムード
7071	香港 24 短文作文 15	彼は技術の点で <u>(1)</u> 若い <u>運動員</u> <u>(2)</u> に負けないが、体力について見る限り、 <u>全盛期</u> <u>(3)</u> は <u>過ぎ</u> <u>(4)</u> そうだ。	1取立 *0/ーハ 2自他 3ムード
7072	香港 25 自由作文 5	この <u>音</u> <u>(1)</u> を捨てて音よみだけで <u>つくる</u> <u>(2)</u> <u>はずである</u> <u>(3)</u> 。	1N 2V 3ムード
7073	香港 25 短文作文 17	ある人は <u>ただ</u> <u>(1)</u> <u>有名な大学の卒業生</u> <u>(2)</u> のために <u>彼が一生</u> <u>(3)</u> <u>の中で成功</u> <u>(4)</u> <u>しなければならない</u> <u>(5)</u> <u>のは</u> <u>必要ではない</u> <u>(6)</u> 。	1発音 2活用(ダ) 3, 4ムード
7074	マレーシア 14 自由作文 8	例えば、学校へ行く前や会社へ行く前など <u>雨が</u> <u>(1)</u> <u>ふるそう</u> <u>(2)</u> <u>かさを持って</u> <u>(3)</u> <u>行く</u> <u>(4)</u> と <u>雨が</u> <u>(5)</u> <u>ふられなくて</u> <u>(6)</u> 、 <u>便利だ</u> <u>(7)</u> 。	1ムード 複V 接一テ形 2格 *ガ/ーニ
7075	マレーシア 17 自由作文 11	人民は <u>ほかに</u> <u>(1)</u> <u>の種族の文化</u> <u>(2)</u> <u>が</u> <u>尊重して</u> <u>(3)</u> <u>ください</u> <u>(4)</u> 。	1副用 2格 *ガ/ーヲ 3ムード
7076	マレーシア 17 自由作文 14	児童は <u>かならず</u> <u>(1)</u> <u>学校へ行か</u> <u>(2)</u> <u>せます</u> <u>(3)</u> 。	ムード
7077	マレーシア 17 自由作文 15	<u>でも</u> <u>(1)</u> <u>いつ行かせ</u> <u>(2)</u> <u>た</u> <u>ほうが</u> <u>(3)</u> <u>いい</u> <u>(4)</u> <u>ですか</u> <u>(5)</u> 。	1C 2熟語 3表現 3ムード
7078	マレーシア 17 自由作文 19	<u>だから</u> <u>(1)</u> 、 <u>庶民の生活は</u> <u>(2)</u> 、 <u>共和</u> <u>(3)</u> 、 <u>進歩</u> <u>(4)</u> <u>になります</u> <u>(5)</u> 。	2N 4VP ムード 1C *ダカラ/ーソウスレバ 3品詞 *N/ーV
7079	マレーシア 18 自由作文 21	<u>できれば</u> <u>(1)</u> 、 <u>私</u> <u>(2)</u> <u>が</u> <u>一生懸命</u> <u>(3)</u> <u>改革する</u> <u>(4)</u> <u>はずだ</u> <u>(5)</u> 。	1C 副用 3表現 ムード 2取立 *ガ/ーハ
7080	マレーシア 18 自由作文 23	国語と英語と <u>華語</u> <u>(1)</u> の授業時間は同じ <u>期限</u> <u>(2)</u> <u>はず</u> <u>(3)</u> です。	1N 2ノ連 表現 ムード
7081	マレーシア 18 自由作文 25	<u>そして</u> <u>(1)</u> 、 <u>ほかに</u> <u>(2)</u> <u>いろいろな</u> <u>(3)</u> <u>方面も</u> <u>(4)</u> <u>改革</u> <u>(5)</u> <u>たい</u> <u>(6)</u> <u>つもり</u> <u>(7)</u> <u>です</u> <u>(8)</u> 。	1C 2VP 活用(V) 3ムード
7082	マレーシア 22 自由作文 8	東上線の沿線情報誌によるとある <u>会社</u> <u>(1)</u> は <u>男性</u> <u>(2)</u> <u>が</u> <u>急募</u> <u>(3)</u> <u>だ</u> <u>(4)</u> <u>そう</u> <u>(5)</u> <u>でした</u> <u>(6)</u> 。	1取立 *ハ/ーガ 2格 *ガ/ーヲ 3品詞 *NA/ーN 4ムード
7083	マレーシア 22 自由作文 9	<u>待遇</u> <u>(1)</u> <u>が</u> <u>時給七百五十円</u> <u>(2)</u> <u>で</u> <u>交通費も</u> <u>(3)</u> <u>支給</u> <u>(4)</u> <u>だ</u> <u>(5)</u> <u>そう</u> <u>(6)</u> <u>でした</u> <u>(7)</u> 。	1取立 *ガ/ーハ 2ムード
7084	マレーシア 28 自由作文 9	<u>私</u> <u>(1)</u> <u>たちが</u> <u>(2)</u> <u>話</u> <u>(3)</u> <u>したり</u> <u>(4)</u> 、 <u>飲物を</u> <u>(5)</u> <u>の</u> <u>んだり</u> <u>(6)</u> <u>しました</u> <u>(7)</u> 、 <u>私の</u> <u>(8)</u> <u>ダンス</u> <u>(9)</u> <u>姿は</u> <u>(10)</u> <u>なんだか</u> <u>(11)</u> 、 <u>しばらく</u> <u>(12)</u> <u>おどら</u> <u>(13)</u> <u>なかった</u> <u>(14)</u> <u>か</u> <u>(15)</u> 、 <u>なかなか</u> <u>(16)</u> <u>へ</u> <u>(17)</u> <u>た</u> <u>(18)</u> <u>そう</u> <u>(19)</u> <u>でした</u> <u>(20)</u> 。	1取立 *ガ/ーハ 2接 *カ/ータメニ 3ムード *ソウダ/ーヨウダ
7085	マレーシア 30 自由作文 17	<u>そして</u> <u>(1)</u> 、 <u>農業の</u> <u>(2)</u> <u>研究所</u> <u>(3)</u> <u>が</u> <u>必要</u> <u>(4)</u> <u>で</u> <u>(5)</u> 、 <u>たくさん</u> <u>(6)</u> <u>の</u> <u>研究所</u> <u>(7)</u> <u>を</u> <u>設立</u> <u>(8)</u> <u>する</u> <u>(9)</u> <u>と</u> <u>考</u> <u>(10)</u> <u>か</u> <u>(11)</u> <u>えて</u> <u>(12)</u> <u>います</u> <u>(13)</u> 。	1*テ形 2ムード 3発音

第5章 シンタクス・意味論 7. モダリティ

7086	マレーシア 30 自由作文 18	このように、農産物を <u>やさしく</u> 生産できるようになる そうです。 ₍₁₎	1A 2ムード
7087	イラク 1 自由作文 5	しかし全面的な改革 <u>が</u> <u>話し</u> <u>そうに</u> 簡単ではなく、実行 は大変難しい。 _{(1) (2)}	1取立 *ガ/-ハ 2ム ード *ソウだ/-ヨ ウだ
7088	インド 9 自由作文 18	その事をせんばいに <u>おしえて</u> 、彼は一万四千円の <u>屋代</u> の部屋は <u>その</u> <u>よう</u> の <u>だ</u> といいました。 _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1V, 接 *テ形/-ト 2N 3発音, 表記 4ム ード 5*のだ/-0
7089	インド 19 自由作文 30	時間があれば、みなさん <u>は</u> <u>私の部屋に</u> <u>いらっしま</u> <u>す</u> 。 _{(1) (2)}	1取立 *ハ/-0 2ム ード
7090	インド 24 自由作文 24	勉強が終わったら、 <u>いれだし</u> <u>の中に</u> 、 <u>ふと</u> <u>を持って</u> 、 <u>畳に敷く</u> <u>はず</u> です。 _{(1) (2) (3) (4) (5)}	1,3N 2格 *ニ/-ノ 連 4V 5ムード *ハ ズ
7091	インド 24 自由作文 39	<u>つまり</u> 、このような部屋に住んでいるので、 <u>満足</u> の <u>はず</u> <u>だ</u> と思っています。 ₍₁₎	1C 2ムード *ハズダ
7092	インド 27 自由作文 5	どうして彼女は <u>私</u> <u>の勉強に</u> <u>反対を</u> <u>しました</u> 。 _{(1) (2)}	1表記 2ムード -ノ ダ
7093	インド 28 自由作文 11	私はこの映画 <u>見る</u> あとで、自分の <u>感覚</u> はもし世界の中 で <u>戦争</u> <u>はない</u> 、 <u>いいわね</u> と思いました。 _{(1) (2) (3) (4) (5) (6)}	1ル/-タ 2N 3格 デ /-ニ 4取立 ハ/- ガ 5接条件 *0/- タラ 6ムード
7094	インド 30 自由作文 16	いまでも、おじが <u>やさしい</u> <u>で</u> <u>くれた</u> <u>ことを</u> 、いつも <u>思い出</u> <u>す</u> <u>もの</u> <u>です</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	1Ad 副用 2V 3-テ イル 4ムード
7095	インド 31 自由作文 2	もし、我々の生活のまわり <u>に</u> 、よく <u>留心</u> <u>すれば</u> 、 <u>なん</u> <u>か</u> <u>一つのこと</u> <u>を見ける</u> 。 _{(1) (2) (3) (4)}	1格 *ニ/-ヲ 2V 3 不定 4複V ムード
7096	インド 46 自由作文 11	私はこれらの複雑な経営学を学びたい <u>つもり</u> <u>です</u> 。 ₍₁₎	ムード
7097	インド 47 自由作文 2	私は日本の <u>発達</u> の木土工程を学ぶために日本の大学で、 <u>留学</u> <u>する</u> <u>つもり</u> <u>です</u> 。 _{(1) (2) (3)}	1品詞 *N/-V 2格 *デ/-ニ 3ムード
7098	インド 50 自由作文 5	私は自分の国 <u>に</u> 日本の雑誌を見ても日本へ来て日本のテ レビを見ても、やはり日本は「東方の芸術の国」と言え る <u>でしょう</u> 。 _{(1) (2)}	1格 *ニ/-デ 2ム- ード
7099	インド 51 自由作文 8	<u>それに</u> <u>国民の生活</u> <u>も</u> <u>営めまい</u> <u>わけ</u> <u>である</u> 。 _{(1) (2)}	1C 2活用(V) ム- ード

5.7.6. スタイル

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
7100	台湾 1 パターン作文 9	たとえば、視覚 <u>デザイン</u> の方 <u>ば</u> 日本語より <u>面白い</u> だ。 (1) (2) (3) (4)	1表記 発音 2発音 取立 *ハ /ーガ 3品 詞 (*NA /ーA) 4ダ スタイル
7101	台湾 1 パターン作文 10	山の上に時々雪が降ります、しかし南の海辺で <u>一</u> 人が泳 ぐことがある。	取立 で*0 /ーハ & スタイル
7102	台湾 1 パターン作文 19	だから、 <u>この時の</u> 前に、政府と民間とが防災のために、 いろいろな仕事をやっておきます。	&スタイル コソア
7103	台湾 2 聴解要約 1	ヤンさんは大家さんの <u>おいえ</u> へ伺った。	N スタイル
7104	台湾 2 自由作文 9	<u>から</u> 、台南の成功大学に <u>四年間勉強</u> したから、軍隊に (1) (2) (3) <u>二年間入った</u> から、中の中原大学に <u>助手</u> になりました、 (4) (5) (6) 一年半間ぐらいあとで、日本へ留学にきた。	1C 4接(*カラ/ーテ カラ) 2,6格 *ニ /ー テ 3ー連用形 &スタ イル
7105	台湾 2 パターン作文 3	東京都より筑波学園都市の方がにぎやかで <u>ない</u> がここ (1) (2) (3) に住んでいる人はいつも非常に <u>楽しい</u> です。	1取立 *0 /ーハ 2ス タイル 3A
7106	台湾 4 自由作文 2	古都として台南の台湾における猶京都の日本におけるが 如くである。	スタイル 表現
7107	台湾 7 自由作文 2	先日木村さんから <u>持った</u> 手紙に <u>ありがとう</u> 、 <u>天気</u> は (1) (2) (3) 10月の試験が終わってから大変寒くなって <u>きた</u> から身 (4) (5) 体 <u>かき</u> をつけてください。	1V 2格 *ニ /ーヲ 3 N 4スタイル 5格 *ガ /ーニ
7108	台湾 7 自由作文 3	私は、毎日、日本語を <u>勉強</u> たり、 <u>絵</u> を描いたりすること (1) (2) があるから忙しくなっている <u>が</u> 大変元気ですよ。	1活用(V) 2スタイル
7109	台湾 8 自由作文 3	学校における時は日本語を <u>学び</u> まして、日本へ留学する ことに興味をもちました。	スタイル 活用(V)
7110	台湾 9 自由作文 7	高校一年生から柔道 <u>を</u> <u>興味</u> になりました。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ヲ /ーニ 2格 * ニ /ーヲ 3V 4スタ イル
7111	台湾 12 自由作文 3	先週久美子さんからの <u>お祝い</u> の手紙 <u>が</u> <u>見ました</u> <u>いろい</u> (1) (2) (3) <u>ろのお世話</u> になりました非常に <u>ありがとう</u> ございました。	1格 *ガ /ーヲ 2スタ イル 3品詞 *N /ー NA
7112	台湾 12 自由作文 5	ところで、 <u>お願</u> う ことがありますので、久美子さんに手 (1) (2) 紙をかかなければ <u>なら</u> ない。	1体修 2スタイル
7113	台湾 12 自由作文 6	先週久美子さんからの <u>お祝い</u> の手紙 <u>が</u> <u>見</u> ました。 (1) (2)	1格 *ガ /ーヲ 2スタ イル
7114	台湾 12 自由作文 7	実は二ヶ月前久美子さんは論文 <u>の</u> ため、私に二冊の高校 (1) (2) (3) 及び中学校の歴史教科書を <u>貸</u> しましたが <u>この近頃</u> 私も (4) (5) (6) (7) (8) <u>ちょっと</u> <u>参考</u> したい <u>です</u> ので久美子さんは <u>もし</u> <u>よか</u> (9) <u>ったら</u> <u>今週</u> の金曜日 <u>ち</u> ょっと返して <u>くださ</u> いませ んか。	1*ノ連 -V 2V 3複 N 4発音 5品詞 *V / ーN 6*ダ 7取立 *ハ /ーガ、サエ 8スタ イル 9格 *0 /ーニ
7115	台湾 12 自由作文 12	ところで、 <u>お願</u> う ことがありますので、久美子さんに手 (1) (2) 紙をかかなければ <u>なら</u> ない。	1体修 2スタイル

第5章 シンタクス・意味論 7. モダリティ

7116	台湾 13 自由作文 15	では、今後、もし何か音楽のインフォメーションがあったら、是非お知らせ <u>して下さい</u> 。	スタイル
7117	台湾 16 自由作文 3	日本と台湾の野球はどう <u>違うんですか</u> 。	スタイル
7118	台湾 16 自由作文 8	台湾の野球は <u>どうですか</u> 。	スタイル
7119	台湾 20 自由作文 7	つぎの提案を <u>出して参考してご覧なさい</u> 。	1接 *テ形/- 2副用 3スタイル 受給
7120	中国 3 聴解要約 17	タクシーを <u>おりましたの</u> とき、二回きれいな方を <u>会いました</u> 。	1スタイル 3格 *ヲ/ ーニ/ート 2ノ連 体 修
7121	中国 3 聴解要約 23	ヤンさんの気持は <u>うれしい</u> でした。	活用 スタイル ムー ド
7122	中国 3 聴解要約 26	お茶を <u>飲みましたの</u> あと、大家さんは部屋の主人の家へ <u>行きました</u> 。	1スタイル 2ノ連
7123	中国 3 絵を見ての作文 3	車は <u>速い</u> でしたが <u>歩道の中に歩いて</u> 人たちが <u>水をひっかけ</u> ましたね。	1スタイル 7活用 4格 *ニ/ヲ 2接 *ガ/ ーカラ 3N 5 *テ形/ ー体修 6取立 *ガ/ ーハ
7124	中国 3 パターン作文 7	コピーの機械は自由に <u>使う</u> 。	可能 スタイル
7125	中国 6 自由作文 12	ですから、来年の大学院入学試験を受けるために、 <u>いろいろの科目を</u> <u>始めに勉強しなければならぬ</u> 。	1品詞 *N/-NA 2Ad 副用 3スタイル
7126	中国 7 自由作文 12	あそこには、 <u>深く勉強</u> できる <u>だろう</u> 。	1格 *ニ/ーデ 2Ad 副用 3スタイル
7127	中国 8 自由作文 5	しかし、日本語の勉強はまだ <u>大変</u> です <u>ね</u> !	スタイル
7128	中国 8 自由作文 10	もし日本語に <u>上手</u> になったら、日本語の小説も読むことが <u>できる</u> 、それはとても <u>うれしい</u> です <u>ね</u> !	1格 *ニ/ーガ 2,3 スタイル
7129	中国 14 自由作文 10	早目めに <u>並びに行かない</u> と、 <u>一本</u> の電車に遅れたら、会社に <u>遅刻</u> するに <u>ちがいない</u> 。	1VP ーテ形 2数 3ム ード スタイル
7130	中国 14 自由作文 11	そのうえ、上司に <u>叱られる</u> のを <u>さげられない</u> 。	スタイル
7131	中国 14 自由作文 12	こんなに <u>きびしい</u> <u>仕事時間</u> であっても、日本人が <u>よく</u> <u>割り込み</u> も、 <u>かけ込み</u> も <u>しない</u> 。	1複 N 2取立 3スタイル
7132	中国 15 自由作文 15	これから、東京に <u>暮</u> していきたい私は、 <u>ゆっくり</u> 歩く <u>のが</u> 、 <u>大分</u> <u>できない</u> でしょう。	1格 *ニ/ーデ 2名詞 節 ーコト 3N 4複 V 5スタイル
7133	中国 15 自由作文 17	早く練習しないと日本人に <u>まけ</u> <u>ちゃう</u> わ。	スタイル
7134	中国 16 自由作文 16	そして、日本もいつも <u>綺麗な</u> おもてを <u>見せ</u> <u>ました</u> から、日本に <u>浮浪者</u> のような人が <u>少ない</u> でしょう <u>と</u> <u>思</u> いました。	1*タ/ーテイタ 2ス タイル
7135	中国 16 自由作文 24	これは <u>どう</u> <u>いう</u> <u>こと</u> <u>です</u> <u>か</u> 。	1発音 2スタイル

7136	中国 17 自由作文 9	日本はなぜ戦後数十年間 <u>そんなすばらしい国を建て</u> <u>ま</u> <u>したか。</u> (1) (2)	1格 *0 /ーニ 2スタ イルー引用 & 表現
7137	中国 17 自由作文 17	わたしたち <u>と</u> <u>って</u> <u>二十世紀の青年</u> <u>は</u> <u>もし</u> 、日本人の <u>様</u> <u>子</u> <u>つ</u> <u>まり</u> <u>仕事</u> <u>を</u> <u>した</u> <u>ら</u> <u>き</u> <u>り</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>ほ</u> <u>ど</u> <u>の</u> <u>精</u> <u>神</u> <u>を</u> <u>手</u> <u>に</u> <u>入</u> <u>れ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1*トッテ/ー0 2取 立 *ハ/ーガ 3N 4熟 語 5N 6可能 スタ イル
7138	中国 19 自由作文 9	私はそれを見て「 <u>あ</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>は</u> <u>教</u> <u>育</u> <u>も</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>し</u> 、 <u>お</u> <u>金</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>し</u> 、 <u>な</u> <u>ぜ</u> <u>普</u> <u>通</u> <u>の</u> <u>生</u> <u>活</u> <u>を</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> 、 <u>浮</u> <u>浪</u> <u>者</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。」 <u>と</u> <u>考</u> <u>え</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>が</u> 、 <u>聞</u> <u>く</u> <u>と</u> 「 <u>仕</u> <u>事</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。」 <u>と</u> <u>の</u> <u>返</u> <u>事</u> <u>が</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1コソア 2A 3接ー ノニ 4スタイル 5条件 *ト/ーカラ 6 接ーカラ 7ーダ
7139	中国 25 自由作文 5	せんせいのなまえはながい <u>サ</u> <u>マ</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	N スタイル
7140	中国 32 自由作文 5	九時ごろ家を出て教室へ <u>来</u> <u>て</u> <u>先</u> <u>生</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>わ</u> <u>た</u> <u>し</u> <u>に</u> <u>教</u> <u>え</u> <u>て</u> <u>く</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1接 条件 *テ形/ート 2格 *カラ/ーガ 3受 給 スタイル
7141	中国 43 自由作文 3	わたしははじめてこのくにへ <u>き</u> <u>た</u> 、 <u>き</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>く</u> <u>に</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1スタイル 2接 *0 / ーガ
7142	中国 47 自由作文 5	しかし、いまにほんごがいちばんすきです <u>よ</u> 。 (1)	スタイル
7143	中国 47 自由作文 10	にほんでのせいかつは、にほんごは <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>き</u> 、 <u>い</u> <u>ち</u> <u>ば</u> <u>ん</u> <u>ぶ</u> <u>べ</u> <u>ん</u> <u>り</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ハ/ーガ 2ス タイル 3格 *0 /ー ガ 4NA 5スタイル
7144	中国 47 自由作文 11	それに <u>で</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>な</u> <u>に</u> <u>も</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1スタイル 2接 条件 *カラ/ート
7145	中国 47 自由作文 12	<u>み</u> <u>ち</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>い</u> <u>て</u> 、 <u>そ</u> <u>の</u> <u>ひ</u> <u>と</u> <u>は</u> <u>む</u> <u>じ</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>た</u> <u>す</u> <u>け</u> <u>て</u> <u>あ</u> <u>げ</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>た</u> <u>き</u> <u>は</u> 、 <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ご</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>う</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11)	1,10格 *デ/ーヲ 2* 0/ーテイル 3*コソ ア/ー0 4取立 *ハ/ ーガ 5,9発音 A 6名 詞節 *コト/ーノ 7格 *ガ/ーヲ 8スタ イル 11VP 発音
7146	中国 48 自由作文 4	いままでいろいろなめいしやけいようし <u>や</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>が</u> 、 <u>ま</u> <u>だ</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>せ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。 (1) (2)	1並 N 格 *ヤ/ーヲ 2 スタイル
7147	中国 48 自由作文 7	にほんごを <u>よ</u> <u>く</u> <u>わ</u> <u>が</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> 、 <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>の</u> <u>ふ</u> <u>う</u> <u>ぞ</u> <u>く</u> <u>や</u> <u>に</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>じ</u> <u>ん</u> <u>を</u> <u>は</u> <u>じ</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>わ</u> <u>が</u> <u>る</u> <u>は</u> <u>ず</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	1格 *ヲ/ーガ 2,5発 音 3格 *ヲ/ーガ 4Ad 副用 6スタイル
7148	中国 48 自由作文 10	ところで、にほんごは <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>が</u> 、わたしはにほんご <u>を</u> <u>あ</u> <u>か</u> <u>る</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1スタイル 2格 *ヲ/ ーニ 3A 4VP 活用(V)
7149	中国 48 自由作文 18	にほんじんです <u>が</u> 、 <u>ど</u> <u>う</u> <u>し</u> <u>て</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1接 *ガ/ーノニ 2活 用(V) スタイル 3 V
7150	中国 48 自由作文 20	おかしいな。	スタイル
7151	中国 52 自由作文 12	そうですね、今は <u>始</u> <u>め</u> <u>に</u> <u>習</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>後</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>が</u> <u>待</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。 (1) (2) (3)	1N 2格 *ニ/ーヲ 3* 0/ーテイル & スタ イル
7152	中国 56 自由作文 8	どうして <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> 。	ムード スタイル

第5章 シンタクス・意味論 7. モダリティ

7153	中国 57 自由作文 11	それは残念です <u>ね</u> 。	スタイル
7154	中国 57 自由作文 15	日本語の文法は中国の文法よりむすかしいです <u>よ</u> 。	スタイル
7155	中国 57 自由作文 16	かたかなも <u>むすかしい</u> です <u>よ</u> 。	1発音 表記 2スタイル
7156	韓国 2 パターン作文 5	ソウル <u>には</u> 南よりもおそい <u>ます</u> 。	1格 *ニは/ーデは 2 ーダ スタイル
7157	韓国 5 自由作文 7	ソウルは韓国の <u>一番都市</u> <u>にして</u> <u>韓半島</u> の中心に位置 (一) <u>あります</u> 。	&スタイル 1,3N 4V 2*ダ ー連用形
7158	韓国 5 パターン作文 2	日本の漢字と韓国の漢字の意味は似てい <u>です</u> 。	ダ スタイル
7159	韓国 6 自由作文 9	いろいろな問題が <u>あります</u> から自分で考えてラジオとテレビを <u>選ぶ</u> でしょう。	1スタイル 2活用(V) 品詞 *N/ーV
7160	韓国 6 パターン作文 7	その中で一番重要な問題は <u>みなさん</u> に <u>共感代</u> を形成することです。	1N 2スタイル
7161	韓国 7 聴解要約 9	<u>ですから</u> ヤンさんもいっしょに従って歌った。	&スタイル C
7162	韓国 8 聴解要約 4	それから家へ帰って大家さんのお父さんが机のうえ <u>に</u> カセットで音楽を <u>聞きます</u> 時にヤンさんはお風呂 <u>から</u> 音楽を聞いて歌を <u>呼び</u> ました。	1格 *ニ/ーノ連 2表記 活用 体修 ーテイ ル スタイル 3格 *カ ラ/ーデ 4V
7163	韓国 9 パターン作文 7	しかしワープロの方がタイプライターより値段が高いくすから、まだ使う人が少しですが、 <u>だんだんもの</u> <u>範囲</u> <u>か</u> 広くなると思 <u>い</u> ます。	1Ad 副用 2表記 3発音 4ダ スタイル
7164	韓国 12 パターン作文 2	p r e f a b e の建設方法と在来式方法を調べると p r e f a b e 建設方法の方が建設費が <u>やすい</u> である。	2ダ &スタイル 1品 詞(A)
7165	韓国 13 パターン作文 6	そのひとつに日本語が <u>わかりません</u> があります。	&スタイル 名詞節
7166	韓国 20 自由作文 10	韓国の漢字は日本の漢字が <u>いみがたい</u> へん <u>同じ</u> ですが、 <u>読の方</u> が <u>ちがいます</u> からです。	1格*ガ/ート 2Ad 副用 3複 N 4スタイル
7167	韓国 28 自由作文 8	<u>妹さん</u> と一緒に <u>苦しい</u> <u>生活</u> を <u>過</u> しました。	1N スタイル 2VP 発音
7168	韓国 29 自由作文 5	たとえば、朝はやくおきて、散歩するとか家で軽い運動を <u>する</u> とか <u>いろん</u> な方法があると思 <u>い</u> ます。	NA スタイル
7169	韓国 29 自由作文 13	<u>なんか</u> という <u>と</u> <u>こ</u> ころです。	1スタイル 2ー名詞 節
7170	韓国 31 自由作文 9	最近 <u>国</u> の首相は国民に「東方を学ぶ」という <u>励まし</u> をして、国民に日本と韓国の進んだ技術を <u>学び</u> <u>ま</u> しょうと <u>言</u> いました。	1N 2N 3スタイル
7171	韓国 32 自由作文 3	なぜなら今自分の会社を持っている父のあとを <u>継</u> ごとと思 <u>っ</u> て <u>い</u> ます からです。	スタイル

7172	韓国 32 自由作文 4	というのは、日本は今世界で商業と工業が発達している 国で、今父の経営方法は私に <u>対して</u> <u>今の競争がひどい業</u> 界に <u>あわなくて</u> 、もっと新しい商業知識を身につけなけ れば <u>なりません</u> からです。	1トッテ 2セツ *テ形 /ー連用形 3スタイル
7173	ブラジル 1 聴解要約 6	<u>そして</u> 、 <u>かと</u> さんと <u>ふどう</u> さんやに <u>行</u> て家をさがした。	1C 2,3発音 &スタイル
7174	ブラジル 2 自由作文 2	がいこくからブラジルに <u>旅行</u> して <u>かならず</u> バイアに <u>行</u> <u>きます</u> 。	1接 *テ形/ート 2ス スタイル
7175	ブラジル 2 自由作文 4	<u>その</u> <u>きょう</u> かいはポルトガルの <u>しんぶ</u> さん <u>たち</u> が <u>たっ</u> <u>て</u> ました。	1コソア 2N 3発音 4 スタイル
7176	ブラジル 2 自由作文 6	バイア女性 <u>に</u> <u>にん</u> きが <u>あ</u> る。	1複N 3スタイル 2 取立 *ニ/ーハ
7177	ブラジル 3 聴解要約 1	ヤンさんは、旅行から <u>か</u> えて 来てお土産をもって大家さ んの <u>お</u> 住まいへいった。	1発音 2N スタイル
7178	ブラジル 3 聴解要約 4	ヤンさんは、お茶を飲んでからかとうさんの <u>お</u> 住まいへ 行った。	N スタイル
7179	アメリカ 1 自由作文 4	南米 <u>と</u> 日本では、都市問題が多い <u>で</u> す。	1並N *ト/ーヤ 2ス スタイル
7180	アメリカ 1 自由作文 9	生れた所はクインズではない。	スタイル
7181	アメリカ 1 自由作文 12	<u>しかし</u> 南米の方が国土 <u>不</u> 足してない <u>だ</u> が <u>い</u> い住宅 は <u>た</u> り <u>ま</u> せん。	1C 2取立 *0/ーハ 3*ダガ/ーガ 4スタ イル
7182	アメリカ 1 パターン作文 6	ふつう仕事と遊びははんたいのもののように <u>かん</u> が <u>い</u> ら れているが、幸福 <u>つ</u> くる <u>の</u> ために <u>し</u> 仕事と遊びちが <u>い</u> <u>が</u> <u>あ</u> り <u>ま</u> せん <u>と</u> <u>かん</u> が <u>え</u> られば <u>い</u> いと思ひます。	1発音 5スタイル 格 *0/ーニ 6活用(V) 2V 4取立(に*0/に ーハ)
7183	エジプト 1 自由作文 10	しかしやっ <u>て</u> <u>み</u> たい。	スタイル
7184	タイ 1 聴解要約 10	ヤンさん <u>「</u> よろしくお願ひいたします <u>」</u> と言った。	&スタイル 1取立 * 0/ーハ
7185	タイ 1 パターン作文 3	ーグループは行政です、 <u>た</u> とうば <u>社</u> 長 <u>。</u>	1数 2C 3スタイル
7186	香港 4 自由作文 1	三年前に成田空港に着いた時、日本語 <u>は</u> <u>ぜん</u> ぜん <u>わ</u> か <u>ら</u> なかつた <u>が</u> 、一年の交換計画を <u>渡</u> って <u>か</u> ら、 <u>上</u> 手に なりました。	1取立 *0/ーハ 2ス スタイル 3V
7187	香港 5 自由作文 2	淑雅さんは風邪をひいた <u>そ</u> うと <u>聞</u> き、もう <u>治</u> しました か。	1ムード 接 ーガ スタイル 2自他
7188	香港 5 自由作文 3	さて、先月淑雅さんに「日本近代歴史辞典」を <u>貸</u> して <u>あ</u> <u>げ</u> ました <u>が</u> 、再来週、明治時代の教育について発表会が あったので、その本が必要になりました。	受給 スタイル
7189	香港 5 自由作文 8	常用の辞典ではありませんから、お役に立つ <u>の</u> <u>は</u> 、 <u>貸</u> <u>て</u> <u>あ</u> げて <u>も</u> <u>い</u> いです。	1接 条件 *ハ/ーナラ 2受給 スタイル

7190	香港 5 自由作文 10	風邪を <u>治す</u> ように、お元気で。	表現 スタイル
7191	香港 6 自由作文 17	農家数も農民の数もへっているの <u>です</u> が、若い人や男が農業以外の仕事にでてしまうため、女と老人だけで農業をやらなければならない家がふえている。	スタイル
7192	香港 6 自由作文 20	これを兼業農家と <u>言</u> います ⁽¹⁾ が、兼業農家の内、農業を主な仕事としている農家を第一種兼業農家、農業以外の仕事を中心 ⁽²⁾ にとしている農家を第二種兼業農家と言う。	1スタイル 2格 *ニ/ -0
7193	香港 7 自由作文 1	明治改元以来約百年、計算の仕方はいろいろあると思いますが、ほぼ百年と見て、この百年の日本文学が目標にしたものは、いったいどんなものだったか？	&スタイル
7194	香港 7 自由作文 3	一つは—ひとくちに文学と言いますけれども、明治以前のものと明治以降のものとは大きくちがう。	&スタイル
7195	香港 9 短文作文 1	もう日本語は <u>一年勉強</u> ⁽¹⁾ した ⁽²⁾ が、たいへんむずかしいから、なかなか <u>じょうず</u> ⁽³⁾ にはなすことは <u>できません</u> ⁽⁴⁾ 。	1副用 語順 3格 取立 *ハ/ーガ 2. スタイル
7196	香港 15 短文作文 12	桜の花を <u>いき</u> ⁽¹⁾ みた <u>なく</u> ⁽²⁾ な <u>った</u> ⁽³⁾ 、 <u>いそ</u> ⁽³⁾ が <u>しい</u> ⁽⁴⁾ で <u>した</u> ⁽⁴⁾ <u>か</u> ⁽⁴⁾ ら。	1VP 1活用 2スタイル 4語順 4接 3活用(A)
7197	香港 17 短文作文 17	彼は英語はもちろん、フランス語もドイツ語も <u>ス</u> ⁽¹⁾ ペ <u>ン</u> ⁽¹⁾ 語もでき、 <u>で</u> ⁽²⁾ す <u>か</u> ⁽²⁾ ら <u>心</u> ⁽²⁾ 配 <u>し</u> ⁽²⁾ ない <u>で</u> 、 <u>外</u> ⁽³⁾ 国 <u>旅</u> ⁽³⁾ 行 <u>で</u> ⁽⁴⁾ きる。	2スタイル 4格 *0/ ーガ 3品詞 *V / N 1発音 表記
7198	香港 18 短文作文 11	<u>広</u> ⁽¹⁾ い <u>っ</u> ⁽¹⁾ て <u>い</u> ⁽¹⁾ え <u>ば</u> 、 <u>子</u> ⁽¹⁾ 供 <u>の</u> ⁽¹⁾ 時 <u>よ</u> ⁽¹⁾ く <u>い</u> ⁽²⁾ た <u>あ</u> ⁽²⁾ る <u>親</u> ⁽²⁾ 類 <u>の</u> ⁽²⁾ もの <u>の</u> ⁽²⁾ 家は <u>たい</u> ⁽³⁾ へ <u>ん</u> <u>お</u> ⁽³⁾ も <u>し</u> ⁽³⁾ ろ <u>い</u> 。	1スタイル 2発音 3* ル/ータ
7199	香港 18 短文作文 13	桜を見に行きた <u>く</u> ⁽¹⁾ ない <u>で</u> ⁽¹⁾ は <u>な</u> ⁽¹⁾ い <u>が</u> 、 <u>忙</u> ⁽²⁾ しい <u>か</u> ⁽²⁾ ら <u>い</u> ⁽²⁾ け <u>ま</u> ⁽²⁾ せん <u>か</u> ⁽³⁾ ら。	2スタイル 1ムード 3接 *カラ
7200	香港 20 自由作文 9	<u>も</u> ⁽¹⁾ し <u>「</u> ⁽¹⁾ ナ <u>ゴ</u> ⁽¹⁾ ヤ <u>」</u> <u>が</u> <u>「</u> ⁽²⁾ 名 <u>古</u> ⁽²⁾ 屋 <u>」</u> <u>で</u> <u>表</u> ⁽²⁾ 現 <u>す</u> ⁽²⁾ ると <u>わ</u> ⁽³⁾ か <u>な</u> ⁽³⁾ い <u>人</u> <u>は</u> 、 <u>「</u> ⁽⁴⁾ 東 <u>名</u> ⁽⁴⁾ 高 <u>速</u> ⁽⁴⁾ 道 <u>路</u> <u>」</u> <u>は</u> <u>な</u> ⁽⁵⁾ ん <u>ん</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>疑</u> <u>う</u> 。	1接 条件 2格 *ガ/ ー 3-名詞節 4-ト(引) 5スタイル
7201	香港 20 短文作文 16	それはそうですね。しかしこれに対して人々の観念は大きく <u>変</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>か</u> 。	スタイル
7202	香港 22 短文作文 6	彼は遠くのところに住んでいる <u>け</u> ⁽¹⁾ ど、 <u>毎</u> ⁽²⁾ 日 <u>わ</u> ⁽²⁾ ざ <u>わ</u> ⁽²⁾ ざ <u>こ</u> の <u>学</u> <u>校</u> <u>へ</u> <u>通</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。	1スタイル 2Ad
7203	香港 22 短文作文 13	桜を見に <u>行</u> ⁽¹⁾ く <u>こ</u> ⁽¹⁾ と <u>が</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>は</u> <u>な</u> <u>い</u> 、 <u>私</u> <u>は</u> <u>たい</u> ⁽²⁾ へ <u>ん</u> <u>い</u> <u>そ</u> <u>が</u> <u>しい</u> <u>ん</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>た</u> 。	2スタイル 3の <u>だ</u> 2ム ード 1VP
7204	香港 25 自由作文 14	このことは標準英語の普及の同一化と <u>お</u> ⁽¹⁾ な <u>じ</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>で</u> <u>む</u> <u>ず</u> <u>か</u> <u>しい</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>。</u>	1副用 活用 2品詞 3 ダ スタイル
7205	香港 25 短文作文 14	目がいたいけれども、明日は試験が <u>あ</u> <u>る</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、いま <u>や</u> <u>む</u> <u>を</u> <u>え</u> <u>ず</u> <u>勉</u> <u>強</u> <u>し</u> <u>な</u> <u>け</u> <u>れ</u> <u>ば</u> <u>な</u> <u>ら</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	スタイル <u>ダ</u>
7206	イラン 1 自由作文 5	そのためいろいろな <u>え</u> <u>い</u> <u>き</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>ま</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>。</u>	スタイル
7207	マレーシア 2 自由作文 8	<u>と</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> <u>。</u>	1発音 2スタイル

7208	マレーシア 2 自由作文 14	学こうのせんせいは <u>ぜんぶ</u> しんせつです <u>ね</u> 。 (1) (2)	1Ad 副用 2スタイル
7209	マレーシア 2 自由作文 17	しかし <u>かんじ</u> <u>なんか</u> <u>だい</u> <u>きらい</u> <u>。</u> (1) (2)	1取立 *ナンカ/ーハ 2ーダ スタイル
7210	マレーシア 3 自由作文 1	<u>国</u> <u>で</u> <u>おに</u> <u>の話</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>っ</u> <u>ぱい</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>け</u> <u>ど</u> 、 <u>私</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>ま</u> <u>り</u> <u>お</u> <u>ぼ</u> <u>え</u> <u>な</u> <u>い</u> <u>ん</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3)	1取立 *デ/ーニハ 2 ーテイル 3スタイル
7211	マレーシア 5 自由作文 22	<u>だ</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>い</u> <u>つ</u> <u>ま</u> <u>で</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>の</u> <u>時</u> <u>の</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>が</u> <u>私</u> <u>に</u> <u>と</u> <u>つ</u> <u>て</u> <u>ず</u> <u>い</u> <u>ぶ</u> <u>ん</u> <u>思</u> <u>い</u> <u>出</u> <u>に</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1Ad 副用 2スタイル
7212	マレーシア 6 自由作文 2	<u>い</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>私</u> <u>が</u> <u>月</u> <u>へ</u> <u>行</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>わ</u> <u>す</u> <u>れ</u> <u>て</u> <u>し</u> <u>ま</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>け</u> <u>ど</u> 、 <u>そ</u> <u>の</u> <u>時</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>も</u> <u>し</u> 、 <u>私</u> <u>が</u> <u>ほ</u> <u>ん</u> <u>ど</u> <u>う</u> <u>に</u> <u>月</u> <u>へ</u> <u>行</u> <u>け</u> <u>た</u> <u>ら</u> 、 <u>寿</u> <u>命</u> <u>が</u> <u>十</u> <u>年</u> <u>を</u> <u>短</u> <u>く</u> <u>な</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>か</u> <u>ま</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>だ</u> <u>と</u> <u>思</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1スタイル 2表記 3* ヲ/ー0 4活用 (V)
7213	マレーシア 11 自由作文 3	<u>も</u> <u>し</u> <u>天</u> <u>気</u> <u>予</u> <u>報</u> <u>が</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>ら</u> 、 <u>ち</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>困</u> <u>ま</u> <u>る</u> <u>ね</u> 。 (1) (2)	スタイル
7214	マレーシア 11 自由作文 13	<u>気</u> <u>象</u> <u>庁</u> <u>に</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>人</u> <u>の</u> <u>類</u> <u>推</u> <u>の</u> <u>結</u> <u>果</u> <u>も</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>な</u> <u>ん</u> <u>だ</u> 。 (1) (2) (3) (4)	1V 2,3N 4スタイル
7215	マレーシア 11 自由作文 14	<u>そ</u> <u>し</u> <u>て</u> 、 <u>天</u> <u>気</u> <u>予</u> <u>報</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>の</u> <u>は</u> <u>大</u> <u>切</u> <u>な</u> <u>ん</u> <u>だ</u> 。 (1) (2)	1C 2スタイル
7216	マレーシア 20 自由作文 17	<u>今</u> <u>に</u> <u>も</u> 、 <u>こ</u> <u>の</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>を</u> <u>や</u> <u>っ</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>る</u> <u>ん</u> <u>。</u> <u>け</u> <u>ど</u> 、 <u>毎</u> <u>日</u> <u>夕</u> <u>方</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>だ</u> 。 (1) (2)	1*ニも/ーデも 2ー ダ スタイル
7217	マレーシア 25 会話作文 1	<u>毎</u> <u>日</u> 、 <u>図</u> <u>書</u> <u>館</u> <u>に</u> 、 <u>開</u> <u>館</u> <u>時</u> <u>刻</u> <u>の</u> <u>朝</u> <u>九</u> <u>時</u> <u>か</u> <u>ら</u> 、 <u>閉</u> <u>館</u> <u>時</u> <u>刻</u> <u>の</u> <u>午</u> <u>後</u> <u>五</u> <u>時</u> <u>半</u> <u>ま</u> <u>で</u> 、 <u>い</u> <u>た</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1スタイル 2名詞節 3 ダ
7218	マレーシア 27 自由作文 5	<u>お</u> <u>か</u> <u>げ</u> <u>さ</u> <u>ま</u> <u>で</u> 、 <u>や</u> <u>っ</u> <u>と</u> <u>学</u> <u>校</u> <u>の</u> <u>近</u> <u>く</u> <u>の</u> <u>栗</u> <u>林</u> <u>ガ</u> <u>ソ</u> <u>リ</u> <u>ン</u> <u>ス</u> <u>タ</u> <u>ン</u> <u>ド</u> <u>に</u> <u>入</u> <u>れ</u> <u>た</u> 。 (1) (2) (3)	スタイル
7219	マレーシア 27 自由作文 18	<u>と</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>う</u> <u>れ</u> <u>い</u> <u>し</u> <u>い</u> <u>ね</u> 。 (1) (2)	スタイル
7220	マレーシア 27 自由作文 22	<u>時</u> <u>々</u> 、 <u>話</u> <u>し</u> <u>た</u> <u>ば</u> <u>か</u> <u>り</u> <u>で</u> 、 <u>勉</u> <u>強</u> <u>が</u> <u>で</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>。</u> <u>も</u> <u>あ</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>よ</u> 。 (1) (2) (3)	1*タ/ール 2名詞節 ーコト 3スタイル
7221	マレーシア 27 自由作文 25	<u>い</u> <u>く</u> <u>ら</u> <u>疲</u> <u>れ</u> <u>た</u> <u>。</u> <u>お</u> <u>し</u> <u>え</u> <u>な</u> <u>く</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>わ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> 。 (1) (2) (3)	1不定 副用 2ーカ 3 スタイル
7222	マレーシア 30 自由作文 5	<u>独</u> <u>立</u> <u>の</u> <u>あ</u> <u>と</u> <u>で</u> 、 <u>種</u> <u>族</u> <u>に</u> <u>よ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>生</u> <u>活</u> <u>水</u> <u>準</u> <u>が</u> <u>ち</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>の</u> <u>問</u> <u>題</u> <u>が</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	スタイル 体修 ート イウ
7223	スペイン 2 聴解要約 3	<u>お</u> <u>み</u> <u>や</u> <u>げ</u> <u>を</u> <u>お</u> <u>持</u> <u>ち</u> <u>ま</u> <u>す</u> <u>の</u> <u>た</u> <u>め</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。 (1) (2)	スタイル V 体修
7224	ナイジェリア 1 聴解要約 6	<u>な</u> <u>つ</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>か</u> <u>ら</u> <u>あ</u> <u>つ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	スタイル
7225	イギリス 1 自由作文 5	<u>し</u> <u>か</u> <u>し</u> <u>今</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>て</u> <u>い</u> <u>女</u> <u>の</u> <u>人</u> <u>は</u> <u>そ</u> <u>の</u> <u>仕</u> <u>事</u> <u>を</u> <u>す</u> <u>る</u> <u>。</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>は</u> <u>あ</u> <u>り</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> <u>と</u> <u>言</u> <u>い</u> <u>ま</u> <u>す</u> 。 (1) (2) (3)	1副用 3取立 *0/ー ハ 活用(A) スタ イル 2名詞節
7226	オーストラリア 2 自由作文 3	<u>仕</u> <u>事</u> <u>は</u> <u>と</u> <u>て</u> <u>も</u> <u>お</u> <u>も</u> <u>し</u> <u>ろ</u> <u>か</u> <u>っ</u> <u>た</u> 。 (1) (2)	スタイル
7227	インド 1 自由作文 14	<u>え</u> <u>。</u> <u>。</u> <u>。</u> <u>簡</u> <u>単</u> <u>で</u> <u>し</u> <u>よ</u> <u>う</u> <u>ね</u> <u>が</u> <u>私</u> <u>は</u> <u>満</u> <u>足</u> <u>で</u> <u>す</u> 。 (1) (2)	1NA 2スタイル
7228	インド 2 自由作文 10	<u>こ</u> <u>こ</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>わ</u> <u>っ</u> <u>て</u> 、 <u>テ</u> <u>レ</u> <u>ビ</u> <u>を</u> <u>み</u> <u>て</u> 、 <u>気</u> <u>持</u> <u>が</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>ね</u> 。 (1) (2) (3)	1格 *デ/ーニ 2接 * テ形/ート 3スタ イル

7229	インド 2 自由作文 13	音が <u>あります</u> だけ。 (1) (2)	1V 2取立 スタイル
7230	インド 15 自由作文 2	私の部屋は入ると、台所とよくしつが <u>まっすぐ</u> ある <u>け</u> ど、 <u>畳</u> の部屋も見えます。 (1) (2)	1Ad 副用 2スタイル
7231	インド 16 自由作文 6	冷蔵庫 <u>が</u> 小さいです <u>けど</u> いろいろな <u>飲料</u> や食べもの を <u>入</u> ってあります。 (1) (2) (3) (4) (5)	1取立 *ガ/ーハ 2ス スタイル 3N 4格 *ヲ/ キーガ 5自他
7232	インド 21 自由作文 4	しかし部屋代は3万2千円で、少し高いです <u>ね</u> 。	スタイル
7233	インド 26 自由作文 9	なぜなら、ロスナのお母さんは彼女 <u>ちさい</u> 時病気で なくなりましたからです。 (1) (2) (3)	1格 *O/ーガ 2発音 3スタイル
7234	インド 29 自由作文 11	夜中に皆なで寝る時はおじいさんが <u>なんか</u> いに <u>呼</u> んでも きて <u>し</u> かられなかった <u>で</u> した。 (1) (2) (3)	1Ad 副用 数 2*テ形 3*ダ スタイル
7235	インド 30 自由作文 11	けれども、子供が一人もいないで、 <u>さび</u> しがった <u>で</u> す。 (1) (2) (3)	1接 *テ形/ーノデ 2 タ/ーテイル 3*ダ スタイル
7236	インド 41 自由作文 5	子供のころが <u>な</u> つかしい <u>で</u> す <u>ね</u> 。	スタイル
7237	インド 41 自由作文 11	かみなりが <u>あ</u> れば、 <u>す</u> ぐやめた、かみなりが <u>こ</u> わい <u>で</u> <u>す</u> から。 (1) (2)	1NP 2スタイル
7238	インド 41 自由作文 16	友達の手紙によると、その林はなくなっ <u>ち</u> ゃった、住宅 地になったのです。	スタイル
7239	インド 42 自由作文 3	あとで、忙しくなっ <u>た</u> ら、毎日、 <u>ほ</u> どんと <u>家</u> へ帰ら <u>な</u> い <u>で</u> す。 (1) (2) (3) (4)	1C 2接 *タラ/ーテ 形 3表記 4スタイル
7240	インド 54 自由作文 3	私は子供の時からいつもこの <u>願</u> 望 <u>を</u> 持っている <u>の</u> <u>で</u> あ <u>る</u> 。 (1) (2) (3)	1N 2のだ 3スタイル
7241	インド 54 自由作文 4	人間 <u>が</u> 生まれた運命によって未来の <u>発</u> 展 <u>が</u> ちがう <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> る。 (1) (2) (3)	1取立 *ガ/ーハ 2N 3スタイル
7242	インド 54 自由作文 5	もし、富豪の家庭に生れたら稚い時から何の衣食の心配 も無く、 <u>愉</u> 快なる <u>生</u> 活をする <u>、</u> <u>一</u> 方には <u>貧</u> 困の家庭 に生れたら、 <u>経</u> 済の問題によって自分の理想や願望が変 わる <u>の</u> <u>で</u> ある。 (1) (2) (3) (4)	1活用(NA) 2接 3副 用 4スタイル
7243	インド 54 自由作文 17	もし、李さんが <u>死</u> なかつたら、現在は、偉大な科学者に なったかも <u>し</u> れない。 (1) (2)	1表記 活用 2スタイ ル
7244	フィンランド 7 自由作文 6	はじめて食べるひとは、 <u>に</u> おいがいやだというかも、知 れませんが、 <u>そ</u> したら、さとうをいれて、のめば、だい じょうぶだと、思います。	C 発音 スタイル

5.7.7. のだ

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
7245	台湾 8 自由作文 1	私は台湾にある中央警官学校を出た <u>の</u> です。	*のだ
7246	台湾 8 自由作文 6	仕事の <u>性質</u> は飛行機の飛行 <u>安全</u> を確保するために安全検査を <u>執行</u> する <u>の</u> です。	1N 2ーノ連 3ー名詞節 4*のだ
7247	台湾 10 自由作文 7	ほかに、 <u>休憩</u> の時は、料理を作る、electricpianoを <u>引く</u> 、デパートに行って、買物をする等も私の趣味 <u>な</u> で、ゆっくりやりたい思っています。	1N 2表記 3ーのだ
7248	台湾 12 自由作文 13	<u>そうすると</u> 、ご都合が <u>よろしかったら</u> 、その二冊の本を学習室に私の机の上に置いていただきたい <u>です</u> 、よろしい <u>で</u> しょうか。	1C 2接 *タラ /ーレバ 3格 *ニ /ーノ連 4*ダ /ーノダ 5接ーガ
7249	台湾 13 自由作文 13	私は行きたい <u>です</u> が、 <u>都合</u> がどうかははっきりわかりません。	1ーノダ 2表現
7250	台湾 23 自由作文 2	しかし、国の両親は日本へ来る予定があった <u>の</u> だから、私は国へ帰りませんでした。	1取立 *ハ /ーガ 2*ノダ /ー0
7251	中国 2 絵を見ての作文 3	おばさんは横断歩道に立っています、彼女は道を渡りたい <u>で</u> す。	ーのだ
7252	中国 4 パターン作文 8	実際に女子と男子とを比較してみると大学前には両方の成績が大抵同じだといえるが、 <u>その後</u> 女子は自然科学以外の領域へ <u>趣味</u> が変りやすい <u>だ</u> ろう。	3ーのだ 2N 1Ad & 表現
7253	中国 7 自由作文 2	<u>すると</u> 、日本という国はどのような国かよくわかりませんが、筑波大学の環境が <u>すきな</u> んです。	1C 2取立 *ガ /ーハ 3*のだ
7254	中国 8 自由作文 7	自分の専門の勉強もできない、 <u>だから</u> 、今私の希望はまず日本語を <u>マスター</u> したい <u>の</u> です。	1? 2ー名詞節ーコト 3*のだ
7255	中国 8 自由作文 8	それから日本の社会を <u>了解</u> し日本人と友達になりたい <u>ん</u> です。	1V 2*のだ
7256	中国 8 自由作文 9	日本語の小説も読みたい <u>ん</u> です。	*のだ
7257	中国 15 自由作文 9	そして私は先に乗って行って <u>しまった</u> <u>の</u> だ。	1複 V 2*ノダ
7258	中国 15 自由作文 13	皆も <u>あの</u> 人のスピートに <u>驚か</u> れた <u>の</u> だ。	1コソア 2受身 使役 3*ノダ
7259	中国 16 自由作文 25	世界中で日本だけ <u>で</u> このことがある <u>で</u> しょうか。	1格 *デ /ーニ 2ーノダ
7260	中国 19 自由作文 4	たとえば浮浪者 <u>が</u> <u>もっとも</u> 不思議だ <u>と</u> <u>思</u> っています <u>が</u> 、どうして、 <u>経済</u> 大国の日本には <u>こんな</u> に <u>たく</u> さんな浮浪者が <u>い</u> ますか。	1ー名詞節 2格 *ガ /ーヲ 3活用 4ーノダ 5取立に*ハ /ーにー0 6品詞*NA /ーN 7ーノダ
7261	中国 19 自由作文 8	ある浮浪者が英語の新聞を見ながらトップソングを <u>聞</u> いていて、そばにいる犬にハンバーグをやっています <u>の</u> 。	1*テイル /ール *テ形 /ー連用形 2ーノダ

7262	韓国 4 自由作文 12	しかし人間の思考力は経済力だけで比べる <u>の</u> ⁽¹⁾ がないです から <u>がんばります</u> ⁽²⁾ 。	1のだ 取立 -ハ 2 ムード
7263	韓国 5 自由作文 6	そして韓国 <u>子供</u> ⁽¹⁾ はバナナが一番 <u>大好き</u> ⁽²⁾ <u>です</u> ⁽³⁾ 。	2NA 1-ノ連 3- ノダ
7264	韓国 6 パターン作文 10	そして、日本人の中に <u>虫歯</u> ⁽¹⁾ がある人や、入歯が <u>あ</u> ⁽²⁾ <u>る</u> ⁽³⁾ <u>人が多い</u> ⁽⁴⁾ <u>です</u> 。	3V -テイル 2に* 0 /に-ハ 1C 4の だ
7265	韓国 7 パターン作文 8	農村で大漁祭がないのは、海がない <u>の</u> である。	接 *のだ /-カラ
7266	韓国 35 自由作文 15	もちろん両国で騙話しは困る <u>ん</u> でしょう。	のだ
7267	アメリカ 1 パターン作文 9	その子どもが <u>こいう</u> ⁽¹⁾ ことをなんかいも聞いて、だんだん <u>コンプレッス</u> ⁽²⁾ <u>になれる</u> ⁽³⁾ <u>だ</u> ⁽⁴⁾ と思います。	2表記 3V 4-のだ 1 発音
7268	香港 2 自由作文 3	例の「日本史教科書」についてどう <u>したん</u> ⁽¹⁾ <u>ですか</u> ⁽²⁾ 。	1V 2*のだ
7269	香港 7 自由作文 23	「坊っちゃん」は社会の不正に対する反抗的な気分を表 現した <u>の</u> であり、「草枕」は現実を越えた非人情の境地 を描こうとしたもので、この作者の初期の相反する作風 を代表したものといえよう。	*のだ
7270	香港 7 自由作文 35	近代知識人の矛盾に満ちた生活と苦悩を心理的に深く解 剖した <u>の</u> である。	*のだ
7271	香港 7 自由作文 45	独創的な作家かなと思って <u>読んで</u> ⁽¹⁾ いたら、フッと気がつ いた <u>ん</u> ⁽²⁾ !。	1発音 2-のだ
7272	香港 7 自由作文 47	あれもやはりモデルがあって、それを見事に模写したも の <u>です</u> ⁽¹⁾ ですね。	-のだ
7273	香港 16 短文作文 4	彼は水泳が上手 <u>なのだから</u> 、まるで飛魚のようである。	接 *のだ /-デ
7274	香港 16 短文作文 13	<u>櫻花</u> ⁽¹⁾ <u>を</u> ⁽²⁾ <u>みていき</u> ⁽³⁾ <u>たく</u> ⁽⁴⁾ <u>な</u> ⁽⁵⁾ <u>って</u> ⁽⁶⁾ <u>な</u> ⁽⁷⁾ <u>か</u> ⁽⁸⁾ <u>っ</u> ⁽⁹⁾ <u>た</u> ⁽¹⁰⁾ <u>で</u> ⁽¹¹⁾ <u>す</u> ⁽¹²⁾ <u>が</u> ⁽¹³⁾ 、私はた いへん <u>忙</u> ⁽¹⁴⁾ <u>しが</u> ⁽¹⁵⁾ <u>った</u> ⁽¹⁶⁾ <u>で</u> ⁽¹⁷⁾ <u>す</u> ⁽¹⁸⁾ 。	4発音 3,4-のだ 1複 N 2VP 4接
7275	香港 17 短文作文 13	桜の花を見に行きたくないというわけではなかった。忙 し <u>ず</u> ⁽¹⁾ <u>きる</u> ⁽²⁾ <u>から</u> ⁽³⁾ <u>行</u> ⁽⁴⁾ <u>け</u> ⁽⁵⁾ <u>な</u> ⁽⁶⁾ <u>か</u> ⁽⁷⁾ <u>っ</u> ⁽⁸⁾ <u>た</u> ⁽⁹⁾ <u>ん</u> ⁽¹⁰⁾ 。	1発音 2-のだ
7276	香港 19 自由作文 13	日本人は何で一般に日本語の辞典を「国語辞典」とよぶ <u>か</u> ⁽¹⁾ ?。	-のだ
7277	香港 19 自由作文 15	日本は孤立的な島国で、はじめはほかの人間集団に接触 しなかつた <u>ん</u> ⁽¹⁾ だろう。	-のだ
7278	香港 19 自由作文 17	そこで、日本語と呼ぶ必要がなかつた <u>ん</u> ⁽¹⁾ ではないだろう か。	-のだ
7279	香港 20 自由作文 14	だから外国人を異人と言うことがある <u>ん</u> ⁽¹⁾ 。	-のだ
7280	香港 22 短文作文 13	桜を見に <u>行</u> ⁽¹⁾ <u>く</u> ⁽²⁾ <u>こ</u> ⁽³⁾ <u>と</u> ⁽⁴⁾ <u>が</u> ⁽⁵⁾ <u>し</u> ⁽⁶⁾ <u>た</u> ⁽⁷⁾ <u>く</u> ⁽⁸⁾ <u>な</u> ⁽⁹⁾ <u>く</u> ⁽¹⁰⁾ <u>て</u> ⁽¹¹⁾ <u>は</u> ⁽¹²⁾ <u>な</u> ⁽¹³⁾ <u>い</u> ⁽¹⁴⁾ 、私はたいへ <u>ん</u> ⁽¹⁵⁾ <u>い</u> ⁽¹⁶⁾ <u>そ</u> ⁽¹⁷⁾ <u>が</u> ⁽¹⁸⁾ <u>し</u> ⁽¹⁹⁾ <u>い</u> ⁽²⁰⁾ <u>ん</u> ⁽²¹⁾ <u>で</u> ⁽²²⁾ <u>し</u> ⁽²³⁾ <u>た</u> ⁽²⁴⁾ 。	2スタイル 3のだ 2ム ード 1VP

7281	香港 24 自由作文 22	そして、孤立的な状況で、「国」はすべて日本自体の代名詞だと <u>思われている</u> かもしれない <u>。</u>	1*ル /ータ 2ーのだ
7282	香港 24 自由作文 29	そして、「うち」と「そと」の観念 <u>のために</u> 、「国」は日本を <u>指し</u> 、「外国」はほかの <u>国</u> <u>である</u> 。	1接 2並 V 3ーのだ
7283	マレーシア 10 自由作文 12	あの日から、日本で一生懸命勉強 <u>した</u> <u>と</u> 思っている <u>の</u> <u>だ</u> 。	1*タ /ーテイル 2*ノダ
7284	マレーシア 15 自由作文 2	それで、「盆踊り」 <u>を</u> 初めて <u>きいて</u> 、それ <u>何</u> <u>こと</u> <u>の</u> <u>だ</u> ろうか。	1ートイウ 2接 *テ形 3取立 *0 /ーハ 4ー ノ連 5ーのだ ー疑問節
7285	マレーシア 17 自由作文 17	私たち <u>、</u> <u>全部</u> は、マレーシアの庶民 <u>で</u> 、なぜ民族を <u>区別</u> <u>しますか</u> 。	1取立 *0 /ーハ 2副 用 3接 *連用形 /ー ノニ 4*0 /ーのだ
7286	マレーシア 19 自由作文 5	だから、いつか <u>医者さん</u> <u>になりたい</u> <u>であります</u> 。	1複 N 2のだ
7287	マレーシア 23 自由作文 19	やはり、日本も観光地として有名 <u>で</u> しょう。	ーのだ
7288	メキシコ 1 自由作文 4	早速ですが、一ヶ月前に山本さん <u>に</u> <u>貸して</u> <u>あげた</u> 「現代教育学の基礎」という本を読むのは <u>必要</u> <u>としている</u> <u>ので</u> 一時返して <u>もらい</u> <u>たい</u> <u>です</u> がご都合はよろしいでしょうか。	1表記 2VP 3発音 表 記 4ーのだ
7289	イラク 1 自由作文 3	そのために、経済をはじめ、政治、教育などが発展できない <u>こと</u> <u>です</u> 。	*コト /ーのだ
7290	インド 2 自由作文 3	台所とお風呂がない <u>ん</u> <u>です</u> から、少し不便ですが部屋代は一万四千元 <u>だけ</u> <u>です</u> から、私は不満がありません。	1のだ 2取立 *ダケ
7291	インド 9 自由作文 18	その事をせんばいに <u>おしえて</u> 、彼は一万四千元の <u>屋代</u> <u>の</u> <u>部屋</u> <u>は</u> <u>その</u> <u>よう</u> <u>の</u> <u>だ</u> と <u>い</u> いました。	1V, 接 *テ形 /ート 2N 3発音, 表記 4ム ード 5*のだ /ー0
7292	インド 10 自由作文 21	机の上に <u>何</u> <u>がある</u> <u>で</u> しょうか。	1取立 <u>に</u> *0 / <u>に</u> ー ハ 2ーノダ
7293	インド 24 自由作文 16	それから、部屋の方について教えて <u>あげる</u> <u>のです</u> 。	*ノダ /ー0
7294	インド 27 自由作文 5	どうして彼女は <u>私</u> <u>の</u> <u>勉強</u> <u>に</u> <u>反対</u> <u>を</u> <u>し</u> ました。	1表記 2ムード ーノ ダ
7295	インド 27 自由作文 7	この間どうしてあのような別れ方をしてしまった <u>ら</u> う。	ーノダ
7296	インド 54 自由作文 3	私は子供の時からいつもこの <u>願望</u> <u>を</u> 持っている <u>の</u> <u>で</u> <u>あ</u> <u>る</u> 。	1N 2のだ 3スタイル

5.8. 表現

番号	国籍・作文形式	文	誤用の種類
7297	台湾 1 パターン作文 7	この両方を勉強することをくらべると、両方の <u>違い感想</u> <u>がある</u> 。	表現 N
7298	台湾 2 自由作文 10	今、台南 <u>の中</u> で、 <u>昔のお寺</u> などはあまり <u>ばらばらに</u> のこっていない。	1表現 取立 2で*0 / でーハ 3Ad 副用
7299	台湾 2 自由作文 11	彰化は豊かに農作物を <u>植る</u> 。	&表現 V
7300	台湾 4 自由作文 2	古都として台南の台湾における猶京都の日本におけるが如くである。	スタイル 表現
7301	台湾 7 自由作文 4	木村さんは先月私に貸して持った名画家の作品のスラドがもう見ましたか感想がありますか、いい作品がたくさん見て、参考して、自分にアイデアの発想に <u>激</u> <u>発</u> なことがあるかもしれないと思います。	1取立 *ハ/ーガ 2受給 3格 *ガ/ーヲ 4表現 5格 *ガ/ーヲ 6ーノ連 7NA
7302	台湾 9 自由作文 10	三年後、柔道のために中央警官に入った、もっと厳しい稽古を <u>練</u> った。	1表現 2N 3ー連用形 4V
7303	台湾 13 自由作文 6	先月、貸してあげたレコードは、私の先輩も <u>聞</u> きたいですが、 <u>私に頼</u> んで、 <u>貸</u> して下さいと言いました。	1接 ーノデ 2表現
7304	台湾 13 自由作文 13	私は行きたいですが、都合がどうかははっきりわかりません。	1ーノダ 2表現
7305	台湾 19 自由作文 3	公務員が人の目の中になにもを思われているのは全然考えなくて、上役にどんな不公平な事をさせられても、 <u>け</u> っして <u>あ</u> ませなくて、大衆に対して、 <u>ら</u> ずに責任が <u>お</u> われて、いつも人に服務する <u>思</u> いつきを持っている。	1取立 *ガ/ーハ 2表現 ー疑問節 ートイウ 3接 *テ形 4V 5格 *ガ/ーヲ 6自他 7N
7306	台湾 23 自由作文 7	そのとき、私たちはいつも <u>整</u> 理、 <u>再</u> 整理しました。	1コソア 副用 2表現 V
7307	台湾 23 自由作文 9	それは、私が日本アルバイトの最初の経験でした。	表現
7308	台湾 23 自由作文 14	電話を <u>聞</u> ったとき、心に <u>気</u> 持ちは <u>悪</u> い、なかなか平 <u>静</u> にかえらなかつた。	1格 *ヲ/ーデ 2活用 3表現 4並 A
7309	台湾 25 自由作文 9	しかし、ふたりの心情はいつも <u>愉</u> 快を持っていました。	1品詞 *NA/ーN & 表現
7310	中国 2 絵を見ての作文 1	図2を見て、おばさんの <u>き</u> もさを <u>述</u> べている。	2表記 1ー条件 3表現
7311	中国 4 聴解要約 4	ヤンさんはきたときはあさだったが、 <u>天</u> 気がとてもあ <u>つ</u> かつた。	1取立 *ハ/ーガ 2表現 N
7312	中国 4 パターン作文 4	その原因 <u>に</u> としては一般的に女子は男子ほど頭がよくないという人がいるし、女子の方が芸術などには <u>も</u> っと <u>上</u> 手になれる <u>と</u> 考えている人もいる。	1格 *ニ/ーO 2表現

7313	中国 4 パターン作文 8	実際に女子と男子とを比較してみると大学前には両方の成績が大抵同じだといえるが、その後女子は自然科学以外の領域へ <u>趣味</u> が変りやすい <u>だろう</u> 。	3-のだ 2N 1Ad & 表現
7314	中国 6 自由作文 14	また <u>時間</u> があるから、少し <u>書かない</u> でしょうか。	1発音 副用 Ad 2表現
7315	中国 11 自由作文 3	受けた印象がたくさんありますが、なかにも最も強いのは日本人の生活の <u>緊張</u> です。	1表現 2格 *ニも /-デも 3格 *0 /-ニツイテ
7316	中国 16 自由作文 17	私の性格は何でも <u>ゆっくり</u> して、のんびり生活をして、しかし、日本へ <u>来て</u> 、こちらの人々の生活はとても緊張して、生活と戦争しているようです。	1C 2接 *テ形 &表現
7317	中国 17 自由作文 3	東京へ来た <u>後</u> 、東京は人口も多いし、交通も便利だし、やはり日本の政治、経済の中心地です。	表現 接
7318	中国 17 自由作文 9	日本はなぜ戦後数十年間 <u>そんなすばらしい国</u> を建てましたか。	1格 *0 /-ニ 2スタイル -引用 &表現
7319	中国 18 自由作文 13	どちら <u>行っても車</u> でいっぱいです。 <u>それを見た</u> わたし <u>が</u> この点はたぶん国 <u>の</u> 発達するにつれて増えると思います。	1不定 2格 *0 /-へ 3表現 体修 4取立 *ガ /-ハ 5*ノ連
7320	中国 22 自由作文 12	一日一日の時間を <u>けいか</u> しました。	表現
7321	中国 23 自由作文 16	しかし、いっしょけんめいの <u>べんきょう</u> はらいねんを <u>そつぎょう</u> <u>たぶん</u> いいでしょう。	1格 *ヲ /-ノ連 2格 *0 /-ヲ 3V &表現
7322	中国 30 自由作文 6	きょうしつに <u>せんせい</u> は <u>いっしょうけん</u> の <u>おしえて</u> 、わたしたちはわからないことが <u>あったから</u> <u>している</u> 「なれ」というかこうで、 <u>なん</u> というけいようしであう。	1格 *ニ /-デ 2Ad 発音 3接 *テ形 4条件 *カラ /-タラ &表現
7323	中国 30 自由作文 9	しかしわたしのにほんごは <u>ひつよう</u> の <u>きょうちょう</u> です。	N 表現
7324	中国 35 自由作文 5	日本語のなかで <u>ひらがな</u> と <u>かたかな</u> と漢字があります。	1表現 2格 *デ /-ニハ
7325	中国 37 自由作文 19	それは <u>ざんねん</u> ですね。	表現
7326	中国 46 自由作文 5	わたしはにほんごが <u>習たい</u> です。	表現
7327	中国 48 自由作文 12	なにをしていますか。	表現 体修
7328	中国 52 自由作文 4	買物や外で <u>あそぶ</u> することがとても <u>不便利</u> <u>だから</u> 、心の中に <u>持気</u> がよくありませんでした。	1V 2NA 3発音 表記 4N &表現
7329	中国 57 自由作文 19	あとで毎日 <u>べんきょう</u> する、日本語が <u>じょうず</u> になります。	表現
7330	韓国 4 自由作文 6	しかし韓国は西洋の文物を <u>流入</u> したのが <u>もう</u> やっと 30年くらい <u>しが</u> なら <u>なかった</u> 。	&表現 1接 -テカラ 2Ad *モウ /-マダ 3発音 取立 シカ 4*タ /-ル

7331	韓国 9 聴解要約 5	だから、かいたいステレオの <u>ねだん</u> を <u>安く</u> <u>かうた</u> 。 (1) (2) (3)	3活用 1C 2表現
7332	韓国 22 自由作文 15	私がおもって 日本語は外国語 <u>から</u> 毎日 <u>すこし</u> 勉強を (1) (2) (3) したり会話を <u>はな</u> したりします。 (4)	1表現 2ーダ 3Ad 4V
7333	韓国 24 自由作文 18	私が <u>こう</u> 日本語を話せるのは全部先生のおかげで <u>こう</u> (1) (2) 日本語をすこしは話せると思いました。	&表現 1コソア 2コソア
7334	韓国 26 自由作文 23	部屋代がやすいです <u>から</u> 。	表現
7335	韓国 28 自由作文 2	アメリカで作った「紫色」という映画は私を感動させた。	使役 表現
7336	韓国 30 自由作文 3	この映画は、私が見た映画の中で一番いい映画 <u>じゃなく</u> <u>て</u> 、しかし、この映画の内容はとても <u>私に感動させた</u> 。 (1) (2)	1接 *テ形/ーガ 2使役 表現 VP
7337	韓国 35 自由作文 23	以上が <u>私が首相だったら</u> について書いた作文です。	表現
7338	ブラジル 2 自由作文 14	多分 このハムは食べる人を <u>見</u> て <u>おいしく</u> なさそうで (1) (2) す。	2発音 2Ad 副用 &表現
7339	アメリカ 1 自由作文 8	まず、南米と日本を <u>くれ</u> べると南米 <u>の方が</u> <u>国鉄道</u> と (1) (2) (3) <u>バス線</u> はまだ発達中だが人口集中 <u>こと</u> <u>大へん</u> である。 (4) (5)	1発音 2*のホウガ 3,4N 5名詞節 表現
7340	アメリカ 3 自由作文 16	このがっこうに <u>べんきょう</u> や <u>ともだち</u> などがあります。 (1) (2)	1並N 2V 表現 一体修
7341	アメリカ 4 自由作文 11	<u>全部</u> <u>言</u> いかえると <u>弁護士</u> <u>だ</u> たら <u>日米関係</u> の法律をした (1) (2) いと思います。	1表現 C 2発音 表記
7342	香港 3 自由作文 5	中文大学において、ほとんどの時間は日本史及び日中関 係史を <u>埋</u> 首しています。	表記 &表現
7343	香港 5 自由作文 9	<u>もう深冬の候に入</u> ったので、ご健康によく注意して下さ い。	表現
7344	香港 5 自由作文 10	風邪を <u>治</u> すように、お元気で。	表現 スタイル
7345	香港 6 自由作文 23	都市の過密化と農村の過疎化のでいろいろな。	表現
7346	香港 12 短文作文 7	あの事件は <u>そう</u> と言うのは、 <u>そう</u> ですか。	表現
7347	香港 15 短文作文 10	<u>大きい</u> 部屋 <u>と</u> いって、 <u>ある</u> <u>私</u> の <u>子供時</u> によく <u>いく</u> <u>親類</u> (1) (2) (3) (4) (5) は <u>おもしろい</u> 部屋を <u>と</u> りました。 (6)	2表現 6V 3語順 1活用(A) 4ノ連 3AN 5*ル/ータ
7348	香港 16 短文作文 9	<u>漢字</u> のもとに <u>ひらがな</u> とか <u>かな</u> は <u>間違</u> わ <u>ない</u> 。 (1) (2)	2V 1表現
7349	香港 16 短文作文 11	<u>おおい</u> 家と <u>い</u> って、私は <u>小さい</u> とき、よくある <u>親族</u> (1) (2) の家へ <u>遊</u> びに <u>い</u> き、この家はおもしろかったです。 (3)	1表現 2N 3接 *ル/ータ *連用形/ーガ
7350	香港 16 短文作文 20	大使館のなかで、日本語が一番上手な人は彼の右に出る 人がない。	表現
7351	香港 17 短文作文 11	考えてみれば、日本語を勉強することは二年前に始まり ました。	表現

7352	香港 20 自由作文 18	結果、 <u>日本語より国語と</u> 自分の言葉をさす。	表現
7353	香港 21 短文作文 11	大きい家といえば、私はこどもの時いつもある親類の家を訪れ、おもしろい家があった。	表現
7354	香港 22 短文作文 1	私は彼についてのおかしい <u>うわさを聞かなくて</u> 見ました。	表現
7355	香港 22 短文作文 11	大屋敷 <u>とは</u> 、私 ⁽¹⁾ が 子供のころによくある親類のおもしろい家を訪れた。	&表現 1取立 *ガ/ーハ
7356	香港 22 短文作文 15	<u>世の中に</u> 彼らの要求が <u>なんか</u> が私 ⁽¹⁾ <u>は</u> ははっきりとわか ⁽²⁾ <u>り</u> ません。	2不定詞 ヲ 1表現 3格 *0は/ーニは
7357	香港 22 短文作文 20	<u>彼の才能について</u> 、会社の中で、彼の右に出る人がいません。	表現
7358	香港 24 自由作文 14	特に、もとの訓読みに示めされる <u>意味に代りの</u> 語彙 ⁽¹⁾ <u>は</u> ⁽²⁾ 作るにちがいない。	2取立 格 *ハ/ーヲ 1表現
7359	香港 24 自由作文 28	でも、家と「そと」はかぎで、とをあく ⁽¹⁾ <u>ことは</u> ⁽²⁾ 必要だ。	&表現 1自他 2格 取立 *ハ/ーガ
7360	香港 24 短文作文 3	<u>美しさ</u> ⁽²⁾ <u>は</u> ⁽¹⁾ させておき、彼女も頭が <u>いい</u> ⁽¹⁾ <u>だし</u> 、 <u>真の</u> ⁽³⁾ <u>美人で</u> ⁽³⁾ <u>ある</u> 。	1品詞 ヲ 3副用 2表現
7361	香港 25 自由作文 13	しかも、結果はまだ成功 ⁽¹⁾ <u>に</u> ⁽²⁾ <u>知らない</u> 。	&表現 1一名詞節 2V
7362	香港 25 自由作文 23	「日本語学」をつかったら、日本人 ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>おかしい</u> ⁽³⁾ <u>感じが</u> ⁽³⁾ <u>ある</u> 。	1表現 2取立 *ガ/ーハ 3V
7363	香港 25 短文作文 8	金持ちはおおくのお金 ⁽¹⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>持つ</u> ⁽²⁾ <u>というか</u> 、 <u>奢侈な</u> ⁽²⁾ <u>生活を</u> ⁽²⁾ <u>暮らす</u> ⁽²⁾ <u>というか</u> 。	&表現 1格 *ガ/ーヲ 2V
7364	香港 26 自由作文 9	ある地理、歴史、文化などの状態では、ある心理状態があります。	&表現
7365	香港 26 短文作文 1	夫の観点から <u>、</u> 週休二日制はいいです。	表現 条件
7366	香港 26 短文作文 4	<u>この多くの証拠</u> ⁽¹⁾ <u>と</u> ⁽²⁾ <u>って</u> 、 <u>私たち</u> ⁽²⁾ <u>は</u> ⁽³⁾ <u>彼女</u> ⁽⁴⁾ <u>は</u> ⁽⁵⁾ <u>罪犯</u> ⁽⁵⁾ <u>を</u> ⁽⁵⁾ <u>考え</u> ⁽⁵⁾ <u>なければ</u> ⁽⁵⁾ <u>ならない</u> 。	4N 1表現 2取立 *0 /ーハ 3*ハ/ーガ 取立
7367	香港 26 短文作文 6	<u>極端的な</u> ⁽²⁾ <u>気温</u> ⁽³⁾ <u>は</u> ⁽³⁾ <u>ひかん</u> ⁽³⁾ <u>まで</u> ⁽³⁾ <u>たげ</u> ⁽³⁾ <u>した</u> ⁽³⁾ <u>と</u> ⁽³⁾ <u>言</u> ⁽³⁾ <u>え</u> ⁽³⁾ <u>まし</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ <u>。</u> ⁽⁴⁾	3,1発音 4表現 2NA 5V
7368	フランス 1 自由作文 5	ですから一年前にパリで言語学を勉強しようと思って今まで形式名詞という日本語の言葉(もの、こと、ところ)の語法に <u>直面</u> ⁽¹⁾ <u>して</u> ⁽²⁾ <u>、</u> <u>論文</u> ⁽²⁾ <u>を</u> ⁽²⁾ <u>書</u> ⁽²⁾ <u>き</u> ⁽²⁾ <u>まし</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽²⁾ <u>。</u>	1ーテクル 2接 ーノデ &表現
7369	イラン 1 自由作文 2	ヨーロッパの生活と日本の生活の相違はいろいろありますが、まず、ヨーロッパで <u>、</u> <u>物価</u> ⁽¹⁾ <u>は</u> ⁽¹⁾ <u>あまり</u> ⁽¹⁾ <u>たか</u> ⁽¹⁾ <u>く</u> ⁽¹⁾ <u>な</u> ⁽¹⁾ <u>く</u> ⁽¹⁾ <u>て</u> ⁽¹⁾ <u>、</u> <u>と</u> ⁽²⁾ <u>ち</u> ⁽²⁾ <u>が</u> ⁽²⁾ <u>っ</u> ⁽²⁾ <u>て</u> ⁽²⁾ <u>日</u> ⁽²⁾ <u>本</u> ⁽²⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>、</u> <u>物</u> ⁽³⁾ <u>価</u> ⁽³⁾ <u>は</u> ⁽³⁾ <u>た</u> ⁽³⁾ <u>か</u> ⁽³⁾ <u>く</u> ⁽³⁾ <u>て</u> ⁽³⁾ <u>、</u> <u>こ</u> ⁽⁴⁾ <u>れ</u> ⁽⁴⁾ <u>に</u> ⁽⁴⁾ <u>対</u> ⁽⁴⁾ <u>し</u> ⁽⁴⁾ <u>て</u> ⁽⁴⁾ <u>き</u> ⁽⁴⁾ <u>ゅ</u> ⁽⁴⁾ <u>う</u> ⁽⁴⁾ <u>り</u> ⁽⁴⁾ <u>よ</u> ⁽⁴⁾ <u>う</u> ⁽⁴⁾ <u>は</u> ⁽⁴⁾ <u>ひ</u> ⁽⁴⁾ <u>く</u> ⁽⁴⁾ <u>い</u> ⁽⁴⁾ <u>で</u> ⁽⁴⁾ <u>あ</u> ⁽⁴⁾ <u>る</u> ⁽⁴⁾ <u>。</u>	1,4取立 で*0 /でーハ 2接 *テ形 /ー連用形 3表現 5接 *テ形 6副用 7品詞 *NA/ーA
7370	イラン 1 自由作文 3	それに、ヨーロッパ <u>大</u> ⁽¹⁾ <u>き</u> ⁽¹⁾ <u>さ</u> ⁽¹⁾ <u>人</u> ⁽¹⁾ <u>口</u> ⁽¹⁾ <u>あ</u> ⁽¹⁾ <u>た</u> ⁽¹⁾ <u>り</u> ⁽¹⁾ <u>、</u> <u>日</u> ⁽²⁾ <u>本</u> ⁽²⁾ <u>よ</u> ⁽²⁾ <u>り</u> ⁽²⁾ <u>広</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>の</u> ⁽²⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>住</u> ⁽²⁾ <u>宅</u> ⁽²⁾ <u>問</u> ⁽²⁾ <u>題</u> ⁽²⁾ <u>は</u> ⁽²⁾ <u>た</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>せ</u> ⁽²⁾ <u>つ</u> ⁽²⁾ <u>で</u> ⁽²⁾ <u>は</u> ⁽²⁾ <u>な</u> ⁽²⁾ <u>い</u> ⁽²⁾ <u>。</u>	&表現 1語順 2ノ連 3NA

7371	イラン 1 自由作文 16	イランでは <u>校</u> の <u>ふそく</u> である。 (1) (2)	&表現 1N 2品詞 *N /-V VP
7372	イラン 1 パターン作文 3	それにイランのりょうり <u>と</u> 日本 <small>(1)</small> のりょうり <u>を</u> <u>くらべる</u> <u>と</u> <u>からい</u> です。 (2)	&表現 1取立 格 *ト / -ハ 2格 *ヲ /-ト
7373	マレーシア 3 自由作文 4	おにの話 <u>に</u> 、 <u>負け</u> たのは、いつも <u>悪い物</u> だから、サ ン・カンチルーは <u>よく</u> <u>勝</u> っている。 (1) (2) (3) (4)	1格 *ニ/-デ 2*タ / -ル 3表現 4Ad 副用
7374	マレーシア 9 自由作文 6	しかし、この <u>地球</u> 中の国々の政治家 <u>が</u> <u>だれ</u> でも自分の 利益が一番大切だと思っ <small>(1)</small> ていますから、短期の間に、 <u>非</u> <u>常</u> 困難にこの世界の経済の状況を <u>まわ</u> します。 (2) (3) (4)	1複N 2取立 *ガ /- ハ 3表現 4V
7375	マレーシア 13 自由作文 4	先生たちの中に <u>、</u> <u>感情</u> が親しまないし、学生たちは 外 <u>に</u> <u>えある</u> い行為 <small>(5)</small> をしている <u>も</u> あり、 <u>授業</u> や宿題 が <u>多く</u> て難しいので、時々、 <u>反効果</u> の事件 <small>(6)</small> もありました。 (7) (8) (9)	2取立 *O /-ハ 3表 現 4格 *ニ/-デ 7- 名詞節 -コト 6A 8 C 9複N
7376	マレーシア 16 自由作文 3	マレーシア、いもは、三つ種族を組みたてますから、 <u>共</u> <u>平</u> 対待の政策は、大切なことです。	表現
7377	マレーシア 17 自由作文 7	この <u>しょう</u> こに、うちを <u>買</u> う時や工場を開店時や政府部 で仕事をする <u>の</u> <u>機会</u> など全部マレー人が <u>お先</u> に。 (1) (2) (3)	1コソア 2ノ連 3表現
7378	マレーシア 17 自由作文 15	でも <u>いつ</u> 行かせた <u>ほう</u> がいい <u>です</u> か。 (1) (2) (3)	1C 2熟語 3表現 3ム -ド
7379	マレーシア 17 自由作文 16	子供は七歳 <u>、</u> <u>廃除</u> し <u>な</u> ければなりません。 (1) (2)	1格 *O /-デ 2V 2 表現
7380	マレーシア 18 自由作文 5	日本 <small>(1)</small> のと違う、日本では、国民保険がついている、 <u>約</u> <u>ハ</u> <u>十</u> パーセントの治療代を返す、つまり、 <u>安</u> いだ。 (2) (3)	1表現 接 -テ形 2語 順 数 3品詞 *NA /- A ダ
7381	マレーシア 18 自由作文 15	国民健康保険と国立病院を <u>提</u> 案する。	表現 V
7382	マレーシア 18 自由作文 17	そうすれば、 <u>貧</u> 民がよく医療にいく <u>の</u> <u>が</u> できる。 (1) (2)	1N 2名詞節 *ノ /- コト 表現 熟語
7383	マレーシア 18 自由作文 21	できれば、 <u>私</u> が <u>一</u> 生懸命改革する <u>はず</u> だ。 (1) (2) (3)	1C 副用 3表現 ム- ド 2取立 *ガ /-ハ
7384	マレーシア 18 自由作文 23	国語と英語と <u>華</u> 語の授業時間は同じ期限 <u>、</u> <u>はず</u> です。 (1) (2)	1N 2ノ連 表現 ム- ド
7385	マレーシア 23 自由作文 12	まず、マレーシアの同胞九人だけ <u>、</u> <u>渋谷</u> にある大使館へ 行きました。 (1)	&表現 1格 *O /-デ
7386	マレーシア 28 自由作文 1	<u>私</u> の夏休みには、 <u>な</u> つかしく <u>の</u> 国へ帰った <u>こと</u> です。 (1) (2) (3)	1表現 2活用(A) 品 詞 *N /-A 3名詞 節
7387	マレーシア 28 自由作文 10	友だちの中で、私をのぞい <u>で</u> 、アメリカやカナダや台湾 など <u>、</u> <u>国</u> へ勉強に行くつもり <u>だ</u> とい <small>(1)</small> るから、それら <small>(2)</small> の ような国の大学制度をお互いに話しあいました。 (3) (4)	1発音 2ノ連 3表現
7388	マレーシア 29 自由作文 19	もし私 <u>は</u> <u>首相</u> だったら、国を <u>発</u> 展する <u>か</u> たわら、国民 の快適な生活を <u>与</u> える <u>こと</u> も <u>欠</u> かさず。 (1) (2) (3) (4)	1取立 *ハ /-ガ 2使 役 3V 4表現
7389	スペイン 1 自由作文 7	お酒を飲む男の人は大い、女の人と <u>え</u> らべた <u>時</u> 。 (1)	表記 発音 &表現

7390	スペイン 2 パターン作文 3	魚と人間の一番大きい違いは、魚は水の中にすんで <u>います</u> 、人間は土 <u>を</u> という <u>です</u> 。	1接 *ル/ーテ形 2表現 3名詞節
7391	スペイン 2 パターン作文 12	また、日本語の勉強を <u>よく</u> <u>がんばら</u> なければなりません、ほしい本 <u>を</u> スペイン語で <u>ない</u> <u>だ</u> からだと <u>思います</u> 。	2表記 5ダ 6表現 3取立 *O/ーハ1副用 4活用(A)
7392	フィリピン 1 パターン作文 3	交通工学はどうろのデザインについてです。	&表現
7393	フィリピン 1 パターン作文 4	例えば、traffic signalの時間は何びょうですか <u>。</u>	一名詞節 表現
7394	インド 1 自由作文 2	私の部屋は四畳半で、 <u>私</u> と友だちは <u>渡辺</u> 荘 <u>の</u> アパートに住んでいます。	&表現 1格 ート 2ートイウ
7395	インド 1 自由作文 8	私の部屋は簡単ですが <u>住んで</u> やすいで、 <u>いい</u> 気持ちで、 <u>元気</u> になります。	1VP 2表現 3VP
7396	インド 7 自由作文 12	<u>今</u> も習慣です。	表現
7397	インド 18 自由作文 4	ですから家 <u>は</u> <u>すっきり</u> すむのはしあわせですね。	1取立 *ハ/ーニ 2Ad 副用 &表現
7398	インド 18 自由作文 32	私は満足いくらです。	表現
7399	インド 23 自由作文 16	障子の向こう <u>は</u> <u>おおき</u> 窓がある窓には <u>カーテン</u> がかかっている。	1取立 *ハ/ーノ 2表現
7400	インド 27 自由作文 14	これはわたしの <u>駄め</u> でしょうと思っています。	表現
7401	インド 29 自由作文 5	非常にすばらしくて、 <u>よく</u> て、 <u>心</u> に感動した 映画でした。	1*テ形 A 2VP 表現
7402	インド 29 自由作文 16	これは私の心に感動しました。	&表現
7403	インド 30 自由作文 7	おじは、大変やさしく、 <u>知識</u> がもっていた人 <u>す</u> 。	1VP 表現 2発音 ーダ
7404	インド 33 自由作文 7	人間 <u>は</u> <u>いちばん</u> いるものは物質的なものより精神的なほうが <u>大切</u> と思います。	1取立 *ハ/ーガ 2Ad 副用 3品詞 *N/ーNA &表現
7405	インド 36 自由作文 6	父母の教育方針とか人 <u>に</u> 交際すること <u>を</u> 私 <u>に</u> 影響が <u>多</u> いと思います。	1格 *ニ/ート 2格 *ヲ/ーガ 3表現
7406	インド 36 自由作文 10	父母と私の将来のために、 <u>最初</u> の感じを出して、先生の <u>ほめる</u> を <u>受</u> けて、今から <u>努力</u> にしよう。	1表現 2品詞 *V/ーN 3*テ形 4V
7407	インド 41 自由作文 13	私はたこの作り方があまり上手ではないから、一回、父に手伝わせる <u>から</u> 、一回しかリーダにならなかった。	1接 *カラ/ーテ &表現
7408	インド 44 自由作文 11	男の先生は非常にきれいです。	&表現
7409	インド 44 自由作文 12	先生は毎日、 <u>男</u> に功夫を教える <u>ずっと</u> 大人になります。	表現

第5章 シンタクス・意味論

7410	インド 50 自由作文 6	私は広告写真について非常に <u>趣味</u> ⁽¹⁾ が <u>ある</u> ⁽²⁾ 人です、とい うのは広告写真は商業と芸術を <u>つないで</u> ⁽³⁾ いわゆる商業設 計で、いま私の国には、 <u>そういう</u> ⁽⁴⁾ <u>人才</u> ⁽⁵⁾ はあまり <u>多くては</u> ⁽⁶⁾ <u>は</u> ⁽⁷⁾ ありません。	1N 2表現 3*テ形 体 修 4発音 5表記 6*テ 形 7取立 *ハ/ー 0
7411	インド 51 自由作文 16	私はしっかり日本の <u>経済学</u> を学んで将来国へ帰ったら <u>国の経済発展</u> ⁽¹⁾ <u>について</u> <u>国家の経済</u> ⁽²⁾ <u>をめざましい</u> <u>発展さ</u> せたいと思っている。	1表現 2活用(A)
7412	インド 52 自由作文 7	それを学んだり研究したりして <u>国の経済</u> <u>に発達</u> <u>してあわ</u> <u>せます</u> <u>わけ</u> <u>である</u> 。	体修 表現
7413	インド 53 自由作文 5	というのは <u>国</u> <u>よりもっと</u> <u>進んでいる</u> <u>東の国</u> <u>に</u> <u>特に</u> <u>日本</u> <u>の経済</u> <u>や商業経営</u> <u>を</u> <u>習</u> <u>ってもら</u> <u>います</u> ⁽¹⁾ ⁽²⁾ 。	1副用 2格 *ニ/ー 0 3V 受給 表現
7414	フィンランド 5 自由作文 25	友だちは私に <u>部屋で遊び</u> <u>も不便</u> <u>です</u> 。	名詞節 表現
7415	フィンランド 8 自由作文 14	その上に、ばいきんは体に入るのが簡たんで <u>なく</u> ⁽¹⁾ 、 <u>ば</u> ⁽²⁾ <u>いきんが入るの</u> <u>が</u> <u>知りません</u> ⁽³⁾ 。	表現 1取立 0/ーハ 2一名詞節 3V